

FUJITSU Software

NetCOBOL V12.0

メッセージ集

Solaris/Solaris(64)/Linux/Linux(64)

J2UL-2306-01Z0(00)
2017年12月

まえがき

本書は、NetCOBOLシリーズ製品が出力するメッセージについて説明します。

NetCOBOLシリーズについて

NetCOBOLシリーズの最新情報については、富士通のサイトをご覧ください。

<http://www.fujitsu.com/jp/software/cobol/>

登録商標について

- Linuxは、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Red Hat、RPMおよびRed Hatをベースとしたすべての商標とロゴは、Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel、Itaniumは、Intel Corporationの登録商標です。
- その他の会社名または製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

製品の呼び名について

本書では、製品の名称を以下のように略記しています。あらかじめご了承ください。

正式名称	略称
Oracle Solaris 10	Solaris
Oracle Solaris 11	
Red Hat(R) Enterprise Linux(R) 5 (for x86)	Linux
Red Hat(R) Enterprise Linux(R) 5 (for Intel64) (32ビット互換モード)	
Red Hat(R) Enterprise Linux(R) 5 (for Intel Itanium)	Linux(Itanium)
Red Hat(R) Enterprise Linux(R) 6 (for Intel64) (64ビットモード)	Linux(64)
Red Hat(R) Enterprise Linux(R) 7 (for Intel64) (64ビットモード)	
PowerSORT	PowerSORT

- Solaris上で動作する製品を「Solaris版の製品」と表記します。
- Linux上で動作する製品を「Linux版の製品」と表記します。
- Linux(Itanium)上で動作する製品を「Linux(Itanium)版の製品」と表記します。
- Linux(64)上で動作する製品を「Linux(64)版の製品」と表記します。

本書の目的

本書は、Solaris版、Solaris(64)版、Linux版、Linux(Itanium)版およびLinux(64)版のNetCOBOLを使用したときに出力されるメッセージについて説明しています。

本書の読者

本書は、NetCOBOLを使用してCOBOLプログラムを開発される方を対象としています。

本書の構成

第1章 翻訳コマンドのメッセージ

翻訳コマンドによって出力されるメッセージについて説明しています。

第2章 翻訳時メッセージ

NetCOBOLコンパイラによって出力されるメッセージ(メッセージプレフィクス:JMN)について説明しています。

第3章 実行時メッセージ

NetCOBOLランタイムシステムによって出力されるメッセージ(メッセージプレフィクス:JMP)について説明しています。

第4章 MeFtのメッセージ

MeFtによって通知されるメッセージについて説明しています。

第5章 MeFt/Webのメッセージ

MeFt/Webによって出力されるメッセージについて説明しています。

第6章 Jアダプタクラスジェネレータのメッセージ

Jアダプタクラスジェネレータによって出力されるメッセージについて説明しています。

第7章 PowerSORTのメッセージ

PowerSORTによって出力されるメッセージについて説明しています。

付録A COBOLファイルシステムのエラーコードの説明

COBOLファイルシステムのエラーコードの内容について説明しています。

付録B 注意事項

COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する原因と対処方法について説明しています。

システム固有機能について

システム固有機能は、以下のシステム記号を用いて記述しています。

文章中の記述	対応システム	対応製品
[Solaris]	Oracle Solaris 10 Oracle Solaris 11	NetCOBOL (32bit) V10
[Solaris64]	Oracle Solaris 11	NetCOBOL (64bit) V10
[Linux]	Red Hat(R) Enterprise Linux(R) 5 (for x86) Red Hat(R) Enterprise Linux(R) 5 (for Intel64) (32ビット互換モード)	NetCOBOL (32bit) V7.3L10
[LinuxIPF]	Red Hat(R) Enterprise Linux(R) 5 (for Intel Itanium)	NetCOBOL (64bit) V10
[Linux64]	Red Hat(R) Enterprise Linux(R) 6 (for Intel64) (64ビットモード) Red Hat(R) Enterprise Linux(R) 7 (for Intel64) (64ビットモード)	NetCOBOL (64bit) V12

本書の注意事項

本書は、NetCOBOLの使用中にトラブルが発生した場合に、その原因を調査するための情報を説明しています。この中の情報は、プログラム等の作成には使用しないでください。

COBOLプログラムを作成する場合には、上記に示したマニュアルに記載されているプログラミングサービス情報だけをご利用ください。

その他の注意事項

- 本書では、“COBOL文法書”で“原始プログラム”と記述されている用語を“ソースプログラム”と記述しています。
- 本書では、“Interstage Application Server”を総称して、“Interstage”として記述しています。なお、本書で記述している“Interstage”は、V4以前では“INTERSTAGE”に置き換えてお読みください。

- ・ 本書では、“Interstage Charset Manager”の“標準コード変換”を、“標準コード変換”と記述しています。
- ・ 本書では、OSIV/MSP、OSIV/XSPなどのOSIV系システムを総称して、“OSIV系システム”として記述しています。

お願い

- ・ 本書を無断で他に転載しないようお願いします。
- ・ 本書は予告なしに変更されることがあります。

輸出管理について

本ドキュメントを輸出または第三者へ提供する場合は、お客様が居住する国および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認のうえ、必要な手続きをおとりください。

2017年12月

Copyright 2005-2017 FUJITSU LIMITED

目 次

第1章 翻訳コマンドのメッセージ.....	1
第2章 翻訳時メッセージ.....	3
2.1 メッセージ形式.....	3
2.2 JMN0000－JMN0999.....	4
2.2.1 JMN0007I-U.....	4
2.2.2 JMN0010I-S.....	4
2.2.3 JMN0013I-S.....	4
2.2.4 JMN0015I-U.....	4
2.2.5 JMN0016I-U.....	5
2.2.6 JMN0020I-U.....	5
2.2.7 JMN0021I-E.....	5
2.2.8 JMN0022I-E.....	5
2.2.9 JMN0023I-E.....	6
2.2.10 JMN0024I-E.....	6
2.2.11 JMN0025I-E.....	6
2.2.12 JMN0026I-E.....	6
2.2.13 JMN0027I-E.....	7
2.2.14 JMN0028I-E.....	7
2.2.15 JMN0029I-E.....	7
2.2.16 JMN0030I-E.....	8
2.2.17 JMN0031I-W.....	8
2.2.18 JMN0032I-I.....	8
2.2.19 JMN0033I-W.....	8
2.2.20 JMN0034I-S.....	9
2.2.21 JMN0035I-S.....	9
2.2.22 JMN0036I-S.....	10
2.2.23 JMN0037I-E.....	10
2.2.24 JMN0040I-E.....	10
2.2.25 JMN0041I-S.....	10
2.2.26 JMN0058I-W.....	10
2.2.27 JMN0061I-E.....	11
2.2.28 JMN0063I-W.....	11
2.2.29 JMN0064I-W.....	11
2.2.30 JMN0065I-W.....	11
2.2.31 JMN0071I-W.....	11
2.2.32 JMN0072I-W.....	11
2.2.33 JMN0077I-I.....	12
2.2.34 JMN0092I-U.....	12
2.2.35 JMN0093I-U.....	12
2.2.36 JMN0094I-U.....	12
2.2.37 JMN0096I-U.....	12
2.2.38 JMN0097I-U.....	12
2.2.39 JMN0100I-U.....	12
2.2.40 JMN0102I-U.....	12
2.2.41 JMN0103I-U.....	13
2.2.42 JMN0124I-U.....	13
2.2.43 JMN0125I-U.....	13
2.2.44 JMN0126I-S.....	14
2.2.45 JMN0127I-E.....	14
2.2.46 JMN0128I-S.....	14
2.2.47 JMN0129I-I.....	14
2.2.48 JMN0998I-U.....	14
2.3 JMN1000－JMN1999.....	14
2.3.1 JMN1000I-S.....	15

2.3.2 JMN1001I-W.....	16
2.3.3 JMN1002I-S.....	16
2.3.4 JMN1003I-W.....	16
2.3.5 JMN1004I-W.....	17
2.3.6 JMN1005I-W.....	17
2.3.7 JMN1007I-S.....	17
2.3.8 JMN1008I-S.....	18
2.3.9 JMN1009I-S.....	18
2.3.10 JMN1010I-S.....	19
2.3.11 JMN1011I-S.....	19
2.3.12 JMN1012I-S.....	19
2.3.13 JMN1013I-S.....	20
2.3.14 JMN1014I-S.....	20
2.3.15 JMN1015I-S.....	20
2.3.16 JMN1016I-S.....	20
2.3.17 JMN1017I-S.....	21
2.3.18 JMN1018I-S.....	21
2.3.19 JMN1019I-W.....	22
2.3.20 JMN1020I-W.....	22
2.3.21 JMN1021I-S.....	22
2.3.22 JMN1022I-S.....	22
2.3.23 JMN1023I-S.....	23
2.3.24 JMN1024I-S.....	23
2.3.25 JMN1025I-S.....	23
2.3.26 JMN1026I-S.....	24
2.3.27 JMN1027I-S.....	24
2.3.28 JMN1028I-S.....	24
2.3.29 JMN1029I-S.....	24
2.3.30 JMN1040I-S.....	25
2.3.31 JMN1041I-W.....	25
2.3.32 JMN1042I-S.....	25
2.3.33 JMN1043I-S.....	26
2.3.34 JMN1044I-S.....	26
2.3.35 JMN1049I-S.....	27
2.3.36 JMN1050I-S.....	27
2.3.37 JMN1051I-S.....	27
2.3.38 JMN1052I-S.....	27
2.3.39 JMN1057I-S.....	28
2.3.40 JMN1061I-S.....	28
2.3.41 JMN1062I-S.....	28
2.3.42 JMN1073I-S.....	29
2.3.43 JMN1074I-S.....	29
2.3.44 JMN1075I-S.....	29
2.3.45 JMN1076I-S.....	30
2.3.46 JMN1080I-W.....	30
2.3.47 JMN1081I-S.....	30
2.3.48 JMN1082I-S.....	31
2.3.49 JMN1083I-S.....	31
2.3.50 JMN1084I-I.....	31
2.3.51 JMN1087I-W.....	32
2.3.52 JMN1092I-S.....	32
2.3.53 JMN1093I-S.....	32
2.3.54 JMN1096I-I.....	32
2.3.55 JMN1097I-I.....	33
2.3.56 JMN1099I-I.....	33
2.3.57 JMN1100I-W.....	33
2.3.58 JMN1101I-S.....	34

2.3.59 JMN1103I-W.....	34
2.3.60 JMN1104I-S.....	35
2.3.61 JMN1105I-W.....	35
2.3.62 JMN1107I-S.....	35
2.3.63 JMN1110I-S.....	35
2.3.64 JMN1111I-S.....	36
2.3.65 JMN1113I-S.....	36
2.3.66 JMN1114I-S.....	36
2.3.67 JMN1115I-S.....	37
2.3.68 JMN1116I-S.....	37
2.3.69 JMN1117I-S.....	37
2.3.70 JMN1118I-W.....	38
2.3.71 JMN1119I-W.....	38
2.3.72 JMN1121I-S.....	38
2.3.73 JMN1123I-S.....	39
2.3.74 JMN1125I-S.....	39
2.3.75 JMN1126I-S.....	39
2.3.76 JMN1127I-S.....	40
2.3.77 JMN1128I-S.....	40
2.3.78 JMN1129I-S.....	40
2.3.79 JMN1130I-S.....	41
2.3.80 JMN1131I-S.....	41
2.3.81 JMN1132I-S.....	41
2.3.82 JMN1133I-S.....	41
2.3.83 JMN1134I-S.....	42
2.3.84 JMN1141I-S.....	42
2.3.85 JMN1142I-S.....	42
2.3.86 JMN1143I-S.....	43
2.3.87 JMN1144I-S.....	43
2.3.88 JMN1145I-S.....	43
2.3.89 JMN1146I-S.....	44
2.3.90 JMN1147I-S.....	44
2.3.91 JMN1148I-S.....	44
2.3.92 JMN1149I-W.....	45
2.3.93 JMN1150I-S.....	45
2.3.94 JMN1151I-S.....	45
2.3.95 JMN1154I-S.....	46
2.3.96 JMN1155I-S.....	46
2.3.97 JMN1156I-W.....	46
2.3.98 JMN1158I-W.....	47
2.3.99 JMN1159I-S.....	47
2.3.100 JMN1161I-S.....	48
2.3.101 JMN1162I-S.....	48
2.3.102 JMN1163I-S.....	49
2.3.103 JMN1164I-S.....	49
2.3.104 JMN1165I-S.....	50
2.3.105 JMN1166I-S.....	50
2.3.106 JMN1167I-W.....	50
2.3.107 JMN1183I-S.....	51
2.3.108 JMN1184I-S.....	51
2.3.109 JMN1185I-S.....	52
2.3.110 JMN1187I-S.....	52
2.3.111 JMN1188I-S.....	52
2.3.112 JMN1190I-S.....	53
2.3.113 JMN1193I-S.....	53
2.3.114 JMN1194I-S.....	54
2.3.115 JMN1195I-S.....	54

2.3.116 JMN1197I-S.....	54
2.3.117 JMN1198I-S.....	55
2.3.118 JMN1207I-S.....	55
2.3.119 JMN1208I-S.....	56
2.3.120 JMN1209I-S.....	56
2.3.121 JMN1213I-S.....	56
2.3.122 JMN1214I-S.....	56
2.3.123 JMN1215I-S.....	57
2.3.124 JMN1216I-S.....	57
2.3.125 JMN1217I-S.....	57
2.3.126 JMN1218I-S.....	58
2.3.127 JMN1219I-S.....	58
2.3.128 JMN1220I-S.....	58
2.3.129 JMN1221I-S.....	59
2.3.130 JMN1222I-S.....	59
2.3.131 JMN1223I-S.....	59
2.3.132 JMN1224I-S.....	59
2.3.133 JMN1225I-S.....	60
2.3.134 JMN1227I-S.....	60
2.3.135 JMN1228I-S.....	61
2.3.136 JMN1229I-S.....	61
2.3.137 JMN1231I-S.....	61
2.3.138 JMN1232I-S.....	62
2.3.139 JMN1233I-S.....	62
2.3.140 JMN1234I-S.....	62
2.3.141 JMN1236I-S.....	63
2.3.142 JMN1237I-S.....	63
2.3.143 JMN1238I-S.....	63
2.3.144 JMN1239I-S.....	64
2.3.145 JMN1240I-S.....	64
2.3.146 JMN1241I-S.....	64
2.3.147 JMN1242I-S.....	64
2.3.148 JMN1243I-S.....	65
2.3.149 JMN1244I-W.....	65
2.3.150 JMN1246I-W.....	65
2.3.151 JMN1253I-S.....	66
2.3.152 JMN1254I-S.....	66
2.3.153 JMN1255I-S.....	66
2.3.154 JMN1256I-S.....	67
2.3.155 JMN1257I-S.....	67
2.3.156 JMN1258I-W.....	67
2.3.157 JMN1259I-W.....	68
2.3.158 JMN1260I-W.....	68
2.3.159 JMN1261I-W.....	68
2.3.160 JMN1265I-S.....	69
2.3.161 JMN1266I-S.....	69
2.3.162 JMN1267I-S.....	69
2.3.163 JMN1268I-S.....	70
2.3.164 JMN1269I-S.....	70
2.3.165 JMN1271I-S.....	71
2.3.166 JMN1273I-S.....	71
2.3.167 JMN1275I-S.....	71
2.3.168 JMN1276I-S.....	72
2.3.169 JMN1278I-S.....	72
2.3.170 JMN1279I-S.....	72
2.3.171 JMN1280I-S.....	73
2.3.172 JMN1281I-S.....	73

2.3.173 JMN1282I-S.....	73
2.3.174 JMN1284I-S.....	74
2.3.175 JMN1285I-S.....	74
2.3.176 JMN1286I-S.....	74
2.3.177 JMN1287I-S.....	75
2.3.178 JMN1288I-S.....	75
2.3.179 JMN1291I-S.....	75
2.3.180 JMN1292I-S.....	75
2.3.181 JMN1298I-S.....	76
2.3.182 JMN1299I-S.....	76
2.3.183 JMN1301I-S.....	76
2.3.184 JMN1302I-S.....	77
2.3.185 JMN1303I-S.....	77
2.3.186 JMN1304I-S.....	78
2.3.187 JMN1305I-S.....	78
2.3.188 JMN1309I-S.....	78
2.3.189 JMN1310I-S.....	79
2.3.190 JMN1312I-S.....	79
2.3.191 JMN1313I-S.....	80
2.3.192 JMN1314I-S.....	80
2.3.193 JMN1315I-S.....	80
2.3.194 JMN1317I-S.....	81
2.3.195 JMN1318I-S.....	81
2.3.196 JMN1319I-S.....	82
2.3.197 JMN1320I-S.....	82
2.3.198 JMN1321I-S.....	82
2.3.199 JMN1322I-S.....	83
2.3.200 JMN1323I-S.....	83
2.3.201 JMN1324I-S.....	84
2.3.202 JMN1325I-S.....	84
2.3.203 JMN1326I-S.....	84
2.3.204 JMN1327I-S.....	85
2.3.205 JMN1329I-S.....	85
2.3.206 JMN1338I-I.....	86
2.3.207 JMN1339I-I.....	86
2.3.208 JMN1340I-I.....	86
2.3.209 JMN1342I-I.....	87
2.3.210 JMN1343I-I.....	87
2.3.211 JMN1353I-S.....	88
2.3.212 JMN1354I-W.....	88
2.3.213 JMN1355I-S.....	88
2.3.214 JMN1356I-W.....	89
2.3.215 JMN1357I-S.....	89
2.3.216 JMN1358I-W.....	89
2.3.217 JMN1359I-S.....	90
2.3.218 JMN1360I-S.....	90
2.3.219 JMN1373I-S.....	90
2.3.220 JMN1376I-S.....	91
2.3.221 JMN1377I-S.....	91
2.3.222 JMN1388I-W.....	91
2.3.223 JMN1390I-S.....	92
2.3.224 JMN1391I-S.....	92
2.3.225 JMN1393I-S.....	92
2.3.226 JMN1394I-S.....	93
2.3.227 JMN1395I-S.....	93
2.3.228 JMN1396I-S.....	93
2.3.229 JMN1397I-S.....	94

2.3.230 JMN1401I-S	94
2.3.231 JMN1402I-S	95
2.3.232 JMN1404I-S	95
2.3.233 JMN1405I-S	95
2.3.234 JMN1411I-S	96
2.3.235 JMN1412I-S	97
2.3.236 JMN1413I-S	97
2.3.237 JMN1414I-S	98
2.3.238 JMN1416I-S	98
2.3.239 JMN1418I-S	98
2.3.240 JMN1421I-S	99
2.3.241 JMN1423I-S	99
2.3.242 JMN1424I-W	100
2.3.243 JMN1425I-S	100
2.3.244 JMN1426I-W	100
2.3.245 JMN1427I-W	101
2.3.246 JMN1428I-S	101
2.3.247 JMN1434I-S	101
2.3.248 JMN1436I-S	102
2.3.249 JMN1437I-S	102
2.3.250 JMN1438I-S	103
2.3.251 JMN1439I-W	103
2.3.252 JMN1450I-I	103
2.3.253 JMN1464I-S	104
2.3.254 JMN1465I-S	104
2.3.255 JMN1466I-S	104
2.3.256 JMN1472I-S	105
2.3.257 JMN1475I-S	105
2.3.258 JMN1476I-S	105
2.3.259 JMN1477I-I	106
2.3.260 JMN1478I-W	106
2.3.261 JMN1479I-S	107
2.3.262 JMN1480I-S	107
2.3.263 JMN1481I-E	107
2.3.264 JMN1482I-S	108
2.3.265 JMN1486I-I	109
2.3.266 JMN1487I-S	109
2.3.267 JMN1488I-S	109
2.3.268 JMN1489I-S	110
2.3.269 JMN1490I-S	110
2.3.270 JMN1500I-S	110
2.3.271 JMN1501I-S	111
2.3.272 JMN1502I-S	111
2.3.273 JMN1503I-S	111
2.3.274 JMN1504I-S	112
2.3.275 JMN1505I-S	112
2.3.276 JMN1506I-W	113
2.3.277 JMN1507I-S	114
2.3.278 JMN1508I-S	114
2.3.279 JMN1509I-S	114
2.3.280 JMN1510I-S	115
2.3.281 JMN1511I-S	115
2.3.282 JMN1512I-S	116
2.3.283 JMN1513I-S	116
2.3.284 JMN1514I-S	117
2.3.285 JMN1515I-S	117
2.3.286 JMN1516I-S	117

2.3.287 JMN1517I-S.....	118
2.3.288 JMN1518I-S.....	118
2.3.289 JMN1519I-S.....	119
2.3.290 JMN1520I-S.....	119
2.3.291 JMN1521I-S.....	119
2.3.292 JMN1522I-S.....	120
2.3.293 JMN1523I-S.....	120
2.3.294 JMN1524I-S.....	120
2.3.295 JMN1525I-S.....	121
2.3.296 JMN1526I-S.....	121
2.3.297 JMN1527I-S.....	122
2.3.298 JMN1528I-S.....	122
2.3.299 JMN1529I-S.....	123
2.3.300 JMN1530I-S.....	123
2.3.301 JMN1531I-S.....	124
2.3.302 JMN1532I-S.....	124
2.3.303 JMN1533I-S.....	124
2.3.304 JMN1534I-S.....	125
2.3.305 JMN1535I-S.....	125
2.3.306 JMN1538I-I.....	126
2.3.307 JMN1539I-I.....	126
2.3.308 JMN1540I-S.....	126
2.3.309 JMN1544I-S.....	127
2.3.310 JMN1545I-S.....	127
2.3.311 JMN1547I-I.....	128
2.3.312 JMN1553I-S.....	128
2.3.313 JMN1555I-S.....	128
2.3.314 JMN1556I-S.....	129
2.3.315 JMN1557I-S.....	129
2.3.316 JMN1558I-S.....	130
2.3.317 JMN1559I-S.....	130
2.3.318 JMN1560I-S.....	130
2.3.319 JMN1561I-S.....	131
2.3.320 JMN1562I-S.....	131
2.3.321 JMN1563I-S.....	131
2.3.322 JMN1566I-S.....	132
2.3.323 JMN1567I-S.....	132
2.3.324 JMN1568I-S.....	132
2.3.325 JMN1569I-S.....	133
2.3.326 JMN1570I-S.....	133
2.3.327 JMN1571I-S.....	133
2.3.328 JMN1572I-S.....	134
2.3.329 JMN1573I-S.....	134
2.3.330 JMN1574I-S.....	134
2.3.331 JMN1575I-W.....	135
2.3.332 JMN1576I-S.....	135
2.3.333 JMN1578I-S.....	135
2.3.334 JMN1579I-S.....	136
2.3.335 JMN1580I-S.....	136
2.3.336 JMN1581I-S.....	136
2.3.337 JMN1582I-S.....	137
2.3.338 JMN1583I-W.....	137
2.3.339 JMN1584I-S.....	137
2.3.340 JMN1586I-S.....	138
2.3.341 JMN1588I-S.....	138
2.3.342 JMN1589I-S.....	139
2.3.343 JMN1591I-S.....	139

2.3.344 JMN1592I-S.....	139
2.3.345 JMN1593I-S.....	140
2.3.346 JMN1594I-S.....	140
2.3.347 JMN1596I-S.....	140
2.3.348 JMN1597I-W.....	141
2.3.349 JMN1599I-S.....	141
2.3.350 JMN1600I-S.....	142
2.3.351 JMN1604I-W.....	142
2.3.352 JMN1608I-S.....	142
2.3.353 JMN1615I-I.....	142
2.3.354 JMN1661I-S.....	143
2.3.355 JMN1662I-S.....	143
2.3.356 JMN1664I-S.....	143
2.3.357 JMN1665I-S.....	143
2.3.358 JMN1668I-W.....	143
2.3.359 JMN1670I-S.....	143
2.3.360 JMN1671I-S.....	143
2.3.361 JMN1672I-S.....	144
2.3.362 JMN1674I-S.....	144
2.3.363 JMN1675I-S.....	144
2.3.364 JMN1676I-S.....	145
2.3.365 JMN1677I-S.....	145
2.3.366 JMN1678I-S.....	146
2.3.367 JMN1681I-S.....	146
2.3.368 JMN1683I-S.....	146
2.3.369 JMN1684I-S.....	147
2.3.370 JMN1685I-S.....	147
2.3.371 JMN1686I-S.....	147
2.3.372 JMN1687I-S.....	148
2.3.373 JMN1688I-S.....	148
2.3.374 JMN1689I-S.....	149
2.3.375 JMN1690I-S.....	149
2.3.376 JMN1692I-S.....	150
2.3.377 JMN1693I-S.....	150
2.3.378 JMN1694I-S.....	150
2.3.379 JMN1695I-S.....	151
2.3.380 JMN1696I-S.....	151
2.3.381 JMN1697I-S.....	152
2.3.382 JMN1698I-S.....	152
2.3.383 JMN1699I-S.....	152
2.3.384 JMN1701I-S.....	153
2.3.385 JMN1703I-S.....	153
2.3.386 JMN1704I-S.....	153
2.3.387 JMN1705I-S.....	154
2.3.388 JMN1706I-S.....	154
2.3.389 JMN1707I-S.....	154
2.3.390 JMN1708I-S.....	155
2.3.391 JMN1710I-I.....	155
2.3.392 JMN1715I-S.....	156
2.3.393 JMN1716I-S.....	156
2.3.394 JMN1717I-S.....	156
2.3.395 JMN1718I-S.....	157
2.3.396 JMN1724I-S.....	157
2.3.397 JMN1725I-S.....	158
2.3.398 JMN1726I-S.....	158
2.3.399 JMN1735I-S.....	158
2.3.400 JMN1736I-S.....	159

2.3.401 JMN1738I-S.....	159
2.3.402 JMN1739I-W.....	159
2.3.403 JMN1741I-S.....	160
2.3.404 JMN1742I-S.....	160
2.3.405 JMN1744I-S.....	160
2.3.406 JMN1745I-S.....	161
2.3.407 JMN1746I-S.....	161
2.3.408 JMN1748I-S.....	161
2.3.409 JMN1749I-S.....	162
2.3.410 JMN1750I-S.....	162
2.3.411 JMN1751I-S.....	162
2.3.412 JMN1752I-S.....	162
2.3.413 JMN1753I-S.....	163
2.3.414 JMN1754I-S.....	163
2.3.415 JMN1755I-S.....	163
2.3.416 JMN1756I-S.....	164
2.3.417 JMN1757I-S.....	165
2.3.418 JMN1758I-S.....	165
2.3.419 JMN1759I-S.....	166
2.3.420 JMN1760I-S.....	166
2.3.421 JMN1761I-S.....	167
2.3.422 JMN1762I-S.....	167
2.3.423 JMN1763I-S.....	168
2.3.424 JMN1764I-S.....	168
2.3.425 JMN1765I-S.....	168
2.3.426 JMN1766I-U.....	169
2.3.427 JMN1767I-S.....	169
2.3.428 JMN1768I-S.....	169
2.3.429 JMN1769I-S.....	170
2.3.430 JMN1770I-W.....	170
2.3.431 JMN1771I-S.....	170
2.3.432 JMN1772I-S.....	171
2.3.433 JMN1773I-S.....	171
2.3.434 JMN1774I-S.....	172
2.3.435 JMN1775I-S.....	172
2.3.436 JMN1776I-S.....	172
2.3.437 JMN1778I-S.....	173
2.3.438 JMN1780I-S.....	173
2.3.439 JMN1781I-S.....	173
2.3.440 JMN1782I-S.....	173
2.3.441 JMN1783I-S.....	174
2.3.442 JMN1784I-S.....	174
2.3.443 JMN1785I-S.....	174
2.3.444 JMN1786I-S.....	174
2.3.445 JMN1788I-S.....	175
2.3.446 JMN1790I-S.....	175
2.3.447 JMN1802I-S.....	175
2.3.448 JMN1805I-S.....	176
2.3.449 JMN1813I-S.....	176
2.3.450 JMN1814I-W.....	176
2.3.451 JMN1845I-W.....	177
2.3.452 JMN1847I-S.....	177
2.3.453 JMN1852I-S.....	177
2.3.454 JMN1853I-S.....	177
2.3.455 JMN1854I-S.....	178
2.3.456 JMN1855I-S.....	178
2.3.457 JMN1856I-S.....	179

2.3.458 JMN1857I-S.....	179
2.3.459 JMN1858I-S.....	179
2.3.460 JMN1859I-S.....	179
2.3.461 JMN1900I-W.....	180
2.3.462 JMN1903I-S.....	180
2.3.463 JMN1904I-W.....	180
2.3.464 JMN1905I-S.....	180
2.4 JMN2000 – JMN2999.....	181
2.4.1 JMN2000I-S.....	182
2.4.2 JMN2001I-S.....	183
2.4.3 JMN2002I-S.....	183
2.4.4 JMN2003I-S.....	184
2.4.5 JMN2004I-S.....	184
2.4.6 JMN2005I-S.....	185
2.4.7 JMN2006I-S.....	185
2.4.8 JMN2007I-S.....	186
2.4.9 JMN2008I-W.....	187
2.4.10 JMN2009I-S.....	187
2.4.11 JMN2010I-S.....	188
2.4.12 JMN2011I-S.....	188
2.4.13 JMN2012I-S.....	189
2.4.14 JMN2013I-S.....	189
2.4.15 JMN2015I-S.....	190
2.4.16 JMN2016I-S.....	190
2.4.17 JMN2019I-W.....	190
2.4.18 JMN2020I-S.....	191
2.4.19 JMN2022I-S.....	191
2.4.20 JMN2024I-S.....	192
2.4.21 JMN2025I-W.....	192
2.4.22 JMN2026I-W.....	192
2.4.23 JMN2031I-S.....	193
2.4.24 JMN2034I-S.....	193
2.4.25 JMN2035I-W.....	194
2.4.26 JMN2036I-S.....	194
2.4.27 JMN2037I-S.....	195
2.4.28 JMN2038I-S.....	195
2.4.29 JMN2039I-S.....	195
2.4.30 JMN2040I-S.....	196
2.4.31 JMN2041I-S.....	196
2.4.32 JMN2042I-S.....	197
2.4.33 JMN2043I-W.....	197
2.4.34 JMN2044I-S.....	198
2.4.35 JMN2045I-S.....	198
2.4.36 JMN2047I-W.....	199
2.4.37 JMN2048I-S.....	199
2.4.38 JMN2049I-S.....	200
2.4.39 JMN2050I-S.....	200
2.4.40 JMN2051I-S.....	201
2.4.41 JMN2065I-W.....	202
2.4.42 JMN2066I-S.....	202
2.4.43 JMN2067I-S.....	203
2.4.44 JMN2076I-S.....	203
2.4.45 JMN2077I-S.....	204
2.4.46 JMN2079I-S.....	204
2.4.47 JMN2080I-S.....	205
2.4.48 JMN2081I-S.....	205
2.4.49 JMN2082I-S.....	206

2.4.50 JMN2083I-S.....	206
2.4.51 JMN2084I-S.....	207
2.4.52 JMN2085I-S.....	208
2.4.53 JMN2097I-W.....	208
2.4.54 JMN2098I-S.....	209
2.4.55 JMN2099I-S.....	209
2.4.56 JMN2100I-W.....	210
2.4.57 JMN2101I-S.....	210
2.4.58 JMN2102I-S.....	210
2.4.59 JMN2103I-S.....	211
2.4.60 JMN2104I-W.....	211
2.4.61 JMN2105I-W.....	212
2.4.62 JMN2106I-S.....	212
2.4.63 JMN2107I-S.....	213
2.4.64 JMN2108I-S.....	213
2.4.65 JMN2109I-S.....	214
2.4.66 JMN2111I-W.....	214
2.4.67 JMN2112I-S.....	215
2.4.68 JMN2113I-S.....	215
2.4.69 JMN2116I-S.....	216
2.4.70 JMN2117I-S.....	216
2.4.71 JMN2118I-S.....	216
2.4.72 JMN2119I-S.....	217
2.4.73 JMN2120I-S.....	217
2.4.74 JMN2121I-S.....	218
2.4.75 JMN2122I-S.....	218
2.4.76 JMN2123I-S.....	218
2.4.77 JMN2124I-S.....	219
2.4.78 JMN2126I-W.....	219
2.4.79 JMN2127I-S.....	220
2.4.80 JMN2128I-S.....	220
2.4.81 JMN2131I-S.....	220
2.4.82 JMN2132I-S.....	221
2.4.83 JMN2134I-S.....	222
2.4.84 JMN2135I-S.....	222
2.4.85 JMN2136I-W.....	223
2.4.86 JMN2138I-W.....	223
2.4.87 JMN2143I-S.....	224
2.4.88 JMN2144I-S.....	224
2.4.89 JMN2145I-S.....	225
2.4.90 JMN2149I-S.....	225
2.4.91 JMN2158I-S.....	226
2.4.92 JMN2159I-S.....	226
2.4.93 JMN2163I-W.....	227
2.4.94 JMN2164I-S.....	227
2.4.95 JMN2165I-S.....	228
2.4.96 JMN2166I-S.....	228
2.4.97 JMN2167I-S.....	229
2.4.98 JMN2173I-S.....	230
2.4.99 JMN2174I-S.....	230
2.4.100 JMN2175I-S.....	231
2.4.101 JMN2176I-S.....	231
2.4.102 JMN2177I-S.....	232
2.4.103 JMN2178I-S.....	232
2.4.104 JMN2181I-S.....	233
2.4.105 JMN2182I-S.....	234
2.4.106 JMN2183I-S.....	234

2.4.107 JMN2188I-S.....	235
2.4.108 JMN2189I-S.....	235
2.4.109 JMN2190I-S.....	236
2.4.110 JMN2191I-S.....	237
2.4.111 JMN2192I-S.....	237
2.4.112 JMN2193I-S.....	237
2.4.113 JMN2194I-S.....	238
2.4.114 JMN2195I-S.....	238
2.4.115 JMN2196I-S.....	239
2.4.116 JMN2197I-S.....	239
2.4.117 JMN2200I-W.....	240
2.4.118 JMN2201I-W.....	240
2.4.119 JMN2202I-W.....	241
2.4.120 JMN2205I-S.....	241
2.4.121 JMN2206I-S.....	242
2.4.122 JMN2207I-S.....	242
2.4.123 JMN2210I-S.....	243
2.4.124 JMN2212I-S.....	243
2.4.125 JMN2213I-S.....	244
2.4.126 JMN2214I-S.....	244
2.4.127 JMN2215I-S.....	245
2.4.128 JMN2216I-S.....	245
2.4.129 JMN2218I-S.....	245
2.4.130 JMN2219I-S.....	246
2.4.131 JMN2221I-S.....	246
2.4.132 JMN2222I-S.....	247
2.4.133 JMN2223I-S.....	247
2.4.134 JMN2224I-W.....	248
2.4.135 JMN2225I-S.....	248
2.4.136 JMN2226I-S.....	249
2.4.137 JMN2227I-S.....	249
2.4.138 JMN2228I-S.....	250
2.4.139 JMN2229I-S.....	250
2.4.140 JMN2231I-S.....	250
2.4.141 JMN2232I-W.....	251
2.4.142 JMN2233I-S.....	251
2.4.143 JMN2234I-S.....	252
2.4.144 JMN2235I-S.....	252
2.4.145 JMN2236I-S.....	253
2.4.146 JMN2239I-S.....	253
2.4.147 JMN2244I-S.....	254
2.4.148 JMN2245I-S.....	254
2.4.149 JMN2249I-S.....	255
2.4.150 JMN2251I-S.....	255
2.4.151 JMN2252I-S.....	256
2.4.152 JMN2269I-S.....	256
2.4.153 JMN2270I-S.....	257
2.4.154 JMN2271I-S.....	257
2.4.155 JMN2273I-W.....	257
2.4.156 JMN2274I-W.....	258
2.4.157 JMN2276I-S.....	259
2.4.158 JMN2277I-S.....	259
2.4.159 JMN2288I-S.....	260
2.4.160 JMN2292I-S.....	260
2.4.161 JMN2300I-S.....	261
2.4.162 JMN2312I-S.....	261
2.4.163 JMN2316I-I.....	262

2.4.164 JMN2317I-W.....	262
2.4.165 JMN2319I-S.....	263
2.4.166 JMN2320I-S.....	263
2.4.167 JMN2329I-S.....	264
2.4.168 JMN2331I-S.....	264
2.4.169 JMN2332I-S.....	265
2.4.170 JMN2333I-S.....	265
2.4.171 JMN2334I-S.....	266
2.4.172 JMN2335I-S.....	266
2.4.173 JMN2336I-S.....	267
2.4.174 JMN2337I-S.....	267
2.4.175 JMN2338I-S.....	268
2.4.176 JMN2341I-S.....	268
2.4.177 JMN2343I-W.....	269
2.4.178 JMN2350I-S.....	269
2.4.179 JMN2354I-S.....	270
2.4.180 JMN2357I-S.....	270
2.4.181 JMN2358I-W.....	270
2.4.182 JMN2359I-W.....	271
2.4.183 JMN2365I-S.....	272
2.4.184 JMN2366I-S.....	272
2.4.185 JMN2370I-I.....	273
2.4.186 JMN2372I-S.....	273
2.4.187 JMN2374I-S.....	274
2.4.188 JMN2375I-S.....	274
2.4.189 JMN2384I-S.....	275
2.4.190 JMN2385I-S.....	275
2.4.191 JMN2393I-S.....	276
2.4.192 JMN2394I-S.....	276
2.4.193 JMN2395I-S.....	277
2.4.194 JMN2396I-S.....	278
2.4.195 JMN2397I-S.....	278
2.4.196 JMN2398I-S.....	279
2.4.197 JMN2399I-S.....	280
2.4.198 JMN2400I-S.....	280
2.4.199 JMN2401I-S.....	281
2.4.200 JMN2402I-S.....	281
2.4.201 JMN2403I-S.....	282
2.4.202 JMN2404I-S.....	282
2.4.203 JMN2405I-S.....	283
2.4.204 JMN2406I-S.....	283
2.4.205 JMN2407I-S.....	284
2.4.206 JMN2408I-S.....	284
2.4.207 JMN2409I-S.....	285
2.4.208 JMN2410I-S.....	286
2.4.209 JMN2411I-S.....	286
2.4.210 JMN2412I-S.....	287
2.4.211 JMN2413I-S.....	287
2.4.212 JMN2414I-S.....	288
2.4.213 JMN2415I-S.....	289
2.4.214 JMN2416I-S.....	289
2.4.215 JMN2417I-S.....	290
2.4.216 JMN2418I-S.....	291
2.4.217 JMN2420I-S.....	291
2.4.218 JMN2421I-S.....	292
2.4.219 JMN2422I-S.....	292
2.4.220 JMN2423I-S.....	293

2.4.221 JMN2424I-S.....	293
2.4.222 JMN2425I-S.....	294
2.4.223 JMN2426I-S.....	294
2.4.224 JMN2427I-S.....	295
2.4.225 JMN2428I-S.....	296
2.4.226 JMN2429I-S.....	296
2.4.227 JMN2430I-S.....	297
2.4.228 JMN2431I-S.....	297
2.4.229 JMN2432I-S.....	298
2.4.230 JMN2433I-S.....	298
2.4.231 JMN2434I-S.....	299
2.4.232 JMN2435I-S.....	300
2.4.233 JMN2436I-S.....	300
2.4.234 JMN2437I-S.....	301
2.4.235 JMN2438I-S.....	301
2.4.236 JMN2439I-S.....	302
2.4.237 JMN2440I-S.....	302
2.4.238 JMN2441I-S.....	303
2.4.239 JMN2442I-S.....	303
2.4.240 JMN2443I-S.....	304
2.4.241 JMN2444I-S.....	305
2.4.242 JMN2445I-S.....	305
2.4.243 JMN2446I-S.....	306
2.4.244 JMN2447I-S.....	306
2.4.245 JMN2449I-S.....	307
2.4.246 JMN2450I-S.....	307
2.4.247 JMN2451I-S.....	308
2.4.248 JMN2452I-S.....	309
2.4.249 JMN2457I-S.....	309
2.4.250 JMN2458I-S.....	310
2.4.251 JMN2459I-S.....	310
2.4.252 JMN2460I-S.....	311
2.4.253 JMN2461I-S.....	311
2.4.254 JMN2462I-S.....	312
2.4.255 JMN2463I-S.....	313
2.4.256 JMN2464I-S.....	313
2.4.257 JMN2465I-S.....	314
2.4.258 JMN2466I-S.....	314
2.4.259 JMN2467I-S.....	315
2.4.260 JMN2468I-S.....	316
2.4.261 JMN2469I-S.....	316
2.4.262 JMN2470I-S.....	317
2.4.263 JMN2471I-S.....	317
2.4.264 JMN2472I-S.....	318
2.4.265 JMN2473I-S.....	318
2.4.266 JMN2474I-S.....	319
2.4.267 JMN2475I-S.....	320
2.4.268 JMN2476I-S.....	320
2.4.269 JMN2477I-S.....	321
2.4.270 JMN2478I-S.....	321
2.4.271 JMN2480I-S.....	322
2.4.272 JMN2481I-S.....	322
2.4.273 JMN2482I-S.....	323
2.4.274 JMN2483I-S.....	324
2.4.275 JMN2484I-S.....	324
2.4.276 JMN2485I-S.....	325
2.4.277 JMN2486I-S.....	325

2.4.278 JMN2487I-S.....	326
2.4.279 JMN2488I-S.....	326
2.4.280 JMN2489I-S.....	327
2.4.281 JMN2491I-S.....	328
2.4.282 JMN2493I-S.....	328
2.4.283 JMN2494I-S.....	329
2.4.284 JMN2495I-I.....	329
2.4.285 JMN2496I-S.....	330
2.4.286 JMN2497I-S.....	330
2.4.287 JMN2498I-S.....	331
2.4.288 JMN2499I-S.....	331
2.4.289 JMN2500I-S.....	332
2.4.290 JMN2501I-S.....	333
2.4.291 JMN2502I-S.....	333
2.4.292 JMN2503I-S.....	334
2.4.293 JMN2504I-S.....	334
2.4.294 JMN2505I-S.....	335
2.4.295 JMN2506I-W.....	336
2.4.296 JMN2507I-S.....	336
2.4.297 JMN2508I-W.....	336
2.4.298 JMN2509I-S.....	337
2.4.299 JMN2510I-S.....	337
2.4.300 JMN2511I-S.....	338
2.4.301 JMN2512I-S.....	339
2.4.302 JMN2513I-S.....	339
2.4.303 JMN2514I-S.....	340
2.4.304 JMN2515I-S.....	340
2.4.305 JMN2516I-S.....	341
2.4.306 JMN2517I-S.....	342
2.4.307 JMN2518I-S.....	342
2.4.308 JMN2519I-S.....	342
2.4.309 JMN2520I-S.....	343
2.4.310 JMN2521I-S.....	343
2.4.311 JMN2522I-W.....	344
2.4.312 JMN2523I-S.....	344
2.4.313 JMN2524I-S.....	344
2.4.314 JMN2525I-S.....	345
2.4.315 JMN2526I-S.....	345
2.4.316 JMN2527I-W.....	346
2.4.317 JMN2528I-S.....	346
2.4.318 JMN2529I-S.....	347
2.4.319 JMN2530I-S.....	347
2.4.320 JMN2532I-S.....	348
2.4.321 JMN2534I-S.....	348
2.4.322 JMN2535I-S.....	349
2.4.323 JMN2536I-S.....	349
2.4.324 JMN2538I-S.....	350
2.4.325 JMN2539I-S.....	350
2.4.326 JMN2540I-W.....	351
2.4.327 JMN2541I-S.....	351
2.4.328 JMN2543I-S.....	352
2.4.329 JMN2545I-S.....	352
2.4.330 JMN2547I-S.....	353
2.4.331 JMN2548I-S.....	353
2.4.332 JMN2549I-W.....	354
2.4.333 JMN2550I-S.....	354
2.4.334 JMN2551I-S.....	355

2.4.335 JMN2552I-S.....	356
2.4.336 JMN2553I-S.....	356
2.4.337 JMN2554I-S.....	356
2.4.338 JMN2555I-S.....	357
2.4.339 JMN2556I-S.....	357
2.4.340 JMN2557I-S.....	358
2.4.341 JMN2558I-S.....	358
2.4.342 JMN2560I-W.....	359
2.4.343 JMN2561I-S.....	359
2.4.344 JMN2562I-S.....	360
2.4.345 JMN2564I-S.....	360
2.4.346 JMN2565I-S.....	361
2.4.347 JMN2566I-S.....	362
2.4.348 JMN2567I-S.....	362
2.4.349 JMN2568I-S.....	362
2.4.350 JMN2569I-S.....	363
2.4.351 JMN2570I-S.....	363
2.4.352 JMN2571I-S.....	364
2.4.353 JMN2574I-S.....	364
2.4.354 JMN2575I-S.....	365
2.4.355 JMN2576I-S.....	366
2.4.356 JMN2580I-W.....	367
2.4.357 JMN2583I-S.....	368
2.4.358 JMN2584I-S.....	368
2.4.359 JMN2585I-S.....	368
2.4.360 JMN2586I-S.....	369
2.4.361 JMN2587I-S.....	370
2.4.362 JMN2588I-S.....	370
2.4.363 JMN2589I-S.....	371
2.4.364 JMN2591I-S.....	371
2.4.365 JMN2592I-S.....	372
2.4.366 JMN2593I-S.....	372
2.4.367 JMN2596I-S.....	373
2.4.368 JMN2597I-S.....	373
2.4.369 JMN2598I-S.....	374
2.4.370 JMN2599I-S.....	374
2.4.371 JMN2600I-S.....	375
2.4.372 JMN2601I-S.....	375
2.4.373 JMN2602I-S.....	376
2.4.374 JMN2603I-S.....	376
2.4.375 JMN2604I-S.....	376
2.4.376 JMN2605I-S.....	377
2.4.377 JMN2606I-S.....	377
2.4.378 JMN2607I-S.....	378
2.4.379 JMN2608I-S.....	379
2.4.380 JMN2609I-S.....	379
2.4.381 JMN2610I-S.....	380
2.4.382 JMN2611I-S.....	381
2.4.383 JMN2613I-S.....	381
2.4.384 JMN2615I-S.....	382
2.4.385 JMN2616I-S.....	383
2.4.386 JMN2617I-S.....	383
2.4.387 JMN2633I-S.....	384
2.4.388 JMN2634I-S.....	384
2.4.389 JMN2639I-S.....	385
2.4.390 JMN2640I-S.....	385
2.4.391 JMN2641I-S.....	386

2.4.392 JMN2642I-S.....	386
2.4.393 JMN2643I-S.....	387
2.4.394 JMN2644I-S.....	387
2.4.395 JMN2645I-W.....	387
2.4.396 JMN2650I-I.....	388
2.4.397 JMN2651I-W.....	388
2.4.398 JMN2654I-S.....	389
2.4.399 JMN2656I-S.....	389
2.4.400 JMN2657I-S.....	390
2.4.401 JMN2658I-S.....	391
2.4.402 JMN2659I-S.....	391
2.4.403 JMN2660I-S.....	392
2.4.404 JMN2662I-S.....	392
2.4.405 JMN2663I-S.....	393
2.4.406 JMN2665I-S.....	394
2.4.407 JMN2666I-S.....	394
2.4.408 JMN2669I-E.....	395
2.4.409 JMN2670I-S.....	396
2.4.410 JMN2671I-S.....	396
2.4.411 JMN2672I-S.....	397
2.4.412 JMN2673I-S.....	397
2.4.413 JMN2682I-W.....	398
2.4.414 JMN2686I-S.....	398
2.4.415 JMN2689I-W.....	399
2.4.416 JMN2691I-S.....	400
2.4.417 JMN2692I-W.....	400
2.4.418 JMN2693I-W.....	401
2.4.419 JMN2694I-S.....	401
2.4.420 JMN2695I-S.....	402
2.4.421 JMN2696I-S.....	402
2.4.422 JMN2697I-S.....	403
2.4.423 JMN2698I-S.....	403
2.4.424 JMN2699I-S.....	404
2.4.425 JMN2700I-S.....	405
2.4.426 JMN2701I-I.....	405
2.4.427 JMN2704I-W.....	405
2.4.428 JMN2705I-W.....	406
2.4.429 JMN2706I-W.....	406
2.4.430 JMN2707I-S.....	407
2.4.431 JMN2710I-S.....	407
2.4.432 JMN2717I-S.....	408
2.4.433 JMN2718I-S.....	408
2.4.434 JMN2726I-I.....	409
2.4.435 JMN2727I-I.....	409
2.4.436 JMN2728I-I.....	410
2.4.437 JMN2729I-I.....	410
2.4.438 JMN2730I-I.....	411
2.4.439 JMN2731I-S.....	411
2.4.440 JMN2732I-S.....	412
2.4.441 JMN2735I-S.....	412
2.4.442 JMN2736I-S.....	413
2.4.443 JMN2737I-S.....	413
2.4.444 JMN2738I-S.....	413
2.4.445 JMN2741I-S.....	414
2.4.446 JMN2742I-S.....	414
2.4.447 JMN2744I-S.....	415
2.4.448 JMN2745I-S.....	415

2.4.449 JMN2747I-S.....	416
2.4.450 JMN2748I-S.....	416
2.4.451 JMN2749I-S.....	417
2.4.452 JMN2750I-S.....	417
2.4.453 JMN2753I-S.....	418
2.4.454 JMN2756I-S.....	418
2.4.455 JMN2757I-S.....	419
2.4.456 JMN2759I-U.....	419
2.4.457 JMN2761I-S.....	419
2.4.458 JMN2762I-S.....	419
2.4.459 JMN2764I-S.....	420
2.4.460 JMN2766I-W.....	420
2.4.461 JMN2767I-S.....	421
2.4.462 JMN2768I-S.....	421
2.4.463 JMN2769I-S.....	422
2.4.464 JMN2770I-S.....	423
2.4.465 JMN2772I-I.....	423
2.4.466 JMN2773I-E.....	424
2.4.467 JMN2774I-W.....	424
2.4.468 JMN2775I-S.....	425
2.4.469 JMN2794I-E.....	425
2.4.470 JMN2798I-S.....	426
2.4.471 JMN2800I-S.....	426
2.4.472 JMN2801I-S.....	427
2.4.473 JMN2802I-S.....	428
2.4.474 JMN2803I-S.....	428
2.4.475 JMN2809I-S.....	429
2.4.476 JMN2815I-S.....	429
2.4.477 JMN2818I-W.....	430
2.4.478 JMN2819I-S.....	430
2.4.479 JMN2821I-W.....	431
2.4.480 JMN2822I-W.....	431
2.4.481 JMN2823I-S.....	432
2.4.482 JMN2826I-S.....	432
2.4.483 JMN2827I-S.....	433
2.4.484 JMN2829I-S.....	433
2.4.485 JMN2831I-W.....	434
2.4.486 JMN2832I-S.....	434
2.4.487 JMN2834I-S.....	435
2.4.488 JMN2835I-S.....	436
2.4.489 JMN2836I-S.....	436
2.4.490 JMN2837I-S.....	437
2.4.491 JMN2838I-S.....	437
2.4.492 JMN2839I-S.....	438
2.4.493 JMN2840I-S.....	438
2.4.494 JMN2847I-S.....	439
2.4.495 JMN2851I-S.....	439
2.4.496 JMN2853I-S.....	440
2.4.497 JMN2862I-S.....	440
2.4.498 JMN2863I-S.....	441
2.4.499 JMN2864I-S.....	441
2.4.500 JMN2866I-S.....	441
2.4.501 JMN2867I-S.....	442
2.4.502 JMN2868I-S.....	442
2.4.503 JMN2870I-S.....	442
2.4.504 JMN2871I-S.....	443
2.4.505 JMN2873I-S.....	443

2.4.506 JMN2874I-W.....	444
2.4.507 JMN2875I-W.....	444
2.4.508 JMN2877I-S.....	444
2.4.509 JMN2878I-S.....	445
2.4.510 JMN2879I-S.....	445
2.4.511 JMN2880I-S.....	446
2.4.512 JMN2881I-S.....	447
2.4.513 JMN2882I-S.....	447
2.4.514 JMN2883I-S.....	448
2.4.515 JMN2884I-S.....	448
2.4.516 JMN2885I-S.....	449
2.4.517 JMN2886I-S.....	449
2.4.518 JMN2888I-W.....	450
2.4.519 JMN2889I-S.....	450
2.4.520 JMN2890I-S.....	451
2.4.521 JMN2892I-W.....	451
2.4.522 JMN2893I-S.....	452
2.4.523 JMN2895I-S.....	452
2.4.524 JMN2896I-I.....	453
2.4.525 JMN2897I-S.....	453
2.4.526 JMN2898I-S.....	454
2.4.527 JMN2899I-S.....	454
2.4.528 JMN2901I-W.....	455
2.4.529 JMN2902I-S.....	455
2.4.530 JMN2903I-S.....	456
2.4.531 JMN2906I-S.....	456
2.4.532 JMN2907I-S.....	457
2.4.533 JMN2908I-I.....	458
2.4.534 JMN2909I-I.....	458
2.4.535 JMN2911I-S.....	458
2.4.536 JMN2912I-S.....	459
2.4.537 JMN2916I-S.....	460
2.4.538 JMN2920I-S.....	460
2.4.539 JMN2921I-S.....	461
2.4.540 JMN2922I-S.....	461
2.4.541 JMN2923I-S.....	462
2.4.542 JMN2924I-S.....	462
2.4.543 JMN2925I-S.....	462
2.4.544 JMN2926I-S.....	463
2.4.545 JMN2927I-S.....	463
2.4.546 JMN2928I-S.....	464
2.4.547 JMN2930I-S.....	464
2.4.548 JMN2931I-S.....	465
2.4.549 JMN2932I-S.....	466
2.4.550 JMN2933I-S.....	466
2.4.551 JMN2934I-S.....	467
2.4.552 JMN2935I-W.....	467
2.4.553 JMN2936I-W.....	467
2.4.554 JMN2937I-S.....	468
2.4.555 JMN2938I-S.....	469
2.4.556 JMN2939I-S.....	469
2.4.557 JMN2940I-S.....	469
2.4.558 JMN2941I-S.....	470
2.4.559 JMN2942I-S.....	470
2.4.560 JMN2943I-S.....	471
2.4.561 JMN2944I-S.....	471
2.4.562 JMN2945I-S.....	472

2.4.563 JMN2946I-S.....	472
2.4.564 JMN2947I-S.....	473
2.4.565 JMN2948I-E.....	473
2.4.566 JMN2949I-S.....	474
2.4.567 JMN2950I-S.....	474
2.4.568 JMN2951I-S.....	475
2.4.569 JMN2952I-S.....	476
2.4.570 JMN2953I-S.....	476
2.4.571 JMN2954I-S.....	477
2.4.572 JMN2955I-S.....	477
2.4.573 JMN2957I-S.....	478
2.4.574 JMN2958I-S.....	478
2.4.575 JMN2959I-S.....	479
2.4.576 JMN2960I-S.....	479
2.4.577 JMN2961I-S.....	480
2.4.578 JMN2962I-S.....	480
2.4.579 JMN2963I-S.....	481
2.4.580 JMN2964I-S.....	482
2.4.581 JMN2965I-S.....	482
2.4.582 JMN2966I-S.....	483
2.4.583 JMN2970I-S.....	483
2.4.584 JMN2971I-S.....	484
2.4.585 JMN2985I-S.....	484
2.4.586 JMN2986I-S.....	484
2.4.587 JMN2988I-S.....	485
2.4.588 JMN2993I-S.....	485
2.4.589 JMN2994I-S.....	486
2.4.590 JMN2996I-S.....	486
2.4.591 JMN2999I-S.....	487
2.5 JMN3000— JMN3999.....	487
2.5.1 JMN3000I-S.....	488
2.5.2 JMN3001I-S.....	488
2.5.3 JMN3002I-S.....	489
2.5.4 JMN3003I-S.....	489
2.5.5 JMN3004I-W.....	489
2.5.6 JMN3005I-S.....	490
2.5.7 JMN3006I-S.....	490
2.5.8 JMN3007I-S.....	491
2.5.9 JMN3008I-S.....	491
2.5.10 JMN3009I-S.....	491
2.5.11 JMN3010I-S.....	492
2.5.12 JMN3011I-S.....	492
2.5.13 JMN3012I-W.....	492
2.5.14 JMN3013I-W.....	493
2.5.15 JMN3014I-I.....	493
2.5.16 JMN3015I-I.....	494
2.5.17 JMN3016I-I.....	494
2.5.18 JMN3017I-I.....	494
2.5.19 JMN3018I-S.....	495
2.5.20 JMN3021I-S.....	495
2.5.21 JMN3022I-W.....	495
2.5.22 JMN3023I-S.....	496
2.5.23 JMN3024I-W.....	496
2.5.24 JMN3025I-S.....	497
2.5.25 JMN3028I-S.....	497
2.5.26 JMN3029I-S.....	497
2.5.27 JMN3030I-S.....	498

2.5.28 JMN3034I-S.....	498
2.5.29 JMN3036I-S.....	499
2.5.30 JMN3037I-S.....	499
2.5.31 JMN3038I-S.....	499
2.5.32 JMN3039I-S.....	500
2.5.33 JMN3040I-S.....	500
2.5.34 JMN3041I-S.....	501
2.5.35 JMN3043I-S.....	501
2.5.36 JMN3046I-S.....	501
2.5.37 JMN3048I-S.....	502
2.5.38 JMN3049I-S.....	502
2.5.39 JMN3050I-W.....	503
2.5.40 JMN3051I-S.....	503
2.5.41 JMN3053I-S.....	504
2.5.42 JMN3054I-S.....	504
2.5.43 JMN3056I-S.....	505
2.5.44 JMN3057I-S.....	506
2.5.45 JMN3060I-S.....	506
2.5.46 JMN3061I-S.....	507
2.5.47 JMN3062I-S.....	508
2.5.48 JMN3063I-S.....	508
2.5.49 JMN3064I-S.....	509
2.5.50 JMN3065I-S.....	509
2.5.51 JMN3066I-S.....	510
2.5.52 JMN3067I-S.....	510
2.5.53 JMN3068I-S.....	511
2.5.54 JMN3069I-S.....	511
2.5.55 JMN3070I-S.....	511
2.5.56 JMN3071I-S.....	512
2.5.57 JMN3072I-S.....	512
2.5.58 JMN3073I-S.....	513
2.5.59 JMN3074I-S.....	513
2.5.60 JMN3075I-S.....	513
2.5.61 JMN3076I-S.....	514
2.5.62 JMN3077I-S.....	514
2.5.63 JMN3078I-S.....	515
2.5.64 JMN3079I-S.....	515
2.5.65 JMN3080I-S.....	515
2.5.66 JMN3081I-S.....	516
2.5.67 JMN3083I-S.....	516
2.5.68 JMN3084I-S.....	516
2.5.69 JMN3085I-S.....	517
2.5.70 JMN3086I-S.....	517
2.5.71 JMN3087I-S.....	518
2.5.72 JMN3088I-S.....	518
2.5.73 JMN3090I-S.....	518
2.5.74 JMN3091I-S.....	519
2.5.75 JMN3092I-S.....	519
2.5.76 JMN3095I-S.....	520
2.5.77 JMN3097I-S.....	520
2.5.78 JMN3098I-S.....	520
2.5.79 JMN3105I-S.....	521
2.5.80 JMN3107I-S.....	522
2.5.81 JMN3108I-S.....	522
2.5.82 JMN3109I-S.....	522
2.5.83 JMN3110I-S.....	523
2.5.84 JMN3111I-S.....	523

2.5.85 JMN3116I-S.....	524
2.5.86 JMN3117I-S.....	524
2.5.87 JMN3119I-S.....	525
2.5.88 JMN3121I-S.....	525
2.5.89 JMN3123I-S.....	526
2.5.90 JMN3124I-S.....	526
2.5.91 JMN3127I-S.....	527
2.5.92 JMN3128I-S.....	527
2.5.93 JMN3130I-S.....	528
2.5.94 JMN3132I-S.....	528
2.5.95 JMN3135I-S.....	529
2.5.96 JMN3136I-S.....	529
2.5.97 JMN3141I-S.....	530
2.5.98 JMN3142I-S.....	530
2.5.99 JMN3143I-S.....	531
2.5.100 JMN3144I-S.....	531
2.5.101 JMN3145I-S.....	532
2.5.102 JMN3146I-S.....	532
2.5.103 JMN3147I-S.....	533
2.5.104 JMN3148I-S.....	533
2.5.105 JMN3149I-S.....	533
2.5.106 JMN3150I-S.....	534
2.5.107 JMN3151I-S.....	534
2.5.108 JMN3152I-S.....	535
2.5.109 JMN3153I-S.....	535
2.5.110 JMN3154I-S.....	536
2.5.111 JMN3157I-S.....	536
2.5.112 JMN3158I-I.....	536
2.5.113 JMN3159I-S.....	537
2.5.114 JMN3160I-S.....	537
2.5.115 JMN3161I-S.....	538
2.5.116 JMN3162I-S.....	538
2.5.117 JMN3163I-S.....	539
2.5.118 JMN3164I-S.....	539
2.5.119 JMN3165I-S.....	540
2.5.120 JMN3166I-S.....	540
2.5.121 JMN3169I-S.....	541
2.5.122 JMN3170I-S.....	541
2.5.123 JMN3175I-S.....	542
2.5.124 JMN3181I-S.....	542
2.5.125 JMN3182I-W.....	543
2.5.126 JMN3184I-S.....	543
2.5.127 JMN3188I-S.....	543
2.5.128 JMN3189I-S.....	544
2.5.129 JMN3190I-S.....	544
2.5.130 JMN3191I-S.....	545
2.5.131 JMN3192I-S.....	545
2.5.132 JMN3193I-S.....	545
2.5.133 JMN3194I-S.....	546
2.5.134 JMN3195I-S.....	546
2.5.135 JMN3196I-S.....	546
2.5.136 JMN3198I-S.....	547
2.5.137 JMN3199I-S.....	547
2.5.138 JMN3200I-S.....	548
2.5.139 JMN3202I-S.....	548
2.5.140 JMN3203I-I.....	549
2.5.141 JMN3207I-I.....	549

2.5.142 JMN3218I-S.....	550
2.5.143 JMN3219I-I.....	550
2.5.144 JMN3222I-I.....	551
2.5.145 JMN3223I-I.....	551
2.5.146 JMN3226I-I.....	551
2.5.147 JMN3229I-S.....	552
2.5.148 JMN3231I-S.....	552
2.5.149 JMN3236I-S.....	553
2.5.150 JMN3238I-S.....	553
2.5.151 JMN3240I-S.....	554
2.5.152 JMN3241I-S.....	554
2.5.153 JMN3242I-S.....	554
2.5.154 JMN3243I-S.....	555
2.5.155 JMN3244I-S.....	555
2.5.156 JMN3245I-W.....	556
2.5.157 JMN3246I-W.....	556
2.5.158 JMN3248I-S.....	556
2.5.159 JMN3249I-S.....	557
2.5.160 JMN3250I-S.....	557
2.5.161 JMN3259I-S.....	558
2.5.162 JMN3262I-I.....	558
2.5.163 JMN3264I-S.....	559
2.5.164 JMN3265I-S.....	560
2.5.165 JMN3266I-I.....	561
2.5.166 JMN3268I-S.....	561
2.5.167 JMN3269I-S.....	562
2.5.168 JMN3270I-S.....	562
2.5.169 JMN3271I-S.....	563
2.5.170 JMN3272I-S.....	564
2.5.171 JMN3273I-S.....	564
2.5.172 JMN3275I-W.....	565
2.5.173 JMN3276I-W.....	566
2.5.174 JMN3277I-S.....	566
2.5.175 JMN3278I-S.....	566
2.5.176 JMN3280I-S.....	567
2.5.177 JMN3281I-I.....	567
2.5.178 JMN3286I-S.....	567
2.5.179 JMN3287I-S.....	568
2.5.180 JMN3291I-S.....	568
2.5.181 JMN3298I-S.....	569
2.5.182 JMN3301I-S.....	569
2.5.183 JMN3304I-S.....	570
2.5.184 JMN3307I-S.....	570
2.5.185 JMN3309I-S.....	570
2.5.186 JMN3326I-W.....	571
2.5.187 JMN3327I-W.....	571
2.5.188 JMN3328I-W.....	572
2.5.189 JMN3330I-W.....	572
2.5.190 JMN3331I-W.....	573
2.5.191 JMN3332I-W.....	573
2.5.192 JMN3333I-S.....	573
2.5.193 JMN3334I-S.....	574
2.5.194 JMN3335I-S.....	575
2.5.195 JMN3337I-I.....	575
2.5.196 JMN3338I-W.....	576
2.5.197 JMN3339I-I.....	576
2.5.198 JMN3340I-I.....	577

2.5.199 JMN3342I-S.....	577
2.5.200 JMN3343I-S.....	577
2.5.201 JMN3344I-S.....	578
2.5.202 JMN3345I-S.....	578
2.5.203 JMN3346I-S.....	578
2.5.204 JMN3347I-S.....	579
2.5.205 JMN3348I-S.....	579
2.5.206 JMN3349I-S.....	580
2.5.207 JMN3351I-S.....	580
2.5.208 JMN3352I-S.....	581
2.5.209 JMN3353I-S.....	581
2.5.210 JMN3354I-S.....	581
2.5.211 JMN3355I-S.....	582
2.5.212 JMN3358I-S.....	582
2.5.213 JMN3359I-S.....	583
2.5.214 JMN3361I-S.....	583
2.5.215 JMN3362I-S.....	584
2.5.216 JMN3363I-S.....	584
2.5.217 JMN3364I-S.....	584
2.5.218 JMN3366I-S.....	585
2.5.219 JMN3367I-S.....	585
2.5.220 JMN3368I-S.....	585
2.5.221 JMN3369I-S.....	586
2.5.222 JMN3371I-S.....	586
2.5.223 JMN3372I-S.....	586
2.5.224 JMN3373I-S.....	587
2.5.225 JMN3374I-S.....	587
2.5.226 JMN3375I-S.....	588
2.5.227 JMN3376I-S.....	588
2.5.228 JMN3377I-S.....	589
2.5.229 JMN3378I-S.....	589
2.5.230 JMN3379I-S.....	589
2.5.231 JMN3380I-S.....	590
2.5.232 JMN3381I-S.....	590
2.5.233 JMN3382I-S.....	590
2.5.234 JMN3383I-S.....	591
2.5.235 JMN3384I-W.....	591
2.5.236 JMN3385I-S.....	592
2.5.237 JMN3386I-S.....	592
2.5.238 JMN3388I-S.....	592
2.5.239 JMN3391I-W.....	593
2.5.240 JMN3392I-S.....	593
2.5.241 JMN3393I-S.....	594
2.5.242 JMN3394I-S.....	594
2.5.243 JMN3395I-S.....	595
2.5.244 JMN3396I-S.....	595
2.5.245 JMN3397I-S.....	596
2.5.246 JMN3398I-S.....	596
2.5.247 JMN3399I-S.....	596
2.5.248 JMN3400I-S.....	597
2.5.249 JMN3401I-S.....	597
2.5.250 JMN3402I-S.....	598
2.5.251 JMN3403I-S.....	598
2.5.252 JMN3404I-S.....	599
2.5.253 JMN3405I-S.....	599
2.5.254 JMN3406I-S.....	599
2.5.255 JMN3407I-S.....	600

2.5.256 JMN3408I-S.....	600
2.5.257 JMN3410I-S.....	601
2.5.258 JMN3412I-S.....	601
2.5.259 JMN3413I-S.....	602
2.5.260 JMN3414I-S.....	603
2.5.261 JMN3415I-S.....	603
2.5.262 JMN3421I-S.....	604
2.5.263 JMN3422I-S.....	604
2.5.264 JMN3423I-S.....	605
2.5.265 JMN3424I-S.....	606
2.5.266 JMN3427I-S.....	606
2.5.267 JMN3428I-S.....	606
2.5.268 JMN3429I-S.....	607
2.5.269 JMN3430I-S.....	607
2.5.270 JMN3432I-S.....	607
2.5.271 JMN3433I-S.....	608
2.5.272 JMN3434I-S.....	608
2.5.273 JMN3437I-S.....	609
2.5.274 JMN3438I-W.....	609
2.5.275 JMN3439I-S.....	610
2.5.276 JMN3440I-S.....	610
2.5.277 JMN3441I-S.....	611
2.5.278 JMN3442I-S.....	612
2.5.279 JMN3443I-S.....	612
2.5.280 JMN3444I-S.....	613
2.5.281 JMN3445I-S.....	613
2.5.282 JMN3446I-S.....	614
2.5.283 JMN3447I-S.....	614
2.5.284 JMN3448I-W.....	615
2.5.285 JMN3449I-S.....	616
2.5.286 JMN3450I-W.....	616
2.5.287 JMN3458I-S.....	617
2.5.288 JMN3459I-S.....	617
2.5.289 JMN3460I-S.....	618
2.5.290 JMN3461I-S.....	618
2.5.291 JMN3462I-W.....	619
2.5.292 JMN3463I-S.....	619
2.5.293 JMN3464I-S.....	620
2.5.294 JMN3465I-S.....	620
2.5.295 JMN3466I-S.....	621
2.5.296 JMN3467I-S.....	621
2.5.297 JMN3468I-S.....	622
2.5.298 JMN3469I-S.....	622
2.5.299 JMN3470I-W.....	623
2.5.300 JMN3471I-W.....	624
2.5.301 JMN3472I-W.....	625
2.5.302 JMN3476I-S.....	625
2.5.303 JMN3482I-S.....	626
2.5.304 JMN3483I-S.....	626
2.5.305 JMN3484I-S.....	627
2.5.306 JMN3485I-S.....	627
2.5.307 JMN3508I-S.....	627
2.5.308 JMN3516I-S.....	628
2.5.309 JMN3518I-W.....	629
2.5.310 JMN3519I-W.....	629
2.5.311 JMN3524I-S.....	630
2.5.312 JMN3525I-S.....	630

2.5.313 JMN3526I-S.....	631
2.5.314 JMN3530I-W.....	631
2.5.315 JMN3531I-W.....	632
2.5.316 JMN3533I-S.....	632
2.5.317 JMN3534I-S.....	633
2.5.318 JMN3535I-S.....	633
2.5.319 JMN3536I-S.....	634
2.5.320 JMN3549I-S.....	634
2.5.321 JMN3551I-S.....	635
2.5.322 JMN3552I-S.....	635
2.5.323 JMN3553I-S.....	636
2.5.324 JMN3554I-S.....	636
2.5.325 JMN3555I-S.....	637
2.5.326 JMN3557I-S.....	637
2.5.327 JMN3558I-I.....	638
2.5.328 JMN3559I-I.....	638
2.5.329 JMN3562I-S.....	639
2.5.330 JMN3563I-S.....	639
2.5.331 JMN3564I-S.....	640
2.5.332 JMN3565I-S.....	640
2.5.333 JMN3566I-S.....	641
2.5.334 JMN3567I-S.....	641
2.5.335 JMN3568I-S.....	642
2.5.336 JMN3569I-S.....	642
2.5.337 JMN3570I-S.....	643
2.5.338 JMN3571I-W.....	643
2.5.339 JMN3572I-W.....	643
2.5.340 JMN3573I-S.....	644
2.6 JMN5000 – JMN5999.....	644
2.6.1 JMN5000I-S.....	644
2.6.2 JMN5001I-S.....	645
2.6.3 JMN5002I-S.....	646
2.6.4 JMN5005I-S.....	647
2.6.5 JMN5007I-S.....	647
2.6.6 JMN5008I-S.....	648
2.6.7 JMN5009I-S.....	648
2.6.8 JMN5100I-S.....	649
2.6.9 JMN5101I-S.....	650
2.6.10 JMN5102I-S.....	650
2.6.11 JMN5103I-S.....	651
2.6.12 JMN5104I-S.....	652
2.6.13 JMN5105I-W.....	652
2.6.14 JMN5108I-S.....	653
2.6.15 JMN5109I-S.....	653
2.6.16 JMN5110I-S.....	654
2.6.17 JMN5111I-S.....	654
2.6.18 JMN5112I-S.....	655
2.6.19 JMN5113I-S.....	656
2.6.20 JMN5114I-S.....	656
2.6.21 JMN5115I-S.....	657
2.6.22 JMN5116I-S.....	657
2.6.23 JMN5117I-S.....	658
2.6.24 JMN5118I-S.....	658
2.6.25 JMN5119I-S.....	659
2.6.26 JMN5120I-S.....	659
2.6.27 JMN5121I-S.....	660
2.6.28 JMN5122I-S.....	660

2.6.29 JMN5123I-S.....	661
2.6.30 JMN5125I-S.....	661
2.6.31 JMN5126I-S.....	662
2.6.32 JMN5127I-S.....	663
2.6.33 JMN5128I-S.....	663
2.6.34 JMN5129I-S.....	664
2.6.35 JMN5130I-S.....	665
2.6.36 JMN5131I-S.....	665
2.6.37 JMN5132I-S.....	666
2.6.38 JMN5133I-S.....	666
2.6.39 JMN5134I-S.....	667
2.6.40 JMN5135I-S.....	668
2.6.41 JMN5136I-S.....	669
2.6.42 JMN5137I-S.....	669
2.6.43 JMN5138I-S.....	670
2.6.44 JMN5140I-S.....	670
2.6.45 JMN5141I-S.....	671
2.6.46 JMN5142I-S.....	671
2.6.47 JMN5143I-S.....	672
2.6.48 JMN5144I-S.....	672
2.6.49 JMN5145I-W.....	673
2.6.50 JMN5146I-S.....	673
2.6.51 JMN5147I-S.....	674
2.6.52 JMN5148I-S.....	674
2.6.53 JMN5149I-S.....	675
2.6.54 JMN5150I-S.....	675
2.6.55 JMN5151I-S.....	676
2.6.56 JMN5152I-S.....	676
2.6.57 JMN5153I-S.....	677
2.6.58 JMN5154I-S.....	677
2.6.59 JMN5155I-S.....	678
2.6.60 JMN5156I-S.....	678
2.6.61 JMN5157I-S.....	679
2.6.62 JMN5158I-S.....	679
2.6.63 JMN5159I-S.....	680
2.6.64 JMN5160I-W.....	680
2.6.65 JMN5260I-S.....	681
2.6.66 JMN5400I-U.....	682
2.6.67 JMN5410I-U.....	682
2.6.68 JMN5411I-U.....	682
2.6.69 JMN5412I-U.....	682
2.6.70 JMN5500I-S.....	682
2.6.71 JMN5501I-S.....	683
2.6.72 JMN5504I-S.....	683
2.6.73 JMN5505I-S.....	684
2.6.74 JMN5507I-S.....	685
2.6.75 JMN5508I-S.....	685
2.6.76 JMN5509I-S.....	686
2.6.77 JMN5510I-S.....	686
2.6.78 JMN5511I-S.....	687
2.6.79 JMN5512I-S.....	687
2.6.80 JMN5513I-S.....	688
2.6.81 JMN5514I-S.....	688
2.6.82 JMN5515I-S.....	689
2.6.83 JMN5516I-S.....	690
2.6.84 JMN5517I-S.....	690
2.6.85 JMN5518I-S.....	690

2.6.86 JMN5519I-S.....	691
2.6.87 JMN5520I-S.....	691
2.6.88 JMN5521I-S.....	692
2.6.89 JMN5522I-S.....	692
2.6.90 JMN5525I-S.....	693
2.6.91 JMN5526I-S.....	693
2.6.92 JMN5527I-S.....	693
2.6.93 JMN5528I-S.....	694
2.6.94 JMN5530I-S.....	695
2.6.95 JMN5531I-S.....	696
2.6.96 JMN5532I-S.....	696
2.6.97 JMN5533I-S.....	697
2.6.98 JMN5534I-S.....	698
2.6.99 JMN5535I-S.....	698
2.6.100 JMN5536I-S.....	698
2.6.101 JMN5537I-S.....	699
2.6.102 JMN5538I-S.....	700
2.6.103 JMN5539I-S.....	701
2.6.104 JMN5540I-S.....	701
2.6.105 JMN5541I-S.....	702
2.6.106 JMN5542I-S.....	703
2.6.107 JMN5543I-S.....	703
2.6.108 JMN5544I-S.....	704
2.6.109 JMN5545I-S.....	704
2.6.110 JMN5546I-S.....	705
2.6.111 JMN5547I-S.....	706
2.6.112 JMN5548I-S.....	706
2.6.113 JMN5549I-S.....	707
2.6.114 JMN5550I-S.....	707
2.6.115 JMN5551I-S.....	708
2.6.116 JMN5552I-S.....	708
2.6.117 JMN5553I-S.....	709
2.6.118 JMN5555I-S.....	709
2.6.119 JMN5556I-S.....	710
2.6.120 JMN5557I-S.....	711
2.6.121 JMN5559I-S.....	711
2.6.122 JMN5560I-S.....	712
2.6.123 JMN5561I-S.....	712
2.6.124 JMN5562I-S.....	713
2.6.125 JMN5563I-S.....	713
2.6.126 JMN5564I-S.....	714
2.6.127 JMN5565I-S.....	714
2.6.128 JMN5566I-S.....	715
2.6.129 JMN5567I-S.....	716
2.6.130 JMN5568I-S.....	717
2.6.131 JMN5569I-S.....	717
2.6.132 JMN5570I-S.....	718
2.6.133 JMN5571I-S.....	719
2.6.134 JMN5572I-S.....	719
2.6.135 JMN5573I-S.....	720
2.6.136 JMN5574I-S.....	721
2.6.137 JMN5575I-S.....	722
2.6.138 JMN5576I-S.....	722
2.6.139 JMN5578I-S.....	723
2.6.140 JMN5579I-S.....	724
2.6.141 JMN5580I-S.....	724
2.6.142 JMN5581I-S.....	725

2.6.143 JMN5582I-S.....	725
2.6.144 JMN5583I-S.....	726
2.6.145 JMN5584I-S.....	727
2.6.146 JMN5585I-S.....	727
2.6.147 JMN5590I-S.....	728
2.6.148 JMN5591I-S.....	728
2.6.149 JMN5592I-S.....	729
2.6.150 JMN5593I-S.....	730
2.6.151 JMN5595I-S.....	731
2.6.152 JMN5596I-S.....	731
2.6.153 JMN5600I-S.....	732
2.6.154 JMN5601I-S.....	732
2.6.155 JMN5602I-S.....	733
2.6.156 JMN5783I-S.....	733
2.6.157 JMN5784I-S.....	734
2.6.158 JMN5785I-S.....	734
2.6.159 JMN5786I-S.....	734
2.6.160 JMN5787I-S.....	735
2.6.161 JMN5788I-S.....	735
2.6.162 JMN5789I-S.....	736
2.6.163 JMN5790I-S.....	736
2.6.164 JMN5791I-S.....	737
2.6.165 JMN5792I-S.....	737
2.7 JMN6000—JMN6999.....	737
2.7.1 JMN6410I-U.....	737
2.7.2 JMN6413I-U.....	738
2.8 JMN9000—JMN9999.....	738
2.8.1 JMN9001I-W.....	738
2.8.2 JMN9002I-W.....	739
2.8.3 JMN9003I-W.....	739
2.8.4 JMN9004I-W.....	740
2.8.5 JMN9005I-W.....	740
2.8.6 JMN9006I-W.....	741
2.8.7 JMN9007I-W.....	741
2.8.8 JMN9008I-W.....	742
2.8.9 JMN9009I-W.....	742
2.8.10 JMN9010I-W.....	743
2.8.11 JMN9011I-W.....	743
2.8.12 JMN9012I-W.....	744
2.8.13 JMN9013I-W.....	744
2.8.14 JMN9014I-W.....	745
2.8.15 JMN9015I-W.....	745
2.8.16 JMN9016I-W.....	745
2.8.17 JMN9017I-W.....	746
2.8.18 JMN9018I-W.....	746
2.8.19 JMN9019I-W.....	747
2.8.20 JMN9020I-W.....	747
2.8.21 JMN9021I-W.....	748
2.8.22 JMN9022I-W.....	748
2.8.23 JMN9023I-W.....	749
2.8.24 JMN9024I-W.....	749
2.8.25 JMN9025I-W.....	749
2.8.26 JMN9101I-W.....	750
2.8.27 JMN9102I-W.....	750
2.8.28 JMN9103I-W.....	750
2.8.29 JMN9104I-W.....	751
2.8.30 JMN9105I-W.....	751

2.8.31 JMN9106I-W.....	752
2.8.32 JMN9107I-W.....	752
2.8.33 JMN9108I-W.....	753
2.8.34 JMN9109I-W.....	753
2.8.35 JMN9110I-W.....	753
2.8.36 JMN9111I-W.....	754
2.8.37 JMN9115I-W.....	754
2.8.38 JMN9116I-W.....	755
2.8.39 JMN9117I-W.....	755
2.8.40 JMN9118I-W.....	756
2.8.41 JMN9119I-W.....	756
2.8.42 JMN9121I-W.....	757
2.8.43 JMN9122I-W.....	757
2.8.44 JMN9123I-W.....	757
2.8.45 JMN9124I-W.....	758
2.8.46 JMN9125I-W.....	758
2.8.47 JMN9126I-W.....	759
2.8.48 JMN9127I-W.....	759
2.8.49 JMN9128I-W.....	760
2.8.50 JMN9129I-W.....	760
2.8.51 JMN9133I-W.....	761
2.8.52 JMN9151I-W.....	761
2.8.53 JMN9152I-W.....	762
2.8.54 JMN9153I-W.....	762
2.8.55 JMN9154I-W.....	762
2.8.56 JMN9161I-W.....	763
2.8.57 JMN9171I-W.....	763
2.8.58 JMN9172I-W.....	764
2.8.59 JMN9173I-W.....	764
2.8.60 JMN9180I-W.....	765
2.8.61 JMN9181I-W.....	765
2.8.62 JMN9182I-W.....	766
2.8.63 JMN9183I-W.....	766
2.8.64 JMN9191I-W.....	767
2.8.65 JMN9192I-W.....	767
2.8.66 JMN9193I-W.....	767
2.8.67 JMN9221I-W.....	768
2.8.68 JMN9242I-W.....	768
2.8.69 JMN9251I-W.....	769
2.8.70 JMN9261I-W.....	769
2.8.71 JMN9331I-W.....	770
2.8.72 JMN9332I-W.....	770
2.8.73 JMN9333I-W.....	771
2.8.74 JMN9334I-W.....	771
2.8.75 JMN9335I-W.....	772
2.8.76 JMN9341I-W.....	772
2.8.77 JMN9343I-W.....	773
2.8.78 JMN9344I-W.....	774
2.8.79 JMN9345I-W.....	774
2.8.80 JMN9346I-W.....	774
2.8.81 JMN9352I-W.....	775
2.8.82 JMN9353I-W.....	775
2.8.83 JMN9354I-W.....	776
2.8.84 JMN9361I-W.....	776
2.8.85 JMN9371I-W.....	777
2.8.86 JMN9381I-W.....	778
2.8.87 JMN9384I-W.....	778

2.8.88 JMN9391I-W.....	779
2.8.89 JMN9392I-W.....	779
2.8.90 JMN9393I-W.....	780
2.8.91 JMN9501I-W.....	780
2.8.92 JMN9502I-W.....	781
2.8.93 JMN9503I-W.....	781
2.8.94 JMN9504I-W.....	781
2.8.95 JMN9506I-W.....	782
2.8.96 JMN9507I-W.....	782
2.8.97 JMN9900I-E.....	783
2.8.98 JMN9901I-E.....	783
2.8.99 JMN9902I-E.....	784
2.8.100 JMN9903I-E.....	784
2.8.101 JMN9904I-W.....	784
2.8.102 JMN9905I-E.....	785
2.8.103 JMN9906I-E.....	785
2.8.104 JMN9907I-E.....	786
2.8.105 JMN9908I-W.....	786
2.8.106 JMN9909I-E.....	786
2.8.107 JMN9910I-E.....	787
2.8.108 JMN9911I-E.....	787
2.8.109 JMN9912I-E.....	788
2.8.110 JMN9913I-E.....	788
2.8.111 JMN9914I-E.....	788
2.8.112 JMN9915I-E.....	789
2.8.113 JMN9916I-E.....	789
2.8.114 JMN9917I-E.....	790
2.8.115 JMN9918I-E.....	790
2.8.116 JMN9919I-E.....	791
2.8.117 JMN9920I-E.....	791
2.8.118 JMN9921I-E.....	791
2.8.119 JMN9922I-E.....	792
2.8.120 JMN9923I-E.....	792
2.8.121 JMN9924I-E.....	793
2.8.122 JMN9925I-E.....	793
2.8.123 JMN9926I-E.....	793
2.8.124 JMN9927I-E.....	794
2.8.125 JMN9928I-W.....	794
2.8.126 JMN9929I-E.....	795
2.8.127 JMN9931I-E.....	795
2.8.128 JMN9932I-E.....	796
2.8.129 JMN9987I-I.....	796
2.8.130 JMN9999I-S.....	796
2.9 ODBC.....	796
2.9.1 ODBC-2244E.....	796
2.9.2 ODBC-7600E.....	797
2.9.3 ODBC-8004E.....	798
2.9.4 ODBC-8005E.....	798
2.9.5 ODBC-8008E.....	799
2.9.6 ODBC-8009E.....	799
2.9.7 ODBC-8016E.....	800
2.9.8 ODBC-8052E.....	800
2.9.9 ODBC-8100E.....	801
2.9.10 ODBC-8112E.....	801
2.9.11 ODBC-8116E.....	802
2.9.12 ODBC-8308E.....	802
2.9.13 ODBC-8309E.....	803

2.9.14 ODBC-8310E.....	804
2.9.15 ODBC-8323E.....	804
2.9.16 ODBC-8325E.....	805
2.9.17 ODBC-8326E.....	805
2.9.18 ODBC-8327E.....	806
2.9.19 ODBC-8328E.....	807
2.9.20 ODBC-8329E.....	807
2.9.21 ODBC-8340E.....	808
2.9.22 ODBC-8356E.....	808
2.9.23 ODBC-8386E.....	809
2.9.24 ODBC-8408E.....	809
2.9.25 ODBC-8409E.....	810
2.9.26 ODBC-8410E.....	811
2.9.27 ODBC-8430E.....	811
2.9.28 ODBC-8431E.....	812
2.9.29 ODBC-8432E.....	812
2.9.30 ODBC-8433E.....	813
2.9.31 ODBC-8434E.....	814
2.9.32 ODBC-8435E.....	814
2.9.33 ODBC-8476E.....	815
2.9.34 ODBC-8477E.....	815
2.9.35 ODBC-8478E.....	816
2.9.36 ODBC-8486E.....	816
2.9.37 ODBC-8499E.....	817
2.9.38 ODBC-8503E.....	818
2.9.39 ODBC-8601E.....	818
2.9.40 ODBC-8718E.....	819
2.9.41 ODBC-8725E.....	819
2.9.42 ODBC-8766E.....	820
2.9.43 ODBC-8772E.....	821
2.9.44 ODBC-8773E.....	822
2.9.45 ODBC-8956E.....	823
2.9.46 ODBC-8957E.....	823
2.9.47 ODBC-8992E.....	824
2.9.48 ODBC-8994W.....	824
第3章 実行時メッセージ.....	826
3.1 メッセージ形式.....	826
3.2 メッセージ説明形式.....	827
3.3 メッセージ詳細.....	828
3.3.1 JMP0001I-U.....	828
3.3.2 JMP0002I-U.....	830
3.3.3 JMP0004I-U.....	830
3.3.4 JMP0007I-W.....	830
3.3.5 JMP0009I-U.....	831
3.3.6 JMP0010I-U.....	831
3.3.7 JMP0012I-U.....	831
3.3.8 JMP0015I-U.....	831
3.3.9 JMP0016I-U.....	832
3.3.10 JMP0018I-U.....	833
3.3.11 JMP0019I-U.....	834
3.3.12 JMP0020I-U.....	834
3.3.13 JMP0022I-U.....	835
3.3.14 JMP0024I-U.....	837
3.3.15 JMP0026I-W.....	837
3.3.16 JMP0029I-U.....	837
3.3.17 JMP0031I-U.....	838

3.3.18 JMP0032I-U.....	838
3.3.19 JMP0033I-U.....	838
3.3.20 JMP0034I-U.....	838
3.3.21 JMP0035I-U.....	839
3.3.22 JMP0062I-U.....	839
3.3.23 JMP0070I-I.....	839
3.3.24 JMP0071I-U.....	840
3.3.25 JMP0072I-U.....	840
3.3.26 JMP0076I-U.....	841
3.3.27 JMP0077I-U.....	841
3.3.28 JMP0078I-U.....	841
3.3.29 JMP0079I-U.....	841
3.3.30 JMP0081I-U.....	842
3.3.31 JMP0085I-U.....	842
3.3.32 JMP0086I-E/W/U.....	842
3.3.33 JMP0087I-I/E/W/U.....	843
3.3.34 JMP0096I-U.....	843
3.3.35 JMP0097I-U.....	844
3.3.36 JMP0099I-U.....	844
3.3.37 JMP0101I-U.....	844
3.3.38 JMP0102I-U.....	845
3.3.39 JMP0103I-U.....	845
3.3.40 JMP0104I-U.....	846
3.3.41 JMP0105I-U.....	846
3.3.42 JMP0106I-U.....	846
3.3.43 JMP0107I-U.....	846
3.3.44 JMP0200I-E.....	847
3.3.45 JMP0201A-I.....	847
3.3.46 JMP0202A-I.....	847
3.3.47 JMP0204I-U.....	847
3.3.48 JMP0206I-W.....	848
3.3.49 JMP0208I-E.....	848
3.3.50 JMP0211I-U.....	848
3.3.51 JMP0212I-W.....	849
3.3.52 JMP0214I-U.....	849
3.3.53 JMP0221I-U.....	849
3.3.54 JMP0222I-U.....	850
3.3.55 JMP0223I-U.....	850
3.3.56 JMP0224I-U.....	850
3.3.57 JMP0225I-U.....	850
3.3.58 JMP0250I-U.....	851
3.3.59 JMP0251I-U.....	851
3.3.60 JMP0252I-U.....	851
3.3.61 JMP0253I-U.....	852
3.3.62 JMP0254I-E/U.....	852
3.3.63 JMP0260I-U.....	853
3.3.64 JMP0261I-U.....	854
3.3.65 JMP0262I-W.....	854
3.3.66 JMP0263I-W.....	854
3.3.67 JMP0301I-E.....	855
3.3.68 JMP0302I-U.....	855
3.3.69 JMP0310I-I/U.....	856
3.3.70 JMP0311I-I/U.....	859
3.3.71 JMP0313I-I/U.....	861
3.3.72 JMP0320I-I/U.....	861
3.3.73 JMP0321I-U.....	865
3.3.74 JMP0322I-U.....	865

3.3.75 JMP0323I-U.....	865
3.3.76 JMP0324I-U.....	865
3.3.77 JMP0325I-I/U.....	866
3.3.78 JMP0326I-U.....	866
3.3.79 JMP0327I-U.....	867
3.3.80 JMP0328I-I/U.....	867
3.3.81 JMP0330I-I/U.....	867
3.3.82 JMP0331I-U.....	868
3.3.83 JMP0340I-U.....	868
3.3.84 JMP0350I-U.....	869
3.3.85 JMP0360I-U.....	869
3.3.86 JMP0362I-U.....	869
3.3.87 JMP0363I-U.....	870
3.3.88 JMP0364I-I/U.....	870
3.3.89 JMP0370I-U.....	870
3.3.90 JMP0371I-U.....	870
3.3.91 JMP0372I-U.....	871
3.3.92 JMP0373I-U.....	871
3.3.93 JMP0374I-U.....	871
3.3.94 JMP0375I-U.....	872
3.3.95 JMP0376I-U.....	872
3.3.96 JMP0400I-U.....	872
3.3.97 JMP0410I-U.....	873
3.3.98 JMP0600I-I/U.....	873
3.3.99 JMP0601I-I/U.....	873
3.3.100 JMP0608I-I/U.....	875
3.3.101 JMP0609I-I/U.....	875
3.3.102 JMP0612I-I/U.....	875
3.3.103 JMP0613I-I/U.....	875
3.3.104 JMP0614I-I/U.....	876
3.3.105 JMP0615I-I/U.....	876
3.3.106 JMP0616I-U.....	876
3.3.107 JMP0701I-U.....	877
3.3.108 JMP0702I-U.....	877
3.3.109 JMP0703I-U.....	877
3.3.110 JMP0704I-U.....	877
3.3.111 JMP0705I-W.....	877
3.3.112 JMP0724I-W.....	878
3.3.113 JMP0725I-W.....	878
3.3.114 JMP0726I-W.....	878
3.3.115 JMP0727I-W.....	878
3.3.116 JMP0771I-W.....	879
3.3.117 JMP0772I-W.....	879
3.3.118 JMP0774I-W.....	880
3.3.119 JMP0775I-W.....	880
3.3.120 JMP0776I-W.....	881
3.3.121 JMP0810I-E/U.....	881
3.3.122 JMP0812I-E/U.....	882
3.3.123 JMP0820I-E/U.....	882
3.3.124 JMP0821I-E/U.....	883
3.3.125 JMP0822I-E/U.....	884
3.3.126 JMP0828I-E/U.....	884
3.3.127 JMP0829I-E/U.....	885
3.3.128 JMP0899I-U.....	885
3.3.129 JMP0901I-E.....	885
3.3.130 JMP0902I-E.....	886
3.3.131 JMP0903I-E.....	886

3.3.132 JMP0904I-E.....	886
3.3.133 JMP0905I-E.....	886
3.3.134 JMP0931I-U.....	886
3.3.135 JMP0932I-E/U.....	887
3.3.136 JMP0933I-E/U.....	887
3.3.137 JMP0935I-U.....	887
第4章 MeFtのメッセージ.....	889
4.1 エラーメッセージの出力形式.....	889
4.2 「WARNING」の場合のメッセージ.....	890
4.3 「ERROR」の場合のメッセージ.....	890
4.3.1 通知コード(03)で出力される詳細情報.....	891
4.3.2 通知コード(08)で出力される詳細情報.....	891
4.3.3 通知コード(09)で出力される詳細情報.....	891
4.3.4 通知コード(10)で出力される詳細情報.....	892
4.3.5 通知コード(18)で出力される詳細情報.....	893
4.3.6 通知コード(20)で出力される詳細情報.....	894
4.3.7 通知コード(21)で出力される詳細情報.....	895
4.3.8 通知コード(22)で出力される詳細情報.....	897
4.3.9 通知コード(23)で出力される詳細情報.....	898
4.3.10 通知コード(24)で出力される詳細情報.....	898
4.3.11 通知コード(25)で出力される詳細情報.....	899
4.3.12 通知コード(26)で出力される詳細情報.....	899
4.3.13 通知コード(32)で出力される詳細情報.....	900
4.3.14 通知コード(38)で出力される詳細情報.....	901
4.3.15 通知コード(40)で出力される詳細情報.....	901
4.3.16 通知コード(42)で出力される詳細情報.....	902
4.3.17 通知コード(44)で出力される詳細情報.....	903
4.3.18 通知コード(47)で出力される詳細情報.....	903
4.3.19 通知コード(61)で出力される詳細情報.....	904
4.3.20 通知コード(62)で出力される詳細情報.....	904
4.3.21 通知コード(65)で出力される詳細情報.....	904
4.3.22 通知コード(6A)で出力される詳細情報.....	904
4.3.23 通知コード(6B)で出力される詳細情報.....	905
4.3.24 通知コード(6C)で出力される詳細情報.....	905
4.3.25 通知コード(79)で出力される詳細情報.....	905
4.3.26 通知コード(84)で出力される詳細情報.....	905
4.3.27 通知コード(85)で出力される詳細情報.....	905
4.3.28 通知コード(86)で出力される詳細情報.....	906
4.3.29 通知コード(91)で出力される詳細情報.....	906
4.3.30 通知コード(92)で出力される詳細情報.....	906
4.3.31 通知コード(99)で出力される詳細情報.....	906
4.3.32 通知コード(9H)で出力される詳細情報.....	907
4.3.33 通知コード(9I)で出力される詳細情報.....	907
4.3.34 通知コード(9K)で出力される詳細情報.....	907
4.3.35 通知コード(9M)で出力される詳細情報.....	907
4.3.36 通知コード(C3)で出力される詳細情報.....	909
4.3.37 通知コード(C4)で出力される詳細情報.....	909
4.3.38 通知コード(GG)で出力される詳細情報.....	909
4.3.39 その他の通知コード.....	909
第5章 MeFt/Webのメッセージ.....	911
5.1 MeFt/Webクライアントのエラーメッセージ.....	911
5.1.1 P1000	911
5.1.2 P2000	914
5.1.3 P2001.....	915
5.1.4 P2002.....	915
5.1.5 P2003	915

5.1.6 P2004	916
5.1.7 P2005.....	916
5.1.8 P2006	916
5.1.9 P2007.....	916
5.1.10 P2008.....	917
5.1.11 P2009	917
5.1.12 P2010.....	917
5.1.13 P2011.....	917
5.1.14 P2012.....	917
5.1.15 P2013	918
5.1.16 P2015.....	918
5.1.17 P2016.....	918
5.1.18 P3000.....	918
5.1.19 P3001.....	918
5.1.20 P3002.....	919
5.1.21 P3003.....	919
5.1.22 P3004.....	919
5.1.23 P3005.....	919
5.1.24 P3006.....	920
5.1.25 P3007.....	920
5.1.26 P3008.....	920
5.1.27 P3009.....	921
5.1.28 P3010.....	921
5.1.29 P3011.....	921
5.1.30 P3012.....	921
5.1.31 P3015.....	921
5.1.32 P3018.....	921
5.1.33 P9000.....	922
5.1.34 P9001.....	922
5.1.35 P9002.....	922
5.1.36 P9003.....	923
5.1.37 P9006.....	923
5.1.38 P9007.....	923
5.1.39 P9008.....	923
5.1.40 P9009.....	923
5.1.41 P9010.....	923
5.1.42 エラー番号、submit メソッドおよびTerminate イベントの復帰値の関係.....	924
5.2 MeFt/Web プラグイン固有のエラーメッセージ.....	924
5.2.1 P4001.....	924
5.2.2 P4002.....	924
第6章 Jアダプタクラスジェネレータのメッセージ.....	926
6.1 java2cobコマンドのメッセージ.....	926
6.2 生成時のメッセージ.....	927
6.3 実行時のメッセージ.....	931
第7章 PowerSORTのメッセージ.....	937
付録A COBOLファイルシステムのエラーコードの説明.....	938
付録B 注意事項.....	941
索引.....	942

第1章 翻訳コマンドのメッセージ

ここでは、翻訳コマンドが出力するメッセージの内容、意味、システムの処理およびプログラマーの処置について説明します。
なお、以降の説明で、メッセージ中の可変文字列を%sと記述します。

'%s'はファイル名として不当です.
'%s' is invalid as source file name.

意味

%sはファイル名として不当です。

システムの処理

cobolコマンドを終了します。

プログラマーの処置

正しいファイル名を指定して、再度実行してください。

'%s'のサブオプションが不当です.
An invalid sub option is specified for '%s'.

意味

オプション(%s)に指定した値が不当です。

システムの処理

cobolコマンドを終了します。

プログラマーの処置

正しい値を指定して、再度実行してください。

'%s'は'-Tm'と同時に指定できません. '%s'の指定は無効となります.
'%s' can not be specified with '-Tm'. '%s' is ignored.

意味

-Tmの指定があるので、オプション(%s)を無効にします。

システムの処理

オプション(%s)を無視して、翻訳を継続します。

プログラマーの処置

オプション(%s)を有効にする場合は、-Tmオプションを指定しないで、再度実行してください。

ファイル名の指定がありません.
Source file name is missing.

意味

翻訳するファイルの名前が指定されていません。

システムの処理

cobolコマンドを終了します。

プログラマーの処置

cobolコマンドに翻訳するファイルの名前を指定して、再度実行してください。

**オプションが正しくありません -- '%s'.
illegal option -- '%s'.**

意味

正しくないオプション(%s)が指定されました。

システムの処理

cobolコマンドを終了します。

プログラマーの処置

正しいオプションを指定して、再度実行してください。

**'%s'は存在しません.
'%s' is not found.**

意味

指定されたファイル(%s)が存在しません。

システムの処理

cobolコマンドを終了します。

プログラマーの処置

正しいファイル名を指定して、再度実行してください。

**システムエラー'%s1'が'%s2'で発生しました.
System error '%s1' occurred on '%s2'.**

意味

システムエラー(%s1)が%s2で発生しました。

システムの処理

cobolコマンドを異常終了させます。

プログラマーの処置

原因を調査し、それを取り除いてください。なお、%s1にはシステムのエラーコードerrno=0xXXX(16進数表現)が、%s2にはシステムエラーが発生した処理の内容が設定されます。
原因については、manマニュアルの“intro(2)”を参照し、対処してください。

Insufficient memory for the compilation. Compilation terminated.

意味

翻訳に必要なメモリが不足しています。翻訳を中止します。

システムの処理

翻訳処理を終了させます。

プログラマーの処置

翻訳に必要なメモリが不足しています。
同時に多数のアプリケーションを実行している場合、それらのアプリケーションを停止して再翻訳してください。または、仮想メモリを大きくするか、実装メモリを増設してください。

第2章 翻訳時メッセージ

ここでは、COBOLコンパイラが出力する翻訳リスト中の診断メッセージについて説明します。

2.1 メッセージ形式

メッセージの形式を以下に示します。

メッセージ番号	行番号	メッセージ本文

メッセージ番号

メッセージ番号は次のように表示されます。

JMNnnnnI-w

- ・ JMN : COBOLの翻訳時メッセージであることを示します。
- ・ nnnn : メッセージの通し番号を表示します。
- ・ I : オペレーターの対応が不要であることを示します。
- ・ w : 重大度を示すコードを表示します。

重大度コードの意味を下表に示します。

表2.1 翻訳時メッセージの重大度の意味

重大度コード	レベル	意味	復帰コード
I (INFORMATION)	通知メッセージ	コンパイラが検出した情報です。 実行可能な目的プログラムが作成されます。	0
W (WARNING)	軽度のエラー	目的プログラムは作成されます。 しかし、翻訳結果が利用者の意図どおりかどうかを確認する必要があります。	
E (ERROR)	中程度のエラー	目的プログラムは作成されます。 しかし、翻訳オプションなどに誤りがあります。	1
S (SERIOUS)	重度のエラー	目的プログラムは作成されません。	2
U (UNRECOVERABLE)	致命的なエラー	翻訳を中止します。 目的プログラムは作成されません。	3

行番号

エラーが存在する行番号を表示します。翻訳リストに出力されたメッセージの場合、同一内容のメッセージは一つにまとめて表示されるため、行番号は複数個表示されることがあります。

翻訳リストに出力されるメッセージの行番号は次のように表示されます。

- ・ 翻訳オプションNUMBER有効時

[COPY修飾値-]利用者行番号[(登録集原文名)]

- ・ 翻訳オプションNONUMBER有効時

[COPY修飾値-]ソースファイル内相対番号[(登録集原文名)]



参照

COPY修飾値、利用者行番号、ソースファイル内相対番号の詳細については、以下を参照してください。

- [\[Solaris\]](#)[\[Solaris64\]](#)[\[LinuxIPF\]](#)
“NetCOBOL 使用手引書”の“3.1.7.4 ソースプログラムリスト”
- [\[Linux64\]](#)
“NetCOBOL ユーザーズガイド”の“B.4 ソースプログラムリスト”を参照してください。

.....

メッセージ本文

エラーの内容を説明します。

メッセージ本文が“*There is a mistake of the environment. Please refer to the documents that described about installation.*”の場合、翻訳時の環境設定に問題があります。インストールガイドを確認して正しく環境設定してください。

なお、メッセージ番号が出力されている場合は、本書を参照してエラーの内容を確認することは可能です。

2.2 JMN0000—JMN0999

0007	0010	0013	0015	0016	0020	0021	0022	0023	0024
0025	0026	0027	0028	0029	0030	0031	0032	0033	0034
0035	0036	0037	0040	0041	0058	0061	0063	0064	0065
0071	0072	0077	0092	0093	0094	0096	0097	0100	0102
0103	0124	0125	0126	0127	0128	0129	0998		

2.2.1 JMN0007I-U

原始プログラムファイルがオープンできません。翻訳を中止します。

詳細な説明

本メッセージの他に「システムエラー'errno=0xXXX(16進表現)」が'open SRC, ファイル名'で発生しました。」が出力されている場合、エラーの原因を取り除き再度翻訳してください。

2.2.2 JMN0010I-S

目的プログラムファイルがオープンできません。翻訳オプション@1@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : OBJECT

詳細な説明

本メッセージの他に「システムエラー'errno=0xXXX(16進表現)」が'open OBJ, ファイル名'で発生しました。」が出力されている場合、エラーの原因を取り除き再度翻訳してください。

2.2.3 JMN0013I-S

リポトリファイルがオープンできません。出力された目的プログラムファイルは使用できません。

詳細な説明

本メッセージの他に「システムエラー'errno=0xXXX(16進表現)」が'open REP, ファイル名'で発生しました。」が出力されている場合、エラーの原因を取り除き再度翻訳してください。

2.2.4 JMN0015I-U

@1@ファイルがオープンできません。翻訳を中止します。

埋め込みの説明

@1@ : PRINT, DEBUG, SAI

詳細な説明

本メッセージの他に「システムエラー'%s1'が'%s2'で発生しました。」が出力されている場合、エラーの原因を取り除き再度翻訳してください。

2.2.5 JMN0016I-U

翻訳に必要な主記憶域量が不足しています。翻訳を中止します。

詳細な説明

翻訳に必要なメモリが不足しています。

翻訳環境の見直しを行ってください。対処方法として、以下があげられます。

- 同時に多数のアプリケーションを実行している場合、それらのアプリケーションを停止して再翻訳してください。または、
- 仮想メモリを大きくしてください。または、
- 実装メモリを増設してください。

2.2.6 JMN0020I-U

原始プログラムファイルが空です。翻訳を中止します。

2.2.7 JMN0021I-E

文字@1@は、翻訳オプション名または区切り文字として誤りです。次の区切り文字まで読み飛ばします。

埋め込みの説明

@1@ : 誤りとなった文字

例題

```
[C0021. cob]
000001 @OPTIONS INVALID
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C0021.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 STOP RUN.
```

JMN0021I-E 文字INVALIDは、翻訳オプション名または区切り文字として誤りです。次の区切り文字まで読み飛ばします。

2.2.8 JMN0022I-E

パラメタリストの翻訳オプション指定文字列に空白があります。空白を区切り文字とみなします。

詳細な説明

パラメタリストとは、以下のいずれかの方法で指定した翻訳オプション文字列を指します。

- cobolコマンドに指定した-WCオプション
- 環境変数COBOLOPTSに指定した-WCオプション

2.2.9 JMN0023I-E

翻訳オプション@1@のサブパラメタの引用符の対応が取れていません。翻訳オプション@1@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

2.2.10 JMN0024I-E

翻訳オプション@1@のサブパラメタに誤りがあります。翻訳オプション@1@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

2.2.11 JMN0025I-E

翻訳オプション@1@のサブパラメタの形式に誤りがあります。翻訳オプション@1@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

例題

```
[C0025. cob]
000001 @OPTIONS INITVALUE (XX)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C0025.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 STOP RUN.
```

JMN0025I-E 翻訳オプションINITVALUEのサブパラメタの形式に誤りがあります。翻訳オプションINITVALUEは、無効になります。

2.2.12 JMN0026I-E

翻訳オプション@1@のサブパラメタの長さに誤りがあります。翻訳オプション@1@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

例題

```
[C0026. cob]
000001 @OPTIONS LINECOUNT (1000)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C0026.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 STOP RUN.
```

JMN0026I-E 翻訳オプションLINECOUNTのサブパラメタの長さに誤りがあります。翻訳オプションLINECOUNTは、無効になります。

2.2.13 JMN0027I-E

翻訳オプション@1@のサブパラメタのキーワードに誤りがあります。翻訳オプション@1@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@: 翻訳オプション名

例題

```
[C0027.cob]
000001 @OPTIONS MAIN(WMAIN)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C0027.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 STOP RUN.
```

JMN0027I-E 翻訳オプションMAINのサブパラメタのキーワードに誤りがあります。翻訳オプションMAINは、無効になります。

2.2.14 JMN0028I-E

翻訳オプション@1@のサブパラメタの値に誤りがあります。翻訳オプション@1@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@: 翻訳オプション名

例題

```
[C0028.cob]
000001 @OPTIONS LINESIZE(1000)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C0028.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 STOP RUN.
```

JMN0028I-E 翻訳オプションLINESIZEのサブパラメタの値に誤りがあります。翻訳オプションLINESIZEは、無効になります。

2.2.15 JMN0029I-E

翻訳オプション@1@のサブパラメタの右括弧がないかまたはサブパラメタが長すぎます。翻訳オプション@1@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@: 翻訳オプション名

例題

```
[C0029.cob]
000001 @OPTIONS LANGLVL(85
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C0029.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
```

```
000007 PROCEDURE      DIVISION.
000008 P-START.
000009      STOP RUN.
```

JMN0029I-E 翻訳オプションLANGLVLのサブパラメタの右括弧がないかまたはサブパラメタが長すぎます。翻訳オプションLANGLVLは、無効になります。

2.2.16 JMN0030I-E

翻訳オプション@1@には第2サブパラメタが必要です。翻訳オプション@1@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

2.2.17 JMN0031I-W

翻訳オプション@1@の指定により、翻訳オプション@2@とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

@2@ : 誘導された翻訳オプション名

例題

```
[C0031.cob]
000001 @OPTIONS CONF (68), LANGLVL (68)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003     PROGRAM-ID.    C0031.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA              DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE          DIVISION.
000008 P-START.
000009     STOP RUN.
```

JMN0031I-W 翻訳オプションLANGLVL(68)の指定により、翻訳オプションNOCONFとみなします。

2.2.18 JMN0032I-I

パラメタリストの翻訳オプション@1@は、連続翻訳では意味をもちません。翻訳オプション@1@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

詳細な説明

パラメタリストとは、以下のいずれかの方法で指定した翻訳オプション文字列を指します。

- cobolコマンドに指定した-WCオプション
- 環境変数COBOLOPTSに指定した-WCオプション

2.2.19 JMN0033I-W

翻訳オプション@1@はプログラム定義以外に指定できません。翻訳オプション@2@とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

@2@ : 誘導された翻訳オプション名

例題

```
[C0033.cob]
000001 @OPTIONS CONF(OBS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 CLASS-ID. C0033.
000004 OBJECT.
000005 DATA DIVISION.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007 METHOD-ID. M1.
000008 END METHOD M1.
000009 END OBJECT.
000010 END CLASS C0033.
```

C0033.cob 0: JMN0033I-W 翻訳オプションCONF(OBS)はプログラム定義以外に指定できません。翻訳オプションCONFとみなします。

2.2.20 JMN0034I-S

翻訳オプション@1@はプログラム定義以外に指定できません。翻訳オプション@1@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

例題

```
[C0034.cob]
000001 @OPTIONS LANTLRVL (74)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 CLASS-ID. C0034.
000004 OBJECT.
000005 DATA DIVISION.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007 METHOD-ID. M1.
000008 END METHOD M1.
000009 END OBJECT.
000010 END CLASS C0034.
```

C0034.cob 0: JMN0034I-S 翻訳オプションLANGLVL(74)はプログラム定義以外に指定できません。翻訳オプションLANGLVL(74)は、無効になります。

詳細な説明

プログラム定義にだけ指定できる翻訳オプションについては、以下を参照してください。

- [\[Solaris\]\[Solaris64\]\[Linux\]\[LinuxIPF\]](#)
“NetCOBOL 使用手引書”の“A.3 プログラム定義にだけ指定可能な翻訳オプション”
- [\[Linux64\]](#)
“NetCOBOL ユーザーズガイド”の“A.3 プログラム定義にだけ指定可能な翻訳オプション”

2.2.21 JMN0035I-S

メソッド原型定義と分離されたメソッド定義とで一致が必要な翻訳オプションの内、一致しない翻訳オプションがあります。それらの翻訳オプションは無効になります。

詳細な説明

メソッド原型定義と分離されたメソッド定義間での翻訳オプションについては、以下を参照してください。

- [\[Solaris\]\[Solaris64\]\[Linux\]\[LinuxIPF\]](#)
“NetCOBOL 使用手引書”の“A.4 メソッド原型定義と分離されたメソッド定義間での翻訳オプション”

- [\[Linux64\]](#)
“NetCOBOL ユーザーズガイド”の“A.4 メソッド原型定義と分離されたメソッド定義間での翻訳オプション”

2.2.22 JMN0036I-S

指定された翻訳オプション@1@のサブパラメタのキーワードは、このオペレーティングシステムではサポートされていません。翻訳オプション@1@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

2.2.23 JMN0037I-E

翻訳オプション@1@はクラス定義以外に指定できません。翻訳オプション@1@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

例題

```
[C0037.cob]
000001 @OPTIONS CREATE(REP)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C0035.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 STOP RUN.
```

C0037.cob 0: JMN0037I-E 翻訳オプションCREATE(REP)はクラス定義以外に指定できません。翻訳オプションCREATE(REP)は、無効になります。

詳細な説明

クラス定義の翻訳にだけ指定できる翻訳オプションには以下があります。

- CREATE(REP)

2.2.24 JMN0040I-E

翻訳オプション@1@は現在のコード系では指定できません。翻訳オプション@1@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

2.2.25 JMN0041I-S

@1@がインストールされていないため、翻訳オプション@2@は指定できません。翻訳オプション@2@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : コンポーネント名

@2@ : 翻訳オプション名

2.2.26 JMN0058I-W

翻訳オプション@1@は、翻訳オプション@2@と同時に指定できません。翻訳オプション@1@の指定は無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

@2@ : 翻訳オプション名

2.2.27 JMN0061I-E

翻訳オプション@1@は、@2@翻訳指示文に指定できません。翻訳オプション@1@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

@2@ : @OPTIONS

詳細な説明

翻訳指示文に指定できる翻訳オプションかどうかの確認は、以下を参照してください。

- [\[Solaris\]\[Solaris64\]\[Linux\]\[LinuxIPF\]](#)
“NetCOBOL 使用手引書”の“付録A 翻訳オプション”
- [\[Linux64\]](#)
“NetCOBOL ユーザーズガイド”の“付録A 翻訳オプション”

2.2.28 JMN0063I-W

翻訳オプション@1@は、このコンパイラでは意味がありません。翻訳オプション@1@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

2.2.29 JMN0064I-W

翻訳オプション@1@は旧仕様です。翻訳オプション@2@とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

@2@ : 翻訳オプション名

2.2.30 JMN0065I-W

指定された翻訳オプション@1@では指定があいまいです。翻訳オプション@1@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 指定した翻訳オプション名

2.2.31 JMN0071I-W

翻訳オプション@1@は、サポートされていません。翻訳オプション@1@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

2.2.32 JMN0072I-W

翻訳オプション@1@は互換仕様です。翻訳オプション@2@とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

@2@ : 誘導された翻訳オプション名

2.2.33 JMN0077I-I

翻訳オプション@1@は次期バージョンレベルより無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

2.2.34 JMN0092I-U

原始プログラムファイルのアクセス中に入出力エラーが発生しました。翻訳を中止します。

2.2.35 JMN0093I-U

目的プログラムファイルのアクセス中に入出力エラーが発生しました。翻訳を中止します。

2.2.36 JMN0094I-U

デバッグ情報ファイルのアクセス中に入出力エラーが発生しました。翻訳を中止します。

2.2.37 JMN0096I-U

ソース解析情報ファイルのアクセス中に入出力エラーが発生しました。翻訳を中止します。

2.2.38 JMN0097I-U

リポトリファイルのアクセス中に入出力エラーが発生しました。翻訳を中止します。

2.2.39 JMN0100I-U

翻訳処理が続行不可能となりました。(区名=@1@, モジュール名=@2@, 詳細コード=@3@, 行情報=@4@.)

埋め込みの説明

@1@ : エラーを検出した区名

@2@ : エラーを検出したモジュール名

@3@ : 詳細コード

@4@ : 行情報

詳細な説明

他のメッセージが出力されている場合は、それらを修正してから再度翻訳してください。

上記の処置で解決しない場合、コンパイラ障害の可能性があります。富士通技術員(SE)に連絡してください。

2.2.40 JMN0102I-U

翻訳処理が続行不可能となりました。他の診断メッセージが表示されている場合は、それらを修正して、再度翻訳してみてください。(区名=@1@, モジュール名=@2@, 詳細コード=@3@, 行情報=@4@.)

埋め込みの説明

@1@ : エラーを検出した区名

@2@ : エラーを検出したモジュール名

@3@ : 詳細コード

@4@ : 行情報

詳細な説明

コンパイラの障害です。富士通技術員(SE)に連絡してください。

2.2.41 JMN0103I-U

型ライブラリの処理に必要な主記憶領域が不足しています。(区名=@1@.)

埋め込みの説明

@1@ : エラーを検出した区名

詳細な説明

型ライブラリの処理に必要なメモリが不足しています。

翻訳環境の見直しを行ってください。対処方法として、以下があげられます。

- ・ 同時に多数のアプリケーションを実行している場合、それらのアプリケーションを停止して再翻訳してください。または、
- ・ 仮想メモリを大きくしてください。または、
- ・ 実装メモリを増設してください。

2.2.42 JMN0124I-U

ソースファイル内に不当な文字があります。(区名=@1@, 行情報=@2@.) 翻訳を中止します。

埋め込みの説明

@1@ : エラーを検出した区名

@2@ : 行情報

詳細な説明

ソースプログラムや登録集がUnicode(UTF-8)で作成されている場合、本エラーメッセージが出力されることがあります。

本エラーメッセージは、ソースプログラムや登録集がUnicode(UTF-8)で作成されている場合に出力されることがあります。

出力される原因と対処方法を以下に示します。

- ・ 翻訳オプションSCS(UTF8)を指定しなかった
翻訳オプションSCS(UTF8)を指定してください。
- ・ 1行の長さが正書法で決まる最大長を超えている

正書法では1行の最大長は表示長ではなく物理長です。コンパイラは最大長を超えた場合、超えた部分を無視するため不当な文字となることがあります。正書法の規則により行が途中で切れている場合は、継続行を利用するなどして、行を分割してください。

2.2.43 JMN0125I-U

原始プログラムファイルまたは登録集原文ファイルのコード系がシステムのコード系と一致していません。翻訳を中止します。

詳細な説明

原始プログラムファイルおよび登録集原文ファイルのコード系を一致させて再翻訳してください。

2.2.44 JMN0126I-S

翻訳オプション@1@は、翻訳オプション@2@と同時に指定できません。翻訳オプション@1@の指定は無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

@2@ : 翻訳オプション名

2.2.45 JMN0127I-E

翻訳オプション@1@の指定により、翻訳オプション@2@とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

@2@ : 翻訳オプション名

2.2.46 JMN0128I-S

翻訳オプション@1@は、システムのロケールがUTF-8のときにしか指定できません。@1@を指定しないか、またはシステムのロケールをUTF-8にしてください。翻訳オプション@1@の指定は無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

2.2.47 JMN0129I-I

翻訳オプション@1@の指定により、翻訳オプション@2@が有効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳オプション名

@2@ : 有効となる翻訳オプション名

詳細な説明

@2@に示された翻訳オプションは、製品によって異なります。意図した指定となっていることを確認してください。@2@に示された翻訳オプションを明示指定することで、このメッセージを抑止することができます。

2.2.48 JMN0998I-U

文字コード変換処理の初期化に失敗しました。NetCOBOL開発・実行環境が正しくインストールされているか確認してください。

2.3 JMN1000—JMN1999

1000	1001	1002	1003	1004	1005	1007	1008	1009	1010
1011	1012	1013	1014	1015	1016	1017	1018	1019	1020
1021	1022	1023	1024	1025	1026	1027	1028	1029	1040
1041	1042	1043	1044	1049	1050	1051	1052	1057	1061
1062	1073	1074	1075	1076	1080	1081	1082	1083	1084
1087	1092	1093	1096	1097	1099	1100	1101	1103	1104
1105	1107	1110	1111	1113	1114	1115	1116	1117	1118

1119	1121	1123	1125	1126	1127	1128	1129	1130	1131
1132	1133	1134	1141	1142	1143	1144	1145	1146	1147
1148	1149	1150	1151	1154	1155	1156	1158	1159	1161
1162	1163	1164	1165	1166	1167	1183	1184	1185	1187
1188	1190	1193	1194	1195	1197	1198	1207	1208	1209
1213	1214	1215	1216	1217	1218	1219	1220	1221	1222
1223	1224	1225	1227	1228	1229	1231	1232	1233	1234
1236	1237	1238	1239	1240	1241	1242	1243	1244	1246
1253	1254	1255	1256	1257	1258	1259	1260	1261	1265
1266	1267	1268	1269	1271	1273	1275	1276	1278	1279
1280	1281	1282	1284	1285	1286	1287	1288	1291	1292
1298	1299	1301	1302	1303	1304	1305	1309	1310	1312
1313	1314	1315	1317	1318	1319	1320	1321	1322	1323
1324	1325	1326	1327	1329	1338	1339	1340	1342	1343
1353	1354	1355	1356	1357	1358	1359	1360	1373	1376
1377	1388	1390	1391	1393	1394	1395	1396	1397	1401
1402	1404	1405	1411	1412	1413	1414	1416	1418	1421
1423	1424	1425	1426	1427	1428	1434	1436	1437	1438
1439	1450	1464	1465	1466	1472	1475	1476	1477	1478
1479	1480	1481	1482	1486	1487	1488	1489	1490	1500
1501	1502	1503	1504	1505	1506	1507	1508	1509	1510
1511	1512	1513	1514	1515	1516	1517	1518	1519	1520
1521	1522	1523	1524	1525	1526	1527	1528	1529	1530
1531	1532	1533	1534	1535	1538	1539	1540	1544	1545
1547	1553	1555	1556	1557	1558	1559	1560	1561	1562
1563	1566	1567	1568	1569	1570	1571	1572	1573	1574
1575	1576	1578	1579	1580	1581	1582	1583	1584	1586
1588	1589	1591	1592	1593	1594	1596	1597	1599	1600
1604	1608	1615	1661	1662	1664	1665	1668	1670	1671
1672	1674	1675	1676	1677	1678	1681	1683	1684	1685
1686	1687	1688	1689	1690	1692	1693	1694	1695	1696
1697	1698	1699	1701	1703	1704	1705	1706	1707	1708
1710	1715	1716	1717	1718	1724	1725	1726	1735	1736
1738	1739	1741	1742	1744	1745	1746	1748	1749	1750
1751	1752	1753	1754	1755	1756	1757	1758	1759	1760
1761	1762	1763	1764	1765	1766	1767	1768	1769	1770
1771	1772	1773	1774	1775	1776	1778	1780	1781	1782
1783	1784	1785	1786	1788	1790	1802	1805	1813	1814
1845	1847	1852	1853	1854	1855	1856	1857	1858	1859
1900	1903	1904	1905						

2.3.1 JMN1000I-S

COBOL文字集合にない文字を使用しています。その文字は無効になります。

例題

```
[C1000.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P^1.
000003 END PROGRAM      P^1.
```

C1000.cob 2: JMN1000I-S COBOL文字集合にない文字を使用しています。その文字は無効になります。

C1000.cob 3: JMN1000I-S COBOL文字集合にない文字を使用しています。その文字は無効になります。

詳細な説明

以下のCOBOLの語では、COBOL文字集合中の文字を使用してください。

- ・ 利用者語
- ・ システム名

2.3.2 JMN1001I-W

終止符、コンマまたはセミコロンの後は、空白でなければなりません。空白があるものとみなします。

例題

```
[C1001.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1001.
```

C1001.cob 2: JMN1001I-W 終止符、コンマまたはセミコロンの後は、空白でなければなりません。空白があるものとみなします。

2.3.3 JMN1002I-S

COBOLの語は30字以内でなければなりません。先頭から30字をCOBOLの語とみなします。

例題

```
[C1002.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1002.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ01234 PIC X.
000006 END PROGRAM      C1002.
```

C1002.cob 5: JMN1002I-S COBOLの語は30字以内でなければなりません。先頭から30字をCOBOLの語とみなします。

2.3.4 JMN1003I-W

予約語 '@1@' は、A領域から書き始めなければなりません。A領域から書き始められているものとみなします。

埋め込みの説明

@1@: 予約語

例題

```
[C1003.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1003.
000003 END PROGRAM      C1003.
```


C1003.cob 1: JMN1003I-W 予約語'IDENTIFICATION'は、A領域から書き始めなければなりません。A領域から書き始められているものとみなします。

C1003.cob 2: JMN1003I-W 予約語'PROGRAM-ID'は、A領域から書き始めなければなりません。A領域から書き始められているものとみなします。

C1003.cob 3: JMN1003I-W 予約語'END'は、A領域から書き始めなければなりません。A領域から書き始められているものとみなします。

2.3.5 JMN1004I-W

予約語'@1@'は、B領域から書き始めなければなりません。B領域から書き始められているものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 予約語

例題

```
[C1004. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1004.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005     SPECIAL-NAMES.
000006     SYMBOLIC CONSTANT
000007     NUM IS 10.
000008 END PROGRAM      C1004.
```

C1004.cob 6: JMN1004I-W 予約語'SYMBOLIC'は、B領域から書き始めなければなりません。B領域から書き始められているものとみなします。

2.3.6 JMN1005I-W

文字列'@1@'は、B領域から書き始めなければなりません。B領域から書き始められているものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 文字列(利用者語, システム名, PICTURE句の文字列)

例題

```
[C1005. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1005.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STOARGE SECTION.
000005     01 LEN PIC 9(2).
000006 END PROGRAM      C1005.
```

C1005.cob 4: JMN1005I-W 文字列'WORKING-STOARGE'は、B領域から書き始めなければなりません。B領域から書き始められているものとみなします。

2.3.7 JMN1007I-S

日本語利用者語は30字以内でなければなりません。先頭の30字を日本語利用者語とみなします。

例題

```
[C1007. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1007.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
```

```
000005 01 あいうえおかきくけこさしすせそたちつてとなにぬねのはひふへほま PIC X.  
000006 END PROGRAM C1007.
```

C1007.cob 5: JMN1007I-S 日本語利用者語は30字以内でなければなりません。先頭の30字を日本語利用者語とみなします。

2.3.8 JMN1008I-S

日本語利用者語の中に日本語文字として使用できない文字があります。 '@1@' を日本語利用者語とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 日本語文字

例題

```
[C1008.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C1008.  
000003 DATA DIVISION.  
000004 WORKING-STORAGE SECTION.  
000005 01 陸泣 PIC X.  
000006 END PROGRAM C1008.
```

C1008.cob 5: JMN1008I-S 日本語利用者語の中に日本語文字として使用できない文字があります。 '陸' を日本語利用者語とみなします。

詳細な説明

日本語利用者語の中にCOBOL文字集合に定められていない日本語文字が含まれています。拡張文字を使用している場合は翻訳オプションNCW(SYS)を指定してください。詳しくは以下を参照してください。

- “COBOL文法書”の“1.1 文字と文字集合”
- [Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]
“NetCOBOL 使用手引書”の“付録A 翻訳オプション”
- [Linux64]
“NetCOBOL ユーザーズガイド”の“付録A 翻訳オプション”

また、ソースファイルのコード系がUTF-8の場合、日本語利用者語の中に0面(いわゆるBMPと呼ばれる範囲)以外に配置された文字が含まれている可能性があります。日本語利用者語に0面以外に配置された文字は使用できません。

2.3.9 JMN1009I-S

日本語利用者語の語頭に日本語文字として使用できない文字があります。日本語利用者語は無効になります。

例題

```
[C1009.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C1009.  
000003 DATA DIVISION.  
000004 WORKING-STORAGE SECTION.  
000005 01 ^ PIC X.  
000006 END PROGRAM C1009.
```

C1009.cob 5: JMN1009I-S 日本語利用者語の語頭に日本語文字として使用できない文字があります。日本語利用者語は無効になります。

詳細な説明

日本語利用者語の語頭にCOBOL文字集合に定められていない日本語文字が含まれています。拡張文字を使用している場合は翻訳オプションNCW(SYS)を指定してください。詳しくは以下を参照してください。

- “COBOL文法書”の“1.1 文字と文字集合”

- [\[Solaris\]](#)[\[Solaris64\]](#)[\[Linux\]](#)[\[LinuxIPF\]](#)
“NetCOBOL 使用手引書”の“付録A 翻訳オプション”
- [\[Linux64\]](#)
“NetCOBOL ユーザーズガイド”の“付録A 翻訳オプション”

また、ソースファイルのコード系がUTF-8の場合、日本語利用者語の語頭に0面(いわゆるBMPと呼ばれる範囲)以外に配置された文字が含まれている可能性があります。日本語利用者語に0面以外に配置された文字は使用できません。

2.3.10 JMN1010I-S

日本語利用者語の語頭または語尾は、ハイフンおよび負号であってはなりません。日本語利用者語 '@1@' は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 日本語利用者語

例題

```
[C1010.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1010.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 あいー PIC X.
000006 END PROGRAM      C1010.
```

C1010.cob 5: JMN1010I-S 日本語利用者語の語頭または語尾は、ハイフンおよび負号であってはなりません。日本語利用者語 'あいー' は無効になります。

2.3.11 JMN1011I-S

日本語利用者語は少なくとも1字の漢字、ひらがな、カタカナまたは長音記号を含まなければなりません。日本語利用者語 '@1@' は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 日本語利用者語

例題

```
[C1011.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1011.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A B C PIC X.
000006 END PROGRAM      C1011.
```

C1011.cob 5: JMN1011I-S 日本語利用者語は少なくとも1字の漢字、ひらがな、カタカナまたは長音記号を含まなければなりません。日本語利用者語 'ABC' は無効になります。

2.3.12 JMN1012I-S

浮動小数点定数の指数部('E'の後から)が誤っています。仮数部('E'の前まで)を数字定数とみなします。

例題

```
[C1012.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1012.
000003 PROCEDURE        DIVISION.
```

```
000004      DISPLAY +1234.11E-AA
000005 END PROGRAM      C1012.
```

C1012.cob 4: JMN1012I-S 浮動小数点定数の指数部('E'の後から)が誤っています。仮数部('E'の前まで)を数字定数とみなします。

2.3.13 JMN1013I-S

浮動小数点定数の仮数の数字のけた数は、16けた以下でなければなりません。先頭の16けたを仮数とみなします。

例題

```
[C1013.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1013.
000003 PROCEDURE        DIVISION.
000004      DISPLAY +1234567890123456.7E+01
000005 END PROGRAM      C1013.
```

C1013.cob 4: JMN1013I-S 浮動小数点定数の仮数の数字のけた数は、16けた以下でなければなりません。先頭の16けたを仮数とみなします。

2.3.14 JMN1014I-S

浮動小数点定数の指数の数字のけた数は、2けた以下でなければなりません。先頭から2けたを指数とみなします。

例題

```
[C1014.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1014.
000003 PROCEDURE        DIVISION.
000004      DISPLAY 12.34E+001
000005 END PROGRAM      C1014.
```

C1014.cob 4: JMN1014I-S 浮動小数点定数の指数の数字のけた数は、2けた以下でなければなりません。先頭から2けたを指数とみなします。

2.3.15 JMN1015I-S

浮動小数点定数の絶対値が最小値より小さい値(指数アンダフロー)です。浮動小数点定数の値をゼロとみなします。

例題

```
[C1015.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1015.
000003 PROCEDURE        DIVISION.
000004      DISPLAY 5400000000000000.0E-99
000005 END PROGRAM      C1015.
```

C1015.cob 4: JMN1015I-S 浮動小数点定数の絶対値が最小値より小さい値(指数アンダフロー)です。浮動小数点定数の値をゼロとみなします。

2.3.16 JMN1016I-S

浮動小数点定数の絶対値が最大値より大きい値(指数オーバーフロー)です。浮動小数点定数の絶対値を'7.2E75'とみなします。

例題

```
[C1016.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000002 PROGRAM-ID.      C1016.
000003 PROCEDURE        DIVISION.
000004     DISPLAY +7200000000000000.0E+99
000005 END PROGRAM      C1016.

```

C1016.cob 4: JMN1016I-S 浮動小数点定数の絶対値が最大値より大きい値(指数オーバーフロー)です。浮動小数点定数の絶対値を'7.2E75'とみなします。

2.3.17 JMN1017I-S

数字定数の数字のけた数は、@1@けた以下でなければなりません。先頭から@1@けたを数字定数とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 数字定数の最大けた数

例題

```

[C1017. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1017.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 78 NUM-1 VALUE 12345678901234567890.
000006 END PROGRAM      C1017.

```

C1017.cob 5: JMN1017I-S 数字定数の数字のけた数は、19けた以下でなければなりません。先頭から19けたを数字定数とみなします。

2.3.18 JMN1018I-S

[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

PICTURE句の文字列は、30字以下でなければなりません。先頭から30字をPICTURE句の文字列とみなします。

[Linux64]

PICTURE句の文字列は、50字以下でなければなりません。先頭から50字をPICTURE句の文字列とみなします。

例題

[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

```

[C1018. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1018.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 CHR PIC XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX.
000006 END PROGRAM      C1018.

```

C1018.cob 5: JMN1018I-S PICTURE句の文字列は、30字以下でなければなりません。先頭から30字をPICTURE句の文字列とみなします。

[Linux64]

```

[C1018. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1018.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 CHR PIC XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX.
000006 END PROGRAM      C1018.

```

C1018.cob 5: JMN1018I-S PICTURE句の文字列は、50字以下でなければなりません。先頭から50字をPICTURE句の文字列とみなします。

2.3.19 JMN1019I-W

標識領域は'-', '*', '/', 'D'または空白でなければなりません。空白とみなします。

例題

```
[C1019.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1019.
000003*COMMENT
000004+
000005 END PROGRAM      C1019.
```

C1019.cob 4: JMN1019I-W 標識領域は'-', '*', '/', 'D'または空白でなければなりません。空白とみなします。

2.3.20 JMN1020I-W

定数はB領域から書き始めなければなりません。B領域から書き始められているものとみなします。

例題

```
[C1020.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1020.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 CHRLIT PIC X(10) VALUE
000006 "ABCDEFGHIJ".
000007 END PROGRAM      C1020.
```

C1020.cob 6: JMN1020I-W 定数はB領域から書き始めなければなりません。B領域から書き始められているものとみなします。

2.3.21 JMN1021I-S

定数の継続において、後の行は、標識領域にハイフンを書き、引用符で始めなければなりません。定数が継続されているものとみなします。

例題

```
[C1021.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1021.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A1 PIC X(10) VALUE "12345
000006-        67890".
000007 01 A2 PIC X(10) VALUE "12345
000008        "67890".
000009 END PROGRAM      C1021.
```

C1021.cob 6: JMN1021I-S 定数の継続において、後の行は、標識領域にハイフンを書き、引用符で始めなければなりません。定数が継続されているものとみなします。

C1021.cob 8: JMN1021I-S 定数の継続において、後の行は、標識領域にハイフンを書き、引用符で始めなければなりません。定数が継続されているものとみなします。

2.3.22 JMN1022I-S

定数の終わりの引用符がありません。B領域の終わりまでを定数とみなします。

例題

```
[C1022.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1022.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 TEISU PIC X(10) VALUE "ABCDEF.
000006 END PROGRAM      C1022.
```

C1022.cob 5: JMN1022I-S 定数の終わりの引用符がありません。B領域の終わりまでを定数とみなします。

2.3.23 JMN1023I-S

定数が最大長を超えています。先頭から最大長までを定数とみなします。

例題

```
[C1023.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1023.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 78 MOJI VALUE "ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
000006-                "ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
000007-                "ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
000008-                "ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
000009-                "ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
000010-                "ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
000011-                "ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
000012-                "ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ".
000013 END PROGRAM      C1023.
```

C1023.cob 5: JMN1023I-S 定数が最大長を超えています。先頭から最大長までを定数とみなします。

詳細な説明

定数の最大長は160バイトです。1～160バイトの範囲内で記述してください。

2.3.24 JMN1024I-S

文字定数または16進文字定数の長さは、ゼロであってははいけません。1字の空白とみなします。

例題

```
[C1024.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1024.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 CHAR1 PIC X VALUE X"".
000006 01 CHAR2 PIC X VALUE "".
000007 END PROGRAM      C1024.
```

C1024.cob 5: JMN1024I-S 文字定数または16進文字定数の長さは、ゼロであってははいけません。1字の空白とみなします。

C1024.cob 6: JMN1024I-S 文字定数または16進文字定数の長さは、ゼロであってははいけません。1字の空白とみなします。

2.3.25 JMN1025I-S

ブール定数の長さはゼロであってははいけません。1字の0とみなします。

例題

```
[C1025.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1025.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 BOOL1 PIC X(1) VALUE B"".
000006 END PROGRAM      C1025.
```

C1025.cob 5: JMN1025I-S ブール定数の長さはゼロであってはいけません。1字の0とみなします。

2.3.26 JMN1026I-S

日本語定数の長さはゼロであってはいけません。1字の空白とみなします。

例題

```
[C1026.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1026.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 NCHAR PIC N(1) VALUE N"".
000006 END PROGRAM      C1026.
```

C1026.cob 5: JMN1026I-S 日本語定数の長さはゼロであってはいけません。1字の空白とみなします。

2.3.27 JMN1027I-S

ブール定数はブール文字(0, 1)で構成しなければなりません。ブール文字以外の文字を文字0とみなします。

例題

```
[C1027.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1027.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 BOOL-1 PIC 1(8) VALUE B"00012000".
000006 END PROGRAM      C1027.
```

C1027.cob 5: JMN1027I-S ブール定数はブール文字(0, 1)で構成しなければなりません。ブール文字以外の文字を文字0とみなします。

2.3.28 JMN1028I-S

16進文字定数の16進文字(0～9, A～F)は、偶数個でなければなりません。末尾に0を補います。

例題

```
[C1028.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1028.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 CHAR1 PIC X(2) VALUE X"313".
000006 END PROGRAM      C1028.
```

C1028.cob 5: JMN1028I-S 16進文字定数の16進文字(0～9, A～F)は、偶数個でなければなりません。末尾に0を補います。

2.3.29 JMN1029I-S

@1@は16進文字(0～9, A～F)で構成されていなければなりません。16進文字以外の文字を文字0とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 定数名

例題

```
[C1029.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1029.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 CHAR1 PIC X(1) VALUE X"AZ".
000006 01 NUM1 PIC 9      VALUE H"AZ".
000007 END PROGRAM      C1029.
```

C1029.cob 5: JMN1029I-S 16進文字定数は16進文字(0～9, A～F)で構成されていなければなりません。16進文字以外の文字を文字0とみなします。

C1029.cob 6: JMN1029I-S 16進数字定数は16進文字(0～9, A～F)で構成されていなければなりません。16進文字以外の文字を文字0とみなします。

2.3.30 JMN1040I-S

日本語16進定数の長さは、@1@の倍数でなければなりません。@1@の倍数の長さに切り捨てます。

埋め込みの説明

@1@ : 2, 4

例題

```
[C1040.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1040.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 NHEX           PIC N(4) VALUE NX"93FA967B8".
000007 PROCEDURE        DIVISION.
000008 END PROGRAM      C1040.
```

C1040.cob 6: JMN1040I-S 日本語16進定数の長さは、2の倍数でなければなりません。2の倍数の長さに切り捨てます。

2.3.31 JMN1041I-W

文字列の後は、分離符がなければなりません。分離符があるものとみなします。

例題

```
[C1041.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1041.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 LITERAL1 PIC X VALUE A".
000006 END PROGRAM      C1041.
```

C1041.cob 5: JMN1041I-W 文字列の後は、分離符がなければなりません。分離符があるものとみなします。

2.3.32 JMN1042I-S

行のつながりによってつながられた文字列は、324字以内でなければなりません。先頭から324字を文字列とみなします。

例題

```
[C1042.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1042.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 78 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789
000006-   ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789
000007-   ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789
000008-   ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789
000009-   ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789
000010-   ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789
000011-   ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789
000012-   ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789
000013-   ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789
000014-   ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789
000015-   ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789 VALUE ZERO.
000016 END PROGRAM      C1042.
```

C1042.cob 14: JMN1042I-S 行のつながりによってつながられた文字列は、324字以内でなければなりません。先頭から324字を文字列とみなします。

2.3.33 JMN1043I-S

行のつながりにおいて、後の行のA領域は、空白でなければなりません。または、行のつながりによってつながられた文字列全体が、COBOLの語として正しくありません。標識領域のハイフンは無効になります。

例題

```
[C1043.cob]
000001 PROGRAM-ID.      C1043.
000002 DATA             DIVISION.
000003 WORKING-STORAGE SECTION.
000004 01 CHAR1 PIC 9(10) VALUE 12345
000005-67890.
000006 END PROGRAM      C1043.
```

C1043.cob 5: JMN1043I-S 行のつながりにおいて、後の行のA領域は、空白でなければなりません。または、行のつながりによってつながられた文字列全体が、COBOLの語として正しくありません。標識領域のハイフンは無効になります。

2.3.34 JMN1044I-S

プログラム'@1@'に含まれるプログラムは、プログラム終わり見出しで終わらなければなりません。プログラム終わり見出しがあるものとみなします。

埋め込みの説明

@1@: プログラム名

例題

```
[C1044.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1044.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 PROGRAM-ID.      P1.
000005 PROCEDURE         DIVISION.
000006     STOP RUN.
000007 END PROGRAM      C1044.
```

C1044.cob 7: JMN1044I-S プログラム'C1044'に含まれるプログラムは、プログラム終わり見出しで終わらなければなりません。プログラム終わり見出しがあるものとみなします。

詳細な説明

@1@に示されたプログラムの内部プログラムの終わり見出しが記述されていません。

内部プログラムの終わり見出しを記述してください。

2.3.35 JMN1049I-S

プログラム終わり見出しに終止符がありません。または、誤った語が現れました。

例題

```
[C1049. cob]
000001 PROGRAM-ID.      C1049.
000002 END PROGRAM      C1049
```

C1049.cob 2: JMN1049I-S プログラム終わり見出しに終止符がありません。または、誤った語が現れました。

2.3.36 JMN1050I-S

プログラム終わり見出しにプログラム名がありません。

例題

```
[C1050. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1050.
000003 END PROGRAM.
```

C1050.cob 3: JMN1050I-S プログラム終わり見出しにプログラム名がありません。

2.3.37 JMN1051I-S

別のプログラムに含まれないプログラムのプログラム終わり見出しを書いた行には、それ以外に何も書いてはなりません。書かれた文字列は、無効になります。

例題

```
[C1051. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1051.
000003 END PROGRAM      C1051. ABC
```

```
[P1. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P1.
000003 END PROGRAM      P1.
```

C1051.cob 3: JMN1051I-S 別のプログラムに含まれないプログラムのプログラム終わり見出しを書いた行には、それ以外に何も書いてはなりません。書かれた文字列は、無効になります。

2.3.38 JMN1052I-S

登録集原文の中で、別のプログラムに含まれないプログラムのプログラム終わり見出しの後に原始プログラムがあってはなりません。

詳細な説明

登録集原文中にある終わり見出しの後に、他のプログラムとは関係のない語があります。

2.3.39 JMN1057I-S

COBOL登録集で入出力エラーが発生しました。登録集原文の組込みを中止します。

詳細な説明

登録集を読み込む際にファイルオープンエラーが検出されました。以下の要因が考えられます。

- 登録集ファイルの読み取りアクセス許可がない。
- 登録集ファイルが存在するディレクトリの読み取りアクセス許可がない。

2.3.40 JMN1061I-S

登録集原文の中から同じ登録集原文を呼び出すことはできません。

例題

```
[C1061. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1061.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 COPY C1061C.
```

```
[C1061C. cbl]
000001 COPY C1061C.
000002 END PROGRAM C1061.
```

C1061C.cbl 1: JMN1061I-S 登録集原文の中から同じ登録集原文を呼び出すことはできません。

2.3.41 JMN1062I-S

COBOL登録集 '@1@' が割り当てられていません。または、登録集として割り当てられたデータセットが、登録集として使用できない編成若しくはレコード形式です。

埋め込みの説明

@1@ : 登録集名

例題

```
[C1062. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1062.
000003 COPY COPY1.
000004 END PROGRAM      C1062.
```

C1062.cob 3: JMN1062I-S COBOL登録集 'COPY1' が割り当てられていません。または、登録集として割り当てられたデータセットが、登録集として使用できない編成若しくはレコード形式です。

詳細な説明

主な原因として以下の3点が考えられます。

- ソース上に記述した登録集が存在しないか、登録集名が間違っています。以下の設定を確認のうえ、整合性をとってください。
 - 登録集の拡張子 : 翻訳オプション LIBEXT, 環境変数 COB_LIBSUFFIX
 - 登録集名の対応づけ : 環境変数 COB_登録集名, 翻訳オプション ファイルによる登録集名の設定
 - 登録集のパス : 翻訳コマンドオプション -I, 翻訳オプション LIB, 環境変数 COB_COBCOPY
- 以下の指定と定義体で矛盾があります。
 - XFDLIB指定 : ファイル定義体

ー XMDLIB指定 : 画面帳票定義体

- ・画面定義体にエンコードUTF32を指定しています。画面定義体の場合、エンコードUTF32は指定できません。エンコードUTF16を指定してください。

2.3.42 JMN1073I-S

プログラム終わ見出しで指定されたプログラム '@1@' がありません。終了していない最後のプログラムのプログラム終わ見出しとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : プログラム名

例題

```
[C1073. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1073.
000003 END PROGRAM      C10731.
```

C1073.cob 3: JMN1073I-S プログラム終わ見出しで指定されたプログラム 'C10731' がありません。終了していない最後のプログラムのプログラム終わ見出しとみなします。

2.3.43 JMN1074I-S

REPLACING指定またはJOINING指定を記述したCOPY文により複写する登録集原文中に@1@文を指定することはできません。

埋め込みの説明

@1@ : COPY,INCLUDE

例題

```
[C1074. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1074.
000003 DATA              DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 COPY C1074C REPLACING ==DATA== BY ==COPY C1074CC. ==.
000006 END PROGRAM C1074.
```

```
[C1074C. cbl]
000001 DATA
```

C1074C.cbl 1: JMN1074I-S REPLACING指定またはJOINING指定を記述したCOPY文により複写する登録集原文中にCOPY文を指定することはできません。

詳細な説明

COPY文またはINCLUDE文に置き換える原始文操作はできません。

2.3.44 JMN1075I-S

語@1@の直前または直後は、空白でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : COPY,INCLUDE,REPLACE

例題

```
[C1075. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1075.
000003 .REPLACE A BY B.
000004 REPLACE OFF.
000005 END PROGRAM      C1075.
```

C1075.cob 3: JMN1075I-S 語REPLACEの直前または直後は、空白でなければなりません。

2.3.45 JMN1076I-S

@1@文の書き方に誤りがあります。または、分離符の終止符で止められていません。

埋め込みの説明

@1@ : COPY,INCLUDE

例題

```
[C1076. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1076.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 COPY CBLCPY REPLACING A BY B
000006 END PROGRAM      C1076.
```

C1076.cob 6: JMN1076I-S COPY文の書き方に誤りがあります。または、分離符の終止符で止められていません。

2.3.46 JMN1080I-W

仮原文-1に原文語が含まれていないか、または分離符のコンマ若しくはセミコロンだけしか含まれていません。その仮原文-1は、比較対象になりません。

例題

```
[C1080. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1080.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 COPY C1080C REPLACING ==, == BY ==:==.
```

```
[C1080C. cbl]
000001 01 WK-DATA      PIC X.
```

C1080.cob 5: JMN1080I-W 仮原文-1に原文語が含まれていないか、または分離符のコンマ若しくはセミコロンだけしか含まれていません。その仮原文-1は、比較対象になりません。

2.3.47 JMN1081I-S

@1@文の終止符の直後は、空白でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : COPY,INCLUDE,REPLACE

例題

```
[C1081. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000002 PROGRAM-ID.      C1081.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     REPLACE ==A== BY ==B==.
000006 01  A  PIC X.
000007     REPLACE OFF. A
000008 END PROGRAM      C1081.

```

C1081.cob 7: JMN1081I-S REPLACE文の終止符の直後は、空白でなければなりません。

2.3.48 JMN1082I-S

語REPLACEの直前は、分離符の終止符でなければなりません。

例題

```

[C1082. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1082.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION
000005     REPLACE A BY B.
000006     REPLACE OFF.
000007 END PROGRAM      C1082.

```

C1082.cob 5: JMN1082I-S 語REPLACEの直前は、分離符の終止符でなければなりません。

2.3.49 JMN1083I-S

REPLACE文の書き方に誤りがあります。または、分離符の終止符で止められていません。

例題

```

[C1083. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1083.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     REPLACE A A BY B.
000006     REPLACE OFF
000007 END PROGRAM      C1083.

```

C1083.cob 5: JMN1083I-S REPLACE文の書き方に誤りがあります。または、分離符の終止符で止められていません。

C1083.cob 7: JMN1083I-S REPLACE文の書き方に誤りがあります。または、分離符の終止符で止められていません。

2.3.50 JMN1084I-I

REPLACE OFF文に対応するREPLACE文がありません。

例題

```

[C1084. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1084.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     REPLACE OFF.
000006 END PROGRAM      C1084.

```

C1084.cob 5: JMN1084I-I REPLACE OFF文に対応するREPLACE文がありません。

2.3.51 JMN1087I-W

@1@文は、B領域から書き始めなければなりません。B領域から書き始められているものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : AQL, SQL

例題

```
[C1087.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1087.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01  SQLSTATE PIC X(5).
000007     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000008 PROCEDURE           DIVISION.
000009     EXEC SQL
000010     SELECT A
000011     END-EXEC
000012 END PROGRAM          C1087.
```

C1087.cob 10: JMN1087I-W SQL文は、B領域から書き始めなければなりません。B領域から書き始められているものとみなします。

2.3.52 JMN1092I-S

01または77レベル項目の直後のCOPY文によって複写された登録集原文の最初の語は01または77でなければなりません。そのまま処理を続行します。

2.3.53 JMN1093I-S

REPLACE文を処理した結果として生成した原文にREPLACE文が含まれています。

例題

```
[C1093.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1093.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     REPLACE ==A== BY ==REPLACE==.
000006     A OFF.
000007     REPLACE OFF.
000008 END PROGRAM          C1093.
```

C1093.cob 6: JMN1093I-S REPLACE文を処理した結果として生成した原文にREPLACE文が含まれています。

詳細な説明

REPLACE文に置き換える原始文操作はできません。

2.3.54 JMN1096I-I

(CONF)01, 77レベル項目の直後にCOPY文が指定されています。

例題

```
[C1096.cob]
000001 @OPTIONS CONF(68)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
```



```
000003 PROGRAM-ID.    C1096.
000004 DATA          DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 COPY C1096C.
000007 END PROGRAM C1096.
```

```
[C1096C. cbl]
000001 WNAME PIC X(10).
```

C1096.cob 6: JMN1096I-I (CONF)01, 77レベル項目の直後にCOPY文が指定されています。

2.3.55 JMN1097I-I

(CONF)COPY文の仮原文-1に*のみが指定されています。

例題

```
[C1097. cob]
000001 @OPTIONS CONF (V10)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.    C1097.
000004 DATA          DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 COPY C1097C REPLACING ==*== BY ==.
000007 END PROGRAM C1097.
```

```
[C1097C. cbl]
000001*01 WNAME1 PIC X(10).
000002*01 WNAME2 PIC X(10).
```

C1097.cob 6: JMN1097I-I (CONF)COPY文の仮原文-1に*のみが指定されています。

2.3.56 JMN1099I-I

翻訳オプションNONNUMBERの場合、COPY文そのものに対する診断メッセージの行番号は、REPLACE文の行番号となります。誤りのあるCOPY文の行番号を表示するためには、翻訳オプションNUMBERを指定して翻訳してください。

例題

```
[C1099. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C1099.
000003 DATA          DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 DATA-SS PIC X(3) VALUE "NG!".
000006 01 DATA-DD PIC X(3) VALUE "OK!".
000007 PROCEDURE      DIVISION.
000008     REPLACE ==DATA-SS== BY ==DATA-DD==.
000009     COPY "C1099C. CBL"
000010     REPLACE OFF
000011 .
000012 END PROGRAM C1099.
```

C1099.cob 8: JMN1099I-I 翻訳オプションNONNUMBERの場合、COPY文そのものに対する診断メッセージの行番号は、REPLACE文の行番号となります。誤りのあるCOPY文の行番号を表示するためには、翻訳オプションNUMBERを指定して翻訳してください。

2.3.57 JMN1100I-W

語DIVISIONまたはSECTIONの指定がありません。DIVISIONまたはSECTIONがあるものとみなします。

例題

```
[C1100.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1100.
000003 DATA.
000004 END PROGRAM      C1100.
```

C1100.cob 3: JMN1100I-W 語DIVISIONまたはSECTIONの指定がありません。DIVISIONまたはSECTIONがあるものとみなします。

2.3.58 JMN1101I-S

ON指定のないAPPLY SAVED-AREA句、またはファイル名指定のないAPPLY MULTICONVERSATION-MODE句は、別のプログラムに含まれるプログラムに指定できません。

例題

```
[C1101.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1101.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 PROGRAM-ID.      P1.
000005 ENVIRONMENT      DIVISION.
000006 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000007 I-O-CONTROL.
000008     APPLY SAVED-AREA
000009     APPLY MULTICONVERSATION-MODE.
000010 END PROGRAM      P1.
000011 END PROGRAM      C1101.
```

C1101.cob 9: JMN1101I-S ON 指定のないAPPLY SAVED-AREA 句、またはファイル名指定のないAPPLY MULTICONVERSATION-MODE句は、別のプログラムに含まれるプログラムに指定できません。

詳細な説明

ON指定のないAPPLY SAVED-AREA句、またはファイル名指定のないAPPLY MULTICONVERSATION-MODE句は、内部プログラムに記述できません。

2.3.59 JMN1103I-W

終止符がありません。終止符があるものとみなします。

例題

```
[C1103.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION
000002 PROGRAM-ID      C1103
000003 ENVIRONMENT      DIVISION
000004 CONFIGURATION     SECTION
000005 FILE              SECTION
000006 DATA             DIVISION
000007 BASED-STORAGE     SECTION
000008 WORKING-STORAGE    SECTION
000009 CONSTANT          SECTION
000010 END PROGRAM      C1103
```

C1103.cob 1: JMN1103I-W 終止符がありません。終止符があるものとみなします。

C1103.cob 3: JMN1103I-W 終止符がありません。終止符があるものとみなします。

C1103.cob 4: JMN1103I-W 終止符がありません。終止符があるものとみなします。

C1103.cob 6: JMN1103I-W 終止符がありません。終止符があるものとみなします。

C1103.cob 7: JMN1103I-W 終止符がありません。終止符があるものとみなします。

C1103.cob 8: JMN1103I-W 終止符がありません。終止符があるものとみなします。

C1103.cob 9: JMN1103I-W 終止符がありません。終止符があるものとみなします。

2.3.60 JMN1104I-S

プログラム名段落がありません。プログラム名を生成します。

例題

```
[C1104. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 ENVIRONMENT     DIVISION.
000003 DATA            DIVISION.
000004 PROCEDURE        DIVISION.
000005 END PROGRAM      C1104.
```

C1104.cob 2: JMN1104I-S プログラム名段落がありません。プログラム名を生成します。

2.3.61 JMN1105I-W

プログラム名段落は、見出し部の最初に指定しなければなりません。このプログラム名段落が見出し部の最初に指定されたものとみなします。

例題

```
[C1105. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 DATE-COMPILED.  20040402.
000003 PROGRAM-ID.     C1105.
000004 END PROGRAM      C1105.
```

C1105.cob 3: JMN1105I-W プログラム名段落は、見出し部の最初に指定しなければなりません。このプログラム名段落が見出し部の最初に指定されたものとみなします。

2.3.62 JMN1107I-S

プログラム名として指定できない文字列が指定されました。またはプログラム名が指定されていません。プログラム名を生成し、次の段落または部まで無効になります。

例題

```
[C1107. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     1107.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 PROCEDURE        DIVISION.
000006 END PROGRAM      1107.
```

C1107.cob 2: JMN1107I-S プログラム名として指定できない文字列が指定されました。またはプログラム名が指定されていません。プログラム名を生成し、次の段落または部まで無効になります。

詳細な説明

プログラム名は利用者語の規則に従って記述してください。

2.3.63 JMN1110I-S

語COMMONは内部プログラムに限り、指定することができます。

例題

```
[C1110. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1110 COMMON.
000003 END PROGRAM      C1110.
```

C1110.cob 2: JMN1110I-S 語COMMONは内部プログラムに限り、指定することができます。

2.3.64 JMN1111I-S

プログラム名 '@1@' が他のプログラム名段落またはENTRY文ですでに指定されています。プログラム名 '@1@' が無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : プログラム名

例題

```
[C1111. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1111.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 PROGRAM-ID.      C1111.
000005 END PROGRAM      C1111.
000006 END PROGRAM      C1111.
```

C1111.cob 4: JMN1111I-S プログラム名 'C1111' が他のプログラム名段落またはENTRY文ですでに指定されています。プログラム名 'C1111' が無効になります。

2.3.65 JMN1113I-S

構成節は、内部プログラムに指定できません。

例題

```
[C1113. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1113.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION     SECTION.
000005     SPECIAL-NAMES.
000006     SYMBOLIC CONSTANT
000007     NUM1 IS 1234.
000008 IDENTIFICATION DIVISION.
000009 PROGRAM-ID.      P1.
000010 ENVIRONMENT      DIVISION.
000011 CONFIGURATION     SECTION.
000012 END PROGRAM      P1.
000013 END PROGRAM      C1113.
```

C1113.cob 11: JMN1113I-S 構成節は、内部プログラムに指定できません。

2.3.66 JMN1114I-S

構成節は、入出力節の前に指定しなければなりません。

例題

```
[C1114. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1114.
```

```
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 CONFIGURATION    SECTION.
000006 END PROGRAM      C1114.
```

C1114.cob 5: JMN1114I-S 構成節は、入出力節の前に指定しなければなりません。

2.3.67 JMN1115I-S

構成節または入出力節がすでに指定されています。

例題

```
[C1115.cob]
000001 IDENTIFICATION  DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1115.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION     SECTION.
000005 CONFIGURATION     SECTION.
000006 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000007 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000008 END PROGRAM      C1115.
```

C1115.cob 5: JMN1115I-S 構成節または入出力節がすでに指定されています。

C1115.cob 7: JMN1115I-S 構成節または入出力節がすでに指定されています。

2.3.68 JMN1116I-S

構成節または入出力節の各段落がすでに指定されています。

例題

```
[C1116.cob]
000001 IDENTIFICATION  DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1116.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION     SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000008 FILE-CONTROL.
000009 FILE-CONTROL.
000010 END PROGRAM      C1116.
```

C1116.cob 6: JMN1116I-S 構成節または入出力節の各段落がすでに指定されています。

C1116.cob 9: JMN1116I-S 構成節または入出力節の各段落がすでに指定されています。

2.3.69 JMN1117I-S

FILE-CONTROL段落またはSELECT句は、I-O-CONTROL段落の前に指定しなければなりません。

例題

```
[C1117.cob]
000001 IDENTIFICATION  DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1117.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 I-O-CONTROL.
000006 FILE-CONTROL.
000007 END PROGRAM      C1117.
```

C1117.cob 6: JMN1117I-S FILE-CONTROL段落またはSELECT句は、I-O-CONTROL段落の前に指定しなければなりません。

2.3.70 JMN1118I-W

構成節の見出しがありません。あるものとみなします。

例題

```
[C1118. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1118.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 SPECIAL-NAMES.
000005 END PROGRAM      C1118.
```

C1118.cob 4: JMN1118I-W 構成節の見出しがありません。あるものとみなします。

2.3.71 JMN1119I-W

入出力節の見出しがありません。あるものとみなします。

例題

```
[C1119. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1119.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 FILE-CONTROL.
000005 END PROGRAM      C1119.
```

C1119.cob 4: JMN1119I-W 入出力節の見出しがありません。あるものとみなします。

2.3.72 JMN1121I-S

@1@句の構文に誤りがあります。または記号定数'@2@'が定義されていません。

埋め込みの説明

@1@ : 記号定数の指定できる各句

@2@ : 未定義の記号定数

例題

```
[C1121. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1121.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN TO SYS000.
000007 DATA              DIVISION.
000008 FILE                SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT RP-F.
000010 REPORT              SECTION.
000011 RD  RP-F PAGE LIMIT IS CON1.
000012 01  RP1 TYPE RH.
000013 END PROGRAM      C1121.
```

C1121.cob 11: JMN1121I-S PAGE句の構文に誤りがあります。または記号定数'CON1'が定義されていません。

2.3.73 JMN1123I-S

許されない語 '@1@' が現れました。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 認識できない語

例題

```
[C1123.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1123.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 DATA1 PIC X(5). END
000006 PROCEDURE         DIVISION.
000007     MOVE "ABC" TO DATA1
000008 END PROGRAM       C1123.
```

C1123.cob 5: JMN1123I-S 許されない語 'END' が現れました。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

詳細な説明

構文の書き方において、適当ではない語があります。“COBOL文法書”を参照のうえ、正しい書き方に修正してください。

また、半角文字と全角文字の混在した利用者語を記述した場合、コンパイラは半角文字と全角文字の混在を許していないため、その境界までを語とみなします。そのため、境界以後の語に対してこのメッセージが出力されることがあります。

例) 01 あいうABC PIC X. *>JMN1123I-S 許されない語 'ABC' が現れました。 ~

2.3.74 JMN1125I-S

@1@句はすでに指定されています。

埋め込みの説明

@1@ : 句の名前

例題

```
[C1125.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1125.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 DATA1 PIC 9(4) PIC X(5).
000006 01 DATA2 PIC 9(4) VALUE 1234 VALUE 5678.
000007 END PROGRAM       C1125.
```

C1125.cob 5: JMN1125I-S PIC句はすでに指定されています。

C1125.cob 6: JMN1125I-S VALUE句はすでに指定されています。

2.3.75 JMN1126I-S

SELECT句にはファイル名を指定しなければなりません。

例題

```
[C1126.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1126.
000003 ENVIRONMENT       DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
```

```
000005 FILE-CONTROL.  
000006 SELECT ASSIGN TO A.  
000007 END PROGRAM C1126.
```

C1126.cob 6: JMN1126I-S SELECT句にはファイル名を指定しなければなりません.

2.3.76 JMN1127I-S

@1@句の構文に誤りがあります.

埋め込みの説明

@1@: 句の名前

例題

```
[C1127. cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C1127.  
000003 DATA DIVISION.  
000004 WORKING-STORAGE SECTION.  
000005 01 DATA1 PIC S9(4) SIGN VALUE 1.  
000006 END PROGRAM C1127.
```

C1127.cob 5: JMN1127I-S SIGN句の構文に誤りがあります.

2.3.77 JMN1128I-S

FILE記述項にはファイル名を指定しなければなりません.

例題

```
[C1128. cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C1128.  
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.  
000005 FILE-CONTROL.  
000006 SELECT INFILE ASSIGN TO A.  
000007 DATA DIVISION.  
000008 FILE SECTION.  
000009 FD 1234.  
000010 01 INREC PIC X(80).  
000011 END PROGRAM C1128.
```

C1128.cob 9: JMN1128I-S FILE記述項にはファイル名を指定しなければなりません.

2.3.78 JMN1129I-S

語RECURSIVEは外部プログラムに限り, 指定することができます.

例題

```
[C1129. cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C1129.  
000003 PROCEDURE DIVISION.  
000004 PROGRAM-ID. SUB RECURSIVE.  
000005 END PROGRAM SUB.  
000006 END PROGRAM C1129.
```

C1129.cob 4: JMN1129I-S 語RECURSIVEは外部プログラムに限り, 指定することができます.

2.3.79 JMN1130I-S

局所記憶節はINITIAL属性を持たない外部プログラムに限り、指定することができます。

例題

```
[C1130.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1130.
000003 PROCEDURE DIVISION.
000004 PROGRAM-ID.      SUB.
000005 DATA            DIVISION.
000006 LOCAL-STORAGE SECTION.
000007 END PROGRAM      SUB.
000008 END PROGRAM      C1130.
```

C1130.cob 6: JMN1130I-S 局所記憶節はINITIAL属性を持たない外部プログラムに限り、指定することができます。

2.3.80 JMN1131I-S

レベル番号66, 78または88の後にFILLERは指定できません。

例題

```
[C1131.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1131.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A PIC XX.
000006 88 FILLER VALUE "OK".
000007 78 FILLER VALUE A.
000008 66 FILLER RENAMES A THRU B.
000009 END PROGRAM      C1131.
```

C1131.cob 6: JMN1131I-S レベル番号66, 78または88の後にFILLERは指定できません。

C1131.cob 7: JMN1131I-S レベル番号66, 78または88の後にFILLERは指定できません。

C1131.cob 8: JMN1131I-S レベル番号66, 78または88の後にFILLERは指定できません。

2.3.81 JMN1132I-S

レベル番号88には、条件名を指定しなければなりません。

例題

```
[C1132.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1132.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A PIC X(2).
000006 88 VALUE "OK".
000007 END PROGRAM      C1132.
```

C1132.cob 6: JMN1132I-S レベル番号88には、条件名を指定しなければなりません。

2.3.82 JMN1133I-S

条件名記述項には、条件名の直後にVALUE句を指定しなければなりません。

例題

```
[C1133.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1133.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A PIC X(2).
000006 88 RES PIC X(2) VALUE "OK".
000007 END PROGRAM      C1133.
```

C1133.cob 6: JMN1133I-S 条件名記述項には、条件名の直後にVALUE句を指定しなければなりません。

2.3.83 JMN1134I-S

レベル番号66のデータ記述項には、データ名の直後にRENAMES句を指定しなければなりません。

例題

```
[C1134.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1134.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WK-TBL PIC X(10).
000006 66 RE-TBL PIC 9 RENAMES WK-TBL.
000007 END PROGRAM      C1134.
```

C1134.cob 6: JMN1134I-S レベル番号66のデータ記述項には、データ名の直後にRENAMES句を指定しなければなりません。

2.3.84 JMN1141I-S

[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

COMMON, INITIALまたはPROTOTYPEがすでに指定されています。このCOMMON, INITIALまたはPROTOTYPEは無効になります。

[Linux64]

COMMON, INITIALまたはRECURSIVEがすでに指定されています。このCOMMON, INITIALまたはRECURSIVEは無効になります。

例題

```
[C1141.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1141 IS INITIAL INITIAL.
000003 END PROGRAM      C1141.
```

- **[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]**

C1141.cob 2: JMN1141I-S COMMON, INITIALまたはPROTOTYPEがすでに指定されています。このCOMMON, INITIALまたはPROTOTYPEは無効になります。

- **[Linux64]**

C1141.cob 2: JMN1141I-S COMMON, INITIALまたはRECURSIVEがすでに指定されています。このCOMMON, INITIALまたはRECURSIVEは無効になります。

2.3.85 JMN1142I-S

PICTURE文字列に許されない文字が指定されています。PICTURE 9とみなします。

例題

```
[C1142.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1142.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WORK1 PIC F.
000006 END PROGRAM      C1142.
```

C1142.cob 5: JMN1142I-S PICTURE文字列に許されない文字が指定されています。PICTURE 9とみなします。

2.3.86 JMN1143I-S

括弧の中に数字以外の文字は指定できません。PICTURE 9とみなします。

例題

```
[C1143.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1143.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WORK1 PIC X(A).
000006 END PROGRAM      C1143.
```

C1143.cob 5: JMN1143I-S 括弧の中に数字以外の文字は指定できません。PICTURE 9とみなします。

2.3.87 JMN1144I-S

PICTURE文字列中の括弧の中の数字がゼロであるか、または有効な数字が指定されていません。1とみなします。

例題

```
[C1144.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1144.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WORK1 PIC X(0).
000006 END PROGRAM      C1144.
```

C1144.cob 5: JMN1144I-S PICTURE文字列中の括弧の中の数字がゼロであるか、または有効な数字が指定されていません。1とみなします。

2.3.88 JMN1145I-S

左括弧に対応する右括弧が指定されていません。PICTURE 9とみなします。

例題

```
[C1145.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1145.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WORK1 PIC X(10.
000006 END PROGRAM      C1145.
```

C1145.cob 5: JMN1145I-S 左括弧に対応する右括弧が指定されていません。PICTURE 9とみなします。

2.3.89 JMN1146I-S

PICTURE句の括弧の中の数字, または連続する同一文字の長さは, 2147483647以下でなければなりません. 2147483647とみなします.

例題

```
[C1146.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1146.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WORK1 PIC X(2147483648).
000006 END PROGRAM      C1146.
```

C1146.cob 5: JMN1146I-S PICTURE句の括弧の中の数字, または連続する同一文字の長さは, 2147483647以下でなければなりません. 2147483647とみなします.

2.3.90 JMN1147I-S

'CR'および'DB'は, PICTURE文字列の最後に指定されなければなりません. PICTURE 9とみなします.

例題

```
[C1147.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1147.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WORK1 PIC 9CR9.
000006 END PROGRAM      C1147.
```

C1147.cob 5: JMN1147I-S 'CR'および'DB'は, PICTURE文字列の最後に指定されなければなりません. PICTURE 9とみなします.

2.3.91 JMN1148I-S

DECLARATIVESに対応するEND DECLARATIVESが指定されていません. END DECLARATIVESが指定されたものとみなします.

例題

```
[C1148.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1148.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION     SECTION.
000005 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT INMSG
000008     ASSIGN TO INFILE.
000009 DATA             DIVISION.
000010 FILE              SECTION.
000011 FD INMSG.
000012 01 MSGFORM      PIC X(50).
000013 PROCEDURE        DIVISION.
000014 DECLARATIVES.
000015 IO-ERR             SECTION.
000016     USE AFTER EXCEPTION PROCEDURE INMSG.
000017 END PROGRAM C1148.
```

C1148.cob 16: JMN1148I-S DECLARATIVESに対応するEND DECLARATIVESが指定されていません. END DECLARATIVESが指定されたものとみなします.

2.3.92 JMN1149I-W

レベル番号01または77は、A領域から指定しなければなりません。A領域から指定されたものとみなします。

例題

```
[C1149. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1149.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     01 WORK1 PIC X.
000006     77 WORK2 PIC 9.
000007 END PROGRAM      C1149.
```

C1149.cob 5: JMN1149I-W レベル番号01または77は、A領域から指定しなければなりません。A領域から指定されたものとみなします。

C1149.cob 6: JMN1149I-W レベル番号01または77は、A領域から指定しなければなりません。A領域から指定されたものとみなします。

2.3.93 JMN1150I-S

TRACK-AREA句の整数は、32760以内でなければなりません。32760とみなします。

例題

```
[C1150. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1150.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT MSGFILE ASSIGN TO I-INFILE
000007     ACCESS MODE IS RANDOM
000008     RECORD KEY IS INFNUM
000009     NOMINAL KEY IS WINF
000010     TRACK-AREA IS 32761 CHARACTERS
000011 .
000012 DATA             DIVISION.
000013 FILE                SECTION.
000014 FD MSGFILE.
000015 01 INFDAT.
000016 02 INFNUM PIC S9(8) BINARY.
000017 02 INFMSG PIC X(50).
000018 WORKING-STORAGE SECTION.
000019 01 WINF PIC S9(8) BINARY.
000020 END PROGRAM      C1150.
```

C1150.cob 10: JMN1150I-S TRACK-AREA句の整数は、32760以内でなければなりません。32760とみなします。

2.3.94 JMN1151I-S

@1@句の整数は32767以下でなければなりません。32767とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 句の名前

例題

```
[C1151. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1151.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
```

```

000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT MSGFILE ASSIGN TO D-INFILE
000007     TRACK-LIMIT IS 32768
000008
000009 DATA          DIVISION.
000010 FILE          SECTION.
000011 FD MSGFILE.
000012 01 INFDAT.
000013 02 INFNUM      PIC S9(8) BINARY.
000014 02 INFMSG      PIC X(50).
000015 END PROGRAM    C1151.

```

C1151.cob 7: JMN1151I-S TRACK-LIMIT句の整数は32767以下でなければなりません。32767とみなします。

2.3.95 JMN1154I-S

LINAGE句のFOOTING, TOP, またはBOTTOMの指定に誤りがあります。

例題

```

[C1154.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1154.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT INFILE ASSIGN TO IN-F.
000007 DATA              DIVISION.
000008 FILE                SECTION.
000009 FD INFILE
000010     LINAGE IS 10
000011     WITH AT 1234.
000012 01 INREC PIC X(80).
000013 END PROGRAM      C1154.

```

C1154.cob 11: JMN1154I-S LINAGE句のFOOTING, TOP, またはBOTTOMの指定に誤りがあります。

2.3.96 JMN1155I-S

REDEFINES句のデータ名は修飾できません。修飾語は無効になります。

例題

```

[C1155.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1155.
000003 DATA              DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WORK1.
000006 02 CHR PIC X(10) VALUE "ABCDEFGHIJ".
000007 01 WK2 REDEFINES WORK1 OF WK1.
000008 02 CHR PIC X(10).
000009 END PROGRAM      C1155.

```

C1155.cob 7: JMN1155I-S REDEFINES句のデータ名は修飾できません。修飾語は無効になります。

2.3.97 JMN1156I-W

このコンパイラが注釈として扱う構文に誤りがあります。この構文が無効になります。

例題

```
[C1156.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1156.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT MSGFILE ASSIGN TO F-INFILE
000007     FILE-LIMIT IS "256" THRU "512"
000008
000009 DATA              DIVISION.
000010 FILE              SECTION.
000011 FD MSGFILE.
000012 01 INFDAT.
000013 02 INFNUM          PIC S9(8) BINARY.
000014 02 INFMSG         PIC X(50).
000015 END PROGRAM      C1156.
```

C1156.cob 7: JMN1156I-W このコンパイラが注釈として扱う構文に誤りがあります。この構文が無効になります。

詳細な説明

注釈として扱う構文(廃要素)に誤りがありますが、元来、注釈として扱われるため、プログラムの動作には影響しません。

2.3.98 JMN1158I-W

SAME句にはファイル名を二つ以上指定しなければなりません。そのまま受け入れます。

例題

```
[C1158.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1158.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE1 ASSIGN TO F1.
000007     SELECT FILE2 ASSIGN TO F2.
000008 I-O-CONTROL.
000009     SAME FILE1.
000010 DATA              DIVISION.
000011 FILE              SECTION.
000012 FD FILE1.
000013 01 REC1.
000014 02 RECNO1          PIC S9(8) BINARY.
000015 FD FILE2.
000016 01 REC2.
000017 02 RECNO2          PIC S9(8) BINARY.
000018 END PROGRAM      C1158.
```

C1158.cob 9: JMN1158I-W SAME句にはファイル名を二つ以上指定しなければなりません。そのまま受け入れます。

2.3.99 JMN1159I-S

RERUN句中のファイル識別名 '@1@' の名前に誤りがあります。

埋め込みの説明

@1@ : ファイル識別名

例題

```
[C1159.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1159.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT MSGFILE ASSIGN TO INFILE.
000007 I-O-CONTROL.
000008     RERUN ON A1-DB-1.
000009 DATA             DIVISION.
000010 FILE              SECTION.
000011 FD MSGFILE.
000012 01 INFDT.
000013 02 INFNUM         PIC S9(8) BINARY.
000014 02 INFMSG        PIC X(50).
000015 END PROGRAM      C1159.
```

C1159.cob 8: JMN1159I-S RERUN句中のファイル識別名'A1-DB-1'の名前に誤りがあります。

2.3.100 JMN1161I-S

RERUN句のRECORD指定の整数の値は1から2147483647の範囲になければなりません。

例題

```
[C1161.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1161.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT MSGFILE ASSIGN TO INFILE.
000007 I-O-CONTROL.
000008     RERUN ON INFILE 0 RECORDS OF MSGFILE.
000009 DATA             DIVISION.
000010 FILE              SECTION.
000011 FD MSGFILE.
000012 01 INFDT.
000013 02 INFNUM         PIC S9(8) BINARY.
000014 02 INFMSG        PIC X(50).
000015 END PROGRAM      C1161.
```

C1161.cob 8: JMN1161I-S RERUN句のRECORD指定の整数の値は1から2147483647の範囲になければなりません。

2.3.101 JMN1162I-S

@1@句にファイル名の指定がないか、または構文に誤りがあります。

埋め込みの説明

@1@ : 句の名前

例題

```
[C1162.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1162.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT MSGFILE ASSIGN TO INFILE.
```



```

000007 I-O-CONTROL.
000008     APPLY RECORD-OVERFLOW ON "MSGFILE".
000009 DATA          DIVISION.
000010 FILE           SECTION.
000011 FD MSGFILE.
000012 01 INFDAT.
000013 02 INFNUM      PIC S9(8) BINARY.
000014 02 INFMSG      PIC X(50).
000015 END PROGRAM    C1162.

```

C1162.cob 8: JMN1162I-S APPLY RECORD-OVERFLOW句にファイル名の指定がないか、または構文に誤りがあります。

2.3.102 JMN1163I-S

APPLY句の構文に誤りがあります。

例題

```

[C1163. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1163.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT MSGFILE ASSIGN TO INFILE.
000007 I-O-CONTROL.
000008     APPLY OVERFLOW ON MSGFILE.
000009 DATA          DIVISION.
000010 FILE           SECTION.
000011 FD MSGFILE.
000012 01 INFDAT.
000013 02 INFNUM      PIC S9(8) BINARY.
000014 02 INFMSG      PIC X(50).
000015 END PROGRAM    C1163.

```

C1163.cob 8: JMN1163I-S APPLY句の構文に誤りがあります。

2.3.103 JMN1164I-S

MULTIPLE FILE TAPE句で、語FILEは省略できません。語FILEが指定されたものとみなします。

例題

```

[C1164. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1164.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT MSGFILE ASSIGN TO INFILE.
000007 I-O-CONTROL.
000008     MULTIPLE TAPE MSGFILE.
000009 DATA          DIVISION.
000010 FILE           SECTION.
000011 FD MSGFILE.
000012 01 INFDAT.
000013 02 INFNUM      PIC S9(8) BINARY.
000014 02 INFMSG      PIC X(50).
000015 END PROGRAM    C1164.

```

C1164.cob 8: JMN1164I-S MULTIPLE FILE TAPE句で、語FILEは省略できません。語FILEが指定されたものとみなします。

2.3.104 JMN1165I-S

MULTIPLE FILE TAPE句の構文に誤りがあります。

例題

```
[C1165.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1165.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT MSGFILE ASSIGN TO INFILE.
000007 I-O-CONTROL.
000008     MULTIPLE FILE TAPE "MSGFILE".
000009 DATA              DIVISION.
000010 FILE              SECTION.
000011 FD MSGFILE.
000012 01 INFDAT.
000013 02 INFNUM        PIC S9(8) BINARY.
000014 02 INFMSG        PIC X(50).
000015 END PROGRAM      C1165.
```

C1165.cob 8: JMN1165I-S MULTIPLE FILE TAPE句の構文に誤りがあります。

2.3.105 JMN1166I-S

MULTIPLE FILE TAPE句中のPOSITIONには整数を指定しなければなりません。

例題

```
[C1166.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1166.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT MSGFILE ASSIGN TO INFILE.
000007 I-O-CONTROL.
000008     MULTIPLE FILE TAPE MSGFILE POSITION CNT.
000009 DATA              DIVISION.
000010 FILE              SECTION.
000011 FD MSGFILE.
000012 01 INFDAT.
000013 02 INFNUM        PIC S9(8) BINARY.
000014 02 INFMSG        PIC X(50).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 CNT           PIC S9(4) BINARY.
000017 END PROGRAM      C1166.
```

C1166.cob 8: JMN1166I-S MULTIPLE FILE TAPE句中のPOSITIONには整数を指定しなければなりません。

2.3.106 JMN1167I-W

I-O-CONTROL段落で、終止符は段落の最後にしか指定できません。終止符は無効になります。

例題

```
[C1167.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1167.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
```

```

000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT INFILE  ASSIGN TO INDATA.
000007     SELECT OUTFILE ASSIGN TO OUTDATA.
000008 I-O-CONTROL.
000009     MULTIPLE FILE TAPE INFILE.
000010     SAME INFILE OUTFILE.
000011 DATA          DIVISION.
000012 FILE            SECTION.
000013 FD INFILE.
000014 01 INFDAT.
000015 02 INFNUM      PIC S9(8) BINARY.
000016 02 INFMSG     PIC X(50).
000017 FD OUTFILE.
000018 01 OUTDAT.
000019 02 OUTFNUM    PIC S9(8) BINARY.
000020 02 OUTMSG     PIC X(50).
000021 END PROGRAM   C1167.

```

C1167.cob 9: JMN1167I-W I-O-CONTROL段落で、終止符は段落の最後にしか指定できません。終止符は無効になります。

2.3.107 JMN1183I-S

OCCURS句の整数は、TO指定の整数以下でなければなりません。TO指定の整数と同じ整数が指定されたものとみなします。

例題

```

[C1183.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1183.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WK-TBL.
000006 02 WK              PIC X OCCURS 3 TO 1
000007                  DEPENDING ON LENGCNT.
000008 01 LENGCNT        PIC S9(4) BINARY.
000009 END PROGRAM        C1183.

```

C1183.cob 6: JMN1183I-S OCCURS句の整数は、TO指定の整数以下でなければなりません。TO指定の整数と同じ整数が指定されたものとみなします。

2.3.108 JMN1184I-S

OCCURS句で最大の反復回数を指定したときには、DEPENDENT ON指定も記述しなければなりません。最大の反復回数を一定の反復回数とみなします。

例題

```

[C1184.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1184.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WK-TBL.
000006 02 WK              PIC X OCCURS 1 TO 10.
000007 01 LENGCNT        PIC S9(4) BINARY.
000008 END PROGRAM        C1184.

```

C1184.cob 6: JMN1184I-S OCCURS句で最大の反復回数を指定したときには、DEPENDENT ON指定も記述しなければなりません。最大の反復回数を一定の反復回数とみなします。

詳細な説明

OCCURS句のTO指定を指定した場合、DEPENDING ON指定を記述してください。

2.3.109 JMN1185I-S

OCCURS句の一定の反復回数または最大の反復回数は1以上でなければなりません。1が指定されたものとみなします。

例題

```
[C1185.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1185.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WK-TBL.
000006 02 WK PIC 9 OCCURS 0.
000007 END PROGRAM      C1185.
```

C1185.cob 6: JMN1185I-S OCCURS句の一定の反復回数または最大の反復回数は1以上でなければなりません。1が指定されたものとみなします。

2.3.110 JMN1187I-S

レベル指示語SDの直後は、ファイル名でなければなりません。この記述項は無効にし、次の部、節、レベル指示語、またはレベル番号まで読み飛ばします。

例題

```
[C1187.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1187.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SORTFILE ASSIGN TO S-FILE.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 SD 1234.
000010 01 SORTREC PIC X(80).
000011 END PROGRAM      C1187.
```

C1187.cob 9: JMN1187I-S レベル指示語SDの直後は、ファイル名でなければなりません。この記述項は無効にし、次の部、節、レベル指示語、またはレベル番号まで読み飛ばします。

2.3.111 JMN1188I-S

表示ファイルの場合、PROCESSING MODE句はデータ名を指定しなければなりません。

例題

```
[C1188.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1188.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN GS-DISP
000007     SYMBOLIC DESTINATION IS "DSP"
000008     PROCESSING MODE IS SEQUENTIAL
000009 .
000010 DATA             DIVISION.
```

```

000011 FILE          SECTION.
000012 FD  IN-F.
000013 01  IN-R PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 END PROGRAM    C1188.

```

C1188.cob 8: JMN1188I-S 表示ファイルの場合, PROCESSING MODE句はデータ名を指定しなければなりません.

2.3.112 JMN1190I-S

@1@句は, 表示ファイル以外には指定できません.

埋め込みの説明

@1@ : 表示ファイルの句名

例題

```

[C1190.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1190.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN SYS000
000007     SYMBOLIC DESTINATION IS "DSP"
000008 .
000009 DATA             DIVISION.
000010 FILE               SECTION.
000011 FD  IN-F.
000012 01  IN-R PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 END PROGRAM        C1190.

```

C1190.cob 7: JMN1190I-S SYMBOLIC DESTINATION句は, 表示ファイル以外には指定できません.

詳細な説明

ヒント: 表示ファイルのファイル識別名にはプレフィックスに"GS"が必要です.

2.3.113 JMN1193I-S

FORMAT句は, 表示ファイルまたは順ファイル以外に指定できません.

例題

```

[C1193.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1193.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT MSGFILE ASSIGN TO INFILE
000007     ORGANIZATION IS INDEXED
000008     RECORD KEY      IS INFNUM
000009     FORMAT          IS WINF
000010 .
000011 DATA             DIVISION.
000012 FILE               SECTION.
000013 FD MSGFILE.
000014 01 INFDAT.
000015 02 INFNUM        PIC S9(8) BINARY.
000016 02 INFMSG        PIC X(50).
000017 WORKING-STORAGE SECTION.

```

```
000018 01 WINF          PIC X(8).
000019 END PROGRAM      C1193.
```

C1193.cob 9: JMN1193I-S FORMAT句は、表示ファイルまたは順ファイル以外に指定できません。

2.3.114 JMN1194I-S

GROUP句は、表示ファイルまたはFORMAT句指定の印刷ファイル以外には指定できません。

例題

```
[C1194.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1194.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT MSGFILE ASSIGN TO INFILE
000007     ORGANIZATION IS SEQUENTIAL
000008     GROUP            IS WGRP
000009 .
000010 DATA              DIVISION.
000011 FILE                SECTION.
000012 FD MSGFILE.
000013 01 INFDT.
000014 02 INFNUM          PIC S9(8) BINARY.
000015 02 INFMSG          PIC X(50).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 01 WGRP            PIC X(8).
000018 END PROGRAM        C1194.
```

C1194.cob 8: JMN1194I-S GROUP句は、表示ファイルまたはFORMAT句指定の印刷ファイル以外には指定できません。

2.3.115 JMN1195I-S

表示ファイルの場合、ACCESS MODE句にはSEQUENTIALを指定しなければなりません。SEQUENTIALが指定されたものとみなします。

例題

```
[C1195.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1195.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN GS-DISP
000007     SYMBOLIC DESTINATION IS "DSP"
000008     ACCESS MODE IS RANDOM
000009 .
000010 DATA              DIVISION.
000011 FILE                SECTION.
000012 FD IN-F.
000013 01 IN-R             PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 END PROGRAM        C1195.
```

C1195.cob 8: JMN1195I-S 表示ファイルの場合、ACCESS MODE句にはSEQUENTIALを指定しなければなりません。SEQUENTIALが指定されたものとみなします。

2.3.116 JMN1197I-S

MESSAGE MODE句, MESSAGE CLASS句, MESSAGE OWNER句またはMESSAGE CODE句の構文に誤りがあります。

例題

```
[C1197.cob]
000001 @OPTIONS
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C1197.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT GSFILE ASSIGN TO GS-DD1
000008             SYMBOLIC DESTINATION IS "ACM"
000009             MESSAGE .
000010 DATA      DIVISION.
000011 FILE      SECTION.
000012 FD      GSFILE.
000013 01      GSREC1.
000014 02      GSREC11    PIC X(80).
```

C1197.cob 9: JMN1197I-S MESSAGE MODE句, MESSAGE CLASS句, MESSAGE OWNER句またはMESSAGE CODE句の構文に誤りがあります。

2.3.117 JMN1198I-S

SYMBOLIC CONSTANT句の定数は、数字定数、文字定数、日本語定数、ブール定数、16進文字定数またはポインタ定数でなければなりません。

例題

```
[C1198.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1198.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION      SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     SYMBOLIC CONSTANT
000007     CON1 IS CON1.
000008 END PROGRAM      C1198.
```

C1198.cob 7: JMN1198I-S SYMBOLIC CONSTANT句の定数は、数字定数、文字定数、日本語定数、ブール定数、16進文字定数またはポインタ定数でなければなりません。

2.3.118 JMN1207I-S

@1@句が重複しています。

埋め込みの説明

@1@ : 句の名前

例題

```
[C1207.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1207.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION      SECTION.
000005 SOURCE-COMPUTER.  COMS01
000006     WITH DEBUGGING MODE
000007     WITH DEBUGGING MODE.
000008 END PROGRAM      C1207.
```

C1207.cob 7: JMN1207I-S DEBUGGING句が重複しています。

2.3.119 JMN1208I-S

PROGRAM COLLATING SEQUENCE句の構文に誤りがあります。

例題

```
[C1208.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1208.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 OBJECT-COMPUTER. COMS1
000006 PROGRAM SEQUENCE.
000007 END PROGRAM C1208.
```

C1208.cob 6: JMN1208I-S PROGRAM COLLATING SEQUENCE句の構文に誤りがあります。

2.3.120 JMN1209I-S

ALPHABET句はSYMBOLIC CHARACTERS句より前に指定しなければなりません。

例題

```
[C1209.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1209.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006 SYMBOLIC CHARACTERS
000007 MCHR IS 10
000008 ALPHABET
000009 ABC IS NATIVE.
000010 END PROGRAM C1209.
```

C1209.cob 8: JMN1209I-S ALPHABET句はSYMBOLIC CHARACTERS句より前に指定しなければなりません。

2.3.121 JMN1213I-S

機能名句に呼び名が指定されていません。

例題

```
[C1213.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1213.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006 SYSOUT.
000007 END PROGRAM C1213.
```

C1213.cob 6: JMN1213I-S 機能名句に呼び名が指定されていません。

2.3.122 JMN1214I-S

外部スイッチに関する機能名句に呼び名またはスイッチ状態条件名が指定されていません。

例題

```
[C1214. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1214.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006 SWITCH-O.
000007 END PROGRAM      C1214.
```

C1214.cob 6: JMN1214I-S 外部スイッチに関する機能名句に呼び名またはスイッチ状態条件名が指定されていません。

2.3.123 JMN1215I-S

ON/OFF STATUS句に条件名の指定がありません。

例題

```
[C1215. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1215.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006 SWITCH-O IS ST0
000007 ON STATUS.
000008 END PROGRAM      C1215.
```

C1215.cob 7: JMN1215I-S ON/OFF STATUS句に条件名の指定がありません。

2.3.124 JMN1216I-S

機能名句またはALPHABET句の構文に誤りがあります。

例題

```
[C1216. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1216.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006 ALPHABET ABC IS DD.
000007 END PROGRAM      C1216.
```

C1216.cob 6: JMN1216I-S 機能名句またはALPHABET句の構文に誤りがあります。

2.3.125 JMN1217I-S

ALPHABET句またはCLASS句で、数字定数は1以上で256以下でなければなりません。0は1と、256以上は256とみなします。

例題

```
[C1217. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1217.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
```

```
000006     ALPHABET ABC IS 257.  
000007 END PROGRAM      C1217.
```

C1217.cob 6: JMN1217I-S ALPHABET句またはCLASS句で、数字定数は1以上で256以下でなければなりません。0は1と、256以上は256とみなします。

2.3.126 JMN1218I-S

ALPHABET句で、文字定数は長さが1バイトでなければなりません。先頭1バイトを文字定数とみなします。

例題

```
[C1218. cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      C1218.  
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.  
000004 CONFIGURATION    SECTION.  
000005 SPECIAL-NAMES.  
000006     ALPHABET ABC IS "ABC" THRU "XYZ".  
000007 END PROGRAM      C1218.
```

C1218.cob 6: JMN1218I-S ALPHABET句で、文字定数は長さが1バイトでなければなりません。先頭1バイトを文字定数とみなします。

C1218.cob 6: JMN1218I-S ALPHABET句で、文字定数は長さが1バイトでなければなりません。先頭1バイトを文字定数とみなします。

2.3.127 JMN1219I-S

ALPHABET句で、固有文字集合における各文字に対応する定数は、ただ一度しか指定できません。

例題

```
[C1219. cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      C1219.  
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.  
000004 CONFIGURATION    SECTION.  
000005 SPECIAL-NAMES.  
000006     ALPHABET ABC IS "A" THRU "A".  
000007 END PROGRAM      C1219.
```

C1219.cob 6: JMN1219I-S ALPHABET句で、固有文字集合における各文字に対応する定数は、ただ一度しか指定できません。

2.3.128 JMN1220I-S

SYMBOLIC CHARACTERS句の構文に誤りがあります。

例題

```
[C1220. cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      C1220.  
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.  
000004 CONFIGURATION    SECTION.  
000005 SPECIAL-NAMES.  
000006     ALPHABET ALP IS "A" THRU "Z"  
000007     SYMBOLIC CHARACTERS  
000008     TAB IS 10 IN  
000009  
000010 END PROGRAM      C1220.
```

C1220.cob 7: JMN1220I-S SYMBOLIC CHARACTERS句の構文に誤りがあります。

2.3.129 JMN1221I-S

SYMBOLIC CHARACTERS句の記号文字と整数は対応していなければなりません。

例題

```
[C1221.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1221.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     ALPHABET ALP IS "A" THRU "Z"
000007     SYMBOLIC CHARACTERS
000008     TAB IS 10 11 12
000009     .
000010 END PROGRAM      C1221.
```

C1221.cob 7: JMN1221I-S SYMBOLIC CHARACTERS句の記号文字と整数は対応していなければなりません。

2.3.130 JMN1222I-S

SYMBOLIC CHARACTERS句の整数は256以下でなければなりません。整数を256とみなします。

例題

```
[C1222.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1222.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     ALPHABET ALP IS "A" THRU "Z"
000007     SYMBOLIC CHARACTERS
000008     TAB IS 257
000009     .
000010 END PROGRAM      C1222.
```

C1222.cob 8: JMN1222I-S SYMBOLIC CHARACTERS句の整数は256以下でなければなりません。整数を256とみなします。

2.3.131 JMN1223I-S

CLASS句の構文に誤りがあります。

例題

```
[C1223.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1223.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     CLASS CHAR1 IS.
000007 END PROGRAM      C1223.
```

C1223.cob 6: JMN1223I-S CLASS句の構文に誤りがあります。

2.3.132 JMN1224I-S

CLASS句でTHROUGH指定を記述する場合、文字定数の長さは1でなければなりません。先頭1文字を文字定数とみなします。

例題

```
[C1224.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1224.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     CLASS ABC IS "ABC" THRU "XYZ".
000007 END PROGRAM      C1224.
```

C1224.cob 6: JMN1224I-S CLASS句でTHROUGH指定を記述する場合、文字定数の長さは1でなければなりません。先頭1文字を文字定数とみなします。

C1224.cob 6: JMN1224I-S CLASS句でTHROUGH指定を記述する場合、文字定数の長さは1でなければなりません。先頭1文字を文字定数とみなします。

2.3.133 JMN1225I-S

BLOCK CONTAINS句の構文に誤りがあります。

例題

```
[C1225.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1225.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT INFILE ASSIGN TO IN-F.
000007 DATA              DIVISION.
000008 FILE                SECTION.
000009 FD  INFILE  BLOCK CONTAINS WCNT.
000010 01  INREC  PIC X(80).
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01  WCNT   PIC S9(4) BINARY.
000013 END PROGRAM      C1225.
```

C1225.cob 9: JMN1225I-S BLOCK CONTAINS句の構文に誤りがあります。

2.3.134 JMN1227I-S

BLOCK CONTAINS句に指定された整数が32760を越えています。32760とみなします。

例題

```
[C1227.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1227.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT INFILE ASSIGN TO IN-F.
000007 DATA              DIVISION.
000008 FILE                SECTION.
000009 FD  INFILE  BLOCK CONTAINS 32761.
000010 01  INREC  PIC X(80).
000011 END PROGRAM      C1227.
```

C1227.cob 9: JMN1227I-S BLOCK CONTAINS句に指定された整数が32760を越えています。32760とみなします。

2.3.135 JMN1228I-S

BLOCK CONTAINS句のブロックの最小の大きさは最大の大きさより小さくなければなりません。最小の大きさを最大の大きさとみなします。

例題

```
[C1228.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1228.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN TO ABC.
000007 DATA              DIVISION.
000008 FILE                SECTION.
000009 FD  IN-F BLOCK CONTAINS 10 TO 1.
000010 01  IN-R PIC X(80).
000011 END PROGRAM      C1228.
```

C1228.cob 9: JMN1228I-S BLOCK CONTAINS句のブロックの最小の大きさは最大の大きさより小さくなければなりません。最小の大きさを最大の大きさとみなします。

2.3.136 JMN1229I-S

RECORD句の構文に誤りがあります。

例題

```
[C1229.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1229.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN TO SYS006.
000007 DATA              DIVISION.
000008 FILE                SECTION.
000009 FD  IN-F RECORD.
000010 01  IN-R PIC X(80).
000011 END PROGRAM      C1229.
```

C1229.cob 9: JMN1229I-S RECORD句の構文に誤りがあります。

2.3.137 JMN1231I-S

RECORD句のデータレコードの最小文字数は、最大文字数より小さくなければなりません。最小文字数を最大文字数とみなします。

例題

```
[C1231.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1231.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN TO SYS006.
000007 DATA              DIVISION.
000008 FILE                SECTION.
000009 FD  IN-F RECORD 80 TO 10.
```

```
000010 01  IN-R  PIC X(80).
000011 END PROGRAM      C1231.
```

C1231.cob 9: JMN1231I-S RECORD句のデータレコードの最小文字数は、最大文字数より小さくなければなりません。最小文字数を最大文字数とみなします。

2.3.138 JMN1232I-S

RECORD CONTAINS句には、整数を指定しなければなりません。

例題

```
[C1232.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1232.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN TO SYS006.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE               SECTION.
000009 FD  IN-F RECORD CONTAINS RECCNT.
000010 01  IN-R  PIC X(80).
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01  RECCNT      PIC S9(4) BINARY.
000013 END PROGRAM      C1232.
```

C1232.cob 9: JMN1232I-S RECORD CONTAINS句には、整数を指定しなければなりません。

2.3.139 JMN1233I-S

条件名のVALUE句の構文に誤りがあります。

例題

```
[C1233.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1233.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01  ST1  PIC 9.
000006 88  FLG  VALUE ALL 9.
000007 END PROGRAM      C1233.
```

C1233.cob 6: JMN1233I-S 条件名のVALUE句の構文に誤りがあります。

2.3.140 JMN1234I-S

RENAMES句の構文に誤りがあります。

例題

```
[C1234.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1234.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01  WK-TBL.
000006     02  WK1  PIC X.
000007     02  WK2  PIC X.
000008     02  WK3  PIC X.
```

```
000009 66 RNM1 RENAMES "WK-TBL".
000010 END PROGRAM C1234.
```

C1234.cob 9: JMN1234I-S RENAMES句の構文に誤りがあります。

2.3.141 JMN1236I-S

サブスキーマ名は8文字以下でなければなりません。

例題

```
[C1236.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1236.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SUBSCHEMA-NAME. "ABCDEFGH1".
000006 END PROGRAM C1236.
```

C1236.cob 5: JMN1236I-S サブスキーマ名は8文字以下でなければなりません。

2.3.142 JMN1237I-S

サブスキーマ名として許されない文字列 '@1@' が指定されました。

埋め込みの説明

@1@ : サブスキーマ名

例題

```
[C1237.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1237.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SUBSCHEMA-NAME. "ABCDEF!H".
000006 END PROGRAM C1237.
```

C1237.cob 5: JMN1237I-S サブスキーマ名として許されない文字列 'ABCDEF!H' が指定されました。

詳細な説明

サブスキーマ名は、英大文字(A～Z)、数字(0～9)で構成されなくてはなりません。

2.3.143 JMN1238I-S

サブスキーマ名の指定がありません。

例題

```
[C1238.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1238.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SUBSCHEMA-NAME. ABCDEF.
000006 END PROGRAM C1238.
```

C1238.cob 5: JMN1238I-S サブスキーマ名の指定がありません。

詳細な説明

サブスキーマ名は以下の条件に当てはまる文字定数で記述します。

- ・ 8文字以内
- ・ A～Z, 0～9で構成されている

2.3.144 JMN1239I-S

サブスキーマ名段落の構文に誤りがあります。

例題

```
[C1239. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1239.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SUBSCHEMA-NAME.  "ABCDEF" IS PROTOTYPE.
000006 END PROGRAM      C1239.
```

C1239.cob 5: JMN1239I-S サブスキーマ名段落の構文に誤りがあります。

2.3.145 JMN1240I-S

サブスキーマ名段落の終わりに終止符の指定がありません。

例題

```
[C1240. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1240.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SUBSCHEMA-NAME.  "ABCDEF"
000006 END PROGRAM      C1240.
```

C1240.cob 5: JMN1240I-S サブスキーマ名段落の終わりに終止符の指定がありません。

2.3.146 JMN1241I-S

サブスキーマ名段落にEXTERNALまたはGLOBALが多重に指定されています。

例題

```
[C1241. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1241.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SUBSCHEMA-NAME.  "ABCDEF" GLOBAL GLOBAL.
000006 END PROGRAM      C1241.
```

C1241.cob 5: JMN1241I-S サブスキーマ名段落にEXTERNALまたはGLOBALが多重に指定されています。

2.3.147 JMN1242I-S

SYMBOLIC CHARACTERS句の符号系名 '@1@' が未定義です。

埋め込みの説明

@1@ : 符号系名

例題

```
[C1242. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1242.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     ALPHABET ALP01 IS "A" THRU "Z"
000007             "a" THRU "z"
000008     SYMBOLIC CHARACTERS
000009     TAB IS 10 IN ALP.
000010 END PROGRAM      C1242.
```

C1242.cob 8: JMN1242I-S SYMBOLIC CHARACTERS句の符号系名'ALP'が未定義です。

2.3.148 JMN1243I-S

SYMBOLIC CHARACTERS句の符号系名は、STANDARD-1、STANDARD-2、NATIVEまたは定数に対応していません。

例題

```
[C1243. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1243.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     ALPHABET HUG01 IS CODE-1
000007     SYMBOLIC CHARACTERS A IS 12 IN HUG01.
000008 END PROGRAM      C1243.
```

C1243.cob 7: JMN1243I-S SYMBOLIC CHARACTERS句の符号系名は、STANDARD-1、STANDARD-2、NATIVEまたは定数に対応していません。

2.3.149 JMN1244I-W

LABEL RECORDS句にRECORDまたはRECORDSの指定がありません。指定されたものとみなします。

例題

```
[C1244. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1244.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN TO INFILE.
000007 DATA          DIVISION.
000008 FILE          SECTION.
000009 FD   IN-F LABEL IS STANDARD.
000010 01   IN-R PIC X(80).
000011 END PROGRAM      C1244.
```

C1244.cob 9: JMN1244I-W LABEL RECORDS句にRECORDまたはRECORDSの指定がありません。指定されたものとみなします。

2.3.150 JMN1246I-W

節の見出しが指定されていません。FDまたはSDならばファイル節、RDならば報告書節、レベル番号ならば作業場所節の見出しがあるものとみなします。

例題

```
[C1246. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1246.
000003 DATA            DIVISION.
000004 01 DATA-1 PIC 9(4).
000005 END PROGRAM      C1246.
```

C1246.cob 4: JMN1246I-W 節の見出しが指定されていません。FDまたはSDならばファイル節, RDならば報告書節, レベル番号ならば作業場所節の見出しがあるものとみなします。

2.3.151 JMN1253I-S

66レベル項目は、レベル番号01～49の項目かレベル番号66の項目を先行して指定しなければなりません。66レベル項目は無効になります。

例題

```
[C1253. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1253.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 66 TBL RENAMES DATA-TBL.
000006 01 DATA-TBL.
000007 02 A PIC X.
000008 02 B PIC 9.
000009 END PROGRAM      C1253.
```

C1253.cob 5: JMN1253I-S 66レベル項目は、レベル番号01～49の項目かレベル番号66の項目を先行して指定しなければなりません。66レベル項目は無効になります。

2.3.152 JMN1254I-S

ファイル節に77レベル項目は指定できません。01レベル項目とみなします。

例題

```
[C1254. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1254.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA            DIVISION.
000008 FILE            SECTION.
000009 FD IN-F.
000010 01 IN-R PIC X(80).
000011 77 DATA-1 PIC 9 VALUE ZERO.
000012 END PROGRAM      C1254.
```

C1254.cob 11: JMN1254I-S ファイル節に77レベル項目は指定できません。01レベル項目とみなします。

2.3.153 JMN1255I-S

01レベル項目の指定なしに02～49レベル項目が指定されています。01レベル項目とみなします。

例題

```
[C1255.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1255.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 02 DATA-1 PIC X.
000006 END PROGRAM      C1255.
```

C1255.cob 5: JMN1255I-S 01レベル項目の指定なしに02～49レベル項目が指定されています。01レベル項目とみなします。

2.3.154 JMN1256I-S

@1@句の整数に0は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : TRACK-AREA, TRACK-LIMIT, PRINTING POSITION

例題

```
[C1256.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1256.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     POSITIONING UNIT PUN-A IS 12 CPI.
000007 DATA DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 REC-A PIC X(10) PRINTING POSITION IS 0 BY PUN-A.
000010 END PROGRAM C1256.
```

C1256.cob 9: JMN1256I-S PRINTING POSITION句の整数に0は指定できません。

2.3.155 JMN1257I-S

SYMBOLIC CHARACTERS句で、指定された整数に対応する順序位置が指定された文字集合中に存在しません。固有文字の順序位置とみなします。

例題

```
[C1257.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1257.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     ALPHABET EBC IS EBCDIC
000007     SYMBOLIC CHARACTERS
000008     TAB IS 255 IN EBC
000009 .
000010 END PROGRAM C1257.
```

C1257.cob 7: JMN1257I-S SYMBOLIC CHARACTERS句で、指定された整数に対応する順序位置が指定された文字集合中に存在しません。固有文字の順序位置とみなします。

2.3.156 JMN1258I-W

DECLARATIVESの直後に節名がありません。節名があるものとみなします。

例題

```
[C1258.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1258.
000003 PROCEDURE        DIVISION.
000004 DECLARATIVES.
000005     USE AFTER STANDARD EXCEPTION PROCEDURE ON INPUT.
000006 END DECLARATIVES.
000007 END PROGRAM      C1258.
```

C1258.cob 5: JMN1258I-W DECLARATIVESの直後に節名がありません。節名があるものとみなします。

2.3.157 JMN1259I-W

DECLARATIVESの直後が段落名です。段落名を節名とみなします。

例題

```
[C1259.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1259.
000003 PROCEDURE        DIVISION.
000004 DECLARATIVES.
000005 SAMPLE.
000006     USE AFTER STANDARD EXCEPTION PROCEDURE ON INPUT.
000007 END DECLARATIVES.
000008 END PROGRAM      C1259.
```

C1259.cob 5: JMN1259I-W DECLARATIVESの直後が段落名です。段落名を節名とみなします。

2.3.158 JMN1260I-W

USE文の直前が段落名です。段落を節とみなします。

例題

```
[C1260.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1260.
000003 PROCEDURE        DIVISION.
000004 DECLARATIVES.
000005 SAMPLE SECTION.
000006     USE AFTER STANDARD EXCEPTION PROCEDURE ON INPUT.
000007     USE1.
000008     USE AFTER STANDARD EXCEPTION PROCEDURE ON OUTPUT.
000009 END DECLARATIVES.
000010 END PROGRAM      C1260.
```

C1260.cob 7: JMN1260I-W USE文の直前が段落名です。段落を節とみなします。

2.3.159 JMN1261I-W

USE文の直前に節の見出しがありません。

例題

```
[C1261.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1261.
000003 PROCEDURE        DIVISION.
000004 DECLARATIVES.
000005 SAMPLE SECTION.
```

```
000006      USE AFTER STANDARD EXCEPTION PROCEDURE ON INPUT.
000007      USE AFTER STANDARD EXCEPTION PROCEDURE ON OUTPUT.
000008 END DECLARATIVES.
000009 END PROGRAM      C1261.
```

C1261.cob 7: JMN1261I-W USE文の直前に節の見出しがありません。

2.3.160 JMN1265I-S

PROGRAM COLLATING SEQUENCE句の符号系名'@1@'は, STANDARD-1, STANDARD-2, NATIVEまたは定数に対応していなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 符号系名

例題

```
[C1265.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1265.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION     SECTION.
000005 OBJECT-COMPUTER.  OC1 PROGRAM COLLATING SEQUENCE IS HUGO1.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007     ALPHABET HUGO1 IS CODE-1.
000008 END PROGRAM      C1265.
```

C1265.cob 5: JMN1265I-S PROGRAM COLLATING SEQUENCE句の符号系名'HUGO1'は, STANDARD-1, STANDARD-2, NATIVEまたは定数に対応していなければなりません。

2.3.161 JMN1266I-S

PROGRAM COLLATING SEQUENCE句に指定された符号系名'@1@'が未定義です。

埋め込みの説明

@1@ : 符号系名

例題

```
[C1266.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1266.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION     SECTION.
000005 OBJECT-COMPUTER.  OC1 PROGRAM COLLATING SEQUENCE IS HUGO1.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007     ALPHABET EBC IS EBCDIC.
000008 END PROGRAM      C1266.
```

C1266.cob 5: JMN1266I-S PROGRAM COLLATING SEQUENCE句に指定された符号系名'HUGO1'が未定義です。

2.3.162 JMN1267I-S

ALTERNATE RECORD KEYの個数は, 125個以下でなければなりません。

例題

```
[C1267.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1267.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
```

```

000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IDX-F ASSIGN TO IDXFILE
000007     ORGANIZATION IS INDEXED
000008     RECORD KEY IS MAINKEY
000009     ALTERNATE RECORD KEY IS KEY1
000010     ALTERNATE RECORD KEY IS KEY2
      :
000133     ALTERNATE RECORD KEY IS KEY125
000134     ALTERNATE RECORD KEY IS KEY126.
000135 DATA DIVISION.
000136 FILE SECTION.
000137 FD  IDX-F.
000138 01  IDX-R PIC X(130).
000139 01  MAINKEY PIC X.
000140 01  KEY1 PIC X.
000141 01  KEY2 PIC X.
      :
000264 01  KEY125 PIC X.
000265 01  KEY126 PIC X.
000270 END PROGRAM C1267.

```

C1267.cob 134: JMN1267I-S ALTERNATE RECORD KEYの個数は、125個以下でなければなりません。

2.3.163 JMN1268I-S

連結語OFまたはINの後は、修飾語でなければなりません。OFまたはINは無効になります。

例題

```

[C1268.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1268.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WK-TBL.
000006 02 WK PIC X OCCURS 255
000007     DEPENDING ON LENGCNT OF.
000008 01 AREA1.
000009 02 LENGCNT PIC S9(4) BINARY.
000010 END PROGRAM C1268.

```

C1268.cob 7: JMN1268I-S 連結語OFまたはINの後は、修飾語でなければなりません。OFまたはINは無効になります。

2.3.164 JMN1269I-S

SIGN句で、CHARACTERの前はSEPARATEでなければなりません。SEPARATEが指定されたものとみなします。

例題

```

[C1269.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1269.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 DATA-1 PIC S9(4) SIGN LEADING CHARACTER.
000006 END PROGRAM C1269.

```

C1269.cob 5: JMN1269I-S SIGN句で、CHARACTERの前はSEPARATEでなければなりません。SEPARATEが指定されたものとみなします。

2.3.165 JMN1271I-S

一つの項目に指定できる指標名の数は、60以下でなければなりません。先頭の60個の指標名以外無効となります。

例題

```
[C1271.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1271.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01  A-TBL.
000006 02  DATA-1 PIC X OCCURS 3
000007         INDEXED BY I0 I1 I2 I3 I4 I5 I6 I7 I8 I9 I10
000008                 I11 I12 I13 I14 I15 I16 I17 I18 I19 I20
000009                 I21 I22 I23 I24 I25 I26 I27 I28 I29 I30
000010                 I31 I32 I33 I34 I35 I36 I37 I38 I39 I40
000011                 I41 I42 I43 I44 I45 I46 I47 I48 I49 I50
000012                 I51 I52 I53 I54 I55 I56 I57 I58 I59 I60.
000013 END PROGRAM      C1271.
```

C1271.cob 12: JMN1271I-S 一つの項目に指定できる指標名の数は、60以下でなければなりません。先頭の60個の指標名以外無効となります。

2.3.166 JMN1273I-S

'EXEC @1@'は定数節に指定してはいけません。

埋め込みの説明

@1@ : AQL, SQL

例題

```
[C1273.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1273
000003 DATA             DIVISION.
000004 CONSTANT          SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 END PROGRAM      C1273.
```

C1273.cob 5: JMN1273I-S 'EXEC SQL'は定数節に指定してはいけません。

2.3.167 JMN1275I-S

INCLUDE @1@文が重複しています。

埋め込みの説明

@1@ : AQLCA

例題

```
[C1275.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1275.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC AQL INCLUDE AQLCA END-EXEC.
000006     EXEC AQL INCLUDE AQLCA END-EXEC.
```

```
000007 PROCEDURE      DIVISION.  
000008 END PROGRAM C1275.
```

C1275.cob 6: JMN1275I-S INCLUDE AQLCA文が重複しています。

2.3.168 JMN1276I-S

EXEC AQL文の構文に誤りがあります。

例題

```
[C1276.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      C1276.  
000003 DATA             DIVISION.  
000004 WORKING-STORAGE SECTION.  
000005     EXEC AQL INCLUDE AQLCA.  
000006 END PROGRAM C1276.
```

C1276.cob 5: JMN1276I-S EXEC AQL文の構文に誤りがあります。

2.3.169 JMN1278I-S

BEGIN DECLARE SECTION文が指定されずに、END DECLARE SECTION文が指定されています。

例題

```
[C1278.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      C1278.  
000003 DATA             DIVISION.  
000004 WORKING-STORAGE SECTION.  
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.  
000006 01 HOSTV1.  
000007 02 HNUM           PIC S9(4) BINARY.  
000008 02 HNAME          PIC X(30).  
000009     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.  
000010 01 HOSTV2.  
000011 02 HNUM           PIC S9(8) BINARY.  
000012 02 HNAME          PIC X(30).  
000013     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.  
000014 END PROGRAM C1278.
```

C1278.cob 13: JMN1278I-S BEGIN DECLARE SECTION文が指定されずに、END DECLARE SECTION文が指定されています。

2.3.170 JMN1279I-S

END DECLARE SECTION文が重複しています。

例題

```
[C1279.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      C1279.  
000003 DATA             DIVISION.  
000004 WORKING-STORAGE SECTION.  
000005     EXEC AQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.  
000006 01 HOSTV1.  
000007 02 HNUM           PIC S9(4) BINARY.  
000008 02 HNAME          PIC X(30).  
000009     EXEC AQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
```



```
000010 EXEC AQL END DECLARE SECTION END-EXEC.  
000011 END PROGRAM C1279.
```

C1279.cob 10: JMN1279I-S END DECLARE SECTION文が重複しています。

2.3.171 JMN1280I-S

BEGIN DECLARE SECTION文の構文に誤りがあります。

例題

```
[C1280.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C1280.  
000003 DATA DIVISION.  
000004 WORKING-STORAGE SECTION.  
000005 EXEC SQL BEGIN DECLARE END-EXEC.  
000006 01 HOSTV1.  
000007 02 HNUM PIC S9(4) BINARY.  
000008 02 HNAME PIC X(30).  
000009 EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.  
000010 END PROGRAM C1280.
```

C1280.cob 5: JMN1280I-S BEGIN DECLARE SECTION文の構文に誤りがあります。

2.3.172 JMN1281I-S

END DECLARE SECTION文の構文に誤りがあります。

例題

```
[C1281.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C1281.  
000003 DATA DIVISION.  
000004 WORKING-STORAGE SECTION.  
000005 EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.  
000006 01 HOSTV1.  
000007 02 HNUM PIC S9(4) BINARY.  
000008 02 HNAME PIC X(30).  
000009 EXEC SQL END DECLARE END-EXEC.  
000010 END PROGRAM C1281.
```

C1281.cob 9: JMN1281I-S END DECLARE SECTION文の構文に誤りがあります。

2.3.173 JMN1282I-S

OCCURS句の整数は、2147483647以下でなければなりません。2147483647とみなします。

例題

```
[C1282.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C1282.  
000003 DATA DIVISION.  
000004 WORKING-STORAGE SECTION.  
000005 01 MAINTBL.  
000006 02 DATA-1 PIC X OCCURS 2147483648.  
000007 END PROGRAM C1282.
```

C1282.cob 6: JMN1282I-S OCCURS句の整数は、2147483647以下でなければなりません。2147483647とみなします。

2.3.174 JMN1284I-S

FILE-CONTROL段落が指定されていません。FILE-CONTROL段落が指定されたものとみなします。

例題

```
[C1284.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1284.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005     SELECT IN-F ASSIGN TO INFILE.
000006 DATA             DIVISION.
000007 FILE              SECTION.
000008 FD  IN-F.
000009 01  IN-R PIC X(80).
000010 END PROGRAM      C1284.
```

C1284.cob 5: JMN1284I-S FILE-CONTROL段落が指定されていません。FILE-CONTROL段落が指定されたものとみなします。

2.3.175 JMN1285I-S

I-O-CONTROL段落が指定されていません。I-O-CONTROL段落が指定されたものとみなします。

例題

```
[C1285.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1285.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN TO INFILE.
000007     SELECT OUT-F ASSIGN TO OUTFILE.
000008     SAME IN-F OUT-F.
000009 DATA             DIVISION.
000010 FILE              SECTION.
000011 FD  IN-F.
000012 01  IN-R PIC X(80).
000013 FD  OUT-F.
000014 01  OUT-R PIC X(80).
000015 END PROGRAM      C1285.
```

C1285.cob 8: JMN1285I-S I-O-CONTROL段落が指定されていません。I-O-CONTROL段落が指定されたものとみなします。

2.3.176 JMN1286I-S

INCLUDE AQLCA文を含むEXEC AQL文の終わりは、終止符でなければなりません。

例題

```
[C1286.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1286.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC AQL INCLUDE AQLCA END-EXEC
000006 PROCEDURE           DIVISION.
000007 END PROGRAM          C1286.
```

C1286.cob 5: JMN1286I-S INCLUDE AQLCA文を含むEXEC AQL文の終わりは、終止符でなければなりません。

2.3.177 JMN1287I-S

SYMBOLIC CHARACTERS句に指定された符号系名が, 多重定義です.

例題

```
[C1287. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1287.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     ALPHABET
000007     HUGO1 IS NATIVE
000008     HUGO1 IS EBCDIC
000009     SYMBOLIC CHARACTERS
000010     A IS 1 IN HUGO1
000011     B IS 2 IN HUGO1.
000012 END PROGRAM      C1287.
```

C1287.cob 9: JMN1287I-S SYMBOLIC CHARACTERS句に指定された符号系名が, 多重定義です.

2.3.178 JMN1288I-S

PROGRAM COLLATING SEQUENCE句に指定された符号系名が, 多重定義です.

例題

```
[C1288. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1288.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 OBJECT-COMPUTER. A
000006     PROGRAM COLLATING SEQUENCE IS HUGO1.
000007 SPECIAL-NAMES.
000008     ALPHABET
000009     HUGO1 IS NATIVE
000010     HUGO1 IS EBCDIC.
000011 END PROGRAM      C1288.
```

C1288.cob 6: JMN1288I-S PROGRAM COLLATING SEQUENCE句に指定された符号系名が, 多重定義です.

2.3.179 JMN1291I-S

見出し部にはプログラム名段落を指定しなければなりません.

例題

```
[C1291. cob]
000001 PROGRAM-ID.      C1291.
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 END PROGRAM      C1291.
```

C1291.cob 3: JMN1291I-S 見出し部にはプログラム名段落を指定しなければなりません.

2.3.180 JMN1292I-S

@1@名として指定できない文字列が指定されました. または@1@名が指定されていません.

埋め込みの説明

@1@ : プログラム

例題

```
[C1292.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1292.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 PROCEDURE         DIVISION.
000006 PROGRAM-ID. 1292.
000007 END PROGRAM I1292.
000008 END PROGRAM C1292.
```

C1292.cob 6: JMN1292I-S プログラム名として指定できない文字列が指定されました。またはプログラム名が指定されていません。

詳細な説明

プログラム名は利用者語の規則に従って記述してください。

2.3.181 JMN1298I-S

OCCURS句中に指定されている@1@指定の構文が誤っています。OCCURS句中のそれ以降の指定が無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : DEPENDING ON,KEY IS,INDEXED BY

例題

```
[C1298.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1298.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 TBL1.
000006 02 DATA-1 PIC X OCCURS 2 ASCENDING KEY "C1298".
000007 END PROGRAM      C1298.
```

C1298.cob 6: JMN1298I-S OCCURS句中に指定されているKEY IS指定の構文が誤っています。OCCURS句中のそれ以降の指定が無効になります。

2.3.182 JMN1299I-S

AQL変数宣言節中にINCLUDE AQLCA文は指定できません。

例題

```
[C1299.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1299.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 EXEC AQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 EXEC AQL INCLUDE AQLCA END-EXEC.
000007 EXEC AQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000008 END PROGRAM      C1299.
```

C1299.cob 6: JMN1299I-S AQL変数宣言節中にINCLUDE AQLCA文は指定できません。

2.3.183 JMN1301I-S

OCCURS句は、01または77レベル項目には指定できません。

例題

```
[C1301.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1301.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WK-TBL OCCURS 2.
000006 02 DATA1 PIC 9.
000007 END PROGRAM      C1301.
```

C1301.cob 5: JMN1301I-S OCCURS句は、01または77レベル項目には指定できません。

2.3.184 JMN1302I-S

ファイル節のファイル記述(FD)項または作業場所節の01レベル項目以外に、EXTERNAL句は指定できません。

例題

```
[C1302.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1302.
000003 DATA             DIVISION.
000004 CONSTANT          SECTION.
000005 01 CONST1 PIC 9(2) VALUE 10 EXTERNAL.
000006 END PROGRAM      C1302.
```

C1302.cob 5: JMN1302I-S ファイル節のファイル記述(FD)項または作業場所節の01レベル項目以外に、EXTERNAL句は指定できません。

詳細な説明

ファイル記述項にEXTERNAL句を記述する場合の例

- OK

```
000090 DATA             DIVISION.
000100 FILE              SECTION.
000110 FD MSGFILE IS EXTERNAL.
000120 01 INFDAT.
000130 02 INFNUM PIC S9(8) BINARY.
000140 02 INFMSG PIC X(50).
```

- NG

```
000090 DATA             DIVISION.
000100 FILE              SECTION.
000110 FD MSGFILE
000120 01 INFDAT IS EXTERNAL.
000130 02 INFNUM PIC S9(8) BINARY.
000140 02 INFMSG PIC X(50).
```

2.3.185 JMN1303I-S

EXTERNAL句とREDEFINES句は、同じデータ項目に指定できません。REDEFINES句が無効になります。

例題

```
[C1303.cob]

000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1303.
000003 DATA             DIVISION.
```

```

000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 MOJI PIC X(5) VALUE "ABCDE".
000006 01 REMOJI REDEFINES MOJI EXTERNAL.
000007 02 DATA1 PIC X.
000008 END PROGRAM C1303.

```

C1303.cob 6: JMN1303I-S EXTERNAL句とREDEFINES句は、同じデータ項目に指定できません。REDEFINES句が無効になります。

2.3.186 JMN1304I-S

ファイル節、作業場所節、定数節、連絡節または基底場所節の01レベル項目以外に、GLOBAL句は指定できません。

例題

```

[C1304.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1304.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 P1 POINTER.
000006 01 WK-TBL.
000007 02 DATA-2 PIC X(5) GLOBAL.
000008 END PROGRAM C1304.

```

C1304.cob 7: JMN1304I-S ファイル節、作業場所節、定数節、連絡節または基底場所節の01レベル項目以外に、GLOBAL句は指定できません。

2.3.187 JMN1305I-S

ファイル管理記述項にはASSIGN句を指定しなければなりません。

例題

```

[C1305.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1305.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT INFILE.
000007 END PROGRAM C1305.

```

C1305.cob 6: JMN1305I-S ファイル管理記述項にはASSIGN句を指定しなければなりません。

2.3.188 JMN1309I-S

順ファイルの場合、ACCESS MODE句はSEQUENTIALでなければなりません。SEQUENTIALとみなします。

例題

```

[C1309.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1309.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT INFILE ASSIGN TO SYS1
000007 ACCESS MODE IS DYNAMIC.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD INFILE.
000011 01 INREC.

```

```
000012 02 KEY1 PIC X(80).
000013 END PROGRAM C1309.
```

C1309.cob 7: JMN1309I-S 順ファイルの場合、ACCESS MODE句はSEQUENTIALでなければなりません。SEQUENTIALとみなします。

2.3.189 JMN1310I-S

直接編成ファイル、相対編成ファイルまたはインデックスつき編成ファイルの場合、ACCESS MODE句にDYNAMICは指定できません。RANDOMとみなします。

例題

```
[C1310.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1310.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS014-DA-I-OUTDATA
000007 RECORD KEY IS SQFRKEY
000008 NOMINAL KEY IS SQFNKEY
000009 ACCESS MODE IS DYNAMIC
000010 .
000011 DATA DIVISION.
000012 FILE SECTION.
000013 FD SQFILE1.
000014 01 SQFIREC.
000015 02 SQFRKEY PIC X.
000016 02 SQFID001 PIC X(256).
000017 02 SQFDAT PIC X(30).
000018 WORKING-STORAGE SECTION.
000019 01 SQFNKEY PIC X.
000020 END PROGRAM C1310.
```

C1310.cob 9: JMN1310I-S 直接編成ファイル、相対編成ファイルまたはインデックスつき編成ファイルの場合、ACCESS MODE句にDYNAMICは指定できません。RANDOMとみなします。

2.3.190 JMN1312I-S

ALTERNATEまたはNO指定のRESERVE句は、順ファイル、相対編成ファイル、インデックスつき編成ファイルまたは直接編成ファイルにのみ指定できます。

例題

```
[C1312.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1312.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT IN-F ASSIGN S1-VS-NAME
000007 ORGANIZATION RELATIVE
000008 RESERVE NO ALTERNATE
000009 .
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD IN-F.
000013 01 IN-R PIC X(80).
000014 END PROGRAM C1312.
```

C1312.cob 8: JMN1312I-S ALTERNATEまたはNO指定のRESERVE句は、順ファイル、相対編成ファイル、インデックスつき編成ファイルまたは直接編成ファイルにのみ指定できます。

2.3.191 JMN1313I-S

TRACK-AREA句は、乱呼出しのインデックスつき編成ファイル以外に指定できません。

例題

```
[C1313. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1313.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN I-SYS000
000007     ORGANIZATION INDEXED
000008     ACCESS MODE IS RANDOM
000009     RECORD KEY IS IN-R
000010     TRACK-AREA IS 8
000011 .
000012 DATA              DIVISION.
000013 FILE                SECTION.
000014 FD IN-F.
000015 01 IN-R PIC X(80).
000016 END PROGRAM C1313.
```

C1313.cob 10: JMN1313I-S TRACK-AREA句は、乱呼出しのインデックスつき編成ファイル以外に指定できません。

2.3.192 JMN1314I-S

TRACK-LIMIT句は、直接編成ファイル以外に指定できません。

例題

```
[C1314. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1314.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN SYS000
000007     ACCESS MODE IS SEQUENTIAL
000008     TRACK-LIMIT IS 1
000009 .
000010 DATA              DIVISION.
000011 FILE                SECTION.
000012 FD IN-F.
000013 01 IN-R PIC X(80).
000014 END PROGRAM C1314.
```

C1314.cob 8: JMN1314I-S TRACK-LIMIT句は、直接編成ファイル以外に指定できません。

2.3.193 JMN1315I-S

直接編成ファイル、相対編成ファイルまたはインデックスつき編成ファイルに、FILE STATUS句は指定できません。

例題

```
[C1315. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1315.
```



```

000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN SYS000-DA-S1-D-NAME
000007     ACCESS MODE IS SEQUENTIAL
000008     ACTUAL KEY IS K1
000009     FILE STATUS IS FSTAT
000010     .
000011 DATA              DIVISION.
000012 FILE                SECTION.
000013 FD IN-F.
000014 01 IN-R PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 FSTAT PIC XX.
000017 01 K1 PIC X(10).
000018 END PROGRAM C1315.

```

C1315.cob 9: JMN1315I-S 直接編成ファイル, 相対編成ファイルまたはインデックスつき編成ファイルに, FILE STATUS句は指定できません。

2.3.194 JMN1317I-S

CONTROL AREA句は, 表示ファイル以外に指定できません。

例題

```

[C1317.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1317.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN SYS000
000007     CONTROL AREA IS ABC
000008     .
000009 DATA              DIVISION.
000010 FILE                SECTION.
000011 FD IN-F.
000012 01 IN-R PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 ABC PIC XX.
000015 END PROGRAM C1317.

```

C1317.cob 7: JMN1317I-S CONTROL AREA句は, 表示ファイル以外に指定できません。

2.3.195 JMN1318I-S

NOMINAL KEY句は, インデックスつき編成ファイル以外に指定できません。

例題

```

[C1318.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1318.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN SYS000
000007     NOMINAL KEY IS K1
000008     .
000009 DATA              DIVISION.
000010 FILE                SECTION.
000011 FD IN-F.

```

```
000012 01 IN-R PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 K1 PIC XX.
000015 END PROGRAM C1318.
```

C1318.cob 7: JMN1318I-S NOMINAL KEY句は、インデックスつき編成ファイル以外に指定できません。

2.3.196 JMN1319I-S

相対ファイル以外に、RELATIVE KEY句は指定できません。

例題

```
[C1319.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1319.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT INFILE ASSIGN TO SYS001
000007 RELATIVE KEY IS KEY1.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD INFILE.
000011 01 INREC.
000012 02 KEY1 PIC 9(4).
000013 02 BDDAT PIC X(80).
000014 END PROGRAM C1319.
```

C1319.cob 7: JMN1319I-S 相対ファイル以外に、RELATIVE KEY句は指定できません。

2.3.197 JMN1320I-S

乱呼出しまたは動的呼出しの相対ファイルには、RELATIVE KEY句を指定しなければなりません。

例題

```
[C1320.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1320.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT INFILE ASSIGN TO SYS001
000007 ORGANIZATION IS RELATIVE
000008 ACCESS MODE IS DYNAMIC.
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011 FD INFILE.
000012 01 INREC.
000013 02 KEY1 PIC X(80).
000014 END PROGRAM C1320.
```

C1320.cob 6: JMN1320I-S 乱呼出しまたは動的呼出しの相対ファイルには、RELATIVE KEY句を指定しなければなりません。

2.3.198 JMN1321I-S

乱呼出しのインデックスつき編成ファイルにはNOMINAL KEY句を指定しなければなりません。

例題

```
[C1321.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1321.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN SYS000-DA-S1-I-NAME
000007     ACCESS MODE IS RANDOM
000008     RECORD KEY IS IN-R
000009     TRACK-AREA IS 32
000010
000011 DATA              DIVISION.
000012 FILE                SECTION.
000013 FD IN-F.
000014 01 IN-R PIC X(80).
000015 END PROGRAM C1321.
```

C1321.cob 6: JMN1321I-S 乱呼出しのインデックスつき編成ファイルにはNOMINAL KEY句を指定しなければなりません。

2.3.199 JMN1322I-S

索引ファイル以外に、RECORD KEY句は指定できません。

例題

```
[C1322.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1322.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT INFILE ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS SEQUENTIAL
000008     RECORD KEY IS KEY1.
000009 DATA              DIVISION.
000010 FILE                SECTION.
000011 FD INFILE.
000012 01 INREC.
000013 02 KEY1 PIC X(80).
000014 END PROGRAM C1322.
```

C1322.cob 8: JMN1322I-S 索引ファイル以外に、RECORD KEY句は指定できません。

2.3.200 JMN1323I-S

索引ファイルには、RECORD KEY句を指定しなければなりません。

例題

```
[C1323.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1323.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT INFILE ASSIGN TO DISK
000007     ORGANIZATION IS INDEXED.
000008 DATA              DIVISION.
000009 FILE                SECTION.
000010 FD INFILE.
000011 01 INREC.
```

```
000012 02 KEY1 PIC X(80).  
000013 END PROGRAM C1323.
```

C1323.cob 6: JMN1323I-S 索引ファイルには、RECORD KEY句を指定しなければなりません。

2.3.201 JMN1324I-S

ACTUAL KEY句は、直接編成ファイル以外に指定できません。

例題

```
[C1324.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C1324.  
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.  
000005 FILE-CONTROL.  
000006 SELECT IN-F ASSIGN SYS001  
000007 ACTUAL KEY IS FKEY1  
000008 .  
000009 DATA DIVISION.  
000010 FILE SECTION.  
000011 FD IN-F.  
000012 01 INFILED.  
000013 02 FKEY1 PIC 9(4).  
000014 02 IN-R PIC X(80).  
000015 END PROGRAM C1324.
```

C1324.cob 7: JMN1324I-S ACTUAL KEY句は、直接編成ファイル以外に指定できません。

2.3.202 JMN1325I-S

乱呼出しの直接編成ファイルには、ACTUAL KEY句を指定しなければなりません。

例題

```
[C1325.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C1325.  
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.  
000005 FILE-CONTROL.  
000006 SELECT IN-F ASSIGN D-SYS001  
000007 ACCESS MODE IS RANDOM  
000008 TRACK-LIMIT IS 100  
000009 .  
000010 DATA DIVISION.  
000011 FILE SECTION.  
000012 FD IN-F.  
000013 01 IN-R PIC X(80).  
000014 END PROGRAM C1325.
```

C1325.cob 6: JMN1325I-S 乱呼出しの直接編成ファイルには、ACTUAL KEY句を指定しなければなりません。

2.3.203 JMN1326I-S

ALTERNATE RECORD KEY句は、索引ファイル以外に指定できません。

例題

```
[C1326.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000002 PROGRAM-ID.      C1326.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN SYS000
000007     RECORD KEY      IS FNO
000008     ALTERNATE RECORD KEY IS FGPNO
000009 .
000010 DATA              DIVISION.
000011 FILE                SECTION.
000012 FD  IN-F.
000013 01  IN-R.
000014 02  FNO            PIC 9(4).
000015 02  FGP            PIC 9(4).
000016 02  FNAME          PIC X(30).
000017 END PROGRAM C1326.

```

C1326.cob 8: JMN1326I-S ALTERNATE RECORD KEY句は、索引ファイル以外に指定できません。

2.3.204 JMN1327I-S

RECORD KEY句のDUPLICATES指定は、索引ファイル以外に記述できません。

例題

```

[C1327.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1327.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN I-SYS000
000007     RECORD KEY IS FNO WITH DUPLICATES
000008     ORGANIZATION IS SEQUENTIAL
000009     WITH DUPLICATES
000010 .
000011 DATA              DIVISION.
000012 FILE                SECTION.
000013 FD  IN-F.
000014 01  IN-R.
000015 02  FNO            PIC 9(4).
000016 02  FNAME          PIC X(30).
000017 END PROGRAM C1327.

```

C1327.cob 9: JMN1327I-S RECORD KEY句のDUPLICATES指定は、索引ファイル以外に記述できません。

2.3.205 JMN1329I-S

無名項目に対して、EXTERNAL句またはGLOBAL句を指定することはできません。EXTERNAL句またはGLOBAL句は、無効になります。

例題

```

[C1329.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1329.
000003 DATA              DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01                PIC X IS GLOBAL.
000006 01                PIC 9 IS EXTERNAL.
000007 01 FILLER PIC X IS GLOBAL.

```

```
000008 01 FILLER PIC 9 IS EXTERNAL.  
000009 END PROGRAM C1329.
```

C1329.cob 5: JMN1329I-S 無名項目に対して、EXTERNAL句またはGLOBAL句を指定することはできません。EXTERNAL句またはGLOBAL句は、無効になります。

C1329.cob 6: JMN1329I-S 無名項目に対して、EXTERNAL句またはGLOBAL句を指定することはできません。EXTERNAL句またはGLOBAL句は、無効になります。

C1329.cob 7: JMN1329I-S 無名項目に対して、EXTERNAL句またはGLOBAL句を指定することはできません。EXTERNAL句またはGLOBAL句は、無効になります。

C1329.cob 8: JMN1329I-S 無名項目に対して、EXTERNAL句またはGLOBAL句を指定することはできません。EXTERNAL句またはGLOBAL句は、無効になります。

2.3.206 JMN1338I-I

(CONF)LANGLVL(74)オプションの場合、英小文字のa～z、また、LANGLVL(68)の場合、英小文字のa～z、特殊文字の/, =は、CURRENCY SIGN句の通貨編集文字に指定することができます。

例題

```
[C1338.cob]  
000001 @OPTIONS CONF (74), LANGLVL (85)  
000002 IDENTIFICATION DIVISION.  
000003 PROGRAM-ID. C1338.  
000004 ENVIRONMENT DIVISION.  
000005 CONFIGURATION SECTION.  
000006 SPECIAL-NAMES.  
000007 CURRENCY SIGN IS "a".  
000008 END PROGRAM C1338.
```

C1338.cob 7: JMN1338I-I (CONF)LANGLVL(74)オプションの場合、英小文字のa～z、また、LANGLVL(68)の場合、英小文字のa～z、特殊文字の/, =は、CURRENCY SIGN句の通貨編集文字に指定することができます。

2.3.207 JMN1339I-I

(CONF)LANGLVL(68)オプションの場合、PICTURE文字列の編集用文字'/'は無効になります。

例題

```
[C1339.cob]  
000001 @OPTIONS CONF (68), LANGLVL (85)  
000002 IDENTIFICATION DIVISION.  
000003 PROGRAM-ID. C1339.  
000004 ENVIRONMENT DIVISION.  
000005 CONFIGURATION SECTION.  
000006 DATA DIVISION.  
000007 WORKING-STORAGE SECTION.  
000008 01 DATA-1 PIC 9/9.  
000009 END PROGRAM C1339.
```

C1339.cob 8: JMN1339I-I (CONF)LANGLVL(68)オプションの場合、PICTURE文字列の編集用文字'/'は無効になります。

2.3.208 JMN1340I-I

(CONF)手続き部で、特殊レジスタSORT-STATUSが参照されています。

例題

```
[C1340.cob]  
000001 @OPTIONS CONF (74, V4), LANGLVL (85)  
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000003 PROGRAM-ID.      C1340.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT SORT-F ASSIGN TO SFILE.
000008     SELECT OUT-F  ASSIGN TO OUTFILE.
000009 DATA              DIVISION.
000010 FILE              SECTION.
000011 FD   OUT-F.
000012 01   OUT-R      PIC X(160).
000013 SD   SORT-F.
000014 01   SORT-R.
000015 02   DATA-1    PIC X(80).
000016 02   KEY1      PIC 9.
000017 PROCEDURE        DIVISION.
000018     SORT SORT-F  ASCENDING KEY KEY1
000019     INPUT PROCEDURE A
000020     GIVING OUT-F.
000021 A.
000022     DISPLAY SORT-STATUS
000023 END PROGRAM      C1340.

```

C1340.cob 22: JMN1340I-I (CONF)手続き部で、特殊レジスタSORT-STATUSが参照されています。

2.3.209 JMN1342I-I

(CONF)PROGRAM-ID段落の指定がないか、または、プログラム名に誤りがあります。プログラム名を'NOPRGMID'とみなします。

例題

```

[C1342.cob]
000001 @OPTIONS CONF(74,V4),LANGLVL(85)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      1342.
000004 END PROGRAM      1342.

```

C1342.cob 3: JMN1342I-I (CONF)PROGRAM-ID段落の指定がないか、または、プログラム名に誤りがあります。プログラム名を'NOPRGMID'とみなします。

2.3.210 JMN1343I-I

(CONF)PROGRAM COLLATING SEQUENCE句に、ALSO付きの定数指定を記述した符号系名が指定されていて、かつ表意定数HIGH-VALUEまたはLOW-VALUEが参照されています。

例題

```

[C1343.cob]
000001 @OPTIONS CONF(74,V10),LANGLVL(85)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C1343.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 CONFIGURATION    SECTION.
000006 OBJECT-COMPUTER. OBJ1
000007     PROGRAM COLLATING SEQUENCE IS HUG01.
000008 SPECIAL-NAMES.
000009     ALPHABET HUG01 IS LOW-VALUE  ALSO HIGH-VALUE.
000010 DATA              DIVISION.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01   DATA-1      PIC 9(4).
000013 PROCEDURE        DIVISION.
000014     IF DATA-1 = HIGH-VALUE THEN

```

```

000015      DISPLAY "HIGH-VALUE!"
000016      END-IF.
000017 END PROGRAM      C1343.

```

C1343.cob 14: JMN1343I-I(CONF)PROGRAM COLLATING SEQUENCE句に、ALSO付きの定数指定を記述した符号系名が指定されていて、かつ表意定数HIGH-VALUEまたはLOW-VALUEが参照されています。

2.3.211 JMN1353I-S

WITH DEBUGGING MODE句の構文に誤りがあります。

例題

```

[C1353.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1353.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION     SECTION.
000005 SOURCE-COMPUTER.
000006      S-COMP WITH DEBUG MODE.
000007 END PROGRAM      C1353.

```

C1353.cob 6: JMN1353I-S WITH DEBUGGING MODE句の構文に誤りがあります。

2.3.212 JMN1354I-W

TRACK-AREA句の整数は、8の倍数でなければなりません。整数を8の倍数で切り捨てます。

例題

```

[C1354.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1354.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006      SELECT MSGFILE ASSIGN TO I-INFILE
000007      ACCESS MODE    IS RANDOM
000008      RECORD KEY      IS INFNUM
000009      NOMINAL KEY      IS WINF
000010      TRACK-AREA     IS 9
000011
000012 DATA              DIVISION.
000013 FILE                SECTION.
000014 FD MSGFILE.
000015 01 INFDAT.
000016 02 INFNUM          PIC S9(8) BINARY.
000017 02 INFMSG          PIC X(50).
000018 WORKING-STORAGE SECTION.
000019 01 WINF              PIC S9(8) BINARY.
000020 END PROGRAM C1354.

```

C1354.cob 10: JMN1354I-W TRACK-AREA句の整数は、8の倍数でなければなりません。整数を8の倍数で切り捨てます。

2.3.213 JMN1355I-S

レベル88項目は、レベル番号01～49の項目かレベル番号77の項目を先行して指定しなければなりません。レベル88項目は無効になります。

例題

```
[C1355.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1355.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 88 WK1  VALUE 0.
000006 01 WORK1 PIC 9.
000007 END PROGRAM      C1355.
```

C1355.cob 5: JMN1355I-S レベル88項目は、レベル番号01～49の項目かレベル番号77の項目を先行して指定しなければなりません。レベル88項目は無効になります。

2.3.214 JMN1356I-W

見出し部中に誤った語 '@1@' が指定されています。次の段落または部まで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 誤った語

例題

```
[C1356.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1356 1122.
000003 END PROGRAM      C1356.
```

C1356.cob 2: JMN1356I-W 見出し部中に誤った語 '1122' が指定されています。次の段落または部まで無効になります。

2.3.215 JMN1357I-S

レベル番号66の直後には、データ名を指定しなければなりません。

例題

```
[C1357.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1357.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A1 PIC X.
000006 66                RENAMES A1.
000007 END PROGRAM      C1357.
```

C1357.cob 6: JMN1357I-S レベル番号66の直後には、データ名を指定しなければなりません。

2.3.216 JMN1358I-W

REDEFINES句は、データ記述項の最初の句でなければなりません。REDEFINES句は、有効になります。

例題

```
[C1358.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1358.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A1 PIC X.
000006 01 B1 GLOBAL REDEFINES A1.
000007 END PROGRAM      C1358.
```

C1358.cob 6: JMN1358I-W REDEFINES句は、データ記述項の最初の句でなければなりません。REDEFINES句は、有効になります。

2.3.217 JMN1359I-S

@1@は、通貨編集用文字として指定できません。

埋め込みの説明

@1@: 誤った語

例題

```
[C1359. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1359.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     CURRENCY SIGN IS "A".
000007 END PROGRAM      C1359.
```

C1359.cob 6: JMN1359I-S "A"は、通貨編集用文字として指定できません。

詳細な説明

CURRENCY SIGN句の定数-1に、以下の文字を指定してはいけません。

- a) 数字0～9
- b) 英大文字A, B, C, D, E, G, N, P, R, S, V, X, Z, 英小文字a～z, または空白
- c) 特殊文字“*”, “+”, “-”, “,”, “.”, “;”, “(”, “)”, “/”, “=”または“””

2.3.218 JMN1360I-S

ALPHABET句のTHROUGH指定またはALSO指定には、符号なし整数、文字定数または表意定数を指定しなければなりません。符号系名'@1@'は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@: 符号系名

例題

```
[C1360. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1360.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     ALPHABET ALP1 IS 1 THROUGH -1.
000007 END PROGRAM      C1360.
```

C1360.cob 6: JMN1360I-S ALPHABET句のTHROUGH指定またはALSO指定には、符号なし整数、文字定数または表意定数を指定しなければなりません。符号系名'ALP1'は、無効になります。

2.3.219 JMN1373I-S

整列併合用ファイルに対してレコード形式Uの指定はできません。

例題

```
[C1373. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1373.
```

```

000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN SYS000.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 SD  IN-F  RECORDING MODE IS U.
000010 01  IN-R  PIC X(80).
000011 END PROGRAM      C1373.

```

C1373.cob 9: JMN1373I-S 整列併合用ファイルに対してレコード形式Uの指定はできません。

2.3.220 JMN1376I-S

レベル番号'@1@'の直後に許されない語'@2@'が指定されています。このデータ記述項を無名項目とみなします。

埋め込みの説明

@1@: レベル番号

@2@: 許されない語

例題

```

[C1376.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     C1376.
000003 DATA           DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 123 PIC 9.
000006 END PROGRAM      C1376.

```

C1376.cob 5: JMN1376I-S レベル番号'01'の直後に許されない語'123'が指定されています。このデータ記述項を無名項目とみなします。

詳細な説明

データ名は利用者語の規則に従って記述してください。

2.3.221 JMN1377I-S

02-49レベル項目は、66レベル項目の直後に記述できません。01レベル項目とみなします。

例題

```

[C1377.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     C1377.
000003 DATA           DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WORK1.
000006 02 NAMEINF PIC 1(8).
000007 02 NAMELG PIC S9(4) BINARY.
000008 02 NAMESP PIC X(30).
000009 66 NAME-FIX RENAMES NAMEINF THRU NAMELG.
000010 02 WORK2 PIC 9.
000011 END PROGRAM C1377.

```

C1377.cob 10: JMN1377I-S 02-49レベル項目は、66レベル項目の直後に記述できません。01レベル項目とみなします。

2.3.222 JMN1388I-W

機能名句で指定した'IS'の直後に呼び名が指定されていません。'IS'は無効になります。

例題

```
[C1388.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1388.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     SWITCH-O IS ON STATUS IS SW1.
000007 END PROGRAM      C1388.
```

C1388.cob 6: JMN1388I-W 機能名句で指定した'IS'の直後に呼び名が指定されていません。'IS'は無効になります。

2.3.223 JMN1390I-S

基底場所節の01または77レベル項目以外に、BASED ON句は指定できません。

例題

```
[C1390.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1390.
000003 DATA             DIVISION.
000004 BASED-STORAGE     SECTION.
000005 01 BS-TBL.
000006 02 DATA-1 PIC X(5) BASED ON P1.
000007 END PROGRAM      C1390.
```

C1390.cob 6: JMN1390I-S 基底場所節の01または77レベル項目以外に、BASED ON句は指定できません。

2.3.224 JMN1391I-S

REDEFINES句とBASED ON句は、同じデータ項目に指定できません。BASED ON句が無効になります。

例題

```
[C1391.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1391.
000003 DATA             DIVISION.
000004 BASED-STORAGE     SECTION.
000005 01 BS-TBL.
000006 02 DATA-1 PIC X(5).
000007 02 DATA-2 PIC X(3).
000008 01 RE-TBL REDEFINES BS-TBL BASED ON P1.
000009 02 REDATA-1 PIC X(4).
000010 02 REDATA-2 PIC X(4).
000011 END PROGRAM      C1391.
```

C1391.cob 8: JMN1391I-S REDEFINES句とBASED ON句は、同じデータ項目に指定できません。BASED ON句が無効になります。

2.3.225 JMN1393I-S

SYMBOLIC CONSTANT句の構文に誤りがあります。

例題

```
[C1393.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1393.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
```

```
000006      SYMBOLIC CONSTANT
000007      VALUES IS 10.
000008 END PROGRAM      C1393.
```

C1393.cob 6: JMN1393I-S SYMBOLIC CONSTANT句の構文に誤りがあります。

詳細な説明

記号定数は利用者語の規則に従って記述してください。

2.3.226 JMN1394I-S

SYMBOLIC CONSTANT句の定数は、数字定数、文字定数、日本語定数、ブール定数または16進文字定数でなければなりません。

例題

```
[C1394. cob]
000001 @OPTIONS NOSD
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C1394.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 CONFIGURATION    SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007      SYMBOLIC CONSTANT
000008      CON1 IS CON2
000009      .
000010 END PROGRAM      C1394.
```

C1394.cob 8: JMN1394I-S SYMBOLIC CONSTANT句の定数は、数字定数、文字定数、日本語定数、ブール定数または16進文字定数でなければなりません。

2.3.227 JMN1395I-S

記号定数'@1@'が一意ではありません。

埋め込みの説明

@1@ : 記号定数の名標

例題

```
[C1395. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1395.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006      SYMBOLIC CONSTANT
000007      CON1 IS 1
000008      CON2 IS 2
000009      CON1 IS 3.
000010 DATA            DIVISION.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 DATA-1 PIC 9 VALUE CON1.
000013 END PROGRAM      C1395.
```

C1395.cob 12: JMN1395I-S 記号定数'CON1'が一意ではありません。

2.3.228 JMN1396I-S

記号定数'@1@'は@2@句に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : 記号定数の名標

@2@ : 記号定数の指定できる各句

例題

```
[C1396.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1396.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     SYMBOLIC CONSTANT
000007     CON1 IS "MAX".
000008 DATA              DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 WK-TBL.
000011    02 ITEM1 PIC X OCCURS CON1.
000012 END PROGRAM      C1396.
```

C1396.cob 11: JMN1396I-S 記号定数'CON1'はOCCURS句に指定できません。

2.3.229 JMN1397I-S

基底場所節, ファイル節, 作業場所節, 定数節または連絡節の01レベル項目以外にGLOBAL句は指定できません。

例題

```
[C1397.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1397.
000003 DATA              DIVISION.
000004 BASED-STORAGE SECTION.
000005 01 WK-TBL.
000006    02 ITEM1 IS GLOBAL.
000007    03 ITEM2 PIC 9.
000008 END PROGRAM      C1397.
```

C1397.cob 6: JMN1397I-S 基底場所節, ファイル節, 作業場所節, 定数節または連絡節の01レベル項目以外にGLOBAL句は指定できません。

2.3.230 JMN1401I-S

[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

PICTURE文字列で, 数字のけた数は1以上18以下でなければなりません。 PICTURE 9とみなします。

[Linux64]

PICTURE文字列で, 数字のけた数は1以上@1@以下でなければなりません。 PICTURE 9とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : PICTURE文字列に指定可能な数字の最大けた数

例題

```
[C1401.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1401.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC S9(19).
```

```
000007 01 B PIC *(19).
000008 01 C PIC 9(10)P(9).
000009 END PROGRAM C1401.
```

C1401.cob 6: JMN1401I-S PICTURE文字列で、数字のけた数は1以上18以下でなければなりません。PICTURE 9とみなします。

C1401.cob 7: JMN1401I-S PICTURE文字列で、数字のけた数は1以上18以下でなければなりません。PICTURE 9とみなします。

C1401.cob 8: JMN1401I-S PICTURE文字列で、数字のけた数は1以上18以下でなければなりません。PICTURE 9とみなします。

2.3.231 JMN1402I-S

PICTURE文字列で、'S'、'V'、'.'、'CR'および'DB'は、1個しか書けません。PICTURE 9とみなします。

例題

```
[C1402.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1402.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC SS9.
000007 01 B PIC V9V.
000008 01 C PIC 9.9.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 STOP RUN.
```

C1402.cob 6: JMN1402I-S PICTURE文字列で、'S'、'V'、'.'、'CR'および'DB'は、1個しか書けません。PICTURE 9とみなします。

C1402.cob 7: JMN1402I-S PICTURE文字列で、'S'、'V'、'.'、'CR'および'DB'は、1個しか書けません。PICTURE 9とみなします。

C1402.cob 8: JMN1402I-S PICTURE文字列で、'S'、'V'、'.'、'CR'および'DB'は、1個しか書けません。PICTURE 9とみなします。

2.3.232 JMN1404I-S

PICTURE文字列で、'S'は左端の文字でなければなりません。PICTURE 9とみなします。

例題

```
[C1404.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1404.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 9S.
000007 01 B PIC 0S9.
000008 01 C PIC VS9.
000009 01 D PIC PS9.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 STOP RUN.
```

C1404.cob 6: JMN1404I-S PICTURE文字列で、'S'は左端の文字でなければなりません。PICTURE 9とみなします。

C1404.cob 7: JMN1404I-S PICTURE文字列で、'S'は左端の文字でなければなりません。PICTURE 9とみなします。

C1404.cob 8: JMN1404I-S PICTURE文字列で、'S'は左端の文字でなければなりません。PICTURE 9とみなします。

C1404.cob 9: JMN1404I-S PICTURE文字列で、'S'は左端の文字でなければなりません。PICTURE 9とみなします。

2.3.233 JMN1405I-S

PICTURE文字列で、'P'が誤った位置に指定されています。PICTURE 9とみなします。

例題

```
[C1405.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1405.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 9PB.
000007 01 B PIC BP9.
000008 01 C PIC PV9.
000009 01 D PIC P9V.
000010 01 E PIC ++P9.
000011 01 F PIC P9P.
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013 STOP RUN.
```

C1405.cob 6: JMN1405I-S PICTURE文字列で、'P'が誤った位置に指定されています。PICTURE 9とみなします。

C1405.cob 7: JMN1405I-S PICTURE文字列で、'P'が誤った位置に指定されています。PICTURE 9とみなします。

C1405.cob 8: JMN1405I-S PICTURE文字列で、'P'が誤った位置に指定されています。PICTURE 9とみなします。

C1405.cob 9: JMN1405I-S PICTURE文字列で、'P'が誤った位置に指定されています。PICTURE 9とみなします。

C1405.cob 10: JMN1405I-S PICTURE文字列で、'P'が誤った位置に指定されています。PICTURE 9とみなします。

C1405.cob 11: JMN1405I-S PICTURE文字列で、'P'が誤った位置に指定されています。PICTURE 9とみなします。

詳細な説明

“P”は、PICTURE句の数字の桁位置の左端または右端に続けて書かなければなりません。

2.3.234 JMN1411I-S

PICTURE文字列で、'+', '-', '*', 'Z'および通貨編集用文字を浮動置換え文字として使うときには、このうち1種類しか書けません。PICTURE 9とみなします。

例題

```
[C1411.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1411.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC ++Z.
000007 01 B PIC ¥¥Z.
000008 01 C PIC *--.
000009 01 D PIC *Z.
000010 01 E PIC ++--.
000011 01 F PIC --¥¥.
000012 01 G PIC ¥¥++.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014 STOP RUN.
```

C1411.cob 6: JMN1411I-S PICTURE文字列で、'+', '-', '*', 'Z'および通貨編集用文字を浮動置換え文字として使うときには、このうち1種類しか書けません。PICTURE 9とみなします。

C1411.cob 7: JMN1411I-S PICTURE文字列で、'+', '-', '*', 'Z'および通貨編集用文字を浮動置換え文字として使うときには、このうち1種類しか書けません。PICTURE 9とみなします。

C1411.cob 8: JMN1411I-S PICTURE文字列で、'+', '-', '*', 'Z'および通貨編集用文字を浮動置換え文字として使うときには、このうち1種類しか書けません。PICTURE 9とみなします。

C1411.cob 9: JMN1411I-S PICTURE文字列で, '+', '-', '*', 'Z'および通貨編集用文字を浮動置換え文字として使うときには, このうち1種類しか書けません. PICTURE 9とみなします.

C1411.cob 10: JMN1411I-S PICTURE文字列で, '+', '-', '*', 'Z'および通貨編集用文字を浮動置換え文字として使うときには, このうち1種類しか書けません. PICTURE 9とみなします.

C1411.cob 11: JMN1411I-S PICTURE文字列で, '+', '-', '*', 'Z'および通貨編集用文字を浮動置換え文字として使うときには, このうち1種類しか書けません. PICTURE 9とみなします.

C1411.cob 12: JMN1411I-S PICTURE文字列で, '+', '-', '*', 'Z'および通貨編集用文字を浮動置換え文字として使うときには, このうち1種類しか書けません. PICTURE 9とみなします.

2.3.235 JMN1412I-S

PICTURE文字列で, '9'は浮動挿入文字およびゼロ抑制文字に先行して指定できません. PICTURE 9とみなします.

例題

```
[C1412. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1412.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 9Z.
000007 01 B PIC 9++.
000008 01 C PIC 9¥¥.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 STOP RUN.
```

C1412.cob 6: JMN1412I-S PICTURE文字列で, '9'は浮動挿入文字およびゼロ抑制文字に先行して指定できません. PICTURE 9とみなします.

C1412.cob 7: JMN1412I-S PICTURE文字列で, '9'は浮動挿入文字およびゼロ抑制文字に先行して指定できません. PICTURE 9とみなします.

C1412.cob 8: JMN1412I-S PICTURE文字列で, '9'は浮動挿入文字およびゼロ抑制文字に先行して指定できません. PICTURE 9とみなします.

2.3.236 JMN1413I-S

PICTURE文字列で, 小数点位置の右側に数字位置を示す2種類以上の文字は指定できません. PICTURE 9とみなします.

例題

```
[C1413. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1413.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC *. *9.
000007 01 B PIC +V+9.
000008 01 C PIC .¥¥9.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 STOP RUN.
```

C1413.cob 6: JMN1413I-S PICTURE文字列で, 小数点位置の右側に数字位置を示す2種類以上の文字は指定できません. PICTURE 9とみなします.

C1413.cob 7: JMN1413I-S PICTURE文字列で, 小数点位置の右側に数字位置を示す2種類以上の文字は指定できません. PICTURE 9とみなします.

C1413.cob 8: JMN1413I-S PICTURE文字列で、小数点位置の右側に数字位置を示す2種類以上の文字は指定できません。PICTURE 9とみなします。

2.3.237 JMN1414I-S

PICTURE文字列で、'+', '-', 'CR'および'DB'は、これらのうちの1種類しか使えません。PICTURE 9とみなします。

例題

```
[C1414. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1414.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC +9CR.
000007 01 B PIC --DB.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 STOP RUN.
```

C1414.cob 6: JMN1414I-S PICTURE文字列で、'+', '-', 'CR'および'DB'は、これらのうちの1種類しか使えません。PICTURE 9とみなします。

C1414.cob 7: JMN1414I-S PICTURE文字列で、'+', '-', 'CR'および'DB'は、これらのうちの1種類しか使えません。PICTURE 9とみなします。

2.3.238 JMN1416I-S

PICTURE文字列で、小数点は'V'または'P'と同時に指定できません。PICTURE 9とみなします。

例題

```
[C1416. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1416.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 9V.9.
000007 01 B PIC 9.V9.
000008 01 C PIC .P9.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 STOP RUN.
```

C1416.cob 6: JMN1416I-S PICTURE文字列で、小数点は'V'または'P'と同時に指定できません。PICTURE 9とみなします。

C1416.cob 7: JMN1416I-S PICTURE文字列で、小数点は'V'または'P'と同時に指定できません。PICTURE 9とみなします。

C1416.cob 8: JMN1416I-S PICTURE文字列で、小数点は'V'または'P'と同時に指定できません。PICTURE 9とみなします。

2.3.239 JMN1418I-S

数字編集項目の長さは、160バイト以下でなければなりません。PICTURE 9とみなします。

例題

```
[C1418. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1418.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC /(150)9(15).
```

```
000007 PROCEDURE DIVISION.  
000008     STOP RUN.
```

C1418.cob 6: JMN1418I-S 数字編集項目の長さは、160バイト以下でなければなりません。PICTURE 9とみなします。

2.3.240 JMN1421I-S

PICTURE文字列で、固定挿入文字の'+', '-'または通貨編集用文字が誤った位置に指定されています。PICTURE 9とみなします。

例題

```
[C1421.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C1421.  
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 DATA DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 01 A PIC 9¥.  
000007 01 B PIC ¥+9.  
000008 01 C PIC B¥9.  
000009 01 D PIC V¥9.  
000010 01 E PIC 9+P.  
000011 01 F PIC 9+B.  
000012 01 G PIC ++9+.  
000013 01 H PIC ¥¥9¥.  
000014 01 I PIC +9+.  
000015 PROCEDURE DIVISION.  
000016     STOP RUN.
```

C1421.cob 6: JMN1421I-S PICTURE文字列で、固定挿入文字の'+', '-'または通貨編集用文字が誤った位置に指定されています。PICTURE 9とみなします。

C1421.cob 7: JMN1421I-S PICTURE文字列で、固定挿入文字の'+', '-'または通貨編集用文字が誤った位置に指定されています。PICTURE 9とみなします。

C1421.cob 8: JMN1421I-S PICTURE文字列で、固定挿入文字の'+', '-'または通貨編集用文字が誤った位置に指定されています。PICTURE 9とみなします。

C1421.cob 9: JMN1421I-S PICTURE文字列で、固定挿入文字の'+', '-'または通貨編集用文字が誤った位置に指定されています。PICTURE 9とみなします。

C1421.cob 10: JMN1421I-S PICTURE文字列で、固定挿入文字の'+', '-'または通貨編集用文字が誤った位置に指定されています。PICTURE 9とみなします。

C1421.cob 11: JMN1421I-S PICTURE文字列で、固定挿入文字の'+', '-'または通貨編集用文字が誤った位置に指定されています。PICTURE 9とみなします。

C1421.cob 12: JMN1421I-S PICTURE文字列で、固定挿入文字の'+', '-'または通貨編集用文字が誤った位置に指定されています。PICTURE 9とみなします。

C1421.cob 13: JMN1421I-S PICTURE文字列で、固定挿入文字の'+', '-'または通貨編集用文字が誤った位置に指定されています。PICTURE 9とみなします。

C1421.cob 14: JMN1421I-S PICTURE文字列で、固定挿入文字の'+', '-'または通貨編集用文字が誤った位置に指定されています。PICTURE 9とみなします。

2.3.241 JMN1423I-S

外部浮動小数点項目のPICTURE文字列で、仮数の数字のけた数は1以上16以下でなければなりません。PICTURE +9.E+99とみなします。

例題

```
[C1423. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1423.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC +9.9(20)E+99.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008     STOP RUN.
```

C1423.cob 6: JMN1423I-S 外部浮動小数点項目のPICTURE文字列で、仮数の数字のけた数は1以上16以下でなければなりません。PICTURE +9. E+99とみなします。

2.3.242 JMN1424I-W

外部浮動小数点項目のPICTURE文字列で、仮数部および指数部には符号を指定しなければなりません。正号'+'があったものとみなします。

例題

```
[C1424. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1424.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 9.9E+99.
000007 01 B PIC +9.9E99.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009     STOP RUN.
```

C1424.cob 6: JMN1424I-W 外部浮動小数点項目のPICTURE文字列で、仮数部および指数部には符号を指定しなければなりません。正号'+'があったものとみなします。

C1424.cob 7: JMN1424I-W 外部浮動小数点項目のPICTURE文字列で、仮数部および指数部には符号を指定しなければなりません。正号'+'があったものとみなします。

2.3.243 JMN1425I-S

PICTURE文字列で、'E'は二つ以上指定できません。PICTURE +9. E+99とみなします。

例題

```
[C1425. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1425.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC +9.9EE+99.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008     STOP RUN.
```

C1425.cob 6: JMN1425I-S PICTURE文字列で、'E'は二つ以上指定できません。PICTURE +9. E+99とみなします。

2.3.244 JMN1426I-W

外部浮動小数点項目のPICTURE文字列で、指数部のけた数は2けたでなければなりません。2けたとみなします。

例題

```
[C1426.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1426.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC +9.9E+9.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 STOP RUN.
```

C1426.cob 6: JMN1426I-W 外部浮動小数点項目のPICTURE文字列で、指数部のけた数は2けたでなければなりません。2けたとみなします。

2.3.245 JMN1427I-W

外部浮動小数点項目のPICTURE文字列で、仮数部には'V'または小数点を指定しなければなりません。仮数部の最右端に'V'が指定されたものとみなします。

例題

```
[C1427.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1427.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC +99E+99.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 STOP RUN.
```

C1427.cob 6: JMN1427I-W 外部浮動小数点項目のPICTURE文字列で、仮数部には'V'または小数点を指定しなければなりません。仮数部の最右端に'V'が指定されたものとみなします。

2.3.246 JMN1428I-S

外部浮動小数点項目のPICTURE文字列に誤りがあります。PICTURE +9. E+99とみなします。

例題

```
[C1428.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1428.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 9.9+E+99.
000007 01 B PIC +9.9E+ZZ.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 STOP RUN.
```

C1428.cob 6: JMN1428I-S 外部浮動小数点項目のPICTURE文字列に誤りがあります。PICTURE +9. E+99とみなします。

C1428.cob 7: JMN1428I-S 外部浮動小数点項目のPICTURE文字列に誤りがあります。PICTURE +9. E+99とみなします。

2.3.247 JMN1434I-S

PICTURE文字列で、不適切な組合せの指定があります。PICTURE 9とみなします。

例題

```
[C1434. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1434.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC S9. 9.
000007 01 B PIC S9, 999.
000008 01 C PIC S***.
000009 01 D PIC S¥9.
000010 01 E PIC A9. 9.
000011 01 F PIC N9.
000012 01 G PIC NB/N.
000013 01 H PIC 1B1.
000014 01 I PIC S9V9E+99.
000015 PROCEDURE DIVISION.
000016 STOP RUN.
```

C1434.cob 6: JMN1434I-S PICTURE文字列で、不適切な組合せの指定があります。PICTURE 9とみなします。

C1434.cob 7: JMN1434I-S PICTURE文字列で、不適切な組合せの指定があります。PICTURE 9とみなします。

C1434.cob 8: JMN1434I-S PICTURE文字列で、不適切な組合せの指定があります。PICTURE 9とみなします。

C1434.cob 9: JMN1434I-S PICTURE文字列で、不適切な組合せの指定があります。PICTURE 9とみなします。

C1434.cob 10: JMN1434I-S PICTURE文字列で、不適切な組合せの指定があります。PICTURE 9とみなします。

C1434.cob 11: JMN1434I-S PICTURE文字列で、不適切な組合せの指定があります。PICTURE 9とみなします。

C1434.cob 12: JMN1434I-S PICTURE文字列で、不適切な組合せの指定があります。PICTURE 9とみなします。

C1434.cob 13: JMN1434I-S PICTURE文字列で、不適切な組合せの指定があります。PICTURE 9とみなします。

C1434.cob 14: JMN1434I-S PICTURE文字列で、不適切な組合せの指定があります。PICTURE 9とみなします。

2.3.248 JMN1436I-S

PICTURE文字列で、反復回数のけた数は、10けた以下でなければなりません。最初の10けたが指定されたとみなします。

例題

```
[C1436. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1436.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC B(12345678901)A.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 STOP RUN.
```

C1436.cob 6: JMN1436I-S PICTURE文字列で、反復回数のけた数は、10けた以下でなければなりません。最初の10けたが指定されたとみなします。

2.3.249 JMN1437I-S

日本語項目または日本語編集項目の長さは、1073741823字以下でなければなりません。1073741823字とみなします。

例題

```
[C1437. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1437.
```

```
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 DATA DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 01 A PIC N(2000000000).  
000007 PROCEDURE DIVISION.  
000008     STOP RUN.
```

C1437.cob 6: JMN1437I-S 日本語項目または日本語編集項目の長さは、1073741823字以下でなければなりません。1073741823字とみなします。

2.3.250 JMN1438I-S

PICTURE文字列で、基本項目の長さは2147483647バイト以下でなければなりません。2147483647バイトとみなします。

例題

```
[C1438. cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C1438.  
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 DATA DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 01 A PIC A(2000000000)X(1000000000).  
000007 PROCEDURE DIVISION.  
000008     STOP RUN.
```

C1438.cob 6: JMN1438I-S PICTURE文字列で、基本項目の長さは2147483647バイト以下でなければなりません。2147483647バイトとみなします。

2.3.251 JMN1439I-W

数字編集項目のPICTURE文字列で、すべての数字位置が浮動挿入文字である場合、その浮動挿入文字の少なくとも一つは、小数点の左側に指定しなければなりません。

例題

```
[C1439. cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C1439.  
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 DATA DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 01 A PIC .++.  
000007 01 B PIC V--.  
000008 PROCEDURE DIVISION.  
000009     STOP RUN.
```

C1439.cob 6: JMN1439I-W 数字編集項目のPICTURE文字列で、すべての数字位置が浮動挿入文字である場合、その浮動挿入文字の少なくとも一つは、小数点の左側に指定しなければなりません。

C1439.cob 7: JMN1439I-W 数字編集項目のPICTURE文字列で、すべての数字位置が浮動挿入文字である場合、その浮動挿入文字の少なくとも一つは、小数点の左側に指定しなければなりません。

2.3.252 JMN1450I-I

SEGMENT-LIMIT句および節の見出しの区分番号は、注釈になります。

例題

```
[C1450. cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C1450.
```

```
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 CONFIGURATION  SECTION.
000005 OBJECT-COMPUTER. OBJ1
000006     SEGMENT-LIMIT.
000007 END PROGRAM     C1450.
```

C1450.cob 6: JMN1450I-I SEGMENT-LIMIT句および節の見出しの区分番号は、注釈になります。

2.3.253 JMN1464I-S

AQL変数宣言節の終わりは、END DECLARE SECTION文でなければなりません。節の最後に指定されたものとみなします。

例題

```
[C1464.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1464.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC AQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 HNO              PIC S9(4) BINARY.
000007 01 HCTG           PIC X(2).
000008 01 HNAME          PIC X(50).
000009 END PROGRAM C1464.
```

C1464.cob 9: JMN1464I-S AQL変数宣言節の終わりは、END DECLARE SECTION文でなければなりません。節の最後に指定されたものとみなします。

2.3.254 JMN1465I-S

作業場所節中または連絡節中には、BEGIN DECLARE SECTION, END DECLARE SECTION, INCLUDE AQLCA文以外のAQL文は指定できません。

例題

```
[C1465.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1465.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC AQL START AQL END-EXEC.
000006 END PROGRAM C1465.
```

C1465.cob 5: JMN1465I-S 作業場所節中または連絡節中には、BEGIN DECLARE SECTION, END DECLARE SECTION, INCLUDE AQLCA文以外のAQL文は指定できません。

2.3.255 JMN1466I-S

BEGIN DECLARE SECTION文が、節内で重複しています。

例題

```
[C1466.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1466.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC AQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 HNO              PIC S9(4) BINARY.
000007 01 HCTG           PIC X(2).
000008 01 HNAME          PIC X(50).
```



```
000009 EXEC AQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.  
000010 END PROGRAM C1466.
```

C1466.cob 9: JMN1466I-S BEGIN DECLARE SECTION文が、節内で重複しています。

2.3.256 JMN1472I-S

一つの翻訳単位中にSQL文とAQL文の両方を書いてはいけません。@1@文は無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : SQL, AQL

例題

```
[C1472. cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C1472.  
000003 DATA DIVISION.  
000004 WORKING-STORAGE SECTION.  
000005 EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.  
000006 EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.  
000007 EXEC AQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.  
000008 EXEC AQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
```

C1472.cob 7: JMN1472I-S 一つの翻訳単位中にSQL文とAQL文の両方を書いてはいけません。AQL文は無効となります。

C1472.cob 8: JMN1472I-S 一つの翻訳単位中にSQL文とAQL文の両方を書いてはいけません。AQL文は無効となります。

2.3.257 JMN1475I-S

日本語利用者語の中に日本語文字として使用できない文字があります。日本語利用者語は無効になります。

例題

```
[C1475. cob]  
000001 @OPTIONS SRF (FIX, FIX)  
000002 IDENTIFICATION DIVISION.  
000003 PROGRAM-ID. C1475.  
000004 DATA DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 01  
000007 PIC X.  
000008 END PROGRAM C1475. あああああ
```

C1475.cob 6: JMN1475I-S 日本語利用者語の中に日本語文字として使用できない文字があります。日本語利用者語は無効になります。

詳細な説明

日本語利用者語の文字コードの区切りがCOBOLソースプログラムの1行の終了カラム位置を超えています。各正書法における、一行の終了カラム位置(最大長)は以下のとおりです。

- ・ 固定形式: 72カラム(最大長は80バイト)
- ・ 可変形式: 251カラム(最大長は251バイト)
- ・ 自由形式: 251カラム(最大長は251バイト)

2.3.258 JMN1476I-S

プログラム名が30文字を超えています。先頭の30文字をプログラム名とみなします。

例題

[illegible]

C1476.cob 4: JMN1476I-S プログラム名が30文字を超えています。先頭の30文字をプログラム名とみなします。

詳細な説明

以下の定数は60バイト以内でなければなりません.

- ・ プログラム名定数
- ・ ENTRY文の定数-1

2.3.259 JMN1477I-I

このシステムでは, '@1@'は注釈扱いです.

埋め込みの説明

@1@: 注釈として扱う句または機能名

例題

```
[C1477. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1477.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT IN-F ASSIGN INFILE
000007 ORGANIZATION IS INDEXED
000008 RECORD KEY IS K1 PASSWORD IS P1.
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011 FD IN-F.
000012 01 IN-R PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 K1 PIC X(4).
000015 01 P1 PIC X(4).
000016 END PROGRAM C1477.
```

C1477.cob 8: JMN1477I-I このシステムでは、'PASSWORD'は注釈扱いです.

2.3.260 JMN1478I-W

このシステムでは, '@1@'は注釈として扱います.

埋め込みの説明

@1@ : 注釈として扱う句

例題

```
[C1478. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1478.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
```

```

000006      SELECT IN-F ASSIGN TO INFILE
000007      TRACK-AREA IS 8.
000008 DATA          DIVISION.
000009 FILE           SECTION.
000010 FD  IN-F.
000011 01  IN-R  PIC X(80).
000012 END PROGRAM    C1478.

```

C1478.cob 7: JMN1478I-W このシステムでは, 'TRACK-AREA'は注釈として扱います.

2.3.261 JMN1479I-S

連結式が最大長を超えています. 最大長までを連結します.

例題

```

[C1479. cob]
000001 @OPTIONS
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C1479.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007      DISPLAY "AAAAAAAAABBBBBBBBCCCCCCCCDDDDDDDDDEEEEEEEEE"
000008              & "FFFFFFFFFGGGGGGGGGHHHHHHHHHHIIIIIIIIJJJJJJJJ"
000009              & "KKKKKKKKKKLLLLLLLLMMMMMMMMNNNNNNNNNOOOOOOOO"
000010              & "PPPPPPPPPPQQQQQQQQRRRRRRRRSSSSSSSSSTTTTTTTTT".

```

C1479.cob 10: JMN1479I-S 連結式が最大長を超えています. 最大長までを連結します.

詳細な説明

連結した定数の最大長は他の定数と同様, 160バイトです. 1~160バイトの範囲内で記述してください.

2.3.262 JMN1480I-S

'&'の後には, 文字定数, 日本語定数または表意定数を指定しなければなりません. または指定された定数の組み合わせに誤りがあります. '&'は無効になります.

例題

```

[C1480. cob]
000001 @OPTIONS
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C1480.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 FFFFFFFFFF PIC X(10) VALUE IS "FFFFFFFFF".
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009      DISPLAY "AAAAAAAAABBBBBBBBCCCCCCCCDDDDDDDDDEEEEEEEEE"
000010              & FFFFFFFFFF.

```

C1480.cob 10: JMN1480I-S '&'の後には, 文字定数, 日本語定数または表意定数を指定しなければなりません. または指定された定数の組み合わせに誤りがあります. '&'は無効になります.

2.3.263 JMN1481I-E

'@1@'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です.

埋め込みの説明

@1@ : MSPまたはXSPシステムの固有機能の語

例題

```
[C1481.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1481.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT MSGFILE ASSIGN TO I-INFILE
000007     ACCESS MODE     IS RANDOM
000008     RECORD KEY       IS INFNUM
000009     NOMINAL KEY       IS WINF
000010     TRACK-AREA      IS 256 CHARACTERS
000011
000012 DATA              DIVISION.
000013 FILE                SECTION.
000014 FD MSGFILE.
000015 01 INFDAT.
000016 02 INFNUM           PIC S9(8) BINARY.
000017 02 INFMSG          PIC X(50).
000018 WORKING-STORAGE SECTION.
000019 01 WINF             PIC S9(8) BINARY.
000020 END PROGRAM C1481.
```

C1481.cob 6: JMN1481I-E 'インデックスつき編成ファイル'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

C1481.cob 9: JMN1481I-E 'NOMINAL KEY'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

2.3.264 JMN1482I-S

埋込みSQL文中で修飾付きの英数字のホスト変数の長さが250字を超えています。先頭から250字を文字列とみなします。

例題

```
[C1482.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1482.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 SQLSTATE          PIC X(5).
000007 01 AAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAA.
000008 02 BBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBB.
000009 03 CCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCC.
000010 04 DDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDD.
000011 05 EEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEE.
000012 06 FFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFF.
000013 07 GGGGGGGGGGGGGGGGGGGGGGGGGGGGG.
000014 08 HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH.
000015 09 IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII PIC X(5).
000016 EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000017 PROCEDURE DIVISION.
000018 EXEC SQL
000019     DECLARE CUR1 CURSOR FOR
000020     SELECT S1.TABLE
000021 END-EXEC.
000022 EXEC SQL
000023     FETCH CUR1 INTO
000024     :AAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAA.
000025-    BBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBB.
000026-    CCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCC.
000027-    DDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDD.
000028-    EEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEE.
```

```

000029-      FFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFF.
000030-      GGGGGGGGGGGGGGGGGGGGGGGGGG.
000031-      HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH.
000032-      IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII.
000033      END-EXEC.

```

C1482.cob 23: JMN1482I-S 埋込みSQL文中で修飾付きの英数字のホスト変数の長さが250字を超えています。先頭から250字を文字列とみなします。

2.3.265 JMN1486I-I

定数中にタブが現れました。タブをコードとして扱います。

例題

```

[C1486.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1486.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01  ITEM1  PIC X(4) VALUE "ABC  ".
000006 END PROGRAM      C1486.

```

C1486.cob 5: JMN1486I-I 定数中にタブが現れました。タブをコードとして扱います。

詳細な説明

コンパイラは、タブを複数の空白に置きかえて処理しません。

2.3.266 JMN1487I-S

定数の継続において、前の行は引用符とそれに続くハイフンで終わり、後の行は引用符で始まらなければなりません。

例題

```

[C1487.cob]
@OPTIONS SRF (FREE)
IDENTIFICATION DIVISION.
PROGRAM-ID.      C1487.
ENVIRONMENT      DIVISION.
DATA             DIVISION.
PROCEDURE        DIVISION.
DISPLAY  "123456789ABCDEF"-
123456789ABCDEF".
END PROGRAM      C1487.

```

C1487.cob 7: JMN1487I-S 定数の継続において、前の行は引用符とそれに続くハイフンで終わり、後の行は引用符で始まらなければなりません。

2.3.267 JMN1488I-S

定数の継続において、前の行および後の行は1文字以上の文字を含まなければなりません。

例題

```

[C1488.cob]
@OPTIONS SRF (FREE)
IDENTIFICATION DIVISION.
PROGRAM-ID.      C1488.
ENVIRONMENT      DIVISION.
DATA             DIVISION.
PROCEDURE        DIVISION.
DISPLAY "MESSAGE "-

```

```
""-
"DISPLAY".
END PROGRAM      C1488.
```

C1488.cob 7: JMN1488I-S 定数の継続において、前の行および後の行は1文字以上の文字を含まなければなりません。

2.3.268 JMN1489I-S

定数の終わりの引用符がありません。プログラムテキスト領域の終わりまでを定数とみなします。

例題

```
[C1489.cob]
@OPTIONS SRF(FREE)
IDENTIFICATION DIVISION.
PROGRAM-ID.      C1489.
ENVIRONMENT      DIVISION.
DATA              DIVISION.
PROCEDURE         DIVISION.
DISPLAY "MESSAGE DISPLAY
.
END PROGRAM      C1489.
```

C1489.cob 7: JMN1489I-S 定数の終わりの引用符がありません。プログラムテキスト領域の終わりまでを定数とみなします。

2.3.269 JMN1490I-S

翻訳オプションENCODE(UTF8,UTF16)またはENCODE(UTF8,UTF32)を指定した場合、連結式に日本語16進文字定数を指定することはできません。連結式は無効になります。

例題

```
000001 @OPTIONS ENCODE(UTF8,UTF16)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P1490.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA              DIVISION.
000006 PROCEDURE         DIVISION.
000007     DISPLAY NC"あ" & NX"3044"
000008     .
000009 END PROGRAM      P1490.
```

P1490.cob 7: JMN1490I-S 翻訳オプションENCODE(UTF8,UTF16)またはENCODE(UTF8,UTF32)を指定した場合、連結式に日本語16進文字定数を指定することはできません。連結式は無効になります。

2.3.270 JMN1500I-S

TYPE句において、REPORT、PAGEおよびCONTROLの後は、HEADINGまたはFOOTINGでなければなりません。

例題

```
[C1500.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1500.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA              DIVISION.
000008 FILE                SECTION.
000009 FD IN-F REPORT RPT-F.
000010 REPORT            SECTION.
```

```

000011 RD RPT-F PAGE 15 HEADING 2 FIRST DETAIL 5 LAST DETAIL 8 FOOTING 10.
000012 01 TYPE REPORT HEDDING.
000013 02 LINE 2
000014 COLUMN 3
000015 PIC X(15)
000016 VALUE " *COBOL SAMPLE* ".
000017 END PROGRAM C1500.

```

C1500.cob 12: JMN1500I-S TYPE句において、REPORT、PAGEおよびCONTROLの後は、HEADINGまたはFOOTINGでなければなりません。

2.3.271 JMN1501I-S

COLUMN NUMBER句の整数に0は指定できません。1とみなします。

例題

```

[C1501.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1501.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD IN-F REPORT RPT-F.
000010 REPORT SECTION.
000011 RD RPT-F.
000012 01 HEAD01 TYPE IS RH.
000013 01 FOOT01 TYPE IS RF COLUMN NUMBER IS 0.
000014 END PROGRAM C1501.

```

C1501.cob 13: JMN1501I-S COLUMN NUMBER句の整数に0は指定できません。1とみなします。

2.3.272 JMN1502I-S

COLUMN NUMBER句の整数は、32767以下でなければなりません。32767とみなします。

例題

```

[C1502.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1502.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD IN-F REPORT RPT-F.
000010 REPORT SECTION.
000011 RD RPT-F.
000012 01 HEAD01 TYPE IS RH.
000013 01 FOOT01 TYPE IS RF COLUMN NUMBER IS 32768.
000014 END PROGRAM C1502.

```

C1502.cob 13: JMN1502I-S COLUMN NUMBER句の整数は、32767以下でなければなりません。32767とみなします。

2.3.273 JMN1503I-S

SUM句で、RESETにはFINALまたはデータ名を指定しなければなりません。RESET指定は無効になります。

例題

```
[C1503.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1503.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT RPT-F.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01  A1  PIC X.
000012 01  A2  PIC X.
000013 01  A   PIC 9.
000014 REPORT           SECTION.
000015 RD  RPT-F CONTROL IS A1 A2 A.
000016 01  HEAD01 TYPE IS RH.
000017 01  CONH01 TYPE IS CONTROL HEADING A1.
000018 01  CONFO1 TYPE IS CONTROL FOOTING A2.
000019 02  DATA-1 PIC X(10) SUM A RESET.
000020 01  FOOT01 TYPE IS RF.
000021 END PROGRAM      C1503.
```

C1503.cob 19: JMN1503I-S SUM句で、RESETにはFINALまたはデータ名を指定しなければなりません。RESET指定は無効になります。

2.3.274 JMN1504I-S

SUM句で、UPONにはデータ名を指定しなければなりません。UPON指定は無効になります。

例題

```
[C1504.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1504.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT RPT-F.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01  A1  PIC X.
000012 01  A2  PIC X.
000013 01  A   PIC 9.
000014 REPORT           SECTION.
000015 RD  RPT-F CONTROL IS A1 A2 A.
000016 01  HEAD01 TYPE IS RH.
000017 01  CONH01 TYPE IS CONTROL HEADING A1.
000018 01  CONFO1 TYPE IS CONTROL FOOTING A2.
000019 02  DATA-1 PIC X(10) SUM A UPON.
000020 01  FOOT01 TYPE IS RF.
000021 END PROGRAM      C1504.
```

C1504.cob 19: JMN1504I-S SUM句で、UPONにはデータ名を指定しなければなりません。UPON指定は無効になります。

2.3.275 JMN1505I-S

SOURCE句で、PAGE-COUNTERまたはLINE-COUNTERの連結語OFまたはINの後は、報告書名でなければなりません。OFまたはINは無効になります。

例題

```
[C1505.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1505.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA              DIVISION.
000008 FILE                SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT RPT-F.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01  A1  PIC X.
000012 01  A2  PIC X.
000013 01  A   PIC 9.
000014 REPORT              SECTION.
000015 RD  RPT-F CONTROL IS A1 A2 A.
000016 01  HEAD01 TYPE IS RH.
000017 01  CONHO1 TYPE IS CONTROL HEADING A1.
000018     02  DATA-1 PIC X SOURCE IS PAGE-COUNTER OF.
000019 01  CONFO1 TYPE IS CONTROL FOOTING A2.
000020 01  FOOT01 TYPE IS RF.
000021 END PROGRAM        C1505.
```

C1505.cob 18: JMN1505I-S SOURCE句で、PAGE-COUNTERまたはLINE-COUNTERの連結語OFまたはINの後は、報告書名でなければなりません。OFまたはINは無効になります。

2.3.276 JMN1506I-W

CODE句の文字定数は、2文字でなければなりません。文字定数が1文字のとき空白を補い、2文字より長いときは先頭から2文字を有効とみなします。

例題

```
[C1506.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1506.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA              DIVISION.
000008 FILE                SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT RPT-F.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01  A1  PIC X.
000012 01  A2  PIC X.
000013 01  A   PIC 9.
000014 REPORT              SECTION.
000015 RD  RPT-F CODE "ABC" CONTROL IS A1 A2 A.
000016 01  HEAD01 TYPE IS RH.
000017 01  CONHO1 TYPE IS CONTROL HEADING A1.
000018 01  CONFO1 TYPE IS CONTROL FOOTING A2.
000019 01  FOOT01 TYPE IS RF.
000020 END PROGRAM        C1506.
```

C1506.cob 15: JMN1506I-W CODE句の文字定数は、2文字でなければなりません。文字定数が1文字のとき空白を補い、2文字より長いときは先頭から2文字を有効とみなします。

2.3.277 JMN1507I-S

PAGE LIMIT句で指定される整数は、999を超えてはなりません。999とみなします。

例題

```
[C1507.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1507.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA              DIVISION.
000008 FILE                SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT RPT-F.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01  A1  PIC X.
000012 01  A2  PIC X.
000013 01  A   PIC 9.
000014 REPORT              SECTION.
000015 RD  RPT-F PAGE LIMIT 1000 CONTROL IS A1 A2 A.
000016 01  HEAD01 TYPE IS RH.
000017 01  CONH01 TYPE IS CONTROL HEADING A1.
000018 01  CONF01 TYPE IS CONTROL FOOTING A2.
000019 01  FOOT01 TYPE IS RF.
000020 END PROGRAM        C1507.
```

C1507.cob 15: JMN1507I-S PAGE LIMIT句で指定される整数は、999を超えてはなりません。999とみなします。

2.3.278 JMN1508I-S

PAGE LIMIT句の整数に0は指定できません。999とみなします。

例題

```
[C1508.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1508.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA              DIVISION.
000008 FILE                SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT RPT-F.
000010 REPORT              SECTION.
000011 RD  RPT-F PAGE LIMIT 0.
000012 01  HEAD01 TYPE IS RH.
000013 01  FOOT01 TYPE IS RF.
000014 END PROGRAM        C1508.
```

C1508.cob 11: JMN1508I-S PAGE LIMIT句の整数に0は指定できません。999とみなします。

2.3.279 JMN1509I-S

PAGE句の構文に誤りがあります。

例題

```
[C1509.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1509.
```

```

000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT   SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA           DIVISION.
000008 FILE            SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT RPT-F.
000010 REPORT         SECTION.
000011 RD  RPT-F PAGE LIMIT "A".
000012 01  HEAD01 TYPE IS RH.
000013 01  FOOT01 TYPE IS RF.
000014 END PROGRAM    C1509.

```

C1509.cob 11: JMN1509I-S PAGE句の構文に誤りがあります。

2.3.280 JMN1510I-S

PAGE句で, HEADING, FIRST DETAIL, LAST DETAILまたはFOOTINGの直後には, 整数を指定しなければなりません.

例題

```

[C1510. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     C1510.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT   SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA           DIVISION.
000008 FILE            SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT RPT-F.
000010 REPORT         SECTION.
000011 RD  RPT-F PAGE LIMIT 10 HEADING.
000012 01  HEAD01 TYPE IS RH.
000013 01  FOOT01 TYPE IS RF.
000014 END PROGRAM    C1510.

```

C1510.cob 11: JMN1510I-S PAGE句で, HEADING, FIRST DETAIL, LAST DETAILまたはFOOTINGの直後には, 整数を指定しなければなりません.

2.3.281 JMN1511I-S

PAGE句で, FIRSTまたはLASTの直後はDETAILでなければなりません. FIRSTまたはLAST以降のPAGE句の記述は無効になります.

例題

```

[C1511. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     C1511.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT   SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA           DIVISION.
000008 FILE            SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT RPT-F.
000010 REPORT         SECTION.
000011 RD  RPT-F PAGE LIMIT 10 FIRST.
000012 01  HEAD01 TYPE IS RH.

```

```
000013 01 FOOT01 TYPE IS RF.
000014 END PROGRAM      C1511.
```

C1511.cob 11: JMN1511I-S PAGE句で、FIRSTまたはLASTの直後はDETAILでなければなりません。FIRSTまたはLAST以降のPAGE句の記述は無効になります。

2.3.282 JMN1512I-S

PAGE句の各整数の値は、HEADING、FIRST DETAIL、LAST DETAIL、FOOTINGおよびPAGE LIMITの順に昇順でなければなりません。PAGE LIMITで指定された整数のみ有効とします。

例題

```
[C1512.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1512.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 FD IN-F REPORT RPT-F.
000010 REPORT           SECTION.
000011 RD RPT-F PAGE LIMIT 10 HEADING 1
000012                     FIRST DETAIL 5
000013                     LAST DETAIL 3
000014                     FOOTING 10.
000015 01 HEAD01 TYPE IS RH.
000016 01 FOOT01 TYPE IS RF.
000017 END PROGRAM      C1512.
```

C1512.cob 11: JMN1512I-S PAGE句の各整数の値は、HEADING、FIRST DETAIL、LAST DETAIL、FOOTINGおよびPAGE LIMITの順に昇順でなければなりません。PAGE LIMITで指定された整数のみ有効とします。

2.3.283 JMN1513I-S

@1@で指定される整数は999を超えてはなりません。また、0であってでもなりません。

埋め込みの説明

@1@ : HEADING、FIRST DETAIL、LAST DETAIL、FOOTING

例題

```
[C1513.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1513.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 FD IN-F REPORT RPT-F.
000010 REPORT           SECTION.
000011 RD RPT-F PAGE LIMIT 10 HEADING 1000
000012                     FOOTING 0.
000013 01 HEAD01 TYPE IS RH.
000014 01 FOOT01 TYPE IS RF.
000015 END PROGRAM      C1513.
```

C1513.cob 11: JMN1513I-S HEADINGで指定される整数は999を超えてはなりません。また、0であってでもなりません。

C1513.cob 12: JMN1513I-S FOOTING で指定される整数は999を超えてはなりません。また、0であってもなりません。

2.3.284 JMN1514I-S

PAGE句中に@1@はすでに指定されています。

埋め込みの説明

@1@ : HEADING, FIRST DETAIL, LAST DETAIL, FOOTING

例題

```
[C1514. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1514.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT RPT-F.
000010 REPORT            SECTION.
000011 RD  RPT-F PAGE LIMIT 10 HEADING 1
000012                                HEADING 5.
000013 01  HEAD01 TYPE IS RH.
000014 01  FOOT01 TYPE IS RF.
000015 END PROGRAM      C1514.
```

C1514.cob 12: JMN1514I-S PAGE句中にHEADINGはすでに指定されています。

2.3.285 JMN1515I-S

LINE NUMBER句の構文に誤りがあります。

例題

```
[C1515. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1515.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT RPT-F.
000010 REPORT            SECTION.
000011 RD  RPT-F PAGE LIMIT 10.
000012 01  HEAD01 TYPE IS RH LINE NUMBER PLUS "AB".
000013 01  FOOT01 TYPE IS RF.
000014 END PROGRAM      C1515.
```

C1515.cob 12: JMN1515I-S LINE NUMBER句の構文に誤りがあります。

2.3.286 JMN1516I-S

@1@句の整数は999を超えてはなりません。999が指定されたものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : LINE NUMBER, NEXT GROUP

例題

```
[C1516.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1516.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT  RPT-F.
000010 REPORT           SECTION.
000011 RD  RPT-F PAGE  LIMIT 10.
000012 01  HEAD01 TYPE IS RH LINE NUMBER 1000
000013                      NEXT GROUP 1000.
000014 01  FOOT01 TYPE IS RF.
000015 END PROGRAM      C1516.
```

C1516.cob 12: JMN1516I-S LINE NUMBER句の整数は999を超えてはなりません。999が指定されたものとみなします。

C1516.cob 13: JMN1516I-S NEXT GROUP句の整数は999を超えてはなりません。999が指定されたものとみなします。

2.3.287 JMN1517I-S

LINE NUMBER句のON NEXT PAGE指定に誤りがあります。ON NEXT PAGE指定は無効になります。

例題

```
[C1517.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1517.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT  RPT-F.
000010 REPORT           SECTION.
000011 RD  RPT-F PAGE  LIMIT 10.
000012 01  HEAD01 TYPE IS RH LINE NUMBER 1 ON.
000013 01  FOOT01 TYPE IS RF.
000014 END PROGRAM      C1517.
```

C1517.cob 12: JMN1517I-S LINE NUMBER句のON NEXT PAGE指定に誤りがあります。ON NEXT PAGE指定は無効になります。

2.3.288 JMN1518I-S

NEXT GROUP句に整数0は指定できません。

例題

```
[C1518.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1518.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT  RPT-F.
```

```

000010 REPORT          SECTION.
000011 RD  RPT-F PAGE LIMIT 10.
000012 01  HEAD01 TYPE IS RH LINE NUMBER 1
000013              NEXT GROUP  0.
000014 01  FOOT01 TYPE IS RF.
000015 END PROGRAM      C1518.

```

C1518.cob 13: JMN1518I-S NEXT GROUP句に整数0は指定できません。

2.3.289 JMN1519I-S

NEXT GROUP句はすでに指定されています。

例題

```

[C1519. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1519.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT RPT-F.
000010 REPORT            SECTION.
000011 RD  RPT-F PAGE LIMIT 10.
000012 01  HEAD01 TYPE IS RH LINE NUMBER 1
000013              NEXT GROUP IS NEXT GROUP.
000014 01  FOOT01 TYPE IS RF.
000015 END PROGRAM      C1519.

```

C1519.cob 13: JMN1519I-S NEXT GROUP句はすでに指定されています。

2.3.290 JMN1520I-S

報告集団記述項のUSAGE句には、DISPLAYを指定しなければなりません。DISPLAYとみなします。

例題

```

[C1520. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1520.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT RPT-F.
000010 REPORT            SECTION.
000011 RD  RPT-F PAGE LIMIT 10.
000012 01  HEAD01 TYPE IS RH USAGE PACKED-DECIMAL.
000013 01  FOOT01 TYPE IS RF.
000014 END PROGRAM      C1520.

```

C1520.cob 12: JMN1520I-S 報告集団記述項のUSAGE句には、DISPLAYを指定しなければなりません。DISPLAYとみなします。

2.3.291 JMN1521I-S

レベル番号のみ、またはレベル番号とデータ名のみからなる報告集団記述項が指定されています。処理を続行します。

2.3.292 JMN1522I-S

@1@句はレベル番号01の報告集団記述項以外に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : TYPE, NEXT GROUP

例題

```
[C1522.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1522.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT  RPT-F.
000010 REPORT           SECTION.
000011 RD  RPT-F PAGE 15 HEADING 2 FIRST DETAIL 5 LAST DETAIL 8 FOOTING 10.
000012 01              TYPE RH.
000013 02              TYPE RH
000014                LINE 2
000015                COLUMN 3
000016                PIC X(15)
000017                VALUE " *COBOL SAMPLE* ".
000018 END PROGRAM      C1522.
```

C1522.cob 13: JMN1522I-S TYPE句はレベル番号01の報告集団記述項以外に指定できません。

2.3.293 JMN1523I-S

SIGN句にSEPARATE CHARACTERを指定しなければなりません。

例題

```
[C1523.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1523.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT  RPT-F.
000010 REPORT           SECTION.
000011 RD  RPT-F PAGE 15 HEADING 2 FIRST DETAIL 5 LAST DETAIL 8 FOOTING 10.
000012 01              TYPE RH.
000013 02              LINE 2
000014                COLUMN 3
000015                PIC S9(4) SIGN IS LEADING
000016                VALUE 10.
000017 END PROGRAM C1523.
```

C1523.cob 13: JMN1523I-S SIGN句にSEPARATE CHARACTERを指定しなければなりません。

2.3.294 JMN1524I-S

VALUE句が指定された報告集団記述項に、BLANK WHEN ZERO句は指定できません。

例題

```
[C1524.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1524.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE               SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT  RPT-F.
000010 REPORT            SECTION.
000011 RD  RPT-F PAGE 15 HEADING 2 FIRST DETAIL 5 LAST DETAIL 8 FOOTING 10.
000012 01              TYPE RH.
000013 02              LINE 2
000014                COLUMN 3
000015                PIC S9(4)
000016                VALUE 10
000017                BLANK WHEN ZERO.
000018 END PROGRAM      C1524.
```

C1524.cob 13: JMN1524I-S VALUE句が指定された報告集団記述項に、BLANK WHEN ZERO句は指定できません。

2.3.295 JMN1525I-S

SUM句、SOURCE句またはVALUE句は、同時に二つ以上指定できません。最初に指定された句を有効とします。

例題

```
[C1525.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1525.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE               SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT  RPT-F.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01  A1  PIC X.
000012 01  A2  PIC X.
000013 01  A   PIC 9.
000014 REPORT            SECTION.
000015 RD  RPT-F CONTROL IS A1 A2 A.
000016 01 HEAD01 TYPE IS RH.
000017 01 CONH01 TYPE IS CONTROL HEADING A1.
000018 01 CONFO1 TYPE IS CONTROL FOOTING A2.
000019 02 DATA-1 PIC X(10) SUM A VALUE 1.
000020 01 FOOT01 TYPE IS RF.
000021 END PROGRAM      C1525.
```

C1525.cob 19: JMN1525I-S SUM句、SOURCE句またはVALUE句は、同時に二つ以上指定できません。最初に指定された句を有効とします。

2.3.296 JMN1526I-S

COLUMN NUMBER句とPRINTING POSITION句は、同時に指定できません。最初に指定された句を有効とします。

例題

```
[C1526.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1526.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT  RPT-F.
000010 REPORT           SECTION.
000011 RD  RPT-F PAGE 15 HEADING 2 FIRST DETAIL 5 LAST DETAIL 8 FOOTING 10.
000012 01              TYPE RH.
000013 02              LINE 2
000014                COLUMN 3
000015                PIC X(13) VALUE "COBOL SAMPLE"
000016                PRINTING POSITION IS 1.
000017 END PROGRAM C1526.
```

C1526.cob 16: JMN1526I-S COLUMN NUMBER句とPRINTING POSITION句は、同時に指定できません。最初に指定された句を有効とします。

C1526.cob 16: JMN1526I-S COLUMN NUMBER句とPRINTING POSITION句は、同時に指定できません。最初に指定された句を有効とします。

2.3.297 JMN1527I-S

報告書記述項に報告書名の指定がありません。

例題

```
[C1527.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1527.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 DATA             DIVISION.
000007 FILE              SECTION.
000008 REPORT           SECTION.
000009 RD.
000010 01 HEAD01 TYPE IS RH.
000011 01 FOOT01 TYPE IS RF.
000012 END PROGRAM      C1527.
```

C1527.cob 9: JMN1527I-S 報告書記述項に報告書名の指定がありません。

2.3.298 JMN1528I-S

EXTERNAL句は報告書記述項に指定できません。

例題

```
[C1528.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1528.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA             DIVISION.
```

```

000008 FILE          SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT RPT-F.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 REPORT          SECTION.
000012 RD  RPT-F EXTERNAL.
000013 01  HEAD01 TYPE IS RH.
000014 01  FOOT01 TYPE IS RF.
000015 END PROGRAM    C1528.

```

C1528.cob 12: JMN1528I-S EXTERNAL句は報告書記述項に指定できません。

2.3.299 JMN1529I-S

報告集団記述項にFILLERは、指定できません。

例題

```

[C1529.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1529.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT RPT-F.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 REPORT            SECTION.
000012 RD  RPT-F.
000013 01  FILLER TYPE IS RH.
000014 01  FOOT01 TYPE IS RF.
000015 END PROGRAM      C1529.

```

C1529.cob 13: JMN1529I-S 報告集団記述項にFILLERは、指定できません。

2.3.300 JMN1530I-S

報告集団記述項に66, 77, 78または88のレベル番号は、指定できません。

例題

```

[C1530.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1530.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT RPT-F.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 REPORT            SECTION.
000012 RD  RPT-F.
000013 01  HEAD01 TYPE IS RH.
000014 78  DATA-1 PIC 9(4) VALUE 1.
000015 01  FOOT01 TYPE IS RF.
000016 END PROGRAM      C1530.

```

C1530.cob 14: JMN1530I-S 報告集団記述項に66, 77, 78または88のレベル番号は、指定できません。

2.3.301 JMN1531I-S

報告集団記述項のレベル番号は、3階層の範囲でなければなりません。正しいレベルの階層とみなします。

例題

```
[C1531.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1531.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT  RPT-F.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 REPORT            SECTION.
000012 RD  RPT-F.
000013 01  HEAD01 TYPE IS RH.
000014 02  LINE NUMBER IS PLUS 1.
000015 03  PIC 9(4) COLUMN NUMBER IS 1 VALUE 1.
000016 04  PIC X(5) COLUMN NUMBER IS 8 VALUE "A".
000017 01  FOOT01 TYPE IS RF.
000018 END PROGRAM      C1531.
```

C1531.cob 16: JMN1531I-S 報告集団記述項のレベル番号は、3階層の範囲でなければなりません。正しいレベルの階層とみなします。

2.3.302 JMN1532I-S

REPORT句が指定されたファイル記述項にLINAGE句は指定できません。

例題

```
[C1532.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1532.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 FD  IN-F REPORT  RPT-F LINAGE IS 1 LINES.
000010 REPORT            SECTION.
000011 RD  RPT-F.
000012 01  RPT1  TYPE IS RH.
000013 END PROGRAM      C1532.
```

C1532.cob 9: JMN1532I-S REPORT句が指定されたファイル記述項にLINAGE句は指定できません。

2.3.303 JMN1533I-S

GLOBAL句は報告書記述項に指定できません。

例題

```
[C1533.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1533.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
```

```

000006      SELECT IN-F ASSIGN INFILE.
000007 DATA          DIVISION.
000008 FILE           SECTION.
000009 FD   IN-F REPORT RPT-F.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 REPORT          SECTION.
000012 RD   RPT-F GLOBAL.
000013 01  HEAD01 TYPE IS RH.
000014 01  FOOT01 TYPE IS RF.
000015 END PROGRAM    C1533.

```

C1533.cob 12: JMN1533I-S GLOBAL句は報告書記述項に指定できません。

2.3.304 JMN1534I-S

PADDING CHARACTER句の文字定数の長さは1文字でなければなりません。先頭1文字を文字定数とみなします。

例題

```

[C1534. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1534.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006      SELECT IN-F ASSIGN DISK
000007          ORGANIZATION SEQUENTIAL
000008          PADDING CHARACTER IS "AB".
000009 DATA          DIVISION.
000010 FILE           SECTION.
000011 FD   IN-F.
000012 01  IN-R PIC X(80).
000013 END PROGRAM    C1534.

```

C1534.cob 8: JMN1534I-S PADDING CHARACTER句の文字定数の長さは1文字でなければなりません。先頭1文字を文字定数とみなします。

2.3.305 JMN1535I-S

@1@句は順ファイル以外に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : PADDING,RECORD DELIMITER

例題

```

[C1535. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1535.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006      SELECT RLFILE ASSIGN TO SYS006
000007          ORGANIZATION IS RELATIVE
000008          PADDING CHARACTER IS WPC.
000009 DATA          DIVISION.
000010 FILE           SECTION.
000011 FD RLFILE.
000012 01 RLREC.
000013 02          PIC 9(4).
000014 02          PIC X(66).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.

```

```
000016 01 WPC          PIC X(1).
000017 PROCEDURE       DIVISION.
000018 END PROGRAM     C1535.
```

C1535.cob 8: JMN1535I-S PADDING句は順ファイル以外に指定できません。

2.3.306 JMN1538I-I

(OBS)@1@句は, @2@ COBOLの廃要素です.

埋め込みの説明

@1@ : MEMORY SIZE, RERUN, MULTIPLE FILE TAPE, DATA RECODE, LABEL RECORD, VALUE OF

@2@ : ANSI85

例題

```
[C1538. cob]
000001 @OPTIONS CONF (OBS), LONGLVL (85)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C1538.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 CONFIGURATION    SECTION.
000006 OBJECT-COMPUTER. OBJ01
000007     MEMORY SIZE 256 WORDS.
000008 DATA             DIVISION.
000009 PROCEDURE          DIVISION.
000010 END PROGRAM        C1538.
```

C1538.cob 7: JMN1538I-I (OBS)'MEMORY SIZE'句は, ANSI85 COBOLの廃要素です。

2.3.307 JMN1539I-I

(OBS)@1@段落は, @2@ COBOLの廃要素です.

埋め込みの説明

@1@ : AUTHOR, INSTALLATION, DATE-WRITTEN, ,DATE-COMPILED, SECURITY

@2@ : ANSI85

例題

```
[C1539. cob]
000001 @OPTIONS CONF (OBS), LONGLVL (85)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C1539.
000004 AUTHOR.          COMP.
000005 ENVIRONMENT      DIVISION.
000006 DATA             DIVISION.
000007 PROCEDURE          DIVISION.
000008 END PROGRAM        C1539.
```

C1539.cob 4: JMN1539I-I (OBS)AUTHOR段落は, ANSI85 COBOLの廃要素です。

2.3.308 JMN1540I-S

PASSWORD句は順ファイル(編成ASまたはVS), 相対ファイルまたは索引ファイル以外に指定できません.

例題

```
[C1540. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000002 PROGRAM-ID.      C1540.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN TO INFILE
000007     ORGANIZATION IS SEQUENTIAL
000008     PASSWORD        IS PSWD1.
000009 DATA              DIVISION.
000010 FILE              SECTION.
000011 FD   IN-F.
000012 01   IN-R   PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01   PSWD1      PIC X(8) VALUE "COMP1234".
000015 END PROGRAM C1540.

```

C1540.cob 8: JMN1540I-S PASSWORD句は順ファイル(編成ASまたはVS), 相対ファイルまたは索引ファイル以外に指定できません。

2.3.309 JMN1544I-S

'END DECLARE SECTION'が指定されていません。'END DECLARE SECTION'を補います。

例題

```

[C1544.cob]
000001 PROGRAM-ID.  C1544.
000002 ENVIRONMENT DIVISION.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01   SQLSTATE  PIC X(5).
000007 01   SQLCODE   PIC 9(9).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009     STOP RUN.

```

C1544.cob 8: JMN1544I-S 'END DECLARE SECTION'が指定されていません。'END DECLARE SECTION'を補います。

2.3.310 JMN1545I-S

[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

作業場所節中または連絡節中には, 'BEGIN DECLARE SECTION'および'END DECLARE SECTION'以外は指定できません。

[Linux64]

作業場所節中, 局所記憶節中または連絡節中には, 'BEGIN DECLARE SECTION'および'END DECLARE SECTION'以外は指定できません。

例題

```

[C1545.cob]
000001 PROGRAM-ID.  C1545.
000002 ENVIRONMENT DIVISION.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL START SQL END-EXEC.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007     STOP RUN.

```

- **[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]**

C1545.cob 5: JMN1545I-S 作業場所節中または連絡節中には, 'BEGIN DECLARE SECTION'および'END DECLARE SECTION'以外は指定できません。

- [\[Linux64\]](#)

C1545.cob 5: JMN1545I-S 作業場所節中, 局所記憶節中または連絡節中には, 'BEGIN DECLARE SECTION'および'END DECLARE SECTION'以外は指定できません。

2.3.311 JMN1547I-I

(OBS)@1@は, @2@ COBOLの廃要素です。

埋め込みの説明

@1@ : 区分化機能

@2@ : ANSI85

例題

```
[C1547. cob]
000001 @OPTIONS CONF (OBS), LONGLVL (85)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C1547.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 CONFIGURATION    SECTION.
000006 OBJECT-COMPUTER. OBJ1
000007     SEGMENT-LIMIT IS 1
000008     .
000009 END PROGRAM C1547.
```

C1547.cob 7: JMN1547I-I (OBS)区分化機能は, ANSI85 COBOLの廃要素です。

2.3.312 JMN1553I-S

MULTIPLE FILE TAPE句中のPOSITION指定の整数は, @1@以下でなければなりません。@1@とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 256

例題

```
[C1553. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1553.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN TO INFILE.
000007 I-O-CONTROL.
000008     MULTIPLE FILE TAPE IN-F POSITION 257.
000009 DATA              DIVISION.
000010 FILE                SECTION.
000011 FD IN-F.
000012 01 IN-R PIC X(80).
000013 END PROGRAM      C1553.
```

C1553.cob 8: JMN1553I-S MULTIPLE FILE TAPE句中のPOSITION指定の整数は, 256以下でなければなりません。256とみなします。

2.3.313 JMN1555I-S

INCLUDE @1@文のEND-EXECは終止符で終わらなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : SQLDA

例題

```
[C1555.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1555.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL
000006         INCLUDE SQLDA HAVING 5 COLUMNS
000007     END-EXEC
000008 END PROGRAM        C1555.
```

C1555.cob 5: JMN1555I-S INCLUDE SQLDA文のEND-EXECは終止符で終わらなければなりません。

2.3.314 JMN1556I-S

埋込みSQL宣言節中に、INCLUDE @1@文は指定してはいけません。

埋め込みの説明

@1@ : SQLDA

例題

```
[C1556.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1556.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006     EXEC SQL
000007         INCLUDE SQLDA HAVING 5 COLUMNS
000008     END-EXEC.
000009     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000010 PROCEDURE             DIVISION.
000011 END PROGRAM          C1556.
```

C1556.cob 6: JMN1556I-S 埋込みSQL宣言節中に、INCLUDE SQLDA文は指定してはいけません。

2.3.315 JMN1557I-S

PASSWORD句は、RECORD KEY句またはALTERNATE RECORD KEY句に指定しなければなりません。

例題

```
[C1557.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1557.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT        SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE
000007     ORGANIZATION IS INDEXED
000008     PASSWORD      IS P1
000009     RECORD KEY    IS IN-NO
000010     .
000011 DATA             DIVISION.
000012 FILE               SECTION.
000013 FD IN-F.
000014 01 IN-R.
```

```

000015 02 IN-NO      PIC 9(4).
000016 02 IN-NAME   PIC X(80).
000017 WORKING-STORAGE SECTION.
000018 01 P1        PIC X(6) VALUE "CMP123".
000019 END PROGRAM C1557.

```

C1557.cob 8: JMN1557I-S PASSWORD句は、RECORD KEY句またはALTERNATE RECORD KEY句に指定しなければなりません。

2.3.316 JMN1558I-S

HAVING句の整数は、1以上33554431以下でなければなりません。

例題

```

[C1558.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1558.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006     EXEC SQL
000007         INCLUDE SQLDA HAVING 0 COLUMNS
000008     END-EXEC.
000009     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000010 PROCEDURE           DIVISION.
000011 END PROGRAM          C1558.

```

C1558.cob 7: JMN1558I-S HAVING句の整数は、1以上33554431以下でなければなりません。

2.3.317 JMN1559I-S

INCLUDE SQLDA文の構文に誤りがあります。

例題

```

[C1559.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1559.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL INCLUDE SQLDA END-EXEC.
000006 END PROGRAM          C1559.

```

C1559.cob 5: JMN1559I-S INCLUDE SQLDA文の構文に誤りがあります。

2.3.318 JMN1560I-S

INCLUDE SQLDA文のSQLDA構造体名に誤りがあります。

例題

```

[C1560.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1560.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL
000006         INCLUDE SQLDA AS "ABC" HAVING 1 COLUMNS
000007     END-EXEC.
000008 END PROGRAM          C1560.

```

C1560.cob 6: JMN1560I-S INCLUDE SQLDA文のSQLDA構造体名に誤りがあります。

2.3.319 JMN1561I-S

@1@句の構文に誤りがあります。

埋め込みの説明

@1@ : POSITIONING UNIT

例題

```
[C1561.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1561.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     POSITIONING UNIT IS 12 .
000007 DATA             DIVISION.
000008 END PROGRAM C1561.
```

C1561.cob 6: JMN1561I-S POSITIONING UNIT句の構文に誤りがあります。

2.3.320 JMN1562I-S

POSITIONING UNIT句の定数は、0.01以上24.00以下の符号なし数字定数でなければなりません。数字定数の小数部けた数は2けた以下でなければなりません。

例題

```
[C1562.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1562.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     POSITIONING UNIT PUN-A IS 24.01 CPI.
000007 DATA             DIVISION.
000008 END PROGRAM C1562.
```

C1562.cob 6: JMN1562I-S POSITIONING UNIT句の定数は、0.01以上24.00以下の符号なし数字定数でなければなりません。数字定数の小数部けた数は2けた以下でなければなりません。

2.3.321 JMN1563I-S

PRINTING POSITION句のBY指定には、位置決め単位名を指定しなければなりません。

例題

```
[C1563.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1563.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     POSITIONING UNIT PUN-A IS 12 CPI.
000007 DATA             DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009     01 REC1         PIC X(10) PRINTING POSITION IS 20 BY "BMP".
000010 PROCEDURE          DIVISION.
000011 END PROGRAM C1563.
```

C1563.cob 9: JMN1563I-S PRINTING POSITION句のBY指定には、位置決め単位名を指定しなければなりません。

2.3.322 JMN1566I-S

CHARACTER TYPE句のOR指定には、印字モード名を指定しなければなりません。

例題

```
[C1566.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1566.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     PRINTING MODE PM1 IS FOR MOCS
000007     PRINTING MODE PM2 IS FOR SOCS
000008
000009 DATA DIVISION.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011     01  WN001    PIC N(80) CHARACTER TYPE IS PM1 OR
000012                                PRINTING POSITION IS 10.
000013 END PROGRAM C1566.
```

C1566.cob 11: JMN1566I-S CHARACTER TYPE句のOR指定には、印字モード名を指定しなければなりません。

2.3.323 JMN1567I-S

CHARACTER TYPE句のDEPENDENT ON指定には、データ名を指定しなければなりません。

例題

```
[C1567.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1567.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     PRINTING MODE PM1 IS FOR MOCS FONT MINCHOU
000007     PRINTING MODE PM2 IS FOR MOCS FONT MINCHOU-HANKAKU.
000008 DATA DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010     01  WO01    PIC N(30) CHARACTER TYPE IS PM1 PM2
000011                                DEPENDENT ON 1.
000012 END PROGRAM C1567.
```

C1567.cob 10: JMN1567I-S CHARACTER TYPE句のDEPENDENT ON指定には、データ名を指定しなければなりません。

2.3.324 JMN1568I-S

CHARACTER TYPE句に複数の印字モード名を指定する場合、DEPENDENT ON指定を記述しなければなりません。

例題

```
[C1568.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1568.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     PRINTING MODE PM1 IS FOR MOCS FONT MINCHOU
000007     PRINTING MODE PM2 IS FOR MOCS FONT MINCHOU-HANKAKU.
000008 DATA DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
```

```
000010 01 W001 PIC N(30) CHARACTER TYPE IS PM1 PM2.  
000011 END PROGRAM C1568.
```

C1568.cob 10: JMN1568I-S CHARACTER TYPE句に複数の印字モード名を指定する場合、DEPENDENT ON指定を記述しなければなりません。

2.3.325 JMN1569I-S

@1@句の@2@指定に誤りがあります。

埋め込みの説明

@1@ : PRINTING MODE

@2@ : FOR,SIZE,PITCH,FONT,ANGLE,FORM

例題

```
[C1569. cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C1569.  
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 CONFIGURATION SECTION.  
000005 SPECIAL-NAMES.  
000006 PRINTING MODE PM1 IS FOR NATIONAL  
000007 PRINTING MODE PM2 IS IN FONT.  
000008 DATA DIVISION.  
000009 WORKING-STORAGE SECTION.  
000010 END PROGRAM C1569.
```

C1569.cob 6: JMN1569I-S PRINTING MODE句のFOR指定に誤りがあります。

C1569.cob 7: JMN1569I-S PRINTING MODE句のFONT指定に誤りがあります。

2.3.326 JMN1570I-S

@1@句中に@2@指定は、すでに記述されています。

埋め込みの説明

@1@ : PRINTING MODE

@2@ : SIZE,PITCH,FONT,ANGLE,FORM

例題

```
[C1570. cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C1570.  
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 CONFIGURATION SECTION.  
000005 SPECIAL-NAMES.  
000006 PRINTING MODE PM1 IS FOR MOCS IN SIZE 12 POINT  
000007 WITH FONT MINCHOU  
000008 SIZE 15 POINT.  
000009 END PROGRAM C1570.
```

C1570.cob 8: JMN1570I-S PRINTING MODE句中にSIZE指定は、すでに記述されています。

2.3.327 JMN1571I-S

SIZE指定の定数は、3以上300以下の符号なし数字定数でなければなりません。数字定数の小数部けた数は、1以下でなければなりません。

例題

```
[C1571.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1571.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     PRINTING MODE PM1 IS FOR MOCS IN SIZE 2 POINT.
000007 END PROGRAM C1571.
```

C1571.cob 6: JMN1571I-S SIZE指定の定数は、3以上300以下の符号なし数字定数でなければなりません。数字定数の小数部けた数は、1以下でなければなりません。

2.3.328 JMN1572I-S

PITCH指定の定数は、0. 01以上24. 00以下の符号なし数字定数でなければなりません。数字定数の小数部けた数は、2けた以下でなければなりません。

例題

```
[C1572.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1572.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     PRINTING MODE PM1 IS FOR MOCS AT PITCH 25.00 CPI.
000007 END PROGRAM C1572.
```

C1572.cob 6: JMN1572I-S PITCH指定の定数は、0. 01以上24. 00以下の符号なし数字定数でなければなりません。数字定数の小数部けた数は、2けた以下でなければなりません。

2.3.329 JMN1573I-S

ANGLE指定の整数は、0または90でなければなりません。

例題

```
[C1573.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1573.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     PRINTING MODE PM1 IS FOR MOCS AT ANGLE 45 DEGREES.
000007 END PROGRAM C1573.
```

C1573.cob 6: JMN1573I-S ANGLE指定の整数は、0または90でなければなりません。

2.3.330 JMN1574I-S

@1@指定の機能名に誤りがあります。

埋め込みの説明

@1@ : FONT, FORM

例題

```
[C1574.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1574.
```

```

000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 CONFIGURATION  SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     PRINTING MODE PM1 IS FOR MOCS WITH FONT KYOUKASHOTAI.
000007 END PROGRAM C1574.

```

C1574.cob 6: JMN1574I-S FONT指定の機能名に誤りがあります。

2.3.331 JMN1575I-W

ASSIGN句にPRINTER_nが指定されています。SELECT句に書いたファイルを印刷装置に関連付けます。

例題

```

[C1575.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1575.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO PRINTER_1
000007     ORGANIZATION  IS SEQUENTIAL
000008     FILE STATUS    IS WFS1.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA            DIVISION.
000011 FILE              SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQF1.
000014 02              PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 PRINTER_1    PIC X(160).
000017 01 WFS1         PIC X(2).
000018 PROCEDURE       DIVISION.
000019 END PROGRAM      C1575.

```

C1575.cob 6: JMN1575I-W ASSIGN句にPRINTER_nが指定されています。SELECT句に書いたファイルを印刷装置に関連付けます。

2.3.332 JMN1576I-S

このシステムでは、'@1@'は使用できません。

埋め込みの説明

@1@ : 名標, 句, 文

例題

```

[C1576.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1576.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 DATA-1        PIC N VALUE NH"あ".
000006 END PROGRAM      C1576.

```

C1576.cob 5: JMN1576I-S このシステムでは、'NH'は使用できません。

2.3.333 JMN1578I-S

ASSIGN句のPRINTERは、行順編成以外の順ファイルにのみ指定できます。

例題

```
[C1578.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1578.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT AFILE ASSIGN TO PRINTER
000007             ORGANIZATION IS LINE SEQUENTIAL.
000008 DATA              DIVISION.
000009 FILE              SECTION.
000010 FD  AFILE.
000011 01 REC-A      PIC X(10).
000012 END PROGRAM C1578.
```

C1578.cob 6: JMN1578I-S ASSIGN句のPRINTERは、行順編成以外の順ファイルにのみ指定できます。

2.3.334 JMN1579I-S

LOCK MODE句のMANUALは、相対ファイルまたは索引ファイルにのみ指定できます。

例題

```
[C1579.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1579.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT AFILE ASSIGN TO DISK
000007             ORGANIZATION IS SEQUENTIAL
000008             LOCK MODE IS MANUAL WITH LOCK ON MULTIPLE RECORDS.
000009 DATA              DIVISION.
000010 FILE              SECTION.
000011 FD  AFILE.
000012 01 A-REC PIC X(10).
000013 END PROGRAM C1579.
```

C1579.cob 8: JMN1579I-S LOCK MODE句のMANUALは、相対ファイルまたは索引ファイルにのみ指定できます。

2.3.335 JMN1580I-S

レベル番号01の直後にはデータ名を指定しなければなりません。

例題

```
[C1580.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1580.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA              DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 DD      PIC X(4).
000007 SCREEN SECTION.
000008 01      PIC X(8) FROM DD.
000009 END PROGRAM C1580.
```

C1580.cob 8: JMN1580I-S レベル番号01の直後にはデータ名を指定しなければなりません。

2.3.336 JMN1581I-S

BACKGROUND-COLOR句またはFOREGROUND-COLOR句の整数は0～7でなければなりません。

例題

```
[C1581.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1581.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 DD            PIC X(2).
000007 SCREEN            SECTION.
000008 01 A              PIC X(2) FROM DD BACKGROUND-COLOR IS 8.
000009 END PROGRAM C1581.
```

C1581.cob 8: JMN1581I-S BACKGROUND-COLOR句またはFOREGROUND-COLOR句の整数は0～7でなければなりません。

2.3.337 JMN1582I-S

画面記述項のUSAGE句にはDISPLAYを指定しなければなりません。DISPLAYとみなします。

例題

```
[C1582.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1582.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 AA            PIC X(2).
000007 SCREEN            SECTION.
000008 01 A              PIC X(8) FROM AA USAGE IS INDEX.
000009 END PROGRAM C1582.
```

C1582.cob 8: JMN1582I-S 画面記述項のUSAGE句にはDISPLAYを指定しなければなりません。DISPLAYとみなします。

2.3.338 JMN1583I-W

FULL句の指定された画面記述項にJUSTIFIED句は指定できません。JUSTIFIED句を無効にします。

例題

```
[C1583.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1583.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 AA            PIC X(2).
000007 SCREEN            SECTION.
000008 01 A              PIC X(8) TO AA
000009                  FULL
000010                  JUSTIFIED.
000011 END PROGRAM C1583.
```

C1583.cob 8: JMN1583I-W FULL句の指定された画面記述項にJUSTIFIED句は指定できません。JUSTIFIED句を無効にします。

2.3.339 JMN1584I-S

画面記述項では'@1@'句と'@2@'句は同時に指定できません。'@2@'句を無効にします。

埋め込みの説明

@1@ : PICTURE,VALUE

@2@ : VALUE,AUTO,FULL,REQUIRED,SECURE,BLANK WHEN ZERO,USAGE

例題

```
[C1584. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1584.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE  SECTION.
000006 01 AA            PIC X(2).
000007 SCREEN           SECTION.
000008 01 A             PIC X(2) FROM AA
000009                  VALUE "AAA".
000010 END PROGRAM C1584.
```

C1584.cob 8: JMN1584I-S 画面記述項では'PICTURE'句と'VALUE'句は同時に指定できません. 'VALUE'句を無効にします.

2.3.340 JMN1586I-S

PICTURE句の@1@指定と@2@指定は同時に記述できません.

埋め込みの説明

@1@ : FROM,TO,USING

@2@ : FROM,TO,USING

例題

```
[C1586. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1586.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE  SECTION.
000006 01 AA            PIC X(2).
000007 01 BB            PIC X(2).
000008 SCREEN           SECTION.
000009 01 A1             PIC X(8) FROM AA USING BB.
000010 END PROGRAM C1586.
```

C1586.cob 9: JMN1586I-S PICTURE句のFROM指定とUSING指定は同時に記述できません.

2.3.341 JMN1588I-S

画面記述項のVALUE句には文字定数または日本語定数以外は指定できません.

例題

```
[C1588. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1588.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE  SECTION.
000006 SCREEN           SECTION.
000007 01 A             BELL VALUE 5.
000008 END PROGRAM C1588.
```

C1588.cob 7: JMN1588I-S 画面記述項のVALUE句には文字定数または日本語定数以外は指定できません.

2.3.342 JMN1589I-S

画面節のレベル番号は01から49または78ではじめなければなりません。

例題

```
[C1589.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1589.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006   01 BB           PIC X(2).
000007 SCREEN            SECTION.
000008   01 A             BELL.
000009   66 B             PIC X(8) FROM BB.
000010 END PROGRAM C1589.
```

C1589.cob 9: JMN1589I-S 画面節のレベル番号は01から49または78ではじめなければなりません。

2.3.343 JMN1591I-S

LOCK MODE句は順ファイル、相対ファイルまたは索引ファイル以外に指定できません。

例題

```
[C1591.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1591.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006   SELECT AFILE ASSIGN TO R-DD1
000007   ACCESS MODE IS RANDOM
000008   RELATIVE KEY IS RK1
000009   LOCK MODE IS EXCLUSIVE.
000010 DATA             DIVISION.
000011 FILE              SECTION.
000012 FD AFILE.
000013   01 AREC         PIC X(8).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015   01 RK1           PIC 9(8) BINARY.
000016 END PROGRAM C1591.
```

C1591.cob 9: JMN1591I-S LOCK MODE句は順ファイル、相対ファイルまたは索引ファイル以外に指定できません。

2.3.344 JMN1592I-S

画面節のFROM, TOまたはUSING指定のある項目にはPICTURE句が指定されなければなりません。

例題

```
[C1592.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1592.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006   01 AA             PIC X(2).
000007 SCREEN            SECTION.
000008   01 BBB           AUTO FROM AA BELL.
000009 END PROGRAM C1592.
```

C1592.cob 8: JMN1592I-S 画面節のFROM, TOまたはUSING指定のある項目にはPICTURE句が指定されなければなりません。

2.3.345 JMN1593I-S

@1@句には@2@を指定しなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : LINE NUMBER,COLUMN NUMBER

@2@ : 一意名または整定数

例題

```
[C1593. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1593.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 ZZZ            PIC X(8).
000007 SCREEN            SECTION.
000008 01 AAA            PIC X(80) LINE FROM ZZZ.
000009 END PROGRAM C1593.
```

C1593.cob 8: JMN1593I-S LINE NUMBER句には一意名または整定数を指定しなければなりません。

2.3.346 JMN1594I-S

@1@句の@2@指定には@3@を記述しなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : PICTURE

@2@ : FROM,TO,USING

@3@ : 一意名,一意名または定数

例題

```
[C1594. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1594.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 ZZZ            PIC X(8).
000007 SCREEN            SECTION.
000008 01 AAA            PIC X(80) FROM TO ZZZ.
000009 END PROGRAM C1594.
```

C1594.cob 8: JMN1594I-S PICTURE句のFROM指定には一意名または定数を記述しなければなりません。

2.3.347 JMN1596I-S

ASSIGN句のDISKまたはPRINTERは、FORMAT句付き印刷ファイルには指定できません。

例題

```
[C1596. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1596.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
```

```

000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT AFILE ASSIGN TO DISK
000007             ORGANIZATION IS SEQUENTIAL
000008             FORMAT IS FM1.
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011     FD AFILE.
000012     01 AREC PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014     01 FM1 PIC X(8).
000015 END PROGRAM C1596.

```

C1596.cob 6: JMN1596I-S ASSIGN句のDISKまたはPRINTERは、FORMAT句付き印刷ファイルには指定できません。

2.3.348 JMN1597I-W

'@1@'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

埋め込みの説明

@1@ : SUBSCHEMA-NAME

例題

```

[C1597.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1597.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SUBSCHEMA-NAME. "SUBS".
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 END PROGRAM C1597.

```

C1597.cob 5: JMN1597I-W 'SUBSCHEMA-NAME'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

2.3.349 JMN1599I-S

画面節の01レベル項目以外に、@1@句は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : TABLE LINE

例題

```

[C1599.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1599.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 SCREEN SECTION.
000006 01 HY0.
000007 02 HY01 BELL
000008     TABLE LINE.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010     DISPLAY HY0.
000011 END PROGRAM C1599.

```

C1599.cob 8: JMN1599I-S 画面節の01レベル項目以外に、TABLE LINE句は指定できません。

2.3.350 JMN1600I-S

再帰属性を持つプログラム定義に、@1@は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : 画面節 / INITIAL句を持つ内部プログラム

例題

```
[C1600.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1600  IS RECURSIVE.
000003 DATA DIVISION.
000004 SCREEN SECTION.
000005 END PROGRAM C1600.
```

C1600.cob 4: JMN1600I-S 再帰属性を持つプログラム定義に、画面節は指定できません。

2.3.351 JMN1604I-W

注記項は、標識領域にハイフンを用いてつなぐことはできません。ハイフンは無効になります。

例題

```
[C1604.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1604.
000003 DATE-COMPILED.    "1998
000004-                  "2007"
000005 END PROGRAM C1604.
```

C1604.cob 4: JMN1604I-W 注記項は、標識領域にハイフンを用いてつなぐことはできません。ハイフンは無効になります。

2.3.352 JMN1608I-S

関数の関数名が誤っています。または、関数名が指定されていません。

例題

```
[C1608.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1608.
000003 DATA              DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WKPTR           POINTER.
000006 01 WKARA          PIC X(10).
000007 PROCEDURE         DIVISION.
000008     MOVE FUNCTION ADDR(WKARA) TO WKPTR
000009 .
000010 END PROGRAM C1608.
```

C1608.cob 8: JMN1608I-S 関数の関数名が誤っています。または、関数名が指定されていません。

2.3.353 JMN1615I-I

(CONF)登録集原文中の左括弧に続く文字列が置き換っています。

例題

```
[A.cob]
000001 01 DATA-1 PIC X(10).
```

```
[C1615. cob]
000001 @OPTIONS CONF (V10)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C1615.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     COPY A REPLACING == 10 == BY == 5 ==.
000007 END PROGRAM      C1615.
```

A.cob 1: JMN1615I-I (CONF)登録集原文中の左括弧に続く文字列が置き換っています。

2.3.354 JMN1661I-S

登録集原文の組込みに必要な作業領域の獲得または解放に失敗しました。

2.3.355 JMN1662I-S

不完全なファイル定義体または画面帳票定義体が指定されました。

2.3.356 JMN1664I-S

定義体が処理できる最大サイズを超えています。この定義体を作成した環境であらかじめ縮小してください。

2.3.357 JMN1665I-S

ファイル定義体または画面帳票定義体の展開に必要なプログラムの読み込みまたは解放に失敗しました。

2.3.358 JMN1668I-W

ファイル定義体または画面帳票定義体において入出力項目が定義されていません。

詳細な説明

指定した定義体に、データの定義がありません。

2.3.359 JMN1670I-S

日本語16進定数は16進文字(0～9, A～F)で構成されていなければなりません。日本語定数を1字の空白とみなします。

例題

```
[C1670. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1670.
000003 PROCEDURE        DIVISION.
000004     DISPLAY NX"835483938376838Z"
000005     .
000006 END PROGRAM C1670.
```

C1670.cob 4: JMN1670I-S 日本語16進定数は16進文字(0～9, A～F)で構成されていなければなりません。日本語定数を1字の空白とみなします。

2.3.360 JMN1671I-S

登録集原文の組込み中に入出力エラーが発生しました。登録集原文の組込みを中止します。

詳細な説明

主な原因として以下の2点が考えられます。

- 定義体が壊れている。

定義体が破壊されているため、入出力時にエラーが発生しました。定義体をFORMで開いてみて、正常な状態かどうかを確認してください。必要ならば修復・再作成してください。

- Charset Managerがインストールされていない、または環境が正しく設定されていない。

以下に該当する翻訳環境ではCharset Managerが必要です。

- 画面帳票定義体を取り込んでいる。かつ、
- Unicode(UTF-8)ロケールである。

なお、インストールされていても正しく動作しない場合は、環境変数PATHが正しく設定されているかを確認してください。



例

```
[Solaris] [Solaris64] [Linux] [LinuxIPF]
PATH=/opt/FSUNiconv/bin
LD_LIBRARY_PATH=/opt/FSUNiconv/lib

[Linux64]
PATH=/opt/FSUNiconv/bin
LD_LIBRARY_PATH=/opt/FSUNiconv/lib64
```

NetCOBOLとCharset Managerの組み合わせについては、“NetCOBOL インストールガイド”をご覧ください。

2.3.361 JMN1672I-S

日本語定数の中に日本語の文字に変換できない文字があります。日本語定数を1字の空白とみなします。

例題

```
[C1672.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1672.
000003 PROCEDURE DIVISION.
000004 DISPLAY NC"日本語定数A"
000005 .
000006 END PROGRAM C1672.
```

C1672.cob 4: JMN1672I-S 日本語定数の中に日本語の文字に変換できない文字があります。日本語定数を1字の空白とみなします。

詳細な説明

日本語定数には、計算機文字集合中の任意の日本語文字を書くことができます。ただし、動作モードがUnicodeの場合、計算機文字集合中の任意の文字を書くことができます。

2.3.362 JMN1674I-S

未サポートの機能を使用しているファイル定義体または画面帳票定義体が指定されました。

詳細な説明

コンパイラが扱うことのできる定義体より新しい形式の定義体を読み込みました。定義体を使用中のコンパイラのバージョンレベルに合わせるか、コンパイラを最新のバージョンレベルにする必要があります。

2.3.363 JMN1675I-S

@1@は@2@には指定できません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 予約語名, 環境部, 節名

@2@ : 入れ子のプログラム, メソッド原型定義, 定義名

例題

```
[C1675.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1675.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT       SECTION.
000005 I-O-CONTROL.
000006 END CLASS C1675.
```

C1675.cob 4: JMN1675I-S 入出力節はクラス定義には指定できません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

C1675.cob 5: JMN1675I-S 入出力節はクラス定義には指定できません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

2.3.364 JMN1676I-S

@1@句は@2@以外は指定できません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

埋め込みの説明

- **[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]**

@1@ : TYPE / TYPEDEF / GLOBAL

@2@ : 基底場所節, ファイル節, 作業場所節, 定数節および連絡 / プログラム定義

- **[Linux64]**

@1@ : TYPE / TYPEDEF / GLOBAL

@2@ : 基底場所節, ファイル節, 作業場所節, 局所記憶節, 定数節および連絡節 / プログラム定義

例題

```
[C1676.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1676.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 DATA              DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 A1 GLOBAL PIC X.
000008 PROCEDURE          DIVISION.
000009 END OBJECT.
000010 END CLASS C1676.
```

C1676.cob 7: JMN1676I-S GLOBAL句はプログラム定義以外は指定できません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

2.3.365 JMN1677I-S

@1@は@2@には指定できません。次の認識できる段落、または部まで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 環境部, データ部, 手続き部

@2@ : クラス定義

例題

```
[C1677.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1677.
000003 DATA              DIVISION.
000004 END CLASS C1677.
```

C1677.cob 3: JMN1677I-S データ部はクラス定義には指定できません。次の認識できる段落、または部まで無効になります。

2.3.366 JMN1678I-S

@1@句はファクトリ定義またはオブジェクト定義の作業場所節以外には指定できません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 句の名前

例題

```
[C1678.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1678.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 ERR-REC PROPERTY NO GET PIC 9.
000006 PROCEDURE        DIVISION.
000007 END PROGRAM C1678.
```

C1678.cob 5: JMN1678I-S PROPERTY句はファクトリ定義またはオブジェクト定義の作業場所節以外には指定できません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

2.3.367 JMN1681I-S

@1@句は@2@には指定できません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : TYPEDEF, EXTERNAL

@2@ : SQL宣言節, ファクトリ定義, スタティック定義またはオブジェクト定義

例題

```
[C1681.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C1681.
000003 OBJECT.
000004 DATA          DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 PRM PIC X(4) EXTERNAL.
000007 END OBJECT.
000008 END CLASS C1681.
```

C1681.cob 6: JMN1681I-S EXTERNAL句はファクトリ定義, スタティック定義またはオブジェクト定義には指定できません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

2.3.368 JMN1683I-S

PROPERTY句のGET指定またはSET指定にはNOを記述しなければなりません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

例題

```
[C1683.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.        C1683.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 DATA             DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01  AAA2 PROPERTY GET PIC 9.
000009 END OBJECT.
000010 END CLASS C1683.
```

C1683.cob 8: JMN1683I-S PROPERTY句のGET指定またはSET指定にはNOを記述しなければなりません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

2.3.369 JMN1684I-S

PROPERTY句にNOを指定した場合、GET指定またはSET指定を記述しなければなりません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

例題

```
[C1684.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.        C1684.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 DATA             DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01  AAA PROPERTY NO AAA PIC 9.
000009 END OBJECT.
000010 END CLASS C1684.
```

C1684.cob 8: JMN1684I-S PROPERTY句にNOを指定した場合、GET指定またはSET指定を記述しなければなりません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

2.3.370 JMN1685I-S

無名項目にPROPERTY句を指定することはできません。PROPERTY句は無効になります。

例題

```
[C1685.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.        C1685.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 DATA             DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01  PROPERTY NO SET PIC 9.
000009 END OBJECT.
000010 END CLASS C1685.
```

C1685.cob 8: JMN1685I-S 無名項目にPROPERTY句を指定することはできません。PROPERTY句は無効になります。

2.3.371 JMN1686I-S

@1@は@2@以外には指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : 句の名前

@2@ : プログラム定義

例題

```
[C1686.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1686.
000003 OBJECT.
000004 PROCEDURE          DIVISION.
000005 METHOD-ID.          M1686.
000006 PROCEDURE          DIVISION.
000007     DISPLAY "Hello COBOL!!"
000008     PERFORM A1
000009
000010 A1 SECTION 1686.
000011     DISPLAY "Error Program".
000012 END METHOD          M1686.
000013 END OBJECT.
000014 END CLASS          C1686.
```

C1686.cob 10: JMN1686I-S 節の見出しの区分番号はプログラム定義以外には指定できません.

2.3.372 JMN1687I-S

@1@は@2@には指定できません. 次の認識できる段落, 節または部まで無効になります.

埋め込みの説明

@1@ : 連絡節

@2@ : ファクトリ定義, スタティック定義またはオブジェクト定義

例題

```
[C1687.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1687.
000003 FACTORY.
000004 DATA              DIVISION.
000005 LINKAGE            SECTION.
000006 END FACTORY.
000007 END CLASS C1687.
```

C1687.cob 5: JMN1687I-S 連絡節はファクトリ定義, スタティック定義またはオブジェクト定義には指定できません. 次の認識できる段落, 節または部まで無効になります.

2.3.373 JMN1688I-S

MULTIPLE REELおよびUNIT指定はプログラム定義以外には指定できません.

例題

```
[C1688.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1688.
000003 OBJECT.
000004 ENVIRONMENT        DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT        SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT IN-FILE
```

```

000008      ASSIGN TO INFILE
000009      MULTIPLE REEL
000010      ORGANIZATION LINE SEQUENTIAL
000011
000012 DATA          DIVISION.
000013 FILE            SECTION.
000014 FD IN-FILE.
000015 01 IN-REC.
000016 02 I-CODE      PIC X.
000017 END OBJECT.
000018 END CLASS C1688.

```

C1688.cob 8: JMN1688I-S MULTIPLE REELおよびUNIT指定はプログラム定義以外には指定できません。

2.3.374 JMN1689I-S

'@1@'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

埋め込みの説明

@1@ : MSPまたはXSPシステムの固有機能の語

例題

```

[C1689.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.        C1689.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SUBSCHEMA-NAME.  "CHKICSBN".
000006 END CLASS C1689.

```

C1689.cob 5: JMN1689I-S 'SUBSCHEMA-NAME'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

2.3.375 JMN1690I-S

@1@は@2@以外には指定できません。次の認識できるEND-EXEC, 節または部まで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : DCSQL

@2@ : プログラム定義

例題

```

[C1690.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.        C1690.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 FACTORY.
000005 DATA          DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007      EXEC DCSQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000008 01  SQLSTATE PIC X(5).
000009      EXEC DCSQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000010 PROCEDURE          DIVISION.
000011 END FACTORY.
000012 END CLASS C1690.

```

C1690.cob 7: JMN1690I-S DCSQL機能はプログラム定義以外には指定できません。次の認識できるEND-EXEC, 節または部まで無効になります。

C1690.cob 9: JMN1690I-S DCSQL機能はプログラム定義以外には指定できません。次の認識できるEND-EXEC, 節または部まで無効になります。

2.3.376 JMN1692I-S

@1@はプログラム定義, オブジェクト定義またはオブジェクトメソッド定義内で指定しなければなりません。次の認識できるEND-EXEC, 節または部まで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : SQL機能

例題

```
[C1692. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1692.
000003 FACTORY.
000004 DATA              DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 HOSTVAR    PIC X(100).
000008     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000009 END FACTORY.
000010 END CLASS C1692.
```

C1692.cob 6: JMN1692I-S SQL機能はプログラム定義, オブジェクト定義またはオブジェクトメソッド定義内で指定しなければなりません。次の認識できるEND-EXEC, 節または部まで無効になります。

C1692.cob 8: JMN1692I-S SQL機能はプログラム定義, オブジェクト定義またはオブジェクトメソッド定義内で指定しなければなりません。次の認識できるEND-EXEC, 節または部まで無効になります。

2.3.377 JMN1693I-S

@1@句はレベル番号01の項目だけに指定できます。次の認識できる句, 段落, 節または部まで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : TYPEDEF

例題

```
[C1693. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1693.
000003 OBJECT.
000004 DATA              DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 DATA01.
000007 02 DATA02 TYPEDEF PIC X(100).
000008 END OBJECT.
000009 END CLASS C1693.
```

C1693.cob 7: JMN1693I-S TYPEDEF句はレベル番号01の項目だけに指定できます。次の認識できる句, 段落, 節または部まで無効になります。

2.3.378 JMN1694I-S

レベル番号78には, 名前付き定数名を指定しなければなりません。この記述項は無効にし, 次の部, 節, レベル指示語またはレベル番号まで読み飛ばします。

例題

```
[C1694.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1694.
000003 OBJECT.
000004 DATA              DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 DATA01.
000007    78              VALUE 10.
000008 END OBJECT.
000009 END CLASS C1694.
```

C1694.cob 7: JMN1694I-S レベル番号78には、名前付き定数名を指定しなければなりません。この記述項は無効にし、次の部、節、レベル指示語またはレベル番号まで読み飛ばします。

詳細な説明

名前付き定数は、定数に付ける名前です。無名項目は許されません。

2.3.379 JMN1695I-S

名前付き定数記述項には、VALUE句だけ指定できます。この記述項は無効にし、次の部、節、レベル指示語またはレベル番号まで読み飛ばします。

例題

```
[C1695.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1695.
000003 OBJECT.
000004 DATA              DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 78 DATA011      PIC X(10).
000007 END OBJECT.
000008 END CLASS C1695.
```

C1695.cob 6: JMN1695I-S 名前付き定数記述項には、VALUE句だけ指定できます。この記述項は無効にし、次の部、節、レベル指示語またはレベル番号まで読み飛ばします。

2.3.380 JMN1696I-S

レベル番号78は、@1@には指定できません。この記述項は無効にし、次の部、節、レベル指示語またはレベル番号まで読み飛ばします。

埋め込みの説明

@1@ : メソッド原型定義

例題

```
[C1696.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1696.
000003 OBJECT.
000004 PROCEDURE          DIVISION.
000005 METHOD-ID.          M1696 PROTOTYPE.
000006 DATA              DIVISION.
000007 LINKAGE             SECTION.
000008 78 DATA011        VALUE 10.
000009 END METHOD M1696.
000010 END OBJECT.
000011 END CLASS C1696.
```

C1696.cob 8: JMN1696I-S レベル番号78は、メソッド原型定義には指定できません。この記述項は無効にし、次の部、節、レベル指示語またはレベル番号まで読み飛ばします。

2.3.381 JMN1697I-S

ANY LENGTH句はメソッド定義の連絡節のレベル番号01の項目だけに指定できます。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

例題

```
[C1697.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1697.
000003 OBJECT.
000004 PROCEDURE          DIVISION.
000005 METHOD-ID.         M1697.
000006 DATA              DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 DATA011      PIC X ANY LENGTH.
000009 END METHOD M1697.
000010 END OBJECT.
000011 END CLASS C1697.
```

C1697.cob 8: JMN1697I-S ANY LENGTH句はメソッド定義の連絡節のレベル番号01の項目だけに指定できます。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

2.3.382 JMN1698I-S

ANY LENGTH句が指定されたPICTURE句の文字は'X'または'N'の1つの文字でなければなりません。ANY LENGTH句は無効になります。

例題

```
[C1698.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1698.
000003 OBJECT.
000004 PROCEDURE          DIVISION.
000005 METHOD-ID.         M1698.
000006 DATA              DIVISION.
000007 LINKAGE            SECTION.
000008 01 DATA011      PIC 9 ANY LENGTH.
000009 END METHOD M1698.
000010 END OBJECT.
000011 END CLASS C1698.
```

C1698.cob 8: JMN1698I-S ANY LENGTH句が指定されたPICTURE句の文字は'X'または'N'の1つの文字でなければなりません。ANY LENGTH句は無効になります。

2.3.383 JMN1699I-S

無名項目に@1@句を指定することはできません。@1@句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : TYPEDEF

例題

```
[C1699.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1699.
```



```

000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 IDENTIFICATION  DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 PROCEDURE        DIVISION.
000007 METHOD-ID.        M1699.
000008 DATA            DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 TYPEDEF.
000011 END METHOD        M1699.
000012 END OBJECT.
000013 END CLASS C1699.

```

C1699.cob 10: JMN1699I-S 無名項目にTYPEDEF句を指定することはできません。TYPEDEF句は無効になります。

2.3.384 JMN1701I-S

@1@に終止符がありません。または誤った語が現れました。

埋め込みの説明

@1@ : クラス終わり見出し, ファクトリ終わり見出し, オブジェクト終わり見出し, メソッド終わり見出し

例題

```

[C1701.cob]
000001 IDENTIFICATION  DIVISION.
000002 CLASS-ID.       C1701.
000003 END CLASS       C1701

```

C1701.cob 3: JMN1701I-S クラス終わり見出しに終止符がありません。または誤った語が現れました。

2.3.385 JMN1703I-S

@1@に@2@がありません。

埋め込みの説明

@1@ : クラス終わり見出し, メソッド終わり見出し

@2@ : クラス名, メソッド名

例題

```

[C1703.cob]
000001 IDENTIFICATION  DIVISION.
000002 CLASS-ID.       C1703.
000003 END CLASS.

```

C1703.cob 3: JMN1703I-S クラス終わり見出しにクラス名がありません。

2.3.386 JMN1704I-S

継承する@1@に、翻訳中の@2@は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : クラス

@2@ : クラス

例題

```

[C1704.cob]
000001 IDENTIFICATION  DIVISION.

```

```
000002 CLASS-ID.      C1704 INHERITS C1704.  
000003 END CLASS C1704.
```

C1704.cob 2: JMN1704I-S 継承するクラスに、翻訳中のクラスは指定できません。

詳細な説明

INHERITS句には翻訳対象となる自身のクラスは指定できません。

2.3.387 JMN1705I-S

継承する@1@が指定されていません。INHERITS句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : クラス

例題

```
[C1705.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 CLASS-ID.      C1705 INHERITS.  
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.  
000004 END CLASS C1705.
```

C1705.cob 2: JMN1705I-S 継承するクラスが指定されていません。INHERITS句は無効になります。

2.3.388 JMN1706I-S

@1@はすでに指定されています。@1@は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : INHERITS句, OVERRIDE, PROPERTY

例題

```
[XXXXX.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 CLASS-ID.      XXXXX.  
000003 END CLASS      XXXXX.
```

```
[C1706.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 CLASS-ID.      C1706 INHERITS XXXXX INHERITS XXXXX.  
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.  
000004 CONFIGURATION SECTION.  
000005 REPOSITORY.  
000006 CLASS XXXXX.  
000007 END CLASS C1706.
```

C1706.cob 2: JMN1706I-S INHERITS句はすでに指定されています。INHERITS句は無効になります。

2.3.389 JMN1707I-S

@2@で指定された@3@'@1@がありません。終了していない最後の@3@の@2@とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : クラス名, メソッド名

@2@ : クラス終わり見出し, メソッド終わり見出し

@3@ : クラス, メソッド

例題

```
[C1707. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1707.
000003 END CLASS          CLS1.
```

C1707.cob 3: JMN1707I-S クラス終わり見出しで指定されたクラス'CLS1'がありません。終了していない最後のクラスのクラス終わり見出しとみなします。

2.3.390 JMN1708I-S

@1@として指定できない文字列が指定されました。または@1@が指定されていません。@1@を生成し、次の段落または部まで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : クラス名, メソッド名

例題

```
[C1708. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          1708.
000003 OBJECT.
000004 PROCEDURE          DIVISION.
000005 METHOD-ID.          1000.
000006 END METHOD          1000.
000007 END CLASS          1708.
```

C1708.cob 2: JMN1708I-S クラス名として指定できない文字列が指定されました。またはクラス名が指定されていません。クラス名を生成し、次の段落または部まで無効になります。

C1708.cob 5: JMN1708I-S メソッド名として指定できない文字列が指定されました。またはメソッド名が指定されていません。メソッド名を生成し、次の段落または部まで無効になります。

詳細な説明

クラス名またはメソッド名は利用者語の規則に従って記述してください。

2.3.391 JMN1710I-I

(CONF)@1@の指定がないか、または@2@に誤りがあります。@2@を'@3@'とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : CLASS-ID段落,METHOD-ID段落

@2@ : クラス名,メソッド名

@3@ : NOCLASID,NOMETDID

例題

```
[C1710. cob]
000001 @OPTIONS CONF (V4)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 CLASS-ID.          1710.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE          DIVISION.
000006 METHOD-ID.          2000.
000007 END METHOD 2000.
000008 END OBJECT.
000009 END CLASS 1710.
```

C1710.cob 3: JMN1710I-I (CONF)CLASS-ID段落の指定がないか、またはクラス名に誤りがあります。クラス名を'NOCLASID'とみなします。

C1710.cob 6: JMN1710I-I (CONF)METHOD-ID段落の指定がないか、またはメソッド名に誤りがあります。メソッド名を'NOMETDID'とみなします。

2.3.392 JMN1715I-S

分離されたメソッドに@1@指定は記述できません。@1@指定は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : OVERRIDE,PROTOTYPE

例題

```
[M1715.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 METHOD-ID.      M1715 PROTOTYPE.
000003 PROCEDURE      DIVISION.
000004 END METHOD M1715.
```

M1715.cob 2: JMN1715I-S 分離されたメソッドにPROTOTYPE指定は記述できません。PROTOTYPE指定は無効になります。

2.3.393 JMN1716I-S

クラス名は、クラスに含まれるメソッドには指定できません。クラス名指定は無効になります。

例題

```
[C1.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C1.
000003 END CLASS C1.

[C1716.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C1716 INHERITS C1.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 CONFIGURATION  SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS C1.
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
000008 OBJECT.
000009 PROCEDURE      DIVISION.
000010 IDENTIFICATION DIVISION.
000011 METHOD-ID.      M1716 OF C1.
000012 PROCEDURE      DIVISION.
000013 END METHOD M1716.
000014 END OBJECT.
000015 END CLASS C1716.
```

C1716.cob 11: JMN1716I-S クラス名は、クラスに含まれるメソッドには指定できません。クラス名指定は無効になります。

詳細な説明

メソッド名段落のOF指定にはメソッド原型を定義したクラス名を指定します。

この記述は分離されたメソッドのみ有効です。

2.3.394 JMN1717I-S

PROPERTY指定の構文に誤りがあります。このPROPERTY指定は無効になります。

例題

```
[C1717.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1717.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 PROCEDURE          DIVISION.
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
000008 METHOD-ID.          GET M1717.
000009 PROCEDURE          DIVISION.
000010 END METHOD.
000011 END OBJECT.
000012 END CLASS C1717.
```

C1717.cob 8: JMN1717I-S PROPERTY指定の構文に誤りがあります。このPROPERTY指定は無効になります。

2.3.395 JMN1718I-S

プロパティ指定子の構文に誤りがあります。

例題

```
[C1718.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1718.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     PROPERTY "PR1".
000007 END CLASS C1718.
```

C1718.cob 6: JMN1718I-S プロパティ指定子の構文に誤りがあります。

2.3.396 JMN1724I-S

'@1@'段落はプログラム定義以外には記述できません。次の認識できる段落または部まで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 段落名

例題

```
[C1724.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1724.
000003 AUTHOR.            YYYYY.
000004 ENVIRONMENT        DIVISION.
000005 END CLASS C1724.
```

C1724.cob 3: JMN1724I-S 'AUTHOR'段落はプログラム定義以外には記述できません。次の認識できる段落または部まで無効になります。

詳細な説明

以下の段落はプログラム名段落の後のみに記述可能です。

- AUTHOR段落
- INSTALLATION段落
- DATE-WRITTEN段落

- ・ 翻訳日付段落
- ・ SECURITY段落

このコンパイラでは、これらの段落を書く順序は任意です。これらの段落は注記項を書くための段落であり、廃要素です。

2.3.397 JMN1725I-S

クラス'@1@'はクラス終わり見出しで終わらなければなりません。クラス終わり見出しがあるものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : クラス名

例題

```
[C1725. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1725.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
```

C1725.cob 3: JMN1725I-S クラス'C1725'はクラス終わり見出しで終わらなければなりません。クラス終わり見出しがあるものとみなします。

2.3.398 JMN1726I-S

@1@がありません。@1@があるものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : ファクトリ終わり見出し, オブジェクト終わり見出し, メソッド終わり見出し

例題

```
[C1726. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1726.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 PROCEDURE          DIVISION.
000007 END CLASS C1726.
```

C1726.cob 7: JMN1726I-S オブジェクト終わり見出しがありません。オブジェクト終わり見出しがあるものとみなします。

2.3.399 JMN1735I-S

@1@の記述位置に誤りがあります。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 定義名

例題

```
[C1735. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1735.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 PROCEDURE          DIVISION.
000007 END OBJECT.
000008 FACTORY.
000009 PROCEDURE          DIVISION.
```

```
000010 END FACTORY.  
000011 END CLASS C1735.
```

C1735.cob 8: JMN1735I-S ファクトリ定義の記述位置に誤りがあります。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

2.3.400 JMN1736I-S

許されない語 '@1@' が現れました。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 誤った語

例題

```
[C1736.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 CLASS-ID.          C1736.  
000003 ENVIRONMENT       DIVISION.  
000004 OBJECT.  
000005 PROCEDURE         DIVISION.  
000006 END OBJECT.  
000007     XXXX.  
000008 END CLASS C1736.
```

C1736.cob 7: JMN1736I-S 許されない語 'XXXX' が現れました。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

2.3.401 JMN1738I-S

@1@ はすでに指定されています。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : ファクトリ定義, オブジェクト定義

例題

```
[C1738.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 CLASS-ID.          C1738.  
000003 ENVIRONMENT       DIVISION.  
000004 IDENTIFICATION DIVISION.  
000005 FACTORY.  
000006 PROCEDURE         DIVISION.  
000007 END FACTORY.  
000008 FACTORY.  
000009 PROCEDURE         DIVISION.  
000010 END FACTORY.  
000011 END CLASS C1738.
```

C1738.cob 8: JMN1738I-S ファクトリ定義はすでに指定されています。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

2.3.402 JMN1739I-W

@1@ 句は、データ記述項の最初の句でなければなりません。@1@ 句は、有効になります。

埋め込みの説明

@1@ : TYPEDEF

例題

```
[C1739.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```
000002 PROGRAM-ID.      C1739.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WK1 PIC X IS TYPEDEF.
000006 END PROGRAM      C1739.
```

C1739.cob 5: JMN1739I-W TYPEDEF句は、データ記述項の最初の句でなければなりません。TYPEDEF句は、有効になります。

2.3.403 JMN1741I-S

対応しない終わり見出しが指定されています。この終わり見出しは無効になります。

例題

```
[P1741. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P1741.
000003 PROCEDURE        DIVISION.
000004 END CLASS P1741.
```

P1741.cob 4: JMN1741I-S 対応しない終わり見出しが指定されています。この終わり見出しは無効になります。

詳細な説明

見出し部と終わり見出しの定義が合っていません。

2.3.404 JMN1742I-S

分離されたメソッドには、翻訳中のメソッドの原型定義を含むクラスを指定しなければなりません。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

例題

```
[M1742. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 METHOD-ID.        M1742.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS XXXXX.
000007 END METHOD M1724.
```

M1742.cob 2: JMN1742I-S 分離されたメソッドには、翻訳中のメソッドの原型定義を含むクラスを指定しなければなりません。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

詳細な説明

分離されたメソッドでは、メソッド名段落のOF指定にメソッド原型を定義したクラス名を指定します。

2.3.405 JMN1744I-S

GET指定またはSET指定のメソッドの終わり見出しには、メソッド名は指定できません。

例題

```
[C1744. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.         C1744.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 PROCEDURE        DIVISION.
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
```



```
000008 METHOD-ID.      GET PROPERTY M1744.
000009 PROCEDURE      DIVISION.
000010 END METHOD M1744.
000011 END OBJECT.
000012 END CLASS C1744.
```

C1744.cob 10: JMN1744I-S GET指定またはSET指定のメソッドの終わり見出しには、メソッド名は指定できません。

2.3.406 JMN1745I-S

対応しない終わり見出しが指定されています。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

例題

```
[C1745.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C1745.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 PROCEDURE      DIVISION.
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
000008 METHOD-ID.      M1745.
000009 PROCEDURE      DIVISION.
000010 END METHOD M1745.
000011 END OBJECT.
000012 END OBJECT.
000013 END CLASS C1745.
```

C1745.cob 12: JMN1745I-S 対応しない終わり見出しが指定されています。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

2.3.407 JMN1746I-S

クラス名、メソッド名、デリゲート名、ENUM名およびインタフェース名に定数は指定できません。

例題

```
[C1746.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      "C1746".
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 PROCEDURE      DIVISION.
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
000008 METHOD-ID.      "M1746".
000009 PROCEDURE      DIVISION.
000010 END METHOD "M1746".
000011 END OBJECT.
000012 END CLASS "C1746".
```

C1746.cob 2: JMN1746I-S クラス名、メソッド名、デリゲート名、ENUM名およびインタフェース名に定数は指定できません。

C1746.cob 8: JMN1746I-S クラス名、メソッド名、デリゲート名、ENUM名およびインタフェース名に定数は指定できません。

C1746.cob 10: JMN1746I-S クラス名、メソッド名、デリゲート名、ENUM名およびインタフェース名に定数は指定できません。

C1746.cob 12: JMN1746I-S クラス名、メソッド名、デリゲート名、ENUM名およびインタフェース名に定数は指定できません。

2.3.408 JMN1748I-S

クラス '@1@' のリポジトリファイルが割り当てられていません。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : クラス名

詳細な説明

分離されたメソッド翻訳時、メソッドプロトタイプを含んだクラスのリポジトリファイルに以下の問題が考えられます。

- ・読み込み権がない。

2.3.409 JMN1749I-S

クラス '@1@' のリポジトリファイルに異常があります。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : クラス名

詳細な説明

分離されたメソッド翻訳時、メソッドプロトタイプを含んだクラスのリポジトリファイルに以下の問題が考えられます。

- ・何らかの理由で壊れています。再翻訳し、リポジトリファイルを作成しなおしてください。

2.3.410 JMN1750I-S

クラス '@1@' のリポジトリファイルが割り当てられていません。

埋め込みの説明

@1@ : クラス名

詳細な説明

REPOSITORY段落に記述したリポジトリが存在しないか、名前が間違っているかまたは読み込み権がありません。参照するリポジトリファイルを指定する以下の設定を確認のうえ、整合性をとってください。なお、番号は以下の指定が重複した場合の入力先ディレクトリの検索順序を示します。

1. -Rオプション
2. 環境変数COB_REPIN
3. -drオプション
4. カレントディレクトリ

2.3.411 JMN1751I-S

クラス '@1@' のリポジトリファイルに異常があります。

埋め込みの説明

@1@ : クラス名

詳細な説明

リポジトリ段落で定義したクラスのリポジトリファイルに以下の問題が考えられます。

- ・何らかの理由で壊れています。再翻訳し、リポジトリファイルを作成しなおしてください。

2.3.412 JMN1752I-S

クラス '@1@' のリポジトリファイルにはメソッド原型定義の情報が含まれていません。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : クラス名

詳細な説明

メソッド名段落のOF指定に指定されたクラスに、メソッドプロトタイプの変数がひとつもありません。

2.3.413 JMN1753I-S

継承した@1@'@2@'がリポジトリ段落に指定されていません。または@1@情報の取り出しに失敗しました。継承は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : クラス, インターフェース

@2@ : クラス名, インターフェース名

例題

```
[BASE. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID. BASE.
000003 END CLASS BASE.
```

```
[C1753. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID. C1753 INHERITS XX.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS BASE.
000007 END CLASS C1753.
```

C1753.cob 2: JMN1753I-S 継承したクラス'XX'がリポジトリ段落に指定されていません。またはクラス情報の取り出しに失敗しました。継承は無効になります。

2.3.414 JMN1754I-S

メソッド原型が定義されたクラス'@1@'がリポジトリ段落に指定されていません。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : クラス名

例題

```
[C1754. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 METHOD-ID. C1754 OF FACTORY OF XX.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS BASE.
000007 END METHOD C1754.
```

C1754.cob 5: JMN1754I-S メソッド原型が定義されたクラス'XX'がリポジトリ段落に指定されていません。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

2.3.415 JMN1755I-S

メソッド '@1@' がクラス内で多重定義されています。メソッド '@1@' は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : メソッド名

例題

```
[C1755A. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1755A.
000003 FACTORY.
000004 PROCEDURE          DIVISION.
000005 METHOD-ID.          M1.
000006 END METHOD M1.
000007 END FACTORY.
000008 END CLASS C1755A.
000009**
```

```
[C1755B. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1755B.
000003 OBJECT.
000004 PROCEDURE          DIVISION.
000005 METHOD-ID.          M1.
000006 END METHOD M1.
000007 END OBJECT.
000008 END CLASS C1755B.
000009**
```

```
[C1755C. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1755C INHERITS C1755A C1755B.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS C1755A
000007 CLASS C1755B.
000008 END CLASS C1755C.
```

C1755C.cob 2: JMN1755I-S メソッド'M1'がクラス内で多重定義されています。メソッド'M1'は無効になります。

詳細な説明

継承したクラスは、継承されたクラスのすべてのメソッドを持ちます。これらには、継承されたクラスが継承したメソッドも含まれます。

2.3.416 JMN1756I-S

多重継承において、同名メソッド '@1@' のインターフェースは同じでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : メソッド名

例題

```
[C1756A. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1756A.
000003 FACTORY.
000004 PROCEDURE          DIVISION.
000005 METHOD-ID.          M1.
000006 END METHOD M1.
000007 END FACTORY.
```

```
000008 END CLASS C1756A.  
000009**
```

```
[C1756B. cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 CLASS-ID.          C1756B.  
000003 FACTORY.  
000004 PROCEDURE          DIVISION.  
000005 METHOD-ID.         M1.  
000006 DATA              DIVISION.  
000007 LINKAGE            SECTION.  
000008 01 P1              PIC X(4).  
000009 PROCEDURE          DIVISION USING P1.  
000010 END METHOD M1.  
000011 END FACTORY.  
000012 END CLASS C1756B.  
000013**
```

```
[C1756C. cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 CLASS-ID.          C1756C INHERITS C1756A C1756B.  
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.  
000004 CONFIGURATION SECTION.  
000005 REPOSITORY.  
000006     CLASS C1756A  
000007     CLASS C1756B.  
000008 END CLASS C1756C.
```

C1756C.cob 2: JMN1756I-S 多重継承において、同名メソッド'M1'のインタフェースは同じでなければなりません。

2.3.417 JMN1757I-S

[@1@'@2@'はすでに指定されています。](#)

埋め込みの説明

@1@ : クラス

@2@ : 型名

例題

```
[BASE. cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 CLASS-ID.          BASE.  
000003 END CLASS          BASE.
```

```
[C1757. cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 CLASS-ID.          C1757.  
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.  
000004 CONFIGURATION SECTION.  
000005 REPOSITORY.  
000006     CLASS BASE  
000007     CLASS BASE.  
000008 END CLASS C1757.
```

C1757.cob 7: JMN1757I-S クラス'BASE'はすでに指定されています。

2.3.418 JMN1758I-S

[特殊クラスの指定に誤りがあります。](#)

例題

```
[C1758.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1758.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS A AS “*A”.
000007 END CLASS C1758.
```

C1758.cob 6: JMN1758I-S 特殊クラスの指定に誤りがあります。

詳細な説明

リポジトリ段落で宣言できる特殊クラスは以下です。

- “*COM” (または“*OLE”)
- “*COM-ARRAY” (または“*OLE-ARRAY”)
- “*COM-EXCEPTION” (または“*OLE-EXCEPTION”)
- “*COB-BINDTABLE”
- “*COM:COMサーバ名:COMクラス名”

2.3.419 JMN1759I-S

@1@指定子の構文に誤りがあります。

埋め込みの説明

@1@ : クラス

例題

```
[C1759.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1759.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS “A”.
000007 END CLASS C1759.
```

C1759.cob 6: JMN1759I-S クラス指定子の構文に誤りがあります。

2.3.420 JMN1760I-S

オブジェクト参照データ項目 @1@ によって参照されるクラス '@2@' が、リポジトリ段落に指定されていません。クラス名指定なしのオブジェクト参照データ項目とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : オブジェクト参照項目名

@2@ : クラス名

例題

```
[C1760.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1760 INHERITS FJBASE.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
```

```

000005 REPOSITORY.
000006     CLASS FJBASE
000007 .
000008 OBJECT.
000009 DATA          DIVISION.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01 OBJR USAGE OBJECT REFERENCE FJBASE.
000012 PROCEDURE      DIVISION.
000013*
000014 METHOD-ID.       M1760 PROTOTYPE.
000015 END METHOD M1760.
000016*
000017 END OBJECT.
000018 END CLASS C1760.
000019/

```

```

[M1760.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 METHOD-ID.       M1760 OF C1760.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 CONFIGURATION  SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS C1760
000007 .
000008 END METHOD M1760.

```

M1760.cob 2: JMN1760I-S オブジェクト参照データ項目OBJRによって参照されるクラス'FJBASE'が、リポジトリ段落に指定されていません。クラス名指定なしのオブジェクト参照データ項目とみなします。

2.3.421 JMN1761I-S

リポジトリ段落には、翻訳中のソース定義名は指定できません。

例題

```

[C1761.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.       C1761.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 CONFIGURATION  SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS C1761.
000007 END CLASS C1761.

```

C1761.cob 6: JMN1761I-S リポジトリ段落には、翻訳中のソース定義名は指定できません。

2.3.422 JMN1762I-S

継承した@1@はリポジトリ段落に指定しなければなりません。継承は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : クラス

例題

```

[C1762.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.       C1762 INHERITS BASE.
000003 END CLASS C1762.

```

C1762.cob 2: JMN1762I-S 継承したクラスはリポジトリ段落に指定しなければなりません。継承は無効になります。

2.3.423 JMN1763I-S

メソッド原型が定義されたクラスは、リポジトリ段落に指定しなければなりません。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

例題

```
[C1763.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1763.
000003 FACTORY.
000004 PROCEDURE          DIVISION.
000005 METHOD-ID.          M1 PROTOTYPE.
000006 END METHOD M1.
000007 END FACTORY.
000008 END CLASS C1763.
```

```
[M1.cob]
000001 METHOD-ID.          M1 OF FACTORY OF C1763.
000002 END METHOD M1.
```

M1.cob 1: JMN1763I-S メソッド原型が定義されたクラスは、リポジトリ段落に指定しなければなりません。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

2.3.424 JMN1764I-S

特殊クラスは継承できません。クラス '@1@' の指定は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : クラス名

例題

```
[C1764.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1764 INHERITS BASE.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS BASE AS "*OLE".
000007 END CLASS C1764.
```

C1764.cob 2: JMN1764I-S 特殊クラスは継承できません。クラス 'BASE' の指定は無効になります。

2.3.425 JMN1765I-S

特殊クラスには、メソッド原型は定義できません。クラス '@1@' の指定は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : クラス名

例題

```
[C1765.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 METHOD-ID.          C1765 OF FACTORY OF XX.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS XX AS "*OLE".
000007 END METHOD C1765.
```


C1765.cob 2: JMN1765I-S 特殊クラスには、メソッド原型は定義できません。クラス'XX'の指定は無効になります。

2.3.426 JMN1766I-U

リポトリ情報の復元に失敗しました。翻訳を中止します。他の診断メッセージの修正をして、再度翻訳してみてください。

2.3.427 JMN1767I-S

リポトリ段落に指定されたクラス'@1@'は、メソッド原型定義時の指定と同じでなければなりません。クラス'@1@'の指定は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : クラス名

例題

```
[C1767. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1767 INHERITS FJBASE.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 CONFIGURATION      SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS FJBASE
000007     .
000008 OBJECT.
000009 DATA                DIVISION.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01 OBJR USAGE OBJECT REFERENCE FJBASE.
000012 PROCEDURE           DIVISION.
000013*
000014 METHOD-ID.           M1767 PROTOTYPE.
000015 END METHOD M1767.
000016*
000017 END OBJECT.
000018 END CLASS C1767.
000019/
```

```
[M1767. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 METHOD-ID.          M1767 OF C1767.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 CONFIGURATION      SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS C1767
000007     CLASS FJBASE AS “*COM”
000008     .
000009 PROCEDURE           DIVISION.
000010 END METHOD M1767.
```

M1767.cob 5: JMN1767I-S リポトリ段落に指定されたクラス'FJBASE'は、メソッド原型定義時の指定と同じでなければなりません。クラス'FJBASE'の指定は無効になります。

2.3.428 JMN1768I-S

メソッド原型が定義されたクラス'@1@'のリポトリファイルは、分離されたメソッド定義の翻訳と同じVLのコンパイラによって生成されたものでなければなりません。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : クラス名

詳細な説明

現在使用しているコンパイラでメソッド原型が定義されたクラスを再翻訳してください。

2.3.429 JMN1769I-S

クラス '@1@' のリポジトリファイルは、このコンパイラでは扱えない形式です。クラス '@1@' の指定は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : クラス名

詳細な説明

以下の2点が考えられます。

- 指定されたリポジトリファイルが使用中のコンパイラより新しいバージョンレベルのコンパイラで生成されています。対象となるリポジトリファイルを使用中のコンパイラで再翻訳して更新するか、コンパイラのバージョンレベルを新しいバージョンレベルにアップしてください。
- 指定されたリポジトリファイルが、使用中のコンパイラと違うシステムのコンパイラで生成された可能性があります。使用中のコンパイラと同じシステムのコンパイラで再翻訳して、リポジトリファイルを作成しなおしてください。

2.3.430 JMN1770I-W

メソッド名が '@1@' で始まるメソッドは、COBOLシステムが予約しています。COBOLシステムが予約したメソッドを使用する場合、OVERRIDE指定を書かなければなりません。指定されたとおりに受け入れます。

埋め込みの説明

@1@ : メソッド名

例題

```
[C1770.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1770.
000003 OBJECT.
000004 PROCEDURE          DIVISION.
000005 METHOD-ID.          _M.
000006 END METHOD          _M.
000007 END OBJECT.
000008 END CLASS C1770.
```

C1770.cob 5: JMN1770I-W メソッド名が '_' で始まるメソッドは、COBOLシステムが予約しています。COBOLシステムが予約したメソッドを使用する場合、OVERRIDE指定を書かなければなりません。指定されたとおりに受け入れます。

詳細な説明

アンダースコアで始まるメソッドはCOBOLシステムが予約しているため極力使用を避けてください。

2.3.431 JMN1771I-S

プロパティ名の先頭文字は、 '@1@' であってはなりません。PROPERTY指定は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : _ (アンダースコア)

例題

```
[C1771.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C1771.
000003 OBJECT.
```

```

000004 DATA          DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 DATA-1      PIC X(4).
000007 PROCEDURE       DIVISION.
000008 METHOD-ID.       SET PROPERTY _DATA.
000009 DATA           DIVISION.
000010 LINKAGE         SECTION.
000011 01 P1           PIC X(4).
000012 PROCEDURE       DIVISION USING P1.
000013     MOVE P1 TO DATA-1.
000014 END METHOD.
000015 END OBJECT.
000016 END CLASS C1771.

```

C1771.cob 8: JMN1771I-S プロパティ名の先頭文字は, '_'であってはいけません. PROPERTY指定は無効になります.

2.3.432 JMN1772I-S

データ名が '@1@' で始まる場合, PROPERTY句は指定できません. PROPERTY句は無効になります.

埋め込みの説明

@1@ : _ (アンダースコア)

例題

```

[C1772.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.       C1772.
000003 OBJECT.
000004 DATA          DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 _DATA       PIC X(4) PROPERTY.
000007 PROCEDURE       DIVISION.
000008 END OBJECT.
000009 END CLASS C1772.

```

C1772.cob 6: JMN1772I-S データ名が '_' で始まる場合, PROPERTY句は指定できません. PROPERTY句は無効になります.

2.3.433 JMN1773I-S

親クラス '@1@' に名前が '@2@' で始まるメソッドが含まれています. 親クラス '@1@' は再翻訳しなければなりません. 指定されたとおりに受け入れます.

埋め込みの説明

@1@ : クラス名

@2@ : アンダースコア

例題

```

[C1773S.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.       C1773S.
000003 OBJECT.
000004 PROCEDURE       DIVISION.
000005 METHOD-ID.       _M.      *>V40L10で翻訳
000006 END METHOD _M.
000007 END OBJECT.
000008 END CLASS C1773S.

```

```

[C1773.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.

```

```
000002 CLASS-ID.      C1773 INHERITS C1773S.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 CONFIGURATION  SECTION.  *>V40L20で翻訳
000005 REPOSITORY.
000006      CLASS C1773S.
000007 END CLASS C1773.
```

C1773.cob 2: JMN1773I-S 親クラス'C1773S'に名前が'_'で始まるメソッドが含まれています。親クラス'C1773S'は再翻訳しなければなりません。指定されたとおりに受け入れます。

詳細な説明

V40L10で作成したクラスにアンダースコアで始まるメソッドが含まれる場合、そのクラスを使用する際は再翻訳が必要です。

2.3.434 JMN1774I-S

AS句は内部プログラムに指定できません。次の認識できる段落または部まで無効になります。

例題

```
[C1774.cob]
000001 PROGRAM-ID. C1774.
000002 PROCEDURE  DIVISION.
000003**
000004 PROGRAM-ID. B AS "EX-NAME".
000005 END PROGRAM B.
000006 END PROGRAM C1774.
```

C1774.cob 4: JMN1774I-S AS句は内部プログラムに指定できません。次の認識できる段落または部まで無効になります。

2.3.435 JMN1775I-S

AS句の直後には文字定数または日本語定数を指定しなければなりません。次の認識できる段落または部まで無効になります。

例題

```
[C1775.cob]
000001 PROGRAM-ID. C1775 AS X"414243".
000002 PROCEDURE  DIVISION.
000003 END PROGRAM C1775.
```

C1775.cob 1: JMN1775I-S AS句の直後には文字定数または日本語定数を指定しなければなりません。次の認識できる段落または部まで無効になります。

2.3.436 JMN1776I-S

AS句の直後には文字定数または日本語定数を指定しなければなりません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

例題

```
[C1776.cob]
000001 PROGRAM-ID. C1776.
000002 ENVIRONMENT  DIVISION.
000003 CONFIGURATION SECTION.
000004 REPOSITORY.
000005      CLASS X AS X"4142".
000006 END PROGRAM C1776.
```

C1776.cob 5: JMN1776I-S AS句の直後には文字定数または日本語定数を指定しなければなりません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

2.3.437 JMN1778I-S

メソッド原型が定義されたクラス '@1@' のリポジトリファイルは、CREATE(REP) 翻訳オプションにより作成されたリポジトリであってはなりません。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : クラス名

例題

```
[C1.cob]
000001 @OPTIONS CREATE(REP)
000002 CLASS-ID. C1.
000003 OBJECT.
000004 PROCEDURE DIVISION.
000005 METHOD-ID. M1 PROTOTYPE.
000006 END METHOD M1.
000007 END OBJECT.
000008 END CLASS C1.
```

```
[M1.cob]
000001 METHOD-ID. M1 OF C1.
000002 ENVIRONMENT DIVISION.
000003 CONFIGURATION SECTION.
000004 REPOSITORY.
000005     CLASS C1.
000006 END METHOD M1.
```

M1.cob 5: JMN1778I-S メソッド原型が定義されたクラス 'C1' のリポジトリファイルは、CREATE(REP) 翻訳オプションにより作成されたリポジトリであってはなりません。次のソース単位の始め見出しまで無効になります。

詳細な説明

翻訳オプション CREATE(REP) を指定して作成されたリポジトリファイルは仮リポジトリと呼びます。仮リポジトリは正式なリポジトリファイルを生成するまでの一時的なものであるため、相互参照を実現する場合だけに利用できます。よって分離されたメソッドでは、CREATE(REP) 翻訳オプションにより作成されたリポジトリは使用できません。CREATE(OBJ) を指定して作成されたリポジトリファイルを使用してください。

2.3.438 JMN1780I-S

親クラスのリポジトリ復元に失敗しました。継承は無効になります。

2.3.439 JMN1781I-S

指定した場所に型ライブラリが存在しません。

詳細な説明

翻訳オプションファイルで指定した型ライブラリファイル名が存在しないか、または名前もしくはパスに誤りがあります。

2.3.440 JMN1782I-S

翻訳オプションファイルに指定された COM サーバ名に対する型ライブラリの指定がありません。または、指定した名前に誤りがあります。

詳細な説明

翻訳オプションファイルに、COM サーバ名に対する型ライブラリの設定がされていません。

2.3.441 JMN1783I-S

型ライブラリのロードでエラーになりました。

詳細な説明

翻訳オプションファイルで指定した型ライブラリファイルに型ライブラリの情報が含まれていない、または型ライブラリファイルとして相応しくないファイルが指定されています。

2.3.442 JMN1784I-S

指定したクラス名が型ライブラリに存在しません。または、取得したタイプが扱えない属性です。

詳細な説明

型ライブラリファイルに、指定したクラスの情報が存在しません。

2.3.443 JMN1785I-S

クラスの情報取得でエラーになりました。

2.3.444 JMN1786I-S

[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

クラス '@1@' の実行時コード系(RCS翻訳オプション)は、現在翻訳中のソース定義と同じでなければなりません。処理を続行します。

[Linux64]

クラス '@1@' の翻訳オプションENCODEおよび翻訳オプションRCSは、翻訳中のソース定義に有効な翻訳オプションと同じでなければなりません。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : クラス名

例題

```
[C1786S.cob]
000001 @OPTIONS RCS(SJIS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 CLASS-ID.          C1786S.
000004 END CLASS C1786S.
000005**
```

```
[C1786.cob]
000001 @OPTIONS RCS(UTF16)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 CLASS-ID.          C1786 INHERITS C1786S.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 CONFIGURATION    SECTION.
000006 REPOSITORY.
000007     CLASS C1786S.
000008 END CLASS C1786.
```

- [Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

C1786.cob 7: JMN1786I-S クラス'C1786S'の実行時コード系(RCS翻訳オプション)は、現在翻訳中のソース定義と同じでなければなりません。処理を続行します。

- [Linux64]

C1786.cob 7: JMN1786I-S クラス'C1786S'の翻訳オプションENCODEおよび翻訳オプションRCSは、翻訳中のソース定義に有効な翻訳オプションと同じでなければなりません。処理を続行します。

2.3.445 JMN1788I-S

@1@句に指定した文字定数に日本語文字を含んではなりません。1字の空白とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : CLASS,ALPHABET

例題

```
[C1788.cob]
000001 @OPTIONS RCS(UTF16)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C1788.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007 CLASS KANA IS "あ".
000008 END PROGRAM C1788.
```

C1788.cob 7: JMN1788I-S CLASS句に指定した文字定数に日本語文字を含んではなりません。1字の空白とみなします。

2.3.446 JMN1790I-S

翻訳オプションTHREAD(MULTI), NOSHREXTが有効な場合, EXTERNAL句にDEFINITIONおよびREFERENCEは指定できません。DEFINITIONまたはREFERENCEは無効になります。

例題

```
[C1790.cob]
000001 @OPTIONS THREAD(MULTI), NOSHREXT
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C1790.
000004**
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 A PIC X EXTERNAL DEF.
000008**
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 CONTINUE.
000011 END PROGRAM C1790.
```

C1790.cob 7: JMN1790I-S 翻訳オプションTHREAD(MULTI), NOSHREXTが有効な場合, EXTERNAL句にDEFINITIONおよびREFERENCEは指定できません。DEFINITIONまたはREFERENCEは無効になります。

2.3.447 JMN1802I-S

@1@指定には, @2@を指定しなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : BINARY-CHAR

@2@ : UNSIGNED

例題

```
[C1802.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1802.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
```

```
000005 01 A    USAGE BINARY-CHAR.  
000006 END PROGRAM C1802.
```

C1802.cob 5: JMN1802I-S BINARY-CHAR指定には、UNSIGNEDを指定しなければなりません。

2.3.448 JMN1805I-S

@1@に@2@以外は指定できません。次の認識できる段落、節または部まで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : データ部の節名

@2@ : 定義名

例題

```
[C1805.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 CLASS-ID.      C1805.  
000003 OBJECT.  
000004 PROCEDURE      DIVISION.  
000005 METHOD-ID.      C1805M PROTOTYPE.  
000006 DATA          DIVISION.  
000007 WORKING-STORAGE SECTION.  
000008 END METHOD C1805M.  
000009 END OBJECT.  
000010 END CLASS C1805.
```

C1805.cob 7: JMN1805I-S メソッド原型定義に連絡節以外は指定できません。次の認識できる段落、節または部まで無効になります。

2.3.449 JMN1813I-S

16進数字定数の長さがゼロであってはいけません。0とみなします。

例題

```
[C1813.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.     C1813.  
000003 DATA           DIVISION.  
000004 WORKING-STORAGE SECTION.  
000005 01 A            PIC 9(4) VALUE H"".  
000006 END PROGRAM C1813.
```

C1813.cob 5: JMN1813I-S 16進数字定数の長さがゼロであってはいけません。0とみなします。

2.3.450 JMN1814I-W

16進数字定数の16進文字(0～9, A～F)は、偶数個でなければなりません。先頭に0を補います。

例題

```
[C1814.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.     C1814.  
000003 DATA           DIVISION.  
000004 WORKING-STORAGE SECTION.  
000005 01 A            PIC 9(4) VALUE H"FFF".  
000006 END PROGRAM C1814.
```

C1814.cob 5: JMN1814I-W 16進数字定数の16進文字(0～9, A～F)は、偶数個でなければなりません。先頭に0を補います。

2.3.451 JMN1845I-W

このコンパイラが注釈として扱う構文に誤りがあります。@1@を有効とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 翻訳用計算機段落または実行用計算機段落, ASSIGN句

例題

```
[C1845.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1845.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 OBJECT-COMPUTER. "COMP1".
000006 END PROGRAM C1845.
```

C1845.cob 5: JMN1845I-W このコンパイラが注釈として扱う構文に誤りがあります。翻訳用計算機段落または実行用計算機段落を有効とみなします。

詳細な説明

注釈として扱う構文(廃要素)に誤りがありますが、プログラムの動作には影響しません。

2.3.452 JMN1847I-S

ファイル名制御情報(#FILE情報)、および、行番号制御情報(#LINE情報)が埋め込まれたプログラムを翻訳する場合、翻訳オプションNUMBERを指定してください。

2.3.453 JMN1852I-S

ENCODING句にはエンコード方式に付けた符号系名が指定できます。ENCODING句は無効になります。

例題

```
[c1852.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1852.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     ALPHABET ENC1 IS EBCDIC.
000007 DATA DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 DATA1 PIC X ENCODING ENC1.
000010 END PROGRAM C1852.
```

c1852.cob 9: JMN1852I-S ENCODING句にはエンコード方式に付けた符号系名が指定できます。ENCODING句は無効になります。

2.3.454 JMN1853I-S

ENCODING句に@1@指定の符号系名が既に指定されています。最初に指定された符号系名を有効とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : ALPHANUMERIC, NATIONAL

例題

```
[c1853.cob]
000001 @OPTIONS ENCODE (UTF8, UTF16)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000003 PROGRAM-ID. C1853.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007     ALPHABET U16 FOR NATIONAL IS UTF16
000008     ALPHABET U32 FOR NATIONAL IS UTF32.
000009 DATA DIVISION.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01 GDATA1  ENCODING U16 OR U32.
000012 02 DATA1 PIC N.
000013 END PROGRAM C1853.

```

c1853.cob 11: JMN1853I-S ENCODING句にNATIONAL指定の符号系名が既に指定されています。最初に指定された符号系名を有効とみなします。

2.3.455 JMN1854I-S

ENCODING句に指定された符号系名が多重定義です。ENCODING句は無効になります。

例題

```

[c1854.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1854.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     ALPHABET UTF FOR NATIONAL IS UTF16
000007     ALPHABET UTF FOR NATIONAL IS UTF32.
000008 DATA DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 DATA1 PIC N ENCODING UTF.
000011 END PROGRAM C1854.

```

c1854.cob 10: JMN1854I-S ENCODING句に指定された符号系名が多重定義です。ENCODING句は無効になります。

2.3.456 JMN1855I-S

ENCODING句は画面帳票定義体名を指定したCOPY文に指定できます。ENCODING句は無効になります。

例題

```

[C1855.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C1855.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     ALPHABET UTF16 FOR NATIONAL IS UTF16.
000007 DATA DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 COPY C1855CP ENCODING UTF16.
000010 END PROGRAM C1855.

```

```

[C1855CP.cbl]
000001 01 GRP01.
000002 02 DATA1 PIC N.

```

C1855.cob 9: JMN1855I-S ENCODING句は画面帳票定義体名を指定したCOPY文に指定できます。ENCODING句は無効になります。

2.3.457 JMN1856I-S

@1@が有効な場合、ENCODING句にはエンコード方式@2@に付けた符号系名が指定できます。ENCODING句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@: "RCS(SJIS)"、"RCS(UTF16)"、"ENCODE(SJIS)"または"ENCODE(UTF8)"

@2@: "SJIS"、"UTF8またはUTF16"または"UTF8, UTF16またはUTF32"

例題

```
[c1856. cob]
000001 @OPTIONS RCS(SJIS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C1856.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 CONFIGURATION    SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007     ALPHABET UTF16 FOR NATIONAL IS UTF16.
000008 DATA DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 DATA1 PIC N ENCODING UTF16.
000011 END PROGRAM C1856.
```

c1856.cob 10: JMN1856I-S RCS(SJIS)が有効な場合、ENCODING句にはエンコード方式SJISに付けた符号系名が指定できます。ENCODING句は無効になります。

2.3.458 JMN1857I-S

画面帳票定義体の組み込みにUTF32エンコード方式を指定する場合、UTF32向けに変換した画面帳票定義体を指定する必要があります。画面帳票定義体の組み込みを中止します。

2.3.459 JMN1858I-S

翻訳オプション@1@が有効な場合、@2@は使用できません。

埋め込みの説明

@1@: 翻訳オプション名

@2@: エラーの原因となった文、句、指定を現す予約語。

例題

```
[C1858. cob]
000001 @OPTIONS RCS(ASCII)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C1858.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 CONFIGURATION    SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007     ALPHABET SJS IS SJIS.
000008 DATA DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 DATA1 PIC X ENCODING SJS.
000011 END PROGRAM C1858.
```

C1858.cob 10: JMN1858I-S 翻訳オプションRCS(ASCII)が有効な場合、ENCODINGは使用できません。

2.3.460 JMN1859I-S

@1@は現在のコード系では指定できません。@1@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった文, 句, 指定を現す予約語。

2.3.461 JMN1900I-W

レベル番号の階層に誤りがあります。

例題

```
[C1900.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1900.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 DATA1.
000006    03 DATA2-1.
000007    04 DATA2-2.
000008    02 DATA2 PIC 9.
000009 END PROGRAM      C1900.
```

C1900.cob 8: JMN1900I-W レベル番号の階層に誤りがあります。

詳細な説明

レベル番号の階層は, 01～49までの昇順で構成します。

2.3.462 JMN1903I-S

RECORD句の整数は, 2147483647以下でなければなりません。2147483647とみなします。

例題

```
[C1903.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1903.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006    SELECT IN-F ASSIGN TO INFILE.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE               SECTION.
000009 FD IN-F RECORD 2147483648.
000010 01 IN-R PIC X(80).
000011 END PROGRAM      C1903.
```

C1903.cob 9: JMN1903I-S RECORD句の整数は, 2147483647以下でなければなりません。2147483647とみなします。

2.3.463 JMN1904I-W

与えられた主記憶域量が十分でないため翻訳オプションOPTIMIZEで翻訳することができません。翻訳オプションNOOPTIMIZEで翻訳します。

2.3.464 JMN1905I-S

'BEGIN DECLARE SECTION'に対応する'END DECLARE SECTION'が指定されていません。この文を無効とし、宣言節を継続します。

例題

```
[C1905.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C1905.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01  SQLSTATE  PIC X(5).
000007     EXEC DCSQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000008 END PROGRAM      C1905.
```

C1905.cob 7: JMN1905I-S 'BEGIN DECLARE SECTION'に対応する'END DECLARE SECTION'が指定されていません。この文を無効とし、宣言節を継続します。

2.4 JMN2000—JMN2999

2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
2010	2011	2012	2013	2015	2016	2019	2020	2022	2024
2025	2026	2031	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040
2041	2042	2043	2044	2045	2047	2048	2049	2050	2051
2065	2066	2067	2076	2077	2079	2080	2081	2082	2083
2084	2085	2097	2098	2099	2100	2101	2102	2103	2104
2105	2106	2107	2108	2109	2111	2112	2113	2116	2117
2118	2119	2120	2121	2122	2123	2124	2126	2127	2128
2131	2132	2134	2135	2136	2138	2143	2144	2145	2149
2158	2159	2163	2164	2165	2166	2167	2173	2174	2175
2176	2177	2178	2181	2182	2183	2188	2189	2190	2191
2192	2193	2194	2195	2196	2197	2200	2201	2202	2205
2206	2207	2210	2212	2213	2214	2215	2216	2218	2219
2221	2222	2223	2224	2225	2226	2227	2228	2229	2231
2232	2233	2234	2235	2236	2239	2244	2245	2249	2251
2252	2269	2270	2271	2273	2274	2276	2277	2288	2292
2300	2312	2316	2317	2319	2320	2329	2331	2332	2333
2334	2335	2336	2337	2338	2341	2343	2350	2354	2357
2358	2359	2365	2366	2370	2372	2374	2375	2384	2385
2393	2394	2395	2396	2397	2398	2399	2400	2401	2402
2403	2404	2405	2406	2407	2408	2409	2410	2411	2412
2413	2414	2415	2416	2417	2418	2420	2421	2422	2423
2424	2425	2426	2427	2428	2429	2430	2431	2432	2433
2434	2435	2436	2437	2438	2439	2440	2441	2442	2443
2444	2445	2446	2447	2449	2450	2451	2452	2457	2458
2459	2460	2461	2462	2463	2464	2465	2466	2467	2468
2469	2470	2471	2472	2473	2474	2475	2476	2477	2478
2480	2481	2482	2483	2484	2485	2486	2487	2488	2489
2491	2493	2494	2495	2496	2497	2498	2499	2500	2501
2502	2503	2504	2505	2506	2507	2508	2509	2510	2511
2512	2513	2514	2515	2516	2517	2518	2519	2520	2521

2522	2523	2524	2525	2526	2527	2528	2529	2530	2532
2534	2535	2536	2538	2539	2540	2541	2543	2545	2547
2548	2549	2550	2551	2552	2553	2554	2555	2556	2557
2558	2560	2561	2562	2564	2565	2566	2567	2568	2569
2570	2571	2574	2575	2576	2580	2583	2584	2585	2586
2587	2588	2589	2591	2592	2593	2596	2597	2598	2599
2600	2601	2602	2603	2604	2605	2606	2607	2608	2609
2610	2611	2613	2615	2616	2617	2633	2634	2639	2640
2641	2642	2643	2644	2645	2650	2651	2654	2656	2657
2658	2659	2660	2662	2663	2665	2666	2669	2670	2671
2672	2673	2682	2686	2689	2691	2692	2693	2694	2695
2696	2697	2698	2699	2700	2701	2704	2705	2706	2707
2710	2717	2718	2726	2727	2728	2729	2730	2731	2732
2735	2736	2737	2738	2741	2742	2744	2745	2747	2748
2749	2750	2753	2756	2757	2759	2761	2762	2764	2766
2767	2768	2769	2770	2772	2773	2774	2775	2794	2798
2800	2801	2802	2803	2809	2815	2818	2819	2821	2822
2823	2826	2827	2829	2831	2832	2834	2835	2836	2837
2838	2839	2840	2847	2851	2853	2862	2863	2864	2866
2867	2868	2870	2871	2873	2874	2875	2877	2878	2879
2880	2881	2882	2883	2884	2885	2886	2888	2889	2890
2892	2893	2895	2896	2897	2898	2899	2901	2902	2903
2906	2907	2908	2909	2911	2912	2916	2920	2921	2922
2923	2924	2925	2926	2927	2928	2930	2931	2932	2933
2934	2935	2936	2937	2938	2939	2940	2941	2942	2943
2944	2945	2946	2947	2948	2949	2950	2951	2952	2953
2954	2955	2957	2958	2959	2960	2961	2962	2963	2964
2965	2966	2970	2971	2985	2986	2988	2993	2994	2996
2999									

2.4.1 JMN2000I-S

報告書記述項には、報告集団記述項が従属しなければなりません。報告書記述項は、無効になります。

例題

```
[P2000. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2000.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA             DIVISION.
000009 FILE               SECTION.
000010 FD REPFIL REPORT REP1.
000011 REPORT             SECTION.
000012 RD REP1.
```

```
000013 PROCEDURE      DIVISION.  
000014 END PROGRAM    P2000.
```

P2000.cob 12: JMN2000I-S 報告書記述項には、報告集団記述項が従属しなければなりません。報告書記述項は、無効になります。

詳細な説明

この診断メッセージが出力されるのは、報告書記述項(RD記述項)に続いて、報告書集団記述項が指定されていないことが原因です。

報告書集団記述項は、レベル01とTYPE句を持つデータ記述項で始まる一連のデータ記述項です。

2.4.2 JMN2001I-S

ファイル記述項または整列併合用ファイル記述項には、レコード記述項が従属しなければなりません。ファイル記述項または整列併合用ファイル記述項は、無効になります。

例題

```
[P2001. cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      P2001.  
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.  
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.  
000005 FILE-CONTROL.  
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001  
000007     ORGANIZATION  IS SEQUENTIAL  
000008     FILE STATUS   IS WFS1.  
000009 I-O-CONTROL.  
000010 DATA           DIVISION.  
000011 FILE            SECTION.  
000012 FD SQFILE1.  
000013 WORKING-STORAGE SECTION.  
000014 01 WFS1         PIC X(2).  
000015 PROCEDURE       DIVISION.  
000016 END PROGRAM     P2001.
```

P2001.cob 12: JMN2001I-S ファイル記述項または整列併合用ファイル記述項には、レコード記述項が従属しなければなりません。ファイル記述項または整列併合用ファイル記述項は、無効になります。

詳細な説明

この診断メッセージが出力されるのは、ファイル記述項(FD記述項)に続いて、レコード記述項が指定されていないことが原因です。

レコード記述項はレコードの構造を指定するための一連のデータ記述項です。

2.4.3 JMN2002I-S

REPORT句を持つファイル記述項に対して、レコード記述項は指定できません。次のファイル記述項または整列併合用ファイル記述項までのレコード記述項は無効になります。

例題

```
[P2002. cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      P2002.  
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.  
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.  
000005 FILE-CONTROL.  
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.  
000007 I-O-CONTROL.  
000008 DATA           DIVISION.  
000009 FILE            SECTION.  
000010 FD REPFIL REPORT REP1.  
000011 01 REPREC      PIC X(80).
```

```

000012 REPORT          SECTION.
000013 RD REP1.
000014 01 TYPE DE LINE PLUS 1.
000015 02 COLUMN 1    PIC X(10) VALUE SPACE.
000016 PROCEDURE       DIVISION.
000017 END PROGRAM     P2002.

```

P2002.cob 10: JMN2002I-S REPORT句を持つファイル記述項に対して、レコード記述項は指定できません。次のファイル記述項または整列併合用ファイル記述項までのレコード記述項は無効になります。

詳細な説明

この診断メッセージが出力されるのは、報告書ファイルのファイル記述項(FD記述項)に続いて、レコード記述項が指定されていることが原因です。REPORT句を指定したファイルは報告書ファイルとなります。

2.4.4 JMN2003I-S

EXTERNAL句を持つレベル番号01の項目を再定義する場合、項目の長さは、再定義される項目の長さ以下でなければなりません。書かれたとおり受け入れます。

例題

```

[P2003.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2003.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 D1 EXTERNAL.
000007 02                PIC X(10).
000008 01 R2 REDEFINES D1.
000009 02                PIC N(10).
000010 PROCEDURE        DIVISION.
000011 END PROGRAM      P2003.

```

P2003.cob 8: JMN2003I-S EXTERNAL句を持つレベル番号01の項目を再定義する場合、項目の長さは、再定義される項目の長さ以下でなければなりません。書かれたとおり受け入れます。

詳細な説明

外部属性(EXTERNAL句)を持つデータ項目を再定義する場合、再定義する項目の長さは再定義される項目の長さと等しいか、小さくなければなりません。

例えば、例題プログラムでは、外部属性を持つD1をR2で再定義していますが、データ項目の長さはR2がD1より大きいです。これが原因でこの診断メッセージが出力されています。

2.4.5 JMN2004I-S

REDEFINES句を持つ基本項目またはREDEFINES句を持つ集団項目に従属する最初の基本項目が、SYNCHRONIZED句を持つ場合、再定義される項目の境界は、基本項目の要求する境界に合っていない必要があります。境界調整は行いません。

例題

```

[P2004.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2004.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 G1.
000007 02                PIC X(1).
000008 02 E1             PIC X(20).

```



```

000009 02 G2 REDEFINES E1.
000010 03 E2 PIC S9(4) BINARY SYNC.
000011 03 E3 PIC S9(4) BINARY SYNC.
000012 03 E4 PIC S9(4) BINARY SYNC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014 END PROGRAM P2004.

```

P2004.cob 10: JMN2004I-S REDEFINES句を持つ基本項目またはREDEFINES句を持つ集団項目に従属する最初の基本項目が、SYNCHRONIZED句を持つ場合、再定義される項目の境界は、基本項目の要求する境界に合っていない必要があります。境界調整は行いません。

詳細な説明

SYNCHRONIZED句は、この句を指定したデータ項目の前に遊びビット／遊びバイトを必要に応じて挿入し、境界合わせを行います。しかし、SYNCHRONIZED句を指定した項目が、次のいずれかに該当する再定義項目の場合は、遊びビット／遊びバイトの挿入ができません。

- ・ 基本項目
- ・ 集団項目に従属する最初の項目

例えば、例題プログラムでは、データ項目E2の前に遊びバイトの挿入が必要ですが、上記の条件に該当するためにそれができません。

2.4.6 JMN2005I-S

ファイル記述項または整列併合用ファイル記述項に指定したファイル名は、ファイル管理段落のSELECT句で定義しなければなりません。順ファイルとみなします。

例題

```

[P2005.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2005.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 DATA DIVISION.
000006 FILE SECTION.
000007 FD SQFILE1.
000008 01 SQF1REC.
000009 02 PIC X(80).
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01 WFS1 PIC X(2).
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013 END PROGRAM P2005.

```

P2005.cob 7: JMN2005I-S ファイル記述項または整列併合用ファイル記述項に指定したファイル名は、ファイル管理段落のSELECT句で定義しなければなりません。順ファイルとみなします。

詳細な説明

COBOL言語でファイルを使用する場合、各ファイルごとに以下の記述が必要です。

- ・ ファイル管理記述項
- ・ ファイル記述項

この診断メッセージは、ファイル記述項で指定したファイル名に対応するファイル管理記述項が記述されていないことが原因です。

例えば、例題プログラムではファイルSQFILE1に対するファイル管理記述項が記述されていないことが原因です。

2.4.7 JMN2006I-S

SELECT句のファイル名は、FDまたはSD記述項のファイル名として一意に定義しなければなりません。

例題

```
[P2006.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2006.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 PROCEDURE         DIVISION.
000011 END PROGRAM      P2006.
```

P2006.cob 6: JMN2006I-S SELECT句のファイル名は、FDまたはSD記述項のファイル名として一意に定義しなければなりません。

詳細な説明

COBOL言語でファイルを使用する場合、各ファイルごとに以下の記述が必要です。

- ・ ファイル管理記述項
- ・ ファイル記述項

この診断メッセージが出力される場合、以下のいずれかの原因が考えられます。

- ・ ファイル管理記述項で指定したファイル名に対応するファイル記述項が記述されていない。
- ・ ファイル管理記述項で指定したファイル名に対応するファイル記述項が複数記述されている。

例えば、例題プログラムではファイルSQFILE1に対するファイル記述項が記述されていないことが原因です。

2.4.8 JMN2007I-S

SELECT句のファイル名は、他のSELECT句のファイル名と同じであってはなりません。

例題

```
[P2007.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2007.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA             DIVISION.
000010 FILE              SECTION.
000011 FD SQFILE1.
000012 01 SQF1REC.
000013 02              PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 PROCEDURE         DIVISION.
000016 END PROGRAM      P2007.
```

P2007.cob 7: JMN2007I-S SELECT句のファイル名は、他のSELECT句のファイル名と同じであってはなりません。

詳細な説明

ファイル名は、以下の各ソース単位中で一意である必要があります。

- ・ プログラム
- ・ ファクトリ

- ・ オブジェクト
- ・ メソッド

例えば、この例題プログラムでは、1つのプログラム中で同一のファイル名SQFILE1に対して、複数のファイル管理記述項が記述されていることが、この診断メッセージが出力される原因です。

2.4.9 JMN2008I-W

集団項目にSIGN句が指定された場合、従属する基本項目に一つ以上の符号付き外部10進項目が指定されなければなりません。SIGN句は無効になります。

例題

```
[P2008. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2008.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 G1  SIGN LEADING.
000006    02 E1      PIC X(10).
000007    02 E2      PIC 9(10).
000008 PROCEDURE         DIVISION.
000009 END PROGRAM      P2008.
```

P2008.cob 5: JMN2008I-W 集団項目にSIGN句が指定された場合、従属する基本項目に一つ以上の符号付き外部10進項目が指定されなければなりません。SIGN句は無効になります。

詳細な説明

SIGN句は、数字項目の符号の形式と位置を指定するものですが、以下の場合には有効になりません。

- ・ 符号なしの数字項目
- ・ 明または暗にDISPLAY以外のUSAGE句が指定されている。

この診断メッセージが出力される場合、SIGN句は意味を持ちません。SIGN句を削除するべきです。

2.4.10 JMN2009I-S

USAGE句の'@1@'は、PICTURE句を持つ項目に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : COMPUTATIONAL-1, COMPUTATIONAL-2, INDEX, POINTER, PROCEDURE-POINTER, BINARY-CHAR, BINARY-SHORT, BINARY-LONGまたはBINARY-DOUBLE.

例題

```
[P2009. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2009.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 E1              PIC S9(9) BINARY-LONG.
000007 PROCEDURE         DIVISION.
000008 END PROGRAM      P2009.
```

P2009.cob 6: JMN2009I-S USAGE句の'BINARY-LONG'は、PICTURE句を持つ項目に指定できません。

詳細な説明

以下のいずれかのUSAGE句を持つデータ項目は、桁数や符号の有無を指定することはできません。

- COMPUTATIONAL-1(COMP-1)
- COMPUTATIONAL-2(COMP-2)
- INDEX
- POINTER
- PROCEDURE-POINTER
- BINARY-CHAR
- BINARY-SHORT
- BINARY-LONG
- BINARY-DOUBLE

PICTURE句を削除してください。

2.4.11 JMN2010I-S

集団項目に従属する項目のUSAGE句は、その集団項目のUSAGE句と同じ用途でなければなりません。集団項目に指定されたUSAGE句を有効とみなします。

例題

```
[P2010. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2010.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 G1 DISPLAY.
000007 02 E1             PIC S9(9).
000008 02 E2             PIC S9(9) BINARY.
000009 02 E3             PIC S9(9).
000010 PROCEDURE         DIVISION.
000011 END PROGRAM      P2010.
```

P2010.cob 8: JMN2010I-S 集団項目に従属する項目のUSAGE句は、その集団項目のUSAGE句と同じ用途でなければなりません。集団項目に指定されたUSAGE句を有効とみなします。

詳細な説明

USAGE句は基本項目のみではなく、集団項目にも指定することができます。ただし、USAGE句を指定した集団項目に明または暗に従属する基本項目は次のいずれかでなければなりません。

- USAGE句を持たない基本項目
- 上位集団項目と同じ指定のUSAGE句を持つ基本項目

例えば、例題プログラムの場合、従属する項目E2が集団項目と異なる指定のUSAGE句を持つため、この診断メッセージが出力されます。

2.4.12 JMN2011I-S

BITはブール項目に指定しなければなりません。

例題

```
[P2011. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2011.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
```

000006 01 WNUM	PIC S9(9) BIT.
000007 PROCEDURE	DIVISION.
000008 END PROGRAM	P2011.

P2011.cob 6: JMN2011I-S BITはブール項目に指定しなければなりません。

詳細な説明

BIT(USAGE IS BIT句)は、データの用途がブール項目であることを示す句です。この句を指定するときは、データ記述項のPICTURE句の文字列は"1"だけで構成しなければなりません。

2.4.13 JMN2012I-S

BINARY, COMPUTATIONAL, COMPUTATIONAL-3またはPACKED-DECIMALは、数字項目に指定しなければなりません。

例題

[P2012. cob]	
000001 IDENTIFICATION	DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.	P2012.
000003 ENVIRONMENT	DIVISION.
000004 DATA	DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE	SECTION.
000006 01 WNUM	PIC X(10) BINARY.
000007 PROCEDURE	DIVISION.
000008 END PROGRAM	P2012.

P2012.cob 6: JMN2012I-S BINARY, COMPUTATIONAL, COMPUTATIONAL-3またはPACKED-DECIMALは、数字項目に指定しなければなりません。

詳細な説明

BINARY(USAGE IS BINARY句)・COMPUTATIONAL(USAGE IS COMPUTATIONAL句)は、データの用途が2進項目であることを示す句です。また、COMPUTATIONAL-3(USAGE IS COMPUTATIONAL-3句)・PACKED-DECIMAL(USAGE IS PACKED-DECIMAL句)は、データの用途が内部10進項目であることを示す句です。これらの句を指定するときは、データ記述項のPICTURE句の文字列は"P", "S", "V"および"9"だけで構成しなければなりません。

なお、BINARYとCOMPUTATIONALは同義です。COMPUTATIONALはCOMPと書いてもかまいません。また、COMPUTATIONAL-3とPACKED-DECIMALは同義です。COMPUTATIONAL-3はCOMP-3と書いてもかまいません。

2.4.14 JMN2013I-S

SIGN句は、符号付き外部10進項目を除く基本項目に指定できません。

例題

[P2013. cob]	
000001 IDENTIFICATION	DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.	P2013.
000003 ENVIRONMENT	DIVISION.
000004 DATA	DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE	SECTION.
000006 01 WNUM1	PIC 9(10) DISPLAY SIGN LEADING.
000007 01 WNUM2	PIC 9(10) BINARY SIGN TRAILING.
000008 PROCEDURE	DIVISION.
000009 END PROGRAM	P2013.

P2013.cob 6: JMN2013I-S SIGN句は、符号付き外部10進項目を除く基本項目に指定できません。

P2013.cob 7: JMN2013I-S SIGN句は、符号付き外部10進項目を除く基本項目に指定できません。

2.4.15 JMN2015I-S

JUSTIFIED句は、集団項目に指定できません。

例題

```
[P2015. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2015.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGROUP JUST.
000007 02 WE1            PIC X(1).
000008 02 WE2            PIC 9(9) BINARY.
000009 PROCEDURE         DIVISION.
000010 END PROGRAM      P2015.
```

P2015.cob 6: JMN2015I-S JUSTIFIED句は、集団項目に指定できません。

2.4.16 JMN2016I-S

JUSTIFIED句は、英字項目、英数字項目または日本語項目に限り指定できます。

例題

```
[P2016. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2016.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WNUM           PIC S9(10) JUST.
000007 PROCEDURE         DIVISION.
000008 END PROGRAM      P2016.
```

P2016.cob 6: JMN2016I-S JUSTIFIED句は、英字項目、英数字項目または日本語項目に限り指定できます。

2.4.17 JMN2019I-W

REDEFINES句は、ファイル節中のレベル番号01の項目に指定できません。REDEFINES句は、無効になります。

例題

```
[P2019. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2019.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA             DIVISION.
000009 FILE             SECTION.
000010 FD SQFILE1.
000011 01 SQF1REC.
000012 02             PIC X(80).
000013 01 REDEFINES SQF1REC.
000014 02             PIC N(40).
000015 PROCEDURE         DIVISION.
000016 END PROGRAM      P2019.
```

P2019.cob 13: JMN2019I-W REDEFINES句は、ファイル節中のレベル番号01の項目に指定できません。REDEFINES句は、無効になります。

詳細な説明

ファイル節のレコード記述項を2つ以上書くと、レコード記述項の領域は暗に再定義されます。

2.4.18 JMN2020I-S

REDEFINES句で、再定義される項目が正しく定義されていません。

例題

```
[P2020. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2020.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007    02 DA1          PIC X(20).
000008    02 .
000009    03 RDA1 REDEFINES DA1
000010                PIC N(10).
000011 PROCEDURE         DIVISION.
000012 END PROGRAM      P2020.
```

P2020.cob 9: JMN2020I-S REDEFINES句で、再定義される項目が正しく定義されていません。

詳細な説明

コンパイラは、再定義される文字位置を定義した名前(REDEFINES句の左辺に指定するデータ名)を検出できませんでした。REDEFINES句の左辺に指定するデータ名のデータ記述項は、以下の条件を満たしていなければなりません。

- REDEFINES句を指定したデータ記述項の直前の宣言でなければなりません。ただし、直前の項目もREDEFINES句を持つ(同じ領域を重複して再定義する)ときは、その再定義の対象となる文字位置を定義した既出のデータ名であればどれでも指定できます。
- REDEFINES句を指定したデータ記述項と、レベル番号は同じでなければなりません。
- REDEFINES句を指定したデータ記述項との間に、より小さなレベル番号を持つデータ記述項を挟んではなりません。

2.4.19 JMN2022I-S

REDEFINES句で再定義される項目は、@1@句を持つことはできません。REDEFINES句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : OCCURSまたはTYPE.

例題

```
[C2022. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C2022.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A.
000006    02 A1            OCCURS 10.
000007    03                PIC X(1).
000008    02 A2 REDEFINES A1.
000009    03                PIC N(5).
000010 PROCEDURE         DIVISION.
000011 END PROGRAM      C2022.
```

C2022.cob 8: JMN2022I-S REDEFINES句で再定義される項目は、OCCURS句を持つことはできません。REDEFINES句は無効になります。

2.4.20 JMN2024I-S

REDEFINES句で再定義される項目がSYNCHRONIZED句のない内部ブール項目である場合、再定義する項目は、内部ブール項目でなければなりません。

例題

```
[P2024.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2024.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDA.
000007 02 WELM1          PIC 1(9) BIT.
000008 02 WELM2          PIC 1(7) BIT.
000009 02 WRLEM REDEFINES WELM2
000010                  PIC X(3).
000011 PROCEDURE         DIVISION.
000012 END PROGRAM       P2024.
```

P2024.cob 9: JMN2024I-S REDEFINES句で再定義される項目がSYNCHRONIZED句のない内部ブール項目である場合、再定義する項目は、内部ブール項目でなければなりません。

2.4.21 JMN2025I-W

VALUE句は、基底場所節のデータ記述項に指定できません。VALUE句は、無効になります。

例題

```
[P2025.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2025.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 BASED-STORAGE SECTION.
000006 01 BDA            PIC X(20) VALUE SPACE.
000007 PROCEDURE         DIVISION.
000008 END PROGRAM       P2025.
```

P2025.cob 6: JMN2025I-W VALUE句は、基底場所節のデータ記述項に指定できません。VALUE句は、無効になります。

詳細な説明

VALUE句はデータ項目に初期値を与えるための句です。基底場所節のデータ記述項は、データ構造を定義するための宣言であり、初期値を持つことはできません。

2.4.22 JMN2026I-W

VALUE句は、ファイル節または連絡節中のデータ記述項に指定できません。VALUE句は、無効になります。

例題

```
[P2026.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2026.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
```



```

000006      SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA          DIVISION.
000008 FILE           SECTION.
000009 FD SQFILE1.
000010 01 SQF1REC.
000011 02            PIC X(80) VALUE SPACE.
000012 LINKAGE        SECTION.
000013 01 LK1         PIC X(2) VALUE SPACE.
000014 PROCEDURE      DIVISION USING LK1.
000015 END PROGRAM    P2026.

```

P2026.cob 11: JMN2026I-W VALUE句は、ファイル節または連絡節中のデータ記述項に指定できません。VALUE句は、無効になります。

P2026.cob 13: JMN2026I-W VALUE句は、ファイル節または連絡節中のデータ記述項に指定できません。VALUE句は、無効になります。

詳細な説明

VALUE句はデータ項目に初期値を与えるための句です。ファイル節のデータ記述項はレコードのデータ構造を定義するための宣言です。また、連絡節のデータ記述項は、呼ぶプログラムと呼ばれるプログラムで参照するデータの構造を定義するための宣言です。これらは初期値を持つことはできません。

2.4.23 JMN2031I-S

VALUE句は、@1@項目に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : 指標データまたは外部浮動小数点。

例題

```

[P2031. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2031.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WEXFL         PIC +9.9E+99 VALUE 0.
000007 01 WIDX         INDEX          VALUE 0.
000008 PROCEDURE        DIVISION.
000009 END PROGRAM        P2031.

```

P2031.cob 6: JMN2031I-S VALUE句は、外部浮動小数点項目に指定できません。

P2031.cob 7: JMN2031I-S VALUE句は、指標データ項目に指定できません。

2.4.24 JMN2034I-S

数字項目に指定されたVALUE句の数字定数が、ゼロでない数字の切捨てを起こす値を持っています。表意定数ZEROが指定されたものとみなします。

例題

```

[C20341. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C20341.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 AREC1         PIC 99 VALUE 12.5.

```

```
000009 PROCEDURE DIVISION.  
000010 END PROGRAM C20341.
```

C20341.cob 8: JMN2034I-S 数字項目に指定されたVALUE句の数字定数が、ゼロでない数字の切捨てを起こす値を持っています。表意定数ZEROが指定されたものとみなします。

詳細な説明

数字項目の大きさ(桁数)が、VALUE句で指定した数値を格納するためには不足しています。初期値を正しく設定することができません。

翻訳を続行するために表意定数ZEROが指定されたものとみなして処理しますが、このときオブジェクトファイルや実行形式ファイルは生成されません。

2.4.25 JMN2035I-W

符号付き数字定数は、符号なし数字項目に指定できません。数字定数の符号は、無効になります。

例題

```
[P2035.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      P2035.  
000003 DATA             DIVISION.  
000004 WORKING-STORAGE SECTION.  
000005 01 WNUM           PIC 9(3)V99 VALUE -12.34.  
000006 PROCEDURE        DIVISION.  
000007 END PROGRAM      P2035.
```

P2035.cob 5: JMN2035I-W 符号付き数字定数は、符号なし数字項目に指定できません。数字定数の符号は、無効になります。

詳細な説明

符号なし数字項目の初期値をVALUE句で指定するときは、符号なしの数字定数を記述しなければなりません。

符号付きの数字定数を指定した場合は符号は無効になり、符号なしの数字定数として数字項目に設定されます。

2.4.26 JMN2036I-S

集団項目のVALUE句には、文字定数、表意定数または記号文字を指定しなければなりません。表意定数SPACEが指定されたものとみなします。

例題

```
[P2036.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      P2036.  
000003 DATA             DIVISION.  
000004 WORKING-STORAGE SECTION.  
000005 01 WGRP           VALUE N"{".  
000006 02 WELM1          PIC X(2).  
000007 02 WELM2          PIC X(2).  
000008 02 WELM3          PIC X(2).  
000009 PROCEDURE        DIVISION.  
000010 END PROGRAM      P2036.
```

P2036.cob 5: JMN2036I-S 集団項目のVALUE句には、文字定数、表意定数または記号文字を指定しなければなりません。表意定数SPACEが指定されたものとみなします。

詳細な説明

集団項目の初期値としてVALUE句に指定できる値は、文字定数、表意定数または記号文字です。これら以外の値は指定できません。

翻訳を続行するために表意定数SPACEが指定されたものとみなして処理しますが、このときオブジェクトファイルや実行形式ファイルは生成されません。

2.4.27 JMN2037I-S

内部浮動小数点項目のVALUE句には、数字定数、または表意定数ZEROを指定しなければなりません。表意定数ZEROが指定されたものとみなします。

例題

```
[P2037. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2037.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WNUM          COMP-1 VALUE SPACE.
000006 PROCEDURE        DIVISION.
000007 END PROGRAM      P2037.
```

P2037.cob 5: JMN2037I-S 内部浮動小数点項目のVALUE句には、数字定数、または表意定数ZEROを指定しなければなりません。表意定数ZEROが指定されたものとみなします。

詳細な説明

内部浮動小数点項目の初期値としてVALUE句に指定できる値は、数字定数または表意定数ZEROです。これら以外の値は指定できません。

翻訳を続行するために表意定数ZEROが指定されたものとみなして処理しますが、このときオブジェクトファイルや実行形式ファイルは生成されません。

2.4.28 JMN2038I-S

VALUE句の定数の長さは、項目の長さ以下でなければなりません。項目長に合わせ、定数の右端を切り落とします。

例題

```
[P2038. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2038.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDX            PIC X(2) VALUE "ABC".
000007 PROCEDURE        DIVISION.
000008 END PROGRAM      P2038.
```

P2038.cob 6: JMN2038I-S VALUE句の定数の長さは、項目の長さ以下でなければなりません。項目長に合わせ、定数の右端を切り落とします。

詳細な説明

用途が表示用／ブールである項目の大きさが、VALUE句で指定した定数を格納するためには不足しています。

翻訳を続行するために、定数の右端を切り捨てた値を設定しますが、このときオブジェクトファイルや実行形式ファイルは生成されません。

2.4.29 JMN2039I-S

数字項目のVALUE句には、数字定数または表意定数のZEROを指定しなければなりません。表意定数ZEROが指定されたものとみなします。

例題

```
[P2039. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2039.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
```

```
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 01 WDX          PIC 9(2) VALUE "ABC".  
000007 PROCEDURE       DIVISION.  
000008 END PROGRAM     P2039.
```

P2039.cob 6: JMN2039I-S 数字項目のVALUE句には、数字定数または表意定数のZEROを指定しなければなりません。表意定数ZEROが指定されたものとみなします。

詳細な説明

数字項目の初期値としてVALUE句に指定できる値は、数字定数または表意定数ZEROです。これら以外の値は指定できません。

翻訳を続行するために表意定数ZEROが指定されたものとみなして処理しますが、このときオブジェクトファイルや実行形式ファイルは生成されません。

2.4.30 JMN2040I-S

英字、英数字、英数字編集または数字編集項目のVALUE句には、文字定数、表意定数または記号文字を指定しなければなりません。表意定数SPACEが指定されたものとみなします。

例題

```
[P2040. cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      P2040.  
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.  
000004 DATA            DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 01 WDX          PIC X(2) VALUE N"".   
000007 01 WNE          PIC Z,ZZ9 VALUE 12.  
000008 PROCEDURE       DIVISION.  
000009 END PROGRAM     P2040.
```

P2040.cob 6: JMN2040I-S 英字、英数字、英数字編集または数字編集項目のVALUE句には、文字定数、表意定数または記号文字を指定しなければなりません。表意定数SPACEが指定されたものとみなします。

P2040.cob 7: JMN2040I-S 英字、英数字、英数字編集または数字編集項目のVALUE句には、文字定数、表意定数または記号文字を指定しなければなりません。表意定数SPACEが指定されたものとみなします。

詳細な説明

英字、英数字、英数字編集または数字編集項目の初期値としてVALUE句に指定できる値は、文字定数、表意定数または記号文字です。これら以外の値は指定できません。

翻訳を続行するために表意定数SPACEが指定されたものとみなして処理しますが、このときオブジェクトファイルや実行形式ファイルは生成されません。

2.4.31 JMN2041I-S

P付き数字項目にVALUE句が指定された場合、数字項目のPに対応する数字定数の文字位置の値はゼロでなければなりません。数字項目のPに対応する文字位置の値がゼロであるとみなします。

例題

```
[P2041. cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      P2041.  
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.  
000004 DATA            DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 01 WNUM2         PIC 999PP VALUE 1234.  
000007 PROCEDURE       DIVISION.  
000008 END PROGRAM     P2041.
```

P2041.cob 6: JMN2041I-S P付き数字項目にVALUE句が指定された場合、数字項目のPに対応する数字定数の文字位置の値はゼロでなければなりません。数字項目のPに対応する文字位置の値がゼロであるとみなします。

詳細な説明

PICTURE句の文字"P"は位取りを示す文字であり、PICTURE句の数字の桁位置の左端あるいは右端に続けて記述します。左端にあるときは、先頭の"P"の左側に小数点があるものとみなされます。一方、右端にあるときは、末尾の"P"の右側に小数点があるものとみなされます。

数字項目のPICTURE句の文字列と、VALUE句で指定した数値とを、小数点の位置を合わせて対応付けたとき、PICTURE句の文字"P"の位置にある数字は"0"でなければなりません。

翻訳を続行するために、文字"P"の位置の値を0とみなして処理しますが、このときオブジェクトファイルや実行形式ファイルは生成されません。

2.4.32 JMN2042I-S

ブール項目のVALUE句には、ブール定数または表意定数ZEROを指定しなければなりません。表意定数ZEROが指定されたものとみなします。

例題

```
[P2042. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2042.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WBOOL         PIC 1(1) VALUE 0.
000007 PROCEDURE        DIVISION.
000008 END PROGRAM      P2042.
```

P2042.cob 6: JMN2042I-S ブール項目のVALUE句には、ブール定数または表意定数ZEROを指定しなければなりません。表意定数ZEROが指定されたものとみなします。

詳細な説明

ブール項目の初期値としてVALUE句に指定できる値は、ブール定数または表意定数ZEROです。これら以外の値は指定できません。

翻訳を続行するために表意定数ZEROが指定されたものとみなして処理しますが、このときオブジェクトファイルや実行形式ファイルは生成されません。

2.4.33 JMN2043I-W

英字、英数字または英数字編集項目のVALUE句に、ブール定数は指定できません。1ブール文字を1ビットとみなして、左づめで格納します。

例題

```
[P2043. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2043.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WBOOL         PIC X(1) VALUE B"11110000".
000007 PROCEDURE        DIVISION.
000008 END PROGRAM      P2043.
```

P2043.cob 6: JMN2043I-W 英字、英数字または英数字編集項目のVALUE句に、ブール定数は指定できません。1ブール文字を1ビットとみなして、左づめで格納します。

詳細な説明

英字, 英数字または英数字編集項目の初期値としてブール定数が指定された場合, ブール文字("0"または"1")1個が1ビットの領域を占めるもの(ブール文字8個で1バイト)とみなして, 項目に設定します。このとき, 値は左詰めで格納され, 残りの領域には空白文字が設定されます。

2.4.34 JMN2044I-S

英字, 英数字または英数字編集項目に指定したブール定数の長さは, 8の倍数でなければなりません。8の倍数になるように右端にブール文字'0'を仮定します。

例題

```
[P2044.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2044.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WBOOL          PIC X(1) VALUE B"111100".
000007 PROCEDURE         DIVISION.
000008 END PROGRAM      P2044.
```

P2044.cob 6: JMN2044I-S 英字, 英数字または英数字編集項目に指定したブール定数の長さは, 8の倍数でなければなりません。8の倍数になるように右端にブール文字'0'を仮定します。

詳細な説明

英字, 英数字または英数字編集項目の初期値としてブール定数が指定された場合, ブール文字('0'または'1')1個が1ビットの領域を占めるもの(ブール文字8個で1バイト)とみなして項目に設定するため, ブール文字の個数は8の倍数である必要があります。

8の倍数でない場合, 翻訳を続行するために, ブール定数の右側にブール文字'0'を補って8の倍数とみなしますが, このときオブジェクトファイルや実行形式ファイルは生成されません。

2.4.35 JMN2045I-S

日本語項目のVALUE句には, 日本語定数または表意定数のSPACE, HIGH-VALUE, LOW-VALUEを指定しなければなりません。表意定数のSPACEが指定されたものとみなします。

例題

```
[P2045.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2045.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WBOOL          PIC N(1) VALUE "あ".
000007 PROCEDURE         DIVISION.
000008 END PROGRAM      P2045.
```

P2045.cob 6: JMN2045I-S 日本語項目のVALUE句には, 日本語定数または表意定数のSPACE, HIGH-VALUE, LOW-VALUEを指定しなければなりません。表意定数のSPACEが指定されたものとみなします。

詳細な説明

日本語項目の初期値としてVALUE句に指定できる値は, 日本語定数または表意定数のSPACE, HIGH-VALUE, LOW-VALUEです。これら以外の値は指定できません。

翻訳を続行するために表意定数SPACEが指定されたものとみなして処理しますが, このときオブジェクトファイルや実行形式ファイルは生成されません。

2.4.36 JMN2047I-W

SYMBOLIC DESTINATION句に'@2@'を指定した表示ファイルに@1@句が指定されています。@1@句は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : DESTINATION-1, DESTINATION-2, DESTINATION-3, END KEY, FORMAT, GROUP, MESSAGE CLASS, MESSAGE CODE, MESSAGE MODE, MESSAGE OWNER, PROCESSING CONTROL, PROCESSING MODE, SELECTED FUNCTION, SESSION CONTROLまたはUNIT CONTROL.

@2@ : DSP, PRT, ACM, APL, CMDまたはTRM.

例題

```
[C2047.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C2047.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT AFILE ASSIGN TO GS-DD1
000007             SYMBOLIC DESTINATION IS "PRT"
000008             MESSAGE CODE IS W001.
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011     FD AFILE.
000012     01 A          PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014     01 W001        PIC X(4).
000015 PROCEDURE DIVISION.
```

C2047.cob 11: JMN2047I-W SYMBOLIC DESTINATION句に'PRT'を指定した表示ファイルにMESSAGE CODE句が指定されています。MESSAGE CODE句は、無効になります。

詳細な説明

表示ファイル機能のファイル管理記述項の各句は、あて先種別(SYMBOLIC DESTINATION句の指定)との組み合わせによって指定できるかできないかが決まります。指定できない句は無効になります。

2.4.37 JMN2048I-S

SYMBOLIC DESTINATION句に'@2@'を指定した表示ファイルには、@1@句は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : DESTINATION-1, DESTINATION-2, DESTINATION-3, END KEY, MESSAGE CLASS, MESSAGE CODE, MESSAGE MODE, MESSAGE OWNER, PROCESSING CONTROL, SELECTED FUNCTIONまたはSESSION CONTROL.

@2@ : DSP, PRT, ACM, APL, CMD, TRMまたはWST.

例題

```
[C2048.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C2048.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT AFILE ASSIGN TO GS-DD1
000007             SYMBOLIC DESTINATION IS "WST"
000008             MESSAGE CODE IS W001.
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
```

```

000011  FD AFIL.
000012  01 A      PIC X(80).
000013  WORKING-STORAGE SECTION.
000014  01 W001    PIC X(4).
000015  PROCEDURE DIVISION.

```

C2048.cob 11: JMN2048I-S SYMBOLIC DESTINATION句に'WST'を指定した表示ファイルには、MESSAGE CODE句は指定できません。

詳細な説明

表示ファイル機能のファイル管理記述項の各句は、あて先種別(SYMBOLIC DESTINATION句の指定)との組み合わせによって指定できるかできないかが決まります。指定できない句が記述されているときは、オブジェクトファイルや実行形式ファイルは生成されません。

2.4.38 JMN2049I-S

@1@句のデータ名'@2@'が一意ではありません。 @1@句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : PADDING CHARACTER, NOMINAL KEY, ACTUAL KEY, RELATIVE KEY, SYMBOLIC KEY, FORMAT, GROUP, PADDING CHARACTER, NOMINAL KEY, ACTUAL KEY, RELATIVE KEY, SYMBOLIC KEY, FORMAT, GROUP, DESTINATION-1, DESTINATION-2, DESTINATION-3, SELECTED FUNCTION, UNIT CONTROL, MESSAGE MODE, END KEY, SESSION CONTROL, PROCESSING CONTROL, MESSAGE CLASS, PASSWORD, MESSAGE OWNER, MESSAGE CODE, PROCESING TIME, MESSAGE SEQUENCE, DESTINATION CONTROL, FORMAT CONTROL, PROCESSING MODE, SYMBOLIC DESTINATION, FILE STATUS, APPLY REORG-CRITERIA, CONTROL AREA, TRACK-AREA, CURSORまたはCRT STATUS.

@2@ : エラーの原因となった利用者語。

例題

```

[P2049.cob]
000001  IDENTIFICATION DIVISION.
000002  PROGRAM-ID.      P2049.
000003  ENVIRONMENT     DIVISION.
000004  INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005  FILE-CONTROL.
000006      SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007      ORGANIZATION  IS SEQUENTIAL
000008      FILE STATUS    IS WFS1.
000009  DATA            DIVISION.
000010  FILE              SECTION.
000011  FD SQFILE1.
000012  01 SQF1REC.
000013      02          PIC X(80).
000014  WORKING-STORAGE SECTION.
000015  01 WFS1          PIC X(2).
000016  01 WFS1          PIC X(2).
000017  PROCEDURE      DIVISION.
000018  END PROGRAM      P2049.

```

P2049.cob 8: JMN2049I-S FILE STATUS句のデータ名'WFS1'が一意ではありません。 FILE STATUS句は無効になります。

2.4.39 JMN2050I-S

@1@句のデータ名'@2@'が未定義です。 @1@句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : PPADDING CHARACTER, NOMINAL KEY, ACTUAL KEY, RELATIVE KEY, SYMBOLIC KEY, FORMAT, GROUP, PADDING CHARACTER, NOMINAL KEY, ACTUAL KEY, RELATIVE KEY, SYMBOLIC KEY, FORMAT, GROUP, DESTINATION-1, DESTINATION-2, DESTINATION-3, SELECTED FUNCTION, UNIT CONTROL, MESSAGE

MODE, END KEY, SESSION CONTROL, PROCESSING CONTROL, MESSAGE CLASS, PASSWORD, MESSAGE OWNER, MESSAGE CODE, PROCESING TIME, MESSAGE SEQUENCE, DESTINATION CONTROL, FORMAT CONTROL, PROCESSING MODE, SYMBOLIC DESTINATION, FILE STATUS, APPLY REORG-CRITERIA, CONTROL AREA, TRACK-AREA, CURSORまたはCRT STATUS.

@2@ : エラーの原因となった利用者語.

例題

```
[P2050.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2050.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007         ORGANIZATION IS SEQUENTIAL
000008         FILE STATUS   IS WFS1.
000009 DATA              DIVISION.
000010 FILE                SECTION.
000011 FD SQFILE1.
000012 01 SQF1REC.
000013 02                  PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 PROCEDURE            DIVISION.
000016 END PROGRAM          P2050.
```

P2050.cob 8: JMN2050I-S FILE STATUS句のデータ名'WFS1'が未定義です. FILE STATUS句は無効になります.

2.4.40 JMN2051I-S

@1@句の名標'@2@'は、データ名でなければなりません. @1@句は無効になります.

埋め込みの説明

@1@ : PADDING CHARACTER, NOMINAL KEY, ACTUAL KEY, RELATIVE KEY, SYMBOLIC KEY, FORMAT, GROUP, PADDING CHARACTER, NOMINAL KEY, ACTUAL KEY, RELATIVE KEY, SYMBOLIC KEY, FORMAT, GROUP, DESTINATION-1, DESTINATION-2, DESTINATION-3, SELECTED FUNCTION, UNIT CONTROL, MESSAGE MODE, END KEY, SESSION CONTROL, PROCESSING CONTROL, MESSAGE CLASS, PASSWORD, MESSAGE OWNER, MESSAGE CODE, PROCESING TIME, MESSAGE SEQUENCE, DESTINATION CONTROL, FORMAT CONTROL, PROCESSING MODE, FILE STATUS, APPLY REORG-CRITERIA, CONTROL AREA, TRACK-AREA, CURSORまたはCRT STATUS.

@2@ : エラーの原因となった利用者語.

例題

```
[P2051.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2051.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007         ORGANIZATION IS SEQUENTIAL
000008         FILE STATUS   IS TFS.
000009 DATA              DIVISION.
000010 FILE                SECTION.
000011 FD SQFILE1.
000012 01 SQF1REC.
000013 02                  PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 TFS TYPEDEF PIC X(2).
```

```
000016 PROCEDURE      DIVISION.  
000017 END PROGRAM    P2051.
```

P2051.cob 8: JMN2051I-S FILE STATUS句の名標'TFS'は、データ名でなければなりません。FILE STATUS句は無効になります。

2.4.41 JMN2065I-W

順ファイル以外に、LABEL RECORD句を指定する場合、OMITTEDは指定できません。LABEL RECORD句は、無効になります。

例題

```
[P2065.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      P2065.  
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.  
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.  
000005 FILE-CONTROL.  
000006     SELECT IXFILE1 ASSIGN TO SYS001  
000007     ORGANIZATION   IS INDEXED  
000008     RECORD KEY     IS WRKY1.  
000009 DATA             DIVISION.  
000010 FILE              SECTION.  
000011 FD IXFILE1  
000012     LABEL RECORD OMITTED.  
000013 01 IXF1REC.  
000014 02 WRKY1         PIC X(2).  
000015 02               PIC X(80).  
000016 WORKING-STORAGE SECTION.  
000017 PROCEDURE        DIVISION.  
000018 END PROGRAM      P2065.
```

P2065.cob 12: JMN2065I-W 順ファイル以外に、LABEL RECORD句を指定する場合、OMITTEDは指定できません。LABEL RECORD句は、無効になります。

詳細な説明

LABEL RECORDS句は廃要素です。このコンパイラでは、LABEL RECORDS句は注釈とみなされます。

2.4.42 JMN2066I-S

データ名指定のLABEL RECORD句は、順ファイル、直接編成ファイルおよび相対編成ファイル以外に指定できません。

例題

```
[P2066.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      P2066.  
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.  
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.  
000005 FILE-CONTROL.  
000006     SELECT RLFILE1 ASSIGN TO SYS001  
000007     ORGANIZATION   IS RELATIVE.  
000008 DATA             DIVISION.  
000009 FILE              SECTION.  
000010 FD RLFILE1  
000011     LABEL RECORD LREC.  
000012 01 RLF1REC.  
000013 02               PIC X(80).  
000014 01 LREC.  
000015 02               PIC X(8).  
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
```

```
000017 PROCEDURE      DIVISION.  
000018 END PROGRAM    P2066.
```

P2066.cob 11: JMN2066I-S データ名指定のLABEL RECORD句は、順ファイル、直接編成ファイルおよび相対編成ファイル以外に指定できません。

詳細な説明

LABEL RECORDS句は廃要素です。このコンパイラでは、LABEL RECORDS句は注釈とみなされます。

2.4.43 JMN2067I-S

RECORD CONTAINS 0のファイルは、順ファイルでなければなりません。RECORD CONTAINS句は、無効になります。

例題

```
[P2067. cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      P2067.  
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.  
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.  
000005 FILE-CONTROL.  
000006     SELECT RLFILE1 ASSIGN TO SYS001  
000007     ORGANIZATION   IS RELATIVE.  
000008 I-O-CONTROL.  
000009 DATA             DIVISION.  
000010 FILE              SECTION.  
000011 FD RLFILE1  
000012     RECORD CONTAINS 0.  
000013 01 RLFIREC.  
000014 02                PIC X(80).  
000015 WORKING-STORAGE SECTION.  
000016 PROCEDURE        DIVISION.  
000017 END PROGRAM      P2067.
```

P2067.cob 12: JMN2067I-S RECORD CONTAINS 0のファイルは、順ファイルでなければなりません。RECORD CONTAINS句は、無効になります。

2.4.44 JMN2076I-S

CODE-SET句の名標が、符号系名として定義されていません。

例題

```
[P2076. cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      P2076.  
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.  
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.  
000005 FILE-CONTROL.  
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001  
000007     ORGANIZATION   IS SEQUENTIAL  
000008     FILE STATUS    IS WFS1.  
000009 I-O-CONTROL.  
000010 DATA             DIVISION.  
000011 FILE              SECTION.  
000012 FD SQFILE1  
000013     CODE-SET CD1.  
000014 01 SQFIREC.  
000015 02                PIC X(80).  
000016 WORKING-STORAGE SECTION.  
000017 01 WFS1           PIC X(2).
```

```
000018 PROCEDURE      DIVISION.  
000019 END PROGRAM     P2076.
```

P2076.cob 13: JMN2076I-S CODE-SET句の名標が、符号系名として定義されていません。

詳細な説明

このコンパイラでは、CODE-SET句は注釈とみなされます。

2.4.45 JMN2077I-S

CODE-SET句の符号系名は、STANDARD-1、STANDARD-2、NATIVEまたは機能名に対応していなければなりません。

例題

```
[P2077. cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      P2077.  
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.  
000004 CONFIGURATION    SECTION.  
000005 SPECIAL-NAMES.  
000006     ALPHABET CD1 IS "a" THRU "z".  
000007 INPUT-OUTPUT     SECTION.  
000008 FILE-CONTROL.  
000009     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001  
000010     ORGANIZATION   IS SEQUENTIAL  
000011     FILE STATUS    IS WFS1.  
000012 DATA            DIVISION.  
000013 FILE             SECTION.  
000014 FD SQFILE1  
000015     CODE-SET CD1.  
000016 01 SQF1REC.  
000017 02              PIC X(80).  
000018 WORKING-STORAGE SECTION.  
000019 01 WFS1         PIC X(2).  
000020 PROCEDURE        DIVISION.  
000021 END PROGRAM       P2077.
```

P2077.cob 15: JMN2077I-S CODE-SET句の符号系名は、STANDARD-1、STANDARD-2、NATIVEまたは機能名に対応していません。

詳細な説明

このコンパイラでは、CODE-SET句は注釈とみなされます。

2.4.46 JMN2079I-S

CODE-SET句は順ファイル以外に指定できません。

例題

```
[P2079. cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      P2079.  
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.  
000004 CONFIGURATION    SECTION.  
000005 SPECIAL-NAMES.  
000006     ALPHABET CD1 IS STANDARD-1.  
000007 INPUT-OUTPUT     SECTION.  
000008 FILE-CONTROL.  
000009     SELECT IXFILE1 ASSIGN TO CR-SYS001  
000010     ORGANIZATION   IS INDEXED  
000011     RECORD KEY     IS RKEY.
```

```

000012 DATA          DIVISION.
000013 FILE            SECTION.
000014 FD IXFILE1
000015     CODE-SET CD1.
000016 01 IXF1REC.
000017 02 RKEY         PIC X(8).
000018 02              PIC X(80).
000019 WORKING-STORAGE SECTION.
000020 PROCEDURE        DIVISION.
000021 END PROGRAM      P2079.

```

P2079.cob 15: JMN2079I-S CODE-SET句は順ファイル以外に指定できません。

詳細な説明

このコンパイラでは、CODE-SET句は注釈とみなされます。

2.4.47 JMN2080I-S

集団項目に従属する項目のCHARACTER TYPE句は、その集団項目のCHARACTER TYPE句と同じ指定でなければなりません。集団項目のCHARACTER TYPE句を有効とみなします。

例題

```

[P2080.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2080.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 GRP CHARACTER TYPE MODE-1.
000007 02              PIC N(10).
000008 02 CHARACTER TYPE MODE-2.
000009 03              PIC N(10).
000010 PROCEDURE        DIVISION.
000011 END PROGRAM      P2080.

```

P2080.cob 8: JMN2080I-S 集団項目に従属する項目のCHARACTER TYPE句は、その集団項目のCHARACTER TYPE句と同じ指定でなければなりません。集団項目のCHARACTER TYPE句を有効とみなします。

詳細な説明

集団項目およびその集団に従属するデータ項目の両方に、MODE-1、MODE-2、MODE-3あるいは呼び名を指定したCHARACTER TYPE句を記述するときは、両者のCHARACTER TYPE句の指定は同じでなければなりません。

翻訳を続行するために従属項目のCHARACTER TYPE句を有効とみなしますが、このときオブジェクトファイルや実行形式ファイルは生成されません。

2.4.48 JMN2081I-S

CHARACTER TYPE句に指定された呼び名が未定義、多重定義または機能名 HSC、F0202、H0202、F0102またはF0201に対応づけた呼び名として定義されていません。呼び名指定は無効になります。

例題

```

[P2081.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2081.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION     SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     YX-7P IS PH2.
000007 DATA            DIVISION.

```

```

000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 GRP.
000010 02 A1          PIC X(5).
000011 02 N1          PIC N(5)
000012          CHARACTER TYPE MODE-1 BY PH1.
000013 02 A2          PIC X(5).
000014 02 A2          PIC N(5)
000015          CHARACTER TYPE MODE-1 BY PH2.
000016 PROCEDURE      DIVISION.
000017 END PROGRAM    P2081.

```

P2081.cob 12: JMN2081I-S CHARACTER TYPE句に指定された呼び名が未定義、多重定義または機能名 HSC, F0202, H0202, F0102またはF0201に対応づけた呼び名として定義されていません。呼び名指定は無効になります。

P2081.cob 15: JMN2081I-S CHARACTER TYPE句に指定された呼び名が未定義、多重定義または機能名 HSC, F0202, H0202, F0102またはF0201に対応づけた呼び名として定義されていません。呼び名指定は無効になります。

詳細な説明

CHARACTER TYPE句に指定する呼び名は、環境部の特殊名段落で機能名と対応付けなくてはなりません。また、対応付ける機能名は、HSC, F0202, H0202, F0102またはF0201のいずれかでなければなりません。

2.4.49 JMN2082I-S

MODE-3を指定したCHARACTER TYPE句の呼び名は、F0202, F0102またはF0201に対応していなければなりません。

例題

```

[P2082.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2082.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     H0202 IS PH1
000007     F0102 IS PH2.
000008 DATA             DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 GRP.
000011 02 A1          PIC X(5).
000012 02 N1          PIC N(5)
000013     CHARACTER TYPE MODE-3 BY PH1.
000014 02 A2          PIC X(5).
000015 02 A2          PIC N(5)
000016     CHARACTER TYPE MODE-3 BY PH2.
000017 PROCEDURE      DIVISION.
000018 END PROGRAM    P2082.

```

P2082.cob 13: JMN2082I-S MODE-3を指定したCHARACTER TYPE句の呼び名は、F0202, F0102またはF0201に対応していなければなりません。

詳細な説明

MODE-3を指定したCHARACTER TYPE句の呼び名は、環境部の特殊名段落で機能名F0202, F0102またはF0201のいずれかに対応付けた呼び名でなければなりません。

2.4.50 JMN2083I-S

@1@句のファイル名'@2@'が未定義または多重定義です。

埋め込みの説明

@1@ : SAME, APPLYまたはMULTIPLE FILE TAPE.

@2@ : エラーの原因となった利用者語.

例題

```
[P2083. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2083.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION   IS SEQUENTIAL
000008     FILE STATUS     IS WFS1.
000009 I-O-CONTROL.
000010     SAME AREA SQFILE1 SQFILE2.
000011 DATA             DIVISION.
000012 FILE               SECTION.
000013 FD SQFILE1.
000014 01 SQF1REC.
000015 02                PIC X(80).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 01 WFS1           PIC X(2).
000018 PROCEDURE         DIVISION.
000019 END PROGRAM        P2083.
```

P2083.cob 10: JMN2083I-S SAME句のファイル名'SQFILE2'が未定義または多重定義です.

2.4.51 JMN2084I-S

@1@句の名標'@2@'はファイル名でなければなりません. その指定は, 無効になります.

埋め込みの説明

@1@ : SAME, MULTIPLE FILE TAPEまたはAPPLY.

@2@ : エラーの原因となった利用者語.

例題

```
[P2084. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2084.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION   IS SEQUENTIAL
000008     FILE STATUS     IS WFS1.
000009 I-O-CONTROL.
000010     SAME AREA SQFILE1 SQF1REC.
000011 DATA             DIVISION.
000012 FILE               SECTION.
000013 FD SQFILE1.
000014 01 SQF1REC.
000015 02                PIC X(80).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 01 WFS1           PIC X(2).
000018 PROCEDURE         DIVISION.
000019 END PROGRAM        P2084.
```

P2084.cob 10: JMN2084I-S SAME句の名標'SQF1REC'はファイル名でなければなりません. その指定は, 無効になります.

2.4.52 JMN2085I-S

ファイル名 '@2@' は、同一形式の @1@ 句に一度しか指定できません。このファイル名は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : SAME, MULTIPLE FILE TAPE または APPLY.

@2@ : エラーの原因となったファイル名.

例題

```
[P2085. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2085.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION   IS SEQUENTIAL
000008     FILE STATUS     IS WFS1.
000009 I-O-CONTROL.
000010     SAME AREA SQFILE1 SQFILE1.
000011 DATA              DIVISION.
000012 FILE                SECTION.
000013 FD SQFILE1.
000014 01 SQF1REC.
000015 02                  PIC X(80).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 01 WFS1              PIC X(2).
000018 PROCEDURE           DIVISION.
000019 END PROGRAM          P2085.
```

P2085.cob 10: JMN2085I-S ファイル名 'SQFILE1' は、同一形式の SAME 句に一度しか指定できません。このファイル名は、無効になります。

2.4.53 JMN2097I-W

条件変数が符号なし数字項目である条件名の VALUE 句に、符号付き数字定数は指定できません。数字定数の符号を無効にし、符号なし数字定数として扱います。

例題

```
[P2097. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2097.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA              DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WVAR             PIC 9(2).
000007 88 ZOK              VALUE 10.
000008 88 ZNG              VALUE -10.
000009 PROCEDURE         DIVISION.
000010 END PROGRAM          P2097.
```

P2097.cob 8: JMN2097I-W 条件変数が符号なし数字項目である条件名の VALUE 句に、符号付き数字定数は指定できません。数字定数の符号を無効にし、符号なし数字定数として扱います。

詳細な説明

条件変数が符号なし数字項目であるときは、条件名記述項(レベル番号が 88)の VALUE 句の値として符号なしの数字定数を記述しなければなりません。

符号付きの数字定数を指定した場合は符号は無効になり、符号なしの数字定数が条件変数の値になります。

2.4.54 JMN2098I-S

条件変数がブール項目である条件名のVALUE句には、ブール定数または表意定数ZEROを指定しなければなりません。表意定数ZEROが指定されたものとみなします。

例題

```
[P2098.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2098.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WVAR           PIC 1(2).
000007 88 ZOK1           VALUE B"00".
000008 88 ZOK2           VALUE ZERO.
000009 88 ZNG            VALUE 10.
000010 PROCEDURE        DIVISION.
000011 END PROGRAM      P2098.
```

P2098.cob 9: JMN2098I-S 条件変数がブール項目である条件名のVALUE句には、ブール定数または表意定数ZEROを指定しなければなりません。表意定数ZEROが指定されたものとみなします。

詳細な説明

条件変数がブール項目のとき、条件名記述項(レベル番号が88)のVALUE句に指定できる値は、ブール定数または表意定数ZEROです。これら以外の値は指定できません。

翻訳を続行するために表意定数ZEROが指定されたものとみなして処理しますが、このときオブジェクトファイルや実行形式ファイルは生成されません。

2.4.55 JMN2099I-S

VALUE句の数字定数で、条件変数のPICTUREの'P'に対応する文字位置は、ゼロでなければなりません。表意定数ZEROが指定されたものとみなします。

例題

```
[P2099.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2099.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WVAR           PIC 999PP.
000007 88 ZOK            VALUE 12300.
000008 88 ZNG            VALUE 123.
000009 PROCEDURE        DIVISION.
000010 END PROGRAM      P2099.
```

P2099.cob 8: JMN2099I-S VALUE句の数字定数で、条件変数のPICTUREの'P'に対応する文字位置は、ゼロでなければなりません。表意定数ZEROが指定されたものとみなします。

詳細な説明

PICTURE句の文字"P"は位取りを示す文字であり、PICTURE句の数字の桁位置の左端あるいは右端に続けて記述します。左端にあるときは、先頭の"P"の左側に小数点があるものとみなされます。一方、右端にあるときは、末尾の"P"の右側に小数点があるものとみなされます。

条件変数である数字項目のPICTURE句の文字列と、条件名記述項(レベル番号が88)のVALUE句で指定した数値とを、小数点の位置を合わせて対応付けたとき、PICTURE句の文字"P"の位置にある数字は"0"でなければなりません。

翻訳を続行するために、文字"P"の位置の値を0とみなして処理しますが、このときオブジェクトファイルや実行形式ファイルは生成されません。

2.4.56 JMN2100I-W

条件名のVALUE句の定数の長さは、対応する条件変数の項目長と等しいかまたは短くなければなりません。条件変数の項目長より長い定数部分を切り落します。

例題

```
[P2100.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2100.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 D1            PIC X(2).
000007 88 CD1          VALUE "ABC".
000008 PROCEDURE        DIVISION.
000009 END PROGRAM      P2100.
```

P2100.cob 7: JMN2100I-W 条件名のVALUE句の定数の長さは、対応する条件変数の項目長と等しいかまたは短くなければなりません。条件変数の項目長より長い定数部分を切り落します。

詳細な説明

条件名記述項(レベル番号が88)のVALUE句で指定した定数長が、条件変数の項目長よりも長くなっています。条件変数の長さ分の定数を条件名の値とみなし、余った定数は切り捨てます。

2.4.57 JMN2101I-S

条件変数が英字項目、英数字項目、英数字編集項目、数字編集項目または集団項目である条件名のVALUE句には、文字定数、表意定数または記号文字を指定しなければなりません。表意定数SPACEが指定されているものとみなします。

例題

```
[P2101.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2101.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 D1            PIC X(10).
000007 88 CD1          VALUE SC1.
000008 PROCEDURE        DIVISION.
000009 END PROGRAM      P2101.
```

P2101.cob 7: JMN2101I-S 条件変数が英字項目、英数字項目、英数字編集項目、数字編集項目または集団項目である条件名のVALUE句には、文字定数、表意定数または記号文字を指定しなければなりません。表意定数SPACEが指定されているものとみなします。

詳細な説明

この診断メッセージが出力される原因は、VALUE句に指定した項目が次のいずれかの場合です。

- 日本語定数
- 何らかの名標

2.4.58 JMN2102I-S

条件変数が英字項目である条件名のVALUE句には、表意定数ZEROは指定できません。表意定数SPACEが指定されているものとみなします。

例題

```
[P2102. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2102.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 D1             PIC X(10).
000007 88 CD1            VALUE ZERO.
000008 01 D2             PIC A(10).
000009 88 CD2            VALUE ZERO.
000010 PROCEDURE         DIVISION.
000011 END PROGRAM      P2102.
```

P2102.cob 9: JMN2102I-S 条件変数が英字項目である条件名のVALUE句には、表意定数ZEROは指定できません。表意定数SPACEが指定されているものとみなします。

詳細な説明

条件変数が英字項目のとき、条件名記述項(レベル番号が88)のVALUE句に表意定数ZEROを指定してはなりません。

翻訳を続行するために表意定数SPACEが指定されたものとみなしますが、このときオブジェクトファイルや実行形式ファイルは生成されません。

2.4.59 JMN2103I-S

条件変数が数字項目である条件名のVALUE句には、数字定数または表意定数ZEROを指定しなければなりません。表意定数ZEROが指定されたものとみなします。

例題

```
[P2103. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2103.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 D1             PIC 9(10).
000007 88 CD1            VALUE "A".
000008 PROCEDURE         DIVISION.
000009 END PROGRAM      P2103.
```

P2103.cob 7: JMN2103I-S 条件変数が数字項目である条件名のVALUE句には、数字定数または表意定数ZEROを指定しなければなりません。表意定数ZEROが指定されたものとみなします。

詳細な説明

条件変数が数字項目のとき、条件名記述項(レベル番号が88)のVALUE句に指定できる値は、数字定数または表意定数ZEROです。これら以外の値は指定できません。

翻訳を続行するために表意定数ZEROが指定されたものとみなして処理しますが、このときオブジェクトファイルや実行形式ファイルは生成されません。

2.4.60 JMN2104I-W

条件変数が英字、英数字、英数字編集または集団項目である条件名のVALUE句に、ブール定数は指定できません。1ブール文字を1ビットとみなして、左づめで格納します。

例題

```
[P2104. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2104.
```

```

000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 DATA          DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 D1          PIC X(1).
000007 88 CD1         VALUE "1".
000008 88 CD2         VALUE B"10101010".
000009 PROCEDURE      DIVISION.
000010 END PROGRAM    P2104.

```

P2104.cob 8: JMN2104I-W 条件変数が英字、英数字、英数字編集または集団項目である条件名のVALUE句に、ブール定数は指定できません。1ブール文字を1ビットとみなして、左づめで格納します。

詳細な説明

条件変数が英字、英数字、英数字編集または集団項目のとき、条件名記述項(レベル番号が88)のVALUE句でブール定数が指定されたならば、ブール文字("0"または"1")1個が1ビットの領域を占めるもの(ブール文字8個で1バイト)とみなして、条件名の値とします。このとき、条件変数の項目長に合わせて値は左詰めされ、残りの領域には空白文字が設定されます。

2.4.61 JMN2105I-W

条件名のVALUE句に指定したブール定数の長さは、8の倍数でなければなりません。8の倍数になるように右端に0を補います。

例題

```

[P2105.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     P2105.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 DATA          DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 D1          PIC X(1).
000007 88 CD1         VALUE "1".
000008 88 CD2         VALUE B"1".
000009 PROCEDURE      DIVISION.
000010 END PROGRAM    P2105.

```

P2105.cob 8: JMN2105I-W 条件名のVALUE句に指定したブール定数の長さは、8の倍数でなければなりません。8の倍数になるように右端に0を補います。

詳細な説明

条件変数が英字、英数字、英数字編集または集団項目のとき、条件名記述項(レベル番号が88)のVALUE句にブール定数が指定されたならば、ブール文字('0'または'1')1個が1ビットの領域を占めるもの(ブール文字8個で1バイト)とみなして条件名の値とするため、ブール文字の個数は8の倍数である必要があります。

8の倍数でない場合、ブール定数の右側にブール文字'0'を補って8の倍数とみなします。

2.4.62 JMN2106I-S

条件名のVALUE句のTHROUGHの後の値は、THROUGHの前の値より大きくなければなりません。

例題

```

[P2106.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     P2106.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 DATA          DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 D1          PIC X.
000007 88 CD1         VALUE "A" THRU "Z".
000008 88 CD2         VALUE "z" THRU "a".

```

```
000009 PROCEDURE      DIVISION.  
000010 END PROGRAM    P2106.
```

P2106.cob 8: JMN2106I-S 条件名のVALUE句のTHROUGHの後の値は、THROUGHの前の値より大きくなければなりません。

詳細な説明

条件名記述項(レベル番号が88)のVALUE句のTHRU(THROUGHとTHRUは同義語です)は、条件名の値の範囲を示します。「”THRUの前に記述した値”以上、かつ、”THRUの後ろに記述した値”以下」を値の範囲とみなすので、THRUの後ろに記述する値は、THRUの前に記述する値よりも大きくなければなりません。

2.4.63 JMN2107I-S

条件変数が日本語項目である条件名のVALUE句には、日本語定数、SPACE、HIGH-VALUEまたはLOW-VALUEを指定しなければなりません。表意定数SPACEが指定されたものとみなします。

例題

```
[P2107. cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      P2107.  
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.  
000004 DATA             DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 01 D1             PIC N(1).  
000007 88 CD1            VALUE N"あ".  
000008 88 CD2            VALUE "い".  
000009 PROCEDURE         DIVISION.  
000010 END PROGRAM      P2107.
```

P2107.cob 8: JMN2107I-S 条件変数が日本語項目である条件名のVALUE句には、日本語定数、SPACE、HIGH-VALUEまたはLOW-VALUEを指定しなければなりません。表意定数SPACEが指定されたものとみなします。

詳細な説明

条件変数が日本語項目のとき、条件名記述項(レベル番号が88)のVALUE句に指定できる値は、日本語定数または表意定数のSPACE、HIGH-VALUE、LOW-VALUEです。これら以外の値は指定できません。

翻訳を続行するために表意定数SPACEが指定されたものとみなして処理しますが、このときオブジェクトファイルや実行形式ファイルは生成されません。

2.4.64 JMN2108I-S

THROUGH指定の条件名のVALUE句には、ブール定数は指定できません。

例題

```
[P2108. cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      P2108.  
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.  
000004 DATA             DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 01 D1             PIC 1(4).  
000007 88 CD1            VALUE B"0000".  
000008 88 CD2            VALUE B"1111".  
000009 88 CD3            VALUE B"0000" THRU B"1111".  
000010 PROCEDURE         DIVISION.  
000011 END PROGRAM      P2108.
```

P2108.cob 9: JMN2108I-S THROUGH指定の条件名のVALUE句には、ブール定数は指定できません。

2.4.65 JMN2109I-S

SAME RECORD AREA句に指定されたファイルのファイル記述項に, RECORD CONTAINS 0は指定できません. RECORD句は, 無効になります.

例題

```
[P2109.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2109.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007     SELECT SQFILE2 ASSIGN TO SYS001.
000008 I-O-CONTROL.
000009     SAME RECORD AREA SQFILE1 SQFILE2.
000010 DATA              DIVISION.
000011 FILE                SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQF1REC.
000014 02                  PIC X(80).
000015 FD SQFILE2 RECORD CONTAINS 0.
000016 01 SQF2REC.
000017 02                  PIC X(80).
000018 WORKING-STORAGE SECTION.
000019 01 WFS1              PIC X(2).
000020 PROCEDURE            DIVISION.
000021 END PROGRAM        P2109.
```

P2109.cob 15: JMN2109I-S SAME RECORD AREA句に指定されたファイルのファイル記述項に, RECORD CONTAINS 0は指定できません. RECORD句は, 無効になります.

2.4.66 JMN2111I-W

RECORD CONTAINS 0は印刷ファイルに指定できません. RECORD句は無効になります.

例題

```
[P2111.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2111.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA              DIVISION.
000009 FILE                SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     RECORD CONTAINS 0.
000012 01 SQF1REC.
000013 02                  PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 WFS1              PIC X(2).
000016 PROCEDURE            DIVISION.
000017     WRITE SQF1REC AFTER ADVANCING 1.
000018 END PROGRAM        P2111.
```

P2111.cob 10: JMN2111I-W RECORD CONTAINS 0は印刷ファイルに指定できません. RECORD句は無効になります.

2.4.67 JMN2112I-S

RECORD句で指定した整数(最大文字位置数)はレコード長と等しいか大きくなければなりません。RECORD句は、無効になります。

例題

```
[P2112. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2112.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA             DIVISION.
000009 FILE              SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     RECORD CONTAINS 40.
000012 01 SQF1REC.
000013 02                PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 WFS1           PIC X(2).
000016 PROCEDURE         DIVISION.
000017 END PROGRAM       P2112.
```

P2112.cob 10: JMN2112I-S RECORD句で指定した整数(最大文字位置数)はレコード長と等しいか大きくなければなりません。RECORD句は、無効になります。

詳細な説明

RECORD句はレコードの大きさを規定するための句です。RECORD句でレコードの文字位置の個数の最大値を定めているとき、そのRECORD句を指定したファイルに関連するレコード記述項は、同句で規定した大きさを上回るものであってはなりません。

2.4.68 JMN2113I-S

RECORD句で指定した整数(最小文字位置数)は、レコード長と等しいか小さくなければなりません。RECORD句は、無効になります。

例題

```
[P2113. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2113.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA             DIVISION.
000009 FILE              SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     RECORD VARYING FROM 81 TO 160.
000012 01 SQF1REC.
000013 02                PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 WFS1           PIC X(2).
000016 PROCEDURE         DIVISION.
000017 END PROGRAM       P2113.
```

P2113.cob 10: JMN2113I-S RECORD句で指定した整数(最小文字位置数)は、レコード長と等しいか小さくなければなりません。RECORD句は、無効になります。

詳細な説明

RECORD句はレコードの大きさを規定するための句です。RECORD句でレコードの文字位置の個数の最小値を定めているとき、そのRECORD句を指定したファイルに関連するレコード記述項は、同句で規定した大きさを下回るものであってはなりません。

2.4.69 JMN2116I-S

RENAMES句に、レベル番号01, 77, 88または66として定義された項目は指定できません。

例題

```
[P2116.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2116.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 D1             PIC X(20).
000007 66 R1 RENAMES     D1.
000008 PROCEDURE         DIVISION.
000009 END PROGRAM       P2116.
```

P2116.cob 7: JMN2116I-S RENAMES句に、レベル番号01, 77, 88または66として定義された項目は指定できません。

詳細な説明

RENAMES句は、同じレコード記述項中の基本項目をまとめたものに名前を付けるための句です。複数のレコード記述項をまとめて再命名することはできません。条件名記述項(レベル番号が88)やRENAMES記述項(レベル番号が66)を再命名することもできません。

2.4.70 JMN2117I-S

RENAMES句に指定する二つのデータ名は、異なっていなくてはなりません。

例題

```
[P2117.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2117.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 GR1.
000007 02 GR2.
000008 03 E1             PIC X(5).
000009 66 R1 RENAMES     E1 THRU E1 OF GR2.
000010 PROCEDURE         DIVISION.
000011 END PROGRAM       P2117.
```

P2117.cob 9: JMN2117I-S RENAMES句に指定する二つのデータ名は、異なっていなくてはなりません。

詳細な説明

THROUGH(THRU)指定の前後に指定されたデータ名が同一のデータ記述項によって定義されたものである場合に、この診断メッセージが出力されます。データ名の修飾の有無の違いは関係ありません。

2.4.71 JMN2118I-S

RENAMES句に指定されたデータ名、またはTHROUGHに指定されたデータ名は、直前のレコード記述項に定義されていなければなりません。

例題

```
[P2118. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2118.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 GR1.
000007    02 E1          PIC X(5).
000008 01 GR2.
000009    02 E1          PIC X(5).
000010 66 R1 RENAMES E1 OF GR1.
000011 PROCEDURE        DIVISION.
000012 END PROGRAM      P2118.
```

P2118.cob 10: JMN2118I-S RENAMES句に指定されたデータ名、またはTHROUGHに指定されたデータ名は、直前のレコード記述項に定義されていなければなりません。

詳細な説明

RENAMES記述項は、再命名したい項目を含むレコード記述項の最後のデータ記述項の直後にまとめて書かなければなりません。

2.4.72 JMN2119I-S

RENAMES句のデータ名またはTHROUGHのデータ名は、OCCURS句を含む項目またはOCCURS句を含む項目に從属する項目であってはなりません。

例題

```
[P2119. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2119.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 GR1.
000007    02 OCC1          OCCURS 10.
000008    03 E1            PIC X(2).
000009 66 R1 RENAMES OCC1.
000010 PROCEDURE        DIVISION.
000011 END PROGRAM      P2119.
```

P2119.cob 9: JMN2119I-S RENAMES句のデータ名またはTHROUGHのデータ名は、OCCURS句を含む項目またはOCCURS句を含む項目に從属する項目であってはなりません。

2.4.73 JMN2120I-S

THROUGH指定のデータ名の領域の左端は、RENAMES句のデータ名の領域の左端より左にあってはなりません。

例題

```
[P2120. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2120.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 GRP.
000007    02 E1            PIC X(5).
000008    02 E2            PIC X(5).
000009 66 R1 RENAMES E2 THRU E1.
```

```
000010 PROCEDURE      DIVISION.  
000011 END PROGRAM    P2120.
```

P2120.cob 9: JMN2120I-S THROUGH指定のデータ名の領域の左端は、RENAMES句のデータ名の領域の左端より左にあってはなりません。

詳細な説明

THROUGH指定(THROUGHとTHRUとは同義語)が書かれると、RENAMES記述項は集団項目とみなされ、この集団項目の領域の範囲が再命名されます。このとき、RENAMES句の直後に書かれたデータ名がこの集団項目の最初の項目(再命名の開始位置)となり、一方、THROUGH指定の直後に書かれたデータ名がこの集団項目の最後の項目(再命名の終了位置)となります。開始位置の前に終了位置が出現してはなりません。

2.4.74 JMN2121I-S

RENAMES句に指定されたデータ名とTHROUGH指定のデータ名の間に、可変反復データ項目は指定できません。

例題

```
[P2121.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      P2121.  
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.  
000004 DATA             DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 01 GR1.  
000007 02 E1             PIC S9(4) BINARY.  
000008 02 E2             OCCURS 10 DEPENDING ON E1.  
000009 03               PIC X(2).  
000010 02 E3             PIC X(2).  
000011 66 R1 RENAMES E1 THRU E3.  
000012 PROCEDURE        DIVISION.  
000013 END PROGRAM      P2121.
```

P2121.cob 11: JMN2121I-S RENAMES句に指定されたデータ名とTHROUGH指定のデータ名の間に、可変反復データ項目は指定できません。

2.4.75 JMN2122I-S

THROUGH指定のRENAMES句に指定されたデータ名は、内部ブール項目であってはなりません。

例題

```
[P2122.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      P2122.  
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.  
000004 DATA             DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 01 GR1.  
000007 02 E1             PIC 1(3) BIT.  
000008 02 E2             PIC 1(3) BIT.  
000009 66 R1 RENAMES E1 THRU E2.  
000010 PROCEDURE        DIVISION.  
000011 END PROGRAM      P2122.
```

P2122.cob 9: JMN2122I-S THROUGH指定のRENAMES句に指定されたデータ名は、内部ブール項目であってはなりません。

2.4.76 JMN2123I-S

PICTURE句の文字列が上位集団項目に指定したUSAGE句の指定と矛盾しています。PICTURE句の文字列を有効とみなします。

例題

```
[P2123.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2123.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 GR1 USAGE BINARY.
000007    02 E1          PIC X(4).
000008 PROCEDURE         DIVISION.
000009 END PROGRAM       P2123.
```

P2123.cob 7: JMN2123I-S PICTURE句の文字列が上位集団項目に指定したUSAGE句の指定と矛盾しています。PICTURE句の文字列を有効とみなします。

詳細な説明

PICTURE句では基本項目の項類を、USAGE句ではデータ項目の用途を規定します。なおUSAGE句を集団項目に指定したとき、その指定は集団に従属する各項目にも適用されます。したがって、従属する基本項目に明にUSAGE句が書かれていなくても用途が指定されているとみなされます。各項類に対して指定できる用途はそれぞれ決められており、それ以外の組み合わせはできません。

2.4.77 JMN2124I-S

PICTURE句は、集団項目に指定できません。

例題

```
[P2124.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2124.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 GR1            PIC X(20).
000007    02 E1          PIC X(10).
000008    02 E2          PIC X(10).
000009 PROCEDURE         DIVISION.
000010 END PROGRAM       P2124.
```

P2124.cob 6: JMN2124I-S PICTURE句は、集団項目に指定できません。

詳細な説明

PICTURE句は基本項目の項類を規定するための句です。集団項目には指定できません。

2.4.78 JMN2126I-W

CHARACTER TYPE句は、日本語項目を含まない集団項目に対して意味を持ちません。

例題

```
[P2126.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2126.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 GR1 CHARACTER TYPE MODE-1.
000007    02 E1          PIC X(20).
000008 PROCEDURE         DIVISION.
000009 END PROGRAM       P2126.
```

P2126.cob 6: JMN2126I-W CHARACTER TYPE句は、日本語項目を含まない集団項目に対して意味を持ちません。

詳細な説明

MODE-1, MODE-2, MODE-3または呼び名を指定したCHARACTER TYPE句は、日本語項目あるいは日本語編集項目を印字するときの形式を指定するために記述します。日本語項目／日本語編集項目を含まない集団項目に対して同句を指定しても、作用する対象がないため意味がありません。

2.4.79 JMN2127I-S

CHARACTER TYPE句が指定された項目を含むレコード記述中に、OCCURS DEPENDING ON句を持つ項目を含むことはできません。

例題

```
[P2127. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2127.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 GR1 CHARACTER TYPE MODE-1.
000007 02 E1             PIC 9(4).
000008 02 E2             PIC N(10).
000009 02 E3             PIC X(1) OCCURS 10 DEPENDING ON E1.
000010 PROCEDURE        DIVISION.
000011 END PROGRAM      P2127.
```

P2127.cob 6: JMN2127I-S CHARACTER TYPE句が指定された項目を含むレコード記述中に、OCCURS DEPENDING ON句を持つ項目を含むことはできません。

2.4.80 JMN2128I-S

レベル番号01の項目の領域の大きさは、@1@バイト以下でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 2147483647.

例題

```
[P2128. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2128.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WVDA.
000007 02 WLENG          PIC S9(9) BINARY.
000008 02 WBUF           PIC X(2147483646).
000009 PROCEDURE        DIVISION.
000010 END PROGRAM      P2128.
```

P2128.cob 6: JMN2128I-S レベル番号01の項目の領域の大きさは、2147483647バイト以下でなければなりません。

詳細な説明

COBOL処理系の定量制限です。

2.4.81 JMN2131I-S

MULTIPLE FILE TAPE句のファイル名'@1@'は順ファイルでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったファイル名.

例題

```
[P2131. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2131.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT RLFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION   IS RELATIVE.
000008 I-O-CONTROL.
000009     MULTIPLE FILE TAPE CONTAINS RLFILE1.
000010 DATA              DIVISION.
000011 FILE                SECTION.
000012 FD RLFILE1.
000013 01 RLFILE1REC.
000014 02                  PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 PROCEDURE          DIVISION.
000017 END PROGRAM        P2131.
```

P2131.cob 9: JMN2131I-S MULTIPLE FILE TAPE句のファイル名'RLFILE1'は順ファイルでなければなりません.

詳細な説明

MULTIPLE FILE TAPE句は廃要素です. このコンパイラでは, MULTIPLE FILE TAPE句は注釈とみなされます.

2.4.82 JMN2132I-S

SAME AREA句のファイル名をSAME RECORD AREA句に指定した場合, 同じSAME AREA句のすべてのファイル名も, SAME RECORD AREA句に指定しなければなりません.

例題

```
[P2132. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2132.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007     SELECT SQFILE2 ASSIGN TO SYS002.
000008     SELECT SQFILE3 ASSIGN TO SYS003.
000009 I-O-CONTROL.
000010     SAME AREA SQFILE1 SQFILE2
000011     SAME RECORD AREA SQFILE1 SQFILE3.
000012 DATA              DIVISION.
000013 FILE                SECTION.
000014 FD SQFILE1.
000015 01 SQFILE1REC.
000016 02                  PIC X(80).
000017 FD SQFILE2.
000018 01 SQFILE2REC.
000019 02                  PIC X(80).
000020 FD SQFILE3.
000021 01 SQFILE3REC.
000022 02                  PIC X(80).
000023 WORKING-STORAGE SECTION.
000024 01 WFS1              PIC X(2).
```

```
000025 PROCEDURE      DIVISION.  
000026 END PROGRAM    P2132.
```

P2132.cob 10: JMN2132I-S SAME AREA句のファイル名をSAME RECORD AREA句に指定した場合、同じSAME AREA句のすべてのファイル名も、SAME RECORD AREA句に指定しなければなりません。

2.4.83 JMN2134I-S

BLANK WHEN ZERO句は、ゼロ抑制記号の星印を持つ数字編集項目に指定できません。BLANK WHEN ZERO句は、無効になります。

例題

```
[P2134. cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      P2134.  
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.  
000004 DATA             DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 01 WNE1           PIC ZZ99 BLANK WHEN ZERO. *> OK  
000007 01 WNE2           PIC **99 BLANK WHEN ZERO. *> ERROR  
000008 PROCEDURE         DIVISION.  
000009 END PROGRAM      P2134.
```

P2134.cob 7: JMN2134I-S BLANK WHEN ZERO句は、ゼロ抑制記号の星印を持つ数字編集項目に指定できません。BLANK WHEN ZERO句は、無効になります。

詳細な説明

BLANK WHEN ZERO句は、データ項目の値がゼロのとき値を空白に置き換える指定です。一方、PICTURE句のゼロ抑制文字の"*(星印)は、ゼロを"*で置き換える指定です。これらは両立しない指定なので同時に指定することはできません。

両方指定された場合は、ゼロ抑制文字の"*(星印)の方を有効とみなして処理しますが、このときオブジェクトファイルや実行形式ファイルは生成されません。

2.4.84 JMN2135I-S

BLANK WHEN ZERO句は、外部10進項目または数字編集項目に指定しなければなりません。

例題

```
[P2135. cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      P2135.  
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.  
000004 DATA             DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 01 WNE1           PIC 9(9) DISPLAY  
000007                   BLANK WHEN ZERO. *> OK  
000008 01 WNE2           PIC 9(9) BINARY  
000009                   BLANK WHEN ZERO. *> ERROR  
000010 PROCEDURE         DIVISION.  
000011 END PROGRAM      P2135.
```

P2135.cob 9: JMN2135I-S BLANK WHEN ZERO句は、外部10進項目または数字編集項目に指定しなければなりません。

詳細な説明

BLANK WHEN ZERO句は、データ項目の値がゼロのとき値を空白に置き換える指定です。用途が表示用でない数字項目には指定できません。

なお、BLANK WHEN ZERO句を指定した場合、その数字項目の項類は数字編集であるとみなされます。

2.4.85 JMN2136I-W

順ファイル(編成VSまたはAS), 相対ファイルまたは索引ファイルに対してRESERVE句を指定した場合, RESERVE整数指定でなければなりません. RESERVE句は, 無効になります.

例題

```
[P2136.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2136.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO VS-SYS001
000007     RESERVE NO AREA.
000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA             DIVISION.
000010 FILE              SECTION.
000011 FD SQFILE1.
000012 01 SQF1REC.
000013 02                PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 PROCEDURE         DIVISION.
000016 END PROGRAM       P2136.
```

P2136.cob 7: JMN2136I-W 順ファイル(編成VSまたはAS), 相対ファイルまたは索引ファイルに対してRESERVE句を指定した場合, RESERVE整数指定でなければなりません. RESERVE句は, 無効になります.

詳細な説明

RESERVE AREA句は, OSIV系システムの固有機能です.

2.4.86 JMN2138I-W

RESERVE句に指定した整数は, 1~255でなければなりません. RESERVE句は無効となります.

例題

```
[P2138.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2138.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     RESERVE 256 AREA.
000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA             DIVISION.
000010 FILE              SECTION.
000011 FD SQFILE1.
000012 01 SQF1REC.
000013 02                PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 PROCEDURE         DIVISION.
000016 END PROGRAM       P2138.
```

P2138.cob 7: JMN2138I-W RESERVE句に指定した整数は, 1~255でなければなりません. RESERVE句は無効となります.

詳細な説明

RESERVE AREA句は, OSIV系システムの固有機能です.

2.4.87 JMN2143I-S

PADDING CHARACTER句のデータ名は、ファイル節および報告書節で定義してはなりません。

例題

```
[P2143. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2143.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007     SELECT SQFILE2 ASSIGN TO SYS001
000008         PADDING CHARACTER IS WPD.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA              DIVISION.
000011 FILE                SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQF1REC.
000014 02 WPD              PIC X(1).
000015 02                  PIC X(80).
000016 FD SQFILE2.
000017 01 SQF2REC.
000018 02                  PIC X(80).
000019 WORKING-STORAGE SECTION.
000020 PROCEDURE            DIVISION.
000021 END PROGRAM          P2143.
```

P2143.cob 8: JMN2143I-S PADDING CHARACTER句のデータ名は、ファイル節および報告書節で定義してはなりません。

詳細な説明

このコンパイラでは、PADDING CHARACTER句は注釈とみなされます。

2.4.88 JMN2144I-S

PADDING CHARACTER句のデータ名は、英数字または集団項目でなければなりません。

例題

```
[P2144. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2144.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007         PADDING CHARACTER IS WPD.
000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA              DIVISION.
000010 FILE                SECTION.
000011 FD SQFILE1.
000012 01 SQF1REC.
000013 02                  PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 WPD              PIC 9(1).
000016 PROCEDURE            DIVISION.
000017 END PROGRAM          P2144.
```

P2144.cob 7: JMN2144I-S PADDING CHARACTER句のデータ名は、英数字または集団項目でなければなりません。

詳細な説明

このコンパイラでは、PADDING CHARACTER句は注釈とみなされます。

2.4.89 JMN2145I-S

PADDING CHARACTER句のデータ名の項目長は、1バイトでなければなりません。

例題

```
[P2145.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2145.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007         PADDING CHARACTER IS WPD.
000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA              DIVISION.
000010 FILE                SECTION.
000011 FD SQFILE1.
000012 01 SQF1REC.
000013 02                  PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 WPD                PIC X(2).
000016 PROCEDURE            DIVISION.
000017 END PROGRAM          P2145.
```

P2145.cob 7: JMN2145I-S PADDING CHARACTER句のデータ名の項目長は、1バイトでなければなりません。

詳細な説明

このコンパイラでは、PADDING CHARACTER句は注釈とみなされます。

2.4.90 JMN2149I-S

@1@句のデータ名は、固定長項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : TRACK-AREA, CONTROL AREA, ALTERNATE RECORD KEY, RECORD KEY, NOMINAL KEYまたはAPPLY REOROG CRITEREA.

例題

```
[P2149.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2149.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IXFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007         ORGANIZATION IS INDEXED
000008         RECORD KEY   IS WRKY1.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA              DIVISION.
000011 FILE                SECTION.
000012 FD IXFILE1.
000013 01 IXF1REC.
000014 02 WDPND           PIC S9(4).
000015 02 WRKY1.
000016 03                PIC X(1)
000017                OCCURS 10 DEPENDING ON WDPND.
```

```

000018 02          PIC X(80).
000019 WORKING-STORAGE SECTION.
000020 PROCEDURE    DIVISION.
000021 END PROGRAM  P2149.

```

P2149.cob 8: JMN2149I-S RECORD KEY句のデータ名は、固定長項目でなければなりません。

詳細な説明

句に指定された項目は、可変反復データ項目(OCCURS句にDEPENDING指定を指定したデータ項目)であってはなりません。

2.4.91 JMN2158I-S

@1@句のデータ名は、当該するファイルのレコード中に定義されていなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : RECORD KEYまたはALTERNATE RECORD KEY.

例題

```

[P2158.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2158.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IXFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION   IS INDEXED
000008     RECORD KEY      IS WRKY1
000009     FILE STATUS     IS WFS1.
000010 I-O-CONTROL.
000011 DATA            DIVISION.
000012 FILE             SECTION.
000013 FD IXFILE1.
000014 01 IXFIREC.
000015 02              PIC X(80).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 01 WRKY1         PIC X(2).
000018 01 WFS1         PIC X(2).
000019 PROCEDURE       DIVISION.
000020 END PROGRAM        P2158.

```

P2158.cob 8: JMN2158I-S RECORD KEY句のデータ名は、当該するファイルのレコード中に定義されていなければなりません。

詳細な説明

レコードキー(RECORD KEY句で指定する主レコードキーと、ALTERNATE RECORD KEY句で指定する副レコードキーの総称)は、これらのキーを指定したファイル名に関連するレコード記述項(レベル指示語FDの下位に従属するレコード記述項)で定義しなければなりません。

2.4.92 JMN2159I-S

@1@句のデータ名の項目長は、@2@バイトを超えてはなりません。

埋め込みの説明

@1@ : RECORD KEY, ALTERNATE RECORD KEY, NOMINAL KEY, PROCESSING CONTROLまたはMESSAGE CODE.

@2@ : 句に指定可能なデータ項目長の上限.

例題

```

[P2159.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.

```

```

000002 PROGRAM-ID.      P2159.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT PRFILE1 ASSIGN TO GS-SYS001
000007     SYMBOLIC DESTINATION IS "DSP"
000008     PROCESSING CONTROL WPCT.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA             DIVISION.
000011 FILE               SECTION.
000012 FD PRFILE1.
000013 01 PRF1REC.
000014 02                PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 WPCT            PIC X(129).
000017 PROCEDURE           DIVISION.
000018 END PROGRAM         P2159.

```

P2159.cob 8: JMN2159I-S PROCESSING CONTROL句のデータ名の項目長は、128バイトを超えてはなりません。

2.4.93 JMN2163I-W

@1@句のデータ名は、8けたの2進項目でなければなりません。8けたの2進項目が指定されたものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : RELATIVE KEY.

例題

```

[P2163.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2163.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT RLFILE1 ASSIGN TO R-SYS001
000007     RELATIVE KEY     IS RKEY.
000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA             DIVISION.
000010 FILE               SECTION.
000011 FD RLFILE1.
000012 01 RLF1REC.
000013 02                PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 RKEY            PIC X(8).
000016 PROCEDURE           DIVISION.
000017 END PROGRAM         P2163.

```

P2163.cob 7: JMN2163I-W RELATIVE KEY句のデータ名は、8けたの2進項目でなければなりません。8けたの2進項目が指定されたものとみなします。

詳細な説明

ACCESS MODE句のRELATIVE KEYで指定したデータ項目は、プログラムと入出力管理システムの間で相対レコード番号を連絡するために使用されるので、所定の属性である必要があります。

2.4.94 JMN2164I-S

英字項目のVALUE句には、表意定数ZEROは指定できません。表意定数のSPACEが指定されたものとみなします。

例題

```
[P2164. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2164.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WAX            PIC A(8) VALUE ZERO.
000007 PROCEDURE         DIVISION.
000008 END PROGRAM       P2164.
```

P2164.cob 6: JMN2164I-S 英字項目のVALUE句には、表意定数ZEROは指定できません。表意定数のSPACEが指定されたものとみなします。

詳細な説明

英字項目の初期値としてVALUE句に表意定数ZEROを指定してはなりません。

翻訳を続行するために表意定数SPACEが指定されたものとみなしますが、このときオブジェクトファイルや実行形式ファイルは生成されません。

2.4.95 JMN2165I-S

[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

RELATIVE KEY指定のデータ名は、作業場所節、連絡節またはファイル節中に定義されていなければなりません。

[Linux64]

RELATIVE KEY指定のデータ名は、作業場所節、局所記憶節、連絡節またはファイル節中に定義されていなければなりません。

例題

```
[P2165. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2165.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT RLFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007         ORGANIZATION IS RELATIVE
000008         RELATIVE KEY IS RKEY.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA             DIVISION.
000011 BASED-STORAGE SECTION.
000012 01 RKEY           PIC 9(2).
000013 FILE              SECTION.
000014 FD RLFILE1.
000015 01 RLF1REC.
000016     02            PIC X(80).
000017 PROCEDURE         DIVISION.
000018 END PROGRAM       P2165.
```

- [Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

P2165.cob 8: JMN2165I-S RELATIVE KEY指定のデータ名は、作業場所節、連絡節またはファイル節中に定義されていなければなりません。

- [Linux64]

P2165.cob 8: JMN2165I-S RELATIVE KEY指定のデータ名は、作業場所節、局所記憶節、連絡節またはファイル節中に定義されていなければなりません。

2.4.96 JMN2166I-S

RELATIVE KEY指定のデータ名は、そのファイルのレコード中に定義してはなりません。

例題

```
[P2166.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2166.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT RLFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION    IS RELATIVE
000008     RELATIVE KEY     IS RKEY.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA              DIVISION.
000011 FILE                SECTION.
000012 FD RLFILE1.
000013 01 RLF1REC.
000014 02 RKEY            PIC 9(2).
000015 02                  PIC X(80).
000016 PROCEDURE          DIVISION.
000017 END PROGRAM        P2166.
```

P2166.cob 8: JMN2166I-S RELATIVE KEY指定のデータ名は、そのファイルのレコード中に定義してはなりません。

詳細な説明

ACCESS MODE句のRELATIVE KEYで指定したデータ項目は、このRELATIVE KEYの指定に関連付けられたファイルのレコード記述項内にあってはなりません。別のファイルのレコード記述項内のデータ項目であれば、RELATIVE KEYに指定することができます。

2.4.97 JMN2167I-S

RELATIVE KEY指定のデータ名は、文字Pを含まない符号なし整数項目でなければなりません。

例題

```
[P2167.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2167.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT RLFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION    IS RELATIVE
000008     RELATIVE KEY     IS RKEY.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA              DIVISION.
000011 FILE                SECTION.
000012 FD RLFILE1.
000013 01 RLF1REC.
000014 02                  PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 RKEY            PIC P9(2).
000017 PROCEDURE          DIVISION.
000018 END PROGRAM        P2167.
```

P2167.cob 8: JMN2167I-S RELATIVE KEY指定のデータ名は、文字Pを含まない符号なし整数項目でなければなりません。

詳細な説明

ACCESS MODE句のRELATIVE KEYで指定したデータ項目は、プログラムと入出力管理システムの間で相対レコード番号を連絡するために使用されるので、所定の属性である必要があります。

2.4.98 JMN2173I-S

APPLY SAVED-AREA句のデータ名 '@1@' は、作業場所節に定義されていなければなりません。データ名は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2173. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2173.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION   IS SEQUENTIAL.
000008 I-O-CONTROL.
000009     APPLY SAVED-AREA TO WSVAR ON SQFILE1.
000010 DATA              DIVISION.
000011 FILE                SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQF1REC.
000014 02                  PIC X(80).
000015 LINKAGE            SECTION.
000016 01 WSVAR           PIC X(80).
000017 PROCEDURE          DIVISION.
000018 END PROGRAM        P2173.
```

P2173.cob 9: JMN2173I-S APPLY SAVED-AREA句のデータ名 'WSVAR' は、作業場所節に定義されていなければなりません。データ名は、無効になります。

2.4.99 JMN2174I-S

APPLY SAVED-AREA句のデータ名 '@1@' は、レベル番号01または77で定義されていなければなりません。データ名は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2174. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2174.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION   IS SEQUENTIAL.
000008 I-O-CONTROL.
000009     APPLY SAVED-AREA TO WSVAR ON SQFILE1.
000010 DATA              DIVISION.
000011 FILE                SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQF1REC.
000014 02                  PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01.
000017 02 WSVAR           PIC X(80).
```

```
000018 PROCEDURE      DIVISION.  
000019 END PROGRAM    P2174.
```

P2174.cob 9: JMN2174I-S APPLY SAVED-AREA句のデータ名'WSVAR'は、レベル番号01または77で定義されていなければなりません。データ名は、無効になります。

2.4.100 JMN2175I-S

APPLY SAVED-AREA句のデータ名 '@1@' は、固定長項目でなければなりません。データ名は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2175.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      P2175.  
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.  
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.  
000005 FILE-CONTROL.  
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001  
000007     ORGANIZATION   IS SEQUENTIAL.  
000008 I-O-CONTROL.  
000009     APPLY SAVED-AREA TO WSVAR ON SQFILE1.  
000010 DATA             DIVISION.  
000011 FILE              SECTION.  
000012 FD SQFILE1.  
000013 01 SQFIREC.  
000014 02                PIC X(80).  
000015 LINKAGE           SECTION.  
000016 01 WSVAR.  
000017 02 WSIZE          PIC S9(4) BINARY.  
000018 02                OCCURS 80 DEPENDING ON WSIZE.  
000019 03                PIC X.  
000020 PROCEDURE        DIVISION.  
000021 END PROGRAM      P2175.
```

P2175.cob 9: JMN2175I-S APPLY SAVED-AREA句のデータ名'WSVAR'は、固定長項目でなければなりません。データ名は、無効になります。

2.4.101 JMN2176I-S

APPLY SAVED-AREA句のデータ名 '@1@' の項目長は、32763/バイト以下でなければなりません。データ名は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2176.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      P2176.  
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.  
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.  
000005 FILE-CONTROL.  
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001  
000007     ORGANIZATION   IS SEQUENTIAL.  
000008 I-O-CONTROL.  
000009     APPLY SAVED-AREA TO WSVAR ON SQFILE1.
```

```

000010 DATA          DIVISION.
000011 FILE            SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQF1REC.
000014 02              PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 WSVAR        PIC X(32764).
000017 PROCEDURE       DIVISION.
000018 END PROGRAM     P2176.

```

P2176.cob 9: JMN2176I-S APPLY SAVED-AREA句のデータ名'WSVAR'の項目長は、32763バイト以下でなければなりません。データ名は、無効になります。

2.4.102 JMN2177I-S

[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

RECORD句のデータ名は、作業場所節または連絡節に定義されていなければなりません。データ名は、無効になります。

[Linux64]

RECORD句のデータ名は、作業場所節、局所記憶節または連絡節に定義されていなければなりません。データ名は、無効になります。

例題

```

[P2177.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2177.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION  IS SEQUENTIAL.
000008 DATA           DIVISION.
000009 FILE            SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     RECORD VARYING IN SIZE
000012     DEPENDING ON WRECL.
000013 01 SQF1REC.
000014 02              PIC X(80).
000015 02 WRECL        PIC 9(4).
000016 PROCEDURE       DIVISION.
000017 END PROGRAM     P2177.

```

- **[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]**

P2177.cob 12: JMN2177I-S RECORD句のデータ名は、作業場所節または連絡節に定義されていなければなりません。データ名は、無効になります。

- **[Linux64]**

P2177.cob 12: JMN2177I-S RECORD句のデータ名は、作業場所節、局所記憶節または連絡節に定義されていなければなりません。データ名は、無効になります。

詳細な説明

RECORD句のDEPENDING ONで指定したデータ項目に対して、プログラムだけでなくCOBOL処理系も実行時にレコードの文字位置の個数を設定します。このため、所定の属性である必要があります。

2.4.103 JMN2178I-S

RECORD句のデータ名は、符号なし整数項目でなければなりません。データ名は、無効になります。

例題

```
[P2178.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2178.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION   IS SEQUENTIAL.
000008 DATA              DIVISION.
000009 FILE                SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     RECORD VARYING IN SIZE
000012     DEPENDING ON WRECL.
000013 01 SQF1REC.
000014 02              PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 WRECL         PIC X(2).
000017 PROCEDURE         DIVISION.
000018 END PROGRAM       P2178.
```

P2178.cob 12: JMN2178I-S RECORD句のデータ名は、符号なし整数項目でなければなりません。データ名は、無効になります。

詳細な説明

RECORD句のDEPENDING ONで指定したデータ項目に対して、プログラムだけでなくCOBOL処理系も実行時にレコードの文字位置の個数を設定します。このため、所定の属性である必要があります。

2.4.104 JMN2181I-S

@1@句のデータ名'@2@'は、一意でなければなりません。データ名は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : APPLY, LABEL RECORD, RECORD KEY, ALTERNATE RECORD KEY, FORMATTED RECORDまたはCONTROL RECORD.

@2@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2181.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2181.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA              DIVISION.
000009 FILE                SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     LABEL RECORD RECLB.
000012 01 SQF1REC.
000013 02              PIC X(80).
000014 01 RECLB         PIC X(80).
000015 01 RECLB         PIC X(80).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 PROCEDURE         DIVISION.
000018 END PROGRAM       P2181.
```

P2181.cob 11: JMN2181I-S LABEL RECORD句のデータ名'RECLB'は、一意でなければなりません。データ名は、無効になります。

2.4.105 JMN2182I-S

@1@句のデータ名'@2@'が未定義です。データ名は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : APPLY, LABEL RECORD, RECORD KEY, ALTERNATE RECORD KEY, FORMATTED RECORDまたはCONTROL RECORD.

@2@ : エラーの原因となったデータ名.

例題

```
[P2182. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2182.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA             DIVISION.
000009 FILE              SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     LABEL RECORD RECLB.
000012 01 SQFIREC.
000013 02                PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 PROCEDURE          DIVISION.
000016 END PROGRAM        P2182.
```

P2182.cob 11: JMN2182I-S LABEL RECORD句のデータ名'RECLB'が未定義です。データ名は、無効になります。

2.4.106 JMN2183I-S

@1@句の'@2@'が、データ名として定義されていません。データ名は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : APPLY, LABEL RECORD, RECORD KEY, ALTERNATE RECORD KEY, FORMATTED RECORDまたはCONTROL RECORD.

@2@ : エラーの原因となった利用者語.

例題

```
[P2183. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2183.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA             DIVISION.
000009 FILE              SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     LABEL RECORD SQFILE1.
000012 01 SQFIREC.
000013 02                PIC X(80).
000014 01 RECLB          PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 PROCEDURE          DIVISION.
000017 END PROGRAM        P2183.
```

P2183.cob 11: JMN2183I-S LABEL RECORD句の'SQFILE1'が、データ名として定義されていません。データ名は、無効になります。

2.4.107 JMN2188I-S

LINAGE句のデータ名 '@1@' は、報告書節以外に定義されていなければなりません。データ名は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2188. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2188.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE  ASSIGN TO SYS001.
000007     SELECT REPFIL  ASSIGN TO SYS002.
000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA              DIVISION.
000010 FILE                SECTION.
000011 FD SQFILE
000012     LINAGE WPAGE.
000013 01 SQFIREC.
000014 02                PIC X(80).
000015 FD REPFIL
000016     REPORT IS REP1.
000017 WORKING-STORAGE SECTION.
000018 REPORT              SECTION.
000019 RD REP1 PAGE 66
000020     FIRST DETAIL 10.
000021 01                TYPE PH.
000022 02                LINE 7.
000023 03 WPAGE          COLUMN 60 PIC 9(4) VALUE 12.
000024 PROCEDURE          DIVISION.
000025 END PROGRAM         P2188.
```

P2188.cob 12: JMN2188I-S LINAGE句のデータ名 'WPAGE' は、報告書節以外に定義されていなければなりません。データ名は、無効になります。

2.4.108 JMN2189I-S

LINAGE句のデータ名 '@1@' は、符号なし整数項目でなければなりません。データ名は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2189. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2189.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE  ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA              DIVISION.
000009 FILE                SECTION.
000010 FD SQFILE
```

```

000011      LINAGE WPAGE.
000012 01 SQFIREC.
000013 02      PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 WPAGE      PIC X.
000016 PROCEDURE      DIVISION.
000017 END PROGRAM      P2189.

```

P2189.cob 11: JMN2189I-S LINAGE句のデータ名'WPAGE'は、符号なし整数項目でなければなりません。データ名は、無効になります。

詳細な説明

LINAGE句では、論理ページの各部分を構成する行数を定義します。COBOL処理系が実行時に論理ページの構成を決定するので、これらの指定に使用するデータ項目は所定の属性である必要があります。

2.4.109 JMN2190I-S

[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

名前付き定数は、データ部のファイル節、作業場所節、連絡節、定数節、基底場所節、画面節および手続き部だけで参照できます。

[Linux64]

名前付き定数は、データ部のファイル節、作業場所節、局所記憶節、連絡節、定数節、基底場所節、画面節および手続き部だけで参照できます。

例題

```

[P2190.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2190.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA              DIVISION.
000008 FILE                SECTION.
000009 FD  FILE1
000010     REPORT R1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 DATAN  PIC X(80).
000013 78 PIC1   VALUE 80.
000014 REPORT    SECTION.
000015 RD  R1 CONTROL FINAL
000016     PAGE LIMITS ARE 66 LINES.
000017 01 DE1 TYPE IS DETAIL.
000018 02     LINE NUMBER PLUS 3.
000019 03 DATA1 COLUMN 10 PIC X(PIC1)
000020     VALUE "DETAIL REPORT GROUP-1".
000021 PROCEDURE      DIVISION.
000022 END PROGRAM      P2190.

```

- **[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]**

P2190.cob 19: JMN2190I-S 名前付き定数は、データ部のファイル節、作業場所節、連絡節、定数節、基底場所節、画面節および手続き部だけで参照できます。

- **[Linux64]**

P2190.cob 19: JMN2190I-S 名前付き定数は、データ部のファイル節、作業場所節、局所記憶節、連絡節、定数節、基底場所節、画面節および手続き部だけで参照できます。

詳細な説明

見出し部、環境部およびデータ部の報告書節では名前付き定数は参照できません。

2.4.110 JMN2191I-S

OCCURS DEPENDING ON句のデータ名は、報告書節以外に定義されていなければなりません。

例題

```
[P2191.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2191.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS002.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA             DIVISION.
000009 FILE              SECTION.
000010 FD REPFIL
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 WGRP.
000014 02 WOCC          OCCURS 10 DEPENDING ON WDPND.
000015 03              PIC X.
000016 REPORT          SECTION.
000017 RD REP1 PAGE 66
000018     FIRST DETAIL 10.
000019 01              TYPE PH.
000020 02              LINE 7.
000021 03 WDPND          COLUMN 60 PIC 9(4) VALUE 12.
000022 PROCEDURE        DIVISION.
000023 END PROGRAM      P2191.
```

P2191.cob 14: JMN2191I-S OCCURS DEPENDING ON句のデータ名は、報告書節以外に定義されていなければなりません。

2.4.111 JMN2192I-S

OCCURS DEPENDING ON句が外部属性を持つレコード中に指定されている場合、その目的語も同じデータ部中の外部属性を持つ項目でなければなりません。

例題

```
[P2192.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2192.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP EXTERNAL.
000007 02 WOCC          OCCURS 10 DEPENDING ON WDPND.
000008 03              PIC X.
000009 01 WDPND          PIC S9(9) BINARY.
000010 PROCEDURE        DIVISION.
000011 END PROGRAM      P2192.
```

P2192.cob 7: JMN2192I-S OCCURS DEPENDING ON句が外部属性を持つレコード中に指定されている場合、その目的語も同じデータ部中の外部属性を持つ項目でなければなりません。

2.4.112 JMN2193I-S

OCCURS DEPENDING ON句が大域属性を持つレコード中に指定されている場合、その目的語も同じデータ部中の大域属性を持つ項目でなければなりません。

例題

```
[P2193.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2193.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP GLOBAL.
000007 02 WOCC          OCCURS 10 DEPENDING ON WDPND.
000008 03              PIC X.
000009 01 WDPND         PIC S9(9) BINARY.
000010 PROCEDURE        DIVISION.
000011 END PROGRAM      P2193.
```

P2193.cob 7: JMN2193I-S OCCURS DEPENDING ON句が大域属性を持つレコード中に指定されている場合、その目的語も同じデータ部中の大域属性を持つ項目でなければなりません。

2.4.113 JMN2194I-S

KEY IS指定に記述された最初のデータ名 '@1@'は、そのKEY IS指定を持つ項目またはそれに従属する項目でなければなりません。データ名は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2194.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2194.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WOCC          OCCURS 10 ASCENDING KEY IS WKEY1 WKEY2.
000008 03 WKEY2         PIC X(1).
000009 02 WKEY1         PIC X(1).
000010 PROCEDURE        DIVISION.
000011 END PROGRAM      P2194.
```

P2194.cob 7: JMN2194I-S KEY IS指定に記述された最初のデータ名 'WKEY1'は、そのKEY IS指定を持つ項目またはそれに従属する項目でなければなりません。データ名は、無効になります。

詳細な説明

KEY IS指定で指定するデータ名は、OCCURS句を書いたデータ記述項自身のデータ名か、またはそのデータ記述項に従属するデータ記述項のデータ名でなければなりません。

ただし、OCCURS句を書いたデータ記述項自身のデータ名をKEY IS指定で指定するならば、KEY IS指定に指定できるのはそのデータ名1個だけです。

2.4.114 JMN2195I-S

KEY IS指定に記述された最初のデータ名を除くデータ名 '@1@'は、そのKEY IS指定を持つ項目に従属する項目でなければなりません。データ名は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2195.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2195.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007    02 WKEY2       OCCURS 10 ASCENDING KEY IS WKEY1 WKEY2.
000008    03 WKEY1       PIC X(1).
000009 PROCEDURE         DIVISION.
000010 END PROGRAM      P2195.
```

P2195.cob 7: JMN2195I-S KEY IS指定に記述された最初のデータ名を除くデータ名'WKEY2'は、そのKEY IS指定を持つ項目に従属する項目でなければなりません。データ名は、無効になります。

詳細な説明

KEY IS指定で指定するデータ名は、OCCURS句を書いたデータ記述項自身のデータ名か、またはそのデータ記述項に従属するデータ記述項のデータ名でなければなりません。

ただし、OCCURS句を書いたデータ記述項自身のデータ名をKEY IS指定で指定するならば、KEY IS指定に指定できるのはそのデータ名1個だけです。

2.4.115 JMN2196I-S

KEY IS指定に記述された最初のデータ名を除くデータ名'@1@'は、OCCURS句を持つ項目であってはなりません。データ名は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2196.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2196.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007    02 WKEY1       OCCURS 10 ASCENDING KEY IS WKEY1 WKEY2.
000008    03 WKEY2       PIC X(1) OCCURS 10.
000009 PROCEDURE         DIVISION.
000010 END PROGRAM      P2196.
```

P2196.cob 7: JMN2196I-S KEY IS指定に記述された最初のデータ名を除くデータ名'WKEY2'は、OCCURS句を持つ項目であってはなりません。データ名は、無効になります。

詳細な説明

KEY IS指定の2つめ以降に指定するデータ名は、OCCURS句を持つデータ記述項のデータ名であってはなりません。

2.4.116 JMN2197I-S

KEY IS指定のデータ名'@1@'の項目長は、256バイト以下でなければなりません。データ名は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2197.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2197.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WOCC          OCCURS 15 ASCENDING KEY IS WKEY1.
000008 03 WKEY1         PIC X(257).
000009 PROCEDURE        DIVISION.
000010 END PROGRAM      P2197.
```

P2197.cob 7: JMN2197I-S KEY IS指定のデータ名'WKEY1'の項目長は、256バイト以下でなければなりません。データ名は無効になります。

詳細な説明

COBOL処理系の定量制限です。

2.4.117 JMN2200I-W

集団項目に指定したVALUE句の定数の長さは、その項目長以下でなければなりません。項目と同じ長さだけの定数の先頭部分が有効になります。

例題

```
[P2200.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2200.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP VALUE "あいう".
000007 02          PIC N.
000008 02          PIC X(3).
000009 PROCEDURE        DIVISION.
000010 END PROGRAM      P2200.
```

P2200.cob 6: JMN2200I-W 集団項目に指定したVALUE句の定数の長さは、その項目長以下でなければなりません。項目と同じ長さだけの定数の先頭部分が有効になります。

2.4.118 JMN2201I-W

集団項目に指定したVALUE句のブール定数の長さは、8の倍数でなければなりません。8の倍数になるように右端に0を仮定します。

例題

```
[P2201.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2201.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP VALUE B"111100011".
000007 02          PIC N.
000008 PROCEDURE        DIVISION.
000009 END PROGRAM      P2201.
```

P2201.cob 6: JMN2201I-W 集団項目に指定したVALUE句のブール定数の長さは、8の倍数でなければなりません。8の倍数になるように右端に0を仮定します。

詳細な説明

集団項目の初期値としてブール定数が指定された場合、ブール文字('0'または'1')1個が1ビットの領域を占めるもの(ブール文字8個で1バイト)とみなして項目に設定するため、ブール文字の個数は8の倍数である必要があります。

8の倍数でない場合は、ブール定数の右側にブール文字'0'を補って8の倍数とみなします。

2.4.119 JMN2202I-W

条件変数が集団項目である条件名のVALUE句の定数の長さは、集団項目の項目長以下でなければなりません。項目と同じ長さだけの定数の先頭部分が有効になります。

例題

```
[P2202. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2202.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 88 OKVAL          VALUE "ABCDE".
000008 88 NGVAL          VALUE "あいう".
000009 02                PIC N.
000010 02                PIC X(3).
000011 PROCEDURE         DIVISION.
000012 END PROGRAM      P2202.
```

P2202.cob 8: JMN2202I-W 条件変数が集団項目である条件名のVALUE句の定数の長さは、集団項目の項目長以下でなければなりません。項目と同じ長さだけの定数の先頭部分が有効になります。

詳細な説明

条件名記述項(レベル番号が88)のVALUE句で指定した定数長が、条件変数の項目長よりも長くなっています。条件変数の長さ分の定数を条件名の値とみなし、余った定数は切り捨てます。

2.4.120 JMN2205I-S

@1@句のデータ名'@2@'は添字付けを必要とする項目であってはなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 環境部, データ部に記述する句または指定で、データ名の指定が必要なもの。ただし、OCCURS句のASCENDING/DESENDING KEY IS指定は除く。

@2@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2205. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2205.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IXFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION   IS INDEXED
000008     RECORD KEY      IS WRKY1.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA             DIVISION.
000011 FILE               SECTION.
000012 FD IXFILE1.
000013 01 IXF1REC.
000014 02 WRKY1         PIC X(1) OCCURS 10.
```

```

000015 02          PIC X(80).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 PROCEDURE    DIVISION.
000018 END PROGRAM  P2205.

```

P2205.cob 8: JMN2205I-S RECORD KEY句のデータ名'WRKY1'は添字付けを必要とする項目であってはありません。

詳細な説明

句に指定したデータ名は、OCCURS句を指定したデータ項目またはそれに従属するデータ項目のデータ名であってはありません。

OCCURS句を指定したデータ記述項を表といい、表の中の要素を表要素といいます。添字付けは、表要素を参照するために必要です。

2.4.121 JMN2206I-S

@1@句のデータ名'@2@'は、アドレス可変項目であってはありません。

埋め込みの説明

@1@ : 環境部、データ部に記述する句または指定で、データ名の指定が必要なもの。

@2@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```

[P2206.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2206.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA           DIVISION.
000008 FILE             SECTION.
000009 FD SQFILE1
000010     RECORD VARYING IN SIZE
000011     DEPENDING ON WVAD.
000012 01 SQF1REC.
000013 02          PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 WGRP.
000016 02 WDPND      PIC S9(9) COMP-5.
000017 02 WOCC       OCCURS 10 DEPENDING ON WDPND
000018             PIC X(1).
000019 02 WVAD       PIC 9(4).
000020 PROCEDURE      DIVISION.
000021 END PROGRAM     P2206.

```

P2206.cob 11: JMN2206I-S RECORD句のデータ名'WVAD'は、アドレス可変項目であってはありません。

2.4.122 JMN2207I-S

紙テープファイルを除くファイルに指定したCODE-SET句の符号系名は、STANDARD-1、STANDARD-2またはNATIVE指定でなければなりません。

例題

```

[P2207.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2207.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     ALPHABET CD1 IS CODE-1.

```

```

000007 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000008 FILE-CONTROL.
000009     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000010 DATA            DIVISION.
000011 FILE              SECTION.
000012 FD SQFILE1 CODE-SET CD1.
000013 01 SQF1REC.
000014 02                PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 PROCEDURE        DIVISION.
000017 END PROGRAM      P2207.

```

P2207.cob 12: JMN2207I-S 紙テープファイルを除くファイルに指定したCODE-SET句の符号系名は、STANDARD-1、STANDARD-2またはNATIVE指定でなければなりません。

詳細な説明

このコンパイラでは、CODE-SET句は注釈とみなされます。

2.4.123 JMN2210I-S

OCCURS句に指定する次元数は、7次元以下でなければなりません。

例題

```

[P2210.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2210.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WOCC1          OCCURS 10.
000008 03 WOCC2          OCCURS 10.
000009 04 WOCC3          OCCURS 10.
000010 05 WOCC4          OCCURS 10.
000011 06 WOCC5          OCCURS 10.
000012 07 WOCC6          OCCURS 10.
000013 08 WOCC7          OCCURS 10.
000014 09 WOCC8          OCCURS 10.
000015 10                PIC X.
000016 PROCEDURE        DIVISION.
000017 END PROGRAM      P2210.

```

P2210.cob 14: JMN2210I-S OCCURS句に指定する次元数は、7次元以下でなければなりません。

詳細な説明

COBOL処理系の定量制限です。

2.4.124 JMN2212I-S

LINAGE句は、順ファイル以外のファイルに指定できません。

例題

```

[P2212.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2212.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT RLF1 FILE1 ASSIGN TO SYS001

```

```

000007      ORGANIZATION  IS RELATIVE.
000008 DATA          DIVISION.
000009 FILE           SECTION.
000010 FD RLFILE1
000011      LINAGE 66.
000012 01 RLFILE1REC.
000013 02           PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 WFS1        PIC X(2).
000016 PROCEDURE      DIVISION.
000017 END PROGRAM     P2212.

```

P2212.cob 11: JMN2212I-S LINAGE句は、順ファイル以外のファイルに指定できません。

詳細な説明

LINAGE句は、印刷装置に書き出す論理ページの構成を定義する句であり、同句が指定されたファイルは印刷ファイルとみなされます。印刷ファイルは順ファイルの一種です。

2.4.125 JMN2213I-S

@1@句のデータ名'@2@'が多重定義です。@1@句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : RENAMES, VALUE, BASED ON, LENGTH, RECORDまたはCHARACTER TYPE.

@2@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```

[P2213. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2213.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 GR1.
000007 02 E1            PIC X(5).
000008 02 E1            PIC N(5).
000009 66 R1 RENAMES E1 THRU E1.
000010 PROCEDURE        DIVISION.
000011 END PROGRAM       P2213.

```

P2213.cob 9: JMN2213I-S RENAMES句のデータ名'E1'が多重定義です。RENAMES句は無効になります。

2.4.126 JMN2214I-S

@1@句のデータ名'@2@'が未定義です。@1@句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : RENAMES, VALUE, BASED ON, LENGTH, RECORDまたはCHARACTER TYPE.

@2@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```

[P2214. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2214.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP1.

```

```

000007 02 WELM1 PIC X.
000008 02 WELM2 PIC X.
000009 66 WGRP2 RENAMES WELM1 THRU WELM3.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 END PROGRAM P2214.

```

P2214.cob 9: JMN2214I-S RENAMES句のデータ名'WELM3'が未定義です。RENAMES句は無効になります。

2.4.127 JMN2215I-S

@1@句の名標'@2@'はデータ名でなければなりません。@1@句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : RENAMES, VALUE, BASED ON, LENGTH, RECORDまたはCHARACTER TYPE.

@2@ : エラーの原因となった利用者語.

例題

```

[P2215. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2215.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP1.
000007 02 WELM1 PIC X.
000008 02 WELM2 PIC X.
000009 88 WELM2-CND1 VALUE "1".
000010 66 WGRP2 RENAMES WELM1 THRU WELM2-CND1.
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012 LVL1.
000013 END PROGRAM P2215.

```

P2215.cob 10: JMN2215I-S RENAMES句の名標'WELM2-CND1'はデータ名でなければなりません。RENAMES句は無効になります。

2.4.128 JMN2216I-S

定数節に定義されたデータ項目にはVALUE句を指定しなければなりません。

例題

```

[P2216. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2216.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 CONSTANT SECTION.
000006 01 WCD PIC X.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 END PROGRAM P2216.

```

P2216.cob 6: JMN2216I-S 定数節に定義されたデータ項目にはVALUE句を指定しなければなりません。

詳細な説明

定数節では、実行用プログラムで使う定数を定義します。定数節で宣言するデータ記述項には必ずVALUE句を記述し、初期値を与えなければなりません。

2.4.129 JMN2218I-S

EXTERNAL句は、@1@句に指定されたファイルに指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : SAME AREA, SAME RECORD AREAまたはAPPLY SAVED-AREA.

例題

```
[P2218.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2218.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007     SELECT SQFILE2 ASSIGN TO SYS002.
000008 I-O-CONTROL.
000009     SAME AREA SQFILE1 SQFILE2.
000010 DATA             DIVISION.
000011 FILE               SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQF1REC.
000014 02                PIC X(80).
000015 FD SQFILE2 IS EXTERNAL.
000016 01 SQF2REC.
000017 02                PIC X(80).
000018 WORKING-STORAGE SECTION.
000019 PROCEDURE          DIVISION.
000020 END PROGRAM          P2218.
```

P2218.cob 15: JMN2218I-S EXTERNAL句は、SAME AREA句に指定されたファイルに指定できません。

2.4.130 JMN2219I-S

EXTERNAL句は、MULTIPLE FILE TAPE句に指定されたファイルに指定できません。

例題

```
[P2219.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2219.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008     MULTIPLE FILE TAPE CONTAINS SQFILE1.
000009 DATA             DIVISION.
000010 FILE               SECTION.
000011 FD SQFILE1 IS EXTERNAL.
000012 01 SQF1REC.
000013 02                PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 PROCEDURE          DIVISION.
000016 END PROGRAM          P2219.
```

P2219.cob 11: JMN2219I-S EXTERNAL句は、MULTIPLE FILE TAPE句に指定されたファイルに指定できません。

2.4.131 JMN2221I-S

GLOBAL句は、SAME RECORD AREA句に指定されたファイルおよびそれに従属するレコード記述項に指定できません。

例題

```
[P2221.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2221.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007     SELECT SQFILE2 ASSIGN TO SYS002.
000008 I-O-CONTROL.
000009     SAME RECORD AREA SQFILE1 SQFILE2.
000010 DATA              DIVISION.
000011 FILE                SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQF1REC.
000014 02                  PIC X(80).
000015 FD SQFILE2 IS GLOBAL.
000016 01 SQF2REC.
000017 02                  PIC X(80).
000018 WORKING-STORAGE SECTION.
000019 PROCEDURE           DIVISION.
000020 END PROGRAM          P2221.
```

P2221.cob 15: JMN2221I-S GLOBAL句は、SAME RECORD AREA句に指定されたファイルおよびそれに従属するレコード記述項に指定できません。

2.4.132 JMN2222I-S

PICTURE句がありません。 PICTURE 9が指定されたものとみなします。

例題

```
[P2222.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2222.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA              DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 PROCEDURE           DIVISION.
000008 END PROGRAM          P2222.
```

P2222.cob 6: JMN2222I-S PICTURE句がありません。 PICTURE 9が指定されたものとみなします。

詳細な説明

PICTURE句(PICTUREとPICは同義語です)は、基本項目の項類、大きさおよび編集の形式を指定するための句です。

翻訳を続行するためにPICTURE 9(1桁の数字項目)が指定されたものとみなしますが、このときオブジェクトファイルや実行形式ファイルは生成されません。

2.4.133 JMN2223I-S

PICTURE句の指定がない基本項目には、 COMPUTATIONAL-1、 COMPUTATIONAL-2またはINDEX指定の USAGE句しか指定できません。 USAGE句は無効になります。 PICTURE 9が指定されたものとみなします。

例題

```
[P2223.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2223.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
```

```

000004 DATA          DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP BINARY.
000007 PROCEDURE      DIVISION.
000008 END PROGRAM    P2223.

```

P2223.cob 6: JMN2223I-S PICTURE句の指定がない基本項目には、COMPUTATIONAL-1、COMPUTATIONAL-2またはINDEX指定のUSAGE句しか指定できません。USAGE句は無効になります。PICTURE 9が指定されたものとみなします。

詳細な説明

翻訳を続行するためにPICTURE 9(1桁の数字項目)が指定されたとみなしますが、このときオブジェクトファイルや実行形式ファイルは生成されません。

2.4.134 JMN2224I-W

CHARACTER TYPE句またはPRINTING POSITION句が有効なデータ項目が再定義されています。印刷結果は保証されません。

例題

```

[P2224.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2224.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA           DIVISION.
000008 FILE             SECTION.
000009 FD SQFILE.
000010 01 SQREC        PIC X(80).
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WGRP.
000013 02 WSUBG1 CHARACTER TYPE MODE-1.
000014 03          PIC X(10).
000015 03          PIC N(10).
000016 03          PIC X(10).
000017 03          PIC N(20).
000018 02 WSUBG2 REDEFINES WSUBG1.
000019 03          PIC X(10).
000020 03          PIC N(10).
000021 03          PIC X(10).
000022 03          PIC N(20).
000023 PROCEDURE      DIVISION.
000024     WRITE SQREC FROM WGRP
000025 END PROGRAM    P2224.

```

P2224.cob 18: JMN2224I-W CHARACTER TYPE句またはPRINTING POSITION句が有効なデータ項目が再定義されています。印刷結果は保証されません。

詳細な説明

CHARACTER TYPE句は印字するときの文字の形式を、PRINTING POSITION句は横方向の印字位置を指定する句です。これらの句が有効になっているデータ項目が別のデータ項目で再定義(REDEFINES)されていると、COBOL処理系は印字のための情報を正しく取得できず、その結果、期待する印刷結果が得られないことがあります。

2.4.135 JMN2225I-S

CHARACTER TYPE句は、日本語項目、日本語編集項目または集団項目にだけ指定できます。

例題

```
[P2225. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2225.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WNUM           PIC S9(9) CHARACTER TYPE MODE-1.
000007 PROCEDURE         DIVISION.
000008 END PROGRAM       P2225.
```

P2225.cob 6: JMN2225I-S CHARACTER TYPE句は、日本語項目、日本語編集項目または集団項目にだけ指定できます。

詳細な説明

MODE-1, MODE-2, MODE-3または呼び名を指定したCHARACTER TYPE句は、日本語項目あるいは日本語編集項目を印字するときの形式を指定するために記述します。日本語項目／日本語編集項目を含まない集団項目に対して同句を指定しても、作用する対象がないため意味がありません。

2.4.136 JMN2226I-S

CHARACTER TYPE句は、レベル番号01または77を除くREDEFINES句を持つ項目およびそれに従属する項目に指定できません。

例題

```
[P2226. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2226.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WGRP2.
000008 03           PIC N(10)
000009           CHARACTER TYPE MODE-2.
000010 02 WGRP3 REDEFINES WGRP2.
000011 03           PIC N(10)
000012           CHARACTER TYPE MODE-1.
000013 PROCEDURE         DIVISION.
000014 END PROGRAM       P2226.
```

P2226.cob 12: JMN2226I-S CHARACTER TYPE句は、レベル番号01または77を除くREDEFINES句を持つ項目およびそれに従属する項目に指定できません。

詳細な説明

CHARACTER TYPE句は印字するときの文字の形式を指定します。同句を持つデータ項目がREDEFINES句によって再定義されると、COBOL処理系が印字のための情報を正しく取得できなくなります。

ただしレベル番号01または77の項目間での再定義は例外で、この場合は印字のための情報を正しく取得できます。

2.4.137 JMN2227I-S

PRINTING POSITION句は、OCCURS DEPENDING ON句を含むレコード記述中に指定できません。

例題

```
[P2227. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2227.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
```

```

000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WDPEND PIC S9(4) BINARY.
000008 02 WNC CHARACTER TYPE MODE-1.
000009 03 PIC N(10)
000010 PRINTING POSITION 10.
000011 02 WOGC OCCURS 10 DEPENDING ON WDPEND.
000012 03 PIC N(10).
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014 END PROGRAM P2227.

```

P2227.cob 6: JMN2227I-S PRINTING POSITION句は、OCCURS DEPENDING ON句を含むレコード記述中に指定できません。

2.4.138 JMN2228I-S

PRINTING POSITION句は、CHARACTER TYPE句を持つ項目またはその項目に従属する項目にだけ指定できます。

例題

```

[P2228.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2228.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WNC.
000008 03 PIC N(10)
000009 PRINTING POSITION 10.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 END PROGRAM P2228.

```

P2228.cob 9: JMN2228I-S PRINTING POSITION句は、CHARACTER TYPE句を持つ項目またはその項目に従属する項目にだけ指定できます。

2.4.139 JMN2229I-S

PRINTING POSITION句は、OCCURS句を持つ項目およびその項目に従属する項目に指定できません。

例題

```

[P2229.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2229.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP CHARACTER TYPE MODE-1.
000007 02 WOGC OCCURS 10.
000008 03 PIC N(10)
000009 PRINTING POSITION 10.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 END PROGRAM P2229.

```

P2229.cob 9: JMN2229I-S PRINTING POSITION句は、OCCURS句を持つ項目およびその項目に従属する項目に指定できません。

2.4.140 JMN2231I-S

指標データ項目に対して条件名は指定できません。

例題

```
[P2231.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2231.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WIX            INDEX.
000007 88 ZINIT         VALUE 0.
000008 PROCEDURE        DIVISION.
000009 END PROGRAM      P2231.
```

P2231.cob 7: JMN2231I-S 指標データ項目に対して条件名は指定できません。

詳細な説明

指標データ項目は、指標名(表要素を識別するためにコンパイラが生成する情報)の値をそのまま格納するためのデータ項目です。指標データ項目を条件変数とすることはできません。

2.4.141 JMN2232I-W

REDEFINES句で、再定義する項目が再定義される項目より大きくてはなりません。再定義する項目は、明に指定した項目を除き、他の項目と重なり合うことはありません。

例題

```
[P2232.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2232.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP1.
000007    02          PIC X(10).
000008 01 RGRP1 REDEFINES WGRP1.
000009    02          PIC N(10).
000010 01 .
000011    02 WGRP2.
000012    03          PIC X(10).
000013    02 RGRP2 REDEFINES WGRP2.
000014    03          PIC N(10).
000015 PROCEDURE        DIVISION.
000016 END PROGRAM      P2232.
```

P2232.cob 13: JMN2232I-W REDEFINES句で、再定義する項目が再定義される項目より大きくてはなりません。再定義する項目は、明に指定した項目を除き、他の項目と重なり合うことはありません。

2.4.142 JMN2233I-S

@1@句のデータ名'@2@'が一意ではありません。データ名は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : LINAGEまたはKEY IS.

@2@ : エラーの原因となったデータ名.

例題

```
[P2233.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2233.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
```

```

000004 DATA          DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 GR1.
000007    02 OCC1 OCCURS 10 ASCENDING KEY IS E1.
000008      03 E1      PIC X.
000009      03 E1      PIC X.
000010 PROCEDURE      DIVISION.
000011 END PROGRAM    P2233.

```

P2233.cob 7: JMN2233I-S KEY IS句のデータ名'E1'が一意ではありません。データ名は、無効になります。

2.4.143 JMN2234I-S

@1@句のデータ名'@2@'が未定義です。データ名は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : LINAGEまたはKEY IS.

@2@ : エラーの原因となったデータ名.

例題

```

[P2234. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2234.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 GR1.
000007    02 OCC1 OCCURS 10 ASCENDING KEY IS E2.
000008      03 E1      PIC X.
000009 PROCEDURE      DIVISION.
000010 END PROGRAM    P2234.

```

P2234.cob 7: JMN2234I-S KEY IS句のデータ名'E2'が未定義です。データ名は、無効になります。

2.4.144 JMN2235I-S

@1@句の名標'@2@'は、データ名でなければなりません。名標は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : LINAGEまたはKEY IS.

@2@ : エラーの原因となった利用者語.

例題

```

[P2235. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2235.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION  SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006      SYSIN IS INPUT-DATA.
000007 DATA            DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 WGRP.
000010    02 WOCC      OCCURS 10 ASCENDING KEY IS INPUT-DATA.
000011      03 WKEY1   PIC X(1).
000012      03 WKEY2   PIC X(1).
000013 PROCEDURE      DIVISION.
000014 END PROGRAM    P2235.

```

P2235.cob 10: JMN2235I-S KEY IS句の名標'INPUT-DATA'は、データ名でなければなりません。名標は無効になります。

2.4.145 JMN2236I-S

BLOCK CONTAINS句は、AT END-OF-PAGE指定のWRITE文で参照されるファイルに指定できません。

例題

```
[P2236.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2236.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE               SECTION.
000009 FD SQFILE1
000010     BLOCK CONTAINS 10.
000011 01 SQF1REC.
000012 02                PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 PROCEDURE          DIVISION.
000015     WRITE SQF1REC
000016     AT END-OF-PAGE
000017     DISPLAY "P2236"
000018     END-WRITE
000019 END PROGRAM          P2236.
```

P2236.cob 9: JMN2236I-S BLOCK CONTAINS句は、AT END-OF-PAGE指定のWRITE文で参照されるファイルに指定できません。

詳細な説明

このコンパイラでは、BLOCK CONTAINS句は注釈とみなされます。

2.4.146 JMN2239I-S

RECORDING MODE句にFまたはVを指定したファイルのレコード長は、CHARACTERS指定のBLOCK CONTAINS句の整数以下でなければなりません。BLOCK CONTAINS句は、無効になります。

例題

```
[P2239.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P2239.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA             DIVISION.
000010 FILE               SECTION.
000011 FD SQFILE1
000012     RECORDING MODE IS V
000013     BLOCK CONTAINS 80 CHARACTERS.
000014 01 SQF1REC.
000015 02                PIC X(79).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 01 WFS1           PIC X(2).
000018 PROCEDURE          DIVISION.
000019 END PROGRAM          P2239.
```

P2239.cob 11: JMN2239I-S RECORDING MODE句にFまたはVを指定したファイルのレコード長は, CHARACTERS指定のBLOCK CONTAINS句の整数以下でなければなりません. BLOCK CONTAINS句は, 無効になります.

詳細な説明

RECORDING MODE句は, OSIV系システムの固有機能です.

2.4.147 JMN2244I-S

整数TO整数指定のBLOCK CONTAINS句は, 固定長形式のファイルに指定できません.

例題

```
[P2244. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2244.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 FD SQFILE1
000010     RECORDING MODE IS F
000011     BLOCK  CONTAINS 40 TO 80.
000012 01 SQFIREC.
000013 02             PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 PROCEDURE          DIVISION.
000016 END PROGRAM        P2244.
```

P2244.cob 9: JMN2244I-S 整数TO整数指定のBLOCK CONTAINS句は, 固定長形式のファイルに指定できません.

詳細な説明

このコンパイラでは, BLOCK CONTAINS句は注釈とみなされます.

2.4.148 JMN2245I-S

順ファイル(編成VSまたはAS), 相対ファイル, 索引ファイル, または固定長形式のファイルのレコード長は, 32760バイト以下でなければなりません. レコード長を32760バイトとみなします.

例題

```
[P2245. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2245.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA             DIVISION.
000009 FILE              SECTION.
000010 FD SQFILE1.
000011 01 SQFIREC.
000012 02             PIC X(32767).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 WFS1          PIC X(2).
000015 PROCEDURE          DIVISION.
000016 END PROGRAM        P2245.
```

P2245.cob 10: JMN2245I-S 順ファイル(編成VSまたはAS), 相対ファイル, 索引ファイル, または固定長形式のファイルのレコード長は, 32760バイト以下でなければなりません. レコード長を32760バイトとみなします.

詳細な説明

COBOL処理系の定量制限です.

2.4.149 JMN2249I-S

RECORDS指定のBLOCK CONTAINS句を指定したファイルまたはBLOCK CONTAINS句を省略したファイルのブロック長は, 32760バイト以下でなければなりません. ブロック長を32760バイトとみなします.

例題

```
[P2249. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2249.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA             DIVISION.
000009 FILE              SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     BLOCK CONTAINS 410 RECORDS.
000012 01 SQFIREC.
000013 02             PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 PROCEDURE          DIVISION.
000016 END PROGRAM        P2249.
```

P2249.cob 10: JMN2249I-S RECORDS指定のBLOCK CONTAINS句を指定したファイルまたはBLOCK CONTAINS句を省略したファイルのブロック長は, 32760バイト以下でなければなりません. ブロック長を32760バイトとみなします.

2.4.150 JMN2251I-S

OCCURS DEPENDING ON句を持つ内部ブール項目には, SYNCHRONIZED句が必要です. SYNCHRONIZED句の指定があったものとみなします.

例題

```
[P2251. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2251.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WDPEND         PIC S9(3).
000008 02 WOCC           OCCURS 10 DEPENDING ON WDPEND
000009                 PIC 1(1) BIT.
000010 PROCEDURE          DIVISION.
000011 END PROGRAM        P2251.
```

P2251.cob 8: JMN2251I-S OCCURS DEPENDING ON句を持つ内部ブール項目には, SYNCHRONIZED句が必要です. SYNCHRONIZED句の指定があったものとみなします.

詳細な説明

内部ブール項目の可変の繰り返しにおいては, SYNCHRONIZED句(SYNCHRONIZEDとSYNCは同義語です)を指定して, 各表要素を固有の境界に合わせる必要があります.

翻訳を続行するためにSYNCHRONIZED句が指定されたものとみなして処理しますが、このときオブジェクトファイルや実行形式は生成されません。

2.4.151 JMN2252I-S

INDEXED BY指定のOCCURS句を持つ内部ブール項目には、SYNCHRONIZED句が必要です。SYNCHRONIZED句の指定があったものとみなします。

例題

```
[P2252.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2252.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02                PIC S9(3).
000008 02 WOCC           OCCURS 10 INDEXED BY IX1
000009                   PIC 1(1) BIT.
000010 PROCEDURE         DIVISION.
000011 END PROGRAM      P2252.
```

P2252.cob 8: JMN2252I-S INDEXED BY指定のOCCURS句を持つ内部ブール項目には、SYNCHRONIZED句が必要です。SYNCHRONIZED句の指定があったものとみなします。

詳細な説明

内部ブール項目の、指標名を持つ繰り返しにおいては、SYNCHRONIZED句(SYNCHRONIZEDとSYNCは同義語です)を指定して、各表要素を固有の境界に合わせる必要があります。

翻訳を続行するためにSYNCHRONIZED句が指定されたものとみなして処理しますが、このときオブジェクトファイルや実行形式は生成されません。

2.4.152 JMN2269I-S

@1@句のDEPENDENT ON指定のデータ名'@2@'が多重定義です。DEPENDENT ON指定は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : RECORDまたはOCCURS.

@2@ : エラーの原因となったデータ名.

例題

```
[P2269.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2269.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 DEPEND          PIC S9(9) BINARY.
000007 01 DEPEND          PIC S9(9) BINARY.
000008 01 WGRP.
000009 02 WOCC             OCCURS 10 DEPENDENT ON DEPEND.
000010 03                PIC X.
000011 PROCEDURE         DIVISION.
000012 END PROGRAM      P2269.
```

P2269.cob 9: JMN2269I-S OCCURS句のDEPENDENT ON指定のデータ名'DEPEND'が多重定義です。DEPENDENT ON指定は無効になります。

2.4.153 JMN2270I-S

@1@句のDEPENDING ON指定のデータ名'@2@'が未定義です. DEPENDING ON指定は無効になります.

埋め込みの説明

@1@ : RECORDまたはOCCURS.

@2@ : エラーの原因となったデータ名.

例題

```
[P2270. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2270.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007    02 WOCC          OCCURS 10 DEPENDING ON DEPEND.
000008        03          PIC X.
000009 PROCEDURE          DIVISION.
000010 END PROGRAM        P2270.
```

P2270.cob 7: JMN2270I-S OCCURS句のDEPENDING ON指定のデータ名'DEPEND'が未定義です. DEPENDING ON指定は無効になります.

2.4.154 JMN2271I-S

@1@句のDEPENDING ON指定の名標'@2@'はデータ名でなければなりません. DEPENDING ON指定は無効になります.

埋め込みの説明

@1@ : RECORDまたはOCCURS.

@2@ : エラーの原因となった利用者語.

例題

```
[P2271. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2271.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007    02 WOCC          OCCURS 10 DEPENDING ON WTyp1.
000008        03          PIC X.
000009 01 WTyp1          TYPEDEF PIC X.
000010 PROCEDURE          DIVISION.
000011 END PROGRAM        P2271.
```

P2271.cob 7: JMN2271I-S OCCURS句のDEPENDING ON指定の名標'WTyp1'はデータ名でなければなりません. DEPENDING ON指定は無効になります.

2.4.155 JMN2273I-W

CODE-SET句を指定したファイル中のデータ項目が符号付き外部10進項目の場合, SEPARATE付きのSIGN句を指定しなければなりません. 書かれたとおり受け入れます.

例題

```
[P2273.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2273.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     ALPHABET CD1 IS STANDARD-1.
000007 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000008 FILE-CONTROL.
000009     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000010     ORGANIZATION   IS SEQUENTIAL.
000011 DATA             DIVISION.
000012 FILE              SECTION.
000013 FD SQFILE1
000014     CODE-SET CD1.
000015 01 SQFIREC.
000016 02              PIC S9(4).
000017 02              PIC X(80).
000018 PROCEDURE         DIVISION.
000019 END PROGRAM        P2273.
```

P2273.cob 16: JMN2273I-W CODE-SET句を指定したファイル中のデータ項目が符号付き外部10進項目の場合、SEPARATE付きのSIGN句を指定しなければなりません。書かれたとおり受け入れます。

詳細な説明

このコンパイラでは、CODE-SET句は注釈とみなされます。

2.4.156 JMN2274I-W

CODE-SET句を指定したファイル中のデータ項目は、表示用でなければなりません。書かれたとおり受け入れます。

例題

```
[P2274.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2274.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     ALPHABET CD1 IS STANDARD-1.
000007 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000008 FILE-CONTROL.
000009     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000010     ORGANIZATION   IS SEQUENTIAL.
000011 DATA             DIVISION.
000012 FILE              SECTION.
000013 FD SQFILE1
000014     CODE-SET CD1.
000015 01 SQFIREC.
000016 02              PIC S9(4) BINARY.
000017 02              PIC X(80).
000018 PROCEDURE         DIVISION.
000019 END PROGRAM        P2274.
```

P2274.cob 16: JMN2274I-W CODE-SET句を指定したファイル中のデータ項目は、表示用でなければなりません。書かれたとおり受け入れます。

詳細な説明

このコンパイラでは、CODE-SET句は注釈とみなされます。

2.4.157 JMN2276I-S

EXTERNAL句を指定したファイルに従属するレベル番号01の項目には、データ名を明に指定しなければなりません。EXTERNAL句を有効とみなします。

例題

```
[P2276.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2276.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION   IS SEQUENTIAL.
000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA              DIVISION.
000010 FILE               SECTION.
000011 FD SQFILE1 IS EXTERNAL.
000012 01
000013 02                PIC X(80).
000014 PROCEDURE         DIVISION.
000015 END PROGRAM       P2276.
```

P2276.cob 12: JMN2276I-S EXTERNAL句を指定したファイルに従属するレベル番号01の項目には、データ名を明に指定しなければなりません。EXTERNAL句を有効とみなします。

詳細な説明

ファイル記述項にEXTERNAL句を書くと、そのファイルに関係付けたレコード領域にも外部属性が与えられます。外部属性を持つ領域は、実行単位中の複数のプログラムで共用することができます。実行単位中で、外部属性を持つ領域は名前で対応付けられるため、領域の先頭に相当するレベル番号01の項目にはデータ名を宣言しなければなりません。

2.4.158 JMN2277I-S

GLOBAL句を指定したファイルに従属するレベル番号01の項目は、データ名を明に指定しなければなりません。GLOBAL句を有効とみなします。

例題

```
[P2277.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2277.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION   IS SEQUENTIAL.
000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA              DIVISION.
000010 FILE               SECTION.
000011 FD SQFILE1 IS GLOBAL.
000012 01
000013 02                PIC X(80).
000014 PROCEDURE         DIVISION.
000015 END PROGRAM       P2277.
```

P2277.cob 12: JMN2277I-S GLOBAL句を指定したファイルに従属するレベル番号01の項目は、データ名を明に指定しなければなりません。GLOBAL句を有効とみなします。

詳細な説明

ファイル記述項にGLOBAL句を書くと、ファイル記述項に関係付けたレコード記述項の中のデータ名も大域属性を持ちます。大域属性を持つ名前(大域名)は、その名前を定義したプログラムに直接または間接に含まれるプログラムの中で参照できます。大域属性を持つ領域の先頭に相当するレベル番号01の項目には、データ名を宣言しなければなりません。

2.4.159 JMN2288I-S

SAME RECORD AREA句に指定されたファイル名をAPPLY SAVED-AREA句またはAPPLY MULTICONVERSATION-MODE句に指定できません。書かれたとおり受け入れます。

例題

```
[P2288.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2288.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007     SELECT SQFILE2 ASSIGN TO SYS002.
000008 I-O-CONTROL.
000009     SAME RECORD AREA SQFILE1 SQFILE2
000010     APPLY SAVED-AREA WSVAR ON SQFILE1.
000011 DATA             DIVISION.
000012 FILE               SECTION.
000013 FD SQFILE1.
000014 01 SQF1REC.
000015 02                PIC X(80).
000016 FD SQFILE2.
000017 01 SQF2REC.
000018 02                PIC X(80).
000019 WORKING-STORAGE SECTION.
000020 01 WSVAR           PIC X(80).
000021 PROCEDURE         DIVISION.
000022 END PROGRAM       P2288.
```

P2288.cob 13: JMN2288I-S SAME RECORD AREA句に指定されたファイル名をAPPLY SAVED-AREA句またはAPPLY MULTICONVERSATION-MODE句に指定できません。書かれたとおり受け入れます。

詳細な説明

記憶領域の共用と、データ項目の値の保証を同時に指定することはできません。

指定されたとおりに解釈して翻訳を続行しますが、このときオブジェクトファイルや実行形式は生成されません。

2.4.160 JMN2292I-S

END-OF-PAGE指定のWRITE文で参照されるファイルの入出力領域の個数は、1個でなければなりません。RESERVE句を無効とし、入出力領域の個数を1個とみなします。

例題

```
[P2292.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2292.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     RESERVE 10 AREAS.
000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA             DIVISION.
```

```

000010 FILE          SECTION.
000011 FD SQFILE1 .
000012 01 SQF1REC.
000013    02          PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 PROCEDURE      DIVISION.
000016    PERFORM WITH NO LIMIT
000017        WRITE SQF1REC
000018            AT END-OF-PAGE
000019                DISPLAY "END OF PAGE"
000020            EXIT PERFORM
000021        END-WRITE
000022    END-PERFORM
000023 END PROGRAM      P2292.

```

P2292.cob 11: JMN2292I-S END-OF-PAGE指定のWRITE文で参照されるファイルの入出力領域の個数は、1個でなければなりません。RESERVE句を無効とし、入出力領域の個数を1個とみなします。

詳細な説明

RESERVE AREA句に1以外の値が指定されています。

RESERVE AREA句はこのシステムでは注釈扱いです。(実行時には意味を持ちませんが、翻訳時には句の解析は行われます)

2.4.161 JMN2300I-S

データ名指定のLABEL RECORD句は、EXTERNAL句を指定したファイルに指定できません。

例題

```

[P2300.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2300.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006    SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA             DIVISION.
000009 FILE               SECTION.
000010 FD SQFILE1 IS EXTERNAL
000011    LABEL RECORD IS LRECL.
000012 01 SQF1REC.
000013    02          PIC X(80).
000014 01 LRECL        PIC X(80).
000015 PROCEDURE          DIVISION.
000016 END PROGRAM          P2300.

```

P2300.cob 11: JMN2300I-S データ名指定のLABEL RECORD句は、EXTERNAL句を指定したファイルに指定できません。

詳細な説明

LABEL RECORD句は廃要素です。このコンパイラでは、LABEL RECORD句は注釈とみなされます。

2.4.162 JMN2312I-S

@1@句は、LABEL RECORD句に指定されたデータ項目、およびそれに従属するデータ項目に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : CHARACTER TYPEまたはPRINTING POSITION.

例題

```
[P2312.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2312.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA             DIVISION.
000009 FILE               SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     LABEL RECORD LVREC.
000012 01 SQF1REC.
000013 02                PIC X(80).
000014 01 LVREC.
000015 02                PIC N(40) CHARACTER TYPE MODE-1.
000016 PROCEDURE         DIVISION.
000017 END PROGRAM        P2312.
```

P2312.cob 15: JMN2312I-S CHARACTER TYPE句は、LABEL RECORD句に指定されたデータ項目、およびそれに従属するデータ項目に指定できません。

詳細な説明

LABEL RECORD句は廃要素です。このコンパイラでは、LABEL RECORD句は注釈とみなされます。

2.4.163 JMN2316I-I

(CONF)予約語TOを持たない整数指定のRECORD CONTAINS句は、表示ファイルに指定できません。問題があれば原始プログラムを修正してください。

例題

```
[P2316.cob]
000001 @OPTIONS CONF(74)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P2316.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT PRFILE1 ASSIGN TO GS-SYS001
000008     SYMBOLIC DESTINATION IS "DSP".
000009 DATA             DIVISION.
000010 FILE               SECTION.
000011 FD PRFILE1
000012     RECORD CONTAINS 80.
000013 01 PRF1REC.
000014 02                PIC X(80).
000015 PROCEDURE         DIVISION.
000016 END PROGRAM        P2316.
```

P2316.cob 12: JMN2316I-I (CONF)予約語TOを持たない整数指定のRECORD CONTAINS句は、表示ファイルに指定できません。問題があれば原始プログラムを修正してください。

2.4.164 JMN2317I-W

予約語TOを持たない整数指定のRECORD CONTAINS句は、表示ファイルに指定できません。RECORD句は、無効になります。

例題

```
[P2317.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2317.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT PRFILE1 ASSIGN TO GS-SYS001
000007     SYMBOLIC DESTINATION IS "DSP".
000008 DATA              DIVISION.
000009 FILE                SECTION.
000010 FD PRFILE1
000011     RECORD CONTAINS 80.
000012 01 PRF1REC.
000013     02              PIC X(80).
000014 PROCEDURE          DIVISION.
000015 END PROGRAM          P2317.
```

P2317.cob 11: JMN2317I-W 予約語TOを持たない整数指定のRECORD CONTAINS句は、表示ファイルに指定できません。RECORD句は、無効になります。

2.4.165 JMN2319I-S

RECORD句のDEPENDING ON指定は、レコード記述項中にCHARACTER TYPE句またはPRINTING POSITION句を持つデータ項目が指定されたファイルに記述できません。DEPENDING ON指定は、無効になります。

例題

```
[P2319.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2319.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA              DIVISION.
000008 FILE                SECTION.
000009 FD SQFILE1
000010     RECORD VARYING IN SIZE
000011     DEPENDING ON LRECL.
000012 01 SQF1REC.
000013     02              PIC X(8).
000014     02              PIC N(10)
000015     CHARACTER TYPE MODE-1.
000016     02              PIC X(60) .
000017 WORKING-STORAGE SECTION.
000018 01 LRECL          PIC 9(2).
000019 PROCEDURE          DIVISION.
000020 END PROGRAM          P2319.
```

P2319.cob 9: JMN2319I-S RECORD句のDEPENDING ON指定は、レコード記述項中にCHARACTER TYPE句またはPRINTING POSITION句を持つデータ項目が指定されたファイルに記述できません。DEPENDING ON指定は、無効になります。

詳細な説明

CHARACTER TYPE句またはPRINTING POSITION句で印字のための情報を定義したレコードは、可変長レコードであってはなりません。

2.4.166 JMN2320I-S

CHARACTER TYPE句またはPRINTING POSITION句が有効なデータ項目が再定義されています。印刷結果は保証されません。

詳細な説明

CHARACTER TYPE句は印字するときの文字の形式を、PRINTING POSITION句は横方向の印字位置を指定する句です。これらの句が有効になっているデータ項目が別のデータ項目で再定義(REDEFINES)されていると、COBOL処理系は印字のための情報を正しく取得できず、その結果、期待する印刷結果が得られないことがあります。

2.4.167 JMN2329I-S

APPLY SAVED-AREA句に指定されたデータ名はREDEFINES句を含んではいけません。REDEFINES句は、無効になります。

例題

```
[P2329.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2329.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008     APPLY SAVED-AREA RSVAR ON SQFILE1.
000009 DATA              DIVISION.
000010 FILE                SECTION.
000011 FD SQFILE1.
000012 01 SQF1REC.
000013 02                PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 WSVAR            PIC X(80).
000016 01 RSVAR REDEFINES WSVAR
000017                PIC N(80).
000018 PROCEDURE            DIVISION.
000019 END PROGRAM          P2329.
```

P2329.cob 16: JMN2329I-S APPLY SAVED-AREA句に指定されたデータ名はREDEFINES句を含んではいけません。REDEFINES句は、無効になります。

2.4.168 JMN2331I-S

LINAGE句を指定したファイルが外部ファイルの場合、データ名 '@1@' は外部データ項目として定義しなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2331.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2331.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA              DIVISION.
000009 FILE                SECTION.
000010 FD SQFILE1 IS EXTERNAL
000011                LINAGE WPAGE.
000012 01 SQF1REC.
000013 02                PIC X(80).
```



```

000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 WPAGE          PIC 9(2).
000016 PROCEDURE         DIVISION.
000017 END PROGRAM       P2331.

```

P2331.cob 11: JMN2331I-S LINAGE句を指定したファイルが外部ファイルの場合、データ名'WPAGE'は外部データ項目として定義しなければなりません。

詳細な説明

LINAGE句を指定したファイルを外部ファイルとして共有するとき、倫理ページの構成もまた共用するため、ページ本体の行数を示すデータ項目も外部属性を持たなければなりません。

2.4.169 JMN2332I-S

LINAGE句を指定したファイルが外部ファイルの場合、データ名'@1@'は外部データ項目として定義しなければなりません。データ名は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```

[P2332.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2332.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA            DIVISION.
000009 FILE              SECTION.
000010 FD SQFILE1 IS EXTERNAL
000011                LINAGE 66
000012                LINE AT TOP WTOP.
000013 01 SQFIREC.
000014 02                PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 WTOP           PIC 9(2).
000017 PROCEDURE         DIVISION.
000018 END PROGRAM       P2332.

```

P2332.cob 12: JMN2332I-S LINAGE句を指定したファイルが外部ファイルの場合、データ名'WTOP'は外部データ項目として定義しなければなりません。データ名は、無効になります。

詳細な説明

LINAGE句を指定したファイルを外部ファイルとして共有するとき、倫理ページの構成もまた共用するため、FOOTING指定、LINES AT TOP指定およびLINES AT BOTTOM指定のデータ項目も外部属性を持たなければなりません。

2.4.170 JMN2333I-S

OCCURS句のDEPENDING ON指定の目的語は、整数項目でなければなりません。

例題

```

[P2333.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2333.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.

```

```

000006 01 WGRP.
000007 02 WDPEND PIC S9(3)V99.
000008 02 WOCC OCCURS 10 DEPENDING ON WDPEND.
000009 03 PIC X.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 END PROGRAM P2333.

```

P2333.cob 8: JMN2333I-S OCCURS句のDEPENDING ON指定の目的語は、整数項目でなければなりません。

詳細な説明

繰り返しの反復回数を示すデータであるため、整数項目でなければなりません。

2.4.171 JMN2334I-S

論理ページの大きさ(語LINAGEに続く最初の整数の値)は、正でなければなりません。1とみなします。

例題

```

[P2334.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2334.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD SQFILE1 IS EXTERNAL
000010 LINAGE 0.
000011 01 SQF1REC.
000012 02 PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015 END PROGRAM P2334.

```

P2334.cob 10: JMN2334I-S 論理ページの大きさ(語LINAGEに続く最初の整数の値)は、正でなければなりません。1とみなします。

詳細な説明

ページの大きさは行数で示します。値は正の数でなければなりません。

2.4.172 JMN2335I-S

VALUE句を持つ集団項目に従属する項目には、SYNCHRONIZED句を指定できません。SYNCHRONIZED句を有効とみなします。

例題

```

[P2335.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2335.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP VALUE LOW-VALUE.
000007 02 WELM1 PIC X.
000008 02 WELM2 PIC 1(8) SYNC.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 END PROGRAM P2335.

```

P2335.cob 8: JMN2335I-S VALUE句を持つ集団項目に従属する項目には、SYNCHRONIZED句を指定できません。SYNCHRONIZED句を有効とみなします。

詳細な説明

集団項目内に、SYNCHRONIZED句(SYNCHRONIZEDとSYNCは同義語です)が有効になる従属項目がある場合、その項目を固有の境界に合わせるため遊びバイトが挿入され、集団項目全体の大きさが変わります。一方、集団項目にVALUE句で指定した初期値には遊びバイトが挿入されることはないため、期待する初期値が設定されません。

指定された句を有効とみなして処理を続けますが、このときオブジェクトファイルや実行形式は生成されません。

2.4.173 JMN2336I-S

VALUE句を持つ集団項目に従属する項目には、JUSTIFIED句を指定できません。JUSTIFIED句を有効とみなします。

例題

```
[P2336.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2336.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP VALUE LOW-VALUE.
000007 02 WELM1          PIC X(5).
000008 02 WELM2          PIC X(5) JUSTIFIED.
000009 02 WELM3          PIC X(5).
000010 PROCEDURE        DIVISION.
000011 END PROGRAM      P2336.
```

P2336.cob 8: JMN2336I-S VALUE句を持つ集団項目に従属する項目には、JUSTIFIED句を指定できません。JUSTIFIED句を有効とみなします。

詳細な説明

JUSTIFIED句(JUSTIFIEDとJUSTは同義語です)は受取り側項目の右端に合わせてデータを転記することを指定する句ですが、集団項目への初期値の設定は、個々の従属項目を考慮せず、集団項目全体が1つの英数字項目であるかのように設定されるため、JUSTIFIED句は指定できません。

指定された句を有効とみなして処理を続けますが、このときオブジェクトファイルや実行形式は生成されません。

2.4.174 JMN2337I-S

VALUE句を持つ集団項目に従属する項目のUSAGEは、DISPLAYでなければなりません。USAGE句を有効とみなします。

例題

```
[P2337.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2337.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP VALUE LOW-VALUE.
000007 02 WELM1          PIC X(5).
000008 02 WELM2          PIC 9(5) BINARY.
000009 02 WELM3          PIC X(5).
000010 PROCEDURE        DIVISION.
000011 END PROGRAM      P2337.
```

P2337.cob 8: JMN2337I-S VALUE句を持つ集団項目に従属する項目のUSAGEは、DISPLAYでなければなりません。USAGE句を有効とみなします。

詳細な説明

集団項目への初期値の設定は、集団項目全体が1つの英数字項目であるかのように設定されるため、用途が表示用(USAGE IS DISPLAY)でない場合は有効な値になりません。

従属項目に指定された用途(USAGE)を有効とみなして処理を続けますが、このときオブジェクトファイルや実行形式は生成されません。

2.4.175 JMN2338I-S

FOOTING指定の整数は、論理ページの大きさ(語LINAGEに続く最初の整数の値)以下でなければなりません。FOOTING指定の整数を論理ページの大きさと同じとみなします。

例題

```
[P2338. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2338.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE               SECTION.
000009 FD SQFILE1 IS EXTERNAL
000010     LINAGE 66
000011     FOOTING 67.
000012 01 SQFIREC.
000013 02 PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 PROCEDURE          DIVISION.
000016 END PROGRAM        P2338.
```

P2338.cob 11: JMN2338I-S FOOTING指定の整数は、論理ページの大きさ(語LINAGEに続く最初の整数の値)以下でなければなりません。FOOTING指定の整数を論理ページの大きさと同じとみなします。

詳細な説明

FOOTING指定は、脚書き領域の開始行を指定します。脚書き領域はページ本体内に含まれるため、この行数を超える値は不当です。

2.4.176 JMN2341I-S

@1@項目は、定数節に定義できません。書かれたとおり、受け入れます。

埋め込みの説明

@1@ : 指標データまたは外部浮動小数点。

例題

```
[P2341. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2341.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 CONSTANT          SECTION.
000006 01 WIX            INDEX.
000007 PROCEDURE        DIVISION.
000008 END PROGRAM        P2341.
```

P2341.cob 6: JMN2341I-S 指標データ項目は、定数節に定義できません。書かれたとおり、受け入れます。

詳細な説明

定数節で宣言するデータ記述項は、必ずVALUE句を指定して初期値を与えなければなりません。初期値を持つことができない項目は、定数節には定義できません。

2.4.177 JMN2343I-W

RECORD句で指定した整数(最大文字位置数)はレコード長と等しいか大きくなければなりません。RECORD句は、無効になります。

例題

```
[P2343.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2343.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA             DIVISION.
000009 FILE               SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     RECORD CONTAINS 30 TO 70.
000012 01 SQF1REC.
000013 02             PIC X(80).
000014 PROCEDURE         DIVISION.
000015 END PROGRAM        P2343.
```

P2343.cob 10: JMN2343I-W RECORD句で指定した整数(最大文字位置数)はレコード長と等しいか大きくなければなりません。RECORD句は、無効になります。

詳細な説明

RECORD句ではレコードの大きさを指定します。実際のレコード長は、同句で指定する値を超えてはなりません。

2.4.178 JMN2350I-S

ブロック長は、レコード長以上でなければなりません。BLOCK CONTAINS句は、無効になります。

例題

```
[P2350.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P2350.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA             DIVISION.
000010 FILE               SECTION.
000011 FD SQFILE1
000012     BLOCK CONTAINS 20.
000013 01 SQF1REC.
000014 02             PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 PROCEDURE         DIVISION.
000017 END PROGRAM        P2350.
```

P2350.cob 11: JMN2350I-S ブロック長は、レコード長以上でなければなりません。BLOCK CONTAINS句は、無効になります。

詳細な説明

このコンパイラでは、BLOCK CONTAINS句は注釈とみなされます。実行時には意味を持ちませんが、句の解析は行われます。

2.4.179 JMN2354I-S

名前'@1@'は、EXTERNAL句付きの名前としてすでに定義されています。EXTERNAL句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった利用者語。

例題

```
[P2354.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2354.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 FILE              SECTION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 EXNM  IS EXTERNAL
000008                PIC X(2).
000009 01 EXNM  IS EXTERNAL
000010                PIC X(2).
000011 PROCEDURE      DIVISION.
000012 END PROGRAM      P2354.
```

P2354.cob 9: JMN2354I-S 名前'EXNM'は、EXTERNAL句付きの名前としてすでに定義されています。EXTERNAL句は無効になります。

2.4.180 JMN2357I-S

THROUGH指定のデータ名の領域の右端は、RENAMES句のデータ名の領域の右端より右になければなりません。

例題

```
[P2357.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2357.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WELM1  PIC X(20).
000008 02 WELM2 REDEFINES WELM1
000009                PIC X(2).
000010 66 RGRP RENAMES WELM1 THRU WELM2.
000011 PROCEDURE      DIVISION.
000012 END PROGRAM      P2357.
```

P2357.cob 10: JMN2357I-S THROUGH指定のデータ名の領域の右端は、RENAMES句のデータ名の領域の右端より右になければなりません。

詳細な説明

THROUGH指定(THROUGHとTHRUとは同義語)が書かれると、RENAMES記述項は集団項目とみなされ、この集団項目の領域の範囲が再命名されます。このとき、RENAMES句の直後に書かれたデータ名がこの集団項目の最初の項目(再命名の開始位置)となり、一方、THROUGH指定の直後に書かれたデータ名がこの集団項目の最後の項目(再命名の終了位置)となります。終了位置の後ろに開始位置が出現してはなりません。

2.4.181 JMN2358I-W

'@1@'句は、整列併合用ファイルに指定することはできません。

埋め込みの説明

@1@ : ACCESS MODE, ACTUAL KEY, ALTERNATE RECORD KEY, CONTROL AREA, FILE-LIMIT, FILE STATUS, NOMINAL KEY, PADDING CHARACTER, PROCESSING MODE, RECORD DELIMITER, RECORD KEY, RELATIVE KEY, RESERVE, TRACK-AREA, TRACK-LIMIT, SYMBOLIC KEY, ORGANIZATION, POSITIONING POINTER, FORMAT, GROUP, SYMBOLIC DESTINATION, DESTINATION-1, DESTINATION-2, DESTINATION-3, SELECTED FUNCTION, UNIT CONTROL, MESSAGE MODE, END KEY, SESSION CONTROL, PROCESSING CONTROL, MESSAGE CLASS, PASSWORD, MESSAGE OWNER, MESSAGE CODE, MESSAGE SEQUENCE, DESTINATION CONTROL, PROCESSING TIME, LOCK MODEまたはFORMAT CONTROL.

例題

```
[P2358.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2358.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SRTFILE ASSIGN TO SYS001
000007     RESERVE 20 AREAS.
000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA              DIVISION.
000010 FILE               SECTION.
000011 SD SRTFILE.
000012 01 SQFIREC.
000013 02                PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 PROCEDURE          DIVISION.
000016 END PROGRAM        P2358.
```

P2358.cob 7: JMN2358I-W 'RESERVE'句は、整列併合用ファイルに指定することはできません。

詳細な説明

整列併合用ファイルは内部的に生成されるファイルです。整列併合機能のファイル管理記述項には、SELECT句とASSIGN句だけを記述します。

2.4.182 JMN2359I-W

BLANK WHEN ZERO句を符号付き外部10進項目に指定した場合、符号なしとして扱います。

例題

```
[P2359.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2359.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA              DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WNE1            PIC 9(9) DISPLAY
000007                    BLANK WHEN ZERO. *> OK
000008 01 WNE2            PIC S9(9) DISPLAY
000009                    BLANK WHEN ZERO. *> ERROR
000010 PROCEDURE          DIVISION.
000011 END PROGRAM        P2359.
```

P2359.cob 9: JMN2359I-W BLANK WHEN ZERO句を符号付き外部10進項目に指定した場合、符号なしとして扱います。

詳細な説明

数字項目にBLANK WHEN ZERO句を指定する場合、数字項目は符号なしの外部10進項目でなければなりません。

2.4.183 JMN2365I-S

@1@句のデータ名'@2@'は、ポインタデータ項目であってはなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 環境部, データ部に記述する句または指定で, データ名の指定が必要なもの. ただし, REDEFINES句, RENAME句または OCCURS句のASCENDING/DESENDING KEY IS指定は除く.

@2@ : エラーの原因となったデータ名.

例題

```
[P2365.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2365.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 FD SQFILE1
00010     RECORD VARYING IN SIZE
00011     DEPENDING ON LRECL.
00012 01 SQF1REC.
00013 02          PIC X(80).
00014 WORKING-STORAGE SECTION.
00015 01 LRECL      POINTER.
00016 PROCEDURE     DIVISION.
00017 END PROGRAM    P2365.
```

P2365.cob 11: JMN2365I-S RECORD句のデータ名'LRECL'は、ポインタデータ項目であってはなりません。

2.4.184 JMN2366I-S

BASED ON句のデータ名は、ポインタデータ項目でなければなりません。ただし、手続きポインタデータ項目であってはなりません。

例題

```
[P2366.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2366.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 BASED-STORAGE     SECTION.
000006 01 WBUF1          PIC X(20) BASED ON WNUM.
000007 01 WBUF2          PIC X(20) BASED ON WPX1.
000008 01 WBUF3          PIC X(20) BASED ON WPX2.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 WNUM            PIC S9(9).
000011 01 WPX1           POINTER.
000012 01 WPX2           PROCEDURE-POINTER.
000013 PROCEDURE         DIVISION.
000014 END PROGRAM         P2366.
```

P2366.cob 6: JMN2366I-S BASED ON句のデータ名は、ポインタデータ項目でなければなりません。ただし、手続きポインタデータ項目であってはなりません。

P2366.cob 8: JMN2366I-S BASED ON句のデータ名は、ポインタデータ項目でなければなりません。ただし、手続きポインタデータ項目であってはなりません。

詳細な説明

BASED ON句は、基底場所節のデータ項目に暗黙のポインタ修飾子を指定する句であり、そのポインタ修飾に使用するポインタデータ項目をBASED ON句のデータ名として指定します。

2.4.185 JMN2370I-I

[Linux64]

利用者語'@1@'が多重定義です。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった利用者語。

例題

```
[P2370. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2370.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A              PIC X(1).
000007 78 A              VALUE "A".
000008 PROCEDURE         DIVISION.
000009 END PROGRAM      P2370.
```

P2370.cob 7: JMN2370I-I 利用者語'A'が多重定義です。

詳細な説明

この診断メッセージが出力される場合、以下の原因が考えられます。

- ・ 名前付き定数を同じ名前で複数宣言した。

2.4.186 JMN2372I-S

LENGTH OFで指定されたデータ項目は、名前付き定数@1@の宣言よりも前に完結していなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった名前付き定数名。

例題

```
[P2372. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2372.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 78 WNCT           VALUE LENGTH OF WGRP.
000007 01 WGRP.
000008 02 WELM1          PIC X(10).
000009 02 WELM2          PIC N(10).
000010 PROCEDURE         DIVISION.
000011 END PROGRAM      P2372.
```

P2372.cob 6: JMN2372I-S LENGTH OFで指定されたデータ項目は、名前付き定数WNCTの宣言よりも前に完結していなければなりません。

詳細な説明

名前付き定数のデータ記述項(レベル番号が78)でLENGTH OFを指定した場合、LENGTH OFで指定したデータ名の項目長がその名前付き定数の値となります。当該名前付き定数の宣言が表れるよりも前に、LENGTH OF指定のデータ項目の大きさが確定している必要があります。

2.4.187 JMN2374I-S

LENGTH OFで指定されたデータ項目は、内部ブール項目であってはなりません。

例題

```
[P2374.cob]
000001 PROGRAM-ID.    P2374 .
000002 ENVIRONMENT    DIVISION.
000003 DATA           DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 77 X PIC 1(8) USAGE BIT.
000006 78 V1 VALUE IS LENGTH OF X.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008     EXIT PROGRAM.
```

P2374.cob 6: JMN2374I-S LENGTH OFで指定されたデータ項目は、内部ブール項目であってはなりません。

詳細な説明

名前付き定数のデータ記述項(レベル番号が78)でLENGTH OFを指定した場合、LENGTH OFで指定したデータ名の項目長がその名前付き定数の値となります。ビット単位での大きさを名前付き定数の値にすることはできません。

2.4.188 JMN2375I-S

LENGTH OFで指定されたデータ項目に、@1@句が指定されています。この名前付き定数は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : ANY LENGTHまたはTYPE.

例題

```
[C2375.cob]
000001 CLASS-ID.      C2375 .
000002 ENVIRONMENT    DIVISION.
000003 OBJECT.
000004 PROCEDURE       DIVISION.
000005 METHOD-ID.        M2375.
000006 DATA           DIVISION.
000007 LINKAGE          SECTION.
000008 01 X PIC N ANY LENGTH.
000009 78 V1 VALUE IS
000010     LENGTH OF X.
000011 PROCEDURE DIVISION USING X.
000012     EXIT METHOD.
000013 END METHOD        M2375.
000014 END OBJECT.
000015 END CLASS       C2375.
```

C2375.cob 10: JMN2375I-S LENGTH OFで指定されたデータ項目に、ANY LENGTH句が指定されています。この名前付き定数は無効になります。

詳細な説明

名前付き定数のデータ記述項(レベル番号が78)でLENGTH OFを指定した場合、LENGTH OFで指定したデータ名の項目長がその名前付き定数の値となります。LENGTH OFに指定されたデータ記述項にTYPE句やANY LENGTH句が指定されていると、項目長が確定できないのでこれらの句は指定できません。

2.4.189 JMN2384I-S

@1@句のデータ名は、基底場所節以外に定義されていなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : APPLY REORG-CRITERIA.

例題

```
[P2384.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2384.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IXFILE1 ASSIGN TO I-SYS001
000007         ACCESS MODE      IS RANDOM
000008         NOMINAL KEY       IS WNKEY
000009         RECORD KEY        IS WRKEY.
000010 I-O-CONTROL.
000011     APPLY REORG-CRITERIA TO WRORG ON IXFILE1.
000012 DATA              DIVISION.
000013 BASED-STORAGE      SECTION.
000014 01 WRORG           PIC X(8).
000015 FILE              SECTION.
000016 FD IXFILE1.
000017 01 IXFIREC.
000018 02 WRKEY            PIC X(2).
000019 02                 PIC X(80).
000020 WORKING-STORAGE SECTION.
000021 01 WNKEY           PIC X(2).
000022 PROCEDURE         DIVISION.
000023 END PROGRAM        P2384.
```

P2384.cob 11: JMN2384I-S APPLY REORG-CRITERIA句のデータ名は、基底場所節以外に定義されていなければなりません。

詳細な説明

APPLY REORG-CRITERIA句は、OSIV系システムの固有機能です。

2.4.190 JMN2385I-S

@1@句のデータ名 '@2@' は、基底場所節以外に定義されていなければなりません。データ名は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : LINEAGEまたはOCCURS.

@2@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[C23851.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C23851.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT AFILE1 ASSIGN DD1
000007         ORGANIZATION INDEXED
000008         RECORD KEY IS RR1.
000009 DATA DIVISION.
000010 BASED-STORAGE SECTION.
000011 01 RK1              PIC X(5).
```

```

000012 FILE SECTION.
000013   FD AFILE1 .
000014   01 AREC1.
000015   02 RR1   PIC X(2).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017   01 WREC1.
000018   02 BREC2 OCCURS 10 DEPENDING ON RK1 PIC X(2).
000019 PROCEDURE DIVISION.
000020 END PROGRAM C23851.

```

C23851.cob 18: JMN2385I-S OCCURS句のデータ名'RK1'は、基底場所節以外に定義されていなければなりません。データ名は、無効になります。

2.4.191 JMN2393I-S

[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

FILE STATUS句のデータ名 '@1@'は作業場所節または連絡節に定義しなければなりません。

[Linux64]

FILE STATUS句のデータ名 '@1@'は作業場所節、局所記憶節または連絡節に定義しなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```

[P2393.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2393.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006   SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007   ORGANIZATION      IS SEQUENTIAL
000008   FILE STATUS       IS WFS1.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA              DIVISION.
000011 FILE                SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQF1REC.
000014 02                PIC X(80).
000015 CONSTANT            SECTION.
000016 01 WFS1            PIC X(2) VALUE SPACE.
000017 PROCEDURE          DIVISION.
000018 END PROGRAM          P2393.

```

- **[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]**

P2393.cob 8: JMN2393I-S FILE STATUS句のデータ名'WFS1'は作業場所節または連絡節に定義しなければなりません。

- **[Linux64]**

P2393.cob 8: JMN2393I-S FILE STATUS句のデータ名'WFS1'は作業場所節、局所記憶節または連絡節に定義しなければなりません。

2.4.192 JMN2394I-S

[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

FILE STATUS句のデータ名 '@1@'は作業場所節または連絡節に定義しなければなりません。データ名は、無効になります。

[Linux64]

FILE STATUS句のデータ名 '@1@' は作業場所節、局所記憶節または連絡節に定義しなければなりません。データ名は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2394.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2394.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO VS-SYS001
000007     ORGANIZATION    IS SEQUENTIAL
000008     FILE STATUS      IS WFS1 WFS2.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA              DIVISION.
000011 FILE                SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQF1REC.
000014 02                  PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 WFS1              PIC X(2).
000017 CONSTANT            SECTION.
000018 01 WFS2              PIC X(2) VALUE SPACE.
000019 PROCEDURE           DIVISION.
000020 END PROGRAM          P2394.
```

- [Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

P2394.cob 8: JMN2394I-S FILE STATUS句のデータ名 'WFS2' は作業場所節または連絡節に定義しなければなりません。データ名は、無効になります。

- [Linux64]

P2394.cob 8: JMN2394I-S FILE STATUS句のデータ名 'WFS2' は作業場所節、局所記憶節または連絡節に定義しなければなりません。データ名は、無効になります。

2.4.193 JMN2395I-S

FILE STATUS句のデータ名 '@1@' の項目長は、2バイトでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2395.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2395.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION    IS SEQUENTIAL
000008     FILE STATUS      IS WFS1.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA              DIVISION.
000011 FILE                SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQF1REC.
```

000014	02	PIC X(80).
000015	LINKAGE	SECTION.
000016	01 WFS1	PIC X(4).
000017	PROCEDURE	DIVISION USING WFS1.
000018	END PROGRAM	P2395.

P2395.cob 8: JMN2395I-S FILE STATUS句のデータ名'WFS1'の項目長は、2バイトでなければなりません。

詳細な説明

FILE STATUS句では、入出力状態を参照するためのデータ項目を指定します。入出力状態とは、入出力文の結果を示す2文字の概念上の領域です。

2.4.194 JMN2396I-S

FILE STATUS句のデータ名'@1@'の項目長は、@2@バイトでなければなりません。データ名は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

@2@ : 整数(データ長)

例題

```
[P2396.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2396.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO VS-SYS001
000007     ORGANIZATION   IS SEQUENTIAL
000008     FILE STATUS     IS WFS1 WFS2.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA             DIVISION.
000011 FILE               SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQFIREC.
000014 02                PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 WFS1            PIC X(2).
000017 01 WFS2            PIC X(2).
000018 PROCEDURE         DIVISION.
000019 END PROGRAM        P2396.
```

P2396.cob 8: JMN2396I-S FILE STATUS句のデータ名'WFS2'の項目長は、6バイトでなければなりません。データ名は、無効になります。

詳細な説明

FILE STATUS句の2個めのデータ名には、入出力状態の詳細情報を参照するためのデータ項目を指定します。入出力状態とは、入出力文の結果を示す2文字の概念上の領域です。入出力状態の詳細情報は、入出力文の結果の詳細を示す概念上の領域です。

FORMAT句付きの印刷ファイルまたは表示ファイルでは、入出力状態の詳細情報は4文字の領域です。VSAM編成ファイルでは、入出力状態の詳細情報は6文字の領域です。(VSAM順ファイルは、OSIV系システムの固有機能です。)

2.4.195 JMN2397I-S

FILE STATUS句の詳細情報を示すデータ名は、表示ファイル(編成GS)、FORMAT句指定の印刷ファイル、順ファイル(編成ASまたはVS)、相対ファイルまたは索引ファイルにのみ指定することができます。

例題

```
[P2397.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2397.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007         ORGANIZATION IS SEQUENTIAL
000008         FILE STATUS   IS WFS1 WFS2.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA            DIVISION.
000011 FILE              SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQFIREC.
000014 02              PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 WFS1          PIC X(2).
000017 01 WFS2          PIC X(2).
000018 PROCEDURE        DIVISION.
000019 END PROGRAM        P2397.
```

P2397.cob 8: JMN2397I-S FILE STATUS句の詳細情報を示すデータ名は、表示ファイル(編成GS)、FORMAT句指定の印刷ファイル、順ファイル(編成ASまたはVS)、相対ファイルまたは索引ファイルにのみ指定することができます。

詳細な説明

FILE STATUS句の2個めで指定するデータ名が、詳細情報を示すデータ名です。所定のファイルでだけ、詳細情報となるデータ項目を同句で指定できます。

なお、編成ASまたはVSの順ファイルは、OSIV系システム固有の機能です。

2.4.196 JMN2398I-S

SYMBOLIC DESTINATION句には、データ名または3文字の文字定数を指定しなければなりません。

例題

```
[P2398.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2398.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT PRFILE1 ASSIGN TO GS-SYS001
000007         SYMBOLIC DESTINATION IS "ABCD".
000008 DATA            DIVISION.
000009 FILE              SECTION.
000010 FD PRFILE1.
000011 01 PRFIREC.
000012 02              PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 PROCEDURE        DIVISION.
000015 END PROGRAM        P2398.
```

P2398.cob 7: JMN2398I-S SYMBOLIC DESTINATION句には、データ名または3文字の文字定数を指定しなければなりません。

詳細な説明

SYMBOLIC DESTINATION句では、あて先種別(入出力文を実行する対象になる装置)を指定します。各あて先には3文字の名称があらかじめ付与されており、この名称によって識別されます。

2.4.197 JMN2399I-S

SYMBOLIC DESTINATION句の文字定数@1@は、指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった文字定数の値.

例題

```
[P2399. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2399.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT PRFILE1 ASSIGN TO GS-SYS001
000007     SYMBOLIC DESTINATION IS "ABC".
000008 DATA              DIVISION.
000009 FILE              SECTION.
000010 FD PRFILE1.
000011 01 PRFIREC.
000012 02                PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 PROCEDURE          DIVISION.
000015 END PROGRAM         P2399.
```

P2399.cob 7: JMN2399I-S SYMBOLIC DESTINATION句の文字定数"ABC"は、指定できません.

詳細な説明

SYMBOLIC DESTINATION句では、あて先種別(入出力文を実行する対象になる装置)を指定します. 各あて先には3文字の名称があらかじめ付与されており、この名称によって識別されます.

2.4.198 JMN2400I-S

SOURCE句に修飾付きのPAGE-COUNTERまたはLINE-COUNTERを指定する場合、一意な報告書名で修飾しなければなりません。

例題

```
[P2400. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2400.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPF1E1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA              DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 FD REPF1E1 REPORT REP1.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 REPORT            SECTION.
000012 RD REP1 PAGE     46
000013                HEADING 1
000014                FIRST DETAIL 7
000015                LAST DETAIL 44.
000016 01 TYPE PAGE HEADING.
000017 02 LINE 01 COLUMN 35
000018                PIC S9(6) SOURCE LINE-COUNTER OF REPF1E1.
000019 PROCEDURE          DIVISION.
000020 END PROGRAM         P2400.
```


P2400.cob 19: JMN2400I-S SOURCE句に修飾付きのPAGE-COUNTERまたはLINE-COUNTERを指定する場合、一意な報告書名で修飾しなければなりません。

詳細な説明

PAGE-COUNTER(ページカウンタ)またはLINE-COUNTER(行カウンタ)は、報告書作成機能で使用する特殊レジスタです。これらの特殊レジスタは、報告書ごとに生成されます。PAGE-COUNTERまたはLINE-COUNTERを修飾する場合は、報告書名(レベル指示語RDに続く名標)で修飾しなければなりません。

2.4.199 JMN2401I-S

SOURCE句の一意名が、未定義です。

例題

```
[P2401. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2401.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE               SECTION.
000009 FD REPFIL REPORT REP1.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 REPORT             SECTION.
000012 RD REP1 PAGE      46
000013                 HEADING 1
000014                 FIRST DETAIL  7
000015                 LAST DETAIL  44.
000016 01 TYPE PAGE HEADING.
000017 02 LINE 01 COLUMN 35 PIC N(6) SOURCE REP-SOU.
000018 PROCEDURE          DIVISION.
000019 END PROGRAM        P2401.
```

P2401.cob 17: JMN2401I-S SOURCE句の一意名が、未定義です。

2.4.200 JMN2402I-S

SOURCE句の一意名が、一意ではありません。

例題

```
[P2402. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2402.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE               SECTION.
000009 FD REPFIL REPORT REP1.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01 REP-SOU         PIC N(6).
000012 01 REP-SOU         PIC X(12).
000013 REPORT             SECTION.
000014 RD REP1 PAGE      46
000015                 HEADING 1
000016                 FIRST DETAIL  7
000017                 LAST DETAIL  44.
000018 01 TYPE PAGE HEADING.
```

```
000019 02 LINE 01 COLUMN 35 PIC N(6) SOURCE REP-SOU.  
000020 PROCEDURE DIVISION.  
000021 END PROGRAM P2402.
```

P2402.cob 19: JMN2402I-S SOURCE句の一意名が、一意ではありません。

2.4.201 JMN2403I-S

SOURCE句の一意名は、データ名、PAGE-COUNTERまたはLINE-COUNTERでなければなりません。

例題

```
[P2403.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. P2403.  
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.  
000005 FILE-CONTROL.  
000006 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.  
000007 DATA DIVISION.  
000008 FILE SECTION.  
000009 FD REPFIL REPORT REP1.  
000010 WORKING-STORAGE SECTION.  
000011 REPORT SECTION.  
000012 RD REP1 PAGE 46  
000013 HEADING 1  
000014 FIRST DETAIL 7  
000015 LAST DETAIL 44.  
000016 01 TYPE PAGE HEADING.  
000017 02 LINE 01 COLUMN 35 PIC N(6) SOURCE LABEL1.  
000018 PROCEDURE DIVISION.  
000019 LABEL1.  
000020 END PROGRAM P2403.
```

P2403.cob 17: JMN2403I-S SOURCE句の一意名は、データ名、PAGE-COUNTERまたはLINE-COUNTERでなければなりません。

詳細な説明

SOURCE句は、印字項目に転記される値の送出し側データ項目を指定する句です。同句には、データ項目あるいは、ページカウンタ/行カウンタを示す特殊レジスタを指定できます。

報告書作成管理システムが報告集団の印字行を作成するときに、SOURCE句で指定された項目を送出し側とする暗黙のMOVE文を実行します。

2.4.202 JMN2404I-S

ページ頭書き報告集団またはページ脚書き報告集団のSOURCE句には、制御データ項目は指定できません。

例題

```
[P2404.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. P2404.  
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.  
000005 FILE-CONTROL.  
000006 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.  
000007 DATA DIVISION.  
000008 FILE SECTION.  
000009 FD REPFIL REPORT REP1.  
000010 WORKING-STORAGE SECTION.  
000011 01 WCTL PIC X(5).  
000012 REPORT SECTION.
```

```

000013 RD REP1 PAGE 46
000014          HEADING 1
000015          FIRST DETAIL 7
000016          LAST DETAIL 44
000017          CONTROL WCTL.
000018 01 TYPE PAGE HEADING.
000019 02 LINE 01 COLUMN 35 PIC X(5) SOURCE WCTL.
000020 PROCEDURE DIVISION.
000021 END PROGRAM P2404.

```

P2404.cob 19: JMN2404I-S ページ頭書き報告集団またはページ脚書き報告集団のSOURCE句には、制御データ項目は指定できません。

2.4.203 JMN2405I-S

SUM句は、制御脚書き報告集団以外に指定できません。

例題

```

[P2405. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2405.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD REPFIL REPORT REP1.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01 WITM PIC 9(5).
000012 REPORT SECTION.
000013 RD REP1 PAGE 46
000014          HEADING 1
000015          FIRST DETAIL 7
000016          LAST DETAIL 44.
000017 01 TYPE PAGE HEADING.
000018 02 LINE 01 COLUMN 35 PIC 9(5) SUM WITM.
000019 PROCEDURE DIVISION.
000020 END PROGRAM P2405.

```

P2405.cob 18: JMN2405I-S SUM句は、制御脚書き報告集団以外に指定できません。

2.4.204 JMN2406I-S

@1@句の名標'@2@'は、未定義です。

埋め込みの説明

@1@ : RESET, SUMまたはUPON.

@2@ : エラーの原因となったデータ名.

例題

```

[P2406. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2406.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA DIVISION.

```

```

000008 FILE          SECTION.
000009 FD REPFILE REPORT REP1.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01 WCTL          PIC X(5).
000012 REPORT          SECTION.
000013 RD REP1 PAGE    46
000014                HEADING 1
000015                FIRST DETAIL  7
000016                LAST DETAIL  44
000017                CONTROL WCTL.
000018 01  TYPE CF WCTL.
000019 02  LINE 43 COLUMN 35 PIC 9(5) SUM WITM.
000020 PROCEDURE        DIVISION.
000021 END PROGRAM      P2406.

```

P2406.cob 19: JMN2406I-S SUM句の名標'WITM'は、未定義です。

2.4.205 JMN2407I-S

@1@句の名標'@2@'は、一意ではありません。

埋め込みの説明

@1@ : RESET, SUMまたはUPON.

@2@ : エラーの原因となったデータ名.

例題

```

[P2407. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2407.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFILE ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA              DIVISION.
000008 FILE                SECTION.
000009 FD REPFILE REPORT REP1.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01 WCTL              PIC X(5).
000012 01 WITM              PIC X(5).
000013 01 WITM              PIC X(5).
000014 REPORT              SECTION.
000015 RD REP1 PAGE        46
000016                HEADING 1
000017                FIRST DETAIL  7
000018                LAST DETAIL  44
000019                CONTROL WCTL.
000020 01  TYPE CF WCTL.
000021 02  LINE 43 COLUMN 35 PIC 9(5) SUM WITM.
000022 PROCEDURE          DIVISION.
000023 END PROGRAM          P2407.

```

P2407.cob 21: JMN2407I-S SUM句の名標'WITM'は、一意ではありません。

2.4.206 JMN2408I-S

@1@句の名標'@2@'は、データ名でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : RESET, SUMまたはUPON.

@2@ : エラーの原因となったデータ名.

例題

```
[P2408.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2408.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE               SECTION.
000009 FD REPFIL REPORT REP1.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01 WCTL           PIC X(5).
000012 REPORT            SECTION.
000013 RD REP1 PAGE     46
000014                 HEADING 1
000015                 FIRST DETAIL 7
000016                 LAST DETAIL 44
000017                 CONTROL WCTL.
000018 01 TYPE CF WCTL.
000019 02 LINE 43 COLUMN 35 PIC 9(5) SUM REP1.
000020 PROCEDURE          DIVISION.
000021 LABEL1.
000022 END PROGRAM       P2408.
```

P2408.cob 19: JMN2408I-S SUM句の名標'REP1'は、データ名でなければなりません.

2.4.207 JMN2409I-S

REPORT句の報告書名 '@1@' は、すでに他のファイルに指定されています. この報告書名は、無効となります.

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった報告書名.

例題

```
[P2409.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2409.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL1 ASSIGN TO SYS001.
000007     SELECT REPFIL2 ASSIGN TO SYS001.
000008 DATA             DIVISION.
000009 FILE               SECTION.
000010 FD REPFIL1 REPORT REP1.
000011 FD REPFIL2 REPORT REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 WCTL           PIC X(5).
000014 REPORT            SECTION.
000015 RD REP1 PAGE     46
000016                 HEADING 1
000017                 FIRST DETAIL 7
000018                 CONTROL WCTL.
000019 01 TYPE PAGE HEADING.
000020 02 LINE 01 COLUMN 35 PIC N(6) VALUE SPACE.
000021 PROCEDURE          DIVISION.
```

```
000022 LABEL1.  
000023 END PROGRAM      P2409.
```

P2409.cob 11: JMN2409I-S REPORT句の報告書名'REP1'は、すでに他のファイルに指定されています。この報告書名は、無効となります。

2.4.208 JMN2410I-S

REPORT句の報告書名 '@1@' は、すでにこの句で指定されています。この報告書名は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった報告書名。

例題

```
[P2410. cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      P2410.  
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.  
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.  
000005 FILE-CONTROL.  
000006     SELECT REPF1E1 ASSIGN TO SYS001.  
000007 DATA              DIVISION.  
000008 FILE                SECTION.  
000009 FD REPF1E1 REPORT REP1 REP1.  
000010 WORKING-STORAGE SECTION.  
000011 01 WCTL             PIC X(5).  
000012 REPORT              SECTION.  
000013 RD REP1 PAGE 46  
000014             HEADING 1  
000015             FIRST DETAIL 7  
000016             CONTROL WCTL.  
000017 01 TYPE PAGE HEADING.  
000018 02 LINE 01 COLUMN 35 PIC N(6) VALUE SPACE.  
000019 PROCEDURE          DIVISION.  
000020 LABEL1.  
000021 END PROGRAM      P2410.
```

P2410.cob 9: JMN2410I-S REPORT句の報告書名'REP1'は、すでにこの句で指定されています。この報告書名は、無効となります。

2.4.209 JMN2411I-S

報告書記述項の報告書名が、REPORT句に指定されていません。この報告書記述項および報告集団記述項は、無効となります。

例題

```
[P2411. cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      P2411.  
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.  
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.  
000005 FILE-CONTROL.  
000006 DATA              DIVISION.  
000007 WORKING-STORAGE SECTION.  
000008 01 WCTL             PIC X(5).  
000009 REPORT              SECTION.  
000010 RD REP1 PAGE 46  
000011             HEADING 1  
000012             FIRST DETAIL 7  
000013             CONTROL WCTL.  
000014 01 TYPE PAGE HEADING.
```

```
000015 02 LINE 01 COLUMN 35 PIC N(6) VALUE SPACE.
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017 LABEL1.
000018 END PROGRAM P2411.
```

P2411.cob 10: JMN2411I-S 報告書記述項の報告書名が, REPORT句に指定されていません. この報告書記述項および報告集団記述項は, 無効となります.

詳細な説明

報告書名(報告書記述項のレベル指示語RDに続く名標)は, 関連する報告書ファイルのファイル記述項のREPORT句で指定しなければなりません.

2.4.210 JMN2412I-S

SUM句の一意名 '@1@' は, 数字項目でなければなりません. この一意名は, 無効となります.

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名.

例題

```
[P2412.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2412.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD REPFIL REPORT REP1.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01 WCTL PIC X(5).
000012 REPORT SECTION.
000013 RD REP1 PAGE 46
000014 HEADING 1
000015 FIRST DETAIL 7
000016 LAST DETAIL 44
000017 CONTROL WCTL.
000018 01 TYPE CF WCTL.
000019 02 LINE 43 COLUMN 35 PIC 9(5) SUM WCTL.
000020 PROCEDURE DIVISION.
000021 END PROGRAM P2412.
```

P2412.cob 19: JMN2412I-S SUM句の一意名 'WCTL' は, 数字項目でなければなりません. この一意名は, 無効となります.

詳細な説明

SUM句に続けて指定する一意名は, 合計の対象となるデータ項目です. これらの値は合計カウンタに加算されます.

合計カウンタは, コンパイラが生成する演算符号付きの数字データ項目です.

2.4.211 JMN2413I-S

SUM句にUPONが指定されている場合, SUM句の一意名 '@1@' は, 報告書節中のデータ名であってはなりません. この一意名は, 無効となります.

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名.

例題

```
[P2413. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2413.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA             DIVISION.
000009 FILE               SECTION.
000010 FD REPFIL
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD            PIC 9(2).
000014 REPORT             SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016     CONTROL CTLD.
000017 01 TYPE DE.
000018     02 LINE PLUS 1.
000019     03 TARGET COLUMN 10
000020             PIC S9(4) SOURCE CTLD.
000021 01 TYPE CF CTLD.
000022     02             PIC S9(4) SUM TARGET UPON CTLD.
000023 PROCEDURE          DIVISION.
000024 END PROGRAM         P2413.
```

P2413.cob 22: JMN2413I-S SUM句にUPONが指定されている場合、SUM句の一意名'TARGET'は、報告書節中のデータ名であってはなりません。この一意名は、無効となります。

2.4.212 JMN2414I-S

SUM句にUPONが指定されていない場合、報告書節中のデータ名 '@1@' は、合計カウンタでなければなりません。このデータ名は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2414. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2414.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA             DIVISION.
000009 FILE               SECTION.
000010 FD REPFIL
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD            PIC 9(2).
000014 REPORT             SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016     CONTROL CTLD.
000017 01 TYPE DE.
000018     02 LINE PLUS 1.
000019     03 TARGET COLUMN 10
000020             PIC S9(4) SOURCE CTLD.
```



```

000021 01 TYPE CF CTLD.
000022 02          PIC S9(4) SUM TARGET.
000023 PROCEDURE   DIVISION.
000024 END PROGRAM P2414.

```

P2414.cob 22: JMN2414I-S SUM句にUPONが指定されていない場合、報告書節中のデータ名'TARGET'は、合計カウンタでなければなりません。このデータ名は、無効となります。

2.4.213 JMN2415I-S

SUM句の一意名 '@1@' が合計カウンタの場合、同一報告書の合計カウンタでなければなりません。この一意名は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```

[P2415. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2415.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA           DIVISION.
000009 FILE            SECTION.
000010 FD REPFIL1
000011     REPORT IS REP1 REP2.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD1        PIC 9(2).
000014 01 CTLD2        PIC 9(2).
000015 REPORT          SECTION.
000016 RD REP1 PAGE 66
000017     CONTROL CTLD1.
000018 01 TYPE CF CTLD1.
000019 02 TARGET       PIC S9(4) SUM CTLD1.
000020 RD REP2 PAGE 66
000021     CONTROL CTLD2.
000022 01 TYPE CF CTLD2.
000023 02          PIC S9(4) SUM TARGET.
000024 PROCEDURE       DIVISION.
000025 END PROGRAM      P2415.

```

P2415.cob 23: JMN2415I-S SUM句の一意名'TARGET'が合計カウンタの場合、同一報告書の合計カウンタでなければなりません。この一意名は、無効となります。

2.4.214 JMN2416I-S

SUM句の一意名 '@1@' が合計カウンタの場合、上位レベルの制御脚書き報告集団中の合計カウンタであってはなりません。この一意名は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```

[P2416. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2416.

```

```

000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA            DIVISION.
000009 FILE              SECTION.
000010 FD REPFIL
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD1          PIC 9(2).
000014 01 CTLD2          PIC 9(2).
000015 REPORT            SECTION.
000016 RD REP1 PAGE 66
000017     CONTROL CTLD1 CTLD2.
000018 01 TYPE CF CTLD1.
000019 02 TARGET         PIC S9(4) SUM CTLD1.
000020 01 TYPE CF CTLD2.
000021 02               PIC S9(4) SUM TARGET.
000022 PROCEDURE        DIVISION.
000023 END PROGRAM       P2416.

```

P2416.cob 21: JMN2416I-S SUM句の一意名"TARGET"が合計カウンタの場合、上位レベルの制御脚書き報告集団中の合計カウンタであってはなりません。この一意名は、無効となります。

2.4.215 JMN2417I-S

UPONのデータ名 '@1@' は、SUM句が指定された制御脚書き報告集団と同一報告書中の明細報告集団の名前でなければなりません。このデータ名は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```

[P2417. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2417.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA              DIVISION.
000009 FILE                SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD             PIC 9(2).
000014 REPORT             SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016     CONTROL CTLD.
000017 01 DE-1 TYPE DE.
000018 02 LINE PLUS 1.
000019 03 TARGET COLUMN 10
000020     PIC S9(4) SOURCE CTLD.
000021 01 TYPE CF CTLD.
000022 02               PIC S9(4) SUM CTLD UPON TARGET.
000023 PROCEDURE          DIVISION.
000024 END PROGRAM        P2417.

```

P2417.cob 22: JMN2417I-S UPONのデータ名'TARGET'は, SUM句が指定された制御脚書き報告集団と同一報告書中の明細報告集団の名前でなければなりません. このデータ名は, 無効となります.

2.4.216 JMN2418I-S

SOURCE句の一意名が報告書節に定義されている場合, その一意名は, PAGE-COUNTER, LINE-COUNTERまたはそのSOURCE句が指定されたデータ名と同一報告書中の合計カウンタでなければなりません.

例題

```
[P2418. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2418.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA              DIVISION.
000009 FILE                SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD             PIC 9(2).
000014 REPORT              SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016     CONTROL CTLD.
000017 01 DE-1 TYPE DE.
000018 02 LINE PLUS 1.
000019 03                COLUMN 10
000020                PIC S9(4) SOURCE TARGET.
000021 01 TYPE CF CTLD.
000022 02 LINE PLUS 1.
000023 03 TARGET COLUMN 5 PIC X(10) VALUE SPACE.
000024 03 SC1             COLUMN 20 PIC S9(4) SUM CTLD.
000025 PROCEDURE          DIVISION.
000026 END PROGRAM        P2418.
```

P2418.cob 20: JMN2418I-S SOURCE句の一意名が報告書節に定義されている場合, その一意名は, PAGE-COUNTER, LINE-COUNTERまたはそのSOURCE句が指定されたデータ名と同一報告書中の合計カウンタでなければなりません.

2.4.217 JMN2420I-S

報告書ファイルは順ファイルでなければなりません. この報告書ファイルは無効となります.

例題

```
[P2420. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2420.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION    IS RELATIVE.
000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA              DIVISION.
000010 FILE                SECTION.
000011 FD REPFIL1
000012     REPORT IS REP1.
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 CTLD             PIC 9(2).
```

```
000015 REPORT          SECTION.
000016 RD REP1 PAGE 66
000017          CONTROL CTLD.
000018 01 TYPE CF CTLD.
000019 PROCEDURE      DIVISION.
000020 END PROGRAM     P2420.
```

P2420.cob 12: JMN2420I-S 報告書ファイルは順ファイルでなければなりません。この報告書ファイルは無効となります。

2.4.218 JMN2421I-S

REPORT句の報告書名'@1@'が、未定義です。この報告書名は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった報告書名。

例題

```
[P2421. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2421.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA             DIVISION.
000009 FILE               SECTION.
000010 FD REPFIL
000011     REPORT IS REP2.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD           PIC 9(2).
000014 REPORT           SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016     CONTROL CTLD.
000017 01 TYPE CF CTLD.
000018 PROCEDURE        DIVISION.
000019 END PROGRAM        P2421.
```

P2421.cob 11: JMN2421I-S REPORT句の報告書名'REP2'が、未定義です。この報告書名は、無効となります。

詳細な説明

報告書名(報告書記述項のレベル指示語RDに続く名標)は、関連する報告書ファイルのファイル記述項のREPORT句で指定しなければなりません。

2.4.219 JMN2422I-S

REPORT句の報告書名'@1@'が、一意ではありません。この報告書名は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった報告書名。

例題

```
[P2422. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2422.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
```

```

000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA          DIVISION.
000009 FILE            SECTION.
000010 FD REPFILE
000011      REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD          PIC 9(2).
000014 01 REP1          PIC 9(2).
000015 REPORT            SECTION.
000016 RD REP1 PAGE 66
000017      CONTROL CTLD.
000018 01 TYPE CF CTLD.
000019 PROCEDURE        DIVISION.
000020 END PROGRAM      P2422.

```

P2422.cob 11: JMN2422I-S REPORT句の報告書名'REP1'が、一意ではありません。この報告書名は、無効となります。

2.4.220 JMN2423I-S

REPORT句の名標'@1@'は、報告書名でなければなりません。この名標は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった利用者語。

例題

```

[P2423. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2423.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFILE ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA              DIVISION.
000009 FILE                SECTION.
000010 FD REPFILE
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD              PIC 9(2).
000014 01 REP1              PIC 9(2).
000015 PROCEDURE           DIVISION.
000016 END PROGRAM         P2423.

```

P2423.cob 11: JMN2423I-S REPORT句の名標'REP1'は、報告書名でなければなりません。この名標は、無効となります。

詳細な説明

REPORT句に指定する名標は、報告書名(報告書記述項のレベル指示語RDに続けて指定する名前)と同じものでなければなりません。

2.4.221 JMN2424I-S

CONTROL句の制御データ名'@1@'は、未定義です。この制御データ名は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```

[P2424. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2424.

```

```

000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA            DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 FD REPFIL REPORT REP1.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 REPORT            SECTION.
000012 RD REP1 PAGE    46
000013                HEADING 1
000014                FIRST DETAIL 7
000015                LAST DETAIL 44
000016                CONTROL WCTL.
000017 01 TYPE PAGE HEADING.
000018 02 LINE 01 COLUMN 35 PIC X(5) VALUE SPACE.
000019 PROCEDURE          DIVISION.
000020 END PROGRAM        P2424.

```

P2424.cob 16: JMN2424I-S CONTROL句の制御データ名'WCTL'は、未定義です。この制御データ名は、無効となります。

2.4.222 JMN2425I-S

CONTROL句の制御データ名'@1@'は、一意ではありません。この制御データ名は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```

[P2425.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2425.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA              DIVISION.
000009 FILE                SECTION.
000010 FD REPFIL
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD             PIC S9(9).
000014 01 CTLD             PIC S9(9).
000015 REPORT              SECTION.
000016 RD REP1 PAGE       66
000017     CONTROL CTLD.
000018 01 TYPE DE.
000019 PROCEDURE           DIVISION.
000020 END PROGRAM          P2425.

```

P2425.cob 17: JMN2425I-S CONTROL句の制御データ名'CTLD'は、一意ではありません。この制御データ名は、無効となります。

2.4.223 JMN2426I-S

CONTROL句の制御データ名'@1@'は、可変長項目であってはなりません。この制御データ名は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2426. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2426.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA             DIVISION.
000009 FILE               SECTION.
000010 FD REPFIL
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD.
000014     02 WDPEND      PIC S9(2).
000015     02 WOC          OCCURS 10 DEPENDING ON WDPEND
000016                     PIC X.
000017 REPORT              SECTION.
000018 RD REP1 PAGE 66
000019     CONTROL CTLD.
000020 01 TYPE DE.
000021 PROCEDURE           DIVISION.
000022 END PROGRAM          P2426.
```

P2426.cob 19: JMN2426I-S CONTROL 句の制御データ名'CTLD'は、可変長項目であってはなりません。この制御データ名は、無効となります。

詳細な説明

制御データ名(CONTROL 句に指定したデータ名)のデータ記述項は、DEPENDING ON 指定付きの OCCURS 句が指定された項目、あるいはそれを含む項目であってはなりません。

2.4.224 JMN2427I-S

CONTROL 句の制御データ名 '@1@' は、添字を必要とする項目であってはなりません。この制御データ名は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2427. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2427.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA             DIVISION.
000009 FILE               SECTION.
000010 FD REPFIL
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 .
000014     02 CTLD          OCCURS 10
000015                     PIC X.
000016 REPORT              SECTION.
000017 RD REP1 PAGE 66
000018     CONTROL CTLD.
```

```
000019 01 TYPE DE.  
000020 PROCEDURE      DIVISION.  
000021 END PROGRAM     P2427.
```

P2427.cob 18: JMN2427I-S CONTROL句の制御データ名'CTLD'は、添字を必要とする項目であってはありません。この制御データ名は、無効となります。

詳細な説明

制御データ名(CONTROL句に指定したデータ名)のデータ記述項は、OCCURS句が指定された項目あるいはそれに従属する項目であってはありません。

2.4.225 JMN2428I-S

CONTROL句の制御データ名'@1@'は、すでにこの句で指定されています。この制御データ名は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2428. cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      P2428.  
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.  
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.  
000005 FILE-CONTROL.  
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.  
000007 I-O-CONTROL.  
000008 DATA             DIVISION.  
000009 FILE              SECTION.  
000010 FD REPFIL  
000011     REPORT IS REP1.  
000012 WORKING-STORAGE SECTION.  
000013 01 CTLD1          PIC 9.  
000014 01 CTLD2          PIC 9.  
000015 01 CTLD3          PIC 9.  
000016 REPORT            SECTION.  
000017 RD REP1 PAGE 66  
000018     CONTROL CTLD1 CTLD2 CTLD1.  
000019 01 TYPE DE.  
000020 PROCEDURE          DIVISION.  
000021 END PROGRAM        P2428.
```

P2428.cob 18: JMN2428I-S CONTROL句の制御データ名'CTLD1'は、すでにこの句で指定されています。この制御データ名は、無効となります。

2.4.226 JMN2429I-S

CONTROL句の制御データ名'@1@'は、報告書節に定義されていません。この制御データ名は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2429. cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      P2429.  
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.  
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.  
000005 FILE-CONTROL.
```



```

000006      SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA          DIVISION.
000009 FILE            SECTION.
000010 FD REPFIL
000011      REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 REPORT          SECTION.
000014 RD REP1 PAGE 66
000015      CONTROL CTLD.
000016 01 TYPE DE.
000017 02 LINE PLUS 1.
000018 03 CTLD COLUMN 10 PIC X VALUE SPACE.
000019 PROCEDURE      DIVISION.
000020 END PROGRAM      P2429.

```

P2429.cob 15: JMN2429I-S CONTROL句の制御データ名'CTLD'は、報告書節に定義されてはなりません。この制御データ名は、無効となります。

2.4.227 JMN2430I-S

NEXT PAGE指定は、報告集団の最初のLINE句以外に指定できません。NEXT PAGE指定は、無効となります。

例題

```

[P2430. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2430.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006      SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA          DIVISION.
000008 FILE            SECTION.
000009 FD REPFIL
000010      REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01          PIC X(10).
000013 01 WS02          PIC X(10).
000014 REPORT          SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66.
000016 01 TYPE DE.
000017 02 LINE 8.
000018 03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01.
000019 02 LINE 10 NEXT PAGE.
000020 03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS02.
000021 PROCEDURE      DIVISION.
000022 END PROGRAM      P2430.

```

P2430.cob 19: JMN2430I-S NEXT PAGE指定は、報告集団の最初のLINE句以外に指定できません。NEXT PAGE指定は、無効となります。

2.4.228 JMN2431I-S

LINE句は、LINE句を持つ集団項目に従属する項目に指定できません。そのまま処理を続行します。

例題

```

[P2431. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2431.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.

```

```

000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD REPFIL
000010 REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01 PIC X(10).
000013 01 WS02 PIC X(10).
000014 REPORT SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66.
000016 01 TYPE DE.
000017 02 LINE 8.
000018 03 LINE 9
000019 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01.
000020 PROCEDURE DIVISION.
000021 END PROGRAM P2431.

```

P2431.cob 18: JMN2431I-S LINE句は、LINE句を持つ集団項目に従属する項目に指定できません。そのまま処理を続行します。

2.4.229 JMN2432I-S

同一報告集団中にすでに相対値指定のLINE句が指定されている場合、絶対値指定のLINE句は指定できません。

例題

```

[P2432. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2432.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD REPFIL
000010 REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01 PIC X(10).
000013 01 WS02 PIC X(10).
000014 REPORT SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66.
000016 01 TYPE DE.
000017 02 LINE PLUS 1.
000018 03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01.
000019 02 LINE 10.
000020 03 COLUMN 20 PIC X(10) SOURCE WS02.
000021 PROCEDURE DIVISION.
000022 END PROGRAM P2432.

```

P2432.cob 19: JMN2432I-S 同一報告集団中にすでに相対値指定のLINE句が指定されている場合、絶対値指定のLINE句は指定できません。

詳細な説明

1つの報告集団記述項において、絶対的なLINE NUMBER句は、相対的なLINE NUMBER句よりも前になければなりません。

2.4.230 JMN2433I-S

LINE句の絶対値指定の整数は、昇順でなければなりません。

例題

```
[P2433. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2433.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE               SECTION.
000009 FD REPFIL
000010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01           PIC X(10).
000013 01 WS02           PIC X(10).
000014 REPORT            SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66.
000016 01 TYPE DE.
000017     02 LINE 12.
000018     03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01.
000019     02 LINE 10.
000020     03 COLUMN 20 PIC X(10) SOURCE WS02.
000021 PROCEDURE         DIVISION.
000022 END PROGRAM       P2433.
```

P2433.cob 19: JMN2433I-S LINE句の絶対値指定の整数は、昇順でなければなりません。

詳細な説明

LINE NUMBER句では報告集団の縦の位置を指定します。報告集団記述項を宣言順に参照したとき、それらに指定されているLINE NUMBER句の値(絶対値指定)は昇順になっているようにしてください。なおこれらの値は、連続している必要はありません。

2.4.231 JMN2434I-S

CONTROL句の制御データ名 '@1@' は手続きポインタデータ項目であってはなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2434. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2434.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE               SECTION.
000009 FD REPFIL REPORT IS REP1.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01 WPPT           PROCEDURE-POINTER.
000012 01 WDATE         PIC 9(4).
000013 REPORT            SECTION.
000014 RD REP1 PAGE 66 HEADING 5
000015                 FIRST DETAIL 6
000016                 LAST DETAIL 55
000017                 FOOTING      60
000018                 CONTROL WPPT.
000019 01 TYPE CH WPPT.
000020     02             PIC 9(4) SOURCE WDATE.
```

```
000021 PROCEDURE      DIVISION.
000022 END PROGRAM     P2434.
```

P2434.cob 18: JMN2434I-S CONTROL句の制御データ名'WPPT'は手続きポインタデータ項目であってではありません。

2.4.232 JMN2435I-S

報告書記述項にPAGE句の指定がない場合、絶対値指定のLINE句は指定できません。

例題

```
[P2435.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2435.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE               SECTION.
000009 FD REPFIL
000100     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01           PIC X(10).
000013 REPORT            SECTION.
000014 RD REP1.
000015 01 TYPE DE.
000016 02 LINE 10.
000017 03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01.
000018 PROCEDURE        DIVISION.
000019 END PROGRAM       P2435.
```

P2435.cob 16: JMN2435I-S 報告書記述項にPAGE句の指定がない場合、絶対値指定のLINE句は指定できません。

詳細な説明

PAGE句では、報告集団が表示されるページの縦の範囲を指定します。すべての報告集団は1つのページ内に納まるように記述しなければなりませんが、PAGE句によって縦の範囲が示されていないときは、絶対的なLINE NUMBER句で指定した値が正当な値か(ページ内に収まる縦位置か)どうかを判断することができません。

2.4.233 JMN2436I-S

報告書頭書き報告集団、ページ頭書き報告集団またはページ脚書き報告集団にLINE句を指定する場合、NEXT PAGEは指定できません。

例題

```
[P2436.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2436.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE               SECTION.
000009 FD REPFIL
000100     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01           PIC X(10).
000013 01 WS02           PIC X(10).
000014 REPORT            SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
```

```

000016      HEADING 2
000017      FIRST DETAIL 6.
000018 01 TYPE PH.
000019 02 LINE 2 NEXT PAGE.
000020 03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01.
000021 PROCEDURE      DIVISION.
000022 END PROGRAM      P2436.

```

P2436.cob 19: JMN2436I-S 報告書頭書き報告集団, ページ頭書き報告集団またはページ脚書き報告集団にLINE句を指定する場合, NEXT PAGEは指定できません。

2.4.234 JMN2437I-S

ページ脚書き報告集団の最初のLINE句は, 絶対値指定でなければなりません。

例題

```

[P2437. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2437.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006      SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA              DIVISION.
000008 FILE                SECTION.
000009 FD REPFIL
000010      REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01              PIC X(10).
000013 01 WS02              PIC X(10).
000014 REPORT              SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016      HEADING 2
000017      LAST DETAIL 60.
000018 01 TYPE PF.
000019 02 LINE PLUS 1.
000020 03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01.
000021 PROCEDURE          DIVISION.
000022 END PROGRAM          P2437.

```

P2437.cob 19: JMN2437I-S ページ脚書き報告集団の最初のLINE句は, 絶対値指定でなければなりません。

2.4.235 JMN2438I-S

同一報告書ファイルに, CODE句のある報告書と, CODE句のない報告書が混在することはできません。そのまま処理を続行します。

例題

```

[P2438. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2438.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006      SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA              DIVISION.
000008 FILE                SECTION.
000009 FD REPFIL
000010      REPORT IS REP1 REP2.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.

```

```

000012 01 WS01      PIC X(10).
000013 01 WS02      PIC X(10).
000014 REPORT      SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016      CODE "XX".
000017 01 TYPE DE.
000018 02 LINE 12.
000019 03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01.
000020 RD REP2 PAGE 66.
000021 01 TYPE DE.
000022 02 LINE 12.
000023 03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01.
000024 PROCEDURE    DIVISION.
000025 END PROGRAM   P2438.

```

P2438.cob 20: JMN2438I-S 同一報告書ファイルに、CODE句のある報告書と、CODE句のない報告書が混在することはできません。そのまま処理を続行します。

詳細な説明

CODE句を指定すると、同句で指定した2文字の定数が報告書の各レコードの左端に自動的に付けられます。CODE句の有無は報告書ファイル単位で統一しなければなりません。

2.4.236 JMN2439I-S

報告書記述項にPAGE句の指定がない場合、NEXT GROUP句は相対値指定でなければなりません。

例題

```

[P2439.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2439.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA           DIVISION.
000008 FILE            SECTION.
000009 FD REPFIL
000010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01      PIC X(10).
000013 01 WS02      PIC X(10).
000014 REPORT      SECTION.
000015 RD REP1.
000016 01 TYPE DE NEXT GROUP 22.
000017 02 LINE PLUS 1.
000018 03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01.
000019 02 LINE PLUS 2.
000020 03 COLUMN 20 PIC X(10) SOURCE WS02.
000021 PROCEDURE    DIVISION.
000022 END PROGRAM   P2439.

```

P2439.cob 16: JMN2439I-S 報告書記述項にPAGE句の指定がない場合、NEXT GROUP句は相対値指定でなければなりません。

2.4.237 JMN2440I-S

ページ脚書き報告集団にNEXT GROUP句を指定する場合、NEXT PAGEは指定できません。

例題

```

[P2440.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.

```

```

000002 PROGRAM-ID.      P2440.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA              DIVISION.
000008 FILE                SECTION.
000009 FD REPFIL
000010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01             PIC X(10).
000013 01 WS02             PIC X(10).
000014 REPORT              SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016     HEADING 2
000017     LAST DETAIL 60.
000018 01 TYPE PF NEXT GROUP NEXT PAGE.
000019     02 LINE 61.
000020     03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01.
000021 PROCEDURE           DIVISION.
000022 END PROGRAM         P2440.

```

P2440.cob 18: JMN2440I-S ページ脚書き報告集団にNEXT GROUP句を指定する場合, NEXT PAGEは指定できません.

2.4.238 JMN2441I-S

NEXT GROUP句は, 報告書脚書き報告集団またはページ頭書き報告集団に指定できません.

例題

```

[P2441.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2441.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA              DIVISION.
000008 FILE                SECTION.
000009 FD REPFIL
000010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01             PIC X(10).
000013 01 WS02             PIC X(10).
000014 REPORT              SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016     HEADING 2
000017     FIRST DETAIL 6.
000018 01 TYPE PH NEXT GROUP PLUS 1.
000019     02 LINE 3.
000020     03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01.
000021 PROCEDURE           DIVISION.
000022 END PROGRAM         P2441.

```

P2441.cob 18: JMN2441I-S NEXT GROUP句は, 報告書脚書き報告集団またはページ頭書き報告集団に指定できません.

2.4.239 JMN2442I-S

同一タイプ(RH, PH, CH FINAL, CF FINAL, RF, PF)の報告集団は, 一つの報告書に複数指定できません. そのまま処理を続行します.

例題

```
[P2442.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2442.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE               SECTION.
000009 FD REPFIL
000010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01            PIC X(10).
000013 01 WS02            PIC X(10).
000014 REPORT             SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016     HEADING 2
000017     FIRST DETAIL 6.
000018 01 TYPE PH.
000019 02 LINE 2.
000020 03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01.
000021 01 TYPE PH.
000022 02 LINE 4.
000023 03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01.
000024 PROCEDURE          DIVISION.
000025 END PROGRAM         P2442.
```

P2442.cob 21: JMN2442I-S 同一タイプ(RH, PH, CH FINAL, CF FINAL, RF, PF)の報告集団は、一つの報告書に複数指定できません。そのまま処理を続行します。

詳細な説明

報告書頭書き報告集団(REPORT HEADING:RH)、ページ頭書き報告集団(PAGE HEADING:PH)、FINALを指定した制御頭書き報告集団(CONTROL HEADING:CH FINAL)、FINALを指定した制御脚書き報告集団(CONTROL FOOTING:CF FINAL)、ページ脚書き報告集団(PAGE FOOTING:PF)および報告書脚書き報告集団(REPORT FOOTING:RF)は、1つの報告書にそれぞれ1つだけ書くことができます。

2.4.240 JMN2443I-S

報告書記述項にPAGE句の指定がない場合、ページ頭書き報告集団およびページ脚書き報告集団は指定できません。そのまま処理を続行します。

例題

```
[P2443.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2443.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE               SECTION.
000009 FD REPFIL
000010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01            PIC X(10).
000013 01 WS02            PIC X(10).
000014 REPORT             SECTION.
000015 RD REP1.
000016 01 TYPE PH.
```



```
000017 02 LINE PLUS 1.
000018 03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01.
000019 PROCEDURE DIVISION.
000020 END PROGRAM P2443.
```

P2443.cob 16: JMN2443I-S 報告書記述項にPAGE句の指定がない場合、ページ頭書き報告集団およびページ脚書き報告集団は指定できません。そのまま処理を続行します。

2.4.241 JMN2444I-S

TYPE句の制御データ名'@1@'は、未定義です。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2444. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2444.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD REPFIL
000011 REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 REPORT SECTION.
000014 RD REP1 PAGE 66
000015 CONTROL FINAL.
000016 01 TYPE CF CTLD.
000017 PROCEDURE DIVISION.
000018 END PROGRAM P2444.
```

P2444.cob 16: JMN2444I-S TYPE句の制御データ名'CTLD'は、未定義です。

2.4.242 JMN2445I-S

TYPE句の制御データ名'@1@'は、一意ではありません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2445. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2445.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD REPFIL
000011 REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
```

```

000013 01 CTLD          PIC X(1).
000014 01 CTLD          PIC X(2).
000015 REPORT          SECTION.
000016 RD REP1 PAGE 66
000017          CONTROL FINAL.
000018 01 TYPE CF CTLD.
000019 PROCEDURE        DIVISION.
000020 END PROGRAM      P2445.

```

P2445.cob 18: JMN2445I-S TYPE句の制御データ名'CTLD'は、一意ではありません。

2.4.243 JMN2446I-S

TYPE句の名標'@1@'は、データ名として定義されていません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった利用者語。

例題

```

[P2446.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2446.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA             DIVISION.
000009 FILE              SECTION.
000010 FD REPFIL
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD           PIC X(1).
000014 01 CTLD           PIC X(2).
000015 REPORT          SECTION.
000016 RD REP1 PAGE 66
000017     CONTROL FINAL.
000018 01 TYPE CF REPFIL.
000019 PROCEDURE        DIVISION.
000020 LABEL01.
000021 END PROGRAM      P2446.

```

P2446.cob 18: JMN2446I-S TYPE句の名標'REPFIL'は、データ名として定義されていません。

2.4.244 JMN2447I-S

CONTROL句にFINAL指定がない場合、TYPE句にFINALは指定できません。

例題

```

[P2447.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2447.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA             DIVISION.
000009 FILE              SECTION.
000010 FD REPFIL

```

```

000011      REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD          PIC X(1).
000014 REPORT          SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016          CONTROL CTLD.
000017 01 TYPE CF FINAL.
000018 PROCEDURE        DIVISION.
000019 LABEL01.
000020 END PROGRAM      P2447.

```

P2447.cob 17: JMN2447I-S CONTROL句にFINAL指定がない場合、TYPE句にFINALは指定できません。

2.4.245 JMN2449I-S

印字項目の印字位置が重なっています。そのまま処理を続行します。

例題

```

[P2449.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2449.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA            DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 FD REPFIL
000010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01           PIC X(10).
000013 01 WS02           PIC X(10).
000014 REPORT          SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66.
000016 01 TYPE DE.
000017     02 LINE 12.
000018     03 COLUMN 10 PIC X(15) SOURCE WS01.
000019     03 COLUMN 20 PIC X(10) SOURCE WS02.
000020 PROCEDURE        DIVISION.
000021 END PROGRAM      P2449.

```

P2449.cob 19: JMN2449I-S 印字項目の印字位置が重なっています。そのまま処理を続行します。

詳細な説明

COLUMN NUMBER句によって印字行の上での印字位置が指定されましたが、前の項目の印字終了位置が次の項目の印字開始位置を超えており、印字位置が重なっています。

解析は続行しますが、このときオブジェクトファイルや実行形式は生成されません。

2.4.246 JMN2450I-S

GROUP INDICATE句は明細報告集団以外に指定できません。

例題

```

[P2450.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2450.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.

```

```

000006      SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA          DIVISION.
000008 FILE            SECTION.
000009 FD REPFIL
000010      REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01          PIC X(10).
000013 01 WS02          PIC X(10).
000014 REPORT          SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016      HEADING 2
000017      FIRST DETAIL 6.
000018 01 TYPE PH GROUP INDICATE.
000019 02 LINE 2.
000020 03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01.
000021 PROCEDURE        DIVISION.
000022 END PROGRAM      P2450.

```

P2450.cob 18: JMN2450I-S GROUP INDICATE句は明細報告集団以外に指定できません。

詳細な説明

GROUP INDICATE句は、制御切れまたは改ページの後で最初に出てくる明細報告集団のときだけこれを表示することを指示する句です。

2.4.247 JMN2451I-S

データ名'@1@'は、添字付けしなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```

[P2451.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2451.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006      SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA          DIVISION.
000008 FILE            SECTION.
000009 FD REPFIL
000010      REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 .
000013 02 WS01          PIC X(10) OCCURS 10.
000014 REPORT          SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66.
000016 01 TYPE DE.
000017 02 LINE 12.
000018 03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01.
000019 PROCEDURE        DIVISION.
000020 END PROGRAM      P2451.

```

P2451.cob 18: JMN2451I-S データ名'WS01'は、添字付けしなければなりません。

詳細な説明

表(OCCURS句を指定したデータ記述項)の中の要素を一意に参照するためには、添字付けが必要です。

2.4.248 JMN2452I-S

@1@句の添字または部分参照子は、添字を必要とするデータ名'@2@'であってはいけません。添字または部分参照子に1が指定されたものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : SOURCEまたはSUM.

@2@ : エラーの原因となったデータ名.

例題

```
[P2452. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2452.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 FD REPFIL
000010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 .
000013     02 WIX1        PIC 9(10) OCCURS 10.
000014     02 WS01        PIC X(10) OCCURS 10.
000015 REPORT            SECTION.
000016 RD REP1 PAGE 66.
000017 01 TYPE DE.
000018     02 LINE 12.
000019     03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01(WIX1).
000020 PROCEDURE          DIVISION.
000021 END PROGRAM        P2452.
```

P2452.cob 19: JMN2452I-S SOURCE句の添字または部分参照子は、添字を必要とするデータ名'WIX1'であってはいけません。添字または部分参照子に1が指定されたものとみなします。

詳細な説明

句に指定した一意名の添字または部分参照子で記述したデータ名は、OCCURS句を指定したデータ記述項あるいはそれに従属するデータ記述項のデータ名であってはいけません。

2.4.249 JMN2457I-S

TYPE句の名標'@1@'は、制御データ名でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった利用者語.

例題

```
[P2457. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2457.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA             DIVISION.
000009 FILE              SECTION.
```

```

000010 FD REPFILE
000011      REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD      PIC X(1).
000014 REPORT      SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016      CONTROL FINAL.
000017 01 TYPE CF CTLD.
000018 PROCEDURE    DIVISION.
000019 END PROGRAM  P2457.

```

P2457.cob 17: JMN2457I-S TYPE句の名標'CTLD'は、制御データ名でなければなりません。

詳細な説明

TYPE句のCONTROL HEADING指定またはCONTROL FOOTING指定に続けて指定されたデータ名は、報告書記述項のCONTROL句にも指定しておかなければなりません。

2.4.250 JMN2458I-S

同一制御レベルの制御頭書き報告集団または制御脚書き報告集団は複数指定できません。

例題

```

[P2458. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2458.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006      SELECT REPFILE ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA            DIVISION.
000009 FILE              SECTION.
000010 FD REPFILE
000011      REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD      PIC X(1).
000014 REPORT      SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016      CONTROL FINAL CTLD.
000017 01 TYPE CF CTLD.
000018 01 TYPE CF CTLD.
000019 PROCEDURE    DIVISION.
000020 END PROGRAM  P2458.

```

P2458.cob 18: JMN2458I-S 同一制御レベルの制御頭書き報告集団または制御脚書き報告集団は複数指定できません。

2.4.251 JMN2459I-S

CONTROL句の名標'@1@'はデータ名として定義されていません。この名標は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった利用者語。

例題

```

[P2459. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2459.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.

```

```

000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA          DIVISION.
000009 FILE           SECTION.
000010 FD REPFIL
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD         PIC X(1).
000014 01 CTLD         PIC X(2).
000015 REPORT          SECTION.
000016 RD REP1 PAGE 66
000017     CONTROL FINAL REP1.
000018 01 TYPE OF FINAL.
000019 PROCEDURE        DIVISION.
000020 LABEL01.
000021 END PROGRAM     P2459.

```

P2459.cob 17: JMN2459I-S CONTROL句の名標'REP1'はデータ名として定義されていません。この名標は、無効となります。

2.4.252 JMN2460I-S

@1@句の整数は表示範囲の上限を超えてはなりません。そのまま処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : LINEまたはNEXT GROUP.

例題

```

[P2460. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2460.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA          DIVISION.
000009 FILE           SECTION.
000010 FD REPFIL
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD         PIC X(1).
000014 01 CTLD         PIC X(2).
000015 REPORT          SECTION.
000016 RD REP1 PAGE 66
000017     FIRST DETAIL 10.
000018 01 TYPE DE LINE 9.
000019 02 COLUMN 10 PIC X(20) VALUE SPACE.
000020 PROCEDURE        DIVISION.
000021 END PROGRAM       P2460.

```

P2460.cob 18: JMN2460I-S LINE句の整数は表示範囲の上限を超えてはなりません。そのまま処理を続行します。

詳細な説明

すべての報告集団は1つのページ内に納まるように記述しなければなりません。

2.4.253 JMN2461I-S

@1@句の整数は表示範囲の下限を超えてはなりません。そのまま処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : LINEまたはNEXT GROUP.

例題

```
[P2461. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2461.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA             DIVISION.
000009 FILE               SECTION.
000010 FD REPFIL
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD            PIC X(1).
000014 01 CTLD            PIC X(2).
000015 REPORT             SECTION.
000016 RD REP1 PAGE 66
000017     LAST DETAIL 60.
000018 01 TYPE DE LINE 65.
000019 02 COLUMN 10 PIC X(20) VALUE SPACE.
000020 PROCEDURE          DIVISION.
000021 END PROGRAM        P2461.
```

P2461.cob 18: JMN2461I-S LINE句の整数は表示範囲の下限を超えてはなりません。そのまま処理を続行します。

詳細な説明

すべての報告集団は1つのページ内に納まるように記述しなければなりません。

2.4.254 JMN2462I-S

@1@句に許されない語'@2@'が現れました。次の認識できる一意名、句、段落、節または部まで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : SOURCEまたはSUM.

@2@ : 許されない語.

例題

```
[P2462. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2462.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE               SECTION.
000009 FD REPFIL
000010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01            PIC X(10).
000013 01 WS02            PIC X(10).
000014 REPORT             SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66.
000016 01 TYPE DE.
000017 02 LINE 12.
```



```
000018      03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01(1:5) WS02.  
000019 PROCEDURE      DIVISION.  
000020 END PROGRAM      P2462.
```

P2462.cob 18: JMN2462I-S SOURCE句に許されない語'WSO2'が現れました。次の認識できる一意名、句、段落、節または部まで無効になります。

2.4.255 JMN2463I-S

SOURCE句の一意名に許されない語'@1@'が現れました。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 許されない語。

例題

```
[P2463. cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      P2463.  
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.  
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.  
000005 FILE-CONTROL.  
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.  
000007 DATA              DIVISION.  
000008 FILE                SECTION.  
000009 FD REPFIL  
000010     REPORT IS REP1.  
000011 WORKING-STORAGE SECTION.  
000012 01 WS01            PIC X(10).  
000013 01 WS02            PIC X(10).  
000014 REPORT              SECTION.  
000015 RD REP1 PAGE 66.  
000016 01 TYPE DE.  
000017 02 LINE 12.  
000018      03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01 WS02.  
000019 PROCEDURE          DIVISION.  
000020 END PROGRAM          P2463.
```

P2463.cob 18: JMN2463I-S SOURCE句の一意名に許されない語'WSO2'が現れました。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

2.4.256 JMN2464I-S

SUM句の一意名に許されない語'@1@'が現れました。次の認識できる一意名、句、段落、節または部まで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 許されない語。

例題

```
[P2464. cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      P2464.  
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.  
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.  
000005 FILE-CONTROL.  
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.  
000007 I-O-CONTROL.  
000008 DATA              DIVISION.  
000009 FILE                SECTION.  
000010 FD SQFILE1
```

```

000011      REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD      PIC 9(2).
000014 REPORT      SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016      CONTROL CTLD.
000017 01 DE-1 TYPE DE.
000018 02 LINE PLUS 1.
000019 03 TARGET COLUMN 10
000020      PIC S9(4) SOURCE CTLD.
000021 01 TYPE CF CTLD.
000022 02      PIC S9(4) SUM CTLD "CTLD".
000023 PROCEDURE    DIVISION.
000024 END PROGRAM   P2464.

```

P2464.cob 22: JMN2464I-S SUM句の一意名に許されない語"CTLD"が現れました。次の認識できる一意名、句、段落、節または部まで無効になります。

2.4.257 JMN2465I-S

SUM句の一意名 '@1@' には、添字の指定ができません。添字の指定を無効とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```

[P2465.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2465.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA              DIVISION.
000009 FILE                SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD      PIC 9(2).
000014 01 WITM      PIC 9(2).
000015 REPORT      SECTION.
000016 RD REP1 PAGE 66
000017     CONTROL CTLD.
000018 01 TYPE CF CTLD.
000019 02      PIC S9(4) SUM WITM(2).
000020 PROCEDURE    DIVISION.
000021 END PROGRAM   P2465.

```

P2465.cob 19: JMN2465I-S SUM句の一意名 'WITM' には、添字の指定ができません。添字の指定を無効とみなします。

2.4.258 JMN2466I-S

@1@ 句の添字に許されない語 '@2@' が現れました。添字に1が指定されたものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : SOURCE または SUM.

@2@ : 許されない語.

例題

```
[P2466.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2466.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA              DIVISION.
000009 FILE                SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD            PIC 9(2).
000014 01 .
000015 02 WITM            PIC 9(2) OCCURS 10.
000016 REPORT              SECTION.
000017 RD REP1 PAGE 66
000018     CONTROL CTLD.
000019 01 TYPE CF CTLD.
000020 02                PIC S9(4) SUM WITM(-2).
000021 PROCEDURE          DIVISION.
000022 END PROGRAM        P2466.
```

P2466.cob 20: JMN2466I-S SUM句の添字に許されない語'-2'が現れました。添字に1が指定されたものとみなします。

2.4.259 JMN2467I-S

添字または部分参照子の指定に右括弧がありません。右括弧を補います。

例題

```
[P2467.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2467.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA              DIVISION.
000009 FILE                SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD            PIC 9(2).
000014 01 .
000015 02 WITM            PIC 9(2) OCCURS 10.
000016 REPORT              SECTION.
000017 RD REP1 PAGE 66
000018     CONTROL CTLD.
000019 01 TYPE CF CTLD.
000020 02                PIC S9(4) SUM WITM(2.
000021 PROCEDURE          DIVISION.
000022 END PROGRAM        P2467.
```

P2467.cob 21: JMN2467I-S 添字または部分参照子の指定に右括弧がありません。右括弧を補います。

詳細な説明

添字または部分参照子の記述では、左括弧と右括弧が1対1に対応していなければなりません。

右括弧を補って解析を続行しますが、このときオブジェクトファイルや実行形式は生成されません。

2.4.260 JMN2468I-S

SOURCE句の部分参照子に許されない語 '@1@' が現れました。部分参照子に1が指定されたものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 許されない語。

例題

```
[P2468.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2468.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 FD REPFIL
000010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01           PIC X(10).
000013 01 WS02           PIC X(10).
000014 REPORT           SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66.
000016 01 TYPE DE.
000017 02 LINE 12.
000018 03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01(-1:10).
000019 PROCEDURE         DIVISION.
000020 END PROGRAM        P2468.
```

P2468.cob 18: JMN2468I-S SOURCE句の部分参照子に許されない語 '-1' が現れました。部分参照子に1が指定されたものとみなします。

詳細な説明

データ項目や関数値を部分参照したい場合、データ名または関数一意名に部分参照子を付けます。部分参照子は、部分参照の対象となるデータ名または関数一意名の後ろに左括弧を1つ書き、最左端文字位置を示す算術式を記述します。さらにその後ろに:(コロン)を記述し、部分参照する長さを示す算術式を記述して、先の左括弧の対になる右括弧を記述します。コロンの前後には、分離符の空白を書くこともできます。長さを示す算術式は省略することができますが、コロンは省略できません。

2.4.261 JMN2469I-S

SOURCE句で、部分参照子の指定にコロンがありません。コロンを補います。

例題

```
[P2469.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2469.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 FD REPFIL
000010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01           PIC X(10).
000013 01 WS02           PIC X(10).
```

```

000014 REPORT          SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66.
000016 01 TYPE DE.
000017    02 LINE 12.
000018    03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01(1).
000019 PROCEDURE        DIVISION.
000020 END PROGRAM      P2469.

```

P2469.cob 18: JMN2469I-S SOURCE句で、部分参照子の指定にコロンがありません。コロンを補います。

詳細な説明

部分参照子では、長さを示す算術式は省略することができますが、コロンは省略できません。

2.4.262 JMN2470I-S

@1@句の添字に指定された名標'@2@'は、一意なデータ名または指標名でなければなりません。添字に1が指定されたものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : SOURCEまたはSUM.

@2@ : エラーの原因となった利用者語.

例題

```

[P2470. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2470.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006    SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 FD REPFIL
000010    REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 .
000013    02 WS01          PIC X(10) OCCURS 10.
000014 REPORT            SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66.
000016 01 TYPE DE.
000017    02 LINE 12.
000018    03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01(WIX).
000019 PROCEDURE        DIVISION.
000020 END PROGRAM          P2470.

```

P2470.cob 18: JMN2470I-S SOURCE句の添字に指定された名標'WIX'は、一意なデータ名または指標名でなければなりません。添字に1が指定されたものとみなします。

2.4.263 JMN2471I-S

SOURCE句で、部分参照子に指定された名標'@1@'は、一意なデータ名でなければなりません。部分参照子に1が指定されたものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名.

例題

```
[P2471. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2471.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFILE ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 FD REPFILE
000010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01           PIC X(10).
000013 REPORT            SECTION.
000014 RD REP1 PAGE 66.
000015 01 TYPE DE.
000016     02 LINE 12.
000017     03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01(1:WLEN).
000018 PROCEDURE          DIVISION.
000019 END PROGRAM        P2471.
```

P2471.cob 17: JMN2471I-S SOURCE句で、部分参照子に指定された名標'WLEN'は、一意なデータ名でなければなりません。部分参照子に1が指定されたものとみなします。

2.4.264 JMN2472I-S

RESET句は、CONTROL句のない報告書に指定できません。

例題

```
[P2472. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2472.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA             DIVISION.
000009 FILE              SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 WITM1           PIC 9(2).
000014 01 WITM2           PIC 9(2).
000015 REPORT            SECTION.
000016 RD REP1 PAGE 66.
000017 01 TYPE CF WITM1.
000018     02             PIC S9(4) SUM WITM1 RESET WITM2.
000019 PROCEDURE          DIVISION.
000020 END PROGRAM        P2472.
```

P2472.cob 18: JMN2472I-S RESET句は、CONTROL句のない報告書に指定できません。

詳細な説明

RESETに指定するデータ名は、報告書のCONTROL句に書いたデータ名の1つでなければなりません。RESET指定にFINALを書く場合には、この報告書のCONTROL句にもFINALを書いておかなければなりません。

2.4.265 JMN2473I-S

RESET句にFINALを指定する場合、その報告書のCONTROL句にFINALを指定しなければなりません。

例題

```
[P2473. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2473.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA              DIVISION.
000009 FILE                SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 WITM1             PIC 9(2).
000014 01 WITM2             PIC 9(2).
000015 REPORT              SECTION.
000016 RD REP1 PAGE 66
000017     CONTROL WITM1.
000018 01 TYPE CF WITM1.
000019 02                   PIC S9(4) SUM WITM1 RESET FINAL.
000020 PROCEDURE            DIVISION.
000021 END PROGRAM          P2473.
```

P2473.cob 19: JMN2473I-S RESET句にFINALを指定する場合、その報告書のCONTROL句にFINALを指定しなければなりません。

2.4.266 JMN2474I-S

RESET句のデータ名 '@1@' は、RESET句が指定された制御脚書き報告集団の制御階層と等しいかまたは上位の制御データ名でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2474. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2474.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA              DIVISION.
000009 FILE                SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 WITM1             PIC 9(2).
000014 01 WITM2             PIC 9(2).
000015 REPORT              SECTION.
000016 RD REP1 PAGE 66
000017     CONTROL WITM1 WITM2.
000018 01 TYPE CF WITM1.
000019 02                   PIC S9(4) SUM WITM1 RESET WITM2.
000020 PROCEDURE            DIVISION.
000021 END PROGRAM          P2474.
```

P2474.cob 19: JMN2474I-S RESET句のデータ名'WITM2'は、RESET句が指定された制御脚書き報告集団の制御階層と等しいか、または上位の制御データ名でなければなりません。

2.4.267 JMN2475I-S

報告集団記述項のレベル番号01の項目にTYPE句が指定されていません。この報告集団記述項は、無効になります。

例題

```
[P2475. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2475.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA             DIVISION.
000009 FILE               SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 WITM1           PIC 9(2).
000014 01 WITM2           PIC 9(2).
000015 REPORT             SECTION.
000016 RD REP1 PAGE 66
000017     CONTROL WITM1 WITM2.
000018 01 .
000019 02                 PIC S9(4).
000020 PROCEDURE           DIVISION.
000021 END PROGRAM          P2475.
```

P2475.cob 18: JMN2475I-S 報告集団記述項のレベル番号01の項目にTYPE句が指定されていません。この報告集団記述項は、無効になります。

詳細な説明

報告集団記述項の最初の項目は、TYPE句を指定したレベル番号01の項目でなければなりません。TYPE句は、報告集団の種類と表示すべき時点を指定します。

2.4.268 JMN2476I-S

NEXT GROUP句は、LINE NUMBER句の指定がない報告集団記述項に指定できません。そのまま処理を続行します。

例題

```
[P2476. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2476.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE               SECTION.
000009 FD REPFIL1
000010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01             PIC X(10).
000013 01 WS02             PIC X(10).
000014 REPORT             SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016     HEADING 2
```



```

000017          FIRST DETAIL 6.
000018 01 TYPE RH NEXT GROUP PLUS 1.
000019 02 .
000020 03          PIC X(10) SOURCE WS01.
000021 PROCEDURE      DIVISION.
000022 END PROGRAM      P2476.

```

P2476.cob 18: JMN2476I-S NEXT GROUP句は、LINE NUMBER句の指定がない報告集団記述項に指定できません。そのまま処理を続行します。

2.4.269 JMN2477I-S

報告集団記述項のUSAGE句は、印字項目を含まない集団項目に指定できません。そのまま処理を続行します。

例題

```

[P2477. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2477.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 FD REPFIL
000010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01          PIC X(10).
000013 REPORT          SECTION.
000014 RD REP1 PAGE 66.
000015 01 TYPE DE LINE 12 DISPLAY.
000016 02              PIC X    SOURCE WS01.
000017 PROCEDURE      DIVISION.
000018 END PROGRAM      P2477.

```

P2477.cob 15: JMN2477I-S 報告集団記述項のUSAGE句は、印字項目を含まない集団項目に指定できません。そのまま処理を続行します。

2.4.270 JMN2478I-S

COLUMN句とPRINTING POSITION句は同一報告集団内に混在してはいけません。そのまま処理を続行します。

例題

```

[P2478. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2478.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 FD REPFIL
000010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01          PIC X(10).
000013 01 WS02          PIC X(10).
000014 REPORT          SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016     HEADING 2

```

```

000017      FIRST DETAIL 6.
000018 01 TYPE RH.
000019 02 LINE 3.
000020 03 PIC X(10) SOURCE WS01
000021      COLUMN 1.
000022 03 PIC X(10) SOURCE WS01
000023      PRINTING POSITION 12.
000024 PROCEDURE      DIVISION.
000025 END PROGRAM      P2478.

```

P2478.cob 18: JMN2478I-S COLUMN句とPRINTING POSITION句は同一報告集団内に混在してはいけません。そのまま処理を続行します。

2.4.271 JMN2480I-S

報告集団記述項の基本項目には、SOURCE句、SUM句またはVALUE句のいずれか一つを指定しなければなりません。そのまま処理を続行します。

例題

```

[P2480. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2480.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006      SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA              DIVISION.
000009 FILE                SECTION.
000010 FD REPFIL
000011      REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD              PIC X(1).
000014 01 CTLD              PIC X(2).
000015 REPORT              SECTION.
000016 RD REP1 PAGE 66
000017      FIRST DETAIL 10.
000018 01 TYPE DE LINE 12.
000019 02 COLUMN 10 PIC X(20).
000020 PROCEDURE          DIVISION.
000021 END PROGRAM          P2480.

```

P2480.cob 19: JMN2480I-S 報告集団記述項の基本項目には、SOURCE句、SUM句またはVALUE句のいずれか一つを指定しなければなりません。そのまま処理を続行します。

2.4.272 JMN2481I-S

有効な語が@1@句の一意名の添字または部分参照子に指定されていません。添字または部分参照子に1が指定されたものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : SOURCEまたはSUM.

例題

```

[P2481. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2481.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.

```

```

000006      SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA          DIVISION.
000008 FILE            SECTION.
000009 FD REPFIL
000010      REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 .
000013 02 WS01          PIC X(10) OCCURS 10.
000014 REPORT          SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66.
000016 01 TYPE DE.
000017 02 LINE 12.
000018 03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01().
000019 PROCEDURE        DIVISION.
000020 LB.
000021 END PROGRAM      P2481.

```

P2481.cob 18: JMN2481I-S 有効な語がSOURCE句の一意名の添字または部分参照子に指定されていません。添字または部分参照子に1が指定されたものとみなします。

2.4.273 JMN2482I-S

@1@句の一意名に添字が指定された場合、指標名に続く+または-の直後の文字列は整数でなければなりません。1が指定されたものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : SOURCEまたはSUM.

例題

```

[P2482. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2482.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006      SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA          DIVISION.
000008 FILE            SECTION.
000009 FD REPFIL
000010      REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 .
000013 02 WS01          PIC X(10) OCCURS 10
000014                      INDEXED BY WIX.
000015 REPORT          SECTION.
000016 RD REP1 PAGE 66.
000017 01 TYPE DE.
000018 02 LINE 12.
000019 03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01(WIX + ).
000020 PROCEDURE        DIVISION.
000021 LB.
000022 END PROGRAM      P2482.

```

P2482.cob 19: JMN2482I-S SOURCE句の一意名に添字が指定された場合、指標名に続く+または-の直後の文字列は整数でなければなりません。1が指定されたものとみなします。

詳細な説明

添字の値は、演算子が+のときは+に続く値を指標名の値(出現番号に対応する値)に加えたものに、また、演算子が-のときは-に続く値を指標名の値から引いたものになります。符号に続く値は整数でなければなりません。

2.4.274 JMN2483I-S

基本項目にPICTURE句の指定がありません。 PICTURE句にXが指定されたものとみなします。

例題

```
[P2483. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2483.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE               SECTION.
000009 FD REPFIL
000010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 .
000013 02 WS01           PIC X(10) OCCURS 10
000014                     INDEXED BY WIX.
000015 REPORT            SECTION.
000016 RD REP1 PAGE 66.
000017 01 TYPE DE.
000018 02 LINE 12.
000019 03 COLUMN 10 SOURCE WS01(WIX).
000020 PROCEDURE          DIVISION.
000021 LB.
000022 END PROGRAM       P2483.
```

P2483.cob 19: JMN2483I-S 基本項目にPICTURE句の指定がありません。 PICTURE句にXが指定されたものとみなします。

詳細な説明

3番目の階層(印字項目)の報告集団記述項には、 PICTURE句を指定しなければなりません。

2.4.275 JMN2484I-S

報告書節中の@1@句は、 集団項目およびレベル番号01の基本項目に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : SIGN, JUSTIFIED RIGHT, BLANK WHEN ZERO, VALUE, PRINTING POSITION, COLUMN NUMBER, SOURCE, SUMまたはGROUP INDICATE.

例題

```
[P2484. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2484.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE               SECTION.
000009 FD REPFIL
000010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01           PIC X(10) .
000013 01 WS02           PIC X(10) .
000014 REPORT            SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016     HEADING 2
```

```

000017      FIRST DETAIL 6.
000018 01 TYPE RH.
000019 02 LINE 3 PRINTING POSITION 2.
000020 03 COLUMN 1 PIC X(10) SOURCE WS01.
000021 PROCEDURE      DIVISION.
000022 END PROGRAM      P2484.

```

P2484.cob 19: JMN2484I-S 報告書節中のPRINTING POSITION句は、集団項目およびレベル番号01の基本項目に指定できません。

詳細な説明

報告集団記述項は、3つの階層で構成します。各階層では、記述可能な句が決められています。

もっとも下位の階層である3番目の階層(印字項目)の報告集団記述項で指定しなければならない句が別の階層の報告集団記述項で指定された場合に、この診断メッセージが出力されます。

2.4.276 JMN2485I-S

報告書節中のPICTURE句は、レベル番号01の項目に指定できません。そのまま処理を続行します。

例題

```

[P2485. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2485.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA              DIVISION.
000008 FILE                SECTION.
000009 FD REPFIL
000010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 .
000013 02 WS01            PIC X(10) OCCURS 10
000014                      INDEXED BY WIX.
000015 REPORT              SECTION.
000016 RD REP1 PAGE 66.
000017 01 TYPE DE LINE 12
000018                      PIC X(10).
000019 PROCEDURE           DIVISION.
000020 LB.
000021 END PROGRAM          P2485.

```

P2485.cob 18: JMN2485I-S 報告書節中のPICTURE句は、レベル番号01の項目に指定できません。そのまま処理を続行します。

詳細な説明

3番目の階層(印字項目)の報告集団記述項には、PICTURE句を指定しなければなりません。

2.4.277 JMN2486I-S

報告書節中の@1@句は、印字項目に指定しなければなりません。そのまま処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : VALUE, BLANK WHEN ZERO, JUSTIFIEDまたはGROUP INDICATE.

例題

```

[P2486. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2486.

```

```

000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA            DIVISION.
000008 FILE            SECTION.
000009 FD REPFIL
000010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 .
000013     02 WS01      PIC X(10) OCCURS 10
000014                      INDEXED BY WIX.
000015 REPORT          SECTION.
000016 RD REP1 PAGE 66.
000017 01 TYPE DE LINE 12.
000018     02          VALUE SPACE.
000019 PROCEDURE        DIVISION.
000020 END PROGRAM        P2486.

```

P2486.cob 18: JMN2486I-S 報告書節中のVALUE句は、印字項目に指定しなければなりません。そのまま処理を続行します。

詳細な説明

報告集団記述項は、3つの階層で構成します。各階層では、記述可能な句が決められています。

もっとも下位の階層である3番目の階層(印字項目)の報告集団記述項で指定しなければならない句が別の階層の報告集団記述項で指定された場合に、この診断メッセージが出力されます。

2.4.278 JMN2487I-S

報告書節中のUSAGE句を基本項目に指定する場合、その項目は印字項目でなければなりません。そのまま処理を続行します。

例題

```

[P2487.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2487.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA            DIVISION.
000008 FILE            SECTION.
000009 FD REPFIL
000010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01      PIC X(10).
000013 REPORT          SECTION.
000014 RD REP1 PAGE 66.
000015 01 TYPE DE LINE 12.
000016     02          PIC X
000017                      DISPLAY SOURCE WS01.
000018 PROCEDURE        DIVISION.
000019 END PROGRAM        P2487.

```

P2487.cob 16: JMN2487I-S 報告書節中のUSAGE句を基本項目に指定する場合、その項目は印字項目でなければなりません。そのまま処理を続行します。

2.4.279 JMN2488I-S

COLUMN NUMBER句は、LINE NUMBER句を含む記述項またはLINE NUMBER句を含む記述項に従属する記述項に限り指定することができます。そのまま処理を続行します。

例題

```
[P2488.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.        P2488.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT       SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA                DIVISION.
000008 FILE                 SECTION.
000009 FD REPFIL
000100     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01             PIC X(10).
000013 01 WS02             PIC X(10).
000014 REPORT              SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016     HEADING 2
000017     FIRST DETAIL 6.
000018 01 TYPE RH.
000019     02 .
000020     03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01.
000021 PROCEDURE           DIVISION.
000022 END PROGRAM         P2488.
```

P2488.cob 20: JMN2488I-S COLUMN NUMBER句は、LINE NUMBER句を含む記述項またはLINE NUMBER句を含む記述項に従属する記述項に限り指定することができます。そのまま処理を続行します。

詳細な説明

COLUMN NUMBER句では、印字行の上での印字位置を指定します。一方、印字行の位置(報告集団の縦の位置)はLINE NUMBER句で指定しなければなりません。

2.4.280 JMN2489I-S

SUM句またはSOURCE句の添字または部分参照子には、合計カウンタを指定してはなりません。そのまま処理を続行します。

例題

```
[P2489.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.        P2489.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT       SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA                DIVISION.
000009 FILE                 SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD             PIC 9(2).
000014 01 .
000015     02 WITM          PIC 9(2) OCCURS 10.
000016 REPORT              SECTION.
000017 RD REP1 PAGE 66
000018     CONTROL CTLD.
```

```

000019 01 TYPE CF CTLD.
000020 02 WSC1      PIC S9(4) SUM WITM(2).
000021 02 WSC2      PIC S9(4) SUM WITM(WSC1).
000022 PROCEDURE    DIVISION.
000023 END PROGRAM   P2489.

```

P2489.cob 21: JMN2489I-S SUM句またはSOURCE句の添字または部分参照子には、合計カウンタを指定してはなりません。そのまま処理を続行します。

2.4.281 JMN2491I-S

SAME RECORD AREA句は、報告書ファイルに指定できません。そのまま処理を続行します。

例題

```

[P2491.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2491.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007     SELECT REPFIL1 ASSIGN TO SYS002.
000008 I-O-CONTROL.
000009     SAME RECORD AREA SQFILE1 REPFIL1.
000010 DATA             DIVISION.
000011 FILE               SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01                PIC X(80).
000014 FD REPFIL1
000015     REPORT IS REP1.
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 01 CTLD            PIC 9(2).
000018 01 WITM            PIC 9(2).
000019 REPORT            SECTION.
000020 RD REP1 PAGE 66
000021     CONTROL CTLD.
000022 01 TYPE CF CTLD.
000023 02 WSC1            PIC 9(4) SUM WITM.
000024 PROCEDURE          DIVISION.
000025 END PROGRAM          P2491.

```

P2491.cob 14: JMN2491I-S SAME RECORD AREA句は、報告書ファイルに指定できません。そのまま処理を続行します。

2.4.282 JMN2493I-S

報告書ファイルにRECORD句を指定する場合、VARYING指定であってはなりません。

例題

```

[P2493.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2493.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE               SECTION.
000009 FD REPFIL1
000010     RECORD VARYING IN SIZE
000011     DEPENDING ON LRECL
000012     REPORT IS REP1.

```



```

000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 LCREL          PIC 9(2).
000015 01 WITM          PIC 9(2).
000016 REPORT          SECTION.
000017 RD REP1 PAGE 66.
000018 01 TYPE DE.
000019 02          PIC 9(4) SOURCE WITM.
000020 PROCEDURE        DIVISION.
000021 END PROGRAM      P2493.

```

P2493.cob 10: JMN2493I-S 報告書ファイルにRECORD句を指定する場合、VARYING指定であってはなりません。

2.4.283 JMN2494I-S

報告書ファイルにRECORD CONTAINS 0 CHARACTERSは、指定できません。

例題

```

[P2494.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2494.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007     SELECT REPF1 ASSIGN TO SYS002.
000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA              DIVISION.
000010 FILE                SECTION.
000011 FD SQFILE1.
000012 01 SQF1REC        PIC X(80).
000013 FD REPF1
000014     RECORD CONTAINS 0 CHARACTERS
000015     REPORT IS REP1.
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 01 WFS1            PIC X(2).
000018 REPORT            SECTION.
000019 RD REP1 PAGE 66.
000020 01 DE-REC TYPE DE.
000021 02 LINE PLUS 1.
000022 03 COLUMN 1 PIC X(80) SOURCE SQF1REC.
000023 PROCEDURE        DIVISION.
000024 END PROGRAM      P2494.

```

P2494.cob 13: JMN2494I-S 報告書ファイルにRECORD CONTAINS 0 CHARACTERSは、指定できません。

2.4.284 JMN2495I-I

CHARACTER TYPE句またはPRINTING POSITION句の指定を持つ報告書レコードが長すぎます。RECORD CONTAINS @1@が指定されたとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 必要とされるレコード長を示す整数値。

例題

```

[P2495.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2495.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.

```

```

000006      SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA          DIVISION.
000008 FILE            SECTION.
000009 FD REPFIL
000010      REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WITM          PIC N(20).
000013 REPORT          SECTION.
000014 RD REP1 PAGE 66.
000015 01 TYPE DE CHARACTER TYPE MODE-3.
000016 02 LINE PLUS 1.
000017 03 COLUMN 20 PIC N(20) SOURCE WITM.
000018 03 COLUMN 80 PIC N(20) SOURCE WITM.
000019 PROCEDURE      DIVISION.
000020 END PROGRAM      P2495.

```

P2495.cob 9: JMN2495I-I CHARACTER TYPE句またはPRINTING POSITION句の指定を持つ報告書レコードが長すぎます。RECORD CONTAINS 139が指定されたものとみなします。

2.4.285 JMN2496I-S

COLUMN句の値が大きすぎます。報告書レコードの長さを拡張し、処理を続行します。

例題

```

[P2496.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2496.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006      SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA          DIVISION.
000008 FILE            SECTION.
000009 FD REPFIL
000010      REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WITM          PIC N(1).
000013 REPORT          SECTION.
000014 RD REP1 PAGE 66.
000015 01 TYPE DE.
000016 02 LINE PLUS 1.
000017 03 COLUMN 140 PIC N(1) SOURCE WITM.
000018 PROCEDURE      DIVISION.
000019 END PROGRAM      P2496.

```

P2496.cob 17: JMN2496I-S COLUMN句の値が大きすぎます。報告書レコードの長さを拡張し、処理を続行します。

2.4.286 JMN2497I-S

報告書レコードが長過ぎます。RECORD CONTAINS @1@が指定されたものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 必要とされるレコード長を示す整数値。

例題

```

[P2497.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2497.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.

```

```

000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA          DIVISION.
000008 FILE           SECTION.
000009 FD REPFIL
000010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WITM        PIC N(20).
000013 REPORT         SECTION.
000014 RD REP1 PAGE 66.
000015 01 TYPE DE.
000016     02 LINE PLUS 1.
000017     03 COLUMN 135 PIC N(20) SOURCE WITM.
000018 PROCEDURE      DIVISION.
000019 END PROGRAM     P2497.

```

P2497.cob 9: JMN2497I-S 報告書レコードが長過ぎます。RECORD CONTAINS 174が指定されたとみなします。

2.4.287 JMN2498I-S

NEXT GROUP句の整数は、表示範囲の上限を超えてはなりません。

例題

```

[P2498.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2498.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA          DIVISION.
000008 FILE           SECTION.
000009 FD REPFIL
000010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01         PIC X(10).
000013 01 WS02         PIC X(10).
000014 REPORT         SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016     HEADING 2
000017     FIRST DETAIL 10
000018     LAST DETAIL 60.
000019 01 TYPE DE NEXT GROUP 5.
000020     02 LINE 10.
000021     03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01.
000022 PROCEDURE      DIVISION.
000023 END PROGRAM     P2498.

```

P2498.cob 19: JMN2498I-S NEXT GROUP句の整数は、表示範囲の上限を超えてはなりません。

詳細な説明

NEXT GROUP句は、報告集団の最後の行を表示した後に行う行送りを指示します。絶対的なNEXT GROUP句が指定されると、その位置から次の報告集団が表示されます。報告集団が表示される範囲外の縦位置を示す値は指定できません。

2.4.288 JMN2499I-S

NEXT GROUP句の整数は表示範囲の下限を超えてはなりません。

例題

```
[P2499.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2499.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE               SECTION.
000009 FD REPFIL
00010     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WS01           PIC X(10).
000013 01 WS02           PIC X(10).
000014 REPORT            SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66
000016     HEADING 2
000017     FIRST DETAIL 10
000018     LAST DETAIL 60.
000019 01 TYPE DE NEXT GROUP 65.
000020 02 LINE 10.
000021 03 COLUMN 10 PIC X(10) SOURCE WS01.
000022 PROCEDURE         DIVISION.
000023 END PROGRAM       P2499.
```

P2499.cob 19: JMN2499I-S NEXT GROUP句の整数は表示範囲の下限を超えてはなりません。

詳細な説明

NEXT GROUP句は、報告集団の最後の行を表示した後に行う行送りを指示します。絶対的なNEXT GROUP句が指定されると、その位置から次の報告集団が表示されます。報告集団が表示される範囲外の縦位置を示す値は指定できません。

2.4.289 JMN2500I-S

文が現れなければいけない所に、語 '@1@' が現れました。次の文または手続き名まで読み飛ばします。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった語。

例題

```
[P2500.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2500.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDA1           PIC X.
000007 01 WDA2           PIC X.
000008 PROCEDURE         DIVISION.
000009*     MOVE
000010     SPACE TO WDA1
000011 END PROGRAM       P2500.
```

P2500.cob 10: JMN2500I-S 文が現れなければいけない所に、語 'SPACE' が現れました。次の文または手続き名まで読み飛ばします。

詳細な説明

文の最初の語は、決められた予約語でなければなりません。また、完結した文の後ろに余分な語を記述することはできません。

2.4.290 JMN2501I-S

@1@文で, '@2@'は@3@でなければなりません.

埋め込みの説明

@1@ : エラーを検出した文の動詞.

@2@ : エラーの原因となった語.

@3@ : 記述可能な語の種類.

例題

```
[P2501. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2501.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WNUM1          PIC 9(4).
000008 02 WNUM2          PIC 9(4).
000009 02 WNUM3          PIC 9(4).
000010 PROCEDURE         DIVISION.
000011     ADD CORR WGRP TO 13.
000012 END PROGRAM      P2501.
```

P2501.cob 11: JMN2501I-S ADD文で, '13'は一意名でなければなりません.

詳細な説明

この診断メッセージは, COBOLの各種の文で期待する語と異なる種類の語が記述された場合に出力されます. 主な原因は次の通りです.

1. 1つしか作用対象を記述できない個所に複数の作用対象を記述している.
2. 定数を記述できない所に定数を指定した.
3. 指定可能な定数と字類の異なる定数を指定した.
4. 文に記述可能な補助語・指定の順番を誤った.

例題プログラムの場合は, 2の理由からこの診断メッセージが出力されています.

2.4.291 JMN2502I-S

@1@文で, '@2@'は@3@でなければなりません. '@2@'は無効になります.

埋め込みの説明

@1@ : エラーを検出した文の動詞.

@2@ : エラーの原因となった語.

@3@ : 記述可能な語の種類.

例題

```
[P2502. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2502.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006
000007 PROCEDURE         DIVISION.
```

```
000008      COMPUTE 13 = 12 + 1
000009 END PROGRAM      P2502.
```

P2502.cob 8: JMN2502I-S COMPUTE文で、'13'は一意名でなければなりません。'13'は無効になります。

詳細な説明

この診断メッセージは、COBOLの各種の文で期待する語と異なる種類の語が記述された場合に出力されます。主な原因は次の通りです。

1. 1つしか作用対象を記述できない個所に複数の作用対象を記述している。
2. 定数を記述できない所に定数を指定した。
3. 指定可能な定数と字類の異なる定数を指定した。
4. 文に記述可能な補助語・指定の順番を誤った。

例題プログラムの場合は、2の理由からこの診断メッセージが出力されています。

2.4.292 JMN2503I-S

利用者語'@1@'が定義されていません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった利用者語。

例題

```
[P2503. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2503.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE         DIVISION.
000007     DISPLAY A
000008 END PROGRAM      P2503.
```

P2503.cob 7: JMN2503I-S 利用者語'A'が定義されていません。

詳細な説明

参照した利用者語(主にデータ名やラベル名)の定義が見つからない場合に、この診断メッセージが出力されます。

利用者語が定義されていても、次のような場合には、この診断メッセージが出力されるので注意してください。

- ・ 一意参照のための修飾語が誤っている
- ・ 利用者語の名前の範囲にない名前を参照している

2.4.293 JMN2504I-S

利用者語'@1@'が多重定義です。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった利用者語。

例題

```
[P2504. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2504.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
```

```

000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A          PIC X(1).
000007 01 A.
000008 02 B          PIC X(1).
000009 01 C.
000010 02 A.
000011 03 B          PIC X(1).
000012 PROCEDURE     DIVISION.
000013     MOVE SPACE TO A
000014     MOVE SPACE TO B OF A
000015 END PROGRAM   P2504.

```

P2504.cob 13: JMN2504I-S 利用者語'A'が多重定義です.

P2504.cob 14: JMN2504I-S 利用者語'B'が多重定義です.

詳細な説明

手続き部見出しあるいは手続き内で参照された名前に該当するものが、複数検出され一意に決められない場合は、利用者語の多重定義になります.

いくつかの要素については、参照時だけでなく定義時にも名前の重複がチェックされます.

以下の定義時チェックは.NET版固有です.

- フィールド/プロパティを同じ名前で複数宣言した(フィールド名同士/プロパティ名同士だけでなくフィールド名とプロパティ名が同名であるのも不可)
- PROPERTY句つきデータに同じ内部名と外部名をつけた
- 連絡節データのAS外部名と同じ名前を、同じ節内で他にも宣言した
- ENUM定義内のフィールドを同じ名前で複数定義した

なお翻訳オプションALPHAL(AUTO)が有効な場合、名前の英大文字/英小文字は等価比較されます. このとき、文字大小が異なる同じつづりの名前を複数定義すると多重定義とみなされます.

2.4.294 JMN2505I-S

@1@文には@2@を指定しなければなりません. @2@が指定されたものとみなします.

埋め込みの説明

@1@ : エラーを検出した文の動詞.

@2@ : 指定する必要がある語.

例題

```

[P2505.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2505.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDA            PIC X.
000007 PROCEDURE        DIVISION.
000008     MOVE SPACE WDA
000009 END PROGRAM        P2505.

```

P2505.cob 8: JMN2505I-S MOVE文にはTOを指定しなければなりません. TOが指定されたものとみなします.

詳細な説明

COBOLの文は、いくつかの予約語とその作用対象となる利用者語、定数などの並びから構成されます.

このうち、予約語は次の2種類に分けられます.

- ・ 必須語
- ・ 補助語

必須語はその文の意味を決めるために必ず指定する必要があります。この診断メッセージは各文に対して決められた必須語を記述しなかった場合に出力されます。

2.4.295 JMN2506I-W

条件文またはうちPERFORM文中には、文を指定しなければなりません。指定されたとおりに、受け入れます。

例題

```
[P2506.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2506.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE         DIVISION.
000007     PERFORM WITH NO LIMIT
000008     END-PERFORM
000009 END PROGRAM        P2506.
```

P2506.cob 8: JMN2506I-W 条件文またはうちPERFORM文中には、文を指定しなければなりません。指定されたとおりに、受け入れます。

2.4.296 JMN2507I-S

IF DB-EXCEPTION文は、データベース操作文またはIF DB-EXCEPTION文の後しか指定できません。

例題

```
[P2507.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2507.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE         DIVISION.
000007     IF DB-EXCEPTION IS 10
000008     GO TO END-PROC.
000009 END-PROC.
000010 END PROGRAM        P2507.
```

P2507.cob 7: JMN2507I-S IF DB-EXCEPTION文は、データベース操作文またはIF DB-EXCEPTION文の後しか指定できません。

2.4.297 JMN2508I-W

NEXT SENTENCEは、明示範囲符を持つIFまたはSEARCH文に指定できません。指定されたとおりに、受け入れます。

例題

```
[P2508.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2508.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDA            PIC X.
000007 PROCEDURE         DIVISION.
000008     IF WDA = SPACE THEN
000009     NEXT SENTENCE
```



```
000010      END-IF
000011 END PROGRAM      P2508.
```

P2508.cob 8: JMN2508I-W NEXT SENTENCEは、明示範囲符を持つIFまたはSEARCH文に指定できません。指定されたとおりに、受け入れます。

詳細な説明

IF文およびSEARCH文の明示範囲符は次のとおりです。

- ・ IF文に対するEND-IF
- ・ SEARCH文に対するEND-SEARCH

これらを指定したIF文またはSEARCH文にNEXT SENTENCEを記述した場合に、この診断メッセージが出力されます。NEXT SENTENCEまたは明示範囲符を削除してください。

2.4.298 JMN2509I-S

条件文@1@が、無条件文しか指定できないところに指定されています。@1@文を受け入れます。

埋め込みの説明

@1@ : エラーを検出した文の動詞。

例題

```
[P2509.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2509.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA              DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDA             PIC X.
000007 PROCEDURE         DIVISION.
000008     PERFORM 10 TIMES
000009         IF WDA = SPACE THEN
000010             DISPLAY "SPACE"
000011     END-PERFORM.
000012 END PROGRAM      P2509.
```

P2509.cob 9: JMN2509I-S 条件文IFが、無条件文しか指定できないところに指定されています。IF文を受け入れます。

詳細な説明

COBOL言語において、無条件文とは次のいずれかです。

- ・ 無条件文として区別される文
- ・ 明示範囲符で閉じた条件文

明示範囲符とは、例えば、IF文に対するEND-IFです。一般に、この診断メッセージが出力されるのは、条件文内に明示範囲符で閉じられていない他の条件文が存在する場合です。

例題プログラムでは、うちPERFORM文の内部にEND-IFで閉じられていないIF文があることが、この診断メッセージが出力される原因です。

この診断メッセージが出力された場合は、条件文とその明示範囲符の対応関係を見直してください。

2.4.299 JMN2510I-S

対応しない@1@が指定されています。@1@は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : 対応する動詞のない明示範囲符。

例題

```
[P2510. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2510.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDA            PIC X.
000007 PROCEDURE         DIVISION.
000008     IF WDA = SPACE THEN
000009         EXIT PROGRAM.
000010     END-IF
000011 END PROGRAM       P2510.
```

P2510.cob 10: JMN2510I-S 対応しないEND-IFが指定されています。END-IFは、無効となります。

詳細な説明

明示範囲符 (END-ADDなど"END-動詞"の形式の語)は文の範囲の終わりを示す語ですが、明示範囲符に対応する文が見つかりません。

次のことを確認してください。

- ・ 文と明示範囲符の種類は一致しているか。
- ・ 文と明示範囲符は1対1に対応しているか。
- ・ 文の途中に分離符の終止符が書かれていないか。

2.4.300 JMN2511I-S

@1@文の'@2@'は、呼び名または機能名でなければなりません。SYSINまたはSYSOUTが指定されたものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : ACCEPTまたはDISPLAY.

@2@ : エラーの原因となった語。

例題

```
[P2511. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2511.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDA            PIC X.
000007 01 WOUT           PIC X(20).
000008 PROCEDURE         DIVISION.
000009     DISPLAY WDA UPON WOUT.
000010 END PROGRAM       P2511.
```

P2511.cob 9: JMN2511I-S DISPLAY文の'WOUT'は、呼び名または機能名でなければなりません。SYSINまたはSYSOUTが指定されたものとみなします。

詳細な説明

ACCEPT文のFROM指定に指定する呼び名は、環境部の特殊名段落で、機能名CONSOLE、SYSINまたはARGUMENT-NUMBER、ARGUMENT-VALUE、ENVIRONMENT-VALUEのいずれかに対応付けておかねばなりません。

DISPLAY文のUPON指定に指定する呼び名は、環境部の特殊名段落で、機能名CONSOLE、SYSOUT、SYSERR、SYSPUNCHまたはARGUMENT-NUMBER、ENVIRONMENT-NAME、ENVIRONMENT-VALUEのいずれかに対応付けておかねばなりません。

2.4.301 JMN2512I-S

OPEN文にINPUT, OUTPUT, I-OまたはEXTENDが指定されていません。INPUT, OUTPUT, I-OまたはEXTENDが現れるまで読み飛ばします。

例題

```
[P2512.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2512.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION   IS SEQUENTIAL.
000008 DATA              DIVISION.
000009 FILE               SECTION.
000010 FD SQFILE1.
000011 01 SQF1REC.
000012 02                PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 PROCEDURE         DIVISION.
000015     OPEN SQFILE1.
000016 END PROGRAM      P2512.
```

P2512.cob 15: JMN2512I-S OPEN文にINPUT, OUTPUT, I-OまたはEXTENDが指定されていません。INPUT, OUTPUT, I-OまたはEXTENDが現れるまで読み飛ばします。

詳細な説明

ファイルを開くときのモードを「オープンモード」といいます。オープンモードには、入力モード(INPUT)、出力モード(OUTPUT)、入出力両用モード(I-O)および拡張モード(EXTEND)の4種類があります。

どのモードでファイルを開くかを、OPEN文で指定します。

2.4.302 JMN2513I-S

整列併合用以外のファイルが指定されなければならないところに、誤った語'@1@'が指定されています。語は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった語。

例題

```
[P2513.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2513.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION   IS SEQUENTIAL.
000008 DATA              DIVISION.
000009 FILE               SECTION.
000010 FD SQFILE1.
000011 01 SQF1REC.
000012 02                PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 PROCEDURE         DIVISION.
000015     OPEN INPUT SQF1REC.
000016 END PROGRAM      P2513.
```

P2513.cob 15: JMN2513I-S 整列併合用以外のファイルが指定されなければならないところに、誤った語'SQF1REC'が指定されています。語は、無効となります。

詳細な説明

OPEN文ではファイル名を指定します。

なお、整列併合用ファイルは内部的に生成されるファイルであり、OPEN文によって開く必要はありません。

2.4.303 JMN2514I-S

@3@オプションは、@1@指定の'@2@'ファイルに指定できません。オプションは、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : OUTPUT, EXTEND, I-OまたはUNIT/REEL.

@2@ : エラーの原因となったファイル名.

@3@ : REVERSEDまたはREMOVAL.

例題

```
[P2514. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2514.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION   IS SEQUENTIAL.
000008 DATA             DIVISION.
000009 FILE              SECTION.
000010 FD SQFILE1.
000011 01 SQF1REC.
000012 02                PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 PROCEDURE         DIVISION.
000015     OPEN OUTPUT SQFILE1 REVERSED
000016 END PROGRAM        P2514.
```

P2514.cob 15: JMN2514I-S REVERSEDオプションは、OUTPUT指定の'SQFILE1'ファイルに指定できません。オプションは、無効となります。

詳細な説明

REVERSED指定は廃要素です。また、このコンパイラではFOR REMOVAL指定は注釈とみなします。

ただしこれらの句の解析は行われます。

2.4.304 JMN2515I-S

NO REWINDは、@1@指定の'@2@'ファイルに指定できません。NO REWINDは、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : EXTENDまたはI-O.

@2@ : エラーの原因となったファイル名.

例題

```
[P2515. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2515.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
```

```

000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS SEQUENTIAL.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD SQFILE1.
000011 01 SQF1REC.
000012 02 PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     OPEN EXTEND SQFILE1 WITH NO REWIND
000016 END PROGRAM P2515.

```

P2515.cob 15: JMN2515I-S NO REWINDは、EXTEND指定の'SQFILE1'ファイルに指定できません。NO REWINDは、無効となります。

詳細な説明

NO REWIND指定は注釈とみなされます。ただし句の解析は行われます。

2.4.305 JMN2516I-S

@1@文の'@2@'は整列併合用以外のファイル名でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : DELETE, SEEK, SET, READまたはSTART.

@2@ : エラーの原因となったファイル名.

例題

```

[P2516.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2516.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IXFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS INDEXED
000008     RECORD KEY IS WRKY1.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD IXFILE1.
000013 01 IXF1REC.
000014 02 WRKY1 PIC X(2).
000015 02 PIC X(80).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 PROCEDURE DIVISION.
000018     START IXF1REC
000019     KEY IS EQUAL TO WRKY1
000020 END PROGRAM P2516.

```

P2516.cob 18: JMN2516I-S START文の'IXF1REC'は整列併合用以外のファイル名でなければなりません。

詳細な説明

操作の対象として指定するのは、ファイル名です。

なお、整列併合用ファイルは、MERGE文、RELEASE文、RETURN文およびSORT文でだけ参照することができます。

2.4.306 JMN2517I-S

@1@文で手続き名が指定されなければならないところに、誤った語が指定されています。語は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : GOTO, SORTまたはMERGE.

例題

```
[P2517.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2517.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WPROC          PIC X(20).
000007 PROCEDURE         DIVISION.
000008     GO TO WPROC
000009 END PROGRAM       P2517.
```

P2517.cob 8: JMN2517I-S GO TO文で手続き名が指定されなければならないところに、誤った語が指定されています。語は、無効となります。

2.4.307 JMN2518I-S

USING句中の'@1@'は一意名、手続き名またはファイル名でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった語。

例題

```
[P2518.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2518.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 RT-ITEM         PIC X.
000007 PROCEDURE         DIVISION.
000008     CALL "SUB2518" USING BY REFERENCE
000009     RETURNING RT-ITEM.
000010 END PROGRAM       P2518.
```

P2518.cob 9: JMN2518I-S USING句中の'RETURNING'は一意名、手続き名またはファイル名でなければなりません。

2.4.308 JMN2519I-S

@1@の後の'@2@'は、手続き名でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : THRU.

@2@ : エラーの原因となった語。

例題

```
[P2519.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2519.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
```

```

000004 DATA          DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE      DIVISION.
000007     PERFORM P1 THRU
000008     STOP RUN.
000009 P1.
000010 END PROGRAM    P2519.

```

P2519.cob 8: JMN2519I-S THRUの後の'STOP'は、手続き名でなければなりません。

2.4.309 JMN2520I-S

@1@文中で, '@2@'が誤って指定されています。

埋め込みの説明

@1@ : CALL, INITIATE, TERMINATE, SET, ERASE, MODIFYまたはSTORE.

@2@ : エラーの原因となった語.

例題

```

[P2520.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2520.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007 CALL "SUB2520" USING "DATA"
000008 END PROGRAM P2520.

```

P2520.cob 7: JMN2520I-S CALL文中で, "DATA"が誤って指定されています。

2.4.310 JMN2521I-S

TEST BEFORE指定またはTEST AFTER指定が不完全です。TEST BEFORE指定が記述されたものとみなします。

例題

```

[P2521. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2521.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WLOOP PIC 999.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008     PERFORM TEST
000009     VARYING WLOOP FROM 1
000010     BY 1 UNTIL WLOOP = 10
000011     DISPLAY WLOOP
000012     END-PERFORM
000013 END PROGRAM P2521.

```

P2521.cob 8: JMN2521I-S TEST BEFORE指定またはTEST AFTER指定が不完全です。TEST BEFORE指定が記述されたものとみなします。

詳細な説明

BEFOREもAFTERも指定されず、語TESTだけが指定されています。

文の組を実行する前に条件を検査する場合は、TEST BEFORE指定を書くかまたはTEST指定を省略します。文の組を実行した後に条件を検査する場合は、TEST AFTER指定を書きます。

2.4.311 JMN2522I-W

PERFORM文のVARYING指定で、AFTER指定は6個以下でなければなりません。指定されたとおりに受け入れます。

例題

```
[P2522. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2522.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WLOOP0        PIC S9(9) COMP-5.
000007 01 WLOOP1        PIC S9(9) COMP-5.
000008 01 WLOOP2        PIC S9(9) COMP-5.
000009 01 WLOOP3        PIC S9(9) COMP-5.
000010 01 WLOOP4        PIC S9(9) COMP-5.
000011 01 WLOOP5        PIC S9(9) COMP-5.
000012 01 WLOOP6        PIC S9(9) COMP-5.
000013 01 WLOOP7        PIC S9(9) COMP-5.
000014 PROCEDURE        DIVISION.
000015     PERFORM P1
000016         VARYING WLOOP0 FROM 1 BY 1 UNTIL WLOOP1 > 10000000
000017         AFTER  WLOOP1 FROM 1 BY 1 UNTIL WLOOP2 > 1000000
000018         AFTER  WLOOP2 FROM 1 BY 1 UNTIL WLOOP3 > 100000
000019         AFTER  WLOOP3 FROM 1 BY 1 UNTIL WLOOP4 > 10000
000020         AFTER  WLOOP4 FROM 1 BY 1 UNTIL WLOOP5 > 1000
000021         AFTER  WLOOP5 FROM 1 BY 1 UNTIL WLOOP6 > 100
000022         AFTER  WLOOP6 FROM 1 BY 1 UNTIL WLOOP6 > 10
000023         AFTER  WLOOP7 FROM 1 BY 1 UNTIL WLOOP7 > 1.
000024 P1.
000025     DISPLAY "P1".
000026 END PROGRAM      P2522.
```

P2522.cob 15: JMN2522I-W PERFORM文のVARYING指定で、AFTER指定は6個以下でなければなりません。指定されたとおりに受け入れます。

2.4.312 JMN2523I-S

'@1@'を指定しなければならないところに、'@2@'が指定されています。

埋め込みの説明

@1@ : 必要とされる語。

例題

```
[P2523. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2523.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WANS             PIC S9(9) BINARY.
000007 01 WDA1            PIC S9(9) BINARY.
000008 PROCEDURE        DIVISION.
000009     COMPUTE WANS > 13 + 1
000010 END PROGRAM      P2523.
```

P2523.cob 9: JMN2523I-S '='を指定しなければならないところに、'>'が指定されています。

2.4.313 JMN2524I-S

@1@指定に誤った作用対象'@2@'が指定されています。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの発生した指定.

@2@ : エラーの原因となった語.

例題

```
[P2524.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2524.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WNUM1          PIC S9(9) BINARY.
000007 01 WNUM2          PIC S9(9) BINARY.
000008 01 WNUM3          PIC S9(9) BINARY.
000009 01 WNUM4          PIC S9(9) BINARY.
000010 PROCEDURE         DIVISION.
000011     DIVIDE WNUM1 BY WNUM2
000012         GIVING WNUM3
000013         REMAINDER FUNCTION ADDR(WNUM4)
000014 END PROGRAM        P2524.
```

P2524.cob 13: JMN2524I-S REMAINDER指定に誤った作用対象'FUNCTION ADDR'が指定されています。

2.4.314 JMN2525I-S

@1@句の作用対象が記述されていないか、または誤っています。作用対象として、1が指定されたとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : FROMまたはBY.

例題

```
[P2525.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2525.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WLOOP          PIC S9(9) BINARY.
000007 PROCEDURE         DIVISION.
000008     PERFORM TEST AFTER
000009         VARYING WLOOP FROM 1 BY
000010             UNTIL WLOOP = 10
000011     DISPLAY WLOOP
000012     END-PERFORM
000013 END PROGRAM        P2525.
```

P2525.cob 10: JMN2525I-S BY句の作用対象が記述されていないか、または誤っています。作用対象として、1が指定されたとみなします。

2.4.315 JMN2526I-S

SEARCH文の一意名は、添字付けまたは部分参照できません。AT ENDまたはWHEN指定が現れるまで無効となります。

例題

```
[P2526.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000002 PROGRAM-ID.      P2526.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA              DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 .
000007     02 WTARGET      OCCURS 26 INDEXED BY IX1.
000008     03 WKEY          PIC X.
000009     03 WDATA          PIC S9(4) BINARY.
000010 01 WANS             PIC S9(4) BINARY.
000011 PROCEDURE          DIVISION.
000012     SEARCH WTARGET(1) VARYING IX1
000013         AT END
000014             DISPLAY "ERROR"
000015     WHEN WKEY(IX1) >= "A" AND
000016         WKEY(IX1) <= "Z"
000017         MOVE WDATA(IX1) TO WANS
000018     END-SEARCH
000019 END PROGRAM            P2526.

```

P2526.cob 12: JMN2526I-S SEARCH文の一意名は、添字付けまたは部分参照できません。AT ENDまたはWHEN指定が現れるまで無効となります。

2.4.316 JMN2527I-W

NEXT SENTENCEの後は、終止符、ELSEまたはWHENでなければなりません。指定されたとおりに受け入れます。

例題

```

[P2527. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2527.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA              DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDA              PIC X VALUE "a".
000007 PROCEDURE          DIVISION.
000008     IF WDA = SPACE THEN
000009         NEXT SENTENCE
000010     DISPLAY "NG"
000011 END PROGRAM          P2527.

```

P2527.cob 10: JMN2527I-W NEXT SENTENCEの後は、終止符、ELSEまたはWHENでなければなりません。指定されたとおりに受け入れます。

2.4.317 JMN2528I-S

SEARCH ALL文の条件の中に、誤った算術式が指定されています。

例題

```

[P2528. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2528.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA              DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 .
000007     02 WTARGET      OCCURS 26 INDEXED BY IX1
000008                     ASCENDING KEY IS WKEY.
000009     03 WKEY          PIC S9(4).
000010     03 WDATA          PIC X(1).
000011 01 WANS             PIC X(1).

```

```

000012 01 WDA1          PIC S9(4).
000013 PROCEDURE        DIVISION.
000014     SEARCH ALL WTARGET
000015         AT END
000016             DISPLAY "ERROR"
000017     WHEN WKEY(IX1) = WDA1 + 12 -
000018         MOVE WDATA(IX1) TO WANS
000019     END-SEARCH
000020 END PROGRAM         P2528.

```

P2528.cob 17: JMN2528I-S SEARCH ALL文の条件の中に、誤った算術式が指定されています。

2.4.318 JMN2529I-S

比較演算子がありません。

例題

```

[P2529.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2529.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA              DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 .
000007     02 WTARGET      OCCURS 26 INDEXED BY IX1
000008                             ASCENDING KEY IS WKEY.
000009     03 WKEY           PIC S9(4).
000010     03 WDATA          PIC X(1).
000011 01 WANS             PIC X(1).
000012 01 WDA1            PIC S9(4).
000013 PROCEDURE          DIVISION.
000014     SEARCH ALL WTARGET
000015         AT END
000016             DISPLAY "ERROR"
000017     WHEN WKEY(IX1) < WDA1 + 12
000018         MOVE WDATA(IX1) TO WANS
000019     END-SEARCH
000020 END PROGRAM           P2529.

```

P2529.cob 17: JMN2529I-S 比較演算子がありません。

詳細な説明

文脈に合った比較演算子が見つかりません。以下の場合が該当します。

- SEARCH文／SEARCH ALL文のWHEN指定に=(EQUAL/EQUALS)以外の比較演算子書かれている
- IF文、PERFORM文中の条件式に比較演算子(>, <, =, <=, >=)が書かれていない、あるいはEVALUATE文中の条件式に補助語のISしか書かれていない
- START文のKEY指定に比較演算子(>, <, =, <=, >=)が書かれていない

2.4.319 JMN2530I-S

@1@指定を記述してはなりません。指定を無視します。

埋め込みの説明

@1@ : WHENまたはDELIMITERまたはCOUNT.

例題

```
[P2530.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2530.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA              DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 .
000007     02 WTARGET     OCCURS 26 INDEXED BY IX1
000008                      ASCENDING KEY IS WKEY.
000009     03 WKEY          PIC S9(4).
000010     03 WDATA         PIC X(1).
000011 01 WANS            PIC X(1).
000012 01 WDA1           PIC S9(4).
000013 PROCEDURE          DIVISION.
000014     SEARCH ALL WTARGET
000015     AT END
000016     DISPLAY "ERROR"
000017     WHEN WKEY(IX1) = WDA1 + 12
000018     MOVE WDATA(IX1) TO WANS
000019     WHEN WKEY(IX1) = WDA1 + 30
000020     MOVE WDATA(IX1) TO WANS
000021     END-SEARCH
000022 END PROGRAM          P2530.
```

P2530.cob 19: JMN2530I-S WHEN指定を記述してはなりません。指定を無視します。

詳細な説明

- UNSTRING文では、DELIMITED指定を記述しなかった場合、DELIMTER指定あるいはCOUNT指定を記述してはなりません。
- SEARCH ALL文ではWHEN指定を複数記述してはなりません。
- WHEN OTHER指定を複数記述してはなりません。

2.4.320 JMN2532I-S

'@1@'は、プログラム名または入口名として誤っています。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった語。

例題

```
[P2532.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2532.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA              DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE          DIVISION.
000007     CALL 1234
000008 END PROGRAM          P2532.
```

P2532.cob 7: JMN2532I-S '1234'は、プログラム名または入口名として誤っています。

2.4.321 JMN2534I-S

選択主体に、表意定数ZERO(S, ES)は指定できません。ZERO(S, ES)を受け入れます。

例題

```
[P2534. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2534.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA              DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WVAL           PIC S9(9) BINARY.
000007 PROCEDURE         DIVISION.
000008     EVALUATE TRUE ZERO
000009     WHEN WVAL = 10
000010         WVAL
000011     DISPLAY "NG"
000012     END-EVALUATE
000013 END PROGRAM        P2534.
```

P2534.cob 9: JMN2534I-S 選択主体に, 表意定数ZERO(S, ES)は指定できません. ZERO(S, ES)を受け入れます.

詳細な説明

EVALUATE文の最初のWHEN指定より前に書く作用対象(TRUEおよびFALSEも含む)を, 「選択主体」といいます. 選択主体に表意定数ZERO(ZERO, ZEROS, およびZEROESは同義語です)は指定できません.

2.4.322 JMN2535I-S

@1@文に語'@2@'は, 指定できません.

埋め込みの説明

@1@ : エラーを検出した文の動詞.

@2@ : エラーの原因となった語.

例題

```
[P2535. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2535.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA              DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDA             PIC X.
000007 SCREEN             SECTION.
000008 01 WSC              PIC X FROM WDA.
000009 PROCEDURE         DIVISION.
000010     EVALUATE WSC
000011     WHEN ZERO
000012     DISPLAY "OK"
000013     WHEN OTHER
000014     DISPLAY "NG"
000015     END-EVALUATE
000016 END PROGRAM        P2535.
```

P2535.cob 10: JMN2535I-S EVALUATE文に語'WSC'は, 指定できません.

2.4.323 JMN2536I-S

指標名'@1@'は, 選択主体または選択対象に指定できません.

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった指標名.

例題

```
[P2536. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2536.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WOCC          PIC X OCCURS 10 INDEXED BY IX1.
000008 PROCEDURE        DIVISION.
000009     EVALUATE IX1
000010     WHEN ZERO
000011         DISPLAY "OK"
000012     WHEN OTHER
000013         DISPLAY "NG"
000014     END-EVALUATE
000015 END PROGRAM      P2536.
```

P2536.cob 9: JMN2536I-S 指標名'IX1'は、選択主体または選択対象に指定できません。

詳細な説明

EVALUATE文の最初のWHEN指定より前に書く作用対象(TRUEおよびFALSEも含む)を「選択主体」、EVALUATE文のWHEN指定に書く作用対象(TRUE, FALSEおよびANYも含む)を「選択対象」といいます。

選択主体および選択対象には、指標名は指定できません。

2.4.324 JMN2538I-S

選択対象の数が選択主体の数より少ない。両者は等しくなければなりません。ANYを補って、処理を続行します。

例題

```
[P2538. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2538.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDA1          PIC X(1).
000007 01 WDA2          PIC X(1).
000008 PROCEDURE        DIVISION.
000009     EVALUATE TRUE ALSO TRUE
000010     WHEN WDA1 = SPACE
000011         DISPLAY "OK"
000012     WHEN OTHER
000013         DISPLAY "NG"
000014     END-EVALUATE
000015 END PROGRAM      P2538.
```

P2538.cob 10: JMN2538I-S 選択対象の数が選択主体の数より少ない。両者は等しくなければなりません。ANYを補って、処理を続行します。

詳細な説明

EVALUATE文の最初のWHEN指定より前に書く作用対象(TRUEおよびFALSEも含む)を「選択主体」、EVALUATE文のWHEN指定に書く作用対象(TRUE, FALSEおよびANYも含む)を「選択対象」といいます。

1つのWHEN指定の中には、選択主体の数と同じ数の選択対象を書かなければなりません。

2.4.325 JMN2539I-S

選択対象の数が選択主体の数より多い。両者は等しくなければなりません。余分な選択対象は、無効になります。

例題

```
[P2539. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2539.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDA1           PIC X(1).
000007 01 WDA2           PIC X(1).
000008 PROCEDURE         DIVISION.
000009     EVALUATE TRUE
000010     WHEN WDA1 = SPACE ALSO
000011         WDA2 = SPACE
000012         DISPLAY "OK"
000013     WHEN OTHER
000014         DISPLAY "NG"
000015     END-EVALUATE
000016 END PROGRAM        P2539.
```

P2539.cob 10: JMN2539I-S 選択対象の数が選択主体の数より多い。両者は等しくなければなりません。余分な選択対象は、無効になります。

詳細な説明

EVALUATE文の最初のWHEN指定より前に書く作用対象(TRUEおよびFALSEも含む)を「選択主体」、EVALUATE文のWHEN指定に書く作用対象(TRUE、FALSEおよびANYも含む)を「選択対象」といいます。

1つのWHEN指定の中には、選択主体の数と同じ数の選択対象を書かなければなりません。

2.4.326 JMN2540I-W

EXIT文を含む段落は、手続き名とEXIT文だけで構成されていなければなりません。EXIT文を、CONTINUE文とみなします。

例題

```
[P2540. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2540.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE         DIVISION.
000007 E-PROC            SECTION.
000008     DISPLAY "EXIT"
000009     EXIT.
000010 END PROGRAM        P2540.
```

P2540.cob 9: JMN2540I-W EXIT文を含む段落は、手続き名とEXIT文だけで構成されていなければなりません。EXIT文を、CONTINUE文とみなします。

詳細な説明

EXIT文を含む段落には、EXIT文だけを書きます。EXIT文は、1つのEXIT文だけで1つの完結文になっていなければなりません。

2.4.327 JMN2541I-S

INITIALIZE文のREPLACING指定に、同じ項類は指定できません。手続き名、または次の文まで無効になります。

例題

```
[P2541.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2541.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WNUM          PIC S9(9) BINARY.
000008 02 WDX1          PIC X(10).
000009 02 WDX2          PIC N(10).
000010 PROCEDURE        DIVISION.
000011     INITIALIZE WGRP
000012     REPLACING
000013     ALPHANUMERIC DATA BY SPACE
000014     ALPHANUMERIC DATA BY LOW-VALUE
000015 END PROGRAM      P2541.
```

P2541.cob 14: JMN2541I-S INITIALIZE文のREPLACING指定に、同じ項類は指定できません。手続き名、または次の文まで無効になります。

詳細な説明

INITIALIZE文はデータ項目を初期化します。

データ項目の項類がREPLACING指定に書いた項類に属する場合にだけ、そのデータ項目はBY指定の作用対象の値で初期化されます。同じ項類を指定したREPLACING指定を複数記述してはなりません。

2.4.328 JMN2543I-S

INまたはOFの後は、利用者語でなければなりません。INまたはOFは、無効になります。

例題

```
[P2543.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2543.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WITEM          PIC X(10).
000008 PROCEDURE        DIVISION.
000009     MOVE SPACE TO WITEM OF.
000010 END PROGRAM      P2543.
```

P2543.cob 9: JMN2543I-S INまたはOFの後は、利用者語でなければなりません。INまたはOFは、無効になります。

詳細な説明

同一の綴りを持つ利用者語が同じ名前の範囲の中に2つ以上存在する場合、利用者語を修飾することによって、これらを一意に参照できます。

修飾は、修飾される名前に続いて語OFまたはINを記述し、さらにその後ろに続けて、名前の階層系列の上位にある名前を記述します。OF/INと上位の名前の指定による修飾は、1つ以上書くことができます。

2.4.329 JMN2545I-S

誤った語が、@1@文中の算術式に指定されています。

埋め込みの説明

@1@ : COMPUTE.

例題

```
[P2545. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2545.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WANS           PIC S9(9) BINARY.
000007 PROCEDURE         DIVISION.
000008     COMPUTE WANS = "ABC"
000009 END PROGRAM       P2545.
```

P2545.cob 8: JMN2545I-S 誤った語が, COMPUTE文中の算術式に指定されています。

詳細な説明

COMPUTE文の算術式の要素として, 数字項目, 浮動小数点項目, 数字関数, 整数関数, 数字定数および表意定数ZEROのいずれでもないものが現れました。

2.4.330 JMN2547I-S

@1@文にはALL定数が指定できません。ALLは, 無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーを検出した文の動詞。

例題

```
[P2547. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2547.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WBUF           PIC X(20).
000007 PROCEDURE         DIVISION.
000008     EXAMINE WBUF
000009     TALLYING LEADING ALL "A"
000010 END PROGRAM       P2547.
```

P2547.cob 9: JMN2547I-S EXAMINE文にはALL定数が指定できません。ALLは, 無効になります。

詳細な説明

ALL定数の長さは翻訳時に決定できないため, 文字列操作の文(EXAMINE文, INSPECT文, STRING文, UNSTRING文)では使用できません。

(EXAMINE文はOSIV系システムの固有機能です。)

2.4.331 JMN2548I-S

@1@指定の記述に誤りがあります。

埋め込みの説明

@1@ : TYPEまたはUSINGまたはTALLYING/REPLACING。

例題

```
[P2548. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2548.
```

```

000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 DATA          DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDATA1      PIC X(10).
000007 01 WDATA2      PIC X(10).
000008 01 WDATA3      PIC X(10).
000009 01 WBUF        PIC X(50).
000010 PROCEDURE      DIVISION.
000011     STRING WDATA1 WDATA2 WDATA3
000012             INTO WBUF
000013             BY CSV-FORMAT TYPE MODE-0.
000014 END PROGRAM     P2548.

```

P2548.cob 13: JMN2548I-S TYPE指定の記述に誤りがあります。

詳細な説明

以下の構文誤りに対して出力されます。“COBOL文法書”で書き方や構文規則を確認してください。

- STRING文のTYPE指定
- BY REFERENCE/BY VALUEを書いた手続き部見出しのUSING指定(.NETシステムの固有機能です)
- EXAMINE文のTALLYING/REPLACING指定(EXAMINE文はOSIV系システム固有機能です)

2.4.332 JMN2549I-W

補助語である@1@だけが、指定されています。@1@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった補助語。

例題

```

[P2549.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     P2549.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 DATA          DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDA1        PIC X.
000007 PROCEDURE      DIVISION.
000008     CALL "SUB2549" USING BY WDA1
000009     EXIT PROGRAM
000010
000011 IDENTIFICATION DIVISION.
000012 PROGRAM-ID.     SUB2549.
000013 DATA          DIVISION.
000014 LINKAGE         SECTION.
000015 01 P1          PIC X.
000016 PROCEDURE      DIVISION USING P1.
000017 END PROGRAM    SUB2549.
000018 END PROGRAM    P2549.

```

P2549.cob 8: JMN2549I-W 補助語であるBYだけが、指定されています。BYは、無効になります。

詳細な説明

補助語に続くべき必要語がありません。補助語は書いても書かなくてもかまいませんが、必要語は必ず書かなければなりません。必要語は、“COBOL文法書”の【書き方】で英大文字に下線を付けている語です。

2.4.333 JMN2550I-S

@1@文で'@2@'は報告書名またはデータ名でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : GENERATE.

@2@ : エラーの原因となった利用者語.

例題

```
[P2550.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2550.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE               SECTION.
000009 FD REPFIL
000100     REPORT IS REP1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WBUF1          PIC X(80).
000013 REPORT            SECTION.
000014 RD REP1 PAGE 66
000015     CONTROL FINAL.
000016 01 TYPE DE.
000017 PROCEDURE         DIVISION.
000018 LBL1.
000019     GENERATE LBL1
000020 END PROGRAM      P2550.
```

P2550.cob 19: JMN2550I-S GENERATE文で'LBL1'は報告書名またはデータ名でなければなりません。

詳細な説明

GENERATE文は、報告書記述に従って報告書を作成します。

GENERATE文で指定するのは、報告書名(レベル指示語RDに続く名前)か、明細報告集団(DETAIL指定のTYPE句を指定した報告集団)を示すデータ名でなければなりません。

2.4.334 JMN2551I-S

@1@文中には、必要語@2@を指定しなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーを検出した文の動詞.

@2@ : エラーの原因となった必要語.

例題

```
[P2551.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2551.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDA1            PIC X(20).
000007 PROCEDURE         DIVISION.
000008     SET WDA1
000009 END PROGRAM      P2551.
```

P2551.cob 8: JMN2551I-S SET文中には、必要語TOを指定しなければなりません。

詳細な説明

必要語は必ず書かなければなりません。

2.4.335 JMN2552I-S

SET文のTOの後は、指標名、指標データ項目、整数項目または正の整数でなければなりません。

例題

```
[P2552. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2552.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDA1           PIC X(20).
000007 01 WDA2           PIC X(20).
000008 PROCEDURE         DIVISION.
000009     SET WDA1 TO ALL "A"
000010 END PROGRAM      P2552.
```

P2552.cob 9: JMN2552I-S SET文のTOの後は、指標名、指標データ項目、整数項目または正の整数でなければなりません。

2.4.336 JMN2553I-S

SET文のUP BYまたはDOWN BYの後は、整数項目または整数でなければなりません。

例題

```
[P2553. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2553.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WOCC           PIC X(1)
000008                   OCCURS 10 INDEXED BY IX1.
000009 PROCEDURE         DIVISION.
000010     SET IX1 UP BY 1.5
000011 END PROGRAM      P2553.
```

P2553.cob 10: JMN2553I-S SET文のUP BYまたはDOWN BYの後は、整数項目または整数でなければなりません。

詳細な説明

UP BYの前の作用対象の値は、UP BYで指定した値ぶん増やされます。DOWN BYの前の作用対象の値は、DOWN BYで指定した値ぶん減らされます。

2.4.337 JMN2554I-S

INITIALIZE文で、REPLACINGの直後は項類を表す語でなければなりません。次の文または手続き名までが無効になります。

例題

```
[P2554. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2554.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
```

```

000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WNUM      PIC S9(9) BINARY.
000008 02 WDX1      PIC X(10).
000009 02 WDX2      PIC N(10).
000010 PROCEDURE     DIVISION.
000011     INITIALIZE WGRP
000012     REPLACING DATA BY SPACE
000013 END PROGRAM    P2554.

```

P2554.cob 12: JMN2554I-S INITIALIZE文で、REPLACINGの直後は項類を表す語でなければなりません。次の文または手続き名までが無効になります。

詳細な説明

特定の項類を持つ基本項目を特定の値で初期化する場合、REPLACINGの後に初期化の対象とする項類を指定し、DATA BYの後に初期値を指定します。

2.4.338 JMN2555I-S

INITIALIZE文で、BYの直後は一意名または定数でなければなりません。次の項類を表す語または文の終わりまでが無効になります。

例題

```

[P2555.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2555.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WNUM      PIC S9(9) BINARY.
000008 02 WDX1      PIC X(10).
000009 02 WDX2      PIC N(10).
000010 01 WINIT     PIC X(1) VALUE SPACE.
000011 PROCEDURE     DIVISION.
000012 LBL1.
000013     INITIALIZE WGRP
000014     REPLACING ALPHANUMERIC DATA BY LBL1.

```

```
000015 END PROGRAM    P2555.
```

P2555.cob 14: JMN2555I-S INITIALIZE文で、BYの直後は一意名または定数でなければなりません。次の項類を表す語または文の終わりまでが無効になります。

詳細な説明

BYの後ろには、初期値になる値を指定します。

2.4.339 JMN2556I-S

USE文は、宣言部分以外に指定できません。

例題

```

[P2556.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2556.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.

```

```

000007 DATA          DIVISION.
000008 FILE            SECTION.
000009 FD SQFILE1.
000010 01 SQF1REC.
000011 02              PIC X(80).
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 WFS1         PIC X(2).
000014 PROCEDURE       DIVISION.
000015 E-PROC SECTION. USE AFTER ERROR PROCEDURE ON SQFILE1.
000016     DISPLAY "OK".
000017 END PROGRAM     P2556.

```

P2556.cob 15: JMN2556I-S USE文は、宣言部分以外に指定できません。

詳細な説明

宣言部分とは、DECLARATIVESで始まり、END DECLARATIVESで終わる、手続き部内の記述です。

2.4.340 JMN2557I-S

@1@文の書き方が不完全です。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった語。

例題

```

[P2557.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2557.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDA1           PIC X.
000007 01 WDA2           PIC X.
000008 PROCEDURE         DIVISION.
000009     MOVE WDA1 TO WDA3
000010 END PROGRAM       P2557.

```

P2557.cob 9: JMN2557I-S MOVE文の書き方が不完全です。

詳細な説明

文の構成要素に誤りがあり、解析できません。他に出力されている診断メッセージを参照して、誤りを取り除いてください。

2.4.341 JMN2558I-S

@1@文中で、@2@指定は複数指定できません。二つ目以降の@2@指定は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーを検出した文の動詞。

@2@ : エラーの原因となった指定。

例題

```

[P2558.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2558.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 TARGET         PIC X(80).

```

```

000007 01 RESULT      PIC S9(9) COMP-5.
000008 PROCEDURE      DIVISION.
000009     INSPECT TARGET TALLYING
000010     RESULT FOR
000011     CHARACTERS BEFORE "A"
000012     BEFORE "C"
000013 END PROGRAM     P2558.

```

P2558.cob 12: JMN2558I-S INSPECT文中で、BEFORE指定は複数指定できません。二つ目以降のBEFORE指定は、無効となります。

2.4.342 JMN2560I-W

宣言部分中の節名の直後は、USE文でなければなりません。指定されたとおりに、受け入れます。

例題

```

[P2560.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2560.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE               SECTION.
000009 FD SQFILE1.
000010 01 SQF1REC.
000011 02                PIC X(80).
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 WFS1           PIC X(2).
000014 PROCEDURE        DIVISION.
000015 DECLARATIVES.
000016 E-PROC SECTION.
000017 END DECLARATIVES.
000018 END PROGRAM       P2560.

```

P2560.cob 16: JMN2560I-W 宣言部分中の節名の直後は、USE文でなければなりません。指定されたとおりに、受け入れます。

詳細な説明

宣言部分(DECLARATIVESで始まり、END DECLARATIVESで終わる記述)の節名の直後は、USE文を書かなければなりません。

2.4.343 JMN2561I-S

READまたはSTART文のKEY指定に有効な作用対象が一つもありません。KEY指定は、無効になります。

例題

```

[P2561.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2561.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IXFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION   IS INDEXED
000008     RECORD KEY      IS WRKY1.
000009 DATA             DIVISION.
000010 FILE               SECTION.
000011 FD IXFILE1.
000012 01 IXF1REC.
000013 02 WRKY1          PIC X(2).
000014 02                PIC X(80).

```

```

000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 WRKY2      PIC X(2).
000017 PROCEDURE     DIVISION.
000018     START IXFILE1
000019         FIRST RECORD
000020             KEY IS IXFILE1
000021 END PROGRAM     P2561.

```

P2561.cob 20: JMN2561I-S READまたはSTART文のKEY指定に有効な作用対象が一つもありません。KEY指定は、無効になります。

詳細な説明

KEY指定に指定されたすべてのデータ名に誤りが検出されたため、キーとみなせるものが1つもありません。他に出力されているエラーを参照して、誤りを取り除いてください。

2.4.344 JMN2562I-S

'@1@'は整列併合用ファイル中のレコード名でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった語。

例題

```

[P2562.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2562.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SRTFILE ASSIGN TO SYS003.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA           DIVISION.
000009 FILE            SECTION.
000010 FD SRTFILE.
000011 01 SRTREC.
000012 02 SRTKEY      PIC X(8).
000013 02             PIC X(72).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 WFS1        PIC X(2).
000016 PROCEDURE     DIVISION.
000017     RELEASE SRTREC
000018 END PROGRAM     P2562.

```

P2562.cob 17: JMN2562I-S 'SRTREC'は整列併合用ファイル中のレコード名でなければなりません。

詳細な説明

RELEASE文は、指定したレコード名を整列操作の最初の段階に引き渡します。RELEASE文に指定するレコード名は、整列併合用ファイル中のレコード名でなければなりません。

2.4.345 JMN2564I-S

@1@文で'@2@'は、整列併合用ファイル名でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : SORT, MERGEまたはRETURN.

@2@ : エラーの原因となった語。

例題

```
[P2564.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2564.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007     SELECT SQFILE2 ASSIGN TO SYS002.
000008     SELECT SRTFILE ASSIGN TO SYS003.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA             DIVISION.
000011 FILE               SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQF1REC.
000014 02                PIC X(80).
000015 FD SQFILE2.
000016 01 SQF2REC.
000017 02                PIC X(80).
000018 FD SRTFILE.
000019 01 SRTREC.
000020 02 SRTKEY          PIC X(8).
000021 02                PIC X(72).
000022 WORKING-STORAGE SECTION.
000023 01 WFS1            PIC X(2).
000024 PROCEDURE         DIVISION.
000025     SORT SRTREC
000026         ASCENDING KEY SRTKEY
000027         USING SQFILE1
000028         GIVING SQFILE2
000029 END PROGRAM          P2564.
```

P2564.cob 25: JMN2564I-S SORT文で'SRTREC'は、整列併合用ファイル名でなければなりません。

詳細な説明

SORT, MERGE, RETURNの直後に指定するファイル名は、データ部の整列併合用ファイル記述項で定義したファイル名(レベル指示語SDに続く名前)でなければなりません。

2.4.346 JMN2565I-S

算術式に誤ったオペランドが指定されています。算術式は、無効になります。

例題

```
[P2565.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2565.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WANS             PIC S9(9) BINARY.
000007 PROCEDURE         DIVISION.
000008     COMPUTE WANS = 13.2 + "ABC"
000009 END PROGRAM          P2565.
```

P2565.cob 8: JMN2565I-S 算術式に誤ったオペランドが指定されています。算術式は、無効になります。

詳細な説明

算術式の要素として記述できるのは、数字項目、浮動小数点項目、数字関数、整数関数、数字定数および表意定数ZEROのいずれかです。

2.4.347 JMN2566I-S

RETURN文には、AT END指定を記述しなければなりません。AT END CONTINUEが指定されたものとみなします。

例題

```
[P2566.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2566.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SRTFILE ASSIGN TO SYS003.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA             DIVISION.
000009 FILE               SECTION.
000010 SD SRTFILE.
000011 01 SRTREC.
000012 02 SRTKEY        PIC X(8).
000013 02               PIC X(72).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 WFS1          PIC X(2).
000016 PROCEDURE        DIVISION.
000017     RETURN SRTFILE
000018 END PROGRAM        P2566.
```

P2566.cob 17: JMN2566I-S RETURN文には、AT END指定を記述しなければなりません。AT END CONTINUEが指定されたものとみなします。

詳細な説明

RETURN文を実行すると、SORT文またはMERGE文に指定したキーの並びによって決められた次のレコードが指定したファイルから引き取られます。引き取られるレコードがなくなったときに行う処理を、AT END指定で記述します。

2.4.348 JMN2567I-S

@1@文中の条件に誤りがあります。

埋め込みの説明

@1@ : PERFORMまたはSEARCH.

例題

```
[P2567.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2567.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A               PIC X(10).
000007 PROCEDURE        DIVISION.
000008     PERFORM TEST BEFORE
000009             UNTIL A =
000010     DISPLAY "IN LOOP".
000011 END PROGRAM        P2567.
```

P2567.cob 9: JMN2567I-S PERFORM文中の条件に誤りがあります。

2.4.349 JMN2568I-S

SUPPRESS文は、USE BEFORE REPORTING手続き中以外には指定できません。

例題

```
[P2568.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2568.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007     SELECT REPF1   ASSIGN TO SYS002.
000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA              DIVISION.
000010 FILE                SECTION.
000011 FD SQFILE1.
000012 01 SQF1REC         PIC X(80).
000013 FD REPF1
000014     REPORT IS REP1.
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 WFS1             PIC X(2).
000017 REPORT              SECTION.
000018 RD REP1 PAGE 66.
000019 01 DE-REC TYPE DE.
000020 02 LINE PLUS 1.
000021 03 COLUMN 1 PIC X(80) SOURCE SQF1REC.
000022 PROCEDURE          DIVISION.
000023     INITIATE REP1.
000024     SUPPRESS PRINTING
000025     GENERATE DE-REC.
000026     TERMINATE REP1.
000027 END PROGRAM        P2568.
```

P2568.cob 24: JMN2568I-S SUPPRESS文は、USE BEFORE REPORTING手続き中以外には指定できません。

詳細な説明

SUPPRESS文は、報告集団の表示を抑制します。SUPPRESS文はUSE BEFORE REPORTING手続き中にだけ書けます。

USE BEFORE REPORTING手続きは、宣言部分のUSE BEFORE REPORTING文に続けて記述される手続きであり、指定した報告集団を作成表示する直前に、報告書作成管理システムによって実行されます。

2.4.350 JMN2569I-S

添字は、算術式または指標名[+/-整数]でなければなりません。1が指定されたものとみなします。

例題

```
[P2569.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2569.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA              DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WOCC             PIC X
000008                     OCCURS 10 INDEXED BY IX1.
000009 PROCEDURE          DIVISION.
000010     MOVE SPACE TO WOCC("12")
000011 END PROGRAM        P2569.
```

P2569.cob 10: JMN2569I-S 添字は、算術式または指標名[+/-整数]でなければなりません。1が指定されたものとみなします。

2.4.351 JMN2570I-S

'@1@'は添字付けしなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2570. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2570.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007    02 WOCC        PIC X
000008                      OCCURS 10 INDEXED BY IX1.
000009 PROCEDURE         DIVISION.
000010    MOVE SPACE TO WOCC
000011 END PROGRAM      P2570.
```

P2570.cob 10: JMN2570I-S 'WOCC'は添字付けしなければなりません。

詳細な説明

OCCURS句を指定した項目またはそれに従属する項目は、添字を付けて参照しなければなりません。ただし以下の場合は例外です。

- SEARCH文の主体
- REDEFINES句
- OCCURS句のKEY IS指定

2.4.352 JMN2571I-S

添字付けまたは部分参照の右括弧が指定されていません。右括弧を挿入します。

例題

```
[P2571. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2571.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007    02 WOCC        PIC X
000008                      OCCURS 10 INDEXED BY IX1.
000009 PROCEDURE         DIVISION.
000010    MOVE SPACE TO WOCC(1
000011 END PROGRAM      P2571.
```

P2571.cob 10: JMN2571I-S 添字付けまたは部分参照の右括弧が指定されていません。右括弧を挿入します。

2.4.353 JMN2574I-S

SORT文またはMERGE文は、ASCENDING指定またはDESCENDING指定が記述されていなければなりません。ASCENDING指定があったものとみなします。

例題

```
[P2574. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2574.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
```

```

000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007     SELECT SQFILE2 ASSIGN TO SYS002.
000008     SELECT SRTFILE ASSIGN TO SYS003.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA          DIVISION.
000011 FILE            SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQF1REC.
000014 02              PIC X(80).
000015 FD SQFILE2.
000016 01 SQF2REC.
000017 02              PIC X(80).
000018 SD SRTFILE.
000019 01 SRTREC.
000020 02 SRTKEY       PIC X(8).
000021 02              PIC X(72).
000022 WORKING-STORAGE SECTION.
000023 PROCEDURE       DIVISION.
000024     SORT SRTFILE
000025         ON KEY SRTKEY
000026         USING SQFILE1
000027         GIVING SQFILE2
000028 END PROGRAM      P2574.

```

P2574.cob 25: JMN2574I-S SORT文またはMERGE文は、ASCENDING指定またはDESCENDING指定が記述されていなければなりません。ASCENDING指定があったものとみなします。

詳細な説明

レコードの整列・併合を、キー項目の昇順(ASCENDING)に行うか、あるいはキー項目の降順(DSCENDING)に行うかを指定します。

2.4.354 JMN2575I-S

SORT文またはMERGE文のキーデータ名の項目の数は、64以下でなければなりません。65番目以降のキーデータ名の項目は、無効になります。

例題

```

[P2575. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2575.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007     SELECT SQFILE2 ASSIGN TO SYS002.
000008     SELECT SRTFILE ASSIGN TO SYS003.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA          DIVISION.
000011 FILE            SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQF1REC.
000014 02              PIC X(80).
000015 FD SQFILE2.
000016 01 SQF2REC.
000017 02              PIC X(80).
000018 SD SRTFILE.
000019 01 SRTREC.
000020 02 SRTKEY01      PIC X(1).
000021 02 SRTKEY02      PIC X(1).
000022 02 SRTKEY03      PIC X(1).

```

```

000023 02 SRTKEY04 PIC X(1).
000024 02 SRTKEY05 PIC X(1).
:
000080 02 SRTKEY61 PIC X(1).
000081 02 SRTKEY62 PIC X(1).
000082 02 SRTKEY63 PIC X(1).
000083 02 SRTKEY64 PIC X(1).
000084 02 SRTKEY65 PIC X(1).
000085 02 PIC X(15).
000086 WORKING-STORAGE SECTION.
000087 PROCEDURE DIVISION.
000088 SORT SRTFILE
000089 ON ASCENDING KEY
000090 SRTKEY01 SRTKEY02 SRTKEY03 SRTKEY04 SRTKEY05
:
000102 SRTKEY61 SRTKEY62 SRTKEY63 SRTKEY64 SRTKEY65
000103 USING SQFILE1
000104 GIVING SQFILE2
000105 END PROGRAM P2575.

```

P2575.cob 102: JMN2575I-S SORT文またはMERGE文のキーデータ名の項目の数は、64以下でなければなりません。65番目以降のキーデータ名の項目は、無効になります。

詳細な説明

COBOL処理系の定量制限です。

2.4.355 JMN2576I-S

SORT文またはMERGE文のUSING指定に記述されたファイル名は、16以下でなければなりません。17番目以降のファイル名は無効になります。

例題

```

[P2576.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2576.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT SQFILE01 ASSIGN TO SYS001.
000007 SELECT SQFILE02 ASSIGN TO SYS002.
000008 SELECT SQFILE03 ASSIGN TO SYS003.
000009 SELECT SQFILE04 ASSIGN TO SYS004.
:
000022 SELECT SQFILE17 ASSIGN TO SYS017.
000023 SELECT SQFILE18 ASSIGN TO SYS018.
000024 SELECT SRTFILE ASSIGN TO SYS019.
000025 I-O-CONTROL.
000026 DATA DIVISION.
000027 FILE SECTION.
000028 FD SQFILE01.
000029 01 SQF01REC PIC X(80).
000030 FD SQFILE02.
000031 01 SQF02REC PIC X(80).
000032 FD SQFILE03.
000033 01 SQF03REC PIC X(80).
000034 FD SQFILE04.
000035 01 SQF04REC PIC X(80).
:
000060 FD SQFILE17.
000061 01 SQF17REC PIC X(80).
000062 FD SQFILE18.

```

```

000063 01 SQF18REC      PIC X(80).
000064 SD SRTFILE.
000065 01 SRTREC.
000066 02 SRTKEY        PIC X(1).
000067 02                PIC X(79).
000068 WORKING-STORAGE SECTION.
000069 PROCEDURE        DIVISION.
000070     SORT SRTFILE
000071         ON ASCENDING KEY SRTKEY
000072         USING  SQFILE01 SQFILE02 SQFILE03 SQFILE04
000073         :
000074         SQFILE17
000075         GIVING SQFILE18
000078 END PROGRAM      P2576.

```

P2576.cob 76: JMN2576I-S SORT文またはMERGE文のUSING指定に記述されたファイル名のは、16以下でなければなりません。17番目以降のファイル名は無効になります。

詳細な説明

COBOL処理系の定量制限です。

2.4.356 JMN2580I-W

@1@文は、宣言部分に指定できません。書かれているとおりに受け入れます。

埋め込みの説明

@1@ : SORTまたはMERGE.

例題

```

[P2580.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2580.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007     SELECT SQFILE2 ASSIGN TO SYS002.
000008     SELECT SRTFILE ASSIGN TO SYS003.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA            DIVISION.
000011 FILE              SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQF1REC.
000014 02                PIC X(80).
000015 FD SQFILE2.
000016 01 SQF2REC.
000017 02                PIC X(80).
000018 SD SRTFILE.
000019 01 SRTREC.
000020 02 SRTKEY        PIC X(8).
000021 02                PIC X(72).
000022 WORKING-STORAGE SECTION.
000023 01 WFS1          PIC X(2).
000024 PROCEDURE        DIVISION.
000025 DECLARATIVES.
000026 FILE-ERROR SECTION.
000027     USE AFTER STANDARD ERROR PROCEDURE ON SQFILE1
000028     SORT SRTFILE
000029         ASCENDING KEY SRTKEY
000030         USING  SQFILE1
000031         GIVING SQFILE2.

```

```
000032 END DECLARATIVES.  
000033 END PROGRAM    P2580.
```

P2580.cob 28: JMN2580I-W SORT文は、宣言部分に指定できません。書かれているとおりに受け入れます。

2.4.357 JMN2583I-S

部分参照子の最左端文字位置の指定に誤りがあります。1とみなします。

例題

```
[P2583.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      P2583.  
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.  
000004 DATA              DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 01 WBUF           PIC X(20).  
000007 PROCEDURE         DIVISION.  
000008     MOVE SPACE TO WBUF("ABC":1)  
000009 END PROGRAM       P2583.
```

P2583.cob 8: JMN2583I-S 部分参照子の最左端文字位置の指定に誤りがあります。1とみなします。

詳細な説明

最左端文字位置は、算術式でなければなりません。

2.4.358 JMN2584I-S

部分参照子の長さの指定に誤りがあります。長さ指定がないものとみなします。

例題

```
[P2584.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      P2584.  
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.  
000004 DATA              DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 01 WBUF           PIC X(20).  
000007 PROCEDURE         DIVISION.  
000008     MOVE SPACE TO WBUF(12:"ABC")  
000009 END PROGRAM       P2584.
```

P2584.cob 8: JMN2584I-S 部分参照子の長さの指定に誤りがあります。長さ指定がないものとみなします。

詳細な説明

長さの指定は、算術式でなければなりません。

2.4.359 JMN2585I-S

@1@文は、USE BEFORE REPORTING手続き中に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : GENERATE, INITIATEまたはTERMINATE.

例題

```
[P2585.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
```



```

000002 PROGRAM-ID.      P2585.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007     SELECT REPF1FILE ASSIGN TO SYS002.
000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA              DIVISION.
000010 FILE              SECTION.
000011 FD SQFILE1.
000012 01 SQF1REC        PIC X(80).
000013 FD REPF1FILE
000014     REPORT IS REP1.
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 WFS1            PIC X(2).
000017 REPORT              SECTION.
000018 RD REP1 PAGE 66.
000019 01 DE-REC TYPE DE.
000020 02 LINE PLUS 1.
000021 03 COLUMN 1 PIC X(80) SOURCE SQF1REC.
000022 PROCEDURE          DIVISION.
000023 DECLARATIVES.
000024 FILE-ERROR-1 SECTION.
000025     USE BEFORE REPORTING DE-REC.
000026     GENERATE REP1.
000027 END DECLARATIVES.
000028 END PROGRAM          P2585.

```

P2585.cob 26: JMN2585I-S GENERATE文は、USE BEFORE REPORTING手続き中に指定できません。

詳細な説明

USE BEFORE REPORTING手続きは、指定した報告集団を作成表示する直前に実行される手続きです。報告書の作成や処理の開始・終了の制御をUSE BEFORE REPORTING手続き中で行うことはできません。

2.4.360 JMN2586I-S

@1@文が指定されたプログラムに、正しい報告書記述項が一つもありません。

埋め込みの説明

@1@ : GENERATE, INITIATE, SUPPRESSまたはTERMINATE.

例題

```

[P2586.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2586.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 I-O-CONTROL.
000007 DATA              DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 REP1            PIC X(80).
000011 REPORT              SECTION.
000012 PROCEDURE          DIVISION.
000013     GENERATE REP1.
000014 END PROGRAM          P2586.

```

P2586.cob 13: JMN2586I-S GENERATE文が指定されたプログラムに、正しい報告書記述項が一つもありません。

2.4.361 JMN2587I-S

@1@文は、別のプログラムに直接または間接に含まれるプログラム中に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : ENTRY.

例題

```
[P2587. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2587.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA              DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE          DIVISION.
000007     CALL "P2587SUB"
000008     EXIT PROGRAM.
000009*
000010 IDENTIFICATION DIVISION.
000011 PROGRAM-ID.      P2587SUB.
000012 ENVIRONMENT      DIVISION.
000013 DATA              DIVISION.
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 PROCEDURE          DIVISION.
000016     ENTRY "P2587E1"
000017 END PROGRAM      P2587SUB.
000018 END PROGRAM      P2587.
```

P2587.cob 16: JMN2587I-S ENTRY文は、別のプログラムに直接または間接に含まれるプログラム中に指定できません。

詳細な説明

最外部プログラムに指定してください。

2.4.362 JMN2588I-S

予約語@1@は、ADD/DIVIDE/MULTIPLY/SUBTRACT文のGIVING指定の前には記述できません。

埋め込みの説明

@1@ : ROUNDED.

例題

```
[P2588. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2588.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA              DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WNUM1          PIC S9(4) BINARY.
000007 01 WNUM2          PIC S9(4) BINARY.
000008 01 WNUM3          PIC S9(9) BINARY.
000009 PROCEDURE          DIVISION.
000010     ADD WNUM1 TO WNUM2 ROUNDED
000011     GIVING WNUM3
000012 END PROGRAM      P2588.
```

P2588.cob 10: JMN2588I-S 予約語ROUNDEDは、ADD/DIVIDE/MULTIPLY/SUBTRACT文のGIVING指定の前には記述できません。

詳細な説明

ADD/DIVIDE/MULTIPLY/SUBTRACT文にGIVING指定を書いた場合は、GIVING指定で指定した項目にだけROUNDED指定を指定できます。

2.4.363 JMN2589I-S

@1@文で'@2@'は、整列併合用以外のファイルのレコード名でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : WRITEまたはREWRITE.

@2@ : エラーの原因となった語.

例題

```
[P2589. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2589.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION   IS SEQUENTIAL.
000008 DATA              DIVISION.
000009 FILE                SECTION.
000010 FD SQFILE1.
000011 01 SQFIREC.
000012 02                PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 PROCEDURE          DIVISION.
000015     WRITE SQFILE1
000016 END PROGRAM        P2589.
```

P2589.cob 15: JMN2589I-S WRITE文で'SQFILE1'は、整列併合用以外のファイルのレコード名でなければなりません。

詳細な説明

WRITE文、REWRITE文では、レコード名を指定しなければなりません。ここではレコード名とは、データ部のファイル記述項(レベル指示語FDを持つ項目)の下位に属するレベル番号01のデータ記述項のデータ名です。

2.4.364 JMN2591I-S

WRITE文で、@1@はAFTERまたはBEFOREに続けて指定しなければなりません。AFTERが指定されているものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : ADVANCINGまたはPOSITIONING.

例題

```
[P2591. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2591.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION   IS SEQUENTIAL.
000008 DATA              DIVISION.
000009 FILE                SECTION.
000010 FD SQFILE1.
```

```

000011 01 SQF1REC.
000012 02          PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 PROCEDURE    DIVISION.
000015     WRITE SQF1REC ADVANCING PAGE
000016 END PROGRAM   P2591.

```

P2591.cob 15: JMN2591I-S WRITE 文で、ADVANCINGはAFTERまたはBEFOREに続けて指定しなければなりません。AFTERが指定されているものとみなします。

詳細な説明

必要語であるBEFOREあるいはAFTERが指定されていません。

2.4.365 JMN2592I-S

@2@指定に誤った語'@1@'が指定されています。1が指定されたものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった語。

@2@ : ADVANCINGまたはPOSITIONING.

例題

```

[P2592. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2592.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION   IS SEQUENTIAL.
000008 DATA             DIVISION.
000009 FILE              SECTION.
000010 FD SQFILE1.
000011 01 SQF1REC.
000012 02          PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 PROCEDURE          DIVISION.
000015     WRITE SQF1REC
000016     AFTER ADVANCING END-OF-PAGE
000017 END PROGRAM         P2592.

```

P2592.cob 16: JMN2592I-S ADVANCING指定に誤った語'END-OF-PAGE'が指定されています。1が指定されたものとみなします。

詳細な説明

ADVANCING指定には以下が指定できます。

- 整数
- 整数項目
- 機能名CHANNEL-01～CHANNEL-12, SLC, CTL, STACKER-01, STACKER-2のいずれかに対応付けた呼び名
- PAGE

2.4.366 JMN2593I-S

LINE(S)は、@1@指定に整数または一意名を記述した場合にだけ指定できます。LINE(S)は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : ADVANCINGまたはPOSITIONING.

例題

```
[P2593.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2593.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     CHANNEL-01 IS C01.
000007 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000008 FILE-CONTROL.
000009     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000010     ORGANIZATION IS SEQUENTIAL.
000011 DATA              DIVISION.
000012 FILE                SECTION.
000013 FD SQFILE1.
000014 01 SQF1REC.
000015 02                PIC X(80).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 PROCEDURE           DIVISION.
000018     WRITE SQF1REC
000019     AFTER ADVANCING C01 LINE.
000020 END PROGRAM        P2593.
```

P2593.cob 19: JMN2593I-S LINE(S)は、ADVANCING指定に整数または一意名を記述した場合にだけ指定できます。LINE(S)は無効になります。

詳細な説明

LINEまたはLINESの前に指定された値に等しい行数だけ行送りされます。

2.4.367 JMN2596I-S

EVALUATE文では、WHEN OTHER指定の前にWHEN指定を記述しなければなりません。

例題

```
[P2596.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2596.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA              DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WNUM            PIC S9(4) BINARY.
000007 PROCEDURE           DIVISION.
000008     EVALUATE WNUM
000009     WHEN OTHER
000010     DISPLAY "NG"
000011     WHEN 3
000012     DISPLAY "OK"
000013     END-EVALUATE
000014 END PROGRAM        P2596.
```

P2596.cob 9: JMN2596I-S EVALUATE文では、WHEN OTHER指定の前にWHEN指定を記述しなければなりません。

詳細な説明

WHEN OTHER指定に書いた文は、先行するいずれのWHEN指定も選択されなかった場合に実行されます。

2.4.368 JMN2597I-S

EVALUATE文の選択主体または選択対象に、正負条件は指定できません。

例題

```
[P2597.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2597.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WNUM1          PIC S9(4) BINARY.
000007 01 WNUM2          PIC S9(4) BINARY.
000008 PROCEDURE         DIVISION.
000009     EVALUATE WNUM1
000010         TRUE
000011         WHEN 13
000012             WNUM2 IS NEGATIVE
000013             DISPLAY "OK"
000014     END-EVALUATE
000015 END PROGRAM         P2597.
```

P2597.cob 12: JMN2597I-S EVALUATE文の選択主体または選択対象に、正負条件は指定できません。

2.4.369 JMN2598I-S

条件の比較演算子の組合せに誤りがあります。

例題

```
[P2598.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2598.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WNUM            PIC S9(4) BINARY.
000007 PROCEDURE         DIVISION.
000008     IF WNUM EQUAL THAN 12 THEN
000009         DISPLAY "OK"
000010     END-IF
000011 END PROGRAM         P2598.
```

P2598.cob 8: JMN2598I-S 条件の比較演算子の組合せに誤りがあります。

詳細な説明

比較演算子は次のいずれかでなければなりません。

- IS GREATER THAN
- IS NOT GREATER THAN (IS LESS THAN OR EQUAL TOと等価です)
- IS LESS THAN
- IS NOT LESS THAN (IS GREATER THAN OR EQUAL TOと等価です)
- IS EQUAL TO
- IS NOT EQUAL TO
- IS GREATER THAN OR EQUAL TO (IS NOT LESS THANと等価です)
- IS LESS THAN OR EQUAL TO (IS NOT GREATER THANと等価です)

2.4.370 JMN2599I-S

条件中にNOTを連続して指定できません。

例題

```
[P2599.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2599.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WNUM           PIC S9(4) BINARY.
000007 PROCEDURE         DIVISION.
000008     IF NOT
000009         NOT WNUM EQUAL TO 12 THEN
000010         DISPLAY "OK"
000011     END-IF
000012 END PROGRAM        P2599.
```

P2599.cob 9: JMN2599I-S 条件中にNOTを連続して指定できません。

2.4.371 JMN2600I-S

条件中のオペランドに誤りがあります。

例題

```
[P2600.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2600.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE         DIVISION.
000007     IF 13 = THEN
000008         DISPLAY "OK".
000009 END PROGRAM        P2600.
```

P2600.cob 7: JMN2600I-S 条件中のオペランドに誤りがあります。

2.4.372 JMN2601I-S

@1@が記述されなければならないのに@2@が記述されています。1が記述されたものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名または正の整数。

@2@ : エラーの原因となった語。

例題

```
[P2601.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2601.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WLOOP           PIC S9(4)V99 BINARY.
000007 PROCEDURE         DIVISION.
000008     PERFORM 10.5 TIMES
000009         DISPLAY "LOOP TEST"
000010     END-PERFORM
000011 END PROGRAM        P2601.
```

P2601.cob 8: JMN2601I-S 正の整数が記述されなければならないのに10.5が記述されています。1が記述されたものとみなします。

詳細な説明

PERFORM文の繰返し回数には整数または整数項目を指定しなければなりません。

2.4.373 JMN2602I-S

左括弧に対応する右括弧が指定されていません。右括弧が指定されたものとみなします。

例題

```
[P2602.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2602.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WNUM1          PIC S9(9) BINARY.
000007 01 WNUM2          PIC S9(9) BINARY.
000008 01 WNUM3          PIC S9(9) BINARY.
000009 PROCEDURE         DIVISION.
000010     COMPUTE WNUM1 = WNUM1 *
000011             (WNUM2 - WNUM3
000012 END PROGRAM        P2602.
```

P2602.cob 11: JMN2602I-S 左括弧に対応する右括弧が指定されていません。右括弧が指定されたものとみなします。

2.4.374 JMN2603I-S

@1@文は、GLOBAL指定の宣言手続き中に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : EXIT PROGRAM, EXIT METHODまたはGOBACK.

例題

```
[P2603.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2603.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE               SECTION.
000009 FD SQFILE1.
000010 01 SQF1REC.
000011 02              PIC X(80).
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 PROCEDURE         DIVISION.
000014 DECLARATIVES.
000015 FILE-ERROR-1 SECTION.
000016     USE GLOBAL AFTER STANDARD ERROR PROCEDURE ON SQFILE1.
000017     EXIT PROGRAM.
000018 END DECLARATIVES.
000019 END PROGRAM        P2603.
```

P2603.cob 17: JMN2603I-S EXIT PROGRAM文は、GLOBAL指定の宣言手続き中に指定できません。

2.4.375 JMN2604I-S

USING指定中の'@1@'は、このプログラムの連絡節の中で定義されたレベル番号が01または77の項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった語。

例題

```
[P2604. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2604.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 LK1            PIC X.
000007 LINKAGE           SECTION.
000008 01 LK2.
000009 02 LK21           PIC X.
000010 01 LK3            PIC X.
000011 PROCEDURE         DIVISION USING LK1 LK21 LK3.
000012 END PROGRAM      P2604.
```

P2604.cob 11: JMN2604I-S USING指定中の'LK1'は、このプログラムの連絡節の中で定義されたレベル番号が01または77の項目でなければなりません。

P2604.cob 11: JMN2604I-S USING指定中の'LK21'は、このプログラムの連絡節の中で定義されたレベル番号が01または77の項目でなければなりません。

2.4.376 JMN2605I-S

SEARCH ALL文に指定された条件名@1@は、単一の値を持たなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった条件名。

例題

```
[P2605. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2605.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WDATA          OCCURS 10 INDEXED BY IX1
000008                      ASCENDING KEY IS WITM1.
000009 03 WITM1           PIC X.
000010 88 XVAL           VALUE "X", "x".
000011 03 WITM2           PIC X.
000012 PROCEDURE         DIVISION.
000013 SEARCH ALL WDATA
000014 WHEN XVAL (IX1)
000015 DISPLAY "OK"
000016 END-SEARCH
000017 END PROGRAM      P2605.
```

P2605.cob 14: JMN2605I-S SEARCH ALL文に指定された条件名XVALは、単一の値を持たなければなりません。

2.4.377 JMN2606I-S

指標名に続く+または-の直後の文字列は、整数でなければなりません。その次元の添字を1とみなします。

例題

```
[P2606.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2606.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WOCC          PIC X
000008                  OCCURS 10 INDEXED BY IX1.
000009 PROCEDURE         DIVISION.
000010     MOVE SPACE TO WOCC(IX1 + 3. 5)
000011 END PROGRAM      P2606.
```

P2606.cob 10: JMN2606I-S 指標名に続く+または-の直後の文字列は、整数でなければなりません。その次元の添字を1とみなします。

詳細な説明

演算子が+のときは、演算子の後ろに指定した整数の値を、指標名の値(出現番号に対応する値)に加えた値が添字の値になります。
演算子が-のときは、演算子の後ろに指定した整数の値を、指標名の値から引いた値が添字の値になります。

2.4.378 JMN2607I-S

同時に実行を要求される@1@指定の@2@文を、複数指定することはできません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった語。

@2@ : USE ERROR, USE LABELまたはUSE BEFORE REPORTING.

例題

```
[P2607.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2607.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007     SELECT REPF11 ASSIGN TO SYS002.
000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA             DIVISION.
000010 FILE               SECTION.
000011 FD SQFILE1.
000012 01 SQF1REC       PIC X(80).
000013 FD REPF11
000014     REPORT IS REP1.
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 WFS1            PIC X(2).
000017 REPORT            SECTION.
000018 RD REP1 PAGE 66.
000019 01 DE-REC TYPE DE.
000020 02 LINE PLUS 1.
000021 03 COLUMN 1 PIC X(80) SOURCE SQF1REC.
000022 PROCEDURE         DIVISION.
000023 DECLARATIVES.
000024 FILE-ERROR-1 SECTION.
000025     USE BEFORE REPORTING DE-REC.
000026     DISPLAY "ERROR PROC-1".
000027 FILE-ERROR-2 SECTION.
000028     USE BEFORE REPORTING DE-REC.
000029     DISPLAY "ERROR PROC-2".
```

```
000030 END DECLARATIVES.
000031 END PROGRAM      P2607.
```

P2607.cob 28: JMN2607I-S 同時に実行を要求されるDE-REC指定のUSE BEFORE REPORTING文を、複数指定することはできません。

詳細な説明

USE文では、対象が所定の状態(入出力誤り発生・作成表示の直前など)になったときに実行するUSE手続きを指定します。同じ対象に対して、複数の異なるUSE手続きを同時に実行することはできません。

2.4.379 JMN2608I-S

@1@文は、最も外側のプログラムにただ一つだけしか指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : USE FOR DEAD-LOCK.

例題

```
[P2608.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2608.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE         DIVISION.
000007     CALL "P2608SUB"
000008     STOP RUN.
000009*
000010 IDENTIFICATION DIVISION.
000011 PROGRAM-ID.      P2608SUB.
000012 PROCEDURE         DIVISION.
000013 DECLARATIVES.
000014 ERROR-1 SECTION.
000015     USE FOR DEAD-LOCK.
000016     EXIT PROGRAM.
000017 END DECLARATIVES.
000018 END PROGRAM      P2608SUB.
000019 END PROGRAM      P2608.
```

P2608.cob 15: JMN2608I-S USE FOR DEAD-LOCK文は、最も外側のプログラムにただ一つだけしか指定できません。

詳細な説明

USE FOR DEAD-LOCK文では、デッドロックが生じたときに実行すべき手続きを指定します。指定された手続きは、トランザクションコントロールシステムによって実行されます。

2.4.380 JMN2609I-S

USE DEBUGGING文は宣言部分の先頭に連続して記述しなければなりません。

例題

```
[P2609.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2609.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE         DIVISION.
000007 DECLARATIVES.
000008 ERROR-1 SECTION.
```

```

000009     USE FOR DEAD-LOCK.
000010     EXIT PROGRAM.
000011 ERROR-2 SECTION.
000012     USE DEBUGGING MODE
000013     EXIT PROGRAM.
000014 END DECLARATIVES.
000015 END PROGRAM      P2609.

```

P2609.cob 12: JMN2609I-S USE DEBUGGING文は宣言部分の先頭に連続して記述しなければなりません。

詳細な説明

USE DEBUGGING文は、OSIV系システムの固有機能です。

2.4.381 JMN2610I-S

KEY指定に記述されたデータ名 '@1@' は、このSORTまたはMERGE文に指定された整列併合用ファイルのデータ名でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```

[P2610. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2610.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007     SELECT SQFILE2 ASSIGN TO SYS002.
000008     SELECT SRTFILE ASSIGN TO SYS003.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA              DIVISION.
000011 FILE                SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQF1REC.
000014 02 SRTKEY          PIC X(8).
000015 02                  PIC X(72).
000016 FD SQFILE2.
000017 01 SQF2REC.
000018 02 SRTKEY          PIC X(8).
000019 02                  PIC X(72).
000020 SD SRTFILE.
000021 01 SRTREC.
000022 02 SRTKEY          PIC X(8).
000023 02                  PIC X(72).
000024 WORKING-STORAGE SECTION.
000025 01 WFS1             PIC X(2).
000026 PROCEDURE          DIVISION.
000027     SORT SRTFILE
000028         ASCENDING KEY SRTKEY OF SQFILE1
000029         USING  SQFILE1
000030         GIVING SQFILE2.
000031 END PROGRAM      P2610.

```

P2610.cob 28: JMN2610I-S KEY指定に記述されたデータ名 'SRTKEY' は、このSORTまたはMERGE文に指定された整列併合用ファイルのデータ名でなければなりません。

詳細な説明

整列・併合処理は、キー項目(KEY指定に記述されたデータ名)を比較して行われます。キー項目は、処理の対象になる整列併合用ファイルのレコードでなければなりません。

2.4.382 JMN2611I-S

SORTまたはMERGE文のASCENDING指定に指定した呼び名'@1@'は、機能名BUSHU, SOKAKU, ON-YOMI, KUN-YOMI, BUSHOU, HUASHU, DUYIN, BUSU, HOEKまたはJAMOのいずれかに対応していなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった呼び名。

例題

```
[P2611.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2611.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     SYSOUT IS SORT-RULE1.
000007 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000008 FILE-CONTROL.
000009     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000010     SELECT SQFILE2 ASSIGN TO SYS002.
000011     SELECT SRTFILE ASSIGN TO SYS003.
000012 I-O-CONTROL.
000013 DATA              DIVISION.
000014 FILE                SECTION.
000015 FD SQFILE1.
000016 01 SQF1REC.
000017 02                PIC X(80).
000018 FD SQFILE2.
000019 01 SQF2REC.
000020 02                PIC X(80).
000021 SD SRTFILE.
000022 01 SRTREC.
000023 02 SRTKEY        PIC X(8).
000024 02                PIC X(72).
000025 WORKING-STORAGE SECTION.
000026 01 WFS1           PIC X(2).
000027 PROCEDURE          DIVISION.
000028     SORT SRTFILE
000029         ASCENDING SORT-RULE1 KEY SRTKEY
000030         USING SQFILE1
000031         GIVING SQFILE2.
000032 END PROGRAM        P2611.
```

P2611.cob 29: JMN2611I-S SORTまたはMERGE文のASCENDING指定に指定した呼び名'SORT-RULE1'は、機能名BUSHU, SOKAKU, ON-YOMI, KUN-YOMI, BUSHOU, HUASHU, DUYIN, BUSU, HOEKまたはJAMOのいずれかに対応していなければなりません。

詳細な説明

SORTまたはMERGE文のASCENDING指定に指定された呼び名は、OSIV系システムの固有機能です。

2.4.383 JMN2613I-S

SORTまたはMERGE文のASCENDING指定で、日本語系の機能名、中国語系の機能名および韓国語系の機能名のそれぞれに対応する呼び名を同時に指定できません。

例題

```
[P2613.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2613.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     BUSHU  IS SORT-RULE1
000007     BUSHOU IS SORT-RULE2.
000008 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000009 FILE-CONTROL.
000010     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000011     SELECT SQFILE2 ASSIGN TO SYS002.
000012     SELECT SRTFILE ASSIGN TO SYS003.
000013 I-O-CONTROL.
000014 DATA              DIVISION.
000015 FILE                SECTION.
000016 FD SQFILE1.
000017 01 SQF1REC.
000018 02                PIC X(80).
000019 FD SQFILE2.
000020 01 SQF2REC.
000021 02                PIC X(80).
000022 SD SRTFILE.
000023 01 SRTREC.
000024 02 SRTKEY1  PIC X(4).
000025 02 SRTKEY2  PIC X(4).
000026 02                PIC X(72).
000027 WORKING-STORAGE SECTION.
000028 01 WFS1      PIC X(2).
000029 PROCEDURE    DIVISION.
000030     SORT SRTFILE
000031         ASCENDING SORT-RULE1 KEY SRTKEY1
000032         ASCENDING SORT-RULE2 KEY SRTKEY2
000033         USING  SQFILE1
000034         GIVING SQFILE2.
000035 END PROGRAM      P2613.
```

P2613.cob 30: JMN2613I-S SORTまたはMERGE文のASCENDING指定で、日本語系の機能名、中国語系の機能名および韓国語系の機能名のそれぞれに対応する呼び名を同時に指定できません。

詳細な説明

SORTまたはMERGE文のASCENDING指定に指定された呼び名は、OSIV系システムの固有機能です。

2.4.384 JMN2615I-S

うちPERFORM文にAFTER指定は記述できません。

例題

```
[P2615.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2615.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA              DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WLOOP1          PIC S9(4) BINARY.
000007 01 WLOOP2          PIC S9(4) BINARY.
000008 PROCEDURE          DIVISION.
000009     PERFORM TEST BEFORE
000010         VARYING WLOOP1 FROM 1 BY 1 UNTIL WLOOP1 = 20
```

```

000011      AFTER   WLOOP2 FROM 5 BY 1 UNTIL WLOOP2 = 25
000012      DISPLAY "LOOP TEST"
000013      END-PERFORM
000014 END PROGRAM      P2615.

```

P2615.cob 11: JMN2615I-S うちPERFORM文にAFTER指定は記述できません。

詳細な説明

AFTER指定は、2つ以上のデータ項目や指標名の値を繰り返し回数に応じて変化させたいときに指定します。うちPERFORM文（PERFORM文の範囲内に記述した文の組を実行する）では、繰り返し回数に応じて変化させられるデータ項目もしくは指標名は、1つだけです。

2.4.385 JMN2616I-S

右括弧に対応する左括弧が指定されていません。余分な右括弧は、無効になります。

例題

```

[P2616.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2616.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WDATA          OCCURS 10 INDEXED BY IX1
000008                                ASCENDING KEY IS WITM1.
000009 03 WITM1           PIC X.
000010 88 XVAL           VALUE "X".
000011 03 WITM2         PIC X.
000012 PROCEDURE        DIVISION.
000013 SEARCH ALL WDATA
000014 WHEN XVAL (IX1))
000015 DISPLAY "OK"
000016 END-SEARCH
000017 END PROGRAM      P2616.

```

P2616.cob 14: JMN2616I-S 右括弧に対応する左括弧が指定されていません。余分な右括弧は、無効になります。

2.4.386 JMN2617I-S

誤った語THENが指定されています。THENは、無効になります。

例題

```

[P2617.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2617.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WNUM           PIC S9(9) BINARY.
000007 PROCEDURE        DIVISION.
000008*   IF WNUM = 10
000009   THEN
000010   DISPLAY "OK".
000011 END PROGRAM      P2617.

```

P2617.cob 9: JMN2617I-S 誤った語THENが指定されています。THENは、無効になります。

詳細な説明

THEN指定はIF文内に記述する言語要素です。

2.4.387 JMN2633I-S

SQL文に誤りがあります。@1@

埋め込みの説明

@1@ : 組み込みのSQLパーザの診断メッセージ。

例題

```
[P2633. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2633.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE      PIC X(5).
000008     EXEC SQL END   DECLARE SECTION END-EXEC.
000009 PROCEDURE          DIVISION.
000010     EXEC SQL
000011         DECLARE CUR1 CURSOR
000012             SELECT * FROM T1
000013     END-EXEC.
000014 END PROGRAM          P2633.
```

P2633.cob 11: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8356E 問合せ式又は文識別子が指定されていません。

詳細な説明

手続き部に記述した埋込みSQL文(EXEC SQL～END-EXECで囲んだSQL文)の解析で検出された誤りを指摘する診断メッセージです。

2.4.388 JMN2634I-S

カーソル名'@1@'は未定義です。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったカーソル名。

例題

```
[P2634. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2634.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE      PIC X(5).
000008     EXEC SQL END   DECLARE SECTION END-EXEC.
000009 PROCEDURE          DIVISION.
000010     EXEC SQL
000011         OPEN CUR1
000012     END-EXEC
000013 END PROGRAM          P2634.
```

P2634.cob 11: JMN2634I-S カーソル名'CUR1'は未定義です。

詳細な説明

カーソルは、データベース内の実表の中の1行を特定する行指示子です。

カーソルは、カーソル宣言で定義します。カーソル宣言の記述は、そのカーソルを使用するSQL文よりも、ソースコード上の順番で前になければなりません。

2.4.389 JMN2639I-S

EVALUATE文の選択対象でTHROUGH(THRU)の後に誤った語'@1@'が指定されています。THROUGH(THRU)指定は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった語。

例題

```
[P2639. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2639.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WNUM           PIC X.
000007 PROCEDURE        DIVISION.
000008     EVALUATE WNUM
000009     WHEN "A" THRU "Z"
000010     DISPLAY "ALPHABETIC"
000011     WHEN "0" THRU
000012     DISPLAY "NUMERIC"
000013     END-EVALUATE
000014 END PROGRAM        P2639.
```

P2639.cob 11: JMN2639I-S EVALUATE文の選択対象でTHROUGH(THRU)の後に誤った語'DISPLAY'が指定されています。THROUGH(THRU)指定は、無効になります。

詳細な説明

WHEN指定に書いたTHROUGH指定(THRUとTHROUGHは同義語です)は2つの作用対象をつなぎ、1つの選択対象として評価することを示します。

2.4.390 JMN2640I-S

うちPERFORM文にはEND-PERFORMが指定されなければなりません。END-PERFORMがあるものとみなします。

例題

```
[P2640. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2640.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE        DIVISION.
000007     PERFORM WITH NO LIMIT
000008     DISPLAY "LOOP TEST".
000009 END PROGRAM        P2640.
```

P2640.cob 8: JMN2640I-S うちPERFORM文にはEND-PERFORMが指定されなければなりません。END-PERFORMがあるものとみなします。

詳細な説明

うちPERFORM文によって繰り返す文の組を明確にするために、明示範囲符のEND-PERFORMを記述して文の範囲を終了させてください。

2.4.391 JMN2641I-S

NEXT SENTENCEで語SENTENCEが指定されていません。語SENTENCEが指定されていたものとみなします。

例題

```
[P2641. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2641.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WNUM           PIC S9(10).
000007 PROCEDURE         DIVISION.
000008     IF WNUM = 10 THEN
000009         DISPLAY "OK"
000010     ELSE
000011         NEXT
000012     .
000013 END PROGRAM        P2641.
```

P2641.cob 12: JMN2641I-S NEXT SENTENCEで語SENTENCEが指定されていません。語SENTENCEが指定されていたものとみなします。

詳細な説明

NEXT SENTENCE指定を書く場合は、語SENTENCEは必要語です。必ず指定してください。

2.4.392 JMN2642I-S

@1@で語@2@が指定されていません。語@2@が指定されたものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : ON SIZE ERROR.

@2@ : ERROR.

例題

```
[P2642. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2642.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WNUM1           PIC S9(4) BINARY.
000007 01 WNUM2           PIC S9(4) BINARY.
000008 PROCEDURE         DIVISION.
000009     COMPUTE WNUM1 = WNUM1 * WNUM2
000010     ON SIZE
000011         DISPLAY "ERROR"
000012     END-COMPUTE.
000013 END PROGRAM        P2642.
```

P2642.cob 11: JMN2642I-S ON SIZE ERRORで語ERRORが指定されていません。語ERRORが指定されたものとみなします。

詳細な説明

ON SIZE ERROR指定を書く場合は、語ERRORは必要語です。必ず指定してください。

2.4.393 JMN2643I-S

@1@文はサブスキーマ名段落がないと使用できません。

埋め込みの説明

@1@ : CONNECT, DISCONNECT, ERASE, GET, FINISH, IF DB-EXCEPTION, MODIFY, READYまたはSTORE.

例題

```
[P2643. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2643.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE         DIVISION.
000007     READY "MNAAB".
000008 END PROGRAM       P2643.
```

P2643.cob 7: JMN2643I-S READY文はサブスキーマ名段落がないと使用できません。

詳細な説明

ネットワークデータベース操作文を使用するには、環境部の構成節にサブスキーマ名段落を記述し、そこでサブスキーマ定義ファイル(ネットワークデータベースの論理構造を取り出し、COBOLのレコードに変換したもの)を指定する必要があります。

2.4.394 JMN2644I-S

@1@文に'@2@'は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの発生した文の動詞.

@2@ : エラーの原因となった語.

例題

```
[P2644. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2644.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE         DIVISION.
000007     STOP N"停止".
000008 END PROGRAM       P2644.
```

P2644.cob 7: JMN2644I-S STOP文に'日本語定数'は指定できません。

2.4.395 JMN2645I-W

EXAMINE文の数字定数は、符号なしでなければなりません。符号は、無効となります。

例題

```
[P2645. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2645.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WNUM          PIC S9(18).
```

```

000007 PROCEDURE      DIVISION.
000008     EXAMINE WNUM
000009         TALLYING ALL -9
000010 END PROGRAM      P2645.

```

P2645.cob 9: JMN2645I-W EXAMINE文の数字定数は、符号なしでなければなりません。符号は、無効となります。

詳細な説明

EXAMINE文は、OSIV系システムの固有機能です。

2.4.396 JMN2650I-I

(CONF)明示範囲符の@1@は直前の@2@文に対応づけられます。

埋め込みの説明

@1@ : ADD, DIVIDE, MULTIPLY, SUBTRACT, COMPUTE, DELETE, END-ADD, END-DIVIDE, END-MULTIPLY, END-SUBTRACT, END-COMPUTE, END-DELETE, END-STRING, END-UNSTRING, END-INVOKE, END-CALL, END-READ, END-START, END-REWRITEまたはEND-WRITE.

@2@ : ADD, DIVIDE, MULTIPLY, SUBTRACT, COMPUTE, DELETE, STRING, UNSTRING, INVOKE, CALL, READ, START, REWRITEまたはWRITE.

例題

```

[P2650. cob]
000001 @OPTIONS CONF(74)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P2650.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA            DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 WNUM1          PIC S9(4) BINARY.
000008 01 WNUM2          PIC S9(4) BINARY.
000009 01 WNUM3          PIC S9(4) BINARY.
000010 PROCEDURE        DIVISION.
000011     COMPUTE WNUM1 = WNUM2 + WNUM3
000012     END-COMPUTE
000013 END PROGRAM        P2650.

```

P2650.cob 12: JMN2650I-I (CONF)明示範囲符のEND-COMPUTEは直前のCOMPUTE文に対応づけられます。

詳細な説明

翻訳オプションCONFは、'85 ANS COBOLの規格とそれ以前の旧規格の間の非互換を指摘させる(CONF)か、させない(NOCONF)かを指定します。翻訳オプションCONF(68)および翻訳オプションCONF(74)は、翻訳オプションLANGLVL(85)を指定した場合にだけ意味を持ちます。

翻訳オプションCONFは、85規格以前の規格に従って作成したプログラムを、'85 ANS COBOLの規格に従うように変更する場合に有効です。

2.4.397 JMN2651I-W

数字定数と符号が離れています。符号を数字定数に付けます。

例題

```

[P2651. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2651.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.

```

```

000006 01 WNUM          PIC S9(4) BINARY.
000007 PROCEDURE        DIVISION.
000008     MOVE + 12 TO WNUM
000009 END PROGRAM      P2651.

```

P2651.cob 8: JMN2651I-W 数字定数と符号が離れています。符号を数字定数に付けます。

詳細な説明

符号付きの数字定数を記述する場合、符号と数字定数との間には分離符の空白を置かないでください。

2.4.398 JMN2654I-S

USE LABEL文に指定できるファイル '@1@' は順ファイル、直接編成ファイルおよび相対編成ファイルでなければなりません。 '@1@' を無効とします。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったファイル名。

例題

```

[P2654.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2654.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IXFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS INDEXED
000008     RECORD KEY RKEY.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA            DIVISION.
000011 FILE              SECTION.
000012 FD IXFILE1 LABEL RECORD STANDARD.
000013 01 IXF1REC.
000014 02 RKEY          PIC X(8).
000015 02              PIC X(72).
000016 01 LREC          PIC X(80).
000017 WORKING-STORAGE SECTION.
000018 PROCEDURE        DIVISION.
000019 DECLARATIVES.
000020 ER1 SECTION.
000021     USE AFTER STANDARD ENDING FILE
000022     LABEL PROCEDURE ON IXFILE1.
000023 END DECLARATIVES.
000024 END PROGRAM      P2654.

```

P2654.cob 22: JMN2654I-S USE LABEL文に指定できるファイル 'IXFILE1' は順ファイル、直接編成ファイルおよび相対編成ファイルでなければなりません。 'IXFILE1' を無効とします。

詳細な説明

USE LABEL文は、OSIV系システムの固有機能です。

2.4.399 JMN2656I-S

USE LABEL文に指定されたファイル '@1@' には、LABEL RECORD句でデータ名を指定しなければなりません。 '@1@' を無効とします。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったファイル名。

例題

```
[P2656.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2656.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA             DIVISION.
000009 FILE              SECTION.
000010 FD SQFILE1.
000011 01 SQF1REC.
000012 02                PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 PROCEDURE         DIVISION.
000015 DECLARATIVES.
000016 ER1 SECTION.
000017     USE AFTER STANDARD ENDING FILE
000018         LABEL PROCEDURE ON SQFILE1.
000019 END DECLARATIVES.
000020 END PROGRAM        P2656.
```

P2656.cob 18: JMN2656I-S USE LABEL文に指定されたファイル'SQFILE1'には, LABEL RECORD句でデータ名を指定しなければなりません. 'SQFILE1'を無効とします.

詳細な説明

USE LABEL文は, OSIV系システムの固有機能です.

2.4.400 JMN2657I-S

乱呼出しのファイル'@1@'に対してREELおよびUNITは指定できません.

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったファイル名.

例題

```
[P2657.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2657.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO R-SYS001
000007         RELATIVE KEY IS RKEY
000008         ACCESS MODE RANDOM.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA             DIVISION.
000011 FILE              SECTION.
000012 FD SQFILE1 LABEL RECORD LREC.
000013 01 SQF1REC.
000014 02                PIC X(80).
000015 01 LREC           PIC X(80).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 01 RKEY           PIC 9(8) BINARY.
000018 PROCEDURE         DIVISION.
000019 DECLARATIVES.
000020 ER1 SECTION.
000021     USE AFTER STANDARD ENDING REEL
```

```
000022 LABEL PROCEDURE ON SQFILE1.
000023 END DECLARATIVES.
000024 END PROGRAM P2657.
```

P2657.cob 22: JMN2657I-S 乱呼出しのファイル'SQFILE1'に対してREELおよびUNITは指定できません。

詳細な説明

REEL指定またはUNIT指定を書く場合、USE文に指定するファイル名はレコード順ファイルまたはFORMAT句なしの印刷ファイルでなければなりません。

2.4.401 JMN2658I-S

BEFORE指定のUSE LABEL文は、サポートされていません。

例題

```
[P2658. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2658.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD SQFILE1 LABEL RECORD LREC.
000011 01 SQF1REC.
000012 02 PIC X(80).
000013 01 LREC PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 PROCEDURE DIVISION.
000016 DECLARATIVES.
000017 ER1 SECTION.
000018 USE BEFORE STANDARD ENDING FILE
000019 LABEL PROCEDURE ON SQFILE1.
000020 END DECLARATIVES.
000021 END PROGRAM P2658.
```

P2658.cob 18: JMN2658I-S BEFORE指定のUSE LABEL文は、サポートされていません。

詳細な説明

USE LABEL文は、OSIV系システムの固有機能です。

2.4.402 JMN2659I-S

USE BEFORE REPORTING文の'@1@'は、報告集団名でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった利用者語。

例題

```
[P2659. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2659.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA DIVISION.
```

```

000008 FILE          SECTION.
000009 FD SQFILE1.
000010 01 SQF1REC.
000011 02            PIC X(80).
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 PROCEDURE      DIVISION.
000014 DECLARATIVES.
000015 BR-PROC SECTION.
000016     USE BEFORE REPORTING SQFILE1.
000017 END DECLARATIVES.
000018 END PROGRAM     P2659.

```

P2659.cob 16: JMN2659I-S USE BEFORE REPORTING文の'SQFILE1'は、報告集団名でなければなりません。

詳細な説明

USE BEFORE REPORTING文で指定した報告集団を作成表示する直前に、同文で指定した手続きを実行します。

2.4.403 JMN2660I-S

WHENEVER文の構文に誤りがあります。

例題

```

[P2660.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2660.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE      DIVISION.
000007     EXEC SQL
000008         WHENEVER SQLERROR GO TO
000009     END-EXEC.
000010 END PROGRAM     P2660.

```

P2660.cob 8: JMN2660I-S WHENEVER文の構文に誤りがあります。

詳細な説明

埋込みSQL例外宣言(WHENEVER)において、次の誤りが考えられます。

- WHENEVERの後ろの語が、SQLERRORまたはNOT FOUNDでない
- NOTの後ろの語がFOUNDでない
- SQLERROR/NOT FOUNDの後ろの語が、GO TO/GOTO/CONTINUEでない
- GOの後ろの語がTOでない
- GO TO/GOTOの後ろ語が:(コロン)でない
- :(コロン)の後ろに手続き名が書かれていない
- 手続き名が適切でない(名前が30文字を超えている／修飾に誤りがある／先頭または末尾がハイフンである)

2.4.404 JMN2662I-S

有効なWHENEVER文の手続き名 '@1@' が未定義または多重定義です。GO TO 手続き名指定をCONTINUE指定とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった手続き名。

例題

```
[P2662.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2662.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE        PIC X(5).
000008     EXEC SQL END   DECLARE SECTION END-EXEC.
000009 PROCEDURE           DIVISION.
000010     EXEC SQL
000011         WHENEVER SQLERROR GO TO :ERR-1
000012     END-EXEC.
000013*
000014     EXEC SQL
000015         DECLARE CUR1 CURSOR FOR
000016         SELECT *
000017     END-EXEC
000018*
000019     EXEC SQL
000020         OPEN CUR1
000021     END-EXEC
000022 END PROGRAM          P2662.
```

P2662.cob 20: JMN2662I-S 有効なWHENEVER文の手続き名'ERR-1'が未定義または多重定義です。GO TO手続き名指定をCONTINUE指定とみなします。

2.4.405 JMN2663I-S

有効なWHENEVER文の名標'@1@'は、手続き名でなければなりません。GO TO手続き名指定をCONTINUE指定とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった利用者語。

例題

```
[P2663.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2663.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE        PIC X(5).
000008     EXEC SQL END   DECLARE SECTION END-EXEC.
000009 01 PROC-NAME       PIC X(8).
000010 PROCEDURE           DIVISION.
000011     EXEC SQL
000012         WHENEVER SQLERROR GO TO :PROC-NAME
000013     END-EXEC.
000014*
000015     EXEC SQL
000016         DECLARE CUR1 CURSOR FOR
000017         SELECT *
000018     END-EXEC
000019*
000020     EXEC SQL
000021         OPEN CUR1
```

```
000022     END-EXEC
000023 END PROGRAM      P2663.
```

P2663.cob 21: JMN2663I-S 有効なWHENEVER文の名標'PROC-NAME'は、手続き名でなければなりません。GO TO手続き名指定をCONTINUE指定とみなします。

2.4.406 JMN2665I-S

[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

'@1@'は136バイトでかつ作業場所節に定義されていなければなりません。GIVING指定は、無効となります。

[Linux64]

'@1@'は136バイトでかつ作業場所節または局所記憶節に定義されていなければなりません。GIVING指定は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2665.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2665.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA             DIVISION.
000009 FILE               SECTION.
000010 FD SQFILE1.
000011 01 SQF1REC.
000012 02                PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 ERRINFO        PIC X(20).
000015 PROCEDURE          DIVISION.
000016 DECLARATIVES.
000017 ERR1              SECTION.
000018     USE AFTER STANDARD ERROR
000019         PROCEDURE ON SQFILE1
000020         GIVING ERRINFO.
000021 END DECLARATIVES.
000022 END PROGRAM      P2665.
```

- [Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

P2665.cob 20: JMN2665I-S 'ERRINFO'は136バイトでかつ作業場所節に定義されていなければなりません。GIVING指定は、無効となります。

- [Linux64]

P2665.cob 20: JMN2665I-S 'ERRINFO'は136バイトでかつ作業場所節または局所記憶節に定義されていなければなりません。GIVING指定は、無効となります。

詳細な説明

USE文のGIVING指定は、OSIV系システムの固有機能です。

2.4.407 JMN2666I-S

[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

'@1@'は作業場所節または連絡節で定義されていなければなりません。 '@1@'は、無効となります。

[Linux64]

'@1@'は作業場所節、局所記憶節または連絡節で定義されていなければなりません。 '@1@'は、無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2666.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2666.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA              DIVISION.
000009 FILE                SECTION.
000010 FD SQFILE1.
000011 01 SQF1REC.
000012 02                PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 ERRINFO1       PIC X(136).
000015 CONSTANT          SECTION.
000016 01 ERRINFO2       PIC X(20) VALUE SPACE.
000017 PROCEDURE         DIVISION.
000018 DECLARATIVES.
000019 ERR1              SECTION.
000020     USE AFTER STANDARD ERROR
000021         PROCEDURE ON SQFILE1
000022         GIVING ERRINFO1 ERRINFO2.
000023 END DECLARATIVES.
000024 END PROGRAM        P2666.
```

- [Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

P2666.cob 22: JMN2666I-S 'ERRINFO2'は作業場所節または連絡節で定義されていなければなりません。 'ERRINFO2'は、無効となります。

- [Linux64]

P2666.cob 22: JMN2666I-S 'ERRINFO2'は作業場所節、局所記憶節または連絡節で定義されていなければなりません。 'ERRINFO2'は、無効となります。

詳細な説明

USE文のGIVING指定は、OSIV系システムの固有機能です。

2.4.408 JMN2669I-E

[Linux64]

CALL文のUSING指定に手続き名 '@1@' の指定があります。 このシステムでは、結果は保証されません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった手続き名。

例題

```
[C2669.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C2669.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA              DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
```

```

000006 01 P1          PIC X(4).
000007 PROCEDURE      DIVISION.
000008     CALL "SUB2669" USING P1.
000009 P1.
000010     EXIT PROGRAM.
000011 END PROGRAM    C2669.

```

C2669.cob 8: JMN2669I-E CALL文のUSING指定に手続き名'P1'の指定があります。このシステムでは、結果は保証されません。

詳細な説明

主な原因として以下の2点が考えられます。

- ・ CALL文のUSINGに手続き名が指定されています。“COBOL文法書”を参照のうえ、正しい書き方に修正してください。
- ・ CALL文のUSINGに手続き名と同じ名前の一意名が指定されています。手続き名または一意名を異なる名前に修正してください。

2.4.409 JMN2670I-S

@1@文は、一つのプログラムに一つしか記述できません。

埋め込みの説明

@1@ : USE FOR DB-EXCEPTION.

例題

```

[P2670. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2670.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE        DIVISION.
000007 DECLARATIVES.
000008 ERROR-1 SECTION.
000009     USE FOR DB-EXCEPTION.
000010 ERROR-2 SECTION.
000011     USE FOR DB-EXCEPTION.
000012 END DECLARATIVES.
000013 END PROGRAM      P2670.

```

P2670.cob 11: JMN2670I-S USE FOR DB-EXCEPTION文は、一つのプログラムに一つしか記述できません。

詳細な説明

USE FOR DB-EXCEPTION文は、OSIV系システムの固有機能です。

2.4.410 JMN2671I-S

部分参照子には、'.'を指定しなければなりません。'.'が指定されているものとみなします。

例題

```

[P2671. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2671.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WBUF          PIC X(20).
000007 PROCEDURE        DIVISION.
000008     MOVE SPACE TO WBUF(1 2)
000009 END PROGRAM      P2671.

```

P2671.cob 8: JMN2671I-S 部分参照子には, ':'を指定しなければなりません. ':'が指定されているものとみなします.

詳細な説明

データ項目や関数値を部分参照したい場合, データ名または関数一意名に部分参照子を付けます. 部分参照子は, 部分参照の対象となるデータ名または関数一意名の後ろに左括弧を1つ書き, 最左端文字位置を示す算術式を記述します. さらにその後ろに:(コロン)を記述し, 部分参照する長さを示す算術式を記述して, 先の左括弧の対になる右括弧を記述します. コロンの前後には, 分離符の空白を書くこともできます. 長さを示す算術式は省略することができますが, コロンは省略できません.

2.4.411 JMN2672I-S

@1@指定に有効な作用対象が一つもありません.

埋め込みの説明

@1@ : USING, RETURNINGまたはKEY.

例題

```
[P2672. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2672.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007     SELECT SQFILE2 ASSIGN TO SYS002.
000008     SELECT SRTFILE ASSIGN TO SYS003.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA              DIVISION.
000011 FILE                SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQF1REC.
000014 02 SRTKEY          PIC X(8).
000015 02                  PIC X(72).
000016 FD SQFILE2.
000017 01 SQF2REC.
000018 02 SRTKEY          PIC X(8).
000019 02                  PIC X(72).
000020 SD SRTFILE.
000021 01 SRTREC.
000022 02 SRTKEY          PIC X(8).
000023 02                  PIC X(72).
000024 WORKING-STORAGE SECTION.
000025 01 WFS1             PIC X(2).
000026 PROCEDURE          DIVISION.
000027     SORT SRTFILE
000028         ASCENDING KEY SRTKEY OF SQFILE1
000029         USING  SQFILE1
000030         GIVING SQFILE2.
000031 END PROGRAM          P2672.
```

P2672.cob 28: JMN2672I-S KEY指定に有効な作用対象が一つもありません.

詳細な説明

指定されたすべての作用対象に誤りがあります. 他に出力されている診断エラーを参照して, 誤りを取り除いてください.

2.4.412 JMN2673I-S

@1@文中に誤った語@2@が指定されています. AT ENDまたはWHENが現れるまで読み飛ばします.

埋め込みの説明

@1@ : SEARCHまたはSEARCH ALL.

@2@ : 誤った語

例題

```
[P2673.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2673.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA              DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WDATA          OCCURS 10 INDEXED BY IX1
000008                      ASCENDING KEY IS WITM1.
000009 03 WITM1          PIC X.
000010 03 WITM2          PIC X.
000011 PROCEDURE         DIVISION.
000012     SEARCH ALL WDATA VARYING IX1
000013     WHEN WITM1 (IX1) = "X"
000014     DISPLAY "OK"
000015     END-SEARCH
000016 END PROGRAM        P2673.
```

P2673.cob 12: JMN2673I-S SEARCH ALL 文中に誤った語VARYINGが指定されています。AT ENDまたはWHENが現れるまで読み飛ばします。

2.4.413 JMN2682I-W

略記組合せ比較条件中に括弧は指定できません。括弧は、有効とみなします。

例題

```
[P2682.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2682.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA              DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 D1              PIC X(1).
000007 PROCEDURE         DIVISION.
000008     IF D1 >= "A" AND
000009     <= ("Z" OR "z") THEN
000010     DISPLAY "OK"
000011     ELSE
000012     DISPLAY "OK"
000013     END-IF
000014 END PROGRAM        P2682.
```

P2682.cob 8: JMN2682I-W 略記組合せ比較条件中に括弧は指定できません。括弧は、有効とみなします。

2.4.414 JMN2686I-S

カーソル名 '@1@' は、すでに定義されています。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったカーソル名。

例題

```
[P2686.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2686.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE        PIC X(5).
000008     EXEC SQL END   DECLARE SECTION END-EXEC.
000009 PROCEDURE            DIVISION.
000010     EXEC SQL
000011         DECLARE CUR1 CURSOR FOR
000012             SELECT C1, C2 WHERE N1 = 10
000013     END-EXEC
000014     EXEC SQL
000015         DECLARE CUR1 CURSOR FOR
000016             SELECT C1, C2 WHERE N1 = 12
000017     END-EXEC
000018 END PROGRAM          P2686.
```

P2686.cob 15: JMN2686I-S カーソル名'CUR1'は、すでに定義されています。

詳細な説明

埋込みSQL文で、同じカーソル名を宣言しているカーソル宣言が2つ以上あります。カーソル名は、翻訳単位のプログラム内で一意でなければなりません。

2.4.415 JMN2689I-W

MERGE文のUSING指定に記述されたファイル名の個数は、2個以上でなければなりません。ファイル名は、有効とみなします。

例題

```
[P2689.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2689.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007     SELECT SQFILE2 ASSIGN TO SYS002.
000008     SELECT SRTFILE ASSIGN TO SYS003.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA             DIVISION.
000011 FILE              SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQF1REC.
000014 02 KEYREC        PIC X(8).
000015 02                PIC X(72).
000016 FD SQFILE2.
000017 01 SQF2REC.
000018 02 KEYREC        PIC X(8).
000019 02                PIC X(72).
000020 SD SRTFILE.
000021 01 SRTREC.
000022 02 KEYREC        PIC X(8).
000023 02                PIC X(72).
000024 WORKING-STORAGE SECTION.
000025 PROCEDURE            DIVISION.
000026     MERGE SRTFILE
```

```
000027      ASCENDING KEY KEYREC OF SRTFILE
000028      USING  SQFILE1
000029      GIVING SQFILE2
000030 END PROGRAM      P2689.
```

P2689.cob 28: JMN2689I-W MERGE文のUSING指定に記述されたファイル名の個数は、2個以上でなければなりません。ファイル名は、有効とみなします。

詳細な説明

MERGE文は、USING指定に指定されたファイルを併合します。USING指定には、併合の対象とするファイル名を少なくとも2個指定してください。

2.4.416 JMN2691I-S

報告書節中の '@1@' は、手続部では参照してはなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2691.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2691.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS002.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA            DIVISION.
000009 FILE              SECTION.
000010 FD REPFIL
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 WRKREC        PIC X(80).
000014 REPORT          SECTION.
000015 RD REP1 PAGE 66.
000016 01 DE-REC TYPE DE.
000017 02 LINE PLUS 1.
000018 03 COLUMN 1 PIC X(80) SOURCE WRKREC.
000019 PROCEDURE        DIVISION.
000020 DECLARATIVES.
000021 ERR1 SECTION.
000022     USE BEFORE REPORTING DE-REC.
000023     MOVE SPACE TO DE-REC.
000024 END DECLARATIVES.
000025 END PROGRAM      P2691.
```

P2691.cob 23: JMN2691I-S 報告書節中の 'DE-REC' は、手続部では参照してはなりません。

詳細な説明

報告書記述項で宣言した報告書名(レベル指示語RDに続いて指定した名前)、および報告集団名(報告書記述項の下位に宣言したデータ記述項で定義したデータ名)は、手続き部では、USE BEFORE REPORTING文あるいはGENERATE/INITIATE/TERMINATE文の中だけで使えます。

2.4.417 JMN2692I-W

@1@文の後に実行されない文が存在します。その文は、有効とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : GO TO, EXIT PROGRAM, STOP RUNまたはGOBACK.

例題

```
[P2692. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2692.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE        DIVISION.
000007     STOP RUN.
000008     DISPLAY "TEST NG".
000009 END PROGRAM       P2692.
```

P2692.cob 7: JMN2692I-W STOP RUN文の後に実行されない文が存在します。その文は、有効とみなします。

詳細な説明

制御の移行を明示的に指示する文の後ろに、実行文が書かれています。これらの文は翻訳はされますが、実行されることはありません。

2.4.418 JMN2693I-W

'@1@'は一意名またはゼロでない整数でなければなりません。書かれたとおり受け入れます。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった語。

例題

```
[P2693. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2693.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WOCC          PIC X(2) OCCURS 26
000008                  INDEXED BY IX1.
000009 01 LCNT          PIC S9(4) BINARY.
000010 PROCEDURE        DIVISION.
000011     PERFORM TEST BEFORE
000012         VARYING LCNT FROM IX1 BY 0 UNTIL IX1 = 26
000013         DISPLAY WOCC(IX1)
000014     END-PERFORM
000015 END PROGRAM       P2693.
```

P2693.cob 12: JMN2693I-W '0'は一意名またはゼロでない整数でなければなりません。書かれたとおり受け入れます。

詳細な説明

FROM指定に指標名を指定した場合、BY指定には0でない整数あるいは整数項目を指定しなければなりません。

2.4.419 JMN2694I-S

ポインタ修飾子に誤りがあります。

例題

```
[P2694. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2694.
```

```

000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 DATA          DIVISION.
000005 BASED-STORAGE  SECTION.
000006 01 WBUF.
000007 02 WITEM1      PIC X(2).
000008 02 WITEM2      PIC X(2).
000009 PROCEDURE      DIVISION.
000010     MOVE SPACE TO
000011         (FUNCTION LENGTH(WITEM2))->WBUF
000012 END PROGRAM      P2694.

```

P2694.cob 11: JMN2694I-S ポインタ修飾子に誤りがあります。

詳細な説明

次のような原因が考えられます。

- ・ データ名あるいはADDR関数でない要素に続いてポインタ修飾記号(->)が書かれている
- ・ ポインタ修飾子が括弧を含むとき、括弧の対応が取れていない
- ・ ポインタ修飾子の構成要素に誤りがある

2.4.420 JMN2695I-S

ポインタ付けされている '@1@' はデータ名または条件名でなければなりません。ポインタ付けを削除します。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった語。

例題

```

[C2695.cob]
000001 IDENTIFICATION  DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     C2695.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 BASED-STORAGE    SECTION.
000006 01 BA01          PIC 9(10).
000007 01 BA02          PIC 9(10).
000008 01 BA03          PIC 9(10).
000009 01 BA04          PIC 9(10).
000010 WORKING-STORAGE  SECTION.
000011 01 A01.
000012 02 A02          PIC 9(10).
000013 02 A03          PIC 9(10).
000014 02 A04          PIC 9(10).
000015 01 P01          USAGE POINTER.
000016 01 P02          USAGE POINTER.
000017 PROCEDURE       DIVISION.
000018     DISPLAY (P01 + P02)->"AAA".
000019 END PROGRAM      C2695.

```

C2695.cob 18: JMN2695I-S ポインタ付けされている "AAA" はデータ名または条件名でなければなりません。ポインタ付けを削除します。

2.4.421 JMN2696I-S

検査機構付きでないうちPERFORM文にはTEST指定付きのEXIT PERFORM文は指定できません。TEST指定は、無効になります。

例題

```
[C2696.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C2696.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE  SECTION.
000006 01  A01.
000007     02 A02        PIC 9(10).
000008     02 A03        PIC 9(10).
000009     02 A04        PIC 9(10).
000010 PROCEDURE        DIVISION.
000011     PERFORM WITH NO LIMIT
000012         MOVE A03 TO A04
000013         EXIT TO TEST OF PERFORM
000014     END-PERFORM.
000015 END PROGRAM      C2696.
```

C2696.cob 13: JMN2696I-S 検査機構付きでないうちPERFORM文にはTEST指定付きのEXIT PERFORM文は指定できません。TEST指定は、無効になります。

詳細な説明

TEST指定付きのEXIT PERFORM文は、終了条件のある(NO LIMIT指定でない)うちPERFORM文の中にだけ書くことができます。TEST指定付きのEXIT PERFORM文を実行すると、対応するうちPERFORM文の検査機構に制御が移ります。

検査機構とは、以下の処理です。

- ・ TIMESの前に指定した繰り返し回数を検査する処理
- ・ UNTILの後に指定した条件を検査する処理

2.4.422 JMN2697I-S

EXIT PERFORM文はうちPERFORM文の内側に指定しなければなりません。

例題

```
[P2697.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2697.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE  SECTION.
000006 01  WNUM          PIC X(2).
000007 PROCEDURE        DIVISION.
000008     IF WNUM = "13" THEN
000009         DISPLAY "OK"
000010     ELSE
000011         EXIT PERFORM
000012     END-IF
000013 END PROGRAM      P2697.
```

P2697.cob 11: JMN2697I-S EXIT PERFORM文はうちPERFORM文の内側に指定しなければなりません。

詳細な説明

EXIT PERFORM文は、うちPERFORM文の出口を指定します。

2.4.423 JMN2698I-S

@1@に引数が指定されていません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの検出された関数名.

例題

```
[P2698.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2698.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WANS           COMP-1.
000007 PROCEDURE         DIVISION.
000008     COMPUTE WANS = FUNCTION SIN
000009 END PROGRAM       P2698.
```

P2698.cob 8: JMN2698I-S FUNCTION SINに引数が指定されていません.

詳細な説明

引数を必要とする関数に対して, 引数が指定されていません.

2.4.424 JMN2699I-S

@1@の引数は@2@でなければなりません.

埋め込みの説明

@1@ : エラーの検出された関数名.

@2@ : 引数として指定可能な語の種類.

例題

```
[C2699.cob]
000001 IDENTIFICATION      DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.         C2699.
000003 ENVIRONMENT         DIVISION.
000004 DATA                DIVISION.
000005 BASED-STORAGE        SECTION.
000006 01 BA01              PIC 9.
000007 01 BA02              PIC 9(10).
000008 01 BA03              PIC 9(10).
000009 01 BA04              PIC 9(10).
000010 WORKING-STORAGE     SECTION.
000011 01 A01.
000012     02 A02           PIC 9(10).
000013     02 A03           PIC 9(10).
000014     02 A04           PIC 9(10).
000015 01 P01              USAGE POINTER.
000016 01 P02              USAGE POINTER.
000017 01 PTR-G.
000018     02 P03           USAGE POINTER OCCURS 5 TIMES.
000019 PROCEDURE           DIVISION.
000020     DISPLAY FUNCTION ADDR("AAA").
000021 END PROGRAM           C2699.
```

C2699.cob 20: JMN2699I-S FUNCTION ADDRの引数は一意名でなければなりません.

詳細な説明

引数の個数, 引数の指定順序および引数の値は, 関数によって異なります.

2.4.425 JMN2700I-S

関数の右括弧が指定されていません。右括弧が指定されたものとみなします。

例題

```
[P2700.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2700.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WANS           COMP-1.
000007 PROCEDURE        DIVISION.
000008     COMPUTE WANS = FUNCTION SIN(13
000009 END PROGRAM        P2700.
```

P2700.cob 8: JMN2700I-S 関数の右括弧が指定されていません。右括弧が指定されたものとみなします。

2.4.426 JMN2701I-I

デバッグ節は、注釈になります。

例題

```
[P2701.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2701.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION     SECTION.
000005 SOURCE-COMPUTER. FMV6000SL
000006     WITH DEBUGGING MODE.
000007 DATA             DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 PROCEDURE        DIVISION.
000010 DECLARATIVES.
000011 DBG1 SECTION.
000012     USE FOR DEBUGGING ON ALL PROCEDURE.
000013 END DECLARATIVES.
000014 END PROGRAM        P2701.
```

P2701.cob 12: JMN2701I-I デバッグ節は、注釈になります。

詳細な説明

USE FOR DEBUGGING文は、OSIV系システムの固有機能です。

2.4.427 JMN2704I-W

VALUE句は、EXTERNAL句を持つ項目またはその項目に従属する項目に指定できません。VALUE句は、無効になります。

例題

```
[P2704.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2704.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WK1   IS EXTERNAL
000006         PIC X(2) VALUE SPACE.
000007 01 WK2   IS EXTERNAL.
000008 02       PIC X(2) VALUE SPACE.
```

```
000009 PROCEDURE      DIVISION.
000010 END PROGRAM     P2704.
```

P2704.cob 6: JMN2704I-W VALUE句は, EXTERNAL句を持つ項目またはその項目に従属する項目に指定できません. VALUE句は, 無効になります.

P2704.cob 8: JMN2704I-W VALUE句は, EXTERNAL句を持つ項目またはその項目に従属する項目に指定できません. VALUE句は, 無効になります.

2.4.428 JMN2705I-W

VALUE句は, REDEFINES句を持つ項目またはその項目に従属する項目に指定できません. VALUE句は, 無効になります.

例題

```
[P2705.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2705.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDA.
000007 02 WBUF          PIC X(20).
000008 02 WVSTR REDEFINES WBUF.
000009 03 WLEN          PIC S9(9) BINARY VALUE ZERO.
000010 03 WSTR          PIC X(16).
000011 PROCEDURE        DIVISION.
000012 END PROGRAM      P2705.
```

P2705.cob 9: JMN2705I-W VALUE句は, REDEFINES句を持つ項目またはその項目に従属する項目に指定できません. VALUE句は, 無効になります.

2.4.429 JMN2706I-W

VALUE句は, APPLY SAVED-AREA句に指定された項目またはその項目に従属する項目に指定できません. VALUE句は, 無効になります.

例題

```
[P2706.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2706.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006  SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007  I-O-CONTROL.
000008  APPLY SAVED-AREA TO WSAVE ON SQFILE1.
000009 DATA             DIVISION.
000010 FILE               SECTION.
000011 FD SQFILE1.
000012 01 SQF1REC.
000013 02              PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 WSAVE          PIC X(80) VALUE SPACE.
000016 PROCEDURE        DIVISION.
000017 END PROGRAM      P2706.
```

P2706.cob 15: JMN2706I-W VALUE句は, APPLY SAVED-AREA句に指定された項目またはその項目に従属する項目に指定できません. VALUE句は, 無効になります.

2.4.430 JMN2707I-S

'@1@'は、一意名で修飾されていなければなりません。

埋め込みの説明

@1@: EDIT-COLOR, EDIT-CURSOR, EDIT-MODE, EDIT-STATUS, EDIT-OPTION, EDIT-OPTION2またはEDIT-OPTION3.

例題

```
[P2707. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2707.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE         DIVISION.
000007     MOVE SPACE TO EDIT-COLOR
000008 END PROGRAM      P2707.
```

P2707.cob 7: JMN2707I-S 'EDIT-COLOR'は、一意名で修飾されていなければなりません。

詳細な説明

表示ファイル機能で使用する画面定義体を作成するときに項目制御部の付加を指定すると、表示ファイルに関係付けたレコード記述項として項目制御部を持つデータ項目が展開され、それぞれのデータ項目に対して以下の7種類の特殊レジスタが生成されます。

- EDIT-MODE
- EDIT-OPTION
- EDIT-OPTION2
- EDIT-OPTION3
- EDIT-COLOR
- EDIT-STATUS
- EDIT-CURSOR

これらの特殊レジスタは手続き部の文でだけ参照することができます。特殊レジスタは、項目制御部を持つデータ項目に関係付けられるので、特殊レジスタを参照する場合、項目制御部を持つデータ項目で修飾しなければなりません。

2.4.431 JMN2710I-S

昇順指定のSTART文には、REVERSED ORDER指定は記述できません。

例題

```
[P2710. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2710.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IXFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION      IS INDEXED
000008     RECORD KEY        IS WRKY1.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA             DIVISION.
000011 FILE               SECTION.
000012 FD IXFILE1.
000013 01 IXF1REC.
000014 02 WRKY1          PIC 9(2).
000015 02                PIC X(80).
```

```

000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 PROCEDURE      DIVISION.
000018     START IXFILE1
000019     KEY IS GREATER THAN WRKY1
000020     WITH REVERSED ORDER
000021 END PROGRAM      P2710.

```

P2710.cob 20: JMN2710I-S 昇順指定のSTART文には、REVERSED ORDER指定は記述できません。

詳細な説明

REVERSED ORDER指定付きのSTART文が実行されると、レコードの末尾からレコードの先頭に向かって、逆順にレコードを呼び出します。このとき、KEY 指定にIS GREATER THAN/IS GREATER OR EQUAL TOが指定されている(昇順指定)と、呼び出されるレコードが存在しません。

2.4.432 JMN2717I-S

手続き名のないGO TO文を含む段落は、段落名と一つのGO TO文だけで構成されていなければなりません。GO TO文は無効になります。

例題

```

[P2717.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2717.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE      DIVISION.
000007     ALTER P1 TO P2.
000008 P1.
000009     DISPLAY "P1"
000010     GO TO.
000011 P2.
000012     STOP RUN.
000013 END PROGRAM      P2717.

```

P2717.cob 10: JMN2717I-S 手続き名のないGO TO文を含む段落は、段落名と一つのGO TO文だけで構成されていなければなりません。GO TO文は無効になります。

詳細な説明

手続き名のないGO TO文は、廃要素です。

2.4.433 JMN2718I-S

@1@文のデータ名'@2@'はポインタ付けできません。ポインタ付けは無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : START, READ, SORT, MERGE.

@2@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```

[C2718.cob]
000001 IDENTIFICATION      DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.         C2718.
000003 ENVIRONMENT         DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT         SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE01 ASSIGN TO NAME01.
000007 DATA                 DIVISION.

```



```

000008 FILE SECTION.
000009 SD FILE01
000010 LABEL RECORD IS STANDARD.
000011 01 REC.
000012 02 F001 PIC X(90).
000013 02 RKEYA PIC X(10).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 PTR1 POINTER.
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017 P-001.
000018 SORT FILE01 ON ASCENDING KEY
000019 PTR1->RKEYA
000020 INPUT PROCEDURE P-001
000021 OUTPUT PROCEDURE IS P-002 THRU P-004.
000022 P-002.
000023 P-004.
000024 END PROGRAM C2718.

```

C2718.cob 19: JMN2718I-S SORT文のデータ名'RKEYA'はポインタ付けできません。ポインタ付けは無効になります。

2.4.434 JMN2726I-I

(OBS)@1@文は, @2@ COBOLの廃要素です.

埋め込みの説明

@1@ : ALTERまたはENTER.

@2@ : ANSI85.

例題

```

[P2726.cob]
000001 @OPTIONS CONF(OBS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P2726.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 ALTER P1 TO P2.
000009 P1.
000010 GO TO.
000011 P2.
000012 STOP RUN.
000013 END PROGRAM P2726.

```

P2726.cob 8: JMN2726I-I (OBS)ALTER文は, ANSI85 COBOLの廃要素です.

詳細な説明

翻訳オプションCONF(OBS)を指定すると, 廃要素である言語仕様および機能が指摘されます.

2.4.435 JMN2727I-I

(OBS)@1@指定は, @2@ COBOLの廃要素です.

埋め込みの説明

@1@ : REVERSED.

@2@ : ANSI85.

例題

```
[P2727.cob]
000001 @OPTIONS CONF(OBS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P2727.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA              DIVISION.
000010 FILE              SECTION.
000011 FD SQFILE1.
000012 01 SQFIREC.
000013 02              PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 PROCEDURE          DIVISION.
000016     OPEN INPUT SQFILE1 REVERSED.
000017 END PROGRAM        P2727.
```

P2727.cob 16: JMN2727I-I (OBS)REVERSED指定は、ANSI85 COBOLの廃要素です。

詳細な説明

翻訳オプションCONF(OBS)を指定すると、廃要素である言語仕様および機能が指摘されます。

2.4.436 JMN2728I-I

(OBS)手続き名のないGO TO文は、ANSI85 COBOLの廃要素です。

例題

```
[P2728.cob]
000001 @OPTIONS CONF(OBS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P2728.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA            DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE          DIVISION.
000008     ALTER P1 TO P2.
000009 P1.
000010     GO TO.
000011 P2.
000012     STOP RUN.
000013 END PROGRAM        P2728.
```

P2728.cob 10: JMN2728I-I (OBS)手続き名のないGO TO文は、ANSI85 COBOLの廃要素です。

詳細な説明

翻訳オプションCONF(OBS)を指定すると、廃要素である言語仕様および機能が指摘されます。

2.4.437 JMN2729I-I

(OBS)定数を指定したSTOP文は、ANSI85 COBOLの廃要素です。

例題

```
[P2729.cob]
000001 @OPTIONS CONF(OBS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P2729.
```

```
000004 ENVIRONMENT    DIVISION.
000005 DATA           DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE       DIVISION.
000008     STOP "PAUSE"
000009 END PROGRAM     P2729.
```

P2729.cob 8: JMN2729I-I (OBS)定数を指定したSTOP文は、ANSI85 COBOLの廃要素です。

詳細な説明

翻訳オプションCONF(OBS)を指定すると、廃要素である言語仕様および機能が指摘されます。

2.4.438 JMN2730I-I

(OBS)@1@は、@2@ COBOLの廃要素です。

埋め込みの説明

@1@ : デバッグ機能.

@2@ : ANSI85.

例題

```
[P2730. cob]
000001 @OPTIONS CONF(OBS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P2730.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 CONFIGURATION    SECTION.
000006 SOURCE-COMPUTER. FMV6000SL
000007     WITH DEBUGGING MODE.
000008 DATA              DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 PROCEDURE        DIVISION.
000011 DECLARATIVES.
000012 DBG1 SECTION.
000013     USE FOR DEBUGGING ON ALL PROCEDURE.
000014 END DECLARATIVES.
000015D    DISPLAY "DEBUG LINE"
000016 END PROGRAM     P2730.
```

P2730.cob 13: JMN2730I-I (OBS)デバッグ機能は、ANSI85 COBOLの廃要素です。

詳細な説明

翻訳オプションCONF(OBS)を指定すると、廃要素である言語仕様および機能が指摘されます。

2.4.439 JMN2731I-S

'@1@'特殊レジスタの '@2@'は一意名でなければなりません.

埋め込みの説明

@1@ : ADDRESS OFまたはLENGTH OF.

@2@ : エラーの原因となった語.

例題

```
[P2731. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2731.
```

```

000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 DATA          DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WPX         POINTER.
000007 PROCEDURE      DIVISION.
000008 LABEL1.
000009     MOVE LENGTH OF LABEL1 TO WPX
000010 END PROGRAM     P2731.

```

P2731.cob 9: JMN2731I-S 'LENGTH OF'特殊レジスタの'LABEL1'は一意名でなければなりません。

2.4.440 JMN2732I-S

'@1@'特殊レジスタの一意名は連絡節中で定義されたレベル番号が01または77の項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : ADDRESS OF.

例題

```

[P2732. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2732.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WPX           POINTER.
000007 01 WBUF1        PIC X(20).
000008 LINKAGE          SECTION.
000009 01 WBUF2        PIC X(20).
000010 PROCEDURE        DIVISION.
000011     SET ADDRESS OF WBUF1 TO WPX
000012     SET ADDRESS OF WBUF2 TO WPX
000013 END PROGRAM       P2732.

```

P2732.cob 11: JMN2732I-S 'ADDRESS OF'特殊レジスタの一意名は連絡節中で定義されたレベル番号が01または77の項目でなければなりません。

2.4.441 JMN2735I-S

SET文のTOの後は、ONまたはOFFでなければなりません。

例題

```

[P2735. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2735.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION     SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     SWITCH-O IS SWO.
000007 DATA            DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 PROCEDURE          DIVISION.
000010     SET SWO TO TRUE
000011 END PROGRAM        P2735.

```

P2735.cob 10: JMN2735I-S SET文のTOの後は、ONまたはOFFでなければなりません。

詳細な説明

SET文に指定した呼び名に対応付けた外部スイッチの状態を、オン状態またはオフ状態にします。

2.4.442 JMN2736I-S

SET文のTOの後は、TRUEでなければなりません。

例題

```
[P2736. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2736.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 RESULT         PIC 1(1).
000007 88 OK              VALUE B"1".
000008 88 NG              VALUE B"0".
000009 PROCEDURE         DIVISION.
000010     SET OK TO ON
000011 END PROGRAM       P2736.
```

P2736.cob 10: JMN2736I-S SET文のTOの後は、TRUEでなければなりません。

詳細な説明

SET文に指定した条件名の条件名記述項(レベル番号が88)に書いたVALUE句の値を、条件名に関係付けた条件変数に設定します。

2.4.443 JMN2737I-S

SET文のTOの後は、ポインタデータ項目、表意定数NULL(S)またはADDRESS OF特殊レジスタでなければなりません。

例題

```
[P2737. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2737.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 LINKAGE           SECTION.
000006 01 WBUF           POINTER.
000007 PROCEDURE         DIVISION.
000008     SET ADDRESS OF WBUF TO 13
000009 END PROGRAM       P2737.
```

P2737.cob 8: JMN2737I-S SET文のTOの後は、ポインタデータ項目、表意定数NULL(S)またはADDRESS OF特殊レジスタでなければなりません。

2.4.444 JMN2738I-S

@1@文の受取り側項目にLENGTH OF特殊レジスタは指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの発生した文の動詞。

例題

```
[P2738. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2738.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WANS            PIC S9(4) BINARY.
```

```

000007 PROCEDURE      DIVISION.
000008     COMPUTE LENGTH OF WANS = 13 + 12
000009 END PROGRAM      P2738.

```

P2738.cob 8: JMN2738I-S COMPUTE文の受取り側項目にLENGTH OF特殊レジスタは指定できません。

2.4.445 JMN2741I-S

'@1@'はレベル番号が01または77の項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : SQLSTATE, SQLCODE, SQLMSG.

例題

```

[P2741. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2741.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE  SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN  DECLARE SECTION END-EXEC.
000007     01  STCD.
000008     02  SQLSTATE PIC X(5).
000009     02  SQLMSG  PIC X(80).
000010     77  HVAR3  PIC S9(9) BINARY.
000011     EXEC SQL  END  DECLARE SECTION END-EXEC.
000012 PROCEDURE  DIVISION.
000013     EXEC  SQL
000014         SELECT CL1 INTO :HVAR3 FROM TBL
000015     END-EXEC.
000016 END PROGRAM P2741.

```

P2741.cob 8: JMN2741I-S 'SQLSTATE'はレベル番号が01または77の項目でなければなりません。

P2741.cob 9: JMN2741I-S 'SQLMSG'はレベル番号が01または77の項目でなければなりません。

詳細な説明

SQLSTATE, SQLCODEまたはSQLMSGは、埋込みSQL文の実行結果を応用プログラムに通知するための連絡域です。これらは、レベル番号01または77の項目として宣言してください。

2.4.446 JMN2742I-S

SQLERRDは、6個の要素を持つ配列であり、SQLINFOAにただ1つ従属するレベル番号02の項目でなければなりません。

例題

```

[P2742. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2742.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE  SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN  DECLARE SECTION END-EXEC.
000007     01  SQLSTATE PIC X(5).
000008     01  SQLINFOA .
000009     02  SQLERRD PIC S9(9) BINARY OCCURS 10 TIMES.
000010     77  HVAR3  PIC S9(9) BINARY.
000011     EXEC SQL  END  DECLARE SECTION END-EXEC.
000012 PROCEDURE  DIVISION.
000013     EXEC  SQL
000014         SELECT CL1 INTO :HVAR3 FROM TBL

```

```
000015     END-EXEC.  
000016 END PROGRAM P2742.
```

P2742.cob 9: JMN2742I-S SQLERRDは、6個の要素を持つ配列であり、SQLINFOAにただ1つ従属するレベル番号02の項目でなければなりません。

詳細な説明

SQLERRDは、以下の2つの情報を格納するための領域です。

- ・ ストアドプロシージャの戻り値(配列の1番目の要素であるSQLERRD(1)を参照します)
- ・ 複数行処理が行われた場合の処理行数(配列の3番目の要素であるSQLERRD(3)を参照します)

2.4.447 JMN2744I-S

ホスト変数は、アドレス可変項目であってはなりません。

例題

```
[P2744. cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      P2744.  
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.  
000004 DATA             DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE  SECTION.  
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.  
000007 01  SQLSTATE PIC X(5).  
000008 01 HRGRP.  
000009 02 WDEPND PIC S9(4) BINARY.  
000010 02          PIC X(1)  
000011          OCCURS 10 DEPENDING ON WDEPND.  
000012 02 HVAR3  PIC S9(9) BINARY.  
000013     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.  
000014 PROCEDURE DIVISION.  
000015     EXEC SQL  
000016         SELECT CL1 INTO :HVAR3 FROM TBL  
000017     END-EXEC.  
000018 END PROGRAM      P2744.
```

P2744.cob 12: JMN2744I-S ホスト変数は、アドレス可変項目であってはなりません。

詳細な説明

ホスト変数(データ部の埋込みSQL宣言節で定義する)は、応用プログラムからデータをデータベースに格納したり、データベースのデータを読み込むために使用します。ホスト変数は、レコード中の可変位置(レコードの中で、OCCURS句にDEPENDING指定を指定したデータ項目の後に割り付けられる領域)にある項目であってはなりません。

2.4.448 JMN2745I-S

ホスト変数は、@1@句を持つ項目に従属する項目であってはなりません。

埋め込みの説明

@1@ : OCCURSまたはREDEFINES.

例題

```
[P2745. cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      P2745.  
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.  
000004 DATA             DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE  SECTION.
```

```

000006      EXEC SQL BEGIN  DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01  SQLSTATE PIC X(5).
000008 01 HRGRP.
000009      02          OCCURS 10.
000010      03 HVAR1    PIC S9(9) BINARY.
000011      EXEC SQL  END  DECLARE SECTION END-EXEC.
000012 PROCEDURE  DIVISION.
000013      EXEC  SQL
000014          SELECT CL1 INTO :HVAR1 FROM TBL
000015      END-EXEC.
000016 END PROGRAM      P2745.

```

P2745.cob 10: JMN2745I-S ホスト変数は, OCCURS句を持つ項目に従属する項目であってはなりません.

2.4.449 JMN2747I-S

OCCURS句を指定するホスト変数は, レベル番号49以外の基本項目か, または可変長文字列型のホスト変数でなければなりません.

例題

```

[C2747. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C2747.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 DATA          DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006      EXEC SQL BEGIN  DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01  SQLSTATE PIC X(5).
000008 01  HVAR0.
000009      02  HVAR1 OCCURS 3 TIMES.
000010      49 HVAR11 PIC S9(4) BINARY.
000011      49 HVAR12 PIC N(40).
000012      02  HVAR2 OCCURS 3 TIMES.
000013      03  HVAR21 PIC S9(4) BINARY.
000014      03  HVAR22 PIC N(40).
000015      EXEC SQL END  DECLARE SECTION END-EXEC.
000016 PROCEDURE  DIVISION.
000017      EXEC  SQL
000018          SELECT CL1 INTO :HVAR1 FROM TBL END-EXEC.
000019      EXEC  SQL
000020          SELECT CL2 INTO :HVAR2 FROM TBL END-EXEC.

```

C2747.cob 12: JMN2747I-S OCCURS句を指定するホスト変数は, レベル番号49以外の基本項目か, または可変長文字列型のホスト変数でなければなりません.

2.4.450 JMN2748I-S

ホスト変数にOCCURS句を記述する場合, DEPENDING ON指定, KEY IS指定およびINDEXED BY指定は記述できません.

例題

```

[P2748. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2748.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 DATA          DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006      EXEC SQL BEGIN  DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01  SQLSTATE PIC X(5).
000008 01  SQLINFOA .

```



```

000009    02 SQLERRD PIC S9(9) BINARY
000010                OCCURS 6 TIMES INDEXED BY IX1.
000011    77 HVAR3 PIC S9(9) BINARY.
000012    EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014    EXEC SQL
000015        SELECT CL1 INTO :HVAR3 FROM TBL
000016    END-EXEC.
000017 END PROGRAM P2748.

```

P2748.cob 9: JMN2748I-S ホスト変数にOCCURS句を記述する場合、DEPENDING ON指定、KEY IS指定およびINDEXED BY指定は記述できません。

2.4.451 JMN2749I-S

ホスト変数は、強く型付けされた項目であってはなりません。

例題

```

[P2749.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2749.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA              DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006    EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007    01 SQLSTATE PIC X(5).
000008    01 HVAR1 TYPE STY.
000009    EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000010    01 STY TYPEDEF STRONG.
000011    02 HVAR20 PIC X.
000012    02 HVAR21 PIC S9(4) BINARY.
000013    02 HVAR22 PIC N(40).
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015    EXEC SQL
000016        SELECT CL1 INTO :HVAR1 FROM TBL
000017    END-EXEC.
000018 END PROGRAM      P2749.

```

P2749.cob 8: JMN2749I-S ホスト変数は、強く型付けされた項目であってはなりません。

2.4.452 JMN2750I-S

集団項目および従属するホスト変数名が大域名である場合、それらは参照できる範囲内で修飾せずに一意になる名前であればなりません。この集団項目を構成するすべての名前はホスト変数名として使用できません。

例題

```

[P2750.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2750.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA              DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006    EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007    01 SQLSTATE PIC X(5) GLOBAL.
000008    01 HVAR1      GLOBAL.
000009    02 HVAR10 PIC X.
000010    02 HVAR20 PIC S9(4) BINARY.
000011    02 HVAR30 PIC N(40).
000012    EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013

```

```

000014 PROGRAM-ID.    P2750SUB.
000015 DATA          DIVISION.
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000018 01 HVAR2.
000019 02 HVAR20 PIC S9(4) BINARY.
000020     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000021 PROCEDURE DIVISION.
000022     EXEC SQL
000023         SELECT CL1 INTO :HVAR20 FROM TBL END-EXEC.
000024     EXIT PROGRAM.
000025 END PROGRAM      P2750SUB.
000026 END PROGRAM      P2750.

```

P2750.cob 10: JMN2750I-S 集団項目および従属するホスト変数名が大域名である場合、それらは参照できる範囲内で修飾せずに一意になる名前であればなりません。この集団項目を構成するすべての名前はホスト変数名として使用できません。

2.4.453 JMN2753I-S

埋込み@1@文は'END-EXEC'で終らなければなりません。'EXEC @1@'に続く埋込み@1@文は、すべて無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : SQL.

例題

```

[P2753.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2753.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE PIC X(5).
000008 77 HVAR1 PIC S9(9) BINARY.
000009     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011     EXEC SQL
000012         SELECT CL1 INTO :HVAR1 FROM TBL
000013     STOP RUN.

```

P2753.cob 11: JMN2753I-S 埋込みSQL文は'END-EXEC'で終らなければなりません。'EXEC SQL'に続く埋込みSQL文は、すべて無効になります。

詳細な説明

埋込みSQL文は、SQL先頭子("EXEC SQL")とSQL終了子("END-EXEC")で囲んで記述しなければなりません。

2.4.454 JMN2756I-S

SQLCODEまたはSQLSTATEが未定義または多重定義です。

例題

```

[P2756.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2756.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE DIVISION.

```

```

000007 EXEC SQL WHENEVER SQLERROR GO TO :P-END END-EXEC.
000008 EXEC SQL CONNECT TO DEFAULT END-EXEC.
000009 P-END.
000010 EXEC SQL WHENEVER SQLERROR CONTINUE END-EXEC.
000011 EXEC SQL DISCONNECT DEFAULT END-EXEC.
000012 END PROGRAM P2756.

```

P2756.cob 8: JMN2756I-S SQLCODEまたはSQLSTATEが未定義または多重定義です。

詳細な説明

SQLSTATE/SQLCODEは、SQL文の実行によって例外事象が発生した場合、例外事象の内容を示すコードを格納するための領域です。応用プログラムでは、SQLSTATEかSQLCODEのどちらかを必ず宣言しなければなりません。

2.4.455 JMN2757I-S

SQL文に使用できない文字が含まれています。このSQL文は無効になります。

詳細な説明

埋込みSQL文中では、基本多言語面に含まれる文字しか使用できません。

2.4.456 JMN2759I-U

参照可能なホスト変数の個数が制限を超えました。翻訳を中止します。

詳細な説明

ホスト変数の個数の上限は10000個です。

1つのソース単位から参照できる(大域属性を持つものも含む)ホスト変数の宣言の合計数が上限を超えないよう、ホスト変数の個数を減らしてください。

2.4.457 JMN2761I-S

@1@STATEが埋込み@1@宣言節中に定義されていません。または一意に定義されていません。

埋め込みの説明

@1@ : SQL.

例題

```

[P2761.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2761.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007 EXEC SQL
000008 SELECT * FROM s1.t1
000009 END-EXEC.
000010 END PROGRAM P2761.

```

P2761.cob 8: JMN2761I-S SQLSTATEが埋込みSQL宣言節中に定義されていません。または一意に定義されていません。

詳細な説明

SQLSTATEは、レベル番号01または77の5桁の英数字項目として、埋込みSQL宣言節で定義します。

2.4.458 JMN2762I-S

特殊レジスタ@1@は、MOVE文の送出し側項目としてのみ指定できます。

埋め込みの説明

@1@ : WHEN-COMPILED.

例題

```
[P2762. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2762.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE         DIVISION.
000007     MOVE SPACE TO WHEN-COMPILED
000008 END PROGRAM       P2762.
```

P2762.cob 7: JMN2762I-S 特殊レジスタWHEN-COMPILEDは、MOVE文の送出し側項目としてのみ指定できます。

詳細な説明

WHEN-COMPILED関数は、プログラムを翻訳したときの日付、時刻およびグリニッジ標準時との時差を返却します。

2.4.459 JMN2764I-S

このシステムでは、'@1@'は使用できません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった文、句、指定を現す予約語。

例題

```
[P2764. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2764.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE             SECTION.
000009 FD SQFILE1.
000010 01 SQF1REC.
000011 02             PIC X(80).
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 PROCEDURE         DIVISION.
000014     WRITE SQF1REC POSITIONING 1
000015 END PROGRAM       P2764.
```

P2764.cob 14: JMN2764I-S このシステムでは、'POSITIONING'は使用できません。

2.4.460 JMN2766I-W

このシステムでは、'@1@'は注釈として扱います。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった文、句、指定を現す予約語。

例題

```
[P2766. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000002 PROGRAM-ID.      P2766.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008     APPLY RECORD-OVERFLOW ON SQFILE1.
000009 DATA              DIVISION.
000010 FILE              SECTION.
000011 FD SQFILE1
000012     RECORD VARYING IN SIZE DEPENDING ON LRECL.
000013 01 SQF1REC.
000014 02                PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 LRECL          PIC 9(2).
000017 PROCEDURE          DIVISION.
000018 END PROGRAM        P2766.

```

P2766.cob 8: JMN2766I-W このシステムでは, 'APPLY RECORD-OVERFLOW'は注釈として扱います.

2.4.461 JMN2767I-S

@1@の引数の個数は, 2個以上でなければなりません.

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった関数名.

例題

```

[P2767.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2767.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 77 A PIC 9(2).
000007 77 B PIC 9(2).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009     MOVE FUNCTION PRESENT-VALUE (A) TO B.
000010 END PROGRAM P2767.

```

P2767.cob 9: JMN2767I-S FUNCTION PRESENT-VALUEの引数の個数は, 2個以上でなければなりません.

詳細な説明

次の関数は, 引数を2個以上指定します.

- ANNUITY関数
- ENUM-AND関数
- ENUM-OR関数
- MOD関数
- PRESENT-VALUE関数
- REM関数

(ENUM-AND関数およびENUM-OR関数は, .NET固有の機能です.)

2.4.462 JMN2768I-S

受取り側項目に'@1@'は指定できません.

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった関数名.

例題

```
[P2768. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2768.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 77 A PIC X(21).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008     MOVE A TO FUNCTION CURRENT-DATE.
000009 END PROGRAM P2768.
```

P2768.cob 8: JMN2768I-S 受取り側項目に'FUNCTION CURRENT-DATE'は指定できません.

2.4.463 JMN2769I-S

添字'ALL'は'@1@'に指定できません. 添字に1が指定されたものとみなします.

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった関数名.

例題

```
[P2769. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2769.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007     02 TBL OCCURS 10 PIC 9(2).
000008 77 A PIC 9(2).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010     COMPUTE A = FUNCTION ACOS(TBL(ALL))
000011 END PROGRAM P2769.
```

P2769.cob 10: JMN2769I-S 添字'ALL'は'FUNCTION ACOS'に指定できません. 添字に1が指定されたものとみなします.

詳細な説明

添字付きのデータ名を1つずつ書くかわりに、添字にALLを指定したデータ名を書くことができます. 添字にALLを書くと、その次元のすべての表要素を、出現順に従って左から右へ指定したかのように扱われます.

添字ALLは、次の関数の引数に指定できます.

- MAX関数
- MEAN関数
- MEDIAN関数
- MIDRANGE関数
- MIN関数
- ORD-MAN関数
- ORD-MIN関数
- PRESENT-VALUE関数
- RANGE関数

- STANDARD-DEVIATION関数
- SUM関数
- VARIANCE関数
- ENUM-AND関数
- ENUM-OR関数

(ENUM-AND関数およびENUM-OR関数は、.NET固有の機能です。)

2.4.464 JMN2770I-S

@1@文の@2@指定に誤りがあります。

埋め込みの説明

@1@ : ACCEPTまたはDISPLAY.

@2@ : エラーの発生した指定を示す予約語.

例題

```
[P2770.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2770.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006   01 AA PIC X(2).
000007 SCREEN            SECTION.
000008   01 A1 PIC X(8) FROM AA.
000009 PROCEDURE         DIVISION.
000010   ACCEPT A1
000011   AT LINE .
000012 END PROGRAM      P2770.
```

P2770.cob 11: JMN2770I-S ACCEPT文のLINE指定に誤りがあります。

2.4.465 JMN2772I-I

このシステムでは、'@1@'は注釈扱いです。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった文, 句, 指定を現す予約語.

例題

```
[P2772.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2772.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006   SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA             DIVISION.
000009 FILE             SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011   RECORDING MODE IS V
000012   BLOCK CONTAINS 80 CHARACTERS.
000013 01 SQF1REC.
000014   02          PIC X(80).
```

```
000015 WORKING-STORAGE SECTION.  
000016 01 WFS1          PIC X(2).  
000017 PROCEDURE        DIVISION.  
000018 END PROGRAM      P2772.
```

P2772.cob 10: JMN2772I-I このシステムでは, 'BLOCK CONTAINS'は注釈扱いです.

2.4.466 JMN2773I-E

このシステムでは, 呼び名 '@1@' は注釈扱いとします.

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった呼び名.

例題

```
[P2773.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      P2773.  
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.  
000004 CONFIGURATION    SECTION.  
000005 SPECIAL-NAMES.  
000006     BUSHU IS RULE1.  
000007 INPUT-OUTPUT     SECTION.  
000008 FILE-CONTROL.  
000009     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.  
000010     SELECT SQFILE2 ASSIGN TO SYS002.  
000011     SELECT SRTFILE ASSIGN TO SYS003.  
000012 I-O-CONTROL.  
000013 DATA            DIVISION.  
000014 FILE             SECTION.  
000015 FD SQFILE1.  
000016 01 SQF1REC.  
000017 02              PIC X(80).  
000018 FD SQFILE2.  
000019 01 SQF2REC.  
000020 02              PIC X(80).  
000021 SD SRTFILE.  
000022 01 SRTREC.  
000023 02 SRTKEY       PIC X(8).  
000024 02              PIC X(72).  
000025 WORKING-STORAGE SECTION.  
000026 01 WFS1          PIC X(2).  
000027 PROCEDURE        DIVISION.  
000028     SORT SRTFILE  
000029         ASCENDING RULE1 KEY SRTKEY  
000030         USING SQFILE1  
000031         GIVING SQFILE2  
000032 END PROGRAM      P2773.
```

P2773.cob 29: JMN2773I-E このシステムでは, 呼び名 'RULE1' は注釈扱いとします.

詳細な説明

SORT文およびMERGE文のASCENDING KEY指定に指定した呼び名は, 注釈扱いになります.

2.4.467 JMN2774I-W

'@1@'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です.

埋め込みの説明

@1@ : CONNECT, DISCONNECT, ERASE, FIND, FINISH, GET, MODIFY, READY, STORE, IF DB-EXCEPTION, USE FOR DB-EXCEPTION, USE FOR DEAD-LOCKまたはTRANSACTION.

例題

```
[P2774. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2774.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE        DIVISION.
000007     TRANSACTION START.
000008 END PROGRAM      P2774.
```

P2774.cob 7: JMN2774I-W 'TRANSACTION'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

詳細な説明

OSIV系システム固有の機能や言語要素に対する指摘です。

2.4.468 JMN2775I-S

UPON句に指定された呼び名が機能名ARGUMENT-NUMBER, ENVIRONMENT-NAMEまたはENVIRONMENT-VALUEに対応付けられているとき, DISPLAY文には一意名または定数は一つしか指定できません。

例題

```
[P2775. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2775.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     ENVIRONMENT-NAME IS EVN.
000007 DATA             DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 WENV1         PIC X(30).
000010 01 WENV2         PIC X(30).
000011 PROCEDURE        DIVISION.
000012     MOVE "PATH" TO WENV1
000013     MOVE "LIB"  TO WENV2
000014     DISPLAY WENV1 WENV2
000015             UPON EVN
000016 END PROGRAM      P2775.
```

P2775.cob 14: JMN2775I-S UPON句に指定された呼び名が機能名ARGUMENT-NUMBER, ENVIRONMENT-NAMEまたはENVIRONMENT-VALUEに対応付けられているとき, DISPLAY文には一意名または定数は一つしか指定できません。

2.4.469 JMN2794I-E

'@1@'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

埋め込みの説明

@1@ : CONNECT, DISCONNECT, ERASE, FIND, FINISH, GET, MODIFY, READY, STORE, IF DB-EXCEPTIONまたはSERVICE LABEL.

例題

```
[P2794. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000002 PROGRAM-ID.      P2794.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE         DIVISION.
000007     SERVICE LABEL
000008 END PROGRAM       P2794.

```

P2794.cob 7: JMN2794I-E 'SERVICE LABEL'はMSPまたはXSPシステムの固有機能です。

詳細な説明

OSIV系システム固有の機能や言語要素に対する指摘です。

2.4.470 JMN2798I-S

ホスト変数が2進項目の場合、@1@けたの項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 指定可能な桁数

例題

```

[P2798.cob]
000001 @OPTIONS BINARY(BYTE)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P2798.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA             DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000008 01 SQLSTATE      PIC X(5).
000009 01 HVR1          PIC S9(3) BINARY.
000010     EXEC SQL END   DECLARE SECTION END-EXEC.
000011 PROCEDURE         DIVISION.
000012     EXEC SQL
000013         SELECT COL2 INTO :HVR1
000014             FROM T1   WHERE COL1 = 0
000015     END-EXEC
000016 END PROGRAM       P2798.

```

- [\[Solaris\]](#)[\[Solaris64\]](#)[\[Linux\]](#)[\[LinuxIPF\]](#)

P2798.cob 9: JMN2798I-S ホスト変数が2進項目の場合、4または9けたの項目でなければなりません。

- [\[Linux64\]](#)

P2798.cob 9: JMN2798I-S ホスト変数が2進項目の場合、4、9または18けたの項目でなければなりません。

2.4.471 JMN2800I-S

[\[Solaris\]](#)[\[Solaris64\]](#)[\[Linux\]](#)[\[LinuxIPF\]](#)

@1@句のデータ名は、作業場所節または連絡節に定義されていなければなりません。

[\[Linux64\]](#)

@1@句のデータ名は、作業場所節、局所記憶節または連絡節に定義されていなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : PROCESSING MODE, FORMAT, GROUP, SYMBOLIC DESTINATION, DESTINATION-1, DESTINATION-2, DESTINATION-3, MESSAGE MODE, END KEY, SESSION CONTROL, SELECTED FUNCTIONまたはMESSAGE SEQUENCE.

例題

```
[P2800.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2800.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     FORMAT          IS WFMT.
000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA              DIVISION.
000010 FILE                SECTION.
000011 FD SQFILE1.
000012 01 SQF1REC.
000013 02                  PIC X(80).
000014 CONSTANT           SECTION.
000015 01 WFMT             PIC X(8) VALUE SPACE.
000016 PROCEDURE           DIVISION.
000017 END PROGRAM         P2800.
```

- [\[Solaris\]](#)[\[Solaris64\]](#)[\[Linux\]](#)[\[LinuxIPF\]](#)
P2800.cob 7: JMN2800I-S FORMAT句のデータ名は、作業場所節または連絡節に定義されていなければなりません。
- [\[Linux64\]](#)
P2800.cob 7: JMN2800I-S FORMAT句のデータ名は、作業場所節、局所記憶節または連絡節に定義されていなければなりません。

2.4.472 JMN2801I-S

@1@句のデータ名は、英数字または集団項目でなければなりません。ただし、集団項目の場合、オブジェクト参照項目を含むものであってはなりません。

埋め込みの説明

@1@ : PROCESSING MODE, FORMAT, GROUP, SYMBOLIC DESTINATION, DESTINATION-1, DESTINATION-2, DESTINATION-3, MESSAGE MODE, END KEY, SESSION CONTROLまたはSELECTED FUNCTION.

例題

```
[P2801.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2801.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION     SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS FJBASE.
000007 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000008 FILE-CONTROL.
000009     SELECT FILE1 ASSIGN TO GS-SYS001
000010     SYMBOLIC DESTINATION IS "DSP"
000011     FORMAT              IS WFMT
000012     GROUP               IS WSTYGRP
000013     DESTINATION-1       IS WDST1
000014     FILE STATUS        IS WFS1 WFS2.
000015 I-O-CONTROL.
000016 DATA              DIVISION.
000017 FILE                SECTION.
000018 FD FILE1.
000019 01 F1REC.
000020 02                  PIC X(80).
000021 WORKING-STORAGE SECTION.
000022 01 WSTYGRP.
000023 02 WOBJ              OBJECT REFERENCE FJBASE.
```

```

000024 01 WFS1      PIC X(2).
000025 01 WFS2      PIC X(4).
000026 01 WDST      PIC X(3).
000027 01 WFMT      PIC X(8).
000028 01 WGRP      PIC X(8).
000029 01 WDST1     PIC X(8).
000030 PROCEDURE    DIVISION.
000031 END PROGRAM   P2801.

```

P2801.cob 12: JMN2801I-S GROUP句のデータ名は、英数字または集団項目でなければなりません。ただし、集団項目の場合、オブジェクト参照項目を含むものであってはなりません。

2.4.473 JMN2802I-S

@1@句のデータ名の項目長は、@2@バイトでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : PROCESSING MODE, FORMAT, GROUP, SYMBOLIC DESTINATION, DESTINATION-1, DESTINATION-2, DESTINATION-3, MESSAGE MODE, END KEY, SESSION CONTROL, PROCESSING CONTROL, SELECTED FUNCTION または MESSAGE SEQUENCE.

@2@ : 句に指定するデータ項目に要求されるバイト数。

例題

```

[P2802.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2802.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007         FORMAT      IS WFMT.
000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA              DIVISION.
000010 FILE               SECTION.
000011 FD SQFILE1.
000012 01 SQF1REC.
000013 02                PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 WFMT            PIC X(2).
000016 PROCEDURE          DIVISION.
000017 END PROGRAM          P2802.

```

P2802.cob 7: JMN2802I-S FORMAT句のデータ名の項目長は、8バイトでなければなりません。

2.4.474 JMN2803I-S

MESSAGE CODE句のデータ名は、英数字項目または符号なし外部10進整数項目でなければなりません。

例題

```

[P2803.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2803.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT PRFILE1 ASSIGN TO GS-SYS001
000007         SYMBOLIC DESTINATION IS WDST
000008         MESSAGE CODE       IS WMSC.
000009 I-O-CONTROL.

```

```

000010 DATA          DIVISION.
000011 FILE            SECTION.
000012 FD PRFILE1.
000013 01 PRF1REC.
000014 02              PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 WDST         PIC X(3).
000017 01 WMSC         PIC N(2).
000018 PROCEDURE       DIVISION.
000019 END PROGRAM     P2803.

```

P2803.cob 8: JMN2803I-S MESSAGE CODE句のデータ名は、英数字項目または符号なし外部10進整数項目でなければなりません。

2.4.475 JMN2809I-S

PRINTING POSITION句の名標は、一意な位置決め単位名でなければなりません。

例題

```

[P2809.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2809.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     POSITIONING UNIT PUN-A  IS 12 CPI
000007     POSITIONING UNIT PUN-B  IS 10 CPI
000008     POSITIONING UNIT PUN-B  ARE 15 CPI.
000009 DATA DIVISION.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01 REC-A PIC X(10) PRINTING POSITION IS 10 BY PUN-A.
000012 01 REC-B PIC X(10) PRINTING POSITION IS 10 BY PUN-B.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014 END PROGRAM      P2809.

```

P2809.cob 12: JMN2809I-S PRINTING POSITION句の名標は、一意な位置決め単位名でなければなりません。

詳細な説明

位置決め単位名は、印字位置を示す値の単位に付ける名前です。位置決め単位名は、環境部の特殊名段落のPOSITIONING UNIT句で、位置決め単位を示す定数に対応付けて定義します。

2.4.476 JMN2815I-S

@1@句のデータ名の総項目長は、@2@バイトを超えてはなりません。

埋め込みの説明

@1@ : RECORD KEYまたはALTERNATE RECORD KEY.

@2@ : 255または253.

例題

```

[P2815.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2815.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IXFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION      IS INDEXED
000008     RECORD KEY        IS WRKY1
000009                     WRKY2

```

```

000010                                WRKY3.
000011 I-O-CONTROL.
000012 DATA                DIVISION.
000013 FILE                  SECTION.
000014 FD IXFILE1.
000015 01 IXF1REC.
000016 02 WRKY1             PIC X(86).
000017 02 WRKY2             PIC X(86).
000018 02 WRKY3             PIC X(86).
000019 02                   PIC X(80).
000020 WORKING-STORAGE SECTION.
000021 PROCEDURE             DIVISION.
000022 END PROGRAM          P2815.

```

P2815.cob 10: JMN2815I-S RECORD KEY句のデータ名の総項目長は、255バイトを超えてはなりません。

詳細な説明

COBOL処理系の定量制限です。

2.4.477 JMN2818I-W

RDB索引ファイルの@1@句のデータ名'@2@'は、英数字、日本語、内部10進、2進または集団項目でなければなりません。英数字項目が指定されたものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : RECORD KEYまたはALTERNATE RECORD KEY.

@2@ : エラーの原因となったデータ名.

例題

```

[P2818.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P2818.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT IXFILE1 ASSIGN TO MODELDB-VI-STOCK
000008     ORGANIZATION    IS INDEXED
000009     RECORD KEY      IS QNO GOODS.
000010 DATA            DIVISION.
000011 FILE              SECTION.
000012 FD IXFILE1.
000013 01 IXF1REC.
000014 02 QNO           PIC A(2).
000015 02 GOODS         PIC N(80).
000016 02 PRICE        PIC S9(9) BINARY.
000017 PROCEDURE        DIVISION.
000018 END PROGRAM      P2818.

```

P2818.cob 9: JMN2818I-W RDB索引ファイルのRECORD KEY句のデータ名'QNO'は、英数字、日本語、内部10進、2進または集団項目でなければなりません。英数字項目が指定されたものとみなします。

詳細な説明

RDB索引ファイルは、OSIV系システムの固有機能です。

2.4.478 JMN2819I-S

表示ファイル(編成GS)のAPPLY MULTICONVERSATION-MODE句を指定した場合、表示ファイル(編成GS)のAPPLY SAVED-AREA句を指定しなければなりません。

例題

```
[P2819. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2819.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT AFIL1 ASSIGN GS-DD1.
000007 I-O-CONTROL.
000008     APPLY MULTICONVERSATION-MODE.
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011     FD AFIL1.
000012         01 AREC.
000013         02 RKY1 PIC X(80).
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015 END PROGRAM P2819.
```

P2819.cob 8: JMN2819I-S 表示ファイル(編成GS)のAPPLY MULTICONVERSATION-MODE句を指定した場合、表示ファイル(編成GS)のAPPLY SAVED-AREA句を指定しなければなりません。

2.4.479 JMN2821I-W

VALUE句は、VALUE句を持つ集団項目に従属する項目に指定できません。VALUE句は、無効になります。

例題

```
[P2821. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2821.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WGRP VALUE SPACE.
000006 02 WELM1 PIC X(2).
000007 02 WELM2 PIC X(2) VALUE "AB".
000008 02 WELM3 PIC X(2).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 END PROGRAM P2821.
```

P2821.cob 7: JMN2821I-W VALUE句は、VALUE句を持つ集団項目に従属する項目に指定できません。VALUE句は、無効になります。

詳細な説明

集団項目に対して設定する初期値がVALUE句で指定されているとき、その集団項目に従属する項目に対して、VALUE句によってさらに初期値を設定することはできません。

2.4.480 JMN2822I-W

VALUE句は、アドレス可変項目に指定できません。VALUE句は、無効になります。

例題

```
[P2822. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2822.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WGRP.
```

```

000006 02 WLEN      PIC 9(2).
000007 02 WOGC      PIC X(2) OCCURS 20 DEPENDING ON WLEN.
000008 02 WVAD      PIC X(2) VALUE "AB".
000009 PROCEDURE    DIVISION.
000010 END PROGRAM  P2822.

```

P2822.cob 8: JMN2822I-W VALUE句は、アドレス可変項目に指定できません。VALUE句は、無効になります。

詳細な説明

レコード中の可変位置(レコードの中で、OCCURS句にDEPENDING指定を指定したデータ項目の後に割り付けられる領域)にあるデータ項目にVALUE句を指定することはできません。

2.4.481 JMN2823I-S

表示ファイル(編成GS)が定義されていない場合、@1@句にファイル名を指定しなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : APPLY MULTICONVERSATION-MODEまたはAPPLY SAVED-AREA.

例題

```

[P2823. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2823.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION   IS SEQUENTIAL.
000008 I-O-CONTROL.
000009     APPLY SAVED-AREA TO WSVAR.
000010 DATA             DIVISION.
000011 FILE               SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQFIREC.
000014 02                PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 WSVAR          PIC X(80).
000017 PROCEDURE         DIVISION.
000018 END PROGRAM        P2823.

```

P2823.cob 9: JMN2823I-S 表示ファイル(編成GS)が定義されていない場合、APPLY SAVED-AREA句にファイル名を指定しなければなりません。

2.4.482 JMN2826I-S

@1@は英数字項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : SQLMSG.

例題

```

[P2826. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2826.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN  DECLARE SECTION END-EXEC.

```



```

000007 01 HVAR1      PIC S9(9) BINARY.
000008 01 SQLSTATE  PIC X(5).
000009 01 SQLMSG.
000010 02          PIC S9(4).
000011 02          PIC X(50).
000012 EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014 EXEC SQL WHENEVER SQLERROR CONTINUE END-EXEC
000015 EXEC SQL
000016 SELECT CL1 FROM T1
000017 INTO :HVAR1
000018 END-EXEC
000019 END PROGRAM P2826.

```

P2826.cob 9: JMN2826I-S SQLMSGは英数字項目でなければなりません。

詳細な説明

SQL文の実行によって例外事象が発生した場合、例外事象の内容を示すメッセージが応用プログラムに通知されます。SQLMSGは、このメッセージを格納するための領域です。

SQLMSGは、レベル番号01または77の英数字項目として、埋込みSQL宣言節で定義しなければなりません。

2.4.483 JMN2827I-S

@1@句は、表示ファイル(編成GS)に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : BLOCK CONTAINS, LABEL RECORD, FORMATTED RECORDまたはCONTROL RECORD.

例題

```

[P2827.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2827.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT PRFILE1 ASSIGN TO GS-SYS001
000007 SYMBOLIC DESTINATION IS "DSP"
000008 FORMAT IS WFM.
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011 FD PRFILE1
000012 CONTROL RECORD IS CTL.
000013 01 PRF1REC.
000014 02 PIC X(80).
000015 01 CTLREC PIC X(80).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 01 WFM PIC X(8).
000018 PROCEDURE DIVISION.
000019 END PROGRAM P2827.

```

P2827.cob 12: JMN2827I-S CONTROL RECORD句は、表示ファイル(編成GS)に指定できません。

2.4.484 JMN2829I-S

KEY IS句のデータ名 '@1@' は、2進項目、内部10進項目、外部10進項目、数字編集項目、英字項目、英数字項目、英数字編集項目、日本語項目、または日本語編集項目または浮動小数点項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2829.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2829.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007     02 WOGC        OCCURS 26 ASCENDING KEY IS WKEY.
000008         03 WKEY     PIC 1(8).
000009         03 WVAL     PIC X(1).
000010 PROCEDURE         DIVISION.
000011 END PROGRAM       P2829.
```

P2829.cob 7: JMN2829I-S KEY IS句のデータ名'WKEY'は、2進項目、内部10進項目、外部10進項目、数字編集項目、英字項目、英数字項目、英数字編集項目、日本語項目、または日本語編集項目または浮動小数点項目でなければなりません。

2.4.485 JMN2831I-W

RECORDING MODE句は、順ファイル(編成VSまたはAS)、相対ファイル、索引ファイル、表示ファイル、FORMAT句指定の印刷ファイルに指定できません。RECORDING MODE句は、無効になります。

例題

```
[P2831.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2831.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO VS-SYS001
000007         ORGANIZATION IS SEQUENTIAL
000008         FILE STATUS   IS WFS1.
000009 DATA             DIVISION.
000010 FILE             SECTION.
000011 FD SQFILE1
000012     RECORDING MODE IS V.
000013 01 SQFIREC.
000014     02          PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 WFS1         PIC X(2).
000017 PROCEDURE         DIVISION.
000018 END PROGRAM       P2831.
```

P2831.cob 12: JMN2831I-W RECORDING MODE句は、順ファイル(編成VSまたはAS)、相対ファイル、索引ファイル、表示ファイル、FORMAT句指定の印刷ファイルに指定できません。RECORDING MODE句は、無効になります。

詳細な説明

RECORDING MODE句は、OSIV系システムの固有機能です。

2.4.486 JMN2832I-S

[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

表示ファイル、図表ファイルまたはFORMAT句指定の印刷ファイルのレコード長は、32767バイト以下でなければなりません。レコード長を32767バイトとみなします。

[Linux64]

表示ファイル、図表ファイルまたはFORMAT句指定の印刷ファイルのレコード長は、@1@バイト以下でなければなりません。レコード長を@1@バイトとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 32767 , 65535

例題

```
[P2832. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2832.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO GS-SYS001
000007     SYMBOLIC DESTINATION IS "DSP".
000008 DATA              DIVISION.
000009 FILE                SECTION.
000010 FD SQFILE1.
000011 01 SQF1REC.
000012 02                PIC X(32768).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 WFS1            PIC X(2).
000015 PROCEDURE          DIVISION.
000016 END PROGRAM        P2832.
```

P2832.cob 10: JMN2832I-S 表示ファイル, 図表ファイルまたはFORMAT句指定の印刷ファイルのレコード長は, 32767バイト以下でなければなりません. レコード長を32767バイトとみなします.

詳細な説明

COBOL処理系の定量制限です.

2.4.487 JMN2834I-S

@1@句のデータ名は, Pを含まない符号なし外部10進整数項目でなければなりません.

埋め込みの説明

@1@ : MESSAGE CLASS, MESSAGE SEQUENCEまたはPROCESSING TIME.

例題

```
[P2834. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2834.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT PRFILE1 ASSIGN TO GS-SYS001
000007     SYMBOLIC DESTINATION IS "DSP"
000008     FORMAT              IS WFMT
000009     MESSAGE CLASS       IS WMCL.
000010 DATA              DIVISION.
000011 FILE                SECTION.
000012 FD PRFILE1.
000013 01 PRF1REC.
000014 02                PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 WFMT            PIC X(8).
000017 01 WMCL          PIC X(8).
000018 PROCEDURE          DIVISION.
000019 END PROGRAM        P2834.
```

P2834.cob 9: JMN2834I-S MESSAGE CLASS句のデータ名は, Pを含まない符号なし外部10進整数項目でなければなりません.

詳細な説明

PICTURE文字の"P"は、想定した位取りを示します。

2.4.488 JMN2835I-S

KEY IS指定のデータ名 '@1@' は、可変長項目であってはなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```
[P2835.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2835.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007     02 WKEYLEN PIC S9(4) BINARY.
000008     02 WOCC     OCCURS 26 ASCENDING KEY IS WKEY.
000009         03 WKEY.
000010         04      PIC X(1) OCCURS 5 DEPENDING ON WKEYLEN.
000011         03 WVAL  PIC X(1).
000012 PROCEDURE        DIVISION.
000013 END PROGRAM      P2835.
```

P2835.cob 8: JMN2835I-S KEY IS指定のデータ名 'WKEY' は、可変長項目であってはなりません。

詳細な説明

KEY IS指定に指定したデータ項目は、DEPENDING指定のあるOCCURS句を指定した項目、あるいはそれを従属する項目であってはなりません。

2.4.489 JMN2836I-S

CHARACTER TYPE句の呼び名は、未定義、多重定義または許されない機能名に対応づけられています。

例題

```
[P2836.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2836.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP CHARACTER TYPE PM-1.
000007     02 XITM      PIC X(10).
000008     02 NITM      PIC N(10).
000009 PROCEDURE        DIVISION.
000010 END PROGRAM      P2836.
```

P2836.cob 6: JMN2836I-S CHARACTER TYPE句の呼び名は、未定義、多重定義または許されない機能名に対応づけられています。

詳細な説明

CHARACTER TYPE句に指定する呼び名は、環境部の特殊名段落で機能名と対応付けなくてはなりません。

MODE-1、MODE-2またはMODE-3を指定したCHARACTER TYPE句の呼び名は、以下の機能名のいずれかに対応づけれます。

- HSC, F0202, H0202, F0102, F0201

呼び名だけを指定したCHARACTER TYPE句の場合、その呼び名は、以下の文字列で始まる機能名に対応付けなければなりません。

- GTA, GTB, GTC, GTD, GTX, GYA, GYB, GYC, GYD, GYX
- TA, TB, TC, TD, TX, YA, YB, YC, YD, YX

2.4.490 JMN2837I-S

CHARACTER TYPE句の呼び名は、報告書作成機能でサポートされてない機能名に対応づけられています。

例題

```
[P2837.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2837.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     TX-12P IS PM1.
000007 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000008 FILE-CONTROL.
000009     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000010     SELECT REPF1   ASSIGN TO SYS002.
000011 DATA             DIVISION.
000012 FILE              SECTION.
000013 FD SQFILE1.
000014 01 SQF1REC       PIC N(40).
000015 FD REPF1
000016     REPORT IS REP1.
000017 WORKING-STORAGE SECTION.
000018 01 WFS1           PIC X(2).
000019 REPORT            SECTION.
000020 RD REP1 PAGE 66.
000021 01 DE-REC TYPE DE CHARACTER TYPE PM1.
000022 02 LINE PLUS 1.
000023 03 COLUMN 1 PIC N(40) SOURCE SQF1REC.
000024 PROCEDURE        DIVISION.
000025 END PROGRAM       P2837.
```

P2837.cob 21: JMN2837I-S CHARACTER TYPE句の呼び名は、報告書作成機能でサポートされてない機能名に対応づけられています。

詳細な説明

CHARACTER TYPE句に指定する呼び名は、環境部の特殊名段落で機能名と対応付けなくてはなりません。

MODE-1, MODE-2またはMODE-3を指定したCHARACTER TYPE句の呼び名は、以下の機能名のいずれかに対応づけれます。

- HSC, F0202, H0202, F0102, F0201

呼び名だけを指定したCHARACTER TYPE句の場合、その呼び名は、以下の文字列で始まる機能名に対応付けなければなりません。

- GTA, GTB, GTC, GTD, GTX, GYA, GYB, GYC, GYD, GYX
- TA, TB, TC, TD, TX, YA, YB, YC, YD, YX

2.4.491 JMN2838I-S

FORMATTED RECORD句を指定するファイルは、表示ファイル、図表ファイルまたはFORMAT句指定の印刷ファイルでなければなりません。

例題

```
[P2838.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2838.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
```

```

000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     FORMATTED RECORD FREQ.
000012 01 SQFIREC.
000013 02 PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 PROCEDURE DIVISION.
000016 END PROGRAM P2838.

```

P2838.cob 11: JMN2838I-S FORMATTED RECORD句を指定するファイルは、表示ファイル、図表ファイルまたはFORMAT句指定の印刷ファイルでなければなりません。

詳細な説明

FORMATTED RECORD句は、OSIV系システムの固有機能です。

2.4.492 JMN2839I-S

CONTROL RECORD句を指定するファイルは、表示ファイルまたはFORMAT句指定の印刷ファイルでなければなりません。

例題

```

[P2839.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2839.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT PRFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD PRFILE1
000010     CONTROL RECORD IS CTLREC.
000011 01 PRFIREC.
000012 02 PIC X(80).
000013 01 CTLREC PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 WFMT PIC X(8).
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017 END PROGRAM P2839.

```

P2839.cob 10: JMN2839I-S CONTROL RECORD句を指定するファイルは、表示ファイルまたはFORMAT句指定の印刷ファイルでなければなりません。

2.4.493 JMN2840I-S

インデックスつき編成ファイルのRECORD KEY句には、データ名を二つ以上指定できません。最初のデータ名以外は、無効になります。

例題

```

[P2840.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2840.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.

```

```

000006      SELECT IXFILE1 ASSIGN TO I-SYS001
000007      RECORD KEY IS RKEY1 RKEY2
000008      NOMINAL KEY IS AKEY
000009
000010 I-O-CONTROL.
000011 DATA          DIVISION.
000012 FILE           SECTION.
000013 FD IXFILE1.
000014 01 IXFIREC.
000015 02 RKEY1       PIC X(8).
000016 02 RKEY2       PIC X(8).
000017 02             PIC X(80).
000018 WORKING-STORAGE SECTION.
000019 01 AKEY        PIC X(8).
000020 PROCEDURE      DIVISION.
000021 END PROGRAM    P2840.

```

P2840.cob 7: JMN2840I-S インデックスつき編成ファイルのRECORD KEY句には、データ名を二つ以上指定できません。最初のデータ名以外は、無効になります。

詳細な説明

インデックスつき編成ファイル(ASSIGN句のファイル識別名がI-名前)は、OSIV系システムの固有機能です。

2.4.494 JMN2847I-S

名標'@1@'は、一意な記号定数でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```

[P2847. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2847.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     SYMBOLIC CONSTANT
000007     BLKLEN IS 80.
000008 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000009 FILE-CONTROL.
000010     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000011 DATA             DIVISION.
000012 FILE              SECTION.
000013 FD SQFILE1
000014     BLOCK CONTAINS BLKLEN RECORDS.
000015 01 SQFIREC        PIC X(80).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 01 BLKLEN         PIC S9(2) BINARY.
000018 PROCEDURE        DIVISION.
000019 END PROGRAM        P2847.

```

P2847.cob 14: JMN2847I-S 名標'BLKLEN'は、一意な記号定数でなければなりません。

2.4.495 JMN2851I-S

ポインタデータ項目は、基底場所節、作業場所節、局所記憶節、定数節または連絡節にのみ定義できます。

例題

```
[P2851.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2851.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 FD SQFILE1.
000010 01 SQFIREC.
000011 02 WPX           POINTER.
000012 02              PIC X(72).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 PROCEDURE        DIVISION.
000015 END PROGRAM      P2851.
```

P2851.cob 11: JMN2851I-S ポインタデータ項目は、基底場所節、作業場所節、局所記憶節、定数節または連絡節にのみ定義できます。

2.4.496 JMN2853I-S

PRINTING POSITION句は、ポインタデータ項目に指定できません。

例題

```
[C2853.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C2853.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 US001 PRINTING POSITION IS 5
000007     USAGE POINTER.
000008 PROCEDURE          DIVISION.
000009 STOP RUN.
```

C2853.cob 6: JMN2853I-S PRINTING POSITION句は、ポインタデータ項目に指定できません。

2.4.497 JMN2862I-S

英数字、英数字編集または集団項目のVALUE句に、数字定数は指定できません。同一の長さの文字定数が指定されたものとみなします。

例題

```
[C2862.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C2862.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 ALP-CV          PIC X(2) VALUE 12.
000007 PROCEDURE        DIVISION.
000008 END PROGRAM      C2862.
```

C2862.cob 6: JMN2862I-S 英数字、英数字編集または集団項目のVALUE句に、数字定数は指定できません。同一の長さの文字定数が指定されたものとみなします。

詳細な説明

英数字、英数字編集または集団項目にVALUE句を指定する場合、VALUE句の定数は文字定数でなければなりません。

2.4.498 JMN2863I-S

条件変数が英数字, 英数字編集または集団項目である条件名のVALUE句に, 数字定数は指定できません. 同一の長さの文字定数が指定されたものとみなします.

例題

```
[C2863.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C2863.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 ALP-CV        PIC X(2).
000007 88 C1            VALUE "12".
000008 88 C2            VALUE 24.
000009 PROCEDURE        DIVISION.
000010 END PROGRAM      C2863.
```

C2863.cob 8: JMN2863I-S 条件変数が英数字, 英数字編集または集団項目である条件名のVALUE句に, 数字定数は指定できません. 同一の長さの文字定数が指定されたものとみなします.

詳細な説明

条件変数が英数字, 英数字編集または集団項目であるときは, 条件名記述項(レベル番号が88)のVALUE句の値として文字定数を記述しなければなりません.

2.4.499 JMN2864I-S

VARYING指定のRECORD句は, 相対編成ファイルに指定できません.

例題

```
[P2864.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2864.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO R-SYS001
000007         RELATIVE KEY IS RKEY
000008         ACCESS MODE IS RANDOM.
000009 DATA             DIVISION.
000010 FILE              SECTION.
000011 FD SQFILE1
000012     RECORD VARYING IN SIZE
000013         DEPENDING ON LRECL.
000014 01 SQF1REC.
000015 02          PIC X(80).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 01 RKEY        PIC 9(8) BINARY.
000018 01 LRECL      PIC 9(8) BINARY.
000019 PROCEDURE        DIVISION.
000020 END PROGRAM      P2864.
```

P2864.cob 12: JMN2864I-S VARYING指定のRECORD句は, 相対編成ファイルに指定できません.

詳細な説明

相対編成ファイル(ASSIGN句のファイル識別名がR-名前)は, OSIV系システムの固有機能です.

2.4.500 JMN2866I-S

表意定数NULLは、ポインタデータ項目以外のVALUE句に指定できません。

例題

```
[P2866.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2866.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WNUM          PIC S9(9) BINARY VALUE NULL.
000007 PROCEDURE        DIVISION.
000008 END PROGRAM      P2866.
```

P2866.cob 6: JMN2866I-S 表意定数NULLは、ポインタデータ項目以外のVALUE句に指定できません。

2.4.501 JMN2867I-S

ポインタデータ項目のVALUE句には、表意定数ZEROまたはNULLを指定しなければなりません。

例題

```
[P2867.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2867.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WPX           POINTER VALUE 1.
000007 PROCEDURE        DIVISION.
000008 END PROGRAM      P2867.
```

P2867.cob 6: JMN2867I-S ポインタデータ項目のVALUE句には、表意定数ZEROまたはNULLを指定しなければなりません。

2.4.502 JMN2868I-S

条件変数がポインタデータ項目である条件名のVALUE句には、表意定数ZEROまたはNULLを指定しなければなりません。

例題

```
[P2868.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2868.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WPX           POINTER.
000007 88 ZOKPX        VALUE ZERO.
000008 88 ZNGPX        VALUE 1.
000009 PROCEDURE        DIVISION.
000010 END PROGRAM      P2868.
```

P2868.cob 8: JMN2868I-S 条件変数がポインタデータ項目である条件名のVALUE句には、表意定数ZEROまたはNULLを指定しなければなりません。

2.4.503 JMN2870I-S

APPLY WRITE-ONLY句に指定されたファイル'@1@'は可変長形式の順ファイルでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったファイル名。

例題

```
[P2870. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2870.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008     APPLY WRITE-ONLY ON SQFILE1.
000009 DATA              DIVISION.
000010 FILE               SECTION.
000011 FD SQFILE1 BLOCK CONTAINS 160.
000012 01 SQFIREC.
000013 02                PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 PROCEDURE          DIVISION.
000016 END PROGRAM        P2870.
```

P2870.cob 11: JMN2870I-S APPLY WRITE-ONLY句に指定されたファイル'SQFILE1'は可変長形式の順ファイルでなければなりません。

詳細な説明

APPLY WRITE-ONLY句は、OSIV系システムの固有機能です。

2.4.504 JMN2871I-S

@1@句のデータ名は、作業場所節、局所記憶節、連絡節または定数節に定義されていなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : PASSWORD.

例題

```
[P2871. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2871.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-F ASSIGN INFILE
000007     ORGANIZATION IS INDEXED
000008     RECORD KEY IS K1 PASSWORD IS P1.
000009 DATA              DIVISION.
000010 BASED-STORAGE SECTION.
000011 01 P1 PIC X(4).
000012 FILE               SECTION.
000013 FD IN-F.
000014 01 REC1.
000015 02 IN-R PIC X(80).
000016 02 K1 PIC X(4).
000017 END PROGRAM        P2871.
```

P2871.cob 8: JMN2871I-S PASSWORD句のデータ名は、作業場所節、局所記憶節、連絡節または定数節に定義されていなければなりません。

P2871.cob 8: JMN1477I-I このシステムでは、'PASSWORD'は注釈扱いです。

2.4.505 JMN2873I-S

COMPUTATIONAL-4は、数字項目に指定しなければなりません。

例題

```
[P2873.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2873.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDX            PIC X(4) COMPUTATIONAL-4.
000007 PROCEDURE         DIVISION.
000008 END PROGRAM       P2873.
```

P2873.cob 6: JMN2873I-S COMPUTATIONAL-4は、数字項目に指定しなければなりません。

2.4.506 JMN2874I-W

REDEFINES句で再定義される項目が、可変長項目です。REDEFINES句を有効とみなします。

例題

```
[P2874.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2874.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDA.
000007 02 WSIZE          PIC S9(4) BINARY.
000008 02 WOCC           PIC X(2) OCCURS 100
000009                  DEPENDING ON WSIZE.
000010 01 WRDA REDEFINES WDA.
000011 02               PIC X(202).
000012 PROCEDURE         DIVISION.
000013 END PROGRAM       P2874.
```

P2874.cob 10: JMN2874I-W REDEFINES句で再定義される項目が、可変長項目です。REDEFINES句を有効とみなします。

2.4.507 JMN2875I-W

再定義する項目が可変繰返しデータ項目に従属しています。REDEFINES句を有効とみなします。

例題

```
[P2875.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2875.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WBUF           PIC X(100).
000007 01 WGRP REDEFINES WBUF.
000008 02 WDPEND         PIC S9(4) BINARY.
000009 02 WOCC            OCCURS 10 DEPENDING ON WDPEND.
000010 03              PIC X(1).
000011 PROCEDURE         DIVISION.
000012 END PROGRAM       P2875.
```

P2875.cob 7: JMN2875I-W 再定義する項目が可変繰返しデータ項目に従属しています。REDEFINES句を有効とみなします。

2.4.508 JMN2877I-S

SIGN句が外部浮動小数点項目に指定されています。SIGN句は、注釈になります。

例題

```
[P2877.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2877.
000003 ENVIRONMENT       DIVISION.
000004 DATA              DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WEXFL          PIC +99.99E+99 SIGN LEADING SEPARATE.
000007 PROCEDURE         DIVISION.
000008 END PROGRAM        P2877.
```

P2877.cob 6: JMN2877I-S SIGN句が外部浮動小数点項目に指定されています。SIGN句は、注釈になります。

詳細な説明

SIGN句は外部浮動小数点項目に指定できません。

SIGN句を注釈とみなして解析を続けますが、このときオブジェクトファイルや実行形式は生成されません。

2.4.509 JMN2878I-S

[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

ホスト変数が2進項目の場合、'P'および'V'を含まない4または9けたの項目でなければなりません。

[Linux64]

ホスト変数が2進項目の場合、'P'および'V'を含まない@1@けたの項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 指定可能な桁数

例題

```
[P2878.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2878.
000003 ENVIRONMENT       DIVISION.
000004 DATA              DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE        PIC X(5).
000008 01 HVR1            PIC S9(10) BINARY.
000009 EXEC SQL END   DECLARE SECTION END-EXEC.
000010 PROCEDURE         DIVISION.
000011 EXEC SQL
000012     SELECT COL2 INTO :HVR1
000013     FROM T1    WHERE COL1 = 0
000014 END-EXEC
000015 END PROGRAM        P2878.
```

P2878.cob 8: JMN2878I-S ホスト変数が2進項目の場合、'P'および'V'を含まない4または9けたの項目でなければなりません。

詳細な説明

ホスト変数(データ部の埋込みSQL宣言節のデータ記述項)として2進項目を宣言する場合、整数項目でなければなりません。

2.4.510 JMN2879I-S

ホスト変数が英数字項目の場合、その項目長は@1@バイト以下でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 32692.

例題

```
[P2879.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2879.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE       PIC X(5).
000008 01 HVR1           PIC X(35000).
000009     EXEC SQL END   DECLARE SECTION END-EXEC.
000010 PROCEDURE          DIVISION.
000011     EXEC SQL
000012         SELECT COL2 INTO :HVR1
000013         FROM T1      WHERE COL1 = 0
000014     END-EXEC
000015 END PROGRAM          P2879.
```

P2879.cob 8: JMN2879I-S ホスト変数が英数字項目の場合、その項目長は32692バイト以下でなければなりません。

詳細な説明

ホスト変数(データ部の埋込みSQL宣言節のデータ記述項)として英数字項目を宣言する場合、項目の長さは32692バイト以下でなければなりません。

2.4.511 JMN2880I-S

ホスト変数が日本語項目の場合、その文字数は@1@文字以下でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 16346.

例題

```
[P2880.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2880.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE       PIC X(5).
000008 01 HVR1           PIC N(16347).
000009     EXEC SQL END   DECLARE SECTION END-EXEC.
000010 PROCEDURE          DIVISION.
000011     EXEC SQL
000012         SELECT COL2 INTO :HVR1
000013         FROM T1      WHERE COL1 = 0
000014     END-EXEC
000015 END PROGRAM          P2880.
```

P2880.cob 8: JMN2880I-S ホスト変数が日本語項目の場合、その文字数は16346文字以下でなければなりません。

詳細な説明

ホスト変数(データ部の埋込みSQL宣言節のデータ記述項)として日本語項目を宣言する場合、文字数は16346文字以下でなければなりません。

2.4.512 JMN2881I-S

ホスト変数が内部10進項目の場合、'P'を含まない項目でなければなりません。

例題

```
[P2881.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2881.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE        PIC X(5).
000008 01 HVR1             PIC S9(5)P PACKED-DECIMAL.
000009     EXEC SQL END   DECLARE SECTION END-EXEC.
000010 PROCEDURE          DIVISION.
000011     EXEC SQL
000012         SELECT COL2 INTO :HVR1
000013             FROM T1    WHERE COL1 = 0
000014     END-EXEC
000015 END PROGRAM          P2881.
```

P2881.cob 8: JMN2881I-S ホスト変数が内部10進項目の場合、'P'を含まない項目でなければなりません。

詳細な説明

ホスト変数(データ部の埋込みSQL宣言節のデータ記述項)として内部10進項目を宣言する場合、そのPICTURE文字列は'P'(想定した位取りを示す文字)を含んではなりません。想定小数点(PICTURE文字の'V')は含めることができます。

2.4.513 JMN2882I-S

ホスト変数は、2進項目、外部10進項目、英数字項目、日本語項目、内部浮動小数点項目、内部10進項目または固定長集団項目でなければなりません。

例題

```
[P2882.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2882.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE        PIC X(5).
000008 01 HVR1            POINTER.
000009     EXEC SQL END   DECLARE SECTION END-EXEC.
000010 PROCEDURE          DIVISION.
000011     EXEC SQL
000012         SELECT COL2 INTO :HVR1
000013             FROM T1    WHERE COL1 = 0
000014     END-EXEC
000015 END PROGRAM          P2882.
```

P2882.cob 8: JMN2882I-S ホスト変数は、2進項目、外部10進項目、英数字項目、日本語項目、内部浮動小数点項目、内部10進項目または固定長集団項目でなければなりません。

詳細な説明

ホスト変数(データ部の埋込みSQL宣言節で定義する)は、応用プログラムからデータをデータベースに格納したり、データベースのデータを読み込むために使用します。ホスト変数は、所定の項類のデータ項目でなければなりません。

2.4.514 JMN2883I-S

可変長文字列型のホスト変数に従属する項目は、符号付き2進項目と英数字項目または符号付き2進項目と日本語項目の組合せでなければなりません。

例題

```
[C2883. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C2883.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE PIC X(5).
000008 01 HVAR1.
000009 49 HVAR1-LEN PIC 9(9) BINARY.
000010 49 HVAR1-NCH PIC N(16).
000011 01 HVAR2.
000012 49 HVAR2-LEN PIC S9(4) BINARY.
000013 49 HVAR2-CHR PIC X(8).
000014 49 HVAR2-DEC PIC 9(8).
000015     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017     EXEC SQL
000018         SELECT CL1,CL2 INTO :HVAR1, :HVAR2 FROM TBL END-EXEC.
```

C2883.cob 8: JMN2883I-S 可変長文字列型のホスト変数に従属する項目は、符号付き2進項目と英数字項目または符号付き2進項目と日本語項目の組合せでなければなりません。

詳細な説明

可変長文字列型のホスト変数は、可変長の文字列を扱うためのホスト変数です。

可変長文字列型のホスト変数は、2個の従属項目を持つ集団項目です。従属項目のうち、符号付き2進項目はデータ長を、英数字項目あるいは日本語項目はデータ内容を格納します。このため、符号付き2進項目と英数字項目、または符号付き2進項目と日本語項目の組合せでなければなりません。

2.4.515 JMN2884I-S

可変長文字列型のホスト変数に従属する2進項目は、'P'および'V'を含まない4または9けたの項目でなければなりません。

例題

```
[P2884. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2884.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE PIC X(5).
000008 01 GHVR.
000009 49 GHVRL PIC S9(5) BINARY.
000010 49 GHVRX PIC X(200).
000011     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013     EXEC SQL
000014         SELECT COL2 INTO :GHVR
000015             FROM T1 WHERE COL1 = 0
000016     END-EXEC
000017 END PROGRAM P2884.
```


P2884.cob 9: JMN2884I-S 可変長文字列型のホスト変数に從属する2進項目は, 'P'および'V'を含まない4または9けたの項目でなければなりません.

詳細な説明

可変長文字列型のホスト変数に從属する2進項目には, 可変長文字列の長さを格納します. このデータ項目は整数項目でなければなりません. また, 桁数は4または9桁でなければなりません.

2.4.516 JMN2885I-S

可変長文字列型のホスト変数に從属する英数字項目の項目長は, @1@バイト以下でなければなりません.

埋め込みの説明

@1@ : 32688.

例題

```
[P2885.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2885.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA              DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE        PIC X(5).
000008 01 GHVR.
000009 49 GHVRL           PIC S9(4) BINARY.
000010 49 GHVRX           PIC X(32689).
000011     EXEC SQL END   DECLARE SECTION END-EXEC.
000012 PROCEDURE           DIVISION.
000013     EXEC SQL
000014         SELECT COL2 INTO :GHVR
000015         FROM T1  WHERE COL1 = 0
000016     END-EXEC
000017 END PROGRAM           P2885.
```

P2885.cob 10: JMN2885I-S 可変長文字列型のホスト変数に從属する英数字項目の項目長は, 32688バイト以下でなければなりません.

詳細な説明

可変長文字列型のホスト変数に從属する英数字項目には, 文字列を格納します. この項目の長さは32688バイト以下でなければなりません.

2.4.517 JMN2886I-S

可変長文字列型のホスト変数に從属する日本語項目の文字数は, @1@文字以下でなければなりません.

埋め込みの説明

@1@ : 16344.

例題

```
[P2886.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2886.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA              DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE        PIC X(5).
000008 01 GHVR.
000009 49 GHVRL           PIC S9(4) BINARY.
```

```

000010 49 GHVRX PIC N(16345).
000011 EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013 EXEC SQL
000014 SELECT COL2 INTO :GHVR
000015 FROM T1 WHERE COL1 = 0
000016 END-EXEC
000017 END PROGRAM P2886.

```

P2886.cob 10: JMN2886I-S 可変長文字列型のホスト変数に従属する日本語項目の文字数は、16344文字以下でなければなりません。

詳細な説明

可変長文字列型のホスト変数に従属する日本語項目には、日本語文字列を格納します。この項目の文字数は16344文字以下でなければなりません。

2.4.518 JMN2888I-W

[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

ホスト変数が2進項目の場合、4または9けたの項目でなければなりません。書かれたとおり受け入れます。

[Linux64]

ホスト変数が2進項目の場合、@1@けたの項目でなければなりません。書かれたとおり受け入れます。

埋め込みの説明

@1@ : 指定可能な桁数

例題

```

[P2888.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2888.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE PIC X(5).
000008 01 HVR1 PIC S9(5) BINARY.
000009 EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 EXEC SQL
000012 SELECT COL2 INTO :HVR1
000013 FROM T1 WHERE COL1 = 0
000014 END-EXEC
000015 END PROGRAM P2888.

```

P2888.cob 8: JMN2888I-W ホスト変数が2進項目の場合、4または9けたの項目でなければなりません。書かれたとおり受け入れます。

2.4.519 JMN2889I-S

符号付き外部10進項目のホスト変数にSIGN句を指定する場合、LEADING SEPARATE指定またはTRAILING指定でなければなりません。

例題

```

[P2889.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2889.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.

```

```

000007 01 SQLSTATE      PIC X(5).
000008 01 HVR1          PIC S9(5) SIGN TRAILING SEPARATE.
000009      EXEC SQL END  DECLARE SECTION END-EXEC.
000010 PROCEDURE        DIVISION.
000011      EXEC SQL
000012          SELECT COL2 INTO :HVR1
000013          FROM T1      WHERE COL1 = 0
000014      END-EXEC
000015 END PROGRAM        P2889.

```

P2889.cob 8: JMN2889I-S 符号付き外部10進項目のホスト変数にSIGN句を指定する場合、LEADING SEPARATE指定またはTRAILING指定でなければなりません。

2.4.520 JMN2890I-S

@1@は、5文字の英数字項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : SQLSTATE.

例題

```

[P2890.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2890.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006      EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE      PIC X(40).
000008      EXEC SQL END  DECLARE SECTION END-EXEC.
000009 PROCEDURE          DIVISION.
000010      EXEC SQL
000011          SELECT * FROM S1
000012      END-EXEC
000013 END PROGRAM          P2890.

```

P2890.cob 7: JMN2890I-S SQLSTATEは、5文字の英数字項目でなければなりません。

詳細な説明

埋込みSQL文の実行時例外発生時の例外コードを受け取る領域であるSQLSTATEは次のように定義されていなければなりません。

- ・ 01または77レベルのデータ項目
- ・ 5文字の英数字項目

2.4.521 JMN2892I-W

SQLCODEは'P'および'V'を含まない9けたの符号付き2進項目でなければなりません。書かれたとおり受け入れます。

詳細な説明

埋込みSQL文の実行時例外発生時の例外コードを受け取る領域であるSQLCODEは次のように定義されていなければなりません。

- ・ 01または77レベルのデータ項目
- ・ PまたはVを含まない符号付き9桁の2進項目

ただし、このコンパイラではデータ項目の桁数が4～8桁または10～18桁であっても、この診断メッセージを出力して指定された通りに受け入れます。

2.4.522 JMN2893I-S

@1@は'P'および'V'を含まない9けたの符号付き2進項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : SQLCODE, SQLERRD.

例題

```
[P2893.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2893.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01  SQLSTATE PIC X(5).
000008 01  SQLCODE PIC 9(9) BINARY.
000009 01  SQLINFOA.
000010 02  SQLERRD PIC S9(4) BINARY.
000011 01  HVAR1 PIC S9(2)V9(2).
000012 01  HVAR2 PIC X(8).
000013     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     EXEC SQL
000016         SELECT CL1,CL2 INTO :HVAR1, :HVAR2 FROM TBL
000017     END-EXEC.
000018 END PROGRAM      P2893.
```

P2893.cob 8: JMN2893I-S SQLCODEは'P'および'V'を含まない9けたの符号付き2進項目でなければなりません。

P2893.cob 10: JMN2893I-S SQLERRDは'P'および'V'を含まない9けたの符号付き2進項目でなければなりません。

詳細な説明

埋込みSQL文の実行時例外発生時の例外コードを受け取る領域である以下のデータ項目は、いずれもPまたはVを含まない9桁の符号付き2進項目符号である必要があります。

- SQLCODE
- SQLERRD

2.4.523 JMN2895I-S

再定義される項目が可変長項目である、または再定義する項目が可変繰返しデータ項目を従属しているため、この項目の変位が不確定です。

例題

```
[P2895.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2895.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01  WGRP1.
000007 02  WITM1 PIC X(20).
000008 02  RITM REDEFINES WITM1.
000009 03  PIC X(1) OCCURS 20
000010         DEPENDING ON WSIZE.
000011 02  WITM2 PIC X(20).  *> JMN2895I-S
000012 01  WGRP.
000013 02  WITM1.
000014 03  PIC X(1) OCCURS 20
```

```

000015                                DEPENDING ON WSIZE.
000016 02 RITM REDEFINES WITM1
000017                                PIC X(20).
000018 02 WITM2 PIC X(20). *> JMN2895I-S
000019 01 WSIZE PIC S9(4) BINARY.
000020 PROCEDURE DIVISION.
000021 END PROGRAM P2895.

```

P2895.cob 11: JMN2895I-S 再定義される項目が可変長項目である、または再定義する項目が可変繰返しデータ項目を従属しているため、この項目の変位が不確定です。

P2895.cob 18: JMN2895I-S 再定義される項目が可変長項目である、または再定義する項目が可変繰返しデータ項目を従属しているため、この項目の変位が不確定です。

詳細な説明

OCCURS句にDEPENDING指定を指定したデータ項目を、「可変反復データ項目」といいます。レコードの中で、可変反復データ項目の後に割り付けられる領域を、「レコードの中の可変位置」といいます。

可変位置にある項目の変位(記憶領域内で割り付けられる位置)は実行時に確定します。翻訳時には確定できません。

2.4.524 JMN2896I-I

整列併合用ファイルは、ASSIGN句にファイル識別名指定以外記述できません。書かれた通りに受け入れます。

例題

```

[P2896.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2896.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT SRTFILE ASSIGN TO "D:\TMPFILE".
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 SD SRTFILE.
000011 01 SRTFREC.
000012 02 PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015 END PROGRAM P2896.

```

P2896.cob 10: JMN2896I-I 整列併合用ファイルは、ASSIGN句にファイル識別名指定以外記述できません。書かれた通りに受け入れます。

2.4.525 JMN2897I-S

FORMAT句指定の印刷ファイルに、FORMATTED RECORD句は指定できません。

例題

```

[P2897.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2897.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT PRFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007 FORMAT IS WFM.
000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.

```

```

000011 FD PRFILE1
000012     FORMATTED RECORD IS FMTREC.
000013 01 PRF1REC.
000014     02             PIC X(80).
000015 01 FMTREC         PIC X(80).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 01 WFMT           PIC X(8).
000018 PROCEDURE          DIVISION.
000019 END PROGRAM        P2897.

```

P2897.cob 12: JMN2897I-S FORMAT句指定の印刷ファイルに, FORMATTED RECORD句は指定できません.

詳細な説明

FORMATTED RECORD句は, OSIV系システムの固有機能です.

2.4.526 JMN2898I-S

2進項目, 外部10進項目または内部10進項目として定義されたホスト変数は, 符号付きでなければなりません.

例題

```

[P2898.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2898.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE        PIC X(5).
000008 01 HVR1            PIC 9(9) BINARY.
000009     EXEC SQL END   DECLARE SECTION END-EXEC.
000010 PROCEDURE          DIVISION.
000011     EXEC SQL
000012         SELECT COL2 INTO :HVR1
000013         FROM T1      WHERE COL1 = 0
000014     END-EXEC
000015 END PROGRAM          P2898.

```

P2898.cob 8: JMN2898I-S 2進項目, 外部10進項目または内部10進項目として定義されたホスト変数は, 符号付きでなければなりません.

2.4.527 JMN2899I-S

@1@句はホスト変数に指定してはいけません.

埋め込みの説明

@1@ : BLANK WHEN ZERO, JUSTIFIED, REDEFINES, SYNCHRONIZEDまたはOCCURS.

例題

```

[P2899.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P2899.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000007 01 SQLSTATE        PIC X(5).
000008 01 HVAR            PIC X(10) JUSTIFIED.
000009     EXEC SQL END   DECLARE SECTION END-EXEC.
000010 PROCEDURE          DIVISION.

```

```

000011 EXEC SQL
000012 SELECT COL1 INTO :HVAR
000013 END-EXEC
000014 END PROGRAM P2899.

```

P2899.cob 8: JMN2899I-S JUSTIFIED句はホスト変数に指定してはいけません。

詳細な説明

ホスト変数に以下のいずれかの句を指定した場合に、この診断メッセージが出力されます。

- BLANK WHEN ZERO
- JUSTIFIED
- REDEFINES
- SYNCHRONIZED
- OCCURS

この診断メッセージを出力するためのチェックの仕方は翻訳オプションSQLGRP/NOSQLGRPの状態によって異なります。

- SQLGRP指定時(デフォルト):手続き部で参照したホスト変数のみチェックする。
- NOSQLGRP指定時:ホスト変数宣言節内で定義したすべてのホスト変数をチェックする。

2.4.528 JMN2901I-W

指標名に続く+または-の直後に0は記述できません。指定されたとおりに受け入れます。

例題

```

[P2901.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2901.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WGRP.
000007 02 WOCC PIC X(1)
000008 OCCURS 10 INDEXED BY IX1.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 MOVE SPACE TO WOCC(IX1 + 0)
000011 END PROGRAM P2901.

```

P2901.cob 10: JMN2901I-W 指標名に続く+または-の直後に0は記述できません。指定されたとおりに受け入れます。

詳細な説明

添字の値は、演算子が+のときは+に続く値を指標名の値(出現番号に対応する値)に加えたものに、また、演算子が-のときは-に続く値を指標名の値から引いたものになります。符号に続く値として0は指定できません。

2.4.529 JMN2902I-S

@1@句は、整列併合用ファイルのレコード記述項に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : CHARACTER TYPEまたはPRINTING POSITION.

例題

```

[P2902.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2902.

```

```

000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT   SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SRTFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA           DIVISION.
000009 FILE             SECTION.
000010 SD SRTFILE1.
000011 01 SRTF1REC CHARACTER TYPE MODE-1.
000012 02              PIC N(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 WFS1         PIC X(2).
000015 PROCEDURE       DIVISION.
000016 END PROGRAM     P2902.

```

P2902.cob 11: JMN2902I-S CHARACTER TYPE句は、整列併合用ファイルのレコード記述項に指定できません。

詳細な説明

整列併合用ファイルは内部的に生成されるファイルです。整列併合用ファイル記述項(レベル指示語SDの項目)の後に、少なくとも1つのレコード記述項を書かなければなりません。整列併合用ファイルに対して、入出力文を実行することはできません。

CHARACTER TYPE句、PRINTING POSITION句はレコードの印字のための情報を指定する句です。これらは、整列併合用ファイルのレコード記述項に指定できません。

2.4.530 JMN2903I-S

'RECORD CONTAINS 0'は、整列併合用ファイル記述項に指定できません。

例題

```

[P2903. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2903.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SRTFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA           DIVISION.
000009 FILE             SECTION.
000010 SD SRTFILE1
000011     RECORD CONTAINS 0.
000012 01 SRTF1REC.
000013 02              PIC N(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 WFS1         PIC X(2).
000016 PROCEDURE       DIVISION.
000017 END PROGRAM     P2903.

```

P2903.cob 11: JMN2903I-S 'RECORD CONTAINS 0'は、整列併合用ファイル記述項に指定できません。

2.4.531 JMN2906I-S

APPLY SAVED-AREA句のデータ名 '@1@'は、外部データ項目であってはなりません。データ名は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったデータ名。

例題

```

[P2906. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.

```



```

000002 PROGRAM-ID.      P2906.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION     IS SEQUENTIAL.
000008 I-O-CONTROL.
000009     APPLY SAVED-AREA WSVAR ON SQFILE1.
000010 DATA              DIVISION.
000011 FILE                SECTION.
000012 FD SQFILE1.
000013 01 SQF1REC.
000014 02                PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 WSVAR           PIC X(80) IS EXTERNAL.
000017 PROCEDURE          DIVISION.
000018 END PROGRAM        P2906.

```

P2906.cob 9: JMN2906I-S APPLY SAVED-AREA句のデータ名'WSVAR'は、外部データ項目であってはなりません。データ名は、無効になります。

詳細な説明

APPLY SAVED-AREA句は、指定したデータ項目の値を、複数の会話にまたがって保証することを指定します。

ただし、データ項目が外部属性を持つ(EXTERNAL句を指定したデータ項目またはそれに従属するデータ項目である)場合は、保証できません。

2.4.532 JMN2907I-S

SUM句は、外部10進項目、英数字項目、数字編集項目、英数字編集項目および外部浮動小数点項目以外には、指定できません。

例題

```

[P2907.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2907.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA              DIVISION.
000009 FILE                SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     REPORT IS REP1.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 CTLD            PIC 9(2).
000014 01 .
000015 02 WITM           PIC 9(2) OCCURS 10.
000016 REPORT          SECTION.
000017 RD REP1 PAGE 66
000018     CONTROL CTLD.
000019 01 TYPE CF CTLD.
000020 02 WSC1           PIC N(4) SUM WITM(2).
000021 PROCEDURE          DIVISION.
000022 END PROGRAM        P2907.

```

P2907.cob 20: JMN2907I-S SUM句は、外部10進項目、英数字項目、数字編集項目、英数字編集項目および外部浮動小数点項目以外には、指定できません。

詳細な説明

SUM句は合計カウンタを設定します。合計カウンタは、コンパイラが生成する演算符号付きの数字データ項目です。

2.4.533 JMN2908I-I

(CONF)レコード長はRECORD CONTAINS句の整数値とみなします。問題があれば原始プログラムを修正してください。

例題

```
[C2908.cob]
000001 @OPTIONS CONF(74)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C2908.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT AFIL ASSIGN DD1.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010     FD AFIL
000011         RECORD CONTAINS 80.
000012     01 RECA.
000013     02 ED001 PIC X(40).
000014     01 RECB.
000015     02 ED002 PIC X(40).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 END PROGRAM C2908.
```

C2908.cob 10: JMN2908I-I (CONF)レコード長はRECORD CONTAINS句の整数値とみなします。問題があれば原始プログラムを修正してください。

詳細な説明

翻訳オプションCONFは、'85 ANS COBOLの規格とそれ以前の旧規格の間の非互換を指摘させる(CONF)か、させない(NOCONF)かを指定します。翻訳オプションCONF(68)および翻訳オプションCONF(74)は、翻訳オプションLANGLVL(85)を指定した場合にだけ意味を持ちます。

翻訳オプションCONFは、85規格以前の規格に従って作成したプログラムを、'85 ANS COBOLの規格に従うように変更する場合に有効です。

2.4.534 JMN2909I-I

(CONF)略記組合せ比較条件で、語NOTの直後に比較演算子があります。語NOTは、論理演算子ではなく、比較演算子の一部とみなします。問題があれば原始プログラムを修正してください。

詳細な説明

翻訳オプションCONFは、'85 ANS COBOLの規格とそれ以前の旧規格の間の非互換を指摘させる(CONF)か、させない(NOCONF)かを指定します。翻訳オプションCONF(68)および翻訳オプションCONF(74)は、翻訳オプションLANGLVL(85)を指定した場合にだけ意味を持ちます。

翻訳オプションCONFは、85規格以前の規格に従って作成したプログラムを、'85 ANS COBOLの規格に従うように変更する場合に有効です。

2.4.535 JMN2911I-S

比較演算子が記述されていません。または誤っています。

例題

```
[P2911.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000002 PROGRAM-ID.      P2911.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IXFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION    IS INDEXED
000008     RECORD KEY       IS WRKY1.
000009 DATA              DIVISION.
000010 FILE                SECTION.
000011 FD IXFILE1.
000012 01 IXFIREC.
000013 02 WRKY1          PIC X(2).
000014 02                PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 WDAT           PIC X(2).
000017 PROCEDURE          DIVISION.
000018     START IXFILE1
000019     KEY WRKY1 WDAT
000020 END PROGRAM        P2911.

```

P2911.cob 19: JMN2911I-S 比較演算子が記述されていません。または誤っています。

詳細な説明

START文のKEY指定には、以下の比較演算子のいずれかを書かなければなりません。

- IS EQUAL TO (IS =)
- IS GREATER THAN (IS >)
- IS NOT LESS THAN (IS NOT <)
- IS GREATER THAN OR EQUAL TO (IS >=)

2.4.536 JMN2912I-S

START文の@1@指定は、インデックスつき編成ファイル以外に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : USING.

例題

```

[P2912.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2912.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IXFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION    IS INDEXED
000008     RECORD KEY       IS WRKY1.
000009 DATA              DIVISION.
000010 FILE                SECTION.
000011 FD IXFILE1.
000012 01 IXFIREC.
000013 02 WRKY1          PIC X(2).
000014 02                PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 WDAT           PIC X(2).
000017 PROCEDURE          DIVISION.
000018     START IXFILE1
000019     USING KEY EQUAL WRKY1
000020 END PROGRAM        P2912.

```

P2912.cob 19: JMN2912I-S START文のUSING指定は、インデックスつき編成ファイル以外に指定できません。

詳細な説明

インデックスつき編成ファイル (ASSIGN句のファイル識別名がI-名前)は、OSIV系システムの固有機能です。

2.4.537 JMN2916I-S

RELATIVE KEY句の指定されているファイルが外部属性を持つ場合、RELATIVE KEY句に指定されたデータ名は外部属性を持つ項目でなければなりません。

例題

```
[P2916. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2916.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT RLFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007         ORGANIZATION IS RELATIVE
000008         RELATIVE KEY  IS WRKY.
000009 I-O-CONTROL.
000010 DATA              DIVISION.
000011 FILE                SECTION.
000012 FD RLFILE1 IS EXTERNAL.
000013 01 RLFIREC.
000014 02                 PIC X(80).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 WRKY             PIC 9(8) BINARY.
000017 PROCEDURE           DIVISION.
000018 END PROGRAM          P2916.
```

P2916.cob 8: JMN2916I-S RELATIVE KEY句の指定されているファイルが外部属性を持つ場合、RELATIVE KEY句に指定されたデータ名は外部属性を持つ項目でなければなりません。

詳細な説明

外部属性を持つファイル(ファイル記述項にEXTERNAL句を指定したファイル)には、実行単位中で1つの記憶領域が割り当てられ、実行単位中のすべてのプログラムから参照することができます。

相対ファイル中のレコードは、RELATIVE KEYに指定した項目(相対キー)の比較によって処理されるので、ファイルが外部属性を持つならば、そのファイルに関連付けた相対キー項目も外部属性(EXTERNAL句)を持たなければなりません。

2.4.538 JMN2920I-S

OR指定のCHARACTER TYPE句は基本項目に指定できません。

例題

```
[P2920. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2920.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION     SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     PRINTING MODE PM1 FOR MOCS
000007     PRINTING MODE PM2 FOR SOCS.
000008 DATA              DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 WELM            PIC N(10)
000011                 CHARACTER TYPE  PM1 OR
000012                 PM2.
```

```
000013 PROCEDURE      DIVISION.  
000014 END PROGRAM    P2920.
```

P2920.cob 11: JMN2920I-S OR指定のCHARACTER TYPE句は基本項目に指定できません。

詳細な説明

OR指定付きのCHARACTER TYPE句は、集団項目にだけ指定することができます。

2.4.539 JMN2921I-S

CHARACTER TYPE句に指定された印字モード名 '@1@' が未定義または多重定義です。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった利用者語。

例題

```
[P2921.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      P2921.  
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.  
000004 CONFIGURATION    SECTION.  
000005 SPECIAL-NAMES.  
000006     PRINTING MODE PM1 FOR MOCS  
000007     PRINTING MODE PM1 FOR SOCS.  
000008 DATA            DIVISION.  
000009 WORKING-STORAGE SECTION.  
000010 01 WELM          PIC N(10)  
000011                CHARACTER TYPE PM1.  
000012 PROCEDURE        DIVISION.  
000013 END PROGRAM      P2921.
```

P2921.cob 11: JMN2921I-S CHARACTER TYPE句に指定された印字モード名 'PM1' が未定義または多重定義です。

詳細な説明

印字モード名は、特殊名段落のPRINTING MODE句で定義しなければなりません。

2.4.540 JMN2922I-S

FOR ALL指定の印字モード名は、集団項目、英字、英数字、英数字編集、外部10進、外部ブール、外部浮動、数字編集、日本語および日本語編集項目にだけ指定できます。

例題

```
[P2922.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      P2922.  
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.  
000004 CONFIGURATION    SECTION.  
000005 SPECIAL-NAMES.  
000006     PRINTING MODE PM1 FOR ALL.  
000007 DATA            DIVISION.  
000008 WORKING-STORAGE SECTION.  
000009 01 NONDISP        PIC S9(9) BINARY  
000010                CHARACTER TYPE PM1.  
000011 PROCEDURE        DIVISION.  
000012 END PROGRAM      P2922.
```

P2922.cob 10: JMN2922I-S FOR ALL指定の印字モード名は、集団項目、英字、英数字、英数字編集、外部10進、外部ブール、外部浮動、数字編集、日本語および日本語編集項目にだけ指定できます。

2.4.541 JMN2923I-S

FOR MOCS指定の印字モード名は、集団項目、日本語および日本語編集項目にだけ指定できます。

例題

```
[P2923. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2923.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     PRINTING MODE PM1 FOR MOCS.
000007 DATA            DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 NONDISP       PIC S9(9) BINARY
000010                  CHARACTER TYPE PM1.
000011 PROCEDURE        DIVISION.
000012 END PROGRAM      P2923.
```

P2923.cob 10: JMN2923I-S FOR MOCS指定の印字モード名は、集団項目、日本語および日本語編集項目にだけ指定できます。

2.4.542 JMN2924I-S

FOR SOCS指定の印字モード名は、集団項目、英字、英数字、英数字編集、外部10進、外部ブール、外部浮動および数字編集項目にだけ指定できます。

例題

```
[P2924. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2924.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     PRINTING MODE PM1 FOR SOCS.
000007 DATA            DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 WDX             PIC N(10)
000010                  CHARACTER TYPE PM1.
000011 PROCEDURE        DIVISION.
000012 END PROGRAM      P2924.
```

P2924.cob 10: JMN2924I-S FOR SOCS指定の印字モード名は、集団項目、英字、英数字、英数字編集、外部10進、外部ブール、外部浮動および数字編集項目にだけ指定できます。

2.4.543 JMN2925I-S

FOR ALL指定の印字モード名は、OR指定のあるCHARACTER TYPE句に指定できません。

例題

```
[P2925. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2925.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     PRINTING MODE PM1 FOR MOCS
000007     PRINTING MODE PM2 FOR ALL.
000008 DATA            DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
```

```

000010 01 WGRP      CHARACTER TYPE PM1 OR
000011              PM2.
000012 02 WDX      PIC X(10).
000013 02 WDN      PIC N(10).
000014 PROCEDURE   DIVISION.
000015 END PROGRAM  P2925.

```

P2925.cob 10: JMN2925I-S FOR ALL指定の印字モード名は、OR指定のあるCHARACTER TYPE句に指定できません。

2.4.544 JMN2926I-S

複数の印字モード名を指定する場合、すべての印字モード名のFOR指定は同一でなければなりません。

例題

```

[P2926.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2926.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     PRINTING MODE PM1 FOR MOCS
000007     PRINTING MODE PM2 FOR SOCS.
000008 DATA           DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 WGRP          CHARACTER TYPE PM1 PM2
000011                      DEPENDING ON WMODE.
000012 02 WDX            PIC X(10).
000013 02 WDN            PIC N(10).
000014 01 WMODE          PIC S9(4).
000015 PROCEDURE        DIVISION.
000016 END PROGRAM      P2926.

```

P2926.cob 10: JMN2926I-S 複数の印字モード名を指定する場合、すべての印字モード名のFOR指定は同一でなければなりません。

詳細な説明

CHARACTER TYPE句で複数の印字モード名を指定する場合、すべての印字モード名のFOR指定(環境部の特殊名段落のPRINTING MODE句のFOR MOCS/FOR SOCS/FOR ALLの指定)は同一でなければなりません。

2.4.545 JMN2927I-S

OR指定の後の印字モード名のFOR指定は、OR指定の前の印字モード名のFOR指定と異なっていなければなりません。

例題

```

[P2927.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2927.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     PRINTING MODE PM1 FOR MOCS
000007     PRINTING MODE PM2 FOR MOCS.
000008 DATA           DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 WGRP          CHARACTER TYPE PM1 OR
000011                      PM2.
000012 02 WDX            PIC X(10).
000013 02 WDN            PIC N(10).
000014 01 WMODE          PIC S9(4).
000015 PROCEDURE        DIVISION.
000016 END PROGRAM      P2927.

```

P2927.cob 10: JMN2927I-S OR指定の後の印字モード名のFOR指定は、OR指定の前の印字モード名のFOR指定と異なっていません。

詳細な説明

CHARACTER TYPE句で複数の印字モード名を指定する場合、すべての印字モード名のFOR指定(環境部の特殊名段落のPRINTING MODE句のFOR MOCS/FOR SOCS/FOR ALLの指定)は同一でなければなりません。

2.4.546 JMN2928I-S

印字モード名指定のCHARACTER TYPE句が指定された項目を含むレコード記述中に、MODE-1、MODE-2、MODE-3または呼び名指定のCHARACTER TYPE句があってはなりません。

例題

```
[P2928.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2928.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     PRINTING MODE PM1 FOR MOCS
000007     PRINTING MODE PM2 FOR SOCS.
000008 DATA             DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 WGRP           CHARACTER TYPE PM1 OR
000011                        PM2.
000012 02 WDX             PIC X(10).
000013 02 WDN             PIC N(10)
000014                  CHARACTER TYPE MODE-1.
000015 01 WMODE          PIC S9(4).
000016 PROCEDURE         DIVISION.
000017 END PROGRAM        P2928.
```

P2928.cob 10: JMN2928I-S 印字モード名指定のCHARACTER TYPE句が指定された項目を含むレコード記述中に、MODE-1、MODE-2、MODE-3または呼び名指定のCHARACTER TYPE句があってはなりません。

2.4.547 JMN2930I-S

[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

@1@句の@2@指定のデータ名は、作業場所節、ファイル節、定数節または連絡節に定義された整数項目でなければなりません。

[Linux64]

@1@句の@2@指定のデータ名は、作業場所節、局所記憶節、ファイル節、定数節または連絡節に定義された整数項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : CHARACTER TYPE.

@2@ : DEPENDING ON.

例題

```
[P2930.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2930.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     PRINTING MODE PM1 FOR MOCS
000007     PRINTING MODE PM2 FOR MOCS.
```



```

000008 DATA          DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 WGRP          CHARACTER TYPE PM1 PM2
000011                                DEPENDING ON WMODE.
000012 02 WDX          PIC X(10).
000013 02 WDN          PIC N(10).
000014 01 WMODE        PIC X(4).
000015 PROCEDURE       DIVISION.
000016 END PROGRAM     P2930.

```

- [\[Solaris\]](#)[\[Solaris64\]](#)[\[Linux\]](#)[\[LinuxIPF\]](#)
P2930.cob 11: JMN2930I-S CHARACTER TYPE句のDEPENDING ON指定のデータ名は、作業場所節、ファイル節、定数節または連絡節に定義された整数項目でなければなりません。
- [\[Linux64\]](#)
P2930.cob 11: JMN2930I-S CHARACTER TYPE句のDEPENDING ON指定のデータ名は、作業場所節、局所記憶節、ファイル節、定数節または連絡節に定義された整数項目でなければなりません。

詳細な説明

CHARACTER TYPE句に、複数の印字モード名とDEPENDING ON指定を指定した場合、DEPENDING ON指定に指定したデータ項目の値をnとすると、印字モード名の並びのうちの第n番目の印字モード名が有効になります。DEPENDING ON指定のデータ項目は、領域を持つ整数項目でなければなりません。

2.4.548 JMN2931I-S

DEPENDING ON指定のCHARACTER TYPE句が外部属性を持つレコード中に指定されている場合、DEPENDING ON指定のデータ名も同じデータ部中の外部属性を持つ項目でなければなりません。

例題

```

[P2931.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2931.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     PRINTING MODE PM1 FOR MOCS
000007     PRINTING MODE PM2 FOR MOCS.
000008 DATA          DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 WGRP          EXTERNAL
000011                                CHARACTER TYPE PM1 PM2
000012                                DEPENDING ON WMODE.
000013 02 WDX          PIC X(10).
000014 02 WDN          PIC N(10).
000015 01 WMODE        PIC S9(4).
000016 PROCEDURE       DIVISION.
000017 END PROGRAM     P2931.

```

P2931.cob 12: JMN2931I-S DEPENDING ON指定のCHARACTER TYPE句が外部属性を持つレコード中に指定されている場合、DEPENDING ON指定のデータ名も同じデータ部中の外部属性を持つ項目でなければなりません。

詳細な説明

外部属性を持つレコード(EXTERNAL句を指定した項目またはそれに従属する項目)は、実行単位中で1つの記憶領域が割り当てられ、実行単位中のすべてのプログラムから参照することができます。

外部データレコードにDEPENDING ON指定付きのCHARACTER TYPE句が指定された場合、この外部データレコードに適用される印字モードがDEPENDING ON指定に指定したデータ項目の値によって決定されるので、DEPENDING ON指定のデータ項目も外部属性を持たなければなりません。

2.4.549 JMN2932I-S

DEPENDING ON指定のCHARACTER TYPE句が大域属性を持つレコード中に指定されている場合、DEPENDING ON指定のデータ名も同じデータ部中の大域属性を持つ項目でなければなりません。

例題

```
[P2932.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2932.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     PRINTING MODE PM1 FOR MOCS
000007     PRINTING MODE PM2 FOR MOCS.
000008 DATA             DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 WGRP           GLOBAL
000011             CHARACTER TYPE PM1 PM2
000012             DEPENDING ON WMODE.
000013 02 WDX             PIC X(10).
000014 02 WDN             PIC N(10).
000015 01 WMODE          PIC S9(4).
000016 PROCEDURE         DIVISION.
000017 END PROGRAM         P2932.
```

P2932.cob 12: JMN2932I-S DEPENDING ON指定のCHARACTER TYPE句が大域属性を持つレコード中に指定されている場合、DEPENDING ON指定のデータ名も同じデータ部中の大域属性を持つ項目でなければなりません。

詳細な説明

大域属性を持つデータ(GLOBAL句を指定した項目またはそれに従属する項目)は、それを定義したプログラムおよびそのプログラムに直接または間接に含まれるプログラムで参照することができます。

大域属性を持つデータにDEPENDING ON指定付きのCHARACTER TYPE句が指定された場合、このデータに適用される印字モードがDEPENDING ON指定に指定したデータ項目の値によって決定されるので、DEPENDING ON指定のデータ項目も大域属性を持たなければなりません。

2.4.550 JMN2933I-S

CURSOR句のデータ名は作業場所節に定義された長さ4または6の項目で、その用途は表示用でなければなりません。

例題

```
[P2933.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2933.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     CURSOR IS CRS1.
000007 DATA             DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 CRS1            PIC 9(8) USAGE BINARY.
000010 PROCEDURE         DIVISION.
000011 END PROGRAM         P2933.
```

P2933.cob 6: JMN2933I-S CURSOR句のデータ名は作業場所節に定義された長さ4または6の項目で、その用途は表示用でなければなりません。

詳細な説明

CURSOR句は、スクリーン操作機能のACCEPT文で、画面上のカーソル位置を受け渡すためのデータ項目を指定します。

2.4.551 JMN2934I-S

CRT STATUS句のデータ名は作業場所節に定義された長さ3の項目でなければなりません。

例題

```
[P2934. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2934.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006          CRT STATUS IS CRTST1.
000007 DATA             DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 CRTST1         PIC X(8).
000010 PROCEDURE         DIVISION.
000011 END PROGRAM      P2934.
```

P2934.cob 6: JMN2934I-S CRT STATUS句のデータ名は作業場所節に定義された長さ3の項目でなければなりません。

詳細な説明

CRT STATUS句は、スクリーン操作機能のACCEPT文で画面入力状態(ACCEPT文の実行結果を示す3文字の概念上の領域)を受け取るためのデータ項目を指定します。

2.4.552 JMN2935I-W

FULL句の指定された画面記述項にJUSTIFIED句は指定できません。JUSTIFIED句を無効にします。

例題

```
[P2935. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2935.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 DD             PIC X(2).
000007 SCREEN           SECTION.
000008 01 A              FULL.
000009 02 B              PIC X(8) USING DD
000010                  JUSTIFIED.
000011 PROCEDURE         DIVISION.
000012 END PROGRAM      P2935.
```

P2935.cob 10: JMN2935I-W FULL句の指定された画面記述項にJUSTIFIED句は指定できません。JUSTIFIED句を無効にします。

詳細な説明

ACCEPT文の実行を行うとき、FULL句が有効な画面項目については、領域全体に値が入力されるまで、データ入力を促します(入力キーの押下は無視されます)。JUSTIFIED句による桁よせは行えません。

2.4.553 JMN2936I-W

@1@句は@2@指定のPICTURE句の記述された項目に指定できません。@1@句は無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : AUTO, FULLまたはREQUIRED.

@2@ : FROM.

例題

```
[P2936.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2936.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WSOU           PIC X(10).
000007 SCREEN            SECTION.
000008 01 SC1            PIC X(10) FROM WSOU
000009                                AUTO.
000010 PROCEDURE         DIVISION.
000011 END PROGRAM       P2936.
```

P2936.cob 9: JMN2936I-W AUTO句はFROM指定のPICTURE句の記述された項目に指定できません。AUTO句は無効となります。

詳細な説明

画面節のFROM指定付きのPICTURE句を持つ画面項目は出力項目になります。以下の句は画面項目の入力時の属性を定義するための句であるため、出力項目には指定できません。

- AUTO
- FULL
- REQUIRED

2.4.554 JMN2937I-S

@1@句は@2@指定のPICTURE句の記述された項目に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : PROMPT, SECUREまたはZERO-FILL.

@2@ : FROMまたはUSING.

例題

```
[P2937.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2937.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WSOU           PIC X(2).
000007 SCREEN            SECTION.
000008 01 SC1            PIC X(8) USING WSOU SECURE.
000009 PROCEDURE         DIVISION.
000010 END PROGRAM       P2937.
```

P2937.cob 8: JMN2937I-S SECURE句はUSING指定のPICTURE句の記述された項目に指定できません。

詳細な説明

基本画面項目(画面上のそれぞれの独立した領域)のPICTURE句(PICTUREとPICは同義語です)の指定と、入出力属性の関係は以下のとおりです。

- TO指定のみ
入力項目
- FROM指定のみ
出力項目。データをデータ項目から画面項目へ転記し、画面上に表示する場合に使用します。

- ・ USING指定あるいはFROM/TO指定両方

更新項目。データをデータ項目から画面項目へ転記し、画面上で更新して再びデータ項目に格納する場合に使用します。

どの句を、どの入出力属性の画面項目に指定できるかは、句の機能によって異なります。

2.4.555 JMN2938I-S

画面節の基本項目にはBELL句, BLANK句, COLUMN句, LINE句, PICTURE句またはVALUE句のいずれかが指定されていなければなりません。

例題

```
[P2938.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2938.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WSOU           PIC X(2).
000007 SCREEN            SECTION.
000008 01 SC1            AUTO.
000009 PROCEDURE         DIVISION.
000010 END PROGRAM      P2938.
```

P2938.cob 8: JMN2938I-S 画面節の基本項目にはBELL句, BLANK句, COLUMN句, LINE句, PICTURE句またはVALUE句のいずれかが指定されていなければなりません。

詳細な説明

画面節の基本項目は、画面上のそれぞれの独立した領域に相当します。基本項目には、BELL句, BLANK LINE句, COLUMN NUMBER句, LINE NUMBER句, PICTURE句またはVALUE句のいずれかが指定されていなければなりません。

2.4.556 JMN2939I-S

画面節の集団項目には@1@句は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : BELL, BLANK, COLUMN NUMBER, ERASE, LINE NUMBER, SIZEまたはVALUE.

例題

```
[P2939.cob]
000001 PROGRAM-ID.      P2939.
000002 ENVIRONMENT      DIVISION.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WSOU           PIC X(2).
000006 SCREEN            SECTION.
000007 01 SC1 VALUE SPACE.
000008 02 SC1E           PIC X(8) FROM WSOU.
000009 PROCEDURE         DIVISION.
000010 END PROGRAM      P2939.
```

P2939.cob 7: JMN2939I-S 画面節の集団項目にはVALUE句は指定できません。

詳細な説明

基本項目にしか指定できない句が、集団項目に指定されています。

2.4.557 JMN2940I-S

@1@に記述された'@2@'は一意名または定数でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : PICTURE句のFROM指定またはPROMPT句

@2@ : エラーの原因となった語.

例題

```
[P2940. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2940.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WTBL.
000007 02 TBL-EL OCCURS 10 INDEXED BY IDX.
000008 03 TBL-EL1 PIC 9(1).
000009 03 TBL-EL2 PIC 9(1).
000010 SCREEN SECTION.
000011 01 SC1 PIC 9(2) FROM IDX.
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013 END PROGRAM      P2940.
```

P2940.cob 11: JMN2940I-S PICTURE句のFROM指定に記述された'IDX'は一意名または定数でなければなりません.

2.4.558 JMN2941I-S

@1@に記述された'@2@'は、一意名でなければなりません.

埋め込みの説明

@1@ : PICTURE句のTO指定, PICTURE句のUSING指定またはCONTROL句.

@2@ : エラーの原因となった語.

例題

```
[P2941. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2941.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 SCREEN            SECTION.
000006 01 SC1 PIC 9 USING "B".
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 END PROGRAM      P2941.
```

P2941.cob 6: JMN2941I-S PICTURE句のUSING指定に記述された"B"は、一意名でなければなりません.

2.4.559 JMN2942I-S

@1@に記述された'@2@'は、一意名または整数でなければなりません.

埋め込みの説明

@1@ : COLUMN NUMBER句, LINE NUMBER句またはSIZE句.

@2@ : エラーの原因となった語.

例題

```
[P2942. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2942.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
```

```

000004 DATA          DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WSOU         PIC X(1).
000007 SCREEN          SECTION.
000008 01 SC1          PIC X(1) FROM WSOU
000009                      LINE NUMBER "1".
000010 PROCEDURE        DIVISION.
000011 END PROGRAM      P2942.

```

P2942.cob 9: JMN2942I-S LINE NUMBER句に記述された"1"は、一意名または整数でなければなりません。

2.4.560 JMN2943I-S

許されない語 '@1@' が現れました。 次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった語。

例題

```

[P2943.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2943.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WSOU1         PIC X(1).
000007 01 WSOU2         PIC X(1).
000008 SCREEN SECTION.
000009 01 SC1            PIC X(1) FROM WSOU1 WSOU2.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 END PROGRAM      P2943.

```

P2943.cob 9: JMN2943I-S 許されない語 'WSOU2' が現れました。 次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

詳細な説明

以下の場合に、この診断メッセージが出力されます。

- ・ データ部の画面節の解析中に不当な語を検出した場合
- ・ 手続き部見出しの解析中に不当な語を検出した場合

構文を確認して、誤りを修正してください。

2.4.561 JMN2944I-S

添字付けまたは部分参照の右括弧が指定されていません。 次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

例題

```

[P2944.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2944.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA            DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 TBL.
000007 02 TBL1 OCCURS 10 INDEXED BY IX.
000008 03 T-NO         PIC 9(1).
000009 SCREEN          SECTION.
000010 01 SC1          PIC 9(1) FROM T-NO(IX.

```

000011 PROCEDURE	DIVISION.
000012 END PROGRAM	P2944.

P2944.cob 11: JMN2944I-S 添字付けまたは部分参照の右括弧が指定されていません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

2.4.562 JMN2945I-S

指標名に続く+または-の直後は整数でなければなりません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

例題

```
[P2945.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2945.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 TBL.
000007    02 TBL1 OCCURS 10 INDEXED BY IX.
000008    03 T-NO        PIC 9(1).
000009 SCREEN           SECTION.
000010 01 SC1           PIC 9(1) FROM T-NO(IX + 1.2).
000011 PROCEDURE        DIVISION.
000012 END PROGRAM      P2945.
```

P2945.cob 10: JMN2945I-S 指標名に続く+または-の直後は整数でなければなりません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

詳細な説明

演算子が+のときは、演算子の後ろに指定した整数の値を、指標名の値(出現番号に対応する値)に加えた値が添字の値になります。
演算子が-のときは、演算子の後ろに指定した整数の値を、指標名の値から引いた値が添字の値になります。

2.4.563 JMN2946I-S

添字は算術式、指標名[+/-整数]またはALLでなければなりません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

例題

```
[P2946.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2946.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 TBL.
000007    02 TBL1 OCCURS 10 INDEXED BY IX.
000008    03 T-NO        PIC 9(1).
000009 SCREEN           SECTION.
000010 01 SC1           PIC 9(1) FROM T-NO("1").
000011 PROCEDURE        DIVISION.
000012 END PROGRAM      P2946.
```

P2946.cob 10: JMN2946I-S 添字は算術式、指標名[+/-整数]またはALLでなければなりません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

詳細な説明

添字は、表(OCCURS句を指定したデータ記述項)中の要素の出現位置を表す値であり、表要素を一意に参照するために使用します。

添字にALLを書くと、その次元のすべての表要素を、出現順に従って左から右へ指定したかのように扱われます。

● 補正 1: 説明

ファイル識別名の構成文字に誤りがあります。またはファイル識別名の名前が8文字を超えています。ファイル識別名の名前

ファイル識別名の構成文字に誤りがあります。またはファイル識別名の名前が@1@文字を超えています。ファイル識別名

- **[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]**
P2948.cob 6: JMN2948I-E ファイル識別名の構成文字に誤りがあります。またはファイル識別名の名前が8文字を超えています。ファイル識別名の名前を有効とします。ただし、8文字を超えている場合は、先頭8文字とします。
- **[Linux64]**
P2948.cob 6: JMN2948I-E ファイル識別名の構成文字に誤りがあります。またはファイル識別名の名前が30文字を超えています。ファイル識別名の名前を有効とします。ただし、30文字を超えている場合は、先頭30文字とします。

詳細な説明

ファイル識別名は、記憶媒体上のファイルを識別するための名前です。ファイルを使う場合、環境部のファイル管理記述項で、ファイル識別名をファイル名に関係付けなければなりません。ファイル識別名は、英字と数字だけから構成される、**[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]**は8文字以下の文字列、**[Linux64]**は30文字以下の文字列でなければなりません。名前の最初の文字は、英字でなければなりません。

2.4.566 JMN2949I-S

ファイル識別名の記述に誤りがあります。

例題

```
[P2949.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2949.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT AFILE ASSIGN   ファイル名.
000007 DATA             DIVISION.
000008 FILE              SECTION.
000009 FD AFILE.
000010 01 AREC          PIC X(80).
000011 PROCEDURE        DIVISION.
000012 END PROGRAM      P2949.
```

P2949.cob 6: JMN2949I-S ファイル識別名の記述に誤りがあります。

詳細な説明

ファイル識別名は、記憶媒体上のファイルを識別するための名前です。ファイルを使う場合、環境部のファイル管理記述項で、ファイル識別名をファイル名に関係付けなければなりません。ファイル識別名は、英字と数字だけから構成される、**[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]**は8文字以下の文字列、**[Linux64]**は30文字以下の文字列でなければなりません。名前の最初の文字は、英字でなければなりません。

2.4.567 JMN2950I-S

[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

@1@に記述された一意名'@2@'は、ファイル節、作業場所節、連絡節、基底場所節または定数節で定義されたものでなければなりません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

[Linux64]

@1@に記述された一意名'@2@'は、ファイル節、作業場所節、局所記憶節、連絡節、基底場所節または定数節で定義されたものでなければなりません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : PICTURE句のFROM指定、PROMPT句、CONTROL句、SIZE句、LINE NUMBER句またはCOLUMN NUMBER句。

@2@ : エラーの原因となった語。

例題

```
[P2950. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2950.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT RPT-FILE ASSIGN RPTFILE.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA              DIVISION.
000009 FILE                SECTION.
000010 FD RPT-FILE
000011     REPORT IS RPT-1.
000012 REPORT SECTION.
000013 RD RPT-1
000014     PAGE LIMITS ARE 66 LINES.
000015 01 DE01 TYPE IS DE.
000016 02     LINE PLUS 1.
000017 03     COLUMN    1
000018             PIC X(80) VALUE ALL "----+----+".
000019 SCREEN              SECTION.
000020 01 WSC1              PIC X(80) FROM DE01.
000021 PROCEDURE          DIVISION.
000022 END PROGRAM        P2950.
```

- [\[Solaris\]](#)[\[Solaris64\]](#)[\[Linux\]](#)[\[LinuxIPF\]](#)
P2950.cob 20: JMN2950I-S PICTURE句のFROM指定に記述された一意名'DE01'は、ファイル節、作業場所節、連絡節、基底場所節または定数節で定義されたものでなければなりません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。
- [\[Linux64\]](#)
P2950.cob 20: JMN2950I-S PICTURE句のFROM指定に記述された一意名'DE01'は、ファイル節、作業場所節、局所記憶節、連絡節、基底場所節または定数節で定義されたものでなければなりません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

2.4.568 JMN2951I-S

[\[Solaris\]](#)[\[Solaris64\]](#)[\[Linux\]](#)[\[LinuxIPF\]](#)

@1@に記述された一意名'@2@'は、ファイル節、作業場所節、連絡節または基底場所節で定義されたものでなければなりません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

[\[Linux64\]](#)

@1@に記述された一意名'@2@'は、ファイル節、作業場所節、局所記憶節、連絡節または基底場所節で定義されたものでなければなりません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : PICTURE句のTO指定またはPICTURE句のUSING指定。

@2@ : エラーの原因となった語。

例題

```
[P2951. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2951.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA              DIVISION.
000005 CONSTANT          SECTION.
000006 01 CONST           PIC 9(2) VALUE 12.
000007 SCREEN SECTION.
000008 01 SC1              PIC 9(2) USING CONST.
000009 PROCEDURE          DIVISION.
000010 END PROGRAM        P2951.
```

- [\[Solaris\]](#)[\[Solaris64\]](#)[\[Linux\]](#)[\[LinuxIPF\]](#)

P2951.cob 8: JMN2951I-S PICTURE句のUSING指定に記述された一意名'CONST'は、ファイル節、作業場所節、連絡節または基底場所節で定義されたものでなければなりません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

- [\[Linux64\]](#)

P2951.cob 8: JMN2951I-S PICTURE句のUSING指定に記述された一意名'CONST'は、ファイル節、作業場所節、局所記憶節、連絡節または基底場所節で定義されたものでなければなりません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

2.4.569 JMN2952I-S

左括弧に対応する右括弧が指定されていません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

例題

```
[P2952. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2952.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WBUF           PIC X(20).
000007 01 WOFST          PIC 9(2).
000008 SCREEN SECTION.
000009 01 WSC1           PIC X(2) FROM WBUF((WOFST + 1 : 1) TO WBUF.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 END PROGRAM      P2952.
```

P2952.cob 9: JMN2952I-S 左括弧に対応する右括弧が指定されていません。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

2.4.570 JMN2953I-S

@1@句は行順編成のファイルに指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : LINAGE.

例題

```
[P2953. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2953.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION    IS LINE SEQUENTIAL.
000008 DATA             DIVISION.
000009 FILE             SECTION.
000010 FD SQFILE1
000011     LINAGE 66.
000012 01 SQFIREC.
000013 02             PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 WFS1          PIC X(2).
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017 END PROGRAM      P2953.
```

P2953.cob 11: JMN2953I-S LINAGE句は行順編成のファイルに指定できません。

詳細な説明

LINAGE句は、FORMAT句なしの印刷ファイルにだけ指定することができます。

2.4.571 JMN2954I-S

[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

ファイル名 '@1@' の ASSIGN 句のデータ名は、項類が英数字の256文字までのデータ項目でなければなりません。かつ、作業場所節または連絡節に定義されていなければなりません。

[Linux64]

ファイル名 '@1@' の ASSIGN 句のデータ名は、項類が英数字の256文字までのデータ項目でなければなりません。かつ、作業場所節、局所記憶節または連絡節に定義されていなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったファイル名。

例題

```
[P2954. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2954.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO FILENAME
000007     ORGANIZATION   IS SEQUENTIAL.
000008 DATA             DIVISION.
000009 FILE              SECTION.
000010 FD SQFILE1.
000011 01 SQFIREC.
000012 02              PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 FILENAME      PIC N(100).
000015 PROCEDURE        DIVISION.
000016 END PROGRAM      P2954.
```

- [Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

P2954.cob 10: JMN2954I-S ファイル名 'SQFILE1' の ASSIGN 句のデータ名は、項類が英数字の256文字までのデータ項目でなければなりません。かつ、作業場所節または連絡節に定義されていなければなりません。

- [Linux64]

P2954.cob 10: JMN2954I-S ファイル名 'SQFILE1' の ASSIGN 句のデータ名は、項類が英数字の256文字までのデータ項目でなければなりません。かつ、作業場所節、局所記憶節または連絡節に定義されていなければなりません。

詳細な説明

データ名を書いた ASSIGN 句は、SELECT 句に書いたファイル名をデータ名の値が示す物理ファイルに関連付けます。OPEN 文を実行するときに、SELECT 句のファイル名が、ASSIGN 句のデータ名の値が示す記憶媒体上の物理ファイルに関連付けられます。

ASSIGN 句に指定したデータ項目には、OPEN 文の実行より前に、物理ファイル名を直接示す値を設定しておかなければなりません。

2.4.572 JMN2955I-S

部分参照子に誤りがあります。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

例題

```
[P2955. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2955.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WBUF            PIC X(20).
000007 SCREEN            SECTION.
000008 01 SC1             PIC X(10) FROM WBUF("13":10).
```

```
000009 PROCEDURE      DIVISION.  
000010 END PROGRAM    P2955.
```

P2955.cob 8: JMN2955I-S 部分参照子に誤りがあります。次の認識できる句、段落、節または部まで無効になります。

詳細な説明

データ項目や関数値を部分参照したい場合、データ名または関数一意名に部分参照子を付けます。部分参照子は、部分参照の対象となるデータ名または関数一意名の後ろに左括弧を1つ書き、最左端文字位置を示す算術式を記述します。さらにその後ろに:(コロン)を記述し、部分参照する長さを示す算術式を記述して、先の左括弧の対になる右括弧を記述します。コロンの前後には、分離符の空白を書くこともできます。長さを示す算術式は省略することができますが、コロンは省略できません。

2.4.573 JMN2957I-S

@1@文のWITH指定には、C、PASCAL、またはSTDCALLが指定されなければなりません。WITH指定は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : CALLまたはENTRY.

例題

```
[P2957. cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      P2957.  
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.  
000004 DATA             DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 01 PNAME          PIC X(8) VALUE "P2957SUB".  
000007 LINKAGE           SECTION.  
000008 PROCEDURE         DIVISION.  
000009     CALL "TC2CLKCB" WITH COBOL LINKAGE  
000010                     USING PANEM.  
000011     EXIT PROGRAM.  
000012 END PROGRAM      P2957.
```

P2957.cob 9: JMN2957I-S CALL文のWITH指定には、C、PASCAL、またはSTDCALLが指定されなければなりません。WITH指定は無効になります。

詳細な説明

WITH指定は、各呼出し規約に従って作成されたプログラムを呼び出すことを指定します。WITH指定を省略指定した場合、COBOLの定めたリンケージの規約を使用します。

2.4.574 JMN2958I-S

手続き部始め見出しのWITH指定には、C、PASCAL、またはSTDCALLが指定されなければなりません。WITH指定は無効になります。

例題

```
[P2958. cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      P2958.  
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.  
000004 DATA             DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 LINKAGE           SECTION.  
000007 01 PARAM1         PIC X(8).  
000008 PROCEDURE         DIVISION  
000009                     WITH COBOL LINKAGE
```

```
000010          USING PNAME2.  
000011 END PROGRAM      P2958.
```

P2958.cob 9: JMN2958I-S 手続き部始め見出しのWITH指定には, C, PASCAL, またはSTDCALLが指定されなければなりません. WITH指定は無効になります.

詳細な説明

WITH指定は, 呼ばれるプログラムの呼出し規約を指定します. WITH指定を省略指定した場合, COBOLの定めたリンケージの規約を使用します.

2.4.575 JMN2959I-S

ENTRY文のWITH指定は, ENTRY文を含むプログラムの手続き部見出しのWITH指定と等しくなければなりません. 書かれたとおりに受け入れます.

例題

```
[P2959.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      P2959.  
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.  
000004 DATA            DIVISION.  
000005 LINKAGE          SECTION.  
000006 01 LK1           PIC X(2).  
000007 PROCEDURE        DIVISION  
000008                 WITH C LINKAGE  
000009                 USING LK1.  
000010     EXIT PROGRAM.  
000011*  
000012     ENTRY "P2959ENT"  
000013         WITH STDCALL.  
000014 END PROGRAM      P2959.
```

P2959.cob 13: JMN2959I-S ENTRY文のWITH指定は, ENTRY文を含むプログラムの手続き部見出しのWITH指定と等しくなければなりません. 書かれたとおりに受け入れます.

詳細な説明

同一翻訳単位内で, 最外部プログラムの手続き部の見出しとENTRY文のWITH指定で指定する呼出し規約が異なってはなりません.

2.4.576 JMN2960I-S

@1@文のAT指定とLINE指定またはCOLUMN指定を同時に記述することはできません. @2@指定は無効になります.

埋め込みの説明

@1@ : ACCEPTまたはDISPLAY.

@2@ : AT, LINEまたはCOLUMN.

例題

```
[P2960.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.      P2960.  
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.  
000004 DATA            DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 01 PNAME          PIC X(8) VALUE "P2960".  
000007 PROCEDURE        DIVISION.  
000008     DISPLAY PNAME AT 1010  
000009                 AT LINE NUMBER 12.
```

```
000010      EXIT PROGRAM.
000011 END PROGRAM      P2960.
```

P2960.cob 9: JMN2960I-S DISPLAY文のAT指定とLINE指定またはCOLUMN指定を同時に記述することはできません。LINE指定は無効になります。

詳細な説明

ATでは、物理画面上の位置を指定します。LINE NUMBER句とCOLUMN NUMBER句でそれぞれ行・列を指定する書き方と、行と列を表す4桁または6桁の数字で指定する書き方の2つの書き方がありますが、これらを両方同時に書くことはできません。

2.4.577 JMN2961I-S

@1@文のWITH指定に@2@は複数指定することはできません。WITH指定は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : ACCEPTまたはDISPLAY.

@2@ : AUTO, BACKGROUND-COLOR, BELL, BLANK, FOREGROUND-COLOR, FULL, GRID, HIGHLIGHT, LEFT-JUSTIFY, LEFTLIGHTN, LOWLIGHT, OVERLINE, PROMPT, REQUIRED, REVERSE-VIDEO, RIGHT-JUSTIFY, SECURE, SIZE, SPACE-FILL, TRAILING-SIGN, UNDERLINE, UPDATEまたはZERO-FILL.

例題

```
[P2961.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2961.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA              DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 PSTATE         PIC X(8).
000007 LINKAGE           SECTION.
000008 PROCEDURE         DIVISION.
000009     ACCEPT PSTATE WITH BACKGROUND-COLOR IS 0
000010                               FOREGROUND-COLOR IS 1
000011                               BACKGROUND-COLOR IS 3.
000012 END PROGRAM      P2961.
```

P2961.cob 11: JMN2961I-S ACCEPT文のWITH指定にBACKGROUND-COLORは複数指定することはできません。WITH指定は無効になります。

2.4.578 JMN2962I-S

@1@文中にWITH指定に、@3@と@2@を同時に指定することはできません。WITH指定は無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : ACCEPTまたはDISPLAY.

@2@ : LOWLIGHT, HIGHLIGHT, LEFT-JUSTIFYまたはRIGHT-JUSTIFY.

@3@ : LOWLIGHT, HIGHLIGHT, LEFT-JUSTIFYまたはRIGHT-JUSTIFY.

例題

```
[P2962.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2962.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA              DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 PSTATE         PIC X(8).
000007 LINKAGE           SECTION.
000008 PROCEDURE         DIVISION.
```



```

000009    ACCEPT  PSTATE AT 1010
000010                WITH AUTO.
000011    DISPLAY PSTATE WITH LOWLIGHT
000012                HIGHLIGHT.
000013 END PROGRAM    P2962.

```

P2962.cob 12: JMN2962I-S DISPLAY文中にWITH指定に、LOWLIGHTとHIGHLIGHTを同時に指定することはできません。WITH指定は無効となります。

詳細な説明

以下のWITH指定は、同時に指定できません。

- HIGHLIGHTとLOWLIGHT
- LEFT-JUSTIFYとRIGHT-JUSTIFY

2.4.579 JMN2963I-S

@1@文のWITH指定に@2@は指定できません。@2@は無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : ACCEPTまたはDISPLAY.

@2@ : BLANK, AUTO, FULL, LEFT-JUSTIFY, PROMPT, REQUIRED, RIGHT-JUSTIFY, SPACE-FILL, TRAILING-SIGN, UPDATEまたはZERO-FILL

例題

```

[P2963.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2963.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 PSTATE        PIC X(8).
000007 LINKAGE          SECTION.
000008 PROCEDURE         DIVISION.
000009    ACCEPT  PSTATE AT 1010
000010                WITH AUTO.
000011    DISPLAY PSTATE AT 1010
000012                WITH AUTO.
000013    EXIT PROGRAM.
000014 END PROGRAM    P2963.

```

P2963.cob 12: JMN2963I-S DISPLAY文のWITH指定にAUTOは指定できません。AUTOは無効となります。

詳細な説明

スクリーン操作機能のACCEPT文には、以下のWITH指定は指定できません。

- BLANK

スクリーン操作機能のDISPLAY文には、以下のWITH指定は指定できません。

- AUTO
- FULL
- LEFT-JUSTIFY
- PROMPT
- RIGHT-JUSTIFY
- REQUIRED

- SECURE
- SPACE-FILL
- TRAILING-SIGN
- UPDATE
- ZERO-FILL

2.4.580 JMN2964I-S

@1@文中のWITH句の@2@指定に誤りがあります。

埋め込みの説明

@1@ : ACCEPTまたはDISPLAY.

@2@ : BACKGROUND-COLOR, FOREGROUND-COLOR, BLANK, PROMPTまたはSIZE.

例題

```
[P2964. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2964.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 PSTATE         PIC X(8).
000007 LINKAGE           SECTION.
000008 PROCEDURE         DIVISION.
000009     DISPLAY PSTATE AT 1010
000010                     WITH BACKGROUND-COLOR .
000011     EXIT PROGRAM.
000012 END PROGRAM      P2964.
```

P2964.cob 10: JMN2964I-S DISPLAY文中のWITH句のBACKGROUND-COLOR指定に誤りがあります。

詳細な説明

以下の場合に、この診断メッセージが出力されます。

- BLANKに続く語が、SCREENでもLINEでもない場合
- BACKGROUND-COLOR/FOREGROUND-COLORの指定が整数でない場合
- CONTROLに続く語が、一意名でも定数でもない場合
- PROMPTに続く語が、一意名でも定数でもない場合
- SIZEに続く語が、一意名でも整数でもない場合

構文を確認して、誤りを修正してください。

2.4.581 JMN2965I-S

AT, LINE, COLUMN, MODE, WITH等の指定のある@1@文の@2@指定にはCRTが記述されなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : ACCEPTまたはDISPLAY.

@2@ : FROMまたはUPON.

例題

```
[P2965. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000002 PROGRAM-ID.      P2965.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA              DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 PSTATE          PIC X(8).
000007 LINKAGE            SECTION.
000008 PROCEDURE          DIVISION.
000009     DISPLAY PSTATE AT 1010
000010                     UPON CONSOLE.
000011 END PROGRAM        P2965.

```

P2965.cob 10: JMN2965I-S AT, LINE, COLUMN, MODE, WITH等の指定のあるDISPLAY文のUPON指定にはCRTが記述されなければなりません。

2.4.582 JMN2966I-S

画面節のデータ項目の参照はデータ名を用いなければなりません。

例題

```

[P2966.cob]
000001 PROGRAM-ID.      P2966.
000002 ENVIRONMENT      DIVISION.
000003 DATA              DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WD1              PIC X(2) VALUE "AA".
000006 SCREEN            SECTION.
000007 01 HY0.
000008     02 HY01          OCCURS 10 TIMES.
000009     03                PIC X(30) USING WD1.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011     DISPLAY HY01.
000012 END PROGRAM        P2966.

```

P2966.cob 11: JMN2966I-S 画面節のデータ項目の参照はデータ名を用いなければなりません。

詳細な説明

ACCEPT文あるいはDISPLAY文で参照するデータ名に対応する画面データ記述項が、OCCURS句を持つ項目であるか、あるいはOCCURS句を持つ項目に従属する項目である場合に、この診断メッセージが出力されます。

2.4.583 JMN2970I-S

再帰属性を持つプログラム定義で、'@1@'は使用できません。

埋め込みの説明

@1@ : スクリーン操作のACCEPT文およびDISPLAY文

例題

```

[P2970.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.  P2970 IS RECURSIVE PROGRAM.
000003 DATA DIVISION.
000004 BASED-STORAGE SECTION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 REC-1.
000007     02 KEY-REC PIC XX.
000008     02 FILLER PIC X(78).
000009 01 PT POINTER.
000010 PROCEDURE DIVISION.

```

```
000011 ACCEPT REC-1 FROM CRT.  
000012 END PROGRAM P2970.
```

P2970.cob 11: JMN2970I-S 再帰属性を持つプログラム定義で、'スクリーン操作のACCEPT文およびDISPLAY文'は使用できません。

2.4.584 JMN2971I-S

COBOLの語は30字以内でなければなりません。先頭から30字をCOBOLの語とみなします。

例題

```
[P2971.cob]  
000001 @OPTIONS ARITHMETIC(31)  
000002 IDENTIFICATION DIVISION.  
000003 PROGRAM-ID. P2971.  
000004 PROCEDURE DIVISION.  
000005 GO TO 1234567890123456789012345678901.  
000006 123456789012345678901234567890.  
000007 END PROGRAM P2971.
```

P2971.cob 5: JMN2971I-S COBOLの語は30字以内でなければなりません。先頭から30字をCOBOLの語とみなします。

2.4.585 JMN2985I-S

画面記述項のPICTURE句にはFROM, TOまたはUSINGを指定しなければなりません。

例題

```
[P2985.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. P2985.  
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 DATA DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 SCREEN SECTION.  
000007 01 SC1 PIC X(2).  
000008 PROCEDURE DIVISION.  
000009 END PROGRAM P2985.
```

P2985.cob 7: JMN2985I-S 画面記述項のPICTURE句にはFROM, TOまたはUSINGを指定しなければなりません。

詳細な説明

画面データ記述項(画面節で宣言する記述項)のPICTURE句(PICTUREとPICは同義語です)には、TO, FROMまたはUSINGのいずれかの指定を書きます。それぞれの意味は以下のとおりです。

- ・ TO指定のみ …入力項目(画面からの入力を取り込む項目)を宣言する
- ・ FROM指定のみ …出力項目(画面へ出力する項目)を宣言する
- ・ USING指定あるいはFROM/TO指定両方 …更新項目(画面からの入力の取り込み、画面への出力両方に使用する項目)を宣言する

2.4.586 JMN2986I-S

画面節の数字項目、数字編集項目には@1@句は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : SIZE.

例題

```
[P2986. cob]
000001 PROGRAM-ID.      P2986.
000002 ENVIRONMENT      DIVISION.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE  SECTION.
000005 SCREEN           SECTION.
000006 01 SC1           PIC S9(4) SIZE IS 12.
000007 PROCEDURE        DIVISION.
000008 END PROGRAM       P2986.
```

P2986.cob 6: JMN2986I-S 画面節の数字項目、数字編集項目にはSIZE句は指定できません。

2.4.587 JMN2988I-S

宛先XAPまたはPRTの表示ファイルに指定したFORMAT句のデータ名の項目長は30バイト以下でなければなりません。

例題

```
[P2988. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2988.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT PRFILE1 ASSIGN TO GS-S
000007
000008     SYMBOLIC DESTINATION IS "XAP"
000009     FORMAT             IS WFMT
000010     GROUP             IS WGRP
000011     FILE STATUS      IS WFS1.
000012 I-O-CONTROL.
000013 DATA             DIVISION.
000014 FILE              SECTION.
000015 FD PRFILE1.
000016 01 PRF1REC.
000017     02            PIC X(80).
000018 WORKING-STORAGE SECTION.
000019 01 WFS1            PIC X(2).
000020 01 WFMT            PIC X(31).
000021 01 WGRP            PIC X(8).
000022 PROCEDURE        DIVISION.
000023 END PROGRAM       P2988.
```

P2988.cob 9: JMN2988I-S 宛先XAPまたはPRTの表示ファイルに指定したFORMAT句のデータ名の項目長は30バイト以下でなければなりません。

2.4.588 JMN2993I-S

'DECIMAL-POINT IS COMMA'が指定された翻訳単位では、CSV-FORMATまたはTSV-FORMATが指定されたSTRING文またはUNSTRING文は指定できません。

例題

```
[P2993. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P2993.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION     SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     DECIMAL-POINT IS COMMA.
000007 DATA             DIVISION.
```

```

000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 WDATA01 PIC X(5).
000010 01 WDATA02 PIC X(5).
000011 01 WDATA03 PIC X(10).
000012 01 WDATA04 PIC 99,99.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     STRING WDATA01 WDATA02 INTO WDATA03
000015     BY CSV-FORMAT.
000016 END PROGRAM P2993.

```

P2993.cob 14: JMN2993I-S 'DECIMAL-POINT IS COMMA'が指定された翻訳単位では、CSV-FORMATまたはTSV-FORMATが指定されたSTRING文またはUNSTRING文は指定できません。

詳細な説明

DECIMAL-POINT IS COMMAは使用しないでください。

2.4.589 JMN2994I-S

CSV-FORMATまたはTSV-FORMATが指定されたSTRING文に記述できない表意定数が含まれています。

例題

```

[P2994. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P2994.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDATA01 PIC X(4).
000007 01 WDATA02 PIC X(8).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009     STRING WDATA01 ZERO INTO WDATA02
000010     BY CSV-FORMAT.
000011 END PROGRAM P2994.

```

P2994.cob 9: JMN2994I-S CSV-FORMATまたはTSV-FORMATが指定されたSTRING文に記述できない表意定数が含まれています。

詳細な説明

以下の表意定数は指定できません。

- ZERO
- HIGH-VALUE
- LOW-VALUE
- QUOTE
- ALL定数
- 記号文字

2.4.590 JMN2996I-S

エンコード方式にUTF32を指定した日本語項目または日本語編集項目の長さは、536870911字以下でなければなりません。536870911字とみなします。

例題

```

000001 @OPTIONS ENCODE (UTF8, UTF32)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P2996.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.

```

000005 DATA	DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE	SECTION.
000007 01 N1	PIC N(536870912).
000008 PROCEDURE	DIVISION.
000009 END PROGRAM	P2996.

p2996.cob 7: JMN2996I-S エンコード方式にUTF32を指定した日本語項目または日本語編集項目の長さは、536870911字以下でなければなりません。536870911字とみなします。

2.4.591 JMN2999I-S

@1@に使用できない文字が含まれています。この文は無効になります。

埋め込みの説明

@1@: プログラム名, 入口名, メソッド名

詳細な説明

プログラム名, 二次入口名およびメソッド名には、シフトJISで表現できる文字しか使用できません。

2.5 JMN3000—JMN3999

3000	3001	3002	3003	3004	3005	3006	3007	3008	3009
3010	3011	3012	3013	3014	3015	3016	3017	3018	3021
3022	3023	3024	3025	3028	3029	3030	3034	3036	3037
3038	3039	3040	3041	3043	3046	3048	3049	3050	3051
3053	3054	3056	3057	3060	3061	3062	3063	3064	3065
3066	3067	3068	3069	3070	3071	3072	3073	3074	3075
3076	3076	3077	3078	3079	3080	3081	3083	3084	3086
3087	3088	3090	3091	3092	3095	3097	3098	3105	3107
3108	3109	3110	3111	3116	3117	3119	3121	3123	3124
3127	3128	3130	3132	3135	3136	3141	3142	3143	3144
3145	3146	3147	3148	3149	3150	3151	3152	3153	3154
3157	3158	3159	3160	3161	3162	3163	3164	3165	3166
3169	3170	3175	3181	3182	3184	3188	3189	3190	3191
3192	3193	3194	3195	3196	3198	3199	3200	3202	3203
3207	3218	3219	3222	3223	3226	3229	3231	3236	3238
3240	3241	3242	3243	3244	3245	3246	3248	3249	3250
3259	3262	3264	3265	3266	3268	3269	3270	3271	3272
3273	3275	3276	3277	3278	3280	3281	3286	3287	3291
3298	3301	3304	3307	3309	3326	3327	3328	3330	3331
3332	3333	3334	3335	3337	3338	3339	3340	3342	3343
3344	3345	3346	3347	3348	3349	3351	3352	3353	3354
3355	3358	3359	3361	3362	3363	3364	3366	3367	3268
3269	3371	3372	3373	3374	3375	3376	3377	3378	3379
3380	3381	3382	3383	3384	3385	3386	3388	3391	3392
3393	3394	3395	3396	3397	3398	3399	3400	3401	3402
3403	3404	3405	3406	3407	3408	3410	3412	3413	3414
3415	3421	3422	3423	3424	3427	3428	3429	3430	3432

3433	3434	3437	3438	3439	3440	3441	3442	3443	3444
3445	3446	3447	3448	3449	3450	3458	3459	3460	3461
3462	3463	3464	3465	3466	3467	3468	3469	3470	3471
3472	3476	3482	3483	3484	3485	3508	3516	3518	3519
3524	3525	3526	3530	3531	3533	3534	3535	3536	3549
3551	3552	3553	3554	3555	3557	3558	3559	3562	3563
3564	3565	3566	3567	3568	3569	3570	3571	3572	3573

2.5.1 JMN3000I-S

@1@に対する@2@次元目の添字の値は、正でなければなりません。添字の値を1とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 添字付けされたデータ項目

@2@ : ゼロ以下だった添字の次元数

例題

```
[C3000.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3000.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01  GR01.
000006     02  TBL01 OCCURS 10 TIMES.
000007     03  TBL02 OCCURS 10 TIMES.
000008     04  AN01 PIC X.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010     MOVE SPACE TO AN01(1, 0).
```

C3000.cob 10: JMN3000I-S 'AN01'に対する2次元目の添字の値は、正でなければなりません。添字の値を1とみなします。

2.5.2 JMN3001I-S

@1@に対する@2@次元目の添字の値は、@3@以下でなければなりません。添字の値を1とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 添字付けされたデータ項目

@2@ : 誤った添字が指定された次元数

@3@ : 正しい添字の値の範囲

例題

```
[C3001.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3001.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01  GR01.
000006     02  TBL01 OCCURS 10 TIMES.
000007     03  TBL02 OCCURS 10 TIMES.
000008     04  AN01 PIC X.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010     MOVE SPACE TO AN01(1, 11).
```

C3001.cob 10: JMN3001I-S 'AN01'に対する2次元目の添字の値は、10以下でなければなりません。添字の値を1とみなします。

2.5.3 JMN3002I-S

@1@に対する添字の数は、@2@個でなければなりません。先頭の余分な添字は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 添字付けされたデータ項目

@2@ : 正しい添字の個数

例題

```
[C3002.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3002.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 GR01.
000006 02 TBL01 OCCURS 10 TIMES.
000007 03 TBL02 OCCURS 10 TIMES.
000008 04 AN01 PIC X.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 MOVE SPACE TO AN01(1, 2, 3).
```

C3002.cob 10: JMN3002I-S 'AN01'に対する添字の数は、2個でなければなりません。先頭の余分な添字は無効になります。

2.5.4 JMN3003I-S

@1@に対する添字の数は、@2@個でなければなりません。上位次元の添字の値を1とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 添字付けされたデータ項目

@2@ : 正しい添字の個数

例題

```
[C3003.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3003.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 GR01.
000006 02 TBL01 OCCURS 10 TIMES.
000007 03 TBL02 OCCURS 10 TIMES.
000008 04 AN01 PIC X.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 MOVE SPACE TO AN01(2).
```

C3003.cob 10: JMN3003I-S 'AN01'に対する添字の数は、2個でなければなりません。上位次元の添字の値を1とみなします。

2.5.5 JMN3004I-W

@1@に対する@2@次元目の指標名@3@は、その表のINDEXED BY指定で記述したものでなければなりません。その表の指標名とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 添字付けされたデータ項目

@2@ : 誤った添字付けをした次元数

@3@ : 誤った指標名

例題

```
[C3004.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3004.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 GR01.
000006 02 TBL01 OCCURS 10 TIMES INDEXED BY IX01.
000007 03 TBL02 OCCURS 10 TIMES.
000008 04 AN01 PIC X.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 MOVE SPACE TO AN01(1, IX01).
000011 END PROGRAM C3004.
```

C3004.cob 10: JMN3004I-W 'AN01'に対する2次元目の指標名'IX01'は、その表のINDEXED BY指定で記述したものでなければなりません。その表の指標名とみなします。

2.5.6 JMN3005I-S

部分参照されたデータ項目@1@のUSAGEは、DISPLAYでなければなりません。USAGEを、DISPLAYとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 部分参照されたデータ項目

例題

```
[C3005.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3005.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 SBITEM PIC S9(9) BINARY.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007 MOVE ZERO TO SBITEM(1:2).
000008 END PROGRAM C3005.
```

C3005.cob 7: JMN3005I-S 部分参照されたデータ項目'SBITEM'のUSAGEは、DISPLAYでなければなりません。USAGEを、DISPLAYとみなします。

2.5.7 JMN3006I-S

@1@に対する部分参照子の長さは、正でなければなりません。長さを1とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 部分参照されたデータ項目

例題

```
[C3006.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3006.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 SBITEM PIC X(10).
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007 MOVE ZERO TO SBITEM(1:0).
000008 END PROGRAM C3006.
```

C3006.cob 7: JMN3006I-S 'SBITEM'に対する部分参照子の長さは、正でなければなりません。長さを1とみなします。

2.5.8 JMN3007I-S

@1@に対する部分参照子の最左端文字位置は、正でなければなりません。最左端文字位置を1とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 部分参照されたデータ項目

例題

```
[C3007.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3007.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01  SBITEM PIC X(10).
000006 PROCEDURE  DIVISION.
000007     MOVE ZERO TO SBITEM(0:1).
000008 END PROGRAM  C3007.
```

C3007.cob 7: JMN3007I-S 'SBITEM'に対する部分参照子の最左端文字位置は、正でなければなりません。最左端文字位置を1とみなします。

2.5.9 JMN3008I-S

@1@に対する部分参照子の長さは、@2@以下でなければなりません。長さを1とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 部分参照されたデータ項目

@2@ : 正しい長さの範囲

例題

```
[C3008.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3008.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01  SBITEM PIC X(10).
000006 PROCEDURE  DIVISION.
000007     MOVE ZERO TO SBITEM(1:11).
000008 END PROGRAM  C3008.
```

C3008.cob 7: JMN3008I-S 'SBITEM'に対する部分参照子の長さは、10以下でなければなりません。長さを1とみなします。

2.5.10 JMN3009I-S

@1@に対する部分参照子の最左端文字位置は、@2@以下でなければなりません。最左端文字位置を1とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 部分参照されたデータ項目

@2@ : 正しい最左端文字位置の範囲

例題

```
[C3009.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3009.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01  SBITEM PIC X(10).
```

```
000006 PROCEDURE DIVISION.  
000007     MOVE ZERO TO SBITEM(11:1).  
000008 END PROGRAM C3009.
```

C3009.cob 7: JMN3009I-S 'SBITEM'に対する部分参照子の最左端文字位置は、10以下でなければなりません。最左端文字位置を1とみなします。

2.5.11 JMN3010I-S

@1@に対する部分参照子の最左端文字位置と長さの合計から1を引いたものは、@2@以下でなければなりません。最左端文字位置と長さをそれぞれ1とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 部分参照されたデータ項目

@2@ : 正しい最左端文字位置と長さの合計から1を引いた値の範囲

例題

```
[C3010.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C3010.  
000003 DATA DIVISION.  
000004 WORKING-STORAGE SECTION.  
000005 01 SBITEM PIC X(10).  
000006 PROCEDURE DIVISION.  
000007     MOVE ZERO TO SBITEM(6:6).  
000008 END PROGRAM C3010.
```

C3010.cob 7: JMN3010I-S 'SBITEM'に対する部分参照子の最左端文字位置と長さの合計から1を引いたものは、10以下でなければなりません。最左端文字位置と長さをそれぞれ1とみなします。

2.5.12 JMN3011I-S

除数の値がゼロです。ここでいうゼロとは、値ゼロの数字定数、表意定数ZERO、演算の結果で有効けたがすべて消失した場合のいずれかです。受取り側項目のPICTURE句で指定されたけた数だけの9を転記します。ただし、算術式の途中でこのような除算が実行されると、その結果は30けたの9として扱われます。

例題

```
[C3011.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C3011.  
000003 DATA DIVISION.  
000004 WORKING-STORAGE SECTION.  
000005 01 ED01 PIC S9(9).  
000006 01 ED02 PIC S9(9).  
000007 PROCEDURE DIVISION.  
000008     COMPUTE ED01 = ED02 / 0.  
000009 END PROGRAM C3011.
```

C3011.cob 8: JMN3011I-S 除数の値がゼロです。ここでいうゼロとは、値ゼロの数字定数、表意定数ZERO、演算の結果で有効けたがすべて消失した場合のいずれかです。受取り側項目のPICTURE句で指定されたけた数だけの9を転記します。ただし、算術式の途中でこのような除算が実行されると、その結果は30けたの9として扱われます。

2.5.13 JMN3012I-W

演算の中間結果で、有効けたがすべて消失しています。結果をゼロとして処理を続けます。

例題

```
[C3012.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3012.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01  ED01  PIC  S9(18).
000006 01  ED02  PIC  S9P(15).
000007 01  ED03  PIC  S9P(15).
000008 PROCEDURE  DIVISION.
000009     COMPUTE ED01 = ED02 * ED03.
```

C3012.cob 9: JMN3012I-W 演算の中間結果で、有効けたがすべて消失しています。結果をゼロとして処理を続けます。

詳細な説明

中間結果が固定小数点の場合、その最大桁数は30桁と定められています。演算要素から求められた中間結果の桁数が、整数部が30桁以下または小数部が30桁以下となった場合、演算処理をしても結果が最大桁数である30桁の部分に反映されないことになります。この場合は演算処理は行わずに、演算結果をゼロとして以降の処理が継続されます。

2.5.14 JMN3013I-W

算術式中でゼロのゼロ乗を計算しようとしています。ここでいうゼロとは、値ゼロの数字定数、表意定数ZERO、演算の中間結果で有効けたがすべて消失した場合のいずれかです。結果をゼロとして処理を続けます。

例題

```
[C3013.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3013.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01  ED01  PIC  S9(18).
000006 PROCEDURE  DIVISION.
000007     COMPUTE ED01 = 0 ** 0.
000008 END PROGRAM  C3013.
```

C3013.cob 7: JMN3013I-W 算術式中でゼロのゼロ乗を計算しようとしています。ここでいうゼロとは、値ゼロの数字定数、表意定数ZERO、演算の中間結果で有効けたがすべて消失した場合のいずれかです。結果をゼロとして処理を続けます。

2.5.15 JMN3014I-I

(CONF)文字作用対象と数字作用対象の転記で、数字作用対象が小数点の左端にPを持っています。数字作用対象のPの位置にゼロがあるかのように転記します。

例題

```
[C3014.cob]
000001 @OPTIONS CONF(68)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.    C3014.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01  ED01  PIC  9P.
000007 01  AN01  PIC  X.
000008 PROCEDURE  DIVISION.
000009     MOVE ED01 TO AN01.
000010 END PROGRAM  C3014.
```

C3014.cob 9: JMN3014I-I (CONF)文字作用対象と数字作用対象の転記で、数字作用対象が小数点の左端にPを持っています。数字作用対象のPの位置にゼロがあるかのように転記します。

2.5.16 JMN3015I-I

(CONF)ブール項目またはブール定数を英数字項目に転記しています。英数字項目間の基本項目転記とします。

例題

```
[C3015.cob]
000001 @OPTIONS CONF (V52)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3015.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 EB01 PIC 1.
000007 01 AN01 PIC X.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009     MOVE EB01 TO AN01.
000010 END PROGRAM C3015.
```

C3015.cob 9: JMN3015I-I (CONF)ブール項目またはブール定数を英数字項目に転記しています。英数字項目間の基本項目転記とします。

2.5.17 JMN3016I-I

(CONF)ALL定数を数字項目または数字編集項目に転記しています。ALL定数によって指定された文字列を受取り側項目と同じ長さとなるまで1字ずつ右の方へ反復して作成し、転記します。

例題

```
[C3016.cob]
000001 @OPTIONS CONF (68)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3016.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 ED01 PIC 9(5).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008     MOVE ALL "123" TO ED01.
000009 END PROGRAM C3016.
```

C3016.cob 8: JMN3016I-I (CONF)ALL定数を数字項目または数字編集項目に転記しています。ALL定数によって指定された文字列を受取り側項目と同じ長さとなるまで1字ずつ右の方へ反復して作成し、転記します。

2.5.18 JMN3017I-I

(CONF)OCCURS DEPENDING ON句とその目的語を共に含む集団項目が、受取り側に指定されています。受取り側項目の最大長で転記します。

例題

```
[C3017.cob]
000001 @OPTIONS CONF (74)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3017.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 GR01.
000007     02 OD001 PIC 9(4) BINARY VALUE 3.
000008     02 TBL01 PIC X(10) OCCURS 10 DEPENDING ON OD001.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010     MOVE SPACE TO GR01.
000011 END PROGRAM C3017.
```

C3017.cob 10: JMN3017I-I (CONF)OCCURS DEPENDING ON句とその目的語を共に含む集団項目が、受取り側に指定されています。受取り側項目の最大長で転記します。

2.5.19 JMN3018I-S

数字項目に転記する文字定数は、数字のみで構成されていなければなりません。

例題

```
[C3018. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3018.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 ED01 PIC 9(5).
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007 MOVE "1234E" TO ED01.
000008 END PROGRAM C3018.
```

C3018.cob 7: JMN3018I-S 数字項目に転記する文字定数は、数字のみで構成されていなければなりません。

2.5.20 JMN3021I-S

2進項目に転記される数字定数は、領域に入り切る値でなければなりません。

例題

```
[C3021. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3021.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 BI01 PIC S9(4) COMPUTATIONAL.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007 MOVE +54321 TO BI01.
000008 END PROGRAM C3021.
```

C3021.cob 7: JMN3021I-S 2進項目に転記される数字定数は、領域に入り切る値でなければなりません。

詳細な説明

TRUNCオプションが無効、かつ2進項目に対して定義桁を超える桁の数字定数を転記する場合、その数字定数が2進値として受取側の2進項目の領域長に収まる値ならば、その値がそのまま転記されます。しかし2進項目の領域長に収まらない場合は、本エラーメッセージが出力されて翻訳は無効となります。ちなみにTRUNCオプションが有効な場合は、数字定数が2進項目の定義桁に合わせて桁落としされて格納されます。

2.5.21 JMN3022I-W

非整数項目@1@は、英数字項目@2@に転記できません。送出し側のデータ項目と同じけた数を持つ符号なし外部10進項目に転記した後で、その外部10進項目を英数字項目として再定義したものを受取り側の英数字項目に転記したかのような処理をします。

埋め込みの説明

@1@ : 送出し側のデータ項目

@2@ : 受取り側のデータ項目

例題

```
[C3022. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3022.
```

```
000003 DATA DIVISION.  
000004 WORKING-STORAGE SECTION.  
000005 01 ID01 PIC 9V9 PACKED-DECIMAL.  
000006 01 AN01 PIC X(4).  
000007 PROCEDURE DIVISION.  
000008     MOVE ID01 TO AN01.  
000009 END PROGRAM C3022.
```

C3022.cob 8: JMN3022I-W 非整数項目'ID01'は、英数字項目'AN01'に転記できません。送出し側のデータ項目と同じけた数を持つ符号なし外部10進項目に転記した後で、その外部10進項目を英数字項目として再定義したものを受取り側の英数字項目に転記したかのような処理をします。

2.5.22 JMN3023I-S

@1@は、@2@に転記できません。

埋め込みの説明

@1@ : 送出し側要素

@2@ : 受取り側要素

例題

```
[C3023.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C3023.  
000003 DATA DIVISION.  
000004 WORKING-STORAGE SECTION.  
000005 01 AL01 PIC A.  
000006 01 ED01 PIC 9.  
000007 PROCEDURE DIVISION.  
000008     MOVE AL01 TO ED01.
```

C3023.cob 8: JMN3023I-S 'AL01'は、'ED01'に転記できません。

詳細な説明

明に書いたMOVE文または暗黙のMOVE文において、送出し側と受取り側の組み合わせが規則として許されない場合に、このメッセージが出力されます。組み合わせの規則は“COBOL文法書”の“6.3.5 転記の規則”に示されていますので、そちらをご確認ください。

2.5.23 JMN3024I-W

[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

中間結果のけた数が30けたを超えています。中間結果のけた数を30けたにして処理を続けます。

[Linux64]

中間結果のけた数が@1@けたを超えています。中間結果のけた数を@1@けたにして処理を続けます。

埋め込みの説明

@1@ : 中間結果精度の最大けた数

例題

```
[C3024.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C3024.  
000003 DATA DIVISION.  
000004 WORKING-STORAGE SECTION.  
000005 01 ED01 PIC S9(16).  
000006 01 ED02 PIC SV9(16).  
000007 PROCEDURE DIVISION.  
000008     ADD ED01 TO ED02.
```


C3024.cob 8: JMN3024I-W 中間結果のけた数が30けたを超えています。中間結果のけた数を30けたにして処理を続けます。

2.5.24 JMN3025I-S

ブール式は、条件式に指定できません。

例題

```
[C3025.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3025.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 1(8) BIT.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 IF ( A ) = B"00001111" THEN
000010 STOP RUN.
```

C3025.cob 9: JMN3025I-S ブール式は、条件式に指定できません。

2.5.25 JMN3028I-S

CALL文の一意名@1@は、英数字項目または日本語項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名

例題

```
[C3028.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3028.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 LIB-NAME PIC S9(8).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 CALL LIB-NAME.
```

C3028.cob 9: JMN3028I-S CALL文の一意名'LIB-NAME'は、英数字項目または日本語項目でなければなりません。

2.5.26 JMN3029I-S

このCALL文では、USING指定に手続き名を記述できません。

例題

```
[C3029.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3029.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007 P-START.
000008 CALL "C3029SUB" USING INT-START.
000009 INT-START.
000010 EXIT PROGRAM.
```

```

000011 IDENTIFICATION DIVISION.
000012 PROGRAM-ID. C3029SUB.
000013 ENVIRONMENT DIVISION.
000014 DATA DIVISION.
000015 LINKAGE SECTION.
000016 01 RETURN-P POINTER.
000017 PROCEDURE DIVISION USING RETURN-P.
000018 DISPLAY "C3029SUB".
000019 END PROGRAM C3029SUB.
000020 END PROGRAM C3029.

```

C3029.cob 8: JMN3029I-S このCALL文では、USING指定に手続き名を記述できません。

2.5.27 JMN3030I-S

CANCEL文の一意名@1@は、英数字項目または日本語項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名

例題

```

[C3030. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3030.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 TEST-P PIC 9(8).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 CANCEL TEST-P.

```

C3030.cob 9: JMN3030I-S CANCEL文の一意名'TEST-P'は、英数字項目または日本語項目でなければなりません。

2.5.28 JMN3034I-S

SET文で@2@により@1@の内容は変更できません。正しい組合せを指定してください。

埋め込みの説明

@1@ : 設定される項目の名標

@2@ : TO句に指定された項目の名標または整定数

例題

```

[C3034. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3034.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC S9(8) BINARY.
000007 01 B INDEX.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010 SET A TO B.
000011 STOP RUN.

```

C3034.cob 10: JMN3034I-S SET文で'B'により'A'の内容は変更できません。正しい組合せを指定してください。

2.5.29 JMN3036I-S

INITIALIZE文のREPLACING指定で、@1@は、項類@2@の項目へ転記できる項類でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 名標または"定数"

@2@ : REPLACING句で指定できる項類を表すキーワード

例題

```
[C3036.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3036.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     01 A PIC X(10).
000007     01 B PIC 99 VALUE 10.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009     P-START.
000010         INITIALIZE A REPLACING ALPHABETIC BY B
000011                     NUMERIC BY B.
000012     STOP RUN.
```

C3036.cob 10: JMN3036I-S INITIALIZE文のREPLACING指定で、'B'は、項類ALPHABETICの項目へ転記できる項類でなければなりません。

2.5.30 JMN3037I-S

INITIALIZE文に、DEPENDING指定のOCCURS句を含む項目@1@は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : 受取り側に指定された項目名

例題

```
[C3037.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3037.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     01 A.
000007     02 B PIC X OCCURS 1 TO 10 DEPENDING ON C.
000008     01 C PIC 99.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010     P-START.
000011         INITIALIZE A C.
000012     STOP RUN.
```

C3037.cob 11: JMN3037I-S INITIALIZE文に、DEPENDING指定のOCCURS句を含む項目'A'は指定できません。

2.5.31 JMN3038I-S

PERFORM文中の@1@は、数字項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名

例題

```
[C3038.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3038.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 DATA  DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01  A          PIC 99.
000007 01  B          PIC XX.
000008 PROCEDURE  DIVISION.
000009     PERFORM VARYING A FROM B BY 1 UNTIL A < 0
000010     COMPUTE A = A - 1
000011     END-PERFORM.
000012     STOP RUN.
```

C3038.cob 9: JMN3038I-S PERFORM文中の'B'は、数字項目でなければなりません。

2.5.32 JMN3039I-S

PERFORM文中の@1@は、整数項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@: 一意名

例題

```
[C3039.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3039.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 DATA  DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01  A          PIC 9V9.
000007 PROCEDURE  DIVISION.
000008     PERFORM L1 A TIMES.
000009 L1.
000010     DISPLAY A.
000011 L2.
000012     STOP RUN.
```

C3039.cob 8: JMN3039I-S PERFORM文中の'A'は、整数項目でなければなりません。

2.5.33 JMN3040I-S

@2@文中の一意名@1@は、INDEXED BY指定を持つOCCURS句が指定されたデータ項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@: 一意名

@2@: SEARCH/SEARCH ALL

例題

```
[C3040.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3040.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 DATA  DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01  TBL.
000007     02  A OCCURS 5 TIMES.
```

```
000008      03  B PIC 9.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010      SEARCH A WHEN B(1) = 0
000011      STOP RUN.
```

C3040.cob 10: JMN3040I-S SEARCH文中の一意名'A'は、INDEXED BY指定を持つOCCURS句が指定されたデータ項目でなければなりません。

2.5.34 JMN3041I-S

SEARCH文中のVARYING指定の@1@は指標名、指標データ項目または整数項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@:一意名

例題

```
[C3041.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3041.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 TBL.
000007      02  X OCCURS 5 TIMES
000008              INDEXED BY IX1.
000009      03  A          PIC 9.
000010 01  B          PIC 9V9.
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012      SEARCH X VARYING B WHEN A(IX1) = 0
000013      MOVE 1 TO A(IX1).
000014      STOP RUN.
```

C3041.cob 12: JMN3041I-S SEARCH文中のVARYING指定の'B'は指標名、指標データ項目または整数項目でなければなりません。

2.5.35 JMN3043I-S

EVALUATE文のTHROUGH指定でつながる二つの作用対象は、同じ字類でなければなりません。

例題

```
[C3043.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3043.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A          PIC 9(2).
000007 01 B          PIC XX.
000008 01 X          PIC 9(2).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010      EVALUATE X
000011      WHEN A THROUGH B
000012      MOVE 1 TO A.
000013      STOP RUN.
```

C3043.cob 11: JMN3043I-S EVALUATE文のTHROUGH指定でつながる二つの作用対象は、同じ字類でなければなりません。

2.5.36 JMN3046I-S

EVALUATE文の選択主体に算術式、一意名または定数を指定した場合、選択対象は算術式、一意名、定数またはANYでなければなりません。

例題

```
[C3046.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3046.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A           PIC 9(2).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008     EVALUATE A
000009     WHEN 0
000010         MOVE 0 TO A
000011     WHEN TRUE
000012         MOVE 1 TO A
000013     END-EVALUATE.
000014 END PROGRAM C3046.
```

C3046.cob 11: JMN3046I-S EVALUATE文の選択主体に算術式、一意名または定数を指定した場合、選択対象は算術式、一意名、定数またはANYでなければなりません。

2.5.37 JMN3048I-S

EVALUATE文中のTHROUGH指定でつながる二つの作用対象は、ブールまたはオブジェクト一意名であってはなりません。

例題

```
[C3048.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3048.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A           PIC 1(2).
000007 01 B           PIC 1(2).
000008 01 X           PIC 1(2).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010     EVALUATE X
000011     WHEN A THROUGH B
000012         MOVE B"01" TO A.
000013     STOP RUN.
```

C3048.cob 11: JMN3048I-S EVALUATE文中のTHROUGH指定でつながる二つの作用対象は、ブールまたはオブジェクト一意名であってはなりません。

2.5.38 JMN3049I-S

EVALUATE文の選択主体にTRUEまたはFALSEを指定した場合、選択対象は、条件式、TRUE、FALSEまたはANYでなければなりません。

例題

```
[C3049.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3049.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A           PIC X(2).
```

```

000007 PROCEDURE DIVISION.
000008     EVALUATE TRUE
000009     WHEN      A
000010     MOVE 1 TO A.
000011     STOP RUN.

```

C3049.cob 9: JMN3049I-S EVALUATE文の選択主体にTRUEまたはFALSEを指定した場合、選択対象は、条件式、TRUE、FALSE またはANYでなければなりません。

2.5.39 JMN3050I-W

CORRESPONDING指定のある@1@文で、対応の取れる項目が一つもありません。この文は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : MOVE文, ADD文, またはSUBTRACT文

例題

```

[C3050.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3050.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01  AA.
000008     02 CC-1      PIC 9(4).
000009     02 CC-2      PIC 9(8).
000010 01  BB.
000011     02 CC-3      PIC 9(4).
000012     02 CC-4      PIC 9(8).
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014 P-START.
000015     ADD CORR AA TO BB.
000016     STOP RUN.

```

C3050.cob 15: JMN3050I-W CORRESPONDING指定のあるADD文で、対応の取れる項目が一つもありません。この文は、無効になります。

詳細な説明

CORRESPONDING指定のある文では、送出し側と受取り側とで対応の取れる基本項目が一つもなければ、その文は意味を持ちません。このときの「対応の取れる基本項目」とは、単に基本項目同士の名前が一致していることを意味するわけではありません。「それぞれ直前までの修飾語の名前の系列が同じである」必要があることに注意してください。これはつまり修飾名(集団項目の階層を表した名前)「～ OF 基本項目名」における「～」の部分も一致している必要があることを示しています。

2.5.40 JMN3051I-S

CORRESPONDING指定のある@1@文に指定された@2@は、集団項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : MOVE文, ADD文, またはSUBTRACT文

@2@ : 一意名

例題

```

[C3051.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3051.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.

```

```

000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 AA.
000008     02 CC-1      PIC 9(4).
000009     02 CC-2      PIC 9(8).
000010 01 BB.
000011     02 CC-3      PIC 9(4).
000012     02 CC-4      PIC 9(8).
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014 P-START.
000015     ADD CORR CC-2 TO BB.
000016     STOP RUN.

```

C3051.cob 15: JMN3051I-S CORRESPONDING指定のあるADD文に指定された'CC-2'は、集団項目でなければなりません。

2.5.41 JMN3053I-S

呼び名または機能名指定のACCEPT文では、一意名@1@は、固定長集団項目、英字項目、英数字項目、外部10進項目、内部10進項目、2進項目または外部ブール項目のいずれかでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@: 一意名

例題

```

[C3053.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3053.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 AA      PIC ZZZ9.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009     ACCEPT AA FROM SYSIN.
000010     STOP RUN.

```

C3053.cob 9: JMN3053I-S 呼び名または機能名指定のACCEPT文では、一意名'AA'は、固定長集団項目、英字項目、英数字項目、外部10進項目、内部10進項目、2進項目または外部ブール項目のいずれかでなければなりません。

2.5.42 JMN3054I-S

ACCEPT文のFROM指定に、DATE、DAY、DAY-OF-WEEKまたはTIMEが指定された場合、@1@は、固定長集団項目、英数字、英数字編集、数字編集、外部10進または2進項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@: 一意名

例題

```

[C3054.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3054.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT IN-FILE ASSIGN TO DA-S-SYS006.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD IN-FILE LABEL RECORD STANDARD.
000010 01 REC.

```



```

000011      02 REC-NO      PIC 9(4).
000012      02 REC-DATA    PIC X(8).
000013      02 FILLER      PIC X(68).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 77 AA              PIC 1(8).
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017 P-START.
000018      ACCEPT AA FROM DATE.
000019      STOP RUN.

```

C3054.cob 18: JMN3054I-S ACCEPT文のFROM指定に、DATE、DAY、DAY-OF-WEEKまたはTIMEが指定された場合、'AA'は、固定長集団項目、英数字、英数字編集、数字編集、外部10進または2進項目でなければなりません。

2.5.43 JMN3056I-S

@1@@2@は、@3@文の@4@指定に記述できません。

埋め込みの説明

@1@ : 編成種別

@2@ : ファイル名

@3@ : SORTまたはMERGE

@4@ : USINGまたはGIVING

例題

```

[C3056.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3056.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1  ASSIGN TO DA-S-SYS001.
000007     SELECT FILE-2  ASSIGN TO DA-D-SYS002.
000008     SELECT FILE-3  ASSIGN TO DA-I-SYS003
000009                 ACCESS MODE IS RANDOM
000010                 INDEXED RECORD KEY IS KEY-3-1.
000011 DATA DIVISION.
000012 FILE SECTION.
000013 SD FILE-1 LABEL RECORD STANDARD.
000014 01 REC-1.
000015     02 KEY-1      PIC 9(2).
000016     02 KEY-2      PIC 9(2).
000017     02 KEY-3      PIC 9(2).
000018     02 FILLER      PIC X(74).
000019 FD FILE-2 LABEL RECORD STANDARD.
000020 01 REC-2      PIC X(80).
000021 FD FILE-3 LABEL RECORD STANDARD.
000022 01 REC-3.
000023     02 KEY-3-1    PIC 9(2).
000024     02 KEY-3-2    PIC X(78).
000025 PROCEDURE DIVISION.
000026 P-START.
000027     SORT FILE-1 ON ASCENDING KEY KEY-1 KEY-2
000028     USING FILE-2
000029     GIVING FILE-3.
000030     STOP RUN.

```

C3056.cob 27: JMN3056I-S 索引ファイル'FILE-3'は、SORT文のGIVING指定に記述できません。

詳細な説明

メッセージが示すファイルは、SORT文およびMERGE文のUSING指定およびGIVING指定に指定できる種別ではありません。指定できるのは、以下に示す種別のファイルのみです。

- ・ 大記憶装置またはフロッピーディスク装置の順ファイル
- ・ 順呼出し法の相対ファイル
- ・ 順呼出し法の索引ファイル

2.5.44 JMN3057I-S

機能名に対応付けられた符号系名は、@1@文のCOLLATING SEQUENCE指定に記述できません。

埋め込みの説明

@1@ : SORT文またはMERGE文

例題

```
[C3057.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3057.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     ABN-1 IS CODE-3.
000007 INPUT-OUTPUT SECTION.
000008 FILE-CONTROL.
000009     SELECT FILE-1 ASSIGN TO DA-S-SYS001.
000010     SELECT FILE-2 ASSIGN TO DA-S-SYS002.
000011     SELECT FILE-3 ASSIGN TO DA-S-SYS003.
000012 DATA DIVISION.
000013 FILE SECTION.
000014 SD FILE-1 LABEL RECORD STANDARD.
000015 01 REC-1.
000016     02 KEY-1 PIC 9(2).
000017     02 KEY-2 PIC 9(2).
000018     02 KEY-3 PIC 9(2).
000019     02 FILLER PIC X(74).
000020 FD FILE-2 LABEL RECORD STANDARD.
000021 01 REC-2 PIC X(80).
000022 FD FILE-3 LABEL RECORD STANDARD.
000023 01 REC-3 PIC X(80).
000024 PROCEDURE DIVISION.
000025 P-START.
000026     SORT FILE-1 ON ASCENDING KEY KEY-1 KEY-2
000027     COLLATING SEQUENCE ABN-1
000028     USING FILE-2
000029     GIVING FILE-3.
000030 STOP RUN.
```

C3057.cob 26: JMN3057I-S 機能名に対応付けられた符号系名は、SORT文のCOLLATING SEQUENCE指定に記述できません。

2.5.45 JMN3060I-S

定数節で定義された@1@は、受取り側に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標

例題

```
[C3060.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3060.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 DATA DIVISION.
000006 FILE SECTION.
000007 CONSTANT SECTION.
000008 01 ED-DATA PIC 9(4) VALUE 10.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011 MOVE 20 TO ED-DATA.
000012 STOP RUN.
```

C3060.cob 11: JMN3060I-S 定数節で定義された'ED-DATA'は, 受取り側に指定できません.

2.5.46 JMN3061I-S

特殊レジスタ@1@は, 受取り側に指定できません.

埋め込みの説明

@1@ : 特殊レジスタ名(LINE-COUNTER, LINAGE-COUNTER)

例題

```
[C3061.cob]
000001 PROGRAM-ID. C3061.
000002 ENVIRONMENT DIVISION.
000003 INPUT-OUTPUT SECTION.
000004 FILE-CONTROL.
000005 SELECT RW-FS1 ASSIGN TO
000006 REPFIL.
000007 SELECT PRINT-FILE ASSIGN TO
000008 SYS006.
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011 FD PRINT-FILE
000012 LINAGE IS 50 LINES.
000013 01 PRINT-REC PIC X(120).
000014 FD RW-FS1
000015 LABEL RECORDS ARE STANDARD
000016 REPORT IS RW-FS1-REPORT-1.
000017 WORKING-STORAGE SECTION.
000018 01 REPORT-LINE-IMAGE.
000019 02 FILLER PICTURE X(43).
000020 02 WS-COUNTER PICTURE 9(6) VALUE ZERO.
000021 02 STORE-LINE-COUNTER PICTURE 9(6).
000022 REPORT SECTION.
000023 RD RW-FS1-REPORT-1
000024 PAGE LIMIT IS 20 LINES.
000025 01 RW-FS1-GROUP
000026 TYPE IS DETAIL.
000027 03 RW-FS1-ELEM
000028 LINE NUMBER IS PLUS 1
000029 COLUMN NUMBER IS 5
000030 PICTURE X(76)
000031 SOURCE IS REPORT-LINE-IMAGE.
000032 PROCEDURE DIVISION.
000033 MOVE 100 TO LINE-COUNTER
000034 MOVE 10 TO LINAGE-COUNTER
```

```
000035 .  
000036 END PROGRAM C3061.
```

C3061.cob 33: JMN3061I-S 特殊レジスタ'LINE-COUNTER'は、受取り側に指定できません。

C3061.cob 34: JMN3061I-S 特殊レジスタ'LINAGE-COUNTER'は、受取り側に指定できません。

2.5.47 JMN3062I-S

@1@文の作用対象@2@は、数字項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : ADD/SUBTRACT/MULTIPLY/DIVIDE

@2@ : 一意名の名標

例題

```
[C3062.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C3062.  
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 DATA DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 01 A PIC X(4).  
000007 01 B PIC 9(4).  
000008 PROCEDURE DIVISION.  
000009 P-START.  
000010     ADD A TO B.  
000011     SUBTRACT A FROM B.  
000012     MULTIPLY A BY B.  
000013     DIVIDE A INTO B.  
000014     STOP RUN.
```

C3062.cob 10: JMN3062I-S ADD文の作用対象'A'は、数字項目でなければなりません。

C3062.cob 11: JMN3062I-S SUBTRACT文の作用対象'A'は、数字項目でなければなりません。

C3062.cob 12: JMN3062I-S MULTIPLY文の作用対象'A'は、数字項目でなければなりません。

C3062.cob 13: JMN3062I-S DIVIDE文の作用対象'A'は、数字項目でなければなりません。

2.5.48 JMN3063I-S

@1@文のGIVING指定の作用対象@2@は、数字項目または数字編集項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : ADD/SUBTRACT/MULTIPLY/DIVIDE

@2@ : 一意名の名標

例題

```
[C3063.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C3063.  
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 DATA DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 01 A PIC 9(4).  
000007 01 B PIC 9(4).  
000008 01 C PIC X(4).  
000009 PROCEDURE DIVISION.  
000010 P-START.
```

000011	ADD A TO B GIVING C.
000012	SUBTRACT A FROM B GIVING C.
000013	MULTIPLY A BY B GIVING C.
000014	DIVIDE A INTO B GIVING C.
000015	STOP RUN.

C3063.cob 11: JMN3063I-S ADD文のGIVING指定の作用対象'C'は、数字項目または数字編集項目でなければなりません。

C3063.cob 12: JMN3063I-S SUBTRACT文のGIVING指定の作用対象'C'は、数字項目または数字編集項目でなければなりません。

C3063.cob 13: JMN3063I-S MULTIPLY文のGIVING指定の作用対象'C'は、数字項目または数字編集項目でなければなりません。

C3063.cob 14: JMN3063I-S DIVIDE文のGIVING指定の作用対象'C'は、数字項目または数字編集項目でなければなりません。

2.5.49 JMN3064I-S

CORRESPONDING指定付きの@1@文の対応の取れた項目@2@は、基本数字データ項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : ADD/SUBTRACT

@2@ : 一意名の名標

例題

```
[C3064.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3064.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01  A.
000007      02 C1 PIC XX.
000008 01  B.
000009      02 C1 PIC 99.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 P-START.
000012      ADD CORR A TO B.
000013      SUBTRACT CORR A FROM B.
000014      STOP RUN.
```

C3064.cob 12: JMN3064I-S CORRESPONDING指定付きのADD文の対応の取れた項目'C1'は、基本数字データ項目でなければなりません。

C3064.cob 13: JMN3064I-S CORRESPONDING指定付きのSUBTRACT文の対応の取れた項目'C1'は、基本数字データ項目でなければなりません。

2.5.50 JMN3065I-S

REMAINDER指定付きのDIVIDE文の@1@は、固定小数点項目または固定小数点定数でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 被除数/除数

例題

```
[C3065.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3065.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01  A COMP-1.
```

```

000007 01 B PIC 99.
000008 01 C PIC 9999.
000009 01 D PIC 99.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 P-START.
000012     DIVIDE A BY B GIVING C REMAINDER D.
000013     DIVIDE A INTO B GIVING C REMAINDER D.
000014     STOP RUN.

```

C3065.cob 12: JMN3065I-S REMAINDER指定付きのDIVIDE文の被除数は、固定小数点項目または固定小数点定数でなければなりません。

C3065.cob 13: JMN3065I-S REMAINDER指定付きのDIVIDE文の除数は、固定小数点項目または固定小数点定数でなければなりません。

2.5.51 JMN3066I-S

REMAINDER指定付きのDIVIDE文の受取り側項目@1@は、固定小数点項目または数字編集項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標

例題

```

[C3066.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3066.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 9999.
000007 01 B PIC 99.
000008 01 C PIC 9999.
000009 01 D COMP-1.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 P-START.
000012     DIVIDE A INTO B GIVING C REMAINDER D.
000013     STOP RUN.

```

C3066.cob 12: JMN3066I-S REMAINDER指定付きのDIVIDE文の受取り側項目'D'は、固定小数点項目または数字編集項目でなければなりません。

2.5.52 JMN3067I-S

ブール式中に現れる定数は、ブール定数(ALLブール定数も含む)またはZEROでなければなりません。この定数はZEROに置き換えられます。

例題

```

[C3067.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3067.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 1111.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009     COMPUTE A = B"1010" AND 1234.
000010     STOP RUN.

```

C3067.cob 9: JMN3067I-S ブール式中に現れる定数は、ブール定数(ALLブール定数も含む)またはZEROでなければなりません。この定数はZEROに置き換えられます。

2.5.53 JMN3068I-S

ブール式中に含まれるブール項目およびALL定数でないブール定数のブール文字数は、すべて等しくなければなりません。

例題

```
[C3068.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3068.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 1111.
000007 01 B PIC 1111.
000008 01 C PIC 11111.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011 COMPUTE A = B AND C.
000012 COMPUTE A = B"101011" AND B"111".
000013 STOP RUN.
```

C3068.cob 11: JMN3068I-S ブール式中に含まれるブール項目およびALL定数でないブール定数のブール文字数は、すべて等しくなければなりません。

C3068.cob 12: JMN3068I-S ブール式中に含まれるブール項目およびALL定数でないブール定数のブール文字数は、すべて等しくなければなりません。

2.5.54 JMN3069I-S

[NOT] ON SIZE ERROR指定付きのCOMPUTE文の受取り側@1@は、数字項目または数字編集項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@: 一意名の名標

例題

```
[C3069.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3069.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC XXXX.
000007 01 B PIC 9(4).
000008 01 C PIC 9(4).
000009 01 D PIC 9(4).
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 P-START.
000012 COMPUTE A = B + C ON SIZE ERROR STOP RUN
000013 NOT ON SIZE ERROR MOVE B TO D.
000014 STOP RUN.
```

C3069.cob 12: JMN3069I-S [NOT] ON SIZE ERROR指定付きのCOMPUTE文の受取り側'A'は、数字項目または数字編集項目でなければなりません。

2.5.55 JMN3070I-S

[NOT] ON SIZE ERROR指定付きのCOMPUTE文の右辺は、算術式でなければなりません。

例題

```
[C3070.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3070.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 9(4).
000007 01 B PIC XXXX.
000008 01 C PIC 9(4).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011     COMPUTE A = B      ON SIZE ERROR STOP RUN
000012             NOT ON SIZE ERROR MOVE B TO C.
000013     STOP RUN.
```

C3070.cob 11: JMN3070I-S [NOT] ON SIZE ERROR指定付きのCOMPUTE文の右辺は、算術式でなければなりません。

2.5.56 JMN3071I-S

COMPUTE文の右辺が算術式の場合、受取り側@1@は数字項目または数字編集項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@:一意名の名標

例題

```
[C3071.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3071.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 1111.
000007 01 B PIC 9(4).
000008 01 C PIC 9(4).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011     COMPUTE A = B + C.
000012     STOP RUN.
```

C3071.cob 11: JMN3071I-S COMPUTE文の右辺が算術式の場合、受取り側'A'は数字項目または数字編集項目でなければなりません。

2.5.57 JMN3072I-S

COMPUTE文の右辺がブール式の場合、受取り側@1@はブール項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@:一意名の名標

例題

```
[C3072.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3072.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
```



```

000006 01  A PIC 9(4).
000007 01  B PIC 1111.
000008 01  C PIC 1111.
000009 PROCEDURE  DIVISION.
000010 P-START.
000011      COMPUTE A = B AND C.
000012      STOP RUN.

```

C3072.cob 11: JMN3072I-S COMPUTE文の右边がブール式の場合、受取り側'A'はブール項目でなければなりません。

2.5.58 JMN3073I-S

COMPUTE文の右边は、算術式またはブール式でなければなりません。

例題

```

[C3073. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.  C3073.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 DATA  DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01  A PIC 9(4).
000007 01  B PIC XXXX.
000008 PROCEDURE  DIVISION.
000009 P-START.
000010      COMPUTE A = B.
000011      STOP RUN.

```

C3073.cob 10: JMN3073I-S COMPUTE文の右边は、算術式またはブール式でなければなりません。

2.5.59 JMN3074I-S

COMPUTE文の受取り側@1@は、数字項目、数字編集項目またはブール項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標

例題

```

[C3074. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.  C3074.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 DATA  DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01  A PIC XXXX.
000007 PROCEDURE  DIVISION.
000008 P-START.
000009      COMPUTE A = ZERO.
000010      STOP RUN.

```

C3074.cob 9: JMN3074I-S COMPUTE文の受取り側'A'は、数字項目、数字編集項目またはブール項目でなければなりません。

2.5.60 JMN3075I-S

COMPUTE文の受取り側はすべて数字項目若しくは数字編集項目か、またはすべてブール項目のいずれかでなければなりません。

例題

```
[C3075. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3075.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 DATA  DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01  A PIC 9999.
000007 01  B PIC 1111.
000008 01  C PIC XXXX.
000009 PROCEDURE  DIVISION.
000010 P-START.
000011     COMPUTE A B = ZERO.
000012     STOP RUN.
```

C3075.cob 11: JMN3075I-S COMPUTE文の受取り側はすべて数字項目若しくは数字編集項目か、またはすべてブール項目のいずれかでなければなりません。

2.5.61 JMN3076I-S

ROUNDED指定は、ブール項目を含むCOMPUTE文に記述できません。

例題

```
[C3076. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3076.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 DATA  DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01  A PIC 1111.
000007 01  B PIC 1111.
000008 01  C PIC 1111.
000009 PROCEDURE  DIVISION.
000010 P-START.
000011     COMPUTE A ROUNDED = B AND C.
000012     STOP RUN.
```

C3076.cob 11: JMN3076I-S ROUNDED指定は、ブール項目を含むCOMPUTE文に記述できません。

2.5.62 JMN3077I-S

@1@(@2@)と@3@(@4@)との比較は、許されない組合せの比較です。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標,特殊レジスタの名標,指標名の名標

@2@ : 属性

@3@ : 一意名の名標, 特殊レジスタの名標, 指標名の名標

@4@ : 属性

例題

```
[C3077. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3077.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 DATA  DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01  A    PIC S9(3)  PACKED-DECIMAL.
```

```
000007 01 B PIC XX.  
000008 PROCEDURE DIVISION.  
000009 P-START.  
000010 IF A = B STOP RUN.
```

C3077.cob 10: JMN3077I-S 'A'(内部10進)と'B'(英数字)との比較は、許されない組合せの比較です。

2.5.63 JMN3078I-S

比較条件で、定数同士の比較はできません。

例題

```
[C3078.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C3078.  
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 DATA DIVISION.  
000005 PROCEDURE DIVISION.  
000006 P-START.  
000007 IF 10 = 20 STOP RUN.
```

C3078.cob 7: JMN3078I-S 比較条件で、定数同士の比較はできません。

2.5.64 JMN3079I-S

ブール作用対象の比較で指定する比較演算子は、EQUAL(=)またはNOT EQUAL(NOT =)でなければなりません。

例題

```
[C3079.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C3079.  
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 DATA DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 01 A PIC 1(8).  
000007 01 B PIC 1(8) BIT.  
000008 PROCEDURE DIVISION.  
000009 P-START.  
000010 IF A > B STOP RUN.
```

C3079.cob 10: JMN3079I-S ブール作用対象の比較で指定する比較演算子は、EQUAL(=)またはNOT EQUAL(NOT =)でなければなりません。

2.5.65 JMN3080I-S

ALLブール定数を除くブール作用対象同士の比較では、両方の作用対象のブール文字数は等しくなければなりません。

例題

```
[C3080.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C3080.  
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 DATA DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 01 A PIC 1 BIT.  
000007 01 B PIC 1(8) BIT.  
000008 PROCEDURE DIVISION.  
000009 P-START.  
000010 IF A = B STOP RUN.
```

C3080.cob 10: JMN3080I-S ALLブール定数を除くブール作用対象同士の比較では, 両方の作用対象のブール文字数は等しくなければなりません.

2.5.66 JMN3081I-S

指標比較で, @1@は整数でなければなりません.

埋め込みの説明

@1@: 一意名の名標, 数字定数

例題

```
[C3081. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3081.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC S9(4)V9 BINARY.
000007 01 B.
000008 02 C OCCURS 10 TIMES INDEXED BY IX.
000009 03 D PIC XX.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 P-START.
000012 IF A = IX STOP RUN.
```

C3081.cob 12: JMN3081I-S 指標比較で, 'A'は整数でなければなりません.

2.5.67 JMN3083I-S

字類条件の@1@検査で, @2@は, 集団項目, 英字項目, 英数字項目, 英数字編集項目または数字編集項目のいずれかでなければなりません.

埋め込みの説明

@1@: ALPHABETIC, ALPHABETIC-LOWER, ALPHABETIC-UPPER

@2@: 一意名の名標

例題

```
[C3083. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3083.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 9(4).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 IF A IS ALPHABETIC STOP RUN.
```

C3083.cob 9: JMN3083I-S 字類条件のALPHABETIC検査で, 'A'は, 集団項目, 英字項目, 英数字項目, 英数字編集項目または数字編集項目のいずれかでなければなりません.

2.5.68 JMN3084I-S

字類条件のNUMERIC検査で, @1@は, 外部10進項目, 内部10進項目, 集団項目, 英数字項目, 英数字編集項目または数字編集項目のいずれかでなければなりません.

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標

例題

```
[C3084.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3084.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC A(4).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 IF A IS NUMERIC STOP RUN.
```

C3084.cob 9: JMN3084I-S 字類条件のNUMERIC検査で, 'A'は, 外部10進項目, 内部10進項目, 集団項目, 英数字項目, 英数字編集項目または数字編集項目のいずれかでなければなりません。

2.5.69 JMN3085I-S

字類条件のBOOLEAN検査で, @1@は, 外部ブール項目, 集団項目, 英数字項目, 英数字編集項目または数字編集項目のいずれかでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標

例題

```
[C3085.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3085.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 9(4).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 IF A IS BOOLEAN STOP RUN.
```

C3085.cob 9: JMN3085I-S 字類条件のBOOLEAN検査で, 'A'は, 外部ブール項目, 集団項目, 英数字項目, 英数字編集項目または数字編集項目のいずれかでなければなりません。

2.5.70 JMN3086I-S

字類条件の字類名検査で, @1@は, 集団項目, 英字項目, 英数字項目, 英数字編集項目または数字編集項目のいずれかでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標

例題

```
[C3086.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3086.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006 CLASS ABC IS "ABC".
000007 DATA DIVISION.
```

```
000008 WORKING-STORAGE SECTION.  
000009 01 A PIC 9.  
000010 PROCEDURE DIVISION.  
000011 P-START.  
000012 IF A IS ABC STOP RUN.
```

C3086.cob 12: JMN3086I-S 字類条件の字類名検査で, 'A'は, 集団項目, 英字項目, 英数字項目, 英数字編集項目または数字編集項目のいずれかでなければなりません。

2.5.71 JMN3087I-S

正負条件で, @1@は数字項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@: 一意名の名標

例題

```
[C3087.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C3087.  
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 DATA DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 01 A PIC X(4).  
000007 PROCEDURE DIVISION.  
000008 P-START.  
000009 IF A IS POSITIVE STOP RUN.
```

C3087.cob 9: JMN3087I-S 正負条件で, 'A'は数字項目でなければなりません。

2.5.72 JMN3088I-S

正負条件の算術式は, 少なくとも一つ以上の一意名を含まなければなりません。

例題

```
[C3088.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C3088.  
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 DATA DIVISION.  
000005 PROCEDURE DIVISION.  
000006 IF 10 + 20 IS POSITIVE THEN  
000007 DISPLAY "ERROR"  
000008 END-IF  
000008 END PROGRAM C3088.
```

C3088.cob 6: JMN3088I-S 正負条件の算術式は, 少なくとも一つ以上の一意名を含まなければなりません。

2.5.73 JMN3090I-S

UNSTRING文の送出し側項目@1@のUSAGEは, DISPLAYでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@: 一意名の名標

例題

```
[C3090.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000002 PROGRAM-ID. C3090.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 9(10) PACKED-DECIMAL.
000007 01 B PIC XX.
000008 01 C PIC X(4).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011 UNSTRING A DELIMITED BY B INTO C.
000012 STOP RUN.

```

C3090.cob 11: JMN3090I-S UNSTRING文の送出し側項目'A'のUSAGEは、DISPLAYでなければなりません。

2.5.74 JMN3091I-S

部分参照された項目は、UNSTRING文の送出し側項目に指定できません。

例題

```

[C3091.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3091.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC X(10).
000007 01 B PIC XX.
000008 01 C PIC X(4).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011 UNSTRING A(1:6) DELIMITED BY B INTO C.
000012 STOP RUN.

```

C3091.cob 11: JMN3091I-S 部分参照された項目は、UNSTRING文の送出し側項目に指定できません。

2.5.75 JMN3092I-S

UNSTRING文の@1@指定の一意名@2@のUSAGEは、DISPLAYでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : DELIMITED,INTO,DELIMITER

@2@ : 一意名の名標

例題

```

[C3092.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3092.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC X(10).
000007 01 B PIC 9(3) PACKED-DECIMAL.
000008 01 C PIC X(4).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011 UNSTRING A DELIMITED BY B INTO C.
000012 STOP RUN.

```

C3092.cob 11: JMN3092I-S UNSTRING文のDELIMITED指定の一意名'B'のUSAGEは、DISPLAYでなければなりません。

2.5.76 JMN3095I-S

UNSTRING文のINTO指定の一意名@1@は、英数字編集項目、数字編集項目、日本語編集項目またはPICTURE句の文字列中に'P'を含む数字項目であってはなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標

例題

```
[C3095.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3095.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC X(10).
000007 01 B PIC XX.
000008 01 C PIC ZZZ,ZZZ.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011 UNSTRING A DELIMITED BY B INTO C.
000012 STOP RUN.
```

C3095.cob 11: JMN3095I-S UNSTRING文のINTO指定の一意名'C'は、英数字編集項目、数字編集項目、日本語編集項目またはPICTURE句の文字列中に'P'を含む数字項目であってはなりません。

2.5.77 JMN3097I-S

UNSTRING文の@1@指定の一意名@2@は、整数項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : COUNT, POINTER, TALLYING

@2@ : 一意名の名標

例題

```
[C3097.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3097.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC X(10).
000007 01 B PIC XX.
000008 01 C PIC X(4).
000009 01 D PIC 9(3)V9 BINARY.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 P-START.
000012 UNSTRING A DELIMITED BY B INTO C POINTER D.
000013 STOP RUN.
```

C3097.cob 12: JMN3097I-S UNSTRING文のPOINTER指定の一意名'D'は、整数項目でなければなりません。

2.5.78 JMN3098I-S

[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

UNSTRING文で、送出し側、DELIMITED BY指定、INTO指定またはDELIMITER IN指定の作用対象のいずれかの項類が日本語ならば、これらすべての項類は日本語でなければなりません。

[Linux64]

UNSTRING文で, 送出し側, DELIMITED BY指定, INTO指定またはDELIMITER IN指定の作用対象のいずれかの項類が日本語ならば, これらすべての項類は日本語で, かつ同じエンコードでなければなりません.

例題

```
[C3098.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3098.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC N(10).
000007 01 B PIC XX.
000008 01 C PIC N(4).
000009 01 D PIC XX.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 P-START.
000012 UNSTRING A DELIMITED BY B INTO C DELIMITER IN D.
000013 STOP RUN.
```

- [Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

C3098.cob 12: JMN3098I-S UNSTRING文で, 送出し側, DELIMITED BY指定, INTO指定またはDELIMITER IN指定の作用対象のいずれかの項類が日本語ならば, これらすべての項類は日本語でなければなりません.

- [Linux64]

C3098.cob 12: JMN3098I-S UNSTRING文で, 送出し側, DELIMITED BY指定, INTO指定またはDELIMITER IN指定の作用対象のいずれかの項類が日本語ならば, これらすべての項類は日本語で, かつ同じエンコードでなければなりません.

2.5.79 JMN3105I-S

CORRESPONDING指定のある@1@文で, 名標の対応のとれた項目@2@が一意ではありません.

埋め込みの説明

@1@ : ADD/SUBTRACT/MOVE

@2@ : 一意名

例題

```
[C3105.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3105.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 S.
000007 02 B PIC X(5).
000008 02 C.
000009 03 B PIC X(1).
000010 02 D PIC X(5).
000011 01 R.
000012 02 B PIC X(5).
000013 02 D PIC X(5).
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015 P-START.
000016 MOVE CORRESPONDING S TO R.
000017 STOP RUN.
```

C3105.cob 16: JMN3105I-S CORRESPONDING指定のあるMOVE文で, 名標の対応のとれた項目'B'が一意ではありません.

2.5.80 JMN3107I-S

STRING文の@1@指定の作用対象@2@のUSAGEは、DISPLAYでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : DELIMITED/INTO

@2@ : 一意名の名標

例題

```
[C3107.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3107.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 AN-1 PIC X(6).
000006 01 AN-2 PIC 9(2) BINARY.
000007 01 AN-3 PIC X(10).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010 STRING AN-1 DELIMITED BY AN-2 INTO AN-3.
000011 STRING AN-1 DELIMITED BY SIZE INTO AN-2.
000012 STOP RUN.
```

C3107.cob 10: JMN3107I-S STRING文のDELIMITED指定の作用対象'AN-2'のUSAGEは、DISPLAYでなければなりません。

C3107.cob 11: JMN3107I-S STRING文のINTO指定の作用対象'AN-2'のUSAGEは、DISPLAYでなければなりません。

2.5.81 JMN3108I-S

STRING文の受取り側項目に、部分参照された項目は指定できません。

例題

```
[C3108.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3108.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 AN-1 PIC X(6).
000006 01 AN-2 PIC X(10).
000007 01 I PIC 9 BINARY.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010 STRING AN-1 DELIMITED BY "I" INTO AN-2(I : I).
000011 STOP RUN.
```

C3108.cob 10: JMN3108I-S STRING文の受取り側項目に、部分参照された項目は指定できません。

2.5.82 JMN3109I-S

STRING文の@1@指定の項目@2@は、整数項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : POINTER

@2@ : 一意名の名標

例題

```
[C3109.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000002 PROGRAM-ID. C3109.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 AN-1 PIC X(6).
000006 01 AN-2 PIC X(10).
000007 01 PTR PIC 99V9.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010 STRING AN-1 DELIMITED BY "1" INTO AN-2 POINTER PTR.
000011 STOP RUN.

```

C3109.cob 10: JMN3109I-S STRING文のPOINTER指定の項目'PTR'は、整数項目でなければなりません。

2.5.83 JMN3110I-S

STRING文の受取り側項目は、英数字編集項目、数字編集項目または日本語編集項目であってはなりません。

例題

```

[C3110.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3110.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 AN-1 PIC X(6) VALUE "STRING".
000006 01 AN-2 PIC ZZZ9.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 STRING AN-1 DELIMITED BY "1" INTO AN-2.
000010 STOP RUN.

```

C3110.cob 9: JMN3110I-S STRING文の受取り側項目は、英数字編集項目、数字編集項目または日本語編集項目であってはなりません。

2.5.84 JMN3111I-S

[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

STRING文で、送出し側、DELIMITED BY指定またはINTO指定の作用対象のいずれかの項類が日本語ならば、これらすべての作用対象の項類は日本語でなければなりません。

[Linux64]

STRING文で、送出し側、DELIMITED BY指定またはINTO指定の作用対象のいずれかの項類が日本語ならば、これらすべての作用対象の項類は日本語で、かつ同じエンコードでなければなりません。

例題

```

[C3111.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3111.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 AN-1 PIC X(6) VALUE "STRING".
000006 01 AN-2 PIC X(10).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 STRING AN-1 DELIMITED BY N"あ" INTO AN-2.
000010 STOP RUN.

```

- [Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

C3111.cob 9: JMN3111I-S STRING文で、送出し側、DELIMITED BY指定またはINTO指定の作用対象のいずれかの項類が日本語ならば、これらすべての作用対象の項類は日本語でなければなりません。

- [\[Linux64\]](#)

C3111.cob 9: JMN3111I-S STRING文で、送出し側、DELIMITED BY指定またはINTO指定の作用対象のいずれかの項類が日本語ならば、これらすべての作用対象の項類は日本語で、かつ同じエンコードでなければなりません。

2.5.85 JMN3116I-S

@1@@2@は、OPEN文の@3@指定に記述できません。

埋め込みの説明

@1@ : 編成種別

@2@ : ファイル名

@3@ : 'INPUT', 'OUTPUT', 'I-O', 'EXTEND'

例題

```
[C3116.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3116.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 LINE SEQUENTIAL ASSIGN TO PS-SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD FILE-1.
000010     01 REC-1 PIC X(80).
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012     OPEN I-O FILE-1.
000013     STOP RUN.
```

C3116.cob 12: JMN3116I-S 行順ファイル'FILE-1'は、OPEN文のI-O指定に記述できません。

2.5.86 JMN3117I-S

LINAGE句指定のあるファイル@1@は、OPEN文のEXTEND指定に記述できません。

埋め込みの説明

@1@ : ファイル名

例題

```
[C3117.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3117.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO S-SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD FILE-1 LINAGE IS 50 LINES.
000010     01 REC-1 PIC X(80).
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012     OPEN EXTEND FILE-1.
000013     STOP RUN.
```

C3117.cob 12: JMN3117I-S LINAGE句指定のあるファイル'FILE-1'は、OPEN文のEXTEND指定に記述できません。

2.5.87 JMN3119I-S

@1@指定は, FORMAT句付き印刷ファイル以外の順ファイルにだけ指定できます.

埋め込みの説明

@1@: 'REVERSED', 'WITH NO REWIND', 'FOR REMOVAL'

例題

```
[C3119. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3119.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS INDEXED
000008     ACCESS MODE IS RANDOM
000009     RECORD KEY IS KEY-REC.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD FILE-1.
000013     01 REC-1.
000014         02 KEY-REC PIC XX.
000015         02 FILLER PIC X(78).
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017     OPEN INPUT FILE-1 REVERSED.
000018     STOP RUN.
```

C3119.cob 17: JMN3119I-S REVERSED指定は, FORMAT句付き印刷ファイル以外の順ファイルにだけ指定できます.

2.5.88 JMN3121I-S

@1@指定は, FORMAT句付きの印刷ファイル以外の順ファイルにだけ記述できます. @1@指定は, 無効になります.

埋め込みの説明

@1@: 'REEL', 'UNIT'

例題

```
[C3121. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3121.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS INDEXED
000008     ACCESS MODE IS RANDOM
000009     RECORD KEY IS KEY-REC.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD FILE-1.
000013     01 REC-1.
000014         02 KEY-REC PIC XX.
000015         02 FILLER PIC X(78).
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017     CLOSE FILE-1 REEL.
000018     STOP RUN.
```

C3121.cob 17: JMN3121I-S REEL指定は, FORMAT句付きの印刷ファイル以外の順ファイルにだけ記述できます. REEL指定は, 無効になります.

2.5.89 JMN3123I-S

MERGE文のUSING指定またはGIVING指定に、同じファイルを2回以上指定できません。ファイル@1@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : ファイル名

例題

```
[C3123.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3123.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO DA-S-SYS001.
000007     SELECT FILE-2 ASSIGN TO DA-S-SYS002.
000008     SELECT FILE-3 ASSIGN TO DA-S-SYS003.
000009     SELECT FILE-4 ASSIGN TO DA-S-SYS004.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 SD FILE-1.
000013     01 REC-1.
000014     02 KEY-1 PIC XX.
000015     02 FILLER PIC X(78).
000016 FD FILE-2 LABEL RECORD STANDARD.
000017     01 REC-2 PIC X(80).
000018 FD FILE-3 LABEL RECORD STANDARD.
000019     01 REC-3 PIC X(80).
000020 FD FILE-4 LABEL RECORD STANDARD.
000021     01 REC-4 PIC X(80).
000022 PROCEDURE DIVISION.
000023     MERGE FILE-1 ON ASCENDING KEY KEY-1
000024         USING FILE-2 FILE-2
000025         GIVING FILE-4.
000026     STOP RUN.
```

C3123.cob 24: JMN3123I-S MERGE文のUSING指定またはGIVING指定に、同じファイルを2回以上指定できません。ファイル'FILE-2'は、無効になります。

2.5.90 JMN3124I-S

CHARACTER TYPE句またはPRINTING POSITION句指定のあるレコード記述項を持つファイルは、@2@文のUSINGまたはGIVING指定に記述できません。ファイル名@1@は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : ファイル名

@2@ : 'SORT', 'MERGE'

例題

```
[C3124.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3124.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO DA-S-SYS001.
000007     SELECT FILE-2 ASSIGN TO DA-S-SYS002.
000008     SELECT FILE-3 ASSIGN TO DA-S-SYS003.
```

```

000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011 SD FILE-1 LABEL RECORD IS STANDARD.
000012 01 REC-1.
000013 02 KEY-REC PIC XX.
000014 02 FILLER PIC X(78).
000015 FD FILE-2 LABEL RECORD IS STANDARD.
000016 01 REC-2 PIC N(40) CHARACTER TYPE IS MODE-2.
000017 FD FILE-3 LABEL RECORD IS STANDARD.
000018 01 REC-3 PIC X(80).
000019 PROCEDURE DIVISION.
000020 SORT FILE-1 ON ASCENDING KEY KEY-REC
000021 USING FILE-2
000022 GIVING FILE-3.
000023 STOP RUN.

```

C3124.cob 21: JMN3124I-S CHARACTER TYPE句またはPRINTING POSITION句指定のあるレコード記述項を持つファイルは、SORT文のUSINGまたはGIVING指定に記述できません。ファイル名'FILE-2'は、無効になります。

2.5.91 JMN3127I-S

FROM指定の作用対象@1@とレコード名@2@は、同じ領域を占有することはできません。

埋め込みの説明

@1@: FROM指定の一意名

@2@: レコード名

例題

```

[C3127. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3127.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT FILE-1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD FILE-1.
000010 01 REC-1.
000011 02 REC-1-1 PIC XX.
000012 02 REC-1-2 PIC XX.
000013 02 FILLER PIC X(76).
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015 WRITE REC-1 FROM REC-1-2.
000016 STOP RUN.

```

C3127.cob 15: JMN3127I-S FROM指定の作用対象'REC-1-2'とレコード名'REC-1'は、同じ領域を占有することはできません。

2.5.92 JMN3128I-S

CONTROL AREA句は、通信ファイル以外に指定できません。

例題

```

[C3128. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3128.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.

```

```

000006    SELECT FILE-1  ASSIGN TO S-SYS001.
000007 DATA  DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD  FILE-1.
000010    01 REC-1 PIC X(80).
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012    01 CNTL-DATA PIC X(36).
000013 PROCEDURE  DIVISION.
000014    WRITE REC-1 CONTROL AREA IS CNTL-DATA.
000015    STOP RUN.

```

C3128.cob 14: JMN3128I-S CONTROL AREA句は、通信ファイル以外に指定できません。

2.5.93 JMN3130I-S

LINAGE句指定のあるファイル@1@のWRITE文に、呼び名句指定のADVANCING指定を記述することはできません。BEFORE ADVANCING 1とみなされます。

埋め込みの説明

@1@ : ファイル名

例題

```

[C3130.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3130.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006    CHANNEL-01 IS CHN-1.
000007 INPUT-OUTPUT SECTION.
000008 FILE-CONTROL.
000009    SELECT FILE-1  ASSIGN TO S-SYS001.
000010 DATA  DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD FILE-1  LINAGE IS 50 LINES.
000013    01 REC-1 PIC X(121).
000014 PROCEDURE  DIVISION.
000015    WRITE REC-1 AFTER ADVANCING CHN-1.
000016    STOP RUN.

```

C3130.cob 15: JMN3130I-S LINAGE句指定のあるファイル'FILE-1'のWRITE文に、呼び名句指定のADVANCING指定を記述することはできません。BEFORE ADVANCING 1とみなされます。

2.5.94 JMN3132I-S

ADVANCING指定は、順ファイル以外には記述できません。

例題

```

[C3132.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3132.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006    SELECT FILE-1  ASSIGN TO SYS001
000007    ORGANIZATION IS INDEXED
000008    ACCESS MODE IS RANDOM
000009    RECORD KEY IS KEY-REC.
000010 DATA  DIVISION.
000011 FILE SECTION.

```



```
000012 FD FILE-1.
000013     01 REC-1.
000014     02 KEY-REC PIC XX.
000015     02 FILLER PIC X(78).
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017     WRITE REC-1 AFTER ADVANCING 1.
000018     STOP RUN.
```

C3132.cob 17: JMN3132I-S ADVANCING指定は, 順ファイル以外には記述できません.

2.5.95 JMN3135I-S

WRITE文のADVANCING指定の作用対象@1@は, 整数項目でなければなりません. 1行送りとなされます.

埋め込みの説明

@1@ : 一意名

例題

```
[C3135.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3135.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO S-SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD FILE-1.
000010     01 REC-1 PIC X(121).
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012     77 LCD-1 PIC XX.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     WRITE REC-1 AFTER ADVANCING LCD-1.
000015     STOP RUN.
```

C3135.cob 14: JMN3135I-S WRITE文のADVANCING指定の作用対象'LCD-1'は, 整数項目でなければなりません. 1行送りとなされます.

2.5.96 JMN3136I-S

WRITE文のADVANCING指定の整数は, 0以上32767以下でなければなりません. 1行送りとなされます.

例題

```
[C3136.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3136.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO S-SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD FILE-1.
000010     01 REC-1 PIC X(121).
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012     WRITE REC-1 AFTER ADVANCING 40000.
000013     STOP RUN.
```

C3136.cob 12: JMN3136I-S WRITE文のADVANCING指定の整数は, 0以上32767以下でなければなりません. 1行送りとなされます.

2.5.97 JMN3141I-S

@1@指定は、@2@に記述できません。

埋め込みの説明

@1@: 'AT EOP', 'NOT AT EOP', 'INVALID KEY', 'NOT INVALID KEY'

@2@: 編成種別

例題

```
[C3141.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3141.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS INDEXED
000008     ACCESS MODE IS RANDOM
000009     RECORD KEY IS KEY-REC.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD FILE-1.
000013     01 REC-1.
000014     02 KEY-REC PIC XX.
000015     02 FILLER PIC X(78).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017     77 DATA-1 PIC XX.
000018 PROCEDURE DIVISION.
000019     WRITE REC-1 AT EOP GO TO L1.
000020     MOVE "AA" TO DATA-1.
000021     L1. STOP RUN.
```

C3141.cob 19: JMN3141I-S AT EOP指定は、索引ファイルに記述できません。

2.5.98 JMN3142I-S

@1@@2@は、REWRITE文に指定できません。

埋め込みの説明

@1@: '表示ファイル', '図表ファイル'

@2@: ファイル名

例題

```
[C3142.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3142.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO GS-SYS001
000007     SYMBOLIC DESTINATION IS "ACM".
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD FILE-1.
000011     01 REC-1 PIC X(121).
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013     REWRITE REC-1.
000014     STOP RUN.
```

C3142.cob 13: JMN3142I-S 表示ファイル'FILE-1'は, REWRITE文に指定できません.

2.5.99 JMN3143I-S

NEXT指定は, 乱呼出しのファイル@1@に記述できません.

埋め込みの説明

@1@: ファイル名

例題

```
[C3143. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3143.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS INDEXED
000008     ACCESS MODE IS RANDOM
000009     RECORD KEY IS KEY-REC.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD FILE-1.
000013     01 REC-1.
000014     02 KEY-REC PIC XX.
000015     02 FILLER PIC X(78).
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017     READ FILE-1 NEXT.
000018     STOP RUN.
```

C3143.cob 17: JMN3143I-S NEXT指定は, 乱呼出しのファイル'FILE-1'に記述できません.

2.5.100 JMN3144I-S

INTO指定の作用対象@1@とレコード領域は, 同じ領域を占有することはできません.

埋め込みの説明

@1@: INTO指定の一意名

例題

```
[C3144. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3144.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009     FD FILE-1.
000010     01 REC-1.
000011     02 REC-1-S PIC X(80).
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013     READ FILE-1 INTO REC-1-S.
000014     STOP RUN.
```

C3144.cob 13: JMN3144I-S INTO指定の作用対象'REC-1-S'とレコード領域は, 同じ領域を占有することはできません.

2.5.101 JMN3145I-S

READ文のKEY指定は、乱呼出しの索引ファイル以外のファイルに記述できません。KEY指定は、無効になります。

例題

```
[C3145.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3145.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS INDEXED
000008     ACCESS MODE IS SEQUENTIAL
000009     RECORD KEY IS KEY-REC.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD FILE-1.
000013     01 REC-1.
000014     02 KEY-REC PIC XX.
000015     02 FILLER PIC X(78).
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017     READ FILE-1 KEY IS KEY-REC.
000018     STOP RUN.
```

C3145.cob 17: JMN3145I-S READ文のKEY指定は、乱呼出しの索引ファイル以外のファイルに記述できません。KEY指定は、無効になります。

2.5.102 JMN3146I-S

READ文のKEY指定のデータ項目@1@は、主レコードキーまたは副レコードキーとして記述しなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : KEY指定項目名

例題

```
[C3146.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3146.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS INDEXED
000008     ACCESS MODE IS RANDOM
000009     RECORD KEY IS KEY-REC.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD FILE-1.
000013     01 REC-1.
000014     02 KEY-REC PIC XX.
000015     02 FILLER PIC X(78).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017     77 KEY-DATA PIC XX.
000018 PROCEDURE DIVISION.
000019     READ FILE-1 KEY IS KEY-DATA.
000020     STOP RUN.
```

C3146.cob 19: JMN3146I-S READ文のKEY指定のデータ項目は、主レコードキーまたは副レコードキーとして記述しなければなりません。

2.5.103 JMN3147I-S

@1@のファイル@2@のREAD文に、@3@指定を記述することはできません。

埋め込みの説明

@1@ : 呼び出し法

@2@ : ファイル名

@3@ : 'AT END', 'NOT AT END', 'INVALID KEY', 'NOT INVALID KEY'

例題

```
[C3147.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3147.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS INDEXED
000008     ACCESS MODE IS RANDOM
000009     RECORD KEY IS KEY-REC.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD FILE-1.
000013     01 REC-1.
000014     02 KEY-REC PIC XX.
000015     02 FILLER PIC X(78).
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017     READ FILE-1 AT END GO TO L1.
000018     L1. STOP RUN.
```

C3147.cob 17: JMN3147I-S 乱呼出しのファイル'FILE-1'のREAD文に、AT END指定を記述することはできません。

2.5.104 JMN3148I-S

手続き名指定のないGO TO文は、ALTER文で参照しなければなりません。

例題

```
[C3148.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3148.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 PROCEDURE DIVISION.
000006 P-1.
000007     GO TO .
000008*
000009 END PROGRAM C3148.
```

C3148.cob 7: JMN3148I-S 手続き名指定のないGO TO文は、ALTER文で参照しなければなりません。

2.5.105 JMN3149I-S

GO TO DEPENDING ON文の一意名@1@は、整数項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名

例題

```
[C3149. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3149.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     77 DP-CTR PIC XX.
000007     77 AA      PIC XX.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009     GO TO L1 L2 DEPENDING ON DP-CTR.
000010 L1. MOVE "AA" TO AA.
000011     GO TO L3.
000012 L2. MOVE "BB" TO AA.
000013 L3. STOP RUN.
```

C3149.cob 9: JMN3149I-S GO TO DEPENDING ON文の一意名'DP-CTR'は、整数項目でなければなりません。

2.5.106 JMN3150I-S

ALTER文で参照される段落@1@は、DEPENDING ON指定のないただ一つのGO TO文からなる完結文でなければなりません。文は、無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 段落名

例題

```
[C3150. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3150.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     77 AA PIC XXX.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008     ALTER L1 TO L2.
000009 L1. MOVE "AAA" TO AA.
000010     GO TO L3.
000011 L2. MOVE "BBB" TO AA.
000012 L3. STOP RUN.
```

C3150.cob 8: JMN3150I-S ALTER文で参照される段落'L1'は、DEPENDING ON指定のないただ一つのGO TO文からなる完結文でなければなりません。文は、無効になります。

2.5.107 JMN3151I-S

算術式中の作用対象となる@1@は、@2@でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標/定数

@2@ : 数字項目/数字定数

例題

```
[C3151. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3151.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
```

```

000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 9999.
000007 01 B PIC 9999.
000008 01 C PIC XXXX.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011     COMPUTE A = B + C.
000012     COMPUTE A = B + B"10101".
000013     STOP RUN.

```

C3151.cob 11: JMN3151I-S 算術式中の作用対象となる'C'は、数字項目でなければなりません。

C3151.cob 12: JMN3151I-S 算術式中の作用対象となる定数は、数字定数でなければなりません。

2.5.108 JMN3152I-S

ブール式中の作用対象となる@1@は、@2@でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標/定数

@2@ : ブール項目/ブール定数

例題

```

[C3152.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3152.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 1111.
000007 01 B PIC 9999.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010     COMPUTE A = NOT ( NOT B ).
000011     COMPUTE A = NOT ( NOT 12345 ).
000012     STOP RUN.

```

C3152.cob 10: JMN3152I-S ブール式中の作用対象となる'B'は、ブール項目でなければなりません。

C3152.cob 11: JMN3152I-S ブール式中の作用対象となる定数は、ブール定数でなければなりません。

2.5.109 JMN3153I-S

式中の括弧で囲まれている作用対象@1@は、数字項目またはブール項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標

例題

```

[C3153.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3153.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 9999.
000007 01 B PIC XXXX.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.

```

```
000010    COMPUTE A = ( B ).
000011    STOP RUN.
```

C3153.cob 10: JMN3153I-S 式中の括弧で囲まれている作用対象'B'は、数字項目またはブール項目でなければなりません。

2.5.110 JMN3154I-S

添字または部分参照の括弧内のデータ名の@1@は、整数の@2@でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標/定数

@2@ : 数字項目/数字定数

例題

```
[C3154.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3154.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01  A PIC 9999.
000007 01  B.
000008      02 C PIC 9999 OCCURS 10 TIMES.
000009 01  I PIC 999V999.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 P-START.
000012      COMPUTE A = C ( I ) + 5.
000013      COMPUTE A = C ( 1.25 ) + 5.
000014      STOP RUN.
```

C3154.cob 12: JMN3154I-S 添字または部分参照の括弧内のデータ名の'I'は、整数の数字項目でなければなりません。

C3154.cob 13: JMN3154I-S 添字または部分参照の括弧内のデータ名の定数は、整数の数字定数でなければなりません。

2.5.111 JMN3157I-S

INITIALIZE文のREPLACING指定に有効となるデータ項目が一つもありません。

例題

```
[C3157.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3157.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01  A PIC X(10).
000007 01  B PIC 99 VALUE 10.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010      INITIALIZE A REPLACING ALPHABETIC BY B.
000011      STOP RUN.
```

C3157.cob 10: JMN3157I-S INITIALIZE文のREPLACING指定に有効となるデータ項目が一つもありません。

2.5.112 JMN3158I-I

INITIALIZE文で、初期値が代入される項目が一つもありません。

例題

```
[C3158.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3158.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC X(10).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009     INITIALIZE A REPLACING NUMERIC BY 1
000010                     ALPHABETIC BY "A".
000011     STOP RUN.
```

C3158.cob 9: JMN3158I-I INITIALIZE文で、初期値が代入される項目が一つ也没有ありません。

2.5.113 JMN3159I-S

EVALUATE文の選択主体に条件式を指定した場合、選択対象は、条件式、TRUE、FALSEまたはANYでなければなりません。

例題

```
[C3159.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3159.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC X(2).
000007 01 B PIC XX.
000008 01 X PIC X(2).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010     EVALUATE A = B
000011     WHEN A
000012     MOVE 1 TO A.
000013     STOP RUN.
```

C3159.cob 11: JMN3159I-S EVALUATE文の選択主体に条件式を指定した場合、選択対象は、条件式、TRUE、FALSEまたはANYでなければなりません。

2.5.114 JMN3160I-S

SEARCH ALL文の@1@のデータ記述には、KEY IS指定がなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名

例題

```
[C3160.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3160.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 GRP.
000007 02 TBL OCCURS 10 TIMES INDEXED BY INX.
000008 03 A PIC X.
000009 01 B PIC XX.
000010 01 X PIC X(2).
```

```

000011 PROCEDURE DIVISION.
000012     SEARCH ALL TBL
000013     WHEN  A(INX) = "Z"
000014         MOVE 1 TO B.
000015     STOP RUN.

```

C3160.cob 12: JMN3160I-S SEARCH ALL文の'TBL'のデータ記述には、KEY IS指定がなければなりません。

2.5.115 JMN3161I-S

SEARCH ALL文のWHEN指定の条件には、@1@のデータ記述のKEY IS指定に記述したデータ名がなければなりません。

埋め込みの説明

@1@:一意名

例題

```

[C3161.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3161.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 GRP1.
000007    02 TBL1 OCCURS 10 TIMES ASCENDING KEY IS K1
000008                                INDEXED BY INX1.
000009        03 K1      PIC X.
000010 01 GRP2.
000011    02 TBL2 OCCURS 10 TIMES ASCENDING KEY IS K2
000012                                INDEXED BY INX2.
000013        03 K2      PIC X.
000014 01 A      PIC XX.
000015 01 B      PIC X(2).
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017     SEARCH ALL TBL1
000018     WHEN  K2(INX1) = "Y"
000019         MOVE 1 TO A.
000020     STOP RUN.

```

C3161.cob 18: JMN3161I-S SEARCH ALL文のWHEN指定の条件には、'TBL1'のデータ記述のKEY IS指定に記述したデータ名がなければなりません。

2.5.116 JMN3162I-S

SEARCH ALL文のWHEN指定の@1@に対する最下位次元の添字は、@2@の最初の指標名でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@:一意名

@2@:一意名

例題

```

[C3162.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3162.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 GRP.
000007    02 TBL OCCURS 5 TIMES.

```

```

000008      03  TBL-2 OCCURS 5 TIMES ASCENDING KEY IS A
000009                                INDEXED BY INX1 INX2.
000010      04  A  PIC 9.
000011 PROCEDURE  DIVISION.
000012      SEARCH ALL TBL-2
000013      WHEN A(3, INX2) = 1
000014      STOP RUN.

```

C3162.cob 13: JMN3162I-S SEARCH ALL文のWHEN指定の'A'に対する最下位次元の添字は、'TBL-2'の最初の指標名でなければなりません。

2.5.117 JMN3163I-S

SEARCH ALL文のWHEN指定のデータ名または条件名は、KEY IS指定中でそれより前に記述されたデータ名または条件名をすべて指定しなければなりません。

例題

```

[C3163. cob]
000001 IDENTIFICATION  DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     C3163.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 DATA  DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01  GRP.
000007      02  TBL OCCURS 10 TIMES ASCENDING KEY IS A B C
000008                                INDEXED BY INX.
000009      03  A      PIC 9.
000010      03  B      PIC X.
000011      03  C      PIC X.
000012 PROCEDURE  DIVISION.
000013      SEARCH ALL TBL
000014      WHEN C(INX) = "A"
000015      AND  A(INX) = 9
000016      STOP RUN.

```

C3163.cob 14: JMN3163I-S SEARCH ALL文のWHEN指定のデータ名または条件名は、KEY IS指定中でそれより前に記述されたデータ名または条件名をすべて指定しなければなりません。

詳細な説明

SEARCH ALL文のWHEN指定の条件に、検索対象である表に指定されたKEY IS指定の全ての項目を含める必要はありません。しかしKEY IS指定に指定した順序において、途中を省略した形での指定は許されません。例えば「KEY IS A B C」の場合、WHEN指定の条件には「Aのみ」「AとB」「A, B, Cの全て」のいずれかの形でKEY項目を指定可能です。しかし「AとC」のような形では指定できません。

2.5.118 JMN3164I-S

@1@@2@に対して、DELETE文は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : 編成種別

@2@ : ファイル名

例題

```

[C3164. cob]
000001 IDENTIFICATION  DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     C3164.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.

```

```

000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO S-SYS001.
000007 DATA  DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009     FD FILE-1.
000010         01 REC-1 PIC X(80).
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012     DELETE FILE-1.
000013     STOP RUN.

```

C3164.cob 12: JMN3164I-S 順ファイル'FILE-1'に対して、DELETE文は指定できません。

2.5.119 JMN3165I-S

順呼出しのファイル@1@の場合、@2@指定はDELETE文に記述できません。

埋め込みの説明

@1@ : ファイル名

@2@ : 'INVALID KEY', 'NOT INVALID KEY'

例題

```

[C3165.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3165.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO S-SYS001
000007     ORGANIZATION IS INDEXED
000008     ACCESS MODE IS SEQUENTIAL
000009     RECORD KEY IS REC-KEY.
000010 DATA  DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012     FD FILE-1.
000013         01 REC-1.
000014         02 REC-KEY PIC XX.
000015         02 FILLER PIC XX.
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017     DELETE FILE-1 INVALID KEY GO TO L1.
000018     L1. STOP RUN.

```

C3165.cob 17: JMN3165I-S 順呼出しのファイル'FILE-1'の場合、INVALID KEY指定はDELETE文に記述できません。

2.5.120 JMN3166I-S

@1@の@2@@3@に対して、START文は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : アクセスモード

@2@ : 編成種別

@3@ : ファイル名

例題

```

[C3166.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3166.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.

```

```

000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA  DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009     FD FILE-1.
000010         01 REC-1 PIC X(80).
000011 PROCEDURE  DIVISION.
000012     START FILE-1.
000013     STOP RUN.

```

C3166.cob 12: JMN3166I-S 順呼出しの順ファイル'FILE-1'に対して、START文は指定できません。

2.5.121 JMN3169I-S

相対ファイルに対するSTART文のKEY指定には、RELATIVE KEY句で指定した項目以外は記述できません。

例題

```

[C3169.cob]
000001 IDENTIFICATION  DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3169.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS RELATIVE
000008     ACCESS MODE IS SEQUENTIAL
000009     RELATIVE KEY IS REL-KEY.
000010 DATA  DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012     FD FILE-1.
000013         01 REC-1 PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015     77 REL-KEY  PIC 99.
000016     77 KEY-DATA PIC XX.
000017 PROCEDURE  DIVISION.
000018     START FILE-1 KEY IS = KEY-DATA.
000019     STOP RUN.

```

C3169.cob 18: JMN3169I-S 相対ファイルに対するSTART文のKEY指定には、RELATIVE KEY句で指定した項目以外は記述できません。

2.5.122 JMN3170I-S

索引ファイルを指定したSTART文のKEYに、RECORD KEY句またはALTERNATE RECORD KEY句で指定した項目またはそれに従属する項目以外は記述できません。

例題

```

[C3170.cob]
000001 IDENTIFICATION  DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3170.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS INDEXED
000008     ACCESS MODE IS SEQUENTIAL
000009     RECORD KEY IS KEY-REC.
000010 DATA  DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012     FD FILE-1.

```

```

000013    01 REC-1.
000014    02 KEY-REC PIC XX.
000015    02 FILLER PIC X(78).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017    77 KEY-DATA PIC XX.
000018 PROCEDURE DIVISION.
000019    START FILE-1 KEY IS = KEY-DATA.
000020    STOP RUN.

```

C3170.cob 19: JMN3170I-S 索引ファイルを指定したSTART文のKEYに、RECORD KEY句またはALTERNATE RECORD KEY句で指定した項目またはそれに従属する項目以外は記述できません。

2.5.123 JMN3175I-S

STRING文の送出し側の項目@1@のUSAGEは、DISPLAYでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標

例題

```

[C3175.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3175.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 AN-1 PIC 9(2) BINARY.
000006 01 AN-2 PIC X(6).
000007 01 AN-3 PIC X(10).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010    STRING AN-1 DELIMITED BY AN-2 INTO AN-3.
000011    STOP RUN.

```

C3175.cob 10: JMN3175I-S STRING文の送出し側の項目'AN-1'のUSAGEは、DISPLAYでなければなりません。

2.5.124 JMN3181I-S

SEARCH ALL文のWHEN指定またはAND指定の条件式中の左辺と右辺の両方にKEY項目は記述できません。

例題

```

[C3181.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3181.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 GRP.
000007    02 TBL OCCURS 5 TIMES ASCENDING KEY IS A B
000008                                INDEXED BY IX.
000009        03 A PIC 9.
000010        03 B PIC 9.
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012    SEARCH ALL TBL
000013    WHEN A (IX) = B (IX)
000014    STOP RUN.

```

C3181.cob 13: JMN3181I-S SEARCH ALL文のWHEN指定またはAND指定の条件式中の左辺と右辺の両方にKEY項目は記述できません。

2.5.125 JMN3182I-W

一つのWRITE文に、ADVANCING PAGE指定とEND-OF-PAGE指定の両方は記述できません。そのまま受け入れられます。

例題

```
[C3182.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3182.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO S-SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009     FD FILE-1 LINAGE IS 50 LINES.
000010     01 REC-1 PIC X(80).
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012     WRITE REC-1 AFTER ADVANCING PAGE AT EOP GO TO L1.
000013     L1. STOP RUN.
```

C3182.cob 12: JMN3182I-W 一つのWRITE文に、ADVANCING PAGE指定とEND-OF-PAGE指定の両方は記述できません。そのまま受け入れられます。

2.5.126 JMN3184I-S

CHARACTER TYPE句付きの日本語項目または日本語編集項目、あるいはPRINTING POSITION句付きの項目を含むファイルに対して、REWRITE文を指定できません。

例題

```
[C3184.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3184.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO S-SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009     FD FILE-1.
000010     01 REC-1.
000011     02 REC-1-1 PIC N(5) MODE-1.
000012     02 FILLER PIC X(70).
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     REWRITE REC-1.
000015 END PROGRAM C3184.
```

C3184.cob 14: JMN3184I-S CHARACTER TYPE句付きの日本語項目または日本語編集項目、あるいはPRINTING POSITION句付きの項目を含むファイルに対して、REWRITE文を指定できません。

2.5.127 JMN3188I-S

INSPECT文の検査対象項目@1@のUSAGEは、DISPLAYでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 検査対象項目名

例題

```
[C3188.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3188.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 77 ID1 PIC S9(9) BINARY.
000007 77 CTR PIC 99.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 INSPECT ID1 TALLYING CTR FOR CHARACTERS.
000010 END PROGRAM C3188.
```

C3188.cob 9: JMN3188I-S INSPECT文の検査対象項目'ID1'のUSAGEは、DISPLAYでなければなりません。

2.5.128 JMN3189I-S

INSPECT文のTALLYING指定の項目@1@は、数字項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 計数項目名

例題

```
[C3189.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3189.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 77 ID1 PIC X(20).
000007 77 CTR PIC XX.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 INSPECT ID1 TALLYING CTR FOR CHARACTERS.
000010 END PROGRAM C3189.
```

C3189.cob 9: JMN3189I-S INSPECT文のTALLYING指定の項目'CTR'は、数字項目でなければなりません。

2.5.129 JMN3190I-S

INSPECT文にCHARACTERS指定を記述する場合、被置換文字および範囲指定文字の長さは1字でなければなりません。文は、無効になります。

例題

```
[C3190.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3190.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 77 ID1 PIC X(20).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 INSPECT ID1 REPLACING CHARACTERS BY "01".
000009 END PROGRAM C3190.
```

C3190.cob 8: JMN3190I-S INSPECT文にCHARACTERS指定を記述する場合、被置換文字および範囲指定文字の長さは1字でなければなりません。文は、無効になります。

2.5.130 JMN3191I-S

INSPECT文にREPLACING指定を記述する場合、置換文字と被置換文字の項目長は、同じでなければなりません。

例題

```
[C3191.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3191.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 77 ID1 PIC X(20).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 INSPECT ID1 REPLACING ALL "0" BY "11".
000009 END PROGRAM C3191.
```

C3191.cob 8: JMN3191I-S INSPECT文にREPLACING指定を記述する場合、置換文字と被置換文字の項目長は、同じでなければなりません。

2.5.131 JMN3192I-S

INSPECT文にCONVERTING指定を記述する場合、変換文字と被変換文字の項目長は、被変換文字が日本語項目または日本語編集項目のとき65536以下、それ以外のとき256以下でなければなりません。

例題

```
[C3192.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3192.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 77 ID1 PIC X(400).
000007 77 CV-CHAR1 PIC X(300).
000008 77 CV-CHAR2 PIC X(300).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 INSPECT ID1 CONVERTING CV-CHAR1 TO CV-CHAR2.
000011 END PROGRAM C3192.
```

C3192.cob 10: JMN3192I-S INSPECT文にCONVERTING指定を記述する場合、変換文字と被変換文字の項目長は、被変換文字が日本語項目または日本語編集項目のとき65536以下、それ以外のとき256以下でなければなりません。

C3192.cob 10: JMN3192I-S INSPECT文にCONVERTING指定を記述する場合、変換文字と被変換文字の項目長は、被変換文字が日本語項目または日本語編集項目のとき65536以下、それ以外のとき256以下でなければなりません。

2.5.132 JMN3193I-S

INSPECT文にCONVERTING指定を記述する場合、変換文字と被変換文字の項目長は等しくなければなりません。

例題

```
[C3193.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3193.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 77 ID1 PIC X(20).
000007 77 CV-CHAR1 PIC XX.
000008 77 CV-CHAR2 PIC X.
000009 PROCEDURE DIVISION.
```

```
000010 INSPECT ID1 CONVERTING CV-CHAR1 TO CV-CHAR2.  
000011 END PROGRAM C3193.
```

C3193.cob 10: JMN3193I-S INSPECT文にCONVERTING指定を記述する場合、変換文字と被変換文字の項目長は等しくなければなりません。

2.5.133 JMN3194I-S

INSPECT文内のTALLYING指定の項目を除く項目と検査対象項目の組合せは、両方とも日本語項目または日本語編集項目か、あるいは両方とも日本語項目および日本語編集項目以外でなければなりません。

例題

```
[C3194.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C3194.  
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 DATA DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 77 ID1 PIC X(20).  
000007 77 REP-CHAR PIC N.  
000008 PROCEDURE DIVISION.  
000009 INSPECT ID1 REPLACING CHARACTERS BY REP-CHAR.  
000010 END PROGRAM C3194.
```

C3194.cob 9: JMN3194I-S INSPECT文内のTALLYING指定の項目を除く項目と検査対象項目の組合せは、両方とも日本語項目または日本語編集項目か、あるいは両方とも日本語項目および日本語編集項目以外でなければなりません。

2.5.134 JMN3195I-S

INSPECT文の検査対象およびTALLYING指定の項目を除く項目のUSAGEは、DISPLAYでなければなりません。

例題

```
[C3195.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C3195.  
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 DATA DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 01 TAL-CHAR PIC S99 BINARY.  
000007 77 ID1 PIC X(20).  
000008 77 CTR PIC 99 PACKED-DECIMAL.  
000009 PROCEDURE DIVISION.  
000010 INSPECT ID1 TALLYING CTR FOR ALL TAL-CHAR.  
000011 END PROGRAM C3195.
```

C3195.cob 10: JMN3195I-S INSPECT文の検査対象およびTALLYING指定の項目を除く項目のUSAGEは、DISPLAYでなければなりません。

2.5.135 JMN3196I-S

@1@@2@は、CALL文のUSING指定に記述できません。

埋め込みの説明

@1@ : 編成種別

@2@ : ファイル名

例題

```
[C3196.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3196.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE001 ASSIGN SYS010-DA-OUTFILE
000007     ORGANIZATION IS RELATIVE
000008     ACCESS MODE IS SEQUENTIAL.
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011 FD FILE001 LABEL RECORD STANDARD.
000012 01 LINE-REC PIC X(77).
000013 01 CTL-REC PIC X(61).
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     OPEN OUTPUT FILE001.
000016     CALL "EXTPROG" USING BY CONTENT FILE001.
000017     CLOSE FILE001.
000018 END PROGRAM C3196.
```

C3196.cob 16: JMN3196I-S 相対ファイル'FILE001'は、CALL文のUSING指定に記述できません。

2.5.136 JMN3198I-S

SEARCH ALL文の@1@は、部分参照できません。

埋め込みの説明

@1@ : キーデータ項目

例題

```
[C3198.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3198.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 GR.
000007 02 TBL OCCURS 10 TIMES ASCENDING KEY IS KEY-1
000008     INDEXED BY INX.
000009 03 KEY-1 PIC X(5).
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011     SEARCH ALL TBL
000012     WHEN KEY-1(INX) (1 : 3) = "AAA"
000013     STOP RUN.
```

C3198.cob 12: JMN3198I-S SEARCH ALL文の'KEY-1'は、部分参照できません。

2.5.137 JMN3199I-S

INSPECT文内のTALLYING指定の項目を除く項目と検査対象項目のエンコードは、一致していなければなりません。

例題

```
000001 @OPTIONS ENCODE(UTF8, UTF16, LE)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3199.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
```

```

000007    ALPHABET U16L FOR NATIONAL UTF16LE
000008    ALPHABET U32L FOR NATIONAL UTF32LE
000009
000010 DATA DIVISION.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 77 ID1 PIC N ENCODING U16L.
000013 77 REP-CHAR PIC N ENCODING U32L.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     INSPECT ID1 REPLACING CHARACTERS BY REP-CHAR.
000016 END PROGRAM C3199.

```

C3199.cob 15: JMN3199I-S INSPECT文内のTALLYING指定の項目を除く項目と検査対象項目のエンコードは、一致していません。

2.5.138 JMN3200I-S

@1@の@2@@3@は、OPEN文の@4@指定に記述できません。

埋め込みの説明

@1@ : 呼出し法
 @2@ : 編成種別
 @3@ : ファイル名
 @4@ : 'INPUT', 'OUTPUT', 'I-O', 'EXTEND'

例題

```

[C3200.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3200.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS INDEXED
000008     ACCESS MODE IS RANDOM
000009     RECORD KEY IS KEY-REC.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD FILE-1.
000013 01 REC-1.
000014 02 KEY-REC PIC XX.
000015 02 FILLER PIC X(78).
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017     OPEN EXTEND FILE-1.
000018     STOP RUN.

```

C3200.cob 17: JMN3200I-S 乱呼出しの索引ファイル'FILE-1'は、OPEN文のEXTEND指定に記述できません。

2.5.139 JMN3202I-S

@1@文に、一つのファイル@2@を重複して指定することはできません。最初の指定だけが受け入れられます。

埋め込みの説明

@1@ : 'OPEN', 'CLOSE'
 @2@ : ファイル名

例題

```
[C3202. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3202.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO SYS001.
000007     SELECT FILE-2 ASSIGN TO SYS002.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010     FD FILE-1.
000011         01 REC-1 PIC X(80).
000012     FD FILE-2.
000013         01 REC-2 PIC X(80).
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     OPEN INPUT  FILE-1 FILE-2
000016             OUTPUT FILE-1.
000017     STOP RUN.
```

C3202.cob 16: JMN3202I-S OPEN文に、一つのファイル'FILE-1'を重複して指定することはできません。最初の指定だけが受け入れられます。

2.5.140 JMN3203I-I

(CONF)同一ファイルに対して、ADVANCING指定のあるWRITE文と指定のないWRITE文が混在しています。ADVANCING指定のないWRITE文は、AFTER ADVANCING 1として受け入れられます。

例題

```
[C3203. cob]
000001 @OPTIONS CONF(68)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3203.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT FILE-1 ASSIGN TO S-SYS001.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010     FD FILE-1.
000011         01 REC-1 PIC X(80).
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013     WRITE REC-1.
000014     WRITE REC-1 AFTER ADVANCING 1 LINE.
000015     STOP RUN.
```

C3203.cob 13: JMN3203I-I (CONF)同一ファイルに対して、ADVANCING指定のあるWRITE文と指定のないWRITE文が混在しています。ADVANCING指定のないWRITE文は、AFTER ADVANCING 1として受け入れられます。

2.5.141 JMN3207I-I

(CONF)UNSTRING文で、ALL指定ありのDELIMITED BY指定とDELIMITER IN指定の両方が記述されています。UNSTRING文の送出し側項目中に区切り文字の並びが存在しても、DELIMITER IN指定の項目には、その1回分の区切り文字が転記されるだけです。

例題

```
[C3207. cob]
000001 @OPTIONS CONF(68)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000003 PROGRAM-ID. C3207.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 A PIC X(10) VALUE "ABC/*/*DEF".
000008 01 B PIC X(5).
000009 01 C PIC X(5).
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 P-START.
000012 UNSTRING A DELIMITED BY ALL "/"*
000013 INTO B DELIMITER IN C.

```

C3207.cob 12: JMN3207I-I (CONF)UNSTRING文で、ALL指定ありのDELIMITED BY指定とDELIMITER IN指定の両方が記述されています。UNSTRING文の送出し側項目中に区切り文字の並びが存在しても、DELIMITER IN指定の項目には、その1回分の区切り文字が転記されるだけです。

2.5.142 JMN3218I-S

相対ファイル@1@には、RELATIVE KEY句を指定しなければなりません。

埋め込みの説明

@1@: ファイル名

例題

```

[C3218.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3218.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS RELATIVE
000008     ACCESS MODE IS SEQUENTIAL.
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011 FD FILE-1.
000012 01 REC-1 PIC X(80).
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     OPEN INPUT FILE-1.
000015     START FILE-1.
000016     CLOSE FILE-1.
000017     STOP RUN.

```

C3218.cob 15: JMN3218I-S 相対ファイル'FILE-1'には、RELATIVE KEY句を指定しなければなりません。

2.5.143 JMN3219I-I

(CONF)PERFORM文の一意名の増加の順序は次のとおりです。まず、VARYING指定の一意名にBY指定の現在値を加えます。次に、AFTER指定の一意名をFROM指定の現在値に等しくします。

例題

```

[C3219.cob]
000001 @OPTIONS CONF(74)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3219.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 A PIC 9(2) BINARY.
000008 01 B PIC 9(2) BINARY.

```

```

000009 01 C      PIC 9(2) BINARY.
000010 01 X      PIC 9(2) BINARY.
000011 01 Y      PIC 9(2) BINARY.
000012 01 Z      PIC 9(2) BINARY.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     PERFORM L1 VARYING A FROM B BY C UNTIL A = B
000015             AFTER X FROM Y BY Z UNTIL X = Y.
000016 L1.
000017     STOP RUN.

```

C3219.cob 15: JMN3219I-I (CONF)PERFORM文の一意名の増加の順序は次のとおりです。まず、VARYING指定の一意名にBY指定の現在値を加えます。次に、AFTER指定の一意名をFROM指定の現在値に等しくします。

2.5.144 JMN3222I-I

(CONF)ALPHABETIC検査を指定しています。データ項目に英小文字が含まれていても、字類は英字となります。

例題

```

[C3222.cob]
000001 @OPTIONS CONF(74)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3222.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 A      PIC AA.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009     IF A IS ALPHABETIC DISPLAY "CONF-OK"
000010             ELSE DISPLAY "CONF-NG".
000011     STOP RUN.

```

C3222.cob 9: JMN3222I-I (CONF)ALPHABETIC検査を指定しています。データ項目に英小文字が含まれていても、字類は英字となります。

2.5.145 JMN3223I-I

(CONF)CORRESPONDING指定のある@1@文で、FILLER項目に従属する項目が対応しています。対応がとれたものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : MOVE, ADD, SUBTRACT

2.5.146 JMN3226I-I

(CONF)小数点の左側に'P'を持つ数字項目@1@を文字作用対象と比較しています。小数点の左側に'P'を持たない数字項目とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名

例題

```

[C3226.cob]
000001 @OPTIONS CONF(74), LANGLVL(85)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3226.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 A      PIC 999PP.

```

```

000008 PROCEDURE DIVISION.
000009     MOVE 12345 TO A.
000010     IF "123" = A THEN
000011         DISPLAY "CONF-OK"
000012     ELSE
000013         DISPLAY "CONF-NG"
000014     END-IF
000015 END PROGRAM C3226.

```

C3226.cob 10: JMN3226I-I (CONF) 小数点の左側に'P'を持つ数字項目'A'を文字作用対象と比較しています。小数点の左側に'P'を持たない数字項目とみなします。

2.5.147 JMN3229I-S

CHARACTER TYPE指定またはPRINTING POSITION指定が記述された項目を含む項目@1@をWRITE文のFROM指定に記述する場合、部分参照してはいけません。

埋め込みの説明

@1@ : FROM指定の一意名

例題

```

[C3229.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3229.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO S-SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD FILE-1.
000010     01 REC-1 PIC X(80).
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012     01 DATA-1.
000013         02 DATA-1-1 PIC X(10).
000014         02 DATA-1-2 PIC N(10) CHARACTER TYPE IS MODE-1.
000015     77 NN1 PIC 99.
000016     77 NN2 PIC 99.
000017 PROCEDURE DIVISION.
000018     OPEN OUTPUT FILE-1.
000019     WRITE REC-1 FROM DATA-1 (NN1:NN2).
000020     CLOSE FILE-1.
000021     STOP RUN.

```

C3229.cob 19: JMN3229I-S CHARACTER TYPE指定またはPRINTING POSITION指定が記述された項目を含む項目'DATA-1'をWRITE文のFROM指定に記述する場合、部分参照してはいけません。

2.5.148 JMN3231I-S

@1@(@2@)と@3@(@4@)との比較は、許されない組合せの比較です。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標, 特殊レジスタの名標

@2@ : 属性

@3@ : 一意名の名標, 特殊レジスタの名標

@4@ : 属性

例題

```
[C3231.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3231.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC N(10).
000007 01 B PIC X(20).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010 IF A = B STOP RUN.
```

C3231.cob 10: JMN3231I-S 'A'(日本語)と'B'(英数字)との比較は、許されない組合せの比較です。

2.5.149 JMN3236I-S

@1@文の@2@指定に記述されたファイル@3@のレコード長は、整列併合用ファイルの最大レコード長以下であり、かつ最小レコード長以上でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : SORT/MERGE

@2@ : USING/GIVING

@3@ : ファイル名

例題

```
[C3236.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3236.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT US-FILE ASSIGN TO SYS001-DA-S-SYS001.
000007 SELECT GV-FILE ASSIGN TO SYS002-DA-S-SYS002.
000008 SELECT SD-FILE ASSIGN TO SYS003-DA-S-SYS003.
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011 FD US-FILE.
000012 01 US-REC1 PIC X(100).
000013 FD GV-FILE.
000014 01 GV-REC1 PIC X(75).
000015 SD SD-FILE.
000016 01 SD-REC.
000017 02 SD-KEY1 PIC X(5).
000018 02 FILLER PIC X(75).
000019 PROCEDURE DIVISION.
000020 SORT SD-FILE ASCENDING KEY SD-KEY1
000021 USING US-FILE
000022 GIVING GV-FILE.
000023 STOP RUN.
```

C3236.cob 20: JMN3236I-S SORT文のUSING指定に記述されたファイル'US-FILE'のレコード長は、整列併合用ファイルの最大レコード長以下であり、かつ最小レコード長以上でなければなりません。

2.5.150 JMN3238I-S

@1@文のKEY指定に記述されたデータ項目@2@は、外部ブール項目および内部ブール項目以外の添字付けのない固定長データでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : SORT/MERGE

@2@ : 一意名

2.5.151 JMN3240I-S

@1@と@2@(@3@)との比較は、許されない組合せの比較です。

埋め込みの説明

@1@ : “算術式”, “数字定数”, “文字定数”, 各表意定数の名標, “日本語定数”, “ブール定数”

@2@ : 一意名の名標, 特殊レジスタの名標, 指標名の名標

@3@ : 属性

例題

```
[C3240.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3240.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC S9(3) PACKED-DECIMAL.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 IF "AB" = A STOP RUN.
```

C3240.cob 9: JMN3240I-S 文字定数と'A'(内部10進)との比較は、許されない組合せの比較です。

2.5.152 JMN3241I-S

@1@(@2@)と@3@との比較は、許されない組合せの比較です。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標, 特殊レジスタの名標, 指標名の名標

@2@ : 属性

@3@ : “算術式”, “数字定数”, “文字定数”, 各表意定数の名標, “日本語定数”, “ブール定数”

例題

```
[C3241.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3241.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC S9(3) PACKED-DECIMAL.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 IF A = "AB" STOP RUN.
```

C3241.cob 9: JMN3241I-S 'A'(内部10進)と文字定数との比較は、許されない組合せの比較です。

2.5.153 JMN3242I-S

@1@と@2@(@3@)との比較は、許されない組合せの比較です。

埋め込みの説明

@1@ : 数字定数,文字定数,日本語定数,ZERO(S,ES),QUOTE(S)

@2@ : 一意名の名標,特殊レジスタの名標

@3@ : 属性

例題

```
[C3242. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3242.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01  A      PIC N(10).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009      IF "AB" = A STOP RUN.
```

C3242.cob 9: JMN3242I-S 文字定数と'A'(日本語)との比較は, 許されない組合せの比較です.

2.5.154 JMN3243I-S

@1@(@2@)と@3@との比較は, 許されない組合せの比較です.

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標,特殊レジスタの名標

@2@ : 属性

@3@ : 数字定数,文字定数,日本語定数,ZERO(S,ES),QUOTE(S)

例題

```
[C3243. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3243.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01  A      PIC N(10).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009      IF A = "AB" STOP RUN.
```

C3243.cob 9: JMN3243I-S 'A'(日本語)と文字定数との比較は, 許されない組合せの比較です.

2.5.155 JMN3244I-S

@1@と@2@との比較は, 許されない組合せの比較です.

埋め込みの説明

@1@ : "算術式", "文字定数", "日本語定数", "ブール定数", 各表意定数の名標(ZEROは除く)

@2@ : "算術式", "文字定数", "日本語定数", "ブール定数", 各表意定数の名標(ZEROは除く)

例題

```
[C3244. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3244.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
```

```

000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC S9(3) PACKED-DECIMAL.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 IF A + 10 = "AB" STOP RUN.

```

C3244.cob 9: JMN3244I-S 算術式と文字定数との比較は、許されない組合せの比較です。

2.5.156 JMN3245I-W

算術式中でゼロを負の整数乗しようとしています。ここでいうゼロとは、値ゼロの数字定数、表意定数ZERO、演算の中間結果において有効けたがすべて消失した場合のいずれかです。結果をゼロとして処理を続けます。

例題

```

[C3245.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3245.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC S99.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 COMPUTE A = 0 ** -5.
000009 END PROGRAM C3245.

```

C3245.cob 8: JMN3245I-W 算術式中でゼロを負の整数乗しようとしています。ここでいうゼロとは、値ゼロの数字定数、表意定数ZERO、演算の中間結果において有効けたがすべて消失した場合のいずれかです。結果をゼロとして処理を続けます。

2.5.157 JMN3246I-W

整数乗の指数のけた数が9けたを超えています。下位9けたを指数として処理を続けます。

例題

```

[C3246.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3246.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC S9(18).
000007 01 B PIC S9(3).
000008 01 C PIC S9(12).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 COMPUTE A = B ** C.
000011 END PROGRAM C3246.

```

C3246.cob 10: JMN3246I-W 整数乗の指数のけた数が9けたを超えています。下位9けたを指数として処理を続けます。

2.5.158 JMN3248I-S

RECORD CONTAINS 0 CHARACTERS句を指定したファイル@1@は、OPEN文のOUTPUT指定に記述できません。

埋め込みの説明

@1@ : ファイル名

例題

```

[C3248.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.

```

```

000002 PROGRAM-ID. C3248.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 LINE SEQUENTIAL ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009     FD FILE-1 RECORD CONTAINS 0 CHARACTERS.
000010     01 REC-1 PIC X(80).
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012     OPEN OUTPUT FILE-1.
000013     STOP RUN.

```

C3248.cob 12: JMN3248I-S RECORD CONTAINS 0 CHARACTERS句を指定したファイル'FILE-1'は、OPEN文のOUTPUT指定に記述できません。

2.5.159 JMN3249I-S

SEARCH ALL文のキー項目@1@および比較する対象は、ブール項目(定数)であってはなりません。

埋め込みの説明

@1@ : データ名

例題

```

[C3249. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3249.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 TBL.
000007 02 X OCCURS 5 TIMES ASCENDING KEY IS A
000008             INDEXED BY IX1.
000009 03 A             PIC 9(2).
000010 01 B             PIC 1(2).
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012     SEARCH ALL X
000013     WHEN A(IX1) = B
000014     CONTINUE
000015     END-SEARCH.
000016 END PROGRAM C3249.

```

C3249.cob 13: JMN3249I-S SEARCH ALL文のキー項目'A'および比較する対象は、ブール項目(定数)であってはなりません。

2.5.160 JMN3250I-S

CORRESPONDING指定のある@1@文に、部分参照された項目は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : MOVE文, ADD文またはSUBTRACT文

例題

```

[C3250. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3250.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.

```

```

000007 01 AA.
000008     02 CC-1      PIC X(4).
000009     02 CC-2      PIC X(4).
000010 01 BB.
000011     02 CC-1      PIC X(4).
000012     02 CC-2      PIC X(4).
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014 P-START.
000015     ADD CORR AA(1:4) TO BB.
000016     STOP RUN.

```

C3250.cob 15: JMN3250I-S CORRESPONDING指定のあるADD文に、部分参照された項目は指定できません。

2.5.161 JMN3259I-S

@1@文に指定された整列併合用ファイルのレコード長は、@2@指定に記述されたファイル@3@の最大レコード長以下であり、かつ最小レコード長以上でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : SORT/MERGE

@2@ : USING/GIVING

@3@ : ファイル名

例題

```

[C3259.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3259.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT US-FILE  ASSIGN TO SYS001-DA-S-SYS001.
000007     SELECT GV-FILE  ASSIGN TO SYS002-DA-S-SYS002.
000008     SELECT SD-FILE  ASSIGN TO SYS003-DA-S-SYS003.
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011 FD  US-FILE.
000012 01 US-REC1  PIC X(80).
000013 FD  GV-FILE.
000014 01 GV-REC1  PIC X(75).
000015 SD  SD-FILE.
000016 01 SD-REC.
000017     02 SD-KEY1  PIC X(5).
000018     02 FILLER    PIC X(75).
000019 PROCEDURE DIVISION.
000020     SORT SD-FILE ASCENDING KEY SD-KEY1
000021         USING  US-FILE
000022         GIVING GV-FILE.
000023     STOP RUN.

```

C3259.cob 20: JMN3259I-S SORT文に指定された整列併合用ファイルのレコード長は、GIVING指定に記述されたファイル'GV-FILE'の最大レコード長以下であり、かつ最小レコード長以上でなければなりません。

2.5.162 JMN3262I-I

(CONF)LINAGE句指定のあるファイルに対して、ADVANCING指定のないWRITE文が指定されています。AFTER ADVANCING 1として受け入れられます。

例題

```
[C3262. cob]
000001 @OPTIONS CONF (V10)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3262.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT FILE-1  ASSIGN TO S-SYS001.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD  FILE-1 LINAGE IS 50 LINES.
000011     01 REC-1 PIC X(80).
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013     OPEN OUTPUT FILE-1.
000014     WRITE REC-1.
000015     WRITE REC-1.
000016     CLOSE FILE-1.
000017     STOP RUN.
```

C3262.cob 14: JMN3262I-I (CONF)LINAGE句指定のあるファイルに対して、ADVANCING指定のないWRITE文が指定されています。AFTER ADVANCING 1として受け入れられます。

C3262.cob 15: JMN3262I-I (CONF)LINAGE句指定のあるファイルに対して、ADVANCING指定のないWRITE文が指定されています。AFTER ADVANCING 1として受け入れられます。

2.5.163 JMN3264I-S

@1@文のGIVING指定に索引ファイル@2@が指定されたとき、KEY指定に記述されたデータ名@3@は、そのファイルの主レコードキーに関連付けられるデータ項目とそのレコード中で同じ文字位置を占めなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : SORT/MERGE

@2@ : ファイル名

@3@ : データ名

例題

```
[C3264. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3264.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SD-FILE  ASSIGN TO SYS001-DA-S-SYS001.
000007     SELECT US-FILE  ASSIGN TO SYS002-DA-S-SYS002.
000008     SELECT GV-FILE  ASSIGN TO SYS003
000009         ORGANIZATION      IS INDEXED
000010         RECORD            KEY IS RKEY-1
000011         ALTERNATE RECORD KEY IS AKEY-1
000012         ALTERNATE RECORD KEY IS AKEY-2
000013         ALTERNATE RECORD KEY IS AKEY-3
000014         ACCESS    MODE      IS SEQUENTIAL.
000015 DATA DIVISION.
000016 FILE SECTION.
000017 FD  US-FILE.
000018     01 US-REC1    PIC X(80).
000019 FD  GV-FILE.
000020     01 GV-REC1.
000021     02 RKEY-1     PIC XX.
```

```

000022      02 AKEY-1      PIC XX.
000023      02 AKEY-2      PIC XX.
000024      02 AKEY-3      PIC XX.
000025      02 FILLER      PIC X(72).
000026 SD    SD-FILE.
000027 01 SD-REC1.
000028      02 SD-KEY1      PIC XX.
000029      02 SD-KEY2      PIC XX.
000030      02 FILLER      PIC X(74).
000031      02 SD-KEY3      PIC XX.
000032 PROCEDURE DIVISION.
000033      SORT SD-FILE ASCENDING KEY SD-KEY3
000034          USING US-FILE
000035          GIVING GV-FILE.
000036      STOP RUN.

```

C3264.cob 33: JMN3264I-S SORT文のGIVING指定に索引ファイル'GV-FILE'が指定されたとき、KEY指定に記述されたデータ名'SD-KEY3'は、そのファイルの主レコードキーに関連付けられるデータ項目とそのレコード中で同じ文字位置を占めなければなりません。

2.5.164 JMN3265I-S

@1@文のKEY指定に日本語または日本語編集項目を指定したとき、COLLATING SEQUENCE指定を記述してはなりません。

埋め込みの説明

@1@ : SORT/MERGE

例題

```

[C3265.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3265.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     ALPHABET ABN-1 IS "A" THRU "Z".
000007 INPUT-OUTPUT SECTION.
000008 FILE-CONTROL.
000009     SELECT US-FILE    ASSIGN TO SYS001-DA-S-SYS001.
000010     SELECT GV-FILE    ASSIGN TO SYS002-DA-S-SYS002.
000011     SELECT SD-FILE    ASSIGN TO SYS003-DA-S-SYS003.
000012 DATA DIVISION.
000013 FILE SECTION.
000014 FD    US-FILE.
000015 01 US-REC1      PIC X(80).
000016 FD    GV-FILE.
000017 01 GV-REC1      PIC X(80).
000018 SD    SD-FILE.
000019 01 SD-REC1.
000020      02 SD-KEY1      PIC NN.
000021      02 FILLER      PIC X(76).
000022 PROCEDURE DIVISION.
000023     SORT SD-FILE ASCENDING KEY SD-KEY1
000024         COLLATING SEQUENCE IS ABN-1
000025         USING US-FILE
000026         GIVING GV-FILE.
000027     STOP RUN.

```

C3265.cob 23: JMN3265I-S SORT文のKEY指定に日本語または日本語編集項目を指定したとき、COLLATING SEQUENCE指定を記述してはなりません。

2.5.165 JMN3266I-I

(CONF)READ文に制御文字付きファイルが指定されています。制御文字も一緒に読み込まれます。

例題

```
[C3266.cob]
000001 @OPTIONS CONF(V10),CTLCHR(N)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3266.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT F1 ASSIGN S-SYS001.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010     FD F1.
000011     01 R1 PIC X(80).
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013     01 D1 PIC X(80) VALUE ALL "ABCDEFGHJIJ".
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     OPEN OUTPUT F1.
000016     MOVE D1 TO R1.
000017     WRITE R1 AFTER ADVANCING 1 LINE.
000018     CLOSE F1.
000019*
000020     OPEN INPUT F1.
000021     READ F1.
000022     DISPLAY R1.
000023     CLOSE F1.
000024     STOP RUN.
```

C3266.cob 21: JMN3266I-I (CONF)READ文に制御文字付きファイルが指定されています。制御文字も一緒に読み込まれます。

2.5.166 JMN3268I-S

SEARCH ALL文のWHEN指定の@1@の添字の数は、@2@個でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@:一意名

@2@:個数

例題

```
[C3268.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3268.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 GRP.
000007     02 TBL OCCURS 5 TIMES.
000008         03 TBL-2 OCCURS 5 TIMES ASCENDING KEY IS A
000009             INDEXED BY INX.
000010             04 A PIC 9.
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012     SEARCH ALL TBL-2
000013     WHEN A(INX) = 1
000014     STOP RUN.
```

C3268.cob 13: JMN3268I-S SEARCH ALL文のWHEN指定の'A'の添字の数は、2個でなければなりません。

2.5.167 JMN3269I-S

GENERATE文に指定した報告書名@1@には、CONTROL句がなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 報告書名

例題

```
[C3269. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3269.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT OU-FILE ASSIGN TO DA-S-SYS006.
000007 DATA  DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD OU-FILE LABEL RECORD STANDARD
000010     REPORT IS RE-1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 REP-LINE PIC X(8).
000013 REPORT SECTION.
000014 RD RE-1
000015     PAGE LIMITS 66 LINES
000016     HEADING 3
000017     FIRST DETAIL 10
000018     LAST DETAIL 50.
000019 01 TYPE RH LINE 5.
000020     02 COLUMN 25 PIC X(8)
000021     SOURCE REP-LINE.
000022 01 TYPE PH LINE 7.
000023     02 COLUMN 25 PIC X(8)
000024     VALUE "REPORT-1".
000025 01 TYPE DE LINE PLUS 1.
000026     02 COLUMN 25 PIC X(8)
000027     VALUE "REPORT-2".
000028 PROCEDURE  DIVISION.
000029 P-START.
000030     OPEN OUTPUT OU-FILE.
000031     INITIATE RE-1.
000032     GENERATE RE-1.
000033     TERMINATE RE-1.
000034     CLOSE OU-FILE.
000035     STOP RUN.
```

C3269.cob 32: JMN3269I-S GENERATE文に指定した報告書名'RE-1'には、CONTROL句がなければなりません。

2.5.168 JMN3270I-S

GENERATE文に報告書名@1@を指定するときは、その報告書記述項に明細報告集団を複数指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : 報告書名

例題

```
[C3270. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3270.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
```

```

000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT LP1FILE ASSIGN TO DA-S-SYS006.
000007 DATA  DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009     FD LP1FILE LABEL RECORD STANDARD
000010         REPORT IS RE-1.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01  REP-LINE PIC X(80).
000013 REPORT SECTION.
000014 RD RE-1
000015     CONTROL IS FINAL
000016     PAGE LIMITS 66 LINES
000017     HEADING 3
000018     FIRST DETAIL 10
000019     LAST  DETAIL 50.
000020 01 DE-1 TYPE DETAIL LINE PLUS 1.
000021     02 COLUMN 25 PIC X(80)
000022     SOURCE REP-LINE.
000023 01 DE-2 TYPE DETAIL LINE PLUS 1.
000024     02 COLUMN 25 PIC X(80)
000025     VALUE "REPORT-1".
000026 PROCEDURE  DIVISION.
000027 P-START.
000028     OPEN OUTPUT LP1FILE.
000029     INITIATE RE-1.
000030     GENERATE RE-1.
000031     TERMINATE RE-1.
000032     CLOSE LP1FILE.
000033     STOP RUN.

```

C3270.cob 30: JMN3270I-S GENERATE文に報告書名'RE-1'を指定するときは、その報告書記述項に明細報告集団を複数指定できません。

2.5.169 JMN3271I-S

GENERATE文に報告書名@1@を指定するときは、その報告書記述項に本体集団の記述が一つ以上なければいけません。

埋め込みの説明

@1@ : 報告書名

例題

```

[C3271.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3271.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT LP1FILE ASSIGN TO DA-S-SYS006.
000007 DATA  DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009     FD LP1FILE LABEL RECORD STANDARD
000010         REPORT IS RE-1.
000011 REPORT SECTION.
000012 RD RE-1
000013     CONTROL IS FINAL
000014     PAGE LIMITS 66 LINES
000015     HEADING 3
000016     FIRST DETAIL 10
000017     LAST  DETAIL 50.
000018 01      TYPE PAGE HEADING LINE 5.

```

```

000019      02 COLUMN 25 PIC X(8)
000020          VALUE "HEADER-1".
000021 PROCEDURE DIVISION.
000022 P-START.
000023      OPEN OUTPUT LP1FILE.
000024      INITIATE RE-1.
000025      GENERATE RE-1.
000026      TERMINATE RE-1.
000027      CLOSE LP1FILE.
000028      STOP RUN.

```

C3271.cob 25: JMN3271I-S GENERATE文に報告書名'RE-1'を指定するときは、その報告書記述項に本体集団の記述が一つ以上なければいけません。

2.5.170 JMN3272I-S

GENERATE文に指定されたデータ名@1@は、明細報告集団の名前でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : データ名

例題

```

[C3272.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3272.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT LP1FILE ASSIGN TO DA-S-SYS006.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD LP1FILE LABEL RECORD STANDARD
000010     REPORT IS RE-1.
000011 REPORT SECTION.
000012 RD RE-1
000013     CONTROL IS FINAL
000014     PAGE LIMITS 66 LINES
000015     HEADING 3
000016     FIRST DETAIL 10
000017     LAST DETAIL 50.
000018 01 RH-1 TYPE REPORT HEADING LINE 5.
000019     02 COLUMN 25 PIC X(8)
000020         VALUE "R-HEADER".
000021 PROCEDURE DIVISION.
000022 P-START.
000023     OPEN OUTPUT LP1FILE.
000024     INITIATE RE-1.
000025     GENERATE RH-1.
000026     TERMINATE RE-1.
000027     CLOSE LP1FILE.
000028     STOP RUN.

```

C3272.cob 25: JMN3272I-S GENERATE文に指定されたデータ名'RH-1'は、明細報告集団の名前でなければなりません。

2.5.171 JMN3273I-S

報告書ファイル@1@は、OPEN OUTPUT文、OPEN EXTEND文、CLOSE文またはUSE文以外の文に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : 報告書ファイル名

例題

```
[C3273.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3273.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1  ASSIGN TO S-SYS001.
000007     SELECT FILE-2  ASSIGN TO S-SYS002.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD  FILE-1
000011     REPORT IS REC-1.
000012 SD  FILE-2.
000013     01 REC-2 PIC X(100).
000014 REPORT SECTION.
000015 RD  REC-1
000016     PAGE LIMIT IS 66 LINES
000017     HEADING 3
000018     FIRST DETAIL 10
000019     LAST  DETAIL 50.
000020     01 LINE NUMBER IS 5  TYPE IS RH.
000021     02 COLUMN NUMBER IS 10 PIC X(14) VALUE "*** HEADER ***".
000022 PROCEDURE  DIVISION.
000023     OPEN INPUT FILE-1.
000024     OPEN I-O  FILE-1.
000025     READ FILE-1.
000026     SORT FILE-2 ASCENDING KEY REC-2 USING FILE-1 GIVING FILE-1.
000027     STOP RUN.
```

C3273.cob 23: JMN3273I-S 報告書ファイル'FILE-1'は、OPEN OUTPUT文、OPEN EXTEND文、CLOSE文またはUSE文以外の文に指定できません。

C3273.cob 24: JMN3273I-S 報告書ファイル'FILE-1'は、OPEN OUTPUT文、OPEN EXTEND文、CLOSE文またはUSE文以外の文に指定できません。

C3273.cob 25: JMN3273I-S 報告書ファイル'FILE-1'は、OPEN OUTPUT文、OPEN EXTEND文、CLOSE文またはUSE文以外の文に指定できません。

C3273.cob 26: JMN3273I-S 報告書ファイル'FILE-1'は、OPEN OUTPUT文、OPEN EXTEND文、CLOSE文またはUSE文以外の文に指定できません。

C3273.cob 26: JMN3273I-S 報告書ファイル'FILE-1'は、OPEN OUTPUT文、OPEN EXTEND文、CLOSE文またはUSE文以外の文に指定できません。

2.5.172 JMN3275I-W

文字比較で、@1@は整数でなければなりません。最右端に小数点があるものとみなされます。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標, 数字定数

例題

```
[C3275.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3275.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC X(3).
000007 01 B PIC 99V9.
```

```
000008 PROCEDURE DIVISION.  
000009 P-START.  
000010 IF A = B STOP RUN.
```

C3275.cob 10: JMN3275I-W 文字比較で, 'B'は整数でなければなりません. 最右端に小数点があるものとみなされます.

2.5.173 JMN3276I-W

STRING文の受取り側項目は, JUSTIFIED句指定の項目であってはなりません. JUSTIFIED句指定なしの項目とみなされます.

例題

```
[C3276.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C3276.  
000003 DATA DIVISION.  
000004 WORKING-STORAGE SECTION.  
000005 01 AN-1 PIC X(6) VALUE "STRING".  
000006 01 AN-2 PIC X(10) JUSTIFIED.  
000007 PROCEDURE DIVISION.  
000008 P-START.  
000009 STRING AN-1 DELIMITED BY "I" INTO AN-2.  
000010 STOP RUN.
```

C3276.cob 9: JMN3276I-W STRING文の受取り側項目は, JUSTIFIED句指定の項目であってはなりません. JUSTIFIED句指定なしの項目とみなされます.

2.5.174 JMN3277I-S

UNSTRING文の@1@指定の一意名@2@は, 外部浮動小数点項目であってはなりません.

埋め込みの説明

@1@ : INTO, DELIMITER

@2@ : 一意名の名標

例題

```
[C3277.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C3277.  
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 DATA DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 01 A PIC X(10).  
000007 01 B PIC 9(3).  
000008 01 C PIC +9V9E+99.  
000009 PROCEDURE DIVISION.  
000010 P-START.  
000011 UNSTRING A DELIMITED BY B INTO C.  
000012 END PROGRAM C3277.
```

C3277.cob 11: JMN3277I-S UNSTRING文のINTO指定の一意名'C'は, 外部浮動小数点項目であってはなりません.

2.5.175 JMN3278I-S

SEARCH ALL文のキー項目@1@または比較する対象のいずれかがP付き整数項目の場合, もう一方の作用対象は, 英字, 英数字, 英数字編集, 数字編集, 文字定数およびZERO以外の表意定数であってはなりません.

埋め込みの説明

@1@: データ名

例題

```
[C3278. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3278.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 TBL.
000007 02 X OCCURS 5 TIMES ASCENDING KEY IS A
000008 INDEXED BY IX1.
000009 03 A PIC 9P.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 SEARCH ALL X
000012 WHEN A(IX1) = "10"
000013 CONTINUE
000014 END-SEARCH.
000015 END PROGRAM C3278.
```

C3278.cob 12: JMN3278I-S SEARCH ALL 文のキー項目'A'または比較する対象のいずれかがP付き整数項目の場合、もう一方の作用対象は、英字、英数字、英数字編集、数字編集、文字定数およびZERO以外の表意定数であってはいけません。

2.5.176 JMN3280I-S

SEARCH ALL文のキー項目@1@および比較する対象の長さは、256バイト以下でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@: データ名

2.5.177 JMN3281I-I

(CONF)MOVE文の送出し側として、数字定数-0が指定されています。数字定数-0は、+0とみなします。

例題

```
[C3281. cob]
000001 @OPTIONS CONF (V52)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3281.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 A PIC S9(4).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 MOVE -0 TO A.
000010 END PROGRAM C3281.
```

C3281.cob 9: JMN3281I-I (CONF)MOVE文の送出し側として、数字定数-0が指定されています。数字定数-0は、+0とみなします。

2.5.178 JMN3286I-S

@1@は、基底場所節に定義されていなければなりません。

埋め込みの説明

@1@: 一意名の名標

例題

```
[C3286. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3286.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC X.
000007 01 PTR USAGE IS POINTER.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 MOVE "A" TO PTR->A.
000010 STOP RUN.
```

C3286.cob 9: JMN3286I-S 'A'は、基底場所節に定義されていなければなりません。

2.5.179 JMN3287I-S

@2@関数に引数@1@は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : 関数の引数

@2@ : 関数名

例題

```
[C3287. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3287.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 P POINTER.
000007 01 FG.
000008 02 B1 PIC 1(4) BIT.
000009 02 B2 PIC 1(4) BIT.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 MOVE FUNCTION ADDR (B1) TO P
000012 MOVE FUNCTION ADDR (B2) TO P
000013 END PROGRAM C3287.
```

C3287.cob 11: JMN3287I-S FUNCTION ADDR関数に引数'B1'は指定できません。

C3287.cob 12: JMN3287I-S FUNCTION ADDR関数に引数'B2'は指定できません。

2.5.180 JMN3291I-S

DEPENDING ON指定を含むRECORD句が指定されたレコードをWRITE文に指定する場合、CHARACTER TYPE句またはPRINTING POSITION句を含む項目は、FROM指定に記述できません。

例題

```
[C3291. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3291.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT FILE-1 ASSIGN TO S-SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD FILE-1
```



```

000010      RECORD IS VARYING IN SIZE
000011      FROM 80 TO 120 CHARACTERS
000012      DEPENDING ON DEP-1.
000013 01 REC-1 PIC X(120).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 A      PIC N(50) CHARACTER TYPE IS MODE-1.
000016 01 DEP-1 PIC 999.
000017 PROCEDURE DIVISION.
000018      WRITE REC-1 FROM A.
000019 END PROGRAM C3291.

```

C3291.cob 18: JMN3291I-S DEPENDING ON指定を含むRECORD句が指定されたレコードをWRITE文に指定する場合、CHARACTER TYPE句またはPRINTING POSITION句を含む項目は、FROM指定に記述できません。

2.5.181 JMN3298I-S

制御レコード@1@に対するWRITE文に、ADVANCING指定は記述できません。

埋め込みの説明

@1@ : 制御レコード名

例題

```

[C3298.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3298.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO SYS001
000007     FORMAT IS FMT-001.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD FILE-1
000011     CONTROL RECORD IS CNTL-REC.
000012     01 CNTL-REC PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014     01 FMT-001 PIC X(8).
000015 PROCEDURE DIVISION.
000016     WRITE CNTL-REC AFTER ADVANCING 1.
000017 END PROGRAM C3298.

```

C3298.cob 16: JMN3298I-S 制御レコード'CNTL-REC'に対するWRITE文に、ADVANCING指定は記述できません。

2.5.182 JMN3301I-S

基底場所節に定義されているデータ項目@1@は、ポインタ修飾されていなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名

例題

```

[C3301.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3301.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 BASED-STORAGE SECTION.
000006     01 A PIC S9(8) BINARY.
000007 PROCEDURE DIVISION.

```

000008	MOVE 12345 TO A.
000009	STOP RUN.

C3301.cob 8: JMN3301I-S 基底場所節に定義されているデータ項目'A'は、ポインタ修飾されていなければなりません。

2.5.183 JMN3304I-S

ポインタデータ項目@1@は、@2@文には指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名

@2@ : 文

例題

```
[C3304.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C3304.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 PTR1  USAGE IS POINTER.
000006 PROCEDURE        DIVISION.
000007     INITIALIZE  PTR1.
000008     STOP RUN.
```

C3304.cob 7: JMN3304I-S ポインタデータ項目'PTR1'は、INITIALIZE文には指定できません。

2.5.184 JMN3307I-S

ポインタデータ作用対象の比較で指定する比較演算子は、EQUAL(=)またはNOT EQUAL(NOT =)でなければなりません。

例題

```
[C3307.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C3307.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 PTR1  USAGE IS POINTER.
000007 01 PTR2  USAGE IS POINTER.
000008 PROCEDURE        DIVISION.
000009     IF PTR1 > PTR2 THEN DISPLAY "NG".
000010 END PROGRAM C3307.
```

C3307.cob 9: JMN3307I-S ポインタデータ作用対象の比較で指定する比較演算子は、EQUAL(=)またはNOT EQUAL(NOT =)でなければなりません。

2.5.185 JMN3309I-S

基底場所節に定義されたデータ名@1@は、@2@文の@3@指定に記述できません。

埋め込みの説明

@1@ : データ名

@2@ : READ文, START文

@3@ : 指定

例題

```
[C3309.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3309.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS INDEXED
000008     RECORD KEY IS KEY-1
000009     ACCESS MODE IS RANDOM.
000010 DATA DIVISION.
000011 BASED-STORAGE SECTION.
000012 01 BSD-1 PIC X BASED ON PTR1.
000013 FILE SECTION.
000014 FD FILE-1.
000015 01 REC-1.
000016 02 KEY-1 PIC X(5).
000017 02     PIC X(75).
000018 WORKING-STORAGE SECTION.
000019 01 PTR1 POINTER.
000020 PROCEDURE DIVISION.
000021     OPEN INPUT FILE-1.
000022     READ FILE-1 KEY IS BSD-1.
000023     CLOSE FILE-1.
000024 END PROGRAM C3309.
```

C3309.cob 22: JMN3309I-S 基底場所節に定義されたデータ名'BSD-1'は、READ文のKEY指定に記述できません。

2.5.186 JMN3326I-W

@1@文の@2@は、符号なし数字項目または符号編集用文字のない数字編集項目です。負の値は入りません。

埋め込みの説明

@1@: 文

@2@: 一意名

例題

```
[C3326.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3326.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 NUM PIC 99.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007     MOVE -10 TO NUM.
000008 END PROGRAM C3326.
```

C3326.cob 7: JMN3326I-W MOVE文の'NUM'は、符号なし数字項目または符号編集用文字のない数字編集項目です。負の値は入りません。

2.5.187 JMN3327I-W

@1@文の@2@から@3@の転記には、けたの重なりがありません。

埋め込みの説明

@1@: 文

@2@: '定数'または一意名

@3@ : 一意名

例題

```
[C3327.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3327.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A1 PIC V99.
000006 01 A2 PIC 99.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008     MOVE 10 TO A1.
000009     MOVE A1 TO A2.
000010     STOP RUN.
```

C3327.cob 8: JMN3327I-W MOVE文の数字定数から'A1'の転記には、けたの重なりがありません。

C3327.cob 9: JMN3327I-W MOVE文の'A1'から'A2'の転記には、けたの重なりがありません。

詳細な説明

固定小数点同士の数字転記において、送出し側と受取り側に桁の重なりがない場合に本エラーメッセージが出力されます。桁の重なりがないとは、例えば送出し側が整数部0桁、受取り側が小数部0桁のようなケースのことです。この場合は、送出し側の値が受取り側にまったく反映されません。

2.5.188 JMN3328I-W

@1@文の数字定数から@2@への転記は、けたあふれが起こります。

埋め込みの説明

@1@ : 文

@2@ : 一意名

例題

```
[C3328.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3328.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A1 PIC 99.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007     MOVE 100 TO A1.
000008 END PROGRAM    C3328.
```

C3328.cob 7: JMN3328I-W MOVE文の数字定数から'A1'への転記は、けたあふれが起こります。

2.5.189 JMN3330I-W

@1@文の数字定数から@2@への転記には、小数部のけた落ちが起こります。

埋め込みの説明

@1@ : 文

@2@ : 一意名

例題

```
[C3330.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3330.
```

```
000003 DATA DIVISION.  
000004 WORKING-STORAGE SECTION.  
000005 01 A1 PIC 99V9.  
000006 PROCEDURE DIVISION.  
000007 MOVE 11.23 TO A1.  
000008 END PROGRAM C3330.
```

C3330.cob 7: JMN3330I-W MOVE文の数字定数から'A1'への転記には、小数部のけた落ちが起こります。

2.5.190 JMN3331I-W

@1@文の数字定数からP付き数字項目@2@への転記は、数字項目のPに対応する部分の文字位置の値が反映されません。

埋め込みの説明

@1@: 文

@2@: 一意名

例題

```
[C3331.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C3331.  
000003 DATA DIVISION.  
000004 WORKING-STORAGE SECTION.  
000005 01 A1 PIC 99PP.  
000006 PROCEDURE DIVISION.  
000007 MOVE 1234 TO A1.  
000008 END PROGRAM C3331.
```

C3331.cob 7: JMN3331I-W MOVE文の数字定数からP付き数字項目'A1'への転記は、数字項目のPに対応する部分の文字位置の値が反映されません。

2.5.191 JMN3332I-W

@1@文の@2@から@3@への転記では、送出し側の値が受取り側項目に反映されません。

埋め込みの説明

@1@: 文

@2@: 一意名または'数字定数'

@3@: 一意名

例題

```
[C3332.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C3332.  
000003 DATA DIVISION.  
000004 WORKING-STORAGE SECTION.  
000005 01 A1 PIC 99PP.  
000006 PROCEDURE DIVISION.  
000007 MOVE 11 TO A1.  
000008 END PROGRAM C3332.
```

C3332.cob 7: JMN3332I-W MOVE文の数字定数から'A1'への転記では、送出し側の値が受取り側項目に反映されません。

2.5.192 JMN3333I-S

CALL文のUSING指定に記述したパラメタの個数は、PROCEDURE DIVISIONのUSING指定に記述したパラメタの個数と一致していなければなりません。

例題

```
[C3333.cob]
000001 @OPTIONS CHECK (PRM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3333.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     01 A PIC X(10).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008     CALL "SUB" USING A.
000009     STOP RUN.
000010 IDENTIFICATION DIVISION.
000011 PROGRAM-ID. SUB.
000012 DATA DIVISION.
000013 LINKAGE SECTION.
000014     01 B PIC X(10).
000015     01 C PIC X(10).
000016 PROCEDURE DIVISION
000017     USING B C.
000018     EXIT PROGRAM.
000019 END PROGRAM SUB.
000020 END PROGRAM C3333.
```

C3333.cob 8: JMN3333I-S CALL文のUSING指定に記述したパラメタの個数は、PROCEDURE DIVISIONのUSING指定に記述したパラメタの個数と一致していなければなりません。

2.5.193 JMN3334I-S

CALL文のUSING指定またはRETURNING指定に記述したパラメタ@2@の型は、プログラム@1@のPROCEDURE DIVISIONのUSING指定またはRETURNING指定に記述したパラメタ@3@の型と一致していなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : プログラム名

@2@ : 一意名

@3@ : 一意名

例題

```
[C3334.cob]
000001 @OPTIONS CHECK (PRM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3334.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     01 U OBJECT REFERENCE.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008     CALL "C3334S" USING U.
000009     EXIT PROGRAM.
000010*
000011 IDENTIFICATION DIVISION.
000012 PROGRAM-ID. C3334S.
000013 DATA DIVISION.
000014 LINKAGE SECTION.
000015     01 L-U BINARY-CHAR UNSIGNED.
000016 PROCEDURE DIVISION
000017     USING L-U.
000018     EXIT PROGRAM.
```

```
000019 END PROGRAM C3334S.  
000020 END PROGRAM C3334.
```

C3334.cob 8: JMN3334I-S CALL文のUSING指定またはRETURNING指定に記述したパラメタ'U'の型は、プログラム'C3334S'のPROCEDURE DIVISIONのUSING指定またはRETURNING指定に記述したパラメタ'L-U'の型と一致していなければなりません。

2.5.194 JMN3335I-S

CALL文のUSING指定またはRETURNING指定に記述したパラメタ@2@の長さは、プログラム@1@のPROCEDURE DIVISIONのUSING指定またはRETURNING指定に記述したパラメタ@3@の長さとは一致していなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : プログラム名

@2@ : 一意名

@3@ : 一意名

例題

```
[C3335. cob]  
000001 @OPTIONS CHECK (PRM)  
000002 IDENTIFICATION DIVISION.  
000003 PROGRAM-ID. C3335.  
000004 DATA DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006     01 A PIC X(10).  
000007 PROCEDURE DIVISION.  
000008     CALL "SUB" USING A.  
000009*  
000010 IDENTIFICATION DIVISION.  
000011 PROGRAM-ID. SUB.  
000012 DATA DIVISION.  
000013 LINKAGE SECTION.  
000014     01 B PIC X(05).  
000015 PROCEDURE DIVISION  
000016     USING B.  
000017     EXIT PROGRAM.  
000018 END PROGRAM SUB.  
000019 END PROGRAM C3335.
```

C3335.cob 8: JMN3335I-S CALL文のUSING指定またはRETURNING指定に記述したパラメタ'A'の長さは、プログラム'SUB'のPROCEDURE DIVISIONのUSING指定またはRETURNING指定に記述したパラメタ'B'の長さとは一致していなければなりません。

2.5.195 JMN3337I-I

(CONF)UNSTRING文において、添字または部分参照子の評価は、文の実行直前に1回だけ行われます。

例題

```
[C3337. cob]  
000001 @OPTIONS LANGLVL (85), CONF (74)  
000002 IDENTIFICATION DIVISION.  
000003 PROGRAM-ID. C3337.  
000004 ENVIRONMENT DIVISION.  
000005 DATA DIVISION.  
000006 WORKING-STORAGE SECTION.  
000007     01 SND PIC X(10).  
000008     01 DLM.  
000009     02 DLMB OCCURS 2 PIC X.  
000010     01 INT01 PIC X(10).  
000011     01 INT02 PIC X(10).  
000012     01 DLM11 PIC X(2).
```

```

000013 01 DLM12 PIC X(2).
000014 01 COUNT1 PIC 9(2).
000015 01 COUNT2 PIC 9(2).
000016 01 PTR PIC 9(2).
000017 01 TALLY1 PIC 9(2).
000018 PROCEDURE DIVISION.
000019     UNSTRING SND DELIMITED BY DLMB(TALLY)
000020         INTO INTO1 DELIMITER IN DLM11 COUNT IN COUNT1
000021         INTO2 DELIMITER IN DLM12 COUNT IN COUNT2
000022         POINTER PTR
000023         TALLYING TALLY1.
000024 END PROGRAM C3337.

```

C3337.cob 19: JMN3337I-I (CONF)UNSTRING文において、添字または部分参照子の評価は、文の実行直前に1回だけ行われます。

2.5.196 JMN3338I-W

数字項目および数字編集項目に転記する文字定数に、小数点が含まれています。文字定数の小数点以下を無視して転記します。

例題

```

[C3338.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3338.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     01 A PIC 99V9.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007     MOVE "12.3" TO A.
000008     MOVE 12.3 TO A.
000009 END PROGRAM C3338.

```

C3338.cob 7: JMN3338I-W 数字項目および数字編集項目に転記する文字定数に、小数点が含まれています。文字定数の小数点以下を無視して転記します。

詳細な説明

文字定数を数字定数に修正してください。

2.5.197 JMN3339I-I

(OBS)2文字以上のALL定数の数字項目および数字編集項目への転記は、@1@ COBOLの廃要素である。そのまま受け入れられます。

埋め込みの説明

@1@ : ANSI85

例題

```

[C3339.cob]
000001 @OPTIONS CONF(OBS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3339.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     01 A PIC 999V9.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008     MOVE ALL "123" TO A.
000009 END PROGRAM C3339.

```

C3339.cob 8: JMN3339I-I (OBS)2文字以上のALL定数の数字項目および数字編集項目への転記は、ANSI85 COBOLの廃要素である。そのまま受け入れられます。

2.5.198 JMN3340I-I

(OBS)2文字以上のALL定数と数字項目または数字編集項目との比較は, @1@ COBOLの廃要素である。そのまま受け入れられます。

埋め込みの説明

@1@ : ANSI85

2.5.199 JMN3342I-S

SET文の@2@指定の項目@1@は, 指標名, 指標データ項目, 整数項目, ポインタデータ項目, NULL, ADDRESS OF特殊レジスタまたはオブジェクト参照データ項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名

@2@ : TO, UP BYまたはDOWN BY

例題

```
[C3342. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3342.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC X.
000007 01 B USAGE IS POINTER.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010 SET B TO A.
000011 END PROGRAM C3342.
```

C3342.cob 10: JMN3342I-S SET文のTO指定の項目'A'は, 指標名, 指標データ項目, 整数項目, ポインタデータ項目, NULL, ADDRESS OF特殊レジスタまたはオブジェクト参照データ項目でなければなりません。

2.5.200 JMN3343I-S

SET文の受取り側項目@1@は, 指標名, 指標データ項目, 整数項目, ポインタデータ項目, ADDRESS OF特殊レジスタまたはオブジェクト参照データ項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 受取り側に指定された項目名

例題

```
[C3343. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3343.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC X.
000007 01 B USAGE IS POINTER.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010 SET A TO B.
000011 END PROGRAM C3343.
```

C3343.cob 10: JMN3343I-S SET文の受取り側項目'A'は, 指標名, 指標データ項目, 整数項目, ポインタデータ項目, ADDRESS OF特殊レジスタまたはオブジェクト参照データ項目でなければなりません。

2.5.201 JMN3344I-S

ポインタ修飾子のデータ名@1@は、ポインタデータ項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : データ名

例題

```
[C3344.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3344.
000003 DATA DIVISION.
000004 BASED-STORAGE SECTION.
000005 01 AAA PIC X(10).
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 PT PIC S9(9) BINARY.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 DISPLAY PT->AAA.
000010 END PROGRAM C3344.
```

C3344.cob 9: JMN3344I-S ポインタ修飾子のデータ名'PT'は、ポインタデータ項目でなければなりません。

2.5.202 JMN3345I-S

基底場所節中のデータ名@1@に、表示ファイル用特殊レジスタは作成されません。

埋め込みの説明

@1@ : データ名

例題

```
[C3345.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3345.
000003 DATA DIVISION.
000004 BASED-STORAGE SECTION.
000005 01.
000006 02 FILLER PIC X(5).
000007 02 A PIC X(1).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 DISPLAY EDIT-COLOR OF A.
000010 END PROGRAM C3345.
```

C3345.cob 9: JMN3345I-S 基底場所節中のデータ名'A'に、表示ファイル用特殊レジスタは作成されません。

2.5.203 JMN3346I-S

字類条件のKANJIまたはDBCS検査において、@1@は日本語項目または日本語編集項目のいずれかでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名の名標

例題

```
[C3346.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3346.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
```

```

000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC X(4).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009     IF A IS KANJI
000010         DISPLAY A.
000011     IF A IS DBCS
000012         DISPLAY A.
000013 END PROGRAM C3346.

```

C3346.cob 9: JMN3346I-S 字類条件のKANJIまたはDBCS検査において, 'A'は日本語項目または日本語編集項目のいずれかでなければなりません.

C3346.cob 11: JMN3346I-S 字類条件のKANJIまたはDBCS検査において, 'A'は日本語項目または日本語編集項目のいずれかでなければなりません.

2.5.204 JMN3347I-S

@1@の暗黙のポインタ修飾は7段を超えてはいけません, また再帰的であってもいけません.

埋め込みの説明

@1@ : データ項目

例題

```

[C3347. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3347.
000003 DATA DIVISION.
000004 BASED-STORAGE SECTION.
000005 01 PT2 POINTER BASED ON PTR.
000006 01 PT3 POINTER BASED ON PT2.
000007 01 PT4 POINTER BASED ON PT3.
000008 01 PT5 POINTER BASED ON PT4.
000009 01 PT6 POINTER BASED ON PT5.
000010 01 PT7 POINTER BASED ON PT6.
000011 01 PT8 POINTER BASED ON PT7.
000012 01 GRR PIC X(10) BASED ON PT8.
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 PTR POINTER.
000015 01 GR PIC X(10).
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017     DISPLAY GRR.
000018 END PROGRAM C3347.

```

C3347.cob 17: JMN3347I-S 'GRR'の暗黙のポインタ修飾は7段を超えてはいけません, また再帰的であってもいけません.

2.5.205 JMN3348I-S

呼び名が機能名@1@に対応づけられているとき, @2@は符号なし整数項目または符号なし整数でなければなりません.

埋め込みの説明

@1@ : ARGUMENT-NUMBER

@2@ : データ項目, 定数

例題

```

[C3348. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3348.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.

```

```

000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     ARGUMENT-NUMBER IS A-N.
000007 DATA DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 AG1 PIC S9(8) BINARY.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011     ACCEPT AG1 FROM A-N.
000012 END PROGRAM C3348.

```

C3348.cob 11: JMN3348I-S 呼び名が機能名 ARGUMENT-NUMBER に対応づけられているとき, 'AG1' は符号なし整数項目または符号なし整数でなければなりません。

2.5.206 JMN3349I-S

呼び名が機能名 @1@ に対応づけられているとき, @2@ は固定長集団項目, 英数字基本項目または文字定数でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : ARGUMENT-VALUE, ENVIRONMENT-VALUE, ENVIRONMENT-NAME

@2@ : データ項目, 定数

例題

```

[C3349. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3349.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     ARGUMENT-VALUE IS A-V.
000007 DATA DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 AV1 PIC S9(8) BINARY.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011     ACCEPT AV1 FROM A-V.
000012 END PROGRAM C3349.

```

C3349.cob 11: JMN3349I-S 呼び名が機能名 ARGUMENT-VALUE に対応づけられているとき, 'AV1' は固定長集団項目, 英数字基本項目または文字定数でなければなりません。

2.5.207 JMN3351I-S

@1@ の引数は, 整数型でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 関数名

例題

```

[C3351. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3351.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC S9(2) V9(2).
000007 01 B PIC X(1).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.

```

```
000010      MOVE FUNCTION CHAR(A) TO B.  
000011 END PROGRAM  C3351.
```

C3351.cob 10: JMN3351I-S FUNCTION CHARの引数は、整数型でなければなりません。

2.5.208 JMN3352I-S

@2@の引数@1@は、英字型または英数字型でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 関数の引数

@2@ : 関数名

例題

```
[C3352.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.    C3352.  
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.  
000004 DATA  DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 01  A      PIC 9(8).  
000007 01  B      PIC X(8).  
000008 PROCEDURE  DIVISION.  
000009 P-START.  
000010      MOVE FUNCTION LOWER-CASE (A) TO B.  
000011 END PROGRAM  C3352.
```

C3352.cob 10: JMN3352I-S FUNCTION LOWER-CASEの引数'A'は、英字型または英数字型でなければなりません。

2.5.209 JMN3353I-S

@2@の引数@1@は、数字型でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 関数の引数

@2@ : 関数名

例題

```
[C3353.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.    C3353.  
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.  
000004 DATA  DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 01  A      COMP-2.  
000007 01  B      PIC X(8).  
000008 PROCEDURE  DIVISION.  
000009      COMPUTE A = FUNCTION SIN (B).  
000010 END PROGRAM  C3353.
```

C3353.cob 9: JMN3353I-S FUNCTION SINの引数'B'は、数字型でなければなりません。

2.5.210 JMN3354I-S

@1@は、符号なし整数項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : データ項目

例題

```
[C3354. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3354.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 LN PIC S9(2) BINARY.
000006 SCREEN SECTION.
000007 01 A.
000008 02 B VALUE "TEST-1".
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 DISPLAY A
000011 AT LINE NUMBER LN.
000012 END PROGRAM C3354.
```

C3354.cob 10: JMN3354I-S 'LN'は、符号なし整数項目でなければなりません。

2.5.211 JMN3355I-S

CALL文のBY VALUEパラメタである@1@は、用途がCOMPUTATIONAL-5, BINARY-CHAR, BINARY-SHORTまたはBINARY-LONGのいずれかである4バイト以下の2進項目, 1バイトの項目または9けた以下の数字定数でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : データ項目

例題

```
[C3355. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3355.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 PGMNAME PIC X(10).
000006 01 ITEM PIC S9(9) BINARY.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 CALL PGMNAME USING BY VALUE ITEM.
000009 END PROGRAM C3355.
```

C3355.cob 8: JMN3355I-S CALL文のBY VALUEパラメタである'ITEM'は、用途がCOMPUTATIONAL-5, BINARY-CHAR, BINARY-SHORTまたはBINARY-LONGのいずれかである4バイト以下の2進項目, 1バイトの項目または9けた以下の数字定数でなければなりません。

2.5.212 JMN3358I-S

UNLOCK文に指定されたファイルは、順ファイル、相対ファイルまたは索引ファイルでなければなりません。

例題

```
[C3358. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3358.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT F1 ASSIGN TO GS-SYS009
000007 SYMBOLIC DESTINATION IS "PRT".
```

```

000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD F1.
000011     01 REC1.
000012         02 KY1    PIC X(2).
000013         02        PIC X(78).
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     UNLOCK F1.
000016 END PROGRAM    C3358.

```

C3358.cob 15: JMN3358I-S UNLOCK文に指定されたファイルは、順ファイル、相対ファイルまたは索引ファイルでなければなりません。

2.5.213 JMN3359I-S

@1@に引数が複数指定された場合、引数の型は全て同じでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 関数の種類

例題

```

[C3359. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3359.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01  A    PIC S9(4)V9(4) BINARY.
000007 01  B    PIC S9(8) PACKED-DECIMAL.
000008 01  C    PIC X(8).
000009 01  D    PIC S9(8)V9(8) BINARY.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 P-START.
000012     COMPUTE D = FUNCTION MAX (A , B , C).
000013 END PROGRAM    C3359.

```

C3359.cob 12: JMN3359I-S FUNCTION MAXに引数が複数指定された場合、引数の型は全て同じでなければなりません。

2.5.214 JMN3361I-S

@1@の引数の、数字の合計桁数は、18以下でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 関数の種類

例題

```

[C3361. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3361.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01  A    PIC S9(18) BINARY.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009     COMPUTE A = FUNCTION NUMVAL
000010         (" 1234567890.123456789").
000011 END PROGRAM    C3361.

```

C3361.cob 9: JMN3361I-S FUNCTION NUMVALの引数の、数字の合計桁数は、18以下でなければなりません。

2.5.215 JMN3362I-S

@1@の引数の値は、0以上でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 関数の種類

例題

```
[C3362.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3362.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC S9(9)V9(9) BINARY.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 COMPUTE A = FUNCTION SQRT( -2 ).
000009 END PROGRAM C3362.
```

C3362.cob 8: JMN3362I-S FUNCTION SQRTの引数の値は、0以上でなければなりません。

2.5.216 JMN3363I-S

PRESENT-VALUE関数の最初の引数@1@は、-1より大きい値でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 関数の引数

例題

```
[C3363.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3363.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC S9(18) BINARY.
000007 01 B PIC S9(8) BINARY VALUE +4.
000008 01 C PIC S9(8) BINARY VALUE +12.
000009 01 D PIC S9(8) BINARY VALUE +24.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 COMPUTE A = FUNCTION PRESENT-VALUE (-2 B C D).
000012 END PROGRAM C3363.
```

C3363.cob 11: JMN3363I-S PRESENT-VALUE関数の最初の引数数字定数は、-1より大きい値でなければなりません。

2.5.217 JMN3364I-S

数字関数に部分参照付けはできません。英数字関数とみなします。

例題

```
[C3364.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3364.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC S9(18) BINARY VALUE +35983.
000007 01 B PIC S9(8) BINARY VALUE +4.
000008 01 C PIC S9(4) BINARY.
```



```
000009 PROCEDURE DIVISION.  
000010     MOVE FUNCTION REM(A B) (3:2) TO C.  
000011 END PROGRAM C3364.
```

C3364.cob 10: JMN3364I-S 数字関数に部分参照付けはできません。英数字関数とみなします。

2.5.218 JMN3366I-S

@1@文に、数字関数および整数関数は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : DISPLAY, INITIALIZE, INSPECT, SET

例題

```
[C3366.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C3366.  
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 DATA DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 01 A PIC S9(8) BINARY.  
000007 PROCEDURE DIVISION.  
000008     DISPLAY FUNCTION INTEGER(A).  
000009 END PROGRAM C3366.
```

C3366.cob 8: JMN3366I-S DISPLAY文に、数字関数および整数関数は指定できません。

2.5.219 JMN3367I-S

PERFORM文中の@1@は、整数または整数項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 関数の種類

例題

```
[C3367.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C3367.  
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 DATA DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 01 A PIC S9(8) BINARY.  
000007 PROCEDURE DIVISION.  
000008     PERFORM FUNCTION INTEGER(A) TIMES  
000009     COMPUTE A = A - 1  
000010     END-PERFORM  
000011 END PROGRAM C3367.
```

C3367.cob 8: JMN3367I-S PERFORM文中のFUNCTION INTEGERは、整数または整数項目でなければなりません。

2.5.220 JMN3368I-S

@1@文のFROM句に、整数関数および数字関数は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : WRITE, REWRITE, RELEASE

例題

```
[C3368.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3368.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD FILE-1.
000010 01 WRTREC.
000011 02 WRT-1 PIC S9(8) BINARY.
000012 02 WRT-2 PIC X(72).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 A PIC X(4).
000015 PROCEDURE DIVISION.
000016 P-START.
000017     OPEN OUTPUT FILE-1.
000018     WRITE WRTREC FROM FUNCTION LENGTH(A).
000019     CLOSE FILE-1.
000020 END PROGRAM C3368.
```

C3368.cob 18: JMN3368I-S WRITE文のFROM句に、整数関数および数字関数は指定できません。

2.5.221 JMN3369I-S

@1@文のDELIMITEDに、整数関数および数字関数は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : STRING, UNSTRING

2.5.222 JMN3371I-S

INSPECT文の検査対象として、整数関数および数字関数は指定できません。

例題

```
[C3371.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3371.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 CHARS PIC X(1) VALUE "4".
000007 01 I PIC 9(2).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010     INSPECT FUNCTION INTEGER-OF-DAY(5)
000011             TALLYING I FOR ALL CHARS.
000012 END PROGRAM C3371.
```

C3371.cob 10: JMN3371I-S INSPECT文の検査対象として、整数関数および数字関数は指定できません。

2.5.223 JMN3372I-S

@1@文の送出し側として、整数関数および数字関数は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : MOVE, INITIALIZE, STRING, UNSTRING

例題

```
[C3372.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3372.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 RCV PIC 9(5).
000007 01 DATA-A PIC X(20) VALUE "ABC".
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 MOVE FUNCTION LENGTH(DATA-A) TO RCV *> ERROR
000010 COMPUTE RCV = FUNCTION LENGTH(DATA-A) *> OK
000011 END PROGRAM C3372.
```

C3372.cob 9: JMN3372I-S MOVE文の送出し側として、整数関数および数字関数は指定できません。

詳細な説明

整数関数および数字関数は、算術式中にだけ記述することができます。

整数関数および数字関数の値を変数に設定する場合は、COMPUTE文を使用してください。

2.5.224 JMN3373I-S

乱呼出しで主キーにDUPLICATES指定がある索引ファイル@2@を@1@文に指定できません。

埋め込みの説明

@1@: REWRITE, DELETE

@2@: ファイル名

例題

```
[C3373.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3373.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT F1 ASSIGN TO SYS006
000007 ORGANIZATION IS INDEXED
000008 ACCESS MODE IS RANDOM
000009 RECORD KEY IS AAA WITH DUPLICATES.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD F1.
000013 01 REC-1.
000014 02 AAA PIC X(4).
000015 02 FILLER PIC X(76).
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017 P-START.
000018 OPEN I-O F1.
000019 REWRITE REC-1.
000020 END PROGRAM C3373.
```

C3373.cob 19: JMN3373I-S 乱呼出しで主キーにDUPLICATES指定がある索引ファイル'F1'をREWRITE文に指定できません。

2.5.225 JMN3374I-S

@1@の引数の形式に誤りがあります。

埋め込みの説明

@1@ : FUNCTION NUMVAL, FUNCTION NUMVAL-C

例題

```
[C3374. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3374.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 RCV PIC S9(8)V9(8) BINARY.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 COMPUTE RCV = FUNCTION NUMVAL-C(" + ￥ 12345.35 %").
000010 END PROGRAM C3374.
```

C3374.cob 9: JMN3374I-S FUNCTION NUMVAL-Cの引数の形式に誤りがあります。

2.5.226 JMN3375I-S

CHAR関数の引数の値が、大小順序に含まれる文字列の数を超えています。

例題

```
[C3375. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3375.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 RCV PIC X(1).
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 MOVE FUNCTION CHAR(+300) TO RCV.
000010 END PROGRAM C3375.
```

C3375.cob 9: JMN3375I-S CHAR関数の引数の値が、大小順序に含まれる文字列の数を超えています。

2.5.227 JMN3376I-S

@1@の引数の値は、-1以上、+1以下でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : FUNCTION ACOS, FUNCTION ASIN

例題

```
[C3376. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3376.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 RCV PIC S9V99.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 COMPUTE RCV = FUNCTION ACOS(+2).
000010 END PROGRAM C3376.
```

C3376.cob 9: JMN3376I-S FUNCTION ACOSの引数の値は、-1以上、+1以下でなければなりません。

2.5.228 JMN3377I-S

@1@の最初の引数の値は, 0以上でなければなりません.

埋め込みの説明

@1@ : FUNCTION ANNUITY

例題

```
[C3377.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3377.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 RCV PIC S9(5)V9(5) BINARY.
000007 01 A PIC S9(2) BINARY VALUE +3.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 COMPUTE RCV = FUNCTION ANNUITY(-1 , A).
000010 END PROGRAM C3377.
```

C3377.cob 9: JMN3377I-S FUNCTION ANNUITYの最初の引数の値は, 0以上でなければなりません.

2.5.229 JMN3378I-S

@1@の2番目の引数の値は, 0より大きい整数でなければなりません.

埋め込みの説明

@1@ : FUNCTION ANNUITY

例題

```
[C3378.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3378.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 RCV PIC S9(5)V9(5) BINARY.
000007 01 A PIC S9(2) BINARY VALUE +1.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010 COMPUTE RCV = FUNCTION ANNUITY(A -1).
000011 END PROGRAM C3378.
```

C3378.cob 10: JMN3378I-S FUNCTION ANNUITYの2番目の引数の値は, 0より大きい整数でなければなりません.

2.5.230 JMN3379I-S

@1@の2番目の引数の値は, 0であってはなりません.

埋め込みの説明

@1@ : FUNCTION REM, FUNCTION MOD

例題

```
[C3379.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3379.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
```

```

000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 RCV PIC S9(5)V9(5) BINARY.
000007 01 A PIC S9(2) BINARY VALUE +1.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010 COMPUTE RCV = FUNCTION REM(A 0).
000011 END PROGRAM C3379.

```

C3379.cob 10: JMN3379I-S FUNCTION REMの2番目の引数の値は、0であってはなりません。

2.5.231 JMN3380I-S

@1@の引数の値は、0より大きい数字でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : FUNCTION LOG, FUNCTION LOG10

例題

```

[C3380.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3380.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 RCV PIC S9(5)V9(5) BINARY.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 P-START.
000009 COMPUTE RCV = FUNCTION LOG(-1.5).
000010 END PROGRAM C3380.

```

C3380.cob 9: JMN3380I-S FUNCTION LOGの引数の値は、0より大きい数字でなければなりません。

2.5.232 JMN3381I-S

@1@の引数は、英字型または英数字型で、字数は1でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : FUNCTION ORD

例題

```

[C3381.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3381.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC X(2).
000007 01 RCV PIC S9(2) BINARY.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 P-START.
000010 COMPUTE RCV = FUNCTION ORD(A).
000011 END PROGRAM C3381.

```

C3381.cob 10: JMN3381I-S FUNCTION ORDの引数は、英字型または英数字型で、字数は1でなければなりません。

2.5.233 JMN3382I-S

@1@の引数の型は、英字、英数字または数字のいずれかでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : FUNCTION MAX, FUNCTION MIN, FUNCTION ORD-MAX, FUNCTION ORD-MIN

例題

```
[C3382.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3382.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC 1(8) BIT.
000007 01 B PIC 9(1).
000008 01 RCV PIC 9(1).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011 COMPUTE RCV = FUNCTION MAX(A B).
000012 END PROGRAM C3382.
```

C3382.cob 11: JMN3382I-S FUNCTION MAXの引数の型は、英字、英数字または数字のいずれかでなければなりません。

2.5.234 JMN3383I-S

@1@の引数は、英数字項目または文字定数でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : FUNCTION NUMVAL, FUNCTION NUMVAL-C

例題

```
[C3383.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3383.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC A(10).
000007 01 B PIC S9(8) BINARY.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 COMPUTE B = FUNCTION NUMVAL(A)
000010 END PROGRAM C3383.
```

C3383.cob 9: JMN3383I-S FUNCTION NUMVALの引数は、英数字項目または文字定数でなければなりません。

2.5.235 JMN3384I-W

@1@の引数は、文字定数または英数字項目でなければなりません。引数を英数字項目とみなします。

埋め込みの説明

@1@ : FUNCTION NUMVAL, FUNCTION NUMVAL-C

例題

```
[C3384.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3384.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 TB.
000007 02 T1 PIC X(3).
```

```

000008 02 T2 PIC S9(5).
000009 01 B PIC S9(8) BINARY.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 COMPUTE B = FUNCTION NUMVAL(TB).
000012 END PROGRAM C3384.

```

C3384.cob 11: JMN3384I-W FUNCTION NUMVALの引数は、文字定数または英数字項目でなければなりません。引数を英数字項目とみなします。

2.5.236 JMN3385I-S

PERFORM文中の@1@は、数字定数または数字項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 関数種別

例題

```

[C3385.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3385.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A PIC S9(8) BINARY.
000007 01 I PIC S9(2)V9(2) BINARY.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 PERFORM VARYING I FROM FUNCTION RANDOM BY 0.1
000011 UNTIL I > 5
000012 COMPUTE A = A - 1
000013 END-PERFORM
000014 END PROGRAM C3385.

```

C3385.cob 9: JMN3385I-S PERFORM文中のFUNCTION RANDOMは、数字定数または数字項目でなければなりません。

2.5.237 JMN3386I-S

@1@の引数は、固定小数点項目または固定小数点定数でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : FUNCTION INTEGER, FUNCTION INTEGER-PART, FUNCTION REM

例題

```

[C3386.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3386.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 A COMP-2 VALUE +3.5.
000007 01 RCV PIC S9(4) BINARY.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 COMPUTE RCV = FUNCTION INTEGER( A ).
000010 END PROGRAM C3386.

```

C3386.cob 9: JMN3386I-S FUNCTION INTEGERの引数は、固定小数点項目または固定小数点定数でなければなりません。

2.5.238 JMN3388I-S

内部プログラムの手続き部の見出しまたは内部プログラムを呼ぶCALL文にWITHは指定できません。

例題

```
[C3388.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3388.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A PIC S9(8) BINARY.
000006 01 B PIC S9(4) BINARY.
000007 01 C PIC X(1).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 CALL "SUBPROG" USING A B C.
000010 EXIT PROGRAM.
000011 IDENTIFICATION DIVISION.
000012 PROGRAM-ID. SUBPROG.
000013 DATA DIVISION.
000014 LINKAGE SECTION.
000015 01 A1 PIC S9(8) BINARY.
000016 01 B1 PIC S9(4) BINARY.
000017 01 C1 PIC X(1).
000018 PROCEDURE DIVISION WITH PASCAL LINKAGE
000019 USING A1 B1 C1.
000020 DISPLAY A1 B1 C1.
000021 END PROGRAM SUBPROG.
000022 END PROGRAM C3388.
```

C3388.cob 19: JMN3388I-S 内部プログラムの手続き部の見出しまたは内部プログラムを呼ぶCALL文にWITHは指定できません。

2.5.239 JMN3391I-W

このシステムではPASCAL呼出し規約またはSTDCALL呼出し規約を使用できません。C呼出し規約とみなします。

例題

```
[C3391.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3391.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A PIC S9(8) BINARY.
000006 01 B PIC S9(4) BINARY.
000007 01 C PIC X(1).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 CALL "SUBPROG" WITH PASCAL LINKAGE USING A B C.
000010 CALL "SUBPROG" WITH STDCALL LINKAGE USING A B C.
000011 END PROGRAM C3391.
```

C3391.cob 9: JMN3391I-W このシステムではPASCAL呼出し規約またはSTDCALL呼出し規約を使用できません。C呼出し規約とみなします。

C3391.cob 10: JMN3391I-W このシステムではPASCAL呼出し規約またはSTDCALL呼出し規約を使用できません。C呼出し規約とみなします。

2.5.240 JMN3392I-S

@1@文のPROMPT指定の@2@は1文字の英字項目、英数字項目、日本語項目、文字定数および日本語文字定数でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : ACCEPT/DISPLAY

@2@ : データ項目名

例題

```
[C3392.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3392.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A      PIC X(8).
000006 01 B      PIC X(2).
000007 PROCEDURE  DIVISION.
000008     ACCEPT A WITH PROMPT B.
000009 END PROGRAM    C3392.
```

C3392.cob 8: JMN3392I-S ACCEPT文のPROMPT指定の'B'は1文字の英字項目, 英数字項目, 日本語項目, 文字定数および日本語文字定数でなければなりません。

2.5.241 JMN3393I-S

@1@文のAT指定の@2@は, 4けたまたは6けたの外部10進項目, 数字定数でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : DISPLAYまたはACCEPT

@2@ : 一意名

例題

```
[C3393.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3393.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A      PIC X(8).
000006 01 B      PIC S9(5).
000007 PROCEDURE  DIVISION.
000008     DISPLAY A AT 01001.
000009     ACCEPT A AT B.
000010 END PROGRAM    C3393.
```

C3393.cob 8: JMN3393I-S DISPLAY文のAT指定の数字定数は, 4けたまたは6けたの外部10進項目, 数字定数でなければなりません。

C3393.cob 9: JMN3393I-S ACCEPT文のAT指定の'B'は, 4けたまたは6けたの外部10進項目, 数字定数でなければなりません。

2.5.242 JMN3394I-S

@1@文の@2@の項目長は, 可変であってはなりません。

埋め込みの説明

@1@ : DISPLAY

@2@ : 一意名

例題

```
[C3394.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3394.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A      PIC X(8).
000006 01 L      PIC S9(4) BINARY.
000007 PROCEDURE  DIVISION.
```

```
000008      DISPLAY FUNCTION MAX( "A" )(1 : L) UPON CRT.  
000009 END PROGRAM  C3394.
```

C3394.cob 8: JMN3394I-S DISPLAY文のFUNCTION MAXの項目長は、可変であってはありません。

2.5.243 JMN3395I-S

READ文のPREVIOUSは、動的呼出しの索引ファイルまたは相対ファイル以外に指定できません。

例題

```
[C3395.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.  C3395.  
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.  
000005 FILE-CONTROL.  
000006     SELECT FILE-1 ASSIGN TO SYS001  
000007     ORGANIZATION IS INDEXED  
000008     ACCESS MODE IS SEQUENTIAL  
000009     RECORD KEY IS KEY-REC.  
000010 DATA DIVISION.  
000011 FILE SECTION.  
000012 FD  FILE-1.  
000013 01  REC-1.  
000014 02  KEY-REC PIC XX.  
000015 02  FILLER PIC X(78).  
000016 PROCEDURE DIVISION.  
000017     READ FILE-1 PREVIOUS.  
000018 END PROGRAM  C3395.
```

C3395.cob 17: JMN3395I-S READ文のPREVIOUSは、動的呼出しの索引ファイルまたは相対ファイル以外に指定できません。

2.5.244 JMN3396I-S

字類条件の@2@検査において、@1@は英字項目、英数字項目、英数字編集項目、数字編集項目、日本語項目、日本語編集項目のいずれかでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名

@2@ : 字類条件の検査種別(JAPANESE, UNICODE1, BMP)

例題

```
[C3396.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID.  C3396.  
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.  
000005 DATA DIVISION.  
000006 WORKING-STORAGE SECTION.  
000007 01  A      PIC S9(4) BINARY.  
000008 PROCEDURE DIVISION.  
000009     IF A IS JAPANESE THEN  
000010         DISPLAY A  
000011     END-IF.  
000012 END PROGRAM  C3396.
```

C3396.cob 9: JMN3396I-S 字類条件のJAPANESE検査において、'A'は英字項目、英数字項目、英数字編集項目、数字編集項目、日本語項目、日本語編集項目のいずれかでなければなりません。

2.5.245 JMN3397I-S

FUNCTION CAST-ALPHANUMERICの引数@1@は、日本語項目または日本語編集項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 関数の引数

例題

```
[C3397.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3397.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 A PIC X(4).
000008 01 B PIC X(4).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 MOVE FUNCTION CAST-ALPHANUMERIC( A ) TO B.
000011 STOP RUN.
```

C3397.cob 10: JMN3397I-S FUNCTION CAST-ALPHANUMERICの引数'A'は、日本語項目または日本語編集項目でなければなりません。

2.5.246 JMN3398I-S

FUNCTION NATIONALの引数@1@は、英字項目、英数字項目、英数字編集項目、数字編集項目、外部10進項目のいずれかでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 関数の引数

例題

```
[C3398.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3398.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 A PIC S9(4) BINARY.
000008 01 B PIC N(4).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 MOVE FUNCTION NATIONAL( A ) TO B.
000011 STOP RUN.
```

C3398.cob 10: JMN3398I-S FUNCTION NATIONALの引数'A'は、英字項目、英数字項目、英数字編集項目、数字編集項目、外部10進項目のいずれかでなければなりません。

2.5.247 JMN3399I-S

DISPLAY文の@1@は作業場所節で定義されていなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名

例題

```
[C3399.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3399.
000003 DATA DIVISION.
000004 BASED-STORAGE SECTION.
000005 01 REC-1 BASED ON PT.
000006 02 KEY-REC PIC XX.
000007 02 FILLER PIC X(78).
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 PT POINTER.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011     DISPLAY REC-1 UPON CRT.
000012 END PROGRAM C3399.
```

C3399.cob 11: JMN3399I-S DISPLAY文の'REC-1'は作業場所節で定義されていなければなりません。

2.5.248 JMN3400I-S

ACCEPT文の@1@は作業場所節で定義されていなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名

例題

```
[C3400.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3400.
000003 DATA DIVISION.
000004 BASED-STORAGE SECTION.
000005 01 REC-1 BASED ON PT.
000006 02 KEY-REC PIC XX.
000007 02 FILLER PIC X(78).
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 PT POINTER.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011     ACCEPT REC-1 FROM CRT.
000012 END PROGRAM C3400.
```

C3400.cob 11: JMN3400I-S ACCEPT文の'REC-1'は作業場所節で定義されていなければなりません。

2.5.249 JMN3401I-S

@1@文の@2@は集団項目に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : DISPLAY, ACCEPT

@2@ : BELL, BLANK LINE

例題

```
[C3401.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3401.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 GRP.
000006 02 A-ITEM PIC S9(4).
000007 02 B-ITEM PIC X(8).
```

```
000008 PROCEDURE DIVISION.  
000009 ACCEPT GRP WITH BELL.  
000010 DISPLAY GRP WITH BELL BLANK LINE.  
000011 END PROGRAM C3401.
```

C3401.cob 9: JMN3401I-S ACCEPT文のBELLは集団項目に指定できません。

C3401.cob 10: JMN3401I-S DISPLAY文のBELLは集団項目に指定できません。

C3401.cob 10: JMN3401I-S DISPLAY文のBLANK LINEは集団項目に指定できません。

2.5.250 JMN3402I-S

@1@文の@2@が数字項目または数字編集項目である場合、SIZEは指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : DISPLAYまたはACCEPT

@2@ : 一意名

例題

```
[C3402.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C3402.  
000003 DATA DIVISION.  
000004 WORKING-STORAGE SECTION.  
000005 01 A PIC 99.99.  
000006 01 B PIC S9(5).  
000007 PROCEDURE DIVISION.  
000008 DISPLAY A WITH SIZE 2.  
000009 ACCEPT B WITH SIZE 2.  
000010 END PROGRAM C3402.
```

C3402.cob 8: JMN3402I-S DISPLAY文の'A'が数字項目または数字編集項目である場合、SIZEは指定できません。

C3402.cob 9: JMN3402I-S ACCEPT文の'B'が数字項目または数字編集項目である場合、SIZEは指定できません。

2.5.251 JMN3403I-S

@1@文の@2@にJUSTIFIED句が指定されている場合、SIZEは指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : DISPLAYまたはACCEPT

@2@ : 一意名

例題

```
[C3403.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 PROGRAM-ID. C3403.  
000003 DATA DIVISION.  
000004 WORKING-STORAGE SECTION.  
000005 01 A PIC X(5) JUSTIFIED.  
000006 PROCEDURE DIVISION.  
000007 DISPLAY A WITH SIZE 2.  
000008 ACCEPT A WITH SIZE 2.  
000009 END PROGRAM C3403.
```

C3403.cob 7: JMN3403I-S DISPLAY文の'A'にJUSTIFIED句が指定されている場合、SIZEは指定できません。

C3403.cob 8: JMN3403I-S ACCEPT文の'A'にJUSTIFIED句が指定されている場合、SIZEは指定できません。

2.5.252 JMN3404I-S

@1@文に数字定数が指定された場合、SIZEは指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : DISPLAY

例題

```
[C3404.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3404.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 PROCEDURE DIVISION.
000006 DISPLAY 12345 WITH SIZE 2.
000007 END PROGRAM C3404.
C3404.cob 6: JMN3404I-S DISPLAY文に数字定数が指定された場合、SIZEは指定できません。
```

2.5.253 JMN3405I-S

翻訳オプションKANJI(JIS8)指定の場合、字類条件のJAPANESE検査において、@1@は日本語項目、または日本語編集項目のいずれかでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名

例題

```
[C3405.cob]
000001 @OPTIONS KANJI(JIS8)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3405.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT SECTION.
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 A PIC X(4).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 IF A IS JAPANESE THEN
000011 DISPLAY A
000012 END-IF.
000013 END PROGRAM C3405.
```

C3405.cob 10: JMN3405I-S 翻訳オプションKANJI(JIS8)指定の場合、字類条件のJAPANESE検査において、'A'は日本語項目、または日本語編集項目のいずれかでなければなりません。

2.5.254 JMN3406I-S

翻訳オプションKANJI(JIS8)指定の場合、FUNCTION NATIONALの引数に集団項目@1@は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名

例題

```
[C3406.cob]
000001 @OPTIONS KANJI(JIS8)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3406.
```

```

000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT SECTION.
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 A.
000009 02 A1 PIC S9(8) BINARY.
000010 02 A2 PIC X(4).
000011 01 B PIC N(4).
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013 MOVE FUNCTION NATIONAL( A ) TO B.
000014 END PROGRAM C3406.

```

C3406.cob 13: JMN3406I-S 翻訳オプション KANA(JIS8)指定の場合、FUNCTION NATIONALの引数に集団項目'A'は指定できません。

2.5.255 JMN3407I-S

INVOKE文に型付けされていないオブジェクト参照一意名@1@が指定された場合、@2@は英数字データ項目、日本語データ項目、英数字定数または日本語定数のいずれかでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@: 一意名
 @2@: '定数'または一意名

例題

```

[C3407.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3407.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 OBJA USAGE IS OBJECT REFERENCE.
000008 01 A PIC S9(8) COMP-5.
000009 01 B PIC X(5).
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 INVOKE OBJA A RETURNING B.
000012 END PROGRAM C3407.

```

C3407.cob 11: JMN3407I-S INVOKE文に型付けされていないオブジェクト参照一意名'OBJA'が指定された場合、'A'は英数字データ項目、日本語データ項目、英数字定数または日本語定数のいずれかでなければなりません。

2.5.256 JMN3408I-S

@1@が示すオブジェクトにより、メソッド@2@を呼び出すことはできません。

埋め込みの説明

@1@: 一意名
 @2@: メソッド名

例題

```

[C3408.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID. C3408.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 OBJECT.
000006 PROCEDURE DIVISION.

```



```

000007*
000008 METHOD-ID. FM1.
000009 DATA DIVISION.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012         INVOKE C3408 "FM1".
000013         EXIT METHOD.
000014 END METHOD FM1.
000015*
000016 END OBJECT.
000017 END CLASS C3408.

```

C3408.cob 12: JMN3408I-S 'C3408'が示すオブジェクトにより、メソッド"FM1"を呼び出すことはできません。

詳細な説明

メソッド呼び出しにおいては、ファクトリ定義のメソッドを呼び出す場合にはファクトリオブジェクトを、オブジェクト定義のメソッドを呼び出す場合には、オブジェクトインスタンスを指定しなければなりません。

2.5.257 JMN3410I-S

INVOKE文に型付けされていないオブジェクト参照一意名、特殊クラスのオブジェクト参照一意名または特殊クラスのクラス名@1@が指定された場合、BY CONTENTを指定することはできません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名

例題

```

[C3410.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3410.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 OBJA USAGE IS OBJECT REFERENCE.
000008 01 A PIC S9(4) BINARY.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010         INVOKE OBJA "M1" USING BY CONTENT A.
000011 END PROGRAM C3410.

```

C3410.cob 10: JMN3410I-S INVOKE文に型付けされていないオブジェクト参照一意名、特殊クラスのオブジェクト参照一意名または特殊クラスのクラス名'OBJA'が指定された場合、BY CONTENTを指定することはできません。

2.5.258 JMN3412I-S

@1@は@2@に適合していなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 送出し側一意名

@2@ : 受取り側一意名

例題

```

[JMN3412I-A.cob]
000001 CLASS-ID. JMN3412I-A.
000002 OBJECT.
000003 PROCEDURE DIVISION.
000004*

```

```
000005 END OBJECT.  
000006 END CLASS JMN3412I-A.
```

```
[JMN3412I-S.cob]  
000001 CLASS-ID. JMN3412I-S.  
000002 ENVIRONMENT DIVISION.  
000003 CONFIGURATION SECTION.  
000004 REPOSITORY.  
000005 CLASS JMN3412I-A.  
000006 OBJECT.  
000007 PROCEDURE DIVISION.  
000008*  
000009 METHOD-ID. JMN3412-M1.  
000010 DATA DIVISION.  
000011 WORKING-STORAGE SECTION.  
000012 01 OBJA OBJECT REFERENCE JMN3412I-A.  
000013 LINKAGE SECTION.  
000014 PROCEDURE DIVISION.  
000015 SET OBJA TO SELF.  
000016 END METHOD JMN3412-M1.  
000017*  
000018 END OBJECT.  
000019 END CLASS JMN3412I-S.
```

JMN3412I-S.cob 15: JMN3412I-S 定義済みオブジェクト一意名SELFは'OBJA'に適合していなければなりません。

詳細な説明

オブジェクト参照の代入を目的とする、明に書いたSET文または暗黙のSET文において、送出し側と受取り側のオブジェクト参照一意名の組み合わせが規則として許されない場合に、このメッセージが出力されます。組み合わせの規則は“COBOL 文法書”の“11.8.5.4 代入時の適合”に示されていますので、そちらをご確認ください。

2.5.259 JMN3413I-S

オブジェクト参照一意名の比較で指定する比較演算子は、'EQUAL(=)'または'NOT EQUAL(NOT =)'でなければなりません。

例題

```
[C3413.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 CLASS-ID. C3413.  
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 CONFIGURATION SECTION.  
000005 OBJECT.  
000006 PROCEDURE DIVISION.  
000007*  
000008 METHOD-ID. FM1.  
000009 DATA DIVISION.  
000010 WORKING-STORAGE SECTION.  
000011 01 OBJA USAGE IS OBJECT REFERENCE C3413.  
000012 PROCEDURE DIVISION.  
000013 IF OBJA > NULL THEN  
000014 EXIT METHOD.  
000015 END METHOD FM1.  
000016*  
000017 END OBJECT.  
000018 END CLASS C3413.
```

C3413.cob 13: JMN3413I-S オブジェクト参照一意名の比較で指定する比較演算子は、'EQUAL(=)'または'NOT EQUAL(NOT =)'でなければなりません。

2.5.260 JMN3414I-S

@1@を呼ぶCALL文にはRETURNING指定を記述しなければなりません。プログラム@1@のPROCEDURE DIVISIONにRETURNING指定があります。

埋め込みの説明

@1@ : プログラム名

例題

```
[C3414. cob]
000001 @OPTIONS CHECK (PRM)
000002 PROGRAM-ID.      C3414.
000003 DATA              DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 PROCEDURE          DIVISION.
000006     CALL "C3414S".
000007     EXIT PROGRAM.
000008*
000009 PROGRAM-ID.      C3414S.
000010 DATA DIVISION.
000011 LINKAGE          SECTION.
000012     01 R PIC X(4).
000013 PROCEDURE DIVISION
000014     RETURNING R.
000015     EXIT PROGRAM.
000016 END PROGRAM      C3414S.
000017 END PROGRAM      C3414.
```

C3414.cob 6: JMN3414I-S 'C3414S'を呼ぶCALL文にはRETURNING指定を記述しなければなりません。プログラム'C3414S'のPROCEDURE DIVISIONにRETURNING指定があります。

2.5.261 JMN3415I-S

メソッド@1@の手続き部始め見出しにRETURNING指定がありません。

埋め込みの説明

@1@ : メソッド名

例題

```
[C3415. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C3415.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 OBJECT.
000007 DATA DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 OBJ3415  OBJECT REFERENCE C3415.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011*
000012 METHOD-ID.  FM-1.
000013 DATA DIVISION.
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 A OBJECT REFERENCE C3415.
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017     INVOKE OBJ3415 "FM-2" RETURNING A.
000018 END METHOD FM-1.
000019*
000020 METHOD-ID.  FM-2.
```

```
000021 DATA DIVISION.  
000022 WORKING-STORAGE SECTION.  
000023 LINKAGE SECTION.  
000024 PROCEDURE DIVISION.  
000025 END METHOD FM-2.  
000026*  
000027 END OBJECT.  
000028 END CLASS C3415.
```

C3415.cob 17: JMN3415I-S メソッド'FM-2'の手続き部始め見出しにRETURNING指定がありません。

2.5.262 JMN3421I-S

行内呼出しのメソッド@1@にRETURNING指定がありません。行内呼出しの結果を表意定数ゼロとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : メソッド名

例題

```
[C3421-C.cob]  
000001 CLASS-ID. C3421-C.  
000002 ENVIRONMENT DIVISION.  
000003 CONFIGURATION SECTION.  
000004 REPOSITORY.  
000005 OBJECT.  
000006 DATA DIVISION.  
000007 WORKING-STORAGE SECTION.  
000008 PROCEDURE DIVISION.  
000009*  
000010 METHOD-ID. C3421-M.  
000011 DATA DIVISION.  
000012 WORKING-STORAGE SECTION.  
000013 LINKAGE SECTION.  
000014 PROCEDURE DIVISION.  
000015 END METHOD C3421-M.  
000016*  
000017 METHOD-ID. C3421-M2.  
000018 DATA DIVISION.  
000019 WORKING-STORAGE SECTION.  
000020 01 WORK1 PIC X(50).  
000021 LINKAGE SECTION.  
000022 PROCEDURE DIVISION.  
000023 MOVE SELF::"C3421-M" TO WORK1.  
000024 END METHOD C3421-M2.  
000025*  
000026 END OBJECT.  
000027 END CLASS C3421-C.
```

C3421-C.cob 23: JMN3421I-S 行内呼出しのメソッド'C3421-M'にRETURNING指定がありません。行内呼出しの結果を表意定数ゼロとみなします。

2.5.263 JMN3422I-S

@1@は部分参照できません。

埋め込みの説明

@1@ : "オブジェクトプロパティ"

例題

```
[C3422. cob]
000001 CLASS-ID. C3422.
000002 ENVIRONMENT DIVISION.
000003 CONFIGURATION SECTION.
000004 REPOSITORY.
000005 OBJECT.
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 PROP-DATA PIC 9(10) PROPERTY.
000009 01 OBJ3422 OBJECT REFERENCE C3422.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 METHOD-ID. C3422-M.
000012 DATA DIVISION.
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 X04 PIC X(4) VALUE "ABCD".
000015 LINKAGE SECTION.
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017 MOVE PROP-DATA OF OBJ3422 (1:4) TO X04. *> JMN3422I-S
000018 END METHOD C3422-M.
000019 END OBJECT.
000020 END CLASS C3422.
```

C3422.cob 17: JMN3422I-S オブジェクトプロパティは部分参照できません。

2.5.264 JMN3423I-S

プロパティ取出しメソッドが定義されていません。

例題

```
[C3423. cob]
000001 CLASS-ID. C3423.
000002 OBJECT.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 PROPDAT PIC S9(9) COMP-5 PROPERTY WITH NO GET.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007 END OBJECT.
000008 END CLASS C3423.
```

```
[P3423. cob]
000001 PROGRAM-ID. P3423.
000002 ENVIRONMENT DIVISION.
000003 CONFIGURATION SECTION.
000004 REPOSITORY.
000005 CLASS C3423.
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 WDATA PIC S9(9) COMP-5.
000009 01 OBJC3423 OBJECT REFERENCE C3423.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 MOVE PROPDAT OF OBJC3423 TO WDATA.
000012 END PROGRAM P3423.
```

P3423.cob 11: JMN3423I-S プロパティ取出しメソッドが定義されていません。

詳細な説明

オブジェクトプロパティが参照側(送出し側)に記述されているとき、そのプロパティに対して設定メソッドは存在するが取出しメソッドが存在しない場合に、このエラーメッセージが出力されます。このオブジェクトプロパティは、設定側(受取り側)にしか書くことができません。

2.5.265 JMN3424I-S

プロパティ設定メソッドが定義されていません。

例題

```
[C3424.cob]
000001 CLASS-ID. C3424.
000002 OBJECT.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 PROPDAT PIC S9(9) COMP-5 PROPERTY WITH NO SET.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007 END OBJECT.
000008 END CLASS C3424.
```

```
[P3424.cob]
000001 PROGRAM-ID. P3424.
000002 ENVIRONMENT DIVISION.
000003 CONFIGURATION SECTION.
000004 REPOSITORY.
000005     CLASS C3424.
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 WDATA      PIC S9(9) COMP-5.
000009 01 OBJC3424   OBJECT REFERENCE C3424.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011     MOVE WDATA TO PROPDAT OF OBJC3424.
000012 END PROGRAM P3424.
```

P3424.cob 11: JMN3424I-S プロパティ設定メソッドが定義されていません。

詳細な説明

オブジェクトプロパティが設定側(受取り側)に記述されているとき、そのプロパティに対して取出しメソッドは存在するが設定メソッドが存在しない場合に、このエラーメッセージが出力されます。このオブジェクトプロパティは、参照側(送出し側)にしか書くことができません。

2.5.266 JMN3427I-S

@1@はMOVE文およびSET文以外の受取り側に指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : "オブジェクトプロパティ"

2.5.267 JMN3428I-S

@1@文にオブジェクト一意名は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : DISPLAY

例題

```
[C3428.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID. C3428.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 OBJECT.
000007 PROCEDURE DIVISION.
```

```

000008 METHOD-ID. FM1.
000009 DATA DIVISION.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01 OBJA OBJECT REFERENCE C3428.
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013     DISPLAY OBJA.
000014     EXIT METHOD.
000015 END METHOD FM1.
000016 END OBJECT.
000017 END CLASS C3428.

```

C3428.cob 13: JMN3428I-S DISPLAY文にオブジェクト一意名は指定できません。

2.5.268 JMN3429I-S

オブジェクト参照データ項目を含む集団項目@1@は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : 集団項目名

例題

```

[C3429. cob]
000001 PROGRAM-ID. C3429.
000002 DATA DIVISION.
000003 WORKING-STORAGE SECTION.
000004 01 OR-GROUP.
000005     02 OBJREF OBJECT REFERENCE OCCURS 10.
000006 LINKAGE SECTION.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008     MOVE LOW-VALUE TO OR-GROUP
000009 END PROGRAM C3429.

```

C3429.cob 8: JMN3429I-S オブジェクト参照データ項目を含む集団項目'OR-GROUP'は指定できません。

2.5.269 JMN3430I-S

INVOKE文のUSING指定または行内呼出しに記述したパラメタの個数は、PROCEDURE DIVISIONのUSING指定に記述したパラメタの個数と一致していなければなりません。

2.5.270 JMN3432I-S

INVOKE文のBY REFERENCE指定、RETURNING指定および行内呼出しの引数に指定された一意名は、部分参照できません。

例題

```

[C3432. cob]
000001 CLASS-ID. C3432.
000002 ENVIRONMENT DIVISION.
000003 CONFIGURATION SECTION.
000004 REPOSITORY.
000005 OBJECT.
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009     METHOD-ID. C3432-M.
000010     DATA DIVISION.
000011     WORKING-STORAGE SECTION.
000012     01 WK1 PIC X(20).
000013     LINKAGE SECTION.

```

```

000014 01 RTN      PIC X(20).
000015  PROCEDURE DIVISION USING RTN.
000016      INVOKE SELF "C3432-M" USING WK1(1:18).
000017  END METHOD C3432-M.
000018  END OBJECT.
000019  END CLASS C3432.

```

C3432.cob 16: JMN3432I-S INVOKE文のBY REFERENCE指定, RETURNING指定および行内呼出しの引数に指定された一意名は, 部分参照できません。

2.5.271 JMN3433I-S

2文字以上のALL定数の数字項目および数字編集項目への転記は, @1@ COBOLの廃要素です。

埋め込みの説明

@1@ : ANSI85

例題

```

[C3433.cob]
000001 CLASS-ID. C3433.
000002 ENVIRONMENT DIVISION.
000003 CONFIGURATION SECTION.
000004 REPOSITORY.
000005*
000006 OBJECT.
000007 DATA DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010  METHOD-ID. C3433-M.
000011  DATA DIVISION.
000012  WORKING-STORAGE SECTION.
000013  01 D908 PIC 9(8).
000014  LINKAGE SECTION.
000015  PROCEDURE DIVISION.
000016      MOVE ALL '40' TO D908.
000017  END METHOD C3433-M.
000018  END OBJECT.
000019  END CLASS C3433.

```

C3433.cob 16: JMN3433I-S 2文字以上のALL定数の数字項目および数字編集項目への転記は, ANSI85 COBOLの廃要素です。

2.5.272 JMN3434I-S

2文字以上のALL定数と数字項目または数字編集項目との比較は, @1@ COBOLの廃要素です。

埋め込みの説明

@1@ : ANSI85

例題

```

[C3434.cob]
000001 CLASS-ID. C3434.
000002 ENVIRONMENT DIVISION.
000003 CONFIGURATION SECTION.
000004 OBJECT.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008  METHOD-ID. C3434-M.
000009  DATA DIVISION.
000010  WORKING-STORAGE SECTION.

```



```

000011 01 D908 PIC 9(8) VALUE 40404040.
000012 LINKAGE SECTION.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     IF ALL '40' = D908
000015         DISPLAY "SAME"
000016     END-IF
000017 END METHOD C3434-M.
000018 END OBJECT.
000019 END CLASS C3434.

```

C3434.cob 14: JMN3434I-S 2文字以上のALL定数と数字項目または数字編集項目との比較は、ANSI85 COBOLの廃要素です。

2.5.273 JMN3437I-S

復帰項目の用途がオブジェクト参照データとなる行内呼出しまたはオブジェクトプロパティは、条件式に指定できません。

例題

```

[C3437.cob]
000001 CLASS-ID. C3437.
000002 ENVIRONMENT DIVISION.
000003 CONFIGURATION SECTION.
000004 REPOSITORY.
000005 OBJECT.
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 OBJ1  OBJECT REFERENCE C3437  PROPERTY.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010*
000011 METHOD-ID. METHOD1.
000012 DATA DIVISION.
000013 LINKAGE SECTION.
000014 01 OBJ2  OBJECT REFERENCE C3437.
000015 PROCEDURE DIVISION RETURNING OBJ2.
000016     IF SELF::"METHOD1" = NULL THEN
000017         EVALUATE OBJ1 OF SELF
000018         WHEN NULL
000019             DISPLAY "NULL"
000020         WHEN OTHER
000021             DISPLAY "OTHER"
000022     END-EVALUATE
000023 END-IF.
000024 END METHOD METHOD1.
000025*
000026 END OBJECT.
000027 END CLASS C3437.

```

C3437.cob 16: JMN3437I-S 復帰項目の用途がオブジェクト参照データとなる行内呼出しまたはオブジェクトプロパティは、条件式に指定できません。

C3437.cob 18: JMN3437I-S 復帰項目の用途がオブジェクト参照データとなる行内呼出しまたはオブジェクトプロパティは、条件式に指定できません。

2.5.274 JMN3438I-W

最大重大度コードがSであるため、XREFオプションは無効となります。

例題

```

[C3438.cob]
000001 @OPTIONS XREF
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3438.

```

```
000004 DATA DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 01 A PIC X(3).  
000007 01 B PIC N(3).  
000008 PROCEDURE DIVISION.  
000009 MOVE A TO B.  
000010 END PROGRAM C3438.
```

C3438.cob 0: JMN3438I-W 最大重大度コードがSであるため、XREFオプションは無効となります。

2.5.275 JMN3439I-S

内部ブール項目@1@はバイト境界から始まるように定義しなければなりません。

埋め込みの説明

@1@: 項目名

例題

```
[C3439.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 CLASS-ID. C3439.  
000003 ENVIRONMENT DIVISION.  
000004 CONFIGURATION SECTION.  
000005 REPOSITORY.  
000006 IDENTIFICATION DIVISION.  
000007 OBJECT.  
000008 DATA DIVISION.  
000009 PROCEDURE DIVISION.  
000010 IDENTIFICATION DIVISION.  
000011 METHOD-ID. C3439-1.  
000012 DATA DIVISION.  
000013 WORKING-STORAGE SECTION.  
000014 01 A.  
000015 02 A1 PIC 1(3) BIT.  
000016 02 A2 PIC 1(5) BIT.  
000017 PROCEDURE DIVISION.  
000018 INVOKE SELF "C3439-2" USING A2.  
000019 END METHOD C3439-1.  
000020 IDENTIFICATION DIVISION.  
000021 METHOD-ID. C3439-2.  
000022 DATA DIVISION.  
000023 LINKAGE SECTION.  
000024 01 B PIC 1(5) BIT.  
000025 PROCEDURE DIVISION USING B.  
000026 END METHOD C3439-2.  
000027 END OBJECT.  
000028 END CLASS C3439.
```

C3439.cob 18: JMN3439I-S 内部ブール項目'A2'はバイト境界から始まるように定義しなければなりません。

詳細な説明

プログラムまたはメソッドの呼出しにおけるBY REFERENCEパラメタとして、ビットオフセットを持つ内部ブール項目が指定された場合にこのメッセージが出力されます。BY REFERENCEパラメタは、呼出し元のパラメタのアドレスが呼出し先のパラメタのアドレスとして参照されますが、このときのアドレスはあくまでもバイト単位のアドレスです。呼出し先では呼出し元におけるビットオフセットが考慮されないため、正しい位置が参照されません。

2.5.276 JMN3440I-S

仮パラメタがANY LENGTH句付きである場合、それに対応するINVOKE文のUSINGパラメタまたはメソッドの行内呼出しの引数は、BY REFERENCE指定のデータ名、ALL定数以外の文字定数または日本語文字定数でなければなりません。

例題

```
[C3440. cob]
000001 CLASS-ID. C3440.
000002 FACTORY.
000003 PROCEDURE DIVISION.
000004*
000005 METHOD-ID. M3440-M1.
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 LINKAGE SECTION.
000009 01 FPRM PIC X ANY LENGTH.
000010 PROCEDURE DIVISION USING FPRM.
000011     DISPLAY FPRM.
000012 END METHOD M3440-M1.
000013*
000014 METHOD-ID. M3440-M2.
000015 DATA DIVISION.
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 01 PRM PIC X(2).
000018 LINKAGE SECTION.
000019 PROCEDURE DIVISION.
000020     INVOKE SELF "M3440-M1"
000021     USING BY CONTENT PRM.
000022 END METHOD M3440-M2.
000023*
000024 END FACTORY.
000025 END CLASS C3440.
```

C3440.cob 20: JMN3440I-S 仮パラメタがANY LENGTH句付きである場合、それに対応するINVOKE文のUSINGパラメタまたはメソッドの行内呼出しの引数は、BY REFERENCE指定のデータ名、ALL定数以外の文字定数または日本語文字定数でなければなりません。

2.5.277 JMN3441I-S

@2@文のUSING指定またはRETURNING指定に、ANY LENGTH句が指定された項目である@1@は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : データ名

@2@ : INVOKE/CALL

例題

```
[C3441. cob]
000001 CLASS-ID. C3441.
000002 FACTORY.
000003 PROCEDURE DIVISION.
000004*
000005 METHOD-ID. M3441-M1.
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 LINKAGE SECTION.
000009 01 PRM PIC X ANY LENGTH.
000010 PROCEDURE DIVISION USING PRM.
000011     CALL "PROGA" USING PRM.
000012 END METHOD M3441-M1.
000013*
000014 END FACTORY.
000015 END CLASS C3441.
```

C3441.cob 11: JMN3441I-S CALL文のUSING指定またはRETURNING指定に、ANY LENGTH句が指定された項目である'PRM'は指定できません。

2.5.278 JMN3442I-S

@2@文のRETURNING指定に、ANY LENGTH句が指定された項目である@1@は指定できません。

埋め込みの説明

@1@: データ名

@2@: INVOKE

例題

```
[C3442. cob]
000001 CLASS-ID. C3442.
000002 OBJECT.
000003 PROCEDURE DIVISION.
000004*
000005 METHOD-ID. M3442-M1.
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 LINKAGE SECTION.
000009 01 PRM PIC X ANY LENGTH.
000010 01 RET PIC X ANY LENGTH.
000011 PROCEDURE DIVISION USING PRM RETURNING RET.
000012     INVOKE SELF "M3442-M1" USING PRM RETURNING RET.
000013 END METHOD M3442-M1.
000014*
000015 END OBJECT.
000016 END CLASS C3442.
```

C3442.cob 12: JMN3442I-S INVOKE文のRETURNING指定に、ANY LENGTH句が指定された項目である'RET'は指定できません。

2.5.279 JMN3443I-S

@2@の引数に、ANY LENGTH句が指定された項目である@1@は指定できません。

埋め込みの説明

@1@: データ名

@2@: 関数名

例題

```
[C3443. cob]
000001 CLASS-ID. C3443.
000002 FACTORY.
000003 PROCEDURE DIVISION.
000004*
000005 METHOD-ID. M3443.
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 WRCV PIC X(25).
000009 LINKAGE SECTION.
000010 01 WDATA-AN PIC X ANY LENGTH.
000011 PROCEDURE DIVISION USING WDATA-AN.
000012     MOVE FUNCTION REVERSE(WDATA-AN) TO WRCV.
000013 END METHOD M3443.
000014*
000015 END FACTORY.
000016 END CLASS C3443.
```

C3443.cob 12: JMN3443I-S FUNCTION REVERSEの引数に, ANY LENGTH句が指定された項目である'WDATA-AN'は指定できません.

2.5.280 JMN3444I-S

INITIALIZE文に, ANY LENGTH句が指定された項目である@1@は指定できません.

埋め込みの説明

@1@ : データ名

例題

```
[C3444. cob]
000001 CLASS-ID. C3444.
000002 FACTORY.
000003 PROCEDURE DIVISION.
000004*
000005 METHOD-ID. M3444.
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 LINKAGE SECTION.
000009 01 WDATA-AN PIC X ANY LENGTH.
000010 PROCEDURE DIVISION USING WDATA-AN.
000011     INITIALIZE WDATA-AN.
000012 END METHOD M3444.
000013*
000014 END FACTORY.
000015 END CLASS C3444.
```

C3444.cob 11: JMN3444I-S INITIALIZE文に, ANY LENGTH句が指定された項目である'WDATA-AN'は指定できません.

2.5.281 JMN3445I-S

間接的に参照されるクラス'@1@'は, リポジトリ段落に指定しなければなりません.

埋め込みの説明

@1@ : クラス名

例題

```
[A. cob]
000001 CLASS-ID. A.
000002 END CLASS A.
```

```
[B. cob]
000001 CLASS-ID. B INHERITS A.
000002 ENVIRONMENT DIVISION.
000003 CONFIGURATION SECTION.
000004 REPOSITORY.
000005     CLASS A.
000006 END CLASS B.
```

```
[X. cob]
000001 CLASS-ID. X.
000002 ENVIRONMENT DIVISION.
000003 CONFIGURATION SECTION.
000004 REPOSITORY.
000005     CLASS B.
000006 FACTORY.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008*
```

```

000009 METHOD-ID. MX.
000010 DATA DIVISION.
000011 LINKAGE SECTION.
000012 01 OBJB OBJECT REFERENCE B.
000013 PROCEDURE DIVISION RETURNING OBJB.
000014 END METHOD MX.
000015*
000016 END FACTORY.
000017 END CLASS X.

```

```

[C3445. cob]
000001 PROGRAM-ID. C3445.
000002 ENVIRONMENT DIVISION.
000003 CONFIGURATION SECTION.
000004 REPOSITORY.
000005     CLASS A
000006     CLASS X.
000007 DATA DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 OBJA OBJECT REFERENCE A.
000010 LINKAGE SECTION.
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012     INVOKE X "MX" RETURNING OBJA
000013 END PROGRAM C3445.

```

C3445.cob 12: JMN3445I-S 間接的に参照されるクラス'B'は、リポジトリ段落に指定しなければなりません。

2.5.282 JMN3446I-S

INVOKE文のBY CONTENT指定に、ANY LENGTH句が指定された項目である@1@は指定できません。

埋め込みの説明

@1@: データ名

例題

```

[C3446. cob]
000001 CLASS-ID. C3446.
000002 FACTORY.
000003 PROCEDURE DIVISION.
000004*
000005 METHOD-ID. M3446.
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 LINKAGE SECTION.
000009 01 PRM PIC X ANY LENGTH.
000010 PROCEDURE DIVISION USING PRM.
000011     INVOKE SELF "M3446" USING BY CONTENT PRM.
000012 END METHOD M3446.
000013*
000014 END FACTORY.
000015 END CLASS C3446.

```

C3446.cob 11: JMN3446I-S INVOKE文のBY CONTENT指定に、ANY LENGTH句が指定された項目である'PRM'は指定できません。

2.5.283 JMN3447I-S

RETURNING指定にANY LENGTH句が指定されたメソッド@1@は、行内呼出しにより呼び出すことはできません。

埋め込みの説明

@1@ : メソッド名

例題

```
[C3447.cob]
000001 CLASS-ID. C3447.
000002 FACTORY.
000003 PROCEDURE DIVISION.
000004*
000005 METHOD-ID. M3447.
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 X10 PIC X(10).
000009 LINKAGE SECTION.
000010 01 RET PIC X ANY LENGTH.
000011 PROCEDURE DIVISION RETURNING RET.
000012     MOVE SELF :: "M3447" TO X10
000013 END METHOD M3447.
000014*
000015 END FACTORY.
000016 END CLASS C3447.
```

C3447.cob 12: JMN3447I-S RETURNING指定にANY LENGTH句が指定されたメソッド'M3447'は、行内呼出しにより呼び出すことはできません。

2.5.284 JMN3448I-W

@2@文のRAISING指定の@1@はクラス名を持つオブジェクト一意名でなければならず、そのクラス名は手続き部始め見出しのRAISINGに指定されていなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名

@2@ : EXIT METHOD, EXIT PROGRAM

例題

```
[C3448.cob]
000001 CLASS-ID. C3448.
000002 FACTORY.
000003 PROCEDURE DIVISION.
000004 METHOD-ID. FM1 IS INVARIANT.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 OBJA USAGE IS OBJECT REFERENCE C3448.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009     INVOKE OBJA "OM1".
000010     EXIT METHOD RAISING OBJA.
000011 END METHOD FM1.
000012 END FACTORY.
000013 OBJECT.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015 METHOD-ID. OM1.
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017 END METHOD OM1.
000018 END OBJECT.
000019 END CLASS C3448.
```

C3448.cob 10: JMN3448I-W EXIT METHOD文のRAISING指定の'OBJA'はクラス名を持つオブジェクト一意名でなければならず、そのクラス名は手続き部始め見出しのRAISINGに指定されていなければなりません。

詳細な説明

EXIT PROGRAM文またはEXIT METHOD文にRAISING指定を指定する場合、そこに指定するオブジェクト参照一意名が参照するクラスをPROCEDURE DIVISIONのRAISING指定に書かなければならないことが、仕様として定められています。

2.5.285 JMN3449I-S

_FINALIZEメソッド中にRAISING指定のあるEXIT METHOD文は指定できません。

例題

```
[C3449.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID. C3449 INHERITS FJBASE.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS FJBASE.
000007*
000008 OBJECT.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 METHOD-ID. _FINALIZE OVERRIDE.
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012     EXIT METHOD RAISING C3449.
000013 END METHOD _FINALIZE.
000014 END OBJECT.
000015 END CLASS C3449.
```

C3449.cob 12: JMN3449I-S _FINALIZEメソッド中にRAISING指定のあるEXIT METHOD文は指定できません。

2.5.286 JMN3450I-W

送出し側項目@1@の領域と受取り側項目@2@の領域が重なっているため、転記の結果は規定されません。

埋め込みの説明

@1@ : 転記の送出し側

@2@ : 転記の受取り側

例題

```
[C3450.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3450.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 GRP.
000006 02 A-GRP.
000007 03 A-AREA PIC X(4).
000008 03 FILLER PIC X(1).
000009 02 B-GRP REDEFINES A-GRP.
000010 03 FILLER PIC X(1).
000011 03 B-AREA PIC X(4).
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013     MOVE A-AREA TO B-AREA.
000014 END PROGRAM C3450.
```

C3450.cob 13: JMN3450I-W 送出し側項目'A-AREA'の領域と受取り側項目'B-AREA'の領域が重なっているため、転記の結果は規定されません。

詳細な説明

明に書いたMOVE文または暗黙のMOVE文において、送出し側と受取り側の領域が一部でも重なっている場合、その転記の結果は重なる度合いや領域長などの条件によって変わり、一定の規則に則った結果は得られません。

2.5.287 JMN3458I-S

@2@文においてCONTROL指定のデータ名@1@は、英数字項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : データ項目名

@2@ : ACCEPT/DISPLAY

例題

```
[C3458.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3458.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 CTRL-DATA  PIC N(20).
000006 01 SCRN-DATA  PIC N(16).
000007 SCREEN        SECTION.
000008 01 ITITLE1 CONTROL CTRL-DATA.
000009 02 LINE NUMBER IS 3 COLUMN NUMBER IS 23.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011     DISPLAY ITITLE1.
000012     DISPLAY SCRN-DATA WITH CONTROL CTRL-DATA.
000013     EXIT PROGRAM.
000014 END PROGRAM C3458.
```

C3458.cob 11: JMN3458I-S DISPLAY文においてCONTROL指定のデータ名'CTRL-DATA'は、英数字項目でなければなりません。

C3458.cob 12: JMN3458I-S DISPLAY文においてCONTROL指定のデータ名'CTRL-DATA'は、英数字項目でなければなりません。

2.5.288 JMN3459I-S

[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

FUNCTION UCS2-OFの引数@1@は、英字項目、英数字項目または英数字編集項目のいずれかでなければなりません。

[Linux64]

FUNCTION UCS2-OFの引数@1@は、英字項目、英数字項目または英数字編集項目のいずれかで、エンコード方式はUTF8でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 関数の引数

例題

```
[C3459.cob]
000001 @OPTIONS RCS(UTF16)
000002 PROGRAM-ID.    C3459.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 N20  PIC N(20).
000007 01 INTD PIC S9(9).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009     MOVE FUNCTION UCS2-OF (INTD) TO N20
000010 END PROGRAM C3459.
```

- [\[Solaris\]](#)[\[Solaris64\]](#)[\[Linux\]](#)[\[LinuxIPF\]](#)

C3459.cob 9: JMN3459I-S FUNCTION UCS2-OFの引数'INTD'は、英字項目、英数字項目または英数字編集項目のいずれかでなければなりません。

- [\[Linux64\]](#)

C3459.cob 9: JMN3459I-S FUNCTION UCS2-OFの引数'INTD'は、英字項目、英数字項目または英数字編集項目のいずれかで、エンコード方式はUTF8でなければなりません。

2.5.289 JMN3460I-S

[\[Solaris\]](#)[\[Solaris64\]](#)[\[Linux\]](#)[\[LinuxIPF\]](#)

FUNCTION UTF8-OFの引数@1@は、日本語項目または日本語編集項目のいずれかでなければなりません。

[\[Linux64\]](#)

FUNCTION UTF8-OFの引数@1@は、日本語項目または日本語編集項目のいずれかで、エンコード方式はUTF16でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 関数の引数

例題

```
[C3460. cob]
000001 @OPTIONS RCS (UTF16)
000002 PROGRAM-ID. C3460.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 X20 PIC X(20).
000007 01 NGRP.
000008 02 N10 PIC N(10).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 MOVE FUNCTION UTF8-OF (NGRP) TO X20
000011 END PROGRAM C3460.
```

- [\[Solaris\]](#)[\[Solaris64\]](#)[\[Linux\]](#)[\[LinuxIPF\]](#)

C3460.cob 10: JMN3460I-S FUNCTION UTF8-OFの引数'NGRP'は、日本語項目または日本語編集項目のいずれかでなければなりません。

- [\[Linux64\]](#)

C3460.cob 10: JMN3460I-S FUNCTION UTF8-OFの引数'NGRP'は、日本語項目または日本語編集項目のいずれかで、エンコード方式はUTF16でなければなりません。

2.5.290 JMN3461I-S

FUNCTION STORED-CHAR-LENGTHの引数@1@は、英字項目、英数字項目、英数字編集項目、日本語項目または日本語編集項目のいずれかでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 関数の引数

例題

```
[C3461. cob]
000001 PROGRAM-ID. C3461.
000002 ENVIRONMENT DIVISION.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 LEN PIC 9(3).
000006 01 GRP.
```

```

000007 02 X10 PIC X(10).
000008 02 X20 PIC X(20).
000009 01 NUM01 PIC S9(4).
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011     COMPUTE LEN = FUNCTION STORED-CHAR-LENGTH (GRP)
000012     COMPUTE LEN = FUNCTION STORED-CHAR-LENGTH (NUM01)
000013 END PROGRAM C3461.

```

C3461.cob 11: JMN3461I-S FUNCTION STORED-CHAR-LENGTHの引数'GRP'は、英字項目、英数字項目、英数字編集項目、日本語項目または日本語編集項目のいずれかでなければなりません。

C3461.cob 12: JMN3461I-S FUNCTION STORED-CHAR-LENGTHの引数'NUM01'は、英字項目、英数字項目、英数字編集項目、日本語項目または日本語編集項目のいずれかでなければなりません。

2.5.291 JMN3462I-W

[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

翻訳オプションRCS(UTF16)指定の場合、日本語項目を含む集団項目@1@の日本語部分は日本語として大小比較されません。

[Linux64]

翻訳オプションRCS(UTF16)またはENCODE指定の場合、日本語項目を含む集団項目@1@の日本語部分は日本語として大小比較されません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名(集団項目)

例題

```

[C3462.cob]
000001 @OPTIONS RCS(UTF16)
000002 PROGRAM-ID. C3462.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 X20 PIC X(20).
000007 01 NGRP.
000008 02 N10 PIC N(10).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010     IF X20 > NGRP THEN
000011         DISPLAY "X20 BIGGER"
000012     ELSE
000013         DISPLAY "X20 SMALLER"
000014     END-IF
000015 END PROGRAM C3462.

```

- **[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]**

C3462.cob 10: JMN3462I-W 翻訳オプションRCS(UTF16)指定の場合、日本語項目を含む集団項目'NGRP'の日本語部分は日本語として大小比較されません。

- **[Linux64]**

C3462.cob 10: JMN3462I-W 翻訳オプションRCS(UTF16)またはENCODE指定の場合、日本語項目を含む集団項目'NGRP'の日本語部分は日本語として大小比較されません。

2.5.292 JMN3463I-S

転記の受取り側である@2@が強く型付けされた集団項目のとき、送出し側である@1@は、@2@と同じ型の強く型付けされた集団項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名

@2@ : 一意名

例題

```
[C3463.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3463.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 TYPE-A TYPEDEF STRONG.
000008 02 A1 PIC S9(4) COMP-5.
000009 02 A2 PIC X(50).
000010 01 TYPE-B TYPEDEF STRONG.
000011 02 B1 PIC X(25).
000012 01 DATA-A TYPE TYPE-A.
000013 01 DATA-B TYPE TYPE-B.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     MOVE DATA-A TO DATA-B.
000016     EXIT PROGRAM.
000017 END PROGRAM C3463.
```

C3463.cob 15: JMN3463I-S 転記の受取り側である'DATA-B'が強く型付けされた集団項目のとき、送出し側である'DATA-A'は、'DATA-B'と同じ型の強く型付けされた集団項目でなければなりません。

2.5.293 JMN3464I-S

データ項目のどちらかが強く型付けされた集団項目である場合、もう一方のデータ項目も同じ型で強く型付けされた集団項目でなければなりません。

例題

```
[C3464.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3464.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 STG TYPEDEF STRONG.
000006 02 A PIC X(40).
000007 02 B PIC N(20).
000008 01 ABC TYPE STG.
000009 01 DEF PIC X(80).
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011     IF ABC = DEF THEN
000012         DISPLAY "OK"
000013     END-IF.
000014 END PROGRAM C3464.
```

C3464.cob 11: JMN3464I-S データ項目のどちらかが強く型付けされた集団項目である場合、もう一方のデータ項目も同じ型で強く型付けされた集団項目でなければなりません。

2.5.294 JMN3465I-S

@1@文においてINTO指定の@2@が強く型付けられた集団項目である場合、@3@のレコード記述は一つでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : READ/RETURN

@2@ : 一意名

@3@ : ファイル名

例題

```
[C3465.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3465.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT A-FILE ASSIGN TO SYS001.
000007 DATA DIVISION.
000008 FILE SECTION.
000009 FD A-FILE.
000010 01 RECA1 PIC X(80).
000011 01 RECA2 PIC X(100).
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 STG TYPEDEF STRONG.
000014 02 A PIC X(40).
000015 02 B PIC N(20).
000016 01 INTOA TYPE STG.
000017 PROCEDURE DIVISION.
000018     OPEN INPUT A-FILE.
000019     READ A-FILE INTO INTOA.
000020 END PROGRAM C3465.
```

C3465.cob 19: JMN3465I-S READ文においてINTO指定の'INTOA'が強く型付けられた集団項目である場合, 'A-FILE'のレコード記述は一つでなければなりません。

2.5.295 JMN3466I-S

INVOKE文のUSING指定およびRETURNING指定, またはメソッドの行内呼出しの引数として強く型付けされた集団項目を指定する場合, それは01レベル番号のものでなければなりません。

例題

```
[C3466.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3466.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 OBJU OBJECT REFERENCE.
000008 01 TYPE-A TYPEDEF STRONG.
000009 02 GP.
000010 03 A1 PIC S9(4) COMP-5.
000011 03 A2 PIC X(50).
000012 01 DATA-A TYPE TYPE-A.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     INVOKE OBJU "M1" USING GP OF DATA-A.
000015     EXIT PROGRAM.
000016 END PROGRAM C3466.
```

C3466.cob 14: JMN3466I-S INVOKE文のUSING指定およびRETURNING指定, またはメソッドの行内呼出しの引数として強く型付けされた集団項目を指定する場合, それは01レベル番号のものでなければなりません。

2.5.296 JMN3467I-S

強く型付けされた集団項目@1@が指定できないところに指定されています。

埋め込みの説明

@1@ : 強く型付けされた集団項目

例題

```
[C3467.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3467.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 STG    TYPEDEF STRONG.
000006     02  A    PIC X(40).
000007     02  B    PIC N(20).
000008 01 ABC    TYPE STG.
000009 01 DEF    PIC X(80).
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011     ACCEPT ABC.
000012 END PROGRAM C3467.
```

C3467.cob 11: JMN3467I-S 強く型付けされた集団項目'ABC'が指定できないところに指定されています。

2.5.297 JMN3468I-S

強く型づけされた集団項目, および強く型づけされた集団項目に従属する基本項目で項類が英数字または日本語以外のものは部分参照できません。

例題

```
[C3468.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3468.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 TYPE-A TYPEDEF STRONG.
000008     02 GP.
000009         03 A1 PIC XX/XX/XX.
000010         03 A2 PIC X(50).
000011 01 DATA-A TYPE TYPE-A.
000012 01 DATA-B PIC X(5).
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     MOVE A1(1:5) TO DATA-B.
000015     EXIT PROGRAM.
000016 END PROGRAM C3468.
```

C3468.cob 14: JMN3468I-S 強く型づけされた集団項目, および強く型づけされた集団項目に従属する基本項目で項類が英数字または日本語以外のものは部分参照できません。

2.5.298 JMN3469I-S

復帰項目がオブジェクト参照データを含む強く型付けされた集団項目となる行内呼出しまたはオブジェクトプロパティは, 条件式に指定できません。

例題

```
[C3469.cob]
000001 CLASS-ID. C3469.
000002 ENVIRONMENT DIVISION.
000003 CONFIGURATION SECTION.
000004 OBJECT.
000005 DATA DIVISION.
```

```

000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008*
000009 METHOD-ID. OM1.
000010 DATA DIVISION.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 A TYPEDEF STRONG.
000013 02 D OBJECT REFERENCE C3469.
000014 01 WABC TYPE A.
000015 LINKAGE SECTION.
000016 PROCEDURE DIVISION.
000017 IF SELF::"OM2" = WABC THEN
000018 EXIT METHOD.
000019 END METHOD OM1.
000020*
000021 METHOD-ID. OM2.
000022 DATA DIVISION.
000023 WORKING-STORAGE SECTION.
000024 LINKAGE SECTION.
000025 01 A TYPEDEF STRONG.
000026 02 D OBJECT REFERENCE C3469.
000027 01 ABC TYPE A.
000028 PROCEDURE DIVISION RETURNING ABC.
000029 END METHOD OM2.
000030*
000031 END OBJECT.
000032 END CLASS C3469.

```

C3469.cob 17: JMN3469I-S 復帰項目がオブジェクト参照データを含む強く型付けされた集団項目となる行内呼出しまたはオブジェクトプロパティは、条件式に指定できません。

2.5.299 JMN3470I-W

[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

翻訳オプションRCS(UTF16)指定時、呼出し名として日本語項目を含む集団項目@1@を指定すると、正しく呼び出せません。

[Linux64]

翻訳オプションRCS(UTF16)またはENCODE指定時、呼出し名として日本語項目を含む集団項目@1@を指定すると、正しく呼び出せません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名(集団項目)

例題

```

[C3470I-W.cob]
000001 @OPTIONS RCS(UTF16)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3470I-W.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 NMIXGR.
000009 02 X04 PIC X(4).
000010 02 N10 PIC N(10).
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012 CALL NMIXGR.
000013 EXIT PROGRAM.
000014 END PROGRAM C3470I-W.

```

- [\[Solaris\]](#)[\[Solaris64\]](#)[\[Linux\]](#)[\[LinuxIPF\]](#)

C3470I-W.cob 12: JMN3470I-W 翻訳オプションRCS(UTF16)指定時, 呼出し名として日本語項目を含む集団項目'NMIXGR'を指定すると, 正しく呼び出せません.

- [\[Linux64\]](#)

C3470I-W.cob 12: JMN3470I-W 翻訳オプションRCS(UTF16)またはENCODE指定時, 呼出し名として日本語項目を含む集団項目'NMIXGR'を指定すると, 正しく呼び出せません.

2.5.300 JMN3471I-W

[\[Solaris\]](#)[\[Solaris64\]](#)[\[Linux\]](#)[\[LinuxIPF\]](#)

翻訳オプションRCS(UTF16)指定の場合, 日本語項目を含む集団項目@1@の日本語部分は日本語として大小比較されません.

[\[Linux64\]](#)

翻訳オプションRCS(UTF16)またはENCODE指定の場合, 日本語項目を含む集団項目@1@の日本語部分は日本語として大小比較されません.

埋め込みの説明

@1@: 一意名(集団項目)

例題

```
[JMN3471I-W.cob]
000001 @OPTIONS RCS(UTF16)
000002 PROGRAM-ID. JMN3471I-W.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT SMFILE ASSIGN SM1F.
000007     SELECT USFILE ASSIGN SEQ1F.
000008     SELECT GVFILE ASSIGN SEQ2F.
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011     SD SMFILE.
000012     01 R1.
000013     02 KEY-1 PIC X(4).
000014     02 KEY-2.
000015         03 KEY-1-1 PIC X(2).
000016         03 KEY-1-2 PIC N(1).
000017     02 R1-1 PIC X(72).
000018     FD USFILE.
000019     01 USR01 PIC X(80).
000020     FD GVFILE.
000021     01 GIV01 PIC X(80).
000022 WORKING-STORAGE SECTION.
000023 PROCEDURE DIVISION.
000024     SORT SMFILE ON ASCENDING KEY KEY-2
000025         USING USFILE
000026         GIVING GVFILE
000027 END PROGRAM JMN3471I-W.
```

- [\[Solaris\]](#)[\[Solaris64\]](#)[\[Linux\]](#)[\[LinuxIPF\]](#)

JMN3471I-W.cob 24: JMN3471I-W 翻訳オプションRCS(UTF16)指定の場合, 日本語項目を含む集団項目'KEY-2'の日本語部分は日本語として大小比較されません.

- [\[Linux64\]](#)

JMN3471I-W.cob 24: JMN3471I-W 翻訳オプションRCS(UTF16)またはENCODE指定の場合, 日本語項目を含む集団項目'KEY-2'の日本語部分は日本語として大小比較されません.

2.5.301 JMN3472I-W

[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

翻訳オプションRCS(UTF16)指定の場合、DISPLAY文に日本語項目を含む集団項目@1@は日本語部分が日本語として表示されません。

[Linux64]

翻訳オプションRCS(UTF16)またはENCODE指定の場合、DISPLAY文に日本語項目を含む集団項目@1@は日本語部分が日本語として表示されません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名(集団項目)

例題

```
[C3472I-W.cob]
000001 @OPTIONS RCS(UTF16)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3472I-W.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 NMIXGR.
000009 02 X04 PIC X(4).
000010 02 N10 PIC N(10).
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012     DISPLAY NMIXGR.
000013     EXIT PROGRAM.
000014 END PROGRAM C3472I-W.
```

- [Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

C3472I-W.cob 12: JMN3472I-W 翻訳オプションRCS(UTF16)指定の場合、DISPLAY文に日本語項目を含む集団項目'NMIXGR'は日本語部分が日本語として表示されません。

- [Linux64]

C3472I-W.cob 12: JMN3472I-W 翻訳オプションRCS(UTF16)またはENCODE指定の場合、DISPLAY文に日本語項目を含む集団項目'NMIXGR'は日本語部分が日本語として表示されません。

2.5.302 JMN3476I-S

SECTION指定のEXIT文は節の中だけにしか指定できません。

例題

```
[C3476.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3476.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008     EXIT SECTION      *> JMN3476I-S
000009     .
000010 A SECTION.
000011     EXIT SECTION      *> OK
000012     .
000013 END PROGRAM C3476.
```

C3476.cob 8: JMN3476I-S SECTION指定のEXIT文は節の中だけにしか指定できません。

2.5.303 JMN3482I-S

連絡節に定義された@1@はPROCEDURE DIVISIONのUSING指定またはRETURNING指定、またはENTRY文のUSING指定に記述しなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名

例題

```
[C3482.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C3482.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 LINKAGE SECTION.
000006 01 WX3482        PIC X(10).
000007 PROCEDURE        DIVISION.
000008     MOVE "ERROR3482" TO WX3482  *> JMN3482I-S
000009 END PROGRAM      C3482.
```

C3482.cob 8: JMN3482I-S 連絡節に定義された'WX3482'はPROCEDURE DIVISIONのUSING指定またはRETURNING指定、またはENTRY文のUSING指定に記述しなければなりません。

詳細な説明

作業データとして使用するデータ項目は、WORKING-STORAGE SECTIONに定義してください。

2.5.304 JMN3483I-S

主プログラムの手続き部見出しのUSING指定に記述したパラメタは、大きさが102バイトを越えないただ1つの集団項目で、従属する最初の基本項目が2バイトの2進項目でなければなりません。指定されたパラメタは無効になります。

例題

```
[C3483.cob]
000001 @OPTIONS MAIN
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C3483.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA            DIVISION.
000006 LINKAGE          SECTION.
000007 01 WPRM1.
000008 02 WPRM1L        PIC 9(4).
000009 02 WPRM1X        PIC 9(4).
000010 01 WPRM2.
000011 02 WPRM1L        PIC 9(4).
000012 02 WPRM1X        PIC 9(4).
000013 PROCEDURE      DIVISION
000014                USING WPRM1 WPRM2.
000015     MOVE ZERO TO WPRM2
000016 END PROGRAM      C3483.
```

C3483.cob 14: JMN3483I-S 主プログラムの手続き部見出しのUSING指定に記述したパラメタは、大きさが102バイトを越えないただ1つの集団項目で、従属する最初の基本項目が2バイトの2進項目でなければなりません。指定されたパラメタは無効になります。

C3483.cob 15: JMN3483I-S 主プログラムの手続き部見出しのUSING指定に記述したパラメタは、大きさが102バイトを越えないただ1つの集団項目で、従属する最初の基本項目が2バイトの2進項目でなければなりません。指定されたパラメタは無効になります。

詳細な説明

主プログラムの連絡節には、OSIV系システム形式でのパラメタを受け取るためのデータ項目を1つだけ定義することができます。

連絡節データの書き方が誤っている場合に、この診断メッセージが出力されます。

OSIV系システム形式でのパラメタの詳細については、以下を参照してください。

- [\[Solaris\]\[Solaris64\]\[Linux\]\[LinuxIPF\]](#)
“NetCOBOL 使用手引書”の“4.2.4 OSIV形式の実行時パラメタを指定する”
- [\[Linux64\]](#)
“NetCOBOL ユーザーズガイド”の“4.3.4 OSIV形式の実行時パラメタを指定する”

OSIV系システム形式でのパラメタの受取りが目的でない場合は、データ項目は連絡節ではなく、作業場所節に定義してください。

2.5.305 JMN3484I-S

CALL文のBY VALUEに指定された@1@は、用途がCOMPUTATIONAL-5である8バイト以下の2進項目、1バイトの項目または18けた以下の数字定数でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : データ項目

例題

```
[C3484.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3484.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 ITEM      PIC X(2).
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007     CALL "ABC" USING BY VALUE ITEM.
000008 END PROGRAM C3484.
```

C3484.cob 7: JMN3484I-S CALL文のBY VALUEに指定された'ITEM'は、用途がCOMPUTATIONAL-5である8バイト以下の2進項目、1バイトの項目または18けた以下の数字定数でなければなりません。

2.5.306 JMN3485I-S

@2@文のRETURNING指定に、含まれる基本項目の全てが同じ精度の内部浮動小数点項目である集団項目@1@は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : 集団項目名

@2@ : 文種別

例題

```
[C3485.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.    C3485.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 G-ITEM.
000006    02 ELEM1      COMP-2.
000007    02 ELEM2      COMP-2.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009     CALL "ABC" RETURNING G-ITEM.
000010 END PROGRAM C3485.
```

C3485.cob 9: JMN3485I-S CALL文のRETURNING指定に、含まれる基本項目の全てが同じ精度の内部浮動小数点項目である集団項目'G-ITEM'は指定できません。

2.5.307 JMN3508I-S

@1@を呼ぶCALL文にはRETURNING指定を記述することはできません。プログラム@1@のPROCEDURE DIVISIONにRETURNING指定がありません。

埋め込みの説明

@1@ : プログラム名

例題

```
[C3508.cob]
000001 @OPTIONS CHECK (PRM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3508.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 R PIC S9(09) COMP-5.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008     CALL "C3508S" RETURNING R.
000009     EXIT PROGRAM.
000010 IDENTIFICATION DIVISION.
000011 PROGRAM-ID. C3508S.
000012 DATA DIVISION.
000013 LINKAGE SECTION.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     EXIT PROGRAM.
000016 END PROGRAM C3508S.
000017 END PROGRAM C3508.
```

C3508.cob 8: JMN3508I-S 'C3508S'を呼ぶCALL文にはRETURNING指定を記述することはできません。プログラム'C3508S'のPROCEDURE DIVISIONにRETURNING指定がありません。

2.5.308 JMN3516I-S

実行時のコード系がUnicodeの場合、行順ファイルのWRITE文には、日本語項目とその他の項目を含む集団項目@1@は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名(集団項目)

例題

```
[C3516I-S.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3516I-S.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT A-FILE ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION IS LINE SEQUENTIAL.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD A-FILE.
000011 01 A-RECORD.
000012 02 X24 PIC X(24).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 XNMIXGR.
000015 02 X04 PIC X(24).
000016 02 N10 PIC N(10).
000017 PROCEDURE DIVISION.
000018     WRITE A-RECORD FROM XNMIXGR
000019     EXIT PROGRAM.
000020 END PROGRAM C3516I-S.
```

C3516I-S.cob 18: JMN3516I-S 実行時のコード系がUnicodeの場合、行順ファイルのWRITE文には、日本語項目とその他の項目を含む集団項目'XNMIXGR'は指定できません。

2.5.309 JMN3518I-W

実行時のコード系がUnicodeの場合、呼出し名として日本語項目を含む集団項目@1@を指定すると、正しく呼び出せません。

埋め込みの説明

@1@:一意名(集団項目)

例題

```
[C3518.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3518.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 NMIXGR.
000008 02 X04 PIC X(4).
000009 02 N10 PIC N(10).
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011     CALL NMIXGR
000012     EXIT PROGRAM.
000013 END PROGRAM C3518.
```

C3518.cob 11: JMN3518I-W 実行時のコード系がUnicodeの場合、呼出し名として日本語項目を含む集団項目'NMIXGR'を指定すると、正しく呼び出せません。

2.5.310 JMN3519I-W

実行時のコード系がUnicodeの場合、DISPLAY文に日本語項目を含む集団項目@1@は日本語部分が日本語として表示されません。

埋め込みの説明

@1@:一意名(集団項目)

例題

```
[C3519.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3519.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 NMIXGR.
000008 02 X04 PIC X(4).
000009 02 N10 PIC N(10).
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011     DISPLAY NMIXGR.
000012     EXIT PROGRAM.
000013 END PROGRAM C3519.
```

C3519.cob 11: JMN3519I-W 実行時のコード系がUnicodeの場合、DISPLAY文に日本語項目を含む集団項目'NMIXGR'は日本語部分が日本語として表示されません。

詳細な説明

DISPLAY文に集団項目が指定された場合、ひとつの英数字項目として処理されます。従って字類が日本語の項目が含まれている場合、UTF-16のコードがUTF-8として処理されることになり、正しい表示結果になりません。

2.5.311 JMN3524I-S

送出し側の数字定数が、@2@の値の範囲を超えています。@1@には転記できません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名

@2@ : BINARY-XXXのUSAGE種別

例題

```
[C3524I-S.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3524I-S.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 DATA-1 USAGE BINARY-LONG SIGNED.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009     MOVE 123456789012345 TO DATA-1.
000010     EXIT PROGRAM.
000011 END PROGRAM C3524I-S.
```

C3524I-S.cob 9: JMN3524I-S 送出し側の数字定数が、USAGE BINARY-LONG SIGNEDの値の範囲を超えています。'DATA-1'には転記できません。

詳細な説明

int型2進整数データに格納できる値の範囲は、それぞれごとに決められています。詳しくは“COBOL文法書”の“5.4.15 USAGE句”を参照ください。

2.5.312 JMN3525I-S

@1@の引数-1は、字類が英字、英数字または日本語でなければなりません。また、集団項目であってはなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 関数名(FUNCTION UNICODE-OF/ACP-OF)

例題

```
[C3525I-S.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3525I-S.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 DATA-1 PIC S9(9) COMP-5.
000008 01 DATA-2 PIC N(10).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010     MOVE FUNCTION UNICODE-OF ( DATA-1 ) TO DATA-2.
000011     EXIT PROGRAM.
000012 END PROGRAM C3525I-S.
```

C3525I-S.cob 10: JMN3525I-S FUNCTION UNICODE-OFの引数-1は、字類が英字、英数字または日本語でなければなりません。また、集団項目であってはなりません。

2.5.313 JMN3526I-S

@1@の引数-2は、英数字項類でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 関数名(FUNCTION UNICODE-OF/ACP-OF)

例題

```
[C3526I-S.cob]
000001 @OPTIONS RCS(UTF16)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3526I-S.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 DATA-1 PIC X(10).
000009 01 DATA-2 PIC X(10).
000010 01 DATA-3 PIC 9(5).
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012     MOVE FUNCTION UNICODE-OF ( DATA-1 DATA-3 ) TO DATA-2.
000013     EXIT PROGRAM.
000014 END PROGRAM C3526I-S.
```

C3526I-S.cob 12: JMN3526I-S FUNCTION UNICODE-OFの引数-2は、英数字項類でなければなりません。

2.5.314 JMN3530I-W

実行時のコード系がUnicodeの場合、日本語項目を含む集団項目@1@の日本語部分は日本語として大小比較されません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名(集団項目)

例題

```
[C3530.cob]
000001 PROGRAM-ID. C3530.
000002 ENVIRONMENT DIVISION.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 X20 PIC X(20).
000006 01 NGRP.
000007 02 N10 PIC N(10).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009     IF X20 > NGRP THEN
000010         DISPLAY "X20 BIGGER"
000011     ELSE
000012         DISPLAY "X20 SMALLER"
000013     END-IF
000014 END PROGRAM C3530.
```

C3530.cob 9: JMN3530I-W 実行時のコード系がUnicodeの場合、日本語項目を含む集団項目'NGRP'の日本語部分は日本語として大小比較されません。

詳細な説明

日本語項目は、UTF-16のリトルエンディアン形式でデータを保持しています。日本語項目同士の大小比較では、リトルエンディアンをビッグエンディアンに変換してから比較が行われます。しかし集団項目の場合には、その内部に日本語項目が存在していても、リトルエンディアン形式のまま比較されてしまうことになります。

2.5.315 JMN3531I-W

実行時のコード系がUnicodeの場合、日本語項目を含む集団項目@1@の日本語部分は日本語として大小比較されません。

埋め込みの説明

@1@ : 一意名(集団項目)

例題

```
[C3531.cob]
000001 PROGRAM-ID. C3531.
000002 ENVIRONMENT DIVISION.
000003 INPUT-OUTPUT SECTION.
000004 FILE-CONTROL.
000005     SELECT SMFILE ASSIGN SM1F.
000006     SELECT USFILE ASSIGN SEQ1F.
000007     SELECT GVFILE ASSIGN SEQ2F.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010     SD SMFILE.
000011     01 R1.
000012     02 KEY-1 PIC X(4).
000013     02 KEY-2.
000014         03 KEY-1-1 PIC X(2).
000015         03 KEY-1-2 PIC N(1).
000016     02 R1-1 PIC X(72).
000017     FD USFILE.
000018     01 USR01 PIC X(80).
000019     FD GVFILE.
000020     01 GIV01 PIC X(80).
000021 WORKING-STORAGE SECTION.
000022 PROCEDURE DIVISION.
000023     SORT    SMFILE    ON ASCENDING KEY KEY-2
000024             USING    USFILE
000025             GIVING    GVFILE
000026 END PROGRAM C3531.
```

C3531.cob 23: JMN3531I-W 実行時のコード系がUnicodeの場合、日本語項目を含む集団項目'KEY-2'の日本語部分は日本語として大小比較されません。

詳細な説明

日本語項目は、UTF-16のリトルエンディアン形式でデータを保持しています。日本語項目同士の大小比較では、リトルエンディアンをビッグエンディアンに変換してから比較が行われます。しかし集団項目の場合には、その内部に日本語項目が存在していても、リトルエンディアン形式のまま比較されてしまうことになります。

2.5.316 JMN3533I-S

FUNCTION DISPLAY-OFの引数-1は、字類が日本語でなければなりません。

例題

```
[C3533.cob]
000001 @OPTIONS RCS(UTF16)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3533.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 A PIC X(8).
000008 01 B PIC X(8).
```



```

000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011     MOVE FUNCTION DISPLAY-OF ( A ) TO B.
000012 END PROGRAM C3533.

```

C3533.cob 11: JMN3533I-S FUNCTION DISPLAY-OFの引数-1は、字類が日本語でなければなりません。

2.5.317 JMN3534I-S

[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

FUNCTION DISPLAY-OFの引数-2は、字類が英字または英数字、かつ長さが1文字でなければなりません。

[Linux64]

FUNCTION DISPLAY-OFの引数-2は、字類が英字または英数字、かつ長さが1文字で、翻訳オプションENCODEの指定と同じエンコード方式でなければなりません。

例題

```

[C3534. cob]
000001 @OPTIONS
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3534.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 A PIC N(8).
000008 01 B PIC X(8).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011     MOVE FUNCTION DISPLAY-OF ( A N"A" ) TO B.
000012     STOP RUN.
000013 END PROGRAM C3534.

```

- **[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]**

C3534.cob 11: JMN3534I-S FUNCTION DISPLAY-OFの引数-2は、字類が英字または英数字、かつ長さが1文字でなければなりません。

- **[Linux64]**

C3534.cob 11: JMN3534I-S FUNCTION DISPLAY-OFの引数-2は、字類が英字または英数字、かつ長さが1文字で、翻訳オプションENCODEの指定と同じエンコード方式でなければなりません。

2.5.318 JMN3535I-S

FUNCTION NATIONAL-OFの引数-1は、字類が英字または英数字でなければなりません。

例題

```

[C3535. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3535.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 DATA-1 PIC 9(10).
000008 01 DATA-2 PIC N(10).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010     MOVE FUNCTION NATIONAL-OF ( DATA-1 ) TO DATA-2.
000011     EXIT PROGRAM.
000012 END PROGRAM C3535.

```

C3535.cob 10: JMN3535I-S FUNCTION NATIONAL-OFの引数-1は、字類が英字または英数字でなければなりません。

2.5.319 JMN3536I-S

[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

FUNCTION NATIONAL-OFの引数-2は、項類が日本語、かつ長さが1文字でなければなりません。

[Linux64]

FUNCTION NATIONAL-OFの引数-2は、項類が日本語、かつ長さが1文字で、翻訳オプションENCODEの指定と同じエンコード方式でなければなりません。

例題

```
[C3536.cob]
000001 @OPTIONS RCS(UTF16)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3536.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 A PIC X(8).
000008 01 B PIC N(8).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011 MOVE FUNCTION NATIONAL-OF ( A N"##" ) TO B.
000012 END PROGRAM C3536.
```

- [Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

C3536.cob 11: JMN3536I-S FUNCTION NATIONAL-OFの引数-2は、項類が日本語、かつ長さが1文字でなければなりません。

- [Linux64]

C3536.cob 11: JMN3536I-S FUNCTION NATIONAL-OFの引数-2は、項類が日本語、かつ長さが1文字で、翻訳オプションENCODEの指定と同じエンコード方式でなければなりません。

2.5.320 JMN3549I-S

@1@の引数-1は、英字、英数字または日本語でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : FUNCTION JEF-OFまたはFUNCTION SJIS-OF

例題

```
[C3549.cob]
000001 @OPTIONS MODE(0S4)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3549.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 DATA DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 ARG-1 USAGE BINARY-DOUBLE.
000009 01 DATA-1 PIC X(50).
000010 LINKAGE SECTION.
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012 MOVE FUNCTION JEF-OF (ARG-1) TO DATA-1.
000013 .
000014 END PROGRAM C3549.
```

C3549.cob 12: JMN3549I-S FUNCTION JEF-OFの引数-1は、英字、英数字または日本語でなければなりません。

詳細な説明

FUNCTION JEF-OFおよびFUNCTION SJIS-OFは、NetCOBOLマイグレーションオプションが追加インストールされた開発環境でだけ使用できます。

2.5.321 JMN3551I-S

CSV-FORMATまたはTSV-FORMAT指定の@1@文における@2@に、USAGEがDISPLAY以外のデータ項目、数字編集項目、英数字編集項目、日本語編集項目、外部ブール項目、外部浮動項目、PICTURE句文字列中に'P'を含む数字項目、または以上のデータ項目のいずれかを含む集団項目である@3@は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : STRING/UNSTRING

@2@ : 送出し側/INTO指定

@3@ : データ名(送出し側またはINTO指定の要素)

例題

```
[C3551.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3551.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 DATA1 PIC X(10).
000006 01 DATA2.
000007 02 DATA21 PIC X(5).
000008 02 DATA22 PIC S9(9) COMP-5.
000009 01 DATA3 PIC N(15).
000010 01 RCV PIC X(50).
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012 STRING DATA1 DATA2 DATA3 INTO RCV
000013 BY TSV-FORMAT
000014 END-STRING.
000015 .
000016 END PROGRAM C3551.
```

C3551.cob 12: JMN3551I-S CSV-FORMATまたはTSV-FORMAT指定のSTRING文における送出し側に、USAGEがDISPLAY以外のデータ項目、数字編集項目、英数字編集項目、日本語編集項目、外部ブール項目、外部浮動項目、PICTURE句文字列中に'P'を含む数字項目、または以上のデータ項目のいずれかを含む集団項目である'DATA2'は指定できません。

2.5.322 JMN3552I-S

CSV-FORMATまたはTSV-FORMAT指定の@1@文における@2@に、@3@句が指定されたデータ項目、またはそのデータ項目を含む集団項目である@4@は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : STRING/UNSTRING

@2@ : 送出し側/INTO指定

@3@ : 句名

@4@ : データ名(送出し側またはINTO指定)

例題

```
[C3552.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3552.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
```

```

000005 01 DATA1 PIC X(10).
000006 01 DATA2.
000007 02 DATA21 PIC X(5).
000008 02 DATA21R REDEFINES DATA21 PIC 9(5).
000009 02 DATA22 PIC N(5).
000010 01 DATA3 PIC N(15).
000011 01 RCV PIC X(50).
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013     STRING DATA1 DATA2 DATA3 INTO RCV
000014         BY TSV-FORMAT
000015     END-STRING.
000016     .
000017 END PROGRAM C3552.

```

C3552.cob 13: JMN3552I-S CSV-FORMATまたはTSV-FORMAT指定のSTRING文における送出し側に、REDEFINES句が指定されたデータ項目、またはそのデータ項目を含む集団項目である'DATA2'は指定できません。

2.5.323 JMN3553I-S

CSV-FORMATまたはTSV-FORMAT指定の@1@文における@2@の@3@は、JUSTIFIED句およびANY LENGTH句が指定されていない英数字項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : STRING/UNSTRING

@2@ : 送出し側/INTO指定

@3@ : データ名

例題

```

[C3553.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3553.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 DATA1 PIC S9(4).
000006 01 DATA2 PIC X(15).
000007 01 DATA3 PIC X(20).
000008 01 RCV PIC N(50).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010     STRING DATA1 DATA2 DATA3 INTO RCV
000011         BY TSV-FORMAT
000012     END-STRING.
000013     .
000014 END PROGRAM C3553.

```

C3553.cob 10: JMN3553I-S CSV-FORMATまたはTSV-FORMAT指定のSTRING文におけるINTO指定の'RCV'は、JUSTIFIED句およびANY LENGTH句が指定されていない英数字項目でなければなりません。

2.5.324 JMN3554I-S

CSV-FORMATまたはTSV-FORMAT指定の@1@文におけるPOINTER指定の@3@は、PICTURE句の文字列中に'P'を含まない、かつ@2@の文字数に1を加えた値を保持できる整数項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : STRING/UNSTRING

@2@ : データ名(送出し側/INTO指定)

@3@ : データ名(POINTER指定)

例題

```
[C3554.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3554.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 DATA1 PIC S9(4).
000006 01 DATA2 PIC X(15).
000007 01 DATA3 PIC X(20).
000008 01 RCV PIC X(500).
000009 01 DATAP PIC S9(2).
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 STRING DATA1 DATA2 DATA3 INTO RCV
000012 BY TSV-FORMAT
000013 WITH POINTER DATAP
000014 END-STRING.
000015 .
000016 END PROGRAM C3554.
```

C3554.cob 13: JMN3554I-S CSV-FORMATまたはTSV-FORMAT指定のSTRING文におけるPOINTER指定の'DATAP'は、PICTURE句の文字列中に'P'を含まない、かつ'RCV'の文字数に1を加えた値を保持できる整数項目でなければなりません。

2.5.325 JMN3555I-S

CSV-FORMATまたはTSV-FORMAT指定の@1@文に、@2@は指定できません。

埋め込みの説明

- @1@ : STRING/UNSTRING
- @2@ : 組込み関数, 行内呼出し等

例題

```
[C3555.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C3555.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 DATA1 PIC S9(4).
000006 01 DATA2 PIC X(15).
000007 01 DATA3 PIC X(20).
000008 01 RCV PIC X(500).
000009 01 DATAP PIC S9(2).
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 STRING DATA1 FUNCTION UPPER-CASE(DATA2) INTO RCV
000012 BY TSV-FORMAT
000013 END-STRING.
000014 .
000015 END PROGRAM C3555.
```

C3555.cob 11: JMN3555I-S CSV-FORMATまたはTSV-FORMAT指定のSTRING文に、FUNCTION UPPER-CASEは指定できません。

2.5.326 JMN3557I-S

@1@@2@のUSING指定またはRETURNING指定が、18けたを超える数字項目です。18桁互換演算モードでは使用できません。

埋め込みの説明

- @1@ : 行内呼び出し / オブジェクトプロパティ

@2@ : メソッド名 / プロパティ名

例題

```
[C3577. cob]
000001 @OPTIONS ARITHMETIC(31)
000002 CLASS-ID. C3557.
000003 OBJECT.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 PROPDAT PIC S9(31) COMP-5 PROPERTY.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 END OBJECT.
000009 END CLASS C3557.
```

```
[P3577. cob]
000001 @OPTIONS ARITHMETIC(18)
000002 PROGRAM-ID. P3557.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS C3557.
000007 DATA DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 WDATA PIC S9(9) COMP-5.
000010 01 OBJC3557 OBJECT REFERENCE C3557.
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012     MOVE WDATA TO PROPDAT OF OBJC3557.
000013 END PROGRAM P3557.
```

P3557.cob 12: JMN3557I-S オブジェクトプロパティ'PROPDAT'のUSING指定またはRETURNING指定に、18けたを超える数字項目が存在します。18桁互換演算モードでは使用できません。

2.5.327 JMN3558I-I

算術式の間接結果のけた数が、18桁互換演算モードとは異なります。

例題

```
[C3558. cob]
000001 @OPTIONS ARITHMETIC(31, INF)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3558.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 ED01 PIC S9(16).
000007 01 ED02 PIC S9(16).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009     ADD ED01 TO ED02.
```

C3558.cob 9: JMN3558I-I 算術式の間接結果のけた数が、18桁互換モードとは異なります。

詳細な説明

本メッセージは、翻訳オプションARITHMETIC(31,INF)を指定したときのみ出力します。

間接結果の最大けた数は、18桁互換モードが30けたであるのに対し、31桁拡張演算モードは38けたです。本メッセージは、18桁互換演算モードと間接結果のけた数が異なる算術式に対して出力します。

2.5.328 JMN3559I-I

算術式の間接結果の属性が、18桁互換演算モードとは異なります。浮動小数点属性が適用されます。

例題

```
[C3559.cob]
00001 @OPTIONS ARITHMETIC(31,INF)
00002 IDENTIFICATION DIVISION.
00003 PROGRAM-ID. C3559.
00004 DATA DIVISION.
00005 WORKING-STORAGE SECTION.
00006 01 ED01 PIC S9(16).
00007 01 FLOAT1 COMP-2.
00008 PROCEDURE DIVISION.
00009     COMPUTE FLOAT1 = ED01 / 2.
```

C3559.cob 9: JMN3559I-I 算術式の間接結果の属性が、18桁互換モードとは異なります。浮動小数点属性が適用されます。

詳細な説明

本メッセージは、翻訳オプションARITHMETIC(31,INF)を指定したときのみ出力します。

間接結果の属性として浮動小数点を適用する規則は、演算モードにより異なります。本メッセージは、18桁互換演算モードと間接結果の属性が異なる算術式に対して出力します。

2.5.329 JMN3562I-S

SEARCH ALL文のキー項目@1@および比較する対象のエンコード方式は、同じでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : データ名

例題

```
000001 @OPTIONS ENCODE(UTF8,UTF16,LE)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3562.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007     ALPHABET U16L FOR NATIONAL UTF16LE
000008     ALPHABET U32L FOR NATIONAL UTF32LE
000009 .
000010 DATA DIVISION.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 TBL.
000013 02 X OCCURS 5 TIMES ASCENDING KEY IS A
000014             INDEXED BY IX1.
000015 03 A PIC N(8) ENCODING U16L.
000016 01 B PIC N(8) ENCODING U32L.
000017 PROCEDURE DIVISION.
000018     SEARCH ALL X
000019     WHEN A(IX1) = B
000020     CONTINUE
000021     END-SEARCH.
```

C3562.cob 19: JMN3562I-S SEARCH ALL文のキー項目'A'および比較する対象のエンコード方式は、同じでなければなりません。

C3562.cob 19: JMN3563I-S エンコード方式が異なるデータ項目の比較は記述できません。

2.5.330 JMN3563I-S

エンコード方式が異なるデータ項目の比較は記述できません。

例題

```
000001 @OPTIONS ENCODE(UTF8, UTF16, LE)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3563.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007     ALPHABET U16L FOR NATIONAL UTF16LE
000008     ALPHABET U32L FOR NATIONAL UTF32LE
000009 .
000010 DATA DIVISION.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 A PIC N(8) ENCODING U16L.
000013 01 B PIC N(8) ENCODING U32L.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     IF A = B THEN
000016         DISPLAY "OK"
000017     END-IF.
000018 END PROGRAM C3563.
```

C3563.cob 15: JMN3563I-S エンコード方式が異なるデータ項目の比較は記述できません。

2.5.331 JMN3564I-S

エンコード方式が異なるデータ項目の転記は記述できません。

例題

```
000001 @OPTIONS ENCODE(UTF8, UTF16, LE)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C3564.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007     ALPHABET U16L FOR NATIONAL UTF16LE
000008     ALPHABET U32L FOR NATIONAL UTF32LE
000009 .
000010 DATA DIVISION.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 A PIC N(8) ENCODING U16L.
000013 01 B PIC N(8) ENCODING U32L.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     MOVE A TO B.
000016 END PROGRAM C3564.
```

C3564.cob 15: JMN3564I-S エンコード方式が異なるデータ項目の転記は記述できません。

2.5.332 JMN3565I-S

翻訳オプションRCS(UTF16)またはENCODE指定時、印刷ファイルのエンコード方式と異なる'@1@'は、印刷ファイルのWRITE文には指定できません。

埋め込みの説明

@1@: 一意名

例題

```
000001 @OPTIONS ENCODE(UTF8, UTF32)
000002 PROGRAM-ID. P3565.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
```



```

000005 SPECIAL-NAMES.
000006     ALPHABET UTF16L FOR NATIONAL UTF16LE.
000007 INPUT-OUTPUT SECTION.
000008 FILE-CONTROL.
000009     SELECT FILE-1  ASSIGN TO S-SYS001.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD FILE-1
000013     LINAGE IS PAGE-AREA LINE
000014     WITH FOOTING AT FOOT-AREA
000015     LINE AT TOP TOP-AREA
000016     LINE AT BOTTOM BOT-AREA.
000017 01 REC-1 PIC X(100).
000018 WORKING-STORAGE SECTION.
000019 01 GROUP-ITEM-1.
000020 02 PAGE-AREA PIC 9(4) COMP-3 VALUE 50.
000021 02 FOOT-AREA PIC 9(4) VALUE 10.
000022 02 TOP-AREA PIC 9(4) VALUE 5.
000023 02 BOT-AREA PIC 9(4) VALUE 5.
000024 01 GR.
000025 02 R-1 PIC N(5) ENCODING UTF16L.
000026 02 R-2 PIC X(30).
000027 PROCEDURE DIVISION.
000028     WRITE REC-1 FROM GR.
000029 END PROGRAM P3565.

```

p3565.cob 28: JMN3565I-S 翻訳オプションRCS(UTF16)またはENCODE指定時、印刷ファイルのエンコード方式と異なる'GR'は、印刷ファイルのWRITE文には指定できません。

2.5.333 JMN3566I-S

エンコード方式がUTF32の日本語16進定数の長さは、8の倍数でなければなりません。

例題

```

000001 @OPTIONS ENCODE(UTF8,UTF32,LE)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P3566.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007     ALPHABET U32L FOR NATIONAL UTF32LE
000008 .
000009 DATA DIVISION.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01 A PIC N ENCODING U32L.
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013     MOVE NX"0030" TO A.
000014 END PROGRAM P3566.

```

p3566.cob 13: JMN3566I-S エンコード方式がUTF32の日本語16進定数の長さは、8の倍数でなければなりません。

2.5.334 JMN3567I-S

FUNCTION NATIONALの引数に指定された集団項目'@1@'は、エンコード方式が異なる日本語項目を含んでいます。'@2@'の日本語項目は英数字項目のエンコード方式として扱われます。

埋め込みの説明

@1@: 一意名

@2@: FUNCTION NATIONAL, FUNCTION NATIONAL-OF

例題

```
000001 @OPTIONS ENCODE(UTF8,UTF32)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P3567.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007     ALPHABET UTF32B NATIONAL UTF32BE.
000008 DATA DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 GRP-DATA.
000011 02 X-DATA-1 PIC X(5) VALUE "UTF-8".
000012 02 N-DATA-2 PIC N(6) ENCODING UTF32B VALUE NC"UTF-32".
000013 01 RCV PIC N(30).
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     MOVE FUNCTION NATIONAL(GRP-DATA) TO RCV.
000016     DISPLAY RCV.
000017 END PROGRAM P3567.
```

p3567.cob 15: JMN3567I-W FUNCTION NATIONALの引数に指定された集団項目'GRP-DATA'は、エンコード方式が異なる日本語項目を含んでいます。'GRP-DATA'の日本語項目は英数字項目のエンコード方式として扱われます。

2.5.335 JMN3568I-S

CONVERSION指定のMOVE文に、@2@句が指定された項目である@1@は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : データ名

@2@ : JUSTIFIED, ANY LENGTH

例題

```
000001 @OPTIONS ENCODE(UTF8,UTF32)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P3568.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 W-X-JUST PIC X(20) JUSTIFIED VALUE "HELLO".
000007 01 W-N-UTF32 PIC N(10).
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009     MOVE CONVERSION W-X-JUST TO W-N-UTF32.
000010 END PROGRAM P3568.
```

P3568.cob 9: JMN3568I-S CONVERSION指定のMOVE文に、JUSTIFIED句が指定された項目である'W-X-JUST'は指定できません。

2.5.336 JMN3569I-S

受取り側と同じエンコード方式の@1@は@2@へ転記できません。

埋め込みの説明

@1@ : データ名

@2@ : データ名

例題

```
000001 @OPTIONS ENCODE(SJIS,SJIS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P3569.
000004 DATA DIVISION.
```

```
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 01 N08 PIC N(8).  
000007 01 X08 PIC X(8).  
000008 PROCEDURE DIVISION.  
000009     MOVE CONVERSION X08 TO N08.  
000010 END PROGRAM P3569.
```

P3569.cob 9: JMN3569I-S 受取り側と同じエンコード方式の'X08'は'N08'へ転記できません。

2.5.337 JMN3570I-S

送出し側項目@1@の領域と受取り側項目@2@の領域が重なっているため、転記できません。

埋め込みの説明

@1@ : データ名

@2@ : データ名

例題

```
000001 @OPTIONS ENCODE(UTF8,UTF32)  
000002 IDENTIFICATION DIVISION.  
000003 PROGRAM-ID. P3570.  
000004 DATA DIVISION.  
000005 WORKING-STORAGE SECTION.  
000006 01 GRP.  
000007     02 A-GRP.  
000008         03 A-AREA PIC N(4).  
000009         03 FILLER PIC X(1).  
000010     02 B-GRP REDEFINES A-GRP.  
000011         03 FILLER PIC X(1).  
000012         03 B-AREA PIC X(16).  
000013 PROCEDURE DIVISION.  
000014     MOVE CONVERSION A-AREA TO B-AREA.  
000015 END PROGRAM P3570.
```

P3570.cob 14: JMN3570I-S 送出し側項目'A-AREA'の領域と受取り側項目'B-AREA'の領域が重なっているため、転記できません。

2.5.338 JMN3571I-W

外部プログラム@1@に対するCANCEL文の動作は、翻訳オプションDATAAREAの値によって変わります。
DATAAREAオプションを明に指定して、プログラム@1@を含む共用オブジェクトプログラムを作成してください。

埋め込みの説明

@1@ : プログラム名

詳細な説明

外部プログラムに対するCANCEL文実行時に削除されるメモリ領域は、プログラムのデータ領域を動的に獲得するか静的に獲得するかによって変わります。プログラムのデータ領域の獲得方法については、以下のマニュアルを参照してください。

- [\[Linux64\]](#)
“NetCOBOLユーザズガイド”の“10.1.2.3 プログラムのデータ領域”

CANCEL文に指定したプログラムを含む共用オブジェクトプログラムを作成する場合は、意図したメモリ領域が削除されるように、DATAAREAオプションを明に指定してください。

2.5.339 JMN3572I-W

データ項目@1@の内容が外部プログラム名の場合、CANCEL文の動作は翻訳オプションDATAAREAの値によって変わります。

DATAAREAオプションを明に指定して、データ項目@1@に指定したプログラムを含む共用オブジェクトプログラムを作成してください。

埋め込みの説明

@1@: 一意名の名標

詳細な説明

外部プログラムに対するCANCEL文実行時に削除されるメモリ領域は、プログラムのデータ領域を動的に獲得するか静的に獲得するかによって変わります。プログラムのデータ領域の獲得方法については、以下のマニュアルを参照してください。

- [\[Linux64\]](#)
“NetCOBOLユーザズガイド”の“10.1.2.3 プログラムのデータ領域”

CANCEL文に指定したプログラムを含む共用オブジェクトプログラムを作成する場合は、意図したメモリ領域が削除されるように、DATAAREAオプションを明に指定してください。

2.5.340 JMN3573I-S

翻訳オプションFLOAT(M)を指定した場合、引数または関数の型が数字となる@1@は使用できません。

埋め込みの説明

@1@: 関数名

2.6 JMN5000—JMN5999

5000	5001	5002	5005	5007	5008	5009	5100	5101	5102
5103	5104	5105	5108	5109	5110	5111	5112	5113	5114
5115	5116	5117	5118	5119	5120	5121	5122	5123	5125
5126	5127	5128	5129	5130	5131	5132	5133	5134	5135
5136	5137	5138	5140	5141	5142	5143	5144	5145	5146
5147	5148	5149	5150	5151	5152	5153	5154	5155	5156
5157	5158	5159	5160	5260	5400	5410	5411	5412	5500
5501	5504	5505	5507	5508	5509	5510	5511	5512	5513
5514	5515	5516	5517	5518	5519	5520	5521	5522	5525
5526	5527	5528	5530	5531	5532	5533	5534	5535	5536
5537	5538	5539	5540	5541	5542	5543	5544	5545	5546
5547	5548	5549	5550	5551	5552	5553	5555	5556	5557
5559	5560	5561	5562	5563	5564	5565	5566	5567	5568
5569	5570	5571	5572	5573	5574	5575	5576	5578	5579
5580	5581	5582	5583	5584	5585	5590	5591	5592	5593
5595	5596	5600	5601	5602	5783	5784	5785	5786	5787
5788	5789	5790	5791	5792					

2.6.1 JMN5000I-S

OVERRIDE指定が指定されたメソッド@1@と同名のメソッドが親クラスにありません。OVERRIDE指定は無効になります。

埋め込みの説明

@1@: メソッドID段落に記述された利用者語。

例題

```
[C5000CP.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5000CP.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 DATA              DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 PROCEDURE          DIVISION.
000009 IDENTIFICATION DIVISION.
000010 METHOD-ID.          M01.
000011 DATA              DIVISION.
000012 PROCEDURE          DIVISION.
000013     DISPLAY "METHOD OF PARENT CLASS".
000014 END METHOD          M01.
000015 END OBJECT.
000016 END CLASS C5000CP.
```

```
[C5000.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5000 INHERITS C5000CP.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 CONFIGURATION      SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS C5000CP.
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
000008 OBJECT.
000009 DATA              DIVISION.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 PROCEDURE          DIVISION.
000012 IDENTIFICATION DIVISION.
000013 METHOD-ID.          M02 OVERRIDE.
000014 DATA              DIVISION.
000015 PROCEDURE          DIVISION.
000016     DISPLAY "METHOD OF CHILD CLASS".
000017 END METHOD          M02.
000018 END OBJECT.
000019 END CLASS C5000.
```

C5000.cob 13: JMN5000I-S OVERRIDE指定が指定されたメソッド'M02'と同名のメソッドが親クラスにありません。OVERRIDE指定は無効になります。

詳細な説明

OVERRIDE句が指定されたメソッドと同名のメソッドを親クラス内で検出できませんでした。

再定義されるメソッドを検索する場合は、翻訳オプションALPHAL(AUTO)が指定されていても、名前の英大文字/英小文字は非等価比較されます。

2.6.2 JMN5001I-S

メソッド'@1@'が多重定義です。メソッド名は@3@'@2@'の中で一意でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : メソッドID段落に記述された利用者語。

@2@ : クラスID段落に記述された利用者語。

@3@ : クラス

例題

```
[C5001.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5001.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 DATA              DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 PROCEDURE          DIVISION.
000009 IDENTIFICATION DIVISION.
000010 METHOD-ID.          M01.
000011 DATA              DIVISION.
000012 PROCEDURE          DIVISION.
000013     DISPLAY "METHOD M01-1".
000014 END METHOD          M01.
000015 IDENTIFICATION DIVISION.
000016 METHOD-ID.          M01.
000017 DATA              DIVISION.
000018 PROCEDURE          DIVISION.
000019     DISPLAY "METHOD M01-2".
000020 END METHOD          M01.
000021 END OBJECT.
000022 END CLASS C5001.
```

C5001.cob 16: JMN5001I-S メソッド'M01'が多重定義です。メソッド名はクラス'C5001'の中で一意でなければなりません。

詳細な説明

翻訳中のクラスに同じ名前を持つメソッドが複数検出されました。

2.6.3 JMN5002I-S

クラス'@2@'で定義またはすでに再定義されているメソッド'@1@'を置き換えることはできません。メソッド'@1@'の定義は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : メソッドID段落に記述された利用者語。

@2@ : クラスID段落に記述された利用者語。

例題

```
[C5002.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5002.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 DATA              DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 PROCEDURE          DIVISION.
000009 IDENTIFICATION DIVISION.
000010 METHOD-ID.          M01.
000011 DATA              DIVISION.
000012 PROCEDURE          DIVISION.
000013     DISPLAY "ORIGINAL M01".
000014 END METHOD          M01.
000015 IDENTIFICATION DIVISION.
000016 METHOD-ID.          M01 OVERRIDE.
000017 DATA              DIVISION.
000018 PROCEDURE          DIVISION.
```

```
000019     DISPLAY "MO1 OVERRIDED".
000020 END METHOD      MO1.
000021 END OBJECT.
000022 END CLASS C5002.
```

C5002.cob 16: JMN5002I-S クラス'C5002'で定義またはすでに再定義されているメソッド'MO1'を置き換えることはできません。メソッド'MO1'の定義は無効になります。

詳細な説明

OVERRIDE指定が書かれた場合、このメソッド定義で宣言されたメソッドと同じ外部名を持つ継承されるメソッドが、親クラスで定義されていなければなりません。

2.6.4 JMN5005I-S

メソッド'@1@'のメソッド原型定義がありません。メソッド'@1@'は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : メソッドID段落に記述された利用者語。

例題

```
[C5005C.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5005C.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 DATA              DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 PROCEDURE         DIVISION.
000009 IDENTIFICATION DIVISION.
000010 METHOD-ID.         M02 PROTOTYPE.
000011 END METHOD        M02.
000012 END OBJECT.
000013 END CLASS C5005C.
```

```
[C5005.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 METHOD-ID.       C5005 OF C5005C.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION     SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS C5005C.
000007 DATA              DIVISION.
000008 PROCEDURE         DIVISION.
000009     DISPLAY "METHOD OF CHILD CLASS".
000010 END METHOD        C5005.
```

C5005.cob 2: JMN5005I-S メソッド'C5005'のメソッド原型定義がありません。メソッド'C5005'は無効になります。

詳細な説明

分離されたメソッド定義に対応する、メソッド原型定義(METHOD-ID段落にPROTOTYPE指定を指定したメソッド定義)がありません。分離されたメソッド定義のMETHOD-ID段落のOF指定に指定したクラス定義の中に、該当するメソッド原型定義が含まれているかどうか確認してください。

2.6.5 JMN5007I-S

プロパティ名'@1@'はPROPERTY句が指定されたデータ名であってはなりません。

埋め込みの説明

@1@ : プロパティ名としてメソッドID段落に記述された利用者語.

例題

```
[C5007. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5007.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 DATA              DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 PROP1          PIC X(8) PROPERTY.
000008 PROCEDURE         DIVISION.
000009 IDENTIFICATION DIVISION.
000010 METHOD-ID.        GET PROPERTY PROP1.
000011 DATA            DIVISION.
000012 LINKAGE          SECTION.
000013 01 LK1           PIC X(8).
000014 PROCEDURE        DIVISION RETURNING LK1.
000015     MOVE PROP1(1:) TO LK1.
000016     EXIT METHOD.
000017 END METHOD.
000018 END OBJECT.
000019 END CLASS C5007.
```

C5007.cob 10: JMN5007I-S プロパティ名'PROP1'はPROPERTY句が指定されたデータ名であってはありません.

詳細な説明

METHOD-ID段落に指定するプロパティ名は, PROPERTY句を指定したデータ記述項のデータ名と同じであってはありません.

2.6.6 JMN5008I-S

プロパティ指定子に記述されたプロパティ名'@1@'が未定義です. プロパティ指定子は無効になります.

埋め込みの説明

@1@ : プロパティ指定子に記述された利用者語.

例題

```
[C5008. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5008.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 CONFIGURATION      SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     PROPERTY PR2 AS "NO-SHEET" *> 未定義
000007 .
000008 OBJECT.
000009 END OBJECT.
000010 END CLASS C5008.
```

C5008.cob 6: JMN5008I-S プロパティ指定子に記述されたプロパティ名'NO-SHEET'が未定義です. プロパティ指定子は無効になります.

詳細な説明

プロパティ指定子は, その翻訳単位で使用するプロパティ名を宣言するものです.

2.6.7 JMN5009I-S

プロパティ指定子に記述されたプロパティ名 '@1@' が多重定義です。プロパティ指定子は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : プロパティ指定子に記述された利用者語。

例題

```
[C5009. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5009.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 CONFIGURATION      SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     PROPERTY PR1 AS "PROC1"
000007     PROPERTY AA AS "BB"
000008     PROPERTY BB.
000009 OBJECT.
000010 DATA              DIVISION.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 PR1             PIC X(8) PROPERTY.
000013 END OBJECT.
000014 END CLASS C5009.
```

C5009.cob 6: JMN5009I-S プロパティ指定子に記述されたプロパティ名 'PR1' が多重定義です。プロパティ指定子は無効になります。

C5009.cob 7: JMN5009I-S プロパティ指定子に記述されたプロパティ名 'BB' が多重定義です。プロパティ指定子は無効になります。

詳細な説明

環境部のリポジトリ段落のプロパティ指定子に指定するプロパティ名について、多重定義を検出しました。

以下の原因が考えられます。

- ・ 別名(プロパティ指定子の AS に続けて定数で示す)を付けたプロパティ名と、PROPERTY 句が指定されたデータ記述項のデータ名とが、同じ名前である。
- ・ プロパティ指定子のプロパティ名と、別のプロパティ指定子の別名(AS の後ろに定数で示した名前)とが、同じ名前である。

2.6.8 JMN5100I-S

@1@ 句に指定されたクラス名に誤りがあります。指定されたクラス名は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : USAGE OBJECT REFERENCE

例題

```
[C5100. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C5100.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 OBJA USAGE OBJECT REFERENCE XX.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007 END PROGRAM C5100.
```

C5100.cob 5: JMN5100I-S USAGE OBJECT REFERENCE 句に指定されたクラス名に誤りがあります。指定されたクラス名は無効になります。

詳細な説明

USAGE OBJECT REFERENCE 句に指定した名前が次のいずれかに該当する場合に、この診断メッセージが出力されます。

- ・ 名前が未定義である。

- ・ 名前が多重定義である。
- ・ クラス名以外の名前である。

2.6.9 JMN5101I-S

@1@句はプログラム定義にだけ記述できます。@1@の指定は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : APPLY SAVED-AREA, APPLY MULTICONVERSATION-MODE, APPLY RECORD-OVERFLOW, APPLY CORE-INDEXあるいはAPPLY REORG-CRITERIA

例題

```
[C5101. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5101 INHERITS FJBASE.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 CONFIGURATION      SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006     ON-YOMI IS JIS1.
000007 REPOSITORY.
000008     CLASS FJBASE.
000009 IDENTIFICATION DIVISION.
000010 OBJECT.
000011 ENVIRONMENT        DIVISION.
000012 PROCEDURE          DIVISION.
000013 IDENTIFICATION DIVISION.
000014 METHOD-ID.          M5101.
000015 ENVIRONMENT        DIVISION.
000016 INPUT-OUTPUT       SECTION.
000017 FILE-CONTROL.
000018     SELECT CSFILE4 ASSIGN TO SYS001
000019     FILE STATUS      IS WFS1.
000020 I-O-CONTROL.
000021     APPLY MULTICONVERSATION-MODE TO CSFILE4
000022     APPLY SAVED-AREA TO WSVAR ON CSFILE4.
000023 DATA               DIVISION.
000024 FILE                 SECTION.
000025 FD CSFILE4.
000026 01 CSF4REC.
000027 02                  PIC X(80).
000028 WORKING-STORAGE SECTION.
000029 01 WFS1             PIC X(2).
000030 01 WSVAR            PIC X(80).
000031 END METHOD          M5101.
000032 END OBJECT.
000033 END CLASS          C5101.
```

C5101.cob 21: JMN5101I-S APPLY MULTICONVERSATION-MODE 句はプログラム定義にだけ記述できます。APPLY MULTICONVERSATION-MODEの指定は無効になります。

C5101.cob 22: JMN5101I-S APPLY SAVED-AREA 句はプログラム定義にだけ記述できます。APPLY SAVED-AREAの指定は無効になります。

2.6.10 JMN5102I-S

@1@句は@2@句と同時に指定できません。@2@句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : データ記述項の記述可能な句

@2@ : TYPE, TYPEDEFまたは特定の用途を指定するUSAGE句

例題

```
[C5102.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C5102.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 OBJA USAGE OBJECT REFERENCE BLANK WHEN ZERO.
000006 01 OBJB USAGE OBJECT REFERENCE SYNC.
000007 01 OBJC USAGE OBJECT REFERENCE VALUE "AA".
000008 01 OBJD PIC X(10) OBJECT REFERENCE.
000009 01 RR PIC X(08).
000010 01 OBJE REDEFINES RR USAGE OBJECT REFERENCE.
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012 END PROGRAM C5102.
```

C5102.cob 5: JMN5102I-S USAGE OBJECT REFERENCE句はBLANK WHEN ZERO句と同時に指定できません。BLANK WHEN ZERO句は無効になります。

C5102.cob 6: JMN5102I-S USAGE OBJECT REFERENCE句はSYNCHRONIZED句と同時に指定できません。SYNCHRONIZED句は無効になります。

C5102.cob 7: JMN5102I-S USAGE OBJECT REFERENCE句はVALUE句と同時に指定できません。VALUE句は無効になります。

C5102.cob 10: JMN5102I-S USAGE OBJECT REFERENCE句はREDEFINES句と同時に指定できません。REDEFINES句は無効になります。

2.6.11 JMN5103I-S

[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

@1@句は作業場所節または連絡節に指定できます。@1@句は無効になります。

[Linux64]

@1@句は作業場所節、局所記憶節または連絡節に指定できます。@1@句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : USAGE OBJECT REFERENCE

例題

```
[C5103.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C5103.
000003 DATA DIVISION.
000004 BASED-STORAGE SECTION.
000005 01 WOBX OBJECT REFERENCE.
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007 END PROGRAM C5103.
```

- **[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]**

C5103.cob 5: JMN5103I-S USAGE OBJECT REFERENCE句は作業場所節または連絡節に指定できます。USAGE OBJECT REFERENCE句は無効になります。

- **[Linux64]**

C5103.cob 5: JMN5103I-S USAGE OBJECT REFERENCE句は作業場所節、局所記憶節または連絡節に指定できます。USAGE OBJECT REFERENCE句は無効になります。

詳細な説明

基底場所節、ファイル節、定数節、画面節、報告書節では指定できません。

2.6.12 JMN5104I-S

@1@句は集団項目に指定できません。@1@句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : USAGE OBJECT REFERENCE, PROPERTY

例題

```
[C5104.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C5104.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 OBJA           USAGE OBJECT REFERENCE.
000006 02 OBJB           USAGE OBJECT REFERENCE.
000007 PROCEDURE         DIVISION.
000008 END PROGRAM      C5104.
```

C5104.cob 5: JMN5104I-S USAGE OBJECT REFERENCE句は集団項目に指定できません。USAGE OBJECT REFERENCE句は無効になります。

詳細な説明

基本項目にだけ指定できます。

2.6.13 JMN5105I-W

メソッドの原型定義の連絡節のデータ項目に条件名は指定できません。条件名の指定は無効になります。

例題

```
[C5105.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.        C5105 INHERITS FJBASE.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS FJBASE.
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
000008 OBJECT.
000009 PROCEDURE        DIVISION.
000010 IDENTIFICATION DIVISION.
000011 METHOD-ID.       M5105 PROTOTYPE.
000012 DATA           DIVISION.
000013 LINKAGE          SECTION.
000014 01 LK1           PIC X(2).
000015 88 ZOK           VALUE "OK".
000016 88 ZNG           VALUE "NG".
000017 PROCEDURE        DIVISION
000018                     USING LK1.
000019 END METHOD          M5105.
000020 END OBJECT.
000021 END CLASS        C5105.
```

C5105.cob 15: JMN5105I-W メソッドの原型定義の連絡節のデータ項目に条件名は指定できません。条件名の指定は無効になります。

詳細な説明

メソッド原型定義では、メソッド原型を定義します。メソッド原型とは、メソッド名およびメソッドのパラメタの型および復帰項目(あれば)です。メソッド原型には、パラメタあるいは復帰項目に対して設定された条件名は含まれません。

2.6.14 JMN5108I-S

@1@句はOCCURS句を持つ項目またはその項目に従属する項目に指定できません。@1@句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : PROPERTY

例題

```
[C5108.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5108.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 DATA              DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 AA.
000009 02 BB.
000010 03 PROP1  PROPERTY OCCURS 3 TIMES PIC X(8).
000011 01 CC .
000012 02 DD      OCCURS 2 TIMES.
000013 03 PROP2  PIC X(8) PROPERTY.
000014 PROCEDURE  DIVISION.
000015 IDENTIFICATION DIVISION.
000016 METHOD-ID.  M01.
000017 DATA      DIVISION.
000018 WORKING-STORAGE SECTION.
000019 01 OBR1      USAGE OBJECT REFERENCE.
000020 PROCEDURE  DIVISION.
000021 END METHOD    M01.
000022 END OBJECT.
000023 END CLASS C5108.
```

C5108.cob 10: JMN5108I-S PROPERTY 句はOCCURS 句を持つ項目またはその項目に従属する項目に指定できません。PROPERTY 句は無効になります。

C5108.cob 13: JMN5108I-S PROPERTY 句はOCCURS 句を持つ項目またはその項目に従属する項目に指定できません。PROPERTY 句は無効になります。

2.6.15 JMN5109I-S

REDEFINES 句で再定義される項目は、@1@句の指定された項目または従属する項目が@1@句を含む項目であってはなりません。REDEFINES 句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : USAGE OBJECT REFERENCE

例題

```
[C5109.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C5109.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 OBJA          USAGE OBJECT REFERENCE.
000006 01 AA REDEFINES OBJA PIC X(08).
000007 01 BB .
000008 02 OBJB          USAGE OBJECT REFERENCE.
000009 01 CC REDEFINES BB PIC X(08).
000010 PROCEDURE        DIVISION.
000011 END PROGRAM      C5109.
```

C5109.cob 6: JMN5109I-S REDEFINES句で再定義される項目は, USAGE OBJECT REFERENCE句の指定された項目または従属する項目がUSAGE OBJECT REFERENCE句を含む項目であってはなりません. REDEFINES句は無効になります.

C5109.cob 9: JMN5109I-S REDEFINES句で再定義される項目は, USAGE OBJECT REFERENCE句の指定された項目または従属する項目がUSAGE OBJECT REFERENCE句を含む項目であってはなりません. REDEFINES句は無効になります.

2.6.16 JMN5110I-S

RENAMES句のデータ名またはTHROUGHのデータ名は, @1@句が指定された項目または従属する項目が@1@句を含む項目であってはなりません. RENAMES句は無効になります.

埋め込みの説明

@1@ : USAGE OBJECT REFERENCE

例題

```
[C5110. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C5110.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A1 .
000006 02 B1             USAGE OBJECT REFERENCE.
000007 02 B2             PIC X(08).
000008 02 B3             USAGE OBJECT REFERENCE.
000009 66 RR RENAMES B1 THROUGH B3.
000010 PROCEDURE         DIVISION.
000011 END PROGRAM      C5110.
```

C5110.cob 9: JMN5110I-S RENAMES句のデータ名またはTHROUGHのデータ名は, USAGE OBJECT REFERENCE句が指定された項目または従属する項目がUSAGE OBJECT REFERENCE句を含む項目であってはなりません. RENAMES句は無効になります.

2.6.17 JMN5111I-S

USAGE OBJECT REFERENCE SELFは, ファクトリ定義またはファクトリメソッド定義内で指定しなければなりません. SELF指定は無効になります.

例題

```
[C5111. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C5111.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 FACTORY.
000005 PROCEDURE      DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID.      C5111-FM1.
000008 END METHOD      C5111-FM1.
000009 END FACTORY.
000010 IDENTIFICATION DIVISION.
000011 OBJECT.
000012 DATA          DIVISION.
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 OBJA          USAGE OBJECT REFERENCE SELF.
000015 PROCEDURE      DIVISION.
000016 IDENTIFICATION DIVISION.
000017 METHOD-ID.      C5111-OM1.
000018 DATA          DIVISION.
000019 WORKING-STORAGE SECTION.
000020 01 OBJB          USAGE OBJECT REFERENCE SELF.
000021 END METHOD      C5111-OM1.
```

```
000022 END OBJECT.  
000023 END CLASS      C5111.
```

C5111.cob 14: JMN5111I-S USAGE OBJECT REFERENCE SELFは、ファクトリ定義またはファクトリメソッド定義内で指定しなければなりません。SELF指定は無効になります。

C5111.cob 20: JMN5111I-S USAGE OBJECT REFERENCE SELFは、ファクトリ定義またはファクトリメソッド定義内で指定しなければなりません。SELF指定は無効になります。

詳細な説明

USAGE OBJECT REFERENCE SELFは、自身のオブジェクト(インスタンス)を保持する領域を宣言します。

2.6.18 JMN5112I-S

USAGE OBJECT REFERENCE @1@ OF SELFは、オブジェクト定義またはオブジェクトメソッド定義内で指定しなければなりません。@1@ OF SELF指定は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : FACTORYまたはCLASS

例題

```
[C5112.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 CLASS-ID.      C5112.  
000003 IDENTIFICATION DIVISION.  
000004 FACTORY.  
000005 DATA DIVISION.  
000006 WORKING-STORAGE SECTION.  
000007 01 OBJA      USAGE OBJECT REFERENCE FACTORY OF SELF.  
000008 01 OBJB      USAGE OBJECT REFERENCE CLASS OF SELF.  
000009 PROCEDURE     DIVISION.  
000010 IDENTIFICATION DIVISION.  
000011 METHOD-ID.     C5112-FM1.  
000012 DATA         DIVISION.  
000013 WORKING-STORAGE SECTION.  
000014 01 OBJC      USAGE OBJECT REFERENCE FACTORY OF SELF.  
000015 01 OBJD      USAGE OBJECT REFERENCE CLASS OF SELF.  
000016 END METHOD     C5112-FM1.  
000017 END FACTORY.  
000018 IDENTIFICATION DIVISION.  
000019 OBJECT.  
000020 PROCEDURE     DIVISION.  
000021 IDENTIFICATION DIVISION.  
000022 METHOD-ID.     C5112-OM1.  
000023 END METHOD     C5112-OM1.  
000024 END OBJECT.  
000025 END CLASS     C5112.
```

C5112.cob 7: JMN5112I-S USAGE OBJECT REFERENCE FACTORY OF SELFは、オブジェクト定義またはオブジェクトメソッド定義内で指定しなければなりません。FACTORY OF SELF指定は無効になります。

C5112.cob 8: JMN5112I-S USAGE OBJECT REFERENCE CLASS OF SELFは、オブジェクト定義またはオブジェクトメソッド定義内で指定しなければなりません。CLASS OF SELF指定は無効になります。

C5112.cob 14: JMN5112I-S USAGE OBJECT REFERENCE FACTORY OF SELFは、オブジェクト定義またはオブジェクトメソッド定義内で指定しなければなりません。FACTORY OF SELF指定は無効になります。

C5112.cob 15: JMN5112I-S USAGE OBJECT REFERENCE CLASS OF SELFは、オブジェクト定義またはオブジェクトメソッド定義内で指定しなければなりません。CLASS OF SELF指定は無効になります。

詳細な説明

- USAGE OBJECT REFERENCE FACTORY OF SELFは、ファクトリオブジェクトを保持する領域を宣言します。
- USAGE OBJECT REFERENCE CLASS OF SELFは、自身のオブジェクト(インスタンス)を保持する領域を宣言します。

2.6.19 JMN5113I-S

@1@句はファクトリ定義またはオブジェクト定義のデータ部には記述できません。@1@句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : LINAGE

例題

```
[C5113.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5113.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 FACTORY.
000005 ENVIRONMENT      DIVISION.
000006 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000007 FILE-CONTROL.
000008     SELECT データファイル
000009             ASSIGN      TO infile
000010             ORGANIZATION IS SEQUENTIAL.
000011*
000012 DATA            DIVISION.
000013 FILE              SECTION.
000014 FD   データファイル LINAGE 10.
000015 01   データレコード.
000016 02   商品レコード.
000017 03   商品コード PIC X(4).
000018 03               PIC X.
000019 03   商品名     PIC N(20).
000020 03               PIC X.
000021 03   単価       PIC 9(4).
000022*
000023 PROCEDURE        DIVISION.
000024 IDENTIFICATION DIVISION.
000025 METHOD-ID.          METHOD01.
000026 END METHOD        METHOD01.
000027 END FACTORY.
000028 IDENTIFICATION DIVISION.
000029 OBJECT.
000030 PROCEDURE          DIVISION.
000031 IDENTIFICATION DIVISION.
000032 METHOD-ID.          METHOD01.
000033 END METHOD          METHOD01.
000034 END OBJECT.
000035 END CLASS          C5113.
```

C5113.cob 14: JMN5113I-S LINAGE句はファクトリ定義またはオブジェクト定義のデータ部には記述できません。LINAGE句は無効になります。

詳細な説明

メソッド定義のデータ部に指定できます。

2.6.20 JMN5114I-S

@1@句はOCCURS DEPENDING ON句を含むデータ項目に指定してはなりません。OCCURS DEPENDING ON句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : USAGE OBJECT REFERENCE

例題

```
[P5114. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5114.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A.
000006    02 OBJA        USAGE OBJECT REFERENCE
000007                   OCCURS 1 TO 10 TIMES
000008                   DEPENDING ON DD.
000009 01 DD             PIC S9(04).
000010 PROCEDURE        DIVISION.
000011 END PROGRAM      P5114.
```

P5114.cob 7: JMN5114I-S USAGE OBJECT REFERENCE句はOCCURS DEPENDING ON句を含むデータ項目に指定してはなりません。OCCURS DEPENDING ON句は無効になります。

2.6.21 JMN5115I-S

@1@句は、OCCURS DEPENDING ON句に従属するデータ項目に指定してはなりません。書かれた通りに受け入れます。

埋め込みの説明

@1@ : USAGE OBJECT REFERENCE

例題

```
[P5115. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5115.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 AA .
000006    02 BB          OCCURS 1 TO 10 TIMES
000007                   DEPENDING ON DD.
000008    03              OBJA USAGE OBJECT REFERENCE.
000009 01 DD             PIC S9(04).
000010 PROCEDURE        DIVISION.
000011 END PROGRAM      P5115.
```

P5115.cob 8: JMN5115I-S USAGE OBJECT REFERENCE句は、OCCURS DEPENDING ON句に従属するデータ項目に指定してはなりません。書かれた通りに受け入れます。

2.6.22 JMN5116I-S

@1@句は可変位置にあるデータ項目に指定してはなりません。書かれた通りに受け入れます。

埋め込みの説明

@1@ : USAGE OBJECT REFERENCE

例題

```
[P5116. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000002 PROGRAM-ID.      P5116.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 .
000006 02 .
000007 03 BB             OCCURS 1 TO 10 TIMES DEPENDING ON DD.
000008 04               PIC X(08).
000009 03 OBJA          USAGE OBJECT REFERENCE.
000010 02 OBJB          USAGE OBJECT REFERENCE.
000011 01 DD           PIC S9(04).
000012 PROCEDURE        DIVISION.
000013 END PROGRAM      P5116.

```

P5116.cob 9: JMN5116I-S USAGE OBJECT REFERENCE句は可変位置にあるデータ項目に指定してはなりません。書かれた通りに受け入れます。

P5116.cob 10: JMN5116I-S USAGE OBJECT REFERENCE句は可変位置にあるデータ項目に指定してはなりません。書かれた通りに受け入れます。

2.6.23 JMN5117I-S

@1@句はEXTERNAL句を持つ項目またはその項目に従属する項目に指定できません。書かれた通りに受け入れます。

埋め込みの説明

@1@ : USAGE OBJECT REFERENCE

例題

```

[P5117. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5117.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 OBJA          USAGE OBJECT REFERENCE EXTERNAL.
000006 01 AA EXTERNAL.
000007 02 OBJB          USAGE OBJECT REFERENCE.
000008 PROCEDURE        DIVISION.
000009 END PROGRAM      P5117.

```

P5117.cob 5: JMN5117I-S USAGE OBJECT REFERENCE句はEXTERNAL句を持つ項目またはその項目に従属する項目に指定できません。書かれた通りに受け入れます。

P5117.cob 7: JMN5117I-S USAGE OBJECT REFERENCE句はEXTERNAL句を持つ項目またはその項目に従属する項目に指定できません。書かれた通りに受け入れます。

2.6.24 JMN5118I-S

@1@句はREDEFINES句を持つ項目に従属する項目に指定できません。書かれた通りに受け入れます。

埋め込みの説明

@1@ : USAGE OBJECT REFERENCE

例題

```

[P5118. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5118.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 AA             PIC X(08).
000006 01 RR REDEFINES AA.
000007 02 OBJA          USAGE OBJECT REFERENCE.

```

```
000008 PROCEDURE      DIVISION.  
000009 END PROGRAM    P5118.
```

P5118.cob 7: JMN5118I-S USAGE OBJECT REFERENCE句はREDEFINES句を持つ項目に従属する項目に指定できません。書かれた通りに受け入れます。

2.6.25 JMN5119I-S

@1@句は修飾なしで一意に参照可能な項目にだけ指定できます。@1@句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : PROPERTY

例題

```
[C5119. cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 CLASS-ID.      C5119.  
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.  
000004 IDENTIFICATION DIVISION.  
000005 OBJECT.  
000006 DATA          DIVISION.  
000007 WORKING-STORAGE SECTION.  
000008 01 BB.  
000009 02 PROP1 PIC X(8) PROPERTY.  
000010 01 AA.  
000011 02 PROP1 PIC X(8)  
000012          PROPERTY.  
000013 01 PROP1 PIC S9(8) BINARY PROPERTY.  
000014 PROCEDURE      DIVISION.  
000015 IDENTIFICATION DIVISION.  
000016 METHOD-ID.      M01.  
000017 DATA          DIVISION.  
000018 WORKING-STORAGE SECTION.  
000019 01 OBR1        USAGE OBJECT REFERENCE.  
000020 PROCEDURE      DIVISION.  
000021      DISPLAY PROP1 OF OBR1.  
000022 END METHOD      M01.  
000023 END OBJECT.  
000024 END CLASS C5119.
```

C5119.cob 9: JMN5119I-S PROPERTY句は修飾なしで一意に参照可能な項目にだけ指定できます。PROPERTY句は無効になります。

C5119.cob 12: JMN5119I-S PROPERTY句は修飾なしで一意に参照可能な項目にだけ指定できます。PROPERTY句は無効になります。

C5119.cob 13: JMN5119I-S PROPERTY句は修飾なしで一意に参照可能な項目にだけ指定できます。PROPERTY句は無効になります。

2.6.26 JMN5120I-S

@1@句はポインタデータ項目には指定できません。@1@句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : PROPERTY

例題

```
[C5120. cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 CLASS-ID.      C5120.  
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
```

```

000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 DATA          DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 PROP1        POINTER PROPERTY.
000009 PROCEDURE      DIVISION.
000010 IDENTIFICATION DIVISION.
000011 METHOD-ID.      M01.
000012 DATA          DIVISION.
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 OBR1         USAGE OBJECT REFERENCE.
000015 PROCEDURE      DIVISION.
000016 END METHOD       M01.
000017 END OBJECT.
000018 END CLASS      C5120.

```

C5120.cob 8: JMN5120I-S PROPERTY句はポインタデータ項目には指定できません。PROPERTY句は無効になります。

2.6.27 JMN5121I-S

RENAMES句に指定されたデータ項目とTHROUGH指定のデータ項目の間に@1@が指定された項目は指定できません。RENAMES句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : USAGE OBJECT REFERENCE

例題

```

[P5121.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5121.
000003 DATA          DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A .
000006 02 A1          PIC X(08).
000007 02 A2          USAGE OBJECT REFERENCE.
000008 02 A3          PIC X(08).
000009 66 B RENAMES A1 THROUGH A3.
000010 PROCEDURE      DIVISION.
000011 END PROGRAM      P5121.

```

P5121.cob 9: JMN5121I-S RENAMES句に指定されたデータ項目とTHROUGH指定のデータ項目の間にUSAGE OBJECT REFERENCEが指定された項目は指定できません。RENAMES句は無効になります。

2.6.28 JMN5122I-S

@1@句は、SELF、FACTORY OF SELFまたはCLASS OF SELFが指定されたオブジェクト参照データ項目には指定できません。@1@句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : PROPERTY

例題

```

[C5122.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.        C5122.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 DATA          DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.

```

```

000007 01 PP          USAGE OBJECT REFERENCE
000008                  FACTORY OF SELF
000009                  PROPERTY WITH NO GET.
000010 END OBJECT.
000011 END CLASS      C5122.

```

C5122.cob 7: JMN5122I-S PROPERTY句は、SELF, FACTORY OF SELFまたはCLASS OF SELFが指定されたオブジェクト参照データ項目には指定できません。PROPERTY句は無効になります。

詳細な説明

USAGE OBJECT REFERENCE句にはクラス名が指定されていなければなりません。

2.6.29 JMN5123I-S

@1@句に特殊クラスを指定した場合、他の選択指定を記述してはなりません。他の選択指定は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : USAGE OBJECT REFERENCE

例題

```

[C5123.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. C5123.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS C5123C AS "*OLE".
000007 DATA DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 OBJA USAGE OBJECT REFERENCE C5123C ONLY.
000010 01 OBJB USAGE OBJECT REFERENCE FACTORY OF C5123C.
000011 01 OBJB USAGE OBJECT REFERENCE FACTORY OF C5123C ONLY.
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013 END PROGRAM C5123.

```

C5123.cob 9: JMN5123I-S USAGE OBJECT REFERENCE句に特殊クラスを指定した場合、他の選択指定を記述してはなりません。他の選択指定は無効になります。

C5123.cob 10: JMN5123I-S USAGE OBJECT REFERENCE句に特殊クラスを指定した場合、他の選択指定を記述してはなりません。他の選択指定は無効になります。

C5123.cob 11: JMN5123I-S USAGE OBJECT REFERENCE句に特殊クラスを指定した場合、他の選択指定を記述してはなりません。他の選択指定は無効になります。

詳細な説明

USAGE OBJECT REFERENCE句に特殊クラスのクラス名を指定した場合、同句にFACTORY OF, ONLYは指定できません。

環境部のリポジトリ段落のクラス指定子の定数の値が以下のいずれかである場合、そのクラス名は特殊クラスのクラス名になります。

- "*COM" (または"*OLE")
- "*COM-ARRAY" (または"*OLE-ARRAY")
- "*COM-EXCEPTION" (または"*OLE-EXCEPTION")
- "*COB-BINDTABLE"
- "*COM:COMサーバ名:COMクラス名" (COMサーバ名=型ライブラリとの対応付けに使用する任意の名前, COMクラス名=dispinterface名またはcoclass名)

2.6.30 JMN5125I-S

DEPENDING ON指定を含むCHARACTER TYPE句は、@1@のデータ部に記述できません。CHARACTER TYPEは無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : ファクトリ定義, オブジェクト定義またはスタティック定義

例題

```
[C5125.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID. C5125.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006 PRINTING MODE PM1 FOR ALL IN SIZE 5 POINT
000007 PRINTING MODE PM2 FOR ALL FONT GOTHIC
000008 PRINTING MODE PM3 FOR ALL IN SIZE 20 POINT AT ANGLE 90.
000009 FACTORY.
000010 DATA DIVISION.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 01 WK1 PIC N(10) CHARACTER TYPE PM1 PM2 PM3
000013 DEPENDING ON PM-DEP1.
000014 01 PM-DEP1 PIC S9(4) BINARY.
000015 END FACTORY.
000016 OBJECT.
000017 DATA DIVISION.
000018 WORKING-STORAGE SECTION.
000019 01 PM-DEP2 PIC S9(4) BINARY.
000020 CONSTANT SECTION.
000021 01 CS1 PIC N(10) CHARACTER TYPE PM3 PM2 PM1
000022 DEPENDING ON PM-DEP2
000023 VALUE NG"定数節".
000024 END OBJECT.
000025 END CLASS C5125.
```

C5125.cob 12: JMN5125I-S DEPENDING ON指定を含むCHARACTER TYPE句は、ファクトリ定義のデータ部に記述できません。CHARACTER TYPEは無効になります。

C5125.cob 21: JMN5125I-S DEPENDING ON指定を含むCHARACTER TYPE句は、オブジェクト定義のデータ部に記述できません。CHARACTER TYPEは無効になります。

詳細な説明

メソッド定義のデータ部に指定できます。

2.6.31 JMN5126I-S

@1@句はメソッド原型定義または分離されたメソッド定義の連絡節には記述できません。@1@句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : CHARACTER TYPEまたはPRINTING POSITION

例題

```
[C5126.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID. C5126.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006 YA IS CT1.
000007 FACTORY.
000008 PROCEDURE DIVISION.
```

```

000009 METHOD-ID.      FMT1.
000010 DATA          DIVISION.
000011 LINKAGE        SECTION.
000012 01 PRM1        PIC N(10) CHARACTER TYPE IS CT1.  *> NO ERROR
000013 PROCEDURE      DIVISION USING PRM1.
000014 END METHOD      FMT1.
000015 END FACTORY.
000016 OBJECT.
000017 PROCEDURE      DIVISION.
000018 METHOD-ID.      IMT1 PROTOTYPE.
000019 DATA          DIVISION.
000020 LINKAGE        SECTION.
000021 01 PRM2        PIC N(10) CHARACTER TYPE MODE-1    *> ERROR
000022                  PRINTING POSITION IS 8.            *> ERROR
000023 PROCEDURE      DIVISION RETURNING PRM2.
000024 END METHOD      IMT1.
000025 END OBJECT.
000026 END CLASS      C5126.

```

C5126.cob 21: JMN5126I-S CHARACTER TYPE句はメソッド原型定義または分離されたメソッド定義の連絡節には記述できません。CHARACTER TYPE句は無効になります。

C5126.cob 22: JMN5126I-S PRINTING POSITION句はメソッド原型定義または分離されたメソッド定義の連絡節には記述できません。PRINTING POSITION句は無効になります。

詳細な説明

メソッド原型定義では、メソッド原型を定義します。メソッド原型とは、メソッド名およびメソッドのパラメタの型および復帰項目(あれば)です。メソッド原型には、CHARACTER TYPE句あるいはPRINTING POSITION句による印字情報は含まれません。

2.6.32 JMN5127I-S

オブジェクト参照データ項目に対して条件名は指定できません。

例題

```

[P5127.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5127.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 X1            OBJECT REFERENCE.
000006 88 A             VALUE "XX".
000007 END PROGRAM      P5127.

```

P5127.cob 6: JMN5127I-S オブジェクト参照データ項目に対して条件名は指定できません。

2.6.33 JMN5128I-S

LINAGE句とEXTERNAL句の同時指定は、プログラム定義内だけで記述可能です。LINAGE句は無効になります。

例題

```

[C5128.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.        C5128.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID.        METHODF1.
000008 ENVIRONMENT     DIVISION.
000009 INPUT-OUTPUT     SECTION.

```

```

000010 FILE-CONTROL.
000011     SELECT MASTRFIL
000012         ASSIGN      TO  INFILE
000013         ORGANIZATION IS SEQUENTIAL.
000014 DATA          DIVISION.
000015 FILE            SECTION.
000016 FD MASTRFIL LINAGE 10
000017         EXTERNAL.
000018 01 MASTREC.
000019 02 PRODUCT-REC.
000020 03 PRODUCT-CODE  PIC X(4).
000021 03              PIC X.
000022 03 PRODC-TNAME PIC N(20).
000023 03              PIC X.
000024 03 PRICE       PIC 9(4).
000025*
000026 END METHOD METHODF1.
000027 END OBJECT.
000028 END CLASS C5128.

```

C5128.cob 16: JMN5128I-S LINAGE句とEXTERNAL句の同時指定は、プログラム定義内だけで記述可能です。LINAGE句は無効になります。

2.6.34 JMN5129I-S

@1@句のデータ名は、オブジェクト参照データ項目またはこれを含む集団項目であってはなりません。データ名は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : APPLY SAVED-AREA, CONTROL, SOURCE, DESTINATION CONTROL, TRACK-AREA, ACTUAL KEY, NOMINAL KEY, KEY IS, APPLY REORG-CRITERIA

例題

```

[P5129.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5129.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT 表示ファイル ASSIGN TO GS-SYS001
000007     SYMBOLIC DESTINATION IS "PRT"
000008     DESTINATION-1 IS 宛先.
000009 I-O-CONTROL.
000010     APPLY SAVED-AREA TO ASV1  ASV2 .
000011 DATA          DIVISION.
000012 FILE SECTION.
000013 FD 表示ファイル.
000014 01 通信データ  PIC X(50).
000015 WORKING-STORAGE SECTION.
000016 01 宛先        PIC X(8).
000017 01 ASV1         PIC X(10).
000018 01 ASV2        USAGE OBJECT REFERENCE.
000019 PROCEDURE      DIVISION.
000020     OPEN I-O 表示ファイル
000021     MOVE "NMSVR20" TO 宛先
000022     WRITE 通信データ
000023     READ 表示ファイル
000024     CLOSE 表示ファイル
000025 END PROGRAM      P5129.

```


P5129.cob 10: JMN5129I-S APPLY SAVED-AREA句のデータ名は、オブジェクト参照データ項目またはこれを含む集団項目であってはなりません。データ名は無効になります。

2.6.35 JMN5130I-S

PICTURE句を持たない項目にANY LENGTH句は指定できません。PICTURE Xが指定されたとみなします。

例題

```
[C5130. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5130.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 OBJECT.
000008 ENVIRONMENT      DIVISION.
000009 DATA            DIVISION.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 PROCEDURE        DIVISION.
000012 IDENTIFICATION DIVISION.
000013 METHOD-ID.        M5130.
000014 ENVIRONMENT      DIVISION.
000015 DATA            DIVISION.
000016 LINKAGE          SECTION.
000017 01 LK1           ANY LENGTH.
000018 PROCEDURE        DIVISION
000019                   USING LK1.
000020 END METHOD         M5130.
000021 END OBJECT.
000022 END CLASS        C5130.
```

C5130.cob 17: JMN5130I-S PICTURE句を持たない項目にANY LENGTH句は指定できません。PICTURE Xが指定されたとみなします。

詳細な説明

ANY LENGTH句は、連絡節のデータ項目の長さが、実行時に決まることを指定します。ANY LENGTH句は、PICTURE句だけが指定された項目に指定可能であり、PICTURE句の文字列は、“X”または“N”の1つの文字でなければなりません。

2.6.36 JMN5131I-S

ANY LENGTH句を指定したデータ項目には、PICTURE句以外の句は指定できません。次のレベル番号、節または部まで無効になります。

例題

```
[C5131. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5131.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 OBJECT.
000008 ENVIRONMENT      DIVISION.
000009 DATA            DIVISION.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 PROCEDURE        DIVISION.
000012 IDENTIFICATION DIVISION.
000013 METHOD-ID.        M5131.
000014 ENVIRONMENT      DIVISION.
```

```

000015 DATA          DIVISION.
000016 LINKAGE        SECTION.
000017 01 LK1         PIC X ANY LENGTH JUSTIFIED.
000018 PROCEDURE      DIVISION
000019                  USING LK1.
000020 END METHOD       M5131.
000021 END OBJECT.
000022 END CLASS      C5131.

```

C5131.cob 17: JMN5131I-S ANY LENGTH句を指定したデータ項目には、PICTURE句以外の句は指定できません。次のレベル番号、節または部まで無効になります。

詳細な説明

ANY LENGTH句は、連絡節のデータ項目の長さが、実行時に決まることを指定します。ANY LENGTH句は、PICTURE句だけが指定された項目に指定可能であり、PICTURE句の文字列は、“X”または“N”の1つの文字でなければなりません。

2.6.37 JMN5132I-S

ANY LENGTH句はプロパティ取出しメソッド、またはプロパティ設定メソッドのデータ項目に指定できません。ANY LENGTH句は無効になります。

例題

```

[C5132.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.       C5132.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 CONFIGURATION  SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 OBJECT.
000008 ENVIRONMENT    DIVISION.
000009 DATA          DIVISION.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 PROCEDURE      DIVISION.
000012 IDENTIFICATION DIVISION.
000013 METHOD-ID.      SET PROPERTY M5132.
000014 ENVIRONMENT    DIVISION.
000015 DATA          DIVISION.
000016 LINKAGE        SECTION.
000017 01 LK1         PIC X ANY LENGTH.
000018 PROCEDURE      DIVISION
000019                  USING LK1.
000020 END METHOD.
000021 END OBJECT.
000022 END CLASS      C5132.

```

C5132.cob 17: JMN5132I-S ANY LENGTH句はプロパティ取出しメソッド、またはプロパティ設定メソッドのデータ項目に指定できません。ANY LENGTH句は無効になります。

詳細な説明

ANY LENGTH句は、プロパティメソッドを除くメソッド定義の連絡節のレベル番号01のデータ記述項にだけ書くことができます。

2.6.38 JMN5133I-S

ANY LENGTH句は集団項目に指定できません。ANY LENGTH句は無効になります。

例題

```

[C5133.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.

```

```

000002 CLASS-ID.      C5133.
000003 ENVIRONMENT   DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 OBJECT.
000008 ENVIRONMENT   DIVISION.
000009 DATA          DIVISION.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 PROCEDURE      DIVISION.
000012 IDENTIFICATION DIVISION.
000013 METHOD-ID.      M5133.
000014 ENVIRONMENT   DIVISION.
000015 DATA          DIVISION.
000016 LINKAGE        SECTION.
000017 01 LK1         PIC X ANY LENGTH.
000018 02 WLENG       PIC S9(4).
000019 02 WBUF        PIC X(40).
000020 PROCEDURE      DIVISION
000021                USING LK1.
000022 END METHOD       M5133.
000023 END OBJECT.
000024 END CLASS      C5133.

```

C5133.cob 17: JMN5133I-S ANY LENGTH句は集団項目に指定できません。ANY LENGTH句は無効になります。

詳細な説明

ANY LENGTH句は、連絡節のデータ項目の長さが、実行時に決まることを指定します。ANY LENGTH句は、PICTURE句だけが指定された項目に指定可能であり、PICTURE句の文字列は、“X”または“N”の1つの文字でなければなりません。

2.6.39 JMN5134I-S

@1@句のデータ名@2@は、ANY LENGTH句が指定された項目であってはなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 入出力節およびデータ部の句

@2@ : @1@句に指定したデータ名

例題

```

[C5134. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C5134.
000003 ENVIRONMENT   DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 OBJECT.
000008 ENVIRONMENT   DIVISION.
000009 DATA          DIVISION.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 PROCEDURE      DIVISION.
000012 IDENTIFICATION DIVISION.
000013 METHOD-ID.      M5134.
000014 ENVIRONMENT   DIVISION.
000015 INPUT-OUTPUT   SECTION.
000016 FILE-CONTROL.
000017     SELECT SQFILE ASSIGN TO SYS001
000018     FILE STATUS IS LK1.
000019 DATA          DIVISION.
000020 FILE            SECTION.

```

```

000021 FD SQFILE.
000022 01 SQREC      PIC X(80).
000023 LINKAGE      SECTION.
000024 01 LK1        PIC X ANY LENGTH.
000025 PROCEDURE     DIVISION
000026                USING LK1.
000027 END METHOD      M5134.
000028 END OBJECT.
000029 END CLASS      C5134.

```

C5134.cob 18: JMN5134I-S FILE STATUS句のデータ名LK1は、ANY LENGTH句が指定された項目であってはありません。

2.6.40 JMN5135I-S

ファイル名'@1@'のASSIGN句のデータ名は、ANY LENGTH句を指定した項目、オブジェクト参照項目を含む集団項目、または強く型付けされた項目であってはありません。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったASSIGN句が指定されたファイル名

例題

```

[C5135. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.        C5135.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 OBJECT.
000007 DATA           DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 PROCEDURE       DIVISION.
000010 METHOD-ID.        M5135.
000011 ENVIRONMENT     DIVISION.
000012 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000013 FILE-CONTROL.
000014     SELECT SQFILE ASSIGN TO LK1
000015     FILE STATUS IS WFS1.
000016     SELECT SQFILE2 ASSIGN TO WK1.
000017 DATA           DIVISION.
000018 FILE             SECTION.
000019 FD SQFILE.
000020 01 SQREC          PIC X(80).
000021 FD SQFILE2.
000022 01 SQREC2        PIC X(80).
000023 WORKING-STORAGE SECTION.
000024 01 WFS1           PIC X(2).
000025 01 WK1          TYPE TYP1.
000026 01 TYP1          TYPEDEF.
000027 02 DATA1 PIC 9(4).
000028 02 DATA2 PIC X(8).
000029 LINKAGE        SECTION.
000030 01 LK1            PIC X ANY LENGTH.
000031 PROCEDURE       DIVISION
000032                USING LK1.
000033 END METHOD      M5135.
000034 END OBJECT.
000035 END CLASS      C5135.

```

C5135.cob 19: JMN5135I-S ファイル名'SQFILE'のASSIGN句のデータ名は、ANY LENGTH句を指定した項目、オブジェクト参照項目を含む集団項目、または強く型付けされた項目であってはありません。

2.6.41 JMN5136I-S

ANY LENGTH句を持つデータ項目に対して条件名は指定できません。

例題

```
[C5136. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5136.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 CONFIGURATION      SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 OBJECT.
000008 ENVIRONMENT        DIVISION.
000009 DATA               DIVISION.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 PROCEDURE          DIVISION.
000012 IDENTIFICATION DIVISION.
000013 METHOD-ID.          M5136.
000014 ENVIRONMENT        DIVISION.
000015 INPUT-OUTPUT       SECTION.
000016 DATA               DIVISION.
000017 LINKAGE             SECTION.
000018 01 LK1              PIC X ANY LENGTH.
000019 88 ZOK              VALUE "OK".
000020 88 ZNG              VALUE "OK".
000021 PROCEDURE          DIVISION
000022                      USING LK1.
000023 END METHOD           M5136.
000024 END OBJECT.
000025 END CLASS          C5136.
```

C5136.cob 19: JMN5136I-S ANY LENGTH句を持つデータ項目に対して条件名は指定できません。

C5136.cob 20: JMN5136I-S ANY LENGTH句を持つデータ項目に対して条件名は指定できません。

2.6.42 JMN5137I-S

@1@のデータ名は、オブジェクト参照データ項目またはこれを含む集団項目であってはなりません。データ名は無効になります。

埋め込みの説明

@1@: PICTURE句のFROM指定, PICTURE句のUSING指定, PICTURE句のTO指定, PROMPT句, CONTROL句, SIZE句, LINE NUMBER句, COLUMN NUMBER句

例題

```
[P5137. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.        P5137.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 DATA               DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WOBR             OBJECT REFERENCE.
000007 SCREEN              SECTION.
000008 01 WSCR              PIC X(8) USING WOBR.
000009 PROCEDURE          DIVISION.
000010 END PROGRAM          P5137.
```

P5137.cob 8: JMN5137I-S PICTURE句のUSING指定のデータ名は、オブジェクト参照データ項目またはこれを含む集団項目であってはなりません。データ名は無効になります。

2.6.43 JMN5138I-S

強く型付けされた集団項目は、プロパティ取出しメソッドまたはプロパティ設定メソッドのパラメタに指定できません。指定されたパラメタは無効になります。

例題

```
[C5138. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.        C5138.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 OBJECT.
000008 ENVIRONMENT     DIVISION.
000009 DATA           DIVISION.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 PROCEDURE       DIVISION.
000012 IDENTIFICATION DIVISION.
000013 METHOD-ID.       SET PROPERTY M5138.
000014 ENVIRONMENT     DIVISION.
000015 DATA           DIVISION.
000016 LINKAGE         SECTION.
000017 01 LK1         TYPE STY.
000018 01 STY TYPEDEF STRONG.
000019 02 S1          PIC S9(4) BINARY.
000020 02 S2          PIC X(30).
000021 PROCEDURE       DIVISION
000022                 USING LK1.
000023 END METHOD.
000024 END OBJECT.
000025 END CLASS      C5138.
```

C5138.cob 22: JMN5138I-S 強く型付けされた集団項目は、プロパティ取出しメソッドまたはプロパティ設定メソッドのパラメタに指定できません。指定されたパラメタは無効になります。

2.6.44 JMN5140I-S

TYPE句の名標'@1@'は、一意な型名でなければなりません。TYPE句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : TYPE句に指定した名標

例題

```
[P5140. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5140.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A TYPE B.
000006 01 B.
000007 02 B1 PIC S9(9) BINARY.
000008 02 B2 PIC X(1024).
000009 PROCEDURE        DIVISION.
000010 STOP RUN.
000011 END PROGRAM      P5140.
```

P5140.cob 5: JMN5140I-S TYPE句の名標'B'は、一意な型名でなければなりません。TYPE句は無効になります。

詳細な説明

型宣言を指定するTYPE句では、型名(TYPEDEF句を指定した01レベルのデータ記述項の項目名)を指定しなければなりません。

2.6.45 JMN5141I-S

型名 '@1@' の定義が、型名 '@2@' を参照しています。型名 '@1@' は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 利用者定義の型名

@2@ : 利用者定義の型名

例題

```
[P5141.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5141.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 X TYPEDEF     TYPE X.
000006 01 A TYPEDEF.
000007 02 A1            PIC S9(9) BINARY.
000008 02 A2            TYPE B.
000009 01 B TYPEDEF.
000010 02 B1            PIC S9(9) BINARY.
000011 02 B2            TYPE C.
000012 01 C TYPEDEF.
000013 02 C1            PIC S9(9) BINARY.
000014 02 C2            TYPE A.
000015 PROCEDURE        DIVISION.
000016     STOP RUN.
000017 END PROGRAM      P5141.
```

P5141.cob 5: JMN5141I-S 型名 'X' の定義が、型名 'X' を参照しています。型名 'X' は無効になります。

P5141.cob 6: JMN5141I-S 型名 'A' の定義が、型名 'A' を参照しています。型名 'A' は無効になります。

P5141.cob 9: JMN5141I-S 型名 'B' の定義が、型名 'A' を参照しています。型名 'B' は無効になります。

P5141.cob 12: JMN5141I-S 型名 'C' の定義が、型名 'A' を参照しています。型名 'C' は無効になります。

詳細な説明

型宣言(TYPEDEF句が指定されたデータ記述項)内で、TYPE句を記述してさらに型を参照することができます。ただしこのとき、自分自身の型や、自分自身の型を含む型を参照することはできません。

2.6.46 JMN5142I-S

TYPE句は、USAGE句、SIGN句、SYNCHRONIZED句、あるいはCHARACTER TYPE句が指定された集団項目に付属する項目には指定できません。書かれたとおり受け入れます。

例題

```
[P5142.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5142.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A TYPEDEF.
000006 02 A1            PIC S9(9).
000007 02 A2            PIC X(80).
000008 01 GRP1 .
000009 02              USAGE BINARY.
```

```

000010      03 B1      TYPE A.
000011      03 B2      PIC S9(9).
000012      02          SIGN TRAILING.
000013      03 C1      TYPE A.
000014 PROCEDURE      DIVISION.
000015          STOP RUN.
000016 END PROGRAM      P5142.

```

P5142.cob 10: JMN5142I-S TYPE句は, USAGE句, SIGN句, SYNCHRONIZED句, あるいはCHARACTER TYPE句が指定された集団項目に従属する項目には指定できません。書かれたとおり受け入れます。

P5142.cob 13: JMN5142I-S TYPE句は, USAGE句, SIGN句, SYNCHRONIZED句, あるいはCHARACTER TYPE句が指定された集団項目に従属する項目には指定できません。書かれたとおり受け入れます。

詳細な説明

TYPE句を指定したデータ記述項は, 型付けされた項目です。型付けされた項目は, 型(TYPEDEF)の属性をすべて持ちます。型付けされた項目の上位項目に指定されているUSAGE句, SIGN句, SYNCHRONIZED句, あるいはCHARACTER TYPE句は, 型付けされた項目の属性を上書きすることはできません。

2.6.47 JMN5143I-S

@1@句はTYPEDEF句を指定した項目, あるいはその従属項目に指定できません。@1@句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : REDEFINES, RENAMES, CHARACTER TYPE, PRINTING POSITION, PROPERTYあるいはANY LENGTH

例題

```

[P5143. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5143.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 VCHR TYPEDEF.
000006 02 LENG           PIC S9(9).
000007 02 XCHR           PIC X(80).
000008 02 NCHR           CHARACTER TYPE MODE-1
000009                     PIC N(40).
000010 01 ADDR           TYPE VCHR.
000011 PROCEDURE         DIVISION.
000012     STOP RUN.
000013 END PROGRAM        P5143.

```

P5143.cob 8: JMN5143I-S CHARACTER TYPE句はTYPEDEF句を指定した項目, あるいはその従属項目に指定できません。CHARACTER TYPE句は無効になります。

2.6.48 JMN5144I-S

@1@句に指定するデータ名はTYPE句の参照する型から展開された項目であってはなりません。@1@句は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : RENAMES

例題

```

[P5144. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5144.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.

```



```

000005 01 BLOB TYPEDEF.
000006 02 RESEV      PIC S9(9) BINARY.
000007 02 LENG       PIC 9(9) BINARY.
000008 02 BUFF       PIC X(1024).
000009 01 GRP1
000010 02 B1          TYPE BLOB.
000011 66 C1 RENAMES LENG OF B1 THRU BUFF OF B1.
000012 PROCEDURE     DIVISION.
000013     STOP RUN.
000014 END PROGRAM   P5144.

```

P5144.cob 11: JMN5144I-S RENAMES句に指定するデータ名はTYPE句の参照する型から展開された項目であってはなりません。RENAMES句は無効になります。

詳細な説明

型(TYPEDEF)に含まれる名前に対して、その型をTYPE句で参照したのちに再命名することはできません。

2.6.49 JMN5145I-W

値を持つ型に、新しい値が指定されています。指定されたとおりに、受け入れます。

例題

```

[P5145.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5145.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 A TYPEDEF     PIC 9(2) VALUE 99.
000006 01 B              TYPE A  VALUE 33.
000007 PROCEDURE        DIVISION.
000008     STOP RUN.
000009 END PROGRAM      P5145.

```

P5145.cob 6: JMN5145I-W 値を持つ型に、新しい値が指定されています。指定されたとおりに、受け入れます。

詳細な説明

この診断メッセージは、型宣言(TYPEDEF)にも、その型を参照するTYPE句を指定したデータ記述項にも、VALUE句が指定されている場合、初期値の設定が重複していることを指摘します。このとき、TYPE句を指定したデータ記述項側のVALUE句が有効になります。

2.6.50 JMN5146I-S

型を参照する項目に従属する項目のレベル番号が@1@を超えました。誤ったレベル番号を持つ項目を無視します。

埋め込みの説明

@1@ : 49または77

例題

```

[P5146.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5146.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 BLOB TYPEDEF.
000006 02 RESEV      PIC S9(9) BINARY.
000007 02 LENG       PIC 9(9) BINARY.
000008 02 BUFF       PIC X(1024).
000009 77 GRP1 TYPE BLOB.
000010 PROCEDURE     DIVISION.

```

```
000011      STOP RUN.
000012 END PROGRAM      P5146.
```

P5146.cob 9: JMN5146I-S 型を参照する項目に従属する項目のレベル番号が77を超えました。誤ったレベル番号を持つ項目を無視します。

詳細な説明

TYPE句を指定したデータ記述項では、型(TYPEDEF)のレコードの階層構造も引継ぎます。その結果、型付けされた項目のレベル番号が49を超えてしまうと、この診断メッセージが出力されます。

2.6.51 JMN5147I-S

条件変数が参照する型は基本項目として定義されたものでなければなりません。条件名の指定を無視します。

例題

```
[P5147. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5147.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 BLOB TYPEDEF.
000006 02 RESEV          PIC S9(9) BINARY.
000007 02 LENG          PIC 9(9) BINARY.
000008 02 BUFF          PIC X(1024).
000009 01 GRP1          TYPE BLOB.
000010 88 ZSP           VALUE SPACE.
000011 PROCEDURE         DIVISION.
000012      STOP RUN.
000013 END PROGRAM      P5147.
```

P5147.cob 9: JMN5147I-S 条件変数が参照する型は基本項目として定義されたものでなければなりません。条件名の指定を無視します。

詳細な説明

条件名記述項(レベル番号が88)で定義した条件名を関係付けたデータ項目を、条件変数といいます。

条件変数にTYPE句が指定されているとき、そのTYPE句で参照する型(TYPEDEF)は、基本項目の属性でなければなりません。

2.6.52 JMN5148I-S

条件変数の参照する型は条件名を含むものであってはなりません。条件名の指定を無視します。

例題

```
[P5148. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5148.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 COLORV TYPEDEF PIC 9(4).
000006 88 BLUE       VALUE 1.
000007 88 RED        VALUE 2.
000008 01 WBCG       TYPE COLORV.
000009 88 GREEN      VALUE 3.
000010 PROCEDURE     DIVISION.
000011      STOP RUN.
000012 END PROGRAM      P5148.
```

P5148.cob 8: JMN5148I-S 条件変数の参照する型は条件名を含むものであってはなりません。条件名の指定を無視します。

詳細な説明

条件名記述項(レベル番号が88)で定義した条件名を関係付けたデータ項目を、条件変数といいます。

条件変数にTYPE句が指定されているとき、そのTYPE句で参照する型(TYPEDEF)は、条件名記述項を含んでいてはなりません。

2.6.53 JMN5149I-S

REDEFINES句を持つ集団項目に従属する最初の項目が、TYPE句を持つ場合、再定義される項目の境界は、レベル番号01の項目の要求する境界に合っていなければなりません。境界調整は行いません。

例題

```
[P5149.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5149.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 VCHR TYPEDEF.
000006 02 WLENG          PIC S9(4) BINARY.
000007 01 WSTOCK.
000008 02 WPNO           PIC 9(7).
000009 02 WNAM           PIC X(22).
000010 02 WRNAM REDEFINES WNAM.
000011 03               TYPE VCHR.
000012 02 WQOH          PIC S9(8) BINARY.
000013 PROCEDURE         DIVISION.
000014     STOP RUN.
000015 END PROGRAM      P5149.
```

P5149.cob 11: JMN5149I-S REDEFINES句を持つ集団項目に従属する最初の項目が、TYPE句を持つ場合、再定義される項目の境界は、レベル番号01の項目の要求する境界に合っていなければなりません。境界調整は行いません。

詳細な説明

8バイト境界に合わせて定義しなければなりません。

2.6.54 JMN5150I-S

アドレス可変項目に指定するTYPE句の参照する型は基本項目として定義されていなければなりません。境界調整は行いません。

例題

```
[P5150.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5150.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 VCHR TYPEDEF.
000006 02 WLENG          PIC S9(4) BINARY.
000007 02 WBUFF          PIC X(20).
000008 01 WVTBL.
000009 02 WQT            PIC S9(4) BINARY.
000010 02 WOCC           OCCURS 10 TIMES DEPENDING ON WQT.
000011 03               PIC X(1).
000012 02 WNAM           TYPE VCHR.
000013 PROCEDURE         DIVISION.
000014     STOP RUN.
000015 END PROGRAM      P5150.
```

P5150.cob 12: JMN5150I-S アドレス可変項目に指定するTYPE句の参照する型は基本項目として定義されていなければなりません。境界調整は行いません。

詳細な説明

レコードの中で、DEPENDING指定付きのOCCURS句を指定したデータ記述項の後に割り当てられる領域は、可変位置になります。
可変位置のデータ記述項にTYPE句を指定する場合、そのTYPE句で参照する型(TYPEDEF)は基本項目の属性でなければなりません。

2.6.55 JMN5151I-S

クラス定義で宣言された型が、DEPENDING ON指定またはKEY IS 指定を持つOCCURS句を含む場合、分離されたメソッドでそれらの型を参照することはできません。TYPE句は無効になります。

例題

```
[C5151.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.       C5151.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 DATA           DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 VGRP TYPEDEF.
000008 02              OCCURS 3 TO 5 TIMES DEPENDING ON 0D01
000009                  PIC S9(4) BINARY.
000010 01 0D01         PIC S9(4) BINARY.
000011 PROCEDURE       DIVISION.
000012 METHOD-ID.       M5151 PROTOTYPE.
000013 PROCEDURE       DIVISION.
000014 END METHOD       M5151.
000015 END OBJECT.
000016 END CLASS      C5151.
```

```
[M5151.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 METHOD-ID.       M5151 OF C5151.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 CONFIGURATION  SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS          C5151.
000007 DATA           DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 METDATA       TYPE VGRP.
000010 PROCEDURE       DIVISION.
000011 MOVE ZERO TO METDATA.
000012 EXIT METHOD.
000013 END METHOD       M5151.
```

M5151.cob 9: JMN5151I-S クラス定義で宣言された型が、DEPENDING ON指定またはKEY IS 指定を持つOCCURS句を含む場合、分離されたメソッドでそれらの型を参照することはできません。TYPE句は無効になります。

2.6.56 JMN5152I-S

STRONG指定を持つ型は、集団項目として宣言されていなければなりません。STRONG指定は無効になります。

例題

```
[P5152.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.     P5152.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 DATA           DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 STY TYPEDEF STRONG
```

000007	PIC X(20).
000008 PROCEDURE	DIVISION.
000009 END PROGRAM	P5152.

P5152.cob 6: JMN5152I-S STRONG指定を持つ型は、集団項目として宣言されていなければなりません。STRONG指定は無効になります。

詳細な説明

基本項目にはSTRONGは指定できません、

2.6.57 JMN5153I-S

STRONG指定を持つ型宣言あるいは強く型付けされた項目は@1@句を含んではなりません。

埋め込みの説明

@1@ : VALUE, REDEFINES, OCCURS DEPENDING ONまたはSELF指定を持つUSAGE OBJECT REFERENCE

例題

```
[P5153. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5153.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 STY1 TYPEDEF STRONG.
000007 02 ITEM11 PIC X(20) VALUE SPACE.
000008 02 ITEM12 PIC S9(9) BINARY.
000009 01 DATA1 TYPE STY2 VALUE SPACE.
000010 01 STY2 TYPEDEF STRONG.
000011 02 ITEM2 PIC X(20).
000012 01 STY3 TYPEDEF STRONG.
000013 02 ITEM3 PIC X(20).
000014 02 ITEM3R REDEFINES ITEM3.
000015 03 ITEM31 PIC X(10).
000016 03 ITEM32 TYPE STY2 VALUE SPACE.
000017 PROCEDURE DIVISION.
000018 END PROGRAM P5153.
```

P5153.cob 7: JMN5153I-S STRONG指定を持つ型宣言あるいは強く型付けされた項目はVALUE句を含んではなりません。

P5153.cob 9: JMN5153I-S STRONG指定を持つ型宣言あるいは強く型付けされた項目はVALUE句を含んではなりません。

P5153.cob 14: JMN5153I-S STRONG指定を持つ型宣言あるいは強く型付けされた項目はREDEFINES句を含んではなりません。

P5153.cob 16: JMN5153I-S STRONG指定を持つ型宣言あるいは強く型付けされた項目はVALUE句を含んではなりません。

詳細な説明

強く型付けされた項目とは、STRONG指定を持つ型宣言(TYPEDEF)を参照するTYPE句を指定したデータ記述項です。

2.6.58 JMN5154I-S

強く型付けされた項目は、基底場所節に定義してはなりません。この項目を弱く型付けされた項目とみなします。

例題

```
[P5154. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5154.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
```

```

000005 BASED-STORAGE SECTION.
000006 01 DATA1 TYPE STY1.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 STY1 TYPEDEF STRONG.
000009 02 ITEM11 PIC X(4) .
000010 02 ITEM12 PIC X(4) .
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012 END PROGRAM P5154.

```

P5154.cob 6: JMN5154I-S 強く型付けされた項目は、基底場所節に定義してはなりません。この項目を弱く型付けされた項目とみなします。

詳細な説明

基底場所節で宣言するデータ記述項では、STRONG指定を持つ型宣言(TYPEDEF)を参照するTYPE句は指定できません。

2.6.59 JMN5155I-S

STRONG指定を持つ型宣言は、レベル番号01のデータ項目またはSTRONG指定を持つ型宣言に従属する項目だけで参照できます。この項目を弱く型付けされた項目とみなします。

例題

```

[P5155.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P5155.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 STY1 TYPEDEF STRONG.
000007 02 ITEM11 PIC X(4) .
000008 02 ITEM12 PIC X(4) .
000009 01 DATA1.
000010 02 DATA2 TYPE STY1.
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012 END PROGRAM P5155.

```

P5155.cob 10: JMN5155I-S STRONG指定を持つ型宣言は、レベル番号01のデータ項目またはSTRONG指定を持つ型宣言に従属する項目だけで参照できます。この項目を弱く型付けされた項目とみなします。

2.6.60 JMN5156I-S

@1@のデータ名@2@は、強く型付けされた項目であってはなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 入出力節またはデータ部の句

@2@ : @1@に指定されたデータ名

例題

```

[P5156.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P5156.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006 SELECT FILE1 ASSIGN TO SYS001
000007 FILE STATUS DATA1.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD FILE1.
000011 01 REC1 PIC X(80).

```

```

000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 STY1 TYPEDEF STRONG.
000014 02 ITEM11 PIC X(4) .
000015 02 ITEM12 PIC X(4) .
000016 01 DATA1 TYPE STY1.
000017 PROCEDURE DIVISION.
000018 END PROGRAM P5156.

```

詳細な説明

強く型付けされた項目とは、STRONG指定を持つ型宣言(TYPEDEF)を参照するTYPE句を指定したデータ記述項です。

2.6.61 JMN5157I-S

STRONG指定付きのTYPEDEF句とTYPE句は同時に指定できません。STRONG指定は無効になります。

例題

```

[P5157. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P5157.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 STY TYPEDEF STRONG
000007 TYPE TYP1.
000008 01 TYP1 TYPEDEF.
000009 02 T1 PIC X(10) .
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 END PROGRAM P5157.

```

P5157.cob 7: JMN5157I-S STRONG指定付きのTYPEDEF句とTYPE句は同時に指定できません。STRONG指定は無効になります。

2.6.62 JMN5158I-S

日本語データの実行時コード系がUnicodeの場合、@1@句のデータ名'@2@'は日本語を含む集団項目であってはなりません。書かれたとおりに受け入れます。

埋め込みの説明

@1@ : ASSIGN

@2@ : @1@句に指定されたデータ名

例題

```

[P5158. cob]
000001 @OPTIONS RCS(UTF16)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P5158.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007 SELECT SQFILE1 ASSIGN TO WFILNM
000008 ORGANIZATION IS SEQUENTIAL
000009 FILE STATUS IS WFS1.
000010 I-O-CONTROL.
000011 DATA DIVISION.
000012 FILE SECTION.
000013 FD SQFILE1.
000014 01 SQF1REC.
000015 02 PIC X(80) .
000016 WORKING-STORAGE SECTION.

```

```

000017 01 WFS1          PIC X(2).
000018 01 WFILNM.
000019 02              PIC N(10).
000020 PROCEDURE        DIVISION.
000021 END PROGRAM      P5158.

```

P5158.cob 18: JMN5158I-S 日本語データの実行時コード系がUnicodeの場合、ASSIGN句のデータ名'WFILNM'は日本語を含む集団項目であってはなりません。書かれたとおりに受け入れます。

詳細な説明

NetCOBOLでUnicodeデータを扱う場合、日本語項目の表現形式はUCS-2です。一方、集団項目(字類は英数字)の表現形式はUTF-8になります。集団項目として扱う場合は、集団に従属する日本語項目の領域にもUTF-8表現形式のデータが格納されるため、日本語項目として適切なデータになりません。

2.6.63 JMN5159I-S

日本語データの実行時コード系がUnicodeの場合、行順ファイルのレコードは日本語項目とその他の項目を同時に含むことはできません。

例題

```

[P5159.cob]
000001 @OPTIONS RCS(UTF16)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P5159.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000008             ORGANIZATION IS LINE SEQUENTIAL
000009             FILE STATUS IS WFS1.
000010 I-O-CONTROL.
000011 DATA              DIVISION.
000012 FILE                SECTION.
000013 FD SQFILE1.
000014 01 SQFIREC1.
000015 02              PIC X(80).
000016 01 SQFIREC2.
000017 02              PIC N(40).
000018 WORKING-STORAGE SECTION.
000019 01 WFS1          PIC X(2).
000020 PROCEDURE        DIVISION.
000021 END PROGRAM      P5159.

```

P5159.cob 13: JMN5159I-S 日本語データの実行時コード系がUnicodeの場合、行順ファイルのレコードは日本語項目とその他の項目を同時に含むことはできません。

詳細な説明

NetCOBOLでUnicodeデータを扱う場合、日本語項目の表現形式はUCS-2です。英数字項目の表現形式はASCII(UTF-8)です。データをレコード単位で扱う場合、表現形式の異なるデータを1つのレコード内で同時に扱うことはできません。

2.6.64 JMN5160I-W

@1@句のデータ名に日本語項目を含む集団項目'@2@'が指定されています。日本語データの実行時コード系がUnicodeの場合、この項目の日本語部分の比較は日本語として行われません。

埋め込みの説明

@1@ : RECORD KEY, ALTERNATE RECORD KEY, KEY IS

@2@ : エラーの原因となったデータ名

例題

```
[P5160.cob]
000001 @OPTIONS RCS (UTF16)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P5160.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT IXFILE1 ASSIGN TO SYS001
000008     ORGANIZATION     IS INDEXED
000009     RECORD KEY        IS KEY1.
000010 I-O-CONTROL.
000011 DATA              DIVISION.
000012 FILE                SECTION.
000013 FD IXFILE1.
000014 01 IXF1REC.
000015 02 KEY1.
000016 03                PIC N(2).
000017 02                PIC X(80).
000018 WORKING-STORAGE SECTION.
000019 PROCEDURE           DIVISION.
000020 END PROGRAM          P5160.
```

P5160.cob 9: JMN5160I-W RECORD KEY句のデータ名に日本語項目を含む集団項目'KEY1'が指定されています。日本語データの実行時コード系がUnicodeの場合、この項目の日本語部分の比較は日本語として行われません。

詳細な説明

NetCOBOLでUnicodeデータを扱う場合、日本語項目の表現形式はUCS-2です。一方、集団項目(字類は英数字)の表現形式はUTF-8になります。集団項目として扱う場合は、集団に従属する日本語項目の領域にもUTF-8表現形式のデータが格納されるため、日本語項目として適切なデータになりません。

2.6.65 JMN5260I-S

@1@句のデータ名@2@は@3@句を指定した項目であってはなりません。

埋め込みの説明

@1@ : 入出力節またはデータ部の句。

@2@ : エラーの原因となったデータ名。

@3@ : USAGE BINARY-CHAR.

例題

```
[C5260.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      C5260.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006     SELECT RLFILE1 ASSIGN TO SYS001
000007     ORGANIZATION     IS RELATIVE
000008     RELATIVE KEY     IS WRKY
000009     FILE STATUS      IS WFS1.
000010 I-O-CONTROL.
000011 DATA              DIVISION.
000012 FILE                SECTION.
000013 FD RLFILE1.
000014 01 RLF1REC.
000015 02                PIC X(80).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
```

```

000017 01 WFS1      PIC X(2).
000018 01 WRKY      BINARY-CHAR UNSIGNED.
000019 PROCEDURE    DIVISION.
000020 END PROGRAM   C5260.

```

C5260.cob 8: JMN5260I-S RELATIVE KEY句のデータ名WRKYはUSAGE BINARY-CHAR句を指定した項目であってはいません。

2.6.66 JMN5400I-U

コンパイラの制限です。データ項目およびコンパイラ生成の管理域の累積長が最大長を超えています。翻訳を中止します。

例題

```

[C5400.cob]
000001 PROGRAM-ID.   C5400.
000002 DATA DIVISION.
000003 WORKING-STORAGE SECTION.
000004 01 A PIC X(1500000000).
000005 01 B PIC X(1500000000).
000006 PROCEDURE DIVISION.
000007 P-START.
000008 MOVE A TO B.
000009 STOP RUN.

```

C5400.cob 0: JMN5400I-U コンパイラの制限です。データ項目およびコンパイラ生成の管理域の累積長が最大長を超えています。翻訳を中止します。

2.6.67 JMN5410I-U

プログラムが大き過ぎます。プログラムを分割して再翻訳してください。翻訳を中止します。

2.6.68 JMN5411I-U

プログラムが大き過ぎます。MODEL(COMPACT)オプション指定で再翻訳してください。翻訳を中止します。

2.6.69 JMN5412I-U

プログラムが大き過ぎます。MODEL(LARGE)オプション指定で再翻訳してください。翻訳を中止します。

2.6.70 JMN5500I-S

@1@文の一意名にはオブジェクト参照一意名を指定しなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : RAISE.

例題

```

[C5500.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5500.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID          M5500.
000008 DATA DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.

```

```

000010 01 AAA          PIC X(4).
000011 PROCEDURE      DIVISION.
000012     RAISE AAA
000013 END METHOD      M5500.
000014 END OBJECT.
000015 END CLASS      C5500.

```

C5500.cob 12: JMN5500I-S RAISE文の一意名にはオブジェクト参照一意名を指定しなければなりません。

2.6.71 JMN5501I-S

@1@文の、'@2@'指定は指定できません。

埋め込みの説明

@1@ : RAISE.

@2@ : EXCEPTION.

例題

```

[C5501.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.        C5501.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE      DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID       M5501.
000008 PROCEDURE      DIVISION.
000009     RAISE EXCEPTION EC-00
000010 END METHOD      M5501.
000011 END OBJECT.
000012 END CLASS      C5501.

```

C5501.cob 9: JMN5501I-S RAISE文の、'EXCEPTION'指定は指定できません。

2.6.72 JMN5504I-S

@1@文のUSING指定にオブジェクトプロパティまたはメソッドの行内呼出しは指定できません。 @1@文を無効とします。

埋め込みの説明

@1@ : INVOKEまたはCALL.

例題

```

[C5504.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.        C5504.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 DATA          DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 PR5504      PIC S9(9) COMP-5 PROPERTY.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 IDENTIFICATION DIVISION.
000010 METHOD-ID.       M5504.
000011 DATA          DIVISION.
000012 LINKAGE        SECTION.
000013 01 LK1          PIC S9(9) COMP-5.
000014 01 LK2          PIC S9(9) COMP-5.
000015 PROCEDURE      DIVISION USING LK1
000016                                RETURNING LK2.

```

```
000017 END METHOD      M5504.
000018 END OBJECT.
000019 END CLASS      C5504.
```

```
[P5504. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5504.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006      CLASS C5504.
000007 DATA            DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 WOBR USAGE OBJECT REFERENCE C5504.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011* プロパティ
000012      INVOKE WOBR "M5504" USING PR5504 OF WOBR
000013* 行内呼び出し
000014      INVOKE WOBR "M5504" USING WOBR :: "M5504" (12)
000015 END PROGRAM      P5504.
```

P5504.cob 12: JMN5504I-S INVOKE文のUSING指定にオブジェクトプロパティまたはメソッドの行内呼出しは指定できません。INVOKE文を無効とします。

P5504.cob 14: JMN5504I-S INVOKE文のUSING指定にオブジェクトプロパティまたはメソッドの行内呼出しは指定できません。INVOKE文を無効とします。

詳細な説明

オブジェクトプロパティあるいはメソッドの行内呼出しの結果を別のデータ項目に格納し、そのデータ項目をUSING指定に指定してください。

2.6.73 JMN5505I-S

@1@で指定したメソッド名'@3@'がクラス'@2@'に定義されていません。 @1@を無効とします。

埋め込みの説明

@1@ : INVOKE文またはメソッドの行内呼出し。

@2@ : エラーの原因となったクラス名。

@3@ : エラーの原因となったメソッド名。

例題

```
[C5505. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C5505.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE      DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID.      M5505X.
000008 PROCEDURE      DIVISION.
000009 END METHOD      M5505X.
000010 END OBJECT.
000011 END CLASS      C5505.
```

```
[P5505. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5505.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
```

```

000005 REPOSITORY.
000006     CLASS C5505.
000007 DATA          DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 WOBR          OBJECT REFERENCE C5505.
000010 PROCEDURE        DIVISION.
000011     INVOKE WOBR "M5505".
000012 END PROGRAM      P5505.

```

P5505.cob 11: JMN5505I-S INVOKE文で指定したメソッド名'M5505'がクラス'C5505'に定義されていません。INVOKE文を無効とします。

詳細な説明

指定したクラスに、呼び出すメソッドと同じ名前とパラメタインタフェースを持つメソッドが存在しているかどうか、確認してください。

2.6.74 JMN5507I-S

@1@文のRAISING指定にはオブジェクト参照一意名だけが記述できます。

埋め込みの説明

@1@ : EXIT.

例題

```

[C5507.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.        C5507.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE        DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID.        M5507.
000008 DATA          DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 WERROR        PIC X(20).
000011 PROCEDURE        DIVISION.
000012     EXIT METHOD RAISING WERROR
000013 END METHOD          M5507.
000014 END OBJECT.
000015 END CLASS        C5507.

```

C5507.cob 12: JMN5507I-S EXIT文のRAISING指定にはオブジェクト参照一意名だけが記述できます。

2.6.75 JMN5508I-S

@1@文は、プログラム定義以外に記述できません。

埋め込みの説明

@1@ : CONNECT, DISCONNECT, ERASE, ENTRY, FIND, FINISH, GET, IF DB-EXCEPTION, MODIFY, READY, STORE
またはUSE FOR DB-EXCEPTION.

例題

```

[C5508.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.        C5508.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 DATA          DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE        DIVISION.

```

```

000008 IDENTIFICATION DIVISION.
000009 METHOD-ID.          M5508.
000010 ENVIRONMENT        DIVISION.
000011 DATA              DIVISION.
000012 LINKAGE            SECTION.
000013 01 LK1             PIC X.
000014 PROCEDURE          DIVISION.
000015     READY.
000016 END METHOD          M5508.
000017 END OBJECT.
000018 END CLASS          C5508.

```

C5508.cob 15: JMN5508I-S READY文は、プログラム定義以外に記述できません。

2.6.76 JMN5509I-S

受取り側項目に@1@は指定できません。

埋め込みの説明

@1@: 定義済み一意名SELF, 定義済み一意名SUPER, 定義済み一意名EXCEPTION-OBJECT, クラス名, メソッドのインライン呼出しまたはASオブジェクト指定子付きの一意名。

例題

```

[C5509.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5509.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 CONFIGURATION      SECTION.
000005 IDENTIFICATION DIVISION.
000006 OBJECT.
000007 PROCEDURE          DIVISION.
000008 IDENTIFICATION DIVISION.
000009 METHOD-ID.          M5509.
000010 DATA              DIVISION.
000011 LINKAGE            SECTION.
000012 01 LK1             PIC X(2).
000013 PROCEDURE          DIVISION RETURNING LK1.
000014     SET SELF TO NULL.
000015     MOVE SPACE TO SELF :: "M5509"
000016 END METHOD          M5509.
000017 END OBJECT.
000018 END CLASS          C5509.

```

C5509.cob 14: JMN5509I-S 受取り側項目に定義済みオブジェクト一意名SELFは指定できません。

C5509.cob 15: JMN5509I-S 受取り側項目にメソッドの行内呼出しは指定できません。

2.6.77 JMN5510I-S

@1@指定と@2@指定は同時に記述できません。@2@指定は無効になります。

埋め込みの説明

@1@: WITH.

@2@: RAISING.

例題

```

[P5510.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.        P5510.

```

```

000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 CONFIGURATION  SECTION.
000005 DATA          DIVISION.
000006 LINKAGE        SECTION.
000007 PROCEDURE      DIVISION
000008                WITH STDALL LINKAGE
000009                RAISING BASE.
000010    DISPLAY "PARAMETER ERROR".
000011    STOP RUN.

```

P5510.cob 9: JMN5510I-S WITH指定とRAISING指定は同時に記述できません。RAISING指定は無効になります。

2.6.78 JMN5511I-S

メソッドの手続き部見出しには、@1@指定は記述できません。

埋め込みの説明

@1@ : WITH.

例題

```

[C5511. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C5511.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 PROCEDURE      DIVISION.
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
000008 METHOD-ID.       MF1.
000009 DATA          DIVISION.
000010 PROCEDURE      DIVISION WITH STDALL LINKAGE.
000011    DISPLAY "PHRASE ERROR".
000012 END METHOD MF1.
000013 END OBJECT.
000014 END CLASS C5511.

```

C5511.cob 10: JMN5511I-S メソッドの手続き部見出しには、WITH指定は記述できません。

詳細な説明

手続き部見出しのWITH指定は、呼ばれるプログラムの呼出し規約を指定します。メソッドでは、呼び出し規約を指定することはできません。

2.6.79 JMN5512I-S

RETURNING指定の作用対象は、1つでなければなりません。

例題

```

[C5512. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C5512.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 DATA          DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 PROCEDURE      DIVISION.
000009 IDENTIFICATION DIVISION.
000010 METHOD-ID.       M5512.
000011 DATA          DIVISION.

```

```

000012 LINKAGE      SECTION.
000013 01 LK1       PIC S9(4) DISPLAY.
000014 01 LK2       PIC X(4).
000015 PROCEDURE    DIVISION RETURNING LK1 LK2.
000016     DISPLAY "PARAMETER ERROR".
000017 END METHOD     M5512.
000018 END OBJECT.
000019 END CLASS C5512.

```

C5512.cob 15: JMN5512I-S RETURNING指定の作用対象は、1つでなければなりません。

詳細な説明

手続き部見出しのRETURNING指定には、呼出し元に返却する値を格納するためのデータ記述項を指定します。値は1つしか返却できません。

2.6.80 JMN5513I-S

@2@指定の作用対象'@1@'は、このソース単位内の連絡節で定義されたREDEFINES句を含まないレベル番号01または77のデータ項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : USINGまたはRETURNINGパラメタとして指定された利用者語。

@2@ : USING, RETURNING.

例題

```

[C5513.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.       C5513.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 DATA          DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 PROCEDURE      DIVISION.
000009 IDENTIFICATION DIVISION.
000010 METHOD-ID.       M5513.
000011 DATA          DIVISION.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 WK1          PIC X(8).
000014 LINKAGE        SECTION.
000015 01 LK1          PIC X(8).
000016 01 LK2          PIC S9(4) DISPLAY.
000017 01 RET          REDEFINES LK2 PIC X(4).
000018 PROCEDURE      DIVISION
000019     USING WK1 LK1
000020     RETURNING RET.
000021     DISPLAY "PARAMETER ERROR".
000022 END METHOD        M5513.
000023 END OBJECT.
000024 END CLASS       C5513.

```

C5513.cob 19: JMN5513I-S USING指定の作用対象'WK1'は、このソース単位内の連絡節で定義されたREDEFINES句を含まないレベル番号01または77のデータ項目でなければなりません。

C5513.cob 20: JMN5513I-S RETURNING指定の作用対象'RET'は、このソース単位内の連絡節で定義されたREDEFINES句を含まないレベル番号01または77のデータ項目でなければなりません。

2.6.81 JMN5514I-S

'@1@'はUSING句の作用対象としてすでに記述されています。

埋め込みの説明

@1@ : USINGパラメタとして指定された利用者語。

例題

```
[C5514. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5514.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 DATA          DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 PROCEDURE      DIVISION.
000009 IDENTIFICATION DIVISION.
000010 METHOD-ID.      M01.
000011 DATA          DIVISION.
000012 LINKAGE        SECTION.
000013 01 LK1         PIC X(10).
000014 01 LK2         PIC X(10).
000015 PROCEDURE      DIVISION USING LK1 LK1.
000016      DISPLAY "PARAMETER ERROR".
000017 END METHOD      M01.
000018 END OBJECT.
000019 END CLASS C5514.
```

C5514.cob 15: JMN5514I-S 'LK1'はUSING句の作用対象としてすでに記述されています。

詳細な説明

手続き部見出しのUSING指定に、同じデータ記述項のデータ名を複数回指定することはできません。

2.6.82 JMN5515I-S

手続き部見出しのUSING指定の作用対象 '@1@' には、SELF、FACTORY OF SELFおよびCLASS OF SELFは記述できません。

埋め込みの説明

@1@ : オブジェクト参照データ項目名である利用者語。

例題

```
[C5515. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5515.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 DATA          DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 PROCEDURE      DIVISION.
000009 IDENTIFICATION DIVISION.
000010 METHOD-ID.      M5515.
000011 DATA          DIVISION.
000012 LINKAGE        SECTION.
000013 01 LK1         USAGE OBJECT REFERENCE CLASS OF SELF.
000014 01 LK2         PIC S9(4) BINARY.
000015 PROCEDURE      DIVISION USING LK1 LK2.
000016      DISPLAY "PARAMETER ERROR".
000017 END METHOD      M5515.
```

```
000018 END OBJECT.  
000019 END CLASS      C5515.
```

C5515.cob 15: JMN5515I-S 手続き部見出しのUSING指定の作用対象'LK1'には, SELF, FACTORY OF SELFおよびCLASS OF SELFは記述できません.

2.6.83 JMN5516I-S

RETURNING指定の作用対象は, USING指定の作用対象と同じであってはなりません.

例題

```
[C5516.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 CLASS-ID.      C5516.  
000003 ENVIRONMENT   DIVISION.  
000004 IDENTIFICATION DIVISION.  
000005 OBJECT.  
000006 DATA         DIVISION.  
000007 WORKING-STORAGE SECTION.  
000008 PROCEDURE     DIVISION.  
000009 IDENTIFICATION DIVISION.  
000010 METHOD-ID.     M5516.  
000011 DATA         DIVISION.  
000012 LINKAGE       SECTION.  
000013 01 LK1        PIC S9(4) DISPLAY.  
000014 01 LK2        PIC X(4).  
000015 PROCEDURE     DIVISION  
000016               USING LK1 RETURNING LK1.  
000017       DISPLAY "PARAMETER ERROR".  
000018 END METHOD      M5516.  
000019 END OBJECT.  
000020 END CLASS      C5516.
```

C5516.cob 16: JMN5516I-S RETURNING指定の作用対象は, USING指定の作用対象と同じであってはなりません.

詳細な説明

別の項目を指定してください.

2.6.84 JMN5517I-S

@1@の手続き部見出しには, @2@指定を記述することはできません.

埋め込みの説明

@1@ : ファクトリ定義, スタティック定義, オブジェクト定義またはインタフェース定義.

@2@ : USING, RETURNINGまたはWITH.

2.6.85 JMN5518I-S

@1@の手続き部には宣言部分は記述できません.

埋め込みの説明

@1@ : ファクトリ定義またはオブジェクト定義.

例題

```
[C5518.cob]  
000001 IDENTIFICATION DIVISION.  
000002 CLASS-ID.      C5518.  
000003 ENVIRONMENT   DIVISION.
```

```

000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 IDENTIFICATION DIVISION.
000006 OBJECT.
000007 DATA DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 DECLARATIVES.
000011 ERR-1 SECTION.
000012 USE AFTER EXCEPTION C5518.
000013 DISPLAY "*** ERROR ***".
000014 END DECLARATIVES.
000015 END OBJECT.
000016 END CLASS C5518.

```

C5518.cob 10: JMN5518I-S オブジェクト定義の手続き部には宣言部分は記述できません。

詳細な説明

記述できるのは、手続き部見出しだけです。

2.6.86 JMN5519I-S

EXIT PROGRAM文はメソッド定義に指定できません。

例題

```

[C5519.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID. C5519.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 IDENTIFICATION DIVISION.
000006 OBJECT.
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008 IDENTIFICATION DIVISION.
000009 METHOD-ID. M5519.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 EXIT PROGRAM
000012 END METHOD M5519.
000013 END OBJECT.
000014 END CLASS C5519.

```

C5519.cob 11: JMN5519I-S EXIT PROGRAM文はメソッド定義に指定できません。

詳細な説明

EXIT PROGRAM文は、プログラム定義の手続き部に記述します。

2.6.87 JMN5520I-S

EXIT METHOD文は、メソッドの手続き部以外に指定できません。

例題

```

[P5520.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P5520.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 DATA DIVISION.
000005 PROCEDURE DIVISION.
000006 EXIT METHOD
000007 END PROGRAM P5520.

```

P5520.cob 6: JMN5520I-S EXIT METHOD文は、メソッドの手続き部以外に指定できません。

2.6.88 JMN5521I-S

'@1@'はリポジトリ段落で指定されたクラスの名前でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : RAISING指定に指定されたデータ名。

例題

```
[P5521.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5521.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA             DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDA1           PIC X(10).
000007 PROCEDURE         DIVISION
000008                     RAISING WDA1.
000009 END PROGRAM       P5521.
```

P5521.cob 8: JMN5521I-S 'WDA1'はリポジトリ段落で指定されたクラスの名前でなければなりません。

詳細な説明

手続き部見出しのRAISING指定には、環境部のリポジトリ段落のクラス指定子で宣言したクラス名を指定します。

2.6.89 JMN5522I-S

クラス名 '@1@' は特殊クラスを識別する名前であってはなりません。

埋め込みの説明

@1@ : クラス名として記述された利用者語。

例題

```
[C5522.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.       C5522.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS COM AS "*OLE".
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
000008 OBJECT.
000009 DATA            DIVISION.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 PROCEDURE        DIVISION.
000012 IDENTIFICATION DIVISION.
000013 METHOD-ID.        M5522.
000014 DATA            DIVISION.
000015 PROCEDURE        DIVISION
000016                 RAISING COM.
000017 DISPLAY "PARAMETER ERROR".
000018 END METHOD         M5522.
000019 END OBJECT.
000020 END CLASS C5522.
```

C5522.cob 16: JMN5522I-S クラス名 'COM' は特殊クラスを識別する名前であってはなりません。

詳細な説明

手続き部見出しのRAISING指定、あるいは例外オブジェクトのUSE文に指定するクラス名は、特殊クラスのクラス名であってはなりません。

環境部のリポジトリ段落のクラス指定子の定数の値が以下のいずれかである場合、そのクラス名は特殊クラスのクラス名になります。

- `"*COM"` (または`"*OLE"`)
- `"*COM-ARRAY"` (または`"*OLE-ARRAY"`)
- `"*COM-EXCEPTION"` (または`"*OLE-EXCEPTION"`)
- `"*COB-BINDTABLE"`
- `"*COM:COMサーバ名:COMクラス名"` (COMサーバ名=型ライブラリとの対応付けに使用する任意の名前, COMクラス名=dispinterface名またはcoclass名)

2.6.90 JMN5525I-S

@1@の直後の一意名はオブジェクト一意名でなければなりません。@1@文を無効とします。

埋め込みの説明

@1@ : INVOKE.

例題

```
[P5525.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5525.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WDX             PIC X(08).
000006 PROCEDURE         DIVISION.
000007     INVOKE WDX "M5525".
000008 END PROGRAM      P5525.
```

P5525.cob 7: JMN5525I-S INVOKEの直後の一意名はオブジェクト一意名でなければなりません。INVOKE文を無効とします。

詳細な説明

INVOKEの直後に指定したオブジェクト一意名によって、実行したい手続き(メソッド)を持つオブジェクトを識別します。

2.6.91 JMN5526I-S

INVOKE文のメソッド名の指定は、一意名、文字定数または日本語文字定数でなければなりません。INVOKE文を無効とします。

例題

```
[P5526.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5526.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WOBX             USAGE OBJECT REFERENCE.
000006 PROCEDURE         DIVISION.
000007 L5526.
000008     INVOKE WOBX L5526.
000009 END PROGRAM      P5526.
```

P5526.cob 8: JMN5526I-S INVOKE文のメソッド名の指定は、一意名、文字定数または日本語文字定数でなければなりません。INVOKE文を無効とします。

2.6.92 JMN5527I-S

INVOKE文に一意名 '@1@' が指定された場合、INVOKEの直後の一意名は他の選択指定を持たないUSAGE OBJECT REFERENCE句が記述された一意名でなければなりません。INVOKE文を無効とします。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となった一意名。

例題

```
[C5527.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5527.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE         DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID.         M5527.
000008 ENVIRONMENT       DIVISION.
000009 DATA              DIVISION.
000010 LINKAGE            SECTION.
000011 PROCEDURE         DIVISION.
000012 END METHOD         M5527.
000013 END OBJECT.
000014 END CLASS         C5527.
```

```
[P5527.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5527.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS C5527.
000007 DATA            DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 WOBX          OBJECT REFERENCE C5527.
000010 01 WMET          PIC X(8).
000011 PROCEDURE        DIVISION.
000012 MOVE "M5527" TO WMET
000013 INVOKE WOBX WMET
000014 END PROGRAM      P5527.
```

P5527.cob 13: JMN5527I-S INVOKE文に一意名 'WMET' が指定された場合、INVOKEの直後の一意名は他の選択指定を持たないUSAGE OBJECT REFERENCE句が記述された一意名でなければなりません。INVOKE文を無効とします。

詳細な説明

「他の選択指定のないUSAGE OBJECT REFERENCE句」とは、以下のいずれも同時に指定されていないUSAGE OBJECT REFERENCE句のことです。

- SELF
- FACTORY OF SELF
- CLASS OF SELF
- クラス名
- クラス名 ONLY
- FACTORY OF クラス名
- FACTORY OF クラス名 ONLY

2.6.93 JMN5528I-S

メソッド定義の手続き部見出しのRETURNING指定にポインタデータ項目は指定できません。

例題

```
[C5528.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5528.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE          DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID.          METHOD01.
000008 DATA              DIVISION.
000009 LINKAGE            SECTION.
000010 01 LKD1            POINTER.
000011 PROCEDURE          DIVISION
000012                     RETURNING LKD1.
000013 END METHOD METHOD01.
000014 END OBJECT.
000015 END CLASS          C5528.
```

C5528.cob 12: JMN5528I-S メソッド定義の手続き部見出しのRETURNING指定にポインタデータ項目は指定できません。

2.6.94 JMN5530I-S

定義済みオブジェクト一意名SUPERは、INVOKE文またはメソッドの行内呼び出しのメソッド呼び出しのオブジェクトとして、またはオブジェクトプロパティのオブジェクトとしてだけ使用できます。@1@文は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : 定義済みオブジェクト一意名SUPERを参照した文。

例題

```
[C5530.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5530 INHERITS FJBASE.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 CONFIGURATION      SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS FJBASE.
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
000008 OBJECT.
000009 ENVIRONMENT        DIVISION.
000010 DATA              DIVISION.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 PROCEDURE          DIVISION.
000013 IDENTIFICATION DIVISION.
000014 METHOD-ID.          M5530.
000015 ENVIRONMENT        DIVISION.
000016 DATA              DIVISION.
000017 WORKING-STORAGE SECTION.
000018 01 WOBJ            OBJECT REFERENCE.
000019 PROCEDURE          DIVISION.
000020 SET WOBJ TO SUPER.
000021 END METHOD          M5530.
000022 END OBJECT.
000023 END CLASS          C5530.
```

C5530.cob 20: JMN5530I-S 定義済みオブジェクト一意名SUPERは、INVOKE文またはメソッドの行内呼び出しのメソッド呼び出しのオブジェクトとして、またはオブジェクトプロパティのオブジェクトとしてだけ使用できます。SET文は無効になります。

2.6.95 JMN5531I-S

定義済みオブジェクト一意名@1@はプログラム定義中では使用できません。型付けされていないオブジェクト参照データ項目'UNtyped-OBJECT'が指定されたものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : SELFまたはSUPER.

例題

```
[P5531.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID      P5531.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 PROCEDURE       DIVISION.
000007     INVOKE SELF "NO-METHOD".
000008 END PROGRAM      P5531.
```

P5531.cob 7: JMN5531I-S 定義済みオブジェクト一意名SELFはプログラム定義中では使用できません。型付けされていないオブジェクト参照データ項目'UNtyped-OBJECT'が指定されたものとみなします。

2.6.96 JMN5532I-S

複数のクラスを継承をしたクラスでは、定義済みオブジェクト一意名SUPERにクラス名指定が必要です。型付けされていないオブジェクト参照データ項目'UNtyped-OBJECT'が指定されたものとみなします。

例題

```
[C5532A.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID        C5532A.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE        DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID          M5532.
000008 ENVIRONMENT     DIVISION.
000009 DATA           DIVISION.
000010 LINKAGE         SECTION.
000011 PROCEDURE        DIVISION.
000012 END METHOD        M5532.
000013 END OBJECT.
000014 END CLASS        C5532A.
```

```
[C5532B.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID        C5532B.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE        DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID          M5532.
000008 ENVIRONMENT     DIVISION.
000009 DATA           DIVISION.
000010 LINKAGE         SECTION.
000011 PROCEDURE        DIVISION.
000012 END METHOD        M5532.
000013 END OBJECT.
000014 END CLASS        C5532B.
```



```
[C5532.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5532 INHERITS C5532A C5532B.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS C5532A
000007     CLASS C5532B.
000008 IDENTIFICATION DIVISION.
000009 OBJECT.
000010 PROCEDURE        DIVISION.
000011 IDENTIFICATION DIVISION.
000012 METHOD-ID.        M5532 OVERRIDE.
000013 ENVIRONMENT      DIVISION.
000014 DATA            DIVISION.
000015 LINKAGE          SECTION.
000016 PROCEDURE        DIVISION.
000017     INVOKE SUPER "M5532"
000018 END METHOD         M5532.
000019 END OBJECT.
000020 END CLASS         C5532.
```

C5532.cob 17: JMN5532I-S 複数のクラスを継承をしたクラスでは、定義済みオブジェクト一意名SUPERにクラス名指定が必要です。型付けされていないオブジェクト参照データ項目'UNtyped-OBJECT'が指定されたとみなします。

詳細な説明

CLASS-ID段落のINHERITS句に2つ以上のクラス名を指定して定義したクラスの中では、定義済みオブジェクト一意名SUPERによって親クラスを表現する場合は、「クラス名 OF SUPER」という書き方によって、どの親クラスを指すかを明に示さなければなりません。

2.6.97 JMN5533I-S

他のクラスを継承しないクラスでは、定義済みオブジェクト一意名SUPERは使用できません。型付けされていないオブジェクト参照データ項目'UNtyped-OBJECT'が指定されたとみなします。

例題

```
[C5533.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5533.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE        DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID.        M5533.
000008 DATA            DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 OBJFU          USAGE OBJECT REFERENCE CLASS OF SELF.
000011 PROCEDURE        DIVISION.
000012     INVOKE SUPER "NEW" RETURNING OBJFU.
000013 END METHOD         M5533.
000014 END OBJECT.
000015 END CLASS         C5533.
```

C5533.cob 12: JMN5533I-S 他のクラスを継承しないクラスでは、定義済みオブジェクト一意名SUPERは使用できません。型付けされていないオブジェクト参照データ項目'UNtyped-OBJECT'が指定されたとみなします。

詳細な説明

定義済みオブジェクト一意名SUPERは、親クラスを表します。他のクラスを継承していないクラス(親クラスがないクラス)では、定義済みオブジェクト一意名SUPERは使用できません。

2.6.98 JMN5534I-S

定義済みオブジェクト一意名EXCEPTION-OBJECTは、クラス名指定のUSE文に関連付けられた宣言部分だけで使用できます。型付けされていないオブジェクト参照データ項目'UNTYPED-OBJECT'が指定されたとみなします。

例題

```
[P5534.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID      P5534.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 PROCEDURE       DIVISION.
000005     INVOKE EXCEPTION-OBJECT "NO-METHOD"
000006 END PROGRAM      P5534.
```

P5534.cob 5: JMN5534I-S 定義済みオブジェクト一意名EXCEPTION-OBJECTは、クラス名指定のUSE文に関連付けられた宣言部分だけで使用できます。型付けされていないオブジェクト参照データ項目'UNTYPED-OBJECT'が指定されたとみなします。

2.6.99 JMN5535I-S

@2@は@1@文には記述できません。@1@文は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : SEARCH.

@2@ : 定義済みオブジェクト一意名SELF, 定義済みオブジェクト一意名SUPER, 定義済みオブジェクト一意名EXCEPTION-OBJECT, クラス名, メソッドの行内呼出し, オブジェクト指定子付きの一意名または定義済みオブジェクト一意名NULL.

例題

```
[C5535.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID        C5535.
000003 ENVIRONMENT     DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 DATA            DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 PROCEDURE       DIVISION.
000009 IDENTIFICATION DIVISION.
000010 METHOD-ID        M5535.
000011 ENVIRONMENT     DIVISION.
000012 DATA            DIVISION.
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 WGRP.
000015 02 WOCC          OCCURS 10 INDEXED BY IX1.
000016 03              PIC X.
000017 PROCEDURE       DIVISION.
000018     SEARCH SELF VARYING IX1
000019     WHEN WOCC(IX1) = "X"
000020     DISPLAY "FIND"
000021     END-SEARCH
000022 END METHOD        M5535.
000023 END OBJECT.
000024 END CLASS        C5535.
```

C5535.cob 18: JMN5535I-S 定義済みオブジェクト一意名SELFはSEARCH文には記述できません。SEARCH文は無効になります。

2.6.100 JMN5536I-S

定義済みオブジェクト一意名SUPERに指定したクラス名 '@1@' は、クラス定義の INHERITS 句に指定されたものでなければなりません。型付けされていないオブジェクトデータ項目 'UNtyped-OBJECT' が指定されたとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったクラス名。

例題

```
[C5536A. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5536A.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 DATA              DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE          DIVISION.
000008 END OBJECT.
000009 END CLASS          C5536A.
```

```
[C5536B. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5536B.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 DATA              DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE          DIVISION.
000008 END OBJECT.
000009 END CLASS          C5536B.
```

```
[C5536. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5536 INHERITS FJBASE C5536A.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 CONFIGURATION      SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS C5536A
000007     CLASS C5536B
000008     CLASS FJBASE.
000009 IDENTIFICATION DIVISION.
000010 OBJECT.
000011 PROCEDURE          DIVISION.
000012 IDENTIFICATION DIVISION.
000013 METHOD-ID.           M5536.
000014 ENVIRONMENT        DIVISION.
000015 DATA              DIVISION.
000016 LINKAGE              SECTION.
000017 PROCEDURE          DIVISION.
000018     INVOKE C5536B OF SUPER "M5536"
000019 END METHOD            M5536.
000020 END OBJECT.
000021 END CLASS          C5536.
```

C5536.cob 18: JMN5536I-S 定義済みオブジェクト一意名SUPERに指定したクラス名 'C5536B' は、クラス定義の INHERITS 句に指定されたものでなければなりません。型付けされていないオブジェクトデータ項目 'UNtyped-OBJECT' が指定されたとみなします。

2.6.101 JMN5537I-S

プロパティ抽出メソッドまたはプロパティ設定メソッドの手続き部見出しに、必要なパラメタがありません。パラメタとして1バイトの英数字項目が指定されたとみなします。

例題

```
[C5537. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5537.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 DATA              DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 WK1             PIC X(8).
000009 PROCEDURE          DIVISION.
000010 IDENTIFICATION DIVISION.
000011 METHOD-ID.          SET PROPERTY PR5537.
000012 DATA              DIVISION.
000013 PROCEDURE          DIVISION.
000014     MOVE SPACE TO WK1.
000015     EXIT METHOD.
000016 END METHOD.
000017 END OBJECT.
000018 END CLASS          C5537.
```

C5537.cob 11: JMN5537I-S プロパティ取出しメソッドまたはプロパティ設定メソッドの手続き部見出しに、必要なパラメタがありません。パラメタとして1バイトの英数字項目が指定されたとみなします。

詳細な説明

プロパティ取出しメソッド定義(METHOD-ID段落にGET指定を指定したメソッド定義)の手続き部見出しでは、RETURNING指定だけを指定します。

プロパティ設定メソッド定義(METHOD-ID段落にSET指定を指定したメソッド定義)の手続き部見出しでは、USING指定でパラメタを1個だけ指定します。

2.6.102 JMN5538I-S

@1@指定のメソッドの手続き部見出しには、1つの@2@パラメタだけを記述できます。

埋め込みの説明

@1@ : GETまたはSET.

@2@ : USINGまたはRETURNING.

例題

```
[C5538. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5538.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 DATA              DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 W5538            PIC S9(4) COMP-5.
000009 PROCEDURE          DIVISION.
000010 IDENTIFICATION DIVISION.
000011 METHOD-ID.          SET PROPERTY PR5538.
000012 DATA              DIVISION.
000013 LINKAGE             SECTION.
000014 01 LK1               PIC S9(4) COMP-5.
000015 01 LK2               PIC S9(4) COMP-5.
000016 PROCEDURE          DIVISION USING LK1
000017                     RETURNING LK2.
000018     MOVE LK1 TO W5538.
```

```
000019      EXIT METHOD.
000020 END METHOD.
000021 END OBJECT.
000022 END CLASS      C5538.
```

C5538.cob 11: JMN5538I-S SET指定のメソッドの手続き部見出しには、1つのUSINGパラメタだけを記述できます。

詳細な説明

プロパティ取出しメソッド定義(METHOD-ID段落にGET指定を指定したメソッド定義)の手続き部見出しでは、RETURNING指定だけを指定します。

プロパティ設定メソッド定義(METHOD-ID段落にSET指定を指定したメソッド定義)の手続き部見出しでは、USING指定でパラメタを1個だけ指定します。

2.6.103 JMN5539I-S

行内呼出し中でメソッドの呼出しに用いる一意名はオブジェクト参照一意名でなければなりません。行内呼出しは無効になります。

例題

```
[C5539. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C5539.
000003 ENVIRONMENT   DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 DATA          DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 PR5539      PIC S9(4) COMP-5 PROPERTY.
000009 PROCEDURE      DIVISION.
000010 IDENTIFICATION DIVISION.
000011 METHOD-ID.      M5539.
000012 DATA          DIVISION.
000013 LINKAGE        SECTION.
000014 01 LK1         PIC X(8).
000015 PROCEDURE      DIVISION RETURNING LK1.
000016     MOVE PR5539 OF SELF :: "M5539" TO LK1.
000017     EXIT METHOD.
000018 END METHOD      M5539.
000019 END OBJECT.
000020 END CLASS      C5539.
```

C5539.cob 16: JMN5539I-S 行内呼出し中でメソッドの呼出しに用いる一意名はオブジェクト参照一意名でなければなりません。行内呼出しは無効になります。

詳細な説明

行内呼出し演算子(連続したコロンの組「::」)の直前に指定したオブジェクト参照一意名によって、実行したい手続き(メソッド)を持つオブジェクトを識別します。

2.6.104 JMN5540I-S

定義済みオブジェクト一意名SUPERまたはNULLにオブジェクト指定子を指定することはできません。

例題

```
[C5540A. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C5540A.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE      DIVISION.
```

```

000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID.      M5540.
000008 PROCEDURE      DIVISION.
000009 END METHOD      M5540.
000010 END OBJECT.
000011 END CLASS      C5540A.

```

```

[C5540. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C5540 INHERITS FJBASE.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 CONFIGURATION  SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS C5540A
000007     CLASS FJBASE.
000008 IDENTIFICATION DIVISION.
000009 OBJECT.
000010 DATA          DIVISION.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 PROCEDURE      DIVISION.
000013 IDENTIFICATION DIVISION.
000014 METHOD-ID.      M5540.
000015 DATA          DIVISION.
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 01 OBJ         OBJECT REFERENCE.
000018 PROCEDURE      DIVISION.
000019     SET OBJ TO SUPER AS C5540A.
000020 END METHOD      M5540.
000021 END OBJECT.
000022 END CLASS      C5540.

```

C5540.cob 19: JMN5540I-S 定義済みオブジェクト一意名SUPERまたはNULLにオブジェクト指定子を指定することはできません。

詳細な説明

オブジェクト指定子は、ASの前に指定した一意名の型を、ASの後に指定した型に読み替える指定です。

定義済みオブジェクト一意名SUPERおよびNULLは、別の型で読み替えることはできません。

2.6.105 JMN5541I-S

オブジェクト指定子にはクラス名またはUNIVERSALが指定されなければなりません。UNIVERSALが指定されたものとみなします。

例題

```

[C5541. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C5541.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 CONFIGURATION  SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS FJBASE.
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
000008 OBJECT.
000009 PROCEDURE      DIVISION.
000010 IDENTIFICATION DIVISION.
000011 METHOD-ID.      M5541.
000012 DATA          DIVISION.
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 WOBK         OBJECT REFERENCE FJBASE.
000015 01 WCLS        PIC X(6) VALUE "FJBASE".
000016 PROCEDURE      DIVISION.
000017     SET WOBK TO SELF AS WCLS

```

```
000018 END METHOD      M5541.
000019 END OBJECT.
000020 END CLASS       C5541.
```

C5541.cob 17: JMN5541I-S オブジェクト指定子にはクラス名またはUNIVERSALが指定されなければなりません。UNIVERSALが指定されたものとみなします。

詳細な説明

オブジェクト指定子のASの後には、クラス名またはUNIVERSALを指定します。

2.6.106 JMN5542I-S

@1@はメソッドの行内呼び出しのメソッド呼び出しのオブジェクトとして、またはオブジェクトプロパティのオブジェクトとしては使用できません。

埋め込みの説明

@1@ : 定義済みオブジェクト一意名NULL.

例題

```
[C5542. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5542 INHERITS FJBASE.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS FJBASE.
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
000008 OBJECT.
000009 PROCEDURE        DIVISION.
000010 IDENTIFICATION DIVISION.
000011 METHOD-ID.        M5542.
000012 DATA            DIVISION.
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 WRT            PIC X(1).
000015 LINKAGE           SECTION.
000016 01 LK1             OBJECT REFERENCE FJBASE.
000017 01 LK2            PIC X(1).
000018 PROCEDURE        DIVISION
000019                     USING      LK1
000020                     RETURNING LK2.
000021     MOVE SELF :: "M5542" (NULL :: "NEW")
000022             TO WRT.
000023 END METHOD            M5542.
000024 END OBJECT.
000025 END CLASS         C5542.
```

C5542.cob 21: JMN5542I-S 定義済みオブジェクト一意名NULLはメソッドの行内呼び出しのメソッド呼び出しのオブジェクトとして、またはオブジェクトプロパティのオブジェクトとしては使用できません。

2.6.107 JMN5543I-S

@1@に指定する一意名は、リポジトリ段落に指定されたクラスを参照するオブジェクト参照でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : メソッドの行内呼び出しまたはオブジェクトプロパティ.

例題

```
[C5543. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000002 CLASS-ID.          C5543.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE          DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID.          M5543.
000008 DATA              DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 WOBR            USAGE OBJECT REFERENCE.
000011 01 WDA1            PIC X(20).
000012 PROCEDURE          DIVISION.
000013     MOVE WOBR :: "GETNAME" TO WDA1.
000014 END METHOD          M5543.
000015 END OBJECT.
000016 END CLASS          C5543.

```

C5543.cob 13: JMN5543I-S メソッドの行内呼出しに指定する一意名は、リポジット段落に指定されたクラスを参照するオブジェクト参照でなければなりません。

2.6.108 JMN5544I-S

@1@の手続き部には手続き部見出ししか記述できません。

埋め込みの説明

@1@ : メソッド原型定義。

例題

```

[C5544. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5544.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 PROCEDURE          DIVISION.
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
000008 METHOD-ID.          M5544 PROTOTYPE.
000009 DATA              DIVISION.
000010 LINKAGE            SECTION.
000011 01 LK1             PIC X(4).
000012 PROCEDURE          DIVISION RETURNING LK1.
000013     EXIT METHOD.
000014 END METHOD          M5544.
000015 END OBJECT.
000016 END CLASS          C5544.

```

C5544.cob 12: JMN5544I-S メソッド原型定義の手続き部には手続き部見出ししか記述できません。

2.6.109 JMN5545I-S

USE FOR DEAD-LOCK文は、プログラム定義だけに記述できます。

例題

```

[C5545. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5545.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE          DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID.          M5545.

```



```

000008 PROCEDURE      DIVISION.
000009 DECLARATIVES.
000010 DEAD-LOCK-ERR SECTION.
000011      USE FOR DEAD-LOCK
000012      DISPLAY "***** 結果 NG *****" .
000013 END DECLARATIVES.
000014 END METHOD      M5545.
000015 END OBJECT.
000016 END CLASS      C5545.

```

C5545.cob 11: JMN5545I-S USE FOR DEAD-LOCK文は、プログラム定義だけに記述できます。

2.6.110 JMN5546I-S

メソッド'@1@'のインタフェースは、再定義されるメソッドのインタフェースに適合していなければなりません。メソッド'@1@'は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったメソッド名。

例題

```

[C5546A.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C5546A.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE      DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID.      M5546.
000008 DATA          DIVISION.
000009 LINKAGE          SECTION.
000010 01 LK1          PIC X(2).
000011 PROCEDURE      DIVISION RETURNING LK1.
000012 END METHOD      M5546.
000013 END OBJECT.
000014 END CLASS      C5546A.

```

```

[C5546.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C5546 INHERITS C5546A.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006      CLASS C5546A.
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
000008 OBJECT.
000009 PROCEDURE      DIVISION.
000010 IDENTIFICATION DIVISION.
000011 METHOD-ID.      M5546 OVERRIDE.
000012 DATA          DIVISION.
000013 LINKAGE          SECTION.
000014 01 LK1          PIC X(2).
000015 PROCEDURE      DIVISION USING LK1.
000016 END METHOD      M5546.
000017 END OBJECT.
000018 END CLASS      C5546.

```

C5546.cob 11: JMN5546I-S メソッド'M5546'のインタフェースは、再定義されるメソッドのインタフェースに適合していなければなりません。メソッド'M5546'は無効になります。

詳細な説明

OVERRIDE指定を指定したメソッド定義の手続き部見出しは、置き換えの対象である親クラスのメソッドと同じパラメタインタフェースになるように記述します。

2.6.111 JMN5547I-S

@1@の手続き部見出しがありません。手続き部見出しがあるものとみなします。

埋め込みの説明

@1@ : ファクトリ定義またはオブジェクト定義。

例題

```
[C5547. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5547.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 IDENTIFICATION DIVISION.
000006 METHOD-ID.         M5547.
000007 DATA              DIVISION.
000008 LINKAGE            SECTION.
000009 01 LK1             PIC X(10).
000010 PROCEDURE          DIVISION RETURNING LK1.
000011 END METHOD          M5547.
000012 END OBJECT.
000013 END CLASS         C5547.
```

C5547.cob 6: JMN5547I-S オブジェクト定義の手続き部見出しがありません。手続き部見出しがあるものとみなします。

詳細な説明

クラス定義内でメソッド定義を記述する場合は、これらのソース単位の手続き部見出しに続いて、メソッド定義を記述します。

2.6.112 JMN5548I-S

手続き部見出しのRAISING指定のクラス名は、メソッド原型定義時の指定と同じでなければなりません。指定されたとおりに受け入れます。

例題

```
[C5548. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5548 INHERITS FJBASE.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 CONFIGURATION      SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS FJBASE.
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
000008 OBJECT.
000009 PROCEDURE          DIVISION.
000010 IDENTIFICATION DIVISION.
000011 METHOD-ID.         M5548 PROTOTYPE.
000012 DATA              DIVISION.
000013 PROCEDURE          DIVISION
000014                     RAISING FJBASE.
000015 END METHOD          M5548.
000016 END OBJECT.
000017 END CLASS         C5548.
```

```
[M5548. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000002 METHOD-ID.      M5548 OF C5548.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 CONFIGURATION  SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006      CLASS C5548.
000007 DATA          DIVISION.
000008 PROCEDURE      DIVISION
000009                RAISING C5548.
000010 END METHOD      M5548.

```

M5548.cob 2: JMN5548I-S 手続き部見出しのRAISING指定のクラス名は、メソッド原型定義時の指定と同じでなければなりません。指定されたとおりに受け入れます。

詳細な説明

分離されたメソッド定義の手続き部見出しのRAISING指定に指定するクラス名は、このメソッド定義に対応するメソッド原型定義(METHOD-ID段落にPROTOTYPE指定を指定した定義)の手続き部見出しのRAISING指定に指定されたクラス名と同じでなければなりません。

2.6.113 JMN5549I-S

@1@の手続き部にはメソッド定義だけが記述できます。

埋め込みの説明

@1@ : ファクトリ定義またはオブジェクト定義。

例題

```

[C5549. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C5549.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE      DIVISION.
000006      DISPLAY "OBJECT DEFINITION".
000007 END OBJECT.
000008 END CLASS      C5549.

```

C5549.cob 5: JMN5549I-S オブジェクト定義の手続き部にはメソッド定義だけが記述できます。

2.6.114 JMN5550I-S

@1@文の'@2@'はUSING指定に記述できません。 @1@文を無効とします。

埋め込みの説明

@1@ : INVOKEまたはCALL。

@2@ : @1@に指定されたエラーの原因となった語。

例題

```

[P5550. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5550.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000005 FILE-CONTROL.
000006      SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000007 I-O-CONTROL.
000008 DATA              DIVISION.
000009 FILE                SECTION.
000010 FD SQFILE1.

```

```

000011 01 SQF1REC.
000012 02          PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 WOBR      OBJECT REFERENCE.
000015 PROCEDURE     DIVISION.
000016      INVOKE WOBR "M5550" USING SQFILE1.
000017 END PROGRAM   P5550.

```

P5550.cob 16: JMN5550I-S INVOKE文の'SQFILE1'はUSING指定に記述できません。INVOKE文を無効とします。

2.6.115 JMN5551I-S

@1@文のBY REFERENCE指定には、定数、定義済みオブジェクト一意名またはクラス名を記述できません。@1@文を無効とします。

埋め込みの説明

@1@ : INVOKEまたはCALL.

例題

```

[P5551.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5551.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006      CLASS FJBASE.
000007 DATA            DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 WOBR          OBJECT REFERENCE.
000010 PROCEDURE        DIVISION.
000011      INVOKE WOBR "M5551" USING BY REFERENCE 123.
000012 END PROGRAM     P5551.

```

P5551.cob 11: JMN5551I-S INVOKE文のBY REFERENCE指定には、定数、定義済みオブジェクト一意名またはクラス名を記述できません。INVOKE文を無効とします。

2.6.116 JMN5552I-S

@1@文に条件指定は記述できません。@1@文を無効とします。

埋め込みの説明

@1@ : INVOKE.

例題

```

[P5552.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5552.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WOBR          OBJECT REFERENCE.
000006 PROCEDURE        DIVISION.
000007      INVOKE WOBR "M5552"
000008      ON EXCEPTION DISPLAY "NG".
000009      INVOKE WOBR "M5552"
000010      ON OVERFLOW DISPLAY "NG".
000011 END PROGRAM     P5552.

```

P5552.cob 7: JMN5552I-S INVOKE文に条件指定は記述できません。INVOKE文を無効とします。

P5552.cob 9: JMN5552I-S INVOKE文に条件指定は記述できません。INVOKE文を無効とします。

詳細な説明

ここでの条件指定とは、次の指定を指します。

- ON OVERFLOW指定
- ON EXCEPTION指定

2.6.117 JMN5553I-S

@1@文のUSING指定の位置に誤りがあります。@1@文を無効とします。

埋め込みの説明

@1@ : INVOKE.

例題

```
[P5553.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5553.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WOBX           OBJECT REFERENCE.
000006 01 WPR1           PIC X(08).
000007 01 WRT            PIC X(08).
000008 PROCEDURE         DIVISION.
000009     INVOKE WOBX "M5553" RETURNING WRT
000010                     USING      WPR1.
000011 END PROGRAM      P5553.
```

P5553.cob 10: JMN5553I-S INVOKE文のUSING指定の位置に誤りがあります。INVOKE文を無効とします。

詳細な説明

USING指定は、RETURNING指定の後に指定してはなりません。

2.6.118 JMN5555I-S

[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

@1@文のRETURNINGに指定可能な一意名は、ファイル節、作業場所節または連絡節で定義されたデータ項目でなければなりません。@1@文を無効とします。

[Linux64]

@1@文のRETURNINGに指定可能な一意名は、ファイル節、作業場所節、局所記憶節または連絡節で定義されたデータ項目でなければなりません。@1@文を無効とします。

埋め込みの説明

@1@ : INVOKEまたはCALL.

例題

```
[P5555.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5555.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 01 WOBX           OBJECT REFERENCE.
000006 CONSTANT          SECTION.
000007 01 CNST-DATA     PIC X(10) VALUE "XXX".
000008 PROCEDURE         DIVISION.
000009     INVOKE WOBX "M5555" RETURNING CNST-DATA.
000010 END PROGRAM      P5555.
```

- [\[Solaris\]](#)[\[Solaris64\]](#)[\[Linux\]](#)[\[LinuxIPF\]](#)

P5555.cob 9: JMN5555I-S INVOKE文のRETURNINGに指定可能な一意名は、ファイル節、作業場所節または連絡節で定義されたデータ項目でなければなりません。INVOKE文を無効とします。

- [\[Linux64\]](#)

P5555.cob 9: JMN5555I-S INVOKE文のRETURNINGに指定可能な一意名は、ファイル節、作業場所節、局所記憶節または連絡節で定義されたデータ項目でなければなりません。INVOKE文を無効とします。

2.6.119 JMN5556I-S

INVOKE文の直後の一意名のメソッドの結果はオブジェクト一意名でなければなりません。INVOKE文を無効とします。

例題

```
[C5556.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5556.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE          DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID.          M5556A.
000008 ENVIRONMENT        DIVISION.
000009 DATA               DIVISION.
000010 LINKAGE             SECTION.
000011 01 LK1              OBJECT REFERENCE C5556.
000012 PROCEDURE          DIVISION RETURNING LK1.
000013 END METHOD           M5556A.
000014 IDENTIFICATION DIVISION.
000015 METHOD-ID.          M5556B.
000016 ENVIRONMENT        DIVISION.
000017 DATA               DIVISION.
000018 LINKAGE             SECTION.
000019 01 LK1              PIC X(10).
000020 PROCEDURE          DIVISION RETURNING LK1.
000021 END METHOD           M5556B.
000022 END OBJECT.
000023 END CLASS           C5556.
```

```
[P5556.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.        P5556.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 CONFIGURATION       SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS C5556.
000007 DATA               DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 WOBK             OBJECT REFERENCE C5556.
000010 PROCEDURE          DIVISION.
000011*
000012 INVOKE WOBK::"M5556A" "M5556B".
000013*
000014 INVOKE WOBK::"M5556B" "M5556A".
000015 END PROGRAM          P5556.
```

P5556.cob 14: JMN5556I-S INVOKE文の直後の一意名のメソッドの結果はオブジェクト一意名でなければなりません。INVOKE文を無効とします。

詳細な説明

INVOKE文の直後の一意名が、メソッドの行内呼出し、あるいはオブジェクトプロパティであり、かつ、その行内呼出しまたはオブジェクトプロパティの返却項目の属性がオブジェクトを識別するものではなかった場合に、この診断メッセージが出力されます。

2.6.120 JMN5557I-S

分離されたメソッド定義のインタフェースは、メソッド原型のインタフェースに適合していなければなりません。

例題

```
[C5557.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5557.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 PROCEDURE          DIVISION.
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
000008 METHOD-ID.          M5557 PROTOTYPE.
000009 DATA              DIVISION.
000010 LINKAGE            SECTION.
000011 01 LK1             PIC 9(4).
000012 PROCEDURE          DIVISION USING LK1.
000013 END METHOD          M5557.
000014 END OBJECT.
000015 END CLASS          C5557.
```

```
[M5557.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 METHOD-ID.          M5557 OF C5557.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 CONFIGURATION      SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS C5557.
000007 DATA              DIVISION.
000008 PROCEDURE          DIVISION.
000009 DISPLAY "NOT CONFORM".
000010 END METHOD          M5557.
```

M5557.cob 2: JMN5557I-S 分離されたメソッド定義のインタフェースは、メソッド原型のインタフェースに適合していなければなりません。

詳細な説明

分離されたメソッド定義の手続き部見出しと、これに対応するメソッド原型定義の手続き部見出しは、以下の点で一致していなければなりません。

- ・ USING指定およびRETURNING指定の有無
- ・ USING指定に指定したパラメタの個数、および、対応する順序位置にあるそれぞれのパラメタの属性

2.6.121 JMN5559I-S

ENTRY文を含むプログラム定義の手続き部見出しには、RETURNING指定は記述できません。RETURNING指定は無効になります。

例題

```
[P5559.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.        P5559.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 DATA              DIVISION.
000005 LINKAGE            SECTION.
000006 01 LK1             PIC X(8).
000007 01 LK2             PIC S9(8) BINARY.
000008 PROCEDURE          DIVISION
000009                     RETURNING LK1.
000010 DISPLAY "MAIN ENTRY"
```

```

000011    EXIT PROGRAM.
000012    ENTRY "P5559SUB".
000013    DISPLAY "SECONDARY ENTRY".
000014    EXIT PROGRAM.
000015 END PROGRAM      P5559.

```

P5559.cob 8: JMN5559I-S ENTRY文を含むプログラム定義の手続き部見出しには、RETURNING指定は記述できません。RETURNING指定は無効になります。

2.6.122 JMN5560I-S

@1@に指定したメソッド名'@2@'が親クラスまたは親クラスの継承したクラスに定義されていません。@1@を無効とします。

埋め込みの説明

@1@ : INVOKE文またはメソッドの行内呼出し。

@2@ : エラーの原因となったメソッド名。

例題

```

[C5560.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5560 INHERITS FJBASE.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006    CLASS FJBASE.
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
000008 OBJECT.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 IDENTIFICATION DIVISION.
000011 METHOD-ID.          M5560.
000012 DATA              DIVISION.
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 WX              PIC X(4).
000015 PROCEDURE DIVISION.
000016    INVOKE SUPER "M5560".
000017 END METHOD          M5560.
000018 END OBJECT.
000019 END CLASS          C5560.

```

C5560.cob 16: JMN5560I-S INVOKE文に指定したメソッド名'M5560'が親クラスまたは親クラスの継承したクラスに定義されていません。INVOKE文を無効とします。

詳細な説明

定義済みオブジェクト一意名SUPERは、親クラスを表します。定義済みオブジェクト一意名SUPERを指定してメソッドを呼び出す場合、呼び出す対象のメソッドは、上位クラス(親クラスまたは親クラスが継承するクラス)に存在していなければなりません。

2.6.123 JMN5561I-S

メソッドの行内呼出しに指定するメソッド名は文字定数または日本語文字定数でなければなりません。メソッドの行内呼出しを無効とします。

例題

```

[C5561.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5561.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.

```



```

000007 METHOD-ID.      M5561.
000008 DATA          DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 WMETNM      PIC X(8).
000011 01 WX          PIC X(4).
000012 PROCEDURE      DIVISION.
000013     MOVE SELF  :: WMETNM TO WX.
000014 END METHOD      M5561.
000015 END OBJECT.
000016 END CLASS      C5561.

```

C5561.cob 13: JMN5561I-S メソッドの行内呼出しに指定するメソッド名は文字定数または日本語文字定数でなければなりません。メソッドの行内呼出しを無効とします。

2.6.124 JMN5562I-S

@1@は@2@の引数に指定できません。

埋め込みの説明

@1@: メソッドの行内呼出し, オブジェクトプロパティ, オブジェクト指定子付きの一意名, 算術式またはエラーの原因となった関数名.

@2@: メソッドの行内呼出し, FUNCTION ADDR, FUNCTION LENGまたはFUNCTION LENGTH.

例題

```

[C5562.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C5562.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID.      M5562.
000008 DATA          DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 WX          PIC X(4).
000011 LINKAGE        SECTION.
000012 01 LX1        PIC X(4).
000013 01 LX2        PIC X(4).
000014 PROCEDURE      DIVISION
000015                USING    LX1
000016                RETURNING LX2.
000017     MOVE SELF  :: "M5562" (SELF :: "M5562"(WX)) TO WX.
000018 END METHOD      M5562.
000019 END OBJECT.
000020 END CLASS      C5562.

```

C5562.cob 17: JMN5562I-S メソッドの行内呼出しはメソッドの行内呼出しの引数に指定できません。

2.6.125 JMN5563I-S

@1@は@2@の一意名に指定できません。

埋め込みの説明

@1@: メソッドの行内呼出しまたはオブジェクトプロパティ.

@2@: ADDRESS OFまたはLENGTH OF.

例題

```

[C5563.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.

```

```

000002 CLASS-ID.          C5563.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID.          M5563.
000008 DATA              DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 WPX              POINTER.
000011 LINKAGE             SECTION.
000012 01 LX1              PIC X(4).
000013 01 LX2              PIC X(4).
000014 PROCEDURE          DIVISION
000015                     USING LX1
000016                     RETURNING LX2.
000017     SET WPX TO ADDRESS OF SELF :: "M5563" (LX1).
000018 END METHOD           M5563.
000019 END OBJECT.
000020 END CLASS           C5563.

```

C5563.cob 17: JMN5563I-S メソッドの行内呼出しはADDRESS OFの一意名に指定できません。

2.6.126 JMN5564I-S

プロパティ名 '@1@' が '@2@' です。

埋め込みの説明

@1@ : エラーの原因となったプロパティ名。

@2@ : 未定義または多重定義。

例題

```

[C5564.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5564.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID.          M5564.
000008 DATA              DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 WX              PIC X(4).
000011 LINKAGE             SECTION.
000012 01 LX1              PIC X(4).
000013 01 LX2              PIC X(4).
000014 PROCEDURE          DIVISION
000015                     USING LX1
000016                     RETURNING LX2.
000017     MOVE PR5564 OF SELF TO WX.
000018 END METHOD           M5564.
000019 END OBJECT.
000020 END CLASS           C5564.

```

C5564.cob 17: JMN5564I-S プロパティ名 'PR5564' が未定義です。

2.6.127 JMN5565I-S

[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

メソッドの行内呼出しの引数に指定するデータ項目は、ファイル節、作業場所節または連絡節で定義されていなければなりません。

[Linux64]

メソッドの行内呼出しの引数に指定するデータ項目は、ファイル節、作業場所節、局所記憶節または連絡節で定義されていなければなりません。

例題

```
[C5565.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID          C5565.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE        DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID.       M5565.
000008 DATA            DIVISION.
000009 LINKAGE          SECTION.
000010 01 LK1           PIC X(6).
000011 01 LK2           PIC X(8).
000012 PROCEDURE        DIVISION USING LK1
000013                                RETURNING LK2.
000014 END METHOD        M5565.
000015 END OBJECT.
000016 END CLASS        C5565.
```

```
[P5565.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5565.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS C5565.
000007 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000008 FILE-CONTROL.
000009 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000010 DATA             DIVISION.
000011 FILE              SECTION.
000012 FD REPFIL REPORT IS REP1.
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 YYMMDD         PIC X(6).
000015 01 YYYYMMDD       PIC X(8).
000016 01 WOBK          OBJECT REFERENCE C5565.
000017 REPORT           SECTION.
000018 RD REP1 PAGE 66
000019 FIRST DETAIL 6.
000020 01 PH-ITEM TYPE PH.
000021 02 LINE 2.
000022 03 DATA1        COLUMN 50 PIC X(6) SOURCE YYMMDD.
000023 PROCEDURE        DIVISION.
000024 MOVE WOBK :: "M5565" (DATA1) TO YYYYMMDD
000025 END PROGRAM       P5565.
```

- [Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

P5565.cob 24: JMN5565I-S メソッドの行内呼出しの引数に指定するデータ項目は、ファイル節、作業場所節または連絡節で定義されていなければなりません。

- [Linux64]

P5565.cob 24: JMN5565I-S メソッドの行内呼出しの引数に指定するデータ項目は、ファイル節、作業場所節、局所記憶節または連絡節で定義されていなければなりません。

2.6.128 JMN5566I-S

[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

メソッドの行内呼出しの引数は、SELF, EXCEPTION-OBJECT, NULL, リポジトリ段落で指定されたクラス名, ファイル節, 作業場所節または連絡節で定義されたデータ項目, または定数でなければなりません。

[Linux64]

メソッドの行内呼出しの引数は、SELF, EXCEPTION-OBJECT, NULL, リポジトリ段落で指定されたクラス名, ファイル節, 作業場所節, 局所記憶節または連絡節で定義されたデータ項目, または定数でなければなりません。

例題

```
[C5566.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5566.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE          DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID.         M5566.
000008 ENVIRONMENT       DIVISION.
000009 DATA              DIVISION.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01 WGP.
000012 02 WOCC            PIC X(1) OCCURS 10 INDEXED BY IX1.
000013 LINKAGE            SECTION.
000014 01 LK1             PIC S9(9) COMP-5.
000015 01 LK2             PIC X(9).
000016 PROCEDURE          DIVISION USING LK1
000017                                RETURNING LK2.
000018    MOVE SELF :: "M5566" (IX1) TO LK2.
000019 END METHOD          M5566.
000020 END OBJECT.
000021 END CLASS          C5566.
```

- **[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]**

C5566.cob 18: JMN5566I-S メソッドの行内呼出しの引数は、SELF, EXCEPTION-OBJECT, NULL, リポジトリ段落で指定されたクラス名, ファイル節, 作業場所節または連絡節で定義されたデータ項目, または定数でなければなりません。

- **[Linux64]**

C5566.cob 18: JMN5566I-S メソッドの行内呼出しの引数は、SELF, EXCEPTION-OBJECT, NULL, リポジトリ段落で指定されたクラス名, ファイル節, 作業場所節, 局所記憶節または連絡節で定義されたデータ項目, または定数でなければなりません。

2.6.129 JMN5567I-S

メソッドの行内呼出しの引数に指定するクラス名は、特殊クラスのクラス名であってはなりません。

例題

```
[C5567.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5567.
000003 ENVIRONMENT       DIVISION.
000004 CONFIGURATION      SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006    CLASS EXCEL AS "*OLE".
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
000008 OBJECT.
000009 PROCEDURE          DIVISION.
000010 IDENTIFICATION DIVISION.
000011 METHOD-ID.         M5567A.
000012 DATA              DIVISION.
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 PROCEDURE          DIVISION.
000015    DISPLAY SELF :: "M5567B" (EXCEL)
```

```

000016 END METHOD      M5567A.
000017 IDENTIFICATION DIVISION.
000018 METHOD-ID.      M5567B.
000019 DATA          DIVISION.
000020 LINKAGE         SECTION.
000021 01 WOBJ         OBJECT REFERENCE.
000022 01 WRTSTR       PIC X(2).
000023 PROCEDURE      DIVISION
000024                  USING WOBJ
000025                  RETURNING WRTSTR.
000026 END METHOD      M5567B.
000027 END OBJECT.
000028 END CLASS      C5567.

```

C5567.cob 15: JMN5567I-S メソッドの行内呼出しの引数に指定するクラス名は、特殊クラスのクラス名であってはいけません。

詳細な説明

環境部のリポジトリ段落のクラス指定子の定数の値が以下のいずれかである場合、そのクラス名は特殊クラスのクラス名になります。

- `"*COM"` (または`"*OLE"`)
- `"*COM-ARRAY"` (または`"*OLE-ARRAY"`)
- `"*COM-EXCEPTION"` (または`"*OLE-EXCEPTION"`)
- `"*COB-BINDTABLE"`
- `"*COM:COMサーバ名:COMクラス名"` (COMサーバ名=型ライブラリとの対応付けに使用する任意の名前, COMクラス名=dispinterface名またはcoclass名)

2.6.130 JMN5568I-S

スクリーン機能を使用する@1@文は、プログラム定義だけに使用できます。

埋め込みの説明

@1@ : ACCEPTまたはDISPLAY.

例題

```

[C5568.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C5568.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID.      M5568.
000008 DATA          DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 PROCEDURE      DIVISION.
000011      DISPLAY "SCREEN FUNCTION" UPON CRT.
000012 END METHOD      M5568.
000013 END OBJECT.
000014 END CLASS      C5568.

```

C5568.cob 11: JMN5568I-S スクリーン機能を使用するDISPLAY文は、プログラム定義だけに使用できます。

2.6.131 JMN5569I-S

クラス名を指定するUSE文にはGLOBAL指定は記述できません。GLOBAL指定は無効になります。

例題

```
[C5569.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5569.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 CONFIGURATION      SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 OBJECT.
000008 PROCEDURE DIVISION.
000009 IDENTIFICATION DIVISION.
000010 METHOD-ID.          M5569.
000011 DATA              DIVISION.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 WX              PIC X(4).
000014 LINKAGE            SECTION.
000015 PROCEDURE          DIVISION.
000016 DECLARATIVES.
000017 ERR1 SECTION. USE GLOBAL AFTER EXCEPTION C5569.
000018     DISPLAY "ERROR SECTION".
000019 END DECLARATIVES.
000020 END METHOD           M5569.
000021 END OBJECT.
000022 END CLASS          C5569.
```

C5569.cob 17: JMN5569I-S クラス名を指定するUSE文にはGLOBAL指定は記述できません。GLOBAL指定は無効になります。

2.6.132 JMN5570I-S

特殊クラスのクラス名, または, アーリバインド特殊クラスおよび*COM(*OLE)を除く特殊クラスを参照するオブジェクト参照一意名に, オブジェクト指定子を指定することはできません。

例題

```
[C5570.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5570.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
000004 CONFIGURATION      SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS FJBASE
000007     CLASS BNDTBL-CL AS "*COB-BINDTABLE".
000008 IDENTIFICATION DIVISION.
000009 OBJECT.
000010 PROCEDURE          DIVISION.
000011 IDENTIFICATION DIVISION.
000012 METHOD-ID.          M5570.
000013 DATA              DIVISION.
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 WOB1             OBJECT REFERENCE.
000016 01 WOB2             OBJECT REFERENCE BNDTBL-CL.
000017 PROCEDURE          DIVISION.
000018     SET WOB1 TO WOB2 AS FJBASE.
000019 END METHOD           M5570.
000020 END OBJECT.
000021 END CLASS          C5570.
```

C5570.cob 18: JMN5570I-S 特殊クラスのクラス名, または, アーリバインド特殊クラスおよび*COM(*OLE)を除く特殊クラスを参照するオブジェクト参照一意名に, オブジェクト指定子を指定することはできません。

詳細な説明

オブジェクト指定子は、ASの前に指定した一意名の型を、ASの後に指定した型に読み替える指定です。

特殊オブジェクト(特殊クラスを参照するオブジェクト)は、COBOLのオブジェクト以外のオブジェクトであり、基本的には、これらにオブジェクト指定子は適用できません。ただし、以下のクラスを参照する特殊オブジェクトの場合は、オブジェクト指定子による修飾が可能です。

環境部のリポジトリ段落のクラス指定子の定数の値が、次のいずれかであるクラス:

- `"*COM"` (または`"*OLE"`)
- `"*COM:COMサーバ名:COMクラス名"` (COMサーバ名=型ライブラリとの対応付けに使用する任意の名前, COMクラス名=dispinterface名またはcoclass名)

2.6.133 JMN5571I-S

オブジェクト指定子に指定するクラス名は特殊クラスのクラス名であってはなりません。UNIVERSALが指定されたものと見なします。

例題

```
[C5571.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5571.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS COM AS "*COM".
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
000008 OBJECT.
000009 PROCEDURE      DIVISION.
000010 IDENTIFICATION DIVISION.
000011 METHOD-ID.       M5571.
000012 DATA           DIVISION.
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 WOB1         OBJECT REFERENCE.
000015 01 WOB2         OBJECT REFERENCE COM.
000016 PROCEDURE      DIVISION.
000017 SET WOB2 TO WOB1 AS COM.
000018 END METHOD       M5571.
000019 END OBJECT.
000020 END CLASS        C5571.
```

C5571.cob 17: JMN5571I-S オブジェクト指定子に指定するクラス名は特殊クラスのクラス名であってはなりません。UNIVERSALが指定されたものと見なします。

詳細な説明

オブジェクト指定子のASの後には、アーライバインド特殊クラスのクラス名を除き、特殊クラスのクラス名は指定できません。

2.6.134 JMN5572I-S

@1@に指定するオブジェクト一意名は特殊クラスを参照するものであってはなりません。

埋め込みの説明

@1@: メソッドの行内呼び出しまたはプロパティ。

例題

```
[C5572.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5572.
000003 ENVIRONMENT  DIVISION.
```

```

000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS COM AS "*COM".
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
000008 OBJECT.
000009 DATA DIVISION.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 IDENTIFICATION DIVISION.
000012 METHOD-ID. M5572A.
000013 DATA DIVISION.
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 WRST PIC X(2).
000016 01 WCOM OBJECT REFERENCE COM.
000017 PROCEDURE DIVISION.
000018 MOVE WCOM :: "M5572B" (WCOM) TO WRST.
000019 END METHOD M5572A.
000020 IDENTIFICATION DIVISION.
000021 METHOD-ID. M5572B.
000022 DATA DIVISION.
000023 LINKAGE SECTION.
000024 01 LK1 PIC X(2).
000025 PROCEDURE DIVISION.
000026 RETURNING LK1.
000027 END METHOD M5572B.
000028 END OBJECT.
000029 END CLASS C5572.

```

C5572.cob 18: JMN5572I-S メソッドの行内呼出しに指定するオブジェクト一意名は特殊クラスを参照するものであってはなりません。

詳細な説明

環境部のリポジトリ段落のクラス指定子の定数の値が以下のいずれかである場合、そのクラス名は特殊クラスのクラス名になります。

- "*COM" (または"*OLE")
- "*COM-ARRAY" (または"*OLE-ARRAY")
- "*COM-EXCEPTION" (または"*OLE-EXCEPTION")
- "*COB-BINDTABLE"
- "*COM:COMサーバ名:COMクラス名" (COMサーバ名=型ライブラリとの対応付けに使用する任意の名前, COMクラス名=dispinterface名またはcoclass名)

2.6.135 JMN5573I-S

ファイルの編成が矛盾しています。 ADVANCING指定のあるWRITE文は無効になります。

例題

```

[C5573. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID. C5573.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 ENVIRONMENT DIVISION.
000006 INPUT-OUTPUT SECTION.
000007 FILE-CONTROL.
000008 SELECT OUTFILE ASSIGN TO SYS001.
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011 FD OUTFILE.
000012 01 OUTDATA PIC X(80).
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 PROCEDURE DIVISION.

```



```

000015 IDENTIFICATION DIVISION.
000016 METHOD-ID.      M5573 PROTOTYPE.
000017 PROCEDURE      DIVISION.
000018 END METHOD      M5573.
000019 END OBJECT.
000020 END CLASS      C5573.

```

```

[M5573.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 METHOD-ID.      M5573 OF C5573.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 CONFIGURATION  SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS C5573.
000007 DATA          DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 DATAM       PIC X(80).
000010 PROCEDURE      DIVISION.
000011     OPEN OUTPUT OUTFILE.
000012     MOVE "FILE ERROR" TO DATAM.
000013     WRITE OUTDATA FROM DATAM AFTER ADVANCING 10 LINE.
000014     CLOSE  OUTFILE.
000015     EXIT METHOD.
000016 END METHOD      M5573.

```

M5573.cob 13: JMN5573I-S ファイルの編成が矛盾しています。ADVANCING指定のあるWRITE文は無効になります。

詳細な説明

クラス定義に含まれないメソッド定義(分離されたメソッド定義)の手続き部で、ファクトリ定義またはオブジェクト定義で宣言したファイルに対するWRITE文にADVANCING指定を書く場合、以下のいずれかの条件を満たしていなければなりません。

- [\[Solaris\]](#)[\[Solaris64\]](#)[\[Linux\]](#)[\[LinuxIPF\]](#) そのファイルに対し、ASSIGN句でPRINTERまたはPRINTER-n(nは1～9までの整数)が指定されている
- [\[Linux64\]](#) そのファイルに対し、ASSIGN句でPRINTER、PRINTER-n(nは1～9までの整数)、またはPRINTER_n(nは1～99までの整数)が指定されている
- そのファイルを定義したソース単位に含まれるソース要素に、そのファイルに対するADVANCING指定付きのWRITE文が指定されている
- そのファイルがFORMAT句付き印刷ファイルである

2.6.136 JMN5574I-S

@1@文のUSING指定に特殊クラスのクラス名は記述できません。@1@文は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : INVOKE.

例題

```

[P5574.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5574.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 CONFIGURATION  SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS COM AS "*COM".
000007 DATA DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 WOBR1        OBJECT REFERENCE.
000010 PROCEDURE DIVISION.

```

```
000011      INVOKE WOBRI "XX" USING COM.
000012 END PROGRAM      P5574.
```

P5574.cob 11: JMN5574I-S INVOKE文のUSING指定に特殊クラスのクラス名は記述できません。INVOKE文は無効になります。

2.6.137 JMN5575I-S

定義済みオブジェクト一意名NULLは、INVOKE文によるメソッド呼出しのオブジェクトとして使用できません。INVOKE文は無効になります。

例題

```
[P5575.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5575.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 PROCEDURE DIVISION.
000006      INVOKE NULL "M5575".
000007 END PROGRAM      P5575.
```

P5575.cob 6: JMN5575I-S 定義済みオブジェクト一意名NULLは、INVOKE文によるメソッド呼出しのオブジェクトとして使用できません。INVOKE文は無効になります。

2.6.138 JMN5576I-S

[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF]

@1@文のUSINGに指定可能な一意名は、ファイル節、作業場所節または連絡節で定義されたデータ項目でなければなりません。@1@文を無効とします。

[Linux64]

@1@文のUSINGに指定可能な一意名は、ファイル節、作業場所節、局所記憶節または連絡節で定義されたデータ項目でなければなりません。@1@文を無効とします。

埋め込みの説明

@1@ : INVOKEまたはCALL.

例題

```
[C5576.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID      C5576.
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 OBJECT.
000005 PROCEDURE      DIVISION.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 METHOD-ID.     M5576.
000008 DATA        DIVISION.
000009 LINKAGE        SECTION.
000010 01 LK1          PIC X(6).
000011 01 LK2          PIC X(8).
000012 PROCEDURE      DIVISION USING LK1
000013                      RETURNING LK2.
000014 END METHOD        M5576.
000015 END OBJECT.
000016 END CLASS      C5576.
```

```
[P5576.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5576.
000003 ENVIRONMENT        DIVISION.
```

```

000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS C5576.
000007 INPUT-OUTPUT SECTION.
000008 FILE-CONTROL.
000009 SELECT REPFIL ASSIGN TO SYS001.
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD REPFIL REPORT IS REP1.
000013 WORKING-STORAGE SECTION.
000014 01 YYMMDD PIC X(6).
000015 01 YYYYMMDD PIC X(8).
000016 01 WOBR OBJECT REFERENCE C5576.
000017 REPORT SECTION.
000018 RD REP1 PAGE 66
000019 FIRST DETAIL 6.
000020 01 PH-ITEM TYPE PH.
000021 02 LINE 2.
000022 03 COLUMN 50 PIC X(6) SOURCE YYMMDD.
000023 PROCEDURE DIVISION.
000024 INVOKE WOBR "M5576" USING PH-ITEM
000025 RETURNING YYYYMMDD
000026 END PROGRAM P5576.

```

- [\[Solaris\]](#)[\[Solaris64\]](#)[\[Linux\]](#)[\[LinuxIPF\]](#)

P5576.cob 24: JMN5576I-S INVOKE文のUSINGに指定可能な一意名は、ファイル節、作業場所節または連絡節で定義されたデータ項目でなければなりません。INVOKE文を無効とします。

- [\[Linux64\]](#)

P5576.cob 24: JMN5576I-S INVOKE文のUSINGに指定可能な一意名は、ファイル節、作業場所節、局所記憶節または連絡節で定義されたデータ項目でなければなりません。INVOKE文を無効とします。

2.6.139 JMN5578I-S

SEARCH文の一意名に@1@は指定できません。AT ENDまたはWHEN指定が現れるまで無効となります。

埋め込みの説明

@1@ : メソッドの行内呼び出し、オブジェクト指定子付きの一意名。

例題

```

[P5578.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. P5578.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS FJBASE.
000007 DATA DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 WOBR OBJECT REFERENCE.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 SEARCH WOBR AS FJBASE
000012 WHEN WOBR = NULL
000013 DISPLAY "END"
000014 END-SEARCH.
000015 END PROGRAM P5578.

```

P5578.cob 11: JMN5578I-S SEARCH文の一意名にオブジェクト指定子付きの一意名は指定できません。AT ENDまたはWHEN指定が現れるまで無効となります。

2.6.140 JMN5579I-S

@1@文の@2@指定には@3@は指定できません。@2@指定は無効になります。

埋め込みの説明

@1@ : ACCEPTまたはDISPLAY.

@2@ : AT, LINE, COLUMN, SIZEまたはPROMPT.

@3@ : メソッドの行内呼び出し, オブジェクト指定子付の一意名, オブジェクトプロパティ, クラス名, 定義済みオブジェクト一意名SELF, 定義済みオブジェクト一意名SUPER, 定義済みオブジェクト一意名EXCEPTION-OBJECTまたは定義済みオブジェクト一意名NULL.

例題

```
[SYSEXP. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          SYSEXP.
000003 END CLASS          SYSEXP.
```

```
[P5579. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       P5579.
000003 ENVIRONMENT       DIVISION.
000004 CONFIGURATION     SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS SYSEXP.
000007 DATA              DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 WDA1.
000010     02 WDA11      PIC S9(4).
000011     02 WDA12      PIC S9(4).
000012     02 WDA13      PIC X(20).
000013 PROCEDURE          DIVISION.
000014 DECLARATIVES.
000015 ERR-1 SECTION. USE EXCEPTION SYSEXP.
000016     ACCEPT WDA1 AT EXCEPTION-OBJECT
000017         ON EXCEPTION DISPLAY "NG in 1600 LINE".
000018 END DECLARATIVES.
000019 END PROGRAM          P5579.
```

P5579.cob 16: JMN5579I-S ACCEPT文のAT指定には定義済みオブジェクト一意名EXCEPTION-OBJECTは指定できません。AT指定は無効になります。

2.6.141 JMN5580I-S

@1@文はプログラム定義だけに使用できます。@1@文は無効とします。

埋め込みの説明

@1@ : ALTER, ENTER, ENTRY, GENERATE, GO TO MORE-LABELS, INITIATE, TERMINATE, SEEK, SUPPRESS, GOBACK, SERVICE-LABEL, TRANSACTIONまたはUSE LABEL.

例題

```
[C5580. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.         C5580.
000003 ENVIRONMENT       DIVISION.
000004 CONFIGURATION     SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 OBJECT.
000008 DATA              DIVISION.
```

```

000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 PROCEDURE      DIVISION.
000011 IDENTIFICATION DIVISION.
000012 METHOD-ID.      M5580.
000013 ENVIRONMENT    DIVISION.
000014 DATA           DIVISION.
000015 LINKAGE        SECTION.
000016 PROCEDURE      DIVISION.
000017     DISPLAY "M5580".
000018     GOBACK.
000019 END METHOD      M5580.
000020 END OBJECT.
000021 END CLASS      C5580.

```

C5580.cob 18: JMN5580I-S GOBACK文はプログラム定義だけに使用できます。GOBACK文は無効とします。

2.6.142 JMN5581I-S

@1@はプログラム定義だけで使用できます。@1@は無効とします。

埋め込みの説明

@1@ : 定数を指定したSTOP文, REVERSE指定のOPEN文または手続名のないGO TO文。

例題

```

[C5581.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C5581.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 PROCEDURE      DIVISION.
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
000008 METHOD-ID.      M5581.
000009 ENVIRONMENT    DIVISION.
000010 DATA           DIVISION.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 PROCEDURE      DIVISION.
000013     DISPLAY "TEST START".
000014     STOP "Restart Now !".
000015     DISPLAY "TEST END".
000016 END METHOD      M5581.
000017 END OBJECT.
000018 END CLASS      C5581.

```

C5581.cob 14: JMN5581I-S 定数を指定したSTOP文はプログラム定義だけで使用できます。定数を指定したSTOP文は無効とします。

2.6.143 JMN5582I-S

SORTまたはMERGE文のKEY指定に定義済オブジェクト一意名SELFは指定できません。

例題

```

[C5582.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.      C5582.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 CONFIGURATION   SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 OBJECT.
000008 PROCEDURE      DIVISION.

```

```

000009 IDENTIFICATION DIVISION.
000010 METHOD-ID.          M5582.
000011 ENVIRONMENT      DIVISION.
000012 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000013 FILE-CONTROL.
000014     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001.
000015     SELECT SQFILE2 ASSIGN TO SYS002.
000016     SELECT SRFILE  ASSIGN TO SYS003.
000017 I-O-CONTROL.
000018 DATA              DIVISION.
000019 FILE                SECTION.
000020 FD SQFILE1.
000021 01 SQF1REC         PIC X(80).
000022 FD SQFILE2.
000023 01 SQF2REC         PIC X(80).
000024 SD SRFILE.
000025 01 SRFREC.
000026 02 SRKEY           PIC X(08).
000027 02                 PIC X(72).
000028 LINKAGE            SECTION.
000029 PROCEDURE           DIVISION.
000030     OPEN INPUT  SQFILE1
000031             OUTPUT SQFILE2
000032     SORT SRFILE
000033             ON ASCENDING KEY SRKEY SELF
000034             USING  SQFILE1
000035             GIVING SQFILE2.
000036     CLOSE SQFILE1 SQFILE2.
000037 END METHOD          M5582.
000038 END OBJECT.
000039 END CLASS          C5582.

```

C5582.cob 33: JMN5582I-S SORTまたはMERGE文のKEY指定に定義済オブジェクト一意名SELFは指定できません。

2.6.144 JMN5583I-S

特殊レジスタ@1@はプログラム定義だけで使用できます。

埋め込みの説明

@1@ : PROGRAM-STATUSまたはRETURN-CODE.

例題

```

[C5583.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.        C5583.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 IDENTIFICATION DIVISION.
000005 OBJECT.
000006 PROCEDURE        DIVISION.
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
000008 METHOD-ID.          M5581.
000009 ENVIRONMENT      DIVISION.
000010 DATA              DIVISION.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 PROCEDURE           DIVISION.
000013     DISPLAY PROGRAM-STATUS.
000014     DISPLAY RETURN-CODE.
000015 END METHOD          M5581.
000016 END OBJECT.
000017 END CLASS          C5583.

```

C5583.cob 13: JMN5583I-S 特殊レジスタPROGRAM-STATUSはプログラム定義だけで使用できます。

C5583.cob 14: JMN5583I-S 特殊レジスタRETURN-CODEはプログラム定義だけで使用できます。

詳細な説明

特殊レジスタPROGRAM-STATUS(RETURN-CODE)は、手続き部見出しにRETURNING指定のないプログラムに関連して、自動的に生成されます。PROGRAM-STATUSとRETURN-CODEは、同義です。PROGRAM-STATUSは、オペレーティングシステムまたは呼び出したプログラムに復帰コードを渡すために使うことができます。

2.6.145 JMN5584I-S

@1@文のUSING指定に定義済みオブジェクト一意名またはクラス名は記述できません。@1@文を無効とします。

埋め込みの説明

@1@ : CALL.

例題

```
[P5584.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5584.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS FJBASE.
000007 DATA             DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE   SECTION.
000009 PROCEDURE         DIVISION.
000010     CALL "S5584" USING FJBASE.
000011 END PROGRAM      P5584.
```

P5584.cob 10: JMN5584I-S CALL文のUSING指定に定義済みオブジェクト一意名またはクラス名は記述できません。CALL文を無効とします。

2.6.146 JMN5585I-S

@1@文のRETURNING指定にオブジェクトプロパティは記述できません。@1@文を無効とします。

埋め込みの説明

@1@ : CALLまたはINVOKE.

例題

```
[C5585.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.        C5585.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 OBJECT.
000008 DATA             DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 PR5585         PIC S9(9) COMP-5 PROPERTY.
000011 PROCEDURE         DIVISION.
000012 IDENTIFICATION DIVISION.
000013 METHOD-ID.         M5585.
000014 DATA             DIVISION.
000015 LINKAGE            SECTION.
000016 01 LK1             PIC S9(9) COMP-5.
000017 PROCEDURE         DIVISION RETURNING LK1.
```

```
000018 END METHOD      M5585.
000019 END OBJECT.
000020 END CLASS      C5585.
```

```
[P5585.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5585.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS C5585.
000007 DATA             DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 WOBK           OBJECT REFERENCE C5585.
000010 PROCEDURE         DIVISION.
000011     INVOKE WOBK "M5585"
000012     RETURNING PR5585 OF WOBK
000013 END PROGRAM        P5585.
```

P5585.cob 12: JMN5585I-S INVOKE文のRETURNING指定にオブジェクトプロパティは記述できません。INVOKE文を無効とします。

2.6.147 JMN5590I-S

翻訳オプション@1@指定の場合、'@2@'は使用できません。

埋め込みの説明

@1@ : THREAD(MULTI), RCS(UTF16), ENCODE, ENCODE(UTF8,UTF16)/ENCODE(UTF8,UTF32), ENCODE(SJIS,SJIS).

@2@ : CMD, TRM, WST, CONNECT, DISCONNECT, ERASE, FIND, FINISH, GET, MODIFY, READY, STORE, IF DB-EXCEPTION, USE FOR DB-EXCEPTION, USE FOR DEAD-LOCK, TRANSACTION, JAPANESE, KANJI, DBCS, FUNCTION CAST-ALPHANUMERIC, FUNCTION NATIONAL-OF, UNICODE1, BMP, 画面節, スクリーン操作のACCEPT文およびDISPLAY文。

例題

```
[P5590.cob]
000001 @OPTIONS RCS(UTF16)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P5590.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA             DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 WDA           PIC N(10).
000008 PROCEDURE         DIVISION.
000009     IF WDA IS KANJI THEN
000010     DISPLAY "KANJI"
000011     END-IF
000012 END PROGRAM        P5590.
```

P5590.cob 9: JMN5590I-S 翻訳オプションRCS(UTF16)指定の場合、'KANJI'は使用できません。

詳細な説明

OSIV系システムの機能を使用したプログラムに対しては、翻訳オプションによる以下の指定はできません。

- ・ 翻訳オプションRCSで、実行時のコード系をunicodeに指定する
- ・ 翻訳オプションTHREADで、マルチスレッド形式のオブジェクトの生成を指定する

2.6.148 JMN5591I-S

INVOKE文のメソッドを呼び出すオブジェクト参照が、メソッドの行内呼出しまたはオブジェクトプロパティの場合、このオブジェクト参照はリポジトリ段落に指定されたクラスを参照するものでなければなりません。

例題

```
[C5591.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5591 INHERITS FJBASE.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS FJBASE.
000007 IDENTIFICATION DIVISION.
000008 OBJECT.
000009 DATA              DIVISION.
000010 WORKING-STORAGE SECTION.
000011 01 P5591           OBJECT REFERENCE FACTORY OF FJBASE
000012                     PROPERTY.
000013 PROCEDURE          DIVISION.
000014 IDENTIFICATION DIVISION.
000015 METHOD-ID.          M5591.
000016 ENVIRONMENT      DIVISION.
000017 DATA              DIVISION.
000018 LINKAGE            SECTION.
000019 01 LK1             OBJECT REFERENCE FACTORY OF FJBASE.
000020 PROCEDURE          DIVISION
000021                     RETURNING LK1.
000022 END METHOD          M5591.
000023 END OBJECT.
000024 END CLASS          C5591.
```

```
[P5591.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.        P5591.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS C5591.
000007 DATA              DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 WOBR1           OBJECT REFERENCE C5591.
000010 01 WOBR2           OBJECT REFERENCE.
000011 PROCEDURE          DIVISION.
000012     INVOKE WOBR1 :: "M5591" "GETCLASS"
000013                     RETURNING WOBR2.
000014 END PROGRAM          P5591.
```

P5591.cob 12: JMN5591I-S INVOKE文のメソッドを呼び出すオブジェクト参照が、メソッドの行内呼出しまたはオブジェクトプロパティの場合、このオブジェクト参照はリポジトリ段落に指定されたクラスを参照するものでなければなりません。

2.6.149 JMN5592I-S

@1@文のBY CONTENT指定には、OMITTEDは指定できません。@1@文を無効にします。

埋め込みの説明

@1@ : INVOKE.

例題

```
[C5592.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.          C5592.
```

```

000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 CONFIGURATION  SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 IDENTIFICATION DIVISION.
000007 OBJECT.
000008 PROCEDURE      DIVISION.
000009 IDENTIFICATION DIVISION.
000010 METHOD-ID.      M5592.
000011 ENVIRONMENT    DIVISION.
000012 DATA          DIVISION.
000013 LINKAGE        SECTION.
000014 01 LK1         PIC X(10).
000015 01 LK2         PIC 9(10).
000016 PROCEDURE      DIVISION
000017                USING LK1 LK2.
000018 END METHOD        M5592.
000019 END OBJECT.
000020 END CLASS        C5592.

```

```

[P5592.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      P5592.
000003 ENVIRONMENT    DIVISION.
000004 CONFIGURATION  SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006     CLASS C5592
000007
000008 DATA          DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 WOBJ         OBJECT REFERENCE C5592.
000011 PROCEDURE      DIVISION.
000012     INVOKE WOBJ "M5592" USING BY CONTENT OMITTED 20.
000013 END PROGRAM      P5592.

```

P5592.cob 12: JMN5592I-S INVOKE文のBY CONTENT指定には、OMITTEDは指定できません。INVOKE文を無効にします。

2.6.150 JMN5593I-S

@1@は、実行時のコード系がUnicodeの場合に使用できます。

埋め込みの説明

@1@ : FUNCTION UTF8-OFまたはFUNCTION UCS2-OF.

例題

```

[P5593.cob]
000001 @OPTIONS RCS(SJIS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P5593.
000004 ENVIRONMENT    DIVISION.
000005 DATA          DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 WCHR         PIC X(20).
000008 01 WNCHR        PIC N(10).
000009 PROCEDURE      DIVISION.
000010     MOVE FUNCTION UCS2-OF (WCHR)
000011                TO WNCHR
000012     MOVE FUNCTION UTF8-OF (WNCHR)
000013                TO WCHR
000014 END PROGRAM      P5593.

```

P5593.cob 10: JMN5593I-S FUNCTION UCS2-OFは、実行時のコード系がUnicodeの場合に使用できます。

P5593.cob 12: JMN5593I-S FUNCTION UTF8-OFは、実行時のコード系がUnicodeの場合に使用できます。

2.6.151 JMN5595I-S

主プログラムの手続き部見出しのUSING指定に記述したパラメタは、大きさが102バイトを越えないただ1つの集団項目で、従属する最初の基本項目が2バイトの2進項目でなければなりません。指定されたパラメタは無効になります。

例題

```
[P5595.cob]
000001 @OPTIONS MAIN
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P5595.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA              DIVISION.
000006 LINKAGE           SECTION.
000007 01 WPRM1.
000008 02 WPRM1L PIC 9(4).
000009 02 WPRM1X PIC 9(4).
000010 01 WPRM2.
000011 02 WPRM1L PIC 9(4).
000012 02 WPRM1X PIC 9(4).
000013 PROCEDURE      DIVISION
000014                  USING WPRM1 WPRM2.
000015     MOVE WPRM1 TO WPRM2
000016 END PROGRAM      P5595.
```

P5595.cob 7: JMN5595I-S 主プログラムの手続き部見出しのUSING指定に記述したパラメタは、大きさが102バイトを越えないただ1つの集団項目で、従属する最初の基本項目が2バイトの2進項目でなければなりません。指定されたパラメタは無効になります。

詳細な説明

主プログラムの連絡節には、OSIV系システム形式でのパラメタを受け取るためのデータ項目を1つだけ定義することができます。

連絡節データの書き方が誤っている場合に、この診断メッセージが出力されます。

引数付きの副プログラムを主プログラムとして翻訳した場合にも、この診断メッセージが出力されます。

OSIV系システム形式でのパラメタの詳細については、以下を参照してください。

- [\[Solaris\]](#)[\[Solaris64\]](#)[\[Linux\]](#)[\[LinuxIPF\]](#)
“NetCOBOL 使用手引書”の“4.2.4 OSIV形式の実行時パラメタを指定する”
- [\[Linux64\]](#)
“NetCOBOL ユーザーズガイド”の“4.3.4 OSIV形式の実行時パラメタを指定する”

OSIV系システム形式でのパラメタの受取りが目的でない場合は、データ項目は連絡節ではなく、作業場所節で定義してください。

2.6.152 JMN5596I-S

主プログラムの手続き部見出しのUSING指定に記述したパラメタにENCODING句を指定する場合、翻訳オプション ENCODEに指定した英数字項目のエンコード方式と同じでなければなりません。指定されたパラメタは無効になります。

例題

```
000001 @OPTIONS MAIN, ENCODE (UTF8, UTF16)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P5596.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007     ALPHABET SJIS IS SJIS
000008     .
000009 DATA              DIVISION.
000010 LINKAGE           SECTION.
```

```

000011 01 WPRM1.
000012 02 WPRM1L PIC 9(4) COMP-5.
000013 02 WPRM1X PIC X(100) ENCODING SJIS.
000014 PROCEDURE DIVISION USING WPRM1 .
000015 DISPLAY WPRM1(1:WPRM1L)
000016 END PROGRAM P5596.

```

p5596.cob 13: JMN5596I-S 主プログラムの手続き部見出しのUSING指定に記述したパラメタにENCODING句を指定する場合、翻訳オプションENCODEの英数字項目と同じエンコード方式でなければなりません。指定されたパラメタは無効になります。

2.6.153 JMN5600I-S

特殊クラスのオブジェクト参照一意名にオブジェクト指定子を指定する場合、ASの右側はアーリバインドの特殊クラスのクラス名でなければなりません。

例題

```

[C5600.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID. C5600.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS SHEET AS "COM:EXCEL:WORKSHEET"
000007 CLASS FJBASE.
000008 OBJECT.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 METHOD-ID. M5600.
000011 DATA DIVISION.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 WEXCEL OBJECT REFERENCE SHEET.
000014 01 WOBR OBJECT REFERENCE FJBASE.
000015 PROCEDURE DIVISION.
000016 SET WOBR TO WEXCEL AS FJBASE.
000017 END METHOD M5600.
000018 END OBJECT.
000019 END CLASS C5600.

```

C5600.cob 16: JMN5600I-S 特殊クラスのオブジェクト参照一意名にオブジェクト指定子を指定する場合、ASの右側はアーリバインドの特殊クラスのクラス名でなければなりません。

2.6.154 JMN5601I-S

オブジェクト指定子に特殊クラスのクラス名を指定する場合、ASの左側は特殊クラスのオブジェクト参照一意名でなければなりません。

例題

```

[C5601.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID. C5601.
000003 ENVIRONMENT DIVISION.
000004 CONFIGURATION SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006 CLASS SHEET AS "COM:EXCEL:WORKSHEET"
000007 CLASS FJBASE.
000008 OBJECT.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 METHOD-ID. M5601.
000011 DATA DIVISION.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 WEXCEL OBJECT REFERENCE SHEET.

```

```

000014 01 WOBR          OBJECT REFERENCE FJBASE.
000015 PROCEDURE        DIVISION.
000016          SET WEXCEL TO WOBR AS SHEET.
000017 END METHOD        M5601.
000018 END OBJECT.
000019 END CLASS        C5601.

```

C5601.cob 16: JMN5601I-S オブジェクト指定子に特殊クラスのクラス名を指定する場合、ASの左側は特殊クラスのオブジェクト参照一意名でなければなりません。

2.6.155 JMN5602I-S

オブジェクト指定子に特殊クラスのクラス名を指定する場合、他の選択指定は指定できません。

例題

```

[C5602.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 CLASS-ID.        C5602.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 REPOSITORY.
000006          CLASS EXCEL AS "*COM:EXCEL:APPLICATION"
000007          CLASS SHEET AS "*COM:EXCEL:WORKSHEET".
000008 OBJECT.
000009 PROCEDURE        DIVISION.
000010 METHOD-ID.        M5602.
000011 DATA            DIVISION.
000012 WORKING-STORAGE SECTION.
000013 01 WEXCEL         OBJECT REFERENCE EXCEL.
000014 01 WSHEET         OBJECT REFERENCE SHEET.
000015 PROCEDURE        DIVISION.
000016          SET WSHEET TO WEXCEL AS FACTORY OF SHEET.
000017          SET WEXCEL TO WSHEET AS EXCEL ONLY.
000018 END METHOD        M5602.
000019 END OBJECT.
000020 END CLASS        C5602.

```

C5602.cob 16: JMN5602I-S オブジェクト指定子に特殊クラスのクラス名を指定する場合、他の選択指定は指定できません。

C5602.cob 17: JMN5602I-S オブジェクト指定子に特殊クラスのクラス名を指定する場合、他の選択指定は指定できません。

詳細な説明

オブジェクト指定子に特殊クラスのクラス名を指定する場合、同時にFACTORY OF、ONLYは指定できません。

2.6.156 JMN5783I-S

ENCODING句はFDまたはSD記述項、データ記述項の集団項目、または、基本項目かつ項類が英数字、英数字編集、日本語または日本語編集の項目に指定できます。ENCODING句は無効になります。

例題

```

000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       C5783.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 CONFIGURATION    SECTION.
000005 SPECIAL-NAMES.
000006          ALPHABET UTF16 FOR NATIONAL IS UTF16.
000007 DATA DIVISION.
000008 WORKING-STORAGE SECTION.
000009 01 DATA1 PIC S9(9) DISPLAY ENCODING UTF16.
000010 END PROGRAM C5783.

```

c5783.cob 9: JMN5783I-S ENCODING句はFDまたはSD記述項, データ記述項の集団項目, または, 基本項目かつ項類が英数字, 英数字編集, 日本語または日本語編集の項目に指定できます. ENCODING句は無効になります.

2.6.157 JMN5784I-S

@1@のENCODING句には@2@指定のエンコード方式に付けた符号系名でなければなりません. ENCODING句は無効になります.

詳細な説明

@1@: 英数字項目, または, 英数字編集項目, 日本語項目, または, 日本語編集項目

@2@: ALPHANUMERIC, NATIONAL

例題

```
000001 @OPTIONS ENCODE(UTF8,UTF16)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C5784.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 CONFIGURATION    SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007     ALPHABET UTF16 FOR NATIONAL IS UTF16.
000008 DATA DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 DATA1 PIC X(20) DISPLAY ENCODING UTF16.
000011 END PROGRAM C5784.
```

c5784.cob 10: JMN5784I-S 英数字項目, または, 英数字編集項目のENCODING句にはALPHANUMERIC指定のエンコード方式に付けた符号系名でなければなりません. ENCODING句は無効になります.

2.6.158 JMN5785I-S

CONVERSIONを指定したMOVE文の@1@項目に部分参照子, 関数一意名, メソッドの行内呼出し, および, プロパティ名を指定することはできません. MOVE文は無効になります.

詳細な説明

@1@: 送出し側, 受取り側

例題

```
000001 @OPTIONS ENCODE(UTF8,UTF16)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C5785.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 CONFIGURATION    SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007     ALPHABET UTF16 FOR NATIONAL IS UTF16.
000008 DATA DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 DATA1 PIC X(20) DISPLAY.
000011 01 DATA2 PIC N(20) DISPLAY.
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013     MOVE CONVERSION DATA1(1:10) TO DATA2.
000014 END PROGRAM C5785.
```

c5785.cob 13: JMN5785I-S CONVERSIONを指定したMOVE文の送出し側項目に部分参照子, 関数一意名, メソッドの行内呼出し, および, プロパティ名を指定することはできません. MOVE文は無効になります.

2.6.159 JMN5786I-S

CONVERSIONを指定したMOVE文の@1@項目には英数字項目または日本語項目が指定できます。MOVE文は無効になります。

詳細な説明

@1@ : 送出し側, 受取り側

例題

```
000001 @OPTIONS ENCODE(UTF8,UTF16)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C5786.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 CONFIGURATION    SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007     ALPHABET UTF16 FOR NATIONAL IS UTF16.
000008 DATA DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 DATA1 PIC S9(9) DISPLAY.
000011 01 DATA2 PIC N(10) DISPLAY.
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013     MOVE CONVERSION DATA1 TO DATA2.
000014 END PROGRAM C5786.
```

c5786.cob 13: JMN5786I-S CONVERSIONを指定したMOVE文の送出し側項目には英数字項目または日本語項目が指定できます。MOVE文は無効になります。

2.6.160 JMN5787I-S

CONVERSIONを指定したMOVE文に定数は指定できません。MOVE文は無効になります。

例題

```
000001 @OPTIONS ENCODE(UTF8,UTF16)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C5787.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 CONFIGURATION    SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007     ALPHABET UTF16 FOR NATIONAL IS UTF16.
000008 DATA DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 DATA1 PIC N(10) DISPLAY.
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012     MOVE CONVERSION "文字列" TO DATA1.
000013 END PROGRAM C5787.
```

c5787.cob 12: JMN5787I-S CONVERSIONを指定したMOVE文に定数は指定できません。MOVE文は無効になります。

2.6.161 JMN5788I-S

エンコード方式に対応付けられた符号系名は、@1@文のCOLLATING SEQUENCE指定に記述できません。@1@文は無効になります。

詳細な説明

@1@ : SORT, MERGE

例題

```
000001 @OPTIONS ENCODE(UTF8,UTF16)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. A1.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
```

```

000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007     ALPHABET UTF16 NATIONAL UTF16
000008     .
000009 INPUT-OUTPUT SECTION.
000010 FILE-CONTROL.
000011     SELECT SMFILE ASSIGN DA-S-SM1F.
000012 DATA DIVISION.
000013 FILE SECTION.
000014     SD SMFILE LABEL RECORD IS STANDARD.
000015     01 R1.
000016     02 KEY-1 PIC X(4).
000017     02 KEY-2 PIC X(4).
000018     02 R1-1 PIC X(72).
000019 WORKING-STORAGE SECTION.
000020     77 ERR-SWT PIC 9(1).
000021 PROCEDURE DIVISION.
000022     SORT SMFILE ON ASCENDING KEY KEY-2
000023         COLLATING SEQUENCE UTF16.
000024 END PROGRAM A1.

```

c5788.cob 22: JMN5788I-S エンコード方式に対応付けられた符号系名は、SORT文のCOLLATING SEQUENCE指定に記述できません。SORT文は無効になります。

2.6.162 JMN5789I-S

印刷ファイル, および, あて先種別にディスプレイ装置またはプリンタ装置を指定した表示ファイルのレコード定義に複数のエンコード方式が混在しています。エンコード方式は英数字項目および日本語項目に各1種類だけ指定できます。

例題

```

000001 @OPTIONS ENCODE(UTF8,UTF16)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C5789.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007     ALPHABET UTF8 IS UTF8
000008     ALPHABET UTF16 FOR NATIONAL UTF16
000009     ALPHABET UTF32 FOR NATIONAL UTF32
000010     .
000011 INPUT-OUTPUT SECTION.
000012 FILE-CONTROL.
000013     SELECT F1 ASSIGN TO PRINTER.
000014 DATA DIVISION.
000015 FILE SECTION.
000016     FD F1.
000017     01 REC1.
000018     02 DATA1 PIC X(2).
000019     02 DATA2 PIC N(5) ENCODING UTF16.
000020     02 DATA3 PIC N(5) ENCODING UTF32.
000021 PROCEDURE DIVISION.
000022 END PROGRAM C5789.

```

c5789.cob 17: JMN5789I-S 印刷ファイル, および, あて先種別にディスプレイ装置またはプリンタ装置を指定した表示ファイルのレコード定義に複数のエンコード方式が混在しています。エンコード方式は英数字項目および日本語項目に各1種類だけ指定できます。

2.6.163 JMN5790I-S

WITH FILLER指定で語FILLERは省略できません。語FILLERが指定されたものとみなします。

2.6.164 JMN5791I-S

行順ファイルのレコードは複数のエンコード方式を同時に含むことはできません。

例題

```
000001 @OPTIONS ENCODE(UTF8,UTF16)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P5791.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007     ALPHABSET UTF32 FOR NATIONAL IS UTF32
000008
000009 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000010 FILE-CONTROL.
000011     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000012             ORGANIZATION IS LINE SEQUENTIAL
000013             FILE STATUS IS WFS1.
000014 I-O-CONTROL.
000015 DATA              DIVISION.
000016 FILE              SECTION.
000017 FD SQFILE1.
000018 01 SQF1REC1.
000019 02              PIC N(80).
000020 01 SQF1REC2.
000021 02              PIC N(40) ENCODING UTF32.
000022 WORKING-STORAGE SECTION.
000023 01 WFS1          PIC X(2).
000024 PROCEDURE        DIVISION.
000025 END PROGRAM      P5791.
```

p5791.cob 17: JMN5791I-S 行順ファイルのレコードは複数のエンコード方式を同時に含むことはできません。

2.6.165 JMN5792I-S

エンコード方式がUTF32の日本語16進定数の長さは、8の倍数でなければなりません。8の倍数の長さに切り捨てます。

例題

```
000001 @OPTIONS ENCODE(UTF8,UTF32)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P5792.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 01 WDN1 PIC N(2) VALUE NX"3000".
000007 END PROGRAM P5792.
```

p5792.cob 6: JMN5792I-S エンコード方式がUTF32の日本語16進定数の長さは、8の倍数でなければなりません。8の倍数の長さに切り捨てます。

2.7 JMN6000—JMN6999

6410

6413

2.7.1 JMN6410I-U

プログラムが大き過ぎます。プログラムを分割して再翻訳してください。翻訳を中止します。

2.7.2 JMN6413I-U

プログラムが大き過ぎます。TRACEオプション、COUNTオプションおよびCHECKオプションの指定を外して再翻訳してください。翻訳を中止します。

2.8 JMN9000—JMN9999

9001	9002	9003	9004	9005	9006	9007	9008	9009	9010
9011	9012	9013	9014	9015	9016	9017	9018	9019	9020
9021	9022	9023	9024	9025	9101	9102	9103	9104	9105
9106	9107	9108	9109	9110	9111	9115	9116	9117	9118
9119	9121	9122	9123	9124	9125	9126	9127	9128	9129
9133	9151	9152	9153	9154	9161	9171	9172	9173	9180
9181	9182	9183	9191	9192	9193	9221	9242	9251	9261
9331	9332	9333	9334	9335	9341	9343	9344	9345	9346
9352	9353	9354	9361	9371	9381	9384	9391	9392	9393
9501	9502	9503	9504	9506	9507	9900	9901	9902	9903
9904	9905	9906	9907	9908	9909	9910	9911	9912	9913
9914	9915	9916	9917	9918	9919	9920	9921	9922	9923
9924	9925	9926	9927	9928	9929	9931	9932	9987	9999

2.8.1 JMN9001I-W

(@1@)@2@文は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

@2@ : CANCEL, COMPUTE, CONNECT, COPY, DELETE, DISCONNECT, ENTRY, ERASE, EVALUATE, EXAMINE, EXEC AQL, EXIT PERFORM, FIND, FINISH, GENERATE, GET, GOBACK, IF DB-EXCEPTION, INITIALIZE, INITIATE, MERGE, MODIFY, READY, RELEASE, REPLACE, RETURN, SEARCH, SEARCHALL, SORT, START, STORE, STRING, TERMINATE, TRANSACTION, UNLOCK, UNSTRING, USE, USE FOR DB-EXCEPTION, USE FOR DEBUGGING, USE FOR DEAD-LOCK

例題

```
[C9001.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9001.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01.
000008 02 REC-1 PIC 9(4).
000009 02 REC-2 PIC 9(4).
000010 02 REC-3 PIC 9(4).
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012 P-START.
000013 COMPUTE REC-3 = REC-1 + REC-2.
000014 STOP RUN.
```

C9001.cob 13: JMN9001I-W (STD)COMPUTE文は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.2 JMN9002I-W

(@1@)@2@句は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

@2@ : ALTERNATE RECORD KEY, APPLY MULTICONVERSATION-MODE, APPLY SAVED-AREA, APPLY WITH-ONLY, ASCENDING/DESCENDING KEY, BY VALUE, CHARACTER TYPE, CODE-SET, COLUMN NUMBER, COMMON, CONTROL RECORD, CONVERTING, CORRESPONDING, CRT STATUS, CURSOR, DEPENDING ON, DESTINATION-3, END-ACCEPT, END-CALL, END-DISPLAY, END-KEY, END-OF-PAGE, EXTEND, EXTERNAL, FIRST RECORD, FORMAT, GLOBAL, GROUP, INITIAL, INVALID KEY, KEY, LINAGE, LOCK MODE, MULTIPLE FILE TAPE, NEXT, NOT AT END-OF PAGE, NOT INVALID KEY, NOT ON EXCEPTION, ON EXCEPTION, ON OVERFLOW, OPTIONAL, ORGANIZATION IS RELATIVE, ORGANIZATION IS INDEXED, PADDING CHARACTER, PASSWORD, POSITIONING POINTER, POSITIONING UNIT, PRINTING MODE, PRINTING POSITION, PROCESSING CONTROL, RECORD DELIMITER, RECORD KEY, RECORD IS VARYING IN SIZE, RECORDING MODE, REMAINDER, REPLACING, RERUN, RESERVE AREA, REVERSED, REVERSED ORDER, REPORT, SAME RECORD AREA, SAME SORT-MERGE AREA, SEGMENT-LIMIT, SELECT, SOURCE, SYMBOLIC CONSTANT, SYMBOLIC CHARACTERS, TO TEST OR PERFORM, TEST AFTER, TEST BEFORE, TYPE, VARYING, WITH DEBUGGING MODE, WITH DUPLICATE, WITH LOCK, WITH NO ADVANCING, WITH NO LIMIT, WITH NO LOCK, WITH NO REWIND

例題

```
[C9002.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9002.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA              DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007   01 REC01.
000008       02 REC-NO  PIC X(5).
000009       02 REC-NAME PIC X(20).
000010       02 REC-DATA PIC X(50).
000011   01 REC02.
000012       02 REC-NO  PIC X(5).
000013       02 REC-NAME PIC X(20).
000014       02 REC-DATA PIC X(50).
000015 PROCEDURE          DIVISION.
000016 P-START.
000017     MOVE CORRESPONDING REC01 TO REC02.
000018     STOP RUN.
```

C9002.cob 17: JMN9002I-W (STD)CORRESPONDING句は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.3 JMN9003I-W

(@1@)@2@文中の機能名は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

@2@ : ACCEPT, DISPLAY

例題

```
[C9003.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9003.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
```

```

000005 DATA          DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01        PIC X(80).
000008 PROCEDURE       DIVISION.
000009 P-START.
000010      ACCEPT REC01 FROM SYSIN.
000011      STOP RUN.

```

C9003.cob 10: JMN9003I-W (STD)ACCEPT文中の機能名は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.4 JMN9004I-W

(@1@)@2@文中の呼び名は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

@2@ : ACCEPT, DISPLAY, MERGE, SORT, WRITE

例題

```

[C9004. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9004.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 CONFIGURATION    SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007      SYSIN IS NYURYOKU.
000008 DATA            DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 REC01          PIC X(80).
000011 PROCEDURE       DIVISION.
000012 P-START.
000013      ACCEPT REC01 FROM NYURYOKU.
000014      STOP RUN.

```

C9004.cob 13: JMN9004I-W (STD)ACCEPT文中の呼び名は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.5 JMN9005I-W

(@1@)@2@文中の複数のファイル名は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

@2@ : USE

例題

```

[C9005. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9005.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007      SELECT IN-FILE ASSIGN TO INFL1.
000008      SELECT OUT-FILE ASSIGN TO INFL2.
000009 DATA            DIVISION.
000010 FILE             SECTION.
000011 FD IN-FILE.

```

```

000012 01 INREC PIC X(80).
000013 FD OUT-FILE.
000014 01 OTREC PIC X(80).
000015 PROCEDURE DIVISION.
000016 DECLARATIVES.
000017 USE-PROCESS SECTION.
000018 USE AFTER STANDARD
000019 EXCEPTION PROCEDURE ON IN-FILE
000020 OUT-FILE.
000021 END DECLARATIVES.
000022 P-START.
000023 STOP RUN.

```

C9005.cob 18: JMN9005I-W (STD)USE文中の複数のファイル名は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.6 JMN9006I-W

(@1@)@2@文中の一意名は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

@2@ : CALL

例題

```

[C9006.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9006.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01.
000008 02 REC-1 PIC 9(4).
000009 02 REC-2 PIC 9(4).
000010 02 REC-3 PIC 9(4).
000011 01 PGMNM PIC X(8).
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013 P-START.
000014 CALL PGMNM USING REC01.
000015 STOP RUN.

```

C9006.cob 14: JMN9006I-W (STD)CALL文中の一意名は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.7 JMN9007I-W

(@1@)@2@文中の、画面節に書かれたデータ名は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

@2@ : ACCEPT, DISPLAY

例題

```

[C9007.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9007.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.

```

```

000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 WBUF          PIC X(100).
000008 SCREEN          SECTION.
000009 01 REC01.
000010 02 REC-NO       PIC X(5)  FROM WBUF.
000011 02 REC-NAME    PIC X(20) FROM WBUF.
000012 02 REC-DATA    PIC X(50) FROM WBUF.
000013 PROCEDURE      DIVISION.
000014 P-START.
000015     DISPLAY REC-NO.
000016     DISPLAY REC-NAME.
000017     DISPLAY REC-DATA.
000018     STOP RUN.

```

C9007.cob 15: JMN9007I-W (STD)DISPLAY文中の、画面節に書かれたデータ名は共通範囲外です。処理を続行します。

C9007.cob 16: JMN9007I-W (STD)DISPLAY文中の、画面節に書かれたデータ名は共通範囲外です。処理を続行します。

C9007.cob 17: JMN9007I-W (STD)DISPLAY文中の、画面節に書かれたデータ名は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.8 JMN9008I-W

(@1@)自由形式の正書法は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

例題

```

[C9008.cob]
@OPTIONS SRF(FREE), FLAGSW(SIA)
PROGRAM-ID.      C9008.
ENVIRONMENT      DIVISION.
DATA             DIVISION.
WORKING-STORAGE SECTION.
01 F0001.
02 F00-NO       PIC X(5).
02 F00-NAME    PIC X(20).
02 F00-DATA    PIC X(50).
PROCEDURE      DIVISION.
P-START.
STOP RUN.

```

C9008.cob 0: JMN9008I-W (SIA)自由形式の正書法は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.9 JMN9009I-W

(@1@)見出し部の@2@段落は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

@2@ : AUTHOR, INSTALATION, DATE-WRITTEN, DATE-COMPILED, SECURITY

例題

```

[C9009.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9009.
000004 DATE-COMPILED.  22ND AUG 1988.
000005 ENVIRONMENT     DIVISION.
000006 DATA           DIVISION.

```

```
000007 PROCEDURE      DIVISION.
000008 P-START.
000009      STOP RUN.
```

C9009.cob 4: JMN9009I-W (STD)見出し部のDATE-COMPILED段落は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.10 JMN9010I-W

(@1@)COBOLの語、数字定数、および、PICTURE句の文字列の継続は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[C9010.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9010.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA              DIVISION.
000006 FILE              SECTION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008 01 IN-REC.
000009 02 RECI1 PIC X(80
000010- ).
000011 01 OT-R
000012- EC.
000013 02 REC01 PIC X(80).
000014 PROCEDURE      DIVISION.
000015 P-START.
000016      STOP RUN.
```

C9010.cob 10: JMN9010I-W (STD)COBOLの語、数字定数、および、PICTURE句の文字列の継続は共通範囲外です。処理を続行します。

C9010.cob 12: JMN9010I-W (STD)COBOLの語、数字定数、および、PICTURE句の文字列の継続は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.11 JMN9011I-W

(@1@)この機能名は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA

例題

```
[C9011.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(SIA)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9011.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 CONFIGURATION    SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007 SYSIPT IS I.
000008 DATA              DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 PROCEDURE      DIVISION.
000011      STOP RUN.
```

C9011.cob 7: JMN9011I-W (SIA)この機能名は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.12 JMN9012I-W

(@1@)特殊レジスタ@2@は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

@2@ : EDIT-COLOR, EDIT-CURSOR, EDIT-MODE, EDIT-OPTION, EDIT-STATUS, FCOM, LINE-COUNTER, LINAGE-COUNTER, PAGE-COUNTER, PROGRAM-STATUS, RETURN-CODE, SHIFT-IN, SHIFT-OUT, SORT-MESSAGE, SORT-MODE-SIZE, SORT-STATUS/SORT-RETURN, TALLY, WHEN-COMPILED

例題

```
[C9012.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STDH)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9012.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT IN-FILE  ASSIGN TO INFL.
000008     SELECT OT-FILE   ASSIGN TO OTFL.
000009     SELECT SORT-FILE ASSIGN TO STFL.
000010 DATA             DIVISION.
000011 FILE               SECTION.
000012 FD IN-FILE.
000013     01 IN-REC.
000014         02 REC01    PIC X(5).
000015         02 REC02    PIC X(50).
000016 FD OT-FILE.
000017     01 OT-REC.
000018         02 REC01    PIC X(5).
000019         02 REC02    PIC X(50).
000020 SD SORT-FILE.
000021     01 ST-REC.
000022         02 RECKEY   PIC X(5).
000023         02 REC02    PIC X(50).
000024 WORKING-STORAGE SECTION.
000025 PROCEDURE           DIVISION.
000026 P-START.
000027     SORT SORT-FILE ASCENDING KEY RECKEY
000028     USING IN-FILE GIVING OT-FILE.
000029     IF SORT-STATUS NOT = ZERO THEN
000030         DISPLAY "** ERROR IN SORT STATEMANT **"
000031     END-IF.
000032     STOP RUN.
```

C9012.cob 29: JMN9012I-W (STD)特殊レジスタSORT-STATUSは共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.13 JMN9013I-W

(@1@)日本語定数は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[C9013.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STDH)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9013.
```



```
000004 ENVIRONMENT    DIVISION.
000005 DATA          DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE      DIVISION.
000008 P-START.
000009     DISPLAY NC"日本語".
000010     STOP RUN.
```

C9013.cob 9: JMN9013I-W (STD)日本語定数は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.14 JMN9014I-W

(@1@)浮動小数点定数は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

例題

```
[C9014. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDH)
000002 IDENTIFICATION  DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.     C9014.
000004 ENVIRONMENT    DIVISION.
000005 DATA          DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE      DIVISION.
000008 P-START.
000009     DISPLAY 3.14159E+3.
000010     STOP RUN.
```

C9014.cob 9: JMN9014I-W (STD)浮動小数点定数は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.15 JMN9015I-W

(@1@)ブール定数は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

例題

```
[C9015. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDH)
000002 IDENTIFICATION  DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.     C9015.
000004 ENVIRONMENT    DIVISION.
000005 DATA          DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE      DIVISION.
000008 P-START.
000009     DISPLAY B"11111111".
000010     STOP RUN.
```

C9015.cob 9: JMN9015I-W (STD)ブール定数は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.16 JMN9016I-W

(@1@)添字付けの次元数は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[C9016. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9016.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01.
000008 02 REC02 OCCURS 3 TIMES.
000009 03 REC03 OCCURS 3 TIMES.
000010 04 REC04 OCCURS 3 TIMES.
000011 05 REC05 OCCURS 3 TIMES.
000012 06 REC06 PIC 9(2).
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014 P-START.
000015 MOVE ZERO TO REC06(1 1 1 1).
000016 STOP RUN.
```

C9016.cob 15: JMN9016I-W (STD)添字付けの次元数は共通範囲外です. 処理を続行します.

2.8.17 JMN9017I-W

(@1@)16進文字定数は共通範囲外です. 処理を続行します.

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[C9017. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDH)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9017.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01.
000008 02 REC02 PIC X VALUE X"0A".
000009 02 REC03 PIC X.
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 P-START.
000012 MOVE X"0C" TO REC03.
000013 STOP RUN
```

C9017.cob 12: JMN9017I-W (STD)16進文字定数は共通範囲外です. 処理を続行します.

2.8.18 JMN9018I-W

(@1@)レベル番号66は共通範囲外です. 処理を続行します.

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[C9018.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9018.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA              DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01.
000008 02 REC-A PIC X(4).
000009 02 REC-B PIC X(4).
000010 02 REC-C PIC X(4).
000011 66 REC-A RENAMES REC-B THRU REC-C.
000012 PROCEDURE        DIVISION.
000013 P-START.
000014 STOP RUN.
```

C9018.cob 11: JMN9018I-W (STD)レベル番号66は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.19 JMN9019I-W

(@1@)レベル番号88は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[C9019.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9019.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA              DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01.
000008 02 REC-NO PIC 9(3).
000009 88 REC-88 VALUE 99.
000010 PROCEDURE        DIVISION.
000011 P-START.
000012 STOP RUN.
```

C9019.cob 9: JMN9019I-W (STD)レベル番号88は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.20 JMN9020I-W

(@1@)記号文字および定数および表意定数のALL指定は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[C9020.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9020.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA              DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC.
```

```

000008 02 REC01 PIC 99V99.
000009 02 REC02 PIC X(10) VALUE ALL "A".
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 P-START.
000012 MOVE ALL "99" TO REC01.
000013 STOP RUN.

```

C9020.cob 9: JMN9020I-W (STD)記号文字および定数および表意定数のALL指定は共通範囲外です。処理を続行します。

C9020.cob 12: JMN9020I-W (STD)記号文字および定数および表意定数のALL指定は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.21 JMN9021I-W

(@1@)部分参照は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```

[C9021.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9021.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01.
000008 02 REC-NO PIC X(10).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011 MOVE "ABC" TO REC-NO(1:3).
000012 STOP RUN.

```

C9021.cob 11: JMN9021I-W (STD)部分参照は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.22 JMN9022I-W

(@1@)データ名のOF/IN修飾は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```

[C9022.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9022.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 OUT-REC.
000008 02 REC01 PIC X.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011 MOVE "0" TO REC01 OF OUT-REC.
000012 STOP RUN.

```

C9022.cob 11: JMN9022I-W (STD)データ名のOF/IN修飾は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.23 JMN9023I-W

(@1@)日本語文字は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[C9023.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9023.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA              DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 日本語項目 PIC X(5).
000008 PROCEDURE          DIVISION.
000009 P-START.
000010     MOVE SPACE TO 日本語項目.
000011     STOP RUN.
```

C9023.cob 7: JMN9023I-W (STD)日本語文字は共通範囲外です。処理を続行します。

C9023.cob 10: JMN9023I-W (STD)日本語文字は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.24 JMN9024I-W

(@1@)このプログラム中の行内注記は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[C9024.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION. *> 行内注記
000003 PROGRAM-ID.      C9024.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA              DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 A              PIC X(80). *> 行内注記
000008 PROCEDURE          DIVISION.
000009 P-START.
000010     MOVE SPACE TO A.      *> 行内注記
000011     STOP RUN.
```

C9024.cob 0: JMN9024I-W (STD)このプログラム中の行内注記は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.25 JMN9025I-W

(@1@)@2@に含まれる英小文字は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

@2@ : 英小文字を含む利用者定義文字

例題

```
[C9025. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(SIA), ALPHAL
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9025.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 eikomoji PIC X(5).
000008 01 ABCDEFG PIC X(5).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011 MOVE SPACE TO eikomoji.
000012 STOP RUN.
```

C9025.cob 7: JMN9025I-W (SIA)eikomojiに含まれる英小文字は共通範囲外です。処理を続行します。

C9025.cob 8: JMN9025I-W (SIA)ABCDEFGに含まれる英小文字は共通範囲外です。処理を続行します。

C9025.cob 11: JMN9025I-W (SIA)eikomojiに含まれる英小文字は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.26 JMN9101I-W

(@1@)ALPHABET句中の@2@は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

@2@ : EBCDIC, STANDARD-2

2.8.27 JMN9102I-W

(@1@)ALPHABET句中の機能名は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA

例題

```
[C9102. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(SIA)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9102.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007 ALPHABET FUGOU IS CODE-0.
000008 DATA DIVISION.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011 STOP RUN.
```

C9102.cob 7: JMN9102I-W (SIA)ALPHABET句中の機能名は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.28 JMN9103I-W

(@1@)ALPHABET句中の定数は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[C9103. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9103.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007 ALPHABET FUGOU IS 1.
000008 DATA DIVISION.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011 STOP RUN.
```

C9103.cob 7: JMN9103I-W (STD)ALPHABET句中の定数は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.29 JMN9104I-W

(@1@)CHARACTER TYPE句の呼び名は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA

例題

```
[C9104. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (SIA)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9104.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 CONFIGURATION SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007 F0202 IS PRINT.
000008 DATA DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 REC01 PIC N(4) CHARACTER TYPE IS MODE-3 BY PRINT.
000011 PROCEDURE DIVISION.
000012 P-START.
000013 STOP RUN.
```

C9104.cob 10: JMN9104I-W (SIA)CHARACTER TYPE句の呼び名は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.30 JMN9105I-W

(@1@)IF文の入れ子は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[C9105. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9105.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01 PIC 9(4).
000008 01 REC02 PIC 9(4).
000009 PROCEDURE DIVISION.
```

```

000010 P-START.
000011     IF REC01 = LOW-VALUE THEN
000012         DISPLAY "LOW-VALUE"
000013     ELSE
000014     IF REC01 = HIGH-VALUE THEN
000015         DISPLAY "HIGH-VALUE"
000016     END-IF.
000017     STOP RUN.

```

C9105.cob 11: JMN9105I-W (STD)IF文の入れ子は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.31 JMN9106I-W

(@1@)VALUE句中の定数の並びは共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

例題

```

[C9106.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9106.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 DATA             DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007     01 REC01.
000008     02 REC-NO PIC 9(3).
000009     88 REC-88 VALUE 3
000010                     5
000011                     7.
000012 PROCEDURE         DIVISION.
000013 P-START.
000014     STOP RUN.

```

C9106.cob 9: JMN9106I-W (STD)VALUE句中の定数の並びは共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.32 JMN9107I-W

(@1@)VALUE句の定数-1 THRU 整数-2は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

例題

```

[C9107.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9107.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 DATA             DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007     01 REC01 PIC 9(3).
000008     88 REC02 VALUE IS 0 THRU 3.
000009 PROCEDURE         DIVISION.
000010 P-START.
000011     STOP RUN.

```

C9107.cob 8: JMN9107I-W (STD)VALUE句の定数-1 THRU 整数-2は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.33 JMN9108I-W

(@1@)VALUE句の定数範囲の並びは共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

例題

```
[C9108.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9108.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA             DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 RECO1 PIC 9(3).
000008 88 RECO2 VALUE IS 0 THRU 3
000009                      4 THRU 6.
000010 PROCEDURE        DIVISION.
000011 P-START.
000012 STOP RUN.
```

C9108.cob 8: JMN9108I-W (STD)VALUE句の定数範囲の並びは共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.34 JMN9109I-W

(@1@)CHARACTER TYPE句中の印字モード名は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

例題

```
[C9109.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9109.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 CONFIGURATION    SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007 PRINTING MODE INJI IS IN SIZE 3.0 POINT.
000008 DATA             DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 JPN-CAR PIC N(5) CHARACTER TYPE IS INJI.
000011 PROCEDURE        DIVISION.
000012 P-START.
000013 STOP RUN.
```

C9109.cob 10: JMN9109I-W (STD)CHARACTER TYPE句中の印字モード名は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.35 JMN9110I-W

(@1@)VALUE OF句のデータ名指定は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[C9110. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9110.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT IN-FILE ASSIGN TO INFL.
000008 DATA              DIVISION.
000009 FILE                SECTION.
000010 FD IN-FILE        VALUE OF REC1 IS REC2.
000011     01 REC1         PIC X(80).
000012     01 REC2         PIC X(80).
000013 PROCEDURE          DIVISION.
000014 P-START.
000015     STOP RUN.
```

C9110.cob 10: JMN9110I-W (STD)VALUE OF句のデータ名指定は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.36 JMN9111I-W

(@1@)REDEFINES句の入れ子は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[C9111. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9111.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA            DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007     01 IN-REC.
000008     02 REC11      PIC X(80).
000009     02 REC12      REDEFINES REC11.
000010     03 REC121     PIC X(40).
000011     03 REC122     REDEFINES REC121.
000012     04 REC1221    PIC X(20).
000013     04 REC1222    PIC X(20).
000014     03 REC123     PIC X(40).
000015 PROCEDURE          DIVISION.
000016 P-START.
000017     STOP RUN.
```

C9111.cob 11: JMN9111I-W (STD)REDEFINES句の入れ子は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.37 JMN9115I-W

(@1@)PICTURE句の文字@2@は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

@2@ : N, 1, E

例題

```
[C9115. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDH)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9115.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA             DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 RECO1         PIC N(5).
000008 PROCEDURE         DIVISION.
000009 P-START.
000010 STOP RUN.
```

C9115.cob 7: JMN9115I-W (STD)PICTURE句の文字Nは共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.38 JMN9116I-W

(@1@)USAGE句の@2@指定は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

@2@ : COMPUTATIONAL-1, COMPUTATIONAL-2, COMPUTATIONAL-3, COMPUTATIONAL-4, COMPUTATIONAL-5, BIT, DISPLAY-1, POINTER

例題

```
[C9116. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (SIA)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.

000003 PROGRAM-ID.      C9116.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA             DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 RECO1         USAGE COMPUTATIONAL-1.
000008 PROCEDURE         DIVISION.
000009 P-START.
000010 STOP RUN.
```

C9116.cob 7: JMN9116I-W (SIA)USAGE句のCOMPUTATIONAL-1指定は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.39 JMN9117I-W

(@1@)定数節は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

例題

```
[C9117. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDH)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9117.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA             DIVISION.
000006 CONSTANT         SECTION.
000007 01 ASTER         PIC X(12) VALUE "*".
000008 PROCEDURE         DIVISION.
```

```
000009 P-START.  
000010     STOP RUN.
```

C9117.cob 7: JMN9117I-W (STD)定数節は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.40 JMN9118I-W

(@1@)USE文の@2@指定は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

@2@ : GLOBAL

例題

```
[C9118. cob]  
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)  
000002 IDENTIFICATION DIVISION.  
000003 PROGRAM-ID.      C9118.  
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.  
000005 INPUT-OUTPUT    SECTION.  
000006 FILE-CONTROL.  
000007     SELECT SEQFIL ASSIGN TO SYS006  
000008     ORGANIZATION IS SEQUENTIAL.  
000009 DATA           DIVISION.  
000010 FILE             SECTION.  
000011 FD SEQFIL.  
000012 01 SEQREC       PIC X(80).  
000013 PROCEDURE       DIVISION.  
000014 DECLARATIVES.  
000015 FILERR SECTION. USE GLOBAL AFTER STANDARD ERROR PROCEDURE INPUT  
000016     GO ERR-EXIT.  
000017 END DECLARATIVES.  
000018     OPEN INPUT SEQFIL.  
000019     READ SEQFIL.  
000020     CLOSE SEQFIL.  
000021 ERR-EXIT.
```

C9118.cob 15: JMN9118I-W (STD)USE文のGLOBAL指定は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.41 JMN9119I-W

(@1@)基底場所節は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

例題

```
[C9119. cob]  
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)  
000002 IDENTIFICATION DIVISION.  
000003 PROGRAM-ID.      C9119.  
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.  
000005 DATA           DIVISION.  
000006 BASED-STORAGE  SECTION.  
000007 01 A            PIC 9(2).  
000008 WORKING-STORAGE SECTION.  
000009 01 PTR         POINTER.  
000010 PROCEDURE       DIVISION.  
000011 P-START.
```

```
000012    MOVE ZERO TO PTR->A.  
000013    STOP RUN.
```

C9119.cob 6: JMN9119I-W (STD)基底場所節は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.42 JMN9121I-W

(@1@)ブール演算子@2@は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

@2@ : AND, OR, EXOR, NOT

例題

```
[C9121.cob]  
000001 @OPTIONS FLAGSW(STDH)  
000002 IDENTIFICATION DIVISION.  
000003 PROGRAM-ID.      C9121.  
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.  
000005 DATA             DIVISION.  
000006 WORKING-STORAGE SECTION.  
000007 01 REC01          PIC 1(4) BIT.  
000008 PROCEDURE         DIVISION.  
000009 P-START.  
000010     COMPUTE REC01 = REC01 AND B"1000".  
000011     STOP RUN.
```

C9121.cob 10: JMN9121I-W (STD)ブール演算子B-ANDは共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.43 JMN9122I-W

(@1@)字類条件@2@は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

@2@ : BOOLEAN, KANJI, DBCS

例題

```
[C9122.cob]  
000001 @OPTIONS FLAGSW(STDH)  
000002 IDENTIFICATION DIVISION.  
000003 PROGRAM-ID.      C9122.  
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.  
000005 DATA             DIVISION.  
000006 WORKING-STORAGE SECTION.  
000007 01 REC01          PIC X(3).  
000008 PROCEDURE         DIVISION.  
000009 P-START.  
000010     IF REC01 IS BOOLEAN THEN  
000011         DISPLAY "** TRUE **"  
000012     END-IF.  
000013     STOP RUN.
```

C9122.cob 10: JMN9122I-W (STD)字類条件BOOLEANは共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.44 JMN9123I-W

(@1@)二項演算子または単項演算子@2@は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

@2@ : +, -, *, /, **

例題

```
[C9123.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9123.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01 PIC S9(4).
000008 01 REC02 PIC S9(4).
000009 01 REC03 PIC S9(4).
000010 PROCEDURE DIVISION.
000011 P-START.
000012 COMPUTE REC01 = REC02 + REC03.
000013 STOP RUN.
```

C9123.cob 12: JMN9123I-W (STD)二項演算子または単項演算子+は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.45 JMN9124I-W

(@1@)正負条件は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[C9124.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9124.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01 PIC S9(2) VALUE 0.
000008 01 REC02 PIC S9(2) VALUE 0.
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011 IF REC01 IS NOT NEGATIVE
000012 MOVE REC01 TO REC02
000013 END-IF.
000014 STOP RUN.
```

C9124.cob 11: JMN9124I-W (STD)正負条件は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.46 JMN9125I-W

(@1@)論理演算子@2@は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

@2@ : AND, OR, NOT

例題

```
[C9125.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9125.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA              DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01          PIC S9(2) VALUE 0.
000008 01 REC02          PIC S9(2) VALUE 0.
000009 01 REC03          PIC S9(2) VALUE 0.
000010 PROCEDURE        DIVISION.
000011 P-START.
000012     IF REC01 IS GREATER REC02 AND
000013         NOT REC03 IS GREATER REC01 THEN
000014         MOVE 1 TO REC02.
000015     STOP RUN.
```

C9125.cob 12: JMN9125I-W (STD)論理演算子ANDは共通範囲外です。処理を続行します。

C9125.cob 12: JMN9125I-W (STD)論理演算子NOTは共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.47 JMN9126I-W

(@1@)略記の組合せ条件は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[C9126.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9126.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA              DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01          PIC S9(2) VALUE 0.
000008 01 REC02          PIC S9(2) VALUE 0.
000009 01 REC03          PIC S9(2) VALUE 0.
000010 PROCEDURE        DIVISION.
000011 P-START.
000012     IF REC01 = LOW-VALUE OR HIGH-VALUE THEN
000013         MOVE 1 TO REC02.
000014     STOP RUN.
```

C9126.cob 12: JMN9126I-W (STD)略記の組合せ条件は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.48 JMN9127I-W

(@1@)複合条件は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[C9127.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000003 PROGRAM-ID.      C9127
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA              DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007   01 REC1          PIC 9(8).
000008   01 REC2          PIC 9(8).
000009   01 REC3          PIC 9(8).
000010 PROCEDURE          DIVISION.
000011 P-START.
000012   IF REC1 = 0 AND NOT REC2 = REC3
000013   THEN CONTINUE.
000014   STOP RUN.

```

C9127.cob 12: JMN9127I-W (STD)複合条件は共通範囲外です。処理を続行します。

C9127.cob 12: JMN9127I-W (STD)複合条件は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.49 JMN9128I-W

(@1@)条件名条件は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```

[C9128.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9128.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA              DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007   01 SIGNAL          PIC X.
000008   88 BLUE            VALUE "B".
000009 PROCEDURE          DIVISION.
000010   MOVE "B" TO SIGNAL.
000011   IF BLUE THEN
000012     DISPLAY "*** GO ***"
000013   END-IF.
000014   STOP RUN.

```

C9128.cob 11: JMN9128I-W (STD)条件名条件は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.50 JMN9129I-W

(@1@)連結式は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

例題

```

[C9129.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9129.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA              DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007   01 A                PIC X(2).
000008 PROCEDURE          DIVISION.

```



```

000009 P-START.
000010     IF  A = SPACE & "AA"
000011     THEN
000012         DISPLAY "*** A IS SPACE ***"
000013     END-IF.
000014     STOP RUN.

```

C9129.cob 10: JMN9129I-W (STD)連結式は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.51 JMN9133I-W

(@1@)ACCEPT文中の@2@は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

@2@ : DATE, DAY, DAY-OF-WEEK

例題

```

[C9133. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9133.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 DATA            DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01        PIC 9(5).
000008 PROCEDURE         DIVISION.
000009 P-START.
000010     ACCEPT REC01 FROM DAY-OF-WEEK.
000011     STOP RUN.

```

C9133.cob 10: JMN9133I-W (STD)ACCEPT文中のDAY-OF-WEEKは共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.52 JMN9151I-W

(@1@)ALTER文の手続き名の並びは共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

例題

```

[C9151. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9151.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 DATA            DIVISION.
000006 PROCEDURE         DIVISION.
000007 P-START.
000008     ALTER  NUMBER1 TO PROCEED TO NUMBER2,
000009           NUMBER2 TO PROCEED TO P-START.
000010     STOP RUN.
000011 NUMBER1.
000012     GO TO.
000013 NUMBER2.
000014     GO TO.

```

C9151.cob 8: JMN9151I-W (STD)ALTER文の手続き名の並びは共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.53 JMN9152I-W

(@1@)手続き名を省略したGO TO文は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[C9152.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9152.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA             DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 RECO1         PIC 9(5).
000008 PROCEDURE         DIVISION.
000009 P-START.
000010     ALTER P-START1 TO P-START2.
000011 P-START1.
000012     GO TO.
000013 P-START2.
000014     STOP RUN.
```

C9152.cob 12: JMN9152I-W (STD)手続き名を省略したGO TO文は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.54 JMN9153I-W

(@1@)IF文中の@2@特殊レジスタ指定は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

@2@ : ADDRESS OF

例題

```
[C9153.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9153.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA             DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 RECO1         PIC 9(5).
000008 LINKAGE           SECTION.
000009 01 ZPTRO POINTER.
000010 PROCEDURE         DIVISION USING ZPTRO.
000011 P-START.
000012     IF ADDRESS OF ZPTRO = NULL THEN
000013         MOVE 00001 TO RECO1
000014     END-IF.
000015     STOP RUN.
```

C9153.cob 12: JMN9153I-W (STD)IF文中のADDRESS OF特殊レジスタ指定は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.55 JMN9154I-W

(@1@)IF文中の条件文は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[C9154. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9154.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01 PIC 9(4).
000008 01 REC02 PIC 9(4).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011 IF REC01 = LOW-VALUE THEN
000012 EVALUATE REC02
000013 WHEN 0
000014 DISPLAY "REC02=0"
000015 WHEN OTHER
000016 DISPLAY "REC02=" REC02
000017 END-EVALUATE
000018 END-IF.
000019 STOP RUN.
```

C9154.cob 12: JMN9154I-W (STD)IF文中の条件文は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.56 JMN9161I-W

(@1@)INITIALIZE文中の@2@は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

@2@ : EGCS, DBCS, BOOLEAN, NATIONAL, NATIONAL-EDIT

例題

```
[C9161. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDH)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9161.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01 PIC N(4).
000008 01 REC02 PIC N(4).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011 INITIALIZE REC01 REPLACING
000012 NATIONAL DATA BY REC02.
000013 STOP RUN.
```

C9161.cob 11: JMN9161I-W (STD)INITIALIZE文中のNATIONALは共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.57 JMN9171I-W

(@1@)MOVE文中の数字編集項目の逆編集は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA

例題

```
[P9171. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9171.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01 PIC 9,999.
000008 01 REC02 PIC 9(4).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011 MOVE REC01 TO REC02.
000012 STOP RUN.
```

P9171.cob 11: JMN9171I-W (STD)MOVE文中の数字編集項目の逆編集は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.58 JMN9172I-W

(@1@)MOVE文において日本語編集項目から日本語編集項目への転記は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA

例題

```
[P9172. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDH)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9172.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01 PIC NBNB.
000008 01 REC02 PIC N(3)B(3).
000009 PROCEDURE DIVISION.
000010 P-START.
000011 MOVE REC01 TO REC02.
000012 STOP RUN.
```

P9172.cob 11: JMN9172I-W (STD)MOVE文において日本語編集項目から日本語編集項目への転記は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.59 JMN9173I-W

(@1@)MOVE文において数字編集項目から数字編集項目への転記は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[P9173. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9173.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
```

```

000005 DATA          DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01       PIC 9,999.
000008 01 REC02       PIC 99,99.
000009 PROCEDURE      DIVISION.
000010 P-START.
000011     MOVE REC01 TO REC02.
000012     STOP RUN.

```

P9173.cob 11: JMN9173I-W (STD)MOVE文において数字編集項目から数字編集項目への転記は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.60 JMN9180I-W

(@1@)SET文中の@2@特殊レジスタ指定は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

@2@ : ADDRESS OF

例題

```

[P9180.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9180.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA             DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01          PIC 9(5).
000008 LINKAGE           SECTION.
000009 01 ZPTR0          POINTER.
000010 PROCEDURE        DIVISION.
000011 P-START.
000012     SET ADDRESS OF ZPTR0 TO NULLS.
000013     STOP RUN.

```

P9180.cob 12: JMN9180I-W (STD)SET文中のADDRESS OF特殊レジスタ指定は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.61 JMN9181I-W

(@1@)SET文中のTO TRUE句は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```

[P9181.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9181.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA             DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01.
000008     02 REC02 PIC X.
000009     88 REC03 VALUE "A".
000010 PROCEDURE        DIVISION.
000011 P-START.

```

```
000012      SET  REC03 TO TRUE.
000013      STOP RUN.
```

P9181.cob 12: JMN9181I-W (STD)SET文中のTO TRUE句は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.62 JMN9182I-W

(@1@)START文のデータ名指定は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[P9182.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STDH)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9182.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT IN-FILE ASSIGN TO IND
000008             ORGANIZATION IS INDEXED
000009             RECORD KEY   IS REC01.
000010 DATA              DIVISION.
000011 FILE                SECTION.
000012 FD IN-FILE.
000013     01 REC01         PIC 9(5).
000014 PROCEDURE           DIVISION.
000015 P-START.
000016     START IN-FILE
000017             KEY IS EQUAL TO REC01.
000018     STOP RUN.
```

P9182.cob 16: JMN9182I-W (STD)START文のデータ名指定は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.63 JMN9183I-W

(@1@)START文のこの比較演算子は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

例題

```
[P9183.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STDH)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9183.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT KYUUYO-FILE ASSIGN TO IDFL
000008             ORGANIZATION IS INDEXED
000009             RECORD KEY IS SYAIN-BANGO.
000010 DATA              DIVISION.
000011 FILE                SECTION.
000012 FD KYUUYO-FILE.
000013     01 KYUUYO-REC.
000014     02 SYAIN-BANGO  PIC X(6).
000015     02 KYUUYO        PIC 9(6).
000016 PROCEDURE           DIVISION.
```

```
000017 P-START.  
000018     START KYUYUO-FILE KEY NOT > SYAIN-BANGO.  
000019     STOP RUN.
```

P9183.cob 18: JMN9183I-W (STD)START文のこの比較演算子は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.64 JMN9191I-W

(@1@)INSPECT文中の複数文字のデータ項目は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[P9191. cob]  
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD1)  
000002 IDENTIFICATION DIVISION.  
000003 PROGRAM-ID.      P9191.  
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.  
000005 DATA             DIVISION.  
000006 WORKING-STORAGE SECTION.  
000007     01  REC01      PIC X(10).  
000008     01  REC02      PIC 9(4).  
000009 PROCEDURE         DIVISION.  
000010 P-START.  
000011     INSPECT REC01  
000012         CONVERTING "***" TO "$$$".  
000013     STOP RUN.
```

P9191.cob 11: JMN9191I-W (STD)INSPECT文中の複数文字のデータ項目は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.65 JMN9192I-W

(@1@)INSPECT文中のBEFORE/AFTER指定の並びは共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[P9192. cob]  
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD1)  
000002 IDENTIFICATION DIVISION.  
000003 PROGRAM-ID.      P9192.  
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.  
000005 DATA             DIVISION.  
000006 WORKING-STORAGE SECTION.  
000007     01  REC01      PIC X(10).  
000008     01  REC02      PIC 9(4).  
000009 PROCEDURE         DIVISION.  
000010 P-START.  
000011     INSPECT REC01 TALLYING REC02  
000012         FOR CHARACTERS AFTER ", "  
000013         BEFORE ", ".  
000014     STOP RUN.
```

P9192.cob 11: JMN9192I-W (STD)INSPECT文中のBEFORE/AFTER指定の並びは共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.66 JMN9193I-W

(@1@)INSPECT文中の@2@句の並びは共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

@2@ : TALLYING, REPLACING

例題

```
[P9193.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD1)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9193.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA              DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01          PIC X(10).
000008 01 REC02          PIC 9(4).
000009 PROCEDURE        DIVISION.
000010 P-START.
000011     INSPECT REC01 REPLACING ALL "I" BY "L"
000012                                "ボ" BY "ホ".
000013     STOP RUN.
```

P9193.cob 11: JMN9193I-W (STD)INSPECT文中のREPLACING句の並びは共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.67 JMN9221I-W

(@1@)BLOCK CONTAINS 0 CHARACTERS指定は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

例題

```
[P9221.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD1)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9221.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT CHAR-FILE ASSIGN TO CHAR-FL.
000008 DATA              DIVISION.
000009 FILE                SECTION.
000010 FD CHAR-FILE
000011     BLOCK CONTAINS 0 CHARACTERS.
000012 01 CHAR-REC        PIC X(80).
000013 PROCEDURE          DIVISION.
000014 P-START.
000015     STOP RUN.
```

P9221.cob 10: JMN9221I-W (STD)BLOCK CONTAINS 0 CHARACTERS指定は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.68 JMN9242I-W

(@1@)RECORD CONTAINS句の整数-1 TO 整数-2は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[C9242.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9242.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT IN-FILE ASSIGN INFIL.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD IN-FILE
000011     RECORD CONTAINS 1 TO 5 CHARACTERS.
000012 01 RECO1 PIC 9(5).
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014 P-START.
000015     STOP RUN.
```

C9242.cob 11: JMN9242I-W (STD)RECORD CONTAINS句の整数-1 TO 整数-2は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.69 JMN9251I-W

(@1@)CLOSE文中の@2@句は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

@2@ : REEL, REEL FOR REMOVAL, UNIT, UNIT FOR REMOVAL, WITH NO REWIND

例題

```
[P9251.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9251.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT IN-FILE ASSIGN SEQ.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD IN-FILE.
000011 01 RECO1 PIC 9(5).
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013 P-START.
000014     OPEN INPUT IN-FILE.
000015     CLOSE IN-FILE REEL FOR REMOVAL.
000016     STOP RUN.
```

P9251.cob 15: JMN9251I-W (STD)CLOSE文中のREEL FOR REMOVAL句は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.70 JMN9261I-W

(@1@)行順ファイルは共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

例題

```
[P9261.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9261.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT SEQLINE
000008         ASSIGN TO C9261
000009         ORGANIZATION IS LINE SEQUENTIAL.
000010 DATA              DIVISION.
000011 FILE                SECTION.
000012 FD  SEQLINE.
000013 01  FILE-NUM      PIC X(80).
000014 PROCEDURE          DIVISION.
000015 P-START.
000016     STOP RUN.
```

P9261.cob 12: JMN9261I-W (STD)行順ファイルは共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.71 JMN9331I-W

(@1@)サブスキーマ名段落は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA,STD

2.8.72 JMN9332I-W

(@1@)入れ子のプログラムは共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[P9332.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9332.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA              DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007     01 RECO1      PIC 9(4).
000008     01 RECO2      PIC 9(4).
000009 PROCEDURE          DIVISION.
000010 P-START.
000011     CALL "Z9332".
000012     STOP RUN.
000013*
000014 IDENTIFICATION DIVISION.
000015 PROGRAM-ID.      Z9332.
000016 DATA              DIVISION.
000017 WORKING-STORAGE SECTION.
000018 PROCEDURE          DIVISION.
000019 P-START.
000020 END PROGRAM Z9332.
000021 END PROGRAM P9332.
```

P9332.cob 15: JMN9332I-W (STD)入れ子のプログラムは共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.73 JMN9333I-W

(@1@)CALL文中のUSING句に指定した作用対象の個数は5個以下でなければなりません。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[P9333.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9333.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA             DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC01.
000008    02 REC02    PIC 9(4).
000009    02 REC03    PIC 9(4).
000010    02 REC04    PIC 9(4).
000011    02 REC05    PIC 9(4).
000012    02 REC06    PIC 9(4).
000013    02 REC07    PIC 9(4).
000014 PROCEDURE        DIVISION.
000015 P-START.
000016    CALL "Z9333" USING REC02
000017                          REC03
000018                          REC04
000019                          REC05
000020                          REC06
000021                          REC07.
000022    STOP RUN.
```

P9333.cob 16: JMN9333I-W (STD)CALL文中のUSING句に指定した作用対象の個数は5個以下でなければなりません。処理を続行します。

2.8.74 JMN9334I-W

(@1@)手続き部の見出しに書かれたUSING句の作用対象の個数は5個以下でなければなりません。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[P9334.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9334.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA             DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 LINKAGE          SECTION.
000008 01 REC01    PIC 9(4).
000009 01 REC02    PIC 9(4).
000010 01 REC03    PIC 9(4).
000011 01 REC04    PIC 9(4).
000012 01 REC05    PIC 9(4).
000013 01 REC06    PIC 9(4).
```

```

000014 PROCEDURE      DIVISION USING REC01
000015                      REC02
000016                      REC03
000017                      REC04
000018                      REC05
000019                      REC06.
000020 P-START.
000021     STOP RUN.

```

P9334.cob 0: JMN9334I-W (STD)手続き部の見出しに書かれたUSING句の作用対象の個数は5個以下でなければなりません。処理を続行します。

2.8.75 JMN9335I-W

(@1@)プログラム終わり見出しは共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```

[P9335.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9335.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000006 DATA           DIVISION.
000007 PROCEDURE       DIVISION.
000008 P-START.
000009     STOP RUN.
000010 END PROGRAM P9335.

```

P9335.cob 10: JMN9335I-W (STD)プログラム終わり見出しは共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.76 JMN9341I-W

(@1@)整列併合用ファイルは共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```

[P9341.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9341.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT      IN-FILE
000008                 ASSIGN TO SMF.
000009 DATA           DIVISION.
000010 FILE           SECTION.
000011 SD IN-FILE.
000012     01 REC01.
000013     02          PIC X(66).
000014 PROCEDURE     DIVISION.
000015 P-START.
000016     STOP RUN.

```

P9341.cob 11: JMN9341I-W (STD)整列併合用ファイルは共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.77 JMN9343I-W

(@1@)SORT文中のASCENDING/DESCENDING KEY句に指定するキーの個数は15以下でなければなりません。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

例題

```
[P9343. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(SIA)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9343.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT IN-FILE ASSIGN TO INFL.
000008     SELECT OT-FILE ASSIGN TO OTFL.
000009     SELECT SORT-FILE ASSIGN TO STFL.
000010 DATA              DIVISION.
000011 FILE                SECTION.
000012 FD IN-FILE.
000013     01 IN-REC.
000014     02 RECI1      PIC X(80).
000015 FD OT-FILE.
000016     01 OT-REC.
000017     02 RECO1      PIC X(80).
000018 SD SORT-FILE.
000019     01 ST-REC.
000020     02 RECS1      PIC X(5).
000021     02 RECS2      PIC X(5).
000022     02 RECS3      PIC X(5).
000023     02 RECS4      PIC X(5).
000024     02 RECS5      PIC X(5).
000025     02 RECS6      PIC X(5).
000026     02 RECS7      PIC X(5).
000027     02 RECS8      PIC X(5).
000028     02 RECS9      PIC X(5).
000029     02 RECS10     PIC X(5).
000030     02 RECS11     PIC X(5).
000031     02 RECS12     PIC X(5).
000032     02 RECS13     PIC X(5).
000033     02 RECS14     PIC X(5).
000034     02 RECS15     PIC X(5).
000035     02 RECS16     PIC X(5).
000036 WORKING-STORAGE SECTION.
000037 PROCEDURE            DIVISION.
000038 P-START.
000039     SORT SORT-FILE ASCENDING KEY
000040         RECS1 RECS2 RECS3 RECS4 RECS5 RECS6 RECS7 RECS8
000041         RECS9 RECS10 RECS11 RECS12 RECS13 RECS14 RECS15 RECS16
000042         USING IN-FILE GIVING OT-FILE.
000043     STOP RUN.
```

P9343.cob 39: JMN9343I-W (SIA)SORT文中のASCENDING/DESCENDING KEY句に指定するキーの個数は15以下でなければなりません。処理を続行します。

2.8.78 JMN9344I-W

(@1@)登録集原文中のCOPY文は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

例題

```
[P9344. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STDH)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9344.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 CONFIGURATION    SECTION.
000006 DATA             DIVISION.
000007 WORKING-STORAGE SECTION.
000008     COPY P9344A.
000009 PROCEDURE          DIVISION.
000010     DISPLAY WK1.
000011 END PROGRAM      P9344.
```

```
[P9344A. cbl]
000001     COPY P9344B.
```

```
[P9344B. cbl]
000001 01 WK1  PIC X(8).
```

P9344A.cbl 1: JMN9344I-W (STD)登録集原文中のCOPY文は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.79 JMN9345I-W

(@1@)登録集名で修飾された原文名は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[P9345. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002* 環境変数COB_COBLIBに、WRKREC. cblを配置したフォルダ名を指定して翻訳する。
000003 IDENTIFICATION DIVISION.
000004 PROGRAM-ID.      P9345.
000005 DATA DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007     COPY WRKREC OF COBLIB.
000008 PROCEDURE          DIVISION.
000009     STOP RUN.
```

```
[WRKREC. cbl]
000001 01 DATA1      PIC X(10).
```

P9345.cob 7: JMN9345I-W (STD)登録集名で修飾された原文名は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.80 JMN9346I-W

(@1@)原文名定数は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

例題

```
[P9346. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9346.
000004 DATA DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006     COPY "WRKREC. cbl".
000007 PROCEDURE DIVISION.
000008     STOP RUN.
```

```
[WRKREC. cbl]
000001 01 DATA1      PIC X(10).
```

P9346.cob 6: JMN9346I-W (STD)原文名定数は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.81 JMN9352I-W

(@1@)報告書ファイルのファイル記述項は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA

例題

```
[C9352. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(SIA)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9352.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT R-FILE ASSIGN TO RFIL.
000008 DATA DIVISION.
000009 FILE SECTION.
000010 FD R-FILE REPORT R2-FILE.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 REPORT SECTION.
000013 RD R2-FILE
000014     PAGE 62
000015     FIRST DETAIL 6
000016     LAST DETAIL 58.
000017 01 DATA-1 TYPE DE
000018     LINE PLUS 1.
000019 PROCEDURE DIVISION.
000020 P-START.
000021     STOP RUN.
```

C9352.cob 10: JMN9352I-W (SIA)報告書ファイルのファイル記述項は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.82 JMN9353I-W

(@1@)報告書ファイルの報告書記述項は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[P9353.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(RPW)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9353.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT      R-FILE ASSIGN TO RFIL.
000008 DATA          DIVISION.
000009 FILE            SECTION.
000010 FD  R-FILE REPORT R2-FILE.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 REPORT        SECTION.
000013 RD  R2-FILE
000014     PAGE          62
000015     FIRST DETAIL   6
000016     LAST DETAIL   58.
000017 01 DATA1        TYPE DE
000018     LINE PLUS 1.
000019 PROCEDURE        DIVISION.
000020 P-START.
000021     STOP RUN.
```

P9353.cob 13: JMN9353I-W (STD)報告書ファイルの報告書記述項は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.83 JMN9354I-W

(@1@)報告書節の見出しは共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[P9354.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(RPW)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9354.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT F-FILE ASSIGN TO F.
000008 DATA          DIVISION.
000009 FILE            SECTION.
000010 FD  F-FILE REPORT R-FILE.
000011 REPORT        SECTION.
000012 RD  R-FILE
000013     PAGE          62
000014     FIRST DETAIL   6
000015     LAST DETAIL   58.
000016 01 DATA-1        TYPE DE LINE PLUS 1.
000017 PROCEDURE        DIVISION.
000018 P-START.
000019     STOP RUN.
```

P9354.cob 11: JMN9354I-W (STD)報告書節の見出しは共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.84 JMN9361I-W

(@1@)報告書ファイルのCLOSE文は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA

例題

```
[P9361.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(SIA)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9361.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT        R-FILE ASSIGN TO RFIL.
000008 DATA              DIVISION.
000009 FILE                SECTION.
000010 FD R-FILE REPORT  R2-FILE.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 REPORT              SECTION.
000013 RD  R2-FILE
000014     PAGE              62
000015     FIRST DETAIL      6
000016     LAST DETAIL      58.
000017 01 DATA1            TYPE DE
000018     LINE PLUS 1.
000019 PROCEDURE            DIVISION.
000020 P-START.
000021     OPEN  OUTPUT R-FILE.
000022     CLOSE R-FILE.
000023     STOP RUN.
```

P9361.cob 22: JMN9361I-W (SIA)報告書ファイルのCLOSE文は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.85 JMN9371I-W

(@1@)報告書ファイルのOPEN文は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA

例題

```
[C9371.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(SIA)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9371.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT        R-FILE ASSIGN TO RFIL.
000008 DATA              DIVISION.
000009 FILE                SECTION.
000010 FD R-FILE REPORT  R2-FILE.
000011 WORKING-STORAGE SECTION.
000012 REPORT              SECTION.
000013 RD  R2-FILE
000014     PAGE              62
000015     FIRST DETAIL      6
000016     LAST DETAIL      58.
000017 01 DATA1            TYPE DE
000018     LINE PLUS 1.
000019 PROCEDURE            DIVISION.
000020 P-START.
```

```
000021 OPEN OUTPUT R-FILE.
000022 CLOSE R-FILE.
000023 STOP RUN.
```

C9371.cob 21: JMN9371I-W (SIA)報告書ファイルのOPEN文は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.86 JMN9381I-W

(@1@)表示ファイルのファイル記述項は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

例題

```
[P9381.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STDH)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9381.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007 SELECT MED01 ASSIGN TO GS-FILE
000008 SYMBOLIC DESTINATION IS "PRT".
000009 DATA DIVISION.
000010 FILE SECTION.
000011 FD MED01.
000012 01 REC01 PIC 9(5).
000013 01 REC02 PIC 9(5).
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015 P-START.
000016 OPEN INPUT MED01.
000017 CLOSE MED01.
000018 STOP RUN.
```

P9381.cob 11: JMN9381I-W (STD)表示ファイルのファイル記述項は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.87 JMN9384I-W

(@1@)SYMBOLIC DESTINATION句の@2@は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA

@2@ : ACM, CMD, TRM, WST, DATA-NAME

例題

```
[C9384.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(SIA)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. C9384.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007 SELECT MED01
000008 ASSIGN TO GS-FILE
000009 SYMBOLIC DESTINATION IS "ACM".
000010 DATA DIVISION.
000011 FILE SECTION.
000012 FD MED01.
000013 01 REC01 PIC 9(5).
```

```

000014 01 REC02 PIC 9(5).
000015 PROCEDURE DIVISION.
000016 P-START.
000017 OPEN INPUT MED01.
000018 CLOSE MED01.
000019 STOP RUN.

```

C9384.cob 12: JMN9384I-W (SIA)SYMBOLIC DESTINATION句のACMは共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.88 JMN9391I-W

(@1@)ACCESS MODE句中の@2@は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : STD

@2@ : RANDOM, DYNAMIC

例題

```

[P9391. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9391.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007 SELECT INFILE
000008 ASSIGN TO IND
000009 ORGANIZATION IS INDEXED
000010 RECORD KEY IS REC01
000011 ACCESS MODE IS RANDOM.
000012 DATA DIVISION.
000013 FILE SECTION.
000014 FD INFILE.
000015 01 REC01 PIC 9(5).
000016 01 REC02 PIC 9(5).
000017 PROCEDURE DIVISION.
000018 P-START.
000019 OPEN INPUT INFILE.
000020 CLOSE INFILE.
000021 STOP RUN.

```

P9391.cob 14: JMN9391I-W (STD)ACCESS MODE句中のRANDOMは共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.89 JMN9392I-W

(@1@)ASSIGN句のファイル識別名定数は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA

例題

```

[P9392. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(SIA)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID. P9392.
000004 ENVIRONMENT DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007 SELECT INFILE

```

```

000008          ASSIGN      TO "INDATA.TXT".
000009 DATA      DIVISION.
000010 FILE        SECTION.
000011 FD  INFILE.
000012  01  REC01    PIC 9(5).
000013  01  REC02    PIC 9(5).
000014 PROCEDURE   DIVISION.
000015 P-START.
000016  OPEN  INPUT INFILE.
000017  CLOSE INFILE.
000018  STOP  RUN.

```

P9392.cob 11: JMN9392I-W (SIA)ASSIGN句のファイル識別名定数は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.90 JMN9393I-W

(@1@)ASSIGN句中の@2@指定は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

@2@ : DATA-NAME, DISK, PRINTER

例題

```

[C9393.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STDH)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9393.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT      SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT CHAR-FILE
000008           ASSIGN TO PRINTER.
000009 DATA              DIVISION.
000010 FILE                SECTION.
000011 FD  CHAR-FILE.
000012  01  CHAR-REC      PIC X(80).
000013 PROCEDURE         DIVISION.
000014 P-START.
000015  STOP  RUN.

```

C9393.cob 11: JMN9393I-W (STD)ASSIGN句中のPRINTER指定は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.91 JMN9501I-W

(@1@)ポインタ修飾子は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

例題

```

[P9501.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STDH)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9501.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA              DIVISION.
000006 BASED-STORAGE     SECTION.
000007  01  WBUF          PIC X(20).
000008 WORKING-STORAGE   SECTION.

```

```

000009 01 WPX          POINTER.
000010 PROCEDURE      DIVISION.
000011     MOVE LOW-VALUE TO WPX->WBUF
000012 END PROGRAM    P9501.

```

P9501.cob 11: JMN9501I-W (STD)ポインタ修飾子は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.92 JMN9502I-W

(@1@)関数名@2@は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

@2@ : ADDR, LENG

例題

```

[C9502.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(SIA)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9502.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 DATA            DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 WBUF          PIC X(20).
000008 01 WPX           POINTER.
000009 PROCEDURE        DIVISION.
000010     MOVE FUNCTION ADDR(WBUF) TO WPX.

```

C9502.cob 10: JMN9502I-W (SIA)関数名ADDRは共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.93 JMN9503I-W

(@1@)この関数名は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

例題

```

[C9503.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(STD)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      C9503.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 DATA            DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 A              PIC X(21).
000008 PROCEDURE        DIVISION.
000009 P-START.
000010     MOVE FUNCTION WHEN-COMPILED TO A.
000011     DISPLAY A.
000012     STOP RUN.

```

C9503.cob 10: JMN9503I-W (STD)この関数名は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.94 JMN9504I-W

(@1@)表意定数NULLは共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

例題

```
[P9504. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDH)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9504.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA             DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 WPTR POINTER.
000008 PROCEDURE          DIVISION.
000009 P-START.
000010     SET WPTR TO NULL
```

P9504.cob 10: JMN9504I-W (STD)表意定数NULLは共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.95 JMN9506I-W

(@1@)画面節に書かれたデータ名は共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA, STD

例題

```
[P9506. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (STDM)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9506.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA             DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 REC-NUM-W      PIC 9(5) VALUE 1.
000008 01 REC-NAME-W    PIC X(20) VALUE "A".
000009 01 REC-DATA-W    PIC X(10) VALUE "REC-NAME".
000010 SCREEN            SECTION.
000011 01 REC01.
000012 02 REC-NUM      PIC 9(5) FROM REC-NUM-W.
000013 02 REC-NAME      PIC X(20) FROM REC-NAME-W.
000014 02 REC-DATA      PIC X(10) FROM REC-DATA-W.
000015 PROCEDURE          DIVISION.
000016 P-START.
000017     STOP RUN.
```

P9506.cob 11: JMN9506I-W (STD)画面節に書かれたデータ名は共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.96 JMN9507I-W

(@1@)ファイル識別名のASは共通範囲外です。処理を続行します。

埋め込みの説明

@1@ : SIA

例題

```
[P9507. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (SIA)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000003 PROGRAM-ID.      P9507.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT       IN-FILE
000008     ASSIGN           TO AS-IND.
000009 DATA             DIVISION.
000010 FILE              SECTION.
000011 FD   IN-FILE.
000012 01  REC01        PIC 9(5).
000013 01  REC02        PIC 9(5).
000014 PROCEDURE        DIVISION.
000015 P-START.
000016     OPEN  INPUT IN-FILE.
000017     CLOSE IN-FILE.
000018     STOP  RUN.

```

P9507.cob 8: JMN9507I-W (SIA)ファイル識別名のASは共通範囲外です。処理を続行します。

2.8.97 JMN9900I-E

(@1@)OSIVシステムでは、自由形式の正書法はサポートしていません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

例題

```

[P9900.cob]
@OPTIONS SRF(FREE), FLAGSW(GSS)
IDENTIFICATION DIVISION.
PROGRAM-ID.    P9900.
ENVIRONMENT    DIVISION.
DATA           DIVISION.
WORKING-STORAGE SECTION.
01 F0001.
02 F00-NO     PIC X(5).
02 F00-NAME   PIC X(20).
02 F00-DATA   PIC X(50).
PROCEDURE     DIVISION.
P-START.
STOP RUN.

```

P9900.cob 0: JMN9900I-E (GSS)OSIVシステムでは、自由形式の正書法はサポートしていません。

2.8.98 JMN9901I-E

(@1@)OSIVシステムのCOBOL文字集合にない文字を使用しています。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

例題

```

[P9901.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.    P9901.
000004 ENVIRONMENT    DIVISION.
000005 DATA           DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 DATA_1     PIC X.

```

```
000008 PROCEDURE      DIVISION.  
000009 END PROGRAM    P9901.
```

P9901.cob 7: JMN9901I-E (GSS)OSIVシステムのCOBOL文字集合にない文字を使用しています。

2.8.99 JMN9902I-E

(@1@)OSIVシステムでは、@2@の長さは8文字以内でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

@2@ : プログラム名, 入口名, 原文名, 登録集名

例題

```
[P9902.cob]  
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)  
000002 IDENTIFICATION DIVISION.  
000003 PROGRAM-ID.      P9902.  
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.  
000005 DATA           DIVISION.  
000006 WORKING-STORAGE SECTION.  
000007 PROCEDURE      DIVISION.  
000008     ENTRY "ENTRY00001".  
000009 END PROGRAM      P9902.
```

P9902.cob 8: JMN9902I-E (GSS)OSIVシステムでは、入口名の長さは8文字以内でなければなりません。

2.8.100 JMN9903I-E

(@1@)OSIVシステムでは、@2@は英字で始まり英数字だけからなるものでなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

@2@ : プログラム名, 入口名, 原文名, 登録集名

例題

```
[P9903.cob]  
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)  
000002 IDENTIFICATION DIVISION.  
000003 PROGRAM-ID.      P9903.  
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.  
000005 DATA           DIVISION.  
000006 WORKING-STORAGE SECTION.  
000007 PROCEDURE      DIVISION.  
000008     ENTRY "入口名"  
000009 END PROGRAM      P9903.
```

P9903.cob 8: JMN9903I-E (GSS)OSIVシステムでは、入口名は英字で始まり英数字だけからなるものでなければなりません。

2.8.101 JMN9904I-W

(@1@)@2@にハイフンが含まれています。OSIVシステムでは、ハイフンを'#' にみなします。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

@2@ : プログラム名, 入口名, 原文名, 登録集名

例題

```
[P9904. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9904.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA              DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE         DIVISION.
000008     ENTRY "ENTRY-1"
000009 END PROGRAM        P9904.
```

P9904.cob 8: JMN9904I-W (GSS)入口名にハイフンが含まれています。OSIVシステムでは、ハイフンを'#' にみなします。

2.8.102 JMN9905I-E

(@1@)OSIVシステムでは、原文名定数はサポートしていません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

例題

```
[P9905. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9905.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA              DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007     COPY "CPNAME".
000008 PROCEDURE         DIVISION.
000009 END PROGRAM        P9905.
```

```
[CPNAME. cbl]
000001*      (comment line)
```

P9905.cob 7: JMN9905I-E (GSS)OSIVシステムでは、原文名定数はサポートしていません。

2.8.103 JMN9906I-E

(@1@)OSIVシステムでは、プログラムの外部名はサポートしていません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

例題

```
[P9906. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9906 AS "EXTNAME".
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA              DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE         DIVISION.
000008 END PROGRAM        P9906.
```

P9906.cob 3: JMN9906I-E (GSS)OSIVシステムでは、プログラムの外部名はサポートしていません。

2.8.104 JMN9907I-E

(@1@)OSIVシステムでは、引用符文字は翻訳オプションAPOST/QUOTEの指定に従わなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

例題

```
[P9907.cob]
000001 @OPTIONS QUOTE, FLAGSW(GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9907.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA             DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 WDA1          PIC X.
000008 01 WDA2          PIC X.
000009 PROCEDURE        DIVISION.
000010     MOVE "A" TO WDA1.
000011     MOVE 'B' TO WDA1.
000012 END PROGRAM      P9907.
```

P9907.cob 11: JMN9907I-E (GSS)OSIVシステムでは、引用符文字は翻訳オプションAPOST/QUOTEの指定に従わなければなりません。

2.8.105 JMN9908I-W

(@1@)日本語定数の中に日本語の文字に変換できない文字があります。変換できない文字をアンダースコアに置き換えます。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

例題

```
[P9908.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9908.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA             DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 WNDA          PIC N(4).
000008 PROCEDURE        DIVISION.
000009     MOVE NX"C6FCCBDCB8EC" TO WNDA
000010 END PROGRAM      P9908.
```

P9908.cob 9: JMN9908I-W (GSS)日本語定数の中に日本語の文字に変換できない文字があります。変換できない文字をアンダースコアに置き換えます。

2.8.106 JMN9909I-E

(@1@)OSIVシステムでは、機能名 '@2@' はサポートしていません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

@2@ : 各機能名

例題

```
[P9909. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9909.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 CONFIGURATION    SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007     SYSERR IS EOUT.
000008 DATA              DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 PROCEDURE          DIVISION.
000011 END PROGRAM        P9909.
```

P9909.cob 7: JMN9909I-E (GSS)OSIVシステムでは、機能名'SYSERR'はサポートしていません。

2.8.107 JMN9910I-E

(@1@)OSIVシステムでは、@2@関数はサポートしていません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

@2@ : 関数名

例題

```
[P9910. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9910.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA              DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 WDATE          PIC X(20).
000008 01 WANS           PIC S9(2)V999.
000009 01 WANGLE        PIC S9(2)V999.
000010 PROCEDURE          DIVISION.
000011     MOVE FUNCTION CURRENT-DATE TO WDATE
000012     COMPUTE WANS = FUNCTION SIN(WANGLE)
000013 END PROGRAM        P9910.
```

P9910.cob 12: JMN9910I-E (GSS)OSIVシステムでは、FUNCTION SIN関数はサポートしていません。

2.8.108 JMN9911I-E

(@1@)OSIVシステムでは、連結式はサポートしていません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

例題

```
[P9911. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9911.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA              DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE          DIVISION.
```

```
000008      DISPLAY "P" & "9911".
000009 END PROGRAM      P9911.
```

P9911.cob 8: JMN9911I-E (GSS)OSIVシステムでは、連結式はサポートしていません。

2.8.109 JMN9912I-E

(@1@)OSIV COBOL85では、オブジェクト指向機能の@2@はサポートしていません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

@2@ : クラス定義, メソッド定義, リポジトリ段落

例題

```
[P9912.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9912.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 CONFIGURATION    SECTION.
000006 REPOSITORY.
000007      CLASS FJBASE.
000008 DATA              DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 PROCEDURE          DIVISION.
000011 END PROGRAM      P9912.
```

P9912.cob 6: JMN9912I-E (GSS)OSIV COBOL85では、オブジェクト指向機能のリポジトリ段落はサポートしていません。

2.8.110 JMN9913I-E

(@1@)OSIVシステムでは、見出し部の見出しを省略することはできません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

例題

```
[P9913.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (GSS)
000002 PROGRAM-ID.      P9913.
000003 ENVIRONMENT      DIVISION.
000004 DATA              DIVISION.
000005 WORKING-STORAGE SECTION.
000006 PROCEDURE          DIVISION.
000007 END PROGRAM      P9913.
```

P9913.cob 0: JMN9913I-E (GSS)OSIVシステムでは、見出し部の見出しを省略することはできません。

2.8.111 JMN9914I-E

(@1@)OSIVシステムでは、@2@句はサポートしていません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

@2@ : CURSOR, CRT STATUS, WITH LOCK

例題

```
[P9914.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9914.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 CONFIGURATION    SECTION.
000006 SPECIAL-NAMES.
000007     CURSOR IS WCOL.
000008 DATA              DIVISION.
000009 WORKING-STORAGE SECTION.
000010 01 WCOL           PIC X(4).
000011 PROCEDURE         DIVISION.
000012 END PROGRAM        P9914.
```

P9914.cob 3: JMN9914I-E (GSS)OSIVシステムでは、CURSOR句はサポートしていません。

2.8.112 JMN9915I-E

(@1@)OSIVシステムでは、整列併合用ファイルは、ASSIGN句にファイル識別名指定以外は記述できません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

例題

```
[P9915.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9915.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT SRTFILE ASSIGN TO "SYS001".
000008 I-O-CONTROL.
000009 DATA              DIVISION.
000010 FILE                SECTION.
000011 SD SRTFILE.
000012 01 SRTREC.
000013     02             PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 01 WFS1            PIC X(2).
000016 PROCEDURE         DIVISION.
000017 END PROGRAM        P9915.
```

P9915.cob 11: JMN9915I-E (GSS)OSIVシステムでは、整列併合用ファイルは、ASSIGN句にファイル識別名指定以外は記述できません。

2.8.113 JMN9916I-E

(@1@)OSIVシステムでは、行順ファイルはサポートしていません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

例題

```
[P9916.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9916.
```

```

000004 ENVIRONMENT    DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT    SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT SQFILE1 ASSIGN TO SYS001
000008     ORGANIZATION  IS LINE SEQUENTIAL.
000009 DATA            DIVISION.
000010 FILE             SECTION.
000011 FD SQFILE1.
000012 01 SQFIREC.
000013 02              PIC X(80).
000014 WORKING-STORAGE SECTION.
000015 PROCEDURE         DIVISION.
000016 END PROGRAM      P9916.

```

P9916.cob 11: JMN9916I-E (GSS)OSIVシステムでは、行順ファイルはサポートしていません。

2.8.114 JMN9917I-E

(@1@)OSIV COBOL85では、画面節および画面データ記述項はサポートしていません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

例題

```

[P9917.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9917.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 DATA             DIVISION.
000006 SCREEN           SECTION.
000007 01 SC1           VALUE "SC1".
000008 PROCEDURE         DIVISION.
000009 END PROGRAM      P9917.

```

P9917.cob 6: JMN9917I-E (GSS)OSIV COBOL85では、画面節および画面データ記述項はサポートしていません。

2.8.115 JMN9918I-E

(@1@)OSIVシステムでは、名前付き定数(レベル番号78)はサポートしていません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

例題

```

[P9918.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9918.
000004 ENVIRONMENT     DIVISION.
000005 DATA             DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 78 NDC1          VALUE 10.
000008 PROCEDURE         DIVISION.
000009 END PROGRAM      P9918.

```

P9918.cob 7: JMN9918I-E (GSS)OSIVシステムでは、名前付き定数(レベル番号78)はサポートしていません。

2.8.116 JMN9919I-E

(@1@)OSIVシステムでは、型定義はサポートしていません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

例題

```
[P9919. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9919.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA              DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 T1 TYPEDEF    PIC X.
000008 PROCEDURE          DIVISION.
000009 END PROGRAM        P9919.
```

P9919.cob 7: JMN9919I-E (GSS)OSIVシステムでは、型定義はサポートしていません。

2.8.117 JMN9920I-E

(@1@)OSIVシステムでは、USAGE句の@2@指定はサポートしていません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

@2@ : OBJECT REFERENCE, PROCEDURE-POINTER, COMP-5

例題

```
[P9920. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9920.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA              DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 WPPX           PROCEDURE-POINTER.
000008 PROCEDURE          DIVISION.
000009 END PROGRAM        P9920.
```

P9920.cob 7: JMN9920I-E (GSS)OSIVシステムでは、USAGE句のPROCEDURE-POINTER指定はサポートしていません。

2.8.118 JMN9921I-E

(@1@)OSIVシステムでは、手続き部見出しの@2@指定はサポートしていません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

@2@ : WITH, RETURNING

例題

```
[P9921. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9921.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
```

```

000005 DATA          DIVISION.
000006 LINKAGE        SECTION.
000007 01 LK1         PIC S9(4) BINARY.
000008 PROCEDURE      DIVISION
000009                 RETURNING LK1.
000010 END PROGRAM    P9921.

```

P9921.cob 8: JMN9921I-E (GSS)OSIVシステムでは、手続き部見出しのRETURNING指定はサポートしていません。

2.8.119 JMN9922I-E

(@1@)OSIVシステムでは、@2@文はサポートしていません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

@2@ : EXIT PARAGRAPH, EXIT SECTION, UNLOCK

例題

```

[P9922.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9922.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA            DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE        DIVISION.
000008     PERFORM P1.
000009 P1 SECTION.
000010     EXIT SECTION.
000011 END PROGRAM      P9922.

```

P9922.cob 10: JMN9922I-E (GSS)OSIVシステムでは、EXIT SECTION文はサポートしていません。

2.8.120 JMN9923I-E

(@1@)OSIV COBOL85では、@3@文の@2@指定はサポートしていません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

@2@ : WITH LOCK, PREVIOUS, RETURNING

@3@ : ENTRY, WITH, OPEN, READ

例題

```

[P9923.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9923.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA            DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 RT-ITEM       PIC X.
000008 PROCEDURE        DIVISION.
000009     CALL "S9923" RETURNING RT-ITEM.
000010 END PROGRAM      P9923.

```

P9923.cob 9: JMN9923I-E (GSS)OSIV COBOL85では、CALL文のRETURNING指定はサポートしていません。

2.8.121 JMN9924I-E

(@1@)OSIVシステムでは、呼び名または機能名指定のACCEPT文では、一意名@2@は、固定長集団項目、英字、英数字または外部10進項目でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

@2@ : 一意名

例題

```
[P9924.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9924.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA              DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 WBIN           PIC S9(9) BINARY.
000008 PROCEDURE         DIVISION.
000009     ACCEPT WBIN
000010 END PROGRAM      P9924.
```

P9924.cob 9: JMN9924I-E (GSS)OSIVシステムでは、呼び名または機能名指定のACCEPT文では、一意名WBINは、固定長集団項目、英字、英数字または外部10進項目でなければなりません。

2.8.122 JMN9925I-E

(@1@)OSIVシステムでは、スクリーン機能の@2@文をサポートしていません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

@2@ : ACCEPT, DISPLAY

例題

```
[P9925.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW(GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9925.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA              DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 WDAT           PIC X(10).
000008 PROCEDURE         DIVISION.
000009     ACCEPT WDAT
000010         AT 1010
000011 END PROGRAM      P9925.
```

P9925.cob 9: JMN9925I-E (GSS)OSIVシステムでは、スクリーン機能のACCEPT文をサポートしていません。

2.8.123 JMN9926I-E

(@1@)OSIVシステムでは、@2@文に指定するプログラム名は8文字以内でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

@2@ : CALL, CANCEL

例題

```
[P9926. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9926.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA              DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE         DIVISION.
000008     CALL "PGM9926SUB"
000009 END PROGRAM        P9926.
```

P9926.cob 8: JMN9926I-E (GSS)OSIVシステムでは、CALL文に指定するプログラム名は8文字以内でなければなりません。

2.8.124 JMN9927I-E

(@1@)OSIVシステムでは、@2@は@3@文のプログラム名として不適切です。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW
@2@ : 定数の値
@3@ : CALL, CANCEL

例題

```
[P9927. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9927.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA              DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE         DIVISION.
000008     CALL "@PGM9926"
000009 END PROGRAM        P9927.
```

P9927.cob 8: JMN9927I-E (GSS)OSIVシステムでは、@PGM9926はCALL文のプログラム名として不適切です。

2.8.125 JMN9928I-W

(@1@)@2@文のプログラム名にハイフンが含まれています。OSIVシステムでは、ハイフンを'#'にみなします。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW
@2@ : CALL, CANCEL

例題

```
[P9928. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9928.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA              DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 PROCEDURE         DIVISION.
000008     CALL "PGM-9926"
000009 END PROGRAM        P9928.
```

P9928.cob 8: JMN9928I-W (GSS)CALL文のプログラム名にハイフンが含まれています。OSIVシステムでは、ハイフンを'#'にみなします。

2.8.126 JMN9929I-E

(@1@)OSIVシステムでは、字類条件のJAPANESE検査はサポートしていません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

例題

```
[P9929.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9929.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA              DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 WDX              PIC X(2).
000008 PROCEDURE          DIVISION.
000009     IF WDX IS JAPANESE THEN
000010         DISPLAY "OK"
000011     END-IF
000012 END PROGRAM        P9929.
```

P9929.cob 9: JMN9929I-E (GSS)OSIVシステムでは、字類条件のJAPANESE検査はサポートしていません。

2.8.127 JMN9931I-E

(@1@)OSIVシステムでは、START文のこの比較演算子はサポートしていません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

例題

```
[P9931.cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9931.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 INPUT-OUTPUT     SECTION.
000006 FILE-CONTROL.
000007     SELECT IXFILE1 ASSIGN TO SYS001
000008         ORGANIZATION IS INDEXED
000009         RECORD KEY   IS WRKY1.
000010 DATA              DIVISION.
000011 FILE                SECTION.
000012 FD IXFILE1.
000013 01 IXFIREC.
000014 02 WRKY1           PIC X(2).
000015 02                 PIC X(80).
000016 WORKING-STORAGE SECTION.
000017 PROCEDURE          DIVISION.
000018     START IXFILE1
000019         KEY IS LESS THAN WRKY1
000020 END PROGRAM        P9931.
```

P9931.cob 18: JMN9931I-E (GSS)OSIVシステムでは、START文のこの比較演算子はサポートしていません。

2.8.128 JMN9932I-E

(@1@)OSIVシステムでは、@2@はサポートしていません。

埋め込みの説明

@1@ : GSS, GSW

@2@ : 16進数字定数

例題

```
[P9932. cob]
000001 @OPTIONS FLAGSW (GSS)
000002 IDENTIFICATION DIVISION.
000003 PROGRAM-ID.      P9932.
000004 ENVIRONMENT      DIVISION.
000005 DATA              DIVISION.
000006 WORKING-STORAGE SECTION.
000007 01 WNUM           PIC S9(9) BINARY.
000008 PROCEDURE         DIVISION.
000009     MOVE H"FFFF" TO WNUM.
000010 END PROGRAM      P9932.
```

P9932.cob 9: JMN9932I-E (GSS)OSIVシステムでは、16進数字定数はサポートしていません。

2.8.129 JMN9987I-I

文字定数の中にASCII文字以外の文字が含まれています。

2.8.130 JMN9999I-S

このシステムでは、'@1@'は使用できません。

埋め込みの説明

@1@ : SQL機能, 他システム固有の組込み関数名, スクリーン操作のACCEPT/DISPLAY文

2.9 ODBC

ここでは、翻訳時に出力されるSQL文の診断メッセージについて説明します。

2244	7600	8004	8005	8008	8009	8016	8052	8100	8112
8116	8308	8309	8310	8323	8325	8326	8327	8328	8329
8340	8356	8386	8408	8409	8410	8430	8431	8432	8433
8434	8435	8476	8477	8478	8486	8499	8503	8601	8718
8725	8766	8772	8773	8956	8957	8992	8994		

2.9.1 ODBC-2244E

標識変数"@1@"のデータ型に誤りがあります。

埋め込みの説明

@1@ : 標識変数名

例題

```
[SP2244. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
```

```

000002 PROGRAM-ID.      SP2244.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007     02 PRDCTNUM      PIC S9(4) COMP-5.
000008     02 PRDCTNAM      PIC X(20).
000009 01 SQLSTATE        PIC X(5).
000010 01 SQLMSG          PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1        PIC S9(9) COMP-5.
000012 01 VAR-IND2        PIC S9(4) COMP-3.
000013     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     EXEC SQL
000016         CALL SPROCEDRE. SELECT1 (:PRDCTNUM:VAR-IND1)
000017     END-EXEC
000018     EXEC SQL
000019         CALL SPROCEDRE. SELECT2 (:PRDCTNAM:VAR-IND2)
000020     END-EXEC
000021 .

```

SP2244.cob 16: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-2244E 標識変数"VAR-IND1"のデータ型に誤りがあります。

SP2244.cob 19: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-2244E 標識変数"VAR-IND2"のデータ型に誤りがあります。

詳細な説明

標識変数は4桁の符号付き2進数字項目で定義してください。

2.9.2 ODBC-7600E

実行不可能なSQL文です。

例題

```

[SP7600.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP7600.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007     02 PRDCTNUM      PIC S9(4) COMP-5.
000008     02 PRDCTNAM      PIC X(20).
000009 01 SQLSTATE        PIC X(5).
000010 01 SQLMSG          PIC X(128).
000011 01 VAR-IND        PIC S9(4) COMP-5.
000012     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     EXEC SQL
000015         CREATE TABLE STOCK (PRDCT-NO INTEGER, PRDCT-NM CHAR(20))
000016     END-EXEC
000017     EXEC SQL
000018         ALLOCATE DESCRIPTOR SQLDA1 WITH MAX 25
000019     END-EXEC
000020 .

```

SP7600.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-7600E 実行不可能なSQL文です。

SP7600.cob 18: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-7600E 実行不可能なSQL文です。

詳細な説明

このコンパイラでは扱えないSQL文が記述されました。

2.9.3 ODBC-8004E

“@1@”の前後で括弧の対応がとれていません。

埋め込みの説明

@1@ : ストアドプロシージャ名

例題

```
[SP8004.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8004.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM  PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM  PIC X(20).
000009 01 SQLSTATE  PIC X(5).
000010 01 SQLMSG    PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1  PIC S9(4) COMP-5.
000012     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     EXEC SQL
000015         CALL SPROCEDRE.SELECT1(
000016     END-EXEC
000017     EXEC SQL
000018         CALL SPROCEDRE.SELECT2(:PRDCTNUM:VAR-IND1
000019     END-EXEC
000020     .
```

SP8004.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8004E “SPROCEDRE.SELECT1”の前後で括弧の対応がとれていません。

SP8004.cob 18: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8004E “SPROCEDRE.SELECT2”の前後で括弧の対応がとれていません。

詳細な説明

CALL文の引数/パラメタの括弧の対応がとれていません。括弧の対応を確認してください。

2.9.4 ODBC-8005E

各国語文字列定数の形式に誤りがあります。

例題

```
[SP8005.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8005.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM  PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM  PIC N(10).
000009 01 SQLSTATE  PIC X(5).
000010 01 SQLMSG    PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1  PIC S9(4) COMP-5.
000012     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     EXEC SQL
000015         SELECT PRDCT-NO FROM STOCK WHERE PRDCT-NM = N'富士通 '
```

```
000016     END-EXEC
000017     .
```

SP8005.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8005E 各国語文字列定数の形式に誤りがあります。

詳細な説明

各国語文字列定数の記述に誤りがあります。詳しくはCOBOL文法書の構文規則を参照してください。

2.9.5 ODBC-8008E

埋込み変数名の形式に誤りがあります。

例題

```
[SP8008.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       SP8008.
000003 DATA              DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM  PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM  PIC N(10).
000009 01 SQLSTATE  PIC X(5).
000010 01 SQLMSG    PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1  PIC S9(4) COMP-5.
000012     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     EXEC SQL
000015         SELECT PRDCT-NO FROM STOCK WHERE :PRDCTNAM(1:4) = 'TIRE '
000016     END-EXEC
000017     .
```

SP8008.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8008E 埋込み変数名の形式に誤りがあります。

詳細な説明

ホスト変数を部分参照することはできません。

2.9.6 ODBC-8009E

文字列定数の形式に誤りがあります。

例題

```
[SP8009.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.       SP8009.
000003 DATA              DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM  PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM  PIC N(10).
000009 01 SQLSTATE  PIC X(5).
000010 01 SQLMSG    PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1  PIC S9(4) COMP-5.
000012     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     EXEC SQL
000015         SELECT PRDCT-NO FROM STOCK WHERE :PRDCTNAM = ''
```

```
000016      END-EXEC
000017      .
```

SP8009.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8009E 文字列定数の形式に誤りがあります。

詳細な説明

文字列定数に文字列がありません。文字列がない場合は無効となります。

2.9.7 ODBC-8016E

C言語注釈を表す"/", "**/"の記述は許されていません。**

例題

```
[SP8016.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8016.
000003 DATA              DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005      EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM      PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM      PIC X(20).
000009 01 SQLSTATE      PIC X(5).
000010 01 SQLMSG        PIC X(128).
000011 01 VAR-IND       PIC S9(4) COMP-5.
000012      EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014      EXEC SQL
000015          /* COMMENT */
000016          CALL SPROCEDRE. SELECT1 (:PRDCTNUM:VAR-IND)
000017      END-EXEC
000018      .
```

SP8016.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8016E C言語注釈を表す"/**", "**/"の記述は許されていません。

詳細な説明

C言語注釈を表す"/**", "**/"の記述はできません。SQL文中の注釈は標識領域に"/*"を記述するかまたは注釈導入子(--)を使用します。詳しくはCOBOL文法書を参照してください。

2.9.8 ODBC-8052E

区切り識別子"@1@"の形式に誤りがあります。

埋め込みの説明

@1@ : 区切り識別子

例題

```
[SP8052.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8052.
000003 DATA              DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005      EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM      PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM      PIC N(10).
000009 01 SQLSTATE      PIC X(5).
000010 01 SQLMSG        PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1     PIC S9(4) COMP-5.
```



```

000012 EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014 EXEC SQL
000015 SELECT "" FROM STOCK WHERE :PRDCTNAM = 'TIRE'
000016 END-EXEC
000017 .

```

SP8052.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8052E 区切り識別子“”の形式に誤りがあります。

詳細な説明

区切り識別子に文字列がありません。文字列がない場合は無効となります。

2.9.9 ODBC-8100E

入力文は不当です.

例題

```

[SP8100.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. SP8100.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM PIC N(10).
000009 01 SQLSTATE PIC X(5).
000010 01 SQLMSG PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1 PIC S9(4) COMP-5.
000012 EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014 EXEC SQL
000015 DECLARE C1 CURSOR FOR
000016 SELECT PNO FROM STOCK WHERE :PRDCTNAM = 'TIRE'
000017 END-EXEC
000018 EXEC SQL OPEN C1 END-EXEC.
000019 EXEC SQL FETCH C1 :PRDCTNUM END-EXEC.
000020 DISPLAY "Product NO." PRDCTNUM
000021 EXEC SQL CLOSE C1 END-EXEC.
000022 .

```

SP8100.cob 19: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8100E 入力文は不当です。

詳細な説明

該当する行のSQL文に以下の誤りが考えられます。

- FETCH文にINTO句の指定がない
- PREPARE文にFROM句の指定がない

2.9.10 ODBC-8112E

変数指定の形式に誤りがあります.

例題

```

[SP8112.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. SP8112.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.

```

```

000005      EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007      02 PRDCTNUM   PIC S9(4) COMP-5.
000008      02 PRDCTNAM   PIC N(10).
000009 01 SQLSTATE      PIC X(5).
000010 01 SQLMSG        PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1      PIC S9(4) COMP-5.
000012 01 SQLSTMT       PIC X(500).
000013      EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015      MOVE "SELECT PNO FROM STOCK WHERE PNAME = ?" TO SQLSTMT
000016      EXEC SQL PREPARE STM1 FROM :SQLSTMT END-EXEC
000017      EXEC SQL EXECUTE STM1 USING 'TIRE' END-EXEC
000018      .

```

SP8112.cob 17: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8112E 変数指定の形式に誤りがあります。

詳細な説明

USING句にはホスト変数を指定してください。

2.9.11 ODBC-8116E

引数リストの形式に誤りがあります。

例題

```

[SP8116.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8116.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005      EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007      02 PRDCTNUM   PIC S9(4) COMP-5.
000008      02 PRDCTNAM   PIC X(20).
000009 01 SQLSTATE      PIC X(5).
000010 01 SQLMSG        PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1      PIC S9(4) COMP-5.
000012      EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014      EXEC SQL
000015          CALL SPROCEDRE. SELECT1 (PRDCTNUM)
000016      END-EXEC
000017      EXEC SQL
000018          CALL SPROCEDRE. SELECT2 (:PRDCTNUM, )
000019      END-EXEC
000020      .

```

SP8116.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8116E 引数リストの形式に誤りがあります。

SP8116.cob 18: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8116E 引数リストの形式に誤りがあります。

詳細な説明

該当する行のSQL文に以下の誤りが考えられます。

- CALL文の引数がホスト変数または定数ではない
- CALL文の引数リストが分離符でおわっている

2.9.12 ODBC-8308E

“@1@”の前後にカーソル名が指定されていません。

埋め込みの説明

@1@ : DECLARE

例題

```
[SP8308.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8308.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM  PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM  PIC N(10).
000009 01 SQLSTATE  PIC X(5).
000010 01 SQLMSG    PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1  PIC S9(4) COMP-5.
000012     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     EXEC SQL
000015         DECLARE CURSOR C1 FOR
000016             SELECT PNO FROM STOCK WHERE :PRDCTNAM = 'TIRE'
000017     END-EXEC
000018     .
```

SP8308.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8308E “DECLARE”の前後にカーソル名が指定されていません。

詳細な説明

該当するSQL文に以下の誤りが考えられます。

- ・カーソル宣言でDECLAREの直後にカーソル名の指定がない
- ・CURRENT OF指定にカーソル名の指定がない

カーソル名を指定してください。

2.9.13 ODBC-8309E

“@1@”の前後にSQL文識別子が指定されていません。

埋め込みの説明

@1@ : EXECUTE

例題

```
[SP8309.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8309.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM  PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM  PIC N(10).
000009 01 SQLSTATE  PIC X(5).
000010 01 SQLMSG    PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1  PIC S9(4) COMP-5.
000012 01 SQLSTMT   PIC X(500).
000013     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     MOVE "SELECT PNO FROM STOCK WHERE PNAME = ?" TO SQLSTMT
000016     EXEC SQL PREPARE STM1 FROM :SQLSTMT END-EXEC
```

```
000017 EXEC SQL EXECUTE USING :PRDCTNAM END-EXEC
000018 .
```

SP8309.cob 17: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8309E “EXECUTE”の前後にSQL文識別子が指定されていません。

詳細な説明

EXECUTEの直後にSQL文識別子の指定がありません。SQL文識別子を指定してください。

2.9.14 ODBC-8310E

“@1@”の前後にプロシージャ名が指定されていません。

埋め込みの説明

@1@ : CALL

例題

```
[SP8310.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. SP8310.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM PIC X(20).
000009 01 SQLSTATE PIC X(5).
000010 01 SQLMSG PIC X(128).
000011 01 VAR-IND PIC S9(4) COMP-5.
000012 EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014 EXEC SQL
000015 CALL (:PRDCTNUM:VAR-IND)
000016 END-EXEC
000017 .
```

SP8310.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8310E “CALL”の前後にプロシージャ名が指定されていません。

詳細な説明

CALLの直後にストアードプロシージャ名が指定されていません。ストアードプロシージャ名を指定してください。

2.9.15 ODBC-8323E

“@1@”の前後に左括弧が指定されていません。

埋め込みの説明

@1@ : ストアドプロシージャ名

例題

```
[SP8323.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. SP8323.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM PIC X(20).
000009 01 SQLSTATE PIC X(5).
000010 01 SQLMSG PIC X(128).
```

```

000011 01 VAR-IND      PIC S9(4) COMP-5.
000012      EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014      EXEC SQL
000015          CALL SELECT1 (:PRDCTNUM:VAR-IND)
000016      END-EXEC
000017      .

```

SP8323.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8323E “SELECT1”の前後に左括弧が指定されていません。

詳細な説明

引数リストの左括弧がありません。括弧の対応を確認してください。

2.9.16 ODBC-8325E

“@1@”の前後にコネクション相手が指定されていません。

埋め込みの説明

@1@ : CONNECT, TO

例題

```

[SP8325.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8325.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005      EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM  PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM  PIC X(20).
000009 01 SQLSTATE PIC X(5).
000010 01 SQLMSG    PIC X(128).
000011 01 VAR-IND   PIC S9(4) COMP-5.
000012      EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014      EXEC SQL CONNECT DEFAULT END-EXEC
000015      EXEC SQL CONNECT TO END-EXEC
000016      EXEC SQL CALL SELECT1 (:PRDCTNUM) END-EXEC
000017      .

```

SP8325.cob 14: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8325E “CONNECT”の前後にコネクション相手が指定されていません。

SP8325.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8325E “TO”の前後にコネクション相手が指定されていません。

詳細な説明

該当する行のSQL文に以下の誤りが考えられます。

- CONNECT文にTO指定がない
- CONNECT文のTO指定にコネクション相手の指定がない

2.9.17 ODBC-8326E

“@1@”の前後にコネクション対象が指定されていません。

埋め込みの説明

@1@ : SET CONNECTION

例題

```
[SP8326.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8326.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM  PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM  PIC X(20).
000009 01 SQLSTATE  PIC X(5).
000010 01 SQLMSG    PIC X(128).
000011 01 SQLCON    PIC X(30).
000012 01 VAR-IND   PIC S9(4) COMP-5.
000013     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     EXEC SQL SET CONNECTION END-EXEC
000016     EXEC SQL CALL SELECT1(:PRDCTNUM) END-EXEC
000017 .
```

SP8326.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8326E “SET CONNECTION”の前後にコネクション対象が指定されていません。

詳細な説明

SET CONNECTION文にコネクション対象が指定されていません。コネクション対象を指定してください。

2.9.18 ODBC-8327E

“@1@”の前後に切断対象が指定されていません。

埋め込みの説明

@1@ : DISCONNECT

例題

```
[SP8327.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8327.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM  PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM  PIC X(20).
000009 01 SQLSTATE  PIC X(5).
000010 01 SQLMSG    PIC X(128).
000011 01 VAR-IND   PIC S9(4) COMP-5.
000012     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     EXEC SQL CONNECT TO DEFAULT END-EXEC
000015     EXEC SQL CALL SELECT1(:PRDCTNUM) END-EXEC
000016     EXEC SQL DISCONNECT END-EXEC
000017 .
```

SP8327.cob 16: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8327E “DISCONNECT”の前後に切断対象が指定されていません。

詳細な説明

DISCONNECT文に切断対象の指定がありません。切断対象を指定してください。

2.9.19 ODBC-8328E

“@1@”の前後にコネクション名が指定されていません。

埋め込みの説明

@1@ : AS

例題

```
[SP8328. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8328.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM  PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM  PIC X(20).
000009 01 SQLSTATE  PIC X(5).
000010 01 SQLMSG    PIC X(128).
000011 01 SQLCON    PIC X(30).
000012 01 VAR-IND   PIC S9(4) COMP-5.
000013     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     EXEC SQL CONNECT TO :SQLCON AS END-EXEC
000016     EXEC SQL CALL SELECT1(:PRDCTNUM) END-EXEC
000017 .
```

SP8328.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8328E “AS”の前後にコネクション名が指定されていません。

詳細な説明

CONNECT文のAS指定にコネクション名の指定がありません。AS指定にコネクション名を指定してください。

2.9.20 ODBC-8329E

“@1@”の前後に利用者名が指定されていません。

埋め込みの説明

@1@ : USER

例題

```
[SP8329. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8329.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM  PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM  PIC X(20).
000009 01 SQLSTATE  PIC X(5).
000010 01 SQLMSG    PIC X(128).
000011 01 SQLCON    PIC X(30).
000012 01 VAR-IND   PIC S9(4) COMP-5.
000013     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     EXEC SQL CONNECT TO :SQLCON USER END-EXEC
000016     EXEC SQL CALL SELECT1(:PRDCTNUM) END-EXEC
000017 .
```

SP8329.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8329E “USER”の前後に利用者が指定されていません。

詳細な説明

CONNECT文のUSER指定に利用者の指定がありません。USER指定に利用者を指定してください。

2.9.21 ODBC-8340E

“@1@”の前後に相手指定が指定されていません。

埋め込みの説明

@1@ : 句

例題

```
[SP8340.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8340.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM  PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM  PIC N(10).
000009 01 SQLSTATE  PIC X(5).
000010 01 SQLMSG    PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1  PIC S9(4) COMP-5.
000012     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     EXEC SQL
000015         DECLARE C1 CURSOR FOR
000016             SELECT PNO FROM STOCK WHERE :PRDCTNAM = 'TIRE'
000017     END-EXEC
000018     EXEC SQL OPEN C1 END-EXEC.
000019     EXEC SQL FETCH C1 INTO END-EXEC.
000020     DISPLAY "Product NO." PRDCTNUM
000021     EXEC SQL CLOSE C1 END-EXEC.
000022 .
```

SP8340.cob 19: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8340E “INTO”の前後に相手指定が指定されていません。

詳細な説明

メッセージに出力された句に対して相手指定の記述がありません。句に値指定の記述をしてください。

2.9.22 ODBC-8356E

問合せ式又は文識別子が指定されていません。

例題

```
[SP8356.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8356.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM  PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM  PIC N(10).
000009 01 SQLSTATE  PIC X(5).
000010 01 SQLMSG    PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1  PIC S9(4) COMP-5.
```



```

000012      EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014      EXEC SQL
000015          DECLARE C1 CURSOR FOR
000016          END-EXEC
000017      .

```

SP8356.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8356E 問合せ式又は文識別子が指定されていません。

詳細な説明

該当する行のSQL文に以下の誤りが考えられます。

- ・カーソル宣言のカーソル指定に問合せ式の指定がない
- ・動的カーソル宣言のSQL文識別子の指定がない

2.9.23 ODBC-8386E

“@1@”の前後にSQL文変数が指定されていません。

埋め込みの説明

@1@ : FROM, IMMEDIATE

例題

```

[SP8386.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8386.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005      EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM      PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM      PIC N(10).
000009 01 SQLSTATE      PIC X(5).
000010 01 SQLMSG        PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1      PIC S9(4) COMP-5.
000012 01 SQLSTMT       PIC X(500).
000013      EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015      MOVE "SELECT PNO FROM STOCK WHERE PNAME = ?" TO SQLSTMT
000016      EXEC SQL PREPARE STM1 FROM SQLSTMT END-EXEC
000017      EXEC SQL EXECUTE IMMEDIATE STM1 USING :PRDCTNAM END-EXEC
000018      .

```

SP8386.cob 16: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8386E “FROM”の前後にSQL文変数が指定されていません。

SP8386.cob 17: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8386E “IMMEDIATE”の前後にSQL文変数が指定されていません。

詳細な説明

該当する行のSQL文に以下の誤りが考えられます。

- ・PREPARE文のFROM指定に指定するSQL文変数がホスト変数ではない
- ・EXECUTE IMMEDIATE文に指定するSQL文変数がホスト変数ではない

2.9.24 ODBC-8408E

カーソル名“@1@”の後に誤った指定があります。

埋め込みの説明

@1@ : カーソル名

例題

```
[SP8408.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8408.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM      PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM      PIC N(10).
000009 01 SQLSTATE      PIC X(5).
000010 01 SQLMSG        PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1      PIC S9(4) COMP-5.
000012     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     EXEC SQL
000015         DECLARE C1 CURSOR FOR
000016             SELECT PNO FROM STOCK WHERE :PRDCTNAM = 'TIRE'
000017     END-EXEC
000018     EXEC SQL OPEN C1 END-EXEC.
000019     EXEC SQL FETCH C1 INTO :PRDCTNUM END-EXEC.
000020     DISPLAY "Product NO." PRDCTNUM
000021     EXEC SQL CLOSE C1 RELEASE END-EXEC.
000022 .
```

SP8408.cob 21: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8408E カーソル名“C1”の後に誤った指定があります。

詳細な説明

CLOSE文のカーソル名のあとに無効な語があります。

2.9.25 ODBC-8409E

SQL文識別子“@1@”の後に誤った指定があります。

埋め込みの説明

@1@ : SQL文識別子

例題

```
[SP8409.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8409.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM      PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM      PIC N(10).
000009 01 SQLSTATE      PIC X(5).
000010 01 SQLMSG        PIC X(128).
000011 01 SQLSTMT      PIC X(128).
000012 01 VAR-IND1      PIC S9(4) COMP-5.
000013     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     MOVE "SELECT PNO FROM STOCK WHERE PNAME = ?" TO SQLSTMT
000016     EXEC SQL PREPARE STM1 FROM :SQLSTMT END-EXEC
000017     EXEC SQL DECLARE C1 CURSOR FOR STM1 FROM END-EXEC
000018 .
```

SP8409.cob 17: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8409E SQL文識別子“STM1”の後に誤った指定があります。

詳細な説明

該当する行のSQL文に以下の誤りが考えられます。

- 動的カーソル宣言のSQL文識別子直後に無効な語がある
- EXECUTE文のSQL文識別子直後に無効な語がある

2.9.26 ODBC-8410E

引数リストの後に誤った指定があります。

例題

```
[SP8410.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8410.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM  PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM  PIC X(20).
000009 01 SQLSTATE  PIC X(5).
000010 01 SQLMSG    PIC X(128).
000011 01 VAR-IND   PIC S9(4) COMP-5.
000012 01 RTCD      PIC S9(4) COMP-5.
000013     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     EXEC SQL
000016         CALL SELECT1(:PRDCTNUM:VAR-IND) RETURNING RTCD
000017     END-EXEC
000018 .
```

SP8410.cob 16: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8410E 引数リストの後に誤った指定があります。

詳細な説明

CALL文の引数リストの右括弧の直後に無効な語があります。

2.9.27 ODBC-8430E

“@1@”文にFOR句の指定はできません。

埋め込みの説明

@1@ : SQL文

例題

```
[SP8430.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8430.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM  PIC S9(4) COMP-5 OCCURS 3.
000008 02 PRDCTNAM  PIC N(10)          OCCURS 3.
000009 01 SQLSTATE  PIC X(5).
000010 01 SQLMSG    PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1  PIC S9(4) COMP-5.
000012     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 01 CNT         PIC S9(4) COMP-5.
```

```

000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     EXEC SQL
000016         DECLARE C1 CURSOR FOR
000017             SELECT PNO FROM STOCK WHERE PRDCTNAM = 'TIRE'
000018     END-EXEC
000019     EXEC SQL OPEN C1 END-EXEC
000020     EXEC SQL FOR 3 CALL PROC. FETCH1 END-EXEC
000021     EXEC SQL CLOSE C1 END-EXEC
000022 .

```

SP8430.cob 20: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8430E “CALL”文にFOR句の指定はできません。

詳細な説明

該当する行のSQL文はFOR句を指定することはできません。FOR句は、複数行指定ホスト変数または表指定ホスト変数を指定した以下のSQL文にだけ記述できます。

- SELECT文
- INSERT文
- FETCH文
- UPDATE文(探索)
- DELETE文(探索)
- EXECUTE文

2.9.28 ODBC-8431E

“@1@”文に誤ったSQL文変数の指定があります。

埋め込みの説明

@1@ : SQL文

例題

```

[SP8431.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8431.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM  PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM  PIC X(20).
000009 01 SQLSTATE  PIC X(5).
000010 01 SQLMSG    PIC X(128).
000011 01 VAR-IND   PIC S9(4) COMP-5.
000012     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     EXEC SQL CONNECT TO DEFAULT END-EXEC
000015     EXEC SQL CALL SELECT1(:STOCK-TABLE) END-EXEC
000016 .

```

SP8431.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8431E “CALL”文に誤ったSQL文変数の指定があります。

詳細な説明

ホスト変数指定に単一系列指定のみが許されている箇所に対して単一系列指定以外のホスト変数が指定されています。

2.9.29 ODBC-8432E

FOR句の指定位置または書き方に誤りがあります.

例題

```
[SP8432.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8432.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007     02 PRDCTNUM     PIC S9(4) COMP-5.
000008     02 PRDCTNAM     PIC N(10).
000009 01 SQLSTATE       PIC X(5).
000010 01 SQLMSG         PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1      PIC S9(4) COMP-5.
000012     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     EXEC SQL
000015         DECLARE C1 CURSOR FOR
000016             SELECT PNO FROM STOCK WHERE :PRDCTNUM = 1
000017     END-EXEC
000018     EXEC SQL OPEN C1 END-EXEC.
000019     EXEC SQL FOR 3 FETCH C1 INTO :PRDCTNUM END-EXEC.
000020     DISPLAY "Product NO." PRDCTNUM
000021     EXEC SQL CLOSE C1 END-EXEC.
000022     .
```

SP8432.cob 19: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります. ODBC-8432E FOR句の指定位置または書き方に誤りがあります.

詳細な説明

該当する行のSQL文に以下の誤りが考えられます.

- FOR句の指定位置に誤りがある
- FOR句に指定した文のホスト変数の形式に誤り(単一列指定)がある

2.9.30 ODBC-8433E

FOR句に指定された値がOCCURS句で指定されている反復回数を超えています.

例題

```
[SP8433.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8433.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007     02 PRDCTNUM     PIC S9(4) COMP-5 OCCURS 3.
000008     02 PRDCTNAM     PIC N(10)          OCCURS 3.
000009 01 SQLSTATE       PIC X(5).
000010 01 SQLMSG         PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1      PIC S9(4) COMP-5.
000012     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 01 CNT            PIC S9(4) COMP-5.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     EXEC SQL
000016         DECLARE C1 CURSOR FOR
000017             SELECT PNO FROM STOCK WHERE PRDCTNAM = 'TIRE'
000018     END-EXEC
000019     EXEC SQL OPEN C1 END-EXEC
```

```

000020 EXEC SQL FOR 4 FETCH C1 INTO :PRDCTNUM END-EXEC
000021 EXEC SQL CLOSE C1 END-EXEC
000022 .

```

SP8433.cob 20: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8433E FOR句に指定された値がOCCURS句で指定されている反復回数を超えています。

詳細な説明

FOR句の指定回数が指定したSQL文のホスト変数のOCCURS句の反復回数を超えています。FOR句の指定回数は指定したSQL文のホスト変数のOCCURS句の反復回数以下でなくてはなりません。

2.9.31 ODBC-8434E

複数に指定されたホスト変数の指定形体が異なります。

例題

```

[SP8434.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. SP8434.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE1.
000007 02 PRDCTNUM PIC S9(4) COMP-5 OCCURS 3.
000008 01 STOCK-TABLE2.
000009 02 PRDCTNAM PIC N(10).
000010 01 SQLSTATE PIC X(5).
000011 01 SQLMSG PIC X(128).
000012 01 VAR-IND1 PIC S9(4) COMP-5.
000013 EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000014 01 CNT PIC S9(4) COMP-5.
000015 PROCEDURE DIVISION.
000016 EXEC SQL
000017 SELECT PNO, PNAME INTO :STOCK-TABLE1, :STOCK-TABLE2
000018 FROM STOCK WHERE PRDCTNAM = 'TIRE'
000019 END-EXEC
000020 .

```

SP8434.cob 17: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8434E 複数に指定されたホスト変数の指定形体が異なります。

詳細な説明

SQL文中に複数指定されたホスト変数の指定形体が統一されていません。ホスト変数の指定形体を統一してください。

2.9.32 ODBC-8435E

ホスト変数に対応する標識変数の指定形体または指定数が誤っています。

例題

```

[SP8435.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. SP8435.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM PIC X(20).
000009 01 SQLSTATE PIC X(5).
000010 01 SQLMSG PIC X(128).

```

```

000011 01 VAR-IND      PIC S9(4) COMP-5.
000012      EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014      EXEC SQL
000015          CALL SPROCEDRE. SELECT1 (:STOCK-TABLE:VAR-IND)
000016      END-EXEC
000017      .

```

SP8435.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8435E ホスト変数に対応する標識変数の指定形体または指定数が誤っています。

詳細な説明

標識変数の指定形体がホスト変数の指定形体と対応がとれていません。指定形体は同じでなければなりません。

2.9.33 ODBC-8476E

コネクション相手の後に誤った指定"@1@"があります。

埋め込みの説明

@1@ : 語

例題

```

[SP8476. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8476.
000003 DATA              DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005      EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM  PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM PIC X(20).
000009 01 SQLSTATE PIC X(5).
000010 01 SQLMSG   PIC X(128).
000011 01 VAR-IND  PIC S9(4) COMP-5.
000012      EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014      EXEC SQL CONNECT TO DEFAULT AS END-EXEC
000015      EXEC SQL CALL SELECT1 (:PRDCTNUM) END-EXEC
000016      .

```

SP8476.cob 14: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8476E コネクション相手の後に誤った指定"AS"があります。

詳細な説明

CONNECT文のDEFAULT指定の直後に無効な語があります。

2.9.34 ODBC-8477E

コネクション対象の後に誤った指定"@1@"があります。

埋め込みの説明

@1@ : 語

例題

```

[SP8477. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8477.
000003 DATA              DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.

```

```

000005      EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007      02 PRDCTNUM   PIC S9(4) COMP-5.
000008      02 PRDCTNAM   PIC X(20).
000009 01 SQLSTATE      PIC X(5).
000010 01 SQLMSG        PIC X(128).
000011 01 VAR-IND       PIC S9(4) COMP-5.
000012      EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014      EXEC SQL SET CONNECTION DEFAULT FROM STM1 END-EXEC
000015      .

```

SP8477.cob 14: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8477E コネクション対象の後に誤った指定"FROM"があります。

詳細な説明

SET CONNECTION文のコネクション対象直後に無効な語があります。

2.9.35 ODBC-8478E

切断対象の後に誤った指定"@1@"があります。

埋め込みの説明

@1@ : 語

例題

```

[SP8478.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8478.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005      EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007      02 PRDCTNUM   PIC S9(4) COMP-5.
000008      02 PRDCTNAM   PIC X(20).
000009 01 SQLSTATE      PIC X(5).
000010 01 SQLCON        PIC X(30).
000011 01 SQLMSG        PIC X(128).
000012 01 VAR-IND       PIC S9(4) COMP-5.
000013      EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015      EXEC SQL CONNECT TO :SQLCON END-EXEC
000016      EXEC SQL CALL SELECT1(:PRDCTNUM) END-EXEC
000017      EXEC SQL DISCONNECT :SQLCON RELEASE END-EXEC
000018      .

```

SP8478.cob 17: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8478E 切断対象の後に誤った指定"RELEASE"があります。

詳細な説明

DISCONNECT文の切断対象の直後に無効な語があります。

2.9.36 ODBC-8486E

SQL文変数の後に誤った指定があります。

例題

```

[SP8486.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8486.
000003 DATA             DIVISION.

```



```

000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007     02 PRDCTNUM    PIC S9(4) COMP-5.
000008     02 PRDCTNAM    PIC N(10).
000009 01 SQLSTATE      PIC X(5).
000010 01 SQLMSG        PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1      PIC S9(4) COMP-5.
000012 01 SQLSTMT       PIC X(500).
000013     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     MOVE "SELECT PNO FROM STOCK WHERE PNAME = ?" TO SQLSTMT
000016     EXEC SQL PREPARE STM1 FROM :SQLSTMT ALL END-EXEC
000017     EXEC SQL EXECUTE IMMEDIATE :SQLSTMT USING :PRDCTNAM END-EXEC
000018     .

```

SP8486.cob 16: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8486E SQL文変数の後に誤った指定があります。

SP8486.cob 17: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8486E SQL文変数の後に誤った指定があります。

詳細な説明

該当する行のSQL文に以下の誤りが考えられます。

- PREPARE文のSQL文変数の直後に無効な語がある
- EXECUTE IMMEDIATE文のSQL文変数の直後に無効な語がある

2.9.37 ODBC-8499E

キーワード“@1@”の後に誤った指定があります。

埋め込みの説明

@1@ : COMMIT, ROLLBACK

例題

```

[SP8499.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8499.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007     02 PRDCTNUM    PIC S9(4) COMP-5.
000008     02 PRDCTNAM    PIC X(20).
000009 01 SQLSTATE      PIC X(5).
000010 01 SQLMSG        PIC X(128).
000011 01 VAR-IND      PIC S9(4) COMP-5.
000012     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     EXEC SQL COMMIT IMMEDIATE END-EXEC
000015     EXEC SQL ROLLBACK RELEASE END-EXEC
000016     .

```

SP8499.cob 14: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8499E キーワード“COMMIT”の後に誤った指定があります。

SP8499.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8499E キーワード“ROLLBACK”の後に誤った指定があります。

詳細な説明

該当する行のSQL文に以下の誤りが考えられます。

- COMMITの直後に無効な語がある

- ・ ROLLBACKの直後に無効な語がある

上記のキーワード直後には語WORKのみ指定可能です。

2.9.38 ODBC-8503E

キーワードCURRENTの直後にキーワードOFが指定されていません。

例題

```
[SP8503.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8503.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007     02 PRDCTNUM     PIC S9(4) COMP-5.
000008     02 PRDCTNAM     PIC X(20).
000009 01 SQLSTATE       PIC X(5).
000010 01 SQLMSG         PIC X(128).
000011 01 VAR-IND        PIC S9(4) COMP-5.
000012     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     EXEC SQL
000015         DECLARE C1 CURSOR FOR
000016             SELECT PNO FROM STOCK WHERE :PRDCTNAM = 'TIRE'
000017         END-EXEC
000018     EXEC SQL OPEN C1 END-EXEC.
000019     EXEC SQL FETCH C1 INTO :PRDCTNUM END-EXEC.
000020     EXEC SQL UPDATE WHERE CURRENT C1 END-EXEC
000021     EXEC SQL DELETE WHERE CURRENT C1 END-EXEC
000022     EXEC SQL CLOSE C1 END-EXEC.
000023     .
```

SP8503.cob 20: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8503E キーワードCURRENTの直後にキーワードOFが指定されていません。

SP8503.cob 21: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8503E キーワードCURRENTの直後にキーワードOFが指定されていません。

詳細な説明

UPDATE文またはDELETE文のWHERE句に指定したCURRENT OF指定のキーワードOFがありません。

2.9.39 ODBC-8601E

キーワードUSING又はキーワードINTOが複数記述されています。

例題

```
[SP8601.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8601.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007     02 PRDCTNUM     PIC S9(4) COMP-5.
000008     02 PRDCTNAM     PIC N(10).
000009 01 SQLSTATE       PIC X(5).
000010 01 SQLMSG         PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1      PIC S9(4) COMP-5.
```

```

000012 01 SQLSTMT      PIC X(500).
000013      EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015      MOVE "SELECT PNO FROM STOCK WHERE PNAME = ?" TO SQLSTMT
000016      EXEC SQL PREPARE STM1 FROM :SQLSTMT END-EXEC
000017      EXEC SQL EXECUTE STM1 USING :PRDCTNUM USING :PRDCTNAM END-EXEC
000018*
000019      EXEC SQL
000020          DECLARE C1 CURSOR FOR
000021              SELECT PNO FROM STOCK WHERE :PRDCTNAM = 'TIRE'
000022      END-EXEC
000023      EXEC SQL OPEN C1 END-EXEC.
000024      EXEC SQL FETCH C1 INTO :PRDCTNUM INTO :PRDCTNAM END-EXEC.
000025      .

```

SP8601.cob 17: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8601E キーワードUSING又はキーワードINTOが複数記述されています。

SP8601.cob 24: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8601E キーワードUSING又はキーワードINTOが複数記述されています。

詳細な説明

該当する行のSQL文に以下の誤りが考えられます。

- EXECUTE文のUSING指定が複数指定されている
- FETCH文のINTO句が複数指定されている

2.9.40 ODBC-8718E

問合せ式中にINTO句が指定されました。

例題

```

[SP8718.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8718.
000003 DATA              DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005      EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM      PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM      PIC N(10).
000009 01 SQLSTATE      PIC X(5).
000010 01 SQLMSG        PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1      PIC S9(4) COMP-5.
000012      EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014      EXEC SQL
000015          DECLARE C1 CURSOR FOR
000016              SELECT PNO INTO :PRDCTNUM FROM STOCK WHERE :PRDCTNUM = 1
000017      END-EXEC
000018      .

```

SP8718.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8718E 問合せ式中にINTO句が指定されました。

詳細な説明

カーソル宣言のSELECT文中にINTO句が指定されています。カーソル宣言のSELECT文中にINTO句は指定できません。

2.9.41 ODBC-8725E

埋込み変数名"@1@"が宣言されていません。

埋め込みの説明

@1@ : ホスト変数名

例題

```
[SP8725.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8725.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007     02 PRDCTNUM    PIC S9(4) COMP-5.
000008     02 PRDCTNAM    PIC N(10).
000009 01 SQLSTATE      PIC X(5).
000010 01 SQLMSG        PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1     PIC S9(4) COMP-5.
000012     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000013 PROCEDURE DIVISION.
000014     EXEC SQL
000015         SELECT PNO INTO :PRDCTNM FROM STOCK WHERE :PRDCTNUM = 1
000016     END-EXEC
000017     .
```

SP8725.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8725E 埋込み変数名“PRDCTNM”が宣言されていません。

詳細な説明

該当する行のSQL文中で未定義のホスト変数を参照しました。

2.9.42 ODBC-8766E

SQL文変数“@1@”の従属項目に誤った指定があります。

埋め込みの説明

@1@ : ホスト変数名

例題

```
[SP8766.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8766.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE1.
000007     02 PRDCTNUM1    PIC S9(4) COMP-5.
000008     02 PRDCTNAM1.
000009     03 PRDCTNML1   PIC S9(4) BINARY.
000010     03 PRDCTNMS1  PIC N(8).
000011 01 STOCK-TABLE2.
000012     02 PRDCTNUM2    PIC S9(4) COMP-5.
000013     02 PRDCTNAM2    OCCURS 3 PIC X(10).
000014 01 STOCK-TABLE3.
000015     02 PRDCTNAM3    OCCURS 3 PIC X(10).
000016     02 PRDCTNUM3    PIC S9(4) COMP-5.
000017 01 STOCK-TABLE4.
000018     02 PRDCTNUM4    OCCURS 2 PIC S9(4) COMP-5.
000019     02 PRDCTNAM4    OCCURS 4 PIC X(10).
000020 01 SQLSTATE      PIC X(5).
000021 01 SQLMSG        PIC X(128).
000022 01 VAR-IND1     PIC S9(4) COMP-5.
```

```

000023      EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000024 PROCEDURE DIVISION.
000025      EXEC SQL
000026          SELECT PNO INTO :STOCK-TABLE1 FROM STOCK WHERE PNAME = 'TIRE'
000027      END-EXEC
000028      EXEC SQL
000029          SELECT PNO INTO :STOCK-TABLE2 FROM STOCK WHERE PNAME = 'WHEEL'
000030      END-EXEC
000031      EXEC SQL
000032          SELECT PNO INTO :STOCK-TABLE3 FROM STOCK WHERE PNAME = 'SHIFT'
000033      END-EXEC
000034      EXEC SQL
000035          SELECT PNO INTO :STOCK-TABLE4 FROM STOCK WHERE PNAME = 'ENGIN'
000036      END-EXEC
000037      .

```

SP8766.cob 26: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8766E SQL文変数“STOCK-TABLE1”の従属項目に誤った指定があります。

SP8766.cob 29: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8766E SQL文変数“STOCK-TABLE2”の従属項目に誤った指定があります。

SP8766.cob 32: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8766E SQL文変数“STOCK-TABLE3”の従属項目に誤った指定があります。

SP8766.cob 35: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8766E SQL文変数“STOCK-TABLE4”の従属項目に誤った指定があります。

詳細な説明

該当する行のSQL文中で形式の誤った以下のホスト変数が参照されています。

- ・ 集団項目がある複数列指定ホスト変数
- ・ 複数列指定と複数行指定が混在したホスト変数
- ・ 反復回数が異なる表指定ホスト変数

2.9.43 ODBC-8772E

SQL文変数"@1@"のデータ型は、文字型でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : ホスト変数名

例題

```

[SP8772. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8772.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005      EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM      PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM     PIC N(10).
000009 01 SQLSTATE      PIC X(5).
000010 01 SQLMSG       PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1    PIC S9(4) COMP-5.
000012 01 SQLSTMT1    PIC X(500).
000013 01 SQLSTMT2    PIC S9(9) COMP-5.
000014      EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000015 PROCEDURE DIVISION.
000016      MOVE "SELECT PNO FROM STOCK WHERE PNAME = ?" TO SQLSTMT1
000017      MOVE 9999 TO SQLSTMT2

```

```

000018 EXEC SQL PREPARE STM1 FROM :SQLSTMT2 END-EXEC
000019 EXEC SQL EXECUTE IMMEDIATE :SQLSTMT2 END-EXEC
000020 .

```

SP8772.cob 18: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8772E SQL文変数"SQLSTMT2"のデータ型は、文字型でなければなりません。

SP8772.cob 19: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8772E SQL文変数"SQLSTMT2"のデータ型は、文字型でなければなりません。

詳細な説明

該当する行のSQL文に以下の誤りが考えられます。

- EXECUTE IMMEDIATE文のSQL文変数が、日本語項目であるか、または文字型ではない
- PREPARE文のSQL文変数が、日本語項目であるか、または文字型ではない

SQL文変数は、データ型が英数字項目の固定長文字型または可変長文字型に対応するホスト変数でなければなりません。

2.9.44 ODBC-8773E

SQL文変数"@1@"のデータ型は、固定長の文字型でなければなりません。

埋め込みの説明

@1@ : ホスト変数名

例題

```

[SP8773. cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8773.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM  PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM  PIC N(10).
000009 01 SQLSTATE  PIC X(5).
000010 01 SQLMSG    PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1  PIC S9(4) COMP-5.
000012 01 SQLCON1   PIC X(30).
000013 01 SQLCON2.
000014 02 CONLG     PIC S9(4) COMP-5.
000015 02 CONNM     PIC X(30).
000016 EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000017 PROCEDURE DIVISION.
000018 MOVE 9          TO CONLG
000019 MOVE "DBCONNECT" TO CONNM
000020 EXEC SQL CONNECT TO :SQLCON2 END-EXEC
000021 EXEC SQL SET CONNECTION :SQLCON2 END-EXEC
000022 EXEC SQL DISCONNECT :SQLCON2 END-EXEC
000023 .

```

SP8773.cob 20: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8773E SQL文変数"SQLCON2"のデータ型は、固定長の文字型でなければなりません。

SP8773.cob 21: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8773E SQL文変数"SQLCON2"のデータ型は、固定長の文字型でなければなりません。

SP8773.cob 22: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8773E SQL文変数"SQLCON2"のデータ型は、固定長の文字型でなければなりません。

詳細な説明

該当する行のSQL文に以下の誤りが考えられます。

- CONNECT文に指定された接続識別子が可変長である
- SET CONNECTION文に指定された接続識別子が可変長である
- DISCONNECT文に指定された接続識別子が可変長である

サーバ名, コネクション名, 利用者は, 固定長文字列型のホスト変数または文字列定数を指定します。

2.9.45 ODBC-8956E

ストアプロシージャ名“@1@”が長すぎます。

埋め込みの説明

@1@ : ストアドプロシージャ名

例題

```
[SP8956.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8956.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM  PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM  PIC X(20).
000009 01 SQLSTATE  PIC X(5).
000010 01 SQLMSG    PIC X(128).
000011     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000012 PROCEDURE DIVISION.
000013     EXEC SQL
000014         CALL P1P2P3P4P5P6P7P8P9P10P11P12P13P14P15P16P17P18P19P20P21P22P23P24P25P26P27P28P29P30P31P32P33P34P35P36P37P38P39P40P41P42P43P44P45P46P47P48P49P50P51P52P53P54P55P56P57P58P59P60P61P62P63P64P65P66P67P68P69P70P71P72P73P74P75P76P77P78P79P80P81P82P83P84P85P86P87P88P89P90P91P92P93P94P95P96P97P98P99P100P101P102P103P104P105P106P107P108P109P110P111P112P113P114P115P116P117P118P119P120P121P122P123P124P125P126P127P128P129P130P131P132P133P134P135P136P137P138P139P140P141P142P143P144P145P146P147P148P149P150P151P152P153P154P155P156P157P158P159P160P161P162P163P164P165P166P167P168P169P170P171P172P173P174P175P176P177P178P179P180P181P182P183P184P185P186P187P188P189P190P191P192P193P194P195P196P197P198P199P200P201P202P203P204P205P206P207P208P209P210P211P212P213P214P215P216P217P218P219P220P221P222P223P224P225P226P227P228P229P230P231P232P233P234P235P236P237P238P239P240P241P242P243P244P245P246P247P248P249P250P251P252P253P254P255P256P257P258P259P260P261P262P263P264P265P266P267P268P269P270P271P272P273P274P275P276P277P278P279P280P281P282P283P284P285P286P287P288P289P290P291P292P293P294P295P296P297P298P299P300P301P302P303P304P305P306P307P308P309P310P311P312P313P314P315P316P317P318P319P320P321P322P323P324P325P326P327P328P329P330P331P332P333P334P335P336P337P338P339P340P341P342P343P344P345P346P347P348P349P350P351P352P353P354P355P356P357P358P359P360P361P362P363P364P365P366P367P368P369P370P371P372P373P374P375P376P377P378P379P380P381P382P383P384P385P386P387P388P389P390P391P392P393P394P395P396P397P398P399P400P401P402P403P404P405P406P407P408P409P410P411P412P413P414P415P416P417P418P419P420P421P422P423P424P425P426P427P428P429P430P431P432P433P434P435P436P437P438P439P440P441P442P443P444P445P446P447P448P449P450P451P452P453P454P455P456P457P458P459P460P461P462P463P464P465P466P467P468P469P470P471P472P473P474P475P476P477P478P479P480P481P482P483P484P485P486P487P488P489P490P491P492P493P494P495P496P497P498P499P500P501P502P503P504P505P506P507P508P509P510P511P512P513P514P515P516P517P518P519P520P521P522P523P524P525P526P527P528P529P530P531P532P533P534P535P536P537P538P539P540P541P542P543P544P545P546P547P548P549P550P551P552P553P554P555P556P557P558P559P560P561P562P563P564P565P566P567P568P569P570P571P572P573P574P575P576P577P578P579P580P581P582P583P584P585P586P587P588P589P590P591P592P593P594P595P596P597P598P599P600P601P602P603P604P605P606P607P608P609P610P611P612P613P614P615P616P617P618P619P620P621P622P623P624P625P626P627P628P629P630P631P632P633P634P635P636P637P638P639P640P641P642P643P644P645P646P647P648P649P650P651P652P653P654P655P656P657P658P659P660P661P662P663P664P665P666P667P668P669P670P671P672P673P674P675P676P677P678P679P680P681P682P683P684P685P686P687P688P689P690P691P692P693P694P695P696P697P698P699P700P701P702P703P704P705P706P707P708P709P710P711P712P713P714P715P716P717P718P719P720P721P722P723P724P725P726P727P728P729P730P731P732P733P734P735P736P737P738P739P740P741P742P743P744P745P746P747P748P749P750P751P752P753P754P755P756P757P758P759P760P761P762P763P764P765P766P767P768P769P770P771P772P773P774P775P776P777P778P779P780P781P782P783P784P785P786P787P788P789P790P791P792P793P794P795P796P797P798P799P800P801P802P803P804P805P806P807P808P809P810P811P812P813P814P815P816P817P818P819P820P821P822P823P824P825P826P827P828P829P830P831P832P833P834P835P836P837P838P839P840P841P842P843P844P845P846P847P848P849P850P851P852P853P854P855P856P857P858P859P860P861P862P863P864P865P866P867P868P869P870P871P872P873P874P875P876P877P878P879P880P881P882P883P884P885P886P887P888P889P890P891P892P893P894P895P896P897P898P899P900P901P902P903P904P905P906P907P908P909P910P911P912P913P914P915P916P917P918P919P920P921P922P923P924P925P926P927P928P929P930P931P932P933P934P935P936P937P938P939P940P941P942P943P944P945P946P947P948P949P950P951P952P953P954P955P956P957P958P959P960P961P962P963P964P965P966P967P968P969P970P971P972P973P974P975P976P977P978P979P980P981P982P983P984P985P986P987P988P989P990P991P992P993P994P995P996P997P998P999
000017     END-EXEC
000018 .
```

SP8956.cob 14: JMN2633I-S SQL 文に誤りがあります。 ODBC-8956E ストアドプロシージャ名 “ P1P2P3P4P5P6P7P8P9P10P11P12P13P14P15P16P17P18P19P20P21P22P23P24P25P26P27P28P29P30P31P32P33P34P35P36P37P38P39P40P41P42P43P44P45P46P47P48P49P50P51P52P53P54P55P56P57P58P59P60P61P62P63P64P65P66P67P68P69P70P71P72P73P74P75P76P77P78P79P80P81P82P83P84P85P86P87P88P89P90P91P92P93P94P95P96P97P98P99P100P101P102P103P104P105P106P107P108P109P110P111P112P113P114P115P116P117P118P119P120P121P122P123P124P125P126P127P128P129P130P131P132P133P134P135P136P137P138P139P140P141P142P143P144P145P146P147P148P149P150P151P152P153P154P155P156P157P158P159P160P161P162P163P164P165P166P167P168P169P170P171P172P173P174P175P176P177P178P179P180P181P182P183P184P185P186P187P188P189P190P191P192P193P194P195P196P197P198P199P200P201P202P203P204P205P206P207P208P209P210P211P212P213P214P215P216P217P218P219P220P221P222P223P224P225P226P227P228P229P230P231P232P233P234P235P236P237P238P239P240P241P242P243P244P245P246P247P248P249P250P251P252P253P254P255P256P257P258P259P260P261P262P263P264P265P266P267P268P269P270P271P272P273P274P275P276P277P278P279P280P281P282P283P284P285P286P287P288P289P290P291P292P293P294P295P296P297P298P299P300P301P302P303P304P305P306P307P308P309P310P311P312P313P314P315P316P317P318P319P320P321P322P323P324P325P326P327P328P329P330P331P332P333P334P335P336P337P338P339P340P341P342P343P344P345P346P347P348P349P350P351P352P353P354P355P356P357P358P359P360P361P362P363P364P365P366P367P368P369P370P371P372P373P374P375P376P377P378P379P380P381P382P383P384P385P386P387P388P389P390P391P392P393P394P395P396P397P398P399P400P401P402P403P404P405P406P407P408P409P410P411P412P413P414P415P416P417P418P419P420P421P422P423P424P425P426P427P428P429P430P431P432P433P434P435P436P437P438P439P440P441P442P443P444P445P446P447P448P449P450P451P452P453P454P455P456P457P458P459P460P461P462P463P464P465P466P467P468P469P470P471P472P473P474P475P476P477P478P479P480P481P482P483P484P485P486P487P488P489P490P491P492P493P494P495P496P497P498P499P500P501P502P503P504P505P506P507P508P509P510P511P512P513P514P515P516P517P518P519P520P521P522P523P524P525P526P527P528P529P530P531P532P533P534P535P536P537P538P539P540P541P542P543P544P545P546P547P548P549P550P551P552P553P554P555P556P557P558P559P560P561P562P563P564P565P566P567P568P569P570P571P572P573P574P575P576P577P578P579P580P581P582P583P584P585P586P587P588P589P590P591P592P593P594P595P596P597P598P599P600P601P602P603P604P605P606P607P608P609P610P611P612P613P614P615P616P617P618P619P620P621P622P623P624P625P626P627P628P629P630P631P632P633P634P635P636P637P638P639P640P641P642P643P644P645P646P647P648P649P650P651P652P653P654P655P656P657P658P659P660P661P662P663P664P665P666P667P668P669P670P671P672P673P674P675P676P677P678P679P680P681P682P683P684P685P686P687P688P689P690P691P692P693P694P695P696P697P698P699P700P701P702P703P704P705P706P707P708P709P710P711P712P713P714P715P716P717P718P719P720P721P722P723P724P725P726P727P728P729P730P731P732P733P734P735P736P737P738P739P740P741P742P743P744P745P746P747P748P749P750P751P752P753P754P755P756P757P758P759P760P761P762P763P764P765P766P767P768P769P770P771P772P773P774P775P776P777P778P779P780P781P782P783P784P785P786P787P788P789P790P791P792P793P794P795P796P797P798P799P800P801P802P803P804P805P806P807P808P809P810P811P812P813P814P815P816P817P818P819P820P821P822P823P824P825P826P827P828P829P830P831P832P833P834P835P836P837P838P839P840P841P842P843P844P845P846P847P848P849P850P851P852P853P854P855P856P857P858P859P860P861P862P863P864P865P866P867P868P869P870P871P872P873P874P875P876P877P878P879P880P881P882P883P884P885P886P887P888P889P890P891P892P893P894P895P896P897P898P899P900P901P902P903P904P905P906P907P908P909P910P911P912P913P914P915P916P917P918P919P920P921P922P923P924P925P926P927P928P929P930P931P932P933P934P935P936P937P938P939P940P941P942P943P944P945P946P947P948P949P950P951P952P953P954P955P956P957P958P959P960P961P962P963P964P965P966P967P968P969P970P971P972P973P974P975P976P977P978P979P980P981P982P983P984P985P986P987P988P989P990P991P992P993P994P995P996P997P998P999”が長すぎます。

詳細な説明

91文字以上のストアプロシージャ名が指定されています。ストアプロシージャ名は、修飾する名前を含めて、90文字以下の英数字または90文字以下の各国語文字の並びでなければなりません。

2.9.46 ODBC-8957E

SQL文が長すぎます。

例題

```
[SP8957.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID.      SP8957.
000003 DATA             DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM  PIC S9(4) COMP-5.
```

```

000008 02 PRDCTNAM PIC N(10).
000009 01 SQLSTATE PIC X(5).
000010 01 SQLMSG PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1 PIC S9(4) COMP-5.
000012 01 SQLSTMT1 PIC X(16385).
000013 EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015 EXEC SQL PREPARE STM1 FROM :SQLSTMT1 END-EXEC
000016 .

```

SP8957.cob 15: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8957E SQL文が長すぎます。

詳細な説明

16385バイト以上のSQL文が記述されました。1つのSQL文は16384バイト以下で記述してください。

2.9.47 ODBC-8992E

“@1@”はサポートされていません。

埋め込みの説明

@1@: 句

例題

```

[SP8992.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.
000002 PROGRAM-ID. SP8992.
000003 DATA DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005 EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007 02 PRDCTNUM PIC S9(4) COMP-5.
000008 02 PRDCTNAM PIC N(10).
000009 01 SQLSTATE PIC X(5).
000010 01 SQLMSG PIC X(128).
000011 01 VAR-IND1 PIC S9(4) COMP-5.
000012 01 SQLSTMT PIC X(500).
000013 EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015 MOVE "SELECT PNO FROM STOCK WHERE PNAME = ?" TO SQLSTMT
000016 EXEC SQL PREPARE STM1 FROM :SQLSTMT END-EXEC
000017 EXEC SQL EXECUTE STM1 USING DESCRIPTOR :PRDCTNAM END-EXEC
000018 .

```

SP8992.cob 17: JMN2633I-S SQL文に誤りがあります。ODBC-8992E “(SQL)DESCRIPTOR”はサポートされていません。

詳細な説明

未サポート句(DESCRIPTOR系)が記述されました。DESCRIPTOR系はこのコンパイラでは扱えません。

2.9.48 ODBC-8994W

各SQL文変数に指定されたOCCURS句の反復回数が異なっています。最小値“@1@”を有効にします。

埋め込みの説明

@1@: OCCURS句の最小値

例題

```

[SP8994.cob]
000001 IDENTIFICATION DIVISION.

```



```

000002 PROGRAM-ID.      SP8994.
000003 DATA            DIVISION.
000004 WORKING-STORAGE SECTION.
000005     EXEC SQL BEGIN DECLARE SECTION END-EXEC.
000006 01 STOCK-TABLE.
000007     02 PRDCTINF      OCCURS 2 PIC X(1).
000008     02 PRDCTNUM      OCCURS 3 PIC S9(4) COMP-5.
000009     02 PRDCTNAM      OCCURS 4 PIC X(10).
000010 01 SQLSTATE        PIC X(5).
000011 01 SQLMSG          PIC X(128).
000012 01 VAR-IND1       PIC S9(4) COMP-5.
000013     EXEC SQL END DECLARE SECTION END-EXEC.
000014 PROCEDURE DIVISION.
000015     EXEC SQL
000016         SELECT PINF,PNO,PNAME INTO :PRDCTINF, :PRDCTNUM, :PRDCTNAM
000017                                FROM STOCK WHERE PNAME = 'TIRE'
000018     END-EXEC
000019 .

```

SP8994.cob 16: JMN2754I-I ODBC-8994W 各SQL文変数に指定されたOCCURS句の反復回数が異なっています。最小値“2”を有効にします。

詳細な説明

1つのSQL文中で使用する複数行指定ホスト変数および表指定ホスト変数の従属項目に指定された反復回数は、すべて同じでなければなりません。同じでない場合、最小の値を反復回数とみなします。

第3章 実行時メッセージ

ここでは、COBOLランタイムシステムが出力するメッセージについて説明します。

3.1 メッセージ形式

日付と時刻 メッセージ番号 [プロセスID スレッドID] メッセージ本文 プログラム情報

日付と時刻

日付と時刻は次のように表示されます。

YYYY-MM-DD HH:MM:SS (西暦-月-日 時:分:秒)

表示される時間はローカル時間(日本の場合、GMT+9時間)です。

メッセージ番号

メッセージ番号は次のように表示されます。

JMPnnnni-w

- JMP: COBOLの実行時メッセージであることを示します。
- nnnn: メッセージの通し番号を表示します。
- i: オペレーターの応答の必要性を示す以下の文字を表示します。
 - I: オペレーターの応答が不要であることを示します。
 - A: オペレーターの応答が必要であることを示します。
- w: 重大度を示すコードを表示します。

重大度コードの意味および完了コードとの関係を表3.1に示します。

表3.1 実行時メッセージの重大度コードの意味と完了コードへの影響

重大度コード	レベル	意味	完了コードへの影響
I (INFORMATION)	通知メッセージ	ランタイムシステムが検出した情報です。プログラムの実行に支障はありません。	なし
W (WARNING)	軽度のエラー	プログラムの実行に支障はありません。ただし、実行結果が利用者の意図どおりかを確認する必要があります。	なし
E (ERROR)	中程度のエラー	エラーが存在します。しかし、適当な仮定に従って処理を続行します。	あり(注1)
U (UNRECOVERABLE)	致命的なエラー	abort関数(SIGABRTシグナル)を発行しプログラムの実行を終了します。このとき、動作プロセスのcoreがカレントディレクトリに作成されます。	あり(注2)

注1: Eレベルのメッセージが出力された場合、COBOL実行単位の終了時に完了コードが設定されます。このときEレベルのメッセージは完了コード12と評価され、特殊レジスタPROGRAM-STATUSの値と比較して大きい方が、完了コードとして設定されます。

注2: 完了コードはプロセス起動元の仕様に従います。なおプログラムは異常終了します。

プロセスID、スレッドID

エラーの検出されたプログラムのプロセスIDおよびスレッドIDを以下の形式で設定します。

[PID:nnnnnnnnnn TID:nnnnnnnn]

- mmmmmmmm : エラーを検出したアプリケーションのプロセスID
- nnnnnnnn : エラーを検出したアプリケーションのスレッドID

メッセージ本文

エラーの内容を説明します。

プログラム情報

メッセージ本文の末尾に付加されるプログラム情報とは、エラーの検出されたプログラムの情報のことです。なお、エラーの検出された状態によっては、プログラム情報は付加されない場合もあります。

プログラム情報は、以下の形式で表示されます。

- **[Linux]**

- ー プログラム定義で検出された場合

PGM=外部プログラム名

- ー メソッド定義で検出された場合

CLASS=メソッドが定義されているクラス名 METHORD=メソッド名

- **[Solaris][Solaris64][LinuxIPF][Linux64]**

- ー プログラム定義で検出された場合

PGM=外部プログラム名. LINE=[COPY修飾値-]行番号

- ー メソッド定義で検出された場合

CLASS=メソッドが定義されているクラス名 METHOD=メソッド名. LINE=[COPY修飾値-]行番号

COPY修飾値および行番号の形式については、以下を参照してください。

- ー **[Solaris][Solaris64][LinuxIPF]**
“NetCOBOL 使用手引書”の“3.1.7.4 ソースプログラムリスト”
- ー **[Linux64]**
“NetCOBOL ユーザーズガイド”の“B.4 ソースプログラムリスト”

3.2 メッセージ説明形式

実行時メッセージの本文の内容、意味、システムの処理およびプログラマーの処置を、次の形式で説明します。

メッセージ番号
 メッセージ本文（注）
システムの処理
 システムまたはランタイムシステムの処理
補足
 メッセージ本文の意味
プログラマーの処置
 プログラマーが行うべき対処方法

注：メッセージ本文中の\$*n*は、可変情報を示します。実際に出力されるメッセージでは、この部分はプログラム名やファイル名などを表す文字列で置き換えられます。

また、以降の説明で、メッセージ本文の可変部分に設定されるアクセス名またはファイル名とは、以下に示す情報のことです。

アクセス名

アクセス名は、プログラムとファイルの実体を結びつける名前であり、実行時にファイルの実体の名前を設定した環境変数名に対応します。アクセス名は、ASSIGN句にファイル識別名を記述した場合のファイル識別名に対応します。

ファイル名

ファイル名は、ASSIGN句の指定により以下の名前に対応します。

ASSIGN句	対応するファイル名
ファイル識別名	ファイル識別名
ファイル識別名定数	ファイル識別名定数
データ名	データ名の内容(注1)
'DISK'または'PRINTER'	SELECT句に記述したファイル名(注2)

注1: データ名の内容が認識不可能な場合、“?”を表示します。

注2: SELECT句に記述したファイル名は、メッセージ本文中では括弧で囲んで表示されます。

システムのエラーコード

プログラマーの処置で、“システムのerrnoの説明…”と記述されている場合には、manマニュアルの“intro(2)”を参照してください。



注意

実行時メッセージの言語は、COBOL実行環境が開設される際のロケールにより決定されます。

該当する言語に対するメッセージが用意されていない場合は、英語の実行時メッセージが出力されます。

3.3 メッセージ詳細

0001	0002	0004	0007	0009	0010	0012	0015	0016	0018
0019	0020	0022	0024	0026	0029	0031	0032	0033	0034
0035	0062	0070	0071	0072	0076	0077	0078	0079	0081
0085	0086	0087	0096	0097	0099	0101	0102	0103	0104
0105	0106	0107	0200	0201	0202	0204	0206	0208	0211
0212	0214	0221	0222	0223	0224	0225	0250	0251	0252
0253	0254	0260	0261	0262	0263	0301	0302	0310	0311
0313	0320	0321	0322	0323	0324	0325	0326	0327	0328
0330	0331	0340	0350	0360	0362	0363	0364	0370	0371
0372	0373	0374	0375	0376	0400	0410	0600	0601	0608
0609	0612	0613	0614	0615	0616	0701	0702	0703	0704
0705	0724	0725	0726	0727	0771	0772	0774	0775	0776
0810	0812	0820	0821	0822	0828	0829	0899	0901	0902
0903	0904	0905	0931	0932	0933	0935			

3.3.1 JMP0001I-U

[Linux]

'\$1'ファイルのオープンに失敗しました。

[Solaris][Solaris64][LinuxIPF][Linux64]

'\$1'ファイルのオープンに失敗しました。'\$2'

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

- **[Linux]**
機能名SYSINまたはSYSOUTに対応するアクセス名(\$1)に割り当てたファイルについて、以下の点を確認してください。
 - ー アクセス名(\$1)が正しく割り当てられていること
 - ー アクセス名(\$1)に割り当てたファイルが排他的にないこと
- **[Solaris][Solaris64][LinuxIPF][Linux64]**
機能名SYSINまたはSYSOUTに対応するアクセス名(\$1)に割り当てたファイルについて、\$2に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください(下表参照)。

表3.2 JMP0001I-Uの\$2の内容

詳細情報(\$2)	エラーの内容	プログラマーの処置
NOT ASSIGNED	アクセス名(\$1)が割り当てられていません。	アクセス名(\$1)を割り当ててください。
INVALID ASSIGN	SYSINまたはSYSOUTのファイル割り当てにおいて、指定したキーワードに誤りがあります。	ファイル名に続き、拡張機能として有効な文字列が指定されているか確認してください。 拡張機能については、以下を参照してください。 [Solaris]“NetCOBOL 使用手引書”の“10.1.7.4 DISPLAY文のファイル出力拡張機能”および“10.1.7.5 ACCEPT文のファイル入力拡張機能” [Solaris64]“NetCOBOL 使用手引書”の“9.1.5.4 DISPLAY文のファイル出力拡張機能”および“9.1.5.5 ACCEPT文のファイル入力拡張機能” [LinuxIPF]“NetCOBOL 使用手引書”の“9.1.7.4 DISPLAY文のファイル出力拡張機能”および“9.1.7.5 ACCEPT文のファイル入力拡張機能” [Linux64]“NetCOBOL ユーザーズガイド”の“11.1.8.4 DISPLAY文のファイル出力拡張機能”および“11.1.8.5 ACCEPT文のファイル入力拡張機能”
INVALID PATH-NAME	ファイルのパス名に誤りがあります。	ファイルのパス名が正しく指定されているか確認してください。
FILE LOCK	SYSOUTの割り当てファイルが排他状態です。	再実行してください。排他エラーが頻発するようなら、運用上の問題がないか調査してください。
MEMORY SHORTAGE	ファイルをオープンするためのメモリが不足しています。	原因および対処については、“付録B 注意事項”の“COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合”を参照し、対処してください。
READ ONLY	SYSOUTの割り当てファイルが読み込み専用ファイルです。	書込み可能となるようにファイルのアクセス権を変更してください。
NOT EXISTED	SYSINの割り当てファイルが存在しません。	プログラム実行前にファイルを生成しておいてください。
LOCK FULL	同一のファイルに対し多数のOPEN要求があり、ロックテーブルに不足が発生しました。	再実行してください。排他エラーが頻発するようなら、運用上の問題がないか調査してください。 (注)
THREAD SYNC ERROR (0XXXXX)	スレッドの同期処理に失敗しました。	システムのerrnoの説明から原因を調査し、対処してください。

詳細情報(\$2)	エラーの内容	プログラマーの処置
ERRCD=0XXXXX	その他のエラーが発生しました。	システムの <code>errno</code> の説明から原因を調査し、対処してください。
RMERR=0XXXXX	ランタイムシステムからのエラーコードを示します。	システムの障害と考えられるため、資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。

注：同一ファイルに対する同時オープン数の最大値については、以下に示す表の“COBOLファイルシステム”を参照してください。

- **[Linux]**
“NetCOBOL 使用手引書”の“表6-9 各ファイルシステムの機能差”
- **[LinuxIPF]**
“NetCOBOL 使用手引書”の“表6-9 ファイルシステムの機能”
- **[Solaris]**
“NetCOBOL 使用手引書”の“表6.9 各ファイルシステムの機能差”
- **[Solaris64]**
“NetCOBOL 使用手引書”の“表6.9 ファイルシステムの機能”
- **[Linux64]**
“NetCOBOL ユーザーズガイド”の“表7.9 ファイルシステムの機能”

3.3.2 JMP0002I-U

プログラム'\$1'は、再帰的に呼び出されました。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

補足

以前に呼び出されたプログラム(\$1)は、そのプログラムの終了(STOP RUN、EXIT PROGRAM文の実行)を待たずに再度呼び出されました。

プログラマーの処置

呼び出したプログラム中のCALL文を確認してください。

3.3.3 JMP0004I-U

USE FOR DEAD-LOCK手続きの最後の文が実行されました。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

STOP RUN文、EXIT PROGRAM文、GO TO文などを使用して、USE FOR DEAD-LOCK手続きの最後に到達しないようにしてください。

3.3.4 JMP0007I-W

誤った実行時オプション'\$1'が指定されました。

システムの処理

その実行時オプション(\$1)を無視して処理を続行します。ただし、指定した実行時オプション(\$1)がSWITCHの場合、指定した数値部の数値により以下の処理を行い有効とします。

- 8桁より小さい場合、左詰めに数値を設定する。

- ・ 8桁より大きい場合、上位8桁の数値を設定する。

プログラマーの処置

正しい実行時オプションを指定して、再度実行してください。

3.3.5 JMP0009I-U

ライブラリ作業域が確保できません.'\$1'

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$1に設定されたエラーコードを**システムのerrno**の説明を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。また、仮想メモリ不足の原因および対処については、“**付録B 注意事項**”の“COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合”を参照してください。

3.3.6 JMP0010I-U

ライブラリ作業域が破壊されています。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

以下の項目についてプログラムを確認してください。

- ・ 添字、指標、部分参照またはOCCURS DEPENDING ON句を含む項目を参照している場合、それらが参照範囲を超えていないか(CHECKオプションを指定することにより確認可能)。
- ・ CALL文などで受渡しを行うパラメタが存在する場合、パラメタの属性が引渡し側と受取り側で一致しているか(特に長さ)。
- ・ ファイルを扱っている場合、誤った長さでレコードを参照していないか(たとえば、可変長の入力ファイルで、実際のレコード長で処理するところを、最大長を使って空白詰めなどの処理をしていないか)。

3.3.7 JMP0012I-U

プログラム'\$1'中の内部プログラムが、再帰的に呼び出されました。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

補足

外部プログラム(\$1)に含まれる、以前に呼び出された内部プログラムが、そのプログラムの終了(STOP RUN、EXIT PROGRAM文の実行)を待たずに再度呼び出されました。

プログラマーの処置

呼び出したプログラム中のCALL文を確認してください。

3.3.8 JMP0015I-U

プログラム'\$1'を呼び出すのに失敗しました. \$2.

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

- **[Linux]**
\$2に設定されたdlerror関数で求めたエラーメッセージの内容を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。また、以下の事項も確認してください。
 - CALL文に指定した入口点が存在するか
 - 検索パス(LD_LIBRARY_PATH)を正しく設定しているか
 - 実行可能プログラムが正しく作成できているか
 - プログラムをローディングするだけの空間が存在するか
 - 日本語文字からなるプログラム名を呼び出していないか
- **[Solaris][Solaris64][LinuxIPF][Linux64]**
\$2中に設定された文字列に続くエラーメッセージを参考に原因を取り除き、再度実行してください。エラーメッセージはdlerror関数で求めたエラーメッセージです。
\$2中に設定される文字列の意味を以下に示します。

文字列	意味
dlopen-so	共用オブジェクトのロードに失敗したことを示します
dlopen-out	実行可能プログラムのロードに失敗したことを示します
dlsym-so	共用オブジェクトから入口名を獲得するのに失敗したことを示します
dlsym-out	実行可能プログラムから入口名を獲得するのに失敗したことを示します

副プログラムを共用オブジェクトとして作成した場合は、文字列“dlopen-so”、“dlsym-so”に続くエラーメッセージを参照してください。また、以下の事項もあわせて確認してください。

- “dlopen-so”が設定された場合
 - 検索パス(LD_LIBRARY_PATH)を正しく設定しているか。
 - 共用オブジェクトのシンボルが解決されているか。
lddコマンドにオプション“-r”を指定して実行することにより、未解決のシンボルを確認することができます。
 - 共用オブジェクトをローディングするだけの空間が存在するか。
- “dlsym-so”が設定された場合
 - CALL文に指定したプログラム(入口名)が共用オブジェクトに存在するか。
nmコマンドを使用して確認することができます。
 - 日本語文字からなるプログラム(入口名)を呼び出していないか。

副プログラムが、実行可能プログラムまたは実行可能プログラムに-lオプションでリンクされた共用オブジェクト内にある場合は、文字列“dlopen-out”、“dlsym-out”に続くエラーメッセージを参照してください。

また、以下の事項もあわせて確認してください。

- “dlopen-out”が設定された場合
 - 実行可能プログラムが正しく作成されているか。
- “dlsym-out”が設定された場合
 - CALL文に指定したプログラム(入口名)が実行可能プログラムに存在するか。
nmコマンドを使用して確認することができます。
 - 実行可能プログラム作成時、CALL文に指定したプログラム(入口名)が存在する共用オブジェクトが“-l”で結合されているか。

3.3.9 JMP0016I-U

[Linux]
ファイル'\$1'の読み込みまたは書き込みに失敗しました。

[Solaris][Solaris64][LinuxIPF][Linux64]
ファイル'\$1'の読み込みまたは書き込みに失敗しました。 '\$2'

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

- **[Linux]**
アクセス名(\$1)に割り当てたファイルを確認してください。
- **[Solaris][Solaris64][LinuxIPF][Linux64]**
アクセス名(\$1)に割り当てたファイルについて、\$2に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再実行してください(下表参照)。

表3.3 JMP0016I-Uの\$2の内容

詳細情報(\$2)	エラーの内容	プログラマーの処置
[Solaris] MAXIMUM SIZE	ファイルの最大サイズを超えました。	ファイルを分割するなど、最大サイズを超えないようにしてください。また、必要であれば、ファイルの最大サイズ制限を解除してください。(注1)
NO SPACE	領域不足が発生しました。	ディスクの空き容量を確認してください。また、ファイル容量をコマンドにより制限している場合はその制限値を大きくして、再度実行してください。
THREAD SYNC ERROR (0xXXXX)	スレッドの同期処理に失敗しました。	システムのerrnoの説明から原因を調査し、対処してください。
ERRCD=0xXXXX	その他のエラーが発生しました。	システムのerrnoの説明から原因を調査し、対処してください。
RMERR=0xXXXX	ランタイムシステムからのエラーコードを示します。	システムの障害と考えられるため、資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。

注1: ファイルの最大サイズ制限解除については、以下を参照してください。

- **[Solaris]**
“NetCOBOL 使用手引書”の“10.1.7.4 DISPLAY文のファイル出力拡張機能”
- **[Solaris64]**
“NetCOBOL使用手引書”の“9.1.5.4 DISPLAY文のファイル出力拡張機能”
- **[LinuxIPF]**
“NetCOBOL使用手引書”の“9.1.7.4 DISPLAY文のファイル出力拡張機能”
- **[Linux64]**
“NetCOBOL ユーザーズガイド”の“11.1.8.4 DISPLAY文のファイル出力拡張機能”

3.3.10 JMP0018I-U

[Linux]
ファイル'\$1'のクローズに失敗しました。

[Solaris][Solaris64][LinuxIPF][Linux64]
ファイル'\$1'のクローズに失敗しました。 '\$2'

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

- **[Linux]**
アクセス名(\$1)に割り当てたファイルを確認してください。
- **[Solaris][Solaris64][LinuxIPF][Linux64]**
機能名SYSINまたはSYSOUTに対応するアクセス名(\$1)に割り当てたファイルについて、\$2に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再実行してください(下表参照)。

表3.4 JMP0018I-Uの\$2の内容

詳細情報(\$2)	エラーの内容	プログラマーの処置
NO SPACE	領域不足が発生しました。	ディスクの空き容量を確認してください。また、ファイル容量をコマンドにより制限している場合はその制限値を大きくして、再度実行してください。
ERRCD=0xXX XX	その他のエラーが発生しました。	システムの errno の説明から原因を調査し、対処してください。
RMERR=0xXX XX	ランタイムシステムからのエラーコードを示します。	システムの障害と考えられるため、資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。

3.3.11 JMP0019I-U

EXTERNAL指定のデータ'\$1'の属性が矛盾しています:'\$2','\$3'.

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

プログラム(\$2と\$3)でEXTERNALデータ(\$1)の定義が矛盾していないか確認してください。

3.3.12 JMP0020I-U

プログラム'\$1'のエントリ情報に誤りがあります。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

実行用の初期化ファイルまたは環境変数情報CBR_ENTRYFILEに指定されているエントリ情報ファイルに、呼ばれるプログラム(\$1)のso名、プログラム名および二次入口点名の対応関係が正しく定義されているか確認してください。



参照

- **[Solaris]**“NetCOBOL 使用手引書”
 - “4.1.4 副プログラムのエントリ情報”
 - “16.7.4 クラスとメソッドのエントリ情報”
- **[Solaris64]**“NetCOBOL 使用手引書”
 - “4.1.4 副プログラムのエントリ情報”
 - “15.7.4 クラスとメソッドのエントリ情報”
- **[Linux]**“NetCOBOL 使用手引書”
 - “4.1.3 副プログラムのエントリ情報”

- “16.7.4 クラスとメソッドのエントリ情報”
- [\[LinuxIPF\]](#) “NetCOBOL 使用手引書”
 - “4.1.3 副プログラムのエントリ情報”
 - “15.7.4 クラスとメソッドのエントリ情報”
- [\[Linux64\]](#) “NetCOBOL ユーザーズガイド”
 - “4.2.3 副プログラムのエントリ情報”
 - “17.3.7.4 クラスとメソッドのエントリ情報”

3.3.13 JMP0022I-U

EXTERNAL指定のファイル'\$1'の属性が矛盾しています.'\$2','\$3'.'\$4'.

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

プログラム(\$2と\$3)で、\$4で示されるEXTERNALファイル(\$1)の定義内容が矛盾していないか確認してください。なお、\$1には通常ファイル名が設定されます。しかし、ファイル名が設定できない場合は、ソースプログラムに出現したファイル定義の番号が設定されます。\$4に設定される文字列を下表に示します。

表3.5 JMP0022I-Uの\$4の内容(ファイル編成共通)

エラー文字列	エラーの内容
ACCESS-MODE	アクセスモード
ACCESS-NAME	アクセス名
FILE-ORG	ファイル編成
MAXRL	最大レコード長
MINRL	最小レコード長
OPTIONAL	OPTIONAL句指定の有無
REC-MODE	レコード形式
LOCK-MODE	ロックモード

表3.6 JMP0022I-Uの\$4の内容(行順ファイル)

エラー文字列	エラーの内容
REC-ATR	レコード項目属性

表3.7 JMP0022I-Uの\$4の内容(相対/索引ファイル)

エラー文字列	エラーの内容
ALT-KEY	副レコードキーの個数
KEY-ATR	キー項目の属性
KEY-DISP	キー項目のレコード内変位
KEY-DUPL	DUPLICATES句の指定の有無
KEY-LEN	キー長
REL-ATR	RELATIVE KEY項目の属性
REL-COL	RELATIVE KEY項目桁数
REL-KEY	RELATIVE KEY句の指定の有無

エラー文字列	エラーの内容
REL-LEN	RELATIVE KEY項目長
REL-NAME	RELATIVE KEY項目の名前

表3.8 JMP0022I-Uの\$4の内容(印刷ファイル)

エラー文字列	エラーの内容
ADVANCING	ADVANCING 指定のWRITE 文の有無
CHAR-TYPE	CHARACTER TYPE句の書き方3の指定の有無
CODE	CODE-SET句の指定の有無
CTLCHR	翻訳オプションCTLCHRの指定
LINAGE	LINAGE句の有無
LNG-ATR	LINAGEデータ項目の属性および桁数
LNG1-INTEG	LINAGEデータ項目1の整数値
LNG1-NAME	LINAGEデータ項目1の名前
LNG2-INTEG	LINAGEデータ項目2の整数値
LNG2-NAME	LINAGEデータ項目2の名前
LNG3-INTEG	LINAGEデータ項目3の整数値
LNG3-NAME	LINAGEデータ項目3の名前
LNG4-INTEG	LINAGEデータ項目4の整数値
LNG4-NAME	LINAGEデータ項目4の名前
REC-LEN	レコード長

表3.9 JMP0022I-Uの\$4の内容(表示ファイル)

エラー文字列	エラーの内容
DESTINATION	SYMBOLIC DESTINATION句の内容
DESTINATION1	DESTINATION-1句指定の有無
DESTINATION2	DESTINATION-2句指定の有無
DESTINATION3	DESTINATION-3句指定の有無
DEST-CNTL	DESTINATION CONTROL 句指定の有無 またはデータ項目長
END-KEY	END KEY句指定の有無
FMT-CNTL	FORMAT CONTROL句指定の有無
FMT-CNTL1	FORMAT CONTROL句データ項目1の長さ
FMT-CNTL2	FORMAT CONTROL句データ項目2の長さ
FORMAT	FORMAT句指定の有無
GROUP	GROUP句指定の有無
MSG-CLASS	MESSAGE CLASS句指定の有無
MSG-CODE	MESSAGE CODE句指定の有無 またはデータ項目長
MSG-MODE	MESSAGE MODE句指定の有無
MSG-OWNER	MESSAGE OWNER句指定の有無

エラー文字列	エラーの内容
PROC-CNTL	PROCESSING CONTROL句指定の有無 またはデータ項目長
PROC-MODE	PROCESSING MODE句指定の有無
PROC-TIME	PROCESSING TIME句指定の有無
SEL-FUNC	SELECTED FUNCTION句指定の有無
SESS-CNTL	SESSION CONTROL句指定の有無
SYMBOLIC-DEST	SYMBOLIC DESTINATION句の指定
UNIT-CNTL	UNIT CONTROL句指定の有無 またはデータ項目長

3.3.14 JMP0024I-U

デッドロック出口が見つかりませんでした。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

デッドロック事象の発生によりデッドロック出口スケジュールを実行しましたが、デッドロック事象が発生したプログラムまたは発生したプログラムをCALL文で呼び出している上位のプログラムにデッドロック出口が見つかりませんでした。USE FOR DEAD-LOCK文でデッドロック出口を登録しているか確認してください。

3.3.15 JMP0026I-W

\$1指定の\$2文で例外が発生しましたが,対応するON EXCEPTION句がありません。

システムの処理

処理を続行します。

プログラマーの処置

\$1の機能名に対応する\$2の文に、ON EXCEPTION句を記述することをおすすめします。なお、\$1の機能名にはARGUMENT-VALUEまたはENVIRONMENT-VALUEが指定されます。\$2の文にはACCEPT文またはDISPLAY文が指定されます。

3.3.16 JMP0029I-U

[Linux]

環境変数(LANG)とプログラムのコード系が一致していません. \$1

[Solaris][Solaris64][LinuxIPF][Linux64]

環境変数(LANG)とプログラムのコード系が一致していません. \$1 \$2 \$3

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

プログラム実行時の環境変数LANGとプログラム翻訳時の環境変数LANGを確認してください。なお、\$1～\$3には以下の情報が設定されます。

- \$1: プログラム名
- \$2: 環境変数(LANG)のコード系
- \$3: COBOLプログラムのコード系

3.3.17 JMP0031I-U

プロセスモデルで複数のスレッドが実行されました。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

プログラムが、翻訳オプションTHREAD(MULTI)を指定して翻訳されていない可能性があります。翻訳オプションTHREAD(MULTI)を指定して翻訳し、再度実行してください。

3.3.18 JMP0032I-U

プログラム'\$1'を実行することはできません。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

- 翻訳オプションTHREADをMULTI指定で翻訳したプログラム\$1が暗黙的にメモリから削除された可能性があります。原因として以下が考えられます。暗黙的にメモリから削除されないように動的プログラム構造にするか、CANCEL文を使用して明示的にメモリから削除するようにプログラムを修正して、再度実行してください。
 - プログラム\$1がCANCEL文によってメモリから削除されたプログラムに静的リンクまたは動的リンクされているため、プログラム\$1が暗黙的にメモリから削除されている。
 - システム関数によって、プログラム\$1がメモリから削除されている。
- 実行単位内に同じプログラム名を持つ複数のプログラムが存在しています。原因として以下が考えられます。エラーの原因を取り除き、再度実行してください。
 - 実行単位に同じプログラム名を持つ、内容の異なるプログラムが存在する。この場合、実行単位内でプログラム名が重ならないようにプログラム名を修正してください。
 - 同一プログラムが複数のライブラリに静的リンクされている。共用するプログラムの結合の種類を動的結合に変更してください。
- 実行中のプロセスにおいて、そのプロセスで使用しているCOBOLの共用オブジェクトファイル(.so)が置き換えられた可能性があります。実行中のプロセスで使用しているCOBOLの共用オブジェクトファイルを置き換えないでください。

3.3.19 JMP0033I-U

マルチスレッドモデル用ランタイムシステムとプロセスモデル用ランタイムシステムが同一プロセス内で混在実行されました。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

マルチスレッド用ランタイムシステムとプロセスモデル用ランタイムシステムを同一プロセス内で混在実行することはできません。

プログラムにリンクされているランタイムシステムと、同一プロセス内でそれ以前に動作しているプログラムにリンクされているランタイムシステムとの一致を確認してください。

3.3.20 JMP0034I-U

スレッドの同期処理に失敗しました。'\$1'。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$1に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。\$1に設定される文字列の意味と処置を下表に示します。

表3.10 JMP0034I-Uの\$1の内容

\$1	エラーの内容	プログラマーの処置
CODE=0XXXXX	システムからのエラーコードを示します。	システムの <code>errno</code> の説明から原因を調査し、対処してください。

3.3.21 JMP0035I-U

マルチスレッドモデルでプロセスモデルのプログラムが実行されました。'\$1'.

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

マルチスレッドモデルで動作している場合、プロセスモデル動作用のプログラム(\$1)を実行することはできません。翻訳オプション `THREAD(SINGLE)`指定で翻訳したプログラムまたはマルチスレッドを未サポートのCOBOL製品で翻訳したプログラムが混在していないか確認し、再度実行してください。

3.3.22 JMP0062I-U

[Linux64]

コード変換ライブラリがロードできません。\$1 \$2

システムの処置

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

エラーの原因を取り除き、再度実行してください。

\$1にはコード変換ライブラリの種別(ICONVまたはFJ_ICONV)、\$2にはシステムの`errno`または“INVALID-VL”が設定されます。

\$1に設定された種別は、実行時に使用するコード変換ライブラリを示します。

\$1がICONVの場合、ランタイムシステムが正しくインストールされていることを確認してください。\$1がFJ_ICONVの場合、Interstage Charset Manager V9.4以降が正しくインストールされていることを確認してください。



参照

“NetCOBOL ユーザーズガイド”の“C.1.13 CBR_CONVERT_CHARACTER”

3.3.23 JMP0070I-I

プログラムの動作情報です。RTS-VL='\$1' THREAD-MODE='\$2' INIT-FILE='\$3'

システムの処理

プログラムの処理を続行します。

プログラマーの処置

環境変数`CBR_CBRINFO`にYESまたはENVを指定したとき、動作中のプログラムの情報が出力されます。出力された情報から動作中のランタイムシステムのバージョンレベル(\$1)、マルチスレッド(MULTI)かまたはプロセス(SINGLE)か(\$2)および実行用の初期化ファイル(\$3)を確認してください。また、実行用の初期化ファイルを使用していない場合は、\$3には実行用の初期化ファイルを検索したディレクトリを示す文字列' NONE(EXE=ディレクトリ名 LIB=ディレクトリ名)' が設定されます。

実行用の初期化ファイルの使用方法については、以下を参照してください。

- [\[Solaris\]\[Solaris64\]\[Linux\]\[LinuxIPF\]](#)
“NetCOBOL 使用手引書”の“4.1.2.3 実行用の初期化ファイルに設定する方法”
- [\[Linux64\]](#)
“NetCOBOL ユーザーズガイド”の“4.2.2.3 実行用の初期化ファイルに設定する方法”

3.3.24 JMP0071I-U

領域破壊を検出しました.\$1 \$2 BRKADR=0x\$3.

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

ランタイムシステムの領域が何らかの原因で破壊されています。

以下を参照して、原因を調査してください。

- [\[Solaris\]\[Solaris64\]\[LinuxIPF\]](#)
“NetCOBOL 使用手引書”の“5.5 メモリチェック機能の使い方”
- [\[Linux64\]](#)
“NetCOBOL ユーザーズガイド”の“18.4 メモリチェック機能の使い方”

なお、\$1には領域破壊を検出した箇所(プログラムまたはメソッドの手続き部の開始の場合はSTART、プログラムまたはメソッドの手続き部の終了の場合はEND)が、\$2には領域破壊を検出したプログラム名またはメソッド名が設定されます。\$3には破壊された領域のアドレスが設定されます。

3.3.25 JMP0072I-U

[\[Linux64\]](#)

機能制限のため、強制終了します。' \$1' \$2

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

現在使用している製品で制限となる機能を使用しました。\$1の情報をもとに、環境を見直してください。

\$2にはエラーが発生したプログラム名またはクラス名・メソッド名が設定されます。

表3.11 JMP0072I-Uの\$1の内容

\$1	エラーの内容	プログラマーの処置
PRODUCT-MISSMATCH OBJECT=開発環境の製品種別 RUNTIME=ランタイムの製品種別	ランタイム製品と開発環境の製品種別が一致していません。 OBJECTには、COBOLプログラムを作成した開発環境の製品種別、 RUNTIMEには、動作したランタイムの製品種別を示します。 それぞれに設定される文字列の内容を以下に示します。(J:日本語版 E:海外版) • PRODUCT-J または PRODUCT-E: 製品版	開発環境の製品種別とランタイムの製品種別を一致させてください。
MAINFRAME-FLOATING-POINT	当ランタイム製品では富士通メインフレーム形式の浮動小数点項目は使用できません。	当ランタイムシステムでは、富士通メインフレーム形式の浮動小数点項目は

\$1	エラーの内容	プログラマーの処置
		使用できません。Enterprise Editionのランタイムシステムを使用してください。

3.3.26 JMP0076I-U

翻訳オプションFLOATの指定が異なったプログラムが呼び出されました。 '\$1'

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

翻訳オプションFLOATの指定が異なるプログラムを同一プロセス内で実行することはできません。翻訳オプションを統一してください。



参照

[Linux64] “NetCOBOL ユーザーズガイド”の以下を参照してください。

- ・ “付録A 翻訳オプション” - “FLOAT (内部浮動小数点項目の内部表現形式の指定)”
- ・ “付録A 翻訳オプション” - “FLOATCHK (実行時の内部浮動小数点項目の内部表現の混在チェックの指定)”
- ・ “付録C 環境変数情報” - “CBR_FLOAT_OPTION (FLOATオプション混在チェックの指定)”

3.3.27 JMP0077I-U

翻訳オプションRCS(SJIS)が指定されたプログラムと指定されていないプログラムが同一プロセス内で実行されました。 '\$1'

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

翻訳オプションRCS(SJIS)を指定して作成したプログラムと指定されていないプログラムを同一プロセス内で実行することはできません。翻訳オプションを統一してください。

3.3.28 JMP0078I-U

翻訳オプションRCSに指定されたエンディアンが異なるプログラムが同一プロセスで実行されました。 '\$1'

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

翻訳オプションRCS(UTF16,BE)を指定して作成したプログラムと指定されていないプログラムを同一プロセス内で実行することはできません。翻訳オプションを統一してください。

3.3.29 JMP0079I-U

実行環境情報の獲得に失敗しました。 '\$1'

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$1に設定されているエラーコードをシステムのernoの説明を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。

3.3.30 JMP0081I-U

実行環境内に異なるコード系のプログラムが存在します.'\$1'

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

プログラム(\$1)の動作コード系を確認し、実行環境内で動作するプログラムのコード系を統一してください。

3.3.31 JMP0085I-U

環境変数'\$1'の登録に失敗しました。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

実行用の初期化ファイルに指定された環境変数(\$1)の登録に失敗しました。仮想メモリ不足が原因と考えられます。仮想メモリ不足の原因および対処については、“付録B 注意事項”の“COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合”を参照してください。

3.3.32 JMP0086I-E/W/U

[Solaris][Solaris64][Linux][LinuxIPF] 文字コードの変換に失敗しました.'\$1'

[Linux64] 文字コードの変換に失敗しました.'\$1'\$2'

システムの処理

重大度コードがEの場合、処理を続行します。

重大度コードがWの場合、変換に成功した文字までを設定し、処理を続行します。

重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

- COBOLプログラム中で、データ項目のエンコード方式で文字として保証されている範囲外のデータが使用されました。
\$1に設定されたエラーコードをシステムのernoの説明を参考にエラーの原因を取り除いて、再度実行してください。
- [Linux64]シフトJISを扱うアプリケーションを実行した場合は、以下を確認してください。
 - ー 入力した資源(ファイル)のコード系は正しいか



参照

“NetCOBOL ユーザーズガイド”の“6.2.4 資源”

- ー シフトJISの文字範囲を超えたデータをACCEPT文で入力していないか
- ー 定量制限を超えたデータをACCEPT文で入力していないか
- \$2にはエラーアドレスが設定されます。

表3.12 JMP0086I-W/Uの\$1に設定されるエラーコードの内容

エラーコード	エラーの意味	プログラマーの処置
E2BIG 7(0x7)	変換先コード列格納域が不足しました。	変換先のデータ項目の長さが十分であるか確認してください。
ENOMEM 12(0xc)	領域不足が発生しました。	“付録B 注意事項”の“COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合”を参照して対処してください。
EINVAL 22(0x16)	変換元コード列の終りに、不完全なコードが現れました。	変換元のデータ項目に格納された文字データが転記、部分参照などで不完全な状態になっていないか確認してください。
[Solaris][Solaris64] EILSEQ 88(0x58) [Linux][LinuxIPF][Linux64] EILSEQ 84(0x54)	変換元コード列中に、変換元コード系に存在しないコードが現れました。	変換元のデータ項目に格納されたデータがエンコード方式の範囲外です。エンコード方式の異なるデータ項目を重ね合わせ(REDEFINES句)で使用していないか、文字コード以外のバイナリデータを格納していないか確認してください。

コード変換にInterstage Charset Managerを使用している場合は、「Interstage Charset Manager 使用手引書 標準コード変換機能編」を参照してエラーの原因を確認してください。

上記以外のエラーコードについては、システムのエラーコードを参照してください。



参照

[Linux64]

“NetCOBOL ユーザーズガイド”の“A.2.8 CONVCHAR”

[Linux64]

“NetCOBOL ユーザーズガイド”の“C.1.13 CBR_CONVERT_CHARACTER”

3.3.33 JMP0087I-I/E/W/U

MESSAGE CATALOG OPEN FAILED, USE DEFAULT MESSAGE CATALOG. DETAIL='\$1'

システムの処理

実行時メッセージを出力するためのメッセージカタログのオープンに失敗したため、このメッセージを出力した後、デフォルトのメッセージカタログ(英文)を使用して実行時メッセージを出力します。このメッセージの重大度コードは原因となった実行時メッセージと同じ重大度となります。

プログラマーの処置

\$1に設定されたエラーの詳細メッセージを参考に、NLSPATHを確認し、エラーの原因を取り除いてください。

3.3.34 JMP0096I-U

[Linux]

指定された実行用の初期化ファイルのパス名に誤りがあります。

[Solaris][Solaris64][LinuxIPF][Linux64]

指定された実行用の初期化ファイルのパス名に誤りがあります. \$1 \$2

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

• [Linux]

指定した実行用の初期化ファイルのパス名が正しいか確認してください。

- [\[Solaris\]](#)[\[Solaris64\]](#)[\[LinuxIPF\]](#)[\[Linux64\]](#)

\$1に設定されたパス名が正しいか確認してください。パス名が正しい場合、\$2に設定されたエラーコードをシステムの`errno`を参考にエラーの原因を取り除いて、再度実行してください。

3.3.35 JMP0097I-U

[\[Linux64\]](#)

ランタイムシステムが正しくインストールされていません. \$1

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

- \$1ファイルが正しくインストールされていることを確認してください。
- 環境構成パッケージが正しくインストールされていることを確認してください。



参照

.....
ご利用の製品に応じて、以下のいずれかのソフトウェア説明書を参照してください。

- “NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ (64bit) ソフトウェア説明書”
 - “NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ (64bit) ソフトウェア説明書”
 - “NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ (64bit) ソフトウェア説明書”
 - “NetCOBOL Standard Edition 運用パッケージ (64bit) ソフトウェア説明書”
 - “NetCOBOL Base Edition 開発・運用パッケージ (64bit) ソフトウェア説明書”
 - “NetCOBOL Base Edition 運用パッケージ (64bit) ソフトウェア説明書”
-

3.3.36 JMP0099I-U

コード' \$1 'で強制終了します.

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

直前にUレベルのメッセージが出力されている場合は、そのメッセージの対処方法にしたがってください。

直前にUレベルのメッセージが出力されていない場合は、以下の項目についてプログラムを確認してください。

- 添字、指標、部分参照またはOCCURS DEPENDING ON句を含む項目を参照している場合、それらが参照範囲を超えていないか(翻訳オプションCHECK(ALL)を指定することにより確認可能)。
- CALL文などで受渡しを行うパラメタが存在する場合、パラメタの属性(特に長さ)が引渡し側と受取り側で一致しているか(翻訳オプションCHECK(ALL)を指定することにより確認可能)。
- ファイルを扱っている場合、誤った長さでレコードを参照していないか(たとえば、可変長の入力ファイルで、実際のレコード長で処理するところを、最大長を使って空白詰めなどの処理をしていないか)。

上記事項に該当しない場合は、内部障害の可能性があるので、技術員(SE)に連絡してください。なお、\$1にはランタイムシステムの内部コードが設定されます。

3.3.37 JMP0101I-U

オブジェクトの初期化に失敗したため、クラス'\$2'の'\$1'を生成できません.

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

クラス(\$2)のファクトリオブジェクトまたはオブジェクトインスタンス(\$1)を生成できる環境にします。そのためには、“付録B 注意事項”の“COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合”の対処方法または以下の対処を行い、再度実行してください。

- ・ 実行性能優先にする場合

環境変数CBR_INSTANCEBLOCK=USEを指定してください。そして、CBR_CLASSINFFILEに指定しているクラス情報ファイルに定義しているクラス(\$2)のインスタンス格納数(初期数または増分数)を小さくしてください。

CBR_INSTANCEBLOCKおよびCBR_CLASSINFFILEについては、以下を参照してください。

- [\[Solaris\]\[Linux\]](#)
“NetCOBOL 使用手引書”の“16.9.2.4.1 環境変数”のCBR_INSTANCEBLOCKおよびCBR_CLASSINFFILE
- [\[Solaris64\]\[LinuxIPF\]](#)
“NetCOBOL 使用手引書”の“15.9.2.4.1 環境変数”のCBR_INSTANCEBLOCKおよびCBR_CLASSINFFILE
- [\[Linux64\]](#)
“NetCOBOL ユーザーズガイド”の“17.3.9.2.4 メモリのチューニングに関する実行環境情報”、“C.1.5 CBR_CLASSINFFILE”および“C.1.35 CBR_INSTANCEBLOCK”

- ・ メモリ優先にする場合

環境変数CBR_INSTANCEBLOCK=UNUSEを指定してください。

3.3.38 JMP0102I-U

クラス'\$1'が使用できません。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

クラスの初期化で使用したクラスが使用可能になるようにプログラムまたは動作環境を修正し、再度実行してください。

クラスが使用できない原因として、以下のことが考えられます。

- ・ CANCEL文などにより、暗黙的にクラスがメモリから削除されました。
- ・ COBOLの実行単位中に、同一のクラスのオブジェクトファイルを含む実行可能ファイル(共用オブジェクトファイルを含む)が複数存在しています。
- ・ COBOLの実行単位中に、異なるクラスが同一クラス名で存在しています。

以下を参照してください。

- ・ [\[Solaris\]\[Linux\]](#)
“NetCOBOL 使用手引書”の“9.1.2.3 注意事項”、“16.5.2 プログラム構造の概要”の注意事項
- ・ [\[Solaris64\]\[LinuxIPF\]](#)
“NetCOBOL 使用手引書”の“8.1.2.3 注意事項”、“15.5.2 プログラム構造の概要”の注意事項
- ・ [\[Linux64\]](#)
“NetCOBOL ユーザーズガイド”の“10.1.2.4 注意事項”、“17.3.5.2 プログラム構造の概要”の注意事項

3.3.39 JMP0103I-U

メソッド'\$1'を呼び出すのに失敗しました.'CLASS=\$2'.\$3.

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$3に設定されたdlerror関数で求めたエラーメッセージの内容を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。また、以下の事項も確認してください。

- ・ 検索パス(LD_LIBRARY_PATH)を正しく設定しているか
- ・ 実行可能プログラムが正しく作成できているか
- ・ プログラムをローディングするだけの空間が存在するか
- ・ 日本語文字からなるメソッド名を呼び出していないか

3.3.40 JMP0104I-U

例外が発生しました.'\$1'

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$1が'OBJECT'の場合、発生させた例外オブジェクトと継承関係を持つクラス名を指定したUSE文を記述してください。

3.3.41 JMP0105I-U

クラス'\$1'を呼び出すのに失敗しました.\$2.

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$2に設定されたdlerror関数で求めたエラーメッセージの内容を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。また、以下の事項も確認してください。

- ・ 検索パス(LD_LIBRARY_PATH)を正しく設定しているか
- ・ 実行可能プログラムが正しく作成できているか
- ・ プログラムをローディングするだけの空間が存在するか
- ・ 日本語文字からなるクラス名を呼び出していないか

3.3.42 JMP0106I-U

USE手続き中での例外オブジェクトの発生により,USE手続きが再帰的に呼び出されました.

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

実行中の例外オブジェクトの誤り処理手続き中で、新しい例外オブジェクトの発生によりその誤り処理手続きが再び実行されることがあります。この場合、前の誤り処理手続きの実行に関しては、その誤り処理手続きの最後の文に制御を到達させてはなりません。

誤り処理手続きが再帰的に呼び出されないようにしてください。または、EXIT PROGRAM文、EXIT METHOD文またはGO TO文などを使用して、誤り処理手続きの最後の文に到達しないようにしてください。

3.3.43 JMP0107I-U

ファイナライズメソッドの実行中にSTOP RUN文が実行されました.

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

ファイナライズメソッドまたはファイナライズメソッドから呼び出されるプログラムに記述したSTOP RUN文を以下のどちらかの文に修正し、再度実行してください。

- EXIT PROGRAM文
- EXIT METHOD文

3.3.44 JMP0200I-E

ACCEPT FROM SYSIN文で入力されるべきデータがありません。

システムの処理

入力データ域の残りの部分は空白として処理を続行します。

プログラマーの処置

- ACCEPT FROM SYSIN文で入力する件数分のデータを用意してください。
- データ件数以上にACCEPT文を実行していないか確認してください。

3.3.45 JMP0201A-I

データを入力してください。

システムの処理

応答後、処理を続行します。



参考

ACCEPT文によるデータの入力要求を示します。

プログラマーの処置

必要なデータを入力してください。

3.3.46 JMP0202A-I

'\$1'

システムの処理

応答後、処理を続行します。



参考

STOP定数文の実行中であることを示します。

プログラマーの処置

任意の1文字を入力してください。なお、\$1にはSTOP定数文で指定した定数が表示されます。

3.3.47 JMP0204I-U

文の実行順序が誤っています。STM=\$1. \$2. LINE=\$3. RPT=\$4.

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

メッセージで指摘された報告書または明細報告集団に対する文の実行順序を正しく修正し、再度実行させてください。なお、\$1～\$4には以下の情報が設定されます。

- \$1: 文の種類(INITIALIZE、GENERATE、TERMINATE)
- \$2: 外部プログラム名
- \$3: ステートメント番号
 - [Solaris][Linux]
(行情報[COPY修飾値-]行番号.行番号内動詞追番)
 - [Solaris64][LinuxIPF][Linux64]
(行情報[COPY修飾値-]行番号)

- \$4: 報告書名またはデータ名(明細報告集団名)

ステートメント番号の詳細については、以下を参照してください。

- [Solaris][Solaris64][LinuxIPF]
“NetCOBOL 使用手引書”の“5.1.1 ステートメント番号”
- [Linux]
“NetCOBOL 使用手引書”の“5.1 デバッグ機能の種類”の“ステートメント番号”
- [Linux64]
“NetCOBOL ユーザーズガイド”の“第18章 テスト支援機能”の“ステートメント番号”

3.3.48 JMP0206I-W

画面項目の大きさが論理画面の大きさを超えています。

システムの処理

画面項目のうち、画面に入る部分だけを表示します。

プログラマーの処置

論理画面の大きさを画面項目が入る大きさに設定して、再度実行してください。

3.3.49 JMP0208I-E

ACCEPT文の数字項目に入力された値に誤りがあります。

システムの処理

受取りデータ項目にゼロを設定し、処理を続行します。

プログラマーの処置

ACCEPT文の数字項目に正しい値を入力するようにして、再度実行してください。

3.3.50 JMP0211I-U

キー定義ファイル'\$1'のオープンに失敗しました。\$2

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

スクリーンの拡張機能である、キー定義ファイルの読み込み処理時のオープンに失敗しました。**\$1**にはキー定義ファイル名または、環境変数名CBR_SCR_KEYDEFFILEが設定されます。**\$2**に設定された詳細情報の文を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。

3.3.51 JMP0212I-W

キー定義ファイルの記述内容に誤りがあります.'\$1'

システムの処理

キーがキー定義ファイルに指定されていないものとみなし、処理を続行します。

プログラマーの処置

キー定義ファイルの読み込み処理時に、キー情報の内容に誤りがありました。

\$1に設定された文字列を参考にキー定義ファイルを修正し、再度実行してください(下表参照)。

表3.13 JMP0212I-Wの\$1の内容

\$1	エラーの内容	プログラマーの処置
SECTION	セクション名の記述に誤りがあります。すべてのキーがキー定義ファイルに指定されていないとみなします。	キー定義ファイルのセクション名[COBOL.KBD]を確認してください。
KEY=キー名	キー名の記述に誤りがあります。 \$1 に設定されたキーがキー定義ファイルに指定されていないとみなします。	キー定義ファイル内のキー名の記述形式または指定値が有効範囲内であることを確認してください。 [Solaris]詳細は“NetCOBOL 使用手引書”の“8.3.3 キー定義ファイルの利用”を参照してください。

3.3.52 JMP0214I-U

スクリーン操作機能は複数のスレッドで実行することはできません。

システムの処置

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

同一プロセス内で複数スレッドから同時にスクリーン操作機能呼び出さないようにプログラムを修正して、再度実行してください。

3.3.53 JMP0221I-U

'\$1'メソッドの呼出しでエラーが発生しました.'\$2'

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$2に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。**\$2**に設定される文字列を下表に示します。

表3.14 JMP0221I-Uの\$2の内容

\$2	エラーの内容	プログラマーの処置
BIND	メソッドの束縛に失敗しました。	INVOKE文に指定したオブジェクト一意名とメソッド(\$1)の呼出しが正しくなるように修正してください。
NULL	NULLオブジェクトからメソッドを呼び出しています。	INVOKE文に指定したオブジェクト参照データ項目にメソッド(\$1)を含むクラスに適合するクラスのオブジェクト参照を設定してください。

3.3.54 JMP0222I-U

オブジェクト指定子ASでエラーが発生しました。ASの右側の指定は'\$1'です。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

オブジェクト指定子ASの右側に指定した次の内容についてAS指定子で指定したオブジェクト参照一意名で参照されるオブジェクトと適合するか確認してください。

- ・ クラス名\$1
- ・ インタフェース名\$1
- ・ クラス名\$1の選択指定(FACTORY OF指定またはONLY指定)

3.3.55 JMP0223I-U

送出し側のオブジェクト参照データ項目と受取り側のオブジェクト参照データ項目の間で適合エラーが発生しました。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

送出し側の手続き部の見出しの復帰項目に指定したオブジェクト参照が、受取り側の復帰項目に指定したオブジェクト参照に適合するように修正してください。

3.3.56 JMP0224I-U

プロパティメソッドの呼出しでエラーが発生しました。'\$1' 'NULL'

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

オブジェクトプロパティに指定したオブジェクト参照が、プロパティ名(\$1)を含むクラスまたはインタフェースに適合するように修正してください。

3.3.57 JMP0225I-U

ANY LENGTH句指定のあるメソッド'\$1'の呼出しに失敗しました。'\$2' '\$3' \$4

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$3に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。

\$3に設定される文字列を下表に示します。\$2には、パラメタの指定を示すUSINGまたはRETURNINGが設定されます。

表3.15 JMP0225I-Uの\$3の内容

\$3	エラーの内容	プログラマーの処置
PARAM=n	パラメタの指定に誤りがあります。呼出し先メソッド(\$1)には、ANY LENGTH句指定があります。しかし、呼出し元(\$4)には、ANY LENGTH句のデータ項目として許されない型の	メソッド(\$1)を正しいパラメタで呼び出すように修正してください。

\$3	エラーの内容	プログラマーの処置
	データ項目が指定されています。n は、誤りのあるパラメタ位置を示します。	
[Solaris] VL	ANY LENGTH句指定のあるメソッド呼び出しが未サポートのバージョンレベルで翻訳されています。	呼出し元(\$4)をV60L10以降で再翻訳してください。

3.3.58 JMP0250I-U

Systemwalker Centric Manager連携において、小入出力文を実行するための環境開設でエラーが発生しました。'\$1'

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$1に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください(下表参照)。

表3.16 JMP0250I-Uの\$1の内容

\$1	エラーの内容	プログラマーの処置
LANG ERROR	[Solaris]環境変数LANGにUnicodeが指定されました。	当機能はUnicode環境では実行できません。SJISかEUCで実行してください。
	[LinuxIPF]環境変数LANGにSJISが指定されました。	当機能はSJIS環境では実行できません。UnicodeかEUCで実行してください。
NOT-INSTALLED	Systemwalker Centric Managerが正しくインストールされていません。	Systemwalker Centric Managerが正しくインストールされていることを確認してください。

3.3.59 JMP0251I-U

CONSOLEへの出力に失敗しました。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

Systemwalker Centric ManagerのCONSOLEへの出力の際に、Systemwalker Centric Managerからエラーが通知されました。

Systemwalker Centric Managerが起動されていることを確認してください。なお、詳細はSystemwalker Centric Manager製品の調査が必要と考えられるため、資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。

3.3.60 JMP0252I-U

CONSOLEからの入力に失敗しました。'\$1'

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$1に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください(下表参照)。

表3.17 JMP0252I-Uの\$1の内容

\$1	エラーの内容	プログラマーの処置
ERR_PARAM	ACCEPT文の入力処理で何らかのエラーが発生しました。	プログラムを再度実行しても同様なエラーが発生した場合には、システムの障害と考えられるため、技術員(SE)に連絡してください。

\$1	エラーの内容	プログラマーの処置
TIME_OUT	ACCEPT文の入力でタイムアウトが発生しました。	ACCEPT文の入力を1440分以内に行ってください。
STOP_BY_USER	Systemwalker Centric Managerがユーザ要求により停止しました。	Systemwalker Centric Managerが起動されていることを確認してください。詳細はSystemwalker Centric Managerのオンラインマニュアルまたはヘルプを参照してください。
ERR_CONNECT	Systemwalker Centric Managerと接続できませんでした。	Systemwalker Centric Managerが起動されていることを確認してください。詳細はSystemwalker Centric Managerのオンラインマニュアルまたはヘルプを参照してください。
ERR_SEND	Systemwalker Centric Managerへの送信に失敗しました。	Systemwalker Centric Managerが起動されていることを確認してください。詳細はSystemwalker Centric Managerのオンラインマニュアルまたはヘルプを参照してください。
ERR_RCV	Systemwalker Centric Managerからの受信に失敗しました。	Systemwalker Centric Managerが起動されていることを確認してください。詳細はSystemwalker Centric Managerのオンラインマニュアルまたはヘルプを参照してください。
ERR_CONNECT_OVER	入力要求処理が最大数を超過しました。	返答待ちになっている入力要求処理を行ってください。詳細はSystemwalker Centric Managerのオンラインマニュアルまたはヘルプを参照してください。
ERR_UXEXPCT	予期せぬエラーが発生しました。	プログラムを再度実行しても同様なエラーが発生した場合には、システムの障害と考えられるため、技術員(SE)に連絡してください。
ERR_OTHER	Systemwalker Centric Managerの動作エラーです。	プログラムを再度実行しても同様なエラーが発生した場合には、システムの障害と考えられるため、技術員(SE)に連絡してください。

3.3.61 JMP0253I-U

任意日付の指定に誤りがあります。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

環境変数CBR_JOBDATEに指定した日付を確認してください。

3.3.62 JMP0254I-E/U

汎用ログ連携機能において、エラーが発生しました。'\$1'\$2'\$3'

システムの処理

プログラムを異常終了させます。汎用ログのクローズに失敗した場合のみ、Eレベルのメッセージを出力し、処理を続行します。

プログラマーの処置

\$1,\$2,\$3に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください(下表参照)。

表3.18 JMP0254I-E/Uの\$2の内容

\$2	エラーの内容	プログラマーの処置
LOAD-FAIL	汎用ログ連携機能に必要なライブラリのロードに失敗しました。	Interstage Business Application Serverが正しくインストールされているか、\$3の文字列を参考に環境設定を確認してください。
ENOMEM	メモリ不足が発生しました。	システムの空きメモリ容量を確認してください。

\$2	エラーの内容	プログラマーの処置
FUNCTION	汎用ログ連携機能の関数でエラーが発生しました。	\$1に関数名、\$3に関数のエラーコードが表示されます。Interstage Business Application Serverのマニュアルを参考にエラーの原因を取り除いてください。
NOT-SYMBOL	汎用ログ連携機能に必要な関数が見つかりませんでした。	プログラムを再度実行しても同様なエラーが発生した場合には、システムの障害と考えられるため、技術員(SE)に連絡してください。
INTERNAL-ERROR	内部矛盾を検出しました。	プログラムを再度実行しても同様なエラーが発生した場合には、システムの障害と考えられるため、技術員(SE)に連絡してください。

3.3.63 JMP0260I-U

'\$1'文の実行で、\$2番目のデータ転記に失敗しました。'\$3'

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$1にはSTRINGまたはUNSTRINGのどちらかの文字列が、\$2にはエラーを検出したデータの番号が設定されます。

\$3に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。

表3.19 JMP0260I-Uの\$3の内容

\$3	エラーの内容	プログラマーの処置
CONVERT ERROR=0xXXXX	STRING文またはUNSTRING文の実行で、受取り側項目の字類に合わせたコード変換を行う際、エラーを検出しました。	システムのerrnoの説明から原因を調査し、対処してください。
NOT NUMERIC ITEM	UNSTRING文の実行で、数字項目に転記できないデータ(数字以外の文字、不正な符号など)を検出しました。	受取り側項目のデータ項目種別に誤りがないか、また送出し側項目のデータの中身が不正でないか、確認してください。

メッセージに埋め込まれた番号と、実際のデータ項目との関係は以下の例を参考にしてください。



例

以下のUNSTRING文の実行で、受取り側項目である"内線"の転記に失敗した場合、メッセージに埋め込まれる番号は「5」となります。

- 文

```
UNSTRING 従業員データ (1:FUNCTION STORED-CHAR-LENGTH(従業員データ))
        INTO 従業員 BY CSV-FORMAT.
```

- データ定義

```
77 従業員データ  PIC X(80)
                   VALUE "8701, 富士通太郎, 38, 営業部, 7551-4535".

01 従業員.
02 従業員番号  PIC 9(6).
02 氏名        PIC N(10).
02 年齢        PIC 9(2).
02 所属        PIC N(10).
02 内線        PIC 9(9).  *> "7551-4535"を転記するため、メッセージを出力します.
```

3.3.64 JMP0261I-U

'\$1'文のPOINTER指定の初期値に誤りがあります。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$1には、STRINGまたはUNSTRINGのどちらかの文字列が設定されます。

POINTER指定の初期値として正しい値を設定し、再実行してください。

3.3.65 JMP0262I-W

'\$1'文の文の実行で、送出し側項目の中に転記されていない文字があります。

システムの処理

'\$1'文の実行を終了して、プログラムの処理を続行します。

プログラマーの処置

\$1には、STRINGまたはUNSTRINGのどちらかの文字列が設定されます。

以下を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。

STRING文

受取り側項目の最右端まで転記が完了しましたが、送出し側項目の中に転記されない文字が残っています。すべての送出し側項目が転記されるように受取り側のデータ項目の大きさを修正してください。

UNSTRING文

受取り側項目に指定したすべてのデータ項目に対して転記が行われましたが、送出し側項目の中に転記されない分割データが残っています。すべての分割データが格納されるように、受取り側のデータ項目数を増やしてください。

プログラムを修正せず、このメッセージを抑止する場合には、環境変数情報CBR_CSV_OVERFLOW_MESSAGEを使用してください。

環境変数CBR_CSV_OVERFLOW_MESSAGEについては、以下を参照してください。

- **[Solaris]**
“NetCOBOL 使用手引書”の“27.5.1 CBR_CSV_OVERFLOW_MESSAGE (CSV形式データ操作時のメッセージ抑止指定)”
- **[LinuxIPF][Solaris64]**
“NetCOBOL 使用手引書”の“21.5.1 CBR_CSV_OVERFLOW_MESSAGE (CSV形式データ操作時のメッセージ抑止指定)”
- **[Linux64]**
“NetCOBOL ユーザーズガイド”の“C.1.14 CBR_CSV_OVERFLOW_MESSAGE (CSV形式データ操作時のメッセージ抑止指定)”

3.3.66 JMP0263I-W

UNSTRING文の実行で、\$1番目のデータ転記中にデータの切捨てが発生しました。

システムの処理

転記の規則に従ってデータの切捨てを行い、UNSTRING文の処理を続行します。

プログラマーの処置

\$1にはエラーを検出したデータの番号が設定されます。

UNSTRING文により分解した文字列が、対応する受取り側項目の大きさを超えているため、転記の規則に従いデータを切り捨てました。切捨てが発生した受取り側項目の大きさを修正し、再実行してください。

プログラムを修正せず、このメッセージを抑止する場合には、環境変数情報CBR_CSV_OVERFLOW_MESSAGEを使用してください。
環境変数情報CBR_CSV_OVERFLOW_MESSAGEについては、以下を参照してください。

- **[Solaris]**
“NetCOBOL 使用手引書”の“27.5.1 CBR_CSV_OVERFLOW_MESSAGE (CSV形式データ操作時のメッセージ抑止指定)”
- **[Solaris64][LinuxIPF]**
“NetCOBOL 使用手引書”の“21.5.1 CBR_CSV_OVERFLOW_MESSAGE (CSV形式データ操作時のメッセージ抑止指定)”
- **[Linux64]**
“NetCOBOL ユーザーズガイド”の“C.1.14 CBR_CSV_OVERFLOW_MESSAGE (CSV形式データ操作時のメッセージ抑止指定)”

メッセージに埋め込まれた番号と、実際のデータ項目との関係は以下の例を参考にしてください。



例

以下に示すUNSTRING文の実行で、受取り側項目である"所属"の転記に失敗した場合、メッセージに埋め込まれる番号は「4」となります。

- 文

```
UNSTRING 従業員データ (1:FUNCTION STORED-CHAR-LENGTH(従業員データ))  
INTO 従業員 BY CSV-FORMAT.
```

- データ定義

```
77 従業員データ PIC X(80)  
    VALUE "8701, 富士通太郎, 38, 営業部, 7551-4535".  
  
01 従業員.  
    02 従業員番号 PIC 9(6).  
    02 氏名 PIC N(10).  
    02 年齢 PIC 9(2).  
    02 所属 PIC N(2). *> "営業部"を転記するため、メッセージを出力します。  
    02 内線 PIC X(10).
```

3.3.67 JMP0301I-E

'\$2'として開かれた'\$1'が終了時に閉じられていません. \$3.

システムの処理

ファイルのクローズを行わず、プログラムを終了します。

プログラマーの処置

プログラム(\$3)を終了する前に、ファイル(\$1)に対してCLOSE文を実行するようにプログラム(\$3)を修正してください。なお、\$2にはファイル(\$1)のオープンモードが設定されます。

3.3.68 JMP0302I-U

プログラムの終了時に'\$2'ファイルでCLOSEエラーが発生しました.\$1.

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

原因を調査し、それを取り除いてください。原因については、ほかのメッセージが出力されていれば、それを参照してください。なお、\$1にはプログラム名が、\$2にはアクセス名またはファイル名が設定されます。

3.3.69 JMP0310I-I/U

'\$2'ファイルで'\$1'エラーが発生しました。'\$3'。

システムの処理

重大度コードがIの場合、プログラムの処理を続行し、重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。なお、重大度コードは、ファイルの定義にFILE STATUS句の指定がある場合Iとなり、FILE STATUS句および誤り処理手続きの指定がない場合Uとなります。

プログラマーの処置

\$3に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。なお、\$1にはOPENまたはCLOSEのどちらかの文字列が、\$2にはアクセス名またはファイル名が設定されます。\$3に設定される文字列の意味と処置を“表3.20 JMP0310I-I/Uの\$3の内容(1)”および“表3.21 JMP0310I-I/Uの\$3の内容(2)”に示します。

表3.20 JMP0310I-I/Uの\$3の内容(1)

\$3(文字列)	エラーの内容	プログラマーの処置
ACC-METHOD または ACC-METHOD(98XX)	ファイルのアクセス方法に誤りがあります。(注1)	アクセス方法を正しく指定してください。
BLKED-FILE	CLOSE 文実行時のエラーなどにより、使用できないファイルです。	CLOSE 文の誤りを調査し、対処してください。
CNVER=xxxx	文字列のコード変換に失敗しました。 xxxx: 16進表記	システムのernoの説明から原因を調査し、対処してください。
[Solaris] ENV-ERR	アプリケーションの動作環境が開設されていません。	Apcoordinator配下でアプリケーションが起動されているか確認してください。
ERFLD=xxxx	入出力ファイルのアクセスエラーが発生しました。 xxxx: 16進表記	\$3が示すエラーコードの値は、各入出力ファイルのエラーコードです。システムのerno、または各種ファイルシステムのマニュアルを参照し、対処してください。(注2)
ERRCD=xxxx	表示ファイルのアクセスエラーが発生しました。	\$3が示すエラーコードの値は、各接続製品の通知コードです。各接続製品のマニュアルを参照し、対処してください。(注3)
EXCL-ERROR	排他エラーが発生しました。	再実行してください。排他エラーが頻発するようなら、運用上の問題がないかを調査してください。
[Solaris] [Solaris64] [LinuxIPF] [Linux64] EXFH-INF	外部ファイルハンドラ情報ファイルのオープンに失敗しました。または、外部ファイルハンドラ情報ファイルの内容に誤りがあります。	外部ファイルハンドラ情報ファイルが正しく設定されているか確認してください。また、外部ファイルハンドラ情報ファイルの内容に誤りが無いか確認してください。
FCB	FCB の内容に誤りがあります。	FCB の内容を確認してください。
FILE-LOCK	他ユーザによりファイルが使用されています。	再実行してください。排他エラーが頻発するようなら、運用上の問題がないかを調査してください。
FONT-TABLE	フォントテーブル名の指定に誤りがあります。	フォントテーブル名を正しく指定してください。
FTNCD=xxxx	システムからのエラーコード(erno)を示します。 xxxx: 16進表記	システムのernoの説明から原因を調査し、対処してください。
[Linux64] HTMERR=xxxx	表示ファイルのアクセスエラーが発生しました。	設定されたエラーコードを参考に、エラーの原因を取り除いてください。

\$3(文字列)	エラーの内容	プログラマーの処置
		エラーコードについては、“NetCOBOL MeFt/Webユーザーズガイド(HTML変換方式編)”を参照してください。
LOAD	サブプログラムまたは他製品のローディングに失敗しました。	プログラムの実行環境を調査して環境変数LD_LIBRARY_PATHの設定などに問題がないか確認してください。 マルチスレッドモデルの動作時に、マルチスレッド未サポートの製品を呼び出しました。各製品のマルチスレッド状況を確認してください。
LOAD=xxxxxx	他製品のローディングに失敗しました。 xxxxxx:16進表記	システムのerrnoの説明から原因を調査し、対処してください。
[Solaris] [Solaris64] [LinuxIPF] [Linux64] LOAD=種別(エラーメッセージ)	ローディングに失敗しました。 種別にはEXFH/PIPEのいずれかが設定されます。 エラーメッセージはdlerror関数で求めたエラーメッセージです。	設定されたエラーメッセージを参考に、エラーの原因を取り除いてください。
[Solaris] [Solaris64] [LinuxIPF] [Linux64] LOAD-EXFH	外部ファイルハンドラの環境開設に失敗しました。	以下の原因が考えられます。エラーの原因を取り除いてプログラムを再実行してください。 - 環境変数CBR_EXFH_APIが設定されていない。 - 環境変数に設定された外部ファイルハンドラの共用オブジェクトファイルが見つからない、または壊れている。 - 環境変数CBR_EXFH_LOADが設定されていない場合、共用オブジェクトファイル名は、環境変数CBR_EXFH_APIに指定された入口名を用いて“lib入口名.so”としたものを使用する。このファイルが見つからない、または壊れている。
LOCK-FULL	同一のファイルに対し、多数のアプリケーションからOPEN要求がありました。その結果、ロックテーブルに不足が発生しました。	再実行してください。排他エラーが頻発するようなら、運用上の問題がないかを調査してください。(注6)
NON-FILE	OUTPUT指定以外のOPEN文を実行しました。しかし、ファイルは存在しません。	プログラム実行前にファイルを生成しておいてください。
NON-REEL	REEL/UNIT 指定のCLOSE 文を実行しました。	CLOSE 文のREEL/UNIT 指定を削除してください。
OPEN-MODE	ファイルのオープンモードに誤りがあります。	正しいオープンモードでファイルをオープンしてください。
PRT-INF	印刷情報ファイルのオープンに失敗しました。または、印刷情報ファイルの内容に誤りがあります。	環境変数CBR_PRT_INF に印刷情報ファイルのパス名を正しく設定しているか確認してください。印刷情報ファイルまたはフォントテーブルの内容に誤りがないか確認してください。
READ-ONLY	読み込み専用ファイルです。またはファイル名の指定に誤りがあります。	書き込み可能となるようにファイルのアクセス権を変更してください。または、正しくファイルを指定してください。
REC-MODE	レコード形式に誤りがあります。	レコード形式を正しく指定してください。
RMERR=xxxx	ランタイムシステムからのエラーコードを示します。 xxxx: 16進表記	システムの障害と考えられるため、資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。 (注4)

\$3(文字列)	エラーの内容	プログラマーの処置
SESS-END	セッションエンドまたはセッション中断後にOPEN文が実行されました。	セッションが開始されていない状態でOPEN文を実行しないように修正してください。
THREAD=xxxxxx	スレッドの同期処理に失敗しました。 xxxxxx:16進表記	システムのerrnoの説明から原因を調査し、対処してください。
TIMEOUT	タイムアウト後にOPEN文が実行されました。	タイムアウト後はOPEN文を実行しないように修正してください。
UNSUPPORT	指定された機能は未サポートです。	指定したファイル、またはファイルシステムの機能範囲を確認してください。(注5)

・ 注1

ファイルのアクセス方法が誤っているとは、以下の事象を指します。

- ー 異なるファイル編成でアクセスしようとしている場合。または、
- ー 復旧の必要がある索引ファイルをアクセスしようとしている場合。または、
- ー ファイルの表現形式がプログラムの動作コード系やプログラム中の定義と一致していない場合など。

・ 注2

- ー 印刷ファイル(FORMAT句なし)の実行で、メッセージ本文中のエラーを示す文字列に“ERFLD=101”が出力された場合は、以下の事項を確認してください。

- 不要なプリンタドライバを多数インストールしていないか。
- FCB制御文が2048バイト未満であるか。
- 不当なフォームオーバーレイパターンを指定していないか。
- 誤ったフォームオーバーレイパターン名を登録していないか。
- スプール領域が不足していないか(環境変数TMPDIRに指定したディレクトリのディスク容量を確認してください)。
- 実装メモリ、仮想メモリが不足していないか(同時に実行しているほかのアプリケーションを停止して確認する/実装メモリを増設する/仮想メモリを大きくする)。

上記以外の場合、システムの障害と考えられるため、資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。

- ー **[Solaris]**
RDMファイルに対してのエラーコードの詳細は、“RDB/7000説明書”または“PowerRW+ COBOL開発マニュアル”を参照してください。
- ー **[Solaris]**
PowerRDBconnectorに対してのエラーコードの詳細は、“PowerRDBconnector説明書”を参照してください。
- ー 上記以外のファイルのメッセージ本文中のエラーを示す文字列の詳細はシステムのerrnoの説明を参照してください。

・ 注3

MeFtを使用しているときにERRCD=90xxが出力された場合、xxはMeFtの通知コードを示します。MeFtの通知コードについては、“第4章 MeFtのメッセージ”を参照してください。

・ 注4

RMERR=7F17(98xx)が出力された場合、ファイルが正常に使用できない状態になっています。索引ファイルの場合には、ファイルユーティリティを使用して、ファイルを復旧してください。

・ 注5

マルチスレッドまたはUnicodeでの動作の場合、以下の事項も確認してください。

- ー マルチスレッドモデルでの動作時に、マルチスレッド未サポートの製品を呼び出していないか、各製品のマルチスレッド対応状況を確認してください。
- ー Unicodeアプリケーションの動作時に、Unicode未対応の製品を呼び出していないか、各製品のUnicode対応状況を確認してください。

- ・ 注6
同一のファイルに対する同時オープン数の最大は、1024個です。

“表3.21 JMP0310I-I/Uの\$3の内容(2)”で説明する文字列が表示された場合は、以下の事項を確認してください。

- ・ プログラム中のファイルまたはレコードの定義内容と、処理するファイルの属性に矛盾はないか。
- ・ 処理するファイルは、当製品で作成したファイルか。
- ・ 指定したファイルシステム種別は正しいか。

当製品以外(OSIV COBOL85や他言語など)で作成したファイルや、異なるファイルシステム種別のファイルを使用した場合、下記のエラーが発生する場合があります。

表3.21 JMP0310I-I/Uの\$3の内容(2)

\$3(文字列)	エラーの内容	プログラムで確認する内容
INV-BLKSZ	ブロック長に誤りがあります。	BLOCK CONTAINS句に指定した長さ
INV-CODEST	コードセットに誤りがあります。	CODE SET句の文字符号
INV-COLSEQ	文字の大小順序(コレーティングシーケンス)に誤りがあります。	PROGRAM COLLATING SEQUENCE句の符号系名
INV-DELMTR	レコードの区切りに誤りがあります。	ORGANIZATION句、RECORD句の指定(注1)
INV-KEYDUP	キーの重複可否(DUPLICATES)に誤りがあります。	RECORD KEY句およびALTERNATE RECORD KEY句のDUPLICATES指定の有無
INV-KEYLEN	割り当てられたファイルのキー長が、プログラムでの定義と矛盾します。	RECORD KEY句およびALTERNATE RECORD KEY句に指定したデータ名の長さ(注2)
INV-KEYSTR	キーの構造に誤りがあります。	RECORD KEY句およびALTERNATE RECORD KEY句に指定したデータ名の長さ、データ名の個数またはデータ名のレコード内での相対位置
INV-LRECL	割り当てられたファイルのレコード長が、プログラムでの定義と矛盾します。	ORGANIZATION句の指定内容RECORD CONTAINS 句で指定したレコード長
INV-RKP	割り当てられたファイルの相対キー位置が、プログラムでの定義と矛盾します。	RECORD KEY句およびALTERNATE RECORD KEY句に指定したデータ名のレコード内での相対位置
KEY-ATTR	割り当てられたファイルのキー属性が、プログラムでの定義と矛盾します。	RECORD KEY句およびALTERNATE RECORD KEY句に指定したデータ名の属性
NON-ESDS	順ファイルに対して順ファイル以外が割り当てられました。	ORGANIZATION句の指定内容
NON-KSDS	索引ファイルに対して索引ファイル以外が割り当てられました。	
NON-RRDS	相対ファイルに対して相対ファイル以外が割り当てられました。	
NOT-TEXT	印刷ファイルに対してテキストファイル以外が割り当てられました。	
NOT-UNIQUE	DUPLICATES指定の記述がありません。しかし、割り当てられたファイルに重複キーがあります。	RECORD KEY句およびALTERNATE RECORD KEY句のDUPLICATES指定の有無

注1:ファイル編成・レコード形式(固定長／可変長)が、実際のファイルと一致していることを確認してください。

注2:RECORD KEY句、ALTERNATE RECORD KEY句に2つ以上のデータ項目を指定した場合、すべてのデータ項目の長さが、割り当てられたファイルのキーごとの長さとも一致していなければなりません。

3.3.70 JMP0311I-I/U

[Linux]

'\$1'ファイルが割り当てられていません。

[Solaris][Solaris64][LinuxIPF][Linux64]

'\$1'ファイルのファイル参照子の指定に誤りがあります。'\$2'

システムの処理

重大度コードがIの場合、プログラムの処理を続行し、重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。なお、重大度コードは、ファイルの定義にFILE STATUS句の指定がある場合Iとなり、FILE STATUS句および誤り処理手続きの指定がない場合Uとなります。

プログラマーの処置

- **[Linux]**
以下を確認し、再度実行してください。
 - ファイル(\$1)が正しく割り当てられているか。
 - ファイル名にコンマ(,)を含む場合、二重引用符(")で囲んでいるか。
 - ファイル名に続き、ファイル機能として有効な文字列が正しく指定されているか。ファイル機能については、“NetCOBOL 使用手引書”の“6.8 その他のファイル機能”を参照してください。
- **[Solaris][Solaris64][LinuxIPF][Linux64]**
\$2に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。なお、\$1にはアクセス名またはファイル名が設定されます。
\$2に設定される文字列の意味と処置を下表に示します。

表3.22 JMP0311I-I/Uの\$2の内容

\$2	エラーの内容	プログラマーの処置
NOT ASSIGNED	アクセス名に対する環境変数の指定がありません。または、データ名指定のファイル名が空白です。	環境変数またはデータ名指定のファイル名を指定してください。
INVALID ASSIGN	ファイル名に続き、指定された文字列で解析エラーが発生しました。	以下を確認してください。 • ファイル機能として有効な文字列が指定されているか(注1) • 指定した機能とファイル編成の組み合わせが正しいか(注2)
INVALID PATH-NAME	指定されたファイル名または指定方法に誤りがあります。	• 正しいファイル名を指定してください。 • 正しい指定方法で指定してください。(注3)

注1：有効なファイル機能については、以下を参照してください。

- **[Solaris]**
“NetCOBOL 使用手引書”の“6.8.12 注意事項”
- **[Solaris64][LinuxIPF]**
“NetCOBOL 使用手引書”の“6.8.9 注意事項”
- **[Linux64]**
“NetCOBOLユーザーズガイド”の“7.10.8 注意事項”

注2：各機能とファイル編成の組み合わせについては、以下を参照してください。

- **[Solaris][Solaris64][LinuxIPF]**
“NetCOBOL 使用手引書”の“6.8 その他のファイル機能”の各機能の説明
- **[Linux64]**
“NetCOBOLユーザーズガイド”の“7.10 その他のファイル機能”の各機能の説明

注3：ファイル編成がFORMAT句なし印刷ファイルの場合、指定方法に誤りがあると本エラーが検出されることがあります。以下を参照して、使用するプリンタとパラメタを正しく指定してください。

- [\[Solaris\]\[Solaris64\]\[Linux\]\[LinuxIPF\]](#)
“NetCOBOL 使用手引書”の“7.1.4 環境変数の設定”の“ASSIGN句で指定したファイル識別名”
- [\[Linux64\]](#)
“NetCOBOLユーザーズガイド”の“8.1.14 環境変数の設定”の“ASSIGN句で指定したファイル識別名”

3.3.71 JMP0313I-I/U

'\$2'ファイルに対する'\$1'文の実行で、ファイル制御域の獲得に失敗しました。

システムの処理

重大度コードがIの場合、エラーの発生したファイル処理を中止し、プログラムの処理を続行します。

重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

なお、重大度コードは、ファイルの定義にFILE STATUS句の指定がある場合Iとなり、FILE STATUS句および誤り処理手続きの指定がない場合Uとなります。

プログラマーの処置

原因および対処については、“[付録B 注意事項](#)”の“COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合”を参照し、対処後、再度実行してください。なお、\$1には領域不足が発生したCOBOLの文(OPEN,CLOSE,START,READ,WRITE,REWRITEまたはDELETEのどれか)が設定されます。また、\$2にはファイル処理の対象となったファイルのファイル名またはアクセス名が設定されます。

3.3.72 JMP0320I-I/U

'\$2'ファイルに対する'\$1'文の実行で、入出力エラーが発生しました。'\$3'。

システムの処理

重大度コードがIの場合、エラーの発生したファイル処理を中止し、プログラムの処理を続行します。

重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

なお、重大度コードは、ファイルの定義にFILE STATUS句の指定がある場合Iとなり、FILE STATUS句および誤り処理手続きの指定がない場合Uとなります。

プログラマーの処置

\$3に設定された文字列を参考にエラーの原因を調査し、それを取り除いてください。なお、\$1には入出力エラーが発生したCOBOLの文(START,READ,WRITE,REWRITEまたはDELETEのどれか)が設定されます。また、\$2にはファイル処理の対象となったファイルのファイル名またはアクセス名が設定されます。\$3に設定される文字列の意味と処置を下表に示します。

表3.23 JMP0320I-I/Uの\$3の内容

\$3(文字列)	エラーの内容	プログラマーの処置
ALTD-LEN	REWRITE 文で、レコード長が直前に読み込んだレコードの長さ異なります。	レコードの更新は、直前に読み込んだレコードのレコード長で行ってください。
BLKED-FILE	CLOSE 文実行時のエラーなどにより、使用できないファイルです。	本メッセージより前にJMP0310I-Iのメッセージが表示されている場合は、そのメッセージの処置に従ってください。
CNVER=xxxx	文字列のコード変換に失敗しました。 xxxx: 16進表記	システムのerrno の説明から原因を調査し、対処してください。
ERRCD=xxxx	表示ファイルのアクセスエラーが発生しました。	\$3が示すエラーコードの値は、各接続製品の通知コードです。各接続製品のマニュアルを参照し、対処してください。 (注1)
EXCEED-LEN	書き出そうとするレコードの長さがプログラムで決められた最大のレコード長を超えています。	書き出そうとするレコードの長さがプログラムで決められた最大のレコード長を超えないように修正してください。

\$3(文字列)	エラーの内容	プログラマーの処置
EXCL-ERROR	排他エラーが発生しました。	再度実行してください。排他エラーが頻発するようなら、運用上の問題がないかを調査してください。
FCB	FCB の内容に誤りがあります。	FCB の内容を調査してください。
FDBK=xxxx	入出力ファイルのアクセスエラーが発生しました。 xxxx: 16進表記	\$3が示すエラーコードの値は、各入出力ファイルのエラーコードです。 システムのerrno 、または各種ファイルシステムのマニュアルを参照し、対処してください。(注2)
FONT	システム上に存在しないフォントを指定して出力しました。または指定されたフォントテーブルが開けません。	指定したフォント名を確認し、システム上に必要なフォントをインストールしてください。または、正しいフォントテーブル名を指定しているか確認してください。
FOVER=xxxx	オーバーレイパターンの合成処理でエラーが発生しました。	xxxxから原因を調査し、対処してください。xxxxの内容は“ 表3.24 JMP0320I-I/Uの\$3がFOVER=xxxxの場合のエラー内容 ”を参照してください。
FOVL	フォームオーバーレイパターンが格納されているディレクトリの指定またはフォームオーバーレイパターンが正しくありません。	環境変数FOVLDIR に指定しているディレクトリを確認してください。
FTNCD=xxxx	システムからのエラーコード(errno)を示します。 xxxx: 16進表記	システムのerrno の説明から原因を調査し、対処してください。
INV-CHAR	テキストファイルのレコードに不当な文字があります。	制御コード(たとえば改行コードまたは改ページコードなど)がデータとして記述されていないかデータの内容を調査してください。
INV-DELMTR	レコードの区切り文字に誤りがあります。	プログラムの指定と割り当てられたファイルの属性の矛盾を修正してください。
INV-LEN	WRITE/REWRITE 文でレコード長が正しくありません。	書き出すレコードの長さを確認してください。
INV-TRANS	順READ、順DELETEまたは順REWRITE 文で直前のREAD文実行後にトランザクションを中断または終了しました。	順READ文とそれに続く順READ、順DELETEまたは順REWRITE 文の間でトランザクションを中断または終了しないように修正してください。
LOAD	サブプログラムのローディングに失敗しました。	プログラムの実行環境を調査してください。(注5)
LOAD-FOVL	フォームオーバーレイパターン変換ライブラリのロードに失敗しました。	以下の製品がインストールされているか確認してください。 • [Solaris]MeFt 6.0以降 • [Solaris64]MeFt 10.5以降 • [Linux]MeFt 7.0以降 • [LinuxIPF]MeFt 8.0以降 • [Linux64]MeFt 10.1以降
KEY-CHANGE	更新要求時のキーの値が、そのレコードを読み込んだときの値と異なります。	更新するレコードのキーの値を変更しないように修正してください。
KEY-LEN=0	総称キーの有効な長さが0です。	総称キーの有効な長さが0にならないように修正してください。
MACRO	OPEN/CLOSEマクロまたはサブシステムに対するOPEN/CLOSE要求が不成功となりました。	本メッセージの前にシステムのエラーメッセージが表示されているので、そのメッセージの処置に従ってください。
NO-TRANS	ネイティブからコードセットに変換できない文字があります。	データの内容を調査してください。

\$3(文字列)	エラーの内容	プログラマーの処置
OVER-RECLN	行レコードで書き出そうとした印字データ領域の長さが最大長を超えています。	書き出そうとするオーダーの長さが決められた最大長(注4)の範囲内になるようにレコード長を修正してください。
	入力したレコードの長さがプログラムで決められた最大のレコード長を超えています。	入力するレコードの長さがプログラムで決められた最大のレコード長の範囲になるように修正してください。
PHYSIC-ERR	処理対象のファイルに物理エラーが発生しました。	ファイルの内容(物理的構成要因)を確認してください。
READ-ONLY	処理対象のファイルは、読み込み専用ファイルです。	書き込み可能となるようにファイルのアクセス権を変更してください。
REC-LOCK	他ユーザによりレコードが排他使用されています。または、レコードを排他的に使用できません。	再度実行してください。排他エラーが頻発するようなら、運用上の問題がないかを調査してください。
R.KEY-ERR	乱呼出しまたは動的呼出しで、主キーの内容がPICTURE句での定義と矛盾します。	主キーの最大値が格納できるようにPICTURE句によるデータ項目の大きさの指定を修正してください。
	相対ファイルの処理で、相対レコード番号の値に0が指定されています。	RELATIVE KEY項目に指定したデータ項目に、0以外の整数を設定してください。
RMERR=xxxx	ランタイムシステムからのエラーコードを示します。 xxxx: 16進表記	システムの障害と考えられるため、資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。(注3)
RRN>R.KEY	相対ファイルの順処理のREAD文またはWRITE文で、相対レコード番号の値が最大値(PICTURE句で定義した桁数)を超えました。	RELATIVE KEY句に指定したデータ名の定義を、相対レコード番号の最大値が入る桁数に修正してください。
SESS-END	セッションエンドまたはセッション中断後にREAD文が実行されました。	セッションが開始されていない状態でREAD文を実行しないように修正してください。
THREAD=xxxxxx x	スレッドの同期処理に失敗しました。 xxxxxxx: 16進表記	システムのerrnoの説明から原因を調査し、対処してください。
TIMEOUT	タイムアウト後にREADまたはWRITE文が実行されました。	タイムアウト後はREADまたはWRITE文を実行しないように修正してください。
UNSUPPORT	指定された機能は未サポートです。	- ファイルの高速処理指定時、REWRITE文が実行されました。ファイルの高速処理を無効にするか、REWRITE文を使用しないようプログラムを変更してください。 - 外部ファイルハンドラ使用時、索引ファイルに対してFIRST指定のSTART文が実行されました。FIRST指定のSTART文を削除してください。 - 指定したファイル、またはファイルシステムの機能範囲を確認してください。

・注1

MeFtを使用しているときにERRCD=90xxまたはERRCD=99xxが出力された場合、xxはMeFtの通知コードを示します。MeFtの通知コードについては、“第4章 MeFtのメッセージ”を参照してください。

・注2

ー 印刷ファイル(FORMAT句なし)の実行で、メッセージ本文中のエラーを示す文字列にFDBK=101が出力された場合は、以下の事項を確認してください。

- 不要なプリンタドライバを多数インストールしていないか。

- FCB制御文が2048バイト未満であるか。
- 不当なフォームオーバーレイパターンを指定していないか。
- 誤ったフォームオーバーレイパターン名を登録していないか。
- スプール領域が不足していないか。
- 実装メモリ、仮想メモリが不足していないか。(同時に実行しているほかのアプリケーションを停止してください。実装メモリを確認し、必要であれば増設してください。仮想メモリを確認し、必要であれば大きくしてください。)

上記以外の場合、システムの障害と考えられるため、資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。

- **[Solaris]**
RDMファイルに対してのエラーコードの詳細は、“RDB/7000説明書”または“PowerRW+ COBOL開発マニュアル”の“エラーコード一覧”を参照してください。
- **[Solaris]**
PowerRDBconnectorに対してのエラーコードの詳細は、“PowerRDBconnector説明書”を参照してください。
- 上記以外の場合、ファイルのメッセージ本文中のエラーを示す文字列の詳細は、システムの**errno**の説明を参照してください。

- ・ 注3
RMERR=7F17(98xx)が出力された場合、ファイルが正常に使用できない状態になっています。索引ファイルの場合には、ファイルユーティリティを使用して、ファイルを復旧してください。

- ・ 注4
行レコードで書き出せるレコードの長さの目安は、以下の式で計算することができます。

32Kbyte>出力レコード長+2+100×基本項目数

なお、報告書作成機能において、報告集団記述項に日本語項目を指定した場合、本メッセージが出力される可能性があります。報告書作成機能では、日本語項目を含む報告書の実行結果は保証されません。日本語項目を指定しないようにプログラムを修正してください。

- ・ 注5
Unicode(UTF-8)印刷未サポート機能／環境下での丸め印刷指示が有効な場合、以下の製品がインストールされているか確認してください。
- **[Solaris]**
標準コード変換 1.2以降
- **[Linux][LinuxIPF][Linux64][Solaris64]**
標準コード変換

表3.24 JMP0320I-I/Uの\$3がFOVER=xxxxの場合のエラー内容

FOVER=xxxxの値	エラーの内容
16	出力ファイルが使用できません(資源不足など)。
8000	作業用のメモリ領域が不足しました。
8028	オーバーレイファイルのオープンに失敗しました。 オーバーレイファイルのパス名の指定に誤りがあります。 オーバーレイファイルにアクセスできません。
8029	オーバーレイファイルのリードに失敗しました。 オーバーレイファイルが空です。 オーバーレイファイルがリードできません。
8030	オーバーレイファイルのクローズに失敗しました。
8031	オーバーレイパターンの形式に誤りがあります。 KOL5以外のオーバーレイパターンが指定されました。

FOVER=xxxxの 値	エラーの内容
8034	サポートしていない形式のオーバーレイが指定されました。 例)PostScriptレベル1のデータストリームを出力する際、KOL6形式のオーバーレイパターンを指定した場合(PostScriptレベル1は、KOL5形式のみをサポートします)
その他	システムの障害と考えられるため、資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。

3.3.73 JMP0321I-U

'\$1'ファイルに対するREAD文の実行で、ファイル終了条件が発生しました。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

- ・ READ文にAT END指定を記述して、ファイル終了時の処置を行ってください。
- ・ 入力データ件数に誤りがないかチェックしてください。

なお、\$1にはファイル終了条件の発生したファイルのファイル名またはアクセス名が設定されます。

3.3.74 JMP0322I-U

'\$2'ファイルに対する'\$1'文の実行で、キーの順序誤りが発生しました。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

- ・ \$1がWRITEであれば、キーの値が昇順となるようにプログラムを修正してください。
- ・ \$1がREWRITEまたはDELETEであれば、直前のREAD文で読み込んだレコードのキーの値を変更しないように修正してください。

なお、\$2には無効キー条件の発生したファイルのファイル名またはアクセス名が設定されます。

3.3.75 JMP0323I-U

'\$2'ファイルに対する'\$1'文の実行で、重複キーによる誤りが発生しました。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

レコードの書出しで、キーの値が重複しないようにプログラムを修正してください。または、ファイルの定義で、RECORD KEY句およびALTERNATE RECORD KEY句にDUPLICATESを指定してください。

存在しないレコードの処理をプログラム中でチェックするには、次の方法があります。

- ・ ファイルの定義にFILE STATUS句を記述する。
- ・ 入出力文にINVALID KEY句を記述する。(無効キー条件発生検出)

なお、\$1にはエラーの発生したCOBOLの文(WRITEまたはREWRITEまたはCLOSEのどれか)が、\$2にはエラーの発生したファイルのファイル名またはアクセス名が設定されます。

3.3.76 JMP0324I-U

'\$2'ファイルに対する'\$1'文の実行で,求めるレコードが見つかりません.

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

- ・ 存在するレコードだけを処理するように、プログラムを修正してください。
- ・ FILE STATUS句またはINVALID KEY句を使用して、存在しないレコードへのアクセスをプログラムでチェックするように、プログラムを修正してください。

なお、\$1にはエラーの発生したCOBOLの文(READ、REWRITE、STARTまたはDELETEのどれか)が、\$2にはエラーの発生したファイルのファイル名またはアクセス名が設定されます。

3.3.77 JMP0325I-I/U

'\$2'ファイルに対する'\$1'文の実行で,ファイルの最大サイズを超えました. または, ディスクの空き容量が不足しました.

システムの処理

重大度コードがIの場合、エラーの発生したファイル処理を中止し、プログラムの処理を続行します。

重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

なお、重大度コードは、ファイルの定義にFILE STATUS句の指定がある場合Iとなり、FILE STATUS句および誤り処理手続きの指定がない場合Uとなります。

プログラマーの処置

ディスクの空き容量が不足している、または、ファイルの最大サイズを超えています。

ファイルの最大サイズについては、以下を参照してください。

- ・ **[Solaris]**
“NetCOBOL 使用手引書”の“表6.9 各ファイルシステムの機能差”
- ・ **[Linux]**
“NetCOBOL 使用手引書”の“表6-9 各ファイルシステムの機能差”
- ・ **[LinuxIPF]**
“NetCOBOL 使用手引書”の“表6-9 ファイルシステムの機能”
- ・ **[LinuxIPF]**
“NetCOBOL 使用手引書”の“表6.9 ファイルシステムの機能”
- ・ **[Linux64]**
“NetCOBOL ユーザーズガイド”の“表7.9 ファイルシステムの機能”

ディスク装置などの空き領域が不足している場合は、不要なファイルの削除などにより十分な空き領域を用意してから、再度プログラムを実行してください。

ファイル容量をコマンドにより制限している場合は、その制限値を大きくして、再度プログラムを実行してください。

また、ファイルの最大サイズを超えている場合は、ファイルを分割するなど、最大サイズを超えないようにしてください。

なお、\$1にはエラーの発生したCOBOLの文(WRITE,REWRITE,READ,STARTまたはCLOSEのどれか)が、\$2にはエラーの発生したファイルのファイル名またはアクセス名が設定されます。

3.3.78 JMP0326I-U

'\$2'ファイルに対する'\$1'文の実行で,NO-SPACE状態になりました.

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

ディスク装置などの領域がいっぱいであるなら、不要なファイルを削除して、再度プログラムを実行してください。

ファイル容量をコマンドにより制限している場合、その制限値を大きくして、再度プログラムを実行してください。

なお、\$1にはエラーの発生したCOBOLの文(WRITE,REWRITE,READ,STARTまたはCLOSEのどれか)が、\$2にはエラーの発生したファイルのファイル名またはアクセス名が設定されます。

3.3.79 JMP0327I-U

'\$2'ファイルに対する'\$1'文の実行で、無効キー条件が発生しました。'\$3'.

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$3が'RRN>R.KEY'であるなら、順処理のレコード書出しで、相対レコード番号がRELATIVE KEY項目で持つことのできる最大値を超えないように、プログラムを修正してください。または、INVALID KEY句を記述して、無効キー条件が発生したときの処理を行うようにプログラムを修正してください。

なお、\$1にはエラーの発生したCOBOLの文(WRITE文)が、\$2にはエラーの発生したファイルのファイル名またはアクセス名が設定されます。

3.3.80 JMP0328I-I/U

'\$1'ファイルの'WRITE'文で、CHARACTER TYPE句のDEPENDING ONに指定された値が、許容値を超えています。

システムの処理

重大度コードがIの場合、プログラムの処理を続行し、重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。なお、重大度コードは、ファイルの定義にFILE STATUS句の指定がある場合Iとなり、FILE STATUS句および誤り処理手続きの指定がない場合Uとなります。

プログラマーの処置

DEPENDING ONに指定した値が許容値を超えないように、プログラムを修正してください。なお、\$1にはエラーの発生したファイルのファイル名またはアクセス名が設定されます。

3.3.81 JMP0330I-I/U

'\$2'ファイルの'\$1'文で、実行順序の誤りが発生しました。'\$3'.

システムの処理

重大度コードがIの場合、エラーの発生したファイル処理を中止し、プログラムの処理を続行します。

重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

なお、重大度コードは、ファイルの定義にFILE STATUS句の指定がある場合Iとなり、FILE STATUS句および誤り処理手続きの指定がない場合Uとなります。

プログラマーの処置

\$3に設定された文字列を参考にエラーの原因を調査し、それを取り除いてください。なお、\$1には入出力エラーが発生したCOBOLの文(OPEN,CLOSE,START,READ,WRITE,REWRITEまたはDELETEのどれか)が設定されます。また、\$2にはファイル処理の対象となったファイルのファイル名またはアクセス名が設定されます。\$3に設定される文字列の意味を下表に示します。

表3.25 JMP0330I-I/Uの\$3の内容

\$3(文字列)	エラーの原因
AT-END	ファイル終了条件発生後、さらにREAD文が実行されました。
DUPL-OPEN	すでに開かれたファイルに対してOPEN文が実行されました。

\$3(文字列)	エラーの原因
LOCKED	LOCK指定のCLOSE 文実行後そのファイルを開こうとしました。
NO-READ	直前が成功したREAD文ではありません。
NOSPACE	NO-SPACE状態発生後、さらにWRITE 文が実行されました。
NOT-OPENED	開かれていないファイルに対して入出力文が実行されました。
OPEN-MODE	OPENモードが正しくありません。
POS-ERROR	ファイル位置指示子が不定です。

3.3.82 JMP0331I-U

'\$1'ファイルでスレッドの同期処理に失敗しました.'\$2'.

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$2に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。\$2に設定される文字列の意味と処置を下表”に示します。なお、\$1にはファイル名が設定されます。

表3.26 JMP0331I-Uの\$2の内容

\$2	エラーの内容	プログラマーの処置
CODE=0xXXX X	システムからのエラーコードを示します。 XXXX : 16進表記	システムのerrnoの説明から原因を調査し、対処してください。

3.3.83 JMP0340I-U

'\$1'ファイルに対する制御レコードの形式に誤りがあります.'\$2'.

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$2に設定された文字列を参考にエラーの原因を調査し、それを取り除いてください。なお、\$1にはファイル処理の対象となったファイルのファイル名またはアクセス名が設定されます。\$2に設定される文字列とエラーが検出された制御レコード中の内容の関係を下表に示します。なお、RSV(システム使用)域に空白が設定されていない場合もこのエラーメッセージが出力される場合があります。RSV域に空白が設定されているか確認してください。

表3.27 JMP0340I-Uの\$2の内容

\$2(文字列)	エラーが検出されたフィールドの内容
BIND	とじしろ方向
CMOD	複写修正モジュール名
C-NO	複写数
FCB	FCB 名
FID	帳票定義体名
FORM	用紙コード
FOVL	フォームオーバーレイモジュール名
F-NO	フォームオーバーレイのフィールド数
HOP	用紙供給口

\$2(文字列)	エラーが検出されたフィールドの内容
ID	制御レコードID
LEN	制御レコード長
LOAD	ダイナミックロード
MODE	制御モード
OFST	印字原点位置
OSTK	オフセットスタック
PFRM	印字形式
POST	印字面位置付け
PRTA	印字禁止領域
RSV	予約域(空白でない)
R-NO	フォームオーバーレイ焼付け回数
SIDE	印字面指定
SIZE	用紙サイズ
STK	用紙排出口
S-NO	複写修正開始番号
T-NO	複写修正用文字配列テーブル番号
WDTH	とじしろ幅
XTB	複写修正用文字配列テーブル名

3.3.84 JMP0350I-U

USE手続き中のファイルに対する入出力文の実行により,USE手続きが再帰的に呼び出されました。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

誤り処理手続き中では、その誤り処理手続きを再び実行させる可能性のある手続きを実行しないようにしてください。

3.3.85 JMP0360I-U

表示ファイルのアクセス中に,システムのエラーが発生しました. CODE=\$1.

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

SYMBOLIC DESTINATION句に指定したあて先の内容を確認してください。あて先の内容が正しければ、システムの障害と考えられるため、資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。なお、\$1にはエラーの詳細を示す内部コードが設定されます。

3.3.86 JMP0362I-U

'\$2'ファイルに対する'\$1'文の実行で,レコードの生成処理のエラーが発生しました. CODE=\$3.

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

- **[Solaris]**
他社プリンタ印刷機能を使用している場合
“NetCOBOL 使用手引書”の“7.1.10 他社プリンタ装置での注意事項”に記載されている各種注意事項に該当していないか確認してください。
上記注意事項に該当しない場合は、システムの障害と考えられるため、資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。
- 電子帳票出力を使用している場合
\$3に設定されたエラーコードを参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。エラーコードの詳細はSystemwalker/ListWORKSまたはInterstage List Worksのオンラインマニュアルを参照してください。
なお、\$1にはエラーが発生したCOBOLの文(OPEN/CLOSE/WRITEのどれか)が、\$2にはファイル処理の対象となったファイルのファイル名またはアクセス名が設定されます。

3.3.87 JMP0363I-U

'\$1'ファイルに対するSYMBOLIC DESTINATION句の指定に誤りがあります。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

SYMBOLIC DESTINATION句に指定したあて先名を正しく指定し、再実行させてください。なお、\$1にはアクセス名またはファイル名が設定されます。

3.3.88 JMP0364I-I/U

'\$2'ファイルに対するREADまたはWRITE文で,\$1句の指定に誤りがあります。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$1句に指定したデータ項目の内容を正しく指定し、再実行させてください。

なお、\$2には、アクセス名またはファイル名が設定されます。

3.3.89 JMP0370I-U

SQL文を実行するための動的作業域の獲得に失敗しました。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

原因および対処については、“付録B 注意事項”の“COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合”を参照し、対処後、再度実行してください。

3.3.90 JMP0371I-U

SQL文を実行するための環境情報ファイルに誤りがあります。'\$1'

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

環境情報ファイル内の指定を正しく設定し、再度実行してください。なお、\$1には、エラーの原因を示す文字列が設定されます(下表参照)。

表3.28 JMP0371I-Uの\$1の内容

\$1	エラーの内容
ODBC_INF	ODBC情報ファイルが指定されていないか存在しません。
@SQL_DATASRC	データソース名が指定されていません。
@SQL_SERVER	サーバ名が指定されていません。
@SQL_USERID	ユーザIDが指定されていません。
@SQL_PASSWORD	パスワードが指定されていません。

3.3.91 JMP0372I-U

SQL文を実行するための環境開設でエラーが発生しました。' \$1' \$2

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$1に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください(下表参照)。

表3.29 JMP0372I-Uの\$1の内容

\$1	エラーの内容	プログラマーの処置
LOAD	ランタイムライブラリのローディングに失敗しました。	\$2に設定された詳細コードの内容を参考に対処してください。
FREE	ランタイムライブラリの解放に失敗しました。	\$2に設定された詳細コードの内容を参考に対処してください。

3.3.92 JMP0373I-U

サーバ名 '\$3' に対する '\$2' 文の実行で '\$1' エラーが発生しました。 '\$4'

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$4に設定されたエラーコードを参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。なお、\$1にはクライアントインターフェース種別が、\$2にはエラーが発生したSQL文が、\$3にはエラーの発生したサーバ名が設定されます。

エラーコードの意味については、各クライアントインターフェースのエラーコードマニュアルの説明を参照してください。

3.3.93 JMP0374I-U

認識できないSQL文が現れたため、処理が続行できません。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

使用できないSQL文を取り除き、再度実行してください。使用できないSQL文については、各データベース環境の制限事項または注意事項を参考にしてください。

3.3.94 JMP0375I-U

SQL文を実行するための環境情報ファイルにしたがって、SQL文を実行することができません。' \$1 '

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$1に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください(下表参照)。

表3.30 JMP0375I-Uの\$1の内容

\$1	エラーの内容	プログラマーの処置
INV-SCOPE-THREAD	ODBC情報ファイルのコネクション有効範囲にTHREADが指定された動作環境でクラス定義に記述された埋込みSQL文が実行されました。	コネクション有効範囲の指定値を変更してください。または、プログラム定義に記述された埋込みSQL文だけ実行するようにプログラムを変更してください。
INV-SCOPE-OBJECT- INSTANCE	ODBC情報ファイルのコネクション有効範囲にOBJECT_INSTANCE が指定された動作環境でプログラム定義に記述された埋込みSQL文が実行されました。	コネクション有効範囲の指定値を変更してください。または、クラス定義に記述された埋込みSQL文だけ実行するようにプログラムを変更してください。

3.3.95 JMP0376I-U

Symfoware連携において、マルチスレッドでSQL文を実行するための環境開設でエラーが発生しました。' \$1 '

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$1に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください(下表参照)。

表3.31 JMP0376I-Uの\$1の内容

\$1	エラーの内容	プログラマーの処置
NOT-INSTALLED	Symfowareクライアントが正しくインストールされていません。	Symfowareクライアントが正しくインストールされていることを確認してください。
ENVIRONMENT-ERROR:Symfowareのエラーメッセージ	Symfowareの動作エラーです。	Symfowareのエラーメッセージを同時に出力しますので、“Symfoware/RDBユーザーズガイド”を参照して対処してください。

3.3.96 JMP0400I-U

アクセス環境が正しくありません。SYS=\$1,FILE=\$2,BLK=\$3,\$4=\$5

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

システムの障害と考えられるため、資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。なお、\$1～\$5には以下の情報が設定されます。

- \$1: システムから通知されたエラー情報または文字列NONE(システムからの情報がない場合)
- \$2: システム情報
- \$3: エラーを検出した制御ブロックアドレス
- \$4: ERRまたはREQ

- ・ \$5: エラー内部情報として次の情報が設定されます。
 - ー \$4がERRの場合: 検出箇所
 - ー \$4がREQの場合: 処理コード

3.3.97 JMP0410I-U

JMPCINT2を使用している場合、応用プログラムにおいて、STOP RUN文を実行してはなりません。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

STOP RUN文をEXIT PROGRAM文に置き換えてください。

3.3.98 JMP0600I-I/U

SORTまたはMERGE文を実行するために十分な仮想メモリがありませんでした。

システムの処理

重大度コードがIの場合、エラーの発生した整列併合処理を中止し、プログラムの処理を続行します。

重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

なお、重大度コードは、プログラム中で特殊レジスタSORT-STATUSが参照されている場合Iとなり、参照されていない場合Uとなります。

プログラマーの処置

原因および対処については、“付録B 注意事項”の“COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合”を参照し、対処後、再度実行してください。

3.3.99 JMP0601I-I/U

SORT文またはMERGE文でエラーが発生しました。 \$1.

システムの処理

重大度コードがIの場合、エラーの発生した整列併合処理を中止し、プログラムの処理を続行します。

重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

なお、重大度コードは、プログラム中で特殊レジスタSORT-STATUSが参照されている場合Iとなり、参照されていない場合Uとなります。

プログラマーの処置

\$1に設定された情報を参考にエラーの原因を調査し、それを取り除いてください。なお、\$1にはファイル情報(アクセス名またはファイル名)または詳細情報が設定されます。下表に、詳細情報の値、意味および処置を示します。

表3.32 整列併合機能エラーの内容

値	エラーの内容	プログラマーの処置
0	特殊レジスタSORT-STATUSに16が設定されました。	プログラム中で特殊レジスタSORT-STATUSに「16」を設定したことで、ソート処理またはマージ処理が終了したことを示しています。 プログラマーの処置は不要です。
50	メモリ不足です。	メモリ容量を確保できるよう環境を整備してください。(注)
51	ソート対象レコードの入力処理でエラーが発生しました。	プログラムを再度実行しても同様のエラーが発生した場合には、システムの障害と考えられるため、技術員(SE)に連絡してください。
52	メモリ不足です。	メモリ容量を確保できるよう環境を整備してください。(注)

値	エラーの内容	プログラマーの処置
53	ソート対象レコードの入力処理でエラーが発生しました。	プログラムを再度実行しても同様のエラーが発生した場合には、システムの障害と考えられるため、技術員(SE)に連絡してください。
54	ソート対象レコードの入力処理でエラーが発生しました。	
56	ソート対象レコードの入力処理でエラーが発生しました。	
59	ソート対象レコードの入力処理でエラーが発生しました。	
62	ソート対象レコードの入力処理でエラーが発生しました。	
100	ソートマージプログラムでエラーが発生しました。	
101	ソート対象レコードの入力処理でエラーが発生しました。	
102	ソート対象レコードの出力処理でエラーが発生しました。	
103	マージ対象レコードの入力処理でエラーが発生しました。	
110	ソート対象レコードのアドレスが取得できませんでした。	
111	レコード長に誤りがあります。	レコード長の最大値がCOBOLの仕様に合っているか確認してください。
112	ソート対象レコードの入力処理でエラーが発生しました。	プログラムを再度実行しても同様のエラーが発生した場合には、システムの障害と考えられるため、技術員(SE)に連絡してください。
113	ソート対象レコードの入力処理でエラーが発生しました。	
114	マージ対象ファイル中のレコードがソートされていません。	マージ対象ファイル中のレコードをソートしてからマージするようにプログラムを修正してください。
208	整列併合用ファイルのオープンでエラーが発生しました。	ソートに必要な作業領域が不足している可能性があります。環境変数BSORT_TMPDIRを使用して作業用フォルダ(ディレクトリ)を指定してください。 詳細は以下を参照してください。 [Solaris][Linux] “NetCOBOL 使用手引書”の“11.2.4 プログラムの実行” [Solaris64][LinuxIPF] “NetCOBOL 使用手引書”の“10.2.4 プログラムの実行” [Linux64] “NetCOBOL ユーザーズガイド”の“12.2.4 プログラムの実行” プログラムを再度実行しても同様のエラーが発生した場合には、システムの障害と考えられるため技術員(SE)に連絡してください。
212	整列併合用ファイルの容量が足りません。	ファイルの容量を確保できるように、ハードディスクなどの環境を整備してください。
214	整列併合用ファイルの作成ができません。	ファイルの作成ができるように、ハードディスクなどの環境を整備してください。
224	整列併合用ファイルへの書込み中にエラーが発生しました。	プログラムを再度実行しても同様のエラーが発生した場合には、システムの障害と考えられるため、技術員(SE)に連絡してください。

値	エラーの内容	プログラマーの処置
250	ソートマージプログラムでエラーが発生しました。	
その他 (PowerSORT T使用時)	PowerSORT でエラーが発生しました。	“PowerSORT ユーザーズガイド”の“BSORT関数のエラー詳細コード”を参照してください。

注 : PowerSORTをインストールし、特殊レジスタSORT-CORE-SIZE、翻訳オプションSMSIZE、または実行時オプションsmsizeを利用していた場合、これらに指定する値をPowerSORTが最低限度必要とするメモリサイズより大きい値に変更してください。その他の対処については、“付録B 注意事項”の“COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合”を参照してください。

3.3.100 JMP0608I-I/U

RELEASE文は、出力手続き中で実行できません。

システムの処理

重大度コードがIの場合、エラーの発生した整列併合処理を中止し、プログラムの処理を続行します。

重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

なお、重大度コードは、プログラム中で特殊レジスタSORT-STATUSが参照されている場合Iとなり、参照されていない場合Uとなります。

プログラマーの処置

プログラムを修正してください。

3.3.101 JMP0609I-I/U

RETURN文は、入力手続き中で実行できません。

システムの処理

重大度コードがIの場合、エラーの発生した整列併合処理を中止し、プログラムの処理を続行します。

重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

なお、重大度コードは、プログラム中で特殊レジスタSORT-STATUSが参照されている場合Iとなり、参照されていない場合Uとなります。

プログラマーの処置

プログラムを修正してください。

3.3.102 JMP0612I-I/U

RETURN文は、ファイル終了条件発生後に実行できません。

システムの処理

重大度コードがIの場合、エラーの発生した整列併合処理を中止し、プログラムの処理を続行します。

重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

なお、重大度コードは、プログラム中で特殊レジスタSORT-STATUSが参照されている場合Iとなり、参照されていない場合Uとなります。

プログラマーの処置

ファイル終了条件発生後にRETURN文を実行しないように、プログラムを修正してください。

3.3.103 JMP0613I-I/U

整列併合用ライブラリがロードできません。

システムの処理

重大度コードがIの場合、エラーの発生した整列併合処理を中止し、プログラムの処理を続行します。

重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

なお、重大度コードは、プログラム中で特殊レジスタSORT-STATUSが参照されている場合Iとなり、参照されていない場合Uとなります。

プログラマーの処置

本エラーは通常の使用では発生しません。以下の項目について確認し、必要な処理を施した後プログラムを再度実行してください。

- **[Solaris][Linux]**
整列併合用ライブラリ(プロセスモデルではlibcobsrt.so、マルチスレッドモデルではlibrcobsrt.so)が存在しているか。
- 環境変数LD_LIBRARY_PATHに整列併合用ライブラリのパスが設定されているか。
- PowerSORTが正しくインストールされているか。

3.3.104 JMP0614I-I/U

SORT文またはMERGE文は入力および出力手続き中で実行できません。

システムの処理

重大度コードがIの場合、プログラムの処理を続行し、重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。なお、重大度コードは、プログラム中で特殊レジスタSORT-STATUSが参照されている場合Iとなり、参照されていない場合Uとなります。

プログラマーの処置

SORT文またはMERGE文に記述された入力および出力手続きの処理中にSORT文またはMERGE文を実行しないように、プログラムを修正してください。

3.3.105 JMP0615I-I/U

SORTまたはMERGE文でスレッドの同期処理に失敗しました。'\$1'。

システムの処理

重大度コードがIの場合、プログラムの処理を続行し、重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

なお、重大度コードは、プログラム中で特殊レジスタSORT-STATUSが参照されている場合Iとなり、参照されていない場合Uとなります。

プログラマーの処置

\$1に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。\$1に設定される文字列の意味と処置を下表に示します。

表3.33 JMP0615I-I/Uの\$1の内容

\$1	エラーの内容	プログラマーの処置
CODE=0xXXXX	システムからのエラーコードを示します。	システムのerrnoの説明から原因を調査し、対処してください。

3.3.106 JMP0616I-U

スレッドの同期処理に失敗しました。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

スレッドの同期処理に誤りを検出しました。エラーが頻発するようなら、システムの障害と考えられるため、資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。

3.3.107 JMP0701I-U

GCBが壊れています.

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

COBOLランタイムシステムが利用している領域(GCB)が破壊されています。以下の項目について確認し、プログラムを修正して再度実行してください。

- ・ 添字、指標、部分参照またはOCCURS DEPENDING ON句を含むデータ項目を参照している場合、それらの参照範囲を超えていないかチェックしてください。
- ・ CALL文などで受渡しを行うパラメタが存在する場合、パラメタの属性が引渡し側と受取り側で一致しているかをチェックしてください(特に長さ)。
- ・ ファイルを使っている場合、誤った長さでレコードを扱っていないかチェックしてください。たとえば、可変長の入力ファイルで、実際のレコード長で処理するところを、最大長を使って空白詰めなどの処理を行っている。

3.3.108 JMP0702I-U

LIAが壊れています.

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

COBOLランタイムシステムが利用している領域(LIA)が破壊されています。処置については、JMP0701I-Uを参照してください。

3.3.109 JMP0703I-U

RCBが壊れています.

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

COBOLランタイムシステムが利用している領域(RCB)が破壊されています。処置については、JMP0701I-Uを参照してください。

3.3.110 JMP0704I-U

デバッグ機能の実行に必要な内部テーブルが壊れています.

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

JMP0701I-Uのプログラマーの処置を参照してください。

3.3.111 JMP0705I-W

'\$1'機能を実行するための動的作業域の確保ができません.

システムの処理

'\$1'機能をキャンセルし、プログラムの処理を続行します。

プログラマーの処置

原因および対処については、“付録B 注意事項”の“COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合”を参照してください。
対処後、再度実行してください。なお、\$1にはデバッグ機能の機能名が設定されます。

3.3.112 JMP0724I-W

'\$1'ファイルがオープンできなかったため、デバッグ情報'\$2'の出力ができません。

システムの処理

'\$2'情報の出力を中止して処理を続行します。

プログラマーの処置

以下の項目を確認してください。

- ・ ファイルの割当てが正しいか
- ・ ファイルのアクセス権が正しいか
- ・ 複数のプロセスから同じファイルにデバッグ情報を出力しようとしていないか

\$1にはアクセス名が、\$2にはデバッグ機能の機能名が設定されます。

3.3.113 JMP0725I-W

デバッグ情報ファイル'\$1'のオープンに失敗しました。'\$2'

システムの処理

'\$1'情報の出力を中止してプログラムの処理を続行します。

プログラマーの処置

デバッグ情報ファイルについて、\$2に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください(下表参照)。

表3.34 JMP0725I-Wの\$2の内容

詳細情報(\$2)	エラーの内容	プログラマーの処置
ERRCD=0xXXXX	システムからのエラーコード(errno)を示します。	システムのerrnoの説明から原因を調査し、対処してください。

3.3.114 JMP0726I-W

環境変数 '\$1' の指定に誤りがあるため、デバッグ情報 '\$2' の出力ができません。

システムの処理

'\$2' 情報の出力を中止してプログラムの処理を続行します。

プログラマーの処置

環境変数 '\$1' に正しい値を指定して再度実行してください。

3.3.115 JMP0727I-W

環境変数'\$1' に指定したファイルが最大サイズを超えているため、デバッグ情報 '\$2' の出力ができません。

システムの処理

'\$2' 情報の出力を中止してプログラムの処理を続行します。

プログラマーの処置

環境変数 '\$1' に指定したファイルのサイズを確認し、再度実行してください。

3.3.116 JMP0771I-W

環境変数\$1の値に誤りがあります。

システムの処理

環境変数(\$1)が指定されなかったものとみなして、処理を続行します。

プログラマーの処置

環境変数(\$1)に正しい値を指定して、再度実行してください。

環境変数については、以下を参照してください。

- [\[Solaris\]](#)[\[Linux\]](#)
“NetCOBOL 使用手引書”の“23.8.2.1 環境変数の指定”
- [\[Solaris64\]](#)
“NetCOBOL 使用手引書”の“18.4.1 CBR_ATTACH_TOOL (アタッチ形式のリモートデバッグを行う指定)”
- [\[LinuxIPF\]](#)
“NetCOBOL 使用手引書”の“18.2.4 環境変数CBR_ATTACH_TOOL”
- [\[Linux64\]](#)
“NetCOBOL ユーザーズガイド”の“C.1.2 CBR_ATTACH_TOOL(アタッチ形式のリモートデバッグを行う指定)”

3.3.117 JMP0772I-W

\$1の起動に失敗しました.'\$2'.'\$3'

システムの処理

環境変数情報CBR_ATTACH_TOOLが指定されなかったものとみなして、処理を続行します。

プログラマーの処置

- [\[Solaris\]](#)[\[Linux\]](#)
 - ー \$1にはツールを示す文字列(COBOL DEBUGGER)が設定されます。
 - ー \$2に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。
 - ー \$3にはエラーの原因に対する詳細情報が設定されます。
- [\[LinuxIPF\]](#)[\[Linux64\]](#)[\[Solaris64\]](#)
 - ー \$1にはツールを示す文字列(STUDIO)が設定されます。
 - ー \$2に設定された文字列を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。
 - ー \$3にはエラーの原因に対する詳細情報が設定されます。

\$2および\$3に設定される文字列を下表に示します。

表3.35 JMP0772I-Wの\$2および\$3の内容

\$2	エラーの内容	詳細情報(\$3)	プログラマーの処置
API ERROR	システムエラーを検出しました。	API=API名, CODE=エラーコード(16進表記)	資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。(注)

注：詳細情報(\$3)が、“API=semid CODE=1c”または“API=semop CODE=1c”の場合は、以下を確認してください。
これらに該当しない場合は、システムの障害と考えられるため、資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。

- アタッチ形式でリモートデバッグする場合、デバッグが開始される前にプログラムを強制終了させると、セマフォが残ります。この操作を繰り返すと、残ったセマフォが多くなり、セマフォが作成できなくなり、本エラーが発生します。デバッグが開始される前にプログラムを強制終了させないようにしてください。

- ・セマフォ、メッセージ待ち行列、共用メモリがいっぱいになっています。これらの資源の内、不要な資源を削除してください。これらの資源の状態を参照するには、ipcsコマンドを使用します。また、資源を削除するには、ipcrmコマンドを使用します。資源の削除は、誤って必要な資源を削除しないように、システムの管理者に依頼するか、システムの管理者の指導で行ってください。

3.3.118 JMP0774I-W

リモートデバッグにおいて、クライアントとの接続に失敗しました. \$1. \$2

システムの処理

環境変数CBR_ATTACH_TOOLが指定されなかったものとみなして、処理を続行します。

プログラマーの処置

\$1に設定された情報を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。

\$1に設定される情報の意味と処置を下表に示します。なお、\$2には詳細情報が設定されます。

表3.36 JMP0774I-Wの\$1および\$2の内容

\$1	エラーの内容	プログラマーの処置
0	リモートデバッグ機能に必要な資産が正しくインストールされていません。	NetCOBOLをインストールしてください。
2	環境変数CBR_ATTACH_TOOLに指定した調査手段に誤りがあります。	リモートデバッグでは、\$2をサポートしていません。サポートしている形式を指定してください。\$2には環境変数に指定された文字列が設定されます。
10	環境変数CBR_ATTACH_TOOLに指定した接続先の指定に誤りがあります。	・ 接続するクライアントのホスト名にスペルミスがないことを確認してください。 ・ 接続するクライアントのホスト名が定義されていることを確認してください。
11		・ ホスト名を解決したIPアドレスの定義に誤りがないことを確認してください。 ・ IPアドレスの指定形式に間違いがないことを確認してください。
12		ポート番号に設定可能範囲外の値が設定されています。1024～65535の範囲で設定してください。
20	クライアントとの接続に失敗しました。	・ 接続先に指定したコンピュータでクライアント側のリモートデバッグコネクタが動作中であることを確認してください。 ・ クライアント側のリモートデバッグコネクタの接続制限で接続が許可されていることを確認してください。
21	NetCOBOLのバージョンが適切ではありません。	クライアントとサーバで、NetCOBOLのバージョンを適切に合わせてください。
30	指定された組み合わせのコード変換をサポートしていません。	\$2に設定されたコード変換を可能にしてください。\$2には環境変数に指定された文字列が設定されます。
31	SJIS範囲外の文字が指定されました。	\$2に設定された文字列以降にシフトJISの範囲外の文字が含まれています。該当する文字をシフトJISの範囲内の文字に変更してください。\$2には環境変数に指定された文字列が設定されます。

3.3.119 JMP0775I-W

リモートデバッグにおいて、クライアントとの接続が切断されました. \$1

システムの処理

環境変数CBR_ATTACH_TOOLが指定されなかったものとみなして、処理を続行します。

プログラマーの処置

\$1に設定された情報を参考にエラーの原因を取り除き、再度実行してください。

\$1に設定される情報の意味と処置を下表に示します。

表3.37 JMP0775I-Wの\$1の内容

\$1	エラーの内容	プログラマーの処置
0	パケットが改竄された可能性があるため、クライアントとの接続を切断しました。	ネットワーク管理者に相談し、セキュアな環境を確立してください。
1	クライアントとの接続が切断されました。	- クライアント側のリモートデバッガコネクタの接続制限により、接続が拒否されていないことを確認してください。 - クライアントのアプリケーションが終了したことにより、接続が切断されました。クライアント側のリモートデバッガコネクタが起動されていることを確認してください。 - ネットワークが使用可能な状態であるかを確認してください。

3.3.120 JMP0776I-W

リモートデバッグにおいて、'\$1'の'\$2'でエラーが発生しました。\$3. \$4

システムの処理

環境変数CBR_ATTACH_TOOLが指定されなかったものとみなして、処理を続行します。

プログラマーの処置

再度実行してください。再度実行しても発生する場合は、技術員(SE)に連絡してください。なお、\$1～\$4には以下の情報が設定されます。

- \$1: モジュール名
- \$2: API名
- \$3: エラーコード(10進表記)
- \$4: エラーコードの説明

3.3.121 JMP0810I-E/U

'\$1'メソッドの\$2指定のパラメタに誤りがあります。\$3 \$4 LINE=\$5

システムの処理

重大度コードがEの場合、パラメタをそのまま使用し、処理を続行します。

重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

メッセージで指摘されたメソッド(\$1)を正しいパラメタで呼び出すように、プログラムを修正し、再度実行してください。なお、\$1～\$5には、以下の情報が設定されます。

- \$1: パラメタに誤りのあるメソッド名
- \$2: パラメタの指定(USINGまたはRETURNING)
- \$3: USING指定のパラメタエラーの詳細
 - 'NUMBER': パラメタの個数に誤りがあります。
 - PARAMETER=n: n番目に指定したパラメタに誤りがあります。
- \$4: 外部プログラム名またはメソッド名
- \$5: ステートメント番号
 - [Solaris][Linux]
(行情報[COPY修飾値-]行番号.行番号内動詞追番)

- [Solaris64][LinuxIPF][Linux64]
(行情報[COPY修飾値-]行番号)

ステートメント番号の詳細については、以下を参照してください。

- [Solaris][Solaris64][LinuxIPF]
“NetCOBOL 使用手引書”の“5.1.1 ステートメント番号”
- [Linux]
“NetCOBOL 使用手引書”の“5.1 デバッグ機能の種類”の“ステートメント番号”
- [Linux64]
“NetCOBOL ユーザーズガイド”の“第18章 テスト支援機能”の“ステートメント番号”

3.3.122 JMP0812I-E/U

CALL文のパラメタが一致していません. '\$1' \$2. LINE=\$3.

システムの処理

重大度コードがEの場合、呼出し規約またはパラメタをそのまま使用し、処理を続行します。

重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

\$1で指摘された内容をもとに、下表に示す処置を施し、再度実行してください。

表3.38 JMP0812I-E/Uの\$1の内容

\$1	処置
USING PARAMETER NUMBER	USING に指定したパラメタの個数を一致させてください。
USING nTH PARAMETER (nTH = 1ST, 2ND, 3RD, 4TH...)	USING に指定した n番目のパラメタの大きさを一致させてください。
RETURNING PARAMETER	RETURNING に指定したパラメタの大きさを一致させてください。

なお、\$2～\$3には以下の情報が設定されます。

- \$2: プログラム名または、クラス名とメソッド名
- \$3: ステートメント番号
 - [Solaris][Linux]
(行情報[COPY修飾値-]行番号.行番号内動詞追番)
 - [Solaris64][LinuxIPF][Linux64]
(行情報[COPY修飾値-]行番号)

ステートメント番号の詳細については、以下を参照してください。

- [Solaris][Solaris64][LinuxIPF]
“NetCOBOL 使用手引書”の“5.1.1 ステートメント番号”
- [Linux]
“NetCOBOL 使用手引書”の“5.1 デバッグ機能の種類”の“ステートメント番号”
- [Linux64]
“NetCOBOL ユーザーズガイド”の“第18章 テスト支援機能”の“ステートメント番号”

3.3.123 JMP0820I-E/U

添字または指標の値が範囲外を指しています. \$1. LINE=\$2. OPD=\$3(\$4)

システムの処理

重大度コードがEの場合、添字または指標の値をそのまま使用し、処理を続行します。

重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

メッセージで指摘された添字または指標に正しい値を設定し、再度実行してください。なお、\$1～\$4には以下の情報が設定されます。

- \$1: 外部プログラム名またはメソッド名
- \$2: ステートメント番号
 - [Solaris][Linux]
(行情報[COPY修飾値-]行番号.行番号内動詞追番)
 - [Solaris64][LinuxIPF][Linux64]
(行情報[COPY修飾値-]行番号)
- \$3: データ名
- \$4: データ名の次元数

ステートメント番号の詳細については、以下を参照してください。

- [Solaris][Solaris64][LinuxIPF]
“NetCOBOL 使用手引書”の“5.1.1 ステートメント番号”
- [Linux]
“NetCOBOL 使用手引書”の“5.1 デバッグ機能の種類”の“ステートメント番号”
- [Linux64]
“NetCOBOL ユーザーズガイド”の“第18章 テスト支援機能”の“ステートメント番号”

3.3.124 JMP0821I-E/U

参照可能範囲外の部分参照を行っています. \$1. LINE=\$2. OPD=\$3.

システムの処理

重大度コードがEの場合、誤ったままの値で部分参照を行い、処理を続行します。

重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

メッセージで指摘されたデータ名の部分参照を、その範囲を超えないようにプログラムを修正し、再度実行してください。なお、\$1～\$3には以下の情報が設定されます。

- \$1: 外部プログラム名またはメソッド名
- \$2: ステートメント番号
 - [Solaris][Linux]
(行情報[COPY修飾値-]行番号.行番号内動詞追番)
 - [Solaris64][LinuxIPF][Linux64]
(行情報[COPY修飾値-]行番号)
- \$3: データ名

ステートメント番号の詳細については、以下を参照してください。

- [Solaris][Solaris64][LinuxIPF]
“NetCOBOL 使用手引書”の“5.1.1 ステートメント番号”
- [Linux]
“NetCOBOL 使用手引書”の“5.1 デバッグ機能の種類”の“ステートメント番号”

- [\[Linux64\]](#)
“NetCOBOL ユーザーズガイド”の“第18章 テスト支援機能”の“ステートメント番号”

3.3.125 JMP0822I-E/U

ODO句の目的語の値が許容範囲を超えています. \$1. LINE=\$2. OPD=\$3. ODO=\$4.

システムの処理

重大度コードがEの場合、OCCURS DEPENDING ON句の目的語の値をそのまま使用し、処理を続行します。

重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

メッセージで指摘されたOCCURS DEPENDING ON句の目的語に正しい値を設定し、再度実行してください。なお、\$1～\$4には以下の情報が設定されます。

- \$1: 外部プログラム名またはメソッド名
- \$2: ステートメント番号
 - [\[Solaris\]](#)[\[Linux\]](#)
(行情報[COPY修飾値-]行番号.行番号内動詞追番)
 - [\[Solaris64\]](#)[\[LinuxIPF\]](#)[\[Linux64\]](#)
(行情報[COPY修飾値-]行番号)
- \$3: データ名
- \$4: ODO句の目的語の名前

ステートメント番号の詳細については、以下を参照してください。

- [\[Solaris\]](#)[\[Solaris64\]](#)[\[LinuxIPF\]](#)
“NetCOBOL 使用手引書”の“5.1.1 ステートメント番号”
- [\[Linux\]](#)
“NetCOBOL 使用手引書”の“5.1 デバッグ機能の種類”の“ステートメント番号”
- [\[Linux64\]](#)
“NetCOBOL ユーザーズガイド”の“第18章 テスト支援機能”の“ステートメント番号”

3.3.126 JMP0828I-E/U

属性と異なる形式のデータが格納されています. \$1. LINE=\$2. OPD=\$3.

システムの処理

重大度コードがEの場合、誤った値をそのまま使用し、処理を続行します。

重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

メッセージで指摘されたデータ名に、定義した属性と等しい形式のデータを格納するようにプログラムを修正し、再度実行してください。なお、\$1～\$3には以下の情報が設定されます。

- \$1: 外部プログラム名またはメソッド名
- \$2: ステートメント番号
 - [\[Solaris\]](#)[\[Linux\]](#)
(行情報[COPY修飾値-]行番号.行番号内動詞追番)
 - [\[Solaris64\]](#)[\[LinuxIPF\]](#)[\[Linux64\]](#)
(行情報[COPY修飾値-]行番号)

- \$3: データ名

ステートメント番号の詳細については、以下を参照してください。

- [\[Solaris\]](#)[\[Solaris64\]](#)[\[LinuxIPF\]](#)
“NetCOBOL 使用手引書”の“5.1.1 ステートメント番号”
- [\[Linux\]](#)
“NetCOBOL 使用手引書”の“5.1 デバッグ機能の種類”の“ステートメント番号”
- [\[Linux64\]](#)
“NetCOBOL ユーザーズガイド”の“第18章 テスト支援機能”の“ステートメント番号”

3.3.127 JMP0829I-E/U

除数にゼロが指定されています. \$1. LINE=\$2. OPD=\$3.

システムの処理

重大度コードがEの場合、除数のゼロをそのまま使用し、処理を続行します。ゼロ除算実行の結果は、システムに依存します。

重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

メッセージで指摘されたオペランドに除数がゼロにならないように値を設定し、再度実行してください。なお、\$1～\$3には以下の情報が設定されます。

- \$1: 外部プログラム名またはメソッド名
- \$2: ステートメント番号
 - [\[Solaris\]](#)[\[Linux\]](#)
(行情報[COPY修飾値-]行番号.行番号内動詞追番)
 - [\[Solaris64\]](#)[\[LinuxIPF\]](#)[\[Linux64\]](#)
(行情報[COPY修飾値-]行番号)
- \$3: データ名
ただし、除数が算術式または関数の値である場合、オペランド名は設定されません。

ステートメント番号の詳細については、以下を参照してください。

- [\[Solaris\]](#)[\[Solaris64\]](#)[\[LinuxIPF\]](#)
“NetCOBOL 使用手引書”の“5.1.1 ステートメント番号”
- [\[Linux\]](#)
“NetCOBOL 使用手引書”の“5.1 デバッグ機能の種類”の“ステートメント番号”
- [\[Linux64\]](#)
“NetCOBOL ユーザーズガイド”の“第18章 テスト支援機能”の“ステートメント番号”

3.3.128 JMP0899I-U

プログラム実行中、論理エラーが発生しました。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

プログラムの誤りによりプログラムまたは動的領域が破壊されている可能性があります。JMP0701I-Uのプログラマーの処置に従って、原因を調査してください。

3.3.129 JMP0901I-E

関数'\$1'の引数の値の絶対値が計算可能範囲を超えています。

システムの処理

復帰値として0を返し、処理を続行します。

プログラマーの処置

引数の値の絶対値が計算可能範囲内におさまるように設定し、再実行してください。なお、\$1にはエラーの発生した関数名(SINまたはCOS)が設定されます。

3.3.130 JMP0902I-E

関数'\$1'の引数の値の絶対値が関数の定義域外です。

システムの処理

復帰値として0を返し、処理を続行します。

プログラマーの処置

引数の値の絶対値が定義域内におさまるように設定し、再実行してください。なお、\$1にはエラーの発生した関数名(ASINまたはACOS)が設定されます。

3.3.131 JMP0903I-E

関数'\$1'の引数の値が関数の定義域外です。

システムの処理

復帰値として0を返し、処理を続行します。

プログラマーの処置

引数の値が定義域内におさまるように設定し、再実行してください。なお、\$1にはエラーの発生した関数名(LOG、LOG10、ANNUITY、FACTORIAL、RANDOM、SORT、TAN)が設定されます。

3.3.132 JMP0904I-E

関数'\$1'の引数の値に誤りがあります。

システムの処理

復帰値として0を返し、処理を続行します。

プログラマーの処置

引数の値を各関数の条件に合うように設定し、再度実行してください。なお、\$1にはエラーの発生した関数名が設定されます。

3.3.133 JMP0905I-E

関数ANNUITYでゼロ除算が発生しました。

システムの処理

復帰値として0を返し、処理を続行します。

プログラマーの処置

ゼロ除算が起こらないように引数の値を設定し、再実行させてください。

3.3.134 JMP0931I-U

オブジェクトの初期化に失敗したため、特殊クラス'\$1'の'\$2'メソッドを実行できません。

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

原因および対処については、“付録B 注意事項”の“COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合”を参照してください。
対処後、再度実行してください。

3.3.135 JMP0932I-E/U

特殊クラス'\$1'の'\$2'メソッドの\$3指定のパラメタに誤りがあります. \$4

システムの処理

重大度コードがEの場合、そのまま処理を続行します。

重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

メッセージで指摘されたメソッド(\$2)のパラメタを特殊クラスで使用可能な属性で、呼び出すメソッドのインタフェースに適合するように、プログラムを修正し、再度実行してください。なお、\$1～\$4には以下の情報が設定されます。

- ・ \$1: 特殊クラス名
- ・ \$2: パラメタに誤りのあるメソッド名
- ・ \$3: パラメタの指定(USINGまたはRETURNING)
- ・ \$4: USING指定のパラメタエラーの詳細
 - 'NUMBER': パラメタの個数に誤りがあります。
 - PARAMETER=n: n番目に指定したパラメタに誤りがあります。

3.3.136 JMP0933I-E/U

特殊クラス'\$1'の'\$2'メソッドの\$3指定のパラメタの属性変換に失敗しました. \$4

システムの処理

重大度コードがEの場合、そのまま処理を続行します。

重大度コードがUの場合、プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

特殊クラスのメソッド(\$2)のパラメタの属性に対応したパラメタを指定するように、プログラムを修正し、再度実行してください。なお、\$1～\$4には以下の情報が設定されます。

- ・ \$1: 特殊クラス名
- ・ \$2: パラメタの属性に誤りのあるメソッド名
- ・ \$3: パラメタの指定(USINGまたはRETURNING)
- ・ \$4: USING指定のパラメタエラーの詳細
 - PARAMETER=n: n番目に指定したパラメタの属性に誤りがあります。

3.3.137 JMP0935I-U

特殊クラス'\$1'のオブジェクトに登録するデータ項目数が最大登録データ項目数を超えています.

システムの処理

プログラムを異常終了させます。

プログラマーの処置

登録データ項目数が最大登録データ項目数を超えないようにプログラムを修正し、再度実行してください。

- ・ 特殊クラス(\$1)のオブジェクト作成時に指定する最大登録データ項目数を、登録するデータ項目数に合わせて大きくする。
- ・ 特殊クラス(\$1)のオブジェクトに登録するデータ項目数を減らす。

第4章 MeFtのメッセージ

MeFtは、以下の製品に含まれています。

- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ
- NetCOBOL Standard Edition 運用パッケージ

本章は、MeFt(Message editing Facile tool) が帳票の出力時に通知するエラーメッセージと、その対処方法について説明します。

Linux版の場合、エラーメッセージはシステムログで通知します。

エラーメッセージの通知例を以下に示します。

【システムログ】

```
May 21 09:14:15 hostname sampletp: MeFt: ERROR: WRITE error. ERROR CODE:42-12a0-00000000-00000002 , SUPPLEMENT:
123,PMD0001.PMD, Bitmap0001, No such file or directory, /media/BMP01.bmp
```

4.1 エラーメッセージの出力形式

エラーメッセージの出力形式を説明します。

システムログの出力形式

システムログの出力形式を以下に示します。(△は半角空白です)

日時△ホスト名△プロセス名:△ソース名:△種類:△説明

- “日時”、“ホスト名”、“プロセス名”は、動作OSより取得した情報を出力します。
- “ソース名”は「MeFt」を出力します。
- “種類”は「ERROR」または「WARNING」を出力します。
- “説明”は以下の形式で出力します。

“種類”が「WARNING」の場合

“4.2 「WARNING」の場合のメッセージ”を出力します。

“種類”が「ERROR」の場合

エラー情報△エラー詳細情報 , エラー補足情報

- ー “エラー情報”には、エラー検出時の処理種別を出力します。

OPEN error: MeFtのOPEN処理でエラーを検出した場合に出力します。

WRITE error: MeFtのWRITE処理でエラーを検出した場合に出力します。

CLOSE error: MeFtのCLOSE処理でエラーを検出した場合に出力します。

CANCEL error: MeFtのCANCEL処理でエラーを検出した場合に出力します。

- ー “エラー詳細情報”には、エラー検出時の詳細情報を出力します。

ERROR CODE: aa[処理結果]-xxxx[検出情報]-yyyyyyyy[システムエラーコード]-zzzzzzzz[ツールエラーコード]

aa : 処理結果通知コードを2桁の英数字文字列で出力します。

xxxx : エラー検出情報を4桁の16進数で出力します。

yyyyyyyy: システム関数呼出しで異常が発生した場合の要因を出力します。

zzzzzzzz: 連携製品のAPI呼出しで異常が発生した場合の要因、または内部コードを出力します。

- ー “エラー補足情報”(SUPPLEMENT)には、エラー検出時の補足情報を出力します。ただし補足情報がない場合は出力されません。

SUPPLEMENT : dddd[ページ数], 帳票定義体名, パーティション名, 項目名, システムエラーコード説明, ファイルパス情報

“システムエラーコード説明”には、システムエラーが発生した場合のシステムエラーコードの説明文を出力します。

“ファイルパス情報”には、帳票定義体、オーバレイ定義体、および組込みメディアの各ファイルのアクセス処理でエラーを検出した場合、参照した各ファイルのパス情報を出力します。

4.2 「WARNING」の場合のメッセージ

It failed in making the MEFTPLOG folder for the log collection.

説明

トレースログ採取時にMEFTPLOGディレクトリの作成に失敗した場合に出力します。

It failed in making the YYYYMMDDHEDxxx folder for the log collection.

説明

トレースログ採取時に出力年月日ディレクトリの作成に失敗した場合に出力します。

It failed in the opening of the log file.

説明

トレースログ採取時にログファイルのオープンに失敗した場合に出力します。

It failed in the write of the log file

説明

トレースログ採取時にログファイルへの書き込みに失敗した場合に出力します。

It failed in the close of the log file.

説明

トレースログ採取時にログファイルのクローズに失敗した場合に出力します。

The log file exceeded the upper bound value of one job.

説明

トレースログ採取時に1ジョブで採取するログサイズの最大サイズを超えた場合に出力します。

4.3 「ERROR」の場合のメッセージ

ここでは、種類が「ERROR」の場合に出力されるエラー詳細情報と、その対処方法を説明します。

エラー詳細情報のうち、「aa(通知コード)-xxxx(エラー検出情報)」の値をもとに、エラーの説明と対処方法を説明します。

なお、通知コード毎に分類しています。また、「システム関数でエラーを検出した場合のエラーコード」、および「連携製品から通知されたエラーコード」については、ここでは省略しています。

03-3030	03-3031	03-3032	03-3033	03-3034	03-3035	08-3050	09-04b1	09-04b2	09-05c3
09-05c4	09-05c4	09-05c5	09-05c6	09-05c7	09-05c8	09-45b0	09-45b1	09-45b2	09-45b3
09-45b4	09-45b5	09-45b6	09-45b7	09-45b8	09-45b9	09-45ba	09-45bb	09-45bc	09-45bd
09-45be	09-45bf	09-45d0	09-45d1	09-45d2	09-45d3	09-45d4	09-45e0	09-45e1	09-45e2
09-45e3	09-45e4	09-45e5	09-45e6	09-45e7	09-45e8	09-45e9	09-45ea	09-45eb	09-45ec
10-0011	10-041f	10-0510	10-3010	10-3e10	10-3e11	10-3e12	10-4510	10-4511	10-4512

18-0010	18-04b0	18-0eb0	18-0eb1	18-0ef0	18-0ef1	18-0ef2	18-0ef3	18-0ef4	18-45d1
18-45d2	18-4e10	18-4e20	18-4ec0	18-4ef0	18-4ef1	18-4ef2	20-04b0	20-41b0	20-45d0
21-0010	21-0011	21-0012	21-0013	21-0014	21-0015	21-0016	21-0017	21-0211	21-02b7
21-0410	21-04a0	21-04b0	21-05d1	21-05d2	21-0e10	21-0e11	21-0eb0	21-0eb1	21-0eb2
21-0ed0	21-0ef0	21-0ef1	21-0ef2	21-0ef3	21-0ef4	21-0ef5	21-0ef6	21-0ef7	21-0ef8
21-4510	21-45b0	21-45c0	21-45d0	21-45d1	21-4e10	21-4e11	21-4e20	21-4ec0	21-4ee0
21-4ef0	21-4ef1	21-4ef2	22-3050	22-3090	23-0050	24-05d3	24-2040	24-3092	24-3093
24-3094	25-3040	25-3041	26-3040	26-3041	26-3042	26-3043	26-3044	26-3045	26-3047
26-3090	26-3091	26-3092	26-3093	32-05b0	32-3050	32-3051	32-3052	32-3053	32-3090
38-3050	40-4520	40-4521	40-4522	40-4523	40-4525	42-04b0	42-35d0	42-35d1	42-3ed2
42-45d5	42-45d7	42-45e0	42-45e1	42-4ee0	44-05d0	47-04b0	47-04f0	47-04f1	47-05f0
47-0ef1	47-0ef3	47-0ef4	61-00b0	62-00b0	65-00b0	6A-3060	6B-30b0	6C-30b0	79-3090
84-3090	85-3090	86-00b1	91-05b0	91-0ef0	91-0ef2	91-0ef3	92-1000	99-05d0	99-45b0
							～		
							92-1bbb		
99-45b1	99-45d0	9H-0090	9H-0e10	9H-0e11	9H-0e12	9H-0e13	9I-3010	9K-0ef0	9M-0eb0
9M-0eb1	9M-0ef0	9M-0ef1	9M-3ef0	9M-3ef1	9M-3ef2	9M-3ef3	9M-3ef4	9M-3ef5	9M-4e10
9M-4e20	9M-4ec0	9M-4ee0	C3-0410	C3-3410	C4-3010	C4-3011	GG-0e10	GG-0e11	GG-0e12
GG-0e13	GG-0e14	GG-0e15	GG-0e16	GG-0e17	GG-0e18	GG-41b0	GG-45d0	GG-4e10	

4.3.1 通知コード(03)で出力される詳細情報

“03-3030” ～ “03-3035”

意味

指定された表示ファイル識別子が正しくないため、処理を中止しました。

ユーザの対処

オープン処理で獲得した表示ファイル識別子を使用してください。

4.3.2 通知コード(08)で出力される詳細情報

“08-3050”

意味

指定した定義体のレコード長が利用者プログラムのレコード領域長より大きいため、処理を中止しました。

ユーザの対処

以下の対処をしてください。

- ・ 利用者プログラムのレコード領域長を大きくしてください。
- ・ 使用する定義体のレコードをCOPY展開して、利用者プログラムを再作成(ビルド)してください。

4.3.3 通知コード(09)で出力される詳細情報

“09-04b1”, “09-04b2”

意味

印刷時の罫線、網掛け処理で内部エラーを検出しました。

ユーザの対処

当メッセージと操作内容を記録し、当社技術員に連絡してください。

“09-05c3” ～ “09-05c8”

意味

印刷時の文字処理で内部エラーを検出しました。

ユーザの対処

当メッセージと操作内容を記録し、当社技術員に連絡してください。

“09-45b0”, “09-45b1”

意味

印刷開始処理でシステムエラーを検出しました。

ユーザの対処

当メッセージと操作内容を記録し、当社技術員に連絡してください。

“09-45b2” ～ “09-45be”

意味

印刷時の描画処理で内部エラーを検出しました。

ユーザの対処

当メッセージと操作内容を記録し、当社技術員に連絡してください。

“09-45bf”

意味

印刷時のバーコード処理で内部エラーを検出しました。

ユーザの対処

当メッセージと操作内容を記録し、当社技術員に連絡してください。

“09-45d0” ～ “09-45d4”, “09-45e0” ～ “09-45ec”

意味

印刷時の組込みメディア処理で内部エラーを検出しました。

ユーザの対処

当メッセージと操作内容を記録し、当社技術員に連絡してください。

4.3.4 通知コード(10)で出力される詳細情報

“10-0011”

意味

MeFtのオープン処理で、同一プロセスで同時にオープンできる最大数(1024)を超えました。

ユーザの対処

実行中の帳票出力を終了し、ほかにもオープンしているものをクローズするなどしてオープンの数を減らして、再度出力を実行してください。

“10-041f”, “10-0510”

意味

印刷時の一時ファイル作成処理でエラーが発生しました。

ユーザの対処

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“10-3010”

意味

指定された表示ファイル識別子が正しくないため、処理を中止しました。

ユーザの対処

オープン処理で獲得した表示ファイル識別子を使用してください。

“10-3e10”

意味

PDF出力時に文書情報ファイルの指定がありません。

ユーザの対処

プリンタ情報ファイルのSTREAMENV(管理情報ファイル名指定)に文書情報ファイルを指定してください。

“10-3e11”

意味

PDF出力時にPDFファイル名の指定がありません。

ユーザの対処

プリンタ情報ファイルのSTREAMFILE(ストリーム出力ファイル名指定)にPDFファイル名を指定してください。

“10-3e12”

意味

PDF出力時にPDF変換機能の初期化処理からエラーが通知されました。

ユーザの対処

ツールエラーコードにPDF変換処理から通知されたエラーコードが出力されます。PDF変換機能のログ情報からエラー詳細を確認してください。

“10-4510” ~ “10-4512”

意味

印刷処理開始時に内部エラーを検出しました。

ユーザの対処

当メッセージと操作内容を記録し、当社技術員に連絡してください。

4.3.5 通知コード(18)で出力される詳細情報

“18-0010”

意味

プリンタ情報確認ファイルの作成処理でファイルアクセスエラーが発生しました。

ユーザの対処

以下の対処をしてください。

- ・ 環境変数MEFTTMP、またはTMPDIRで指定されているパスが存在するか確認してください。また、パスのアクセス権を確認し、必要なアクセス権を設定してください。
- ・ 環境変数MEFTTMP、またはTMPDIRで指定されているディスク空き容量を確認し、ファイルサイズ分の容量を確保してください。

“18-04b0”

意味

印刷時のデータ出力中にシステムエラーを検出しました。

ユーザの対処

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“18-0eb0”, “18-0eb1”, “18-0ef0” ~ “18-0ef4”

意味

PDF出力時にPDF変換機能からファイルアクセスエラーが通知されました。

ユーザの対処

ツールエラーコードにPDF変換機能から通知されたエラーコードが出力されます。PDF変換機能のログ情報からエラー詳細を確認してください。

“18-45d1”

意味

メディア出力時にアクセスエラーが発生しました。

ユーザの対処

指定したメディアデータのアクセス権または指定したメディアデータが存在するか確認してください。

“18-45d2”

意味

メディア出力時に一時ファイルの作成処理でシステム関数からエラーが通知されました。

ユーザの対処

当メッセージと操作内容を記録し、当社技術員に連絡してください。

“18-4e10”, “18-4e20”, “18-4ec0”, “18-4ef0” ~ “18-4ef2”

意味

PDF出力時にPDF変換機能からファイルアクセスエラーが通知されました。

ユーザの対処

ツールエラーコードにPDF変換機能から通知されたエラーコードが出力されます。PDF変換機能のログ情報からエラー詳細を確認してください。

4.3.6 通知コード(20)で出力される詳細情報

“20-04b0”

意味

印刷処理中にディスク容量不足エラーが発生しました。

ユーザの対処

不要なファイル等を削除するなどして、システムのテンポラリ領域のディスク空き容量や環境変数MEFTTMPで指定しているディスク空き容量を増やしてください。

“20-41b0”

意味

メディア出力時に一時ファイルの作成でディスク容量不足が発生しました。

ユーザの対処

不要なファイル等を削除するなどして、システムのテンポラリ領域のディスク空き容量や環境変数MEFTTMPで指定しているディスク空き容量を増やした後、再度出力してください。

“20-45d0”

意味

印刷処理中にディスク容量不足エラーが発生しました。

ユーザの対処

不要なファイル等を削除するなどして、システムのテンポラリ領域のディスク空き容量や環境変数MEFTTMPで指定しているディスク空き容量を増やしてください。

4.3.7 通知コード(21)で出力される詳細情報

“21-0010” ~ “21-0015”

意味

メモリ不足のため、作業領域の獲得に失敗しました。

ユーザの対処

不要なアプリケーションを終了させる、仮想メモリを増やす、またはメモリを増設して、再度実行してください。

“21-0016”, “21-0017”

意味

初期化処理中にシステム関数からエラーが通知されました。

ユーザの対処

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“21-0211”

意味

メモリ不足のため、作業領域の獲得に失敗しました。

ユーザの対処

不要なアプリケーションを終了させる、仮想メモリを増やす、またはメモリを増設して、再度実行してください。

“21-02b7”

意味

バーコード出力時にメモリ不足のため、作業領域の獲得に失敗しました。

ユーザの対処

不要なアプリケーションを終了させる、仮想メモリを増やす、またはメモリを増設して、再度実行してください。

“21-0410”、“21-04a0”、“21-04b0”、“21-05d1”、“21-05d2”

意味

メモリ不足のため作業領域の獲得に失敗しました。

ユーザの対処

不要なアプリケーションを終了させる、仮想メモリを増やす、またはメモリを増設して、再度実行してください。

“21-0e10”、“21-0e11”

意味

PDF出力時にメモリ不足のため作業領域の獲得に失敗しました。

ユーザの対処

不要なアプリケーションを終了させる、仮想メモリを増やす、またはメモリを増設して、再度実行してください。

“21-0eb0” ～ “21-0eb2”

意味

PDF出力時にPDF変換機能からメモリ不足が通知されました。

ユーザの対処

以下の対処をしてください。

- ・ 不要なアプリケーションを終了させる、仮想メモリを増やす、またはメモリを増設して、再度実行してください。
- ・ ツールエラーコードにPDF変換機能から通知されたエラーコードが出力されます。PDF変換機能のログ情報も確認してください。

“21-0ed0”

意味

PDF出力時にメモリ不足のため作業領域の獲得に失敗しました。

ユーザの対処

不要なアプリケーションを終了させる、仮想メモリを増やす、またはメモリを増設して、再度実行してください。

“21-0ef0”、“21-0ef1”

意味

PDF出力時にPDF変換機能からメモリ不足が通知されました。

ユーザの対処

以下の対処をしてください。

- ・ 不要なアプリケーションを終了させる、仮想メモリを増やす、またはメモリを増設して、再度実行してください。
- ・ ツールエラーコードにPDF変換機能から通知されたエラーコードが出力されます。PDF変換機能のログ情報も確認してください。

“21-0ef2”、“21-0ef3”

意味

PDF出力時にメモリ不足のため作業領域の獲得に失敗しました。

ユーザの対処

不要なアプリケーションを終了させる、仮想メモリを増やす、またはメモリを増設して、再度実行してください。

“21-0ef4”～“21-0ef8”

意味

PDF出力時(バーコード)に、PDF変換機能からメモリ不足が通知されました。

ユーザの対処

以下の対処をしてください。

- ・ 不要なアプリケーションを終了させる、仮想メモリを増やす、またはメモリを増設して、再度実行してください。
- ・ ツールエラーコードにPDF変換機能から通知されたエラーコードが出力されます。PDF変換機能のログ情報も確認してください。

“21-4510”, “21-45b0”, “21-45c0”, “21-45d0”

意味

印刷処理中にシステムエラーを検出しました。

ユーザの対処

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されている場合があります。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“21-45d1”

意味

出力処理中にメモリ不足が発生しました。

ユーザの対処

不要なアプリケーションを終了させる、仮想メモリを増やす、またはメモリを増設して、再度実行してください。

“21-4e10”, “21-4e11”, “21-4e20”, “21-4ec0”, “21-4ee0”, “21-4ef0”～“21-4ef2”

意味

PDF出力時にPDF変換機能からメモリ不足が通知されました。

ユーザの対処

以下の対処をしてください。

- ・ 不要なアプリケーションを終了させる、仮想メモリを増やす、またはメモリを増設して、再度実行してください。
- ・ ツールエラーコードにPDF変換機能から通知されたエラーコードが出力されます。PDF変換機能のログ情報も確認してください。

4.3.8 通知コード(22)で出力される詳細情報

“22-3050”

意味

定義体読み込み処理でエラーを検出しました。

ユーザの対処

以下の対処をしてください。

- ・ 指定した定義名に誤りがないか確認してください。
- ・ プリント情報ファイルのMEDDIR(定義体格納ディレクトリ)で指定したディレクトリが正しいか確認してください。

“22-3090”

意味

プリンタ装置の制御の下端情報設定で、定義体名が省略されました。

ユーザの対処

定義体名を指定しているか確認してください。

4.3.9 通知コード(23)で出力される詳細情報

“23-0050”

意味

定義体読み込み処理でメモリ不足が発生しました。

ユーザの対処

不要なアプリケーションを終了させる、仮想メモリを増やす、またはメモリを増設して、再度実行してください。

4.3.10 通知コード(24)で出力される詳細情報

“24-05d3”

意味

メディア出力時に、未サポートのメディア形式またはメディア属性が指定されました。

ユーザの対処

サポートしているメディア形式またはメディア属性を指定してください。

“24-2040”

意味

- ・ 指定した項目名または項目群名が見つかりませんでした。
- ・ 全項目指定での出力で"@ALLF"が指定されていませんでした。

ユーザの対処

以下の対処をしてください。

- ・ 定義体で項目名、項目群名を確認してください。
- ・ 全項目指定では"@ALLF"を指定してください。

“24-3092”

意味

プリンタ装置の制御の下端情報設定処理で指定されたパーティション項目群名が定義体から見つかりませんでした。

ユーザの対処

指定パーティション項目群を定義体に定義しているか確認してください。

“24-3093”

意味

プリンタ装置の制御の下端情報設定処理で下端パーティションに浮動パーティションが指定されました。

ユーザの対処

下端パーティションには固定パーティションを指定してください。

“24-3094”

意味

フリーフレーム形式の帳票定義体を使用時に下端パーティションと指定パーティションのフレームが一致していません。

ユーザの対処

同一フレームのパーティションを指定してください。

4.3.11 通知コード(25)で出力される詳細情報

“25-3040”, “25-3041”

意味

利用者プログラムで指定する引数に誤りがあります。

定数ラベル以外を指定した、またはPROCESSING MODE句に指定した値が正しくありません。

ユーザの対処

引数には定数ラベルを使用、またはPROCESSING MODE句の指定値を見直してください。

4.3.12 通知コード(26)で出力される詳細情報

“26-3040”

意味

利用者プログラムで指定する引数に誤りがあります。

定数ラベル以外を指定した、またはUNIT CONTROL句に指定した値が正しくありません。

ユーザの対処

引数には定数ラベルを使用、またはUNIT CONTROL句の指定値を見直してください。

“26-3041”

意味

行移動出力時に行数に数字以外が指定されました。

ユーザの対処

行数には数字を指定してください。

“26-3042”

意味

行移動出力時の移動方向に指定した値が正しくありません。

ユーザの対処

移動方向には定数ラベルを使用、またはUNIT CONTROL句の指定値を見直してください。

“26-3043”

意味

パーティション出力時の絶対行位置印刷時に絶対行位置に”0”が指定されました。

ユーザの対処

絶対行位置には”1”からのページ内行位置を指定してください。

“26-3044”, “26-3045”

意味

利用者プログラムで指定する引数に誤りがあります。

定数ラベル以外を指定した、またはUNIT CONTROL句に指定した値が正しくありません。

ユーザの対処

引数には定数ラベルを使用、またはUNIT CONTROL句の指定値を見直してください。

“26-3047”

意味

利用者プログラムで指定する引数に誤りがあります。

行数または改行数に指定した値、またはUNIT CONTROL句に指定した値が正しくありません。

ユーザの対処

行数または改行数に指定した値、またはUNIT CONTROL句の指定値を見直してください。

“26-3090”

意味

プリンタ装置の制御の下端情報設定処理でUNIT CONTROL句に指定した値が正しくありません。

ユーザの対処

UNIT CONTROL句の指定値を見直してください。

“26-3091”

意味

プリンタ装置の制御の下端情報設定処理でフリーフレーム形式の横方向のフレームに定義されたパーティションが指定されました。

ユーザの対処

横方向のフレームに定義されたパーティションを指定しないでください。

“26-3092”

意味

プリンタ装置の制御の下端情報設定処理で下端値に数字以外が指定されました。

ユーザの対処

下端値には数字を指定してください。

“26-3093”

意味

プリンタ装置の制御の下端情報設定処理で、下端値に帳票定義体またはフレームのサイズを超える値が指定されました。

ユーザの対処

下端値には帳票定義体またはフレームを超えない値を指定してください。

4.3.13 通知コード(32)で出力される詳細情報

“32-05b0”

意味

オーバーレイの読み込み時にエラーが発生しました。未サポートの形式のオーバーレイが指定されている可能性があります。

ユーザの対処

以下の対処をしてください。

- ・使用するオーバーレイの形式を確認してください。

“32-3050” ～ “32-3052”

意味

定義体の読み込み時にエラーが発生しました。定義体が未完成、壊れている、または未サポート機能が定義されている可能性があります。

ユーザの対処

以下の対処をしてください。

- ・ 定義体作成時のエラーを取り除いてください。
- ・ 定義体が壊れていないか確認してください。
- ・ 未サポートの機能が定義されていないか確認してください。
- ・ UTF-32用でない利用者プログラムで、UTF-32用の定義体を使用していないか確認してください。

“32-3053”

意味

日本語項目にUTF-32が指定された利用者プログラムで、UTF-32用でない定義体を使用されました。

ユーザの対処

UTF-32用の定義体を使用してください。

“32-3090”

意味

プリンタ装置の制御の下端情報設定処理でパーティション形式、およびフリーフレーム形式以外の帳票定義体が指定されました。

ユーザの対処

パーティション形式またはフリーフレーム形式の帳票定義体を指定してください。

4.3.14 通知コード(38)で出力される詳細情報

“38-3050”

意味

定義体の読み込み時にエラーが発生しました。画面定義体が指定されました。

ユーザの対処

帳票定義体を指定してください。

4.3.15 通知コード(40)で出力される詳細情報

“40-4520”, “40-4521”

意味

クローズ処理でエラーを検出しました。

ユーザの対処

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

“40-4522”

意味

lp起動処理でエラーが発生しました。

ユーザの対処

不要なアプリケーションを終了して、再度実行してください。

“40-4523”, “40-4525”

意味

クローズ処理でエラーを検出しました。

ユーザの対処

システムエラーコードにシステム関数から通知されたエラーコードが出力されます。エラー説明文に該当する要因がないか確認してください。

4.3.16 通知コード(42)で出力される詳細情報

“42-04b0”

意味

印刷データ出力時にファイルアクセスエラーを検出しました。

ユーザの対処

当メッセージと操作内容を記録し、当社技術員に連絡してください。

“42-35d0”, “42-35d1”

意味

組込みメディア出力時に指定されたメディアファイルが見つかりませんでした。

ユーザの対処

組込みメディアファイルを指定したディレクトリに格納してください。

“42-3ed2”

意味

PDF出力時に組込みメディア形式に未サポートの形式が指定されました。

ユーザの対処

指定したメディアの形式を確認してください。

“42-45d5”, “42-45d7”, “42-45e0”, “42-45e1”

意味

メディア出力時に内部エラーを検出しました。

ユーザの対処

当メッセージと操作内容を記録し、当社技術員に連絡してください。

“42-4ee0”

意味

PDF出力時(組込みメディア)にPDF変換機能でファイルアクセスエラーが発生しました。

ユーザの対処

ツールエラーコードにPDF変換機能から通知されたエラーコードが出力されます。PDF変換機能のログ情報からエラー詳細を確認してください。

4.3.17 通知コード(44)で出力される詳細情報

“44-05d0”

意味

メディア出力時に内部エラーを検出しました。

ユーザの対処

当メッセージと操作内容を記録し、当社技術員に連絡してください。

4.3.18 通知コード(47)で出力される詳細情報

“47-04b0”

意味

バーコード出力(カスタムバーコード)時に扱えないデータが指定されました。

ユーザの対処

指定したバーコードデータを確認してください。

“47-04f0”

意味

未サポートのバーコード種別が指定されました。

ユーザの対処

指定したバーコード種別を確認してください。

“47-04f1”

意味

バーコード出力時に基本モジュール幅指定が指定されました。

ユーザの対処

基本モジュール幅指定でのバーコード出力はできません。範囲指定で出力してください。

“47-05f0”

意味

バーコード出力時に内部エラーを検出しました。

ユーザの対処

当メッセージと操作内容を記録し、当社技術員に連絡してください。

“47-0ef1”, “47-0ef3”, “47-0ef4”

意味

PDF出力時にPDF変換機能からバーコード出力エラーが通知されました。

ユーザの対処

以下の対処をしてください。

- ・ 指定したバーコードデータを確認してください。
- ・ PDF変換機能のログ情報からエラーの詳細を確認してください。

4.3.19 通知コード(61)で出力される詳細情報

“61-00b0”

意味

行移動出力時に負の方向移動で用紙の上端を超える移動量が指定されました。

ユーザの対処

印刷可能な範囲(用紙の上端)を超えないように移動量を指定してください。

4.3.20 通知コード(62)で出力される詳細情報

“62-00b0”

意味

パーティション出力時に定義体の縦サイズを超えました。

ユーザの対処

指定されたパーティションを出力しても定義体の縦サイズを超えないよう、定義体、利用者プログラムを見直してください。

4.3.21 通知コード(65)で出力される詳細情報

“65-00b0”

意味

段組みパーティション形式の定義体でパーティション出力時に定義体サイズを超えました。

ユーザの対処

改ブロックを行うなど、定義体サイズを超えないようにパーティション出力を行ってください。

4.3.22 通知コード(6A)で出力される詳細情報

“6A-3060”

意味

- ・ 段組みパーティション形式、またはフリーフレーム形式の定義体を出力中に行レコード出力が指定されました。
- ・ フリーフレーム形式の定義体を使用して、FORMAT句付き印刷ファイルで改ページ、または改フレームが行われました。

ユーザの対処

以下の対処をしてください。

- ・ 行レコード出力は指定しないでください。
- ・ 表示ファイルで出力するか、またはフリーフレーム形式以外の定義体を使用してください。

4.3.23 通知コード(6B)で出力される詳細情報

“6B-30b0”

意味

フリーフレーム形式の定義体を出力中に、指定したパーティションが最終フレームを超えました。

ユーザの対処

改フレームまたは改ページを行い、最終フレームを超えないようにしてください。

4.3.24 通知コード(6C)で出力される詳細情報

“6C-30b0”

意味

フリーフレーム形式の定義体を出力中に指定したパーティションがフレームまたは下端位置を超えました。

ユーザの対処

フレームまたは下端位置を超えないようにしてください。

4.3.25 通知コード(79)で出力される詳細情報

“79-3090”

意味

単票モード時に前位置の項目の出力が指定されました。

ユーザの対処

連帳モードで出力してください。

4.3.26 通知コード(84)で出力される詳細情報

“84-3090”

意味

パーティション形式の定義体で出力時の項目名が指定されました。

ユーザの対処

項目群名を指定して出力してください。

4.3.27 通知コード(85)で出力される詳細情報

“85-3090”

意味

パーティション形式の定義体で行移動出力が指定、またはパーティション形式以外の定義体でパーティション出力が指定されました。

ユーザの対処

以下の対処をしてください。

- ・パーティション形式の定義体では行移動出力は指定しないでください。
- ・パーティション形式以外の定義体ではパーティション出力は指定しないでください。

4.3.28 通知コード(86)で出力される詳細情報

“86-00b1”

意味

文字出力処理中にメモリ不足が発生しました。

ユーザの対処

不要なアプリケーションを終了させる、仮想メモリを増やす、またはメモリを増設して、再度実行してください。

4.3.29 通知コード(91)で出力される詳細情報

“91-05b0”

意味

オーバーレイ出力時に指定されたオーバーレイが見つかりませんでした。

ユーザの対処

プリンタ情報ファイルのOVLDIR(オーバーレイパターン格納ディレクトリ名)で指定したディレクトリにオーバーレイパターンファイルが存在するか確認してください。

“91-0ef0”

意味

PDF出力時に指定されたオーバーレイが見つかりませんでした。

ユーザの対処

プリンタ情報ファイルのOVLDIR(オーバーレイパターン格納ディレクトリ名)に指定したディレクトリにオーバーレイパターンファイルが存在するか確認してください。

“91-0ef2”, “91-0ef3”

意味

PDF出力時(オーバーレイ)にPDF変換機能からエラーが通知されました。

ユーザの対処

ツールエラーコードにPDF変換機能から通知されたエラーコードが出力されます。PDF変換機能のログ情報からエラー詳細を確認してください。

4.3.30 通知コード(92)で出力される詳細情報

“92-1000” ~ “92-1bbb”

意味

印刷キャンセルが行われました、または印刷キャンセルの後、クローズ以外を実行しました。

ユーザの対処

クローズ処理を行ってください。

4.3.31 通知コード(99)で出力される詳細情報

“99-05d0”, “99-45b0”, “99-45b1”

意味

印刷制御処理部のローディングに失敗しました。

ユーザの対処

MeFt が正しくインストールされているか確認してください。

“99-45d0”

意味

印刷制御処理の初期化に失敗しました。

ユーザの対処

MeFt が正しくインストールされているか確認してください。

4.3.32 通知コード(9H)で出力される詳細情報

“9H-0090”

意味

PDF出力時にPDF変換機能のローディングに失敗しました。

ユーザの対処

List Creator(PDF変換機能)が正しくインストールされているか確認してください。

“9H-0e10” ~ “9H-0e13”

意味

PDF出力時にPDF変換機能のローディングに失敗しました。

ユーザの対処

List Creator(PDF変換機能)が正しくインストールされているか確認してください。

4.3.33 通知コード(9I)で出力される詳細情報

“9I-3010”

意味

プリンタ情報ファイルのSTREAM(ストリーム種別指定)に“PDF”以外の値が指定されました。

ユーザの対処

ストリーム種別指定を見直してください。

4.3.34 通知コード(9K)で出力される詳細情報

“9K-0ef0”

意味

バーコード出力時にプリンタ情報ファイルのBARNWRATIO(細太エレメント比指定)に不当な値が指定されました。

ユーザの対処

プリンタ情報ファイルのBARNWRATIO(細太エレメント比指定)に指定した値を見直してください。

4.3.35 通知コード(9M)で出力される詳細情報

“9M-0eb0”, “9M-0eb1”

意味

PDF出力時にPDF変換機能からファイルアクセスエラーが通知されました。

ユーザの対処

ツールエラーコードにPDF変換機能から通知されたエラーコードが出力されます。PDF変換機能のログ情報からエラー詳細を確認してください。

“9M-0ef0”, “9M-0ef1”

意味

PDF出力時(バーコード)にPDF変換機能からエラーが通知されました。

ユーザの対処

ツールエラーコードにPDF変換処理から通知されたエラーコードが出力されます。PDF変換機能のログ情報からエラー詳細を確認してください。

“9M-3ef0” ~ “9M-3ef5”

意味

PDF出力時(バーコード)にPDF変換機能からエラーが通知されました。

ユーザの対処

ツールエラーコードにPDF変換処理から通知されたエラーコードが出力されます。PDF変換機能のログ情報からエラー詳細を確認してください。

“9M-4e10”

意味

PDF出力時にPDF変換機能の初期化处理からエラーが通知されました。

ユーザの対処

ツールエラーコードにPDF変換処理から通知されたエラーコードが出力されます。PDF変換機能のログ情報からエラー詳細を確認してください。

“9M-4e20”

意味

PDF出力時のPDF変換機能の終了処理からエラーが通知されました。

ユーザの対処

ツールエラーコードにPDF変換機能から通知されたエラーコードが出力されます。PDF変換機能のログ情報からエラー詳細を確認してください。

“9M-4ec0”

意味

PDF出力時にPDF変換機能からファイルアクセスエラーが通知されました。

ユーザの対処

ツールエラーコードにPDF変換機能から通知されたエラーコードが出力されます。PDF変換機能のログ情報からエラー詳細を確認してください。

“9M-4ee0”

意味

PDF出力時(メディア)にPDF変換機能からエラーが通知されました。

ユーザの対処

ツールエラーコードにPDF変換処理から通知されたエラーコードが出力されます。PDF変換機能のログ情報からエラー詳細を確認してください。

4.3.36 通知コード(C3)で出力される詳細情報

“C3-0410”, “C3-3410”

意味

プリンタ情報ファイルの読込に失敗しました。

ユーザの対処

環境変数MEFTDIRに指定されたディレクトリまたはカレントディレクトリにプリンタ情報ファイルが存在するか確認してください。

4.3.37 通知コード(C4)で出力される詳細情報

“C4-3010”, “C4-3011”

意味

プリンタ情報ファイルのPRTDEV(プリンタ機種)に不当なプリンタ機種名を指定しました。

ユーザの対処

プリンタ情報ファイルのPRTDEV(プリンタ機種)に指定したプリンタ機種名が正しいか確認してください。

4.3.38 通知コード(GG)で出力される詳細情報

“GG-0e10” ~ “GG-0e18”

意味

PDF出力時にコード変換処理のローディングに失敗しました。

ユーザの対処

MeFtが正しくインストールされているか、またはCharset Managerが正しくインストールされているか確認してください。

“GG-41b0”, “GG-45d0”

意味

標準コード変換モジュールのローディングに失敗しました。

ユーザの対処

MeFtが正しくインストールされているか、またはCharset Managerが正しくインストールされているか確認してください。

“GG-4e10”

意味

PDF出力時にコード変換処理のオープンでエラーが発生しました。

ユーザの対処

MeFtが正しくインストールされているか、またはCharset Managerが正しくインストールされているか確認してください。

4.3.39 その他の通知コード

意味

内部矛盾が発生しました。

ユーザの対処

通知コード、メッセージ、および操作内容を記録し、当社技術員に連絡してください。

第5章 MeFt/Webのメッセージ

MeFt/Webは、以下の製品に含まれています。

- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ
- NetCOBOL Standard Edition 運用パッケージ

5.1 MeFt/Webクライアントのエラーメッセージ

MeFt/Web クライアントが表示するエラーメッセージについて説明します。エラーメッセージはMeFt/Web クライアントのmessage キーワードまたはmessage プロパティで、“表示する”を指定している場合に表示されます。

P1000	P2000	P2001	P2002	P2003	P2004	P2005	P2006	P2007	P2008
P2009	P2010	P2011	P2012	P2013	P2015	P2016	P3000	P3001	P3002
P3003	P3004	P3005	P3006	P3007	P3008	P3009	P3010	P3011	P3012
P3015	P3018	P9000	P9001	P9002	P9003	P9006	P9007	P9008	P9009
P9010									

5.1.1 P1000

ネットワークエラーが発生しました。詳細コード: XXXXX

説明

ネットワークエラーが発生しました。詳細コードにネットワークエラー値を表示します。

ユーザの対処

本エラーはネットワーク経路で異常が発生した場合に発生します。本エラーが発生した場合はプログラムを再起動してください。

なお、本エラーが頻発する場合や、詳細コードまたは処置が記載されていないエラーが発生した場合は、WWW サーバやPROXY サーバをはじめネットワーク経路に異常が発生していないか確認してください。

詳細コードごとの対処方法を以下に示します。

詳細コード	説明	処置
0	ホスト名、ポート番号の誤りなどでサーバに接続できません。	起動用HTML ファイルのhostname プロパティまたはport プロパティが正しく指定されているか、以下の点を確認してください。 • ブラウザから起動用HTML のソースを開き、hostname プロパティおよびport プロパティを確認してください。WWW ブラウザのキャッシュに格納されているHTML が参照されていないですか。 • hostnameプロパティの指定が名前解決されていますか。ping コマンドで確認してください。 • portプロパティに正しいポート番号が指定されていますか。 MeFt/Web サーバサービスマネージャを起動できますか。
		また、WWW サーバが起動されているか確認してください。

詳細コード	説明	処置
6	API に受け渡されたハンドルは、すでに無効になっているか、クローズされています。	当社技術員にご連絡ください。
8	メモリ不足が発生しました。	以下の点を確認してください。 ・ 不要な処理が動作していないか。 ・ 仮想メモリ領域が十分確保されているか。 ・ 搭載しているメモリは十分か。
400	サーバ上で構文エラーが検出されました。	MeFt/Web プラグインを使用している場合には、プロキシにホスト名が指定されていることを確認してください。
401	適正な利用者権限を持っていません。	認証画面にユーザ名とパスワードを正しく入力してください。
403	サーバがクライアントからの要求を拒否しました。	WWW サーバの環境を確認してください。 ・ ソフトウェア説明書の「MeFt/Web の環境設定」を参照し、WWW サーバの環境設定が正しいかを確認してください。 ・ プロキシサーバなどのネットワーク環境に異常がないか確認してください。
404	指定されたドキュメントが存在しません。	WWW サーバが起動しているか確認してください。
405	クライアントによって使用された方式をサポートしていません。	当社技術員にご連絡ください。
406	クライアントによって指定された方式はサポートされていません。	
407	代理サーバが要求を転送するために認証が必要です。	
408	サーバがトランザクションを切断しました。	
409	クライアントからの要求が別の要求と競合したか、あるいは、サーバの設定と矛盾しています。	
410	クライアントとサーバ間の資源が不一致です。	
411	サーバは要求の中にContent-Length ヘッダの指定がないと要求を受け付けません。	
500	サーバの一部が異常終了したか、または設定エラーが発生しました。	以下の点を確認してください。 ・ サーバマシンのメモリおよびスワップ容量が十分か確認してください。 ・ サーバマシンでMeFt/Web が正しくインストールされているか確認してください。 問題が解決しない場合は、当社技術員にご連絡ください。
501	クライアントがサーバでは実行できないアクションを要求しました。	当社技術員にご連絡ください。
502	サーバ(または代理サーバ) が別のサーバ(または代理サーバ) から無効な応答を検出しました。	
503	サーバが高負荷状態です。	
504	サーバがトランザクションを切断しました。	
12001	現在、これ以上、ハンドルを作成することはできません。	
12002	リクエストは時間切れです。	以下の点を確認してください。 ・ WWW サーバが起動しているか確認してください。

詳細コード	説明	処置
		- LAN ケーブルが抜けていないかなど、ネットワーク環境に異常がないか確認してください。 - WWW サーバのタイムアウト時間に最大値を設定してください。 - リモート実行機能を利用中にクライアントPC がスタンバイ状態にならないようにしてください。
12003	サーバから拡張エラーが返されました。これは、長いエラーメッセージを含む文字列またはバッファです。エラーテキストを検索するときはInternetGetLastResponseInfo を呼び出します。	ウイルス対策ソフトにより、ネットワークエラーが検出される場合があります。 ウイルス対策ソフトを一時的にオフにして、動作を確認してください。 エラーが解消されない場合は、当社技術員にご連絡ください。
12004	内部エラーが発生しました。	
12005	URL が無効です。	
12006	URL スキームが認識されないか、サポートされていません。	
12007	サーバ名が解読できませんでした。	
12008	リクエストのあったプロトコルが突きとめられませんでした。	
12009	InternetQueryOption またはInternetSetOptionの呼出が無効なオプション値を指定しました。	
12010	InternetQueryOption またはInternetSetOptionに提示されたオプションの長さが、指定のオプションのタイプとしては正しくありません。	
12011	リクエストオプションが設定できないので、クエリーだけを行います。	
12012	Win32 インターネット関数サポートは停止またはアンロードします。	
12013	提示されたユーザー名が正しくないので、FTP サーバへの接続およびログオンリクエストを完了できませんでした。	
12014	提示されたパスワードが正しくないので、FTP サーバへの接続およびログオンリクエストを完了できませんでした。	
12015	FTP サーバへの接続およびログオンリクエストは失敗しました。	
12016	リクエストのあった操作は無効です。	
12017	一般に、操作を完了しないうちにリクエストの動作するハンドルがクローズしたために、操作をキャンセルしました。	
12018	提示されたハンドルのタイプが、この操作では正しくありません。	
12019	提示されたハンドルが正しい状態にないので、リクエストのあった操作を実行することができません。	
12020	代理名ではリクエストを受け入れられません。	
12021	リクエストのあったレジストリ値を突きとめられませんでした。	
12022	リクエストのあったレジストリ値は突きとめました。タイプが正しくないか、無効な値です。	
12023	現在、ダイレクトネットワークアクセスは実行できません。	
12024	コンテキスト値としてゼロが提示されているので、非同期リクエストを受け付けることができませんでした。	

詳細コード	説明	処置
12025	コールバック関数が設定されていなかったため、非同期リクエストを受け付けることができませんでした。	
12026	1つまたは複数のリクエストが中断しているため、リクエストのあった操作を完了することができませんでした。	
12027	リクエストのフォーマットが無効です。	
12028	リクエストのあった項目を突きとめることができませんでした。	
12029	サーバへの接続の試みが失敗しました。	以下の点を確認してください。 - WWW サーバが起動しているか確認してください。 - LAN ケーブルが抜けていないかなど、ネットワーク環境に異常がないか確認してください。 - WWW サーバのタイムアウト時間に最大値を設定してください。 - ウイルス対策ソフトにより、ネットワークエラーが検出される場合があります。ウイルス対策ソフトを一時的にオフにして、動作を確認してください。
12030	サーバとの接続を中止しました。	
12031	サーバとの接続をリセットしました。	
12032	Win32 インターネット関数にリクエストをやり直すように要求します。	
12036	ハンドルが存在するために、リクエストは失敗しました。	
12041	閲覧した内容で、安全ではないサーバから入ったものがあるおそれがあります。	
12046	このコンピュータではクライアント許可がセットアップされていません。	
12110	操作が現在、進行中なので、リクエストのあった操作をFTP セッションで実行することができません。	
12111	セッションを中止したので、FTP 操作を完了できませんでした。	
12130	Gopher サーバから返されたデータの解析中にエラーが発見されました。	
12131	ファイルロケータに対してリクエストを行ってください。	当社技術員にご連絡ください。
12132	Gopher サーバからデータを受信中にエラーが発見されました。	
12133	データの最後に到達しました。	
12134	提示されたロケータは無効です。	
12135	この操作では、ロケータのタイプが正しくありません。	
12136	リクエストのあった操作は、Gopher+ か、Gopher+ 操作を指定するロケータとの組み合わせでしか実行できません。	
12137	リクエストのあった属性を突きとめることができませんでした。	
12138	ロケータのタイプがわかりません。	
12150	リクエストのあったヘッダを突きとめることができませんでした。	
12151	サーバから1つもヘッダを返されませんでした。	
12152	サーバレスポンスを解析することができませんでした。	
12153	明示されたヘッダは無効です。	
12154	HttpQueryInfo へのリクエストは無効です。	
12155	すでに存在するために、ヘッダを追加できませんでした。	

5.1.2 P2000

通信処理の初期化に失敗しました。

説明

通信のための初期化に失敗しました。

ユーザの対処

- ・ “NetCOBOL ソフトウェア説明書”の「MeFt/Webの環境設定」を参照し、WWWサーバの環境設定が正しいか確認してください。
「MeFt/Webの環境設定」の説明は、ご利用の製品に応じて、以下のいずれかのソフトウェア説明書を参照してください。
 - ー “NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ V11.0.0 ソフトウェア説明書”の「10.2.4 MeFt/Webの環境設定」
 - ー “NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ V11.0.0 ソフトウェア説明書”の「10.2.4 MeFt/Webの環境設定」
 - ー “NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ V11.0.0 ソフトウェア説明書”の「10.2.3 MeFt/Webの環境設定」
 - ー “NetCOBOL Standard Edition 運用パッケージ V11.0.0 ソフトウェア説明書”の「10.2.3 MeFt/Webの環境設定」
- ・ 起動用HTMLファイルのgatewaypathnameプロパティに、“MeFtWeb64”が指定されているか確認してください。

5.1.3 P2001

現在、サーバにインストールされているモジュールでは動作させることができません。バージョンを確認してください。

説明

ダウンロードされたMeFt/WebコントロールとMeFt/Webサーバの整合性が一致していません。

MeFt/Web コントロールのバージョンまたはMeFt/Web サーバのバージョンが古い可能性があります。

これは、MeFt/Web コントロールのダウンロードが正常に終了していないことが考えられます。

ユーザの対処

WWW ブラウザを終了し、MeFt/Web コントロールを削除してから再度MeFt/Web コントロールをダウンロードしてください。

MeFt/Webコントロールを削除するためには、“MeFt/Webユーザーズガイド”の「4.2 MeFt/Web コントロールをクライアントマシンから削除する方法」を参照してください。

5.1.4 P2002

サーバでエラーが発生しました。

説明

MeFt/Web サーバでエラーが発生しました。

ユーザの対処

サーバマシンで以下の点を確認してください。

- ・ WWW サーバの環境設定が正しいか、ソフトウェア説明書を参照して確認する。
- ・ 起動するプログラムが、利用者プログラム指定ファイルに指定されているか、“MeFt/Webユーザーズガイド”の「2.3 利用者プログラムの指定」を参照して確認する。
- ・ 不要な処理が動作していないか。
- ・ 仮想メモリ領域が十分確保されているか。
- ・ 搭載しているメモリは十分か。

問題がある場合は、問題箇所を解決したあと、再度、処理を行ってください。

上記処置を行ったにもかかわらず、再度発生した場合は、当社技術員にご連絡ください。

5.1.5 P2003

プログラムを処理できませんでした。プログラムの起動に失敗しました。

説明

サーバでプログラムの起動に失敗しました。

ユーザの対処

起動用HTML ファイルのpathname プロパティに、起動するプログラムのパスが正しく指定されているか確認してください。または、起動するプログラムや格納ディレクトリに読み取り権限が設定されているか確認してください。

5.1.6 P2004

サーバで処理できませんでした。ファイル入出力エラーが発生しました。

説明

サーバ上でファイル入出力エラーが発生しました。

ユーザの対処

当社技術員にご連絡ください。

5.1.7 P2005

プログラムを処理できませんでした。サービスマネージャに異常があります。

説明

サービスマネージャに異常が発生しています。

ユーザの対処

MeFt/Webサーバが起動しているか確認してください。

5.1.8 P2006

プログラムを処理できませんでした。同時実行可能数を超えました。

説明

同時実行可能数が超えています。

ユーザの対処

しばらくたってから再度実行してください。または、MeFt/Web 動作環境の「同時実行可能数」を変更してください。

5.1.9 P2007

サーバで処理できませんでした。作業領域の獲得に失敗しました。

説明

サーバ側の処理で作業領域の獲得に失敗しました。

ユーザの対処

サーバマシンで以下の点を確認してください。

- ・ 不要な処理が動作していないか。
- ・ 仮想メモリ領域が十分確保されているか。
- ・ 搭載しているメモリは十分か。

問題がある場合は、問題箇所を解決したあと、再度、処理を行ってください。

上記処置を行ったにもかかわらず、再度発生した場合は、当社技術員にご連絡ください。

5.1.10 P2008

サーバで処理できませんでした。HTTP のメソッドが不当でした。

説明

通信処理で、HTTP のメソッドが異常です。

ユーザの対処

当社技術員にご連絡ください。

5.1.11 P2009

サーバで処理できませんでした。データ送受信エラーが発生しました。

説明

サーバ側の処理でデータ送受信エラーが発生しました。

ユーザの対処

当社技術員にご連絡ください。

5.1.12 P2010

サーバ印刷に失敗しました。

説明

サーバ印刷に失敗しました。

ユーザの対処

サーバマシンの印刷環境を確認してください。

5.1.13 P2011

スプール処理に失敗しました。

説明

スプール処理に失敗しました。

ユーザの対処

MeFt/Web 動作環境の「スプール出力ディレクトリ」に指定したディレクトリについて以下を確認してください。

- ・ 空き容量が十分か。
- ・ ディレクトリが存在するか。
- ・ 読み取りおよび書き込み権が付与されているか。

5.1.14 P2012

スプールデータを再生できませんでした。スプールデータが正しくありません。

説明

スプールデータが正しくないために、再生できませんでした。

ユーザの対処

MeFt/Web 動作環境の「スプール出力ディレクトリ」に指定したディレクトリについて以下を確認してください。

- ・ 空き容量が十分か。

- ・ ディレクトリが存在するか。
- ・ 読み取りおよび書き込み権が付与されているか。

5.1.15 P2013

サーバでエラーが発生しました。詳細コード: XXXXX

説明

サーバ側で予期しないエラーが発生しました。詳細コードにサーバ側でのエラー詳細を表示します。

ユーザの対処

当社技術員にご連絡ください。

5.1.16 P2015

タイムアウトまたはプログラムの異常により処理を中断しました。

説明

サーバ側で処理矛盾が発生しました。

ユーザの対処

負荷分散装置を使用している場合は、負荷分散装置の一意性保証時間を長く変更してください。

5.1.17 P2016

プログラムの起動に失敗しました。

説明

サーバ側でプログラムの起動に失敗しました。

ユーザの対処

起動するプログラムが、サーバ上の利用者プログラム指定ファイルに正しく記載されているか確認してください。指定方法については“MeFt/Webユーザズガイド”の「2.3 利用者プログラムの指定」を参照してください。

5.1.18 P3000

現在、処理が実行中です。実行中の処理を終了してから、再度実行してください。

説明

プログラムが実行中です。

ユーザの対処

起動中のプログラムが終了してから、再度実行してください。

5.1.19 P3001

プロパティに誤りがあります。ホスト名が指定されていません。

説明

プロパティにホスト名を指定していません。

ユーザの対処

起動用HTML ファイルのhostname プロパティが指定されているか確認してください。

5.1.20 P3002

プロパティに誤りがあります。プログラム名が指定されていません。

説明

プロパティにプログラム名を指定していません。

ユーザの対処

起動用HTML ファイルのpathname プロパティが指定されているか確認してください。

5.1.21 P3003

MeFt/Web コントロールの初期化に失敗しました。

説明

メモリ不足などによりコントロールの初期化に失敗しました。または、クライアントに必要なモジュールが存在しない場合があります。

ユーザの対処

以下の点を確認してください。

- 不要な処理が動作していないか。
- 仮想メモリ領域が十分確保されているか。
- 搭載しているメモリは十分か。
- クライアントマシンでウイルス対策ソフトの「Web からインターネット・ウイルスのダウンロードを防ぐ機能」を使用していないか。使用している場合は、一度、機能を停止してからMeFt/Web のリモート実行を行う。
- Internet Explorer の保護モードが無効となっているか。

問題がある場合は、問題箇所を解決したあと、再度、処理を行ってください。上記処置を行ったにもかかわらず、再度発生した場合は当社技術員にご連絡ください。

5.1.22 P3004

十分なメモリが獲得できないため処理できません。

説明

十分なメモリが獲得できないため処理を続行できません。または、WWW サーバからタイムアウトが通知されました。

ユーザの対処

以下の点を確認してください。

- 不要な処理が動作していないか。
- 仮想メモリ領域が十分確保されているか。
- 搭載しているメモリは十分か。
- クライアントマシンでウイルス対策ソフトの「Web からインターネット・ウイルスのダウンロードを防ぐ機能」を使用していないか。使用している場合は、一度、機能を停止してからMeFt/Web のリモート実行を行う。
- Internet Explorer の保護モードが無効となっているか。

問題がある場合は、問題箇所を解決したあと、再度、処理を行ってください。上記処置を行ったにもかかわらず、再度発生した場合は当社技術員にご連絡ください。

5.1.23 P3005

画面処理中にエラーが発生しました。(エラーコード: XX)

説明

画面処理中にエラーが発生しました。エラーコードのXX にはMeFt の通知コードを表示します。

ユーザの対処

“MeFt/Webユーザーズガイド”の「付録B MeFt/Web クライアントのMeFt 機能」の「通知コード」を参照してエラー原因と対処方法を確認します。

CGIアクセスを利用している場合は、利用者プログラムが参照するファイル(ユーザ資源)が利用者プログラム指定ファイルに正しく記載されているか確認してください。

5.1.24 P3006

印刷処理中にエラーが発生しました。(エラーコード: XX)

説明

印刷処理中にエラーが発生しました。エラーコードのXX にはMeFt の通知コードを表示します。

ユーザの対処

“MeFt/Webユーザーズガイド”の「付録B MeFt/Web クライアントのMeFt 機能」の「通知コード」を参照してエラー原因と対処方法を確認します。

CGIアクセスを利用している場合は、利用者プログラムが参照するファイル(ユーザ資源)が利用者プログラム指定ファイルに正しく記載されているか確認してください。

5.1.25 P3007

プレビュー処理中にエラーが発生しました。(エラーコード: XX)

説明

プレビュー処理中にエラーが発生しました。エラーコードのXX にはMeFt の通知コードを表示します。

ユーザの対処

“MeFt/Webユーザーズガイド”の「付録B MeFt/Web クライアントのMeFt 機能」の「通知コード」を参照してエラー原因と対処方法を確認します。

CGIアクセスを利用している場合は、利用者プログラムが参照するファイル(ユーザ資源)が利用者プログラム指定ファイルに正しく記載されているか確認してください。

5.1.26 P3008

使用するモジュールが見つからないため処理できません。

説明

クライアントマシンでメモリ不足が発生したため処理を続行できません。または、クライアントで使用するモジュールが見つかりません。クライアントの環境を見直してください。

ユーザの対処

以下の点を確認してください。

- 不用品処理が動作していないか。
- 仮想メモリ領域が十分確保されているか。
- 搭載しているメモリは十分か。

上記処置を行ったにもかかわらず、再度発生した場合は、WWW ブラウザを終了し、MeFt/Web コントロールを削除してから再度MeFt/Web コントロールをダウンロードしてください。MeFt/Web コントロールを削除するためには、“MeFt/Webユーザーズガイド”の「4.2 MeFt/Web コントロールをクライアントマシンから削除する方法」を参照してください。

5.1.27 P3009

ドライブリストの追加に失敗しました。

説明

内部処理エラーです。

ユーザの対処

当社技術員にご連絡ください。

5.1.28 P3010

ファイルリストの追加に失敗しました。

説明

内部処理エラーです。

ユーザの対処

当社技術員にご連絡ください。

5.1.29 P3011

初期表示処理が行われていません。

説明

リストコントロールの作成が行われていない(DispFast が正常終了していない) 状態でのリストコントロールへの処理を要求しました。

ユーザの対処

当社技術員にご連絡ください。

5.1.30 P3012

アイテムが選択されていません。

説明

アイテムの選択が行われていないのに選択アイテムの読みとりメソッドを呼び出しました。

ユーザの対処

当社技術員にご連絡ください。

5.1.31 P3015

同時実行可能数の取得に失敗しました。

説明

同時実行可能数の取得に失敗しました。

ユーザの対処

サーバマシンにMeFt/Web が正しくインストールされていない可能性があります。MeFt/Web をアンインストールしてから再度インストールしてください。

5.1.32 P3018

サーバで処理できませんでした。YYYY 詳細コード: XX

説明

YYYY 部分には詳細コードに応じたメッセージが表示されます。

詳細コードが8 の場合は、サーバでメモリ不足が通知されました。

詳細コードが65 の場合はWWW サーバの環境が正しく設定されていない可能性が考えられます。

ユーザの対処

サーバマシンで以下の点を確認してください。

- 不要な処理が動作していないか。
- 仮想メモリ領域が十分確保されているか。
- 搭載しているメモリは十分か。
- “NetCOBOL ソフトウェア説明書”の「MeFt/Webの環境設定」のとおりWWWサーバの環境が正しく設定されているか。「MeFt/Webの環境設定」の説明は、ご利用の製品に応じて、以下のいずれかのソフトウェア説明書を参照してください。
 - “NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ V11.0.0 ソフトウェア説明書”の「10.2.4 MeFt/Webの環境設定」
 - “NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ V11.0.0 ソフトウェア説明書”の「10.2.4 MeFt/Webの環境設定」
 - “NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ V11.0.0 ソフトウェア説明書”の「10.2.3 MeFt/Webの環境設定」
 - “NetCOBOL Standard Edition 運用パッケージ V11.0.0 ソフトウェア説明書”の「10.2.3 MeFt/Webの環境設定」

問題がある場合は、問題箇所を解決したあと、再度、処理を行ってください。

上記処置を行ったにもかかわらず、再度発生した場合は、当社技術員にご連絡ください。

5.1.33 P9000

プリンタが設定されていません。ディスプレイ属性でプレビューを行います。

説明

プレビュー時にプリンタが設定されていないために、プリンタ属性でプレビューできませんでした。

ユーザの対処

クライアントマシンにプリンタを追加してください。

5.1.34 P9001

指定された部数に誤りがあります。

説明

印刷指定ダイアログボックスで部数に誤りがあります。

ユーザの対処

指定する部数には、1 から999の値で指定してください。

5.1.35 P9002

指定されたページに誤りがあります。

説明

印刷指定ダイアログボックスで印刷範囲のページ指定に誤りがあります。

ユーザの対処

印刷範囲のページ指定を確認し、正しく指定してください。

5.1.36 P9003

値が正しくありません。1 からn の間で指定してください。

説明

ページ指定ダイアログボックスでページ指定が範囲を超えています。

ユーザの対処

1 から最大ページ数の値で指定してください。

5.1.37 P9006

サーバ印刷が終了しました。

説明

確認メッセージです。サーバ印刷が正常に終了しました。

ユーザの対処

ありません。

5.1.38 P9007

スプール処理が終了しました。

説明

確認メッセージです。スプール処理が正常に終了しました。

ユーザの対処

ありません。

5.1.39 P9008

99999 ページを超えるページをプレビューすることができません。1 から99999 の間で指定してください。

説明

1 から99999 の間で指定してください。プレビュー時にページ指定ダイアログボックスのページの指定値に99999 ページを超える値を指定しています。プレビュー機能では、99999 ページを超えるページをプレビューすることはできません。

ユーザの対処

MeFt/Web クライアントで、99999 ページを超えるページをプレビューすることはできません。

5.1.40 P9009

99999 ページを超えるページをプレビューすることができません。

説明

プレビュー時に[次ページ]ボタンをクリックした場合に、99999 ページを超えるページを表示しようとしています。

プレビュー機能では、99999ページを超えるページをプレビューすることはできません。

ユーザの対処

MeFt/Web クライアントで、99999 ページを超えるページをプレビューすることはできません。

5.1.41 P9010

99999 ページを超えるページをプレビューすることができません。99999 ページを表示します。

説明

プレビュー時に[最後] ボタンをクリックした場合に、99999 ページを超えるページを表示しようとしています。
プレビュー機能では、99999ページを超えるページをプレビューすることはできないため、99999 ページを表示します。

ユーザの対処

MeFt/Web クライアントで、99999 ページを超えるページをプレビューすることはできません。

5.1.42 エラー番号、submit メソッドおよびTerminate イベントの復帰値の関係

エラー番号	submit メソッドの復帰値	Terminate イベントのErrorCode
P1000	0	-1
P2XXX	0	-2
P3000 ~ P3003	-3	Terminate イベントは通知されません。
P3004 ~ P3018	0	-3
P9XXX	0	警告または確認メッセージのためTerminate イベントには関係ありません。

5.2 MeFt/Web プラグイン固有のエラーメッセージ

MeFt/Web プラグインが表示するエラーメッセージについて説明します。エラーメッセージはMeFt/Webドキュメントのmessage キーワードで“表示する”を指定した場合に表示されます。

[P4001](#) [P4002](#)

5.2.1 P4001

MeFt/Web プラグインの初期化に失敗しました。

説明

以下の原因が考えられます。

- メモリ不足などによりMeFt/Web プラグインの初期化に失敗しました。
- クライアントに必要なモジュールが存在しません。

ユーザの対処

以下の点を確認してください。

- 不要な処理が動作していないか。
- 仮想メモリ領域が十分確保されているか。

問題がある場合は、問題を解決したあと、再度、処理を行ってください。

上記処置を行ったにもかかわらず、再度発生した場合は、MeFt/Web プラグインを一度削除してから、再度インストールしてください。

5.2.2 P4002

使用するモジュールのバージョンが異なっているため処理できません。

説明

MeFt/Web プラグインで使用するモジュールのバージョンが異なっています。プラグインを一度削除してから、再度インストールしてください。

ユーザの対処

MeFt/Web プラグインを一度削除してから、再度インストールしてください。

第6章 Jアダプタクラスジェネレータのメッセージ

Jアダプタクラスジェネレータは、以下の製品に含まれています。

- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ
- NetCOBOL Standard Edition 運用パッケージ

この章では、Jアダプタクラスジェネレータが出力するメッセージの内容および対処方法について説明します。

6.1 java2cobコマンドのメッセージ

ここでは、java2cobコマンドが出力するメッセージの内容および対処方法について説明します。

アダプタクラス生成時のメモリ不足のため実行できません。必要のないアプリケーションを終了してから、実行してください。

対処

メモリ不足です。必要のないアプリケーションを終了してから、再度java2cobコマンドを実行してください。

Java VMの起動に失敗しました。JDKの環境定義(PATH, LD_LIBRARY_PATH, CLASSPATH)、JDKのインストールが正しく行われていることを確認してください。

対処

JDKの環境に誤りがあります。環境変数PATH、LD_LIBRARY_PATHおよびCLASSPATHが正しいか、また、JDKのインストールが正しく行われているか、確認してください。

Java2cobクラスのロードに失敗しました。Jアダプタクラスジェネレータを再インストールしてから、実行してください。

対処

Jアダプタクラスジェネレータが正しくインストールされていません。Jアダプタクラスジェネレータを再インストールしてください。

オプションファイルのオープンに失敗しました。ファイルの状態を確認してください。生成処理を中止します。

対処

オプションファイルの状態(-iオプションで指定したファイル名は正しいか、読み取り禁止になっていないかなど)を確認して、再度実行してください。



参照

- [\[Solaris\]\[Solaris64\]\[LinuxIPF\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ 使用手引書”の“4.1.2 オプション”および“4.2 オプションファイル”
- [\[Linux64\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“4.1.2 オプション”および“4.2 オプションファイル”

オプションファイル名が指定されていません。生成処理を中止します。

対処

-iオプションにオプションファイル名を指定して、再度実行してください。



参照

- [\[Solaris\]\[Solaris64\]\[LinuxIPF\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ 使用手引書”の“4.1.2 オプション”および“4.2 オプションファイル”

- [\[Linux64\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“4.1.2 オプション”および“4.2 オプションファイル”

6.2 生成時のメッセージ

ここでは、アダプタクラス生成時に出力するメッセージの内容および対処方法について説明します。

メッセージの形式

メッセージ種別 : メッセージ本文

メッセージ種別の意味

メッセージ種別	レベル	意味
Error	エラー	アダプタクラスは生成されません。
Warning	警告	アダプタクラスは生成されます。ただし、利用者の意図どおりか確認する必要があります。

Warning :不正なオプション「xxx」が指定されました。オプションを無視して処理を続行します。

対処

正しいオプションを指定して、再度実行してください。



参照

- [\[Solaris\]\[Solaris64\]\[LinuxIPF\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ 使用手引書”の“4.1.2 オプション”
- [\[Linux64\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“4.1.2 オプション”

Warning: クラス「xxx」に指定された「xxx」は、生成されませんでした。指定した名前(及びパラメタ)を確認してください。

対処

コンストラクタ/メソッド/フィールドの指定は正しいか確認して、再度実行してください。



参照

- [\[Solaris\]\[Solaris64\]\[LinuxIPF\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ 使用手引書”の“3.1.5.1 コンストラクタ/メソッド/フィールドを指定する”
- [\[Linux64\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“3.1.5.1 コンストラクタ/メソッド/フィールドを指定する”

Warning :ディレクトリ名が指定されていません。オプションを無視して処理を続行します。

対処

正しいオプションを指定して、再度実行してください。



参照

- [\[Solaris\]\[Solaris64\]\[LinuxIPF\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ 使用手引書”の“4.1.2 オプション”

- [\[Linux64\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“4.1.2 オプション”

Warning: 生成名管理ファイルの作成に失敗しました。

対処

-dオプションまたは“Option OutPutPath”パラメタに指定したディレクトリ名は正しいか、生成名管理ファイル(java2cob.mgt)が書き込み禁止になっていないかなどを確認して、再度実行してください。



参照

- [\[Solaris\]](#)[\[Solaris64\]](#)[\[LinuxIPF\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ 使用手引書”の“4.1.2 オプション”および“4.2 オプションファイル”
- [\[Linux64\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“4.1.2 オプション”および“4.2 オプションファイル”

Warning: クラス「xxx」に対するクラス名が160文字を超えました。160文字を超える部分を削除します。

対処

160文字を超える部分を削除して問題がないか、確認してください。

Warning: フィールド「xxx」に対するプロパティ名が30文字を超えました。30文字を超える部分を削除します。

対処

30文字を超える部分を削除して問題がないか、確認してください。

Warning: メソッド「xxx」に対するメソッド名が160文字を超えました。160文字を超える部分を削除します。

対処

160文字を超える部分を削除して問題がないか、確認してください。

Warning: コンストラクタ「xxx」に対するメソッド名が160文字を超えました。160文字を超える部分を削除します。

対処

160文字を超える部分を削除して問題がないか、確認してください。

Error :クラス名またはインタフェース名が指定されていません。生成処理を中止します。

対処

正しいクラス名またはインタフェース名を指定して、再度実行してください。



参照

- [\[Solaris\]](#)[\[Solaris64\]](#)[\[LinuxIPF\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ 使用手引書”の“5.5.2 クラス/インタフェース”
- [\[Linux64\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“5.5.2 クラス/インタフェース”

Error: クラス名「xxx」が正しくありません。Javaのクラス名またはインタフェース名をパッケージ名で修飾して指定してください。

対処

正しいクラス名またはインタフェース名を指定して、再度実行してください。



参照

- [\[Solaris\]\[Solaris64\]\[LinuxIPF\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ 使用手引書”の“5.5.2 クラス/インタフェース”
- [\[Linux64\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“5.5.2 クラス/インタフェース”

Error :ディレクトリ名「xxx」に誤りがあります。生成処理を中止します。

対処

正しいディレクトリ名を指定して、再度実行してください。

Error: 連番が99を超えました。生成処理を中止します。

対処

-rオプション、-gcオプション、-gmオプション、-gfオプション、-omオプション、“Class クラス名/インタフェース名”パラメタのコンストラクタ/メソッド/フィールド指定オプション、または“Option ReduceClass”パラメタを指定して、再度実行してください。



参照

- [\[Solaris\]\[Solaris64\]\[LinuxIPF\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ 使用手引書”の“4.1.2 オプション”および“4.2 オプションファイル”
- [\[Linux64\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“4.1.2 オプション”および“4.2 オプションファイル”

Error: ファイル「xxx」が作成できない状態にあります。ファイルの状態を確認してください。

対処

ファイルの状態(-dオプションまたは“Option OutPutPath”パラメタに指定したディレクトリ名は正しいか、書き込み禁止になっていないかなど)を確認して、再度実行してください。



参照

- [\[Solaris\]\[Solaris64\]\[LinuxIPF\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ 使用手引書”の“4.1.2 オプション”および“4.2 オプションファイル”
- [\[Linux64\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“4.1.2 オプション”および“4.2 オプションファイル”

Error: ファイル「xxx」の書き込み中にエラーが発生しました。

対処

出力先に容量などの問題がないか確認して、再度実行してください。

Error : -omオプション(Option ReduceClass)と-rオプション(Option GenOnlyUsed)を同時に指定することはできません。生成処理を中止します。

対処

-omオプション(または“Option ReduceClass”パラメタ)か-rオプション(または“Option GenOnlyUsed”パラメタ)のどちらか一方を指定して、再度実行してください。-rオプション(または“Option GenOnlyUsed”パラメタ)の指定を推奨します。



参照

- [\[Solaris\]\[Solaris64\]\[LinuxIPF\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ 使用手引書”の“4.1.2 オプション”および“4.2 オプションファイル”
- [\[Linux64\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“4.1.2 オプション”および“4.2 オプションファイル”

Error : -omオプション(Option ReduceClass)と-sオプション(Option String)を同時に指定することはできません。生成処理を中止します。

対処

-omオプション(または“Option ReduceClass”パラメタ)か-sオプション(または“Option String”パラメタ)のどちらか一方を指定して、再度実行してください。



参照

- [\[Solaris\]\[Solaris64\]\[LinuxIPF\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ 使用手引書”の“4.1.2 オプション”および“4.2 オプションファイル”
- [\[Linux64\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“4.1.2 オプション”および“4.2 オプションファイル”

Error : オプションファイルのオープンに失敗しました。ファイルの状態を確認してください。生成処理を中止します。

対処

オプションファイルの状態(-iオプションで指定したファイル名は正しいか、読み取り禁止になっていないかなど)を確認して、再度実行してください。



参照

- [\[Solaris\]\[Solaris64\]\[LinuxIPF\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ 使用手引書”の“4.1.2 オプション”および“4.2 オプションファイル”
- [\[Linux64\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“4.1.2 オプション”および“4.2 オプションファイル”

Error : オプションファイル中に不正な定義「xxx」が指定されました。定義を無視して処理を続行します。

対処

正しい定義を指定して、再度実行してください。



参照

- [\[Solaris\]\[Solaris64\]\[LinuxIPF\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ 使用手引書”の“4.2 オプションファイル”
- [\[Linux64\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“4.2 オプションファイル”

Error: クラス情報が見つかりません。生成処理を中止します。

対処

クラス／インタフェースから参照するクラス／インタフェースのクラスファイルがあるか確認してください。



参照

- [\[Solaris\]\[Solaris64\]\[LinuxIPF\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ 使用手引書”の“3.1.4 クラスファイルがない場合の生成方法”
- [\[Linux64\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“3.1.4 クラスファイルがない場合の生成方法”

Error : メモリ不足が発生しました。生成処理を中止します。

対処

必要のないアプリケーションを終了してから、再度実行してください。

Error: システムエラーが発生しました。生成処理を中止します。

対処

Jアダプタクラスジェネレータの障害です。資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。

6.3 実行時のメッセージ

ここでは、アダプタクラスを使用したプログラムの実行時に出力するメッセージの内容および対処方法について説明します。

実行時のメッセージは、COBOLのUPON SYSERR指定のDISPLAY文と同じ出力先に出力されます。UPON SYSERR指定のDISPLAY文の出力先については、以下を参照してください。

- [\[Solaris\]\[Solaris64\]\[LinuxIPF\]](#)
“NetCOBOL 使用手引書”
- [\[Linux64\]](#)
“NetCOBOL ユーザーズガイド”

アダプタクラスはメッセージを出力すると同時に例外オブジェクトを発生させます。アプリケーションで例外処理を記述しているなどの理由で実行時のメッセージを抑止したい場合は、環境変数COBJNI_NOMESSAGEに“YES”を設定することで、抑止することができます。



参照

- [\[Solaris\]\[Solaris64\]\[LinuxIPF\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ 使用手引書”の“3.2.1.12 エラー処理”
- [\[Linux64\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“3.2.1.12 エラー処理”

メッセージの形式

クラス名情報 : メッセージ本文

内容

クラス名情報、エラーが発生したアダプタクラスを示します。クラス名情報の形式は、アダプタクラスの種別によって異なります。

アダプタクラス種別		形式	補足
クラス／インタフェース		パッケージ名/…/クラス名	パッケージ名で完全修飾したクラス名です。パッケージ名、クラス名の間は“/”で区切ります。
基本データ型の配列	boolean	[Z	“[”の数は次元数を表します。たとえば2次元の配列の場合は“[[Z”になります。
	byte	[B	“[”の数は次元数を表します。
	char	[C	“[”の数は次元数を表します。
	short	[S	“[”の数は次元数を表します。
	int	[I	“[”の数は次元数を表します。
	long	[J	“[”の数は次元数を表します。
	float	[F	“[”の数は次元数を表します。
	double	[D	“[”の数は次元数を表します。
クラス／インタフェースの配列		[Lパッケージ名/…/クラス名;	“[”の数は次元数を表します。パッケージ名で完全修飾したクラス名を、“L”と“;”ではさみます。

Java VMの初期化に失敗しました。環境変数(PATH、LD_LIBRARY_PATH、COBJNI_CLASSPATH)の値、JDKまたはJREのインストール環境を確認してください。

対処

JDKまたはJREの環境に誤りがあります。環境変数PATH、LD_LIBRARY_PATHおよびCOBJNI_CLASSPATHが正しいか、JDKまたはJREのインストールが正しく行われているか、確認してください。



参照

- [\[Solaris\]](#)[\[Solaris64\]](#)[\[LinuxIPF\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ 使用手引書”の“5.3.1 JVN-INITメソッド”
- [\[Linux64\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“5.3.1 JVN-INITメソッド”

または、同一プロセス内の異なるスレッドで、JVM-INITメソッドが複数回呼び出されました。JVM-INITメソッドの代わりにJVM-ATTACHメソッドを使用してください。



参照

- [\[Solaris\]](#)[\[Solaris64\]](#)[\[LinuxIPF\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ 使用手引書”の“5.3.3 JVM-ATTACHメソッド”
- [\[Linux64\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“5.3.3 JVM-ATTACHメソッド”

カレントスレッドをJava VMへ接続できませんでした。

対処

プログラムでJVM-INITメソッドまたはJVM-ATTACHメソッドを正しく呼び出しているか確認してください。



参照

- [\[Solaris\]\[Solaris64\]\[LinuxIPF\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ 使用手引書”の“5.3.1 JVN-INITメソッド”および“5.3.3 JVM-ATTACHメソッド”
- [\[Linux64\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“5.3.1 JVN-INITメソッド”および“5.3.3 JVM-ATTACHメソッド”

カレントスレッドをJava VMから分離できませんでした。

対処

プログラムでJVM-TERMINATEメソッドまたはJVM-DETACHメソッドを正しく呼び出しているか確認してください。



参照

- [\[Solaris\]\[Solaris64\]\[LinuxIPF\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ 使用手引書”の“5.3.2 JVN-TERMINATEメソッド”および“5.3.4 JVM-DETACHメソッド”
- [\[Linux64\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“5.3.2 JVN-TERMINATEメソッド”および“5.3.4 JVM-DETACHメソッド”

ジェネレータが生成したアダプタクラス中のJavaクラス名形式に誤りがありました。Jアダプタクラスジェネレータの提供元に連絡してください。

対処

Jアダプタクラスジェネレータの障害です。資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。

Javaクラス／インタフェース定義の親と子の名前が重複しています。重複しない名前に変更してください。

対処

Javaのクラス／インタフェース定義に誤りがあります。Javaのクラス／インタフェースを見直してください。

Javaクラス／インタフェース定義が見つかりません。環境変数(COBJNI_CLASSPATH)の値を確認してください。

対処

検索パス上で、Javaクラス／インタフェースが見つかりません。環境変数COBJNI_CLASSPATHの値が正しいか確認してください。



参照

- [\[Solaris\]\[Solaris64\]\[LinuxIPF\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ 使用手引書”の“5.3.1 JVN-INITメソッド”
- [\[Linux64\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“5.3.1 JVN-INITメソッド”

メモリ不足が発生しました。環境変数(COBJNI_MAX_NSTACK、COBJNI_JAVA_STACK、COBJNI_MIN_HEAP、COBJNI_MAX_HEAP)の値を大きくして、実行してください。

対処

Java VMでメモリ不足が発生しました。環境変数(COBJNI_MAX_NSTACK、COBJNI_JAVA_STACK、COBJNI_MIN_HEAP、COBJNI_MAX_HEAP)の値を変更して、Java VMに割り当てるメモリを増やしてください。



参照

- [\[Solaris\]\[Solaris64\]\[LinuxIPF\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ 使用手引書”の“5.3.1 JVN-INITメソッド”
- [\[Linux64\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“5.3.1 JVN-INITメソッド”

Javaインタフェース／抽象クラスのインスタンスは作れません。Jアダプタクラスジェネレータ実行後に、Javaクラス／インタフェースを変更していないか確認してください。

対処

抽象クラス上でコンストラクタを実行しました。アダプタクラス生成後にJavaクラス／インタフェースを変更した可能性があります。Javaのクラス／インタフェースを見直してください。

型変換できません。J-NARROWメソッドに渡したパラメタを確認してください。

対処

パラメタに指定したオブジェクトが、そのクラスまたはサブクラスのオブジェクトではありません。J-NARROWメソッドのパラメタを確認してください。



参照

- [\[Solaris\]\[Solaris64\]\[LinuxIPF\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ 使用手引書”の“5.2.1 J-NARROWメソッド”
- [\[Linux64\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“5.2.1 J-NARROWメソッド”

Javaフィールドが見つかりません。Jアダプタクラスジェネレータ実行後に、Javaクラス／インタフェースを変更していないか確認してください。

対処

アダプタクラス生成後にJavaクラス／インタフェースを変更した可能性があります。Javaのクラス／インタフェースを見直してください。

Javaクラスの初期化に失敗しました。Jアダプタクラスジェネレータの提供元に連絡してください。

対処

Jアダプタクラスジェネレータの障害です。資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。

Javaメソッドが見つかりません。Jアダプタクラスジェネレータ実行後に、Javaクラス／インタフェースを変更していないか確認してください。

対処

アダプタクラス生成後にJavaクラス／インタフェースを変更した可能性があります。Javaのクラス／インタフェースを見直してください。

Stringオブジェクトが持つ文字列の取り出しに失敗しました。Jアダプタクラスジェネレータの提供元に連絡してください。

対処

Jアダプタクラスジェネレータの障害です。資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。

配列オブジェクトの添字が誤っています。配列範囲内の添字を指定してください。

対処

添字の値が0～(要素数-1)の範囲にありません。正しい添字を指定してください。

設定値(オブジェクト)のクラスが誤っています。配列の要素クラスのサブクラスを指定してください。

対処

配列要素に、誤ったクラスのオブジェクトを設定しようとしていました。正しいクラスのオブジェクトを設定してください。設定できるのは、配列要素クラスのオブジェクトまたはそのサブクラスのオブジェクトです。



参照

- [\[Solaris\]\[Solaris64\]\[LinuxIPF\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ 使用手引書”の“5.7.1 配列クラス”
- [\[Linux64\]](#)
“Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド”の“5.7.1 配列クラス”

内部論理エラーが発生しました。(復帰値とオブジェクト参照が矛盾) Jアダプタクラスジェネレータの提供元に連絡してください。

対処

Jアダプタクラスジェネレータの障害です。資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。

Java VMがエラーを検出しました。エラーの原因を取り除いてください。(例外名:補足情報)

対処

Java VMが実行時エラーを検出しました。例外名および補足情報からエラーの原因を特定し、原因を取り除いてください。

内部論理エラーが発生しました。(エラー検出機構の障害) Jアダプタクラスジェネレータの提供元に連絡してください。

対処

Jアダプタクラスジェネレータの障害です。資料を採取して技術員(SE)に連絡してください。

[Linux64]

文字コードの変換に失敗しました。ERRNO:エラー詳細値

対処

アダプタクラスのjava-lang-Stringクラスのメソッド(GET-STRING-X、GET-STRING-N、NEW-STRING-XまたはNEW-STRING-N)を使用したプログラム中で、データ項目のエンコード方式で文字として保証されている範囲外のデータが使用されました。

メッセージに表示されたエラー詳細値を“表6.1 文字コードの変換に失敗した場合のエラー詳細値”の説明を参考にエラーの原因を取り除いて、再度実行してください。

表6.1 文字コードの変換に失敗した場合のエラー詳細値

エラー詳細値	エラーの意味	対処
7	変換先コード列格納域が不足しました。	変換先のデータ項目の長さが十分であるか確認してください。
12	領域不足が発生しました。	“付録B 注意事項”の“COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合”を参照して対処してください。
22	変換元コード列の終りに、不完全なコードが現れました。	変換元の文字データが転記、部分参照などで不完全な状態になっていないか確認してください。
84	変換元コード列中に、変換元コード系に存在しないコードが現れました。	変換元のデータがエンコード方式の範囲外です。エンコード方式の異なるデータ項目を重ね合わせ(REDEFIENS句)で使用していないか、文字コード以外のバイナリデータを格納していないか確認してください。

コード変換にInterstage Charset Managerを使用している場合は、「Interstage Charset Manager 使用手引書 標準コード変換機能編」を参照してエラーの原因を確認してください。

上記以外のエラー詳細値については、manマニュアルの“intro(2)”の説明を参照してください。



参照

“NetCOBOL ユーザーズガイド”の“A.2.8 CONVCHAR”

“NetCOBOL ユーザーズガイド”の“C.1.13 CBR_CONVERT_CHARACTER”

第7章 PowerSORTのメッセージ

PowerSORTは、以下の製品に含まれています。

- NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ
- NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ

PowerSORTのメッセージについては“PowerSORT ユーザーズガイド”を参照してください。

付録A COBOLファイルシステムのエラーコードの説明

COBOLファイルシステムのエラーコードの内容を説明します。

表A.1 COBOLファイルシステムのエラーコードの内容

コード(16進数)		意味	プログラマーの処置
上位	下位		
10		ファイルの終りより後を、またはファイルの先頭より前への入力要求がありました。	入力データ件数に誤りがないかチェックしてください。
21		主キーの順序に誤りがあります。	キーの値が昇順となるようにプログラムを修正してください。または、直前に読み込んだレコードのキーの値を変更しないように修正してください。
22		重複キー禁止のファイルで、新しいレコードのキーが重複しています。	キーの値が重複しないようにしてください。
23		指定されたレコードは存在しません。	存在しないレコードを操作しないでください。
24		ディスクスペースが不足しています。	空き容量を増やし、再度実行してください。
24	01	相対レコードファイルへの任意の書込みでレコード番号の指定が無効(ゼロ)でした。	相対レコード番号に値を設定してください。
24	02	ファイル作成限界以上のレコードの追加書込みが発生しました。	ファイルを分割し、一つのファイルが最大サイズを超えないようにしてください。
30	04xxxx	COBOLファイルシステムがオペレーティングシステムのエラーを検出しました。	xxxxに設定されたOSから返却されたエラーに対処してください。
30	01 01	メモリ領域獲得に失敗しました。	メモリを増設してください。もしくは、仮想メモリ(スワップ)を増やしてください。
30	03 0A	レコードが1件もありません。	レコードが格納されている状態にしてください。
30	04 0A	ファイルが多過ぎます。	技術員(SE)に連絡してください。
30	05 0A	ハンドルに誤りがあります。	技術員(SE)に連絡してください。
35		指定されたファイル名のファイルが存在しません。	操作するファイル名、パス名が存在するか確認してください。
37		ファイル属性に一致しないアクセスがありました。	技術員(SE)に連絡してください。
37	07	読み込みのみ許可されたファイルに書込みのオープン命令が発行されました。	ファイルへのアクセス権を確認してください。
38		ロック付きでクローズされたファイルがオープンできません。	ロック付きクローズ後に、ファイルを操作しないでください。
39		ファイル属性が一致しないためファイルのオープンができません。	パラメタやオプションで指定したファイル属性と、物理ファイルのファイル属性とが一致するようにしてください。
39	01	ファイル編成が一致しません。	パラメタやオプションで指定したファイル編成と、物理ファイルのファイル編成とが一致するようにしてください。
39	02	最小レコード長が一致しません。	パラメタやオプションで指定した最小レコード長と、物理ファイルの最小レコード長とが一致するようにしてください。
39	03	最大レコード長が一致しません。	パラメタやオプションで指定した最大レコード長と、物理ファイルの最大レコード長とが一致するようにしてください。
39	04	最小ブロック長が一致しません。	技術員(SE)に連絡してください。

コード(16進数)		意味	プログラマーの処置
上位	下位		
39	05	最大ブロック長が一致しません。	技術員(SE)に連絡してください。
39	06	レコードの区切りが一致しません。	パラメタやオプションで指定したファイル属性がレコード順ファイル可変長レコード形式の場合、物理ファイルがレコード順ファイル可変長レコード形式であるか確認してください。その他の場合、技術員(SE)に連絡してください。
39	07	コードセットが一致しません。	技術員(SE)に連絡してください。
39	08	照合順序が一致しません。	技術員(SE)に連絡してください。
39	09	レコード形式が一致しません。	技術員(SE)に連絡してください。
39	0A	埋め込み文字が一致しません。	技術員(SE)に連絡してください。
39	30～7F	索引ファイルのキー項目に対する属性(オフセット、大きさ、WITH DUPLICATES等)が一致しません。	索引ファイルのキーの属性が、物理ファイルと一致するようにしてください。
43		最後の読み込みでエラーが発生しました。	技術員(SE)に連絡してください。
90	01	オープン処理と矛盾するアクセスがありました。	技術員(SE)に連絡してください。
90	04	ファイル編成と矛盾するアクセスがありました。	技術員(SE)に連絡してください。
90	05	ファイルトランケート命令が他のユーザと矛盾します。	技術員(SE)に連絡してください。
90	06	サーバセッションが拒否されました。	技術員(SE)に連絡してください。
90	07	読み込み専用ファイルに対して無効なアクセスがありました。	技術員(SE)に連絡してください。
90	08	サポート外のアクセスがありました。	技術員(SE)に連絡してください。
90	09	メッセージ領域が小さ過ぎます。	技術員(SE)に連絡してください。
90	10	セッションIDが無効です。	技術員(SE)に連絡してください。
92		ファイルがクローズされていません。	技術員(SE)に連絡してください。
92	01	既にオープンされているファイルに対してオープンが発行されました。	技術員(SE)に連絡してください。
93		ファイルが有効ではありません。	技術員(SE)に連絡してください。
93	02	他のファイル結合子により、ファイルがロックされています。	他のファイル結合子から、ファイルのロック状態を解除してください。
93	06	ファイルが既に存在するため、オープンできません。	ファイルが存在しないディレクトリやファイル名を利用してください。
94		ファイル属性が一致しないためファイルのオープンができません。	パラメタやオプションで指定したファイル属性と、物理ファイルのファイル属性とが一致するようにしてください。
94	21	ファイル編成が一致しません。	パラメタやオプションで指定したファイル編成と、物理ファイルのファイル編成とが一致するようにしてください。
94	22	最小レコード長が一致しません。	パラメタやオプションで指定した最小レコード長と、物理ファイルの最小レコード長とが一致するようにしてください。
94	23	最大レコード長が一致しません。	パラメタやオプションで指定した最大レコード長と、物理ファイルの最大レコード長とが一致するようにしてください。
94	24	最小ブロック長が一致しません。	技術員(SE)に連絡してください。
94	25	最大ブロック長が一致しません。	技術員(SE)に連絡してください。

コード(16進数)		意味	プログラマーの処置
上位	下位		
94	26	レコードの区切りが一致しません。	パラメタやオプションで指定したファイル属性がレコード順ファイル可変長レコード形式の場合、物理ファイルがレコード順ファイル可変長レコード形式であるか確認してください。その他の場合、技術員(SE)に連絡してください。
94	27	コードセットが一致しません。	技術員(SE)に連絡してください。
94	28	照合順序が一致しません。	技術員(SE)に連絡してください。
94	29	レコード形式が一致しません。	技術員(SE)に連絡してください。
94	2A	埋め込み文字が一致しません。	技術員(SE)に連絡してください。
94	30～5F	索引ファイルのキー項目に対する属性(オフセット、大きさ、WITH DUPLICATES等)が一致しません。	索引ファイルのキーの属性が、物理ファイルと一致するようにしてください。
94	60	ファイルをオープンするためのメモリが不足しています。	メモリを増設してください。もしくは、仮想メモリ(スワップ)を増やしてください。
94	61	ファイルを生成するためのディスクスペースが不足しています。	空き容量を増やし、再度実行してください。
94	64	指定したファイル名に誤りがあります。	ファイル名に無効な文字が含まれていないか確認してください。
96		ファイル位置が未定義です。	技術員(SE)に連絡してください。
97	01	行順ファイルのレコードに不当な文字があります。	技術員(SE)に連絡してください。
97	02	不当な文字があります。	技術員(SE)に連絡してください。
97	03	最小レコード長より短いレコード領域が指定されています。	技術員(SE)に連絡してください。
97	04	最大レコード長より長いレコード領域が指定されています。	技術員(SE)に連絡してください。
97	07	レコード長が一致しません。	技術員(SE)に連絡してください。
98		ファイルの構造が無効です。	技術員(SE)に連絡してください。
99		他のファイル結合子により、レコードがロックされています。	他のファイル結合子から、レコードのロック状態を解除してください。

付録B 注意事項

COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合

COBOLプログラムの実行時に仮想メモリ不足が発生する場合、動作環境やプログラム構造などの見直しを行ってください。

動作環境の問題

- 実装メモリが少ない。
必要に応じて増設してください。
- 仮想メモリが少ない。
必要に応じて大きくしてください。
- 同時に実行している他のアプリケーションがメモリ領域を使用している。
同時に実行している他のアプリケーションを停止してください。

プログラム構造の問題

- 実行単位で同時にオープンしているファイルの数が多い。
- 実行単位でEXTERNAL句を指定したデータおよびファイルの宣言が多い。
- 実行単位で同時に使用しているオブジェクト(インスタンス)の数が多い。

その他

- 実行したアプリケーションがメモリ領域を破壊している。

[Solaris][Solaris64][LinuxIPF][Linux64]

NetCOBOL Studioのリモートデバッグ機能、CHECK機能およびメモリチェック機能などを使用して、領域破壊の原因を調査し、プログラムを修正してください。



参照

- [Solaris]
“NetCOBOL 使用手引書”の“26.2 分散開発支援機能”、“5.3 CHECK機能の使い方”および“5.5メモリチェック機能の使い方”
- [Solaris64]
“NetCOBOL 使用手引書”の“第18章NetCOBOL Studioのリモートデバッグ機能の使い方”、“5.3 CHECK機能の使い方”および“5.5メモリチェック機能の使い方”
- [LinuxIPF]
“NetCOBOL 使用手引書”の“18.2 対話型リモートデバッグの使い方”、“5.3 CHECK機能の使い方”および“5.5メモリチェック機能の使い方”
- [Linux64]
“NetCOBOL ユーザーズガイド”の“18.3 NetCOBOL Studioのリモートデバッグ機能の使い方”、“17.2 CHECK機能の使い方”および“17.4 メモリチェック機能の使い方”

索引

[C]

CBR_CLASSINFFILE.....	845
CBR_INSTANCEBLOCK.....	845
CBR_CBRINFO.....	839
COBJNI_NOMESSAGE.....	931
COBOLファイルシステムのエラーコード.....	938
COBOLファイルシステムのエラーコードの内容.....	938

[J]

java2cobコマンドのメッセージ.....	926

[あ]

アクセス名.....	827

[か]

仮想メモリ不足.....	829,831,842,845,861,870,873,875,878,887,941
環境変数.....	931
行番号.....	3

[さ]

実行時のメッセージ.....	931
実行時メッセージ.....	826
生成時のメッセージ.....	927

[は]

ファイル名.....	828
翻訳時メッセージ.....	3
翻訳時メッセージの重大度の意味.....	3

[ま]

メッセージ一覧.....	1
メッセージの抑止.....	931
メッセージ番号.....	3,826
メッセージ本文.....	4,827

[ら]

例外処理.....	931